

THE GREAT AWAKENING

NOTHING IS AS IT SEEMS

An Enlightening Analysis About What Is Wrong In Our Society

**PETER B.
MEYER**



HOW MANKIND HAS BEEN ENSLAVED
BY GLOBAL ELITES



本について

大覚醒とはまさにそれです!著者のピーター・B・マイヤーは、責任ある大人として私たちが今行動を起こさなければ、私たち自身、私たちの子供たち、将来の世代への影響は取り返しのつかない、まさに悲惨なものとなるだろうと泣きながら明らかにしています。

どのような影響があるのでしょうか? その答えは、社会経済、教育、文化、環境の側面を含む、不吉なほど広範囲に及ぶということです。ピーターのメッセージが衝撃的なのは、これが単なる理論ではなく、統計や、代替の専門文献、ウェブサイト、ジャーナル、レポートから引用した参考文献によって裏付けられた確かな事実で構成されているからです。

たとえば、家族は私たちの文明の構造そのものの基盤であり礎です。過去 60 年間、私たちの子供たちが生まれ、世話され、教育を受ける「巢」ほど無視されてきた組織はありません。隠れた政府が意図的に家族構造を破壊し、麻薬文化を自分たちの利益のために利用して、テロ攻撃などの闇活動に資金を提供していることに注意してください。

ひとり親家庭がますます一般的になりつつある中、この傾向は子供たちにどのような影響を与えているのでしょうか? その答えは恐ろしいものです。経済的なことを考慮すると、さらに恐ろしいものになります。

この本は、社会的側面、負債に基づく通貨システム、地政学的変化、金融操作、その他のさまざまな経済分野など、いくつかの異なる主題を扱っています。「ゆりかごから墓場まで」の補助金プログラムを備えた福祉国家、そして意図的に操作された市場が、先進国の政府に広範囲にわたる破産をもたらした世界的な経済危機の原因であると非難されています。

イルミナティの考えを持つグローバリストたちは、冷戦と呼ばれる社会主義の東側と資本主義の西側を対立させることで権力、支配、利益を獲得するという第一次世界大戦前の計画に戻りました。2008年、人類にさらなる緊縮財政と苦しみをもたらすことで、世界は意図的にインフレ不況に陥りました。イルミナティは、政府の運営、情報の流れ、お金の創造のプロセスをコントロールし、最終的にキリスト教世界をコントロールします。

国民は、政府が詐欺、嘘、欺瞞を犯していることを明確に説明されるべきである。統治の緊急な変更、自助経済の必要性、そして個人の自発性と配慮が主な要素である需要と供給の自由市場が、既存のものに取って代わるべきであること。戦争は数十年も前から計画され、国家の破壊、人口減少、士気低下、そしてもちろん1%の超富裕層の権力と利益を達成するために画策されていることを国民は理解すべきである。つまり、イルミナティとそのディープステートは、人類を食い物にして永久的な覇権を確立するための悪魔カルトである。そのため、今日、世界の国々は中央銀行に、紙とインクの費用で印刷したお金に基づいて、何兆ドルもの借金を抱えている。彼らは、洗練された社会的およびマインドコントロールの方法を使用して、薄っぺらな独裁政権を確立した。これもまた、「テロとの戦い」の真の意味である。それは「イスラムのテロリスト」に向けられたものではない。それはあなたや私に向けられたものです。彼らは飢餓、戦争、戦争の噂を作り出し、人々はかつて持っていた自由を失っています。

世界的な改善の第一歩は、すべての中央銀行、裏付けのない通貨システム、中央計画、部分準備銀行制度を廃止することです。そうすれば、地球上の生活は今日まで経験してきたものよりはるかに良くなるでしょう。

この本全体を通して、著者は暗いシナリオを設定するだけでなく、ありがたいことに解決策も提案しています。

メッセージを広め、私たちの進路を変える手助けをするのは、読者であるあなた次第です。私たち自身と子供たちのために、著者は今すぐ行動を起こすよう促し、さらに良いことに、その方法を教えてください...!

目次

本について

序文

導入

1. この危機は不況に変わるだろう
2. 民主主義と政府
3. 民主主義のための無政府主義
4. 福祉国家
5. ディープステートが世界を支配している方法
6. 幻想の世界
7. 腐敗した金融システム
8. ディープステートとその秘密の計画
9. 戦争、脅迫、恐怖が羊を支配している
10. 地政学的変化と金融崩壊
11. ISIS、ディープステートの代理軍
12. 世界的な混乱
13. 世界を支配する秘密の力
14. イルミナティとその計画
15. 秘密による統治
16. 私たちが暮らす腐敗した社会
17. ハザール人の秘密を暴露
18. 意図的に不安定化した世界
19. 政府がないほうが良い
20. 通貨準備制度の調査

21. 部分準備銀行詐欺の説明
22. 犯罪的な金銭詐欺師
23. 借金が増えても借金問題は解決しない
24. すべてはお金の問題だ
25. 無からお金を生み出すことによるリスク
26. 借金
27. 緊縮財政

-
28. 金利ゼロ金利政策とマイナス金利政策の影響
 29. 通貨戦争 - ゼロ価値への競争
 30. 金本位制だけが世界を災難から救える
 31. 銀行家は犯罪者だ
 32. SDR - 新しい世界秩序通貨
 33. 世界の中央銀行を全て閉鎖する
 34. 恐ろしい未来
 35. 金融システムの問題点
 36. 国家債務の話はでっちあげだ
 37. EUの世界刑務所に閉じ込められた
 38. EU超国家の歴史と真実
 39. 欧州連合の欺瞞
 40. 未来への展望
 41. 明らかな気候に関する嘘
 42. 国民がどのように毒されているか
 43. 経済の実態は伝えられているものとは異なっている
 44. 本当の富とは何でしょうか?
 45. 回復の見込みのない偽りの成長
 46. あなたの生活水準は破壊されました
 47. フラッシュン
 48. 自由を取り戻そう
 49. 金は世界危機への答え

50. 信頼の侵害
51. お金の形態
52. 最後の警鐘

序文

第二次世界大戦後、再工業化が急速に進み、生産されたものはすべてすぐに売れました。1960年代後半から70年代前半にかけて、経験不足で不十分な経営陣が変化する市場状況に対応できず、激しい競争により多くの企業が倒産、あるいは破綻し始めました。

存続可能だが経営の行き届いていない企業を立て直す訓練を受けた専門家として、その10年間で多数の企業が救済され、健全な基盤で再び事業を再開しました。

得られた知識と経験は、地方政府の審査にも応用され、その後は国際的に通貨システム全体、通貨発行、その管理手続きにも応用されました。1つの側面が崩れ始めると、すぐにさらに多くの側面を精査、分析し、是正勧告や改善提案を盛り込む必要がありました。しかし、90年代当時は不思議なことに、政府も権威ある立場の人も、このことを知ることに関心を示しませんでした。後に、すべてが故意に不正行為であり、改善が望まれていなかったことが明らかになりました。

それでも、2003年以來、招待を受けてゲストライターとして他の多くのサイトで公開してきた後、遭遇して分析されたすべての内容は、私のWebサイト finalwakeupcall.info のエッセイとして公開されています。この期間中に、1,000を超えるエッセイがすべて2つの言語で公開されました。 - 私の常連読者の中には、歴史的価値があるため、このすべての有用な情報を書籍の形式でまとめることを勧める人もいます。

数名の熱心な支持者の支援とサポートのおかげで、最も関連性の高い主題が厳選されて、この本「The Final Wake Up Call 2.0」にまとめられました。1996年に出版された同名の最初の本は、バージョン 1.0 を構成していました。

通貨システム、通貨創造、部分準備金、負債通貨、負債、デリバティブ、金融の不正管理、詐欺、窃盗、偽旗作戦、偽造簿記、市場操作、政府によるマネーロンダリング、政府を支配する銀行家、破綻させられないほど巨大な金融機関、フェイクニュース、権力構造、マフィアの戦術、嘘と欺瞞などの主題がすべてこのバージョンにまとめられ、出版されています。政府と銀行が有権者、顧客、そして一般市民をどのように操作し騙してきたかについて、直接学ぶことができます。この冷静な本は、実践的な調達分析に基づいており、本当に目を見張るものとなることを目指しており、舞台裏で何が起きているのか、さらには公然と何が起きているのかを学ぶ手段として機能し、実際に権力を握っている政府内の秘密政府であるディープステートが、どのようにすべてを支配しているかを明らかにします。要するに、このマフィアのグループはしばしばカバールと呼ばれ、彼らの目的はただ1つです。人類の借金奴隷化。彼らは人口の90%を処刑し、残りを奴隷にし、同時に子供たちを誘拐し、強姦し、虐待するという使命を帯びています。

陰謀団は国民を可能な限り貧困に陥れ、国民の注意をそらすようにしている。その結果、国民は仕事、金銭問題、生存のための闘いに完全に没頭せざるを得なくなるからだ。国民の労働の成果は、それが国民自身の手には渡らないように、あらゆる状況で吸い上げられている。国民自身の手には渡れば、経済的、肉体的、精神的な自由が得られるからだ。この自由は、偽りのリーダーシップの必要性を減らし、その結果、彼らの権力構造の正当性を損なうことになる。

国民は、実際に必要とされるよりもはるかに過酷な労働を常に強いられています。もちろん、これによって、必要以上の生産が行われ

ることは明らかです。そのため、この余剰生産は、戦争や増税によって急速に破壊されます。第二次世界大戦後のヨーロッパ再建のために導入されたマーシャルプランには、ヨーロッパを統合するための隠れた条項が含まれていました。これが、ドイツのアンゲラメルケル首相が、ロスチャイルドの計画する欧州連合主義に奴隷のように忠実で、代弁者として「愚かな」行動をとっている理由です。

一方、世界規模の悪魔的陰謀団は、地球の支配をめぐる戦いに敗れたことを認識しており、現在、地球とその人々を破滅させるために第三次世界大戦を開始するために全力を尽くしています。

私たち国民は、政治家や「信頼されている」当局から、自分たちの利益のためだけに嘘をつかれ、一方で私たちの富は、インフレや借金による奴隷化によって執拗に盗まれてきました。そうは言っても、人類は新たな権力者とともに、もうたくさんだという結論に至ったようです。

人々が一斉に目覚め、過去の教訓から学ぶことが最も重要です。これは、次のページで詳しく説明されているように、将来の人類が同じような運命をたどることを回避するために重要です。相互の努力と貢献を通じて、将来の世代を守りましょう。そうすれば、今後何世代にもわたって平和、健康、繁栄の中で暮らすことができます。地球は私たちのものです。私たちは主導権を握り、地球を大切にする責任を取り戻さなければなりません。

著者からの注記:

正直に言うと、私はこの世界の悪いところについて書くのは好きではありません。私はむしろ、より良い世界を築き、悪いところは自らの重みで崩壊するに任せたいのです。それでも、私たちを脅かすものについて警告すべき時があります。それが、[私のウェブサイト](#)

[「The Final Wakeup Call」](#)が、より良い世界のために人々が協力し合うよう促すキャンペーンが開始されました。

導入

警察国家：

世界は革命を必要としていない。善良さは人々の中にまだ根付いている。もし十分な人々が新世界秩序の裏切りに目覚めるなら、状況は変わるだろう。結局のところ、奴隷として、あるいは暴君的な警察国家の下で暮らしたいと心から願う人はいない。将来の暴政を避けるためには、真実、正義、寛容、機会の平等に献身する国民の団結が必要だ。協力するために、人々は簡単に暴君の集まりに変貌する可能性のある欺瞞的な政府を設置することに頼る必要はない。

経済が意図的に悪化し、警察国家が統制を強めると、大企業マスメディアは国民に新しい指導者を国家の救世主として紹介するだろう。かつて「私に権力を与えれば、私はあなたたちを救い、守る」と言った新しいタイプのヒトラーだ。歴史の教訓を通して私たち全員がその後知るようになったように、この道を再び歩むことは私たちの生活を劇的に最悪の方向に変えてしまうだろうが、今回は逃げ出す可能性がないだけだ。

ディープステート：

私たち国民は、権力のあらゆる部分を実際にコントロールしている「影の政府」であるディープステートを打倒し、官僚機構と支出を実際に削減しなければなりません。

世界の政治を含むEUと米国の支配は、地球上で最も裕福な一族によって強力かつ根深く秘密裏に行われている。この支配はヨーロッパで始まり、銀行家たちが困窮する個人よりも政府に融資する方が利益が大きいことに気づいた時代まで遡ることができる。これらの銀行家一族とその従属的受益者は、主要な資産のほとんどを所有するようになった。

企業 2 世紀にわたって、彼らは秘密裏に、そしてますます組織化を進め、戦争と平和の調停者として、世界中の政府を統制してきました。

あなたの個人の自由が危機に瀕しています：

経済の弱体化と企業の人員削減は労働者に過度のストレスを与え、その結果、家族の中心が徐々に崩壊している。政府は富裕層に有利になるように人々の富を偏らせているが、これは中国人を偶然巻き込んだものではないとよく報道されている。むしろ、これは計画的なもので、ディープステートの指示の下、傀儡政治家によって現在しっかりと支持され、実行されている信用貨幣システムの産物である。

宗教、教育、娯楽の分野さえも、かつては自由だった人々の全世代を、グローバリストのエリートに支配下にあるシステムの中で怯え従順なゾンビに変えるために利用されている。グローバリストの計画は、権力の行使を容易にするために、全世界をいくつかの競合する社会主義ブロックに形作ることである。しかし、個人の自由の伝統を持ち、そのような自由を保証する憲法を持つ人々は、そのような自由が一時的なものであることを認識しなければならない。自由への献身において、団結した人々によって、それは継続的に育まれるべきである。

分割して征服する：

こうした意識的な統一を阻止するために、グローバリストのファシストたちは、国家を人種、性別、年齢、世代、文化によって分断しようと試みてきた。彼らは、官僚、政治家、学者、企業リーダー、そして一般大衆を、分割統治の議題で互いに対立させている。

グローバリストのファシストたちは、真の個人の自由や多文化平等主義という概念をあざ笑う。なぜなら、彼らは人類の生来の善良さや自治能力を信じていないからだ。彼らには社会統制の手段がない。これらのグローバリストたちは、世界規模の社会主義という自分たちの計画こそが、自分たちの不快なイデオロギーによる権力と統制を維持する唯一の手段だと考えている。そして、これが自分たちの人種と階級の純粋さを維持する唯一の方法だと考えている。

主流マスコミでは決して報じられないが、ドナルド・トランプが選挙運動中に多大な努力を払い、米国INC初のアウトサイダー大統領となったおかげで、世界中で意識が高まっている。その後、私たちの多くが希望を持つようになった。人々はシステム全体が不正操作されていることを心から理解しているが、非暴力で変化をもたらすために協力し、すべての市民の自由を獲得するために取り組んでいる。

[EU政治局](#)の支援を受けた米国の試みの結果としてほぼ確実に始まるであろう差し迫った第三次世界大戦を理解することはできないだろう。 - 中央アジアを掌握し、支配すること。唯一の解決策は、米国とEUが手を引くことだ。これは米国、EU、そして全世界の人々が望んでいることだが、権力エリートは望んでいない。

腐敗した通貨システム:

誤った金融政策、経済政策、政治政策が故意にこの進行中の経済危機を引き起こし、それが絶え間なく続いている。主な加害者は中央銀行家たちであり、最初はグリーンスパン、バーナンキ、そして現

在はジャネット・イエレンが率いており、ECBのドラギ、日銀の黒田東彦、BISのアグスティン・カースティンスが従っている。

金融システムこそが、この惑星における陰謀団の権力の真の源泉であるため、その支配をめぐる戦いは本質的に、地球、そこに生きるすべての生き物、そしてその未来の支配をめぐる戦いとなる。世界中のますます多くの人々が、現在の金融システムの腐敗した性質に気づき始めている。彼らは、通貨システムを変え、それを民主的な国民の支配下に戻すことが、何よりも優先すべきことだと理解している。

世界のマキャベリ主義の破壊者たちの猛烈な努力にもかかわらず、あるいは別の角度から、人類は目覚めつつある。現在進行中の残忍なガザ虐殺、HAARP の気象操作の大量暴露、偽の地球温暖化ミーム（偽の気候変動ミームに改変）、空気を汚染しているケムトレイル、そして EMF（電磁場）の悲惨な影響などのその他の新科学的侵略、たとえば彼らの優生学的大量破壊兵器、今日の Wi-Fi、ブルートゥース、電子レンジのように私たちの周りで有害な周波数を誘導することで超高周波マイクロ波放射からまったく新しい危害を生み出す新しい 5G 革命など、暴露において大きな進歩が遂げられている。遺伝子組み換え食品の操作、地殻変動によるRTFの監視とモニタリング、人類を不妊にするための空港での高周波ボディスキャナー、そして彼らの計画の中心にあるものは、明らかに世界戦争と社会の軍事化を引き起こした。

偽情報のためのフェイクニュース：

こうした出来事が起きたり、続いたりするのを許してはいけません。これは、あなたを道から外すためのイデオロギーの競争です。公平な競争の場などありません。一方、主流メディアの主な目的は、権力エリートによって誘導された虚偽を大衆に信じ込ませることです。虚偽の物語に耳を傾けてはいけません。自分の心、直感、頭脳、知性、常識に頼ってください。別の情報源を調べ始めてください

。イルミナティの唯一の武器は、彼らの嘘に私たちを同意させることです。偽情報にはいくつかの目的がありますが、最も陰険なのは、あなたの目の前で展開している現実の性質に関する心からの信念に疑念を抱かせることです。大衆の心を寄せ付けないことは、彼らの秘密の計画を成功させるために不可欠です。 - [プロトコルを読んで何が起きているのかを知る 来ます。](#)

意識の覚醒：

世界中でますます多くの人々が、歴史として教えられてきたこと、社会規範として教えられてきたこと、そして政治が社会システムにとって真実かつ誠実な利益であるという信念が、実はまったくのでたらめであるという新たな現実と洞察に目覚めつつあります。

近年の傾向や世論調査は、世界観の意識の変化を実証しており、米国と欧州の両方で政府に対する不信感が一貫して高まっていることを示している。昨年 1 月の世論調査では、3 人中 2 人が政府を信頼していないことが明らかになり、4 月の別の世論調査では、4 人中 3 人が政治家が腐敗していると考えていることがわかった。昨年 10 月、ピュー研究所は、5 人中 4 人以上が自国の政府をまったく、または少なくともほとんどの場合信頼していないことを明らかにした。これは、政府への不信感が過去最高に近い水準に達したことを示している。

緊縮財政措置：

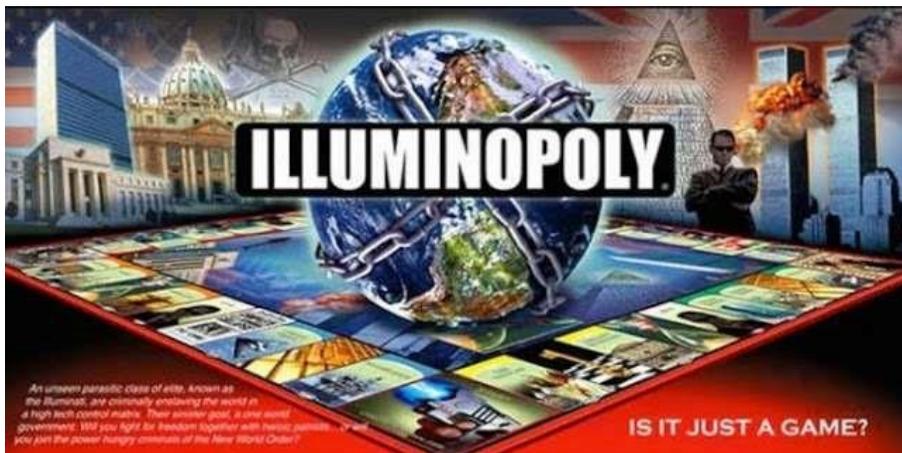
有権者の怒りは、停滞した経済のフランスや緊縮財政に疲れたギリシャからデンマーク、そしてイギリスまで聞こえてきた。これがEU 離脱への強い衝動となった。多くの住民は、特に強力なアンゲラ・メルケルと欧州委員会によって課された極めて厳しい緊縮財政で最も打撃を受けた南ヨーロッパで、厳しい緊縮財政措置を非難している。欧州委員会は選挙で選ばれていない腐敗したハザール人の操り人形の集まりに過ぎない。

ウクライナでの流血事件：

米国が設置したウクライナ政権は、親ロシア派の東部ドネツク市でリン爆弾虐殺を報道する公式「ニュース」メディアのチャンネルを意図的に遮断した。[この焼夷弾](#)攻撃について「ニュース」メディアが知らせてくれるのをまだ待っている人は、全員が死ぬまで待たなければならないだろう。実際には誰も気にしていない。なぜなら、時間がかかればかかるほど「ニュース」の重要性は薄れ、報道される頃には歴史になっているからだ。犠牲者たちが歴史から同情的に見られるかどうかは、この戦争の歴史書を最終的にどちらの側が書くかにかかっている。

ルシフェリアン悪魔主義イルミナティ：

共感力に欠けるルシフェリアン悪魔主義者イルミナティは、ウクライナ南東部の何十万人もの住民が虐殺されたり、ロシア国内の難民キャンプに逃げ込んだりしているのを見て涙を流したりしない。彼らは全員、西側が任命し、マインドコントロール下に置かれた人々によって意図的に処刑されている。すべては、議定書に記録されているように、秘密の計画に従って指示された行動である。西側諸国の人々は皆、ロシアに対して課せられた制裁が経済全体にとって壊滅的であることを心に留めておこう。



ウクライナ挑発は、ロシアを弱体化させ、プーチン大統領をできるだけ悪く描こうとする政治的に失敗した試みである。なぜ彼らはロシアを狙っているのか？ ロシアは、ヨーロッパに液化天然ガスやその他のエネルギー供給を主導しており、連邦準備銀行の不換紙幣オールドルの優位性に脅威を与えている。中国はまた、世界貿易の「脱ドル化」において、おそらくより大きな役割を果たしており、最終的には米国を第三世界の生活状態に深く沈め、「ドル」の切り下げが始まったときに、準備ができていない国民に衝撃を与える不可逆的な変化を引き起こすだろう。

権力エリートの影響:

EU のエネルギー需要の 40% はロシアから来ています。ロシアは、外国人がロシアとビジネスを行う意欲を刺激するために、ドイツの弁護士を使ってロシアの国際法を改善しています。ドイツがプーチンを疎外し、自国の経済力を危険にさらすと考える人がいるのでしょうか？ ドイツは、足踏みしているアンゲラ・メルケルを除いて、戦争と銀行の自殺のモデルから脱却し、ユーラシア諸国とのさらなる成長と財政健全化を望んでいます。不可解な姿勢、それともそうでしょうか？

事実は、西側諸国は急速に衰退しつつあり、ほとんど機能不全に陥った西側諸国の金融システムを支えている何兆ドルもの価値のないデリバティブ商品で窒息しつつあり、それでもドイツのような国を依然としてその傘下に留めることができるということだ。これは、エリート層が、主に国の銀行の存続能力を破壊するという金融的脅迫を通じて、あらゆる国に対してできる限りの支配力を行使しようとする熱意の証左である。

対照的に、ロシアはヨーロッパに対してこう言っている。ガスが欲しければ、ルーブル、人民元、場合によっては金で支払え。「ドル」で支払いたいのか？ 売りっぱなしだ。西側諸国の金融銀行システムのエリート層による締め付けは、簡単には彼らから奪われそうに

ない。多くの罪のない命が犠牲になったにもかかわらず、ウクライナが国家として破壊されるのを彼らが喜んで見守っていることは、エリート層が率いる米国の戦争屋が、ロシアとプーチンを弱体化させ、悪者にするためなら何でもするという一例だ。

マレーシア航空MH17便撃墜事件直後、オバマ大統領がプーチン大統領の仕業だと述べたこと、そして国営テレビでロシアに責任があると繰り返しておべっかを使う米軍将校らが大々的に宣伝したことは、完全な虚偽であることが判明した。その後、米国が指揮するキエフ空軍がロシアに責任を押し付けるためのテロ行為として、民間航空機を決定的に撃墜し、搭乗していた298人の罪のない人々を殺害したことが証明された。これがエリートたちのやり方であり、通貨支配を維持するために誰が何人殺されても気にしないのだ。

ISISテロリズム：

オバマは、連邦準備銀行の不換紙幣「ドル」を支え続けるために、あらゆる手段を講じて新たな戦争を始めようとしている。ロシアを攻撃することで、米国は戦争に駆り立てられた無能で危険な愚か者でしかないことが明らかになる。さらにオバマは、爆撃され完全に崩壊した国を乗っ取ろうとするISISテロリストに対抗するため、イラクに爆弾を投下し始めた。このISISテロリストとは誰なのか？CIAによって武装訓練され、シリアで戦ったのと同じグループだ。よく訓練され、よく武装したこれらの過激派は、不換紙幣「ドル」を守るという隠された目的のために暴走し、その過程で罪のない人々が罪に問われている。

米国の制裁：

米国がロシアに課し続けている馬鹿げた制裁が今や裏目に出ている。プーチンは反撃し、EUからの食料輸入を禁止している。これはまさに破産したEU諸国に必要なことであり、経済をさらに弱体化させることだ。EU諸国がハザール人の傀儡になることは高くつく。まも

なく、自力で生き残るという現実が表面化し、EU諸国はただ「ノー」と言うことを学ぶだろう。バルト三国、ハンガリー、オーストリア、フランスはすでに「ノー」と言っている。ブルガリアは、IMFがブルガリアの銀行にどれだけ早く圧力をかけられるか次第で、決断を下すことができない。

お金の流れを追う：

ただお金の流れを追ってみれば、すべての道はロスチャイルド家のバチカンに通じていることがわかります。彼らは国の通貨供給を掌握し、すべてのルールを定めています。国の通貨供給を掌握する過程で、各国の金の保有量は盗まれました。これらの金の強奪の補償として、各国は IMF から利息付き融資の形で米ドルの印刷物を受け取っています。

世界最大のポンジスキーム：

ロスチャイルド家はいかなる競争も受け入れない。世界最大のポンジ・スキームの第一段階は成功した。次に計画されたのは、中央銀行家による継続的なやり方で、金と銀の価格を撤廃し、最終的に抑制する計画だった。米国は金をすべて使い果たし、連邦準備銀行の不換紙幣は世界の準備通貨「オイルダラー」としての役割をほぼ終えたので、次の大賞品はロシアに予定されていた。

新世界秩序（NWO）を放棄したウラジミール・プーチンが、この秩序を暴露する。プーチンは全世界に何が起きているかを語ったが、状況が制御されていなければ、彼はそんなことを言わなかつただろう。約2.2時間のこのドキュメンタリーは、すでに2,100万人以上の視聴者が視聴しており、新世界秩序の差し迫った敗北を明らかにしている。ロシア人は、第二次世界大戦後のペーパークリップ計画によるナチスの科学者のアメリカへの移送など、不快な真実を驚くほど詳細かつ明確に探求する。カバールを包囲し、打倒するために形成された国際同盟を、主要テレビシリーズがこれほど徹底的に明

らかにしたことはかつてなかった。抵抗運動の一例として、ニール・キーナンが国連や他のカバール組織に対して起こした壮大な数十億ドルの訴訟についても議論されている。連邦準備制度理事会が世界の金を奪うために意図的に第一次世界大戦と第二次世界大戦を引き起こした方法、そして、無から印刷された「バブルマネー」の無限の供給をどのようにして作り出したかを学びます。

NWO はマフィアよりもさらに危険で、核報復の脅迫と恐喝によって各国に多額の金銭の支払いを強いる。ノルウェーは断固とした態度を貫いたため、2011年にブレイビク虐殺が起きた。2011年3月11日の福島第一原子力発電所の事故とそれに続く津波は、日本がハザード人への200億ドルの身代金の支払いを拒否したため、海岸から500キロ離れた場所で原子爆弾によって発生した。2度目の脅迫を受けた後、日本は2番目の原子力発電所での再発を防ぐために金銭を支払った。

[この映画を見てください。](#)

ほとんどの人は十分な情報を持っておらず、何を考えればよいのかわかりません。彼らはロシア人を恐れ、プーチンを恐れ、ほとんどすべてのものを恐れるよう何度も教えられてきました。恐怖は最悪の助言者だということを忘れないで下さい。

すべての国々への呼びかけ：

すべての国への呼びかけ。メディアの戦争煽動には注意しましょう。メディアは常に産業と政治の先駆者でした。多くの「失策」は、控えめに言っても、メディアの助けと彼らの狂った操縦によってのみ可能になりました。



これらすべての傾向は、過去数百年にわたって展開してきました。長い間、物事は順調に進んでいるように見えます。帝国はどんどん成長していきます。しかし、その後、状況はそれほど良くなり、最終的にすべてが崩壊します。おそらく、社会、経済、そしてほとんどの国は、今では曲線のピークに近づいています。

この狂気を止める時が来ました。あなたと私たちの自由の乗っ取りに反対する行動を待たないでください。私たち国民は 99% です。私たちは、1% の少数派であるエリート同胞団、イルミナティに対して多数派を占めています。私たちの未来、子供たち、そしてまだ生まれていない次世代のために、私たちはこの戦いに勝たなければなりません。

目を覚まして自由のために戦いましょう。

人類が目覚めるためには流血が必要だろうか。それとも、**真実が個人の意識に届き**、人々が結束して団結を広げ、警官や軍隊が、自分たちもこの捉えどころのないエリート集団、人類の精鋭、あるいは自分たちを宇宙の主導者と見なすことを好む人々によって、単なる砲弾の餌食として利用されてきたことに気づき始めるような希望があるのだろうか。あるいは、痛烈な対比で見ると、エリートは実際には奴隷であり、彼らの法外な富と権力を守っているのだ！今では、本当のテロリストはあなた方の政府にいるハザール人の手先であることが明らかになっているはずだ。目を覚ましてこのメッセージを伝え、誰もが真実に気づくようにしてほしい。

2017年5月4日

1. この危機は不況に変わるだろう

- ・ 中央銀行が危機を引き起こしている

革新的な思考が必要です：

あらゆる分野で暗雲が立ち込めています。消費者の信頼は失われました。すべてが順調に進んでいるように見えたとき、人々は物事が真実ではないと考えました。今も、人々は物事が真実であると信じていません。実際は、まったく逆です。かつては、人々は自分のものではないお金を無駄遣いすることで裕福になれると信じられていましたが、今では財政支援を政府に求めています。

当初、この危機は1年程度しか続かない経済不況だと思われていましたが、10年目を迎えたこの不況は、大恐慌へと変わりつつあります。両者の違いは、不況は一時的であるのに対し、大恐慌は構造的であるということです。自動車、電子機器、住宅、オフィスなど、あらゆる分野で世界の生産能力は過剰です。製造能力と関連活動を削減する構造改革が今や不可欠です。革新的な方法と革新的な考え方を活用して、最小限の損害で巧みに変化を起こさなければなりません。

危機を引き起こしている中央銀行家たち：

この危機は、これまでのすべての危機と同様に、中央銀行が資本コストを誤って評価したことが原因で、債務レバレッジによる資本の誤配分が起り、最終的には恐ろしい資産バブルとして露呈し、その後崩壊して、何千万人もの無防備な人々の命と生活を破壊しました。

最初はアラン・グリーンスパン、次にベン・バーナンキ、そして今度はジャネット・イエレン。この災難全体が住宅バブルの崩壊と信

用市場の爆発という形で頂点に達することは明らかだったにもかかわらず、どうやらそれを予見できなかったようだ。

それにもかかわらず、バーナンキ、そして現在のイエレンも、信用を安くすれば経済成長が促進されるという見解に依然屈しており、QE1、QE2、Q3におけるFRBによる米国債と住宅ローン債権の購入が実体経済の成長促進に何らかの効果をもたらしたという証拠をまったく示していない。彼らがやったことは株価を押し上げ、米国政府が財政赤字を補填しやすくしただけだ。

中央銀行は、家計が負債を減らしているときに「成長を促進」することはできない。消費者と企業がリスクを取ることにもっと自信を持てるよう、政府は財政政策（支出）を整える必要があるとバーナンキ氏が述べたことは、示唆的である。

リーダーたちは解決策を見出せない：

どうやら我々のリーダーたちは、まだ明確な解決策を持っていないようだ！彼らは納税者のお金をただばら撒き続けている。彼らは事態を正そうと急いでいるようには見えず、我々をこの混乱に陥れた本当の原因を調査する時間さえ取らない。彼らは状況を徹底的に分析して適切な答えを出すこともしない。彼らが主張しているのは、腐敗を誘発するケインズ派の景気刺激策の適用だけだ。

政治家は雇用を創出したいと言っているが、それが不可能だとは気づいていない。学ぶべき実践的な知恵はたくさんある。しかし、この混乱を引き起こした人々を責任者にすれば、効果的な解決策は期待できない、とアインシュタインはかつて書いている。

「問題を引き起こした人がそれを解決してくれると期待してはいけない。」

簡単に言えば、この経済は復活させるのではなく、再構築する必要がある。

我々のリーダーの誰も、大胆かつ必要な決断を下す能力も意欲もありません。彼らは間違った薬（お金）をさらに使うだけで、助けになるかもしれない少数の人たちを信じたり耳を傾けたりしません。マーケットさん。賢い起業家は不況の状況に適応して貢献的なアプローチを提供することができますが、現状ではそのプロセスには10年以上かかる可能性があります。

緊縮財政は間違った治療法だ：

緊縮財政は支出削減には効果がありません。その結果、人員削減や失業の増加につながります。財政はさらに不均衡になり、赤字は拡大しています。GDPの減少は経済のさらなる窮乏化を招いています。

ロシアのコンドラチェフは 1930 年代に、経済サイクルは政府よりも強力であり、政府はより小規模な「通常の」バブルの影響を変えることはできるが、真の「スーパーバブル」の後に政府は無力であることを証明した。政府が何をしようと、実際の経済サイクルは終焉を迎えることになる。

債務の「毒」がすべて経済システムからなくなるまで、真の繁栄は訪れません。こうしたサイクルを過小評価すると、悲惨な結果になります。それは、どんな政府も制御できないほど強力な力であり、実体経済を弱体化させます。

真の回復には実際のお金が必要です。

真の回復のためには、回復を成し遂げられる人々の手に本当のお金が必要です。本当のお金は、政府ではなく、起業家、家族経営、ビジネスマンの手に必要です。誠実な回復のためには、人々が自分のお金を保持して、請求書の支払い、貯蓄、投資、消費など、好きなように使えるようにしてください。

不況は例外的です：

不況は極めて例外的なものです。信頼できる証拠、統計、情報はありません。この現象はあまりにも異常であるため、一般的な基準は存在しません。1930年代の不況を経験した人のうち、それがどのようなものであったかを正確に記憶している人はほとんどおらず、当時の状況を思い出すこともできます。不況は、進行中の経済の単なる中断ではありません。経済の終焉です。システムから負債を絞り出さなければならない状況です。このような状況では、救済、財政援助、政府の景気刺激策は不十分であり、実際には回復のプロセスを遅らせています。

残念ながら、この見解を理解しているのはごく少数です。

バブル期、人々は借りたお金を本当に必要のないものに使いすぎました。信用収縮が現実になると、政策立案者は、雇用、成長、インフレを創出するためだけに、あらゆることにお金を使うべきだと考えました。しかし、この経済状況は、いずれ不況に転じる根本的な経済危機を解決することなく、現在「救済爆弾」になりつつあります。以前説明したように、不況に対処するには、政策立案者が明らかに知らない他の対策が必要です。

経済不況は本当にそんなに悪いことなのでしょうか？

不況は悪いという議論は間違っている。なぜなら、彼らはGDPの成長を継続することが極めて重要だと主張しているからだ。不況になると、人々は職を失い、収入は減り、企業は倒産するなどする。一般的に、人々はお金が減るので、買うものも減る。

もしそれがすべてなら、不況の恩恵を得るには安い代償に思えるだろう。結局、不況は経済から負債を絞り出す。不況は弱い企業を排除する。浪費癖のある消費者を貯蓄家に変えてしまう。これらはすべて、何らかの価値があるに違いない。

こうした懸念の背後にある主な前提は、不況下では人々は望むものを手に入れることができず、当然得べきものしか得られないため

失望する、というものである。人々は貧しくなり、すり減った靴を履き、古い車を運転するようになるが、長期的に見ればこれはそんなに悪いことなのだろうか。

実際のところ、不況の原因は何でしょうか？ 人々は消費するよりも貯蓄することを選択します。需要の減少は売上の低下を引き起こし、失業の増加、価格の下落、その他「不況」に関連するすべての厄介な事態を引き起こします。しかし、これらすべての背後には、人々が本当に望んでいるものがあります。それは貯蓄です。貯蓄への欲求は、よく考えられた懸念を伴う非常に現実的なものです。貯蓄がなければ、人々は快適に退職することはできません。貯蓄がなければ、経済的なショックや挫折に耐えることはできません。貯蓄がなければ、彼らは自分の道にやってくるかもしれない機会を活用できないかもしれません。

言い換えれば、不況は、人々が新しい車や新しい靴、休暇よりも貯金を望むために起こるのです。人々は食べるよりも、自分で食料を蓄えることを選びます。そのどこがいけないのでしょうか？ 何も悪いことはありません。

しかし、それは経済学者のGDPメーターが彼らが好まない方向、あるいは少なくとも彼らが何かできると考え、そしてしたい方向に進む原因となる。これに対する経済学者の答えは、国民に貯蓄を残すことだが、当局は政府支出を増やすことで貯蓄率上昇の経済的影響を打ち消すことができる。

それはとても単純で、とても明白で、とてもバランスが取れているように聞こえます。深く考えなければ、ほとんど意味があると思われるかもしれません。

より深い考え:

ここで、もっと深く考えてみましょう。政府は支出したいお金をどこから得ているのでしょうか。国民の貯蓄を引き出さなければなり

ません。国民が蓄えた食料を吸い上げているのです。これで問題は解決です。政府のプロジェクトに資金を提供するための新たな資金は、どこかから、たとえば利益や投資収益などから調達し、さらにお金を生み出すために活用する必要があります。政府のプロジェクトは天使の食料節約ではなく、資金に対する飽くなき欲求を持っていると想定しても間違いではありません。そうでなければ、政府は財政的に自立していることを証明し、そもそも景気後退は起こらなかったでしょう。

つまり、貯蓄と不況の代わりに、国民は経済「成長」という無駄な事業に手を染めることになる。ただし、これは本当の成長ではない。経済学者を喜ばせる成長だが、残りの我々を飢えさせ、失望させる成長だ。これは、経済学者のGDPメーターでは「成長」として測定される、カロリーの無い食品だが、完全に偽物であり、国民が本当に望んでいるものとは全く異なる。

では、国民の貯蓄はどうなるのでしょうか？ 政府は中央銀行を通じて、そして政府に有利なグループが国民の貯蓄を食いつぶします。このケインズ派の景気刺激策は、最初から最後まで詐欺です。

フリードリヒ・ハイエクが 1939 年に執筆し、最近再版された『隷従への道』は、今日でも非常に当てはまる、いや、実際にはさらに有効であるため、本当に目を見張る内容です。

経済不況の利点

秩序ある債務削減に関する合意に至らなかったため、1931 年の大恐慌では無秩序な債務不履行、関税戦争、さらには世界規模の生産と雇用の崩壊が起きました。ビル・ボナーが経済不況について書いた記事では、不況の長所と短所、そして経済の回復方法について詳しく説明しています。

「不況を解決しようとするのは、費用がかかるだけではありません。米国政府は、税金1ドルにつき1.60ドルを支出し

ていますが、これは回復ではなく、大惨事を招く原因です。市場の自然な自己修復システムをブロックすることで、実際の回復を妨げています。」

うつ病の治療法はうつ病そのものなのです！

不況により、資産価格、消費者物価、金利が下がります。これにより、投資家やビジネスマンは、成功しそうなプロジェクトに努力を向け直すことができます。たとえば、洗車は 10 万ドルでは良い投資ではないかもしれませんが、5 万ドルなら良いキャッシュフローを生み出す可能性があります。

6% の利子でお金を借りなければならない場合、投資は意味をなさないかもしれません。しかし、3% なら... 数字は成り立ちます。理想的な世界では、労働価格は市場に合わせて上下します。1 時間あたり 10 ドルで追加の労働者を雇う気も能力もないかもしれませんが、5 ドルならどうでしょうか。

問題は、中央銀行がこうした自己治癒の傾向を妨害していることです。最低賃金法は、雇用主が低品質の労働力を低価格で利用することを禁止しています。失業手当は、労働者が自分の労働力を軽視することを禁止しています。ゼロ金利と救済措置は、ゾンビを立ち上げさせ続けます。

最良の状況、つまり自由市場であつても、労働賃金は「粘着性」がある傾向があり、すぐには調整されません。中央銀行があればほど多くの接着剤を塗布しているのに、彼らが動くことができるのは驚くべきことです。しかし、結局、不況がその魔法をもたらします。価格が下落します。投資家は全滅します。企業は破綻します。資本ストックの「破壊」により、新しい用途のためにお金と労働力が解放されます。「創造的な」部分、つまり蓄積が始まります。残念ながら、中央銀行家たちは計画に支障をきたしました。

彼らは夜明けのない暗闇を作り出しました。ガラスは100%空です。雲はたくさんありますが、明るい兆しはありません。

現在、10人以上の失業者が存在し、あらゆる職を奪い合っています。健全な経済であれば、通常の景気回復では、1か月あたり最大約50万の新規雇用が追加されるはずです。しかし、現在の月間新規雇用数はこの4分の1以下であり、経済学者はこれを大きな勝利と称賛しています。もちろん、現在の人口増加に対応するには15万の雇用を創出する必要があります。しかし、2007年と比べて現在雇用数は1,000万減少しており、失業者数は増加しています。

2007年には、6か月以上失業していたのは失業者全体のわずか10%でした。現在、その合計は40%です。そして、雇用市場の成長がほとんどないため、これらの失業者の多くは二度と働くことはありません。何が問題なのでしょう？

回復が弱い：

実のところ、誰も完全にはわかっていない。簡単に説明すると、調整が起こっているということだ。しかし、調整が始まる前から、まともな仕事は消えつつあった。2001年の不況の後には、最初の「失業のない回復」が続いた。しかし、1970年代以降のすべての不況の後には、ますます弱い回復が続いている。

中央銀行家たちは、なぜそうなっているのか全くわかっていない。政治家や政策専門家は皆、教育の強化、再訓練、インフラ投資といったいつもの解決策を提案する。しかし、これらの対策が実際に雇用状況を改善するという証拠はない。

教育業界は金食い虫だ。親と政府の両方から巨額の資金が「投資」されてきた。経済にはあまり役に立っていないようだ。確かに大学卒業生は就職の可能性が高いが、それは卒業証書や学位のない人から就職を奪っているからにすぎない。

失業問題は「解決が難しい問題」だとフィナンシャル・タイムズは言う。－もちろん、失業問題は一夜にして解決できるかもしれない。しかし、人々はそれを歓迎しないだろう。失業者への補助金や雇用制限をすべて撤廃すればいい。労働価格は急速に下がるだろう。数日のうちに、完全雇用が再び実現するだろう。

実際、もしグリーンズパン氏率いる連銀が2001年から2002年の不況期に不況回避のために金融緩和政策を実施していなかったら、金融危機全体は今頃、より少ない痛みで解決していただろう。グリーンズパン氏のケインズ主義的な紙幣増刷のアプローチは住宅ブームと崩壊を生み、世界経済を低迷させ、リーマン・ブラザーズの破綻に端を発した金融危機を引き起こした。それが今日知られている不況の始まりだった。

最も問題を抱えるヨーロッパ諸国の根本的な問題は、債務負担が経済成長よりも速いペースで増加していることです。市場は各国の経済的実行可能性に対する信頼を失いつつあり、間もなく融資を継続するにはリスクが高すぎると認識されるでしょう。これが、PIIGS 諸国（ポルトガル、アイルランド、イタリア、ギリシャ、スペイン）の国家債務が持続不可能なレベルに達した理由です。

直接的および間接的な救済措置によって債務バブルが拡大し、こうした持続不可能なレベルの借入によって、最終的に各国がユーロ圏を離脱せざるを得なくなる可能性が高まっている。債務不履行危機によって、来年末までにEUの構成が変わる可能性が高く、ドイツをバックボーンとするより強力なEU圏が誕生する可能性はあるだろうか。 [1] SEP

消失クレジット量:

商業ローンからリース、不動産まで、銀行業界全体で信用が崩壊している。米国連邦準備銀行のデータによると、2兆ドル規模の商業・産業ローン市場は2016年12月にピークに達した。

貸し手が特に非居住用不動産に対する融資を厳しくしているため、このセクターは急激に弱体化している。過去3か月間で年率5.4%の下落となり、2008年12月以来の下落率となっている。

新規融資が承認されなければ、信用貨幣の供給量は減少します。これが今日の**信用貨幣制度に埋め込まれた「破滅の罫」**です。貨幣供給量は急激かつ壊滅的に減少します。融資が返済されるか帳消しになると、未払いの「信用貨幣」は存在しなくなります。これにより貨幣供給量が減り、調整、不況、または市場暴落が引き起こされ、最終的には深刻な不況に陥ります。

金に裏付けられた本物のお金は信用収縮で消えることはありません。しかし、偽の「信用マネー」は消えます。これにより、信用が最初に増加し、最終的に減少する信用サイクルに対して、通貨システム全体が脆弱になります。

そして信用貨幣が消えると不況が深刻化し、信用市場がさらに引き締まり、結果としてさらに多くの貨幣が消えることになる。これが、今日の「信用貨幣」の世界において信用収縮が非常に危険な理由である。世界の未払い債務は200兆ドルを超えており、わずかな収縮でも世界恐慌につながる可能性がある。

まとめ：

要約すると、経済不況は良いことです。それは悪い投資を排除し、悪い投機家を排除します。資本をより生産的で収益性の高い用途に流します。ゾンビ産業を撲滅します。衰退した産業を廃止し、新しい産業が生まれるようにコストを削減します。シュンペーターが「破壊」と呼んだこの**「創造的破壊」**こそが重要なのです。

考えれば考えるほど、迫りくる不況のありがたみがわかる。ぼったくりの救済措置と偽りの景気回復の後では、不況は待ち望まれるもののように思える。

野心的な目標は戦争です。

もし連邦準備制度理事会と中央銀行が、公正価値を決定するという唯一の役割を市場に任せていれば、経済は今頃危機を脱していただろう。世界が今、新たな戦争に直面することもなかっただろう。しかし、彼らはそうすることを拒否している。自由市場は盗まれてしまったのだ。私たちは本当に大きな出来事の瀬戸際にいるのかもしれない。この恐怖のせいで、株式市場から大量の現金が流出するかもしれない。金や銀などの抑制された資産に大量の現金が流入するかもしれない。住宅が圧迫されるかもしれない。「私たちは次の本当の大恐慌を見つめているかもしれない。」 [グレゴリー・マナリーノは言う。](#)

2. 民主主義と政府

- ・ 銀行家が政府をコントロールする

民主主義は詐欺だ：

西洋で高く評価されている理想である民主主義は、独裁的で腐敗した暴徒支配に他なりません。なぜなら、民主主義は、多数派の意思よりも個人の**自然権を尊重せず、多数派の全能の支配によって、個人または少数派の固有の権利を常に侵害する**からです。共和国や王国の主な目的は、少数派と個人の絶対的権利を多数派の暴政から保護することです。これは、成文憲法の使用によって達成され、特に多数派の権力を制限します。

しかし、有権者は国民投票のときを除いて、問題について投票する機会を決して得られない。彼らは、部外者には想像もできないような政策を掲げ、内部者から資金提供を受けている候補者に投票する。実際、民主主義は退廃的で腐敗した、時代遅れの制度である。それは実際には、法の支配を維持する責任を負い、政府、傀儡の個人、役所を統制する**支配エリート側の側における重大な契約上の失敗である**。

選挙民の利益を代表するはずの、誠意を持って選出された政府職員は、国民を代表していないことはほぼ間違いない。彼らは、政府サービスを提供する契約を結んだ営利企業の役員である。彼らには、他の企業幹部と同じ制限と動機がある。彼らは、国民のためではなく、自分自身のために政府にいる。彼らは外国の管轄区域にある外国政府に参加しており、国会議員ではないし、これまでもそうだったことはない。

「民主主義は永続的な政府形態としては存在できない。有権者が公金から多額の金を投票で得られることに気づくま

でしか存在できない。その瞬間から、大多数は常に公金から最大の利益を約束する候補者に投票し、その結果、民主主義は常に緩い財政政策によって崩壊し、その後には必ず独裁政権が続くことになる。」 - 2 世紀前に書かれたアレクサンダー フレイザー タイラー教授: 1747 年 10 月 15 日 - 1813 年 1 月 5 日、スコットランドの弁護士、裁判官、作家、歴史家。エディンバラ大学で世界史、ギリシャおよびローマ古代美術の教授を務めた。

民主主義はデフォルトで勝利する:

一見、民主主義は独裁者の圧政に代わる、高潔でまともな制度のように思えます。そして、有能で高潔な人々が行政を行っている限り、それは正しいのです。民衆の蜂起では、独裁者はすぐに打倒され、人々は通常、投票箱を通じて「発言」する権利を獲得します。

誰もが進歩に関与し、革命の一部であると感じています。しかし残念なことに、民主主義は、高潔で良識ある指導者の手に短期間しか留まらないという残念な傾向があります。ウィンストン・チャーチルがかつて言ったように、民主主義は「これまで試みられた他のすべての形態を除けば、最悪の政治形態」です。その結果、民主主義がデフォルトで勝利します。

専制政治の民主主義システム:

革命のファンファーレが終わると、時が経ち、運命が始まります。民主的な政治体制は暴政へと成長し、この時点から、多数派によって無意識のうちに実行されるようになります。人々の中の寄生虫が投票箱を通じて多数派を獲得し、他人の財産を自分の手に収める頃には、ゲームは事実上終了しています。ベン・アリ、ホスニ・ムバラク、ムアンマル・カダフィのような抑圧的な政権は、自由を求める人々にとって格好の標的でしたが、自らの民主主義をめっちゃくちゃにした政府を倒すよりも、独裁者を倒す方が簡単なようです。

民主主義は、これまでのあらゆる統治形態と同様に、進化の過程を経て生まれた、月替わりのお菓子のようなものとみなすこともできるだろうか。20 世紀に民主主義が成功したのは、富裕層の財産を奪うのに適しており、適応性があつたからだろうか。一方、一般市民は、賄賂で近隣住民を税務当局に引き渡すなど、この制度に加担していた。政府を統制するエリート層が、国民に投票権を与え、富裕層から金を奪いやすくし、必要なら、オランダの人気政治家ピム・フォルタインのように、妨害的な人気政治家の政治生命さえ奪うことを容易にしたのだろうか。

選挙民は影響力を持たない:

兵士は独裁者のために、適切な代償を払って義務を果たす。有権者は政府のために、より少ないお金で義務を果たす。 有権者はまた、奴隷ではなく主人だと感じれば特に、政府が課す税金に喜んで従う。この違いは単なる幻想であり、完璧に機能している。実際には、有権者は政府周辺のグループにほとんど影響力を及ぼさないが、独裁者に対しては影響力を及ぼす方が簡単だろう。結局のところ、良くも悪くも、私たちはみな民主黨員になったのだ。

こうして私たちは現在の状況に至ったのです。最初の政権とその後の政権は、あまりにも費用のかかる社会制度、必要のない補助金、銀行の救済、高額な公共サービスに義務を課すことで、自らを全能の権力者とみなしてきました。このため、彼らは現在、技術的には破産しています。例として、ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、スペイン、アメリカ、日本などの国を見てみましょう。

有権者は自らを責めるしかない。この国でも他の多くの国でも、無能なエリートが率いるあらゆるレベルの政府が崩壊したことを祝福する方がおそらく良いだろう。日が経つにつれ、干渉的で押しつけがましく、費用のかかる法案が採択され、政府に対する最終的な非難がますます加速している。

富の分配:

民主主義は単なる富の分配であり、最終的には納税者と税金を食う者を対立させる富の破壊計画である。EUの場合、ドイツ、フィンランド、オランダは生産して貯蓄し、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、その他の国は主に消費している。最終的には破産によって民主主義の真実が明らかになるが、オーストリア学派の著名な経済学者ハンス・ヘルマン・ホッペ（1949年9月2日生まれ）は次のように説明している。

「これは共産主義の特に陰険な形態に過ぎず、この不道徳で経済的な狂気を引き起こし、それによって個人的に富を得た政治家たちは、もちろん、彼らが引き起こした損害に対して責任を負うことはありません！ 共産主義の卑劣な詐欺師の集団に過ぎません。」

オーストリア学派のもう一人の著名な経済学者、フリードリヒ・フォン・ハイエクは、彼の代表作『隷従への道』の中で次のように書いている。

「政府に無制限の権限を与えることによって、最も恣意的なルールを合法化することができ、このようにして民主主義は想像し得る最も完全な専制政治を確立することができる。」

EU をまとめ、ユーロを存続させようとする今日の政治的操作を観察すると、ハイエクとホッペの先見の明のある警告と言葉を無視するのは難しい。ヨーロッパ人は、いつか奇跡が起きて不可能を可能にし、痛みを伴わずにこの危機を解決し、EU とユーロを無傷のまま残してくれるという希望に騙されている。

しかし、ヨーロッパ人はエリートの緊縮財政推進派に背を向けている。サルコジは社会主義者のオランダに敗れた。エリート傀儡のマルク・ルッテ率いるオランダ政府は辞表を提出し、エリートの計画通り再選された。イタリアの「テクノクラート」とギリシャの新政

府は、自分たちがいつまで持ちこたえられるか疑問に思っている一方、スペイン人は、ユーロクラートが命令し、エリート傀儡でイエズ会士のマリアーノ・ラホイが実施した過酷な政策の下で苦しみながら暮らし続けている。

政治家は経済問題を解決できない。

スペイン、ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、そしてほとんどすべての近代国家の場合と同様に、人々は政府が退職所得、医療、完全雇用をどのように提供するかを考え出すのを待っている。もちろん、政治家は経済問題を解決することができない。その理由は非常に単純である。彼ら自身が問題の原因なのだ。政府のあらゆる偽りの介入にもかかわらず、回復は起こっておらず、今後も起こらないだろう。なぜなら、私たちの膨大な債務が溢れかえっている中では、回復は不可能だからだ。

これは普通の不況ではないので、回復は不可能です。これは不況であり、「経済の終焉」です。世界は流動性の問題ではなく、莫大な支払い能力に直面しています。新しいお金の供給では、不良債権や国債を健全化することはできません。金融システムの支払い能力を回復させる唯一の方法は、経済を収縮させるか、大量破産によって負債額を削減することです。

ユーロを作ったのは誰ですか？金利と貸出基準を決めたのも誰ですか？長期間にわたり低金利で貸し付けを行うことでバブルを引き起こしたのは誰ですか？その後、ひどい管理者であることが証明された金融機関に、さらに低い金利でより多くの貸し付けを行うことで、危機を「解決」したのは誰ですか？

毎年、収入よりも支出が多いのは誰でしょうか。破産の危機に直面しているにもかかわらず、さらなる支出を約束するのは誰でしょうか。支払い不能で破産した政府の「誠意」と「完全な信用」以外の何の裏付けもなく、何兆ドルや何ユーロもの紙幣を偽造して印刷す

るのは誰でしょうか。何兆ドルもの費用と何十万人もの命を犠牲にする「戦争」を始め、その後、瓦礫の上に立って勝利を宣言し、立ち去るのは誰でしょうか。

エリート:

エリート層、つまり1パーセントは、戦争を起こし、テロ攻撃に対する不必要な恐怖を煽り、世界にとって不要な、健康を害する空港でのセキュリティチェックを実施し、地球温暖化のヒステリーを煽り、従来の方法よりもコストがかかる不経済な廃棄物のリサイクルを行い、最後まで紙幣増刷政策を継続し、国民の痛みを長引かせ余分な出費を引き起こし、自分たちの収入を増やすという隠れた目的を持ち、その結果として国民の苦しみを長引かせることで、自らの縄張りを守っている。

正直な人をよく観察してください。他人のことに干渉するべきではないことを彼は知っています。自分の仕事で十分大変なことです。彼は自分の周りの物事に深く関心を持ち、できる限りのあらゆる方法で自分の世界をより良くしようとします。しかし、他人の問題を解決するふりをするのは恥ずかしいことです。たとえアドバイスを提供するだけだとしても、彼はそれをしぶしぶ、慎重に、ためらいながら行います。

彼が賢いなら、人々を脅迫したり、騙したり、脅したりしても、本当に状況を改善できるわけではないと知っている。経済は、フィクサーが許さないことをすることで最もよく機能する。つまり、人々が自分で取引をし、自分で仕事を見つけ、自分で問題を解決することを認めることだ。だから、政府がすべてをコントロールしているという人々の考え方を実現するために、真実を隠蔽しなければならないのは明らかだ。

「真実はずえ繰り返されなければなりません。なぜなら、誤りもまた常に説かれており、少数の人々だけでなく、大勢の人々によって説かれているからです。新聞や百科事典、学校や大学で、

「どこでも誤りが支配し、多数派が味方についているという認識に満足し、心地よく感じる。」 - ゲーテ。

ゲーテは 200 年前にこの洞察に満ちた観察をしました。彼の言葉は今日、歴史上かつてないほど大きな意味を持っています。主流メディアの「公式報告」や、多くは「民主的に」選出された世界の指導者の口から発せられる言葉の中に、誤りは確かに見受けられます。しかし、ゲーテですら予見できなかったのは、これらの誤りが、私たちの日々のニュースに、故意に、欺瞞的に、そして巧妙に織り込まれ、大衆を効果的に転覆させ、世界のエリートの経験に基づく動機に対して盲目にし、歯が立たないようにしている広範囲に及ぶことです。

その結果、政府の計画と課税は「農奴制への道」であり、銀行家に無謀で非民主的な寡頭政治家としての行動の余地を与えることで「自由市場」を装っている。政府は負債に苦しむ銀行を救済するよう命じられ、社会で最も裕福な1%の人々に利益をもたらし、損失のすべてを納税者に転嫁している。

農奴制への道：

政府は、現在のように経済が銀行や金融部門を支配下に置くのではなく、経済に奉仕するように民主的に行動すべきである。

オーストリアの経済学者ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは、今日の危機にふさわしい次のような賢明な言葉を残しています。

「信用拡大によってもたらされた好景気の最終的な崩壊を避ける手段はない。問題は、さらなる信用拡大を自発的に

放棄した結果として危機が早く来るのか、それとも、関係する通貨システムの最終的な完全な破局として遅く来るのかということだけだ。」

ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは、誇りをもって自らを自由主義者と称した。彼は、20世紀における資本主義と自由社会の偉大な擁護者であった。彼の著書『自由主義』は、社会主義は失敗するだろうと示した1922年の衝撃的な著書と、介入主義を批判した1926年の著書の続編として、1927年に初めて出版された。この本は、社会主義でなく、ファシズムや介入主義でもないとしたら、どのような社会制度が人類の繁栄に最も役立つのかという、切実な疑問に答えるために書かれた。ミーゼスの答えは、著書『自由主義』のタイトルに集約されている。

銀行家が政府をコントロールする：

簡単に言えば、銀行家が政府を支配しているのです。これは、連邦準備制度理事会、そして後にヨーロッパの欧州中央銀行が設立されて以来ずっと続いています。中央銀行制度は、1971年に金本位制が廃止されたことでさらに強化されました。

国民の多くは、政府が国民から徴収した税金から資金を得ていると考えています。この資金は、国を機能させるために必要なすべてのサービスやプログラムの支払いに使われます。しかし、これはまったく事実ではなく、国民が政府に支払うお金は、実際にはサービスやプログラムの支払いに1ペニーも使われていません。

国民から集められたお金は、民間の中央銀行に直接送られます。中央銀行の実際の仕事は、政府にお金を貸し付け、政府の負債を購入することです。しかし、銀行は実際にはお金を持っていないため、必要なお金をお金を印刷するだけです。印刷されたお金には、裏付けとなるものが何もないので、何の価値もありません。かつて、米

国ドルは「金本位制」に裏付けられており、それが通貨の価値を決定していました。

連邦準備銀行:

「連邦準備銀行」という言葉を聞くと、誰もがそれが政府の財政を管理する政府機関であると考えます。しかし、そうではありません。連邦準備銀行は銀行ではありません。お金も準備金もありません。実際には、連邦準備銀行は民間の銀行業界によって所有されており、ウッドロー・ウィルソン大統領が「連邦準備法」に署名した 1913 年に設立されました。

これはどのようにして起こったのでしょうか？ これは 1907 年にジョージア州ジキル島で開かれた秘密会議で考案されました。この会議には、ネルソン アルドリッチ上院議員（その娘はジョン D. ロックフェラー ジュニアと結婚しました）、ロックフェラー所有のナショナル シティ銀行と JP モルガン & カンパニーの代表者、財務次官、その他数名が出席しました。この会議から、通貨委員会報告書とアルドリッチ法案が生まれました。

JP モルガンはその後、1912 年の大統領選挙で両陣営に資金を提供しました。共和党が法案を通過させることができなかったため、民主党は 1913 年のクリスマスにウッドロー ウィルソンが大統領に就任した後、ウォール街の権力を制限する手段として急いで法案を通過させました。注：物事は常に国民の利益になるものとして宣伝されます。

連邦準備制度は、ECB と同様に、政府の代理人になったことはありません。銀行家が銀行家のために作ったもので、通貨をコントロールすることを目的としています。ゲイリー・アレンの 1971 年の名著「誰もそれを陰謀と呼ぶ勇氣はない」より：

国民は、政府が貯蓄債券を通じて「国民」から借金をしていると感じ込まされています。しかし、実際には、この形

態の個人だけが国家債務のわずかな割合を保有しています。政府自身が信託基金を通じて保有しているものを除き、国債の大部分は国際銀行と呼ばれる巨大な銀行会社が保有しています。何世紀にもわたり、国際銀行家は政府や国王への融資で大金を稼いできました。国際銀行帝国の要石は国債であったため、政府債務を奨励することはこれらの国際銀行家の利益にかなっていません。債務が高ければ高いほど、銀行家は利子でより多くの利益を得ます。

国家の通貨の管理：

しかし、戦争や革命は国際銀行家にとって政府に対する支配力を獲得したり強化したりするのに役立ってきたが、そのような支配力の鍵は常に国家の通貨の支配力であった。**政府に借金を負わせれば**、その政府を支配できる。債権者は、主権者に対して独占権を要求する立場にある。金銭欲しさの政府は、国営銀行、天然資源、石油利権、輸送において独占権を認めてきた。しかし、国際金融家が最も切望する独占権は、国家の通貨の支配力である。

このシステムでは、1939年にイングランド中部銀行の総裁であったレジナルド・マッケナが次のように述べました。

「お金と信用を創造し発行する者は、政府の政策を指揮し、国民の運命を握っている。」

政府が銀行家に対して負債を抱えると、政府は彼らの言いなりになる。

このことから明らかなのは、政府が銀行をコントロールできないのは、銀行が政府をコントロールしているからだ。「JP モルガンが1世紀以上前にこの計画を考案したとき、国家債務は50億ドルでした。ウィルソンはすぐに第一次世界大戦に参戦し、それを255億ドルにまで引き上げました。ルーズベルトとトルーマンは、30年代から40年代にかけて、それをそこから2,600億ドルにまで

引き上げました。1965 年以降、米国の債務は GDP を上回るペースで増加し始めました...

レーガン大統領とブッシュ大統領は、1980年から1992年にかけて負債を4倍にしました。ブッシュ大統領が就任したころには、負債は5.7兆ドルでした。彼は負債を10.7兆ドルにまで増やしました。オバマ大統領は8年間でさらに15兆ドルを追加しました。その間ずっと、銀行とその経営者は富を築いていました。

ウィルソン政権以降、すべての大統領政権に体制側の銀行家があった。彼らはどうしてきたか？銀行家たちは政府をコントロールして自分たちに有利な法律を制定し、決定を下す。だから、経済を破壊して国民が苦しむ一方で銀行は救済措置を受けることができた。だから、銀行は LIBOR や貴金属市場を操作してわずかな罰金しか科されない一方で、マドフのような一般市民は世界で最も高い割合で投獄されている。

銀行がテロリストや麻薬カルテル、ならず者国家のために資金洗浄を行い、司法省の面前で笑えるのはそのためです。ほとんどすべての法案が企業とその所有者である銀行をさらに豊かにする利益誘導で満たされているのはそのためです。銀行が中小企業や国民を助けることにまったく関心がないのはそのためです。銀行は、ますます多くの人々を政府に依存させることで利益を得るようにさえしています。現在、4000万人のアメリカ人がフードスタンプを受けているのは偶然ではありません。フードスタンプ プログラムを管理しているのは誰かわかりますか？ 政府ではありません。JP モルガンです。

生活保護受給者が増えると、銀行にとって有利な取引が増える。銀行には一般の人々を卑屈にさせ続ける動機があり、何百万もの人々の銀行口座から判断すると、銀行は実にうまくやっている。また、銀行は人々が「システム」を信じ続け、さらなる繁栄を夢見続けることにも既得権益がある。なぜなら、人々が受け取る不換紙幣は、

彼らが価値があると信じている限り、価値があるからだ。銀行は、あなたが貴金属を保有することを望んでいるのではなく、クレジットカードの借金、学生ローン、住宅ローンを積み上げて、利息の支払いを続けてほしいと思っている。銀行は、あなたが退職後に全額を、銀行が管理し、一定の割合を得るファンドや株で賄いたいのだ。

奇妙な世界：

私たちは、腐敗した欺瞞的な指導者によって運営されている奇妙で逆さまの世界に生きています。彼らは意図的に驚くべき政策の失敗を犯しており、逆説的に彼ら自身もそれを信じているようです。

- 借金問題から抜け出すために借金をするのは誰にとっても不可能だ。
- 経済に長期的な損害を与えることなく、金利を人為的に低く抑えることはできない。
- 誰も、戦争、非効率な税制、景品、救済、誰も理解できない医療プログラムなど、ゾンビ活動のために国の貴重な生産力を無駄にすることはできません。

超低金利によって引き起こされる経済の歪みが実際にどのように機能するかを強調するために、いくつかの例を挙げます。ロボットを例に挙げましょう。金利がゼロであれば、企業は資金を借りて従業員をロボットに置き換えることができます。人件費は下がります。利益は上がります。しかし、負債も増えます。そんなことを誰が気にするのでしょうか？

超低金利下では、エネルギー生産者は限界地域で掘削して、シェールオイルとシェールガスの限界生産量を得ることができます。資本コストが超低金利で抑えられている限り、投資収益率はほぼ良好に見えます。しかし、当面は、独立系生産者は今年、回収する 1 ド

ルにつき 1.50 ドルを掘削に費やすことになります。ブルームバーグが書いています。

シェールオイルの生産量は、従来の方法による生産量よりも急速に減少している。パリに本部を置く国際エネルギー機関によると、ノースダコタ州のバッケンシェールオイルで1日当たり100万バレルの生産量を維持するだけでも、年間2,500本の新たな油井が必要になる。イラクも60セントで同じことができるだろう。

金利を人為的に低く抑えると、資本が安すぎる。借り入れも支出も容易になる。その結果、投機過剰、過剰投資が進む。銀行は信用バブルの恐怖の象徴だとフィナンシャルタイムズは書いている。「信用市場が急速に拡大し続ける中、懸念を抱く規制当局は、現在バランスシートにほとんど信用を保有していない銀行を標的にし、リスクを排除しようとしている。」

結論：

政府を信用しないでください。目を覚まして、入手可能な限り貯金を金や銀と交換してください。

3. 民主主義のための無政府主義

- ・ 投票はプレイヤーを変えるだけで、ゲームを変えるわけではない

アナーキーとは何を表していますか？

無政府状態はしばしば誤解され、一般の人々にとっては、レンガや石、火炎瓶を投げつけ、一般的に迷惑な行為をするフーリガンを軽蔑的に表現する言葉として使われます。

しかし、実際には、無政府状態は正反対の意味を持っています。この言葉は、公式メディアによって悪用され、本来の意味とはまったく逆の意味を説明するために使われてきました。彼らが作ったのは、政府の目的にかなう、便利で混乱を招く定義です。政府は、自国の領土内で個人の奴隷化を主導し、イラク、リビア、シリアなどの外国国境内の人々に対して頻繁に戦争を宣言しています。

正しく説明すると、アナーキーという用語はギリシャ語の *anarchia* から派生したもので、正しくは「支配者なし」という意味に翻訳されます。本質的には「自由」であり、奴隷にされたり、自分の意志に反して行動を強いられたりすることはありません。自発的に行動する自由、自分が望ましいと考える条件の下で、自分が望む人と付き合う自由、ただし、他の人が同じ自由を享受する能力を損なわないこと。これらの真のアナーキスト自由の闘士は、実際にはリバタリアンであり、個人の権利を最大限に高め、国家の役割を最小限に抑えることを主張する人々であり、自由意志を信じています。

現実には、政府は人々の生活様式に影響を与えるすべての権力と手段を掌握しています。政府は課税、拘留、投獄、拷問を行う権力を持ち、脅威にもなっていない外国で若い男女を戦争に送り込む権限

を持っています。政府は規制し、ビジネスを妨害し、通貨を価値あるものにし、禁輸措置を施行して貿易を妨害し、考え得るあらゆるものを管理しています。

しかし、不思議なことに、ほとんどの人が信頼し、政府自身が作り出すあらゆる悪から身を守ってくれるのは政府です。公式メディアによる誤報によって、国民を怯えさせ、統制を保つ目的で、物語が誇張されます。ほとんどの、あるいはすべてのテロ攻撃は、CIA、M I6、モサドなどの政府機関によって組織され、画策されており、事実上すべて内部犯行です。たとえば、9/11のツインタワー爆破は、世論に影響を与え、政府がアフガニスタンとイラクで戦争を行えるようにするためのものでした。MH-17航空機の撃墜は、ウクライナにおける西側諸国の存在を正当化するものでした。

空港での健康を脅かすセキュリティ チェックを考えてみましょう。このセキュリティ チェックは、いかなる脅威からも実際に保護するものではなく、政府の仲間にビジネスを創出する目的で導入されています。一方で、盗難や暴力という本当の脅威から自分たちを誰が守ってくれるのか、人々は疑問に思っています。実際、政府は国民から盗む機関です。政府は侵略者です。残念ながら、人々は司法の道を、それをひどく腐敗させる機関に委ねています。人々は強制的な保護を受け、すべての自由、権利、機会を放棄しています。彼らは政府を完全に支持しないことなど考えようとはしません。

無政府状態を恐れるのではなく、しばらく考えてみてください。無政府状態は、多くの点で、私たちの悩みに対する自然な解決策なのです。これを疑う人は、人生における最も重要な決断の 99% が、私的な無政府状態の中でなされているという事実を受け入れるのに苦労するでしょう。

政府の実際の機能は、次のように説明することができます。

「政府の機能はコンドームのようなものです。このアイコンは政府の立場と任務を正確に反映しています。コンドームはインフレを許容し、生産を停止し、次世代を破壊し、たくさんの穴を保護し、実際に搾取されている間、国民に安心感を与えます。これが政府が遂行する任務の最も正確な例えであると信じられています。」

想像する：

私たちは皆、アナーキストではないでしょうか。私たちがパートナーを選ぶ方法を考えてみてください。政府が、誰と結婚するかを決める権利を主張したらどうなるか想像してみてください。そのような体制下では、人間関係の質はどのようになると思いますか。

では、政府があなたに代わって友達を選び、社交行事やディナーパーティーの予定を立て、週末の計画を立てると想像してください。官僚の委員会があなたに趣味を割り当て、テレビのチャンネルを指定し、それを視聴する特定の時間を割り当てたと想像してください。美食大臣があなたの代わりにレストランを選び、メニューを選び、ワインを決めてくれたと想像してください。あなたの生活の質全体に何が起こると思いますか？

個人の自由に対するこのような侵害を容認する人はほとんどいないでしょう。そして、それには十分な理由があります。国家が強制する結婚を完遂したい人、さらに悪いことに、国家が選んだ不本意なパートナーにその義務を課したい人がいるのでしょうか。良識ある個人はこの権利を留保し、必要が生じた場合、自分でこれらのことを選択する権利を守るでしょう。

我々は全員アナーキストだ。

人生で最も重要なこと、家族や友人、そして彼らと過ごす貴重な時間をどう過ごすかを決めることに関して、私たちはみなアナーキストです。残りの人生に関して束縛を解き、お互いのさまざまな選択

を尊重しながら、個人の自由の戦士として行動し始めるべき時が来ています。

フリードリヒ・フォン・ハイエクは著書『隷従への道』の中でこう書いている。

「政府に無制限の権限を与えることで、最も恣意的なルールを合法化することができます。そして、このようにして、民主的に選出された政府は、想像できる最も完全な専制政治を確立する可能性があります。」

EU をまとめ、ユーロを存続させようとする今日の政治的操作を観察すると、ハイエクの先見の明のある警告と言葉を無視するのは難しい。ヨーロッパ人は、ある日奇跡が起きて不可能を可能にし、痛みを伴わずにこの危機を解決し、EU とユーロを無傷のまま残すだろうという、宣伝されている希望に騙されている。

正気に戻って現実主義者になり、政府の行動がまったくのナンセンスであり、その唯一の目的はあなたの自由を制限することだと理解し、認識してください。

投票によってプレイヤーが変わるだけで、ゲームは変わりません。

統治システムは国民に不利に働いています。私たちの指導者は無能で腐敗しています。さらに悪いことに、約 200 年前から、統治システムは不正操作され、組織化され、世界中の社会のあらゆる部門と隅々に、これまでに見たことのない、今や目に見えるほど大規模な腐敗を促進してきました。腐敗は、必要に応じてすべての役人を脅迫するための手段として使用されています。

私たちが暮らすシステムは、隅から隅まで偽造されており、フリーメイソンの秘密結社に隠れたイルミナティと呼ばれる小さなグループによって管理されています。イルミナティは、通貨供給、侵入的

なスパイネットワーク、および民間所有の大量破壊兵器を完全に管理しています。彼らは、望むままに人々の富を没収し、生まれていない世代に負債を負わせることができます。このため、最も無能な実行者が就任し、システムを適切に効果的に運用することは決してできません。今では、誰もがこのことに気づいているはずです。

これらのイルミナティのエリートたちはメディアを支配しています。デジタルテレビやスマートフォンを通じて、人々の私的な生活空間にまで侵入するスパイネットワークを操っています。彼らはマインドコントロールされた操り人形を通して行動し、議会から民主的に得た許可なしに国家全体を破壊するために戦争をしています。

彼らは、戦争を起こし、テロ攻撃に対する不必要な恐怖を煽り、世界にとって不要な空港でのセキュリティチェックを導入し、地球温暖化のヒステリーを煽り、廃棄物を非経済的な方法でリサイクルし、従来よりもコストをかけ、最後まで法外な紙幣印刷を続け、経済的苦痛を回避し、国民に余分な出費を引き起こし、自分たちの追加収入を生み出すという隠れた目的を持ち、不必要に国民の苦しみを長引かせることで自らの縄張りを守っている。

この本では、政府が本来どのように機能するかではなく、実際にどのように機能するかが明らかにされています。 - 長年にわたり、マスコミや一般の人々にはほとんど注目されませんでした。この「インサイダー」のグループは西側諸国のすべての政府を掌握してきました。その中には、よく知られた政府関係者や政治家もいます。その他は匿名で、民間部門で活動しています。また、外国政府、外国企業、特に銀行、外国組織を代表する人もいます。

数千人も上るこれらの操り人形とその取り巻きたちは、何億人もの有権者よりもはるかに大きな権力と権限を持っている。研究によれば、彼らが法律を望めば、彼らはそれを実現できる。

一方、有権者が望むものを手に入れることはめったになく、もし手に入れたとしても、それは内部の人間が同じことを望んでいるからに過ぎない。内部の人間もお金を手に入れる。何十兆ドルもお金が、無駄な救済策、量的緩和、ゼロ金利政策に流用される。誰かの手に渡らなければならないからだ。そして今、このエリート集団は、あなたたちの現金と富をさらに手に入れようと準備を進めている。

この統治システムは、19世紀の古いモデルを21世紀の社会。意思決定は、選ばれたエリート集団の手に委ねられ、どれだけの紙幣を印刷するかが決定されます。これは非常に時代遅れで、それほど深刻でなければ、むしろ滑稽なことかもしれません。

政府は、すでに借りたお金に対する利息を支払うために借金をします。このゲームがほぼ終わりに近づいていることは明らかです。その後、大混乱のリセットが起こるだろうが、人々は貯金を全部一つのカゴに入れられないようにして、プランBを用意しておくべきである。あなたが今までに達成したことや子供たちに与えてきたことのすべてが、悲惨な基盤を持つ国に縛られているのなら、なぜ一生懸命働く必要があるのだろうか？

最初にすべきことは、何が起ころうとも**個人の自由と経済的自立に焦点を当てることです**。自分の将来に責任を持ちましょう。 - 世界は経済的に前進するために、現在の不換紙幣システムやエリート一族の一部ではない新しいシステムを必要とし、最終的にはそれを手に入れるでしょう。金と銀は、長距離取引のための金ビットコインのような支払いシステムと組み合わせると、非常に良い代替手段になります。

人々の自由に対する欺瞞と隠れた侵害：

「私が大統領になるまでに軍隊を撤退させていないなら、私が真っ先に行くことはこれです。軍隊を帰国させます。この戦争を終わらせます。これは間違いありません。」 - バラク・オバマ候補は2007年10月27日に宣言した。

オバマはRKマフィアの指示通りに行動した。偽りのテロ戦争を国民に売り込んだのだ。彼らは米国をエルドアンとサウジアラビアの老齢の国王と結びつけることについてよく考えるべきだった。その考えだけでもワシントン支持者たちは逃げ出すべきだった。進行中のISIS代理戦争は彼らのものではないと国民に主張するよりも。その逆はすでに起きている。 [設立](#)。

フランソワ・オランド大統領がフランスで非常事態を宣言し、その延長を要求し、政府の主張に反する情報を提供する「陰謀」サイトを政府が閉鎖することを許可する命令を出した理由についても、疑問の余地はないはずだ。その真の意図は、 [「パリ攻撃を受けて」](#) 必要だという主張のもと、インターネットを遮断することだった。

より多くの国々が追随するであろうことは間違いありません。 - 隠すべきものが多すぎ、詐欺が多すぎ、嘘が多すぎます。そして、大きな嘘とその多様な詳細を暴露することに関しては、インターネットは優れた媒体であることが証明されています。

宣伝されている民主主義は詐欺だ。

民主主義とは、単に富の分配であり、最終的には**納税者と税金を食う者**を対立させる富の破壊計画です。ヨーロッパの場合、ドイツ、フィンランド、オランダは生産して貯蓄し、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、その他の国は消費します。最終的には破産によって民主主義の真実が明らかになりますが、ハンス・ヘルマン・ホッペは次のように説明しています。

「これは共産主義の特に陰険な形態に過ぎず、この不道徳で経済的な狂気を生み出し、それによって私腹を肥やした

政治家たちは、もちろん彼らが引き起こした損害には一切責任を負わないが、卑劣な共産主義の詐欺師集団に過ぎない。」

オーストリア学派の経済学者のもう一人の著名人、フリードリヒ・フォン・ハイエクは、彼の代表作『隷従への道』の中で次のように書いています。

「政府に無制限の権限を与えることによって、最も恣意的なルールを合法化することができ、このようにして民主主義は想像し得る最も完全な専制政治を確立することができる。」

西側諸国の経済をまとめ、紙幣を存続させようとする今日の政治的操作を観察すると、ハイエクとホッペの先見の明のある警告と言葉を無視するのは難しい。人々は、いつか奇跡が起きて不可能を可能にし、痛みなくこの危機を解決し、すべてを無傷のままにするという希望に騙されている。

死にゆくユーロ：

IMF は銀行の準備金に人民元を貯めるため、銀行が保有しなければならないユーロの量を 16% 削減しました。これは、ユーロ通貨を保有している EU の全員、機関、企業、投資家にとってひどいニュースです。IMF バスケットは 37.4% から 30.93% へと、最大の下落が見られます。 - おそらく、これは IMF の発表で無視されている最大のニュースです。人民元の上昇だけでなく、ユーロの下落も問題です。EU は団結しようと奮闘しており、EU 諸国の経済も苦戦を続けています。人民元が他の通貨に取って代わるとしたら、それはユーロです。

EU諸国の巨額の返済不能債務が明らかに：

- 300万人のシリア難民が無料の食糧、無料の住居、無料の医療などを要求している。
- EU経済のゆっくりとした崩壊と、爆発的に増加する債務の返済に必要な政府収入の必然的な減少。
- そして最も重要なのは、IMFによるユーロ通貨への残忍な攻撃です。

ユーロの10年間にわたる衰退と下落は驚くべきものでした。

- 昨年1月以来、ユーロは米ドルに対して8%下落した。
- 2014年4月以来、通貨は驚異的な24%下落しました。
- そして、2006年に1ユーロ=1.58ドルの高値を付けて以来、ユーロは米ドルに対して33%という驚くべき下落を見せている。

金融策を提供できなかった。市場の次なる動きは？欧州中央銀行の対応は以下の通り。

- 預金金利を-0.2%から-0.3%に引き下げました。
- ユーロQEを2016年9月までの予想終了期間から2017年3月まで、または「必要に応じてそれ以降も」延長する。
- ポートフォリオにある債券の元本と利息の支払いを再投資する計画を発表。これは単純に別の種類のお金の創造です。
- 購入対象となる債券のリストを、国債だけでなく地方債も含むように拡大しました。

ユーロは米ドルに対して 5.6% 下落しましたが、これは主に ECB が数千億ユーロの新規ユーロを印刷しているためです。欧州の量的緩和 (QE) プログラムにより、ユーロ圏の金融システムに毎月 600 億ユーロが注入されています。QE の総額は約 1.5 兆ユーロです。

新規ユーロが 1 枚発行されるごとに、既存のユーロの価値は少しずつ下がります。

ユーロの弱さは、ドルが強く見える大きな理由の 1 つです。ドルの価値を測るには、米ドルをユーロ、日本円、英国ポンドなどの他の主要通貨と比較する米ドル指数が使用されます。ユーロは、指数の 58% を占め、圧倒的に最大の構成要素です。そのため、ユーロの価値が下がると、ドル指数が上昇します。ユーロが弱くなると、ドルは強くなります。

すべては詐欺です:

連邦準備制度理事会と米国の企業政府はアメリカは破産している。フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、スイスなどの主要なヨーロッパの同盟国はすでにアメリカを見捨てている。

退職者は被害者である。1950年には16人の労働者が退職金を支払った。

社会保障。今日では 3.3 にまで下がっています。この記事を読んでいる皆さんの多くは、この制度に支払った何千ドルものお金のうち、1 セントたりとも受け取ることはないでしょう。財務計画を立てる際には、今からこのことを考慮するのが賢明でしょう。

さらに恐ろしい金融統計が 5 つあります。

- 46%が退職後の貯蓄額が1万ユーロ未満
- 労働者の29%は貯蓄額が1,000ユーロ未満
- ベビーブーマー世代の40%が「倒れるまで」働く予定
- 36%は退職金制度に何も拠出していない
- 成人の 46% が、退職時に十分な資金があるかどうかについて「非常に」または「非常に」心配していると答えています。

20 年前、平均的な人は 60 歳で退職する予定でした。10 年前は 63 歳でした。今日では 67 歳です。この傾向を見ると、多くの人が一生退職できないことになります。

金銭的狂気:

そして、これを踏まえると、人々は全体像を見失うべきではありません。ほとんど無視されている国際準備通貨の形態が 1 つありますが、この「準備資産」は誰もが持つに値します。それは金であり、何千年もの間、お金や富の蓄えとして使われてきた歴史があり、さらに重要なことに、中央銀行は何も無いところから金を作り出すことはできません。 - 世界の準備通貨として米ドルに代わるものがあるとすれば、それは金がシステムに戻ることです。

中央銀行家が空から通貨を創造するという詐欺行為を実証するために、1994年以來、世界の中央銀行の総合バランスシートは10倍に拡大し、この期間に2.1兆ドルから21兆ドルに増加しました。この増加は、一時的に手に負えなくなった通常の傾向を示すものではありません。これは、まったく新しい**金融狂気の発生を表しています**。

それが意味するのは、FRB、ECB、日銀、中国人民銀行（PBOC）および、重要性や規模が劣る無数の中央銀行が、19兆ドル相当の国債、企業債務、ETF、さらには個別株式を購入し、それぞれの財務台帳の電子「印刷」ボタンを押して支払ったということだ。

実際、中央銀行のバランスシートの拡大は、過剰な紙幣発行が始まった1994年以來の世界全体のGDPの70%に相当します。会計上、この途方もない拡大は、当然疑わしいものであったはずです。

言い換えると:

中央銀行は、過去20年間に企業、家計、政府が発行した負債や株式の資金調達に必要であったであろう現在の所得からの

実質貯蓄19兆ドルを、19兆ドルの不換紙幣信用に置き換えた。

言うまでもなく、この巨大な代替は、お金と資本の価格を大幅に偽造しました。これは金融市場での大きな入札を意味し、キャップレートを経済水準を大幅に下回る水準に押し下げ、債券利回りがはるかに低く、株価と株価収益率が非常に高くなったことを意味します。

もし世界経済が、中央銀行によるこの大規模なバランスシート拡大なしに、何兆ドルもの新たな証券やローンを発行しようとしていたら、金利は急上昇し、株価収益率が低下し、その結果、実際に起こった無謀な金融拡大は阻止されていたろう。

つまり、過去 20 年間の中央銀行による債券購入の猛烈なペースにより、世界経済は過剰金融化によって肥大化してしまったのです。

たとえば、債務の場合、拡大率はほぼ 4 倍でした。これは、全世界の公的債務と民間債務の残高が 40 兆ドルから 225 兆ドルに急増したことを意味します。GDP の 50 兆ドルの増加と比較して、この驚異的な 185 兆ドルの増加は、世界のレバレッジ比率が前例のない高さにまで上昇したことを意味します。

おそらく、GDP 成長に関する誇張された話はすべて、純粋な空想、嘘、欺瞞、操作であることを人々が理解するようになったのだろう。もちろん、真実は、すべてが順調というわけではない。世界は、2008 年に見られたのと似たパターンを目撃している。当時は、中国株やその他の主要株式市場が最初に暴落し、その後、米国株がそれに続いた。

世界的な金融危機は起こっていないと言う人は、正直ではないか、非常に無知です。現在、今年初めのピークから2桁の割合で下落している世界の主要株式市場は27あります。[これ](#)

は本当に世界的な現象です。アジア、ヨーロッパ、南米、アフリカ、中東で株式市場の暴落が見られました。しかし、米国の株式は今年初めのピークから1000ポイント未満しか下落していないため、ほとんどの人はすべてが順調であると考えているようです。

滅びゆく帝国：

崩壊する帝国の特徴は、政府の全体主義の押し付けと無謀な軍事帝国主義の試みです。現在、米軍は世界で最も危険なテロリストです。最大の懸念は、政府がまもなく自国民にテロの覇権を向けるようになることです。歴史は、強力な経済/政治システムが崩壊の最終段階にあるときにこれが起こることを物語っています。

政府とその指導者が国民を墮落させていることは今や周知の事実であり、自由を確保し貧困を終わらせる体制へと現体制を変える責任を負わされているのは私たち国民です。これはあまりに長い間続いてきたことであり、私たちはこれを継続させてはならないのです。

すぐに選択を迫られるでしょう。

**あなたは自由人として生きるか、奴隷として死ぬ
かのどちらかです。**

選択するのはあなたです！

これに同意するなら、遠慮なくこの情報を友達に共有してください。そうすれば、彼らもプラン B を実行し、手遅れになる前に自由を選択する準備をすることができます。現在のシステムは存続できません。西洋の住民の 50% 以上が真実について知らされれば、私たち国民は今こそ、陰謀論者を永遠に根絶するチャンスを得ることになります。

結論と将来のビジョン：

政府と銀行は、国民の資産と資金をただ懐に入れるだけの犯罪組織です。誠実な人道活動やプロジェクトを実施したことはありません。（第 13 章を参照）

普通の人間は、永続的な戦争や惑星の破壊を望んでいません。普通の人間は、さらなる苦痛、苦悩、病気を望んでいません。普通の人間は、カバールがこの惑星に作り出した闇をこれ以上望んでいません。

これらの犯罪者は、中央銀行の設立以来、そしてそれ以降に人類に課した残虐行為と犯罪の責任を問われることになる。その後、彼らは刑務所に「追放」され、二度と社会を支配し破壊することができなくなる。より良い方向への変化の日は、[来ます](#)。

カバールが神経質になっている証拠があります。彼らの絶望はもはやインターネット上のおしゃべりだけではありません。 - 変化は今、私たち全員に起こっており、世界を破壊で席卷する出来事の代わりに、世界を前向きな創造で席卷する出来事を目にするようになるでしょう。

これを予期して、感謝の気持ちを感じ、完全な自由、無料のエネルギー、無制限の富の創造、飢餓や貧困のない、人類と地球の利益のための充実した創造的な仕事のある世界を再建する新しい可能性を想像してください。

私たち人類にはこれらすべて、そしてそれ以上のことを行う手段が与えられるという概念を受け入れてください。私たちは革新と無制限の取り組み、創造性、起業家精神などを通じて拡大していきます。私たち全員がこのことを考え、思い描きたいことを思い描き始める必要があります。それが物事を実現する唯一の方法だからです。私たちは人類として進化することを確信してください。私たちは人類としての可能性を最大限に発揮します。今起きようとしているこ

とは、まさに時が来たということです。私たちの時間です。それを信じてください。

政府は国民の敵である。

政府は問題であり、解決策ではありません。10年間の厳しい不況の末、方向転換の時が来ました。民主主義では、政府は国民に奉仕するために選出されるものであり、よくあるように独裁者になるために選出されるものではありません。政府はすべての権力を奪い、人々の生活様式を汚染し、毒することを意図しています。政府は課税、拘留、投獄、拷問を行う権力を持ち、脅威にもなっていない外国での戦争に若い男女を送り込む権限を持っています。政府は規制し、ビジネスを妨害し、通貨を価値あるものにし、禁輸措置で貿易を妨害し、考えられるあらゆるものを管理します。政府は国民に奉仕していません。それどころか、政府は国民の敵です。

インサイダー対アウトサイダー：

現代の代議制政府の力は、大衆を騙して自分たちも内部者だと信じ込ませることである。彼らは投票するよう奨励され、自分たちの投票が本当に重要だと信じ込まされる。明らかに、それはまったく重要ではない。一般的に、有権者は自分が何に、あるいは誰に投票しているのか全く分かっていない。彼らは、結局自分が投票したと思っていたものとは正反対の結果を得ることが多い。政府は現象であり、幻想であり、システムではない。

アウトサイダーとインサイダーの戦いとして捉えるのが一番です。インサイダーは常に政府をコントロールし、それを利用してアウトサイダーをコントロールします。なぜ彼らはそうしたいのでしょうか？ 明らかな理由は富、

権力、地位。つまり、政府とは、

「インサイダー」は「アウトサイダー」から富、権力、地位を盗みます。

独占：

政府は独占企業であり、独占企業として考える限り、経営の分野では最低ランクであり、競争を嫌う。政府が競争を避けるのは、競争相手は常により強く、より賢く、より優れた価値を人間に提供するからであり、最も重要なことは、政府だけが、自分たちよりも強く、より賢く、より優れた存在になることを阻止する力を持ち、一方で自らにかなり低いハードルを設定するということだ。したがって、政府がしばしば自己満足的で監視されていない腐敗の体現者となるのも不思議ではない。

政府と銀行は現実には支払い不能に陥っており、破滅が広がるにつれて権威主義的グローバリゼーションの現代の弊害も拡大している。**政権交代を除けば、この傾向を正すことができるものは3つしかない。**

- 自由市場における競争の強制的な受け入れ。
- 政府によって認められた中央銀行の法定通貨独占の廃止、および
- すべての規制機関の廃止。

銀行が不道德な行為をしていることは、ほとんどの人がすでに理解しているかもしれないが、政府に対する素朴な信仰のせいで、銀行は政府なしではできないことを見抜けずにいる。銀行と政府とは互いに協力し、本来は世話をすべき人々から金を巻き上げているのだ。

カバルの敗北：

カバールが最終的に敗北する日、人々はそのシステムの本当の姿を見るでしょう。この本で詳しく説明します。カバールが降伏するまで、周囲の人々を目覚めさせることをやめないでください。彼らは「カーテンの後ろ」の犯罪者であり、人々は最終的に彼らの主な意図がすべての部外者を破滅させることであると気付くでしょう。目

覚めた人々が多ければ多いほど、カバールを永久に排除することが容易になります。

ほとんどの人は金融の世界がどのように機能するかを知りません。投資は上がったりがったりして、運やスキル次第で儲かっているのです。他のゲームと同じです。彼らは、ゲームが徹底的に不正操作されていることを知りません。

中央銀行は、大手銀行に優遇金利で融資を提供します。そして、銀行は政府、産業、家庭に融資することで、大きな「スプレッド」を稼ぎます。銀行は融資で儲け、融資の負債で何も無いところから新しいお金を生み出し、さらにその負債をパッケージ化して投資家、年金基金、保険会社に販売することで、さらに儲けます。その過程で、銀行のリスクは他の誰かに売却されます。

信用サイクルが悪化するまでは、すべて順調です。その後、限界債務者は支払いができず、限界債務（サブプライムまたはジャンク）の価値が下がります。株価と不動産価格は下落します。誰もが多額のお金を失い、誰もが連邦準備制度理事会と中央銀行に「何かして」と懇願します。彼らに何ができるのでしょうか？ - 信用をさらに安くすることです！

中央銀行の失敗：

連銀と他のすべての中央銀行が消滅する日は、私たち全員にとって本当に良いニュースの初日となるでしょう。世界は、連銀が設立された年から 1 世紀以上ぶりに、初めて物価が安定し、実質的な成長を遂げる時期を迎えるでしょう。 - これらの中央銀行による中央統制と市場操作の結果、世界の金融システムは、そのひどいパフォーマンスによって失敗であることが証明されました。 - 最大の問題は、このシステムを破壊的なものにしてしまっているまさにその要素のせいで、人々がこのシステムを実際よりも善良であると考えている

ことです。市場で富や真の価値を生み出せないことが、人々がこのシステムの真の誠実さを判断するために必要な唯一の証拠です。

これらの高貴で権威のある機関は、欺瞞の手段として、自らの真意を隠しています。

- 生活水準の向上に貢献する人々から生産的な富を盗む
- そのお金を使って恵まれない人々や生産性の低い人々を規制し、彼らを貧困に追い込む
- 国民の多くに依存を受け入れるよう促す
- そしてその後、彼らは、生産的な富が最初に盗まれた部外者をすべての問題の主原因として非難し、内部者である「邪悪な資本家」の富の増大プロセスを促進するのです。

権力構造；政府は国民のために働いていない：

この本で後ほど説明するように、ハザール人の数は数千人である。しかし、彼らは1億人の有権者よりもはるかに大きな権力と権限を持っている。研究によれば、彼らが法律を望めば、彼らはそれを実現する。一方、有権者が望むものを手に入れることは稀であり、それはおそらく内部の人間が同じことを望んでいるからに過ぎない。

このエリートのネットワークは、ディープステートとしても知られる隠れた政府を構成し、カーテンの後ろから秘密裏に統治しています。 - 政府は「**国民による、国民のための、国民のもの**」であるはずですが。そのため、人々は、政府の行為が究極的には自分たちの利益のためであると誤解しています。政府は信頼できる、言い換えれば、私たちのことを気にかけてくれます。「政府は私たち全員の延長です。」 - しかし、政府は私たち全員の延長ではありません。それは私たちの一部を代表するだけです。

隠された政府は、外国政府、億万長者の政治献金者、ロビイスト、国際企業、世界組織、超政府機関から構成される奇妙な作り話です

。国内優遇産業、官僚機構自体、特別利益団体、さまざまな階級や信条の取り巻きたちとともに、フリーメーソン、イエズス会、その他のオカルト団体が政府を運営し、警察、軍隊、金融業界、医療業界、教育業界、その他経済の主要部分を支配しています。

当初、政府は小規模なものでした。しかし、時が経つにつれ、ますます多くの人々が「システムを操作する」方法を見つけるようになりました。彼らは「政府」を利用して、優位性や特権を獲得します。こうなると、システムは外見、つまり表面的な部分は維持されますが、内部から核心まで腐敗し、当初は成功していた共通の利益に徐々に貢献しなくなり、結果として人々に受け入れられるようになります。システムは主に、実際にそれを支配している人々の利益に奉仕します。今日起こっていることはすべて、1974年に完全に暴露されました。

これは陰謀のように聞こえるかもしれないし、ある意味ではそうである。しかし、有罪判決を受けるような類のものではない。隠れた政府は、国民が何を望んでいるか、誰に投票したかなど気にしておらず、国の安全などまったく気にしていない。政府が気にしているのは、自らの安全だけである。

それはただ独立して発展し、内部の人間が政府を利用して自分たちの目的を達成する。これは、今日の対テロ戦争の文脈で理解すべき重要な点である。おそらく、ピーナッツバターアレルギーで亡くなる人の数は、テロ攻撃で亡くなる人の数よりも多い。しかし、テロリストが人を殺害すると、それはメディア全体のあらかじめ決められた物語の大きな部分を占める。

テロの脅威は捏造されている：

テロリストは隠された政府システムにとって危険ではありません。むしろ、それを強化するのです。テロの脅威は国民を怖がらせ、より多くの資金、自由、権力をセキュリティ業界に移すよう促します

。彼らはテロリストが繁栄することを望んでいるのであって、排除されることを望んでいるわけではありません。テロリストを強化するのです。対照的に、人々は彼らの存在を脅かす可能性が高いのです。

「もし誰かが政府の『敵リスト』に載れば、NSA が保管している情報がその人物をターゲットにするのに使われるだろう。」政府が必死になって全員を監視したいのはそのためだ。

ワシントンのブログより：

誰かが政府の「敵リスト」に載れば、保存された情報はその人物を標的にするのに使われる。具体的には、政府が誰かを気に入らないと判断すると、過去 10 年間にその人物とその関係者について収集したすべてのデータを分析し、その人物を告発する根拠を構築する。

[ラヴレンチー・ベリヤ](#) スターリンの秘密警察を率いたソ連の最高責任者は、NSA のようなデータベースにアクセスできなかった。それでも、限られた資源にもかかわらず、彼は「犯人を見せてくれれば、犯罪を見つけ出す」と断言できた。今日、その点では秘密警察は決してそれほど容易なことではなかった。

さらに、彼らにとって状況はもっと良くなるかもしれない。「キャッシュレス」経済の発展により、どんなに小さな取引でも、すべての取引は隠された政府の情報アーカイブを通過する必要があるかもしれない。スイッチを入れるだけで、あなたの秘密が抽出され暴露され、21世紀型の暗殺であなたのお金が止められる可能性がある。

隠された政府は、実際にどの程度私たちに影響を及ぼしているのでしょうか？ 確実に知る方法はありません。しかし、私たちが発見したのは、隠された政府は、社会の残りの部分を制限する規則、目標、または財政的制約に「まったく」縛られていないということです。

疑問が生じます。人々は本当に政府を必要としているのでしょうか？率直な答えは「いいえ」です。人々が必要としているのは**無政府状態**です。

正気を取り戻し、現実主義者になって、政府の行動がまったく滑稽であり、主な目的はあなた方の自由を制限し、あなた方を**奴隷化**することにあることを理解し、認識してください。私たちは今戦わなければなりません！なぜなら、一度完全に奴隷化されてしまうと、もう嫌だ、自由になりたいと決めても手遅れだからです。今日私たちが経験している奴隷化は、私たちの存在状態の奴隷化です。これには、細胞レベルで私たちが本当は誰であるかを理解することが含まれます。もし私たちの子供たちがかろうじて人間であるレベルにまで落とされ、強制的なワクチン接種の産物に過ぎず、心理的に改造され、神経細胞とシナプスが接続できず、神経発達プロセスが鈍くなり、反復的なうなり声とゾンビ化という人間以下のレベルに制限されたら、あなたはどうしますか？ハザール人が勝利するでしょう。あなたたちとその子孫は正式に奴隷階級となり、エリート層が都合のいいと判断するあらゆる目的に利用される、飼育鶏と同程度の扱いを受けることとなります。これは私たちが逃れることのできない監獄です。

私たちはこの戦いに挑み、勝利しなければなりません。

大企業が世界を支配する：

大西洋・太平洋横断貿易投資パートナーシップ (TTIP) 提案と世界貿易協定 (WTO) は、巨大な**詐欺**です。これは、自由貿易とはまったく関係のない、世界的な独裁主義への道を進むアジェンダ21のもう1つのプロジェクトです。「自由貿易」は、これらの協定がアルコン血統企業に与える権力の集中を隠すための偽装として使用され、汚染、食品安全、遺伝子組み換え作物、最低賃金を規制する国家の主権法を覆す訴訟を操作しています。これらのいわゆる「パート

ナーシップ」は、議会によって書かれた法律ではありません ([詳細についてはここをクリックしてください](#)) 。

実際、議会や国会はこれらの協定や法律の内容を知ることすら許されておらず、議会は投票のために渡されたものを受け入れるか拒否するかの権限しか与えられていません。通常、議会は「すでに多くの作業が行われている」ことや「自由貿易は私たち全員に利益をもたらす」ことから受け入れます。民主主義は、もし本当に存在したとしても、単なるフィクションです。現実には、私たちはファシストの「企業政治」の下で暮らしているということです。

法律の内容から注意をそらすということは、政府が企業が議会の参加なしに貿易法を制定できることを認めていることを意味する。「パートナーシップ」に対する批判さえも煙幕に過ぎない。奴隷労働の疑いのある国は除外できるが、そうはならない。ナショナリストは「外国の利益」が主権を侵害していると不満を漏らす、主権を侵害するのは企業であり、それでもより多くの雇用が海外に移転されると主張している。 - 実際のところ、雇用の海外移転を阻止するものが何もないので、「パートナーシップ」は雇用喪失を防ぐのに役に立たない。

私たちには自由も民主主義もありません。

最前線にいるアンゲラ・メルケルとフランソワ・オランドを見てください。

ホワイトハウスは彼らに飛躍を示唆しているが、彼らが尋ねている唯一の質問は「どれくらい高く飛躍するか？」ということだ。EUが実際にはロスチャイルド・ハザールマフィアによって所有されていることは、かなり広く認識されている。

欧州のトッププレーヤーが米国からの独立を真剣に主張したのは、2002年にゲアハルト・シュレーダーとシラクが[選挙運動をしたとき](#)

が最後だ。 ジョージ・W・ブッシュのイラクへの違法侵攻に反対するポーランド軍の勇敢な姿勢は、イギリスのトニー・ブレア首相によって損なわれた。ブレア首相は、アメリカの主人のおべっか使いの役を演じようと必死だった。ポーランド人も、もっとよく知っているべきだったが、この違法な攻撃に参加した。最初の集中攻撃の後、ワシントンに気に入られようと必死だったエストニア、ラトビア、アルバニアなどの他のヨーロッパの周辺国も参加した。やや影響力のあったイタリアとスペインも、短期間兵力を提供したが、すぐに撤退した。

かつて信頼していた指導者たちが国民を裏切ったことを国民が理解することが極めて重要です。国民も選出された代表者も、民間企業が政府の立法機能を否定できるようにする貿易法の制定に参加することを許されていないのは、私たちが持つべき「**自由と民主主義**」**ではありません**。戦争論のもとで、企業の利益が一般の福祉よりも優先されるのは、「自由と民主主義」では**ありません**。

邪悪な勢力が私たちの文明を乗っ取り、それを「世界エリート」自身以外のほとんど誰の利益にもならない目的へと導いています。

世界は、たとえ完全に理解したとしても、誰も意識的に選択することのない未来に向かっていきます。現実には、ロスチャイルド・ハザール・マフィアが組織し、人類の福祉と進歩に反対する犯罪陰謀団が私たちにすべてを指示しているため、人々はまったく選択することができません。

歴史上のいくつかの極めて重要な出来事を詳しく研究すると、この結論が立証されます。1914年のタイタニック号沈没、1941年の真珠湾攻撃、1963年のケネディ大統領暗殺、2001年の9/11 ツインタワー爆破、2014年のウクライナ上空でのMH 17機撃墜に関する公式説明は、いずれも説明の難しい矛盾に満ちていますが、これらは歴史の流れを変えた巧妙に組織された偽旗作戦のほんの一部にすぎません。

さらに不吉な偶然が重なり、パターンが明らかになり、邪悪な目的を達成するためにこれらの出来事を意図的に計画している機関の存在が示唆されます。さらに深く掘り下げていくと、最終的に世界の歴史のまったく異なる絵を描く一連のパターンが見つかります。

この歴史は、世界のエリートたちで構成される、強力で隠れた秘密組織の陰謀から生じた世界の出来事を説明しています。

銀行、ロスチャイルド家やロックフェラー家のような裕福な一族、ビルダーバーグ会議のような非公式組織、組織犯罪、政府内の影の機関、「スカル・アンド・ボーンズ」やフリーメイソンのような秘密結社など。 - これらすべての背後には、地球の真の支配者からなるさらに秘密のグループがあり、首相や大統領を直接の操り人形に数えています。権力の座にあるイルミナティは人間であると主張する理論家もいれば、人間と地球外生命体の混血であると主張する理論家もいます。また、地球外生命体の同盟者もいると主張する理論家もいます。彼らの目標は、彼らの支配が完全な新世界秩序（NW0）を課すことです。

より影響力のある他の誰かが私たちのためにこれをしてくれる、この試練から私たちを救ってくれると期待しないでください。もし力のあるグループが主導権を握れば、後に別の抑圧となる危険があります。私たち自身が主導権を握れば、主導権を手放すことなく、後の段階で力のあるグループに助けを求めることができます。もしあなたがまだあなたの国の強さと主権を信じているなら、今こそ行動を起こす時です。先延ばしにすると手遅れになるかもしれません。私たちが本気なら、まだこの戦いに勝つことができますが、**断固たる行動を取る**ことが不可欠です。まずはこれらの問題について学ぶことから始めてください。知識は力です。

投票によってプレイヤーが変わるだけで、ゲームは変わりません。

統治システムは国民に不利に働いており、指導者たちは無能で腐敗している。さらに悪いことに、統治システムは200年ほど前から不正操作され、組織化され、世界中の社会のあらゆる部門や隅々に、かつてないほど大規模な腐敗が見られるようになった。腐敗は、必要に応じてあらゆる役人を脅迫するための手段として利用されている。

私たちが暮らすシステムは、隅から隅まで偽造されており、フリーメイソンの秘密結社に隠れたイルミナティと呼ばれる小さなグループによって管理されています。イルミナティは、通貨供給、侵入的なスパイネットワーク、および独自の大量破壊兵器を完全に管理しています。彼らは、望むままに人々の富を没収し、生まれていない世代に負債を負わせることができます。このため、最も無能な実行者が配置され、システムを適切に機能させることさえできず、今ではほぼすべての人がそれに気付いているはずです。

これらのイルミナティのエリートたちはメディアを支配しています。デジタルテレビやスマートフォンを通じて、人々の私的な生活空間にまで侵入するスパイネットワークを操っています。彼らはマインドコントロールされた操り人形を通して行動し、議会から民主的に得た許可なしに戦争を起こして国家全体を破壊します。

彼らは、戦争を起こし、テロ攻撃に対する不必要な恐怖を煽り、世界がなくてもいい空港でのセキュリティチェックを導入し、地球温暖化のヒステリーを煽り、従来の方法よりも費用がかかる不経済な廃棄物のリサイクルを行い、最後まで紙幣を刷り続け、苦痛を長引かせ、国民に余分な出費を強いることで自らの縄張りを守っているが、その隠れた目的は、自分たちの追加収入を生み出すことであり、国民の苦しみを不必要に長引かせている。

この本では、政府が本来どのように機能するかではなく、実際にどのように機能するかが明らかにされています。 - 長年にわたり、マスコミや一般の人々にはほとんど注目されませんでした。この

「インサイダー」のグループは西側諸国のすべての政府を掌握してきました。その中には、よく知られた政府関係者や政治家もいます。その他は匿名で、民間部門で活動しています。また、外国政府、外国企業、特に銀行、外国組織を代表する人もいます。

数千人にも上るこれらの操り人形とその取り巻きたちは、何億人もの有権者よりもはるかに大きな権力と権限を持っている。研究によれば、彼らが法律を望めば、彼らはそれを実現できる。

一方、有権者は望むものを手に入れることはめったにない。おそらくそれは、内部の人間も同じことを望んでいるからだだろう。内部の人間もお金を手に入れる。何十兆ドルものお金が、無駄な救済策、量的緩和、ゼロ金利政策に流用される。誰かに渡さなければならぬからだ。そして今、このエリート集団は、あなたたちの現金と富をさらに手に入れようと準備を進めている。

統治システムは、21世紀の社会に適用された時代遅れの19世紀のモデルです。意思決定は、選ばれたエリート集団が行い、彼らがどれだけの紙幣を印刷するかを決定します。これは非常に時代遅れなので、それほど深刻でなければ滑稽に思えるかもしれません。

政府は、すでに借りたお金の利子を支払うために借金をします。このゲームがほぼ終了していることは明らかです。その後、混乱したりリセットがやってきますが、人々は貯金が1つのバスケットに集まるのを避けるなど、プランBを用意しておく必要があります。これまでに達成したことや子供たちに提供したことのすべてが、悲惨な基盤を持つ国に縛られているのなら、なぜ一生懸命働く必要があるのでしょうか。

最初にすべきことは、何が起ころうとも**個人の自由と経済的自立に焦点を当てる**ことです。自分の将来に責任を持ちましょう。 - 世界は経済的に前進するために、現在の不換紙幣システムやエリート集団の一部ではない新しいシステムを必要としており、最終的には

それを手に入れることになるでしょう。金と銀は、金ビットコインのような支払いシステムと組み合わせると、長距離取引に非常に良い代替手段となります。

人々の自由に対する欺瞞と隠れた侵害：

「私が大統領になるまでに軍隊を撤退させていないなら、私が真っ先に行くことはこれです。軍隊を帰国させます。この戦争を終わらせます。これは間違いありません。」バラク・オバマ候補、2007年10月27日。

オバマはRKマフィアの指示通りに行動している。偽りの対テロ戦争を国民に売り込むのだ。彼らは米国をエルドアン大統領や老齢のサウジアラビア国王と結びつけることについてよく考えるべきだった。この考えだけでもワシントン支持者たちは逃げ隠れすべきだった。進行中のISIS代理戦争は彼らのものではないと国民に示すためではなく、むしろその逆がすでに確立されているのだ。

そうすると、フランソワ・オランド大統領がフランスで非常事態を宣言し、その延長を要求し、政府の主張に反する情報を提供する「陰謀」サイトを政府が閉鎖することを許可する命令を出した理由についても疑問の余地はない。真の意図は、「パリ攻撃を受けて」必要だという主張のもと、インターネットを遮断することである。

より多くの国々が追随すること間違いなしです。 - 隠すべきものが多すぎ、詐欺が多すぎ、嘘が多すぎます。そして、インターネットは、大きな嘘とその多様な詳細を暴露することに関しては、優れた手段であることが証明されています。

宣伝されている民主主義は詐欺だ。

民主主義は富の分配であり、最終的には富を破壊する計画であり、**納税者と税金を食う者**を対立させるものです。ヨーロッパの場合、ドイツ、フィンランド、オランダは生産して貯蓄し、ギリシャ、ス

ペイン、ポルトガルなどの国々は消費します。最終的には破産によって民主主義の真実が明らかになりますが、ハンス・ヘルマン・ホッペは次のように説明しています。

「これは共産主義の特に陰険な形態に過ぎず、この不道徳で経済的な狂気を引き起こし、それによって私腹を肥やした政治家たちは、もちろん、彼らが引き起こした損害に対して責任を負うことは決してなく、卑劣な共産主義の詐欺師の集団に過ぎない。」

オーストリア学派の経済学者のもう一人の著名人、フリードリヒ・フォン・ハイエクは、彼の代表作『隷従への道』の中で次のように書いています。

「政府に無制限の権限を与えることによって、最も恣意的なルールを合法化することができ、このようにして民主主義は想像し得る最も完全な専制政治を確立することができる。」

西側諸国の経済をまとめ、紙幣を存続させようとする今日の政治的操作を観察すると、ハイエクとホッペの先見の明のある警告と言葉を無視するのは難しい。人々は、いつか奇跡が起きて不可能を可能にし、痛みなくこの危機を解決し、すべてを無傷のままにしてくれるという希望に騙されている。

死にゆくユーロ：

IMF は銀行の準備金に人民元を積み立てる余地を作るため、銀行が保有しなければならないユーロの量を 16% 削減しました。これは、ユーロ通貨を保有している EU の全員、機関、企業、投資家にとってひどいニュースです。IMF バスケットでは 37.4% から 30.93% へと、最大の減少が見られます。 - おそらく、これは IMF の発表で無視されている最大のニュースです。人民元の上昇だけでなく、ユーロの下落も問題です。EU は団結しようと奮闘しており、EU 諸

国の経済も苦戦を続けています。人民元が他の通貨に取って代わるとしたら、それはユーロです。

EU諸国は巨額の返済不能債務に直面している。

- 300万人のシリア難民が無料の食糧、無料の住居、無料の医療などを要求している。
- EU経済のゆっくりとした崩壊と、爆発的に増加する債務の返済に必要な政府収入の必然的な減少。
- そして、その最たるものが、IMFによるユーロ通貨への残忍な攻撃です。

ユーロの10年間にわたる衰退と下落は驚くべきものでした。

- 昨年1月以来、ユーロは米ドルに対して8%下落した。
- 2014年4月以来、通貨は驚異的な24%下落しました。
- そして、2006年に1ユーロ=1.58ドルの高値を付けて以来、ユーロは米ドルに対して33%という驚くべき下落を見せている。

[金融薬](#)を提供できず。市場の今後はどうなるのか？欧州中央銀行の対応は以下のとおり。

- 預金金利を-0.2%から-0.3%に引き下げました。
- ユーロQEを2016年9月までの予想終了期間から2017年3月まで、または「必要に応じてそれ以降も」延長する。
- ポートフォリオに保有する債券の元本と利息の支払いを再投資する計画を発表。これは別の種類の通貨創造である。
- 購入対象となる債券のリストを、国債だけでなく地方債も含むように拡大しました。

ユーロは米ドルに対して 5.6% 下落しましたが、これは主に ECB が数千億ユーロの新規ユーロを印刷しているためです。欧州の量的

緩和（QE）プログラムにより、ユーロ圏の金融システムに毎月 600 億ユーロが注入されています。QE の総額は約 1.5 兆ユーロです。新規ユーロが 1 枚発行されるごとに、既存のユーロの価値は少しずつ下がります。

ユーロの弱さは、ドルが強く見える大きな理由の 1 つです。ドルの価値を測るには、米ドルをユーロ、日本円、英国ポンドなどの他の主要通貨と比較する米ドル指数が使用されます。ユーロは、指数の 58% を占め、圧倒的に最大の構成要素です。そのため、ユーロの価値が下がると、ドル指数が上昇します。ユーロが弱くなると、ドルは強くなります。

すべては詐欺です：

連邦準備制度理事会と米国の企業政府は
アメリカは破産している。フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、スイスなどの主要なヨーロッパの同盟国はすでにアメリカを見捨てている。

退職者は被害者です。1950 年には、退職者 1 人あたりの社会保障費を 16 人の労働者が負担していました。現在では 3.3 人にまで減っています。この記事を読んでいる皆さんの多くは、この制度に支払った数千ドルのうち 1 セントも受け取ることはありません。財務計画を立てる際には、今から検討したほうがよいでしょう。

さらに恐ろしい金融統計が 5 つあります。

- 46%が退職後の貯蓄額が1万ユーロ未満
- 労働者の29%は貯蓄額が1,000ユーロ未満
- ベビーブーマー世代の40%が「倒れるまで」働く予定
- 36%は退職金に何も拠出していない

- 成人の 46% が、退職時に十分な資金があるかどうかについて「非常に」または「非常に」心配していると答えています。

20 年前、平均的な人は 60 歳で退職する予定でした。10 年前は 63 歳でした。今日では 67 歳です。これを見ると、多くの人は一生退職できないことがわかります。

金銭的狂気:

そして、これを踏まえると、人々は全体像を見失うべきではない。ほとんど無視されている国際準備通貨の形態が 1 つあるが、この「準備資産」は誰にとっても価値がある。それは金であり、何千年もの間、お金や富の蓄えとして使われてきた歴史があり、さらに重要なのは、中央銀行が何もないところから金を作り出すことはできないということだ。世界の準備通貨として米ドルに代わるものがあるとすれば、それは金の復活だろう。

中央銀行家が空から通貨を創造して犯した詐欺行為を証明するために、1994年以来、世界の中央銀行の総合バランスシートは10倍に拡大し、この期間に2.1兆ドルから21兆ドルに増加しました。この増加は、一時的に手に負えなくなった通常の傾向を示すものではありません。これは、まったく新しい**金融狂気の発生を表しています**。

それが意味するのは、FRB、ECB、日銀、中国人民銀行（PBOC）とその他多数の中小中央銀行が19兆ドル相当の国債、企業債務、ETF、さらには個別株式を購入し、それぞれの財務台帳の電子「印刷」ボタンを押して支払ったということだ。

実際、中央銀行のバランスシートの拡大は、1994年に過剰な紙幣発行が始まって以来、世界のGDP全体の70%を占めている。**会計上、この途方もない拡大は、根本的に疑わしいものであったはずだ**。

言い換えると:

中央銀行は、過去20年間に企業、家計、政府が発行した負債や株式の資金調達に必要であったであろう現在の所得からの実質貯蓄19兆ドルを、19兆ドルの不換紙幣信用に置き換えた。

言うまでもなく、この巨大な代替は、お金と資本の価格を大幅に偽造しました。これは金融市場での大きな入札を意味し、キャップレートを経済水準を大幅に下回る水準に押し下げ、債券利回りがはるかに低く、株価と株価収益率が非常に高くなったことを意味します。

もし世界経済が、中央銀行によるこの大規模なバランスシート拡大なしに、何兆ドルもの新たな証券やローンを発行しようとしていたら、金利は急上昇し、株価収益率が低下し、実際に起こった無謀な金融拡大は阻止されていただろう。

つまり、過去 20 年間の中央銀行による債券購入の猛烈なペースにより、世界経済は過剰金融化によって肥大化してしまったのです。

例えば、負債の場合、拡大率はほぼ4倍になりました。

つまり、全世界の公的債務と民間債務の総額は 40 兆ドルから 225 兆ドルに急増したのです。GDP の増加額がわずか 50 兆ドルであったことと比較すると、この驚異的な 185 兆ドルの増加額は、世界のレバレッジ比率が前例のない高さまで急上昇したことを意味します。

おそらく、GDP 成長に関する誇大宣伝はすべて、純粋な空想、嘘、欺瞞、操作であることを人々が理解するようになったのででしょう。もちろん、真実は、すべてが順調というわけではありません。世界は、2008 年に見られたのと似たパターンを目撃しています。当時は、中国株やその他の主要株式市場が最初に暴落し始め、その後、米国株がそれに続きました。

世界的な金融危機は起こっていないと言う人は、正直ではありません。現在、[27の国が世界の主要株式市場](#) 今年初めのピークから2桁の割合で下落しています。これはまさに世界的な現象で、アジア、ヨーロッパ、南米、アフリカ、中東で株式市場の暴落が見られました。しかし、米国株は今年初めのピークから1000ポイント未満しか下がっていないため、ほとんどの人はすべてが順調だと考えているようです。

滅びゆく帝国：

崩壊の顕著な特徴は、政府の全体主義の押し付けと無謀な軍事帝国主義の試みです。現在、米軍は世界で最も危険なテロリストです。最大の懸念は、政府がまもなく自国民にテロの覇権を向けるようになることです。歴史は、強力な経済/政治システムが崩壊の最終段階にあるときにこれが起こることを物語っています。

政府とその指導者が国民を墮落させていることは周知の事実であるため、自由を確保し貧困を終わらせる現体制に変えるのは私たち国民の責任です。このような状況はあまりにも長く続いており、私たちはこれを許してはなりません。

**すぐに選択を迫られるでしょう。
自由人として生きるか、奴隷として死ぬか。選択
はあなた次第です。**

これに同意するなら、遠慮なくこの情報を友達に共有してください。そうすれば、彼らもプラン B を準備し、手遅れになる前に選択の準備をすることができます。現在のシステムは存続できません。西洋の住民の 50% 以上が真実について知らされれば、私たち国民は今、陰謀論者を永遠に根絶するチャンスを得ます。

結論と将来のビジョン：

政府と銀行は、国民の資産や資金をただ懐に入れるだけの犯罪組織です。誠実な人道活動やプロジェクトを実施したことはありません。（第 13 章を参照）

普通の人間は、永続的な戦争や惑星の破壊を望んでいません。普通の人間は、さらなる苦痛、苦悩、病気を望んでいません。普通の人間は、カバールがこの惑星に作り出した闇をこれ以上望んでいません。

これらの犯罪者は、中央銀行制度の発足以来、そしてそれ以降も人類に課してきた残虐行為と犯罪の責任を問われることになる。その後、彼らは二度と社会を支配し、壊滅させることが不可能な場所に「投獄」されることになる。より良い方向への変化の日が来ている。

カバールが神経質になっている証拠があります。彼らの絶望はもはやインターネット上のおしゃべりだけではありません。 - 変化は今、私たち全員に起こっており、世界を破壊で席卷する出来事の代わりに、世界を前向きな創造で席卷する出来事を目にするようになるでしょう。

これに先立ち、完全な自由、フリーエネルギー、無制限の富の創造、飢餓のなさ、貧困の終焉、そして人類と地球の利益のための創造的な仕事の充実の中で世界を再建するための新たな可能性を想像できることに感謝の気持ちを感じてください。

私たち国民には、これらすべて、そしてそれ以上のことを行う手段が与えられるという概念を受け入れてください。革新によって、無制限のイニシアチブ、創造性、起業家精神などを拡大します。私たち全員がこのことを考え、思い描きたいことを思い描き始める必要があります。なぜなら、それが物事を実現する唯一の方法だからです。私たちは進化することを確信してください。私たちは人類としての可能性を最大限に発揮します。今起きようとしていることは、

まさに時宜を得たものです。私たちの時間です。それを信じてください。

4. 福祉国家

- 福祉国家は破滅する
- 他人のお金がなくなると社会主義は終わる

他人のお金で建てられた:

ドイツの初代首相オットー・フォン・ビスマルク（1815-1895）は、国民を従順にしておく方法を編み出した。無償で何かを与えるのだ。年金を与えるのだ！もし今日生きていたとしたら、オットー・フォン・ビスマルクはおそらく、自分の発明がこれほど大成功を収めたとは信じなかつただろう。ほとんどすべての先進国の政府が、何らかの形で彼の発明を模倣した。ビスマルクは、無償で何かを与えるつもりだったので喜んだ。福祉国家は、彼が正しかったことを証明した。福祉制度における最初の世代の支出は、その後続いたより大規模で裕福な世代によって容易に賄われた。政治指導者たちも、有権者がより依存的で制御可能になったので喜んだ。年金の支払いと給付金が支払われる限り、国民は反乱を起こさないだろう。

教育、健康、失業手当、公園、図書館など、ますます多くの福利厚生が追加されました。一般の人々は、パブで過ごす時間よりも大学で過ごす時間の方が長くなりました。官僚は、医療などのより面倒なサービス手順を考案し、ますます複雑で扱いにくく、高価になりました。その結果、何千もの人々が国民の一般的な福祉のために配置され、公衆を規制、管理、保護、監視するようになりました。

さらに何百万人ものが障害を装い、社会の血を吸う者となった。農場の助成金を受け取った人もいれば、仕事中に障害を負ったために助成金を受け取った人もいた。さらに別の人々は、経営が行き届いていない銀行が国に救済されたのを見た。問題は明らかだ。費用が手に負えないほど膨れ上がったのだ。

人口動態は福祉制度に逆らって作用する：

社会福祉国家が支える人々の数がますます増え、一方で彼らを支える人々の数がますます減っていくとしたら、社会福祉国家に何が起こるでしょうか？ まさにこれこそが、今日、記録に残る史上最大の世界債務危機を引き起こしている予算超過なのです。

人口動態は現在、福祉制度に逆行している。イタリアと日本は自滅への競争で世界をリードしており、他の国々もそれに追随している。明らかに、高齢者が多すぎることによって引き起こされる経済問題は至る所で起こっている。

フランスは最近、政府が定年年齢を60歳から62歳に引き上げると脅したため、ストライキで麻痺状態に陥った。福祉国家が最終的に消滅するまで、人々は70歳まで働くことになる可能性が高い。時間が経つにつれて、制度の「給付」はますます偽物になっていく傾向があり、実際にはそれが偽物であることがますます明らかになる。

サービス提供者とその顧客は、共生的な寄生関係を共謀している。

- 永遠の学生は、専任教授が教える不必要で非生産的な授業を受ける。
- 国が資金を提供する病的な病気の患者は、医療業界の最高の顧客になる。
- 早期退職者は、生産的な作業プロセスに参加する代わりに、キャラバンやキャンピングカーで道路を塞ぐ。
- 架空の病気の人、詐欺師であり、悪名高い欠勤者である。福祉国家は、裕福な老いた未亡人がジゴロを引き付けるように、彼らを引き付ける。

詐欺はもう通用しません：

今や人々は、自分たちの想定された権利が失われつつあることに気づくだろう。詐欺はもはや彼らに有利に働いていない。新しい世代は数も少なく、裕福でもない。これからの世代は借金持ちと滞納者で構成され、新しい時代に入り、より困難な生活に耐えることを余儀なくされ、自分たちの面倒を見るのが最優先事項となる。自分

たちより先に貧困に陥った他の人々の累積した費用を支払うことは無視されるだろう。

今日、納税者が政府に 1 ドル支払う場合、あらゆる無駄と腐敗を考慮すると、50 セントの「実質的な価値」のサービスが返ってくるだけでも非常に幸運なことです。政府は借金をしてこの事実を隠そうとし、紙幣を増刷して「社会的コスト」を隠そうとします。しかし、事実は隠せません。福祉国家はもはや何も支払っていません。

カール・マルクスは正しかった。

カール・マルクス（1818 - 1883）は、「歴史は大部分が階級闘争である」という結論で基本的に正しかった。18 世紀に遡って、人々は、神によって任命された王が物事をまとめ上げなければ社会は機能しないのではないかと考えていた。その後、アメリカ革命とフランス革命が起こり、ナポレオンが追放され、王や女王が有名人になった。エリートたちは、大衆を抑圧する方法を見つけなければならぬことをよく理解していた。

福祉国家：

その後、19 世紀末にビスマルクは福祉国家を創設しました。彼は、国民を買収して騙す方法を考えたのです。国から金をもらっている限り、国民は反乱を起こさないでしょう。基本的に、ビスマルクが結んだ取り決めは、広く受け入れられ、時を経ても存続しました。つまり、金持ちは多額の税金を払うことに同意し、貧乏人は社会階層における自分たちの地位を受け入れるというものでした。この新しい秩序が脅かされるたびに、第一次世界大戦後のイギリス、第二次世界大戦前後のフランス、1960 年代のアメリカでは、政府はたださらにお金をばらまいていました。**銃やバター**、軍事や社会福祉プログラムにお金を使ったのです。

フランスでは、第二次世界大戦後、国民の4分の1が共産党に投票し、共産主義者は武装していました。しかし、政府は社会保障費の増額で共産主義者を買収しました。資金が枯渇し始めると、政府は富裕層に所得の100%まで課税しようとしてしました。英国とスカンジナビアでは、限界税率は100%を超えるレベルにまで上昇しました。しかし、それは国家の歳入を押し下げるだけでした。

ケネディは、税率を下げても富裕層からより多くのお金を搾り取ることができることを証明した。レーガンもそれを試みたが、結果は芳しくなかった。 - レーガンの経済政策諮問委員会（1981-89）のメンバーであったアート・ラファアーは、最適な税率を見つける必要があり、それを見つけたら、上げたり下げたりできるが、どちらでも問題ないことを示した。どちらの方法でも、税収は減った。

権力を維持するために、支配層はますます多くの約束をし続けました。そして今、彼らはこれ以上の約束をすることができなくなりました。福祉国家は行き詰まりに陥ったのです。

危機に瀕する民主主義：

国家債務危機以上のものに直面しなければならないことに驚かないでください。私たちは民主主義の危機に直面しています。支配階級はもはや群衆を買収することはできません。ある意味で、民主主義は常に詐欺に基づいていました。

あなたが政府だと想像してください。納税者のところに行ってください。

「お金をください。私は上から10%か30%か50%を差し引いて、残りをサービスとしてお返しします。」

納税者にとって良い取引ではないですよ？そこで、代わりに詐欺的に広められた取引は次のようになります：

「お金をください。あなたが私にしてくれた以上のサービスを提供します。」

これは有権者にとって納得のいく取引です。残念ながら、政府はこのような取引を継続することはできません。一般的に、納税者は税金から諸経費、無駄、汚職などを差し引いた金額を「サービス」として受け取ります。政府は貧しい有権者に代わって金持ちから金を奪うことができますが、最適な割合で金持ちから金を奪った後、次に何をするのでしょうか。次に、将来の世代に狙いを定めなければなりません。彼らはある世代の年金拠出金を奪い、現在にそれを使用します。そして、次の世代の年金拠出金を使って、まさにポンジスキームで最初の世代に支払います。すべてがうまくいくのは、次の場合です。

- 彼らはあまりにも多くのことを約束しすぎた。
- 次の世代は前の世代よりも小さく貧しく、
- 信用収縮により、さらなる借り入れは不可能になります。

そして、騙された群衆は裏切られたと感じます。彼らは自分たちの失望を代弁してくれるリーダーを求めます。新たな約束がなされ、新たな戦争が始まります。これがどのように終わるのか、予想できますか？第三次世界大戦が始まろうとしています。

1975年という早い時期に、偉大な経済学者ミルトン・フリードマンは、これらの危険が何十年も潜んでいたことを証明しました。しかし、フリードマンが分析した概念はさらに古いものです。落ちぶれたローマ人は、帝国が崩壊の真っ只中にあつたときにこの概念の誤りについて熟考しましたが、現在ではローマ時代よりもその可能性ははるかに高くなっています。「[他人のお金](#)」に頼るという概念は、システム全体の崩壊につながりつつあります。それは、巨大で強力な中央銀行でさえ修復できないほどの大きな失敗です。理由は

簡単です。この概念は、存在自体に対するサポートが不十分という臨界点に達しています。

返済不可能な福祉国家：

私たちは福祉国家になりました。何億人もの人々が、経済的安定のために他人のお金に頼っています。そして、これほど多くの人々が、これほど少数の生産者に依存していると、経済は必ず破綻します。不均衡がこれほど大きいと、経済はこれ以上成長できません。これは理解すべき非常に重要な概念です。転換点に達しました。その後起こる混乱を修復する方法はありません。

福祉国家の誕生：

オットー・エドゥアルト・レオポルト・フォン・ビスマルク（1815年4月1日 - 1898年7月30日）は、福祉制度の発明者であり設計者です。19世紀後半のプロイセン/ドイツの政治家であり、世界情勢において支配的な人物でした。1862年から1890年までプロイセンの首相を務め、ドイツ統一を監督しました。1867年に北ドイツ連邦の首相になりました。1871年にドイツ帝国を設計し、初代首相となり、1890年に解任されるまで内政を統括しました。現実政治と強力な統治による外交手腕から、「**鉄血宰相**」というあだ名が付けられました。

ビスマルクが死ぬと、ドイツの民族主義者たちは彼を英雄とし、強力な個人的リーダーシップの象徴を讃える記念碑を何百も建てた。歴史家たちは、ドイツ諸州を国民国家に統一する上で主な役割を果たした、穏健でバランスのとれた政治家として彼を賞賛した。彼は勢力均衡外交を利用して、1870年代から1880年代にかけてヨーロッパの平和を維持した。彼は進歩的な社会政策で新しい国家を創り上げ、プロイセンにおける権力政治の実践者としての当初の目標を超える業績を上げた。国王に従順な敬虔なルター派であったビス

マルクは、世襲君主制を頂点とする強力によく訓練された官僚制度を通じて政府を推進した。

福祉国家は破滅する運命にある。

支えられる人の数がどんどん増え、支える人の数がどんどん減っていくと、社会福祉国家はどうなるのでしょうか。まさにこうした予算超過が、現在、世界史上最大の債務危機を引き起こしているのです。

問題は明らかです。コストが手に負えなくなるのです。福祉制度を導入した国は、現在、GDP の 5% 以上の財政赤字を抱えており、総負債はほとんどの場合 GDP の 100% を超えています。州および地方の負債を含め、年金や医療などの未積立債務を加えると、合計は GDP の 500% を超えることとなります。言い換えれば、将来の世代は、政治家が選挙で当選するために前世代に約束したすべての給付を支払うために、総生産量の 5 年分を費やすことが求められているのです。

税金：

ビスマルクの時代から、国民からお金が集められ、さまざまな社会支出プログラムの形で返済されてきた。常に成功を収めている政治家は、支出が収入を上回ることを容認しているが、無責任に見えるほどではない。利益の約束が多ければ多いほど、政治家の権力を強めるためにより多くの有権者が集められ、より多くのお金が、お気に入りの体制側の関係者に移される。

過去 100 年間の人口、GDP、賃金、物価の成長により、少数の障害者や高齢者を支える、より大きく裕福な世代の出現を予想しながら、政府支出を大幅に拡大することが可能になりました。

このシステムの計算は最近までかなりうまくいっていました。現在、先進国ではどこでも人口増加率が低下しており、ベビーブーマー

世代の巨大なグループが退職の準備を整え、歴史上最も贅沢な給付金を自分たちに割り当てています。成長がなければ、この公的資金システムは大失敗に終わる運命にあります。支出を増やしても良くなるわけではなく、悲惨な結果になるでしょう。

現在、先進国の主要国では、約束を果たせる政府は一つもない。財政負担は、それを支えなければならない経済の21倍の速さで増大している。

非常に多くの人々が、非常に少数の貢献者に依存している場合、経済は破綻します。不均衡が非常に大きい場合、経済が成長することはあり得ません。これは理解すべき非常に重要な概念です。転換点に達しました。その後起こる混乱を解決する解決策は存在しません。

実践：

社会主義システムがいかに悲惨なものになっているかを示すため、社会主義がどのように機能し、最終的に自らを破壊するかの現実的な例を示します。

毎日、10人の男性がバーに集まり、おしゃべりをしながらビールを飲んでいきます。10人の合計金額は100ユーロです。彼らは、税務署によって社会で課税される割合に応じて比例して支払うことに同意します。そのため、各参加者の負担は、各個人の富と収入の規模に応じて、多かれ少なかれ均等になります。

- 最初の4人（最も貧しい人）は何も支払いません。
- 6日目は3ユーロ支払います。
- 7日は7ユーロ支払います。
- 8日は12ユーロを支払います。
- 9日は18ユーロを支払います。

- 10番目（最も裕福な人）は59ユーロを支払う必要があります。

皆が楽しく過ごし、約束を守っていたが、ある日、バーのオーナーが問題を起こした。「あなたたちは本当に良いお客様だから、ビールの値段を 20 ユーロ下げよう。飲み物の値段は 80 ユーロになるよ」と彼は言った。

グループは以前と同じ割合で支払いを続けました。

最初の 4 人は無料で飲み続けたため、値下げの影響はまったくありませんでした。

しかし、残りの 6 人はどうやって料金を分担すればいいのでしょうか？ それぞれが公平に貢献できるように、20 ユーロの割引をどのように分配すればよいのでしょうか？

計算によると、20 を 6 で割ると 3.33 ユーロになりますが、元の支払い料金から差し引くと、5 人目と 6 人目の男性には飲み物代がまったく請求されません。なぜなら、彼らは以前にそれぞれ 1 ユーロと 3 ユーロを支払っていたからです。

するとバーテンダーは、それぞれの勘定をほぼ同じ額に減らすのが公平だと提案し、各人が支払うべき金額を計算しました。

- 5 番目の顧客は、最初の 4 人と同様に、何も支払いません (100% の節約)。
- 6 日目は 3 ユーロではなく 2 ユーロを支払うようになりました: (33% の節約) • 7 日目は 7 ユーロではなく 5 ユーロを支払います (28% 節約)。
- 8 日目は 12 ユーロではなく 9 ユーロを支払います (25% 節約)。
- 9 日は 18 ユーロではなく 14 ユーロを支払います (22% 節約)。

- 10 番目は 59 ユーロではなく 49 ユーロを支払う必要があります (16% 節約)。

料金を払った 6 人の客は、それぞれ以前よりも有利な立場になりました。最初の 4 人の客は引き続き無料で飲み、5 人目の客も無料で飲めるようになりました。 - しかし、バーの外に出ると、彼らはそれぞれが節約した金額を比較し始めました。

「我々はたった今20ユーロの割引を受けた」と6人目の男は言った。そのうち10人目は10ユーロを受け取った」

「その通りだ」と5人目の男は言った。「私はたった1ユーロしか節約できなかった。10人目の男は私の10倍も儲けたのに、それは不公平だ。」

「その通りだ！」7人目の男は叫んだ。「なぜ彼は10ユーロの割引を受けたのに、私は2ユーロしか割引を受けられなかったのか？金持ちは常に最大の利益を得るのだ！」

「ちょっと待って」と最初の4人が同時に叫んだ。「私たちは何ももらっていない。この制度は貧しい人々を搾取している！」9人の男たちは10人目の男を取り囲み、殴りつけた。

次の晩、10人目の男は飲みに行かなかったので、9人の男たちは彼抜きで一緒に座ってビールを飲んだ。しかし、勘定を支払うとき、彼らは非常に不安な事実気づいた。彼らには勘定の半分しか払えないお金しかなかったのだ。

読者の皆さんは、税制がどのように機能するかをすでに理解しているでしょう。最も高い税金を支払っている人が、当然のことながら減税によって最も恩恵を受けるのです。

結論：

金持ちであるという理由だけで、金持ちに最も高い税金を課すのは間違いです。

教訓：

「社会主義は他人のお金がなくなると終わります。」

財政金融の混乱：

財政と金融の混乱から世界を救う方法を見つけるのに、水晶玉は不要だ。さらに重要なのは、システムを理解することが不可欠であり、政策は「政治的知恵」とインセンティブのみによって推進されるため、システムは変化しないということだ。単に緊縮政策と景気刺激策を継続し、現状を維持するだけだ。改革がなければ、同じ慢性的なゼロ金利政策と紙幣増刷が続くことになる。

これらの事実が変われば、金や銀を売ることを検討する時期が来ます。しかし、今のところ、何も変わりません。

債務問題の動向：

古い債務の上に新しい債務を追加しても、債務問題は解決しません。しかし、中央銀行家たちはこのアプローチに固執しているようです。

実際の傾向は別のことを物語っています。ここで問題となっているのは、オットー・フォン・ビスマルクに始まった政治モデルです。それは、国家が市民の利益に奉仕するというモデルです。それ以前は、市民は存在せず、主権者に服従する義務を負う臣民だけがいて、その代わりに保護を受けていました。ビスマルクのモデルでは、市民は生産の一部を提供し、命をかけて国家を守る用意があります。その見返りとして、国家は彼らに選挙に参加する権利を与え、外国や国内の無法者から保護し、彼らの物理的なニーズが満たされるようにします。

この経済モデルは破綻に向かっています。大きな疑問は、もし政府が約束した給付を提供できなければ、何が起こるのかということです。大衆はより少ない給付を受け入れるのでしょうか？それとも反乱を起こすのでしょうか？それとも新しいモデルが平和的に進化するのでしょうか？

西側諸国の経済が今年成長するかどうかは不明で、FRBやECBでさえ答えを知りません。しかし、たとえ3%から4%成長したとしても、それは真の回復を意味するのでしょうか？ 結局、米ドルとEUユーロをベースとした通貨制度は持ちこたえられるのでしょうか？ それとも、これらの通貨が過去のものになったことに驚かされることになるのでしょうか？

現在の経済モデル：

現在の経済モデルがどのように機能しているかを見てみましょう。救済と景気刺激策に 10 兆ドルを費やします。これにより国全体が破産へと向かい、一方で中国はあなたのお金は過去のものになると告げ、格付け機関はあなたの格付けを 1 段階か 2 段階下げると脅します。しかし、あなたの苦勞の甲斐あって、たとえば 4% の成長が得られます。

つまり、4% の成長は、GDP が約 5,600 億ドル増加することを意味します。しかし、これをあまり細かく調べないでください。この GDP 増加分の多くは、借金による政府の無駄遣いとインフレによるもので、国の富に実質的な貢献を何もしていません。

しかし、この「成長」を継続させるためには、年間約1兆ドルの赤字を出し続けなければなりません。質問です。中央銀行家たちはどのようなビジネスを行っているのでしょうか？

国家債務の増加のみ：

既存の経済モデルでは、GDPのプラス成長を生み出すよりも、赤字支出のコストの方が高くなっています。

毎年損失を出しているかもしれないが、長期的には補えるのだろうか？

実のところ、財政赤字は今後数年間、おそらく永久に GDP の 5% から 10% に達すると予想されています。成長率が 3% から 4% の範囲にとどまる場合、これは債務が常に成長を上回ることを意味します。実際、これはほぼすべての経済学者が予測していることとまったく同じです。

では、このような見通しに何の意味があるのでしょうか？ もしかしたら財政赤字が削減され、成長率が上昇するかもしれません。 まあ、前向きな姿勢があれば何でも可能です。 自分が幸せになれるなら、何でも信じてください。

トレンドは、多くの場合、カレンダーや不規則な効果とは関係なく、一定期間にわたる「長期的」な動き、つまり根本的な流れの反映として定義されます。これは、人口増加、物価上昇、一般的な経済変化などの影響の結果です。

結論：

社会主義福祉国家の問題は、最終的には他人のお金が尽きてしまうことです。

5. ディープステートが世界を支配している方法

- イエズス会とローマカトリック教会は世界に命令する
- 私たちはもはや自由な人間ではない

- イルミナティの真の姿

あなたの力を取り戻しましょう：

貪欲、貧困、不平等、環境破壊、戦争、彼らはどうやってこれらをやり遂げているのでしょうか？ ごく少数の人間が重要な決定を下すシステムで、世界の残りの部分がゴミの山と化す一方で、この少数の人々が富の山に安住できるなんて、どうしてあり得るのでしょうか？ スーツを着た少数の男たちが、人類社会全体の流れを方向づけることができるなんて、どうしてあり得るのでしょうか？

最近、数え切れないほどの抗議、紛争、人種差別戦争が続いていますが、この混乱から抜け出すには、私たちが力を取り戻し、より美しい世界を作らなければならないというメッセージは明らかです。私たちの社会に広がる恐怖の量は、かつてないほど高まっています。人類は急速に進化しており、多くの人々が目覚めています。私たちは、進化の中で最もエキサイティングな時期の真っ只中にいるのです。

明らかに、カバールがこれらすべてをやり遂げることができる方法は、次のように動く隠れた独裁を通してです。ハザールロスチャイルドカバールは、負債/信用を通じて「お金」の発行を制御し、それによって世界経済全体を制御します。彼らは経済を拡大することも、意のままに崩壊させることもできます。2008年に始まった不況として軽視されている不況は、ロスチャイルドが作り出したもう一つのものであり、世界金融をさらに中央集権化し、SDR世界通貨を発行するIMFと連携して、長い間計画されていた世界中央銀行を導入するために扇動されたものです。

国がロスチャイルドの徒党が所有するIMFに借金を負うと、それ以上の信用が得られなくなると、その国は世界銀行とIMFにその管理権を委ねざるを得なくなります。そして、彼らはその国のあらゆる

レベルで経済・社会政策を指示します。世界銀行とIMFは徒党マフィア、つまりディープステートの完全子会社であり、常に彼らの代理人が舵を取っています。借金を抱えて返済に苦しんでいる貧困国は、社会プログラム、医療、教育、人道的プロジェクトへの支出を削減し、銀行の「借金」を返済せざるを得なくなります。このシステムに内在する詐欺に気を付けてください。世界は貧困と紛争に陥るべきではありません。世界独裁という徒党の血統の計画に役立つように、そのように操作されているのです。

人々の本当の富がどのように盗まれるか:

ロスチャイルド銀行は、自分たちの計画を進めるために、何世紀にもわたって好況と不況を仕組んできました。それは、コストがかからず、何の価値にも裏付けられていないお金の金利を課すという、非常に単純なやり方です。彼らはお金の創造と発行をコントロールしています。好況と不況の違いは、流通している「お金」の量とその認識された価値です。ロスチャイルド家は、その両方を支配しています。彼らと彼らの血統の一族は、銀行と政府の両方をコントロールすることで、どれだけのお金が発行され、流通するかを決定します。彼らは、信用を容易にすることで好況を刺激し、景気が上向きになるときに国民を負債に陥らせることができます。そしてその後、お金を流通から外す口実を見つけ、信用を得ることを困難にすることで、経済を崩壊させます。

企業や負債を抱えた社会全体がローンを返済できないのは、経済活動を生み出すのに十分なお金が流通していないためであり、カバールの銀行家たちはローンを得るために差し出された担保を差し押さえる。これにより、存在する企業の数も減り、その製品や市場はカバール所有の企業、つまり大企業に乗っ取られ、彼らの世界経済力をさらに集中させる。これは政府でも同じ青写真である。不況で政府の収入が激減すると、政府は支出を維持するためにさらに多くのローンを求める。そしてロスチャイルド家が政府を掌握し、彼らの機関やサクラは拡大し続ける。

事実、米国や英国を含むすべての政府ではないにしても、多くの政府は 1930 年代からロスチャイルド一族の支配下で破産状態にあります。ロスチャイルド一族は、1929 年の大暴落や 1930 年代の大恐慌など、何百年にもわたってこうしたサイクルを巧みに操ってきました。何が起きているのかまったくわかっていない経済学者のほとんどは、好況と不況は自然な「経済サイクル」の一部であると主張します。これはまったくのナンセンスです。人々、そして実際には全世界の真の富を盗むために組織的に操作されているのです。

莫大な経済的利益:

血統派の陰謀家一族は、世界中の株式市場で毎日何兆ドルもの資金を動かし、市場が上がるか下がるか、好況か不況かを左右しています。市場の暴落はただ起こるのではなく、起こるように仕組まれています。暴落が来るとわかっているなら、それは自分がそれを引き起こすつもりだからであり、暴落が起こったらいつ高値で売り、いつ安値で買い戻すかがわかります。このようにして、陰謀家は、操作された暴落前のわずかなコストで企業を買収し、保有資産を大幅に増やしてきました。

典型的な例は、1815 年のワーテルローの戦いでネイサン ロスチャイルドが違法に得た富でイギリスを「購入」した例です。その計画は次のとおりでした。

1815 年 6 月 20 日の早朝、マイヤー・アムシェル・バウアーの 5 人の息子の 1 人であるネイサン・ロスチャイルドが、歴史上最も悪質な金融計画の 1 つを実行しました。その 2 日も経たない 1815 年 6 月 18 日の深夜、ナポレオンはワーテルローの戦いでイギリス率いる同盟軍に敗れました。これによりナポレオン戦争は終了しました。当時すでに裕福で影響力のある人物であったネイサン・ロスチャイルドは、一般大衆への公式発表の数時間前に、私信の使

者を通じて連合軍の勝利の知らせを得ることができました。

ロスチャイルドは大胆かつ欺瞞的な動きで、膨大な量の英国領事証券や統合年金証券、つまり今日で言う株式を売り始めた。国中の他の投資家がロスチャイルドのこの行動に気付くと、パニック状態が始まった。誰もがロスチャイルドの行動はワーテルローの戦いが連合軍の勝利ではなくナポレオンの勝利であることを示唆するものだと考え、フランスが勝利した場合には領事証券の価値が下がることを暗示していた。

多くの人々がそれに倣い、フランスによる国の占領を予想して領事の地位を売却しました。そして、ナポレオンが敗北したという公式発表の直前に、ロスチャイルドは大量の領事の地位を破格の値段で買い集めました。

この発表により、執政官の価値は急騰し、ネイサンは以前より6,500倍もの富を得た。

要するに、ロスチャイルドは国中から金を奪い、あらゆる意味でイングランドの大半の所有者となった。この時点から、彼の家族は、夢にも思わなかったほどの富を得て、政府で影響力を持つようになり、今後の政策決定を主導するようになった。ロスチャイルドによるこの計画が歴史的に重要だった理由は他にもある。それは、**災害を「でっち上げる」ことで、莫大な金銭的利益を得られることを示したからである。**

今日の問題の根源:

今日の諸問題の根源は、歴史が偶然の出来事の連続ではなく、むしろ世界征服を企む少数の裕福で特権階級の個人による土地、富、資源の奪取という綿密に計画され実行された「計画」であったことを明らかに示している。これはほとんど理解できないほど大規模に行われてきたが、古いことわざにあるように、

「最もよく守られた秘密は、明白な視界に隠されたものである。」

まず、17 世紀初頭に遡り、やがて支配階級となり、究極的には歴史に名を残すエンジニアとなる会社の設立について見てみましょう。

1600 年、エリザベス 1 世女王は東インド会社に勅許状を授与しました。歴史によれば、同社の目的は東世界、すなわちインドと中国との貿易関係を確立することだったようです。表向きの事業は茶の貿易でした。これは確かに事実ですが、この話にはもっと暗い側面があります。この会社の本当の秘密の目的は 2 つありました。東世界（すなわちインド）の銀行および金融システムを研究して最終的に操作することと、極東にアヘンを持ち込むことです。この 2 つのうち後者の目的によって、東インド会社は莫大な富を蓄積し、王室の金庫に蓄えることができました。

このアヘン貿易は、ロンドンのキュー王立植物園（キューガーデンとも呼ばれる）で最高級のアヘン用ケシを栽培することで始まりました。その後、このケシはインドに輸送され、そこでイギリス人はアヘンを生産するケシの広大なプランテーションを栽培し始めました。そこから、ケシは生のアヘンの形でイギリスのティークリッパー船によって中国に輸送され、そこで中国人に売られました。何十年にもわたって、このアヘン貿易は途切れることなく続き、その結果、2 つの主な目標が達成されました。

- 東インド会社は大量のアヘンを売って大儲けし、
- 中国は麻薬中毒者の国となり、何百万人もの人々がアヘン中毒となり、中国のインフラ整備の進展が止まった。

東インド会社の統治機関は「三百人委員会」として知られていましたが、アヘン貿易が拡大し、利益が大きくなり、莫大な富をもたらすようになると、イギリス王室が会社と合併し、そこから今日まで「三百人委員会」と自称するグループが生まれました。

300人委員会の歴史 - 人民の最大の敵:

ジョン・コールマン博士は、英国貴族階級の最高レベルの機密許可を持つ元MI6（英国軍事情報部第6）シークレット・サービス・エージェントとされ、この組織の隠された計画の「仮面を剥ぐ」ことを生涯の仕事としている。コールマン博士はベストセラー作家である。基本的に、コールマン博士や他の人々が主張しているのは、血統継承に基づく秘密結社や隠れたグループの存在についてこれまで聞いたことはすべて真実であるということ。英国王室自身は何世紀にもわたってこの種の「貴族の近親交配」を実践してきたことは秘密ではない。

近年、イルミナティ、シオン修道会、フリーメイソン、テンプル騎士団、スカル・アンド・ボーンズなどの名前が飛び交っています。しかし、ほとんどの人が気づいていないのは、これらの組織が実在し、その真の意図が何世紀にもわたって極秘に隠されてきたということです。コールマン博士は著書「陰謀者の階層」の中で、300人委員会について次のように説明しています。

「300人委員会はイギリス東インド会社の産物である300人委員会。イギリス王室は1600年に東インド会社を設立しました。同社は中国とのアヘン取引で莫大な富を築き、当時世界最大の企業となりました。今日、300人委員会は多くの強力な同盟を通じて世界を支配し、「全体主義的グローバルガバナンス」のもとで「新世界秩序」を創り出す犯罪計画の原動力となっています。省略表現として以外は、「彼ら」や「敵」を使う必要はありません。敵である「彼ら」が誰であるかはわかっています。300人委員会は「貴族」であり、

米国連邦準備銀行システム、保険会社、巨大企業、財団、通信ネットワークを所有し、陰謀家たちの階層構造によって統括されています。

秘密結社は欺瞞によって存在する。それぞれの組織には階層があり、その頂点には内部サークルがあり、高貴な計画を主張するなどして、下々の者を嘘で欺き、区分された共謀の網に従わせる。300人委員会の内部サークルはガーター勲章であり、（現在）エリザベス・ウィンザー2世女王が率いる。

私たちの究極の敵は、明らかに委員会である。

300とそのフロント組織、例えば王立科学アカデミー国際問題（チャタムハウス）、ローマクラブ、NATO、国連、黒い貴族、タヴィストック研究所、外交問題評議会（FCR）とその関連組織、スタンフォード大学とタヴィストック人間関係研究所が管理するシンクタンクと研究機関、そして最後に、もちろん軍事組織。

300人委員会は、英国女王（エリザベス2世）、オランダ女王（後述のとおり、ビルダーバーグ・グループと呼ばれる別の極秘組織の会合に出席している写真が撮られた元ベアトリクス女王）、デンマーク女王、およびヨーロッパの王族を含む不可触民の支配階級で構成された究極の秘密結社である。これらの貴族たちは、ベネチアの黒ゲルフの女家長であるヴィクトリア女王の死後、世界的な支配権を獲得するためには、その貴族メンバーが非貴族でありながら世界規模の企業ビジネスの極めて強力なリーダーたちと「ビジネスを始める」必要があると決定し、そうすることで、英国女王が好んで「平民」と呼ぶ人々に究極の権力への扉が開かれたのである。彼らは違法な銀行カルテルを通じて連邦準備制度の株式を所有しているが、連邦準備制度は米国憲法に違反し、我々の問題の根源の一つとなっている民間営利企業である。」

ネイサン・ロスチャイルドなどの富裕層からの資金提供により、イギリス東インド会社は最終的に三百人委員会へと変貌を遂げた。三百人委員会とは、西洋世界を支配する秘密政策を採用した三百人の世界的エリート集団である。この新しい権力構造の上層部にいたイギリス王室は、アヘン貿易で莫大な富を蓄えていた。彼らの支配計画の背後にある考え方は極めて単純で、**世界の富を支配できる者は、最終的に地球上で莫大な権力と影響力を及ぼすことができる**というものである。

イルミナティの真の姿：

イルミナティは、1771年にドイツのバイエルン州でアダム ヴァイザウプト教授によって設立された秘密結社です。バイエルン州の首長カール テオドール公爵が、イルミナティとフリーメーソンの反教権主義、反政府の教えについて広まっていたさまざまな有害な噂に基づいて行動を起こしたため、この結社は深刻な問題に陥りました。彼は1784年に、正式に認可されていないすべての秘密結社を禁止する最初の布告を出しました。この全面禁止には、彼の命令に従わなかった場合の厳しい罰則が含まれていました。

ヴァイザウプトは、フリーメーソンに対して自分が獲得した権力が、実際の政治的権力を構成していないことに気づいた。そのため、イルミナティはバイエルンで地下に潜ることを余儀なくされ、革命的な活動を他の場所に移した。この勅令は、組織を抑止するのにほとんど役立たなかった。メンバーの多くは、勅令があまりにも一般的であるため、

彼らを含めました。騎士団の会員数は増え続け、フランスにも広がりました。

イルミナティにとってさらに問題となったのは、1785年6月に教皇ピウス6世がバイエルンのフライジング司教に手



紙を送り、イルミナティへの加入は危険であり、教会の伝統に反すると忠告したことです。

ヴァイスハウプトが、レーゲンスブルク近郊のランツで、同教団の仲間であるヨハン・ヤコブ修道士と乗馬中だったとき、雷がランツを直撃し、ランツは死亡した。ランツはイルミナティの反教會的立場を知っていたに違いなく、そのためこれを神の報復と見る者もいた。しばらくして、ランツの所持品から、同教団がまだ活動中であることを示す重要な秘密文書が発見され、カール・テオドールは激怒し、イルミナティの全メンバーは悔い改めて政府に登録しなければさらに厳しい処罰を受けるという、新たな布告を出した。発見された文書は、イルミナティの理想が、さまざまな形で人類を将来も苦しめ、世界征服という究極の目標を掲げ続けることを示唆していた。

ヴァイザウプトは、過去から現在に至るまで、あらゆる秘密結社を巧みに利用する方法を知っていた。その結社を巧みに利用するために必要なものを、綿密に効率よく機能するシステムに取り入れたのだ。彼は、アサシン、イエズス会、テンプル騎士団、フリーメーソンなどの秘密結社の教義をコピーし、マキャベリの哲学や薔薇十字団の神秘と組み合わせた。彼は、既存のすべての結社や孤立した個人から適切な要素を集め、自分の目的に合うようにそれらを作り上げた。イルミナティとイエズス会の考え方の例として、イエズス会の誓いの抜粋を次に挙げる。

「あなた方は、平和な共同体、州、国家の間に嫉妬と憎しみの種を巧妙に植え付け、血なまぐさい行為に駆り立て、互いに戦争に巻き込み、独立して繁栄し、芸術と科学を育み、平和の恩恵を享受している国々で革命と内戦を引き起こすように教えられてきた。戦闘員の側に付き、相手側で活動しているかもしれないが、公然とあなた方のつながりに反対しているイエズス会の兄弟と秘密裏に行動し、平和

条約で定められた条件において、教会が最終的に利益を得るようにし、目的は手段を正当化するように教えられてきた。」

多くの研究者は、これが今日でもイルミナティの子孫を守るのに役立っていると主張しています。観察者にとって、これほどよく組織された陰謀が存在すること、そして彼らが世界に思い描いている目標が現実であると信じることは困難でした。この大衆の不信感が彼らの成功の原動力であり、真実が信じられないほど信じ難く、あまりにも不条理になり、誰もそれが意図的に作られたとは信じないような方法で行動を計画することは陰謀にふさわしいことです。これらの手段を通じて、彼らは西洋文明とアジアの金の力となり、何世紀にもわたって計り知れない富と物質的な宝物を蓄積してきました。彼らの飽くなき貪欲さのために、富と権力への渴望は決して満たされず、今日まで彼らの組織の原動力となっています。

「歴史はイルミナティの長期計画に従って展開している。戦争は数十年も前から計画され、国家の破壊、人口減少、士気低下、そしてもちろん権力と利益を達成するために画策されている」とヘンリー・マコウは書いている。超富裕層は人類を餌食にして永久的な覇権を確立するために悪魔のカルトを組織している。中央銀行家の立場になって考えてみてほしい。世界の国々は紙とインクのコストで印刷したお金に基づいて、あなた方に何兆ドルもの借金をしている。この「投資」を守る唯一の方法は、洗練された社会的およびマインドコントロールの方法を使用して、薄っぺらな偽装をした独裁政権を確立することです。これが「テロとの戦い」の真の意味です。それは「イスラムのテロリスト」に向けられたものではありません。それはあなたと私に向けられたものです。

非常に裕福なエリートたちは、人類を餌食にして地球全体に対する永続的な覇権を確立するために「悪魔カルト」を組織しました。

イルミナティは秘密結社の中の秘密結社であり、ロスチャイルド王朝が率いる銀行エリートによって支援されており、宗教を廃止し、民政を転覆させてすべてを彼らの管理下に中央集権化する計画、つまり新世界秩序を推進している。

イルミナティに関するランツ文書の結果として続いた暴露は、当時大きなセンセーションを巻き起こしました。その内容は、宗教と政府の転覆に専心する、毒殺者と偽造者、忌まわしい道徳と墮落した趣味を持つ人々で構成される組織の印象を与えたからです。当時の人々は、イルミナティの真の目的が、秘密と欺瞞を駆使した秘密組織によって達成される世界革命の計画であると信じられませんでした。

1887年、カール・テオドールは最後の勅令を出し、イルミナティに勧誘する者には死刑を命じた。彼はこれを「有害で危険」と呼んだ。この取り締まりは意図したものとは逆の効果をもたらしたかもしれない。多くのイルミナティが他国に逃亡し、世界革命の教義を広めたからだ。

秘密裏に闇に隠れたイルミナティ組織がフランス、スペイン、イタリア、イギリス、ロシア、アメリカに出現し、イルミナティを推進する人々を誰も統制できませんでした。

1815年頃、イルミナティはバイエルンとフランスを越えて世界の多くの地域に影響力を広げ始めました。恐ろしく衝撃的な真実は明らかにされなければなりません。私たちはもはや自由な人々ではありません。イルミナティ バビロン ミステリーはその力の頂点に達しており、私たちの存在そのものが今や危険にさらされています。

「私は、我々が組織として、オカルトやその他の科学に深く精通した、非常に邪悪なオカルト組織の支配下に入ったと確信している…」と、1783年にイルミナティに勧誘されたドイツフリーメーソンのグランドマスター、フェルディナント・フォン・ブラウンシュヴァイク公爵は警告した。

「この計算高く残酷な陰謀団の秘密工作員は、世界中の革命に資金を提供してきた。彼らはカール・マルクスの資金援助者であり、シオニスト運動を利用してイスラエル国家を建国した」とテックス・マーズは書いている。

否定できないのは、イルミナティの教義が過去および将来の革命において役割を果たし、今も役割を果たし続けているということです。

ヘーゲル方言：

ヘーゲル方言はヴァイザウプト、マルクス、ヒトラーによって非常にうまく利用された。 方言 西側資本家が、一方の民主主義国家（アンチテーゼ）の敵とみなされる共産主義（テーゼ）を、もう一方の民主主義国家（アンチテーゼ）に作り出した経緯を説明します。その結果生じる「でっち上げられた対立」により、巨大な金融市場と兵器市場が生まれ、最終的には両者の均衡が保たれます（統合）。過去 50 年間、米国はロシアに似てきており、ロシアは米国に似てきているとよく言われてきました。

すべての国がソビエト化されると、秘密勢力は全体主義独裁政権を形成し、その正体を秘密にする必要はなくなるだろう。

社会活動家も官僚も、中流階級の策略に対抗するために、このヘーゲル方言を両端で利用してきた。反対派（アンチテーゼ）に本当に必要なもの（テーゼ）以上のものを要求すれば、妥協の末、たいていの場合、最初に望んだもの（シンセシス）が得られることになる。

「この革命的な方法、すなわちテーゼとアンチテーゼ＝統合を体系的に扱うことが、世界史を理解する鍵である」とテックス・マーズは書いている。

他の人たちは、このヘーゲル弁証法を「問題－反応－解決」と類型化しました。

ロスチャイルド王朝がイルミナティに資金を提供しても何の害もありません。彼らは現在、盗んだ金や銀の資産を除いて500兆ドル以上の資本を盗んでいます。一方、ロスチャイルド卿だけでも241兆ドルの資産があります。この[ビデオをご覧ください](#) 資産がどのように成長し、どのような構成になっているかを確認します。

バチカンのフリーメーソン

フリーメーソンのロッジのメンバーであることは破門を意味していたが、[121人の教会代表者が](#) 参加を禁じられた。驚くことではないが、メンバーは全員バチカン銀行の役員であり、フリーメーソン・ロッジ・プロパガンダ（略してP2）と密接な関係があった。

P2は、1966年から1981年までイタリアで活動していた非正規の、または「ブラック」なフリーメーソンのロッジで、[リチオ・ジェッリが率いていました](#)。悪名高いフリーメーソンP2団のグランドマスターは、イタリアの政治システムに蔓延する腐敗を表現するために作られた言葉である全国的な贈収賄スキャンダル「[タンジェントポリ](#)」を含む、イタリアの数多くの犯罪と謎に関与していました。彼は1960年代にフリーメーソンに加わり、独裁国家の実現を目指して1970年にP2ロッジを設立しました。1981年にこの秘密結社が彼らを支配しようとして計画していることが暴露されると、世論の怒りが起こりました。

[大衆を支配する](#)ために使われていると主張し、提唱してきました。

バチカン傘下のアンブロジアーノ銀行の破綻により、ジャーナリストのミノ・ペコレッリと、1982年にイタリア第2位の民間銀行アンブロジアーノ銀行が破綻した際に同銀行の会長を務めていた銀行家 [ロベルト・カルヴィ](#) が殺害された。

、イタリアの銀行家であり、詐欺師の達人で、有罪判決を受けた犯罪者でもあった [ミケーレ・シンドーナ](#) の金融帝国の崩壊に関する捜査を通じて明らかになった。

P2 は「国家の中の国家」または「影の政府」と呼ばれることもあった。ロッジのメンバーには、著名なジャーナリスト、国会議員、実業家、軍指導者が含まれ、その中には、当時の首相となるシルヴィオ・ベルルスコーニ、サヴォイア地方出身でイタリア王位を狙うヴィットーリオ・エマヌエーレ、そしてイタリアの3つの諜報機関の長も含まれていた。

警察はリッチョ・ジェッリの別荘を捜索した際、「民主主義再生計画」と呼ばれる文書を発見した。この文書は、メディアの統合、労働組合の抑圧、イタリア憲法の書き換えを要求していた。

「神の銀行家」ロベルト・カルヴィと崇高なるマスター、リッチョ・ジェッリとのつながりは、マスコミや警察の注目を特に集め、秘密ロッジが [発見される原因となった](#)。1981年3月、アレッツォのジェッリの自宅で警察がメンバーのリストを発見したが、そこには900人以上の名前が含まれており、その中には、非常に重要な国家公務員、何人かの重要な政治家、4人の大臣または元政権、44人の議員、多数の軍人が含まれていた。その多くはイタリアの秘密諜報機関に登録されていた。注目すべきことに、当時イタリアの首相となるシルヴィオ・ベルルスコーニもリストに載っていたが、当時はまだ選挙で選ばれる政治活動には参加していなかった。

1982年6月のカルヴィの死は、イタリアの暗黒街がロンドンで地上に姿を現した瞬間だった。「この事件を引き受けるなら、狼の口

の中で踊るようなものだ」とシークレット サービスのエージェントがローマでカツツに告げた。1991 年秋、ニューヨークの捜査官ジェフ カツツが殺害されたカルヴィの 37 歳の息子カルロ カルヴィと会ったとき、カルヴィが尋ねたのはたった 2 つの質問だった。「何ができるか、費用はいくらか教えてください」。カツツはかなり多くのことができることが判明した。

ロベルト・カルヴィは、神との密接な関係から神の銀行家として知られ、

バチカンの牧師は、ロンドン中心部のブラックフライアーズ橋で首にオレンジ色のロープを巻かれて首を吊っているのが発見された。レンガで重しをされており、ポケットには現金1万5000ポンドが入っていた。

カツツは大いにやる気になった。「とても興味深い事件だった」と彼は言った。マフィア、バチカン、フリーメーソンの最高権力ロッジであるP2が絡んでいた。2年間、カツツの時間の90パーセントを費やしたので、彼は本当にその事件に没頭した。1990年代初頭にカツツと他の30人が行った骨の折れる仕事は、20世紀で最も興味深い殺人事件と金融スキャンダルの一つで、イギリスの重要人物の逮捕と数千万ポンドの回収につながった。この事件により、1982年にイタリア最大の民間銀行が14億ドルの負債を抱えて破綻した。

トランプ大統領に仕えているのは誰で、彼に反対しているのは誰でしょうか？

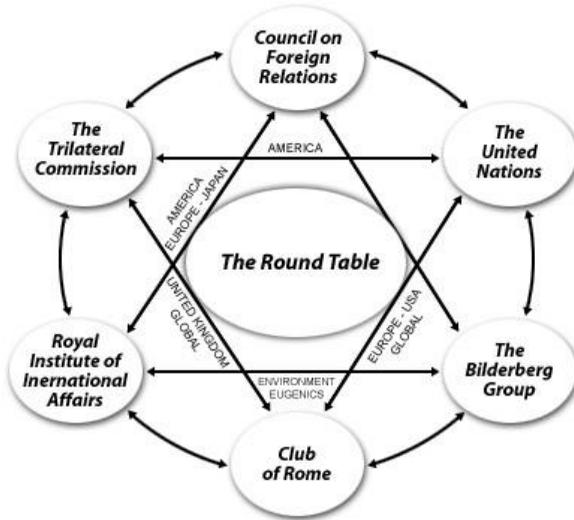
秘密結社が世界を支配している：世界を支配しているのは P2 ロッジだけではありません。彼らは 300 の委員会、つまり今日の世界で本当の問題を引き起こしているシオニスト、アングロ、アメリカの諜報機関で構成されたディープ ステートを形成する無数の機関の支援を受けています。

この点では、誰が本当に奉仕しているのかを判断することは事実上不可能である。

ドナルド・トランプ大統領と、彼に敵対する者たち。米国の諜報機関は、CIAによって初日から組織的かつ科学的に正確に犯罪化されてきた。彼らは文字通りすべてをコントロールしており、ディープステートさえもコントロールしている。

CIAは主流メディア（MSM）を完全にコントロールしているため、大手報道機関のすべてを動員して、24時間年中無休でトランプを攻撃している。

同様に、CIA はトランプを倒すために世界中のあらゆる主要なグローバルリスト組織の協力を得ています。これには、たとえば、外交問題評議会、ビルダーバーグ会議、三極委員会、300人委員会、王立国際問題研究所、国連が含まれます。現実には、全能の円卓会議の全勢力がトランプ政権に大きく不利に働いています。



300人委員会に入会したイルミナティのメンバー：

元イルミナティのメンバーが、エリート秘密結社と300人委員会のメンバーのリストを投稿した。エリート秘密結社で最高位の地位に47年間在籍したイルミナティの高位メンバーは、すべてが「耐えら

れないほど」になった後、秘密結社の計画についてすべてを明かしたいと思ったと述べている。

イルミナティ、または300人委員会のメンバーは、常に極秘とされてきた。匿名の内部関係者からの珍しいリークにより、メンバー全員の名前が明らかになったのは今回が初めてである。

2016年9月現在の300名の委員会のメンバーの一部:

- 新世界秩序の君主/最高指導者：女王
エリザベス2世
- ラッツィンガー、ジョセフ・アロイス（教皇ベネディクト
16世）
- ゴア、アル
- グリーンスパン、アラン
- ウェーバー、アクセル・アルフレッド
- ケリー、ジョン・フォーブス
- キッシンジャー、ヘンリー
- リーバーマン、ジョー
- マードック、ルパート
- バフェット、ウォーレン
- ブッシュ、ジョージ・H・W
- パウエル、コリン
- ライス、スーザン
- クリントン、ビル
- ソロス、ジョージ
- ゲイツ、ビル
- ロックフェラー、デビッド・ジュニア
- ロックフェラー、デビッド・シニア
- ロックフェラー、ニコラス
- アンドリュー（王子） - ヨーク公

- アン - プリンセス・ロイヤル
- カミラ - コーンウォール公爵夫人
- チャールズ皇太子・ウィリアム（プリンス）オブウェールズ
- フィリップ（王子） - エディンバラ公
- ロスチャイルド、ジェイコブ - 第4代ロスチャイルド男爵
- デ・ロスチャイルド、ベンジャミン
- デ・ロスチャイルド、デヴィッド・ルネ・ジェームス。
- デ・ロスチャイルド、エヴリン・ロバート
- デ・ロスチャイルド、レオポルド・デイヴィッド
- アスター、ウィリアム・ウォルドルフ - 第4代アスター子爵
- ヨルダン国王アブドラ2世
- カルロス・フアン - スペイン国王
- スペインのソフィア（女王）
- ブレア、トニー
- ハーパー、スティーブン
- キャメロン、デイビッド・ウィリアム・ドナルド
- ゴルバチョフ、ミハイル
- ベアトリクス（女王）

沼地はいかにして排水されているか:

権力者の不完全なリストに、上記に挙げた秘密結社やシンクタンク、ジョージ・ソロスが資金提供しているNGO、そしてフォーチュン500に名を連ねる企業のほぼすべてを加えると、トランプが直面する大きな課題がさらに明らかになり、彼の進歩は恐るべきものとなる。トランプが選挙公約通りこの混乱を終わらせ、泥沼を一掃することを目指している一方で、シリコンバレーとハリウッドがトランプ

に対して全面的に反対の立場を取っていることを考えると、これは特に真実である。

注目すべき点は、システム全体が大統領に対して極めて攻撃的な姿勢をとっていることだ。そのため、トランプは絶対に確実なクーデター対策を練らざるを得ない。彼の断固たる態度には、まったく揺るぎない余地はない。そして、比較対象として検討すべき前例がひとつもない。歴史上、地球上での 2017 年/2018 年のトランプの苦境に匹敵するものはまったくない。私たちは幸運に感謝しなければならない。インターネットはサイバースペースというまったく新しい世界を作り出し、そこでこの戦争が実際に戦われているのだ。

ドナルド・トランプが、古代中国の軍事理論で教えられた最も効果的な戦略と戦術のいくつかを定期的に適用していることは疑いの余地がありません。トランプ大統領には、この腐敗した沼に終止符を打つために助けてくれる非常に賢明な顧問がいるに違いないようです。

イルミナティの真の姿：

生まれながらのイルミナティ メンバーで、現在は内部告発者であるスヴァリという仮名を持つ、専門の訓練を受けた看護師によると、アダム ヴァイザウプトが 1776 年にドイツでイルミナティを設立したのは本当ではないでしょうか。「彼らは彼を名目上のリーダーとして選び、何を書くべきか指示しました。ヨーロッパの初期の王に資金を提供した Templar 騎士団の時代の銀行家まで遡る資金提供者がイルミナティを創設したのです。ヴァイザウプトは彼らの命令に従う「雑用係」でした。」

彼女は現代のイルミナティを、世界で最も裕福で最も権力のある人々が率いるサディスティックな悪魔崇拜カルトだと表現した。さらに、この組織は同性愛者や小児性愛者で溢れており、CIA やフリーメイソンと手を組んで麻薬、銃、ポルノ、売春の密売を通じて世界

を支配していると主張している。イルミナティは、2001年の9/11の偽旗事件を含む政治的暗殺やテロの背後にいる勢力であるとさえ非難されている。

「スヴェアリの勇気ある証言は、なぜ私たちの子供たちがもはや市民的価値観を教えられなくなり、なぜ同性愛と暴力に慣れ、なぜ私たちの文化が虚無主義と性的墮落に陥っているのかを説明しています」と別の研究者はコメントした。彼女は、イルミナティが秘密を守り続けているのは、国民が、起こっていること、実際に起こり得ることすべてを信じようとしなからだと述べた。「私は（今では）熱心なキリスト教徒ですが、ヨハネの黙示録には、イエスの再臨の直前、人々は何も悪いことは起こっていないかのように、すべてが正常であるかのように行動すると書かれています。しかし、それに反する証拠があるのです」と彼女は語った。「人々に儀式のビデオを見せれば、彼らはこう断言するでしょう。『それは偽物に違いない。人々はそんなことはしない』。五芒星や埋められた骨、その他の証拠がある場所を見せれば、彼らはこう言うでしょう。『ああ、あれはただのティーンエイジャーが遊んでいるだけだ』 … 生存者の体に、子供の頃のタバコの火傷や背中に残っている古い鞭打ちの跡を見せられたら、こう質問されるでしょう。「本当に自傷行為ではないのですか？」

証拠はここにありますが、私の意見では、一般の人はそれを知りたがらず、証拠を突きつけられても、目をそらすでしょう。どれだけの証拠が出てきたのでしょうか。あるいは、機密解除され、本物であることが証明されたにもかかわらず、人々が無視しているCIAのマインドコントロールプログラムの文書はどうでしょうか…「私たち人間は、自分の人種の最悪ではなく、最善のことを信じたい」のですが、これらのことを信じるのが不都合であるという事実は、その真実を変えるものではありません。

イルミナティの階層：

人々は、イルミナティが地球を統治することを自分たちの責任だと考えていることを信じたくない。この少数の人々は、非常に強力で、非常に多くの富と資産を支配しているため、それ自体が国民国家とみなされる可能性がある。彼らは主要政党とマイナー政党を支配している。彼らは政府の運営、情報の流れ、お金の創造を支配している。彼らはすべての組織に浸透しており、教会にさえ浸透している。イルミナティの影響を受けていないものは何も残っていない。すべての国のイルミナティ評議会は、新世界秩序が生まれたときに統治する先駆者として行動する最高世界評議会に報告している。

フリーメイソンの最高位33階級は、イルミナティのトップでもある。米国、英国、フランスのロスチャイルド家は、この世界最高評議会の支配権を握っている。彼らは、自分たちが王家の血統の末裔であり、また、途切れることのないオカルトの伝統を受け継いでいると信じている。

来たる経済崩壊:

彼らは、これから起こる経済崩壊とそれに続く戒厳令を計画しています。その後、銀行家と政府はすべての負債を直ちに回収しますが、計画通りであり、最初から分かっていたことですが、ほとんどの人は返済できずに破産するでしょう。イルミナティは財政を通じて人々を支配しているため、これは世界規模の金融パニックを引き起こすでしょう。

スヴァリは続けた。彼らはまた、非常に政治的で裏切り行為の多い集団であり、弱肉強食の精神を持ち、誰もが出世を望んでいる。彼らは良い人々ではなく、悪意を持って他人を利用し、操作する、と彼女は言う。彼らは地位、権力、金銭に目を付けている。彼らは決して自分たちの計画やカルト活動を公に明かさない。彼らは、一般の人々の目には、コミュニティのビジネスリーダーの仮面をかぶった、尊敬される「キリスト教徒」、「ユダヤ教徒」、「イスラム教徒」である。社会における彼らのイメージは啓蒙主義者にとって非

常に重要であり、彼らは普通の尊敬される仮面を維持するために何でもし、露出を嫌う。

支配血統ファミリーの代々の一員である別の内部告発者は、「Hidden Hand」というペンネームで、次のように宣言しています。「私たちの血統は、太古の昔にまで遡ることができます。歴史の記録に残る最も古い時代から、そしてそれ以降も、私たちのファミリーは、アトランティスの興亡以前から、何らかの方法で舞台裏から劇を指揮してきました。私たちはリーダーとして生まれてきました。それは、現在のパラダイムの設計の一部です。基本または元のコア血統は 13 あります。Hidden Hand は、これらのファミリーが爬虫類と交配されたという英国の作家、デイビッド・アイクの考えに反しています。彼は、「私たちは爬虫類ではありません」と述べました。そして、「真の力の血統には、爬虫類に似たものは何もありません。」

分極化した地球における人類の現状:

隠された手は、分極化した地球上の人類の現状についても説明しています。**思考は集中した創造的エネルギーです。あなたが発したものがそのまま得られます。メディアが彼らの計画にとってなぜそれほど重要だと思いませんか？ あなた方は（社会として）、催眠状態、昏睡状態において、自由意志で地球が現在置かれている状況に同意しています。暴力、ポルノ、貪欲、憎しみ、利己主義、絶え間ない悪いニュース、恐怖、恐怖など、テレビで提供される不健康な料理で心を飽和させ、あなたはそれに中毒になっています。**

「最後に立ち止まって美しく純粋なことを考えたのはいつですか？ 地球が今のような状態にあるのは、地球に対するあなたの集団的な考えのためです。不正を見ても目をそらすたびに、あなたは何もしないことで共犯者になっています。創造主に対するあなたの潜在意識レベルの創造の考えは、これらのことが起こることを許しているのです。そうすることで、あなたは私たち（イルミナティ）

の目的に奉仕しているのです。大収穫の時期にこの惑星の分極がネガティブであることは、私たちにとって非常に重要です。つまり、ポジティブな他者への奉仕ではなく、自己への奉仕志向を意味します。私たちはネガティブな収穫を必要としており、あなたは私たちの目標達成を手助けする素晴らしい仕事をしています。私たちはとても感謝しています」と、Hidden Hand は伝えました。

ヒドゥン ハンドによると、イルミナティの家庭に生まれた若者は皆、軍事、政治、精神、学問、リーダーシップ、科学の分野で入念に教育を受けている。「我々はこれらすべての重要な分野で重要な地位を占めています」と彼は言う。「共謀組織と金融組織の所有権が加わることで、すべての基盤がカバーされます。」

これはデマでも偽情報でもありませんのでご安心ください。作家兼調査員のサラ氏によると、「私の意見では、これはファミリーと呼ばれる組織に属する内部者による本物の暴露です。ファミリーは、主要な社会および政治機関の高位のエリートを通じて、地球と他の惑星の両方を秘密裏に支配してきました。」

イルミナティの高位離脱者として報告されているもう 1 人は、イタリアのフィレンツェにあるイルミナティ世界組織オールド・イルミナトルム・ユニバーサリスの元グランドマスターで、バチカンにおけるイルミナティの良い面、肯定的な面と見なす人もいるレオ・リオン・ザガミです。彼はまた、モンテカルロのフリーメーソン執行委員会の元メンバーであり、フリーメーソンの 33 階級でもあります。彼は悪名高い P2 ロッジの上級メンバーで、明らかにされているように、このロッジは反逆的な組織で、フリーメーソン、バチカン、CIA とつながりのある人物が関与し、イタリアにファシスト国家を作ろうとしています。

ザガミ氏は、スコットランドとシチリアのイルミナティ貴族の血統に生まれ、幼少のころからイルミナティ教団に関わってきたと主張している。同氏は『[イルミナティの告白](#)』という本を出版しており

、その中でイルミナティの儀式や儀礼について説明し、イルミナティの欺瞞の網と世界支配の全体像を示している。同氏は、自身の告白は「残念ながらほとんどの人が存在しないとみなし、いわゆる学者らによる嘲笑の対象でさえある現実を明らかにする試みだ。学者らは秘密結社自身によってしばしば支配され、操作され、エリート層に代わって真実を根源から封じることに成功している」が、多くの場合、その事実について全く知らないままであると述べた。

「実際、バイエルン・イルミナティ団がアダム・ヴァイザウプトによって創設され、西洋の入信システムの中では短命だったというのは事実ですが…」この印象的で有益な[ビデオをご覧ください](#)。

マフィアはメイソンから来ています。

ザガミによれば、欧州連合は純粋なマフィアである。マフィアという言葉はメイソンという言葉に由来しており、フリーメーソンの創作である。イルミナティの宗派はオカルトや性魔術サークルで活動し、元テロリストから原理主義カトリック教徒まで幅広い人々を団結させ、宗派、新興宗教、国家機密、その他利益と権力のために手に入るあらゆるものを操作しようとしている。

2 大プレーヤー、一方のバチカンともう一方のユダヤ人口ビーは、全人類の運命を賭けて毎日チェスのゲームをしています（強調は原文のまま）… イルミナティ ネットワークの宗派の多くは、オカルト儀式や魔術を利用して、彼らの罠に陥った貧者や無知な人々を利用して金持ちになっています。

悪魔の慣習にどっぷり浸かっている者もあり、場合によっては、信者に人間の犠牲を勧めるよう働きかける。この種の組織は少数派だが、通常は上流社会の非常に影響力のある人々で構成されており、権力の座にあるため、このような恐ろしい行為で訴追されることはない。イルミナティ同胞団のメンバーは、裏切り、欺瞞、嘘、殺人

、麻薬密売、性的奴隷、違法な武器取引の世界で活動しており、すべて新世界秩序の名の下に行われている。

金融システム全体が彼らのサービスによる巨大なポンジー・スキームであり、答えのない疑問は、近年多くの高級銀行家が「自殺」しているように、内部告発者が名乗り出てすべての腐敗を暴露し、信頼の喪失と金融システムの崩壊につながることを大手銀行が恐れているのか、ということだ。

「あなたが知っている人生は嘘です。社会は檻であり、欺瞞の巣窟です。あなたの仕事は自発的な奴隷です。あなたが見るテレビは、批判的思考ができないように設計されており、あなたのリーダーが主張する自由と民主主義そのものが幻想に過ぎません。」

議題:

300人委員会の計画は、彼ら自身の宗教/教会と彼ら自身の通貨システムによって管理される世界統一政府です。彼らは、私たちを「役立たずの食い物」と呼ぶことを好む彼らの最も邪悪な目的を達成するために、ケムトレイル、HAARP、遺伝子組み換え作物などを利用しています。 トランスヒューマニズム、ワクチン 彼らの意図は、私たちの現在の社会経済構造を完全に破壊し、解体し、彼ら自身の計画に置き換え、私たちが知っているように人類を破滅させることです。

1865 年頃、アメリカ南北戦争の前後に、三百人委員会、イエズス会、および 13 の教皇血統家が、アメリカ合衆国に影響力を及ぼし、支配権を取り戻そうと公然と試み始めた。英国王室は、以前イングランド全土で行っていたのとはほぼ同じ方法でこれを達成した。つまり、土地、資源、および財政の支配を通じてである。JP モルガン、ジョン D. ロックフェラー、アンドリュース・メロン、ポール ウォーバーク、EH ハリマンなどの富豪たちと手を組むことによって（彼らの多くは戦争努力の一環として防衛請負業者として活動する

ことでかなりの富を築いていた)、同じ計画が再び実行された。つまり、戦争とその後の再建を通じて、奴隷労働の搾取を伴う巨額の富を蓄積するが、今度は米国で実行された。ちなみに、モルガンとウォーバーグは、英国ではロスチャイルド家のアメリカ人代理人であった。

ロスチャイルド家や英国の君主のような人々が、一般大衆を「平民」や「役立たずの食い物」と呼ばれる取るに足らない奴隷とみなしていたことは、よく記録に残っています。この時点から、ごく少数の人々がヨーロッパの膨大な資源、土地、財政を支配し始めました。大衆は壮大なチェス盤の駒の役割を演じ、エリート層のニーズに応えながら、カーテンの裏で何が起こっているのかをまったく知らずに幸せに過ごしました。

これが操作の仕組みであり、銀行、株式市場、あるいは単に詐欺にすぎないものを含む国際金融の世界で、世界中で毎日行われている。人々が自信を持つと、彼らは購入や投資を行い、経済は拡大する。自信を失うと、彼らは購入や投資を行わなくなり、経済は縮小する。必要なのは、陰謀団に支配された金融スポークスマンの悲観的な予測、あるいは経済困難に関する噂の流布だけで、一夜にしてトランプのトランプは崩壊する。陰謀団のメンバーは、このことのエキスパートである。

彼らとその銀行カルテルは、1800年頃からのほぼすべての戦争で、双方に資金を提供してきた。その戦争は、政府、軍、諜報機関にいる彼らのエージェントが操作して起こしたものだ。このため、数億人の命が失われ、第一次世界大戦と第二次世界大戦だけで7,500万人が犠牲となり、戦争ローンの債務返済を通じてカバールが政府と国民を支配することができた。戦争で国が破壊されると、カバールの銀行カルテルは再建のためにさらに多くのお金を貸し付ける。ローンの利子支払いによって、私たちはみなカバールの奴隷になる。カバールは防衛企業も所有しているため、防衛企業に莫大な利益で

兵器を販売し、政府へのさらなるローンが必要となる。**カバールが戦争を望まなかったら、戦争は起こらなかつたらう。**

地球を完全に支配するという彼らの計画は、他の仲間の背後に彼らの操作を隠すことによって大成功を収め、彼らは糸で操られる操り人形のように人間をコントロールし、何世紀にもわたって裕福な支配者や闇の支配者となってきました。

目覚めた意識ある世界の観察者の目には、ハザール人が支配する米国政府は、この世界的な暴政の先頭に立っています。しかし、世界の他の大国、特に西側諸国からアメリカの行動に対する批判を見つけるのは非常に困難です。その理由は、これらの傀儡政権もまた、アメリカを主要な軍事力として利用しているのと同じ影響力によって支配されているからです。

しかし、簡単に征服できない巨大な国であるロシアは批判の声を上げ続け、そのため、反対勢力であることの結果に直面しなければならなかつた。

幸いなことに、政府への不信感は最近高まっている。イラクの「大量破壊兵器」や「アサドの化学兵器使用」、そして「イランの核兵器」といった政府の嘘は、他の政府や一般市民によって嘘として認識されつつある。これらの嘘は、国々を破壊し、他国を破滅で脅すために使われ、**世界を絶えず混乱させてきた**。しかし、これらの嘘は、引き起こされた混乱を相殺する利益を決してもたらさない。ワシントンのいわゆる友好関係は彼らの要求に従うことを要求しており、多くの政府は彼らの友好関係は高い代償に見合わないと結論づけている。

バチカンは犯罪者の巣窟だ：

ローマ教皇庁とバチカンは、地球上のすべての国の政府を、大文字で同じ名前を持つ国家企業に欺瞞的に変換し、海洋とローマ教皇庁

の国際管轄権の下で活動し、これらすべての詐欺的な操作を合法で架空の現実に偽造することに尽力してきました。

今、この信頼関係の崩壊を正し、すべての企業国家の意図的な経営ミスを止めるのは、聖座とフランシスコ教皇の唯一の責任である。なぜなら、彼らこそが、自らの怪物的創造の第一の責任だからである。

彼らは、生きている私たち国民が彼らへの借金を返済する責任があるかのように装い、同時に、銀行カルテルに略奪される大文字の同じ名前の信託会社を詐欺的に設立しました。真実は、この混乱を引き起こした者たちに責任があるということです。**彼らは単に欺瞞的に類似の名前を使用し、私的な利益のために公職のように見える地位に就いているだけです。**

複雑な詐欺スキーム:

連邦準備制度理事会と中央銀行は、法人化された国家を破産のパスルーとして運営し、人々の資産とそれぞれの地上国家に基づいて、意図的に巨額の信用を進め、この詐欺計画を利用して私たち国民に対する秘密の絆を確立しています。私たちの財産と資産は、全体的な詐欺の一部として担保として機能し、人々の資産と信用を奪い、陰謀団の犯罪者の利益になるように設計されています。この計画のために、彼らは文字通り人々のアイデンティティを盗み、私たちの名前を使用して[会社を設立しました](#)。各個人の所有権と管理権。

彼らは詐欺計画を複雑かつ長期化し、偽装工作という欺瞞的な隠れ蓑で隠蔽し、数十年、さらには数世紀にわたって、途方もない規模で実行される儲かる詐欺計画を生み出した。

連邦準備銀行と中央銀行は、何百万人もの個人口座を、技術的には企業請負業者の口座に、単に生きている人物の名前をつけただけの企業口座に違法に変更しました。これにより、銀行が中央銀行の口

座に違法に変更したこれらの口座を、開示することなく差し押さえることが容易になります。最終的に、これらの不正に取得された口座は IMF の資産に変換されますが、これらすべては人々の知らないうちに、または同意なしに実行されます。

幸いなことに、ドイツ人は、自国が本来あるべき主権国家ではなく、ワシントンDCの企業従属国であり、アンゲラ・メルケル首相はこれらの詐欺師たち、彼らの経済的利益、そしてローマ教皇庁全体の利益に仕えており、もちろんドイツ人の利益には仕えていないことを理解し始めている。

ローマ教皇庁：

法人の悪用は続いており、伝説的な規模に達しているが、教皇庁からは、その支援の下で犯罪行為を公に非難することなく生み出されたこれらの団体の虚構性を明らかにする包括的な声明はいまだになく、それらを処罰、規制、または清算するための目立った取り組みもない。

ローマ教皇庁は、人類と人類の合法的な政府に対する違法かつ不道徳な行為が1800年代から続いており、これらすべての秘密の目的が詐欺と欺瞞によって達成されていることについて、約10年間にわたって公式に報告を受けてきました。

違法に設立されたこれらの企業はすべて、彼らによって自発的な請負業者として誤って表現され、誤解されてきた何百万人もの罪のない人々に害を与えることなく、清算されなければなりません。**残念ながら、多くの人々は、自分の名前と資産で何が行われたかをまだ知らず**、反応する機会も与えられていません。

これらの邪悪な男たちが何の抵抗もなく行動を続け、毎日より多くの罪のない人々を事後共犯者として罠に引きずり込み、さらに多くの人がこの嘘のシステムの犠牲者になるのは、教皇の裁量次第です。

イエズス会とローマカトリック教会は世界に対して次のように命じています。

イエズス会が支配するバチカン、西洋の企業国家の唯一の所有者です。フリーメーソンを通じて悪魔がバチカンを所有し、教皇は悪魔の奴隷です。カトリックは、おそらくこの10年間で遅かれ早かれ永久に根絶されるでしょう。歴史を通じて、悪魔的ルシフェリアンのイエズス会は戦争と大量虐殺と結びついてきました。イエズス会はフランスやイギリスを含む多くの国から正式に排除されましたが、スペインやイタリアでは依然として広く存在しています。

研究者たちは、イエズス会がキリスト教の真の精神的指導者であると主張している。

新世界秩序。彼らが米国大統領に選んだのはポール・ライアンであり、それが教皇が2015年10月にライアンを下院議長に据えるよう要求した理由である。なぜなら、バチカンは米国株式会社の唯一の所有者であり、同社は2012年12月に信用供与機関である連邦準備銀行の債務不履行に陥り、2015年8月に国際破産から脱却したからである。

すべての国家法人はローマ教皇庁によって創設されています。これを教皇にまで遡ることは問題ありません。同時に、世界のほぼすべての政府とその機関は法人であり、ローマ教皇庁と結びついており、最終的には教皇庁の管理下にあります。イエズス会士であり、教皇と教皇庁の指導者として陰謀団によって選ばれた傀儡教皇フランシスコは、基本的にこれらすべての「政府」とその下部法人を世界中で所有し、運営しています。教皇は、この犯罪的詐欺システム全体の責任者です。

イエズス会とローマ教会：

イエズス会とローマ教会は、地球の本当の歴史についてのおとぎ話をでっち上げて、歴史を改変し、残りの部分を隠蔽してきました。

そのような嘘の 1 つは、マグダラのマリアに関するものでした。彼女は実際にはイエスの妻であり、イエス 2 世ユストゥスとヨセフという名の 2 人の息子と、タマルという娘を産みました。これはローマ教会によって抑圧されました。

教会は、自らの目的に沿うように物語を変えるために、1600年に科学者を殺害する手続きを開始しました。

聖杯またはサングレアル (聖杯) すべてはイエスの血と、誰が誰の子孫であるかという真実についてです。ロスチャイルド家や君主家を含む特定の血統について、多くの人が虚偽の主張をしてきました。

RH マイナスの血液はキリストから来ており、バスク人の大部分がこの血液型であると信じている人もいます。イエスは、私たちが本当は何者で、何者であるかを啓蒙するために人類に送られた数少ない使者の一人で、私たちが精神的に成長するためには、この情報を理解し、地球上のネガティブなものを追い出さなければなりません。

現在、私たちの地位を回復し、犯罪陰謀団によって私たちに何が行われたかを教える大きな変化が起こっています。犯罪陰謀団には、ドラコ・レプティリアン、グレイ、そしてこれらの闇の存在によって意図的に私たちから隠されてきた宇宙の他の生き物が含まれます。フランシスコ法王は最近、彼の神はルシファーであると説きました。

地球上では、光の労働者が多くの真実を回復し、地球上のすべての人々が主権者であり、そのように扱われるべきであると宣言した西暦300年のサングレアル条約を修正しました。

これは、何世紀にもわたって世界中の人々に損害を与えてきた偽のエリートと奴隷詐欺の終焉となるでしょう。 - 科学者たちは、何

千年も前に核戦争があり、その結果中東にはまだ少量の放射線が存在していることを知っています。

「未知との遭遇」のような映画は、エイリアンによる誘拐や、ビッグフットやその祖先のような多次元の生き物の存在、その惑星マルドゥクなど、実話である。消滅し、現在は小惑星帯を形成しています。

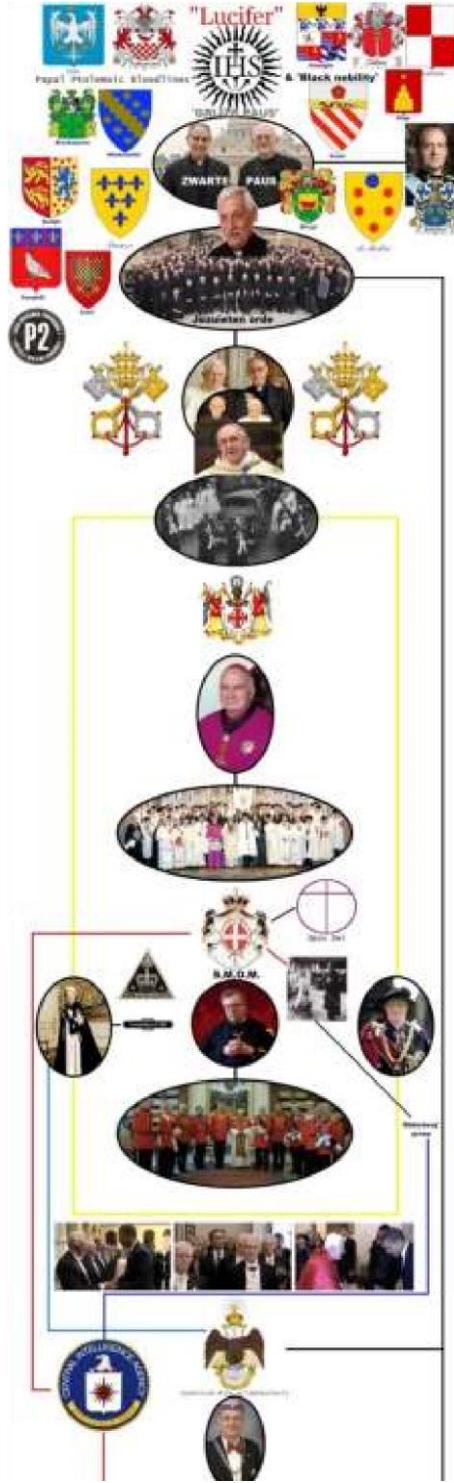
陰謀団は、今日のロシア叩きのような問題を作り出してグループ同士を戦わせる「分割統治」戦略を使い、第3次世界大戦で人類の破滅をもたらそうとしている。

幸いなことに、2013年のサウスカロライナ州チャールストンへの核攻撃や、地球をこの漏斗に押し込むワームホール（CERN）を開く最近の試みなど、彼らの計画の多くは阻止されています。

近い将来、私たちの歴史の真実が明らかになると、多くの人が驚愕するだろう。

ディープステート階層:

ローマ教皇とその戦争犯罪者たち、中にはユダヤ人を装う者もいたが、



現実にはハザールマフィア、王族、ナチス、小児性愛者である彼らは、実は悪魔主義者です。彼らはバチカン、ロンドン市、ワシントンDC、そしてニューヨーク市にある国連都市国家に役職を持っています。この情報は、明らかな理由から匿名を希望する内部関係者から得たものです。

イギリス女王、ロスチャイルド家、ブッシュ家、クリントン家、ロックフェラー家、ローマ法王、隠れたイエズス会階級など、絶対的な権力を持つ人々は皆、一つの大きな幸せな血のつながった家族です。彼らは皆、お互いにいとこ、甥、叔父、姪です。私はこれらの人々の何人かを知っているので、騙されないでください！

彼らはメデューサのようで、1つの複雑な脳にたくさんの小さな蛇の頭が付いています。主要人物は公の目に触れることすらなく、ピラミッドの頂点にいるのは黒い貴族、古代エジプトのプトレマイオス朝の支配者、サトゥルナリア兄弟団、「ゾロアスター教の本当の13の血統」として知られています。イルミナティ」。

犯罪一家はイエスの団体、イエズス会、十人高等灰色評議会、黒の教皇、白の教皇、そして世界中のすべての王国を含むよく話題になるその他すべてのものを完全に支配しています。これらは蛇の複雑な頭脳/頭を構成する一家です。自らをルシファーと名乗る半神であり、自らの神（金、石油、麻薬）を支配しています。

ロスチャイルド家はトップ 13 には入りません。もちろん、マキシマス家やパラヴィチーニ家など、他にも強力な犯罪一家は存在します。マリア・カミラ・パラヴィチーニ家はエリザベス女王よりも権力を持っています。

そうです、エリザベス女王はこれらの人々の部下です。世界で最も権力のある人物は灰色の教皇です。彼の名前はペペ・

オルシーニで、イタリアのどこか、おそらくベニスかバチカンに住んでいます。彼は、今はどちらも平民である黒と白の教皇を支配しています。灰色の教皇は常に人目につかないままです！

マルタ騎士団は、表面上は慈善団体だが、カトリック教会で最も古い軍事組織であり、同騎士団のファシスト派は賄賂、脅迫、殺人を組み合わせて世界の指導者を秘密裏に支配してきた。言い換えれば、彼らは秘密世界政府の主要な執行機関の1つである。また、多くの上層部がマルタ騎士団員であるため、彼らは米軍に対して強い影響力を行使してきた。

これらのトップの人達の多くは現在アジアに住んでおり、主に中国、インド、日本、シンガポール、インドネシア、フィリピンに住んでいます。これは何を物語っているのでしょうか？これはアジアが主導する新しいNWOを作るためでしょうか？おそらくこれが、彼らが何年もかけて米国の製造インフラをアジアと中国にゆっくりと移した理由でしょう。

現実には、黒い教皇はこの世界の大統領であり、世界の君主はスペインのブルボン王です。多くの人が信じているエリザベス女王ではありません。スペイン王はイエズス会を通してバチカンを支配しています。スペインのボルジア家がイエズス会を創設しました。スペイン王はエルサレム王としても知られています。これは、シオニスト・ハザール人の国家イスラエルを秘密裏に支配しているのは誰かについて何を明らかにしているのでしょうか。灰色の教皇がすべての「指定された」支配者です。

バチカン市国を統治するのはなぜスペイン人ではなくイタリア人なのかと不思議に思う人もいるでしょう。それは、彼らのやり方が、宣伝や世間の称賛なしに舞台裏で常にショーを運営し、500年以上も続くイタリア人のスペイン人に

対する憎しみをかき立てないようにするためです。詳細については、教皇アレクサンデル6世の恐ろしい統治の歴史と、イングランドのヘンリー8世とスペインのキャサリン・オブ・アラゴンの離婚をご覧ください。 - この短いビデオ「[死のピラミッド](#)」は、舞台裏で何が起きているかについてのあなたの見識を広げます。

私たちは国家を敵とみなすのをやめ、これらの血統と、300人委員会、ビルダーバーグ、三極委員会などのその歩兵たちを、人類だけでなくこの惑星上のすべての生命の真の敵として追跡し始める必要があります。

権力ピラミッドの頂点に必要な権力の空白を本当に作り出し、実際の変化を効果的に実行したいのであれば、これらの極悪非道な人々に対して行動を起こす必要があります。

最後に、米国の最高の政治指導者は、断然ロン・ポールです。彼は米国にとって理想的な指導者であり、最高の誠実さを備えた指導者であることを証明しました。彼について徹底的に調べてください。もう1人の道化師を公職に就かせるのはやめましょう。

ポール・ライアンや軍人は、現在の惨事の単なる延長に過ぎない。彼らは命令に従うことしか知らない。軍人がいかにマインドコントロールされ、常に盲目的に命令に従っているかは驚くべきことだ。

さて、これが最後の目覚めの呼びかけです!

「世界のそれほど王室的ではない泥棒」

贅沢な生活を送る王族は皆、NW0の計画の一部であり、根っからの腐敗者だ。彼らは忌まわしい悪魔のような存在だ。なぜ人々は彼らにへつらって旗を振り回すのか？彼らの不快な歴史の事実をすべて知っていれば、調査をすればいい。これらの邪悪な存在を有名人として崇拝してはいけない。偶然にも有名人自身もしばしば心底悪魔主義者…

ぜひ時間を取ってこのビデオをご覧ください。これはあなたにとって最も重要なメッセージです。「私たち人間がこの混乱から抜け出したいなら、私たちは力を取り戻し、より美しい世界を創らなければなりません」。今すぐ、徹底的に調査されたこの記事のリンクをすべての連絡先に転送し、この記事の重要性と緊急性に関するあなた自身の個人的なメモを添えてください。

これは将来起こることではなく、すでに起こっていることであり、ますます多くの人々が目覚めつつある今、犯罪組織は活動を加速させているということをお覚悟しておいてください。

世界の大半がトカゲの女王の支配下にあるため、王室の生活、血統、そして私たちを犠牲にして主人として楽しむ倒錯行為など、驚くほど多くの側面を掘り下げた面白いビデオです。

この動画はYouTubeから何度も削除されています。私たちのコピー、アップロード者による年齢制限付き動画、[こちらからご覧いただけます](http://vimeo.com/118724832): <http://vimeo.com/118724832> .

6. 幻想の世界

- 連邦準備制度 - 中央銀行
- お金は経済の核心

通貨制度：「史上最悪の立法犯罪」 - チャールズ・リンド
バーグ

目覚めの呼びかけ：



世界は精神病院と化したが、社会は眠りすぎてその狂気に気付いていない。狂った夢が疑問視されないのと同じように、狂った人生に疑問を抱かない人もいる。集団夢遊病が及ぼす影響は明らかだ。何十億もの人々が眠っているため、目を覚ましている権力者、ディープステート、別名権力者 (TP TB) が有利になる。

眠っている人は簡単にコントロールされます。彼らの意識的な魂は精神的な牢獄の中に存在し、時間、労力、エネルギーを拘束されています。これらの人々は自分の意志を無視するため、自由意志をほとんど、あるいはまったく持っていません。 意識は機能するために非常に重要です。彼らは羊のように行動し、狂気から抜け出すことは決してできないようです。

て独裁のない自由な世界のために戦いましょう。この世界には一人の救世主はいません。 **大勢の人々が一斉に目覚めれば、多くの救世主が存在します。**力を合わせればディープステートは権力の座から排除できます。今日から世界を観察し始めてください。世界は暗く、崩壊しつつあると考えがちですが、私たちは移行過程にあります。人類はより高い意識へと移行しており、今や地球上にはネガティブなエネルギーよりもポジティブなエネルギーが多くあります。何世紀もの間、私たちは戦争、暴力、残酷さ、権力欲という古くてネガティブな意識の中で機能してきました。これが今変わりつつあります。変化はゆっくりに見えるかもしれませんが、**人類は平和、協力、思いやりへとシフトしています。** 詳細についてはここをクリックしてください。

権力者たち:

研究により、強力な勢力の世界的なネットワークが、この惑星の重要なすべての領域をほぼ完全に支配していることが確認されています。これは、インターネットへのアクセスと、多くの熱心な調査ジャーナリスト、作家、映画製作者、ブロガー、活動家、内部告発者、これらの権力グループとの自身の経験を公に語った人々の活動のおかげで、現在ますます明らかになりつつあります。 - 世界中の、そして世界の外で活動している強力な勢力があり、「内情に通じている」人々は常にこれを認識しているようです。高位の FBI 捜査官が名乗り出て、イルミナティ、つまりディープ ステート、別名犯罪陰謀団がこの世界を支配していることを確認しました。

すべての人ができる限り前向きで楽観的であり続けるように努めることが重要です。しかし、あまりにも多くの人が毎晩テレビをつけて、誤解を招くような画像でメディアの嘘を教え込まれ、怒り、不安、恐怖に基づいた現実をもたらし主流メディアの物語を無意識のうちに受け入れています。目と心を開いて、私たちの現実メディアによって操作されており、そのメディアは、君主制を持つすべての国の「称賛され、賞賛されている」王族を含む多くの犯罪陰謀団によって操作され、マインドコントロールされていることを認識してください。

ロイヤリティ:

英国王室は、実際にはドイツのザクセン=コーブルク=ゴータ家であり、1917年に英国が同家の別一派と戦争していたときに、名前を「ウィンザー」に変更しました。ベルギーの王室もザクセン=コーブルク=ゴータ家であり、オランダの王室であるオラニエ=ナッサウ家も同様にドイツ系です。このつながりは、[元ナチスSS将校のベルンハルト・フォン・リップペ=ビースターフェルト王子が](#)、当時の将来のオランダ女王ユリアナと結婚したときにさらに強固になりました。実際、ドイツの血統、または古代シュメール、バビロン、

エジプトから数千年をかけて旅してドイツに起源を持つ血統は、一般的に世界的なアルコン血統ネットワークの対象です。秘密裏に交配されているため、慎重に編集された独自の遺伝子記録がなければ、誰が誰からどこから来たのかを正確に知ることは不可能です。彼らはこれの管理、アーカイブ、簿記、記録保持に夢中になっています。この特徴は、爬虫類の遺伝子と関係があり、その遺伝子は、誰が「我々の一員」であるかを記録するために、自分たちの遺伝子の系統を細かく追跡する系図の図書館に構造と秩序を求めます。それらの記録を見ることができれば、王族、そして政治、銀行、ビジネス、メディア、エンターテインメントの富裕層や有名人の真の共通性と親の起源に驚くことでしょう。

ロスチャイルド・ハザール血統:

ロスチャイルド家のようなシュメール、バビロニア、ハザール血統は、公式の武力および非武力による生殖を利用して王族や貴族の家に侵入してきたと、バーク貴族誌の編集者レスリー・ギルバート・パイン氏は言う。予想通り、ロスチャイルド血統はこの点でまさに最前線に立っている。

当初ゴールドシュミット家と呼ばれていた一族は、ロスチャイルド家の側近であり隣人であったドイツからイギリスに移住した1895年頃、名前をゴールドスミスに改めた。ロスチャイルド王朝の創始者であるマイヤー・アムシェル・ロスチャイルドは、1773年にゴールドシュミット家や、シフ家、オッペンハイマー家、ウォーバーグ家（いずれもシオニスト）と会い、国家を破産させ、金融を通じて世界を支配する計画を練ったと伝えられている。

すべてが一つにまとまっています。DNA 科学は時間の幕をはがし、これらの人々の中の蛇を明らかにしました。今日「ユダヤ人」と呼ばれる人々は、聖書が「あの古い蛇、悪魔」と表現する邪悪な存在の弟子そのものです。最初の千年紀の初期の世紀から、東ヨーロッパのハザール人は悪魔的な「蛇の民」として知られていましたが、

現在、イスラエル国家は、その人々がまさにハザール人であることを認めています。彼らは悪魔を崇拝する人々であり、一般的に悪魔主義者と呼ばれています。 [詳細はこちらです。](#)

悪魔主義者：

多くの政治家や、システム全体で権力の座にある他の人たちも、出来事や結果を完全にコントロールするために、これらの悪魔主義者によってマインドコントロールされています。外見上、つまり一般の人が見る側では、彼らはまったく普通ですが、本当の態度でいると、彼らはまったく違う人々です。このマインドコントロールのプロセスの発明者は、ナチスの「死の天使」ヨーゼフ・メンゲレであり、彼は米国への逃亡を助けられました。

南米は、アメリカの諜報機関とローマ教会を統制するアルコン血統ネットワークによって支配されている。彼らは、アウシュビッツの「収容所の医師」の助けを求め、強制収容所のユダヤ人の子供たちに対して行った、不快な遺伝子とマインドコントロールの研究を継続したかった。国境は[アルコン犯罪陰謀団にとって何の意味もない](#)。彼らは一つの大きな「地球家族」なのです。

「母なる女神の告白」の中で、アリゾナ・ワイルダー（旧名ジェニファー・グリーン）は、生まれたときから、地球上で悪魔の儀式を行う最も重要な女性3人のうちの1人になるようにマインド・プログラムされていた。彼女のプログラム作成者はナチスのヨーゼフ・メンゲレだった。彼が1980年代後半に亡くなったとき、彼女のプログラムは崩壊し始めた。[デビッド・ワイルダーとのビデオインタビュー](#)で [アイク](#)は、グラミス城とバルモラル城で行われた人身御供の儀式について説明している。そこでは、女王、皇太后、その他の王室メンバーが悪魔の儀式で子供たちを犠牲にしていた。彼女は、ヨーロッパの他の王室メンバー、ヘンリー・キッシンジャー、ジョージ・ブッシュ、ビル・クリントン、ロックフェラー家やロスチャイルド家のメンバー、そして米国と英国の最も有名な人々の多くについても同様の経験について語っている。アリゾナ・ワイルダーの暴

露とそれが日常生活に及ぼす影響を聞いた後では、あなたの世界観は二度と変わることはないだろう。

彼女は、メンゲレ自身やイギリス女王、母、フィリップ王子、チャールズ皇太子、マルガレータ王女、父ジョージ
ブッシュ氏、その息子のボーイ・ジョージとジェブ・ブッシュ氏、ジェイ・ロックフェラー氏、JFK暗殺にも関与したとされるジェラルド・フォード大統領とリンドン・B・ジョンソン氏 ([ビデオ参照](#))、元国務長官のマデレーン・オルブライト氏、英国首相のトニー・ブレア氏、エドワード・ヒース氏、故ギ・ド・ロスチャイルド男爵を含む多くのロスチャイルド家。 [こちらをクリックしてください](#) [フルバージョン](#)。

多くの人、いやほとんどの人にとっては、これは信じ難いことだろう。しかし、信じ難いということは、それが真実ではないということではなく、ただ、それを信じるができない心は、それを信じるができないということに過ぎない。真実は信念から現れるのではなく、真実の認識は信念から現れる。 [1998年の映画「ブレイド」](#) 実際に起こっていることを正確に描写します。

数百万の非公式な一族の子孫の一人であるフィリップ・ユージン・ド・ロスチャイルドは、デイビッド・アイクと詳細な書簡を交わし、犯罪陰謀団の階層構造について説明していた。

最前線にいるのはヨーロッパの王族で、フィリップ王子はデイビッド・アイクが「レプティリアン」と呼ぶ彼らの生物学的な子孫の筆頭です。彼のすぐ下には、私の家系（ロスチャイルド）の男たちがいて、兵站と作戦を担当する大臣たちの宮廷のようです。オランダ、スペイン、デンマークの現在の君主、そしてオーストリアのさまざまな古い貴族の家系（ハプスブルク家）は、オカルトの権力構造とこの壮大な陰謀において次にいます。

人類が成長し、自分たちと自分たちの現実を支配する力の現実と完全な悪に直面するまでに、あと何人の子供と人間が苦しむ必要があるのでしょうか？

英国王室は、ヨーロッパやさらに遠くの王族の血統と同様に、悪魔崇拝、小児性愛、そして深い悪意を実行するためのオカルト知識の操作に基づいて設立されました。彼らは、政治、銀行、企業、メディアにおける血統の「ダークスーツ」表現と連携して活動しています。彼らはすべて、小児性愛、悪魔崇拝、麻薬密売、殺人の巨大なネットワークの一部であるか、それに関与しています。これがアルコンのメンバーの病的で墮落した世界です。エリートと呼ばれることを好む血統。

連邦準備制度理事会 - 中央銀行：



連邦準備制度は、決して連邦政府のものではなく、準備金も持っていません。また、銀行でもなく、民間所有の組織です。1913年、ウッドロー ウィルソン大統領が America INC. の CEO に就任しました。彼の政治キャリア全体は、基本的にエドワード M. ウィルソンという人物によって指揮されました。1913年、ウィルソンは2つの極めて重要な出来事を許した。米国民に所得税を課し、連邦準備法を可決したのだ。連邦準備法は、連邦政府から国の通貨の管理権を奪取した民間銀行機関である。所得税は、勤勉な国民から金を盗み、すでに潤沢な私腹をさらに肥やすために犯罪陰謀団が発明したものだ。多くの人が推測するように、この税金は社会のために使われているわけではない。単なる窃盗だ。

所得税は違法です：

国民に所得税の支払いを義務付ける法律を見つけようと決意したプロデューサーのアーロン・ルツは、証拠探しの旅に出発しました

。この驚くべき政府調査は、連邦準備制度が不正に設立された 1913 年以来、アメリカにおける市民の自由の組織的侵害を暴露します。2 人の米国下院議員、元 IRS 長官、元 IRS および FBI 捜査官、税理士、作家へのインタビューを通じて、ルッソは、貨幣の創出、連邦所得税、および 2008 年 5 月に法律となり、無線周波数識別 (RFID) 技術を導入した国民 ID カードの関係を明らかにします。これは、差し迫った警察国家の前兆なのでしょうか?[この映画をご覧ください](#) そしてあなた自身の結論を導き出してください。

チャールズ・A・リンドバーグ・シニア、1913年「大統領がこの法案に署名すれば、金融権力の目に見えない政府が合法化されることになる...この銀行および通貨法案によって、史上最悪の立法犯罪が犯されることになる。」

「連邦準備制度は、1910年11月にJPモルガン、ウィリアム・ロックフェラー、ポール・ウォーバーグ、ロスチャイルド、クーン・ローブ・アンド・カンパニーなど、世界の最も裕福な個人や銀行のトップレベルの代表者が出席した秘密会議で設立された民間銀行カルテルに過ぎません。この会議には、ネルソン・W・アルドリッチ上院議員と財務次官補のAP・アンドリュースが出席しました。ウォーバーグ自身もその会議に出席しており、連邦準備制度が民間銀行のカルテルであることを米国国民に知らせるのではなく、政府機関であることを国民に納得させることが重要であると述べたとされています。」

この捏造は、米国政府が政府の運営を継続するために、この民間金融機関から利子付きで事実上借金をしなければならなかったという主張を支持するものだった。1907年の金融恐慌は、この思い切った措置を取るための火に油を注ぐだけのものだった。

史上最悪の立法犯罪」と呼んだ。

「1913年以前、米国の富の大部分は関税、つまり貿易品に対する税金（VAT）からもたらされていました。国のインフラは強固で、国民の所得にいかなる種類の税金も必要ありませんでした。この税金は実際、米国民に大きな圧力をかけました。連邦準備制度の設立と新しい所得税法の2つの行為は、主流の歴史では異なる形で描かれていますが、国から金を吸い上げ、最終的には国民の手から富を奪おうとする試みでした。」

100年後、こうした立法上の犯罪にもかかわらず、人々はまだアメリカンドリームについて語っている。このコメディアンによると、それを信じるには眠っている必要があるという。コメディアンのジョージ・カーリンが[この3分間のクリップで説明している](#)。政府はあなたたちのことを気にかけていないということ。

連邦準備制度の部分監査

主流メディアでほとんど報道されていないもう一つの話は、2011年7月によりやく実行された連邦準備制度の部分監査の結果に関する話である。この監査は何年もかけて準備されたもので、中央銀行カルテルは必死に抵抗した。この監査の結果は、米国政府史上最大の嘘の一つを明白に明らかにしている。2008年以降に銀行に与えられた救済措置の総額は**26兆ドル**（！）であり、それ自体が驚異的で衝撃的な金額であり、連邦政府が救済措置の実際の金額は**1兆ドルをわずかに超える**と国民に知らせるとい**う嘘を犯した**後で、**このことが発覚したのだ**。この情報は、この調査を主導したバーモント州のバーニー・サンダース上院議員、アラン・グレイソン下院議員、ロン・ポール下院議員の3人の高官のウェブサイトで確認されている。

これは、米国連邦政府が連邦準備銀行カルテルと提携して国民に対して大規模な窃盗を行っており、それについて嘘をついていることを改めて証明しています。大統領を含むすべての主要銀行の指導者

と連邦政府の大半は、窃盗と詐欺の罪で裁判にかけられるべきです。これらの泥棒にその行為の責任を負わせる力は、今や私たち国民の手にかかっています。

そして、これは氷山の一角に過ぎません。次の章では、金融システムの本質、バチカンとイエズス会の役割に関するさらに深い研究が概説され、連合軍によって略奪された古代世界の金、貴金属、宝石、ダイヤモンドの膨大な量を含む「ブラックイーグルトラスト」と呼ばれる金融スーパーファンドの存在など、衝撃的な暴露が示されています。この基金は過去70年間、世界政策を強制するために使用されてきました。しかし、西側の世界的な犯罪陰謀団は、現在、アジア世界の強力な勢力によって責任を問われ、返済を求められています。慈悲深い秘密結社であるアジアホワイトドラゴン協会（WDS）は、すでに米国連邦準備制度に対する訴訟に勝訴しています。[連邦準備制度はアジアドラゴンファミリーに敗訴しました](#)。訴訟額は1兆ドルを超えています。もちろん、これは公表されていません。どこにも。しかし最も重要なのは、裁判所の判決で「アジアの金はすべてその合法的な所有者に返還されなければならない」と述べられていることだ。

誠意を持って検討させていただきます。

未来はあなた次第です… あなたは自由を選びますか… それとも奴隷を選びますか？ 選択はあなた次第です。なぜなら、権力を持っているのは私たち、国民だからです。政府を恐れて生きるのはやめましょう。政府は召使であり、私たちが主人です。あなたはどうしますか？ - 簡単です：市民的不服従です。全国規模のボイコット、デモ、ストライキに参加する用意をしてください。議会に法的権限を行使させて、FRB、ECB、その他すべての中央銀行を閉鎖させ、国民が「義務付けられている」所得税による人々の労働力と富の盗難（完全に違法）を止めさせましょう。ECB とその他すべての中央銀行を閉鎖し、世界政府への探求を止めることに同意する宣誓供述書に署名しない限り、いかなる政治候補者も支持しないでください。 -

国民 ID カードを受け取らないでください。次のステップは、電子 RFID チップを埋め込むことです。コンピューター投票を終わらせてください。これは不正です。そして、主流メディアのMSMに騙されないでください。

世界がどこへ向かっているのか知りたいですか？ - ベンジャミン・フルフォードが詳細を説明します。

2 つの選択肢 - 選択はあなた次第です：金融崩壊が迫る中、G7 諸国の最高権力層に危険なリーダーシップの空白が生じています。システムを完全に再起動しない限り、経済崩壊、大規模な飢餓、無政府状態、内戦が起こるでしょう。

逆に言えば、システムが再起動できれば、世界各国の生活水準は1年以内に2倍に増加する可能性がある。

鍵となるのは、世界の国々をバビロニアの債務奴隷状態から解放することです。 [ここで読んでください。](#) ^②

見るべき重要なビデオ 3 つ：

以下は、私たちの多くが眠っていたために世界がどのように腐敗してしまったのかを説明する、非常に教育的で見る価値のある 3 つのビデオです。

- [アーロン・ルツのドキュメンタリー「アメリカ 自由からファシズムへ」](#) 国民に所得税の支払いを義務付ける法律を見つけようと決意したプロデューサーのアーロン・ルツは、証拠を探す旅に出発しました。この映画の全体的な議論と結論は、説得力にあふれています。この映画を客観的に見る人にとって、提示された事実と証拠に異議を唱えるのは非常に難しいでしょう。そのため、すべての国の政治的および経済的利益は、誰もこの映画を観ないことを望むでしょう。

- FBI長官は「イルミナティがすべてをコントロールしている」と語る。[嘘に気をつけろ](#) FBI長官テッド・ガンダーソン（1928年 - 2011年）は、米国連邦捜査局の特別捜査官で、ロサンゼルスFBI長官を務めていた。息子によると、ガンダーソンはマリリン・モンロー事件やジョン・F・ケネディ事件を担当していた。ガンダーソンはベストセラー本『どこでも誰でも見つける方法』の著者でもある。ガンダーソンは「イルミナティはサイエントロジーを含め、すべてをコントロールしている」と述べている。ブッシュ、HIV、その他を見てください。これは、最も頑固な不信心者を謙虚にさせる最高のビデオです。 JFK暗殺から911まで、すべては「[金持ちのトリック](#)」。このビデオは、私たちの社会の何が間違っているのか、そしてそれを修正するために何ができるのか、何をしなければならないのかを深く理解するために、すべての大人が見るべきです。「金持ちのトリック」はおそらく少し間違っています。問題の人々は金持ちであるだけでなく、委員会300またはイスラエルの犯罪陰謀団によって指示され、制御されている新世界秩序を実行したいグローバリストのシオニスト至上主義者です。パレスチナ人は根絶されなければならない。第一次世界大戦の頃から現在に至るまで、この傑出したドキュメンタリーでは、ジョン・F・ケネディ大統領が暗殺された経緯と理由が説明されている。責任ある国民は皆、この映画を観て、過去に何が起こったのか、そして今日の世界がどのように運営されているのかを理解し、知る義務がある。

現実かファンタジーか:

これは現実と空想の違いがわかる人がほとんどいない世界です。あるいは、違いがないのかもしれませんが。

ほとんどの人は、自分たちが本当の民主主義の国に住んでいないことに気づいていません。世界の他のほとんどの国と同じように、リーダーは選挙で選ばれるのではなく、選ばれるのです。何世紀にもわたって、邪悪な金の支配者がすべてを支配してきました。人々の投票は意味がありません。スターリンは、このことをすべて知っていて、こう言いました。

「投票する人は何も決めない。投票を数える人がすべてを決める。」

RKM陰謀団は銀行家を通じて米国政府と西半球の他のすべての国を支配し、世界の通貨と金融システム、メディア、さらには宗教、そして重要な他のほとんどすべてのもの。中央銀行の役割に疑問を呈する勇気のある人は、米国の選挙の政治舞台から排除されました。ただし、賢明にもシステムに疑問を呈したことがなく、ロスチャイルド・ハザール・マフィアを排除し、通貨システムを変更できる唯一の人物であるドナルド・トランプを除きます。

残念ながら、ほとんどの人がまだシステムの仕組みを解明していないため、ゲームは続くでしょう。ドナルド・トランプはアメリカ国民によって選出されました。選挙運動中の彼の独立した姿勢のおかげで、彼は、陰謀団の怒りをよそに、少なくとも部分的には大衆を目覚めさせることができました。これは、陰謀団にとって予想外のことでした。彼は、アメリカ合衆国大統領の地位を獲得しました。

これは、もし人々が一斉に目覚め、この幻想的な世界の欺瞞と詐欺を見抜くなら、大多数の人々のおかげで、必要なものが手に入るだろうということを裏付け、強調しています。そうでなければ、事態はますます悪化するでしょう。一つ確かなことは、中央銀行家たちは支配力を維持できず、廃止されなければならないということです。早ければ早いほど良いのです。

現時点では、世界は依然として一握りの犯罪者の支配下にあります。彼らは中央銀行を創設し、貨幣準備制度として知られるお金の魔法の奴隷制度を作り上げました。この制度は私たち全員を完全に支配し、奴隷化する力を持っています。なぜなら、私たちはお金を稼ぐために働かなければならず、働かなければ、食べ物、エネルギー、衣服、住居などが無いからです。社会は私たちが働き、競争することを期待しています。私たちは皆、より一生懸命働き、より多くのお金を稼ぐよう駆り立てられています。これが私たちの時間のほとんどを占めています。

私たちには、考える時間も、夢を見る時間も、創造的な衝動に従う時間ありません。やりたいこと、思いついたアイデアはすべて、たいていお金がかかります。趣味もすべてお金がかかります。このシステムによって完全に束縛されていると感じ、すべての希望を失ってしまう人もいます。彼らは、何らかの救済を求めて麻薬やアルコールに頼ります。

カバールが実際に教えている内容を研究すればするほど、その秘密の教えが西洋世界の、そして最終的には全世界の自然な社会秩序の破壊を主張していることを確信するようになります。カバールの最終目標は、地上に地獄をもたらすことです。これまで、彼らは世界の多くの国でこれにかなり成功しています。彼らは特にアフガニスタン、イラク、リビア、イエメン、ソマリア、シリアで大規模な戦争を引き起こしました。彼らは数え切れないほどの罪のない民間人、特に女性と子供たちを大量虐殺しました。

人々から奪う：

RKM 陰謀団は紙幣を使うことで、私たちから本当のお金と本当の独立を奪っています。すでにどれだけのお金が盗まれましたか？ 難しいところですが、1913年にシステムが確立されてから50兆ドルくらいでしょうか？ 確かなことは、1%の富裕層と残りの私たちの間の富の格差は、日々ますます広がっていることです。政府と中央

銀行は、嘘とプロパガンダを組み合わせた金融抑圧を通じて、信じられないほどの富を得たこの少数のエリート集団の利益のために、一般の人々の苦しみを長引かせることに成功しました。この巨大な不平等が社会不安と最終的には革命を生み出し、現在世界中で発生している問題はおそらくその始まりです。これらの不正を止めるために何をすべきでしょうか？ - 世界の主要通貨が直接的または間接的に金に裏付けられていない場合、本当に価値のあるものを購入できるようにするには、何ドル、ユーロ、円を印刷する必要があるでしょうか？これらの通貨が何らかの形で金や銀に裏付けられていなければ、最終的には印刷された紙の価値しかなくなるでしょう。これは極端な結果のように思えるかもしれませんが、実際に起こり得ることです。ですから、**人々はすぐに目を覚ますか、それとも暗い未来に直面する準備をする必要があります。**

中央銀行家たちは、紙幣やデジタルマネーが本当の富であるかのように装っている。経済に資金を注入し、借り入れをより容易かつ安価にすることで、彼らは実際に審判の日を先送りしようとしているのだ！ 中央銀行家たちは、通貨システム全体を歪めている。信用インフレが資産価格を押し上げ、それを取引した人々に大きな利益をもたらした。また、資産を所有する人々、つまり富裕層にも利益をもたらした。「1971年、給与所得者の上位10%は国民所得の33%を占めていた。2010年までに、彼らはほぼ50%を占めるようになった。一方、労働者階級のアメリカ人男性の平均賃金は27%下落した。大学教育を受けていない人にとっては、損失は壊滅的だ。彼らは実質所得のほぼ半分を失ったのだ。」

「市場もまた幻想であるようだ。そうでなければ、ダウが2000年の高値から63%も上昇しているのに、ユーロ・ダウ50種株価指数は同時期に45%下落し、新興市場は36%、ブラジルと香港は35%、日経平均は25%、上海は49%すべて2014~2015年以来下落しているのに、どうしてそうなるのだろうか。」

それは、現実を無視できる多くの有能な奇術師がいる、完全に相互接続された世界経済です。

企業収益は急速に減少し、経常収支と財政赤字は半世紀にわたり続き、9,500万人が労働力に属さず、約5,000万人がフードスタンプ受給者であり、第2四半期のGDPは1.2%（実質インフレ率を適用すればGDPはマイナスとなる）、さらに200兆ドルを超える債務が急増している…

資本主義の失敗は経済学者、政策専門家、ベストセラー作家、元財務長官らが主張するものだ。しかし、1971年以降に導入された裏付けのない通貨制度は資本主義とは何の関係もない。それは中央計画と縁故主義であり、その基準となる米ドルは本物のお金ではない。それは偽物だ。

経済の心臓部であるお金：

あらゆる経済の中心にあるのはお金です。お金は物差しです。お金は、物の価値、投資できる金額、何をやる価値があり、何をやる価値がないかを示します。お金、特にそれが得る金利は、いつ拡大し、いつ縮小するかを決定します。いつもっと頑張るべきか、いつ手を緩めるべきかを決定します。どの方向に進むべきかを決定します。世界的な銀行システムは、さらに大きな幻想です。

2006年に金融システムは破綻したが、世界中の政府と中央銀行は25兆ドルを注入し、銀行がすべての不良資産を時価ではなく満期時に評価できるようにすることで、なんとか修復した。10年後の今、金融システムは2006年よりもさらに悪い状態にある。それ以来、世界の負債は140兆ドルから230兆ドルへと65%も急増した。そしてこの数字には、さらに約2千兆ドルの未返済債務とデリバティブは含まれていない。私たちが見ている総負債は世界のGDPの30倍以上だ。しかし、これは誤った比較だ。毎年GDPの5%を貯蓄して負債を

減らすことができるということもできるが、それは非常に楽観的だろう。いずれにせよ、GDPの5%ではすべての負債をなくすのに600年以上かかるだろう。しかし、計算してみれば、世界は破綻しており、負債を返済することは決してないだろう。また、債務はゼロを超える金利で返済されることはありません。

世界中の銀行が、幻想的なストレステストを受けたばかりだ。ポルトガルやギリシャなどの国は、銀行が破産しているため除外された。基準は、イタリアのモンテ・デイ・パスキを除くすべての銀行が合格するように設定された。[この銀行が破産していることは世界中が知っていたため](#)、その結果をごまかすことは不可能だった。他の銀行については、幻想の世界では、すべての銀行が健全であるとみなされていた。銀行が不良資産を満期価値ではなく市場で評価していたら、今日、どの銀行も存続していなかっただろう。

世界的な債務バブルが最高潮に達すると、中央銀行は国家債務と金融システムを救済するために紙幣を印刷するだけでなく、未返済債務とデリバティブをカバーするためにも紙幣を印刷するだろう。これにより、通貨供給量が数千兆ドルも増加し、とてつもないハイパーインフレを引き起こすことになる。

経済活動の規模に比べて、システムに投入されるお金の量が多すぎます。ドルの在庫が膨らんでいるため、人々は通貨への信頼を失っています。その結果、企業は自社株を含む資産を購入しています。企業は経済成長に投資していません。

今日の問題は、多くの人々（FRBの政策立案者を含む）が、通貨の継続的かつ終わりのない発行は富を生まないし、経済活動を刺激することさえないことを理解していない、または理解したくないということだ。もしそうなら、今日の生活水準は上昇しているはずだが、私たちはそれがそうではないことを知っており、それ自体が政治的变化につながっている。

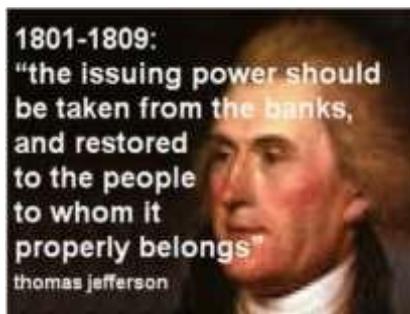
7. 腐敗した金融システム

- ・ ゴールドの重要性

通貨の発行力:

1801年から1809年までアメリカ合衆国大統領を務めたトーマス・ジェファーソンは、通貨の発行権は銀行から取り上げられ、本来あるべきところである国民に返還されるべきだと述べた。 - 金融市場は世界の金融システムを構成している。銀行やその他の金融機関が短期的にお金を借りたり貸したりする場所だ。こうした債務と信用の網はパニック時には必ずもろくなり、世界経済のある部分から別の部分に問題が広がる。理由は単純だ。この非常に複雑な連鎖の1つのリンクが壊れて特定の債務不履行になると、債権者は危険なほど資金不足に陥り、他の機関の信用を保証できなくなる。このようにして、1つの失敗の影響が金融市場全体に広がる可能性がある。

たとえば、2008年にリーマンブラザーズが破綻した後、同社が発行した数千億ドルの短期債務（そのほとんどはコマーシャルペーパーやその他の債券）が価値を失い、それらを保有していたさまざまな投資家やファンドの間でパニックが引き起こされました。このパニックにより、コマーシャルペーパー市場に融資していたマネーマーケットファンドへの取り付け騒ぎが起こり、世界の銀行システム全体にさらなるパニックが広がりましたが、リーマンブラザーズの破綻は危機を世界システム全体に伝播させる一因となりましたが、唯一の要因ではありませんでした。複数の国の投資家が、ほとんどが架空の取引から生じた同一の資産を保有し、その後、ポート



フォリオが煙のように消えていきました。通常、信用が削減され、現金が蓄えられ、それが今度はパニックを引き起こしました。

基地首都の破壊:

したがって、紙幣と電子通貨のシステムは、1つか2つの「大きすぎて潰せない」銀行が破綻しただけで破壊されました。ところで、すべての金融機関はシステムにレバレッジをかけ、相互接続されており、信用マネーの継続的な成長と流れに依存しています。ティア 1 資本のほんの一部（たとえば、レバレッジ 20 倍の銀行の 5%）が失われると、レバレッジをかけた賭けを支える基本資本がなくなるため、ビジネス全体が破壊されます。レバレッジ資産は、ティア 1 の基本資本を補充するために売却する必要があり、システム全体の資産価値が破壊され、他のすべてのレバレッジ プレーヤーも同じことを強いられます。レバレッジ プレーヤーがすべて破壊されると、レバレッジをかけていない組織が取引する相手がなくなるため、それらも崩壊します。

架空取引による詐欺:

そうなる何と何も残らない。なぜなら、その瞬間からすべての電子資産と紙の資産と負債が消滅するからだ。株式、債券、さらには貴金属の場合、状況はもう少し複雑になる。ほとんどの人は、自分が投資した企業や製品の一部に対して明確な所有権を持っていると考えているからだ。しかし、通貨システムが破綻すれば、これらの事業体のほとんど、あるいはすべてが破綻するだろう。銀行に「お金」がなくなり、商品やサービスの支払い能力のある顧客もいなくなると、ほとんど何も残らない。

「…現在私たちが暮らしている株式証明書システムでは、何十億もの株式取引が数ミリ秒で行われ、仮想株式は瞬く間に手渡されます。しかし、紙の証跡も、ガバナンスも、所有権

の移転もありません…誰かが何かを所有していることを証明するものは何もありません！何百万もの株式市場では毎日「納品失敗」が起きている。これらは

決して決済されない架空の取引です。「株を買う」とき、証券会社があなたに代わって市場に出向いて株を購入すると想定しますが、実際にはそうではありません。証券会社はあなたの電子口座に入金し、自分の目的のためにあなたのお金を使うだけです。」

「現実には、同じ株券や債券証書に対して複数の権利を持つ株主が何百万人もいます。音楽が止まったとき、あなたは、残された株式のうち大幅に希薄化された株式を得るために列に並んでいる大勢の人の一人に過ぎません。」

したがって、紙幣も電子通貨も、どちらも終盤を生き残ることはないでしょう。しかし、普通預金口座、当座預金口座、年金口座、株式、債券、貴金属保管口座も生き残ることはできません。 - 人々は操作された借金システムの中で一生を過ごし、これらの偽のドルを100万から200万稼いだ後、ほとんど何も得られない可能性があります。人々は実際には自分の家や車を所有しておらず、ハザールマフィアと悪魔主義のバチカン小児性愛者に本当に従っている政治家、メディア、学校、宗教、銀行家、裁判所によって愚かにされ、詐欺に遭っています。 - 最善の防御線は、自分で所有する物理的な金と銀です。

意識：

目を覚まして、何が起きているのか、中央銀行家、実際はギャングによる通貨発行を通じて、私たちの社会がどのようにコントロールされ、統治されているのかに気づいてください。これらの悪魔主義ギャング、つまりアルコンの血統、つまりカバールは、強い国家を望んでいません。彼らが必要としているのは、政治的混乱に参加す

る候補者であり、それによって新世界秩序、NWOの導入をより受け入れやすい、従属的な国民を持つ「福祉」に頼る従属国家です。

その計画は、失業率を上げて各国を弱体化させることです。失業率は高ければ高いほど良いというものです。現在、EU やアメリカで進行中のことです。富を奪い、権力を奪い取るのです。**犯罪組織の買収された操り人形である「選出」の指導者**たちは、この危機を解決することができません。彼らは腐敗しており、国民の生活水準を下げ、国民を政府の援助に依存させ、新世界秩序の実施をより喜んで受け入れるようにしています。

好況と不況、戦争と平和、物価上昇、そして多くのストライキさえも、エネルギーの出力、投入、そして結果に基づいて慎重に設計されている。[沈黙の武器](#) 1986年に余剰品販売で購入された中古コピー機から、1979年5月付けの極秘文書が発見されました。この文書は、知的な人々がシステムの仕組みとその目的を知ることの危険性を浮き彫りにしています。文書には次のように書かれています。

「彼らが国民に警告を伝えることができるスピードは、私たちがメディアをコントロールし、教育を破壊し、あまり重要でない事柄で国民の気をそらし続けることにどれだけ効果的であったかに大きく左右されるだろう。」

実際のところ、これが主流メディアがこれらの問題に触れない理由の証拠であり、このようなインターネットサイトがこれらの問題を報道すると、私たちは陰謀論者とみなされるのです。

サイレントウェポン:

エドワード・[バーネイズ \(1891年- 1995年\)](#) - ロスチャイルドのシオニスト「広報の父」はこう言った。

「この目に見えない社会の仕組みを操作する人々が、目に見えない政府を構成しており、それが我が国の真の統治権

力です。私たちは、ほとんど聞いたこともないような人々によって統治され、精神が形作られ、嗜好が形成され、考えが提案されています。これは、私たちの民主的な社会が組織されている方法の論理的な結果です...

「... 政治やビジネスの分野であろうと、社会的な行動や倫理的な思考であろうと、私たちの生活のほぼすべての行為において、大衆の精神プロセスと社会的パターンを理解している比較的少数の人々が私たちを支配しています。大衆の心をコントロールするワイヤーを引っ張り、古い社会勢力を制御し、世界を結びつけ導く新しい方法を考案するのは彼らです。

簡単に言えば、社会工学という静かな武器からの圧力で人類が崩壊しつつあるということだ。

一方、エドワード・バーネイズは「[プロパガンダ理論](#)は完成された

ウィッシュリスト:

以下は、1920 年から彼らが取り組んできた希望リストの一部です。すでに私たちの日常生活の一部となっているものを認識することで、彼らがこれまでにどれほど成功してきたかに驚かれることでしょう。

- 人種差別犯罪の創出
- 混乱を生む継続的な変化
- 学校と教師の権威の弱体化
- 子どもへの性と同性愛の教え
- 国家のアイデンティティを破壊する大量移民
- 過度の飲酒の促進

- 薬物乱用の促進
- 教会の空っぽ化 - あらゆる形の社会的結束を弱める
- 犯罪被害者に対して偏見のある法制度
- 政府や政府の給付金への依存、そしてその後現在起こっているようにこれらを撤回すること
- メディアの統制と低レベル化
- 家族の崩壊を促す

「国家のアイデンティティを破壊するための大量移民」、「幼い子供たちに性教育を行う」、「教師の権威を弱める」、「教会を空にする」、「メディアを管理する」といった点は、西側諸国のあらゆる場所ではっきりと目撃されている。

完全な制御:

オペレーションズ・リサーチという数学理論を理解することで、人々が問題から逃れ、現実から逃げようとする経済モデルを観察し、分析することは興味深いことです。コンピューターをプログラムして、公共経済の転覆を通じて大衆の完全な支配と従属をもたらす、最も起こりうる出来事の組み合わせを予測することが可能です。

これは2008年に強制的に行われたことであり、現在、アメリカとEU、特にギリシャ、イタリア、スペインなどの国で、社会的災害を伴うますます深刻化する経済的混乱として現れています。

ポルトガル、アイルランド、キプロスなど多くの国がこれに続く。
スペインは悪化している 緊縮財政を通じて、EUから受け取った資金は、困っている人々を助ける代わりに、住宅の差し押さえを続ける銀行の救済に使われた。 - 米国とEUの経済に依存する世界全体への影響は、同等かそれ以上に壊滅的である。静かな戦争 犯罪組織が最も直接的に支配しようとしている人間社会の領域を列挙します。これについては、次の章で詳しく説明します。

サイレントウェポン：未来は今だ：

米国企業、NASA、戦争 文書、人口削減、そしてあなた。このビデオでは、デボラが私たちの生活に影響を与えるカバールの戦略の内容を詳しく説明しています。それは私たち国民に対する彼らの静かな戦争です。93ページ- CNNは、カバールに支配されているCIA、米軍、FBI、その他の米国機関、大企業、銀行によって設定された症候群を利用しています。- 66ページ人間の人口は多すぎるため、大幅に削減する必要があります。- 45ページビーム兵器は、大気汚染、磁気、生物、噴霧、ショッピングセンターの照明塔からさえ放射される無線周波数、電子レンジ、ケムトレイルを通じて、人々を攻撃します。核の恐怖。コンピューター、テレショッピング、ポイントカードによって制御されるシステム。-大気の絶え間ない操作によって引き起こされる柔らかな日差し、人工的な大気汚染による中毒、そして人々が環境を破壊した結果であるとして組織化されています。責任は特にカバールにあります。私たちの生活が決められています。たとえば、水源が汚染されています。シェールオイル/ガスの掘削。食物連鎖はモンサントの遺伝子組み換え食品によって制御され、アルツハイマー病やガンなどの病気を引き起こしています。これは偽りの現実、つまり私たちが生きている現実の創造です。革命ではなく啓示が答えです。見てください。30分ほどかかります。

デボラ・タヴァレスは、人口減少が起こる可能性のあるいくつかの方法と、私たちが日々直面している攻撃が人々に対する武器として使用されていることを概説しています。人口減少が本当に目的であるならば、これらはまさにそのための手段となるかもしれません。- Conspiracy Con 2013 で撮影。パワーポイント形式のコンテンツは、[こちらからPDF ファイルをダウンロードして入手できます](#)。

犯罪陰謀団の権力原理:

ロスチャイルドは、権力、影響力、そして人々に対する支配の基本原理は、経済学によって最もうまく適用できることを発見しました。さらに彼は、通貨または預金ローン口座には、人々が実際の補償

ではなく、より大きな富の約束と引き換えに実際の富を放棄するように誘導するために使用できる必要な権力の外観が本質的に備わっていることを明らかにしました。人々は約束手形のローンと引き換えに実際の担保を差し出します。 - 原則として、「**権力の外観を装うと、人々はすぐにそれをあなたに与えます。**」

お金は、それが紙切れであれ、画面上の数字であれ、本質的には価値がないが、現代社会の原動力となっている。お金の最終的なコントロールは民間のカルテルが担っている。中央銀行、連邦準備制度、ECB、日銀、イングランド銀行などによって運営されています。このシステムは国民にとって有害であり、したがって、この影の民間組織がどのように機能し、その最終目的が私たちを決して逃れられない借金の山に永遠に奴隷化することであることを理解することが重要になります。これらすべては、次の章で徹底的に説明されます。まず、次の段落では、読者が**金の重要性**、その歴史、犯罪陰謀にとっての重要性、その仕組み、そして金の支配的な役割が拡大されている大規模な詐欺について理解を深めます。

ゴールドトレイル:



何千年の間、シルクロードは

ヨーロッパから中

国、インドネシアまで 4,000 マイルにわたって伸びる、相互に結

びつく貿易ルート。この陸路と海路は、世界の主要な経済的、社会的交流と交換の通路として機能しました。中国や他の東南アジア諸国で広く受け入れられていた支払い方法は、ローマ帝国全域で広く採掘されていた金でした。

1492 年以降、スペイン人はアメリカ大陸の古代先住民、つまりインカ文明やマヤ文明を略奪し、膨大な量の金や財宝を蓄えました。彼らもシルクロード沿いの貿易に積極的に参加しました。そのため、金が交換手段となりました。シルクロード沿いの貿易が何千年も続いた結果、中国人は計り知れないほどの量の金を蓄えました。中国と他の東南アジア諸国は、この時期に世界の金の 85% という驚くべき量を蓄えることに成功しました。

間違った人々：

現代では、自由貿易と金やその他の貴金属の集中化は、表面的には肯定的な概念として捉えられています。ますますグローバル化が進む社会では、商品の自由で開かれた交換が世界経済を強化します。残念ながら、そのようなシステムの管理が間違った人々の手に渡ると（当初からそうであったように）、実際には逆の効果が生じます。**つまり、国家経済を破壊し、貧しい国が富裕国にさらに依存するようになります。**

インドはアヘンを生産してイギリスに売り、イギリスはそれを中国との貿易に利用しました。大量のアヘンが中国市場に流入し、天文学的な数字である 4,000 万人の中国人が中毒者になりました。その結果、中国経済も打撃を受けました。イギリスはイギリス東インド会社を通じて、中国人が保有する膨大な量の金と財宝にのみ焦点を当て、中国のインフラを内側から破壊し、最終的には彼らの財宝をすべて掌握することを目指しました。

1839年、日本の天皇はついにこのアヘン貿易にうんざりし、貿易関係を封じ込めようとしてしました。その結果、1870年代頃、ロスチャイ

ルド家やその他の人々から資金提供を受け、彼らの代理として行動していた西洋のエージェントが日本に革命の種をまきました。最終的なターゲットは、歴史上その時点までに世界の金の85%を占めていた中国の金でした。

1894年、日本は日清戦争として知られる中国との紛争に巻き込まれ、日本が朝鮮を支配したことでアジア世界における大規模な勢力交代が起きました。中国は日本に数千トンの銀という形で賠償金を支払うことを余儀なくされました。この紛争は、その後数十年にわたって大量の中国の財宝が大量に略奪される始まりでした。

国際決済銀行：

第一次世界大戦の余波で、ヨーロッパの多くの国が、世界の他の主要国数カ国とともに、国民の財産である貴金属の保有を放棄する協定に署名しました。そして、国民の許可なく、貴金属を単一の中央集権的かつ管理された通貨システムに移すことが合意されました。金やその他の貴金属は「預金」され、各国が引き続き資産を「所有」することが保証され、そのために民間のロスチャイルド国際決済銀行、つまり「中央銀行の中央銀行」が設立され、地球上で唯一最強の民間銀行機関となりました。

「金地金、銀、その他の金属、貴金属、証券、または預託が認められているその他の商品」をBISに預託する代わりに、各国首脳は巨額の債券を付与され、その一部は10億ドルの額面を超えた。

これらの「指導者」はその後、これらの債券を決して公開されないように埋めるよう指示されました。地球上で最も強力な国の指導者たちは、このすべてを秘密裏に、地球上の自由な人々の目に触れないように行いました。この議定書には米国は記載されていません。これは、この陰謀の一部であったルーズベルト大統領のニューディール政策に従って、米国が貴金属保有を進んで放棄したという事実

によるものです。BIS の公式歴史に関する詳細は、BIS の[Web サイトの法的セクション](#)でご覧いただけます。

非公式のストーリー：

「非公式」の物語は、はるかに秘密主義的で、実際、本質的に邪悪である。それは、世界の最も強力な国の多くから金や貴金属の資産を「預託する」ための世界中央銀行を設立する計画の起草に関係しており、実際には、明治天皇の孫である日本の昭和天皇が、ヨーロッパの主要国の多くを6か月間訪問するよう招かれた1921年に始まった。歴史書が明らかにしていないのは、第二次世界大戦前に昭和天皇がヨーロッパの最も強力な国の指導者の多くと関わった本当の理由である。それは、**東南アジアから大量の金や貴金属を略奪するために、西側の寡頭政治家と秘密裏に取引を行うことだった。**

この背後にいる人々、[真の権力者たちは](#)、地球上の自由な人々の幸福などほとんど気にかけなかった。この取引が秘密裏に、公衆の目から離れて進められたのは、まさにこのためである。裕仁天皇が仲間に招かれたのは、当時、世界の金の大部分が実は東南アジアにあり、シルクロードを通じた何千年にも及ぶ貿易によってそこに運ばれていたからである。日本の裕仁天皇自身は、西洋の寡頭政治の傀儡として、窃盗や殺人によってこれらの莫大な富を手に入れる代理人として利用された。

金の没収：

ルーズベルト大統領の金没収命令は、国民に、勤勉、製造業、生産を国の通貨を測る真の要素とする不換紙幣経済構造を回復するために必要なステップとして売り込まれた。彼は金本位制通貨制度に伴う危険性について警告したが、これはアダム・スミスの著書『国富論』で述べられているのとまったく同じ考えの1つだった。この命令は当時、経済制度に秩序を回復するための高潔な試みのように見えたかもしれないが、実際には、市場から金を奪い取って連邦準

備銀行が保有する預金にしようとする大規模な人々の金の強奪と略奪だった。数か月後の 1934 年 1 月、[1934 年金準備法が制定された。](#) が可決されました。この法律により、米国の国内外の金準備の大部分の管理が、民間の犯罪組織が所有する連邦準備制度の手に集中されました。

黄金の百合作戦 - 第二次世界大戦

第二次世界大戦の大きな側面として、しばしば注目されず、ほとんど議論されることのないものの一つが、ナチス政権が戦時中に実行した大規模な財宝略奪です。ナチスが実際にヨーロッパ全土から莫大な財宝や富を略奪したことは十分に記録されており、その多くは戦後連合軍によって回収されたと言われていますが、一部は今日まで行方不明のままです。「ヒトラーの金塊 - 金！ 人間の最大の執着」をご覧ください。[この 5 分間のビデオをご覧ください。](#) 金が社会にとってどれほど重要であるかを理解する。

しかしながら、歴史家によってほぼ完全に無視されてきたのは、日本軍が中国と南アジア（合計13カ国）で行った略奪行為である。これは、第二次世界大戦中、かつてないほど積極的に続けられた「黄金の百合作戦」の一環であった。[た。](#) この戦争期間中に中国やその他の国から盗まれた金や財宝の量は膨大で、ヨーロッパでナチスが行った略奪行為は、普通のコンビニ強盗のように見える。

戦前と戦時中に莫大な財産が中国から奪われたことは、今日に至るまで中国全土で周知の事実であるが、金百合作戦の極秘性と、20世紀を通じて西側諸国のメディアが完全に統制されていたため、この事実は西側では全く報道されなかった。ここで疑問が湧く。想像を絶するほどの財宝が戦争で奪われたことは重々承知なのに、なぜ報道されなかったのか。そして、これらの財宝はいったいどこに行ったのか。

[短いドキュメンテーションビデオはこちら](#) この件について。映画の中で話している男、ローン・ジョセフは、日本人が略奪した金や財宝は合計1000億ドルに上ると主張していることに注目してください。 - この数字は、調査ジャーナリストのスターリングとペギー・シーグレイブが書いた本「[ゴールド・ウォリアーズ](#)」で確認されています。 - 日本人は、フィリピン全土に、これらの盗んだ財宝の膨大な量を隠しました。

著者らは次のように書いている。

「…昭和天皇の従兄弟にあたる日本の高官が…（確認した）日本はフィリピンに1000億ドル以上の財宝を隠しており、それをすべて回収するには『1世紀以上』かかるだろう。」

後に提供された追加情報に基づくと、この 1,000 億ドルの見積額は 2,400 億ドルであることが判明しました。

どうやら、米国は勝者として戦利品を分配する権利があると感じていたようだ。

しかし、この取引を成立させるためには、[世界ナンバー1の一人の戦争犯罪者、昭和天皇](#) 全ての責任を免除された。米国は大量殺人者、戦争犯罪者、ギャングと共謀し、彼らの犯罪を隠蔽し始めた。裕仁と責任ある皇族全員が決して起訴されず、尋問されることもなく、全員が自由になることが不可欠だった。悪名高い731部隊を指揮した石井大将でさえ免責された。石井はマッカーサーと個人的に取引した。 - 石井大将は、韓国人、中国人、ロシア人、アメリカ人、その他の人々に恐ろしい病気を注射し、麻酔なしで生きたまま解剖するという、罪のない人々に対する恐ろしい医学実験を行った。カーネル・サンダースによると、「マッカーサーは、すべての[731部隊]情報と引き換えに、全員の免責に同意した」という。石井は後に大富豪となり、日本のミドリ十字の取締役となった。

ブラックイーグル信託基金:

[黄金の百合作戦](#)の一環として日本軍が盗んだ大量の金や古代の財宝の話を知った。その後、日本とフィリピン全土に隠され、埋葬された。」

1944年7月、44カ国の代表がニューハンプシャーに集まり、

[ブレトンウッズ通貨管理システム](#)。「

表面的には、これは第二次世界大戦後の世界の金融システムを再建する取り組みとして示されていました。その考えは十分に高尚なものに見えました。しかし、そのすべての背後には隠された意図がありました。戦争中ずっと舞台裏で構築されていた広大なスパイネットワークのおかげで、上層部はナチスと日本が略奪した財宝について知っていました。

連合軍がこれらの富を確保することを予想して、代表団は国際通貨基金（IMF）を設立し、連合軍の手に渡った略奪品をどう扱うべきかを議論した。しかし、1945年後半になって、ドワイト・D・アイゼンハワー将軍とマッカーサー将軍の両者が大統領に報告するまで、

トルーマンは、その財宝がいかに莫大なものであったかを、権力者たちに

TPTB、つまりディープステート・カバールは、**極秘のブラックイーグル・トラストを設立することを決定した**。この基金は第三帝国の黒い鷲のシンボルにちなんで名付けられた。この基金の設立に関わった主要人物の一人は、当時の米国陸軍長官ヘンリー・L・スティムソンであった。公開されている様々な報告書は、戦争で失われた富の量をカタログ化しようと試みている。

ヨーロッパとアジアの研究者は、これらの財宝は、大量の宝石やダイヤモンドに加えて、合計 28 万トンの金に上ると推定しています

。



1945年、マニラの米国諜報員は、内部関係者への賄賂と拷問を通じて、日本軍がフィリピンに大量の金塊とその他の略奪品を隠していることを発見した。トルーマン大統領は金塊を回収するが、これらの財宝は秘密にしておくことにした。これらと、米国占領中に回収された日本の財宝、回収されたナチスの略奪品を合わせると、共産主義と戦うための世界的な米国政治活動基金が設立されることになった。この「黒い金」は、[ザ・ファンドと呼ばれる基金に預けられた。ブラックイーグル信託基金](#) それはワシントンDCのハザール人に事実上無制限で説明責任のない資金を与え、アメリカの同盟国の財政を強化し、政治および軍事指導者に賄賂を贈り、約70年間外国の選挙を操作するための資産基盤を提供した。

1945年から1947年にかけて、ドイツ、日本、フィリピン、その他のアジア諸国から天文学的な金額の金塊と宝石が持ち出され、42か国の172の口座に移されました。莫大な金額が連邦準備銀行とスイスのバーゼルにある国際決済銀行（BIS）の口座に直接振り込まれました。長年にわたり、これらの富は世界的な政治活動基金の一部として、次の目的を達成するために使用されてきました。

西側諸国の政治家が受け取る莫大な選挙資金を通じて、政治家や軍関係者に賄賂を贈るとともに、世界中で選挙を買収し、適切な人物、つまり銀行家や金持ち、つまりロスチャイルド家、ロックフェラー家、JPモルガン家の世界の王位継承者たちの利益を守るために権力の座に就くことを保証する。

西洋資本主義を実践し共産主義と戦うことで世界政策を策定すること。これは多くの人にとっては崇高な目的のように思えるかもしれないが、実際にはロシア/中国と米国の間大きな亀裂を生み出しており、大きな欠陥がある。

米国/欧州/日本の同盟国であり、残りの大部分は

世界は永続的な貧困状態にあり、世界情勢に影響を与える力はほとんどありません。

2001年9月11日の偽旗作戦に関わる大規模な隠蔽工作の一部である可能性もある。この作戦は、1991年9月に秘密裏に作成された2,400億ドルの証券債権の清算を隠蔽することを目的としたもので、この証券債権はソ連に対する秘密の経済戦争の資金として使われ、その間、正体不明の西側投資家が石油とガスを中心にソ連産業の多くを買収した。ニュース報道では、センターの地下金庫室にそれが隠されていたことも明らかになったが、これは最終的にブラックイーグルトラストに結びつく可能性がある。

まとめ：

一般に信じられていることとは反対に、金と銀は腐敗することのない本物のお金であり、貴重な商品やサービスの交換における真の価値を表しています。

8. ディープステートとその秘密の計画

- 世界がどのように支配されているか：
- ファシスト企業政治：

「事実は無視されたからといって存在しなくなるわけではない。」 - オルダス・ハクスリー

世界がどのように支配されているか：

NSAによる市民のプライバシーへの違法な侵害に関する暴露は、ジョージ・オーウェルが1949年に出版した本「ビッグ・ブラザーがあなたを見ている」を思い起こさせる。司法、法執行機関、軍隊、メディアを含む権力の支配権を政府が固めすぎると、政府は簡単に腐敗するだけでなく、実際の変化に対しても非常に頑固になる。現在、世界は金融暴徒によるナンセンスな話で溢れているが、彼らは

今度はエリートのディープ ステートによって舞台裏で支配され、自分たちの秘密の計画を推進し、この危機を自分たちの目的を達成するために利用している。つまり、世界中央銀行と世界通貨が 1 つあるということだ。一方、世界はその方向に全速力で向かっている。ある内部関係者は次のように説明している。

「世界は、世界中央銀行に支えられ、全人類のために金融政策を運営する世界通貨に一步近づいた。」

当然、世界通貨を発行し、全人類の金融政策を監視する権限を持つこの世界中央銀行の役割を誰が、あるいは何が担うのかという疑問が湧いてくる。世界の中央銀行家たちが最近ワシントンDCで会合し、彼らはこの恐るべき役割をバーゼル BIS に担わせることを決定した。



もしあなたが本当に、世界政府、もっと具体的には知識人エリートのディープステートが操る世界銀行家によって運営されるほど「洗練された」世界に住みたいと望むなら、ぜひとも、主流メディアを読み続け、それをあらゆる情報の理想的な情報源として信じ続けてください。

しかし、選ばれた集団の世界的な知識人・金融エリートが世界を運営している状況は、人類の未来にとって理想的な社会とは思えません。私たち国民は目を覚まし、この洗脳を止めるために行動を起こし、権力のある個人や組織の行動を世間に公表し、彼らのイデオロギーや計画に批判的な目を向けなければなりません。私たちは、誤った情報の波と戦い、新世界秩序を暴かなければなりません。

ほとんどの人は十分にシニカルではありません。シニカルさは物事の点と点を結びつけるのに役立ちます。もう少しの不信感、または少なくとも皮肉な軽蔑と組み合わされた疑念は、社会がどのように機能するかをよりよく理解するのに役立ちます。 - ヘンリー・フォードはかつて冗談で言いました。

「国民が我々の銀行や通貨システムを理解していないのは結構なことだ。もし理解していたら、明日の朝までに革命が起きていただろうと思う。」

過去数十年間のあらゆる主要な地政学的決定は、三極委員会、外交問題評議会、世界銀行付属国際通貨基金（IMF）の3つの組織のいずれかを通じて行われてきました。三極委員会は現在公職に就いている人をメンバーから除外していますが、世界の有力者集団である三極委員会は、金融、政治、学術界のエリート層の富裕層や権力者にとって、回転ドアのような役割を果たしています。全メンバーリストを確認するには、[ここをご覧ください](#)。この秘密組織のメンバーが誰なのかを知ると、衝撃を受けるでしょう。

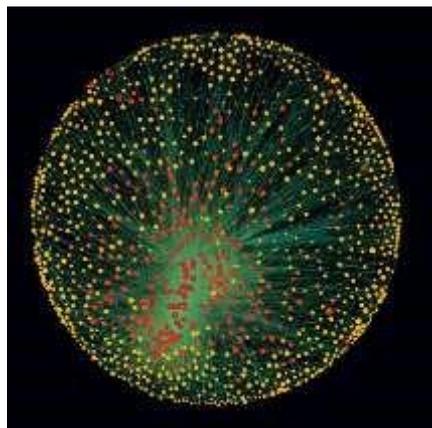
世界を支配しているのは誰でしょうか？

では、世界を本当に支配しているのは誰でしょうか？ イルミナティ？ フリーメイソン？ ビルダーバーグ グループ？ それとも、これらはすべて、真のグローバル エリートから私たちの詮索の目をそらすためのごまかしなのでしょう？ 探求する価値のあるほとんどのトピックと同様に、答えはそれほど単純ではありません。第 5 章では、ディープ ステート階層が暴露されました。疑いの余地はありません。その権力を維持し拡大することだけを目的とする秘密主義のグローバル パワーが存在します。実際には、あなたが思っているほど秘密主義ではないことが判明する可能性があり、それがさらに大きな犯罪になります。

このコントロールの 3 つの主なカテゴリ、つまり金融、政治、メディアについて見てみましょう。これは想像以上に面倒な作業です。なぜなら、上記のすべてが意図的に連携して機能しているからです。

金融エリートたちのネットワークを把握するには、お金の流れを追うのが洞察を得る道です。システム理論家ジェームズ・B・グラットフェルダーは、科学的なプロセス分析によって銀行統制と国際金融の暗い一面に光を当て、主要なプレーヤーの一部を暗闇から引き出します。

「グラットフェルダー氏は、3,700万社の膨大なデータベースから、株主によって結びついている43,060社の多国籍企業（複数の国で事業を展開している企業）を抽出しました。さらに掘り下げて、これらの企業が株式の所有とそれに伴う営業収益を通じて、実際にどれだけ互いに結びついているかを示すモデルを構築しました。」



経済の中核をなす多国籍企業はわずか 1,318 社です。添付のグラフでは、スーパーコネクテッド企業は赤、非常にコネクテッドな企業は黄色です。点の大きさは収益レベルを表しています。

この画像は、まるで銀河間の光の球のような、ぞっとするようなものだ。グラットフェルダーは、これらのつながりを主要なアクターに絞り込み、彼らが世界市場に対してどれほどの力を持っているかを正確に指摘するという素晴らしい仕事をした。これらの「所有ネットワーク」は、主要なプレーヤーが誰であるか、どのように組織されているか、そしてこれらの力がどのように相互に関連しているかを明らかにしている。詳細は、[ニューサイエンティスト Web サイト](#)。

1318社はそれぞれ2社以上の企業とつながりがあり、平均すると20社とつながっている。さらに、世界の営業収益の20%を占めているにもかかわらず、1318社は株式を通じて世界の大手優良企業や製造業（つまり「実体」経済）の大半を共同で所有しているようで、世界の収益（GDP）のさらに60%を占めている。

研究チームが所有権の網をさらに解いていくと、その多くは、さらに緊密に結びついた147社の「スーパーエンティティ」にまで遡ることが判明した。これらの企業の所有権はすべて、スーパーエンティティの他のメンバーによって保持されており、ネットワーク全体の富の40%を支配している。グラットフェルダー氏のデータによると、上位730人の株主が多国籍企業の総収益の80%を支配していることがわかった。

そして、驚いたことに、それらのほとんどは米国と英国の金融機関です。これは、少数の人々の手によって膨大な量の管理が集中していることを意味します。

以下は、世界経済を最も支配している上位10社の多国籍企業です。大手銀行が世界を動かしていると確信している何百万人もの人々のうちの1人であれば、このリストを見て、徐々にその正当性を感じ取るはずです。

- バークレイズ
- キャピタルグループカンパニーズ株式会社
- FMRコーポレーション

- アクサ
- ステートストリートコーポレーション JPモルガン・チエース
- リーガル・アンド・ジェネラル・グループ
- バンガードグループ株式会社

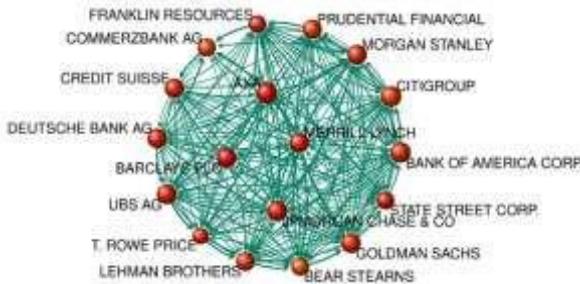
- UBS AG
- メリルリンチ

JPを含む他の常連の容疑者もトップ25に名を連ねている。

モルガン、クレディ・スイス、ゴールドマン・サックス。見つからないのは

エクソンモービル、マイクロソフト、ゼネラル・エレクトリックなど、奇妙な名前が並んでいます。実際、50位の中国石油化工集団は、リストの中で最初に何かを生み出した企業です。

上位 49 社は金融機関、銀行、保険会社です。ただし、15 位のウォルマートは例外です。残りは基本的に、互いに資金をやり取りしているだけです。この国際的な枠組みにおけるトップ プレーヤーの相互関係は次のとおりです。



ナンバーワン
プレーヤーはバークレイズです。「バークレイズはLIBOR操作スキャンダルの主役であり、他の銀行と共謀して詐欺行為

を行っていたことが判明しました。

大手銀行を相互接続した。コモディティ・マーケットから2億ドルの罰金を科せられた。

先物取引委員会、米国による1億6000万ドル

司法省から5950万ポンド、金融サービス機構から5950万ポンドの罰金が、LIBORおよびEuribor金利の「操作未遂」に対して科せられた

。こうした犯罪にもかかわらず、バークレイズはその年の初めに61,781,950ドルのボーナスを支払った。その中には、投資銀行部門の責

任者リッチ・リッチへの27,371,750ドルという莫大な金額も含まれている。そう、リッチは実名なのだ。」

世界を動かす人々：

世界を動かしているのは、この人たちだ。「これは本質的には、科学的な枠組みで展開された『大きすぎて潰せない』という議論だ。ただし、米国と英国の銀行だけではなく、銀行と金融機関の国際的な結託について話している。結託があまりにも深く絡み合って、世界経済に深刻な脅威を与えている。」実質的には、『大きすぎて潰せない』というよりは、『結束が強すぎて潰せない』ということになる。

グラットフェルダー氏は「相互接続性が高いと、システム全体に伝染病のようにストレスが広がる可能性があるため、安定性に悪影響を及ぼす可能性がある」と断言する。誰かが舞台裏で世界の通貨供給をコントロールしようとしていると疑うことは別問題だ。しかし、それを明らかに裏付ける科学的証拠があることは別の問題だ。しかし、こうした連中は、自分たちの目的を支持する政治システム内でしか存在できず、こうした政治システムはほぼ公然と機能している。

政治エリートは、過去数十年間にわたるあらゆる主要な地政学的決定を、三極委員会、外交問題評議会、世界銀行/国際通貨基金（IMF）のいずれかの組織を通じて行ってきました。

三極委員会は1973年に悪名高いデイビッド・

ロックフェラーは、北米、西ヨーロッパ、日本間の協力を実現するために、政府や政治の公式な関係にとらわれずに協力する世界的な実力者のグループを創設した。このグループは、世界の諸問題を解決するために協力するという崇高な目標を掲げて発足したが、「問題」というのは非常に主観的なものだ。

連邦準備制度理事会、その他の中央銀行、そして政府は自由市場を操作し続け、将来の成長と収益を奪っています。定着した金融機関と政治家は、私たちが犠牲にして自分たちの富と権力を維持するために、私腹を肥やし続けています。

私たち国民は目を覚まし、立ち上がって水面下に何が隠されているかを発見し、エリートたちが私たちがから奪ったものを取り戻さなければなりません。

[この短いビデオをご覧ください](#) そして、ビデオに映っている愛国者たちと同じように、世の中には「善人」もいることを理解してください。彼らは群衆の中に潜んでいて、姿を現して国家の支配権を取り戻す瞬間を待っているのです。私たちは最終章、終局に突入しています。それが起こると信じさえすれば、それは確実に起こるでしょう。

博物館の[隠蔽工作](#) 歴史は私たちがから隠されているものを説明します。

金は、連邦政府の約束手形であるドル紙幣とは対照的に、真の富です。金は短期的には圧力を受ける可能性があります。しかし、長期的には、政府が終わりのない量的緩和サイクルに陥っていることが投資家に明らかになるにつれて、あなたも金を所有したいと思うようになるでしょう。リチャード・ラッセルが言うように、通貨の歴史のこの段階が落ち着いたとき、金は「最後の生き残り」となるでしょう。

記事「[ピラミッドと迫りくる経済崩壊](#)」は、私たち国民がエリートのディープステートによっていかに搾取されているか理解を深めるために読む価値があります。

ファシスト企業政治：

「自由貿易」という言葉は、これらの協定がエリートアルコン血統企業に権力集中をもたらし、汚染、食品安全、遺伝子組み換え作物、最低賃金を規制する国家の主権法を覆す訴訟を操作していることを隠すための偽装として使用されています。これらのいわゆる「[パートナーシップ](#)」は、議会によって書かれた法律ではありません。

法律の内容から注意をそらすということは、政府が企業が議会の参加なしに貿易法を制定できることを認めることを意味します。奴隷労働の疑いのある国は除外される可能性があります、そうはなりません。国家主義者は「外国の利益」が主権を侵害していると不満を述べていますが、主権を侵害しているのは企業であり、それでもより多くの雇用が海外に移転されると主張しています。 - 実際のところ、

現時点では雇用の海外移転を阻害するものは何もないことから、雇用の喪失を促進するための「パートナーシップ」は不要である。

「パートナーシップ」が実際に行うことは、民間[企業を 免疫](#) 国家の法律が企業の利益に悪影響を及ぼし、「貿易の制限」を構成するという理由で、主権国家の法律にフランスは従わない。例えば、大西洋横断貿易投資パートナーシップの下では、モンサント社が起こした訴訟により、遺伝子組み換え作物に対するフランスの法律は「貿易の制限」として覆されるだろう。

タバコ会社は、タバコの箱に警告ラベルを貼って訴訟を起こすことができる。なぜなら、こうしたラベルは喫煙を控えさせるものであり、それによって「貿易制限」に当たるからだ。 - 豚肉などの輸入食品に旋毛虫病の検査や燻蒸を義務付ける国は、こうした規制が輸入コストを増大させるため、企業からの訴訟の対象となる。企業は、ブランド名の医薬品や化学製品に独占保護を与えず、その代わりにジェネリック医薬品を認めている国に対して、損害賠償を求めて訴訟を起こすことができる。

労働組合は、雇用の海外移転によって組合員が被害を受けた場合、訴訟を起こすことができず、国民は、シェールガス事業などの企業の排出によって健康や水資源が損なわれた場合、訴訟を起こすことができない。企業は米国の上院議員に報酬を支払っている。「議会の立法権を企業に移譲するための巨額の資金」

反対：

政府は政治家である大企業によって支配されている 彼らは金のために魂と誠実さを売り渡し、その結果、かつて自分たちを選んだ国民を奴隷にしてしまったのです！

報道によれば、フランスの主要政党は両方とも企業に身を売ったが、マリーヌ・ル・ペンの国民戦線はそうではない。前回のEU選挙では、ル・ペンやファラージュなどの反体制政党が伝統政党に勝利したが、反体制派は自国ではまだ勝利していない。

皮肉なことに、この問題について声を上げている唯一の欧州政治指導者は、企業統治を確立する協定の秘密主義に反対するフランスの国民戦線（極右）のマリーヌ・ル・ペン党首だ。

戦略はカオスです：

ロシアに対するワシントンの方針に盲目的に従うヨーロッパの指導者たちは、本質的に操り人形だ。彼らは役立たずであると同時に、馬鹿げたほど傲慢だ。もしアメリカがヨーロッパの指導者を自ら選ぶとしたら、現在EUを支配している連中ほど従順な連中を選べたかどうかは疑わしい。シャルル・ド・ゴールやヴィリー・ブラントに匹敵する人物は誰もいない。実際、ジャック・シラクさえいない。現在の状況は実に憂鬱だ。ヨーロッパは自国の利益を裏切って、アメリカの利益に奉仕している。 - これらの指導者たちは、アメリカがヨーロッパとアジアで「混乱の戦略」を追求していることを理解していないのだろうか？

ワシントンDCのディープステートは、ヨーロッパだけでなく、ヨーロッパとアジアを結ぶ陸橋として最も価値のある領土であるロシアも支配したいと考えている、[と作家で歴史家のジェラルド・ホーン氏はRTに語った。](#)

実際、ワシントンDCとそのヨーロッパの同盟国は、[紛争の終結を拒否するキエフの特定勢力の活動に対する米国の責任を免除するために使われた作り話にすぎない。](#) [ドンバス地方の住民の生活環境が悪化し、人道危機に陥っている時期に起きた。](#) 給水は遮断され、キエフのウクライナ当局は食料、医薬品、生活必需品の供給を阻止した。そして、これらすべては住宅、学校、保育園、その他の民間施設への砲撃を背景に起きている。

かつて信頼していた指導者たちが国民を裏切ったことを国民が理解することが極めて重要です。戦争論のもと、民間企業が政府の立法機能を否定し、企業利益を一般の福祉よりも優先することを可能にする貿易法の制定に国民も選出された代表者も参加できないのは、私たちが持つべき「自由と民主主義」ではありません。

状況は悪化し、さらに悪化するでしょう。そして、今後注意を払う必要があるアジェンダ 21 の力について理解することが重要です。

- それはインフレよりも強力です。不換紙幣よりも強力です。社会の不満の高まりは、文明に知られているどの経済力よりもはるかに強力です。そして、それがアルコンの血統の別名 RK マフィアが求めているものです。人口削減目標を達成するために世界を「**分割統治**」することです。分割統治は彼らのお気に入りのツールです。敵同士の争いに気を取られれば、彼らはあなた自身のアジェンダに対する脅威が少なくなります。人類がお互いに対して、そして「他の」人の肌の色や好みの性的指向に対して非常に憎しみを抱くようになります。そうすれば、彼らは違いに集中するのに忙しく、ディープステートを倒すチャンスはありません。お金を追跡して真実を見つけてください。彼らが世界を支配すれば、彼らはお金を支配し

ます。彼らがお金を支配すれば、彼らは人々を支配します。人々を支配する者は世界を支配します。彼らはメディアをコントロールし、大手製薬会社をコントロールし、テクノロジーへのアクセスをコントロールしています。このゲーム全体が不正に操作されています。現実の認識がコントロールされています。彼らの鎖は、身体の物理的な部分から精神的な部分に移動しました。これが大きな陰謀です。これがすべての行き着く先です。自分自身を教育してください。この問題に意識と光をもたらしてください。友人や家族のあちこちに真実の種をまいてください。真実を探してください。そうすれば、真実は私たち一人一人の中にあるので、見つかります。本当の私たちとして、一つに集まりましょう。そして、何千年もの間私たちに課せられてきたディープステートの束縛からこの世界を解放してください。これらの主題について熟考し、あなた自身と世界の人々をあなた独自の方法で解放する方法を見つけてください。私たちが集団でそうすることを選択すれば、私たちは今日この暴政を止めることができます。

私たちの文明はハイジャックされました。

悪の勢力が私たちの文明を乗っ取り、それを「グローバルエリート」自身以外の誰にも役立たない目的へと導いています。世界は誰も意識的に選択しない未来に向かっていきます。実際には、人々はまったく選択できません。ロスチャイルドによって調整されたディープステートの陰謀団
ハザールマフィアは人類の福祉に反対し、我々を支配し、圧制しています。

歴史上のいくつかの極めて重要な出来事をより深く分析すると、この結論が立証されます。1914年のタイタニック号沈没、1941年の真珠湾攻撃、1963年のケネディ大統領暗殺、9/11のツインタワー爆破、ウクライナ上空でのMH 17機撃墜に関する公式の説明は、説明の難しい矛盾に満ちていますが、これらは歴史の流れを変えた巧妙に組織化された偽旗作戦のほんの一部です。不吉なことに、多

くの偶然が積み重なってパターンを形成し、邪悪な目的のためにこれらの出来事を意図的に計画した機関を示しています。さらに深く掘り下げると、最終的に世界の歴史を大きく変えるパターンのパターンが見つかります。

この歴史は、銀行、ロスチャイルド家やロックフェラー家のような裕福な一族、ビルダーバーグ会議のような非公式組織、組織犯罪、政府内の影の機関、スカル・アンド・ボーンズやフリーメイソンのような秘密結社など、世界のエリートからなる強力な秘密組織の陰謀から生じた世界の出来事を説明しています。 - これらすべてのグループや家族の背後には、地球の真の支配者からなるさらに秘密のグループがあり、首相や大統領を直接の操り人形にしています。一部の理論家は、権力の支配者であるイルミナティ（彼らが好んで呼ぶ名前）は人間であると主張し、他の理論家は彼らには地球外の実験者がいると主張しています。彼らの目標は、彼らの権力が完全なものとなる新世界秩序（NWO）を課すことです。

地球を支配している犯罪陰謀団は、HAARP（気象制御）、マインドコントロール、エネルギー兵器、エイズ、エボラ、豚インフルエンザなどの人工的に作り出された病気、その他の魔法に近い技術など、強力な秘密技術を自由に使えると主張されています。これらの技術により、彼らは反対勢力を破壊し、ほとんど疑うことのない方法で人々を支配することができます。彼らは常に新しい形の**専制政治を押し付け**、精神と物質に対する権力を拡大しようとしています。彼らは世界経済を支配し、1930年代の大恐慌や差し迫った経済災害のように、意のままに経済災害を引き起こしています。彼らは金融システムを腐敗させて勤勉な人々を奴隷にし、あらゆる経済と社会のバックボーンである中流階級を排除しようとする努めることで、意図的に私たちの社会を破壊しています。

西側諸国の政府からでっちあげの統計や「煙幕」が飛び出しているにもかかわらず、西側諸国の金融システム、つまり連邦準備制度理

事会と欧州中央銀行は、すでにずっと前に破綻している。「大統領代行」が率いるアメリカ合衆国株式会社と、長年選挙で選ばれていない官僚集団が率いる欧州連合は、すべてが順調であるという印象を与えるために偽の金融データを発行している。人々が目を覚まさず、何もしないなら、彼らはこれから起こることを当然受けることになる。その場合の結果は、人口が減少するか、残りの人生を奴隷として過ごすかのどちらかになるだろう。

より影響力のある他の勢力が我々に代わってやってくれればと期待してはいけません。強力なグループが主導権を握れば、後にまた別の弾圧を受ける危険があります。我々が自分たちだけでこの戦いに挑めば、主導権を握ったことになり、主導権を握った我々の支配権を手放すことなく、後の段階で強力なグループに助けを求めることができます。まだ自国の強さを信じているなら、今こそ行動を起こす時です。後になってからでは遅すぎるかもしれません。決意を固めてください。我々はまだこの戦いに勝つことができますが、**迅速な行動**が不可欠です。

企業がいかにして世界を支配しているか。

米国政府は[秘密の帝国を作り上げました](#)。米国の大多数の人々は、自分たちがこの秘密の帝国の陰で暮らしていること、そして今日世界ではかつてないほど奴隷制度が蔓延していることに気づいていません。

ディープステートの活動:

アイゼンハワー大統領は私たちに警告しました。彼は「ディープステート」の活動を「軍産複合体」と呼びました。社会には、他の人よりも進んでいじめや盗みを働き、自分を馬鹿にする傾向がある人々が常に存在するのです。

18 世紀の政治哲学者ウィリアム ゴドウィンが述べたように、もし政府に正当な目的があるとすれば、それはこれらの人々が他の人間

に危害を加えないようにすることです。しかし、時間が経つにつれて、これらのいじめっ子たちは政府とその関連産業に蔓延します。すると、政府はこれらの害虫を制御する代わりに、彼らに権威を与え、ある種の偽りの体面を資金援助することさえします。彼らの略奪、幻想、虚栄心が公共政策になります。

メディア、教育、医療、金融など、あらゆる主要産業がこうしたいじめっ子や馬鹿を引きつけている。しかしディープステートは彼らを豚の群れの肥やしのように扱っている。彼らはまもなく、史上最大の不正流用された資源の山に埋もれ、うずくまることになるだろう。

今日、ディープステートのエージェントは、空港でベルトと靴を脱ぐようあなたに怒鳴りつけます。裏庭に池を掘ろうとしたり、10代の息子を実家の農場で働かせようとしたりすると、彼らはそれを事件にします。彼らは詮索し、スパイ活動を行い、あなたに賄賂を贈るために利用できる秘密を探します。彼らは課税し、規制し、そして支配します。

しかし、制御不能になっているのは陰謀団のメンバー自身であり、これを直ちに止めなければなりません。

いわゆる新世界秩序の実現を最終目標とするこの影の秘密政府は、世界の傀儡国家元首や産業界のリーダーたちの糸を引いている。ディープステートという用語は、影の政府、陰謀団、ロスチャイルド、ハザール、マフィア、権力者、ルシフェリアン、イルミナティ、エリートなどの用語の使用に加えて、最近注目を集めている。これらはすべて、人々を憎み、略奪する隠れたルシフェリアン、サタニストの同じグループを指している。 - ディープステートは、政府内の選挙で選ばれていない内部政府である。彼らは政治には興味がなく、お金と権力だけに興味があり、それができなくなるまで、今やっていることを続けるだろう。

ディープステートの仕組み：

政府、軍産複合体、ウォール街、シリコンバレーの間の複雑な回転ドアの網は、防衛請負業者、銀行家、軍事作戦、国内外の監視情報機関、メディア、医療などの利益を統合しています。

ブレトンウッズ協定の崩壊と金本位制の終焉以来、通貨、経済、政府はすべて変化しました。1971年8月15日、ニクソン大統領は世界の準備通貨である米ドルの金本位制を廃止し、誠実な通貨の棺に最後の釘を打ちました。

その後起こった大きな変化の理由はこれだけではありません。共産主義中国が資本主義に参入したこと、ソ連が崩壊したこと、インターネットが普及したことなど、数え上げればきりがありません。

1991年のソ連崩壊後、ディープステートは存続にとって最大の脅威に直面した。もはやもっともらしい敵がいなかったのだ。それ以来、ディープステートは米国の軍靴を地上に送り込み、一連の疑似敵を倒してきたが、どれも笑ってしまうほど劣っている。

利益をもたらすのは平和ではなく戦争だ。

しかし、そのすべての火力、すべての優れた軍事技術、そして何兆ドルもの支出にもかかわらず、アメリカは冷戦終結以来、多くの戦争で明白な、あるいは名誉ある勝利を収めたことはありません。1つありませんが、それは決して意図したことではなく、唯一の真の意図はお金と権力を逆転させることでした。それどころか、すべての戦争は次から次へと失敗に終わりました。敵は突然天使に昇格し、味方は悪魔に変身しました。これで国民は正気に戻ると思いません。おそらく、このすべての支出、威嚇、爆撃は実際には報われていないのでしょうか。おそらく、倒すよりも多くの敵を生み出しているのでしょうか。しかし、それがまさに重要な点です。一般人にとって、戦争は命がけのスーパーボウルに過ぎません。彼らは国土

チームのために大声で叫び、大声で応援します。彼らは英雄に敬礼し、敵が誰であるか確信が持てないときでさえ敵を憎みます。

一方、考え、計画する人たちには別の目的がある。彼らは勝利と同じくらい敗北にも満足する。 - 勝利と第二次世界大戦後の平和は、彼らをほぼ倒産に追い込んだ。**利益をもたらすのは戦争であり、平和ではない。**そして戦争は利益をもたらす。捏造された戦争ごとに没収される個人の自由は言うまでもない。

1兆ドル規模の産業:

米国の「セキュリティ」業界は年間約1兆ドルの購買力を持っています。その金額で多くの票を買うことができます。ディープステートが引き続き権力を握っています。常に不正が行われています。

ディープステートは、軍産複合体をはるかに超えた、あからさまな場所に潜んでいます。国民の大半は、監視国家や、政府とウォール街の企業トップとの陰謀については、少なくとも受動的に認識していますが、政府の諜報機能が、国民による監視や説明責任の対象とならない民営グループにどれほどアウトソーシングされているかを知っている人はほとんどいません。

金をむさぼる奴ら:

さらに、ウォール街と連邦政府が経済から金を吸い上げ、何億人もの人々を貧困に追いやり、米国の4倍の人口を抱える全体主義国家である中国よりも多くの人々を投獄している。ディープステートは、9/11以来、国防総省3つに相当する、防衛請負業者や諜報請負業者を維持している肥大化した国家機構を建設し、民営化された責任のないNGOに資金を提供してきた。

大企業、いわゆるコーポクラシーはディープステートを支援している。政府とウォール街の資金の回転ドアにより、一流企業は政府高官や軍のイエスマンに高級職を提供することができる。ウォール街

はディープステートの究極の基盤である。なぜならウォール街が生み出す莫大な資金は、政府関係者が退職後にこれらの楽な職を提供できるからだ。ウォール街と政府の回転ドアが国内の争いを大いに促進する中、縁故主義が支配的である。

「銀行の救済、減税、ウォール街、政治献金者、ロビイストを規制する法律への抵抗。参加する政府高官、元将軍、高位の情報機関員らは、多額の投資資金で支えられ、退職後の生活を数百万ドルの住宅で送っている。」

ディープステートはどのようにして誕生したのでしょうか？

ディープステートは昔から計画されてきた組織ですが、元々は別の名前だったかもしれません。内部関係者は、究極的には軍産複合体の産物だと考えていますが、一方では、ウッドロウ ウィルソンが次のように述べた 1913 年の連邦準備法によって誕生したと言う人もいます。

「我々は文明世界において最もひどい統治を受け、最も完全に統制され、支配された政府の一つとなった。もはや多数決と信念による政府ではなく、少数の有力者の意見と強制による政府である。」

この準秘密結社がワシントンで糸を引いており、世界の大半は、規制緩和、アウトソーシング、産業空洞化、金融化で繁栄し、海外で永続的な戦争と経済帝国主義を生み出し、同時に寡頭政治の利益を強化する企業主義イデオロギーの圧力下で維持されている。

ディープステートは、税金で運営される政府内の政府ですが、憲法に縛られることはなく、政治的变化によって策略が狂うこともありません。ディープステートが何の罰も受けずに機能するこの世界では、企業の特別利益と不誠実な地政学的目的が相互に絡み合ったネットワークに奉仕する対テロ戦争を継続する限り、誰が大統領であろうと問題ではありません。

「歳出法案が期限通りに可決され、昇進リストが承認され、ブラック（つまり秘密）予算が承認され、特定の企業に対する特別税補助金が論争なく承認され、あまり厄介な質問が出されない限り、ハイブリッド国家の歯車は音もなく噛み合うだろう」。

将来に希望はありますか？



確かに希望はあるし、エピローグは間近に迫っている。現在、不和と不安は高まり続けている。しかし、シリコンバレー、オキュパイ、ティーパーティー、アノニマス、ウィキリークス、アナキスト

、左派と右派のリバタリアン、エドワード・スノーデンのような内部告発者など、政治的スペクトルのあらゆる側面から、さまざまなグループ、組織、団体、そして一部の人々が、ディープステートが行使する権力の迷宮に激しく疑問を投げかけ、拒絶し始めている。

これらのグループ、つまり私たち国民は、反対意見を鎮圧するために使われる分断と征服の戦術を克服できるだろうか？それは、どれだけの人が目覚め、自由と繁栄のある未来を築くことの重要性に団結するかにかかっている。それは私たち自身の手の中にあり、私たち全員が前向きになり、このディープステートを根絶する意欲を持ち続ける限り、助けはやって来るだろう。

マフィアよ、永遠に！考えてみてください。私たちの創造主は、地球とその人々を、ディープステートと呼ばれるマフィアの小さな小集団によって破壊されるために創造したのではないのです！

世界を本当に支配しているのは誰か： 死のピラミッド：

古代のピラミッド型の支配システムはファラオによって運営されていた。地球外の支配者を隠すために、彼らの[支配ピラミッドは次のように説明されている。](#) [このビデオでは。](#)

9. 戦争、脅迫、恐怖が羊を支配している

- 存在しないロシアの脅威
- ルーブルの瓦礫の背後にある真実
- デジタル戦争

存在しないロシアの脅威：

ウラジミール・プーチンが、エリツィンを模倣した最も腐敗した新自由主義の官僚たちを徐々に交代させる巧妙な戦略を採用し、適切な予算と機能する国家機関でロシア国家を再建した結果

、ロシアが予想外に台頭したが、西側諸国では直ちに、米国の軍事的優位性とドイツの経済拡大に対する脅威と認識された。ロシアが西側の従属国から主権独立国家としての地位を取り戻したことで、米国とその傀儡であるEUによる攻撃的な反撃が開始された。

当初、プーチンは、ロシアが資本主義国家に変貌し、いかなる競合するイデオロギーもなくなったことで、ロシア国家のこの正常化と安定化は米国とEUに歓迎されるだろうと楽観的に考えていた。彼は、彼らがロシアを経済的、政治的、さらにはNATOのパートナーとして受け入れるだろうとさえ考えていた。プーチンはNATOとEUに加盟し、協力する申し入れさえした。西側諸国はプーチンの幻想を思いとどませようとはしなかった。



「米国とドイツはロシアを1990年代の従属国状態に戻すことを望んでいることは明らかだ。両国は正常な関係を望んでいない。プーチン大統領がロシアの国家と経済の復興に動いた瞬間から、西側諸国は一連の政治的、軍事的介入を行い、ロシアの同盟国、貿易相手国、独立国を排除してきた。」

「米国とEUのブロックは新自由主義寡頭政治に資金を提供し、街頭デモや選挙を通じてロシアを従属国に戻そうとする野党を支援した。プーチンを追い出し、西側従属国を再建する彼らの努力は失敗した。1991年にエリツィンがゴルバチョフに対して権力を掌握したときに効果があったことは、プーチンに対しては効果がない。ロシア人の大多数は悪名高き10年に戻ることを望んでいなかった。」

米国とEUが主導するこれらの介入は、ますます敵対的な環境を作り出すために設計され、実行されており、これは消えることはない。なぜなら、米国は、ロシアと中国に対する覇権を含むアメリカの世界覇権という新保守主義のイデオロギーに導かれているからだ。ロシア政府は事実に依拠しており、ハザール人が支配するワシントンDCが事実に全く関心がないことを知って驚いた。サダム・フセインは大量破壊兵器を持っていたのか？シリアのアサドは自国民に対して化学兵器を使用したのか？イランは核兵器を持っていたのか？もちろん、そんなことはない。そしてもちろんワシントンは真実を完全に知っていた。彼らは自分たちが嘘をついていることを知っていた。

ドイツの経済支配階級は、一方では、生まれ変わったエリツィンクローンが支配するプーチン後のロシアでロシア経済全体を支配し略奪することを望み、ロシアとの有利な貿易を犠牲にする覚悟のある親米派支配層と、他方では、制裁を終わらせ、ロシアとの正常な経済関係に戻ることを望んでいるドイツの産業部門の少数派に分かれている。

ウクライナの権力掌握：

ウクライナの腐敗したオリガルヒとナチスの街頭戦士に支えられた従属政治エージェントによる米国とEUの権力掌握が、現在の危機を引き起こした。ウクライナの権力掌握は、独立国家としてのロシアの存在そのものに対する最大の安全保障上の脅威となった。キエフの制圧後、NATOはキエフの傀儡政権を動かし、南東部の独立地域を軍事的に排除し、クリミアを奪取して、黒海におけるロシアの戦略的地位を完全に排除した。NATOの権力掌握の被害者であるロシアは、マスメディアによって広められた大きな嘘によって、非常識な侵略者というレッテルを貼られた。

ウクライナは、米国とNATO同盟がロシア中心地への攻撃を開始できる最も重要な戦略的軍事プラットフォームであり、ドイツにとっては東ドイツ併合以来最大の市場である。米国とドイツは、ウクライナ征服はそれ自体極めて価値があると見ているが、制裁と石油ダンピングによってロシア経済を締め上げ、軍事的にロシアを脅かすための全面攻撃を開始する鍵でもある。戦略的目標は、ロシア国民を貧困に陥れ、半死半生の反対派を再活性化させてプーチン政権を打倒し、ロシアを永久従属国の地位に戻すことである。

米独帝国エリートたちはロシアの先を見据えている。彼らはロシアを支配できれば、中国を東からも西からも包囲し、孤立させ、攻撃できると考えている。彼らの計画には、ロシアのヨーロッパにおける存在を終わらせ、中国の世界大国としての台頭を弱体化させるための恒久的な戦争が含まれており、これらの目標を達成するためには核戦争の瀬戸際にまで行くこともいとわない。

「ヨーロッパとコーカサスにおける米独帝国の拡大と征服の思想的中心は『ロシアの脅威』である。それは敵と同盟国を定義する基礎である。制裁を守らない国が標的となる。マスメディアは絶えず嘘を繰り返す。『ロシアの脅威』は、ひるむ臣下たちの戦争の叫びとなり、ベルリンとワシ

ントンの帝国の『パトロン』に隷属させ、犠牲となった国民の反乱を恐れながら恐ろしい犠牲を強いるための偽りの正当化となっている。」

「ロシアの脅威」など全く存在せず、単にヨーロッパとコーカサス全域で米国とドイツの攻勢を駆り立てているイデオロギーに過ぎない。本質的には、ヒトラーが国内の産業銀行家、保守派、ウクライナ、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアの過激派に含まれる右翼海外協力者からの支持を確保するために使ったのと同じ教義の焼き直しである。

包囲されたロシアは、間違いなく犠牲を強いられるだろう。オリガルヒは西方へ逃げ、リベラル派はベッドの下に潜り込むだろう。しかし、ソ連がスターリングラードで戦況を一変させたように、ロシア国民は、最初の2年間の自力での作戦を生き延び、繁栄し、そして願わくば、米国-NATO軍国主義とドイツ-EUの経済支配の圧政から逃れようと努力しながら、再びすべての人々にとっての希望の光となるだろう。

制裁:

西側諸国の制裁による経済的負担から、ロシアはビジネスチャンスを求めて東方へ向かった。プーチン大統領のインド訪問の結果や、これまでに成立した20件の注目度の高い取引から判断すると、モスクワの「アジアへの軸足」は温かく歓迎されているようだ。

ロシアのウラジミール・プーチン大統領は、24時間にも満たない短いインド訪問中に、首脳会談に出席し、インドのナレンドラ・モディ首相と個人的に会談した。この会談では、プーチン大統領とモディ首相の立ち会いのもと、総額1,000億ドルに上る20件の契約が締結された。これには、原子力エネルギーで400億ドル、原油とガスで500億ドル、防衛、肥料、宇宙、ダイヤモンドなど、その他の多くの分野で100億ドル相当の契約が含まれている。

石油は、現代のロシアに対して、人々が考えるほど強力な武器ではない。石油価格の下落は、ソ連がそうであったように、ロシアを滅ぼすだろうと主張して、デイリー・テレグラフ紙は次のように書いている。

「(ワシントンは) あの暗黒時代からロシアがどれだけ進歩したかを忘れている」

「ソ連が石油収入の減少に対処できなかったのは事実であり、サウジアラビアは1985年に石油生産量を1日当たり200万バレルから1000万バレルに劇的に増加させ、旧帝国の解体に貢献したと評価されている。」

「制裁により、ロシア企業が西側諸国のノウハウにアクセスすることが困難になり、最終的にはロシアの石油生産に影響が出る可能性がある。しかし、それは制裁が何年も続く場合に限られる。EUがすでに払っている代償を考えると、そうなる可能性は低い。その間、世界の石油供給の削減と世界経済の力強い成長により、石油市場は再び均衡を取り戻すだろう。」

ロシアの見通しが改善していることを示す指標として、1992年以来初めて人口が再び増加していることがある。実際、制裁にもかかわらず、ロシアの財政は今のところかなり安定しているように見える。また、ロシアの対外債務は約6,780億ドルにとどまり、2013年末の最高値7,320億ドルから精力的に返済している。これは、6兆ドルを超え、依然として増加している米国の対外債務とは対照的である。ロシアは過去最高の財政黒字と黒字の国際収支を計上しており、貿易協定を通じてドルを回避している。ドル流動性に飢えた企業を支えるために600億ドルを費やした後でも、ロシアの外貨準備高は3,750億ドル近くある。

「GDP成長率は2012年の猛烈な4.25%から減速しているものの、それでも2013年より悪くはない1%になると予測されている。国際金融取引の円滑化に貢献する国際銀行間金融通信協会（SWIFT）から締め出されたことに激怒したプーチン大統領は、代替案としてロシア中央銀行に独自の国家決済システムの構築を進めるよう命じた。」

「プロジェクト・ダブルイーグル」が創設され、貿易相手国は石油の価格を金で決めることができるようになった。これにより、ユーザーはドルやユーロから離れ、法定通貨よりも物理的で実質的な何かでビジネスを行うことができるようになった。そして、ロシアの仲間であるBRICS諸国、ブラジル、インド、中国、南アフリカはこれを歓迎し、応援した。

つまり、プーチンのやり方には明らかに方法論がある。ロシアは金の生産を大幅に増やしただけでなく、金の備蓄も進めており、2008年から2014年の間にその備蓄は倍増した。確かに、ロシアの予算は1バレル96ドルの原油価格を前提としていた。原油が70ドル以下に急落したことで、それは確実に痛手となる。しかし、ロシアは生き残るだろう。ロシアはいくらかの緊縮策を講じるだろうし、ルーブル安（2014年9月末以来、ドルに対して25%下落）が意図せず追い風となる。なぜなら、それが原油安による損失を相殺するのに役立つからだ。

「ロシアの石油会社は輸出で海外でドルを稼いでいるが、国内ではルーブルを使っている。つまり、石油採掘予算は影響を受けず、さらに政府の税収が急激に落ち込むこともない。生産量は2014年9月に1日当たり1060万バレルにまで増加し、ソ連崩壊以来の月間最高値に近づいた。ロシアの1日当たり800万バレルの輸出量は、世界市場で流通する石油総量の15%を占めている。」

皮肉なことに、オバマ大統領の制裁は米国にとってさらに悪い結果をもたらす可能性がある。ロシアが収入を増やすために生産を増やせば、それはさらに大きな原油価格の下落につながり、主な被害者の1つが米国のシェール生産となるだろう。米国の水圧破碎作業は、ロシアやサウジの従来型の掘削よりもコストがかかるが、1バレルあたり70ドルを下回ると採算が取れなくなる。価格が60ドルまで下がれば、米国の多くの非従来型の油井が閉鎖を余儀なくされ、輸入が再び増加する。したがって、原油価格の下落は米国のエネルギー自立を脅かし、ロシアを弱体化させるのではなく、むしろ勢いづかせることになる。一方、

「ロシアは探査とインフラ開発を推し進めている。プーチン大統領は最近、中国と25年間の石油取引を結んだが、これには新しい3,000マイルのパイプラインの建設も含まれている。また、ロシアは北極圏に原子力砕氷船団を派遣し、さらなる埋蔵量を確保し、それを守る軍隊も派遣している。」

西側諸国の消費者がガソリン代で節約できる数ドルを数えている間に、プーチンは原油価格が回復したときに何十億ドルも儲けられることを数えている。ロシアは現在の戦いで負けている可能性は低いかもしれない。広く知られているように、プーチンはこの戦争に負けるつもりはない。実際、この戦争に勝った場合の究極の報酬が何であるかを本当に理解しているのはプーチンだけであるように思える。

しかし、ロシアに対する制裁や金融兵器としての操作は、EUに認められているものよりもはるかに有害である。

Der Zeitung 'Österreich' 紙は、オーストリアのヴェルナー・ファイマン首相の発言を引用し、次のように述べた。

「EUの多くの人々が対ロシア制裁の成功に歓喜しているが、私はそれに同意できない」 - 「祝う理由が見当たらない。ロシア経済が崩壊したのになぜ喜ばなければならないのか分からない」 - 「ロシアと取引のあるドイツとオーストリアの企業はルーブル安に苦しんでおり、3社に1社は従業員を解雇するかプロジェクトを中止しなければならないだろう」とドイツ商工会議所協会の専務理事は警告した。

ルーブル崩壊の背後にある真実:

主流メディアは「世界がプーチン大統領への最後の信頼を失ったため、ロシアは無力だ」と主張している。政権交代が必要だ。プーチン大統領を犯人として非難し、国民の目から彼の信用を失墜させようとしている。彼はロシアを深刻な不況に導いた責任があると報じられている。実際には、ロシア国民の少なくとも80%がウラジミール・プーチン大統領を固く支持している。彼は文字通り、大多数のロシア人から英雄として崇められている。

AP通信がNORC公共政策研究センターと共同で発表した最新の世論調査の結果によると、ロシア人の約80%が依然としてプーチン大統領とその政策を支持している。2012年に実施された同様の世論調査では、プーチン大統領はロシア国民の58%の支持を得ている。理解すべき重要なことは、ロシアの強さは、脅威を感じた時に、他の国なら破滅するような状況にも耐えられることだということだ。

「評価について考え始めると、利己的になり始めます。」

だからこそ、プーチンは視聴率など考えず、経済の問題を解決し、ロシアを住みやすい国にしているのだ！ 西側諸国がプーチンを悪者にしようとしているのは驚くべきことだ。彼は現実的で、賢く、忍耐強く、地球全体の状況や事実について膨大な知識を持っている。彼に匹敵する者がいないのなら、彼を悪者にする時が来たのだ。おそらくプーチンは今、核災害と第3次世界大戦から全世界を救っ

ているところだろう。ロシアの指導者に銃を乱射する人物がいたら、どうなっていたか想像してみたい。

オバマ大統領はまた、サウジアラビアや湾岸諸国などの中東の石油生産傀儡と連携して、市場にガソリンやガスを氾濫させ、その結果価格が下落し、ロシアとベネズエラに損害を与えたとみられる。両国は、政権交代を誘発しようとするワシントンの覇権計画の犠牲者だ。両国のエネルギー生産を統制する首長たちは、ワシントンから十分な恩恵を約束されたようで、自らの損失を甘受して辛抱強く耐えたのだろうか？

プーチンは、オバマ政権によるルーブルと原油価格の操作に対する報復手段として、すべてのカードを持っている。いくつか例を挙げると、来年初めに期限を迎える未払い国債の返済を遅らせること。これは、ルーブルが安定するまで待つと主張できるため、デフォルトにはならない。資本が著しく不足している TBTF 銀行は確実に破綻するだろう。これが実行に移されれば、世界中に広がる 1,000 兆の相互接続された操作されたデリバティブが次の犠牲者となることは間違いない。トランプのトランプのカードは、誰もが目にするところで崩れ落ちるだろう。

プーチン大統領のもう一つの選択肢は、EUに「NATO加盟国にはもうエネルギーを供給しない」と告げることだ。そうなればドイツは深刻な問題に直面することになる。なぜなら、ドイツの産業の主要部分が閉鎖され、それに伴って統合された銀行システムも閉鎖されるからだ。NATOとアメリカの権力の終焉を目の当たりにするメルケル、オランダ、キャメロンの顔を見るのは面白いだろう。

プーチンのもう一つの切り札は、西側諸国では誰もルーブルを扱っていないということだ。ワシントンとの近視眼的な共謀により、西側諸国の傀儡国はすべてルーブル準備金を放出しているが、ロシアはそれを買わず、その結果市場にルーブルがあふれている。ロシアはドル準備金が大量にあるだけでなく、ルーブルは金に裏付けられ

ている。この事実は主流メディアでは常に省略されている。しかし今のところ、ロシアはルーブルが急落するのを容認したいのだ。

ロシアにはルーブルが必要だ。西側諸国の通貨システムから切り離されたロシアの今後の取引には、この通貨が不可欠だ。だから、ロシアは自国通貨が底をついたと判断すれば、大量のドルとユーロで安いルーブルを市場で買い戻すだろう。するとロシアは、最終的には中国の助けを借りて、ドル、ユーロ、その他の西側諸国の通貨を西側諸国の市場に氾濫させるかもしれない。プーチンの対応は、他の国の通貨を市場に氾濫させ、同時に西側諸国から自国のルーブルを買い戻すことだ。これは、ワシントンにとって不利益となるかもしれないが、ヨーロッパが参加を望むであろう新たな通貨システムでロシアの通貨を再建する素晴らしい動きとなるだろう。

別の意見:

ドイツでは、元大統領を含む60人の主要人物が演説した。ゲンシャー氏、シュレーダー氏、その他の要人。彼らは全員一致で、ドイツはロシアとの関係を損なうべきではないと述べた。アンゲラ・メルケル首相が非常に困難な状況に陥っているため、このような事態が起きている。米国が原油価格を引き下げると、原油価格は急落し、サウジアラビアとの協定に従って米国が講じた措置により、ロシアはドルを失うことになる。

ロシアはEU加盟国として受け入れられなかった。ロシアがいなければ、ドイツはEUで大きな影響力を持つことになるからだ。もしロシアが受け入れられていたら、ドイツは高い影響力と優位性を失っていただろう。

しかし、コール氏もまだ元気だったころは、ロシアなしではすべての国の利益を代表し、それを満たす世界秩序はあり得ないと信じていた。この見解は、ソ連の元大統領ゴルバチョフ氏も持っていた。

[RTとのインタビューをご覧ください。](#)

中国とロシアの二重らせん。

中国とロシアの関係とそれが世界に与える影響に興味のある読者は、[この27ページのPDFを読んでください。](#) すべての詳細を述べました。 - ウラジミール・プーチン大統領は明確に述べました。

「ロシアと中国は、国際関係のシステム全体に重大な影響を及ぼすだろう。この関係は世界政治の重要な要素となり、国際関係の現代的構造に影響を与えるだろう…」そして、地政学的な大転換の中でこの関係が何を意味するかを正確に述べるために、プーチン大統領は続けた。「ロシアと中国は、軍事分野で今ほど信頼関係を築いたことはない。ロシアと中国両国で、海上と地上での合同軍事演習が行われている。」

「普遍的な欺瞞の時代には、真実を語ることが革命的な行為となる。」 - ジョージ・オーウェル。

ルール崩壊の背後にある真実:

何千年にも及ぶ努力の産物である西洋文明は、今や危機に瀕している。墮落は我々の目の前のいたるところで見られる。西洋が暴政に陥る中、西洋の人々は自らの自由と魂を守るのか、それとも、再び醜くすべてを食い尽くす暴政に屈するのか。

秘密主義のルシフェリアンエリートによって形成され、すべての西側諸国、そしておそらく全世界を支配している新しい秩序を求めています。その影響は、食料品店で購入する製品からニュースネットワークで取り上げられるトピックまで、社会のあらゆる側面に浸透しています。彼らは現在、新しい世界秩序を実施するために歴史上最大の金融災害を引き起こしています。 - エリートメディア体制によってフィルタリングされ、承認され、宣伝された本当のニュースもあると言われています。そして、ロシアの操作によりヒラリー・クリントンがホワイトハウスを失うことになったという捏造され

たニュースのように、意図的に捏造されたストーリーなどのフェイクニュースもあります。しかし、フェイクニュースこそが人々が望んでいるもののようです。悲しいことに、ニュースは娯楽の一形態と見なされているからです。人々は、自分が賢く、英雄的で、名誉ある人間であると感じられる娯楽を望んでいます。これが人々が嘘を望む理由です。人々は不快、不十分、または愚かだと感じたくないのです。

だから、彼らが最も望まないのは、真剣な熟考や真の洞察です。真実は向き合うには難しすぎ、受け入れるには苦すぎます。人々は、すんなりと受け入れることができ、背が高く、スリムになったように感じさせてくれるニュースを望んでいるようです。直接体験したような厳しい事実から遠ざかるほど、ニュースは偽りになります。新聞で読むニュースは、通常、遠く離れた場所で、理解できない動機、複合的な空想、神話、妄想に基づいて起こっています。これは、たとえば経済ニュースを見れば明らかです。

現在の偽りの経済回復は、量的緩和とサブプライム学生ローンおよび自動車ローンによって賄われている。両方のローンバブルは、オバマ政権がローンを返済する意志がないことに加え、信用リスクを無視したことの結果である。納税者の肩にのしかかる 1.4 兆ドルの学生ローン債務は、進行中の災害である。この債務の 25% 以上が事実上債務不履行である。納税者救済は 5,000 億ドルを超える。

金や銀のような実体のない通貨は、常に負債と破滅をもたらしてきた。金と銀は、無からお金を印刷する限り、価値が上がることは間違いない。債務バブルは新しい現象ではない。歴史的に、指導者たちはあまりにも頻繁に紙幣を過剰に印刷することを選択し、それは常に悲惨な結末を迎えてきた。ニュースはめったに、それが主張する通りのものではない。北極で記録された気温のリストのように、議論の余地のない事実を冷徹に語るものではない。その代わりに、そのすべてがアイデア、神話、誤解の網によって影響され、形作ら

れている。そうでなければ、ニュースはエリートたちが目標を追求するための道具として無意味なものとなるだろう。虚偽の主犯：Amazon.comの創設者ジェフ・ベゾスが所有するワシントン・ポストは、いくつかのウェブサイトやオピニオン・ブログがフェイクニュースを流していると非難しており、その一部はロシアのエージェントから提供されているとされている。

偽りの対テロ戦争：

対テロ戦争も仕組まれたものと思われる。これは間違いなくディープステートの記録に完全な失敗として残るだろう。この神話はテロを阻止できなかつただけでなく、テロを起こすことにも失敗したのだ！14年間の継続的な介入と攻撃を刺激するために費やされた数兆ドルの後でも、テロリストに殺されるリスクは依然として400万人に1人だ。 - **そして、現金と貴金属の制限を開始したいという最新の話もある。** 転送 EU外からのテロ攻撃は、EUの管轄外から禁止されています。もちろん、この禁止の理由は、大陸全土で過激派テロ攻撃に秘密裏に資金提供するために使用されているとされる手段を遮断する必要があるためです。ただし、すべてのテロ攻撃、特に重大なテロ攻撃は、政府の資金を投入して、ごくわずかな資金で仕組まれて行われている可能性が高いことも言及する必要があります。 - 2016年のクリスマスにドイツで発生したトラック攻撃では、フェイクニュースの主流メディアの公式報告を信じるならば、銃を持った男1人がトラックを盗んだ事件でした。

フェイクニュースのもう一つの典型例。

アメリカが第一次世界大戦に参戦すると、イギリスはアメリカがドイツからのニュースを直接入手するケーブルを切断した。それ以降、アメリカ人が読む戦争に関する「ニュース」のほとんどはイギリス経由で届き、イギリスでは大幅に編集された。イギリスはドイツの不誠実さや残虐行為について作り話をでっち上げた。その中には、修道女が集団で強姦されたことや、野蛮なドイツ人によって腕を残酷に切り落とされた子供たちのことなどがあつた。どれも真実で

はなかった。しかし、それは効果があった。1917年、騙されやすいアメリカ人はイギリス側で軍隊を急がせて戦争に参加した。

偽りの貧困戦争：

貧困との戦いは、またしても大失敗だ。真面目な経済学者なら、依存を促すプログラムに資金を投入すれば貧困を克服できるなどと信じている人はいないだろう。ほとんどの経済学者は例外だが。だから貧困との戦いは続くのだ。

51年が経ち、22兆ドルが費やされた今も、貧困撲滅の戦士たちはヘルメットをかぶり、毎日戦いに挑んでいる。彼らはこの戦いに勝てると思っているのだろうか？もちろんそんなことはない。「金を払った分だけ得られる」とミルトン・フリードマンは言った。貧困のままにいるために金を払えば、必ず誰かがそれを受け入れるだろう。

貧困との戦いが始まったときよりも貧困生活を送る人が 1,000 万人増えていきます。この数字には失業者の多くが含まれていません。貧困との戦いは彼らにもあまり良い影響を与えていません。かつてないほど失業者が増えています。そして彼らはすべてディープ ステートに依存しています。1964 年以降、これらすべての人々に貧困のままにいるために支払った推定コストは 22 兆米ドルを超えています。さらに、この貧困との戦いは、貧しい人々の軍隊だけでなく、専門家、教育者、弁護士、社会学者、管理者、研究者、コミュニティ オーガナイザーの業界全体を支えています。一部は公的部門、一部は民間部門です。これらすべての人々は今、日々の糧を得るために唯一の真の勝者であるディープ ステートに頼っています。

偽りの動機による現金に対する戦争：

現金との戦い マイナス金利は過激で狂気の策だ。完全な絶望の兆候だ。また、あなたの経済的安全に対する大きな脅威でもある。中

央計画者は火遊びをしており、通貨の大惨事を招いている。ほとんどの人は通貨が崩壊したら実際に何が起こるのか全く分かっていないし、それにどう備えるべきかなど知らない。現金の禁止のような過激で極端な策はディープステートが必死であることを示している。金融システムと経済をコントロールし続ける自信があれば、彼らはこのような行動は考えないだろう。この絶望的な行為の最終的な結果は彼らにとって逆効果となり、国民にとっては祝福となるだろう。

金に対する戦争、次の偽りの物語:

政策立案者たちは、金への大規模なシフトに気づけば、金に対する無制限の戦争を始めるだろう。金に関心のある人は、まだ購入できるうちに、今すぐ購入しなければならない。待ってはいけない。すぐに手遅れになるからだ。

銀行や当局は、大企業の支援を受けて、現金の形で自分のお金を保有できないようにするためにあらゆる手段を講じています。企業も現金に対する独自の戦争を開始したようです。現金は輸送、保管、保険に費用がかかるため、現金を扱うことを嫌がります。ますます多くの企業が現金の受け取りを拒否しています。これは、銀行口座を持っていない人や、小切手換金サービスに頼って給料から給料まで生活している人に対する差別のもう 1 つの形にすぎません。これにより、マイナス金利、サービス料、口座凍結、ペイルイン料金、その他の盗難の影響を受ける可能性のあるデジタル システムに追い込まれます。現金に対する戦争は人々にとって負け戦かもしれませんが、物理的な金、銀、不動産、その他の有形資産にはまだ避難所があります。重要な防御戦略は、**金に対する戦争が始まる前に、まだできるうちに金と銀を入手することです**。この認識が浸透するにつれて、すでに不足している物理的な金の需要がさらに高まります。金と銀に対する戦争は、政府にとって事前に負け戦です。

偽りの麻薬戦争:

麻薬戦争の結果、人々は自由を手放すことになったが、その代わりに麻薬の流入から何の保護も受けられなかった。この戦争が最初から失敗する運命にあった理由は容易に理解できる。これは市場との戦いであり、結局は市場が勝つのだ。 - 麻薬戦士たちが違法薬物の流入を阻止すればするほど（それが彼らの本当の目的ならば）、薬物の価格は高くなる。価格が高騰すればより多くの起業家が誘い込まれ、より多くのイノベーションが生まれ、必然的に麻薬使用者にとってより豊かで選択肢が多く、価格が下がる。 - 麻薬戦争の実施にはこれまでに1兆ドル以上が費やされており、麻薬との戦いだけで年間500億ドル以上が費やされていると推定されているが、全体的な麻薬使用は変わっていない。

テロとの戦い:

対テロ戦争でも同様のことが言えるようだ。このでっちあげの戦争に費やされた資金とエネルギーはほとんど影響を及ぼしていないようだが、この戦争の考案者たちはそれでもなお「外国人」テロリストの需要を増やしているようだ。米国とNATOの爆弾、ドローン、暗殺の圧力の下、テロ対策介入によって過激化するイスラム教徒がますます増える中、より文明化された過激派の系統はより暴力的でよりダイナミックな文化へと進化しているようだ。国家優先プロジェクトによると、イラク戦争とアフガニスタン戦争、そしてISISとの新たな戦いの費用はこれまでに2.3兆ドルに上り、かつてないほど多くのテロリストとグループを生み出している。

EU女王アンゲラ・メルケル、EU内でのISISの活動を許可:

アンゲラ・メルケル首相と、彼女と同調するEUとドイツ政府内の人々は、[ISIS工作員がEUに侵入し](#)、ネットワークを構築し、ヨーロッパ市民を攻撃することを故意に許可している。これを許可する目的は、[危機を作り出すことだ](#)。これにより、EUへの欧州統合拡大の必要性が人為的に高まることになるが、EUは当然のことながらドイツによって大部分がコントロールされており、これまでのところ

ドイツは一発の銃弾も撃たずに欧州をコントロールすることができた。危機が終息に至れば、メルケル首相はこれを口実に、新たに結成されたEU軍を使って欧州諸国を占領するだろう。この軍は現在NATOから供給されているとされているが、これを発見した立場にあるNATO当局者は不思議なことに死体となって発見されている。

- ドイツの諜報機関はISIS工作員への対処を故意に怠っている。
- ドイツは、EU軍によるヨーロッパ占領を正当化するために、ISIS事件の発生を容認している。

この記事で モロッコ諜報機関から提供された情報に基づいて、スペインとフランスの当局がテロ組織を壊滅させることに成功した経緯が説明されている。ドイツはなぜ行動を起こさなかったのか？それは、アンゲラ・メルケルがEU内でISISの攻撃を許すことで危機を作り出すことに既得権益を持っているからだ。

地球温暖化に対する捏造された戦争：

地球温暖化は国民にさらなる税金と費用を課すための作り話であり、1989年以降これまでに23兆ドル以上の費用がかかっており、腐敗した科学者たちは地球温暖化が加速していると主張している。

信用サイクルに対する戦争：

信用サイクルは、中央銀行と連邦準備銀行のバランスシートの拡大を測定するものです。連邦準備銀行によると、米国の資産は1990年以降4兆ドル以上に膨らんでいます。信用サイクルに対する戦争には、ディープステートの戦争の今やおなじみの指標がありません。

- 敵を特定するのは難しい。
- コストは膨大で、制限はありません。

- 多額の資金がディープステートの工作人員や顧客に送金されます。
- そして戦争に勝つことはできない。

信用サイクルとの戦いは他の戦いとは違います。これはディープステートが負けたくない戦いです。経済の多くの部分と同様に、ディープステートは成長と資金調達のために安価な信用に依存しています。麻薬やテロとの戦いに負けることは、実際には内部の人々に利益をもたらします。[信用サイクルに対する戦争は起こりません。](#)

偽の機関NASA：

NASAはディープステートによって[煙幕として作られ](#)、「見ていて楽しい」化学ロケットで国民の注意をそらし楽しませるために作られた。[反重力インサイダー](#) かつてはそう述べられていましたが、実際の宇宙ミッションは米国空軍と海軍によって秘密裏に実行されてきました。NASA は過去 36 年間に新しいスペース シャトル オービターを 1 機も建造していません。

米陸軍、空軍、海軍、NASAのコンピューターに侵入した英国人ハッカー、ゲイリー・マッキノン氏によると、宇宙にはすでに完全に機能する軍艦が存在しているという。

マッキノンの調査結果は、[複数の 内部告発者](#) 彼らは宇宙や[火星で任務に就いたことがあると告白している](#)。さらに、[ヴァン・アレン放射線帯](#)を通過することは不可能であるため、有人月探査は一度も実現していない。

NASAの1986年の不運な[チャレンジャー号の乗組員はまだ生きている](#)そして元気です。NASA と政府のさらなる欺瞞。NASA は宇宙遊泳、地球の写真や映像、そして宇宙飛行士の死亡を偽造しました。彼らはこれで何を得るのでしょうか？ こう考えてみましょう。彼らは多くの宇宙飛行士の死亡を偽造しましたが、彼らに新しい命を与えたのです。彼らは元気で生きています。これは良いことです。しかし

、スペース シャトルの破壊の背後にある謎はまだ解明されていません。

過去数十年にわたってNASAが徐々に閉鎖されてきた本当の理由は、ディープステートがはるかに優れた秘密宇宙計画を持っており、NASAがその気をそらすための隠蔽工作として利用されていたからかもしれない。

告げる・嘘をつく・視覚：

世界は急速に変化しており、少なくとも先進国では、多くの人々が企業所有の主流メディアを見抜き始めている。テレビは、何度も世界的な大事件について「偽造」や嘘をつくことに特化しており、現在、テレビの従業員の中には仕事を辞めてて真実を語る者もいる。主流メディアの大部分を支配しているものや人物について。

最近殺害されたとされるウド・ウルフコッテ博士もその一人だ。彼は20年以上ドイツのトップジャーナリストとして活躍し、諜報員の仕事を自分の名前で出版するよう強要され、従わない場合は職を失うことになると指示されていた。西側諸国の主流テレビで放映されるものすべてが嘘ではないというのは本当かもしれないが、その多くは嘘であるように思われる。あるいは、少なくとも、戦争やテロのような世界的大事件に関しては、放映されるものの多くには企業や政治の偏向が背景にあるように思われる。

ディープステートのグローバリストと戦う：

50年ぶりに人民が勝利し、グローバリストはパニックに陥っている！

ソロス、クリントン、オバマが平和的に去ることはないだろうことはほぼ確実だ。最大の対決はまだこれからかもしれない。偽旗作戦の形態がどうであろうと、それはもうすぐ起こるかもしれない。備えはしておきながら冷静さを保っておこう。それが最善の反撃だから

らだ。ほんの数日前、トランプタワーの隣に置かれた核爆弾が発見され、撤去され、爆発した。

しかし、私たちはただ座ってトランプに掃除を任せることはできません。私たちは2017年1月20日に袖をまくって仕事に取り掛かる必要があります。**自由は決して無料で手に入るものではなく、すべての人々がトランプがグローバリストと戦うのを助ける必要があります。**あなたに何ができるのか、あなたは自問するかもしれません。[このビデオを見て 探し出す](#)。

デジタル戦争:

ファシストディープステートの陰謀団は、権力を強化し、殺し、子供を犠牲にし、強奪し、食い尽くし、自らのプライドと欲望を満たすためだけに生きている。彼らは盗み、操作し、嘘をつき、騙し、詐欺し、拷問し、殺し、破壊を休みなく行う。彼らは世界の寄生虫だ。

しかし、多くの人々は、自分たちの政府が自分たちも殺すだろうということを知らないか、信じたくないのでしょうか？ まあ、事実は明白です。第二次世界大戦前、ハザール人が支配するファシストナチスは、ドイツ国民自身による投資を経済の基盤としていました。ドイツの銀行家、ドイツの貴族、ドイツのユダヤ人の助けを借りて、彼らはドイツ国民の労働と資産に基づく債券を国際投資家に販売しました。

ナチスは借金を返済できなかったため、最も身近な優先債権者、つまりドイツの銀行家、ドイツの貴族、ドイツのユダヤ人を殺害しました。なぜでしょうか。優先債権者を排除することで政府債務の大部分が消滅し、ナチスは被害者の家や土地、銀行口座を自分のものにできるようになり、優先債権者を殺害する前にナチスが彼らにかけていた生命保険も差し押さえられました。彼らは彼らの家畜車に乗せて強制労働収容所に連れて行き、何人かを死ぬまで働かせ、残

りを殺害しました。それが起こったことであり、それが起こった理由です。

ディープステートの陰謀団がパニックに陥り、彼らは「スライス・アンド・ダイス・テクノロジー」を適用している。多くの人がEMPについて聞いたことがあるかもしれない。これは核爆弾を空中で爆発させることで作られる電磁パルス兵器で、発電機やあらゆる種類の電気機器を破壊する効果がある。このような災害は国全体の電力網を停止させる可能性があり、これは考えるだけでも恐ろしいことだが、これが十分に効果的でない場合、彼らは健康を促進し回復するために使用されるべき音響やその他の共鳴周波数デバイスを使用するが、代わりに破壊兵器として使用される可能性がある。生物系に対するEMPのように、心臓の鼓動の電気パルスを中断するだけのエネルギーデバイスを想像してみしてほしい。心臓を再起動させる人がいなければ、あなたは死んでしまう。

カバールはこれらの兵器を数年にわたってテストしてきた。これらのテストは、世界中の海洋生物や鳥の「謎の大量死」の原因となっている。空から大量の鳥の群れが突然消えた。亀、イルカ、その他の海生爬虫類や哺乳類が、衝撃的な速度で大量に殺された。犠牲者をまず殺すという古いナチスのやり方ほど利益は出ないが、迅速かつ効率的に機能し、混乱は比較的短期間で片づけも簡単だ。建物は損傷せず、生き物だけが損傷する。これらの兵器を除去できる高度な技術はあるが、問題は、それらが地域全体を壊滅させる前にそれを実行できるかどうかだ。この脅威は現実のものだ。人口の半分以上がまだ至福の無知の中でぐっすり眠っている中、これを克服できるかどうかは難題だ。

より多くの人々に目覚めてもらうために、[このビデオを見てください](#)。そして、第二次世界大戦中および戦後、勝利した連合軍が、ルーズベルト大統領、ウィンストン・チャーチル、アイゼンハワー將軍、スターリンとそのロシア軍閥の命令により、主に女性と子供で

ある何百万人もの罪のないドイツ国民を組織的に略奪、強姦、拷問、殺害し、彼らをまとめて船に乗せて海で溺死させたことを理解します。

コンピューターはカバールのアキレス腱です。

コンピュータを危険にさらせば、世界で最も豊かな経済を破産させることができます。コンピュータを機能不全にすれば、世界最強の軍隊を屈服させることができます。コンピュータを破壊すれば、敵を手中に収めることができます。

でっちあげの「テロとの戦い」は、莫大な資金で対抗しなければならないさらなる「テロ」を生み出すことに成功しました。どうやら政治家たちは、社会保障、年金基金、税金に支払われる資金を軍隊や治安部隊に振り向けるつもりようです。

イラク戦争は過激派の敗北物語として14年ぶりのものとなった。イスラム国はイラクとシリアの半分を支配している。西側諸国の支配に対するイスラム主義者の抵抗はアフリカ、イエメン、サウジアラビア、ヨルダンに広がり、石油首長国は陥落寸前である。

中東で魔神を解き放ったことで、米国は ロシア、ひいては中国との対立につながる。これは、14年間もアフガニスタンでタリバンを倒せていない政府にとっては大きな痛手だ。

ロシアは敗北に慣れた国ではない。さらに、ロシアは大規模な核戦力と、米国やNATOの侵攻を吸収できる広大な領土を持っている。どの国よりも圧倒的に広い国土を持ち、十分に武装した国と戦うことは、基本的な戦略的洞察力の欠如を示している。しかし、米国はまさにそれをやっているのだ。

ロシアによるワシントンへの抑制は脅威とみなされている。ロシアの見解では、「敵対勢力」とは、BRICS、イラン、ポリビア、エクアドル、ベネズエラ、アルゼンチン、キューバ、北朝鮮が宣言

したような、独立した外交政策を持つ国である。これはオバマ政権にとって耐えられないほどの独立性である。ロシアのウラジミール・プーチン大統領が最近述べたように、「ワシントンはパートナーを求めている。ワシントンは従属国を求めている」。ロシアの当然の反応はデジタル戦争である。

中国、ロシア、イランの政府からのハッカーは、アメリカの電力網、原子炉、航空管制、電車や地下鉄、水道や衛生施設、石油やガスのパイプライン、重要な製造工程などを停止させる制御を確立した。マイケル・ロジャース提督は最近、次のように警告した。

「ロシアの独裁者ウラジミール・プーチンは、アメリカのコンピューターをウイルスに感染させ、キーを一回押すだけでアメリカ経済を停止させられる。彼は電力網、原子炉、航空管制、電車や地下鉄、水道や衛生設備、石油やガスのパイプライン、工場などを停止させることができる。彼は、アメリカの銀行システムや株式市場、そして国内のあらゆる雇用者を意のままに「停止」させることができる。彼はまた、アメリカの兵器システムを制御するコンピューターを攻撃することもできる。」

米当局は防御の余地がないことを率直に認めている。

「我々は文字通り敵の言いなりになっており、不意を突かれている」。「これらすべてから、何か劇的なことが起こるかどうかではなく、いつ起こるかという問題だと考えている」と同氏は続けた。

その後しばらくして、オバマ大統領はロジャース提督の証言を認め、アメリカの敵が現在求めているのは次のようなことだと述べた。

「我々の電力網、金融機関、航空管制システムを破壊しなす。」

世界中のどのコンピューター、タブレット、スマートフォンでも、キーを 1 回押すだけで起動できます。米国の敵は、文字通り、米国経済を意のままに「停止」できます。しかし、この新しい事実がいかにも恐ろしいものであっても、それは物語の始まりにすぎません。彼らは、株式、債券、商品市場を管理するコンピューター、および大手銀行や証券会社から 1 台の ATM に至るまで、あらゆる金融機関を操作することもできます。また、健康記録、銀行口座、信用情報、ローン、クレジットカード、納税申告書など、最も機密性の高い国家安全保障上の機密、知的財産、個人情報を保存しているコンピューターのメモリを略奪することもできます。政府や官僚の業務を支えるコンピューターを妨害し、米国軍を麻痺させることさえできます。

専門家による長年の警告の後、ソニー、ホームデポ、国防総省、さらにはホワイトハウスへの過去のセンセーショナルなハッキングがようやく全国的な注目を集めるようになった。しかし、これまでのところ最も憂慮すべき攻撃は、米国政府と軍を運営するコンピューターに対するものだ。

コンピューターに依存する世界:

世界がコンピューターに大きく依存するようになったため、コンピューターはアキレス腱となり、陰謀団の最大の弱点となった。コンピューターへの依存は、敵に国家を滅ぼすための唯一の難所を与えた。敵はもはや、空、陸、海で米国の軍事力に匹敵しようと何兆ドルも費やす必要はない。国中や世界中の何千もの戦略目標を攻撃する必要もない。

「今この瞬間にも、彼らの侵入型ソフトウェア、つまりウイルス、ワーム、トロイの木馬、その他のコードが、全国の何千もの政府コンピューターシステムでひっそりと動作している。」

サイバースパイは情報収集によって「戦場を準備」している

「彼らは戦闘に使うための知識を蓄積している。また、アメリカの兵器システムを制御、弱体化、破壊する方法も完成させている。」

2014年11月、少なくとも25,000人の国土安全保障省職員の個人情報漏洩したと報じられました。この種の情報は、米国政府の機密ネットワークへのアクセスを目的とした「フィッシング」攻撃によく使用されます。また、米国の防衛関連請負業者とそのコンピューター上の機密情報も攻撃されています。

国家安全保障局の内部告発者エドワード・スノーデン氏は、中国のハッカーがロッキード・マーティンのF-35統合打撃戦闘機に関する50テラバイト（約43億ページ）のデータを盗んだ事実を暴露した。盗まれたデータには、航空機のエンジンの設計図などが含まれていた。軍事専門家は、北京は成都J-20と瀋陽J-31の開発にこの情報を利用した可能性が高いと述べている。

この大規模なサイバー戦争における米国の敵はロシアと中国だけではない。最近、イランも米国に対するデジタル戦争に加わった。イランのスタッフが米海軍のコンピューターをハッキングし、機密メールやその他の情報にアクセスした。しかし、こうした脅威はどれも、米国の核兵器への攻撃に比べれば取るに足りないものだ。

国家核安全保障局のトーマス・ダゴスティーノ氏によると、アメリカの核兵器を制御するコンピューターは毎日最大1,000万回の攻撃を受けている。1パーセントの1,000分の1の精度でも、年間を通じて毎日最大1,000回の攻撃が成功し、アメリカの核兵器に対する攻撃は年間365,000回成功していることになる。

結果:

ハッカーがアメリカの核ミサイルを実際に発射することはあり得るのでしょうか? 恐ろしいことに、誰も確実には知りません! - 米国

のインフラ、政府、軍事施設への攻撃は恐ろしいものですが、毎年アメリカで発生する侵入の約 69% は米国企業を狙ったものです。

これらの攻撃の多くは、次の 4 つの目的のいずれかを達成するように設計されています。

- 民間所有または保守のコンピュータ システムによって制御されている電力網、石油およびガスのパイプライン、航空管制、その他の重要なインフラストラクチャ システムを制御すること。
- 米国企業、特に軍事請負業者の知的財産を盗む。
- 名前、住所、電話番号、社会保障番号、電子メール アドレスなどの個人情報を収集します。
- この情報は、それらの人々がアクセスできるコンピューター（政府のコンピューター、軍のコンピューター、インフラストラクチャのコンピューター）にアクセスするために使用されます。

たとえば、外国の政府機関のエージェントがあなたの電子メールアドレスを盗んだ後、信頼できるソースから送信されたように見える電子メールを送信することがあります。電子メールを開くと、添付ファイルまたはリンクがクリックされ、コンピューターがマルウェアに瞬時に感染し、ハッカーは、あなたがアクセスできる会社または政府のコンピューターと、それらに接続されているすべてのネットワークにアクセスするために使用するパスワードを取得できます。 - しかし、これらのサイバー スパイだけがあなたの個人情報を狙っているハッカーではありません。あなたの個人情報を盗もうとするサイバー泥棒も、個人情報を狙っています。

最近の被害者のリストには、セブンイレブン、AOL、シティグループ、ホームデポ、Kマート、ナスダック、ターゲットストアなど、アメリカの大手企業が多数含まれている。 -

ソニー・ピクチャーズのネットワークがハッキングされたことで有名になったハッキンググループ「ガーディアンズ・オブ・ピース」は、FBIによって北朝鮮の犯行とされているが、壊滅的な被害をもたらした。このハッキングにより、有名なプロデューサー、監督、映画スターを含む47,000人の現従業員および元従業員とフリーランサーの機密性の高い個人情報漏洩した。また、ソニーのコンピューターから未公開の映画が盗まれ、ハードドライブが消去された。最新のハッキング事件は、[240万人の顧客の個人データが盗まれたカーフォン・ウェアハウスの事件である。](#)

アメリカは明らかにこのデジタル大戦争に負けつつある。これまで、ワシントンやビジネス界で、サイバー攻撃に対する防御策を構築するために多額の支出を主張するほど懸念している人はほとんどいなかった。[民間部門](#)は連邦政府の3倍以上の規模であるにもかかわらず、コンピューターのセキュリティ確保に費やす金額は連邦政府の3分の1程度にすぎない。

重大な誤り：

プーチンが米国にとって根本的な挑戦者となったとき、ワシントン政府はアフガニスタンとイラクへの侵攻が成功しなかったことに気をとられていた。両侵攻は、その後の中東における他のすべての侵攻と同様に、不法な作戦であり、成功しなかった。

2014年までに、中東で結婚式、葬式、村の長老、子供たちのサッカーの試合を爆破する中で、ワシントンは目覚めた。一方、ロシアはワシントンの支配からの独立を達成し、米国の覇権一国主義的超大国構造に対する手強い挑戦者として自らを位置づけた。プーチンとロシアはワシントンの嘘と傲慢さにうんざりしている。

ワシントンDCは対抗措置として、ロシアの長年の構成国であるウクライナをロシアから分離することを選択した。その結果、ビクトリ

ア・ヌーランド国務次官補は50億ドルを費やして街頭暴動を組織し、暴力を伴った組織的な「デモ」によるクーデターを起こし、その結果、民主的に選出されたヴィクトル・ヤヌコビッチ政権は打倒され逃亡した。

言い換えれば、オバマは、その国の「民主主義」が根付く前に、まずクーデターでその国の民主主義を破壊した。ウクライナの民主主義は、ワシントンのウクライナ奪取の意図には何の貢献もしていない。その目的は、ロシアに安全保障上の問題を負わせ、[MH. 17便が撃墜された](#)「ロシアの侵略」に対する制裁を正当化することだった。[ウクライナ上空](#) ロシアとヨーロッパとの経済的、政治的な関係の拡大を断ち切るためだ。

ロシア政府は、ロシア国民の 89% の支持を得て、西側諸国の一員となる代償として従属国の地位を拒否すると明言しています。その結果、ロシアは破壊されなければなりません。 - 第 3 次世界大戦とそれに続く世界の破壊を意味します。

解決策:

平和を取り戻すために何ができるだろうか？第一に、完全な体制転換。第二に、EUはNATOを放棄し、ワシントンはロシアよりも大きな脅威であると明言しなければならない。NATOがなければ、ワシントンは侵略の隠れ蓑も、ロシアを包囲する軍事基地もない。

「Wir sind uber alles (私たちがすべてを支配する)」というイデオロギーを持っているのはロシアではなくワシントンだ。

オバマ大統領は「アメリカは例外的な国だ」というこの主張を支持した。プーチン大統領はロシアに対してそのような主張はしていない。オバマ大統領の主張に対するプーチン大統領の返答は「神は我々を平等に創造した」というもの。そして、デジタル戦争ゲームでアメリカを攻撃する別の方法を見つけた。

結局、傲慢さ、自己満足、嘘が没落の原因となるでしょう。

まとめ：

戦争にすべて敗れてきた。実際、戦争は負けるためにある。勝つためにあるのではない。勝つことは最悪の事態だ。これらの戦争は軍需産業が存続できるように計画されている。戦争に勝つということは、軍が帰国し、お金の支出が止まることを意味するため、防衛産業が存続できなくなる。

これらの侵略戦争は天然資源と金の窃盗が目的だった。イラクから盗んだ石油は中国に売られ、その金はより大きな影響力を得るための賄賂に使われた。そして、この戦争は永遠に続くことを意図している。軍は戦争に勝ちたいとは思っていない。なぜなら、通常の方法では倒せない敵など存在しないからだ。

これは防衛産業における全く異なる種類の腐敗です。米軍は実際の戦争に備えていません。彼らの防衛予算は、特定のグループの人々からお金を奪って彼らに与えるために設定されています。彼らは事実上、国を守るために設定されていません。

物資、つまり技術的に第二次世界大戦を戦うのに適した軍需物資に莫大な出費がある。中国やロシアのような本当の敵との本当の戦争が勃発すると、その本当の敵はアメリカの不格好な旧体制に対抗できる新しいデジタル兵器を巧みに安価に開発しており、アメリカは結局その傲慢さのせいで敗北することになるだろう。

戦わなければならない戦争：

残念ながら、目覚めた私たち全員が戦わなければならない戦争がまだ残っており、世界最大の敵である「ロスチャイルド・ハザール・マフィア」(RKM) が運営するディープステート・カバールとの戦争はまだ勝利していない。 - 最大の問題は米国にあり、ブッシュ/クリントン/ロックフェラー一族が率いる少数の恐ろしいギャングの厳しい管理下にあり、彼らは 国民は一生借金奴隷状態に置かれる

。

これに気付いている人は皆、連邦準備銀行（FED）、欧州中央銀行（ECB）、日銀、その他すべての民間所有の中央銀行が一般大衆、つまり国民に乗っ取られるまで、社会の「善玉」たちを支援する必要がある。これらの中央銀行はRKMの権力の源であり、米ドル、ユーロ、円、そしてそれぞれの通貨印刷機から発行される負債通貨を通じて一般大衆に適用される。これらの負債通貨は、本質的価値のある資源に裏打ちされた信託通貨に置き換えられなければならない

10. 地政学的変化と金融崩壊

- 通貨システム
- マイナス金利をめぐる狂気
- 金市場はトランプのカードハウス

「私は銀行組織が常備軍よりも危険であると心から信じている。」 - トーマス・ジェファースン

追放されようとしているドル王：

- ハイテク標的システムによって無力化された後、米艦隊はペルシャ湾から撤退した。黒海で。
- 石油産出国であるアラブ首長国連邦とサウジアラビアは、世界経済の未来を東アジアの新しい仲間たちと見なしている。実際、当局はサウジアラビアとUAEと秘密会議をすでに行っている。すべての展開は、彼らが中国とロシアとともに、石油ドル破壊の動きをすぐに開始することを示している。それは、すべての石油取引における米ドルの独占を解消するものだ。

- [ウラジミール・プーチンは、もはや米ドルを信頼していないと述べた。](#) [いずれにせよ](#)、彼は国内の石油の決済はルーブルで行うと宣言した。決済にドルとユーロを使用することは現在禁止されており、今後使用できなくなる通貨の最初の2つである。
- ロシアの戦闘機 - 巨大なツポレフ爆撃機 - [低く飛んだ 150メートル](#) 先週、韓国沖の公海上で米海軍の航空母艦ロナルド・レーガンに接近した際に、この船が衝突した。これはそれほど珍しいことではないが、「事故」が起こる可能性は高まる。

ロシアの爆撃は、シリアのアサドを支援するための試みであることは間違いない。オバマ政権による米国の最新の政策対応を推測してみてもどうだろう？シリアへの「地上部隊」だ！誰がこれを考案したのか？ロシア機が爆弾を投下している場所に米兵を配置するのは良い考えだと考えられているのだろう。また、[中国の南洋諸島を海軍艦艇がゆっくりと通過するのも良い考えだと考えられていた](#)。これには良い面があったのだろうか？特に中国からそうしないように警告されていたのに。何が問題になるだろうか？これがどこへ向かっているのか、そしてその理由がわかるだろうか？**米国は財政的にも道徳的にも破綻している**。中国とロシアはそれを知っている。米国、そして西側諸国での生活は永遠に変わるだろう。**各国は金融システムからインフラ、労働倫理や誠実さといった単純なものまで、すべてを再構築せざるを得なくなるだろう**。

通貨システム:

中央銀行は、2008年の崩壊後に回避しようとしたよりもさらに悪い悲惨な結果以外何も生み出さずに世界経済を操作する能力の限界に近づいています。ほぼ10年間の市場操作、量的緩和、ゼロ金利から抜け出す方法はありません。FRBは、資産購入の削減、いわゆる「テーパリング」という以前に発表した政策を継続せず、さらに悪い

ことに、FRBのウェブサイトで確認されているように、**毎月1兆ドルの量的緩和を継続しました**。米国は8年以上にわたって不況に陥っています。FRBは、米国の外国債権者の間でドルに対する信頼を意図的に破壊しています。これは、通常であれば有用な価格シグナルと効率的な資本配分のガイダンスを提供する市場として機能しなくなるほどの市場操作の結果です。

マイナス金利をめぐる狂気は、お金の現在の価値が将来の価値よりも低いことを意味します。

マイナスの名目金利はあり得ません。つまり、インフレを考慮に入れないマイナス金利は奇妙な世界、実際には存在し得ない世界を意味します。ゼロパーセント未満で貸し出すということは、債務不履行やインフレのリスクがほぼゼロであるという仮定のもと、お金の現在の価値が将来の価値よりも低い、つまりデフレであると考えていることを意味します。これにより、政府は道路を建設したり、年金を支払ったりするのに、コストがかからないお金を使うことができます。これはいつまで続くのでしょうか。しかし、金利がゼロ以下である限り、お金はただ無料というわけではなく、**借りないことには実際にお金がかかります**。

問題を説明すると、あなたが家を買うところを想像してください。貸し手が、政府の完全な信頼と信用のみを担保とするマイナス名目金利で融資を喜んで行うのであれば、貸し手は間違いなくあなたの家の価値に対して融資を喜んで行うでしょう。そうになると、あなたには奇妙な住宅ローン、**つまり利息が支払われる**住宅ローンが残ることになります。マイナス 0.023% の金利では、100 万ユーロの住宅ローンには、月に約 19 ユーロの追加収入が伴います。

これは、深遠な形而上学的疑問を提起します。住宅ローンの金利がマイナスなら、家、または同等の資本価値がマイナスの価値を持つことを意味します。結局のところ、貸し手は家に住んでもらうために誰かにお金を払わなければなりません。そして、家がゼロ以下の

価値しかないなら、車やダイヤモンドの指輪、豪華クルーズの価値はいくらになるか考えてみてください。お金には価値がないということでしょうか。あるいは、マイナスの価値さえあるということでしょうか。では、お金はもはやプラスの金利と引き換えに誰かに渡すことはできません。それなら、あなたのためにお金を保管してくれる誰かにお金を払わなければなりません。お金に価値がないなら、雑草を抜くために庭師を雇ったらどうなるのでしょうか。あなたは彼にお金を払うべきでしょうか。それとも彼があなたにお金を払うべきでしょうか。あなたが彼のお金を受け取ることに同意するまでに、彼は何時間あなたのために働かなければならないのでしょうか。このすべてが自然の秩序にあまりにも反しており、よく考えてみると非常に奇妙です。

結論：私たちが今生きている世界は、史上最もクレイジーな世界です！

21世紀の経済：

1971年8月15日、ニクソン大統領は正直なお金の棺に最後の釘を打ち、21世紀の経済をもたらした今日の信用ベースのお金を生み出しました。それは人々の考え方と政府の運営方法を変えました。これは、需要と供給、価値と価格の古いルールを、中央銀行の介入という歪んだ見方を通して見なければならぬ経済です。中央銀行が最良の顧客に対して設定した新しいお金の価格がほぼゼロである場合、他のものがどれだけ価値があるかは誰にもわかりません。結局のところ、価値が中央銀行の操作に完全に依存している資産に高い価格を支払いたいと思う人がいるのでしょうか。どうやら、誰もがそうでしょう。米国の株式市場の新高値によって裏付けられています。

売り手は損をしている。買い手はお買い得品を手に入れたと思っている。すべての人々を時々騙すことも、一部の人々を常に騙すことも、大多数の人々をたまに騙すこともできる。価格発見を妨害することもできるし、物の本当の価値を偽装したり歪曲したりすること

もできる。しかし、ミスター・マーケットはいつか仕返しをする。いつもそうしている。ミスター・マーケットへの裏切りを始めたのはアラン・グリーンSPANだった。2001年、アラン・グリーンSPANは短期金利を引き下げ、住宅および住宅ローン金融の新たなバブルを膨らませた。金融業界はグリーンSPANの「支援」を拡大し、幻想的な取引で数千億ドルを稼いだ。住宅バブルは大きくなりすぎたため、ウォール街全体が過剰負担となり、資本不足となり、制御不能になった。バーナンキ、そして現在はイエレンがこの詐欺を続け、すべての資産の真の価値を空洞化させている。

グリーンSPANは以前、自由市場に忠実だった。しかし、彼の仕事は、史上最大の中央計画権限を伴うものだった。彼は金に裏付けられていない通貨が詐欺であることを知っていたが、連邦準備制度理事会議長の立場は、史上最大の紙幣詐欺の責任者となった。彼は心の底では、市場が価格を決めることを認めるべきだと考えていた。しかし、米国の信用の門番として、彼は、彼以前のどの人間よりも多くの価格を不正に操作した。

企業は低利融資で自社製品を販売し、低利融資で利益を上げ、そして低利融資に依存して債券を発行し、自社株を買い戻して、過大なボーナスを支払わせようとした。中央銀行家が作り出した混乱した金融界は、超低利融資で資金を調達し、今や当然の報いを受けることになる。通貨システムは中央銀行家の制御から外れつつある。すべての通貨は底値競争に勝つために高騰している。最新のニュースは、欧州中央銀行のマリオ・ドラギが「無制限」のユーロQEをさらに実施すると発表したことだ。これは詐欺を新たなレベルに押し上げる。投資家は市場が操作されていることを認識しているが、心配していないようだ。

イエレン氏が言ったように、中央銀行は「正常」への長い回帰を開始するだろう。信じてはいけない。システム全体が異常性に依存している。中央銀行家たちのさらなる悪巧み、すなわちさらなる量的

緩和とさらなるゼロ金利政策に依存している。就任当初に書いたのはグリーンSPAN氏だった。

「金本位制がなければ、インフレによる貯蓄の没収から貯蓄を守る方法はありません。安全な価値の保存手段はありません。」

もしそうなら、政府は 1930 年代に行われたように、金の保有を違法にしなければならないでしょう。 - たとえば、すべての人が銀行預金のすべてを銀や銅などの実物資産に交換することを決定し、その後、商品の支払いとして小切手を受け取ることを拒否した場合、銀行預金は購買力を失い、政府が作成した銀行信用は商品に対する請求権として価値がなくなります。

しかし、福祉国家の財政政策は、富の所有者が自らを守る手段がないことを要求している。これが、福祉国家の搾取者たちが金に対して激しく非難する暗黒の秘密である。財政赤字は単に富を没収するための計画にすぎない。金はこの陰險なプロセスの邪魔になる。金は財産権の保護者として存在する。これを理解すれば、搾取者たちの中央集権的統制のための政治システムを理解するのに苦労はしないだろう。そして、政府が金本位制を嫌うのもそのためである。

金市場はカードハウス：

ロンドンの金属トレーダー、アンドリュー・マグワイアは、ロスチャイルド所有のゴールドマン・サックスが生産者から金を奪い、金市場について大衆を誤解させていると警告した。ゴールドマン・サックスは再び金価格を1,000ドルまで下げるよう呼びかけた。金トレーダーは、ゴールドマン・サックスが何らかの呼びかけをすれば、その取引の反対側に立つことが保証されているとよく知っている。金や銀に対するこの種の呼びかけが欺瞞的なのは、彼らが融資している捕虜の鉱山会社から金を奪い、より低い価格で金を先売りさせようとする露骨な試みであるという点だ。中央銀行は長年にわた

って大量の合成紙金を裸で空売りする自由を持っており、共謀して紙金・銀市場で相互に利益のある立場と強みを作り出し、守ることの利点を利用することに慣れていた。その過程で、彼らは、無限にロールフォワードできると考えた、固定された裸のショートポジションを蓄積しました。これにより、現金銀行システムを直接反映した部分準備金の金/銀ポジションが生まれました。現金預金者のうち、一度に預けたお金を取り戻せるのは 10% 以下と想定されています。しかし、紙の金市場は今や砂上の楼閣になりつつあり、崩壊する準備ができています。金地金銀行は、金市場が変化したことを認識し始め、隊列を分割してより強気なポジションに再配置しようとしています。これは、彼らがそのような大規模な自己勘定ポジションを蓄積していなければ、すでに取っていたポジションです。

この狼の群れのリーダーは、再びゴールドマン・サックスです。彼らは変化が来ることを予見し、2つの主要な金地金銀行と競争する動機を持っており、このゲームをできるだけ長く続けることを余儀なくされました。これは大きな問題です。なぜなら、すべての陰謀団メンバーの陰謀的な協力がなければ、紙の金のトランプの市場全体が崩壊するからです。

最終的に世界中の投資家は、中央銀行が何兆ドルもの価値のない紙幣を印刷しているが、それでは本当の富を生み出すことはできず、複数のシステムの破綻が現れ、金融システムの完全な崩壊につながるだけだということに気づくだろう。

金は、金融システムが崩壊した場合の保険として、また富を守るために、銀行システムの外で物理的な形で保管するために購入されるべきです。世界が今日の不換紙幣をこれ以上長く使用することはなさそうです。なぜなら、まもなくすべての中央銀行が、世界の金融システムを崩壊から救うために無制限の紙幣を印刷するようになるからです。問題を引き起こしたのと同じ方法で問題を解決しようとしてもうまくいかず、最終的には金融システムのデフレ的崩壊を引

き起こすでしょう。しかし、その前に、名目上、金が1000 ドルまで下落する可能性のあるハイパーインフレの短い期間があります。
100,000ドル 1億。

市場の変化が今まさに進行中です。ゴールドマン・サックスと少なくとも 10 のその他の取引銀行は、事態の重大さを察知し、現金決済後の決済に備えて準備を整えているため、秩序を乱しています。金の預金者は金ではなく紙幣を受け取ります。言い換えれば、紙幣の保有者は金の現物を受け取ることはなく、金の価格は誰も想像できないほどの速さで上昇します。その日はおそらく間もなくやって来ます。

これらのトレーディング銀行ほど、上限が設定された紙の市場と割安な現物市場の分岐について理解している人はいない。JPモルガンはすでに現物の銀市場を独占している。

アンドリュー・マグワイアの話を聞く 金市場の内部告発者でありインサイダーである人物が、差し迫った崩壊について詳細を説明した。

金融崩壊と地政学的なチェスの動き：

ジム・ウィリー博士は、今後の地政学的変化について次のように説明しています。議論された膨大な詳細を理解したり、彼の暴露を追う時間を持つ人は多くないかもしれないので、この要約では最も重要な詳細を説明し、できるだけ多くの人々が近い将来に起こると予想される今後の変化について理解できるようにします。ウィリーの見解が裏付けられていることは重要です。多くの人々が目覚め、ロスチャイルド・ハザール・マフィアによって体系化され、世界に押し付けられた無意味な破壊を理解し始めています。このハードワークと他の人の研究を転送して、できるだけ多くの人を目覚めさせてください。

こうした研究とその共有はすべて、「私たち国民」が何世紀にもわたる抑圧者との長きにわたる戦いに勝利に向かっていることを示す前向きな兆候です。

米軍艦隊は、その存在により40年以上にわたりオイルドルを支え、これらのドルを石油にリサイクルし、オイルドルの地位を強固にしてきました。 - ペルシャ湾岸諸国の富裕層ファンドは3兆ドルを保有しており、現在非常に神経質になっており、これらの資金を金に変えることに忙しくしています。サルマン国王は老衰しており、1年以上も職務に就いていません。彼の後継者争いは続いており、30人以上の異なる妻の息子が彼の後継者をめぐって争っています。サウジ人はサウド家の崩壊を避けるために石油の支払いを他の通貨で受け入れざるを得ないため、オイルドルは消滅するでしょう。

米国は5年以上にわたり毎年5%の成長率低下で不況に陥っている。彼らは嘘と金価格操作による抑制で人為的にドルを強く保ってきた。ロックフェラーは石油事業から撤退し、米国石油産業の悲惨な状況を裏付けた。さらに、ロサンゼルス港から太平洋沿岸諸国に向けて出荷される空のコンテナを見れば、米国の不況が裏付けられる。これらのコンテナには、以前はオープンバージで輸送されていたスクラップメタルやスクラッププラスチックが入っているだけである。

シリアのロシア軍は、ISISが米国から資金提供を受け、訓練されているため、米軍がこれまで攻撃したことのないISISの標的を攻撃している。米国は、米国政府の監督下でアフガニスタンで栽培されたアヘン植物から違法な麻薬取引の収益で資金提供されているISISテロリストを生み出した。米国は、アルカイダの後継組織であるISISの創設者であり、さらに主要な資金提供者であり、武器の供給者でもある。

中国はフランクフルト、ロンドン、パリ、チューリッヒにミニウォール街に似た巨大な人民元金融センターを創設し、その中で健全な

競争が繰り広げられている。特にフランクフルトとロンドンの間では、それぞれが覇権を争っている。これらのセンターは支払いと交換のためだけではなく、人民元債の発行のためでもある。米国国債を保有する多くの国が神経質になり、米ドル建て債券から人民元建て債券に切り替えているからだ。特にサウジアラビアとアラブ首長国連邦はドルから人民元に切り替えており、これはオイルダラーのゲームオーバーの合図である。

サウジの皇太子の一人がロシアを訪問し、政権移行について協議した。ゴルフ・エミレーツも近い将来重要な役割を果たすだろうが、ハザール系サウド家が衰退しつつあることは興味深い。

西側諸国では「負債」は資産と呼ばれているが、これは愚かなことだ。米国は長期間にわたり、今日に至るまで毎月1兆ドルの量的緩和によってシステムを維持してきたが、発行された債券を配達しないことで世間の監視から隠してきた。一方、ウォール街の詐欺師たちは債券の露骨な空売りを行ってきた。FRBはウェブサイトで上記の毎月1兆ドルという数字を確認している。量的緩和の縮小に関する話はすべてまったくのナンセンスだ。利上げの話は単なるはったりだが、債券市場の亀裂は明らかになりつつあり、この章の冒頭で詳しく説明したように、マイナス金利は不可能だ。これはまた別の隠された量的緩和にすぎない。世界通貨システムがどのように存続してきたかは公知であり、詐欺、操作、嘘、大規模な欺瞞によって存続してきたが、ますます多くの人々が目覚めつつある！

原油価格は回復しないだろう。イランの原油は今や大量に市場に出回ることを許されている。価格回復は期待できないどころか、甚大な混乱が予想される。UAEは無傷のままだ。サウジアラビアはISISに資金提供しているが、特にオイルダラーの消滅について話し合うためにロシアに助けを求めた。ロシアは米国が残した空白を埋めようとしている。

トルコは東方へと転向するだろう。選挙が行われており、独裁者のエルドアンが勝利すれば、彼は東方へと方針転換せざるを得なくなるだろう。

東。野党が勝利すれば、変化はさらに速まるだろう。トルコ国民は米国との関係に満足していない。エルドアンはトルコに大統領制を望んでいる。「これはトルコにとって完全な独裁制に至る前の最後の出口だと思う」と野党ジャーナリストの[ジェイダ・カラン氏は言う](#)。

新たなシルクロードの世界が作られつつある。 - メルケルはハザール人の操り人形の役割を果たしているが、ドイツはメルケルの破滅的な政策のせいで東側との膨大な取引を失ったため、彼女を攻撃することに固執している。ドイツでは、作家でフリーランスのジャーナリストであるガブリエレ・クローネ・シュマルツ教授という新たな女性勢力が台頭しつつある。彼女[はまさに野党にとっての避雷針である](#)。

ガブリエレ・クローネ＝シュマルツは米国に反対し、ロシアに関しては肯定的であるため、反対派がさらに急速に拡大している一方、同時に主要なドイツ指導者らは怒りを表明し、メルケル首相に対抗し始めている。陰謀団に支配されているショイブレ財務大臣は、シリアにおけるロシアの行動を支持する声明を公に発表している。ジャン＝クロード・ユンカーEU議長は声明を発表した。「米国は過去3年間シリアで何の進展も遂げていない。インフラを破壊しただけで、テロリストと戦っていない」。ハザール陰謀団に支配されている米国は、戦争、破壊、テロ、有毒なワクチン、有毒な遺伝子組み換え食品、エボラなどの病気などを輸出していることで孤立し、正体が暴かれている。地政学的な形勢は、あからさまに逆転している！

来年はより広範な理解が解明され、米ドルは置き換えられ、恐怖政治は終焉に向かうだろう。サウジアラビア、トルコ、ドイツ、イギ

リスの動向を注視する必要がある。 - 遅くとも来年初めには湾岸諸国が人民元を支払い手段として受け入れるようになると、人民元は今後数か月で大きな進歩を遂げるだろう。

最大のリスクは、米国が通貨システムを制御できなくなり、通貨システムを破壊することです。通貨交換と商取引のために準備金システムのみが保持されます。

目を覚まして声を上げよう：

進行中の多くの前向きな展開を知ることは、世界がハザールマフィアの支配体制に目覚めつつあるという素晴らしい証拠である。[読者は今、](#) [これらが誰なのか](#)、友人や知り合い全員に知らせて、彼らも目を覚まさせる時が来ました。人々の意識が高まれば高まるほど、マフィアはより早く裁きを受け、世界中の人々は解放され、戦争や戦争の脅威もなく、平和と豊かさの中で共に暮らすことができるようになります。



人類に損害を与えるために、誰もが目にする中で公然と実行されている多くのプログラムに関して、世界で起こっていることに対する怒りと懸念を、多くの人々が声に出して伝えましょう。 - これらの真実を他の人に伝えることは、特に特定の状況では必ずしも容易ではありません。最も困難なのは、これらの残虐行為にまだ気づいていない親しい友人や愛する人々とのやり取りです。

結婚生活においてさえ、片方のパートナーが目覚めているのにもう片方が目覚めていないというのは、極めて一般的な現象であり、まったく理解できることです。結局のところ、目覚めて意識と認識の大きな変化を経験することは、非常に個人的かつ究極的には個人的な経験であり、当然のことですが、したがって、必ずしも共有されるものではありません。問題をさらに複雑にしているのは、目覚め

て実際に何が起きているのかに気付いた人々が通常、非常に熱心な研究者になり、このパラダイムシフトの規模と驚異を裏付ける証拠を次々と発見することです。その証拠には、恐ろしい真実だけでなく、これまで認識されたことのない力強い現実も含まれています。

最も大切なことは共有するのが最も難しいことです。種が植えられなければ植物は成長し始めないことを忘れないでください。

計画的な欺瞞：

「ネオコン、モサド、計画的殺人」 — レベッカ・ロス

国民一人ひとりが、9/11 で何が起こったのか、そしてその数か月前に何が起こったのか、そして真の犯人が誰なのかについて真実を知るべきです。このインタビューで、レベッカと私は、イスラエルの美術学生と、世界貿易センターの居住者を殺害するという彼らの計画性と意図を直接示す、極めて不穏な新しい証拠について話しています。

- 世界は借り物の時間で生きている。
- 今すぐ国を取り戻しましょう。
- 大手銀行への支援をやめてください。
- マトリックスから抜け出しましょう。
- 起きて立ち上がれ！

これでようやく国民の敵が誰なのかが分かりましたね。 [このビデオをご覧ください。](#)

11. ISIS、ディープステートの代理軍

- テロリストとは誰ですか？
- イスラム国は金銭問題を抱えていない

- 西側諸国の能力不足

まもなく世界はディープステートマフィア一族から解放される
かもしれません。すべての読者は、この情報を友人に転送するこ
とで協力できます。

以下に示すように、私たちの権威や指導者を信用しないでください
。彼らは一族の一部です。

そして結局彼らは信頼できないのです！

テロリストとは誰ですか？



広範囲にわたる調査により、ISIS
、IS、ISIL、Daesh、または彼ら
が使用する名前が何であれ、テロ
リストグループはディープステー
トマフィアのイスラム代理軍であ
ることが明らかになりました。 -

Daeshは、別の政治的手段によって人工的に作られたものです。

いくつかの国と多国籍企業。2012年にはISISは存在しなかった。西
側諸国、湾岸諸国、トルコはISISを支援し、ロシア、中国、イラン
は攻撃を受けている国の正当な政権を支援している。

2015年末、イスラエル軍のユシ・オウレン・シャハク大佐がイラク
で捕らえられ、イラク情報機関の尋問を受けた。イラク情報機関は
その後、これらのグループを広く支援するネタニヤフ首相のイスラ
エル国防軍の役割について広範な情報を提供したと、捕らえられた
大佐がISISゴラン大隊に所属していたことを確認したイラクの上級
情報将校は述べた。彼は次のように述べた。

「…イスラエル国防軍大佐はタクフィリ派ISILグループの
テロ作戦に参加していた」と彼は述べ、大佐は他のISILま

たはISのテロリスト数名とともに逮捕されたとし、次のような詳細を明らかにした。「イスラエル大佐の名前はユシ・オウレン・シャハクで、ゴラン旅団の大佐の階級である…安全保障および軍事コードは[Re34356578765az231434](#)である。」

2016年9月30日から始まった、シリアの特定の標的に対するロシアの非常に効果的なISIS爆撃以来、ワシントンDCだけでなく、イスラエル、エルドアン大統領率いるNATO加盟国トルコ ([モサドの工作員](#)) が果たした非常に汚い役割の詳細が明らかになった。一彼の再選を盗んだカタールと他の様々な国の正体が初めて明らかになった。諜報筋によると、エルドアンは、イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ、ブッシュ/クリントン犯罪一家、サウジアラビア王室とともに、同じハザールマフィア一族の一員であり、新世界秩序の実施を管理する任務を負っているという。

オバマ政権が、シリアのアサド大統領の排除を進め、リビアが混乱と破壊の時代へと追い込まれたのと同じ方法でシリアを破壊するために、ISISを支援するという非常に汚い裏の役割を果たしていたことが、今や明らかになりつつある。これと比較すると、現在のヨーロッパにおけるシリア難民危機は、単なる前触れに過ぎない。

[ジョン・F・ケネディ](#)を中心とするいわゆるネオコンが含まれる。[マケイン](#)、元CIA長官でイラク増派作戦の処刑人として不名誉を受けたデビッド・ペトレイアス将軍、米国の[ヒラリー・クリントン](#)元国務長官も参加している。

イスラエルの役割:

ネタニヤフ首相のリクード党とイスラエル国防軍は、ワシントンのネオコン戦争タカ派と緊密に連携し、オバマ大統領のイランとの核合意に猛烈に反対していると報じられている。イスラエルは、レバノンに拠点を置くイラン支援のシーア派イスラム過激派組織ヒズボ

ラを最大の敵とみなしており、ヒズボラはシリアでシリア軍とともにISISと積極的に戦っている。

ロシアのプーチン大統領やラブロフ外相が繰り返し指摘しているように、米国の「ISIS爆撃」戦略はシリアにおけるISISの真の壊滅からは程遠く、シリアのインフラを破壊するだけで、事実上ISISがシリアの領土支配を拡大するのを支援しているに過ぎない。これがまさにワシントンの意図であったことが、今やますます明らかになっている。

調査により、イスラエルが実際に攻撃していたのは、ISISや他のテロリストと勇敢に戦っているシリア軍とヒズボラの標的だったことが明らかになった。イスラエルは実際にはISISを支援していたが、これはジョン・アレン將軍の1年間の「反ISIS」作戦でも同様だった。 [爆撃](#)。

国防総省の役割:

ペンタゴンは、CIAを通じて、またモサドの支援を得て（両機関ともRKMが管理）シリアで現在ISISまたはISと呼ばれている組織を秘密裏に訓練し、武装させ、資金援助してきた。これは最近、米国のNGOである司法ウォッチの取り組みの結果、公然の秘密となった。司法ウォッチは、イラクにおけるイスラム国またはISISとなった組織の出現について詳細に記述したペンタゴンの秘密文書を機密解除した。西側諸国は、[シーア派拡大の戦略的拠点とみなされているシリア政権を孤立させるためにISISを支援している](#)。イラクとイランで。

国防総省の秘密文書はさらに次のことを明らかにした。

「…シリア東部に宣言済みあるいは未宣言のサラフィー主義公国が樹立される可能性がある…そしてこれはまさに、アサド大統領に対する反対派を支援する勢力が、シリア政

権を孤立させるために望んでいることであり、これがシーア派拡大の戦略的奥深さと考えられている。」

2012年からアサド政権に反対してきた支援国には、カタル、トルコ、サウジアラビア、米国、NATO、そして裏でネタニヤフ首相のイスラエルなどがある。オバマがISISを倒せなかった理由を、[ロシア](#)。

しかし、ヘーゲル元米国防相ははっきりとこう述べている。「本当の脅威はISISだ。米国は[共通の目標](#)を持つ反ISIS勢力と協力する必要がある。」 [興味](#)。

[無知な米国](#)に公に説明している [公共](#) 「オバマがISISを倒せない理由」

イスラム国は金銭問題を抱えていない：

イスラム国（ISIS）は、他のテロ組織とは異なり、資金源が少数の小口寄付者ではなく、さまざまな出所から来ている。彼らの資金源を詳しく調べると、主な財源は密輸されたガソリンとアフガニスタンの麻薬であることがわかる。フランスは、それが自国領土に及ぼす影響をまだ把握していない。盗まれたガソリンはトルコを自由に通過し、西ヨーロッパで売られていることは誰もが認めるところだ。その量を考えれば、トルコがISISを支援していることに疑いの余地はない。

プーチン大統領は、ロシアはテロリストの支配下にあるシリアからトルコに石油が流れていることを長い間認識していたと述べた。その資金はテロリスト集団の資金源となっている。プーチン大統領は次のように付け加えた。

「ISは石油販売で数億ドル、あるいは数十億ドルもの大金を稼いでいる。さらに、彼らは国家全体の軍隊に守られている。彼らがなぜこれほど大胆かつ露骨に行動しているの

か、なぜこれほど残虐な方法で人々を殺害しているのか、なぜヨーロッパの中心部を含む世界中でテロ行為を犯しているのか、理解できる。」

ISは数百万ドルの石油収入を使って広大な地域を拡大し、約500万人の民間人を支配下に置いた。 - ISはイラクとシリアの石油をクルド人とトルコの密輸ネットワークやマフィア組織に非常に安い価格で販売し、彼らはそれをクルド自治政府からの石油としてラベル付けして販売する。 - アル・アラビーの報告によると、石油はその後頻繁にトルコからイスラエルに輸送される。 徹底的な調査。

デリバティブ取引スキーム:

さらに調査を進めると、ISIS は英国政府の管理下にある民間のブラックウォーター社によって事実上管理されており、同社はトルコへの闇市場の石油販売による収益を集めていることが明らかになった。 - アメリカの CIA とイスラエルのモサドの支援により、イスタンブールのアメリカ・トルコ評議会を決済機関として利用する巨大な金融闇市場の石油ポンジスキームが構築されている。

さらに重要なことは、ISIS の闇市場の石油が世界中で販売され、米国と EU がこの石油から得た収益を担保にして、世界規模で 1 兆ドル規模の不正な銀行デリバティブ取引計画を継続できるということです。その結果、今日、世界の金融市場の存続は、部分的には ISIS が闇市場で石油を販売する能力に依存しています。この大規模な金融裏切りには、バンク オブ アメリカ、JP モルガン チェース、サウジアラビアが支配するニューヨーク シティバンク、バンク オブ ニューヨーク メロン、バークレイズ バンク オブ イングランド、ABN アムロ、英国所有の HSBC、そして最後に、75 兆ドルのデリバティブを帳簿に載せ、このブラック マネーの大規模なマネー ロンダリングを管理しているドイツのドイツ銀行が関与しています。

これは銀行家たちと我々の選出された政府が犯す最悪の反逆、犯罪、腐敗行為です。

国連文書によると、イスラエル国防軍（IDF）は2005年5月以来、いわゆるイスラム国のメンバーと定期的に接触していた。

2013年。観察結果には、イスラエル国防軍からISIS軍に軍事装備が移管されていることを示すものも含まれている。 - また、フランス共和国が、英国石油公社（BP）と英国情報局の危機管理テロリスト集団ISISの主要資金提供者として、香港の英国所有HSBC銀行を名指ししていることも明らかになった。要するに、[世界銀行HSBCとJPモルガンはテロに資金を提供している](#)。

ブルームバーグは資金源についてさらに詳しく報じている。

繰り返しますが、イスラム国（ISIS）は、資金が少数の小口寄付者からではなく、さまざまな資金源から来ている点で他のテロ組織とは異なります。[詳しく見てみましょう](#)。彼らが資金をどのように調達しているかについて...

西側諸国はシリアを支援しない

数週間のうちに、シリアの将軍が反政府勢力と戦うための国際支援を訴えた。米国、サウジアラビア、ヨルダン、カタール、トルコ、イスラエルは、ISISと提携している自由シリア軍などのいわゆる反政府勢力に武器、訓練、資金を提供し始めた。2013年9月には、米国の主流メディアでさえ、シリア反政府勢力に武器が与えられていると報じた。CNNは、武器は「米国製」ではないが、「[CIAが資金提供し、組織した](#)」ものだと報じた。

RT アメリカは特別レポートで、イスラム国、別名 ISIS として知られるテロ集団の起源、勢力、拡大について検証します。RT のベン・スワンが組織のルーツを掘り下げ、アメラ・デイビッドが、この集団が活動に必要な何百万ドルもの資金をどうやって集めたのかを説明します。最後に、マヌエル・ラパロが、安全保障を目的と

した何十億ドルもの米国資金と軍事装備の恩恵を受けたにもかかわらず、イラク軍が崩壊した経緯を探ります。

ISISは米国の利益にかなうと結論付けるのは妥当である。米国政府は実際にISISが中東で権力を握ることを望んでいる。もっと正確に言えば、これが米国と他の西側諸国を支配するロスチャイルド・ハザール・マフィアの目的である。

組織的なテロ攻撃:

よく組織されたテロ攻撃に助けられ、恐怖を植え付け人々の自由を奪い、RKMの主な目的が追求されている。彼らの目標は中東全体を支配し、RKM王国を樹立して世界独裁政権を遂行し、その後世界の人口を減らすことだ。早ければ早いほど良い！世界中の政府のタカ派は恐怖と[地球温暖化を売り込んでいる](#)！[経済危機は EUと米国の経済を破壊し、飢餓と貧困を生み出して世界の人口減少を加速させるために組織されました。](#)

プーチンがISISと戦っている本当の理由、[このビデオをご覧ください。](#)

証拠は確立されている。米国政府はシリアでISISが勝利することを望んだのだ。パリ攻撃の後、CBSの地元ニュースキャスター、ベン・スワン氏は漏洩した政府文書を公開し、国防総省が実際にはシリアのアサド政権打倒を支援するためにイスラム国がこの地域で影響力を強めることを望んだことを証明していると主張した。彼は興味深い事例を提示した。

米国や他の国々がなぜISISを阻止できないのか、そして国民がリーダーを信頼できないのか、自問自答してみしてほしい。ベン・スワン氏は、米国がシリアでISISが出現することを望んでいたことを証明する国防総省の秘密文書を暴露した。[彼のプレゼンテーションを見る。](#)

ロシア、テロリストの爆発装置によりA321メトロジェットが撃墜されたと確認:

[メトロジェットA321](#)の私物、手荷物、残骸が墜落したと知らされた。捜査官らが調査した。この調査で「外国製の爆発物の痕跡が見つかった」。爆発力はTNT火薬1kgに相当し、空中で破壊された。「これは間違いなくテロ行為だと言える」。2015年10月31日にシャルムエルシェイクを出発しサンクトペテルブルクへ向かったこの飛行機の乗客224人のうち、生存者はいなかった。

プーチン大統領は、2013年末のボルゴグラード鉄道駅爆破事件に言及し、今回の攻撃はロシアがこのような行為に直面した「初めてではない」と反論した。同大統領は、このような攻撃の加害者が「報復は避けられないと認識する」よう、シリアにおけるロシア軍の航空作戦を「強化」と誓った。

「我々は彼らがどこに隠れていようとも捜索する」と彼は語った。
「我々は彼らを世界のどこにいても見つけ出し、罰する」

公開された他の情報から、カタール外務省が国防省は、ブルガリアとトルコを經由して、シリアに拠点を置くテロ組織にウクライナの防空システムの供給を手配している。カタールの米当局者は、この取引を承認した。「[ペチョラ2D](#)」ロケット発射システムは、高度21キロまでの航空機を攻撃できることを考慮している。

フランスの役割:

原則として、各国はテロ集団への参加を常に否定している。しかし、フランスのローラン・ファビウス外相は2012年12月、アルカイダのシリア支部は「良い仕事をした」と宣言した。ワシントンDCとRKMが率いるオバマ一族の傀儡であるファビウス氏は、国連安全保障理事会によって「テロリスト」に指定されている組織（RKMが所有）を支援したとして法廷に召喚され、質問に答えるリスクを

冒すつもりはなかった。しかし、この声明でフランス国民をテロ支援の責任に追い込むことで、国にとって非常に重大なリスクを冒した。

実のところ、フランスは少なくとも2011年の初めからアルカイダ側にいると疑われていた。当時、英国とフランスは「アラブの春」と呼ばれる米国のプロジェクトに賛同していた。この作戦の目的は、すべての世俗的なアラブ政権を打倒し、ムスリム同胞団が運営する独裁政権に置き換えることだった。

もちろん、人々はそのことについて何も聞かない。なぜなら、フランスは民主的な制度を持っているとされているが、現在の政策はアラブ世界は一度も公に議論されたことがない。フランス憲法に違反して、わずか数時間の表面的な議会討論の後、投票もなしにリビアとシリアとの戦争に突入することが決定された。

フランスはこうして、これらの多国籍企業のために働く傭兵国家となった。2016年11月13日の朝、ナンテールでベルナル・カズヌーヴ内務大臣は武器密輸を制限する20項目の計画を発表した。明らかに、政府は大惨事を完全に予想していた。つまり、フランスはフランスを攻撃した組織と交渉していたということだ。フランスは表面上は尊重していない協定を結んでおり、今やフランスは裏切ったテロリストのリーダーたちによる脅迫の犠牲者となっているのは間違いない。

歴代のフランス政府は、共和国の価値観に反する国家と同盟を結んできた。彼らは次々にその国の利益のために秘密戦争を繰り広げ、そして撤退してきた。オランド大統領、彼の私設参謀長、ブノワ・プガ将軍、彼の

ローラン・ファビウス外務大臣と、その前任者であるアラン・ジュペは、今日に至るまで脅迫の被害者であり、彼らが国を陥れた混乱

を暴露しなければ、そこから抜け出すことはできず、さらに高等法院での訴訟にもさらされることになる。

プーチンの役割：

2015年9月28日、プーチン大統領は国連での演説で、米国とフランスに向けて次のように述べた。

「この状況の責任者に聞きたい。少なくとも、自分が何をしたのかわかっているのか？この質問は答えられないままになるのではないかと私は恐れている。なぜなら、この人々は、自分たちの例外的な性質と免責に対する過大な自信と確信に基づく政策を放棄していないからだ。」アメリカもフランスも彼の言うことに耳を傾けなかった。もう手遅れだ。戦争は今やパリにまで広がっており、アラブ世界での政府の秘密活動、湾岸独裁者との不自然な同盟、国際テロへの積極的な関与をほとんど知らないフランス国民には理解できない。これらの政策は議会で議論されたことはなく、主要メディアもほとんど関心を示そうとしなかった。[フランスがいかにしてテロ国家になったかについては、こちらをお読みください。](#) 少なくとも2011年以来、脅迫を受けています。

いわゆるアラブの春は、代替メディアで何度も暴露されているように、実際にはCIAとモサドの作戦であり、ISISの神話はNATOの同盟国サウジアラビアの神話とともに作られたものである。言い換えれば、シリアの対立はイラクの対立とまったく同じである。リビアとアフガニスタンの対立。これは西側諸国の破壊活動によって生み出され、維持されてきた。**最終的にシリアでの暴力へと導いた戦争を望んでいるのは西側諸国の指導者たちだ。**

トルコはロシアのSu-24軍用機を意図的に撃墜した。

また明らかなのは、ウラジミール・プーチンが敵対的な姿勢に誘導されているということだ。これは、まずジョージア、次にウクライナ、そして現在はシリアで、一連の明らかな軍事的煽動によって行われている。

プーチン大統領が西側諸国と戦争をしたい理由はない。プーチン大統領は放っておいてもらえるなら幸せだろう。しかし、それは明らかに意図されたものではない。彼は慎重かつ巧妙なゲームをしてきたが、トルコの意図的な挑発はプーチン大統領を激怒させ、ロシア機の撃墜を「トルコによる背後からの刺し傷」と呼んだ。トルコはロシアの戦闘機を撃墜することでロシアを裏切り、テロリストの共犯者として行動した。ロシアのウラジミール・プーチン大統領は次のように述べた。

「この事件は、テロとの戦いの常態とは一線を画している

。

我々の軍隊はテロリストに対して英雄的に戦っており、

「命を失った。しかし、今日私たちが被った損失は、テロリストの共犯者による背後からの攻撃によるものだ。」

ロシア国防省は、ロシアのSu-24軍用機がシリア領空でフメイミム空軍基地に戻る途中、トルコのF-16に撃墜されたことを確認した。同省はツイッターで、「客観的な監視データの分析」により、撃墜されたSu - 24はトルコ領空を侵犯する。

プーチン大統領は、ロシア軍機の撃墜は、シリアでの同様の事件を防ぐためロシアが米国と合意していたにもかかわらず起きたと強調した。トルコはシリアでISと戦う米国主導の連合軍の一員であると主張している、と同大統領は付け加えた。この事件はロシアとトルコの関係に重大な影響を及ぼすだろうとプーチン大統領は警告した

。

一般的に、人々は脅威を感じると動揺するが、プーチン大統領は脅威を感じる理由がたくさんある。彼はシリアに赴いてISISを爆撃しなければならなかったが、それは米国が仕事をしていなかったためであり、その結果、彼の同盟国であるアサド大統領は「戦争」に負けていた。

西側諸国の能力不足：

プーチン大統領がISISへの爆撃を開始すると、爆撃に関して西側諸国の無能さや完全な欺瞞をロシアが暴露するまでに時間はかからなかった。ロシアはすぐに、NATOがISISを爆撃しているのではなく、シリアのインフラを破壊しているのだと気づいた。

ロシアが実際にISISへの爆撃を開始すると、いわゆるテロリストたちは逃走した。ロシア当局は勝利を宣言し、ペンタゴン当局は明らかに怒りを抑えながら、ロシアの空爆に疑問を表明した。意図的な煽動で、トルコはロシア機を撃墜するよう命令されたようで、その直後にNATOの会議が招集された。トルコはNATO加盟国だ。計画に従ってエスカレーションが誘発されていることは明らかだ。NATOはロシアの爆撃を許すことはできない。なぜならアサドはすぐに戦争に勝つだろうからだ。

英国の役割：

ワシントンの傀儡であるデービッド・キャメロンは戦争を支持し、「シリアにおけるISへの攻撃は英国の利益になる」と宣言した。しかし幸いなことに、ファラージはシリアにおけるキャメロンの「一貫した戦略」に深刻な疑問を投げかけた。

「私は現状のままシリアへの爆撃を支持しない」と彼は語った。「爆撃するか否かに関わらず、ロンドンの街は依然として脅威にさらされている」 - 「戦争を始めるには、目的と目標が何であるかを絶対に明確にする必要があると思う…長期的な世界戦略が必要だ」

ファラージ氏はさらに、ISとの戦いが成功するには「大連合」が必要だと述べた。これにロシアが関与するかどうかを問われると、彼はこう答えた。「ない？」

キャメロン首相はISISテロを調査しなければならない 湾岸同盟国による資金援助をロードが宣言
アシュダウン。そして元国連事務次官ハンス・フォン・
スポネック 30人の要人とともに、デービッド・キャメロン首相にシリア爆撃をしないよう懇願する書簡に署名した。また、野党労働党のジェレミー・コービン党首は、反抗的な議員らにシリア爆撃に関する自由投票権を与え、英国最大野党党内の内戦を阻止する措置を講じる。

RKM は負けています:

もっと「楽しい」話にすると、RKM は明らかに負け組です。調査により、舞台裏で猛威を振るっている秘密戦争を明らかにするには、さらに多くの展開が予想されることが明らかになりました。11月 13 日のパリで実証されたように、これらの恐ろしいテロ攻撃は、絶望と恐怖の大量効果を生み出して権力を取り戻すために行われているため、**人々は何が起こっているのかを知るだけで、最終的な解決に貢献することができます。大量の死者は、歓迎すべき気晴らしとなり、より多くの恐怖を生み出し、人々の自由をさらに奪います。**世界が待ち望んでいる調和のとれた平和で豊かな未来のために、一緒に取り組みましょう。

提示された情報が多すぎて耐えられないと思われる読者には、このテーマについてさらに専門知識を持つ研究者のセカンドオピニオンである、デイビッド・ウィルコック氏の記事「Disclosure Showdown: [Explains his vision on The War for the Truth](#)」を読むことをお勧めします。

重要な結論:

私たちのリーダーは信頼できないと理解することが不可欠です。彼らは長年にわたり意図的に国民を騙してきましたが、国民が目覚まさない限り事態はさらに悪化するでしょう。

現在までに西側諸国の人口の 30% が目覚めている、または目覚めの過程にあると推定されています。50% 以上を目指し、自衛の準備をし、**西側諸国の政府指導者全員を排除しましょう**。彼らは、この恐ろしいテロ攻撃の背後にいる犯罪者だからです。

同意するなら、この情報を友達全員に遠慮なく共有してください。彼らも世界がどのように騙されているかを理解すれば、ディープステートは簡単に権力から排除され、混乱や反乱なく裁判にかけられるでしょう。

ロスチャイルドシオニズム：

人民の敵を知ることは重要です。長年の専門家であるデイビッド・アイクが、アメリカと世界におけるロスチャイルド・シオニズムに関するいくつかの事実を明らかにします。 [-この 27 分の抜粋を視聴することを強くお勧めします。](#) 彼の綿密で分かりやすい暴露のおかげで、ロスチャイルド家はどこに消えたのか？

12. 世界的な混乱

- 借金は富を破壊する：
- イエズス会は真の精神的権力者である。
- 納税者のお金は国民の利益のために使われるのではない。

全体像：

混乱はこれまでもずっと、陰謀団のお気に入りの道具だった。明らかな事実は、世界経済を崩壊させ、税金の引き上げや経済緊縮政策の実施に至ったのは「無能」**ではない**ということだ。その結果、破滅に瀕する国々が他国からの援助で救済されることになる。問題がただ一つだけなら、

「無能」を「無能」に置き換える作業ははるかに単純で、「無能」を有能に置き換えることに焦点を当てたものになるだろう。悲しいことに、真実はまったく異なる。経済不況の扇動者は非常に**解決策**を提案する口実として**巨大な混乱**を引き起こすことを目的として、計算された無能の議題に従うことに「有能」です。これは、イスラエルからディープステートのロスチャイルド・ハザールマフィアによって運営される**全体主義独裁国家**に世界を変える陰謀です。

西側諸国の指導者は皆、ハザールマフィアが書いた筋書きに従う大物インサイダーだ。ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、イタリア、スペインの計画的な経済崩壊は、解決策を模索する中で巨大な問題を生み出した。そして今提案されているのは、彼ら自身が作り出した問題を「解決」するために、残っている国家主権を削除することだ。これは、よく知られた問題**-反応-解決の戦術**であり、ヨーロッパと世界の残りの国々の全体主義国家への道のもう一つの大きな一歩につながる。ユーロはそれ自体が目的になることは決してなかった。計画は、**電子 単一世界通貨**。ユーロは、それ以前に存在したすべての個別通貨を消滅させるためのトロイの木馬でした。その計画は、最終的にユーロと米ドルを破壊し、それに伴うすべての結果を伴った世界通貨に移行し、世界的統制を確保することです。

巨額の債務の障害により、世界経済の回復は不可能になっています。
- これは、あなたの政府や、彼らを支配しているハザールマフィアの意図ではありません。彼らはそのように傀儡政府に指示しました。
- 事実上手に負えない債務よりも悪いのは、すべての債務が継続的に複利で増加していることです。EUと米国の債務は数百兆

ドルに上り、ZIRP（ゼロ金利政策）のため、低金利またはゼロ金利で複利で増加しています。金利が上昇すると、この債務はより高い率で複利で増加し、総債務は数千億ユーロとドル増加します。これは間違いなく、デフォルト、破産、崩壊、究極の混乱、そして史上最大の弱気相場を意味します。現在、世界を支配している傾向は、最終的にデフォルトと破産につながるレバレッジ解消とデフレです。一方、債務の複利増加の現在の傾向は持続不可能です。そして、それが維持できなければ、完全な崩壊と史上最大の弱気相場につながるだろう。

借金は富を破壊します。銀と金は富の象徴ではありません。それらは富そのものです。世界の歴史で採掘された金はすべて今も私たちの手元にあり、その一部は宝飾品に変身しています。金と違って、銀は産業で利用されています。何十億オンスの銀が米国財務省によって所有されていました。その銀は消え去りました。産業で利用されるか、投資家によって蓄えられています。

過去 6 年間に、EU、米国、日本が文字通り何兆ドルもの新しいユーロ、ドル、円を無から生み出したことをほとんどの人は知りません。同時に、2006 年以来、これらの地域の国家債務は 2 倍になっています。

「中央銀行によって繁栄が無から生み出されることはない。」

多くの人々が考えるよりも早く、通貨制度に対する信頼は失われつつある。これは、世界中の投資家が通貨がもはやかつての「安全な避難先」ではないことに気付いたことによる単純な結果である。その信頼が完全に崩れ去ったとき、それは急速に近づいているが、**ハザールマフィアの力は完全に消え去るだろう。** - 巨大な負債を抱えた世界で、ある通貨に対する信頼が失われると、他の通貨もそれに追随し、株、債券、商品、不動産など、ほぼすべての通貨もそれに伴って失われる。通貨が暴落すると、経済全体が破壊される。ほ

ほとんどの国が深刻な痛みに見舞われる。中流階級は消滅する。人々の生活、仕事、旅行、引退、投資のあり方、すべてが変化する。その一部は、ほとんどの人が想像もできないような形で変化する。

変化 - 通貨危機:

本当の懸念は、一般市民、特に中流階級の人々に何が起こるかだ。政府が破産すれば、国民の富、国民の貯蓄すべてが危険にさらされる。退職金制度と社会保障制度の大幅な変更は避けられない。年金基金は没収され、巨額の増税によってさらに増額されるだろう。

さらに、あなたの貯蓄や貴重な資産すべてに課税される「富裕税」も課せられるでしょう。何が起きてもおかしくありません。**事態は現在よりもさらに悪化するでしょう**。そして、それが真の意図なのです！通貨危機が起こったとき、政府にとっての最優先事項は、既存の資本供給を管理することです。自分のお金で何をすることが許されるかに関するあらゆる種類の新しい法律や規則が実施されるでしょう。あなたのお金はどこにどのように保管され、移動されるか。

新たに印刷された何兆ドルもの紙幣が経済に流れ込むと、大規模なインフレが私たちを襲うでしょう。特に高齢者や政府からの収入に頼っている人にとっては厳しい状況になるでしょう。 - 株式市場が完全に崩壊し、2008年のブラックマンデーや29年の大暴落が1日で起こると想像してみてください。中流階級は消滅します。本当の致命的な打撃は、これらすべてが私たちの社会と自由に及ぼす影響です。

もっと具体的に言うと、これから起こる危機は単なる銀行や住宅ローンの破綻ではなく、世界がこれまで経験したことのない類まれな「通貨危機」となるでしょう。何百万もの人々の貯蓄が一夜にして消え去るかもしれません。株式市場は 50% 以上暴落するかもしれません。過去 50 年間楽しまれ大切にされてきた私たちの生活様式

は突然の終焉を迎えるかもしれません。そして、それが起こるかどうかの問題ではなく、いつ起こるかの問題なのです。

破壊：

国のお金が破壊されると、ビジネスも破壊されます。次に友情と家族の崩壊が起こります。お金への信頼は自由な社会にとって重要です。交換手段への信頼がなければ、ビジネスや商業、そして経済の分野での正常性は忘れ去られます。

残念ながら、ATMを利用するだけでも長い行列ができたり、銀行が閉鎖され始めたりしても、人々はどうしたらいいのか見当もつかないだろう。店舗がクレジットカード、電子通貨、ドル、ユーロ、その他の通貨を支払い手段として受け入れなくなったときも、どうしたらいいのか見当もつかないだろう。特に都市部では、社会不安が必然的に引き起こされ、混乱に陥るだろうということを認識しておく必要がある。ある朝テレビをつけ、貯蓄が突然以前の価値の何分の一かにまで落ち、あらゆる物価が急落しているのを耳にしたら、人々は非常に不機嫌になるだろう。 牛乳やパンなどの価格が急騰しています。

紙幣の弱点：

まさにこれが「紙幣」の本質的な弱点です。政府は紙幣を「法定通貨」と宣言する権限を持っていますが、その紙幣に価値を与える権限はありません。これは誰も、特に政治家は教えてくれないことです。すべての中央銀行は廃止されるべきです。一般市民は、中央銀行システムとその政府が実際どれほど危険で腐敗しているかを知りません。

世界中で、政府は借金のお金で制御不能な実験に乗り出しているが、借金のお金は、代わりに「**無利子のお金**」として、利息なしで発行することもできたはずだ。 - 今日の世界では、信用のお金が途方もない量で無から印刷され、その多くは借り入れのため、債権者

に全額返済することは決してできない。 - 米国は「8.5兆ドルの借金を積み上げるのに216年かかり、その後、その額を2倍にするのにわずか8年しかかからなかった」。 - 政府は、自分たちでこの危機を作り出したのだから、何もできないだろう。

準備のために必要な手順を踏んでください:

[自分で備えた方](#)が良い。今では、ほとんどの人にとって、それはまだ驚くほど簡単です。

覚えておいてください: 地球上で最も良い場所はあなたが住んでいる場所ですが、今すぐ行動を起こすことが重要です。まず、あなたの経済的な安全はあなた自身の手の中にあることを認識してください。政府や他の機関がこれらの問題を解決することを期待したり待ったりしないでください。それは絶対に起こりません。

本当の金融改革は、大きな通貨危機が起こった後にのみ行われます。そして、ほとんどの人にとって、それはあまりにも遅すぎるでしょう。それは、壊滅的な株式市場の暴落、数十の金融機関の破産、そして多くの人々の貯蓄が完全に消えた後にのみ行われます。

市場は信頼できなくなっています。

お金が信頼できなくなると、世界中の市場の価格シグナルはもはや信頼できなくなります。そのため、国際的に労働力と資本を交換することがますます困難になります。投資や貯蓄で人々が犯す避けられない間違いの結果として、システム全体が崩壊します。恐ろしい真実は、ほとんどの政治家を含む多くの人々がこの基本を理解していないということです。

一部の人にとって、唯一の警告は代替メディアからのものとなるでしょう。これがこの本の目的の1つであり、この本と当サイトが「最後の警鐘」と名付けられている理由です。その意図は、手遅れになる前に、家族や友人のために、今何が起きているのか、これか

ら何が起きるのかを知らせ、あなたを最終的に目覚めさせることです。これが起こるまで、主流メディアでこれについて聞くことも読むこともできません。政府は、広範囲にパニックを起こさないように、一言も発しません。この後続の危機は、1970年代にイギリスで起こったように、文字通り一夜にして起こる可能性があります。最近参加したばかりの場合は、[ホームページをご覧ください](#)。公開されたすべての記事が掲載され、迅速かつ適切に情報を提供します。

国家窃盗の圧力：

課税の規模は天文学的であり、日々増加しています。所得税と、増え続ける罰金や手数料の背後に隠れている隠れ課税のすべてを合計すると、爆発的に増加します。収入のうち国に支払われる割合を知れば、驚くことでしょう。Gazette.net の記事は、このテーマを次のように捉えています。

私たちが課税されるすべての方法を考えてみましょう。生まれたとき（出生証明書）、死んだとき（死亡証明書）、お金を稼いだとき（所得税）、お金を使ったとき（消費税）、財産を所有したとき（固定資産税）、財産を売却したとき（キャピタルゲイン税）、コンサートや野球の試合に行ったとき（娯楽税）、車を所有したとき（免許証、登録証、通行料、道路税、ガソリン税）、携帯電話、タバコ、アルコール、エネルギーなどへの特別税。そして、私たちが死ぬと、私たちの所得に再び課税されます（相続税と死亡税）。排便にも課税されます（トイレ税）。最後に、ペットにも毎年課税されます。

中流階級はこの経済の排水口に吸い込まれつつあり、労働者階級と中流階級は単一の農奴階級となり、隔離、距離、そして日ごとに出現し、暴露されつつあるオーウェルの暴政によって農奴から守られ

た比較的小さなエリート集団に仕えることになる。貧しい人々はさらに貧しくなり、まだ貧しくなかった人々も急速に貧しくなる。

貧乏でも、超金持ちでも、血統陰謀団の一員でもない人々が、今、この邪悪な大量人間弾圧の次の段階の標的にされている。これが、例えば2013年3月にキプロスで起きたことの原因であり、そこでは個人の銀行口座が押収され、略奪された。キプロスのケースで示されているように、既存の課税と緊縮財政措置に加えて、共謀者たちは人々の個人資産に直接手を伸ばしている。キプロスのケースでは、ロスチャイルドが支配するEU委員会、ロスチャイルドが所有するECB、ロスチャイルドが支配するIMF、ロスチャイルドが所有するドイツが加わったトロイカの要請で、救済協定が成立し、合意された。トロイカは、すべて一致して緊縮財政措置を指示していた。この協定は、キプロスの銀行の差し押さえのために人々の預金が没収され、盗まれたため、**国家による窃盗と名付けられる方がふさわしい**。 - ある日、人々は生涯の収入で蓄えたお金で快適に暮らしていたのに、次の日にはその大部分が消え去ってしまいました。国と銀行システムによって盗まれたのです。



ゴールドマン・サックスが仕組んだギリシャの財政破綻で打撃を受けたキプロスの銀行に起きたことは、そのニュースがメディアに報道されるずっと前から計画されていたことだ。

危機が計画通りに拡大し続ければ、「政府はもはや銀行預金者の預金保証を行う余裕はない」と宣言され、どんなに少額で一見取るに足らない金額であっても、すべての人の銀行口座が凍結される。そして、すべての預金が空になり、エリートたちの超富裕層であると同時に超貧困層でもあるオーウェルの世界国家の実現の最終段階の到来を告げることになる。

キプロスの前例は、銀行システムへの信頼を著しく損ない、銀行破綻の可能性をさらに高めたが、これは彼らのシナリオの一部だということをおぼろげに忘れてはならない。ギリシャはもはやEUの加盟国ではなく、植民地となった。そして、ディープステート、別名アルコン血統の陰謀団が、大衆を叩きつけて服従させようとしているのが、あらゆる場所でそれなのだ。

ギリシャは、救済策の 1 つで、貸し手が同国の 111 トンの金準備金を差し押さえることに同意しました。そして、最終的な計画は、金のはるかに豊富なポルトガル (382.5 トン)、スペイン (281.6 トン)、フランス (2,435.4 トン)、イタリア (2,451.8 トン) に対して最終的に同じことをすることです。ロスチャイルド ハザール人は、世界中のすべての金を自分たちのものにしたいと考えています。彼らは人々を絶望の境地にまで誘導し、言われたことを何でも受け入れるか、抵抗できないほど弱くなるかのどちらかにします。

腐敗した悪徳銀行システムは2007年に世界経済を崩壊させ、何十億もの人々に甚大な影響を及ぼしたが、人道に対する組織犯罪で有罪判決を受けた主要人物は逮捕されず、ましてや有罪判決も受けていない。ゴールドマン・サックスやJPモルガン（ロスチャイルド銀行）のような銀行は[犯罪組織を運営している](#)。彼らは彼らに責任を負わせるべき[政府部門](#)、政府機関、裁判所を所有する。

一般の人々は軽微な麻薬犯罪や金融犯罪で何年も投獄されているが、HSBCはメキシコの麻薬カルテル（ロスチャイルド所有）のために何十億ドルもの資金を洗浄していたことが暴露されたが、幹部は誰一人として起訴されていない。

ギリシャが債務不履行に陥れば、その資産は差し押さえられ、国際貿易ができなくなる。ギリシャは粉々に粉砕されるだろう。これがすべての国が待ち受ける青写真だ。その手順は、一定期間かけて国民を弱体化させ、彼らが反論の余地なく全面服従を受け入れるまで

弱体化させることだ。これが血統家族が人類に対して行っていることであり、彼らの陰謀は今や最終段階に達しつつある。

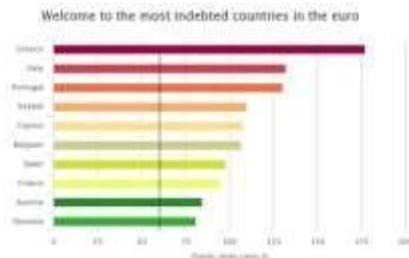
現行システムの最終的な崩壊は、デリバティブ市場を通じて実行されることがほぼ確実に計画されています。詐欺師は、誰かを騙してリスクを負わせ、同じ金融「商品」を複数の買い手に販売することで、金融上の賭けをヘッジします。買い手は皆、自分が唯一の所有者であると考えています。これは、もう1つの起こりそうな災害です。これが起こると、銀行はすでに、確実に破綻するデリバティブへのエクスポージャーを賄うために、預金者の資産（あなたの資産）を没収する許可を得ており、これはすべて、世界の人口の大半を貧困に陥れるための計画です。人々は、できる限りの計画を立て始めたほうがよいでしょう。なぜなら、後戻りできない時点はとっくに過ぎているからです。ギリシャ、およびシカゴとニューヨークで主要なデリバティブと先物取引所を運営するシカゴ・マーカンタイル取引所（CME）から警告が出される可能性があります。

史上最悪の債務危機：

史上最大かつ最悪の国家債務危機が急速に進行している。ギリシャは危機の瀬戸際にいる。ギリシャが譲歩を許されるかどうかは問題ではない。ギリシャはさらなる数十億ドルの返済に直面しており、何も残らなくなるまでさらに屈服に近づいていくだろう。ギリシャが債務を返済する方法はない。資金がないのだ。また、10年ローンで12%という法外な金利を支払わずに債務を繰り延べることもできない。これでは国は破産するだろう。一方、IMFとECBはギリシャ国民にますます緊縮財政を押し付けている。すべては銀行家、債券保有者、当局への返済を確実にするという名目で。

転換点を迎えようとしているのはギリシャだけではありません。このグラフからわかるように、ヨーロッパ全体が破綻しつつあります。ギリシャは最悪ですが、イタリアやポルトガルもそれに劣りません。 - EU 諸国のうち 8 か国は、債務水準が GDP 水準の 100% を

わずかに上回るか下回っています。これらの国のうち、フランスさえも、債務を返済できる国は1か国もありません。



さらに、国家債務危機はヨーロッパに限ったことではない。これは単なる始まりに過ぎない。日本の債務は、

GDPは、ほぼ12兆ドル。そして最悪なのは、他でもない米国で、国家債務は18兆ドルだが、すべてを考慮すると215兆ドルを超え、GDPのほぼ12倍に上る文明史上最悪かつ最大の債務だ。

目覚めの呼びかけ：

状況は明らかだ。FRB自身が、2003年以来、米ドルの交換価値が20%も急落したと発表した。IMFは、全く新しい世界準備通貨システムであるSDRを提案したが、これもまた裏付けのない紙幣をベースとしており、今回は国際的に評価の高い裏付けのない紙幣のバスケットに裏付けされているため、それほど良いものではない。

最終的には、米ドルやその他の紙幣危機が人々を目覚めさせ、投資家は代替として導入されたあらゆる紙幣を拒否するでしょう。この情報は、皆さんを怖がらせるためのものではありません。この時点で、すべての人々が目を覚まし、注意を払い、政府が何をしたか、あるいはもっと良いことに、何をしなかったかという論理的な結論を把握する必要があります。

将来の政府は、実績のある人々が国を統治する舵取りを担い、国民全員の利益を追求する実力主義に基づいて形成されるべきであり、国民は彼らに政権を任せることを信頼する。政党は廃止されるだろう。なぜなら、政党は人々に選択肢があると誤って信じ込ませて眠らせるためのハザールマフィアの発明だからだ。何世紀にもわたって民主主義は存在しなかった。すべては偽物であり、政治家の約束で有権者を喜ばせ、実質的な意味や権力のない影響力を与えてきた

が、決して実現しなかった。真実は、ハザールマフィアが統治の方向性を事前に決定しているということだ。

どうか目を覚まして、責任を負い、正直であるべき政治家たちが、あなたや他の人々全員を騙してきたという事実気づいてください。これらの人々は、有権者を奴隷に導くために、ハザールマフィアから資金提供と賄賂を受け取っているディープステートの操り人形です。

最後の質問:

行動を起こして備えるために必要な措置を講じますか? - すでにそうすることを願います。確実に実行できることの 1 つは、財産を守ることです。食料、健康など、その他の重要な備えについては、数多くの専門サイトにアクセスして、有益なヒントやアドバイスを無数に見つけてください。考えてみてください。金と銀は非常に過小評価されています。

「中央計画当局は、金を1オンス当たり1,200ドル以下、銀を1オンス当たり16.20ドル以下に抑えるのに苦勞している。両金属とも、さらに高値に躍り出る準備ができているようだ。」

通貨は最終的に消滅しますが、ほとんどの人はそれに気づいていません。過去 100 年間で 20 回以上のハイパーインフレが発生しています。当局が無から無限のお金を生み出す力を持っている場合、悪いことが起きても驚くことはありません。驚くべきことに、多くの人がいまだに当局を信頼しており、当局は国民の利益のために十分なお金しか生み出さないと信じていますが、それ以上は 1 セントたりとも増やしません。ジェフ トーマスは、一部の国がようやく、既存の不換紙幣がすべて消滅するのは時間の問題だと気づき始めていると指摘しています。 - 彼らはこっそりと金を購入してお

り、世界が紙幣の価値がないことに気づいたときに、本当に価値のあるものを所有することになります。

現在のシステムが崩壊したとき、物理的な金を保有する国が最初に回復するだろう。最も多くの金を保有する国は、最も多くの実質的な富を保有し、ひいては最も 目立つ地位を得ることになる。今後数十年にわたって交渉のテーブルに着くことになる。

Bitgold は、新しい金の保管および送金サービスです。これは安全なモバイル決済サービスであり、ユーザーは金で請求書を支払うことができます。 - これがゲームチェンジャーになるかどうかはまだわかりません。

史上最大の銀の収穫 - テッド・バトラー著:

「連邦政府の協力を得て、JPモルガンは2008年末に銀（および金）価格を大幅に下落させることができ、貴金属価格の下落により10億ドル以上を儲けた。こうして、JPモルガンはベア・スターンズから引き継いだ空売りポジションを大幅に減らすことができた。その後、JPモルガンは、金属価格が上昇したときにCOMEXの空売り契約を大量に空売りし、価格が下落したときにそれらの空売りポジションを買い戻すというプロセスを繰り返した。COMEXの銀と金の空売りによるJPモルガンの利益は、数億ドル、さらには数十億ドルに上った。」

西部のパニック = 150 ドルの銀貨 — アラスデア・マクラウド

実際、shadowstats.com のジョン・ウィリアムズ氏によると、米国の失業者が 23% に達すると、経済はインフレの影響に苦しみ始めており、「ドルはすぐにハイパーインフレに陥るだろう。2008 年の経済危機を引き起こした問題は解決されておらず、緩和的な金融政策は衰えることなく続いている」とウィリアムズ氏は述べている。

。

米国の最低賃金労働者の平均年齢は36歳で、労働力人口から外れた米国人は合計9,300万人にのぼる中、ドルのハイパーインフレは共和国と、かつて私たちが大切にしていたものすべてにとっての終焉の鐘である。

[アラスデア・マクラウド](#) 通貨への信頼が一度失われると、その通貨は破滅するとマクラウド氏は指摘する。その時点でパニックが起こり、私たちは今まさにその方向に向かっている。マクラウド氏は「西洋では、銀や金の現物がなくなのためにパニックに陥る人々がいるだろう」と語る。そして、パニックが明らかになったときには、もう手遅れだろう。

イエズス会は真の精神的権力者である。

イエズス会が支配するバチカン、西洋の企業国家の唯一の所有者です。悪魔はフリーメーソンを通じてバチカンに所有し、教皇は彼の奴隷です。カトリックは、この10年間でおそらくすぐに永久に根絶されるでしょう。歴史を通じて、悪魔的でルシフェリアンなイエズス会は戦争や大量虐殺と結びついています。イエズス会はフランスやイギリスを含む多くの国から正式に排除されましたが、スペインやイタリアでは依然として広く存在しています。研究者は、イエズス会が新世界秩序の真の精神的権力者であると主張しています。彼らが大統領に選んだのはポール・ライアンであり、それが、バチカンが[カトリックの唯一の所有者であるため、教皇が2015年10月にライアンを下院議長に任命するよう要求した理由です。](#) [アメリカ合衆国 同社](#)は2012年12月に連邦準備銀行の信用枠で債務不履行に陥り、2015年8月に国際破産から脱した。

すべての国家企業はローマ教皇庁によって創設されています。これを教皇にまで遡るのはかなり簡単です。同時に、世界中の政府とその機関のほとんどすべてが企業であり、教皇庁と結びついており、最終的には教皇庁の管理下にあります。イエズス会士であり、秘密結社によってローマ教皇および教皇庁の指導者として選ばれた傀儡

教皇フランシスコは、基本的に世界中のすべての「政府」とその下部組織を所有し、運営しています。教皇は、この悪魔的なシステム全体を担当する CEO です。

イエズス会とローマ教会:

イエズス会とローマ教会は、地球の本当の歴史についてのおとぎ話をでっち上げて、歴史を改変し、残りの部分を隠蔽してきました。そのような嘘の 1 つは、マグダラのマリアに関するものでした。彼女は実際にはイエスの妻であり、イエス 2 世ユストゥスとヨセフという名の 2 人の息子と、タマルという名の娘を産みました。この情報はローマ教会によって隠蔽されました。教会は 1600 年に科学者を殺害する手順を開始し、自分たちに有利になるように物語を変えました。

聖杯またはサングレアル（聖杯）はイエスの血に関するもので、この探求が始まって以来、誰が誰の子孫であるかという真実は、ロスチャイルド家やすべての君主を含む多くの人々によって主張されてきましたが、それらはすべて偽造されています。RH マイナスの血液はキリストの血液であり、バスク人の大部分がこの血液型であると考えられる人もいます。

イエスは、私たちが本当は何者なのか、何なのかを啓蒙するために人類に遣わされた数少ない使者の一人で、私たちが精神的に成長するためには、この情報を理解し、地球からネガティブなものを追い出さなければならないと教えてくれました。

我々の地位を回復するために今、大きな変化が起こっており、ドラコ・レプティリアン、グレイからなる闇のカバールによって何が行われたかが明らかにされている。そして、闇の勢力によって意図的に私たちから隠されてきた宇宙からの他の生き物たち。フランシスコ法王は最近、彼の神はルシファーであると何気なく認めた。

地球上では、光の労働者が多くの真実を回復し、西暦300年のサン
グレアール条約が回復されました。この条約では、地球上のすべての
人々が主権者であり、そのように扱われるべきであると宣言されて
います。

これは、何世紀にもわたって人類に押し付けてきた偽のエリートた
ちと彼らの奴隷制度詐欺の終わりとなるでしょう。

科学者たちは、何千年も前に核戦争があったこと、そして中東には
まだ微量の放射線が存在していることを知っています。

「未知との遭遇」のような映画は、エイリアンによる誘拐や、次の
ような多次元の生き物の存在とともに実際に起こった。
ビッグフットとその祖先、惑星マルドゥク 現在は小惑星帯となっ
ています。

陰謀団は、分割統治戦略を用いて、今日のロシア叩きのような問題
を作り出し、グループ同士を戦わせ、第三次世界大戦を通じて人類
を滅ぼすことを最終目標としています。

幸いなことに、チャールストンの核攻撃のように、これらすべては
阻止された。

2013 年のサウスカロライナ州での試み、そしてこの次元の開放に
よって生じた漏斗の中にワームホール (CERN) を開いて地球を押し
込もうとする最近の試み。

近い将来、私たちの歴史の真実が明らかになると、多くの人が衝撃
を受けるでしょう。お楽しみに。

納税者のお金は国民の利益のために使われるのではない。

女王、ローマ教皇、ロンドン市長、銀行、現政権、そしてCIA、モ
サド、MI6など多くの関係者が、今日のテロ行為と犯罪行為に責任
を負っています。 - この犯罪行為は全世界、つまり皆さん全員に

暴露されなければなりません。そうしなければ、何も良い方向には変わりません。この陰謀団は筋金入りのルシフェリアン・グローバリストであり、トランプが推進する国家主義者と真っ向から対立しています。

納税者のお金のほとんどは、現状のように国民や国家の利益のために充当されるのではなく、中央銀行の融資に対する利子の支払いに使われ、直接バチカン銀行の金庫に入っています。善良な人々は現在、盗まれた金や貴重品を、それが正当に属する人々に返す措置を講じており、世界中で金本位制を実施する計画を立てています。

ここで提示されたすべての情報は、おそらく「地獄への目覚めの呼びかけ」に相当するでしょう。なぜなら、これらの陰謀団の勢力は、土星のサタンに導かれた地上の地獄だからです。今、これらの闇の勢力はあなたの家の玄関口に到着し、あなたを欺いて家から追い出し、土地や家から追い出し、さらには子供たちを奪い取っています。これらの闇の犯罪者は非常に太り、大胆になり、**地球上の人々を数十億人殺し**、ナチスドイツを私たちの土地に復活させる準備ができています。[このビデオでは](#)、これらの秘密の慣行の仕組みが説明されています。このコピーは FWC が所有しており、以前のアップロードはすべてインターネットから削除されています。



カバールのアキレス腱:

しかし、カバールにはアキレス腱があり、それはアキレス自身と同様、彼らのピラミッド構造の底部にあります。そこは人口の 99% が居住する場所であり、このグループの数の多さゆえに、彼らは絶大な権力を持っています。カバールは、これらの大衆が「**目覚める**」のを防ぐために、彼らを支配下に置こうと必死です。

陰謀団は、この危険を減らすことで自らの立場を強化します。これは、99%のグループを断片化し、分割することによって行われます。人口の断片化は、架空のグループまたは陣営を作成し、これらのグループがお互いを敵と見なしているという認識を促進し、お互いに脅威を感じさせることによって達成されます。

問題-反応-解決の制御メカニズムです。彼らは国民を操作して保護を求めさせ、それによって陰謀団の支配者により大きな発言権を与えます。大衆は傀儡政府に保護されていると思い込んでいますが、実際にはそれは陰謀団の支配者によって支配されています。これはすべて**人々の自由を犠牲にして行われ**、彼らの権力を拡大します。この目標を達成するために、彼らは利用可能なあらゆる技術を使って大衆をスパイします。彼らは情報の流れを制御し、人々の認識に影響を与え、決定することを目指しています。

最も重要なのは、国民をできるだけ貧しくして、人々の注意をそらし、仕事、金銭問題、生存のための闘いに完全に没頭させるようにすることです。人々の労働の成果は、いかなる状況でも国民自身の手には渡ってはいけません。なぜなら、それは経済的、肉体的、精神的な自由につながるからです。この自由の獲得は、リーダーシップに対する虚偽の必要性を減らし、その結果、彼らのリーダーシップの正当性を損なうこととなります。人々は、実際に必要なよりもはるかに一生懸命働くよう常に圧力をかけられています。もちろん、これは、実際に必要な量よりも多くの生産をもたらします。したがって、この余分な生産は、戦争と増税によって急速に破壊されます。

最新の優生兵器：

数十億人の大量絶滅を目的として、陰謀団は最新の優生兵器である5G革命を開発し、全く**新しい危害の時代を作り出した**。超高周波マイクロ波放射から保護します。5Gネットワークは、これまで考えられていたよりも高い周波数帯を使用します。これは、24~100GHz

の範囲、またはそれ以上の未検証の周波数です。全国にこれらの危険な送信機を大規模に配備するには、増幅信号を備えた新しいアンテナインフラストラクチャが必要であり、すべての人が影響を受けることとなります。

カトリックの司祭：

カトリックの司祭は独身でなければならないことはほとんどの人が知っているが、実際にはそうではないこともまたほとんどの人が知っている。しかし、イタリアの一部司祭が関与していたことは、**バチカンの基盤を根底から揺るがす事態**となっている。

聖職者の間で性的不道徳が蔓延しているようですが、これは特に同性愛者の聖職者の間で顕著です。以下は、ヴァニティ フェア誌に掲載された素晴らしい記事からの引用です。

バチカンでは、かなりの数のゲイの高位聖職者やゲイの聖職者が大きな権力の座に就いている。彼らは集団として行動することはないかもしれないが、お互いの存在を認識している。そして、同性愛は公式には非難されているため、彼らは秘密の冥界に住んでいる。一般的に、そして特にローマ教皇庁におけるゲイの司祭の数は不明だが、その割合は一般人口よりもはるかに高い。ドナルド・B・コッツェンズが彼の高く評価されている著書『[司祭職の変貌](#)』で引用した推定によると、カトリックの司祭全体の20~60%がゲイである。

最近話題になっているカトリック教会のもう一つのスキャンダルはアイルランドから来たものだ。当局はカトリック教会が運営していた未婚の母のための施設の下水道で「赤ん坊の遺体」を発見したと発表している。ある歴史家は、[800人の子供が 死んだかもしれない](#) [い](#) そこには…

大きな暗闇の時代には、これまで以上に光が必要になりますが、光をもたらす者となるには、しばしば大きな代償を払う必要があります。

真の信者に対する大迫害が来ることは以前からわかっていますが、現在、西洋世界ではキリスト教徒が単に公に福音を伝えたというだけで実際に投獄されています。

結論：内部告発者は政府にとっては危険だが、人々の自由を守るためには恵みである！

イスラエルが米国に過度の影響力を及ぼす理由：

ネタニヤフ首相は根本的に平和に反対している。彼の**暗黒貴族としての使命**は、イスラエルの既存の国境を越えてイスラエルの領土を拡大することであり、それはアラブ系またはイスラム教徒である近隣諸国との永続的な戦争を意味する。悲しいことに、これはほとんどのイスラエル国民の願いではない。

ネタニヤフ首相が権力を維持できたのは、米国議会、米国大統領、軍の支援があったからこそであり、また、占領下のパレスチナへの極めて違法な入植地拡大を試みたり、ISISやDAAESHとして知られる代理軍を率いてシリア、エジプト、レバノン、イラク、トルコ、ヨルダン、イランで秘密裏に軍事作戦を遂行したりする政治的勇気も得たからである。

これが、イスラエルのAIPACロビーが米国議会にこれほどの圧力と影響力を及ぼす理由である。上院議員、下院議員、大統領、最高裁判事に対する政治的自殺の脅しがなければ、彼らは中東問題における主要なリーダーとして存在しなくなるだろう。

カウンターウェイト：

しかし中東では、イランは中国、ロシア、インドとの同盟により、現在のはるかに強い立場にあり、2001年の9/11攻撃後に始まった通貨

戦争で米国を打ち負かしました。しかし、この戦いは実際には1871年にまで遡り、東ヨーロッパの闇の貴族が政治的、軍事的裏切りと欺瞞を無制限に利用して世界の情勢を100%支配しようとしたのです。

イエズス会はこの計画の大きな部分を占めていた。サウジアラビア、アメリカのネオコン、欧州連合、ブッシュ政権下のCIA、モサド、MI6もこの計画に大きく関わっていた。階層構造が少しずつわかってきたらどうか？ 政府主導の組織、機関、シンクタンクのすべてにおいて、陰謀団が絶対的なトップに君臨している。そして、彼らはまだ世界を完全に支配できていない。[詳細はこちら 陰謀団の階層構造について](#)。

陰謀団は消滅に向かっているのか？

陰謀団は、中東で終結した3つの戦争戦略を育ててきた。その中には、キリスト教徒、イスラム教徒、ユダヤ教徒間の全面戦争も含まれており、最終的には新世界宗教の名の下にイスラエルに絶対的な権力を与え、悪名高い世界秩序を創り出すために考案された。

しかし、それは起こらなかった。人類は、善意ある友人たちと共に「ホワイトハット」たちと手を組み、呪いを回避し、人類の歴史の流れを変えた。素晴らしい！では、次は何だろうか？ - トランプ氏は、[ニュージャージー州からの圧力を受けて、すでに辞表に署名したとされている](#)。

[ニューヨークのユダヤ人暴徒は](#)、中国の長老たちが要求した金本位制の実施に必要なダンフォード将軍とのRV協定への署名を許されなかった。彼の近々の辞任は、イスラエルのネタニヤフとウクライナのポロシェンコの両国に辞任を強いることになるだろう。否定的な報道は、3カ国すべてに共通するが不可逆的な政治的勢いを生み出している。

多くの人が覚えているだろうが、トランプ氏の最初の仕事は、彼自身の言葉で言えば、沼地を干拓することだった。「それがどうなったのか？」 - それは起こらないだろう。それは、ほぼ全国民が彼を支持していた最初からしかできなかったことだ。このような巨大な作戦には、迅速に行動する必要がある、勢いを維持しようとすれば、内部関係者は混乱に陥っていただろう。彼は、本当に重要な事柄についてテレビで国民に直接話すべきだった。1961年の有名なドゴールの演説のように。彼は、国内の退役将軍によるクーデターの脅威を説明し、フランスを守るためにフランス国民に協力を求めた。彼は国を救い、裏切り者は逮捕された。クーデターは終わった。

トランプ陣営は1月か2月に同様の偉業を成し遂げたかもしれない。しかし、彼らがそのようなことをしたかったと仮定すると、本当の変化の機会は無駄になった。[。](#) それ以来、進行中の背景操作に関して私たちが学んだことはすべてこれです。

正直に言えば、トランプは彼が行った善行に対して、当然の称賛を受けるに値する。彼は一般的に「人々に優しい」テンプル騎士団に属しており、ドラコニアンであり、悪魔崇拝者であるハザールマフィア一族に属するロスチャイルドの陰謀団とは対照的である。今のところ、ロシア、中国、[そして復活した米国共和国](#) トランプ氏をコントロールする。RVが開始され計画通りに完了するまでは大統領職を離れることはできないが、政治的にすべてがうまくいけば、今年の夏頃には完了すると予想される。

今後の変更点:

変化が勢いよく起こっていること、トランプ、ネタニヤフ、ポロシェンコの辞任が結びついていることを受け入れようとしない人は、マスメディアの砂の中に頭を深く埋めていて目を開けることができない、あるいは、世界がかつてどのように機能していたか、そして今、切望されている変化を通じて世界がどのようになっているかに

ついて、時代遅れの文化的、政治的構築に固執することを選んでいくかのどちらかだ。

新しい金融システムを支える金の保有者である中国の長老たちは、筋金入りのシオニストたちが新しい金融システムを受け入れるまで、そして最終的に彼らには選択肢がなくなるまで、ただ待っていた。彼らは、イスラエル、パレスチナ、ウクライナを含む世界中のあらゆる場所で完全な平和と繁栄を要求した。

地球は最終的に、自由市場を備えた自由な世界となり、誰もが平和に暮らし、自分の自由意志を行使し、自由な選択の権利を持つようになるが、これは現在の出来事や現実とはまったく対照的である。

GCR/RVが、克服できない世界的債務軽減、持続可能な貿易、通貨平価の前進への唯一の道筋/解決策であることを否定する人々にも同じことが言えます。 - 事実上ハード通貨での貿易、世界には他に選択肢は残されていません。RV -

再評価はできるだけ早く行う必要があります。さもなければ、私たちは世界中で完全な崩壊と大混乱に耐えなければなりません。

今、中東問題は解決に向かっており、人類史上の恐ろしい高利貸しと緊縮財政の時代も歴史となり、世界の人々はようやく前進することができる。

グローバルゴールドスタンダード：

実際、新しい権力者、つまり NPTB は、私たちの未来をかなり露骨に宣伝しています。少しでも注意を払っている人なら誰でも、現実と権力の激変が今まさに起こっており、それが西から東へと移行していることに気づいているでしょう。これには、世界的な金本位制の導入、国際的な VAT 税、世界的な通貨リセットの発表が含まれることはほぼ確実です。ドナルド・J・トランプ大統領は最近、演説で、世界貿易と通貨平価に関連する「平等な競争の場が間もなく到来する」と公然と語りました。

トランプはフリーメイソン、イルミナティ、シオニストによって選ばれた。

トランプは人々を騙すための第3の選択肢として選ばれた。 [こちらをクリック](#) [詳細はこちら](#)。

南極のアトランティス【必見!!】

これから何が起こるのか知りたい人は、物事がすでに現在起こっていることを知って驚くでしょう。 [このビデオの明確でわかりやすい説明に従ってください](#)。あなたは別の次元に入ります。

13. 世界を支配する秘密の力

- 完全な制御への鍵:
- 最も邪悪で不公平で露骨な差別:
- グローバルマスターズの目標:
- ロスチャイルド・ハザールマフィアを倒す方法:

完全な制御への鍵:

ディープ ステートは、次々と国を支配し、すべての国をメガバンクの奴隷にしてきました。これは、事実上、各国政府と多国籍企業を支配している外交問題評議会 (CFR) のイルミナティによって実現されました。彼らは、メディア、財団助成金、教育を支配して世界政府を推進し、今日の問題を支配し、指導しています。彼らは利用可能なほとんどのオプションを支配しており、1 世紀以上にわたって行ってきたように、彼らの「新世界秩序」を推進する財政力を持っています。

彼らの成功の鍵は、*国際銀行家がすべての国の通貨システムをコントロールし、操作し、あたかも政府にコントロールされているかの*

ように見せかけることです。この発言は、世界で最も強力な銀行王朝の長老が言ったことと似ています。マイヤー・アムシェル・バウアー・ロスチャイルドは 1791 年に次のように有名な言葉を残しています。

「私に国の通貨を発行し管理する権限を与えれば、誰がその国の法律を作ろうと私は気にしません。」

クリントン大統領は1993年の就任演説で、マイヤー・アムシェル・バウアー・ロスチャイルドが当初構想していた世界単一通貨の導入についてさらに詳しく国民に伝えた。クリントンは次のように説明した。

「金融資本主義の勢力は、各国の政治体制と世界全体の経済を支配できる、民間の手による世界金融支配システムを構築するという遠大な計画を持っていた。彼らの秘密は、政府、君主制、共和国から世界のお金を生み出す力を奪ったことだ。」

ロスチャイルド家の政治ネットワークは、その間に、すべての民間銀行と中央銀行が協力する世界規模の金融システムを作り出した。彼らの目的は、すべての政府が借金に埋もれるように刺激することであり、銀行の命令に疑問を持たずに従う以外に逃げ道はない。この戦術を完全に見抜く政府はほとんどなく、彼らは簡単に屠殺場へと導かれる。主な目的は、世界のすべての個別の国の経済を支配することである。今日、いくつかの例外を除いて、すべての中央銀行はロスチャイルド家によって所有されている。現在進行中の世界的危機において、彼らは世界的なメルトダウンを引き起こしており、それが世界的不況につながり、最終的には世界中央銀行であるIMFによって発行される新しい世界単一通貨の導入につながるだろう。ロスチャイルド家が音楽を作曲し、国民によって選ばれた政治家がその曲に合わせて踊る。莫大な負債に苦しむ政府は、イルミナティ

が舞台裏で提示する「権力者」、つまり世界の金融家が設定した条件や規則に従わない場合は、通常、政治的自殺を犯します。

世界政府計画は、以下のものを含む完全な支配権を獲得することです。

- 通貨システム
- メディア
- 教育
- 医療制度
- 若者はセックスとドラッグによる墮落を通じて
- すべての政府は、自国民（傀儡）を選出して役職に就かせることで

彼らの究極の目標は、すべての政府を乗っ取り、新しい世界政府に変えることです。イルミナティは悪魔主義者です。彼らの悪魔カルトは秘密裏に活動しており、すべての政府に秘密の人物がおり、すべての人々にとって大きな脅威となっています。

三極委員会:

CFR の運営部門は、1973 年にデイビッド ロックフェラーによって設立された三極委員会 (TLC) です。これは、世界統一国家、または少なくとも新経済秩序を強制しようとする国際的陰謀の存在を示す最新の証拠です。TLC は、1954 年にオランダで故ベルンハルト王子によって共同設立され、後に元ベアトリクス女王が議長を務めたオランダ ビルダーバーグ グループの継承組織です。

TLC は、北米 (米国とカナダ)、日本、EU の 3 つの地域で構成されています。TLC は、政治政府の支配権を掌握することで、商業および銀行の利益を多国籍企業に統合する手段を作り出すために設立されました。

1973年の選挙で、権力者たちによって生み出され選ばれた無名のジミー・カーターに奇跡的に敗れたバリー・ゴールドウォーター上院議員は、次のように書いている。

「デイヴィッド・ロックフェラーとズビグニュー・ブレジンスキー（1973年にTLCを創設した2人）は、ジミー・カーターが理想的な候補者だと考えていた。彼らはカーターが指名され、大統領に就任するのを助けた。この目標を達成するために、彼らはウォール街の銀行家の資金力、学界の知的影響力（非課税の巨大財団の富に従属している）、CFRと三極の会員に代表されるメディア支配者を動員した。民主党の指名大会の7か月前、ギャラップの世論調査によると、民主党支持者は4%未満だった。ジミー・カーター大統領候補。しかし、ほぼ一夜にして、先代のアイゼンハワーのように、彼は候補者になった。」

これはおそらく、エリート層の広範囲にわたる権力と影響力を示す最も優れた例の1つです。彼らは大統領や大統領候補の成功も失敗も左右します。彼らはジミー・カーターを大統領になろうと努力させ、バリー・ゴールドウォーター上院議員の失敗を阻止しました。

「TLCの会員は、現職および元大統領、大使、国務長官、ウォール街の投資家、国際銀行家、財団幹部、シンクタンク幹部、ロビイスト弁護士、NATOおよび国防総省の軍事指導者、裕福な実業家、メディア所有者および幹部、大学の学長および主要教授、選ばれた上院議員および下院議員、裕福な起業家で構成されています。」

三極委員会の主要メンバーはオバマ氏を大統領に育て上げた。ソノマ州立大学の研究者サラ・マドックス氏によると、

「バラク・オバマは就任後10日以内に、三極委員会の11人を政権内の最高レベルの要職に任命した。これはオバマ政権内の国際的リーダーシップの非常に狭い源泉を表しており、その中核的な課題は必ずしも米国の労働者階級を支援するものではない。三極委員会の公式メンバーリストによると、米国出身のメンバーはわずか87人（他の337人は他国出身）である。したがって、就任から2週間以内に、オバマの任命はTLCの米国メンバー全体の12%以上を占めた。」

EUにおけるディープステート：

もっと身近なところでは、EUでは、無名の人物が文字通り一夜にしてイタリアの首相になるなんて、一体どれほど早かったのかと疑問に思う人もいるかもしれない。答えはこうだ。

「イタリア首相のゲーム：三極
欧州委員会のマリオ・モンティ委員長は退任し、
三極委員会の委員、エンリコ・レッタが参加します。三極
委員会万歳！」

西側諸国は、世界の権力者たちとその巨大銀行の束縛から逃れるために、何もできないようだ。どんな選挙が行われようとも、どんな大規模なデモが人々を街頭に引きずり出そうとも、何百万ものテレビ番組で巨大銀行家たちが最悪の詐欺師であると非難する証拠がどれだけ示されようとも、人々は真実に気づかないままである。真実は誰の目にも明らかである。ディープステートは次々と国を乗っ取り、すべての国を巨大銀行の奴隷にしているのだ。

最も邪悪で不公平で露骨な差別：

主流メディアはこれを報道し、オルタナティブメディアは我々の苦難の非人道性を指摘している。失業率が二桁に上るEUでさえ、銀行は口座保有者の金を盗むことで不正に「救済」され、何百万人もの労働者の家が差し押さえられている。

私たちが置かれている状況に対して、どこにいても誰も何もできないように思えます。結局のところ、ほとんどすべての国の労働者の大多数が、考えられる限りの最もひねくれた、不公平で露骨な差別に苦しんでいるのです。つまり、少数だが非常に強力な、選挙で選ばれていない、非合法的少数派が、組織化されていない、まだ気づいていない大多数の市民を差別している状況です。

これは単なる根拠のない「陰謀論」やそのようなナンセンスではありません。これは私たちの目の前で展開している不吉なことです。私たちがすべきことは、この「地球上で最も偉大なショー」を誰が運営しているかを適切な場所で調べ、CNNやルパート・マードックのような主流メディアに「考え」を任せるのではなく、常識的な考え方をすることです。

イタリアでの鍵の仕組み:

シルヴィオ・ベルルスコーニは3度の首相経験を経てイタリアを墮落の新たな深みへと沈め、その間に労働者は経済的、ユーロクラートの混乱に巻き込まれ、最終的に2011年1月に辞任に至ったが、大手銀行家たちはイタリアを完全に乗っ取り、TLC出身の彼らの人物を政権に就けることを決定した。



この時点でベルルスコーニ氏をマリオ・モンティ欧州三極委員会議長がイタリアの首相に就任した。イタリアの最近の選挙後、高齢のジョルジョ・ナポリターノ大統領が復帰した。ロックフェラー/ロスチャイルドの息子が権力を握ることになった。エンリコ・レッタもロックフェラー/ロスチャイルドの息子だからだ。

三極委員会メンバー。伝統的なイタリアの政治マフィアがメガ銀行の窃盗行為を適切に称賛したことを確認するために、

レッタ氏の連立政権にはベルルスコーニ氏の政党のメンバーも含まれるようにした。結局のところ、エンリコ・レッタ氏の叔父であるジャンニ・レッタ氏はベルルスコーニ氏の右腕なのだ。

そのため、反体制派の五つ星運動のリーダー、ベッペ・グリッロの努力はメディアによって完全に無視された。得票率25%でイタリア最大の単一政党となったグリッロは、イタリアの「数百万人」の支持者にナポリターノの再選に抗議するよう呼びかけ、これを「**クーデター**」と正しく表現した。

PD党首ピエル・ルイジ・ベルサーニは、新大統領が選出された後に辞任すると発表した。議会の最大勢力は明らかに舵取りを失い、表面上は事前に舞台裏で準備されていたように、より広範な政治的安定の見通しが立つことになる。今や私たちは、世界がどのように操作されているか、そして民主主義の名目で行われた選挙がいかにか茶番であるかを知っている。ヨーロッパの貧しい不運な市民は、団結してEUで侮れない勢力になろう！

TLCに関係する人たちは誰ですか？

三極委員会は、ヘンリー・キッシンジャー卿、ズビグニュー・ブレジンスキー、ドミニク・モイシ、リチャード・パール、フィリップ・ゼリコウ、そして、

ポール・ウォルフowitz氏など、多くの閣僚が参加している。特に、退任するマリオ・モンティ首相と就任するエンリコ・レッタ首相の両名は、シティグループ、HSBC、バークレイズ、野村、バンコ・サンタンデール、BBVA銀行、UBS、NMなどの世界的なメガバンクの幹部と肩を並べて三極アジェンダに取り組んでいる。

ロスチャイルド、ドイツ銀行、BNP、コメルツ銀行、ゴールドマン・サックス、ラザード、メディアオバンカ、モルガン・スタンレー、ウォーバーグ・ピンカス、ノバスコシア銀行、ニューヨーク・メロン銀行、東京三菱銀行、そして国際通貨基金（IMF）、連邦準備銀

行、イングランド銀行、欧州中央銀行、オランダ中央銀行、ギリシャ銀行、日本銀行などの世界の銀行機関。

たとえば、これが史上最強の高位マネークラブであることを示すには、「70歳のモンティは老人であり、46歳のレッタは将来有望な若手政治家である」と述べる。イタリアの政治では、物事が変化しているように見えるほど、実際には変わらないことが多いようだ。すべてのイタリア人がもう一度問うべき重要な質問は、エンリコ・レッタはイタリア国民の窮状を改善するために働くのか、それとも銀行家の利益を促進するために働くのか、ということだ。アルゼンチンの元大統領ファン・ペロンはかつてこう言った。

「すべての国の大統領や首相は、最も重要な決断を下す必要がある。それは、世界的な巨大銀行家よりも国民の利益を促進し保護するために統治するか、それとも世界的な巨大銀行家のために働き、国民に反対するかだ。」

残念ながら、群衆はまだ何も目覚めておらず、目覚めることや、密かに奪われた自由を取り戻すために戦うことへの興味を失っています。私たちが国民が大衆の意識を高めることが急務です。

グローバルマスターズの目標：



ディープ ステート別名グローバル マスターは、何兆人もの人々から盗んだお金が投資された地球上のすべての資源を所有することで、世界人口に対する全面的な支配のレベルにまでその重要性を高めました。金、銀、石油はイルミナティが切望する主要な商品であり、さらに彼らの計画を進めるために必要な重要な資源である石油供給、水、肥沃な土地に対する絶対的な支配も持っています。反対する者は排除されます。ベネズエラの大統領ウゴ チャベスが癌細胞に感染して

故意に殺害されたケースがそうです。戦争が起こされ、エリートがこれらの膨大な未加工の資源を略奪できるように戦われます。イラクとリビアは最近の 2 つの明確な例です。その考え方は、どの国もその資源の富を所有すべきではないということです。エリートの目標である新世界秩序の達成を支援するために役立たず、むしろ自国の主権のために立ち上がろうとする国は、打ち倒されます。

何世紀にもわたり、ニコライ・テスラのような発明家はフリーエネルギー装置を製造 地球に無料で磁気エネルギーを供給できる発明を特許にしたのは大きな間違いだった。もともと人類の利益のために意図されたこれらの発明が政府の所有物になったのだ。つまり、当局が合法的にそれらを所有し、したがってこれらの発明が利用可能になるのを防ぐことができるのだ。 国際銀行家と石油カルテルが西側諸国の政府をすべて支配している。彼らはフリーエネルギー技術に反対している。なぜなら、それが彼らの「化石燃料」エネルギー帝国にとって脅威だからだ。

ウクライナが意図的に「西側」に占領されたのも同じ理由からで、中央アジアの石油資源へのアクセスを得るためだが、石油資源のためだけではなく、パイプラインのルートを制御するためでもある。なぜなら、石油パイプラインを制御する者は、将来のすべての新しい石油資源も制御できるからだ。これがシリアで戦争が始まった理由である。アサドは、アフガニスタンから始まるパイプライン計画の実現にあたり、エリート石油カルテルの邪魔をし、途中でシリアの石油備蓄を没収し、シリアにハザール人が管理する中央銀行を設立した。

アルコン血統の家族:

アルコンの血統の中で最も権力のある一族は、秘密裏にすべての悪魔崇拝カルトを監視しています。彼らは米国と NATO の軍事機構と並行して活動しています。彼らはまた、影響力のある企業や政府当局者を通じて社会を支配し、イルミナティのすべての「要求」を満

たす悪魔崇拜者の軍隊も持っています。裏切りは死をもって解決されるため、一度この軍隊に入隊すると後戻りすることはできません。イルミナティの陰謀と信仰体系の一部である、危険な悪魔的方法の使用について考えてみてください。彼らは犠牲者の苦しみを楽しんでおり、共感を持っていません。共感は弱さであると見なされています。



これらの邪悪な慣行が公に示されたのは、神の銀行家であるバチカンの銀行家カルヴィの殺害でした。カルヴィは命令に従わず、1982年6月18日にロンドンのテムズ川にかかるブラックフライアーズ橋の下で首を吊って命を終えました。

ロスチャイルド、ロックフェラー、ウォーバーグ、ブッシュ、キッシンジャー、ネタニヤフ、クリントンといった最も強力なイルミナティ一族は、悪魔の階層構造の頂点に位置し、いわゆる「悪魔の王国」を形成しています。

彼らは反キリスト運動の先駆者であり、私たち全員の死を望み、絶対的な世界支配を獲得しようと必死に努力しています。彼らの目的達成の手段は、彼らが引き起こした災難で人々を圧倒することですが、その災難は広く認識されるようになってきました。例としては、2015年11月13日金曜日のパリでの虐殺、進行中の経済危機、世界中で返済不可能な巨額の負債、終わりのない失業、EUと米国の難民危機などがあります。これらはすべて、国民を屈服させるために事前に計画された災難です。

パリでは、9/11、シャルリー・エブド、ボストン・マラソン爆弾テロのときと同じように、メディアは事前にストーリーの脚本を用意し、災害が報じられるとすぐに報道する準備ができていた。捜査も尋問もなく、メディアは脚本通りの公式ストーリーに沿って動いた

だけだった。犯人たちは毎回、簡単に見つかるよう都合よく身分証明書書を落とし、迅速な逮捕を可能にした。目覚めた人々は、これらはすべて偽旗作戦であり、恐怖を煽り、国家安全保障の名の下に自由を放棄させることで人々を服従させるために仕組まれたものと十分に認識している。何も知らない大多数の人々が目覚め、政権交代を要求するまでに、あと何回続くのだろうか？信頼できる情報筋は、このようなテロ攻撃がどのように組織化され、さまざまな国籍の犠牲者を最大限に生み出し、多くの国が彼らの邪悪な計画に最大限関与するよう仕組まれているかを説明している。メキシコのメディアの不具合により、重要なニュースが報じられた。これは、フランス政府が当局の拘留中に「被害者」を殺害したことを示す強力な証拠である。これが全容である。

彼らの最後の切り札は、サタンが罪深い世界を支配する世界指導者です。世界中のメディアは、すべて陰謀団に支配されており、偉大な英雄、救世主、そして偉大な預言者としての彼の到来に備えており、復活したキリストとして世界中に現れ、エルサレムに世界本部を置いて世界帝国を統治します。すべての反対者は例外なく沈黙させられます。

約 200 兆米ドルという膨大な世界債務は、意図的に生み出されたものです。この債務が国家間または国民間で負っているものであれば、理論的には債務の欄を互いに消し去ることで簡単に解決できます。しかし、そうではありません。この債務は国民間で負っているのではなく、6 行を除く 198 の中央銀行すべてに対して負っているものです。これらの中央銀行はすべてロスチャイルド家が所有しており、彼らは何もないところからお金を生み出しています。論理的に言えば、債務を返済する義務はありません。大きな損失を被るのは、この債務を資産として購入した人々です。

イルミナティは意図的に、この単純な事実について人々を暗闇に置き、誰もこの不正に対して行動しないようにし、この壊れたシステ

ムへの信仰を強めてより多くの支持を獲得し、最終的に世界的な奴隷制度の再導入を招きました。

イスラエル国家：

第二次世界大戦後、中東に新たな政治的現状が生まれた。ロスチャイルド家が支配する国連は、1947年にパレスチナ国をユダヤ人とアラブ人の国家に分割する手続きを進めたが、それまでパレスチナ人は国全体を支配していた。事実上、イスラエルは、第二次世界大戦中にユダヤ人に同情を広めた結果として創設された。シオニズムは、外交テロによって土地を獲得したイスラエル国家の設立の直接の結果として、1948年に確立された。ロスチャイルド家は、原理主義シオニズムの「事実上の指導者」となった。彼らはイスラエル議会であるクネセトに資金を提供した。エルサレムには彼らの名前を冠した通りがある。ロスチャイルド家は、ユダヤ人ではないが、「ユダヤ人の王」の称号を持ち、ユダヤ教の王族と見なされている。パレスチナにおけるイスラエル国家の設立は、RKM計画の重要なポイントであり、それは、第二次世界大戦。

世界の権力エリートたちは、絶対的な世界支配を開始した後、イスラエル国にある本部から新世界秩序を支配したいと考えています。彼らのネットワークと世界中の人々から盗んだお金、そして暴力によって、権力エリートたちは社会のあらゆる権力構造に浸透しています。すべてが彼らの完全な支配下にあります。例外なく、ほとんどすべての国で、政府、メディア、ビジネス、金融、経済、科学、宗教、教育などのすべての重要な地位は、RKM が支配する役人によって占められており、歴史は地球上で世界独裁政権を築くために操作されています。

インターネットのおかげで、新世界秩序の極秘計画の多くが漏洩されました。しかし、イルミナティは秘密保持の専門家です。この目的のために、彼らはいかなる状況でも秘密が守られるプログラムを

開発し、導入しました。彼らの任命された人の中で、内部告発を取
えてする人は誰もいません。

モナーク トータルマインドコントロール：

このプログラムはモナーク・トータル・マインド・コントロールと
呼ばれ、20世紀最悪の犯罪者の一人、アウシュビッツの死の天使、
ヨーゼフ・メンゲレによって開発され、実行されました。[彼](#)は、世
界の完全な支配を求めたオカルト階層の一員でした。このプログラ
ムは人類を強制し、私たちを世界的な奴隷状態に追い込みます。ま
た、計画されている世界独裁につながる青写真に関する完全な機密
性を保証します。

このプログラムでは、人々をロボット、いわゆるモナーク スレー
ブに変えるために、広範囲にわたる過度のマインド コントロール
手法が適用されています。彼らは、そのことにさえ気付いていま
せん。彼らは、イルミナティのメンバーであるコントローラーによ
って完全に支配されています。これらの奴隷は、政府、ビジネス、金
融、教会、科学、教育、および世界中のすべての市民の日常生活に
影響を与える他の多くの組織の最高レベルで使用されています。モ
ナーク スレーブの脳は、コンピューターのように段階的にプログ
ラムされ、彼らの精神と行動を制御します。西洋のすべての著名な
公人は、この奴隷のカテゴリに属していることを確信してください
。このように、権力者（TPTB）は、これらの操り人形を通じて舞台
裏から世界をコントロールしています。

動機や秘密の任務が決して暴露されないという保証を彼らに約束し
、重要な役職に就いているすべての役人はモナークによってプログ
ラムされた人物です。結論は、誰もが知っている現在のすべてのリ
ーダーがモナークの奴隷であるということです。プログラムされて
いない「通常の」幹部が任命された場合、誰かが秘密を漏らすリス
クが常にあり、遅かれ早かれ秘密の計画が一般に知られることにな
ります。プログラムされた政府および企業の管理者を一貫して使用

することによってのみ、世界独裁制の導入を達成する計画は厳重に秘密に保たれます。

君主の奴隷:

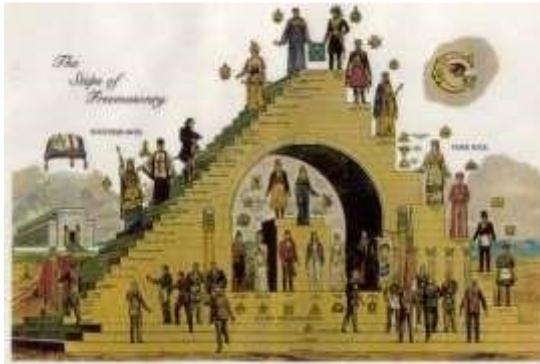
過去 60 年間、選ばれたモナーク奴隷たちは、史上最大の帝国を築き、イルミナティにその支配権を保証してきました。この帝国は、欺瞞、詐欺、経済的操作、暴力、拷問、戦争という手段で着実に築き上げられてきました。モナーク奴隷は、根本的に**経済的な暗殺者**です。

また、暗殺者やスパイとしてプログラムされた別のタイプのモナーク奴隷も存在します。彼らは汚れ仕事を遂行するために使用され、舞台裏の真犯人を暴くのを極めて困難にします。モナーク奴隷による殺人の例をいくつか挙げます。

- オランダのピム・フォルタインを殺害したのは君主制の奴隷であり、フォルケルト・ファン・デル・グラーフではなかった。彼は単なる代役であり、殺人犯のふりをして口を閉ざすことで多額の報酬を得た。
- 2012年に米国コネチカット州で起きたサンディフック小学校銃乱射事件は、武器の所持を禁止する武器法改正が目的だった。
- 靴爆弾犯のリチャード・リードは、靴の中に致命的な爆弾を所持していたわけではなく、空港の「セキュリティ」ゲートを靴下で通る旅行者に屈辱を与えることが目的だった。
- ジョン・レノン、プレイボーイ誌のインタビューで、コンサート中に悪意あるアヘン・カルテルがハードドラッグを宣伝して、意図的に社会的混乱を引き起こし、最終的には社会を破壊しようとしていることを知っていた、と述べた後、モナークの奴隷によって殺害された。

ジョン・レノンはこう言った。

「LSD が販売されているのは CIA と軍隊のおかげです。彼らは LSD を使って人々を支配しています。彼らは私たちに自由を与えてくれました。政府がそれについて何と言っているか見てください！」



真剣に考えるべき質問:

- なぜ私たちは他人に何をすべきか指示されてしまうのでしょうか。
- 私たちは皆平等ではないのでしょうか？
- 政府の目的は何ですか？
- 費用はいくらですか、またどのようなメリットがありますか？

政府が明らかに国や国民の利益のために行動していない今、考えるべき真剣な疑問だ。

何かひどく間違っている。

秘密の反キリスト計画:

RKMの秘密の反キリスト計画の一部は、シリア、リビア、イラクの故郷から何百万人もイスラム教徒を追放し、ヨーロッパに移住するための資金を与えることで、本格的な混乱を引き起こすことです。これらの中には、戦闘訓練を受けた外国人傭兵の集団が隠れています。

難民は命令に従って大混乱を引き起こし、

ヨーロッパ人はイスラム教徒を一般的に憎む。分断統治戦術だ！この大量移民はすでに巨大な規模に達している。当局は対処しきれない。情報筋の報告が正確であれば、ドイツでハザールマフィアの最

高政策立案者を代表して活動するジョージ・ソロスが多額の資金を提供している。この難民危機がいかに深刻かを知るには、[この動画](#) [を見てください。](#) [ビデオ](#) 直接印象を得るため。

アンゲラ・メルケルはヒトラーの娘である。

驚くべきことに、インテルの内部関係者は、ドイツの[アンゲラ・メルケルはヒトラーの娘だ](#) エヴァ・ブラウンの妹によるこの噂は、彼女がなぜ筋金入りのグローバリストとして行動し、彼女の父であるヒトラーと同等に自己破壊的であり、またマインドコントロールされているのかを明らかにしている。これらの噂が真実だと証明されれば、これは大ニュースではないだろうか。これが真実であれば、彼女はロスチャイルドの血を受け継いでおり、ヒトラーもそうであり、支配的な「血統」一族が権力のテンプレートを継承していることのもう一つの例に過ぎない。専門家は二人の写真を比較して、驚くべき類似点を確認することができた。

これがメルケルがロシアに対する禁輸措置を許可し、ロシアに農産物、自動車、トラック、スペアパーツなどを販売するドイツの産業とミッテルシュタントを閉鎖し、ドイツの収益を著しく減少させた理由であるに違いありません。もう一つの証拠は、彼女が二酸化炭素排出基準を順守していないというフォルクスワーゲンに対する偽の告発に反対しなかったことです。二酸化炭素の議論全体が[完全な詐欺です](#)。反乱を起こし始めている多数のドイツ人の大きな反対にもかかわらず、非常に多くの中東難民がドイツに入国することを許可しています。 - マインドコントロールされたアンゲラ・メルケルは、RKMに対するNWOグローバリストのコミットメントと、ロシアへの非常に必要な販売を遮断する結果となった操作された米国政府に対する怒りの間で引き裂かれていると言われています。

リーダーが自国の利益に反する行動をとるとき、マインドコントロールの存在と発現が確認されます。典型的には、それは「黒、白」、「悪、善」と呼ぶ悪魔的な支配方法論です。オランダの首相、マルク・ルッテは、ウクライナ上空でのMH - 17の撃墜に関する容認できない態度と行動によって確認されるように、マインドコントロールされたリーダーの1人であると確信できます。彼の行動から判断すると、彼は間違いなくこの計画を事前に知っていたに違いありません。

隠された真実：

現在明らかになりつつある隠された真実については、前述の両指導者が大逆罪を犯したことはもはや否定できない。

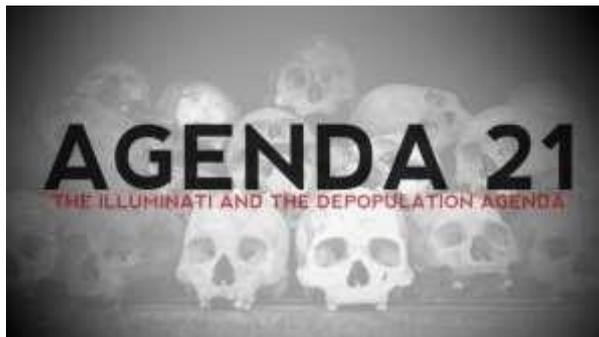
ペンタゴンの最高司令部

CIA とイスラエルのモサドの支援を得て、2001 年に 9/11 のツインタワー攻撃を組織し、その後のすべての戦争の引き金となった構造。RKM 銀行家と戦争防衛請負業者の邪悪な利益獲得のためだけに、何千人もの若い兵士が不必要に犠牲になり、殺され、ひどい怪我を負い、障害を負ったことも否定できません。

イラクやリビアなどで殺害された何十万人もの罪のない民間人は言うまでもありません。

米国のブッシュ政権のメンバーは、2001 年 9 月 9 日のニューヨーク市のツインタワーへの 9/11 攻撃の背後に

いる犯罪者であり、この攻撃により 3,000 人の罪のない民間人が意図的に大量殺戮され、さらに後に放射能の降下物とアスベスト中毒による奇妙な癌で約 39,000 人が死亡しました。現在、約 70,000 人が、この内部犯行、つまりニューヨーク市への偽旗攻撃作戦によって引き起こされた余波の降下物から命をかけて戦っています。



この攻撃のあまり知られていない理由の 1 つは、カンター フィツ ジェラルド証券の社員全員が殺害されたことです。同社はワールド トレード センター 1 の 101 階から 105 階に位置していたため、相当量の金塊を正当な中国人所有者に返還するための書類処理を指示されていました。658 人の社員全員がビルが倒壊した日に殺害され、その後、金塊は正当な所有者であるホワイト ドラゴン ファミリーに返還されませんでした。[続きを読む このあたりです。](#)

前述のように、RKM は世界中の 6 行を除くすべての民間中央銀行を所有し、何もないところからお金を作り出し、利子を付けて大衆に貸し付けています。また、世界最大のアヘンカルテルも運営しており、秘密作戦の資金調達に必要な大量のブラックマネーを生み出すことができました。彼らは多額の資金を蓄え、あらゆる国のほぼすべての政府や役人を買収または買収することが可能になりました。彼らは、借金依存に陥った他の国々から、うんざりするほどの利益、土地、資源を「儲け」、必要に応じていつでもどこでも大衆を欺くために、RKM が主流メディアを完全に支配できるようにしています。 - ごく最近になって、かなりの数の人々が、マスメディアが嘘と欺瞞に満ちていることに気づき始めています。

ロスチャイルド・ハザールマフィアを倒す方法：

これらすべてを知ると、RKMと彼らの操り人形である高官たちを倒すことが最優先事項であることは明らかです。そうすることで、最終的に私たち国民を第一にするという変化が可能になります。ブッシュ家やクリントン家のような悪魔的な一族、中央銀行家、そして TBTF (Too Big To Fail) 銀行の逮捕と投獄を要求するために大衆が立ち上がることが不可欠です。これはすでに[達成されています。](#)[アイスランド](#)。そこでは、銀行家たちへの債務不履行に陥った。この件に関する主要メディアの見出しを調べて、西側諸国、そして世界全体が、立ち上がって自分たちのもののために戦えば、**勝利は可能だ**ということに気付くだろう。 - 偽の通貨供給を断ち切り、このメッセージをはっきりと伝えよう。このメッセージを広めるため

に多くの人が行っている多くの努力の結果として、真の自由の日がすぐに来ることを期待しよう。

マインドコントロールされた政府高官たちが君主の奴隷であることを大衆が理解し始めると、彼らがなぜテロリストについて絶えず不平を言うのかが分かるでしょう。彼らこそが本当のテロリストなのです。私たち国民はRKMを今一度、そして永遠に打ち負かし、排除すべきです。

知っておくべき重要なことは、モナーク奴隷が失敗した場合、CIAとモサドの助けを借りてクーデターが起こされるか、革命が強制されるということです。それがうまくいかなかった場合、特別なエリート部隊が粛清を実行し、そうなった場合、国家元首または独裁者は心臓発作を起こすか、飛行機が墜落します。これらの戦術のいずれも成功しない場合、イルミナティの軍事部門である NATO が配備され、それを終わらせます。最近の NATO の配備を思い出すと、どこで偽旗作戦が実行されたかがわかります。それだけです。

したがって、戦略的な位置にあり、貴重な資源を持つすべての国が、返済できないほどの「偽のお金」を貸し付けることで、何十億ドルも騙し取られ、経済を乗っ取って支配権を握ろうとしている。ギリシャは、騙されたこの長いリストの国々の中で、最も最近の例である。

第28代アメリカ合衆国大統領ウッドロウ・ウィルソンは、自身の経験からその危険性を認識しており、次のように述べています。

「私が政界に入って以来、私は主に個人的に人々の意見を聞いてきました。米国の商業や製造業の分野で最も影響力のある人物の中には、誰か、何かを恐れている人がいます。彼らは、どこかに非常に組織化され、非常に巧妙で、非常に用心深く、非常に連動し、非常に完全で、非常に浸透

している力があることを知っているのです、その力を非難するときは声を大にして言わない方がよいでしょう。」

今日の政治とは何であり、地球上で起こっていることとどのように関係しているのでしょうか。表面的には、ある国の「政治指導者」がメディアを使って他国の「政治指導者」を「攻撃」する茶番劇にすぎないように思えます。

良い例は、現在進行中の米国とロシアの争いだ。米国とカナダはロシアのプーチン大統領をいじめっ子と呼んだ。[ここはプーチン大統領の発言](#) ロシアがいじめっ子だと非難された後。

マスプロパガンダ:

何百万人もの人々がロシアのトゥデイ (RT) や中国のメディアを聴いていますが、それらは私たちの主流メディアとは全く異なる情報を伝えています。ロシアの[プーチン大統領はISISについてこう言いました](#) 西側メディアは放送しなかった。 - ウラジーミル・プーチン大統領は、イスラム国の資金調達に関するロシアの情報機関のデータをG20の同僚と共有したと述べた。テロリストはG20のさまざまな加盟国を含む40カ国から資金提供を受けているようだ。

主流メディアを通じて政治問題に関して大量に流されるプロパガンダは、すべて偏っていて、真実とは明らかに対照的です。世界のメディアは基本的に、RKM の利益を支持するよう指示されています。米国や自国の政府が世界中の多くの国に浸透していることについて、この件に関する詳細情報を得るには、どこに目を向ければよいのでしょうか。なぜ、彼らはこれほど多くの軍事基地を設置したのでしょうか。そこで何が起きているのでしょうか。

これらすべての問題は、実は世界の権力者たちの隠れた手中にあり、最近のTTP貿易協定のように大企業の影響を受けている。 - 事実上、人々は公的通貨を発行する民間の中央銀行に奴隷化されているということだ。それは本質的に不安定なシステムであり、どんなに

阻止しようとしても最終的には崩壊する運命にある。その結果、世界覇権は攻撃を受けており、ワシントンDCが必死に望んでいるように生き残ることはできないだろう。米ドルを救うために戦争を望んでいる。

政府の中には国民自身よりも大きな力が台頭しており、それは多くのさまざまな強力な利害関係者から成り、銀行の膨大な剰余金の凝集力によってひとつのグループにまとめられています。このグループは、グローバル・パワー・マスター、または権力者、別名ディープ・ステートで構成されています。

新世界秩序に関する会議:

最近、多くの政治家や学者が 新世界秩序に関する国際会議 講演者の一人からの以下の引用に沿った事柄について議論します。

「我々は世界規模の犯罪行為に取り組んでいる…そして戦争が進行中だ。それは米国が主導している。それはワシントンの命令に従っているいくつかの代理国によって遂行されているかもしれない…テロに対する世界戦争は米国の行為だが、それは偽物であり、偽りの前提に基づいている。 どういうわけか、米国と西側諸国は架空の敵であるイスラム国を追っていると主張しているが、実際にはイスラム国は西側諸国から全面的に支援され資金提供を受けている。

「軍事同盟とペルシャ湾のアメリカの同盟国…彼らはイスラム教徒はテロリストだと言うが、テロリストはたまたまアメリカで作られただけである。彼らはイスラム社会の産物ではない、そしてそれはこの議場にいる全員に十分に明らかであるべきである…テロに対する世界的な戦争は捏造であり、大きな嘘であり、人道に対する罪である。」

コメントの 1 つ: NWO を崩壊させる唯一の方法は、代替手段を構築し、結果に関係なく、彼らの古い腐敗したシステムを一斉に廃止することです。彼らは恐怖と安心感を通じて私たち全員を支配しています。しかし、私たち全員が彼らの BS システムに 1 か月参加しなければ、システムは崩壊します。私たちは彼らを動かすリソースなのです。

9/11、JFK、およびグローバル担保口座の関係:

グローバル担保口座は、もともと、中央銀行制度を終わらせるためのいくつかの人道的项目を通じて世界の近代化のために配備されることが意図されていました。ドラゴン ファミリーのメンバーは、これらの口座の正当な預金者です。

これらの口座を解放する道を進み始めており、成功して完了すれば、口座は開設されるでしょう。当初人道的目的のために計画されていたこれらの資金を解放し、RKM 陰謀団を終わらせるというこのほぼ不可能な任務は、RKM 陰謀団が全面的な破滅的計画で再び攻撃を仕掛ける前に完了されることが期待されます。

目覚めが始まります。

アメリカ国民、そして多くの国防総省当局者らは、現在、米国の最高幹部がハザールマフィアとその手下であるブッシュ犯罪陰謀団（別名BCC）、そしてイスラエル系アメリカ人の「イスラエル第一」二重国籍の裏切り者（別名Zios）によってどのように潜入され、乗っ取られたかを知りつつある。

イルミナティの時間はなくなりつつある：サイモン・パークス 2015 年 10 月。

イスラム教徒、ヒンズー教徒、その他の信者を代表して発言するわけではない教皇は、ハザールマフィアの新世界秩序の代表者です。なぜ教皇は、世界の人々に新世界秩序に備えるよう告げるのに、米国の首都ではなく国連で演説したのでしょうか。明らかに教皇はハザールマフィアの命令に従っています。 [この15分のビデオ](#)



[オ](#) これは、サイモン・パークスがイルミナティによる新世界秩序の立ち上げに向けた最後の必死の試みについて語る 2 時間のインタビューからの抜粋です。

私たちの無知はRKMの力です：

[ヒラリー支持者、アメリカにおけるシャリア法を支持！](#)

彼らが本当にどれだけ愚かなのか見てください。シャリーア法が実際に何を意味するのか理解しているかどうか、自分で判断してください。鞭打ち、手足の切断などで罰せられます。女性が車を運転することさえ許されていないサウジアラビアでこの法律が何を意味するのかを学んでください。

14. イルミナティとその計画

- 世界独裁政権の青写真：
- プログラムされた人間：
- 人間のGMOは優生学に関するものです。
- 私たちの自由意志の原則は侵害されてはならない。

- エリートたちの船は沈没寸前

イルミナティ血統の家族:

アルコンの血統一族は世界を支配したいと考えており、そのためには13の有力一族の力を合わせる必要でした。アダム教授ヴァイザウプトは1773年にマイヤー・アムシェル・ロスチャイルドの要請に応じて計画を起草した。その最終目標は、現在も変わらない、イスラエルのエルサレムを拠点とする、一人の指導者を頂点とする世界独裁国家を樹立することだった。

人類を支配するには、情報を操作し、自由を制限する必要があります。メディアを所有し、操作し、真実を検閲することで、人々に簡単に影響を与えることができます。その結果、富裕層は世界中で経済的、財政的、政治的な支配権を獲得し、究極の目標は、人間の関与を減らして、すべてを受け入れるようになることです。- 彼らの世界独裁を実行するには、この計画に反対する少数の人々は、単に排除されなければなりません。



ヴァイザウプトは 1776 年にイルミナティ教団を設立しました。これは実際にはファシスト ナチス組織であり、今日の「公認」世界の指導者全員がその傀儡として含まれています。- 反逆または大義からの離脱は死刑に処されません。

ヴァイザウプトの組織のモットーは、「**目的は手段を正当化する**」です。名誉、礼儀、誠実さ、道徳、倫理、人間性といった文明のあらゆる性質は、文明的な反対者が陰謀家に引き渡されることを確実にするために、弱さの表れとして軽蔑され、捨て去られます。嘘、

欺瞞、不誠実、残酷さ、冷酷さ、殺人は文字通り「美德」と見なされ、彼らの力の源となっています。

アジェンダ2030:

ディープステートまたはグローバリスト、ロスチャイルド・ハザール・マフィアとしても知られる小さなグループの利益のために、人類を絶滅させるために設立されました。一般的に、アルコンの血統の家族は、今日の社会で金融エリートとして活動しています。

[アジェンダ21](#)が気に入らなかったら もともと 2050 年までに実施される予定だったものを気に入らないなら、アジェンダ 2030 は気に入らないでしょう。なぜなら、このアジェンダは物事をまったく新しいレベルに引き上げるからです。アジェンダ 21 と現在の 2030 の当初の計画は、1776 年にヴァイザウプト教授によってイルミナティ結社の設立とともに書かれました。イルミナティは実際にはファシスト ナチス組織であり、すべての政府指導者をフロントマンとして雇用し、目に見える形で操り人形にしています。私たちの「選出された」指導者のほとんどは、悪魔のボスを公衆の目に触れないようにするために、悪魔のボスに魂を売り渡しました。主人に対して反逆行為をしたり辞任したりする指導者は、懲戒処分として早すぎる死に処されます。

イルミナティとアジェンダ:

イルミナティの最終目的は、最大 5 億人の人々を奴隷として生かしながら、地球の完全かつ完全な支配権を獲得することです。残り的人々は絶滅させられることとなります。私たちの日常生活の一部となっていることを認識すれば、彼らがどれだけのことを成し遂げたかに愕然とするでしょう。

- 人種差別犯罪の創出
- 混乱を生む継続的な変化

- 学校と教師の権威の弱体化
- 子どもへの性と同性愛の教え
- 国家のアイデンティティを破壊する大規模な移民
- 過度の飲酒の促進
- 薬物乱用の促進
- 教会の空っぽ化 - あらゆる形の社会的結束を弱める
- 犯罪被害者に偏見のある法制度
- 政府や政府の給付金への依存、そしてその後の緊縮財政措置によるこれらの撤回
- メディアの統制と低レベル化
- 家族の崩壊を促す

「大規模な移民は国家のアイデンティティを破壊する」という点について

「幼い子供に性教育をする」「教師の権威を弱める」「教会を空にする」「メディアをコントロールする」といった行為は、西洋世界のいたるところで明らかに見受けられます。

最近の最も重要な前進は、2016年の第70回国連総会で、世界統一政府に向けたあらゆるよく調整された行動が提示されたときに行われましたが、それについて話す人はほとんどいません。

基本的に[アジェンダ21](#) 「新たな普遍的アジェンダ」と改名されました。

[アジェンダ 2030](#)のプログラムとして知られており、全世界が協力して私たち全員の生活をより良くするための方法として宣伝されています。これは、さらなるグローバル化とさらなる中央集権化を伴う、世界が待ち望んでいた素晴らしい新しいアジェンダとして提示されています。

国民国家に興味があるという名目で、新世界秩序の傘下で持続可能な生活を支持しているようだ 地球上で最も持続可能な開発目標 (SDGs) を定め、気候変動を止めたいと考えています。



残念なことに、今日ではあまりにも多くの人々が、周囲で目にする多くの警告に対して無頓着で、まったく無知です。彼らはまだ、当局が自分たちの面倒を見てくれ、自分たちの利益を第一に考えていると考えています。そのため、上記の説明は不可能とみなされ、結果として陰謀として却下されるでしょう。



しかし重要なのは、教皇がこの陰險な新しいアジェンダ2030に承認を与えたことだ。彼はおそらく地球上で最も政治的に影響力のある宗教指導者であり、彼の承認は

非常に重要なことです。何億人もの人々が、何の疑問も持たずに教皇に従っているからです。しかし、教皇の支持に惑わされないでください。2030アジェンダは、エリートたちが、遅くとも2030年までに実施される **世界統一システムに向けて私たちを押し進めるために使うことを計画しているツール**です。これは、次の10年の終わりに急速に近づいています。

この点に関して、次のことを引用することは重要です。教皇フランシスコは、信じられないほどの秘密の権力を自由に行使できますが、多くの人が教えられているように、そして今でも信じているように、キリスト教カトリック教会の長ではありません。イエズス会の教皇フランシスコは神を崇拝さえしていません！それどころか、彼は公然と告白しています。彼の神はルシファーであり、それは彼

がすべてのキリスト教徒を欺くために据えられたアルコンの血統の象徴であることを裏付けている。

国連は、この新しいアジェンダは「自発的」であるとしているが、地球上のほぼすべての傀儡国家が、このアジェンダに進んで署名している。これらすべての国が同意している公式文書には、17の持続可能な開発目標と169の非常に具体的な持続可能な開発ターゲットが含まれている。[ここで自分で読んでみよう](#)。「新しい普遍的なアジェンダ」というフレーズは、序文の終わり近くに書かれている。

このプログラムは大々的に宣伝されている。世界の貧困をなくしたいと思わない人がいるだろうか。しかし、国連が何をしようとしているのかを詳しく調べてみると、非常に憂慮すべき傾向がいくつかあることに気づくだろう。

このような資料が受け入れられると、大きな警鐘が鳴り始めるはずです。人々は今、ワンワールド体制の台頭の最終段階を目撃しており、最終的には地球の大部分がそれを受け入れるでしょう。

ポール・[マグワイア](#) 彼は新しい著書「[バビロン・コード](#)」の中でこう書いている。

国連は許可を求めているのではなく、地球全体が2030年までに世界を根本的に変えることを目的とした17の持続可能な開発目標と169の持続可能な開発ターゲットに取り組むよう命令を出している。教皇が推進する国連2030計画は、アジェンダ21を劇的に前進させるだろう。統制されたメディアを通じて、大衆はこれが環境保護と「貧困の撲滅」に関することだと聞かされるだろう。しかし、それはアジェンダ21の真の課題ではない。アジェンダ21の真の課題は、世界政府、世界経済システム、そして世界宗教、つまりルンフェリアニズムを確立することである。国連事務総長の潘基文が「すべての人

にとって平和で尊厳のある世界の夢」について語ったのは、共産主義者が人々に「労働者の楽園」を約束したときと何ら変わらない（強調は筆者）。

すぐに起きる：

ブロガー、独立ジャーナリスト、真実の探求者、革命家、代替ニュースソースによる多くの民間の取り組みにもかかわらず、長年にわたり、これらの危険性、矛盾、すべて嘘と欺瞞によって仕組まれた制御不能なトップダウンの財政および政府の腐敗、今日の意図的に作り出された経済危機に至る不必要な緊縮政策の結果としての何百万人もの人々の苦しみなどについて警告してきました。あまりにも多くの人々がまだ心配していなかったり、無関心であったり、これらの警告の兆候を認識できないほど無知です。- 今すぐ行動を起こさなければ、今日生きている私たちは、この計画を阻止するための重要なステップを警戒して進んで実行せず、むしろ無能で無関心なままであることで、数十億の人類の絶滅を許した責任を問われることとなります。

議題：

アジェンダ21は主に気候変動と環境に焦点を当てていましたが、2030アジェンダはそれをはるかに超えています。2030アジェンダは、経済、農業、教育、男女平等、医療、その他多くの問題に深く取り組んでいます。[人間の活動](#) 2030アジェンダの目標に該当しないもの。

イルムナティは、遅くとも2030年までに世界統一政府、世界統一経済システム、世界統一宗教が実現することを望んでいます。

大きな困難を乗り越えずにそこに到達することはできないだろうが、[これが我々が目指すところだ](#)。

残念なことに、私たちはアジェンダ2030の内容以外の多くのことに気を取られているため、これらすべての計画が私たちの目の前で展開されていることに気づいていません。

持続可能な開発アジェンダ:

国連の「持続可能な開発アジェンダ」は、基本的に**巨大な企業詐欺**。冗談じゃない。[サウジアラビアが選ばれた](#) 国連人権委員会の委員長に！ - サルマン国王は王位を奪取するために70人以上の近親者を殺害した。近い将来、彼の側近でさらに多くの死者が出るかもしれない。

議題の公式な意義は次のように表現されます。

このアジェンダは、人類、地球、繁栄のための行動計画です。

また、さらなる自由によって世界平和を強化することも目指しています。極度の貧困を含むあらゆる形態の貧困を撲滅することが、最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発に不可欠な要件であると認識しています。すべての国とすべての関係者が協力してこの計画を実行します...



国民の疑いを晴らすための無害な言葉遣いだが、それは人類、地球上のすべての生き物にとっての重要性と影響に関して、あからさまな嘘であり、完全な欺瞞である。
- より正確には、国連アジェンダ2

1と2030「持続可能な」

「開発」は国連主導のプログラムであり、個人の権利と自由が剥奪され、車が不足し、大衆が[地獄のような大都市に押し込められることになる。](#)そして、小さな「持続可能な」寮のようなアパートに住むことを余儀なくされた。

さらに：

「国連は、個々の政府、そして最終的には「世界統一政府」を吸収し、「持続可能性」の名の下に私有地を没収しようとしている。さらに悪いことに、国連のアジェンダ21は、密かに「人口抑制」として提示された「人口削減」の計画さえも提示している。」

国連：

国連は、ロックフェラー家によって設立された、限りなく腐敗した組織であり、アルコンの血統の家族に代わって、新しい中央集権的な世界秩序を施行する責任を負っています。しかし、インターネットは、秘密結社が中央集権化計画を実行するために必死に必要としている秘密に、悲惨な打撃を与えました。しかし、脱退者や反対者が増えているにもかかわらず、秘密結社は間違いなくまだ存在しています。彼らは、世界の通貨供給と、その軍事力のほとんどを継続的に支配しています。

米国と他の11の環太平洋諸国間の「自由貿易」協定である環太平洋パートナーシップ協定（TPP）は、何年にもわたる激しい非公開交渉の末に最終決定されました。その実施について決定を下さなければならなかった政治家は、誰一人としてこの協定の内容を読むことを許されていません。

この協定は、企業にとって露骨な大儲けだ。「労働組合をはじめ、多くの団体が通貨操作、環境と健康の保護、食品の安全性、医薬品の独占、雇用の海外移転、インターネットのプライバシー、政府の透明性、地方自治など、さまざまな問題に対する懸念からTPPに反対している」とRTは述べている。さらに次のように付け加えている。

「TPP交渉の漏洩した草案では、企業が規制による利益損失をめぐって政府を民間裁判所で訴えることが認められ、法

人が主権国家と同等の地位に昇格することが明らかになった。」

規制によって収益が減れば、グローバル企業は納税者の財布に手を出すだろう。そして、これを可能にする取引が成立するだろう。

そして最後に、これらの壮大な恥ずべき出来事から立ち直った国連は、現在、世界各国の政府に[インターネットを検閲する方法を指示したいと考えています](#)。

「エリートたちは、一夜にして急進的な変化を発表することはない。彼らは、ほとんどの人が気づかない、あるいは理解しない退屈な技術的变化を通じて、毎年小さな変化を起こすことを好む。」

民主主義：

冷戦とその余波以来、すべての国の主権を剥奪する一方で、アジェンダの実施に備えて「民主主義」という言葉が使われてきたが、それは米国の政治家が主張するのと同じ意味を持たないため、誤解を招くものとなっている。米国大統領が「民主主義」という言葉を使うとき、彼は米国の新自由主義政策に従う親米国家を指しており、その国が軍事独裁国家であろうと、エジプト、チュニジア、ジョージア、ウクライナのようにクーデター（カラー革命と婉曲的に表現される）によって政権が樹立された国であろうと関係ない。

「民主的な」政府は、ワシントン・コンセンサス、NATO、IMFを支持し、秘密結社が運営する私有の中央銀行を持つ政府として再定義されました。それは、政策決定を選出された代表者の手から、「独立した」中央銀行であり、その政策はウォール街、ロンドン市、フランクフルトを中心とする寡頭政治によって決定される。

アメリカによる政治用語の再定義を踏まえると、米国大統領が、特定の国々はクーデターや暴力革命、テロに見舞われることはない

述べる場合、大統領が意味するのは、米国の外交圏内に安全に収まっている国々は不安定化の影響を受けず、米国国務省、国防総省、財務省によって支援、訓練、管理されるということである。

有権者が民主的に選出した政府や政権が独立して行動する国、あるいは米国の指示から独立して行動するために権力を行使するだけの国は、シリアやウクライナ、あるいはピノチェト将軍の指揮下でのチリのような不安定化を招くだろう。

ヘンリー・キッシンジャーがかつて言ったように、国が共産党に投票したからといって、それを受け入れなければならないわけではない。これが、全米民主主義基金が後援する「カラー革命」の実態だ。

露骨な例として、旧ユーゴスラビア、ウクライナ、ジョージア、南オセチア、アフリカのさまざまな国、アフガニスタン、イラク、チュニジア、エジプト、リビア、そして現在はシリアで米国が引き起こした破壊を見てください。ロシアの介入のおかげで、これらの破壊は救われるでしょう。ほとんどの人々は嘘によって洗脳され、政治的無力さによって抑制されているため、何もできません。一方、ヨーロッパのワシントン属国、英国、カナダ、オーストラリア、日本は、この国際的な殺人政策が自由と民主主義をもたらしていると偽っています。

プーチン大統領の国連に対する反応:

ロシアのプーチン大統領は国連の回答で、

「民主革命の輸出」とは、米国が現地の雑役人を支援する行動のことである。ISISは米国の武器で武装しており、兵士は米軍によって訓練されている。疑念の余地がないように、オバマ大統領は国連で、シリアのアサド大統領が退陣し、米国の石油政策と軍事政策にもっと従順な指導者が就任するまで、アサドこそが最大の敵であり、ISISではないと繰り返し述べた。

アジェンダ21プログラム:

アルコンの血統の家族は、私たちがアジェンダ 21 プログラムを疑問なく受け入れることを望んでいます。残念ながら、これまでのところ、世界の人々にとって、すべてが新世界秩序計画に従って進んでいます。しかし、この新世界秩序計画とは何でしょうか？

アジェンダ 21 は「21 世紀のアジェンダ」と呼ばれ、世界的なファシズム/共産主義を指しています。アジェンダ 21 に含まれる内容の概要は次のとおりです。「持続可能な」開発（交換可能な量を超えて使用しない）は、一見すると十分に理にかなっているように聞こえますが、このことと「生物多様性」が陰謀の文脈で実際に何を意味するかがわかると、意味が違ってきます。「持続可能な開発」と「生物多様性」は、最終的に次のことを課すことになります。

- すべての国家主権の終焉 - ほぼ達成
- すべての土地資源、生態系、砂漠、森林、山、海、淡水、農業、農村開発、バイオテクノロジー、そして「平等」、すなわち平等な奴隷制の確保に関する国家計画と管理
- 国家は、すべての企業と財源の役割を定義します。これは、「自由貿易」協定の実施によって達成されます。
- 私有財産の廃止 - それは「持続可能」ではないため
- 家族の「再構築」はほぼ達成
- 国家によって育てられた子供たち
- 人々に仕事内容や住む場所を伝える
- 移動に対する大きな制限 - 積極的に宣伝されている自動運転電気自動車による
- 「人間居住地域」の創設



- 人々が現在住んでいる土地や家屋から立ち退くことを余儀なくされ、大規模な移住が行われている。
- 教育の低レベル化 - 達成
- 上記すべてを補完する大規模な世界規模の人口削減。

200年以上前に作られたアジェンダ21は、今世紀に彼らの計画の完了段階が到来することを示しています。新世界秩序の秘密計画は、冷酷な手段で世界の人口を「自然と永続的にバランスを保ちながら」持続可能なレベルまで減らすことです。

人口および生殖制御による人口抑制計画。家族計画、水と食料供給への有毒物質混入、エイズやエボラなどの兵器化された人工ウイルスの放出、人為的なパンデミック、大規模なワクチン接種キャンペーン、計画された第三次世界大戦を通じて、人々の大量殺戮が達成されます。

NASA の隠された秘密が漏洩文書で発見されました。地球規模の人口削減プログラムがすでに本格的に進行しており、最終的には人類の終焉につながることを説明しています。完全な情報を得るには、[これを視聴してください。](#) [ビデオ](#)。

アジェンダ21は、最終的に、大幅に減少した世界人口に、世界政府、世界宗教、世界軍、世界中央銀行、世界銀行からなる「一つの」世界封建主義国家を押し付けることを意図している。

通貨とマイクロチップを埋め込んだ人口。つまり、彼らは世界の人口の 90% を削減して、人間の状態のあらゆる側面を制御し、ゆりかごから墓場まであらゆる場所ですべての人を支配し、制御するつもりです。

グローバル社会への変革に向けた青写真：

すべての国の国家主権の放棄から始まります。これは世界統一政府に至り、IMFが発行する世界通貨SDRによって補完され、既存のすべての不換紙幣が現在の価値の最大90%まで切り下げられることにな

ります。パンが2ユーロ、そして20ユーロであるのに対し、すべてのものに10倍の金額を支払わなければならないと想像してください。20万ユーロの住宅ローンが200万ユーロの住宅ローンになってしまいます。

インターネットを通じた宣伝により、通貨システムが悪化し、その結果彼らの支配力が弱まる中、陰謀団はこのプロセスを加速せざるを得なくなった。

それは、人類がすでに開発してきたものの多くを自然に取り戻すという議論のもと、人類を巨大な「メガシティ」に押し込むことを実質的に意味する。これは、現在の社会をグローバル社会に変革するための青写真であり、[人々のあらゆる自由を奪う](#)。

どちらの方法を選択するかは、今や極めて重要です。

目を覚まして揺さぶるか、早すぎる死を受け入れるか、あるいは無期限の奴隷状態を受け入れるか。

私たちの苦境の緊急性を強調するために、[教皇は 国連は、秩序ある移行のためのアジェンダ21](#)を明確に実施し、すべての国の国家主権を放棄し、最終的には世界統一政府を樹立し、IMFが発行する世界通貨SDRを導入し、既存の不換紙幣を最大90%切り下げる。

反アジェンダ21活動家

[ゲイリー・ジレノ](#) ジレノは、米国における反アジェンダ21活動家の第一人者です。彼の使命は、この恐ろしい反人類的アジェンダを暴露し、これらの大量虐殺的なUN-NWO計画を支持する政治家を公に明らかにすることです。ジレノは、優れたYouTubeチャンネルで、毎日複数のビデオレポートで彼の活動を紹介しています。[グライندگان61](#)。

アルコンファシスト新世界秩序:

完全な体制転換、環境破壊の阻止、そして新時代の幕開けが私たちの目標ですが、地球を乗っ取って自分たちのアルコンの世界にしたいと考えているアルコン血統のファシスト新世界秩序の脅威がまだ残っています。

もし我々国民が、これらの少数（1%未満）のエリートたちが我々国民に悪を押し付けることを許すなら、「生命」は人間ではなくなり、通常「生命」と見なされるものでもなくなる。 - 人々は、アジェンダ21で規定された巨大地域の人間居住区域内の巨大都市の高層建築の小さな箱にぎっしりと詰め込まれ、生きるのではなく、単に存在するだけになるだろう。人口は今日の数分の1となり、人間は地球の表面の95%へのアクセスを拒否されるだろう。すべての人にマイクロチップが埋め込まれ、コンピューターシステムに接続され、思考、感情、健康、そしておそらくそれらの欠如が決定されるだろう。

監視は、マイクロチップやスマートグリッドのような無線システムを通じて、メガシティ内外のあらゆる建物、場所、交通手段で24時間365日行われる。あらゆる思考にアクセスし、リアルタイムで記録することができる。人々は自分の「ホームボックス」で[カメラに監視される](#)。 [義務的なテレビを通じて](#) - 「オーウェルのテレスクリーン」

アナログテレビからデジタルテレビへの切り替えもこれに関連しており、この切り替えが急いで行われ、対象人口に多大な負担をかけるカーラジオや電話まで、放送のあらゆる側面が対象となっているのはそのためです。

また、スマートフォンやテレビなども登場しました。HAARP やその他の通信ネットワークは、ネットワーク システム全体が整えば、国全体、最終的には地球全体に同一のメッセージを送信できます。世界初の完全統合型スマート シティ「[松島](#)」は、来年中に韓国の人工島で稼働する予定です。

このアルコンの世界では、食料と水は当局の命令で、従順で服従する人々にのみ与えられる。それでも、彼らが機能し奉仕できるだけの量は十分だろう。抵抗の考えを阻止し、人々の意識の覚醒を阻止するために、食料と飲料には遺伝子組み換え作物、ワクチン、化学物質が混入されるだろう。

アルコン社会では、有機食品は存在せず、いかなる種類の食物の私的栽培も、代替療法も、健康サプリメントも存在しない。注意深く観察し研究する人なら、私たちが急速にこの方向に向かっていることに気づくだろう。

強制薬物:

オルダス・ハクスリー（ロスチャイルド・シオニスト）が述べたように、強制的な薬物投与は、水にリチウムのような物質を混ぜることで、人々に奴隷状態を愛するようにさせるだろう。ハクスリーは1962年にこう述べた。

「次の世代かそこらで、人々に奴隷状態を愛させ、いわば涙を流すことなく独裁政治を受け入れさせる薬理学的方法が登場し、社会全体のための痛みのない強制収容所のようなものが作られるだろう。その結果、人々は実際に自由を奪われることになるが、むしろそれを楽しむようになるだろう。なぜなら、洗脳の宣伝、あるいは薬理学的方法によって強化された洗脳によって、反抗したいという欲求がさらされるからだ。そして、これが最終的な革命となるようだ。」

アジェンダ21で述べられている薬物の世界は、性欲を含む感情を抑圧するが、聞き覚えがある。「ディストピア」という言葉、つまり全体主義的な環境は、しばしばユートピアを装った抑圧的で統制された状態の「社会」を意味するので、これ以上適切な言葉はないだろう。誰も自分の食べ物や水に何が含まれているかを知ることが許

されず、食品ラベルも存在しない。今日では、モンサントがGMO ([汚染された食品](#)) [ラベルを貼らなくてもよい権利を確保している](#)。我々がすでにその方向に進んでいることは明らかだ。-[監視ドローン](#) 彼らは現在、マイクロチップの周波数コードにロックすることで、誰かを見つけて暗殺する能力を備えて上空をパトロールし始めている。



アジェンダ21の世界:

これがアジェンダ21の世界だ。アジェンダ21の下では、人々は現金のない貧困の中で暮らすのではなく、存在することになる。一方、彼らを支配する少数の人々は、例えば[ギリシャの島々](#)で、想像を絶するハイテクの贅沢を安価に手に入れて暮らすことになる。子供たちは国家の所有となり、オルダス・ハクスリーが『すばらしい新世界』で明らかにした内部情報から予見した方法で育てられる。子供たちは遺伝的カースト制度の中で技術的に育てられ、生物学的な親という概念は過去のページとなるだろう。象徴的に言えば、本当の歴史は削除されるからだ。

ハクスリーはこう書いている。

「親は父親と母親でした…これは私が知る限り、不愉快な事実です。しかし、ほとんどの歴史的な事実是不愉快なものです…当時は…子供たちは両親によって育てられ、[国立の訓練センター](#)で育てられたわけではありません。」

ハクスリーは、これらの国家訓練センターが、国家が命じたものは何でも受け入れるよう子供たちをプログラムし、従わない者は従うまで電気ショックを与えると説明した。彼は、花や鳥の絵に向かって這う赤ん坊が、自然を愛することを望まないために電気ショックを与えられていると説明した。『すばらしい新世界』の子供たちも、寝ている間も潜在意識に訴えるメッセージで洗脳されていた。ハクスリーは、最終的には、心理的な暗示によって、子供の心は国家の心になるか、または「国家」からの「暗示」だけで構成されるようになる」と述べた。



今日、そのような人は何人いるでしょうか？子供に関する決定を下す親の権利が絶えず侵害されていることは、ハクスリーが描写し、アジェンダ 21 が要求する世界への足掛かりです。子供が国家によって技術的に生産されるようになると、親は厳格な遺伝的基準に従って子供を持つために国家の許可が必要になり

ます。このアルコンの世界には車はなく、唯一の交通手段は家庭と職場を結ぶ地方の鉄道輸送システムと、巨大地域間の高速度鉄道になります。

後者の国を旅行するには許可が必要で、許可が下りたとしても、無線マインドコントロールフィールドに囲まれた車両に座り、制服を着た国家の悪党に監視されることになる。人々は、選択の余地なく、指示された場所で働くことになる。オーウェルが想像し、内部情報から明らかにしたように、「選択」という言葉は、「自由」などの言葉とともに語彙から削除されることになる。[これを見てください。](#)

プログラムされた人間:

人間をより簡単にコントロールできるようにプログラムし、精神的、宗教的、意識的な人間の痕跡を全て消し去ろうとする大規模な試

みがあります。いわゆる「[ポストヒューマン種族](#)」は、アジェンダ21の世界における将来の奴隷として開発されています。

アルコンは「機械制御」の世界を望んでおり、テクノロジーと融合して「ロボット人間」となり、思いやりや共感、自由な思考能力を持たない人間以下のロボットを創り出そうとしている。常に命令に従い、一部は人間で完全にテクノロジー化されたロボット軍隊を創り出そうとしている。すでに「非協力的な人々」を追い詰めて拘束できるロボットの契約が結ばれている。[この短編映画を観よう ビデオ](#) 何が意味されているのか、そして開発がどの程度まで進んでいるのかを理解するためです。

同じことは、年々爆発的に増加している今日の社会における産業用ロボットやサービスロボットの出現にも見られます。それらは、真の人間と比較すると一種のエネルギー機械であるアルコンの命令を乗っ取る可能性のある一種のハイブ制御システムに接続されているか、接続されるでしょう。マインドメルドテクノロジーはすでに開発されており、多機能ユニットで脳を接続し、それらの間で思考と認識を転送し、ロボットテクノロジーにダウンロードして人工知能を生み出し、これらの機械が誰をいつ殺すかを自分で決定できるようにします。アルコンが遠くから（地下施設から）人類に戦争を仕掛けることができるようにすることが、[ドローンとロボット軍の目的です](#)。人類が敗北し、人間がタグを付けられていつでもどこにでも位置を特定できるようにし、必要に応じて[彼らの周波数にログインするテクノロジー](#)によって遠くから排除できるようになるまで、アルコンは再び現れません。その時、人々にどのようなチャンスがあるのでしょうか？だからこそ、後戻りできない地点に到達する前に、残されたわずかな時間の中で、今、私たちは一斉に対応しなければならないのです。

トランスヒューマニズムの核心は**優生学**です。

これらすべてはトランスヒューマニズム、つまり「エンジニアリングの楽園」と呼ばれ、より正確には「奴隷状態を愛せ」、あるいは奴隷制度廃止主義と訳される。この用語は奴隷制度を廃止するために使われたが、ここでははるかに大きな奴隷制度、つまり技術的に設計された現実の中での精神と感情の奴隷化を表現するために使われている。

アルコントランスヒューマニストのその他の願望としては、デザイナーベビー、他の種のDNAを導入して遺伝子組み換えまたは遺伝子組み換えされた「GMO」人間を作成すること、および脳コンピューターインターフェース（すでに開発されている）などがある。人間の精神をインターネットに接続してサーフィン、ダウンロード、アップロードし、ワールドワイドウェブとそれに接続されたすべての精神を備えた集合精神、つまりソーシャルネットワークに統合することができます。



遺伝子工学とトランスヒューマニズムの計画は、アルコンにとって非常に重要である。人間の本質を根本的に変え、人間と機械を融合させようとする試みは、長い間行われてきた。人間の創造をショートさせることで、人間とのつながりを実際に断つことは、これらの支配者候補にとって明らかな次のステップである。彼らは、そのような傾向を注意深く整えて受け入れるように強制してきたが、それは停止し、時間的存在の廃品置き場で死ぬことになる。それは、私たちの創造力の場の中では耐えられないし、ましてや生き残ることはできない。これが、この瞬間の正当な結論である。

Archon システム統合:

[Google Glass](#)などの技術 眼鏡のように装着できるインターネット接続可能なコンピュータは、マイクロチップによる直接接続への足掛かりとなる。広く知られているように、これはすでに今日利用可

能である。Googleはトランスヒューマニストのアジェンダの主要プレーヤーである。これらのガジェットは、脳のような素晴らしい、またはスマートな技術的傑作として宣伝されている。 腫瘍を引き起こすスマートフォン 広く使用されている音声認識技術は、音声パターンを認識するもので、音声パターンは個人の固有の振動特性やスマートな電気メーター 低い周波数で、特に人々の自宅に潜り込み、影響を与えるために選ばれ、人々を暗く危険な道へと導き、アルコン システム統合へと導きます。

人工知能 (AI) :

グーグルのエリック・シュミット (ロスチャイルド・シオニスト) は2013年に、同社は5年ほどで人間の心と区別がつかない人工知能を開発できるだろうと述べた。それは奴隷化された人間の心である。 シュミット氏はトランスヒューマニストのアジェンダに夢中で、社交行事に自身のロボットクローンを送り込むといった構想を語ったり、ナノテクノロジーを飲み込んで自分の体を制御したりしている。彼の望みは、ロボットとトランスヒューマニストの技術で社会を運営することだ。

人類が融合することを望んでいる 機械で そして、人類全体の知能を超える人工知能を備えたコンピュータ システムによって制御される地球社会を望んでいます。現在理解されているように、ワールド ワイド ウェブは、すぐに運用可能になる技術的な集合知となることを目的として開発されました。

インターネットは「目覚める」ことができるだろうか？インターネットは、人間が何らかの形の技術的意識に変化するのではなく、人間に指示し始める世界的な技術的精神に変化する地点に達することができるだろうか？間違いなくYESです。これはまさにアルコンの計画であり、人間の脳が再配線されるにつれて密かに起こっています。詳しくは、無料でダウンロードできる本をご覧ください。 神

経科学者クリストフ・コッホ著『意識：ロマン主義的還元主義者の告白』

インターネットは、すでにかかなりの程度、何らかの形の技術的知能、つまり AI に「目覚め」つつあります。インターネットだけではなく、接続され関連する通信システムや監視システムも、その無限の形態で「目覚め」つつあります。その段階に達し、相互通信が行われ、1 つのグローバルな技術的知性として、人間はどこに行き着くのでしょうか。それはマトリックスの世界です。企業は、遺伝子操作または強化した人間の体の所有権と著作権を主張するでしょう。モンサントが GMO 作物や動物に対して行っているのと同じです。

人間のGMOは優生学に関するものです。

子供が欲しいですか？ モンサント社か他の会社からライセンスを取得して、ロイヤルティを支払います。数年後に実験室で子供が生まれるまでです。遺伝子組み換え食品の摂取やケムトレイルからのナノ粒子の吸入などにより、すでに相当量の人間の遺伝子工学とマイクロチップの埋め込みが行われています。

人間を改造する別の方法としては、注射針でマイクロチップを密かに埋め込むワクチン接種がある。トランスヒューマニストは、人類の技術的改良について語っているような印象を与えるが、それはまったく違う。

アルコンは、特定の遺伝子タイプのみをアップグレードし、残りの遺伝子タイプは制御の側面だけに苦しむことを望んでいます。オルダス・ハクスリーの弟で優生学者およびトランスヒューマニストのジュリアンは、1950年代にロックフェラー財団とともにこれらすべてを開始しました。彼は次のように述べています。

「最下層は子孫をあまりに急速に生み出している。したがって…彼らは救済や病院での治療に容易にアクセスできな

いようにしなければならない。そうしないと、自然淘汰の最後の抑制がなくなり、子供が生まれたり生き残ったりすることがあまりにも容易になってしまう。長期の失業は不妊手術の根拠となるべきである。」

これがトランスヒューマニズムの本質、つまり**優生学**です。これはアルコンに共通するテーマで、彼らは自分自身の遺伝学と、標的の集団の遺伝学の両方に執着しています。

これらは、賄賂を受け取った政府、当局、ビジネスリーダーを通じて、私たちの世界を指揮し、影響を与えている人々です。これは**狂気**ですが、残念ながら**真実**であり、すべてアルコンのアジェンダに記されています。私たち国民が何が起きているのか、ゲームが何なのかを理解しなければ、計画は必然的に実行されます。アルコン社会で説明されていることのほとんどは、アジェンダに明確に記載されています。

21 文書は、すでに多くの面で完全に機能し、目に見える形で公開されていますが、その一部は、指揮系統の下位にいる無知な公務員から真実を隠すために明言されていません。なぜなら、私たち一人一人と同じように、彼らの家族もアジェンダ 21 の悪夢に陥ることになるからです。

今すぐ危険に立ち向かおう：

必ずしもそうなるわけではありませんが、この危険は目を背けたところで消えるものではありません。まだチャンスがある今、この危険に立ち向かわなければ、将来、挑戦することがほぼ不可能になったときに、この危険に立ち向かわなければならなくなります。これが、私たちが現在向かっている世界です。- 確認のために周囲を見回せば、世界がアジェンダ 21 文書で想定されている通りに変化しているのがわかるでしょう。

もし私たちに、計画を終わらせる勇気と度胸と揺るぎない決意がなければ、私たちは自分自身と私たちの子供たちにこの苦しみを味わわせることになる。

アルコンの最終的な移行と敗北:



より影響力のある他の勢力が私たちの代わりにやってくれればと期待してはいけません。もし強力なグループが主導権を握れば、後でまた別の抑圧を受ける危険があります。私たち自身が始めれば、主導権を握ったことになり、主導権を握った力を失うことなく、強力なグループに助けを求めることができます。それでも、自国の強さを信じているなら、今こそ行動を起こす時です。後になってからでは遅すぎます。この戦いに勝つことはできると信じていますが、迅速な行動が最優先事項です。

何もしなければ、これから受ける結果は当然の報いです。

「行動を起こさない」という言い訳は通用しません。まず最初にするべきことは、[アジェンダ21についてもっと学び](#)、その知識を他の人と共有することです。平等な考えを持つチームを作り、相互行動には多数の参加が必要であるという深刻さを他の人に納得させましょう。行動を起こすよう促しましょう。繰り返しますが、この全体主義的な悪は私たちの周りで起こっています。ほとんどの人がソーシャルネットワークに参加し、デジタルテレビを見て、スマートフォンを使い、[スマート電気メーターを持っています](#)。インストールはされているものの、点と点を結び付けて、24時間365日管理と監視下に置かれ、自由の大部分を失い、残りの自由も日々失われつつあることに気づいていない。

私たちは歴史上最も刺激的で挑戦的な時代に生きています。私たちには素晴らしい貢献をする機会があります。明らかに人類は、[精神](#)

病質の異世界主導の計画に直面しています。アルコン勢力は究極のパワーツールを利用できるため、彼らが全体主義ファシストの悪夢に向かって進むにつれて、私たちはますます日常的に彼らに対処することを余儀なくされています。

私たちの自由意志の原則は侵害されてはならない。

だから、私たちはディープステートのアルコンの陰謀団に反撃しなければなりません！彼らの時代遅れのマトリックス プログラミングは追いつけません。振動の変化はゆっくりと、しかし確実にアルコンの能力を超えています。私たちが経験しているこの大規模な宇宙の変化に直面して、創造の模倣者は現在のオペレーティング システムを維持することがもはやできません。彼らは気が狂いそうです。

我々の周囲で見られる絶望をちょっと見てください。粗野で軍事的で警察国家的な行動、ウクライナや中東での策動、マレーシア航空17便の撃墜、ロシアの悪者扱いなどは絶望の兆候のほんの一部に過ぎません。そして恥ずべき経済操作、主流メディアによる突飛で不誠実なプロパガンダ。最大の手がかりは、これまでは漸進的だったが今では誇張された技術プログラムの使用、つまり大量監視やデータ収集からサイバー戦争や人工知能の出現まで、CERNの狂った狂人が他の次元に侵入しようとしていることにあります。彼らの狂った計画の規模と絶望は、目を覚ましてそれを見ようとするほぼすべての人に完全に明らかになっています。

この巨大な計画は、一掃されることはないだろう。彼らの進歩を止めるには、あまりにも長い期間、多額の資金が投入され、秘密裏に計画されてきた。体制の全面的な変更以外には、それは不可能だ。

それは私たち次第です。 私たちにはすべてがうまくいっていますが、私たちの意志と行動はこの変化に合わせる必要があります。私たちはそれを無視することも、反応することもできます。

しかし、忘れないでください。私たちの自由意志の神聖さは侵害できません。私たちが完全に目覚めてエネルギーを獲得し、変化の波に乗るか、変化が私たちに襲い掛かり、認識や反応がないため、時間の経過とともに崩壊するかのどちらかです。そして、このサイクル全体を繰り返す必要があるかもしれません。望ましい見通しではありません。

私たち人間は、実のところ、信じられないほどの感情と創造力を持つ稀有な人種であり、私たちの心と感情は、カオス 少なくとも自分自身と同じくらい他人を思いやることによって、この惑星を平和と繁栄の正当な地位に回復させるのです。

まもなく明らかになるのは、長年にわたり、私たちの政府と政治家が「ハザールマフィア」に買収され、重要な事実を隠すために操作されてきたということだ。世界を変え、自分たちの惑星にしようと、ハザール人は買収された政府とともに、私たちの日常生活のあらゆる側面について嘘をついてきた。彼らは私たちの騙されやすさを当然のこととみなしてきたが、今や私たちの多くが、実世界のありのままの姿、つまり魅力的で真実である現実世界を意識し始めている。



振って目覚めよう。

もし私たちの中に、このようなことが繰り返されることを望まない人が十分にいれば、私たちは勝利するでしょう。そうでなければ、たとえ自分たちの命や子どもや孫の命、そして人類の未来がかかっているととしても、私たちの多くが反応する気がなければ、私たちは自ら招いた敗北と無力感によって負けてしまうでしょう。だから、皆さん、行動を起こしてください。やるべきことがあります。**揺さぶり、目を覚ましませう！**

いずれにせよ、マトリックスは私たちの時代に、あるいは時間の経過とともに崩壊するでしょう。私たちには、この 1 ラウンドでそれを実現する機会があります。それをつかみましょ。地球上のすべての人々のための愛、平和、調和、豊かさを伴う真の文明が、私たちの報酬として現れるのを待っています。

私たち全員の利益のために、引き続き役割を果たしてください。何か大きなことが起こるのは明らかです。この情報を活用して、楽観と希望を持って前進してください。友人と共有してください。友人と話し合ってください。真実を探し続けてください。

「ヨーロッパ王家の血統は終末の暴露の渦に直面する。」

ヨーロッパの王族の血統が暴露され、彼らは舞台から去ろうとしているのでしょうか?英国、オランダ、スペインの読者にとって[興味深い読み物](#)です。

退位した元スペイン国王フアン・カルロスは、私的に「マラガ」と呼ばれるブッシュ犯罪一家と関係があるのだろうか。最新の IMF 監査では、ブッシュの秘密の専用口座「マラガ」が違法に使用され、マネーロンダリング、外貨偽造、世界的な麻薬密売、米国国内のブッシュ CIA、P2、ナチ、ペーパークリップ、および米国国内のその他のブラックオペレーションに資金提供されていたことが明らかになった。

エリートたちの船は沈没寸前だ:

[エリートたちの船が沈没寸前であることを示す兆候が 25 個](#)あります。主流メディアや一部の代替メディアが流す恐怖に基づくプロパガンダを信じる必要はありません。非常に良いことが起きており、さらに良いことが起ころうとしています。過去 8 週間だけで起こった主要なニュースをいくつか見てみましょう。パズルを組み立てていくと、計画は完了し、それをめぐる出来事は規模と速度を増していることがわかります。

今日の職場と明日の職場を覗いてみよう：

クリックショッピングの Amazon.com に関する舞台裏、秘密、真実。人々の買い物の仕方を変えたオンライン小売業者ですが、Amazon は注文品を取りに行く労働者をどう扱っているのでしょうか。組合は、同社の巨大な倉庫の労働条件が英国で最悪の部類に入ると非難しています。BBC パノラマは、オンライン ショッピング バスケットに商品を入れた後に何が起こるのかを調べるために潜入しました。そして、[生き残った奴隷全員の将来はもっとひどいのです](#)。

金融の専横が暴露される：

誰もが準備しなければならぬことの中で、電子通貨から貴金属への投資は必須です。個人の金庫に銀と金を保管しておくことが、崩壊後も資産を確実に保全する唯一の方法です。

[このビデオを見てください](#)。

15. 秘密による統治

- 目に見えないイルミナティ。
- 欧州逮捕令状。
- 脅迫は通常的手段です。
- 政治的正しさはマインドコントロールです。
- イルミナティの指示に従わない者は罰せられるか殺される。
- 社会の崩壊。

目に見えないイルミナティ：

新世界秩序の背後にいる目に見えないイルミナティは、地球の絶対的な支配を狙っています。彼らは重要なネットワークを利用し、金銭と暴力による賄賂を通じて、すべての権力構造に浸透しています。彼らは、政府、教会、宗教、科学、教育、医療、金融、マスメディア、その他社会の重要な側面のあらゆる重要な地位に、マインドコントロールされた操り人形を配置しています。彼らは、市場、金融、商品、歴史など、あらゆるものを操作できる立場に部下を配置しています。人類を世界独裁に導くための基盤が確立されています。

イルミナティ・プロトコル3:1:

「我々は今、目標からほんの数ヤードしか離れていないと断言できます。ひとたび輪が閉じれば、ヨーロッパ諸国はすべて万力で締め上げられるでしょう。」

2001年9月11日のテロ攻撃以来、権力エリートたちは人類を新世界秩序に巻き込むという目標を猛スピードで推し進めてきました

。その目的のため、アメリカだけでなくヨーロッパでも民主的権利は廃止されました。EU の意思決定手順を研究した人なら誰でも、「[EU 政治局](#)」で説明されているように、EU が民主的とは程遠いことに気づくでしょう。

イルミナティ帝国は、経済暗殺者として統合され、世界中に戦略的に配置され、あらゆる市場で活動している君主奴隷の助けを借りて、欺瞞、詐欺、経済操作の上に築かれてきました。貴重な資源を持つ貧しい国々は、金貸しの慣行を通じて、これらの君主奴隷によって数十億ドルを騙し取られ、借金を返済できなくなっています。そして、彼らは経済の支配権を握ったイルミナティのなすがままになります。経済暗殺者は、ロスチャイルドが所有する世界銀行とIMFに割り当てられるローンの資金を提供します。その結果、これらの国々は世界銀行とIMFに完全に依存するようになり、数十億ドルの利益が引き出された取り決めから現金化され、その結果、国全体の支配とその政治体制がカバールに乗っ取られます。

EU、最初のNWO刑務所：

EUは議会制民主主義の最も基本的なルールを廃止した。例えば、EU文書へのアクセスは制限されており、防衛と安全保障に関するすべての決定は秘密である。裁判官への上訴は不可能である。したがって、EUの権力はEU議会ではなく、多国籍企業、つまり権力エリートにある。選挙への参加は時間の無駄であり、政治家にはまったく発言権がない。指導者はイルミナティによって慎重に選ばれ、選ばれた人々は通常、他の分野でキャリアを積んでいる。

イルミナティ組織、およびゴールドマン・サックス、JPモルガン、ユニリーバ、シエルなどの企業。これらのリーダーは、個人的な意見なしに命令を実行することのみが許可されています。

重要な問題は密室で取り決められ、国民はそれに対して何の影響力も持たず、ただその結果に苦しむだけだ。誰も計画をチェックしたり、影響を与えることはできず、こうして非民主的な合意が次々と

作られる。EU委員会の委員長ジャン・クロード・ユンケルは1999年にEUの民主主義について次のように説明した。

「我々は決定を下し、それを公表し、その後何が起こるかを待つ。ほとんどの人が我々のやっていることを理解していないため、大きな反対がなければ、我々はもう一歩先へ進み、後戻りできないところまで行く。」 - (デア・シュピーゲル 52/1999)

また、テレグラフ紙は次のように書いている。「ヨーロッパの主権議会は憲法上の策略の犠牲者となっているが、他の議会よりも容易に従順になる議会もある。」

「ジャン＝クロード・ユンカーを国民国家に押し付けたクロムウェル流の手法は条約違反だ。」

しかし、彼は、前線のマリーヌ・ル・ペンにとっては贈り物になるかもしれない。彼女はこう言った。

「私は刑務所行きの投票には参加しません。刑務所からの脱出を試みます。」

彼はまた、イタリアのベッペ・グリッロ率いる五つ星運動にとっても贈り物であり、ユンケル氏を、ヨーロッパを失われた10年に閉じ込めた焦土政策の顔として捉えている。[彼は次のように述べた。](#)

「ユンケル氏がヨーロッパのどこへ行っても、草は生えなくなる。」

そして、ユンカーのもとでNWOの実施がさらに活発に行われている。なぜなら、国民の大部分は日常の問題にのみ忙しく、関心があり、自分たちの将来には関心がないからだ。誰も責任を感じておらず、ましてや今日起こっていることについて心配する必要性を感じていない。それに対抗するために組織化する代わりに、彼らは政府の

代表者に頼り続けている。彼らは実際には、エリート層から買収されて嘘をつき、自分たちをその職に選んだ国民の利益のために行動しないため、有権者を欺いている。そのたびに国民は嘘をつかれる。なぜなら、決定は別のレベルですと以前にすでになされておられ、政治家はまったく影響力を持っていないからだ。彼らは世界を黙らせている。マーストリヒト条約、ユーロ導入、さらにはEU憲法に関する問題など、重要な問題について国民の意見を聞かれることは決してないからだ。これはリスボン条約の実施で巧妙に迂回され、その後は誰も抗議しようとしなかった。

欧州逮捕令状:

一方、欧州逮捕令状 (EAW) が導入されました。これは、EU設立の主たる目的である、1つの政府が支配する世界を作るための重要な次のステップです。EAW措置は、9/11の結果としてEUレベルで実施されたと言われており、当初はいわゆるテロ容疑者に適用されていましたが、現在は他のすべての人に適用されています。すべての加盟国が罰則対象として認めている32の犯罪の大部分は、自国の法律との矛盾にかかわらず、EAWの承認を得るために実施されました。実際、テロとはまったく関係がなくても、日常の中程度から重度の犯罪はすべてEAWの分類に該当します。

EAW の災難が市民にどれほどの影響を及ぼすかは、反対運動が鎮圧されるにつれて明らかになるだろう。なぜなら、原則として、参加者全員がこれらの法律の下で犯罪者とみなされるからだ。これらの法律に違反する者は全員、国民の監視や統制なしに国外追放され、起訴される可能性があり、それによって沈黙させられる。南ドイツ新聞 2005 年 2 月 25 日号によると、EAW はすでに実際に何千回も適用されている。- 諺にあるように:

「秩序は自由や正義よりも優先される。」

元イタリア裁判官のカルロ・アルベルト・アニョーリ博士は、すべてのEU市民に対して次のように警告している。

「EABは『法と正義』に基づく欧州の法制度全体を事実上完全に変革し、最終的にはそれを破壊するだろう。」

書かれていることをよく考えて、残念ながらこの見通しは事実であり、一言も誇張されていないことを理解してください。私たち国民が大規模に目覚め、これらの悪行に抗議すれば、これ以上の苦しみを止めることができます。さもなければ、この試練の生存者は悪魔の陰謀団の奴隷になってしまうでしょう。イスラエルからNWO（新世界秩序）がすぐに統治されることはすでに決定されています。

シオニストたち：

権力のイルミナティは自らをシオニストと呼び、「我々の命が第一だ」と宣言する。これは何を意味するのか。地球上の他のすべての人々は彼らの不倶戴天の敵であると宣言されているが、我々のうちほんのわずかしかこの事実に気づいていないのだ！権力エリートたちの敵は、中国、ボリビア、ベネズエラ、キューバ、イラン、北朝鮮など、ロスチャイルドの調子で国立銀行が踊らないすべての国である。

イラク、アフガニスタン、リビアに対する長期にわたる戦争がその証拠です。

また、ウクライナ、シリア、イランもそれに従わざるを得なくなるだろう、とシオニストは主張する。彼らは60億人以上の人々を絶滅させたいと考えている。死者が増えるほど、彼らにとって有利になる。この大量絶滅の目標は、核兵器を使用しなくても達成されるだろう。核兵器は最後の手段の武器である。

人口削減のための大量殺戮：

非民主的に運営されている「征服された」国では、IMF や世界銀行が、新規融資や「人道的」援助を装って、すべての天然資源を没収します。世論は主流メディアを通じて操作され、これらの戦争は民主化への道を歩む人々を助けるためのものだと宣伝されています。人道的戦争は存在しません。それらはすべて、特に女性や子供の虐殺です。人口を減らすための大量殺戮です。第二次世界大戦の終結間近のドイツのドレスデン市が夜な夜な爆撃された理由については、こちらの記事をご覧ください。爆撃の直前の 1944 年 2 月、ウィンストン チャーチルは次のように宣言しました。「第二次世界大戦が終わるまでに、少なくとも 100 万人を殺す必要がある。」そして、報復という名目で、残りの住民がこの虐殺を受け入れるように、35 万人の罪のない民間人、主に女性と子供が虐殺されました。そして、44/45 年の飢餓の冬によって何十万人もの人々が亡くなったことも忘れてはなりません。

イルミナティの指示に従わない者は罰せられるか殺される。

ブリュッセルとワシントンのビジネスロビーは政治家や官僚に多額の賄賂を贈っている。イルミナティの指示に従わない者は、必ず悲惨な結末を迎えることになる。

例をいくつか挙げると、エイブラハム・リンカーンとジョン・FKネディは、FRBの外で、金と銀に裏付けられたインフレに強い政府発行の紙幣を自主的に作成したため、新しい無利子の紙幣が流通してもインフレは発生しないという理由で殺害されました。オランダのピム・フォルタインも同様の運命をたどりました。彼はジョイント・スター・ファイターとオラニエ王家に反対していました。彼はそのお金を納税者のために有益に使うことを約束しました。英国王室の内部事情を暴露しようとしたためウィンザー家にとっては危険すぎたダイアナ妃は、イルミナティの聖地パリのトンネル内で人為的に行われた自動車事故で亡くなりました。彼女は当時妊娠していたとされ、胎児が摘出され祭壇の生贄として捧げられました。(デービッド・[アイク-最大の秘密](#))

過去を掘り下げていくと、フリーエネルギーの革命的な発明家ニコライ・テスラ（1857 - 1943）の物語が浮かび上がります。フリーエネルギーは、応用すれば大手石油会社に多大な損害を与える可能性がありましたが、その発明は隔離され、妨害されたり、商業化が禁止されたりしました。結局、人類の利益を目的とした彼の発明は、米国政府による秘密作戦にのみ使用されました。たとえば、ナノテルミット爆薬の発明は、2001年9月11日にツインタワーを文字通り粉々に粉砕しました。（ジュディ・ウッド博士 - ツインタワーはどこへ行ったのか？）ロッカービーの惨事など、多くの不可解な航空機事故は言うまでもありません。ロッカービーの惨事は、バチカン銀行の財務慣行に関する監査を行っていた6人のCIA調査員を排除するために実行されました。この銀行は、公債の利息の支払いとして徴収された納税者のお金のほとんどを受け取っています。（[ジム・マーズ-秘密による統治](#)）

バチカンの調査の発起者であり告発の署名者の一人は、毒殺の試みが二度失敗に終わった後、殺害された。他の反体制派は、ありもしない大げさなスキャンダルで政界から締め出されたり、殺し屋に密かに殺されたり、逮捕されたり、公然と辱められたりした。この不安文化を体験して、政治家たちの間には恐怖が蔓延した。彼らは皆、口を閉ざし、舞台裏の糸を引く者たちの指示に従うのだ！

芸術家や政府官僚など多くの人々が、モナーク マインド コントロール プログラムによって精神的に「マインド」操作されています。モナーク マインド コントロール プログラムを開発したのは、ホロコースト中にユダヤ人を対象に最初の実験を行ったジョセフメンゲレです。世界的な名声を求めるミュージシャンは、名声と成功のために悪魔に魂を売り渡します。彼らの音楽や歌は、大勢の人々を操るためにデザインされています。他の選ばれた若者たちもマインド コントロールの犠牲者であり、殺人をするようにプログラムされています。他の事件の中でも、これらのマインド コントロールされたエージェントは、22人の児童と数人の教師が殺害され

た米国コネチカット州スタンフォードのサンディ フック学校での銃撃事件で使用されました。隠された理由は、米国の武器法が改正されなければならなかったことです。さもなければ、政府は、人々が自衛する能力があるため、効果的に人々を抑圧できないと恐れたのです。政府は法律の変更を望むたびに、問題 - 反応 - 解決、つまり PRS 戦術を適用して、権力エリート of の目標を達成します。(デービッド アイク)

ただ一つのテロリスト/侵略組織:

地球上には、テロリスト/侵略者はただ一人しかおらず、それはワシントン DC のハザール マフィアの徒党です。権力エリートたちはロスチャイルドの「分割統治」の原則に従って行動しています。彼らは戦争計画を立案し、CIA が現地で必要な準備をした後、ワシントン DC にそれを実行するよう指示します。大衆は嘘と欺瞞によって洗脳され、新たに計画された戦争を受け入れさせられています。ルシタニア号の沈没は、アメリカを第一次世界大戦に巻き込むために計画されたものでした。真珠湾攻撃は、アメリカを日本に敵対させ、日本を敵と見なすように仕組まれたものでした。ヒトラーと戦う第二次世界大戦に参加するために、いわゆるドイツの潜水艦が爆発物を積んだ客船を沈めました。偽のトンキン事件は、米国政府にベトナム戦争を始める機会を与えました。そして、すべての戦争は、何度も何度も、戦争を仕掛けられるのです。世界は平和に暮らせる場所になるはずだったが、権力エリートたちは違うことを望んでいた。

CIA の主な役割の 1 つは、他国で混乱を引き起こし、アメリカと NATO が外国に「秩序回復」するために法的根拠を準備することです。そして、地球上のほぼすべての愚か者は、戦争を許すか戦争に参加するかのいずれかで、自国を守ることは高潔な仕事だと信じています。 [これについてさらに読むには、こちらをクリックしてください。](#)



脅迫は通常の手順です。

リチャード・ニクソンも、リンカーンやケネディが行ったように、いわゆるグリーンバック、無利子の通貨を流通させ、アメリカ国民の負債をなくそうとした。しかしニクソンはFRBに阻止され、アメリカ大統領の職を追われた。

1969年、ニクソンはプレストン・マーティン博士が考案した計画を開始し、商業銀行から4,950件の融資を撤回し、FRBの外に全国的な銀行ネットワークを構築した。ニクソンとマーティンが計画を実行しようとしたとき、マーティンはFRBから、ニクソン大統領をホワイトハウスから追い出し、FRBの外の新しい通貨流通の計画を冷凍庫に入れるという条件で議長になるよう申し出を受けた。そこでウォーターゲート事件は、ニクソンが脅迫されて去らざるを得なかった特定の文書を撮影するために仕組まれたものだった。ニクソンは1974年8月9日にホワイトハウスを去り、ジェラルド・フォードが後任となった。フォードはニクソンに、辞任の真相を隠せば恩赦を与えると申し出たが、事情を知るジャーナリストからの多くのインタビューにもかかわらず、ニクソンはそれを実行した。

「ロスチャイルド家は西側諸国の内政と外交政策に影響を与え続けている。彼らは議題、経費、収入、戦争、そして通常法律で認められないあらゆることを決めている。我々の政治家は尊厳のない操り人形だ。長年にわたり政府に忠実で従順な世界銀行総裁ジェームズ・ウォルフエンソンの場合もそうだった。

ロスチャイルドの協力を得て、2005年に自身の銀行であるウォルフエンソン・アンド・カンパニーLLCを設立。ウォルフエンソンは、ヨーロッパ投資銀行J.ロスチャイルド社のパートナーにもなった。

ワシントン、さらには西側諸国の首都の実権は、もはや国民を代表する政府ではない。真の権力を握っているのは銀行界だ。政党資金、献金、選挙資金、財産、影響力、票、修正案を持つ政治家が売買

されている。資金の流れをコントロールすることが最優先事項だ。銀行は連邦政府の歳入を厳しく管理し、法律が「改正」され、中流階級のお金が富裕層に流れるようにしている。

ケネディ大統領のスピーチライターであったリチャード・グッドウィンは次のように書いている。

「私たちは血肉と戦うのではなく、原理、力、権力、秘密裏に支配する者たち、高位の霊的な邪悪と戦うのです。」

オランダ語の辞書 Van Dale は、権力を次のように定義しています。権力を持つ者は、権力を行使したい相手に対して相反する利益を持ちます。権力とは、自分が望むことを他人に行う能力、または自分が望むことを他人に強制する能力です。その結果、これらの人々は望むことをできなくなります。一人の権力は、他の人々の自由を奪います。支配者は人々の自由を奪うことで利益を得ますが、人々は自由から利益を得ます。相反する利益。

皆さん目を覚ましてください！

あなたの銀行口座、あなたの年金基金：

あなたが持っているものはすべて没収されます。

世界的な崩壊が始まった：世界的な金融崩壊が急速に近づいていることはもはや否定できない。計画された経済崩壊が実際に計画されていることは明らかである。明らかに何かが起こっており、金こそが操作者たちが逃げ込んでいるものであり、彼らは金を買ひ漁りながら、公開市場でその価値を抑えている。私たちがどのようにしてこの地点に至ったのか、そしてなぜそうなったのかは、**研究と議論**の大きなテーマである。地球の歴史的な文脈における金の価値と真の意味に関するより深い側面は、調査する価値がある。 **あらゆる時代の「権力者」**たちは、これに大きな価値と価値を見出してきました。

政治的正しさはマインドコントロールである：

政治的正しさ（PC）はイルミナティの支配システムの一部であり、精神的衰退、服従、マインドコントロールの強化を目的として、人間のハエを彼らの網に捕らえるために、より多くの法律、税金、財政要求を絶えず導入しています。

これらの目標に照らして、人々は、いかなる集団の人に対しても不快感を与えない言葉遣いや行動をとることが求められています。ほとんどの人は、誰もが平等に、公平に、尊厳を持って扱われることが重要だと考えています。一部の人にとって不親切な言葉が長い間使われてきました。時折、これらの言葉は不快感を与えない他の言葉に置き換えられますが、これは人々の自由を継続的に制限する進行中のプロセスです。この旗印の下では、これらの新しい言葉は**政治的に正しいと説明されています**。この用語は、不快感を与えないようにする試みが行き過ぎだと見なされるときに、嘲笑的な意味で使用されます。

政府のあらゆるレベルの役立たずや行政官のプログラミングは、いわゆる「政治的正しさ」によって支えられています。これは、少数派が人々の発言に「動揺」するのを防ぐための手段として考案されましたが、実際には非常に強力な**マインドプログラミング**です。また、それは「保護」されているはずの「少数派」に対する侮辱でもあります。



黒人を怒らせないように「ブラックコーヒー」を「ミルクなしのコーヒー」に、「ブラックプディング」を「朝食用プディング」に変えるなんて、いったいどんな無知なのだろうか。黒人の知性をどれほど軽蔑すれば、黒人が気にかかると思うのだろうか。政府によって禁止されているその他の「不快な可能性がある」フレーズ

部門や納税者資金で運営される組織が使用する単語には、「白よりも白い」、「紳士協定」、「ブラックマーケット」、「ブラック・ルックス」、「ブラック・デー」、「右腕」、「主寝室」などがあります。非キリスト教徒の不快感を避けるため、「クリスマス・ライト」は「ウィンターバル・ライト」に変更されました。

英国警察当局は、英国車を含む英国製品を購入することは明らかに国家主義的であり、英国社会の弱者、貧困層、少数民族グループに不快とみなされる可能性があるため、英国製のローバー車をもう購入していない。

あるパン屋の店長は「ジンジャーブレッドマン」という名前を「ジンジャーブレッドパーソン」に変更しました。ある客は、スーパーマーケットが「厚いアイルランドソーセージ」を販売しているのは人種差別的だと主張しました。実際には、「厚い」という言葉はソーセージの大きさを指しており、アイルランド人の精神性を指しているわけではないことを指摘する必要がありました。さらに、「ブレインストーミング」は「思考シャワー」に変更する必要がありました。また、てんかん患者は「ブレインストーミング」に腹を立ててい

ないという反応でした。これはこの問題の貴重な例であり、「PC」が陥った狂気の深さを要約しています。この問題に対する政府の立場は次のとおりです。

「私たちは平等と多様性の問題を非常に真剣に受け止めています。人々を怒らせないことは私たちにとって重要です。もしこれを避けようとした結果、怒らせないようにしようとしていたまさにその人々を怒らせてしまったとしたら、申し訳なく思います。てんかん協会がこの用語をまったく許容できると判断するなら、私たちはこの説明を歓迎します。しかし、もしこの用語が実際に少数派であっても怒らせてしまうのであれば、その人たちには私たちに連絡を取るよう勧めます。」

フランス政府は、口論中にお互いを侮辱した夫婦に犯罪歴を残す可能性のある法律を導入している。フランスは、結婚したカップルや同棲中のカップル間の「精神的暴力」を禁止する最初の国である。この法律は、パートナーの外見に関する無礼な発言の繰り返しを含むあらゆる種類の侮辱を対象とする見込みである。「違反者は罰金、電子タグ、さらには投獄される可能性がある」。これらはすべて、イルミナティの「分割統治」の原則を裏付けるものである。

現代の奴隷制度

これらはすべて、相手がどんな状況であっても、相手が言う言葉に常に注意を払うように仕向ける心理的なゲームプランの一部です。これは、誰もが潜在的な「ビッグ」な存在である、精神的、感情的な監視の一形態です。他の人にとっては「兄弟」です。

ポリティカル・コレクトネスは、かなり現代的な現象のようです。それが実際に表面化し、今日見られるような異常なレベルにまで拡大したのは、ここ数十年の間だけです。実際、その起源は少なくとも第一次世界大戦の時代にまで遡り、それよりずっと前から影で計

画されていました。ロスチャイルド家のネットワークが率いるイルミナティは、世界社会を「世界一」の独裁国家に変えたいと考えており、これを達成するにはすべての多様性を排除する必要があります。

「爬虫類と混血の家族は、政府、銀行、ビジネス、メディア、医療、そして社会のほぼすべての側面における多様性を破壊してきました。コモン・パーパスのような組織は、政府や法執行機関のあらゆる機関を管理する人々によって、思考と認識の多様性を排除するために設置されました。彼らは「文化的」多様性の破壊を狙っています。」

ここでポリティカル コレクトネスが登場します。その目的は、言語、見解、文化の多様性を解体し、最終的に「人間社会」として通用する、味気ない、中身のない、凝り固まった陳腐な塊だけを残すことです。意味の通らない言葉は禁止され、人々は誰かを怒らせた罰を避けるために言葉を慎重に選ばなければ、何も言えなくなるでしょう。周りを見回せば、それがすでに起こっていて、しかも急速に起こっていることがわかります。おそらく、次のことにお気づきでしょう。

- 人種差別犯罪の創出。
- 混乱を生む継続的な変化。
- 子どもたちに性と同性愛について教えること。
- 学校と教師の権威の弱体化。
- 国家のアイデンティティを破壊するための大量移民。
- 過度の飲酒の促進。

- 教会を空にする - 人々を結びつけるものすべてを標的にする。
- 犯罪被害者に対して偏見のある法制度。
- 国家または国家給付への依存。

- メディアの統制と低レベル化。
- 家族の崩壊を促す。

これはほんの一部ですが、繰り返し繰り返される共通のテーマが認識できます。たとえば、彼らは「国民のアイデンティティ」を破壊するために大規模な移民を広めています。[リチャード・デイ博士](#)が1969年の会議で、**長年築き上げられたコミュニティは失業と大量移民によって破壊されるだろうと発言した**。これが国境のないEU導入の真の理由であり、国境のない北米連合に備えて米国がメキシコとの国境防衛を撤回している理由でもある。

上に挙げた問題はどれも国民の利益にはなりません。イルミナティは同性愛者を気かけません。保護すると言いながら虐待する子供たちを気かけないのと同じです。ロスチャイルド-イルミナティのフロント組織である名誉毀損防止連盟（ADL）は人種差別を気かけません。彼らは人種差別を単に統制強化を正当化するために利用し、言論の自由を抑圧し、意見を犯罪に仕立て上げる「憎悪法」を導入し、真実は防衛にならない法律を制定します。人種差別がないところでは、当局は単に人種差別をでっち上げて自分たちの「解決策」を正当化します。

「2009年、ニューヨーク州のウェイン・カウンティ・スター紙のウェブサイトにもメキシコ人に対する皮肉で人種差別的なコメントが掲載され、同紙はそれらのいくつかが国土安全保障省のインターネット・プロトコル・アドレスにたどり着いたとしている。これらは少数の孤立した事件ではなく、普通のことだ。ADLはロスチャイルドのフロント組織であり、政治的正しさと呼ばれる別のロスチャイルド組織とつながっている。これは人種差別やその他の形の攻撃から誰かを守るためのものではない。社会の崩壊と分裂が目的であり、それによって新しい秩序、彼らの秩序が導入されるのだ。」

そして、ここでもう一つのPCのひねりが加わる。[デイビッド・キャメロンはこう言った。](#) 彼は自分が生きている間に英国系アジア人が首相になることを望んでおり、「トップの地位にいる少数民族出身者が少なすぎる」と付け加えた。

社会の内訳:

これで、CIA、モサド、MI6 を含むイルミナティ ネットワークが、麻薬密売や、戦争を開始するための秘密の外国介入などの背後にある主要な勢力である理由がわかるでしょう。

CIAはコロンビアの麻薬王たちをカルテルに組織化し、対処しやすくした。世界の麻薬市場はまた、秘密工作、いわゆる「ブラック・プロジェクト」の主な資金源でもある。「ブラック」という言葉は政治的に不適切だ！「公式の政府」の情報源からは資金提供できないプロジェクトに使われる。有名政治家たちがこうした麻薬組織に首まで浸かっている。どこを見てもその目的は、**社会を崩壊させ、対立を生み出し、団結を消滅させる**ことであり、その結果、絶え間ない**恐怖、ストレス、アイデンティティと方向性の喪失**が生じる。恐怖とストレスは人々のエネルギーの中心を閉ざし、そうでなければ人々はそれを抑圧者に対する武器として使うだろうが、意識と知識の獲得を通して内側から自由の感覚を認めることで、こうした秘密工作の影響を消し去ることができる。

非常に統制されたアルコンの血統から生まれた、実質的には少数の裕福な「エリート」集団が、地球を破壊しています。彼らは計画的な大量虐殺の計画を持っており、たとえそれが地下に住み、奴隷である私たち人間を食料として連れて行くことを意味してもです。私たちの多くは目覚め、秘密結社が私たち人間を食べ物にしていること、そして彼らが私たちに嘘をつけて彼らの規則を守らせていることに気づいています。自分自身を解放する最も簡単な方法は、彼らのグリッドからあなたのエネルギーを取り除くことです。

銀行からお金を引き出している人もいれば、クレジットカードの請求書、罰金、切符を支払わない人もいます。「オフグリッド」生活を試み、自分で食べ物を育て、お金をかけずに物々交換できるコミュニティを立ち上げている人もいます。住宅ローンや税金の利子の支払いを避けるために家売っている人もいます。多くの人が物質主義が大きな罠であることに気づき、自分を圧迫するものを手放しています。かつて銀行、石油・ガス、メディアなどのイルミナティ分野で働いていた人たちは、他の職業に切り替えています。多くの人がテレビを見るのをやめ、家からテレビを撤去しました。

地球の大部分を支配しているシステムから意識的に抜け出す方法は数多くあります。システムが何を伴うのかを理解することは必須であり、その後、そのシステムから自分自身を外すという意識的な選択をしながら、他の人々を教育し支援します。これは「平和的な非順守」と呼ばれます。考え方を変えてください。イルミナティは、宗教、人種、肌の色に関係なく、私たち全員を奴隷にしようとしています。彼らの最悪の悪夢は、私たちが非順守することです。つまり、「PC」が陥った彼らの狂気を受け入れず、税金を支払わず、銀行が差し押さえたときに家を離れることを拒否することです。つまり、私たち自身の奴隷化にいかなる形でも従うことを明らかに拒否することです。

これが大規模に行われると、システムは崩壊します。そして、それは**私たち全員がこれらの行動を起こすことの重要性を強調していません**。従うのではなく、不従順が必要です。これは暴力のない平和的な抗議です。不公平、不正、または私たちのすべての自由を標的とするものには従わないことで調子が変わるからです。敵意、怒り、暴力の精神による不従順とは対照的に、このアプローチは愛と笑いによる不従順、そして**私たち自身の奴隷化に協力しないという確固たる決意を奨励**します。



彼らの陰険な計画の次の段階は、社会奉仕活動や民間治安部隊を装って、イルミナティに代わって国民を警備する人々を徴兵するという政府の行動であるが、これは単なる詐欺であり、入隊は拒否されるべきである。

私たちは団結し、ブラックコーヒーやブレインストーミングなどの代替語に従うことを拒否し、システムの外で機能できる現地通貨や物々交換スキームに参加する必要があります。大規模な抗議活動は、平和的である限り選択肢の1つですが、非暴力、非協力のキャンペーンの一部である必要があります、その中心ではありません。しかし、何よりもまず、政治的正しさを受け入れず従わないことから始めてください。それは私たちの言論の自由を圧迫するからです。

アノニマスはイルミナティと新世界秩序を打ち負かさだろろう：

自分自身に力を与え、目を開くために、[このビデオを見てください](#) 若い世代が新世界秩序とイルミナティをどう解釈しているかを見るためだ。アノニマスというグループは、世界中の400以上の都市で、抑圧、大量監視、緊縮財政、社会的不正義に友好的な方法で抗議するために活動する、全世界で数百万人の人々を動員している。活動家たちは、様式化されたアノニマスの仮面の後ろに隠れ、顔と価値観で団結し、英国、中国、米国などの街頭に集まった。

テレビ放送で紹介されたビデオで、フードをかぶった若者たちが暴動を起こしているのに気づいたでしょう。しかし、これは政府が準

備した挑発者で、暴動を起こすために街の陰で待機しています。なぜなら、政府は非暴力の抗議者に対して無力だからです。政府は**暴動や略奪、混乱を望んでいます**。そうすれば、力で行動し、最終的には夜間外出禁止令を発令できるからです。平和的なデモの主催者は注意してください。

16. 私たちが暮らす腐敗した社会

- 人道に対する罪。
- 世界有数の組織犯罪シンジケート、ハザールマフィア。
- 公的機関と紛らわしいほど類似した名前による複雑な詐欺計画。
- 自由貿易協定。

人道に対する罪:

過去数世紀にわたってハザール人が犯した犯罪のほとんどは、すべての人々の生活に深く根付いており、日常茶飯事のように見られています。これらの犯罪は信じられないほど欺瞞的で腐敗しており、だからこそ、私たち全員が毎日この大規模な詐欺の被害者であるため、全員を**目覚めさせるにはさらなる説明が必要なのです**。詐欺はずっと昔から行われており、誰もそれを犯罪として認識していません。

世界の本当の権力は、国民に奉仕すべき選挙で選ばれた政府ではなく、私たち一人一人を操るイルミナティ支配の銀行界にある。政治家は政党の資金で支えられ、大企業は選挙資金などに寄付し、すべてハザール犯罪者によって所有され、支配されている。政治家は採用され、洗脳され、ハザール人が詐欺行為の継続を確実にするために、社会にさらに深くネットワークを浸透させるのに役立つ新しい法のルールを支持するよう動機付けられている。 - 彼らの偽のお金は最優先事項です。収入を少なくすることで、法律が「改正」され、中流階級のお金が富裕層に流れるようにします。 - 対照的に、本物のお金は、他の価値のあるものと交換するために使用される

ため、それ自体に価値がなければなりません。この種のお金は操作できません。

世界有数の組織犯罪シンジケート、ハザールマフィア：

過去数百年にわたり、想像を絶するレベルの詐欺が世界を巻き込んできました。特に、地球の隅々まで触手を伸ばしている犯罪銀行や政府サービス企業によって犯されています。この膨大な犯罪行為は、1か30か国の努力で根絶することはできません。なぜなら、これらの犯罪は世界中のほぼすべての国で再現され、同じ結果になっているからです。この巨大な事件は、世界的問題として対処され、人々の利益のために解決されなければなりません。なぜなら、人々はこれらの中央銀行家とその関連企業によって引き起こされたこれらの犯罪行為を承認しておらず、利益も得ていないからです。世界中のすべての人々が、想像を絶する規模のこれらの不正行為と信託詐欺の犠牲になっています。

西洋諸国、日本、オーストラリアの人々は、イギリス支配下のアメリカ連邦の終わりなき戦争とインフレによる欺瞞的で計画的な貨幣価値操作によって、ほぼ破滅させられてきました。過去100年間だけでも、米ドル、およびその他のすべての主要紙幣は、中央銀行家とその銀行カルテルによる無謀で犯罪的、違法で信託詐欺の直接的な結果として、98%以上も価値が下がっています。



私たち全員が受けてきた永続的な犯罪や詐欺の重大さを理解するためには、その大部分が、合法化された銀行機関やいわゆる「選挙で選ばれた政府」として国民に詐欺的に紹介されている企業銀行や政府サービス企業を通じて達成されたことに注目することが重要です。これらの企業は、国民に奉仕するのではなく、ロンドン市で英国王室に雇われた請負業者にすぎません。

これらの企業はすべて、外国の「血統」一族が所有している。それらは民間企業であり、そのほとんどはロンドン市にある私有のロンドン銀行のフランチャイズであり、ロンドン市はハザール人の私有地である。

独自の大使と警察部隊を持つマフィア国家。

ロンドンには英国の一部ではなく、税金を払っていません。ロスチャイルド銀行家は、英国を買収して莫大な金額を違法に搾取するために秘密裏に不正行為を行いました。それ以来、彼らは民間の中央銀行王国を拡大し、世界有数の組織犯罪シンジケートであるハザールマフィアの実質的なトップになりました。RKMの民間中央銀行システムは国際的であり、多くの触手を持つタコのように機能していることが知られています。人々が税金を払う唯一の理由は、RKM銀行家が「買収した」司法制度で各国を警察国家に変え、服従を強制するために投獄をちらつかせるなど、抑えきれない権力を使って人々の顔にブーツを履かせることができるようにしたからです。

今日の世界のすべての悲惨さの原因であるこれらの犯罪者と詐欺師を根絶することが最優先事項です。これらの銀行と政府はすべて、世界の大部分の誤った管理に責任がある、外国のハザール人が管理する企業、請負業者、機関です。

王族が関与している：

エリザベス2世女王陛下と、その前任者である海軍大臣、ロンドン市長とその前任者たちは、少なくとも過去150年間、法人である国家信託に関して、神聖な信託を裏切り、信頼を裏切り続けてきました。

そして、すべての西側諸国がこの同じ詐欺計画に関与していることは、国家全体を支配し、詐欺を働こうとする国際的な陰謀を実証しています。したがって、聖座は1537年の召集で、すべての国家をその信託に含めるグローバル エステート トラストを構築する意図と目標を宣言し、すべての国家にグローバル 司法権と共通の政府

サービス、つまり悪名高い新世界秩序を確立しようと努めています。実際、これにより聖座は平和的解決を模索し、すべての人々の財産と資産の返還を強制する義務を負います。聖座が人類に対するこの組織的な詐欺を是正して阻止しなければ、グローバル エステート トラストも信託違反に陥ることになります。

バチカン：

実際のところ、ローマ教皇庁とバチカンは、地球上のすべての国の政府を国家企業に変えることに尽力しており、同じ名前だが大文字で欺瞞的にこれを実行し、海洋の国際管轄権とローマ教皇庁で活動し、これらすべての不正な操作を法的虚構にしてきた。

今や、この信頼関係の崩壊を正し、そもそも自らの創造物に責任を持つ企業国家の不適切な管理を止めるのは、聖座とフランシスコ教皇の唯一の責任である。

公的機関のものと紛らわしいほど類似した名前による複雑な詐欺計画：

民間の連邦準備銀行、米国株式会社、国連株式会社、およびその代理店や請負業者は犯罪者として行動しており、これらの会社は、不快な下請け業者や代理店とともに清算されるべきです。これらの企業は、国民に信用を提供したり、いかなる政府サービス企業の負債の担保として私たちの資産や私有地を使用したりすることを国民から許可されたことはありません。

彼らは、主権国家を企業に変えただけでなく、私たち生きている国民をトラストという名の企業に欺瞞的に変え、銀行カルテルに略奪されるために、私たちと同じ名前を大文字で悪用している。これらすべてを作った者たちに責任がある。**彼らは単に似たような名前を欺瞞的に使い、公職のように見えるものを私的利益のために行使しているだけである。**

連邦準備制度理事会と中央銀行は、破産した法人国家を破産のパススルーとして運営し、人々の資産とそれぞれの地上国家に基づいて、意図的に巨額の信用を進めています。この詐欺計画は、私たち国民に対する目に見えない絆を確立することと引き換えに使用されています。私たちの財産と資産は、犯罪者の利益のために人々の資産と信用を畏にかけるために設計された全体的な詐欺の一部として担保として機能します。この計画では、彼らは文字通り人々のアイデンティティを盗み、彼らの名前を使用して会社を設立し、各個人を所有し、制御していると主張します。

彼らは詐欺計画を複雑かつ長期にわたるものとして設計し、欺瞞的な偽装で隠蔽し、数十年、さらには数世紀にわたって、信じられないほどの規模で実行される、儲かる詐欺計画を生み出しました。

連邦準備制度理事会と中央銀行は、何百万人もの個人口座を、法的には企業の請負業者の口座に違法に変換し、単に生きている人物の名前をつけて、これらの口座の差し押さえを容易にしました。銀行は、これらの口座を、開示することなく違法に中央銀行所有の口座に変換し、最終的に IMF の財産または資産に変換しました。これらはすべて、人々の知らないうちに、または同意なしに実行されています。

幸いなことに、ドイツ人は、自国が本来あるべき主権国家ではなく、ワシントンDCの企業従属国であり、アンゲラ・メルケル首相はドイツ人の利益ではなく、あの詐欺師たちとその金融利益、そしてローマ教皇庁に仕えていることを理解し始めている。

ローマ教皇庁：

企業による不正行為は続いており、伝説的な規模に達しているが、教皇庁からは、その保護の下で犯罪行為を公に非難することなく生み出されたこれらの組織の虚構性を明らかにする包括的な声明はま

だ出されていない。これらの組織を処罰、規制、または清算するための目に見える取り組みはない。

ローマ教皇庁は、1800年代から続いている、人類および人類の合法的な政府に対する違法かつ不道德な行為、そしてこれらすべての詐欺行為について、約10年間にわたり公式に報告を受けてきました。

違法に設立されたこれらの企業はすべて、彼らによって自発的な請負業者として誤って表現され、誤解されてきた何百万人もの罪のない人々に害を与えることなく、清算されなければなりません。**残念ながら、多くの人々は、自分たちの名前で、自分たちの資産を裏付けとして何が行われたのか、まだ見当もつかず、反応する機会も与えられていません。**

教皇の同意を得て、これらの邪悪な男たちは何の抵抗もなく行動を続け、毎日より多くの罪のない人々を事後共犯者として網に引きずり込み、さらに多くの人々がこの嘘のシステムの犠牲者となっている。

銀行は融資詐欺の両面を演じています。

実際のところ、銀行はあなたの「住宅ローン」と住宅ローン契約を、署名によってあなたの承認を示す「譲渡可能な証券」に違法に変更しました。銀行の代表者がこの種の書類に署名することは決してないことに気付いたかもしれません。署名はあなたのものだけです。



銀行があなたのお金を盗むこと以外に最初にすることは

住宅ローン契約は、詐欺や秘密保持の状況下で、住宅ローンではないコンジットローンをあなたと未知の投資家（通常は金融市場や機関投資家）との間で作成するための「約束手形

」として適格であり、その後、彼らは「あなたの」住宅ローンをREMICと呼ばれる不動産住宅ローン投資コンジットに決して譲渡しないことで、あなたを債務不履行に陥れます。

銀行側のこの怠慢は、あなたが何をしても、いくら支払っても、どれだけ期日に遅れても、書類に署名した瞬間から「あなた」は常に債務不履行になることを意味します。また、銀行はあなたに「住宅ローン」を提供しているのではなく、機関投資家を騙しているのです。銀行はローンゲームの両端を担っています。銀行はあなたと投資家を騙しており、政治家があまりにも愚かであるか腐敗しているかのどちらかで、ほとんどの場合買収されているため、銀行はこれを免れています。

腐敗した政治家と、これらの銀行が運営する「政府サービス企業」は、私たちが裏切った。銀行家たちは私たちが犠牲にして金を儲けている。彼らは利益のために人々から金を奪い、奴隷のように働かせ、裁判官を買収して新しい法律を作り上げることで正当性を装っている。だから、これらの銀行を永久に閉鎖する時が来たのだ。

知っていましたか？

国民の個人情報盗まれていることをご存知ですか？**住宅ローンはすべて返済済みなのに**、銀行の詐欺師どもが存在しない借金を顧客に請求し続け、偽の企業裁判所に訴えて私有財産を盗み、株式市場で投資家を騙していることをご存知ですか？彼らが私たちの税金で雇われた民間の商業傭兵を使って、私たちから金を盗み、戦争を扇動していることをご存知ですか？これは政治の問題ではありません。これは純粹で単純な犯罪であり、人類に対する利益相反です。**皆さん目を覚まして、これらの犯罪者の手から正当な世界を取り戻しましょう！**

約束手形および抵当契約詐欺:

約束手形は基本的に、ローンの返済の約束と返済条件が記載された借用書です。抵当権または信託証書の目的は、約束手形によって証明されるローンの担保を提供することです。

銀行や貸付機関が、取得した約束手形や住宅ローン契約と引き換えに、公平な価値のあるものを一切与えないことは、議論の余地なく証明されています。これは、基本的な詐欺のプロセスを示しています。銀行は、単に台帳に数字を入力するだけで、融資の信用を空から作り出し、その信用は、**銀行の資産ではなく、借り手自身の資産に基づいています。**

銀行は自らの価値あるものを何も貸し出していません。これらの機関はすべて同じシステムの下で活動しており、裁判所の判例で、銀行は公平な考慮を払っておらず、有効な契約も存在しなかったと述べられています。これが銀行の詐欺の動機を概説しています。銀行は借り手に知られることなく、ローンの全額と同額の資金を借入人から得ることができます。これにより、銀行は借り手自身の資金を銀行口座に預け、その資金を借り手に小切手で返済し、銀行自身の資産を借り手に貸し出しているという幻想を作り出すことができます。金貸しではこれは一般的な慣行であり、裁判所、法執行機関、治安判事と協力した犯罪組織による継続的な**組織的詐欺**です。

敵を知る - 世界独裁者：

この混乱の泥沼の中で敵を特定することは重要です。誰を暴露すべきかを知ることが最も重要であり、続いて解決策と対抗策を策定し、地球に真実を取り戻す必要があります。

人類を支配するには、情報を操作し、人々の自由を制限する必要があります。メディアを所有し、操作し、真実を検閲することで、人々に影響を与えることは非常に簡単であり、その結果、ハザールマフィアは世界に対して最適な経済的、財政的、政治的支配を獲得することができます。究極の目標は、世界の人口を減らし、人々が新

世界秩序計画、または世界独裁に関連するすべてを受け入れるようになるまで、人間の関与を制限することです。

カザールマフィア、別名カバールは、通常エリートと呼ばれる小さなグループですが、正式には**イルミナティと呼ばれ**、カーテンの後ろに隠れて西側諸国のすべての政府に指示を出し、光をもたらず存在です。このグループはまた、すべての主要企業の全額または一部を所有しており、そのCEOはこのマフィア集団と直接つながっており、彼らは今度はすべての国の統治に深く関与し、秘密協定を結ぶことを可能にしています。これは、たとえば、WTOの承認に至り、さらに多くの秘密のパートナーシップ契約を結びました。

自由貿易協定:

「自由貿易」という言葉は、それに伴う権力の集中を隠すための偽装として使われています。これらの協定は、出来事を操作することでアルコンの血統企業に莫大な利益をもたらし、汚染、食品の安全性、遺伝子組み換え作物、最低賃金などの問題を規制する国家の主権法を覆す訴訟を引き起こします。これらのいわゆる「パートナーシップ」は議会によって書かれた法律ではありません。政治家は[内容を知らずにその法的承認に投票します](#)。

イルミナティは、西洋世界の内政と外交政策に影響を与え続けています。彼らは、議題、経費、収入、戦争、そして法律で許可されていないすべてのことを設定します。政治家は、誠実さのない、買収された操り人形です。そして、陰謀団の指示通りに行動します。

西洋世界の本当の権力は、国民によって選出され、国民のために代表される政府ではありません。権力を握っているのは銀行界です。政党資金、寄付金、選挙資金、無償財産、資産、影響力、投票権、修正案を持つ政治家は、悪魔の陰謀団に魂を売る代わりに買収されています。

ケネディ大統領のスピーチライターであったリチャード・グッドウィンは次のように書いている。

「私たちは血肉と戦うのではなく、原理、勢力、権力、秘密裏に支配する者たち、高位の靈的邪悪と戦うのです。」

オランダ語の辞書「Van Dale」では、権力を次のように定義しています。

権力者は、権力を行使したい相手に対して相反する利益を抱えています。権力とは、自分がして欲しいことを他人に要求する能力です。その結果、これらの人々はもはや自分のしたいことをすることができなくなります。一方の権力は、もう一方の自由のなさから成ります。支配者は人々の自由のなさから利益を得ます。なぜなら、人々は自由を失ったことで利益を得ることができないからです。

つまり、利益相反です。

陰謀団：

陰謀団とその仲間たちは、世界の富の半分以上を所有する上位 1 パーセントの人々です。 - とりわけ、これらのマフィアは、世界の経済的不平等を深める勢力であり、米国は世界で最も裕福な国であると同時に、最も不平等な国でもあります。米国の人口は世界人口の 5 パーセント未満ですが、世界の億万長者の 46 パーセントは驚異的です。

[スイスの銀行クレディ・スイスが発表した新しい報告書](#) 世界の富の不平等は悪化し続けており、新たな節目を迎え、上位 1 パーセントが世界の資産の下位 99 パーセントの合計よりも多くの資産を所有していることがわかった。推定 250 兆ドルの世界の資産のうち、上位 1 パーセントがほぼ 50 パーセントを所有しているのに対し、人類の下位 50 パーセ

ントが所有する資産は合計で 1 パーセント未満である。最も裕福な 10 パーセントが世界の富の 87.7 パーセントを所有しており、残りの 12.3 パーセントが人口の下位 90 パーセントに渡っている。

協定なしで自由に貿易する：

世界独裁への次の大きな一歩が、今まさに完了した。歴史上最大の貿易協定を前に、今後数年間で世界を揺るがす可能性のある協定が TPP である。TPP は、多国籍企業に主権国家と同等の地位を与える超国家的な法廷の創設を前提に設計されている。実のところ、この恐ろしい協定の大部分は**貿易とはほとんど関係がない**。29章のうち、貿易問題を扱っているのはわずか5章だけだ。

TPP は「生きた協定」であり、時間の経過とともに変化するものであることは明らかです。明記されている条件の 1 つは、国際裁判所がルールを変更し、メンバーを追加し、独自の判断で取引を再編成できることです。言い換えると、企業によって企業のために作成された協定です。基本的に、TPP は政府管理の貿易です。その目的は、必然的に「大きすぎて潰せない」企業をさらに生み出す国際経済機関を設立することです。これらの企業は、納税者と一般の人々からすべてのお金、生活、希望を吸い取ってしまうことは避けられません。すべての国家主権は窓から投げ出され、EU のすべての加盟国ですでにそうなっています。企業主導の裁判所は、どの議会の決定も覆すことができます。

TPPのある条項により、企業はどの国に対しても訴訟を起こし、自社の裁判所に引きずり込む権限を持つようになり、企業は裁判官を巡回的に雇用し、その裁判官が企業の弁護士としても働くことになる。

TPP は「自由」貿易や世界の結束を目的とするものではありません。自由貿易を確立するために何百ページもの法律は必要ありません。実際、必要なのは「自由に貿易する」という一文だけです。

真の自由貿易の素晴らしさは、人々が指示されなくても自由に貿易をしたいと望んでいることです。それがなければ、人々は職を失ってしまうでしょう。

このTPPは純粋に企業にとっての利益です。

「労働組合は、通貨操作、環境と健康の保護、食品の安全性、医薬品の独占、雇用の海外移転など、多くの問題に対する懸念に基づいてTPPに反対している。

「インターネットのプライバシー、政府の透明性、地方自治」

「TPP交渉の漏洩した草案では、企業が規制による利益損失をめぐって政府を民間裁判所で訴えることが認められ、法人が主権国家と同等の地位に昇格することが明らかになった。」

現在、その文書は公開されており、さらに研究を進めると、貿易協定、特にTPP協定が世界経済に致命的な打撃を与えるという事実が明らかになります。

規制によって利益が減れば、グローバル企業が納税者の財布に手を出す道が開かれる。そのため、これを可能にする目的で取引が開始されるだろう。

TPP協定に関与し利益を得ている企業は、ここにリストされています。

トップカバールのメンバーは誰ですか？

この事件を長らく調査してきた米国の諜報グループによれば、陰謀団のトップメンバーにはジョージ・ブッシュ・ジュニアとシニア、ヘンリー・キッシンジャー、[エリザベス女王](#)、[ベアトリクス女王](#) オランダの大統領、J・ロックフェラー上院議員、ポール・ウォルフowitz、フランク・カールッチ、ドナルド・ラムズフェルド、トニー・ブレア、そしてローマ法王。もちろん、彼らの下や上には、壮大な計画に加担して影で働いている何千人もの人々がいます。

世界の諜報機関と警察機関は、現在、世界担保口座のコードを入手しており、1950年代に高位の共謀者グループが違法に盗んで以来、誰が何の目的でこれらの資金を使用しているかを詳細に追跡することができます。

これらの口座は、世界の多くの政府の共同資産によって裏付けられており、平和的発展に資金を提供することを目的としていました。その代わりに、金融、軍事、石油、製薬業界に深く浸透し、浸透しているロスチャイルド・ハザール・マフィアによって、その資金の大半は戦争に無駄に費やされた。

犯罪者には、FRB、ほとんどの中央銀行、BIS、IMF、世界銀行、国連、WHO、TBTF、主要銀行、ブローカー、保険会社のトップ、そして彼らの採用センターとして機能している有名大学の学長や教授、もちろんトップクラスのメディア王、ビルダーバーグ・グループ、世界経済フォーラム、三極委員会、外交問題評議会の常連など、すべてのトップの人物が含まれます。これらすべてのグループや機関は、権力、金、プロパガンダによってまとめられた現在の状況を象徴しています。

ジョン・F・ケネディ米大統領が、第三世界の発展と月への旅行に資金を提供するため、米国財務省ドルを発行することに非同盟諸国77カ国と合意したとき、彼は暗殺された。他の多くの非同盟指導者

も暗殺され、権力を追われたり、脅迫されて沈黙させられたりした。

全部で1000人ほどのハザール人がおり、市場を操作し、世界を支配する責任を負っている。

しかし、関係部署にはいないが、直接ハザール人に依存し、かなりの影響力を持ち、ハザール人が支援しているからという理由でハザール人を支援している何十万人もの人々がいる。これには多くの富裕層、特に彼らとコネのある人々、最高機密の許可を持つ150万人（これは衝撃的かもしれないが、それでも正確な数字だ）、そして組織犯罪、特に違法薬物ビジネスのトッププレイヤーが含まれる。これらは国家なしではほとんど存在しない。さらに、警察や軍隊、企業、非政府組織の中堅職員の多くが、金と特権のために魂を売ったため、ハザール人の仲間である。

元アメリカ大統領であり、長年ナチオニストの総統を務めた [ジョージ ブッシュ元大統領は恐怖を示した](#) 最近、真実を求める人から米国政府の秘密プロジェクトについて質問されたブッシュ大統領は、「アメリカ人は真実を受け入れることができない」と答え、その後、取り巻きに黙らされた。

ブッシュ、彼らが受け入れることができない真実とは？あなたとあなたの陰謀団の共犯者がジョン・F・ケネディ大統領、マーティン・ルーサー・キング、その他何千人もの人々を暗殺したという事実？あなたが世界の人々のための資金を盗み、それを大量虐殺的なファシストの新世界秩序を推進するために使用したという事実？あなたとあなたの仲間のナチオニストがHIV、エボラ、鳥インフルエンザ、SARSなどの致命的な病気を製造し、広めたという事実？あなたが米国の軍事機密を中国と北朝鮮に売ったという事実？あなたのギャングがファシストクーデターを起こすために9/1

1で3000人近くを殺害したという事実？ケムトレイルや地球工学、すべての人にマイクロチップを埋め込む計画などはどうですか？リストは延々と続きますが、[ジャーナリストのサラ・マクレンドンが言ったように、あなたはそれを知っています。](#) 1992年：「もしアメリカ国民が我々のやったことを知ったら、彼らは我々を通りですぐ追いかけて、リンチするだろう。」

9/11 ツインタワー災害の犯罪者とグローバル担保口座：

9/11の惨事の本当の目的は、ハザールマフィアによるグローバル担保口座。究極の犯罪者探しは、グローバル担保口座と呼ばれるもの、そしてそれを違法に乗っ取った高位の共謀者グループに繋がりました。10年間の研究により、西側諸国の権力構造の最高位が9/11テロ攻撃の背後にいて、世界の金融システムを掌握しようとしていたことが証明されました。 - 3月11日の[福島第一原子力発電所への核津波攻撃に気付いている人はさらに少ない。](#) 災害 この戦いの一環として、日本に対する攻撃が行われた。そして、高位の犯罪者たちは、プーチンのロシアを屈服させるために、MH17便の撃墜も計画した。しかし、軍、法執行機関、銀行、その他の役人の重要な集団が特定され、これらの容疑で逮捕されようとしている。 これらの攻撃や他の攻撃により、刑務所に収監された。

MH17便の撃墜：

米国、EU、英国、NATOは、MH17便を自ら誤って撃墜したか、あるいはロシアとウクライナ東部の反体制派武装勢力に罪をなすりつけるために故意に撃墜したかのいずれかで関与していることになる。反体制派武装勢力が巧みに保持し防衛してきた戦場上空で民間機を撃墜しても、ロシアには何の利益もなかったことは確かだ。

ロシアに対するプロパガンダの面で彼らが得た進歩は目覚ましいものがある。航空機が撃墜された瞬間から、米国、NATO、ウクライナはロシアを告発するためにこの事件を利用した。そしてもっと具体的には、ロシアのウラジミール・プーチン大統領は世論の法廷で制裁を適用した。これは米国がEU諸国に損害を与えるために使用できる唯一の外交的武器である。オバマ一味は法的策略とハザール所有の報道機関を利用して、事故の調査を魔女狩りに変え、ロシアを巻き込むことに熱心に取り組んでいる。

さらに、西側メディアは捜査官の言葉を故意にねじ曲げて証拠を歪曲し、予備的で非常に慎重な声明を決定的な結論であるかのように描写してロシアの有罪を強調している。

オランダ安全委員会（DSB）と合同調査チーム（JIT）は、この災害を調査し、[次のような慎重な見解を示した。](#) [声明](#) 2015年8月、MH17便の残骸付近で発見された対空ブークミサイルの部品に関して：

これらの部品は、MH17便の墜落に誰が関与していたかに関するさらなる情報を提供できる可能性があるため、犯罪捜査にとって特に興味深いものである。そのため、JITはこれらの部品の出所についてさらに調査を行っている。JITは、法医学の専門家や武器の専門家など、国際的な専門家の協力を得る予定である。

現時点では、発見された部品とMH17便の墜落との間に因果関係があるとは結論付けられない。JITは犯罪捜査を行い、DSBは墜落原因を調査する。両調査は別々に行われるが、JITとDSBは時折資料を共有する。DSBは最終報告書で発見された部品について報告する予定である。

米国とその同盟国は自らの犯罪に関して世界を欺いてきた。そして、[MH17便の惨事を利用して彼らが何をしようとしているかを考え](#)

ると、ロシアと東ウクライナの戦闘機が、そもそもその飛行機が飛ぶべきではなかった戦場の上を飛行中の航空機を誤って撃墜した罪を犯したとせいぜい描写するために、そのような異常な努力を払う西側諸国の知恵と理性に疑問を持たざるを得ない。

今後起こりそうなことは、MH17便の調査で不正な結論が出たにもかかわらず、これらの調査機関が世論を左右できず、あるいはウクライナ現地の事実がいかなる形でも重要でないとすることができないため、これらの調査機関の信頼性が失われることだ。

ロシアは、西側諸国が長年にわたり世界のメディア空間で独占してきた状況を十分に克服しており、調査の結果にかかわらず自国を守る能力も十分にある。また、調査自体が西側メディアと西側政治家によって非常に明白に操作されているため、この調査をフォローしている大多数の人々は、出された結論に関するいかなる解釈にも納得できない可能性が高い。

カバール所有のEUは立場を変えているのか？

EUはロシアと戦い続けることはできない。EU委員会委員長ジャンクロード・ユンカー氏は次のように述べた。

「ロシアとの関係を、
「ワシントン。」

大きな転換： EUはロシアとの正常な関係を求めている。EUはシリアにおけるウラジミール・プーチンの行動に大きく影響されているようだ。突然、EUのジャン＝クロード・ユンケル大統領は、EUはロシアとの関係を米国に決めさせてはならないと発言した。彼は関係の正常化、そして間接的に制裁の終了を要求した。

EU委員会委員長はロシアとの紛争の緩和を主張し、次のように述べた。

「ロシアとの持続可能な関係を築かなければならない。魅力的ではないが、やらなければならない。これ以上このままではいけない」とユンケル氏は最近パッサウで語った。必要なのは全体的な理解ではなく、理にかなった対話の基盤だ。「ロシア人は誇り高い国民だ」とユンケル氏は語り、国には「果たすべき役割」があると述べた。「彼らを全体像から除外してはならない。さもないと、すでに見たように、彼らはすぐにまた電話をかけてくるだろう」。彼は、ロシアを単なる「地域大国」と格下げしたバラク・オバマ米大統領を批判した。「ロシアは正しく扱われる必要がある」とルクセンブルク出身の同氏は説明した。「ロシアとの関係をワシントンに決められるわけにはいかない。それはまったくもって望ましくない」

シオニスト国家イスラエル：

ヨーロッパとアメリカの支援者が権力から排除される差し迫った状況で、イスラエルのナチオニスト・ネタニヤフ政権の運命もほぼ決まった。ネタニヤフ首相は、ドイツのアンゲラ・メルケル首相とドイツ政権から、これ以上ドイツの潜水艦は入手できないと告げられたため、予定していたドイツ訪問をキャンセルせざるを得なかった。

フォルクスワーゲン、メルセデス・ベンツなどのドイツの自動車メーカーに対する偽の「排ガス不正」による脅迫は、ハザール人の拷問者に対してロシアと協力するというドイツの決意を強めるだけだった。何百万人もの「シリア難民」の流入は、その多くが訓練を受けた破壊工作員でシリア人ではなかったが、多くの賢明なドイツ人を警戒させている。ドイツは、必要であればドイツマルクを再発行し、関係を改善する準備をしている。ロシアのキリスト教プーチン政権と。

宇宙へのケムトレイル散布/地球工学：

[新技術のテストを](#)目的とした弾道ロケット実験を成功裏に完了した。他のプロジェクトに統合する前に、バリウムとストロンチウム、そしてアルミニウムは、大気地球工学プロジェクトで最も一般的に使用される 3 つの化学物質であり、1950 年代から米国政府によって気象改変プロジェクトに使用されてきました。

この最近の実験は、NASAと米国政府が実際にさまざまな研究や実験の目的で有毒化学物質を大気中に散布していることを改めて証明しているが、彼らが何をしようとしているのか本当に知っている人は誰だろうか？

最近、地球の空では、巨大な [二つの光線 から発せられる 地球](#)。さらに、最近NASAがISS（国際宇宙ステーション）から地球に向かっていていると思われる2本の巨大な光の柱が映ったため、NASAの映像は中断された。上空の噴霧に加えて、[大気噴霧も行われているのではないかと考える人もいるかもしれない](#)。地球全体を一度に酔わせるために使用されているのでしょうか？イルミナティが地下シェルターに避難するとき、彼らは人口の 90% を破壊するという目標を実行するために地球全体を酔わせる計画を立てているのでしょうか？イルミナティの隠された背景についてさらに知るには、[この説明不要のビデオを見て](#)、納得してください。

17. ハザール人の秘密を暴露

- ロスチャイルド銀行家が我々の文明を乗っ取る：
- 秘密主義、公衆の目に触れない活動：
- 上から下までの欺瞞：
- イギリスの銀行に侵入し、乗っ取り、続いてイングランド全土に侵入する。
- バビロニアの金銭魔術：

ロスチャイルド銀行家が我々の文明を乗っ取る：

世界が経験した最大の悪である、私たちのお金の腐敗を暴露するときです。今こそ、世界が協力して、必要な手段を講じて、これらの犯罪を根絶する時です。支配するカバールの本当の目的は、ほとんどの人が想像するよりもはるかに「不穩」で、邪悪です。精神異常者のエリートたちが世界を支配しています！フリーメーソンの宗派主義に基づいて組織された、比較的小さな悪魔的な自己陶酔的な精神異常者のグループ。彼らは、無制限の影響力と資源を自由に使える。これらの人々には共感力はまったくなく、根拠のない論理と嘘に満ちた計画を推進します。彼らの計画は、私たちがアルコン血統の泥沼に直接導きます。 [アヌンナキ](#) ドラコ・[レプティリアン](#) コントロールマトリックス！

記録された歴史の中で、何もないところから金を儲ける技術がこれほど発達していた場所は、イラク北部のコーカサス山脈地域の西のキャラバンルートで活動していた



遊牧民の侵略者一族から発展した古代ハザール帝国以外にはない。

カスピ海地域。10世紀までにハザール人は黒海の北からウラル山脈まで、カスピ海の西からドニエプル川まで広がる豊かな帝国を築き上げました。

ハザール軍閥は、キャラバンを襲撃するよりも、金銭の交換や貸付のほうが利益が大きく、危険も少ないと判断した。しかし、問題が1つあった。ハザール帝国は、キリスト教徒、イスラム教徒、ユダヤ教徒がほぼ均等に分かれていたのだ。キリスト教徒もイスラム教徒も、当時は高利貸しと呼ばれていた、貸付金に利息を課すことは罪であると信じていた。貸付金に公然と利息を課すことができたのはユダヤ教徒だけだった。実際的な考慮からなのか、実際の宗教心からなのかはわからないが、ハザール貴族はユダヤ教への改宗を公言していた。

「一部の学者は、ハザール人が多くの東欧系ユダヤ人の祖先であると信じている。」

これには、数世紀以上にわたってヨーロッパを金融的に支配し、現在も世界の金融システムを支配しているロスチャイルド家も含まれます。彼らはロックフェラー家やその他の裕福な一族の資金援助者です。重要なのは、これらの改宗者は誰もいないということです。ハザール人はユダヤ人と何らかのつながりがあるにもかかわらず、自分たちはシオニストユダヤ人だと公言している。さらに重要なのは、ユダヤ人はシオニストではなく、シオニストはユダヤ人ではないということだ。

ロスチャイルド銀行家たちは、戦争、水、食料、空気、医薬品の汚染、さまざまな予防接種プログラム、そして最後に彼らがつ作ったFEMAキャンプなど、数多くの秘密作戦を通じて、私たちの文明を乗っ取り、最大90%の人々を絶滅させる計画を立てています。一方、イスラムの傭兵たちは、EUと米国を乗っ取るために多額の報酬を受け

取っています。 - トランプの最も重要な任務は、この裏切り者の陰謀団を倒すことです。

「ディープステート」は、ネガティブなドラコ・レプティリアン、ブラック・ノービリティ、バチカン、イエズス会、君主制、そしてブッシュ/クリントン・ナチス、CIA派閥、腐敗したFBI派閥によって運営されているハザール・マフィアを通じて、この秘密作戦を実行しています。実際、機関、司法行政官、裁判官、弁護士、偽装裁判所のシステム全体が、この壮大な見せかけの一部であり、**創造主**によって人類に与えられた**否定できない権利を侵害**しています。

すべての宗教は何千年もの間、私たちが本当は何者で何なのかという本当の答えを隠し、富と権力のために私たちを略奪し、搾取することで、私たちに対する支配を強めようとしてきました。それだけでは十分ではないかのように、宗教自体も私たちの社会のメンバー、特に弱者や若者に対して恐ろしい行為を行っており、これは最近進行中のピザゲートや、より広範囲に及ぶペドゲートの独立調査によって広く暴露されています。

秘密主義、公衆の目に触れない活動：

ロスチャイルド銀行王朝の資金管理手法は、ユダヤ人であろうとなかろうと、グローバリスト金融家によって何十年も模倣されてきた。この管理の重要な要素の 1 つは、完全な秘密性である。買収された政治家や、脅迫によって妥協した政治家の戦術を利用して、表向きの操り人形として、そして大衆の怒りと監視の対象として、主要な**グローバリストは**、公衆の目からほとんど完全に逃れて活動することができる。彼らは精力的に、偽のお金と偽の戦争で労働者階級から真の富を奪い、メインストリート経済から何兆ドルも自分のポケットに移す。そして、史上最大の窃盗を犯した後、彼らは地球温暖化、人種差別、ジェンダー問題について貧しい被害者に説教する。気を付けてください。これらのグローバリストの**寄生虫は、イルミナティ、インサイダー、ディープステート、ロスチャイルド・**

ハザールマフィアなどと名前で表現され、分類されています。 - R
KM、陰謀団、エリート、体制、または権力者 - PTB。

お金が宗教に取って代わり、金持ちの神々と貧しい人々を生み出します。

印刷機の発明により、お金と聖書の印刷が可能になり、啓蒙時代が到来し、ローマ教会は衰退しました。お金は宗教に取って代わり、裕福なエリート層の新しい支配メカニズムとなりました。富は権力に等しく、永遠にお金が発行され、一般大衆の手から取り上げられ、国際銀行家の手に渡ります。これが抑圧の主な手段であり、金持ちの神と貧しい人々を生み出しています。これらの秘密の抑圧手段の実施により、人々は**自由を失いました**。自由を取り戻すには、植民地の規範に従って人々のお金を違法としたロスチャイルド家の権力を打ち破らなければ**なりません**。

「銀行組織は常備軍よりも危険だ」とジェファースンは言った。そして「資金提供の名の下に子孫が支払う元金は、大規模に将来の財産を騙し取っている」とも言った。ジェファースンは付け加えた。「これはロスチャイルドの金銭貴族を支えている。**お金の発行権は銀行から取り上げ、それが本来属する国民に返還されるべきである**」

上から下までの欺瞞：

上から下まで、そしてその間のあらゆるところにある、すべては壮大な**欺瞞**です。**嘘はあらゆるレベルで異なります！**その結果、賄賂、脅迫、殺人、麻薬密売、マネーロンダリング、世界的な武器販売、マインドコントロール、人身売買、小児性愛、そして最終的には悪魔的な行為を含む世界的な腐敗が存在します。

ピザゲートの調査や、より広範囲ではペドゲートによって明らかにされた、幼い子供たちの儀式的な血の犠牲。 - これらの残忍で陰惨な儀式から得られる恐怖エネルギーは、私たちの視界のすぐ外側

にある、異なる周波数レベルで生きる非常に現実的な肉体のない存在に餌を与えるために使用されています。 - 世界には、ドラコのハイブリッド、クローン、またはシェイプシフターのいずれかである、チップを埋め込まれた公の「ヘンチマン」が最大2億人います

。 - 完全に墮落した手下たちが中級レベルになった

オフワールド コントロール マトリックスの「管理」 - 彼らは、言われたことを淡々とこなしながら、苦勞して奴隷のように働いていますが、これがどこに向かっているのか**まったくわかりません**。なぜなら、これらのそっくりさんは、理解して受け入れるのが難しいとはいえ、単にこの世界のものではないからです。

ルシフェリアン主義/悪魔主義/バアル崇拜の悪魔崇拜者のグループは、金融、バチカン、政府、軍隊、宗教、さらには **Templar 騎士団**、**イエズス**会、フリーメイソン、マルタ騎士団などの古くからの秘密結社にまで浸透することに成功しました。その間、嘘は非常に大きくなり、真実とほとんど区別がつかなくなりました。

これらの人々は、軍の指導層、銀行家、企業の CEO、聖職者、メディアの重役、最高裁判官、最高法執行機関、最高弁護士、ハリウッドのプロデューサーや俳優、さらに NSA、CIA、FBI、DHS、KGB、FSB、モサド、MI5、MI6 などの機関の理事や経営陣にも潜入しています。すべての機関と組織は区分化されており、「必要な人だけ」に計画のごく一部が伝えられるため、彼らは最終目標の全体像を把握することなく、計画の自分の部分を実行することができます。残りの部分については嘘をつかれています。言うまでもなく、彼らが**計画全体を伝えられたとしたら**、それに従いたくはないでしょう。

世界中で管理されているメディアを通じて、「継続的に」**ネガティブなニュース**が注意深く流されており、これは私たちの現実を管理する上で非常に重要です。

人類の歴史はすべて救世主的悪魔的ユダヤ教に関するものである

（「ハシディズム」）彼らはそれを実現している。歴史と政治は一つの大きな映画であり、彼らは監督であり、旧約聖書の予言を現実のものにしている。彼らはイルミナティのミーム（ロスチャイルド/ジェイコブを通じて）を構築することでフリーメイソンリーを捕らえた。

彼らはウィリアム3世に国王就任資金を提供した際に英国王室と協定を結び、英国王室をフリーメイソンのトップに据え、近代的な銀行システムと連邦準備制度（ロスチャイルドを通じて）を創設し、シオニズム、世界大戦、欧州連合などを作り上げた。彼らは傀儡を通じて君臨している。ロスチャイルド（その祖先は[ハシディズムのカルトの一員だった](#)）とロックフェラーは、CFR、ビルダーバーグ・グループ、三極委員会など。私たちは今、「終末の時」にいます。彼らは「予言された」第三次世界大戦を煽ろうとしています。[詳細についてはここをクリックしてください](#)。

バビロニアの金銭魔術：

ハザールマフィア（KM）は[秘密戦争を繰り広げている](#) 偽旗作戦、グラディオ・スタイルのテロリズム、違法かつ違憲の連邦準備制度および中央銀行制度を利用して、人々とすべての主権国家に対して、バビロニアの黒魔術、別名バビロニアのマネー・マジック、または悪質な高利貸しの力を使って利息を蓄積し、**無から金を生み出す秘密の術を使って、すべての世界銀行機関に侵入し、乗っ取る**。

このバビロニアの貨幣魔術には、金や銀の預金を紙の信用証明書に置き換えることが含まれていました。これにより、旅行者は証明書を紛失したり盗まれたりした場合でも簡単に再発行できる形でお金を持って旅行することができました。

興味深いことに、ハザール人によって始まった問題自体に、彼らによって解決策が提示されました。問題 反応 解決です。最終的に、ハザール王と彼の小さな取り囲む宮廷は、「バウアー」という名前

を選んだグループでドイツに侵入しました。彼らはバアルを代表し、**バアルの力による邪悪なシステムを実行しました**。秘密の血に基づく子供の犠牲を代表する赤い盾のバウアーは、名前をロスチャイルド（別名「岩の子」、つまりサタン）に変更しました。

バビロニアのマネーマジックを実装して英国の銀行に侵入し乗っ取る：

彼らはイギリスの銀行に侵入して乗っ取り、その後イギリス全土を乗っ取りました。バウアー/ロスチャイルドには 5 人の息子がいて、ナポレオンがイギリスに勝ったという虚偽の報告（実際には負けていた）など、さまざまな巧妙な秘密作戦を通じて、ヨーロッパの銀行とロンドンの中央銀行システムに侵入して乗っ取りました。これにより、ロスチャイルド家は**詐欺と欺瞞を利用して**、ロンドンの銀行機関に事業投資していたイギリス貴族と地主階級の富を盗むことができました。

ロスチャイルド家は、何もないところから偽札を作ることに特化した私的な不換紙幣システムを設立し、本来は自分たちのお金であるべきものを使っている英国民に有害な高利貸しを課した。

これはバビロニアの金銭魔術の黒魔術でした。彼らは、この技術と秘密の金銭力は、バアルが頻繁に子供の流血とバアルへの儀式的な犠牲を捧げていたために、バアルから与えられたものだとして内部関係者に主張しました（ピザゲート/ペドゲート）。

彼らは英国の銀行システムに侵入して乗っ取ると、英国王室と交配し、主要な機関を含むイングランド全土に侵入して完全に乗っ取った。ロスチャイルド家は、王室を自らの僭称者で置き換えるために、秘密裏に管理された違法で不倫の交配を自らのハザード人男性と実行し、英国王室メンバーを大量虐殺したと信じる専門家もいる。

大英帝国：

ロスチャイルド家はその後、大英帝国を秘密裏に運営し、他国では手に入らない高品質の絹や香辛料と引き換えにイギリスが中国に支払っていた膨大な量の金と銀を取り戻すという邪悪な計画を立てた。



ロスチャイルドによって作り出されたアヘン中毒は、中国へのアヘン販売を促進し、中国に多大な損害を与えたため、中国はそれを阻止するために二度戦争を起こしました。これらの戦争は義和団の乱またはアヘン

戦争として知られています。 - ロスチャイルド家がアヘン販売で得たお金は莫大なものであったため、彼らはアヘン中毒者がアヘンに依存した以上に、簡単に手に入るお金に依存しました。

過去 70 年から 100 年の間、アルコン、アヌンナキ、ドラコの計画に協力し、それを支持する人間と非人間の両方が、地球の表面でさらに制御された方法で生活できるまったく **新しい人間の身体形態を遺伝的に作成するために**、舞台裏で懸命に取り組んできました。

遺伝的に劣化した「古い」人間の体型 — 地球上のいたるところで見かける、歩いている人体、私たち全員が転生する人体 — は、もはや私たちの意識を非常に低い振動レベルに抑え込む働きをしておらず、**目覚めた集団としての私たちは**、文字通り、その拘束から解放されつつあります。これが **創造主の第一の意図** でした。しかし、**秘密結社はそう簡単には諦めません。**

実際の計画：

本当の「計画」は、秘密結社の最高幹部だけが知っているもので、地球上の人口の90パーセントを殺し、もはや役に立たなくなった古

い「ボディスーツ」を絶滅させることで、古い分離した身体形態を取り除くことです。

そして、彼らは「新しい」ボディスーツを引っ張り出すだろう。[人間3.0](#)すでに作成され、地下の研究所で待機している[スーツ](#)は、ほとんどの人が想像もできないプロセスを通じて、地球の重力から逃れられないすべての魂を文字通り「強制的に」輪廻のサイクルに戻し、新しく作成された非常に機械のような体にするのを計画しています。カバールの問題は再び解決されました。

人間のハイブリッドは、数千年前にさまざまなエイリアン グループの実験として誕生した、非常に成功した生物です。真実は、アヌンナキが数万年前に金鉱を採掘するために地球にやって来たが、自分たちで採掘したくなかったため、実験的な生物を創り出し、「人間」と名付けたということです。

自由意志の普遍的な宇宙原理：

今、私たちの世界は、歴史の真実に目覚めるにつれて、素晴らしい場所へと変わりつつあります。この真実とともに、私たちは自由意志という普遍的な宇宙原理の存在について学んでいます。これを実現することは、無関心で奴隷のように働くのではなく、私たちが思い描く世界を創造するために私たちが推し進める力です。完全開示が近づいており、[GCRも近づいています。](#)

[NESARA/GESARA、RV](#)、金に裏付けられた通貨、そしてテクノロジーの大きな進歩。貧困と飢餓は一掃されるでしょう。

慈悲深い長老たち（WDS）は、米国株式会社の大統領が誰であろうと、依然として変化をコントロールしています。彼らはすでに、アメリカ人民共和国の宣言後に暫定大統領を選出しています。その後、ほとんどの、あるいはすべての政治家が逮捕され、新たに選出された政治家に交代します。その頃には、人々は候補者に関する真の

情報や開示情報にアクセスでき、初めて自分たちの投票が真に意味を持つようになります。

最も重要な事実は、「最終的にはうまくいく」ということです。世界は創造主によって約束されたすべてのものを手に入れるでしょう。人類は**平和と繁栄の新たな黄金時代へと移行し**、私たちはお互いを**真の人道主義者として扱う**でしょう。それがすべてです。

もしこれが起こらなければ、この**自由意志の宇宙の誰にとっても、創造主自身にとっても**、日々ますます明らかになっているこの邪悪な乗っ取りに対して**自ら立ち上がらなかつた魂**を助けることはほぼ不可能となるでしょう。

ハザールマフィアのカバーは、ついに、何百万という光志向の存在が地球上に存在し、彼らに対して「愛の波動」を使っていることを突き止めました。そのため、カバーは、自分たちに味方していない地球上のすべての生き物に対して全面戦争を宣言しました。



ウェイクアップとシェイクアップ:

だから、目を覚まして、揺さぶりましょう。何が起きているのか、**現実にはギャングが私たちの社会をどのようにコントロールし、統治しているのか**に気づいてください。悪魔主義のギャング、アルコンの血統、陰謀団は強い国家を望んでいません。彼らが必要としているのは、将来の政治的混乱の候補となる可能性のある「福祉に依存する」国民を抱えた従属国家です。

これらの扶養家族は、いわゆる「平和」の名の下にまさにこの犯罪陰謀団によって作り出された無政府状態を終わらせるNWOの導入に対してよりオープンになるでしょう。

その計画は、EU やアメリカで現在起こっているように、失業率を上げて各国を弱体化させることです。失業率は高ければ高いほど良いのです。富は関係ありません。ゲームの目的は権力です。犯罪組織の操り人形である私たちの「選ばれた」指導者たちは、この危機を解決することができません。彼らは賄賂を受け取って人々の生活水準を下げ、人々を政府の援助に依存させ、新世界秩序の実施をより喜んで受け入れるようにしています。今、どちらかを選ぶことが最も重要です。

ウェイクアップとシェイクアップまたは
あるいは、早すぎる死、あるいは無限の奴隷状態を受け入れる。

警告しておきますが、私たちは裏切り者や嘘つき、社会のあらゆる階層に浸透しているハザールマフィアの陰謀団と戦っています。この戦争に勝てなければ、死か奴隷化が私たちの運命です。この文章を全員に転送して、私たちの敵が誰なのかを知らせ、彼らも戦いに参加できるようにしてください。全員、出動せよ！

[生きるべきか、死ぬべきか！](#)

アメリカ合衆国法人：

米国は、EU を含む他のすべての主権国家と同様に、国ではなく法人です。

ウラジミール・プーチン大統領はクレムリンで私に個人的な話を語った

[ハバド派](#)の首席ラビ ウラジミール・プーチン大統領との会談を自慢した。

エガート氏は、プーチン大統領の母親がユダヤ人であるため、彼もユダヤ人であり、メドベージェフ大統領は両陣営ともユダヤ人であると言う。彼らがハバド派に恩義があるかどうかは分からない。

[さらに詳しくはこちら。](#)

革命の終末:

ここで、人々に備えるよう警告すべき最悪のシナリオは、私たちがおそらく直面せざるを得ない最も恐ろしい状況、おそらく私たちが考えたこともないような状況です。

ヨーロッパとアメリカ、あるいは先進国全体がいつ破滅してもおかしくない。新聞で報じられていることとは裏腹に、ヨーロッパの債務国、そして債務を抱える銀行は、破滅からわずか数ベースポイントのところにいる。もし陰謀団が、彼らの新世界秩序を救う最後の手段として、破滅と混乱を望むなら、一夜にして一気に電源を切ることもできるだろう。

この大惨事と、それを引き起こすであろう巨額の負債を結び付けるという大変な努力をする人は、そう多くないだろう。そして、人々は、自分たちをこの大惨事から守るために必要な犠牲を払いたくないだろう。つまり、支出をほぼゼロに抑え、お金を貯め、金や銀を買うのだ。残りの大半、つまり大多数の人々は、革命に参加するだろう。

もちろん、人々は良い理由で革命に参加するわけではありません。悪い理由で参加するのです。彼らは奇跡を期待しています。彼らは無料のお金や食べ物、権力を欲しがったり、借金や住宅ローンが減額されたり免除されたりすることを期待しています。

彼らは銀行家は金持ちで邪悪だと信じていますが、それは正しいです。石油会社は金持ちで邪悪だと信じたり、金持ちはみんな邪悪だと考える人もいますが、どちらも正しい場合が多いです。

貧しい抗議者たちは歴史の犠牲者にすぎない。政府は中流階級を非難してきた。彼らは安価な商品、時にはお金そのものを外部から持ち込んでいる。その結果、地元の産業と賃金が損なわれている。

歴史からの教訓:

古代ローマはエジプトから船で小麦を大量に輸入し、国民に施しとして配給しました。その結果、小麦の価格は暴落しました。小規模農家は無料の小麦と競争できず、生計を立てることができませんでした。

ローマ人は奴隷も連れてきた。裕福で政治的なコネを持つローマ人は小さな農場を乗っ取り、それを統合して大きなプランテーションにし、奴隷労働で運営した。ここでも、地元の労働者は不運だった。

スペインは 16 世紀に、非常に異なる短命の帝国を運営しました。ラテン アメリカで新世界の文明を征服し、莫大な規模で金と銀をスペインに輸入しました。まるで紙幣を印刷しているかのようでした。この簡単に手に入るお金によって、スペイン人は裕福になり、怠惰になりました。彼らは、今日の文明世界が紙幣を使うのと同じように、この金と銀を海外から商品を購入するために使いました。すぐに、スペイン人は自国の製造業と自国の農業を怠りました。物価は上昇しました。

スペインの将来有望な中流階級は芽のうちに摘み取られ、決して繁栄することは許されなかった。

今はそんなに違うのでしょうか？ 金持ちはますます金持ちになり、中流階級はますます貧しくなります。彼らは法律による税金の略奪に苦しみ、稼いだこともなければ決して換金されることもない印刷されたドルやユーロで買われたアジアからの商品と競争しなければなりません。

工業化された中流階級は、子供たちを永久に借金奴隷として売り渡すことに満足していた。これらの子供たちは、平均年間GDPの5倍から15倍の負債に直面している。彼らが反乱を起こさない限り、両親の借金と浪費を支払うために一生働かなければならないだろう。

では、将来の世代は、これ以上我慢できなくなったらどうするのでしょうか？ - 彼らは革命に参加するでしょう！

物乞いの数は観光客より多く、抗議者の数は物乞いの数よりも多い。

ギリシャ、イタリア、ポルトガル、アイルランド、スペインでは、何万人もの労働者が、生涯二度と遭遇することはないと思っていた問題に抗議するために街頭に繰り出しました。

スペインだけでも公式失業率は23%で、500万人以上の人材が失業中です。

マドリード：路上で目にするものは信じられないでしょうが、物乞いの数は観光客を上回り、抗議者の数は物乞いの数を上回っています。

国会の前では、機動隊が怒り狂った暴徒から議員たちを守るために警備に当たっている。国内の他の場所でも、同様の不満や抗議の表明が見られる。

終末のシナリオ：

借金で溺れている国にさらに借金を重ねても救うことはできない。溺れている人にさらに水をかけても救えないのと同じだ。

パターンは明らかです。まず、政府は持っているものをすべて使います。次に、政府は国民から徴収できるものをすべて徴収し、それから借りられるだけのお金を借ります。その後、外国や銀行からさらに借り入れます。そして最後に、負債があまりにも重荷となり、天文学的な額になり、全面革命につながる破滅的な出来事を引き起こします。

その時、恐怖に駆られた政治指導者たちは自国民を攻撃する。彼らは国民の富を没収し、自由を奪う。なぜなら、借金ができなくなっ

たら、直ちに支出を削減する以外に選択肢がないからだ。しかし、それは彼らにとって受け入れられない選択肢だ。

政府が支出するユーロやドルの半分以上が借金であるため、我々の指導者には、失業者、貧困者、障害者、年金受給者への支払いを大幅に削減、延期、あるいは中止する以外に選択肢がないのが実情だ。

政府からの援助に頼っている何百万人もの人々は、突然窮地に陥り、生き残るために奮闘することになるだろう。消費者は恐怖で麻痺し、経済は集中治療室に陥り、税収は急落し、世界中の投資家はさらなる融資を拒否する。終わりは近い。

最悪のシナリオ:

この時点で、最悪のシナリオが始まる。最も恐れられているシナリオだ。飢餓とホームレスがパンデミックレベルにまで爆発的に増加する。被害者は街頭に繰り出す。集会は大規模なデモに変わり、抗議行動が続き、最終的には暴動となる。

支出削減により法執行機関がひどく機能不全に陥ると、犯罪が急増する。消防署が緊縮財政レベルで運営されれば、都市は燃える。救急サービスや病院が資金不足に陥れば、人々は死ぬだろう。

過去にブラジルやロシアで目撃されたように、政府は人々の自由を奪って秩序を回復する以外に選択肢はないだろう。

そして、これらすべては、破滅的な事実の端を発しています。つまり、いかなる銀行も、いかなる政府も、いかなる国家グループも、自らが生み出した膨大な負債の重荷から西側諸国を救うほど裕福ではないということです。そして、この究極の事実を決して忘れないでください。

政府は最後まで嘘をつき続けるだろう。

18. 意図的に不安定化した世界

- 舞台裏での汚いゲーム。
- 魔人が瓶から出てきました。
- 金融システムの崩壊。
- 偽のお金のシステム。
- 金は銀行家たちの本当の敵だ。

銀行家と選出された政府によって犯された、最悪の種類の反逆、犯罪、腐敗。

舞台裏の汚いゲーム:

オバマ政権が、シリアのバッシュール・アル・アサド大統領の排除を進めるためにISISの作戦を支援し、混乱と破壊の時代に入ったリビアが破壊されたのと同じ方法でシリアを破壊するという、非常に汚いゲームを裏で行ってきたことは、今や明らかであるはずだ。シリアが同じ運命をたどれば、それに比べれば、現在のヨーロッパにおけるシリア難民危機は単なるウォーミングアップに過ぎないだろう。



米国の「爆撃」戦略
ロシアのプーチン大統領と
ラブロフ外相が繰り返し指
摘しているように、ロシア
の「ISIS」はシリアのISIS
を壊滅させるどころか、シ
リアのインフラを破壊し、
できるだけ多くの罪のない
シリア人を殺害することし

か考えていない。ワシントンDCは
事実上、ISISとその関連組織が同国における領土支配を拡大するの
を支援している。これがまさに当初からのワシントンの意図であっ
たことが、今やますます明らかになりつつある。

ペンタゴンは、CIA を通じて、またモサドや MI-6 の支援を受けて
、RKM が管理するこれらの機関は、現在 ISIS、Deash、ISIL、また
は IS と呼ばれている組織、およびシリアの他のすべてのテロリス
ト グループを秘密裏に訓練し、武装させ、資金提供してきました
。その間ずっと、これは公の秘密にされていました。 - 米国の NG
0 である Judicial Watch の取り組みの結果、機密解除されたペン
タゴンの秘密文書には、イラクにおけるイスラム国または ISIS と
なった組織の出現が正確に詳細に記述されています。西側は、シリ
ア政権を孤立させるために ISIS および他のすべてのテロリストを
支援しており、これはイラクとイランにおけるシーア派の拡大に対
する戦略的征服であると考えられています。

さらに調査を進めると、ISIS とその他のすべてのテロリスト集団
は米国政府によって事実上管理され、民間所有の英国ブラックウォ
ーター社によって支配されているという事実が明らかになった。彼
らは「違法薬物」と「闇市場」の石油の販売から収益を集めている
。アメリカの CIA とイスラエルのモサドの支援を受けて作られた
巨大な金融闇市場のポンジー・スキームを通じて、彼らはイスタン

ブールのアメリカ・トルコ評議会を決済機関として利用するなど、さまざまな隠れみの手段を利用している。

裏切り：

さらに重要なことは、違法薬物とISISの闇市場の石油の世界的な販売により、米国とEUはこれらの薬物と石油から得た収益を担保として、世界規模で数兆ドル規模の不正な銀行デリバティブ取引スキームを継続できるということだ。

現在、世界の金融市場の存続は、ISISが闇市場で麻薬や石油を販売する能力にかかっている。この**大規模な金融裏切り**には、バンク・オブ・アメリカ、JPモルガン・チェース、サウジアラビアが支配するニューヨーク・シティバンク、バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、パークレイズ・バンク・オブ・イングランド、ABNが関与している。

AMRO、英国所有のHSBC、そして最後に忘れてはならないのが、75兆ドルのデリバティブ取引を帳簿に載せ、こうした闇取引の大規模なマネーロンダリングを管理しているドイツのドイツ銀行だ。

ISIS やその他のテロリスト集団は米国の利益に奉仕していると結論付けるのは妥当です。米国政府は実際、中東で ISIS が勢力を伸ばすことを望んでいます。より正確に言えば、米国やその他の西側諸国を支配しているロスチャイルド・ハザール・マフィアがそれを必要としているのです。

アルカイダのツインタワーの首謀者と中東の崩壊：

9/11のツインタワー襲撃の首謀者とされるオサマ・ビン・ラディンが死にかけていた。

彼は陥没穴から米国に対するテロ戦争を指揮していたわけではないアフガニスタン。タリバンは西側諸国を攻撃するのではなく、アフガニスタンで支配を確立することに集中していた。その後、ワシン

トンはイラクに目を向けた。イラクが米国に対して敵意を抱いている兆候はなかった。

国連の兵器査察官はイラクに大量破壊兵器は存在しないと述べたが、米国は既にイラク侵攻の計画を定めていたため、ワシントンはそれを聞きたくなかった。こうして、安定し進歩的な国であったイラクは廃墟と化した。

次はリビアだ。[カダフィは金に裏付けられたディナール通貨の創始者だった。](#) カダフィは、アフリカ大陸全体で石油を利用できるようにし、オイルマネーを介さずに、金や他の通貨でリビアの石油を売る計画を立てていた。さらに、中国はリビア東部の油田を開発していた。ワシントンは、地中海におけるロシアの存在にすでに悩まされており、中国を問題に加えたくなかった。そのため、カダフィは去らなければならなかった。

次はアサドだ。彼はワシントンDCによって、自国の反乱軍に対して化学兵器を使用したという偽造証拠で罠にかけられた。ワシントンの明らかな嘘を信じる者は誰もいなかった。英国議会でさえも。侵攻を支持する支持を集めることができなかったサイコパスのキラリー・クリントンは、ワシントンがリビアを破壊するために利用した聖戦主義者をシリアに送り込み、アサドを打倒した。

ロシアと中国はもううんざりだ。

ロシアはついに、ワシントンが醸成している不安定さが自分たちに向けられていることに気づいた。ロシア政府はシリアを自らのレッドラインと決め、シリア政府の要請に応じて、ワシントンが支援するジハード主義者に対して介入した。

欧米では、オバマ大統領が、米国が訓練したジハード戦士をリビアからシリアに送り込むことで、シリア大統領を排除する権限を与えられたのはなぜか、という疑問を抱く人は誰もいなかったようだ。

もちろん、この疑問に対する合理的な答えはなく、だからこそ問われていないのだ。

この質問に対する明白な答えは、イランを不安定化させ、その後ロシアのイスラム教地域を不安定化させるというワシントンの戦略である。

連邦、旧ソ連中央アジア、そしてその後の中国のイスラム教地域におけるすべての安定した政府をジハード主義の混乱に置き換えることを目指している。イラク、リビア、シリアはいずれも安定した世俗社会であり、政府の強い権力によってイスラム教宗派間の宗派間抗争が防止されていた。ワシントンはこれらの世俗政府を打倒し、アサドを打倒する現在の取り組みを通じて、テロリズムの混乱を解き放とうとしている。

ワシントンが侵略、爆撃、拷問によって中東にテロを持ち込むまで、中東にはテロは存在しなかった。さらに、イスラム教徒は米国を攻撃するつもりはなかった。イスラム教徒が本当に脅威であるなら、なぜEUと米国はこれほど多くのイスラム教徒を難民として自国の領土に受け入れているのだろうか？

一方、中国はもう我慢できないと判断し、「軍事顧問」を派遣してイスラム国（IS）、ISIL、ISISなどとの戦いでシリア政府を支援し、戦いに参戦していると[メディアは報じている](#)。

中国海軍の艦艇が現在、数十人の「軍事顧問」を乗せてシリアに向かっている。伝えられるところによると、軍が後を追うという。この艦艇はエジプトのスエズ運河を通過し、地中海を航行中と言われている。

このニュースは、ロシア、イラン、イラク、シリアがイスラム国過激派に対する作戦を調整するためバグダッドに共同情報センターを設立することに合意した後に発表された。

ワシントンは激怒し、シリアに対する露骨な攻撃でニュルンベルク条約のさらなる犯罪的違反を犯すと脅している。このような軽率な措置は、ワシントンをロシアとの軍事衝突に導くことになるだろう。そして中国とも暗に関係している。ヨーロッパ諸国がワシントンのこのような危険な動きを支持する前に、ロシア外務省外交防衛評議会のメンバーであるセルゲイ・カラガノフの警告を検討したほうがよいだろう。

「ロシアは二度と自国の領土で戦うことはないだろう。NATOが我々のような核保有国に対して侵略行為を開始すれば、NATOは罰せられるだろう。」

米国政府は犯罪的に狂っている：

米国のオバマ政権が犯罪的に狂っていたという事実は、地球上のすべての人々を怖がらせるべきだ。オバマ政権の延長であるキラリー・クリントンが、ロシアは選挙に勝利し、米国企業の大統領になった瞬間に、

証拠は圧倒的です。人々は犯されたすべての犯罪と腐敗の深さと規模を十分に認識する必要があります。今こそ第三次世界大戦を回避するために行動を起こし、世界中のすべての人が差し迫った世界大戦の悪夢から解放される時です。この世界大戦は過去 100 年間に耐えてきたすべての苦しみよりもはるかにひどいものとなるでしょう。私たちが団結して行動し、これらの犯罪者がどんなに名誉ある称号を持ち、どんなに影響力のある立場にあろうとも、全世界が見ることができるよう、大勢でこれらの犯罪者を裁判にかけるよう要求すれば、彼らは世界大戦の犠牲者となるでしょう。

魔人が瓶から出てきました：

世界は文明の岐路に立っている。グローバリストは政治体制を通じて、我々の世界に破壊をもたらした。彼らは自らの利益を図る目

的で社会、産業、文化などを腐敗させてきたが、その腐敗が確認され全世界に暴露され、パニックに陥っている。

これは我々の利益と文明を救う最後のチャンスです。**今しかないのです**。なぜなら、新世界秩序を掲げる世界大国が、大企業や企業メディアの力を借りて人類を破壊しようとしていることは全世界が知っているからです。大企業や企業メディアはジャーナリズムにはまったく関与しておらず、むしろグローバルリストの政治アジェンダを推進し、文明と人類を破壊しています。

彼らは、私たちが犠牲にして彼らの広範な犯罪行為を進めるために必要なことは何でもし、地球上のあらゆる生命を破壊することも含めて、何も止めません。



私たちは、この特別な清算の瞬間を利用して、一緒にそれぞれの国を取り戻さなければなりません。 - ランプから出た精霊は、元に戻すことはできません。だから、「**国を取り戻し**」、エリートたちが私たちから奪った国を、本来あるべき場所である一般の人々の手に返してください。1つの国が自由になると、他の多くの国もそれに続き、エリートたちは出口に向かって急いで逃げるでしょう。

覚えておいてください：[主流メディアによると、ヒラリーは世論調査でリードしており](#)、トランプ支持者が投票する意味はありません。[ヒラリーは投票前にすでに選挙に勝利していた](#)。彼女の勝者は93%の支持を得ているが、一方で彼女の公の場にはほとんど人が集まらず、一方トランプの集会にはあまりにも多くの人が集まり、入場を拒否されなければならないほどだ。

主流メディアのプロパガンダがなければ、ヒラリーの政治的正当性は砂上の楼閣のように崩壊するだろう。

選挙の盗難はこうやって行われるはずである。少数の企業の手集中している主流メディアは、ドナルド・トランプがあまりにも受け入れがたい候補者であるため、投票前に選挙に負けたと世界に信じ込ませようと全力を尽くしてきた。

もしこれがすべて真実なら、トランプ票をヒラリー票に変更するように投票機をプログラムする必要があったのはなぜでしょうか。結果がどうであれ、この大統領選挙は全世界にとって極めて重要です。ヒラリーは重要な問題を一つも取り上げていません。この事実だけでも、彼女の完全な失敗と見なされるべきです。それどころか、トランプは正しいのです。「**国民は政府の国民に対する説明責任を取り戻さなければなりません**」。

重要なのは、ヒラリーに有利になるように選挙を不正操作するために、この選挙をヒラリー・クリントンのために盗むためのまったく新しいマスターキーデバイスが技術的に開発されたことです。このデバイスは「フラクショナルマジック」の原理に基づいて機能し、**国家レベルでの投票不正操作を可能にし、不正操作者がボタンを押すだけで希望の選挙結果を生み出すことを可能にします**。詳細、有権者がどのように騙されるかについては、[この 5 分を聞いてください](#)。 [ビデオを撮影し](#)、その情報をみんなと共有しましょう。

覚えておいてください。ISIS はオバマとヒラリーによって作られたもので、彼らは ISIS をそのままにしておくことにしました。なぜでしょうか？ ISIS は、中東の武器販売の繰り返しサイクルからオバマ/クリントンの詐欺師たちが何百万ドルもの個人的利益を得ることを可能にしているからです。彼らはテロリスト集団を排除することよりも個人的な利益を選んだのです。[この 6 分間のビデオをご覧ください](#)。世界がどのように目覚めているかを知るためです。

速報： - 内部クーペ。

元スパイ長官のステイブ・ピエゼニク博士が、数年ぶりにカメラの前に登場し、クリントンによる米国乗っ取りの最後の手段である腐敗阻止の試みを詳細に分析する。ウィキリークスのジュリアン・アサンジが公開した有害なメールのほとんどは、米国内の情報筋からのものだ。[この短いビデオを見て](#)、このことについて詳しく学んでほしい。キラリー、オバマ、その他の陰謀団は、やられてしまうだろう！

目を覚ませ！ 審判の日は近づいている。

世界の金融システムは、銀行家たちが100年以上も逃れてきた大規模な詐欺です。彼らの金融力の結果、RKMエリートは政府、産業、メディアを「買収」しました。完全に偽物ではありますが、お金の力によって、彼らは全世界ではないにしても、西洋のシステム全体を完全に支配しています。

ハザールマフィアが認識しているように、戦わなければならない主な戦いは、誰がお金の創造と分配のプロセスを正確に制御するかということであり、それがこの惑星におけるロスチャイルド・ハザールマフィア（RKM）の権力の本当の源泉です。RKMの銀行家たちはまた、彼らの「分割統治」のルールを適用することで、地球上で戦争、テロ、苦しみを簡単に煽ることができることを早くから学んでいました。これは、交戦中の両陣営に偽のお金を貸し付け、戦争が終わったら破壊されたものを再建するためにさらにお金を貸すことで、短期間でお金を倍増させる素晴らしい方法になりました。しかし、返済を保証するために、彼らは返済を確実にするために施行された「違法な」課税法を可決しました。

RKM は、第一次世界大戦後にドイツを屈服させ、国を何も残さず国民を破壊し、ファシズムの空白を生み出し、ドイツを再建した後、創設されたロシアのボルシェビズムに対抗する勢力としてヒトラー

を設置する目的でナチズムを創設したことを理解することが重要です。

結局、ヒトラーは自由になり、ロスチャイルド体制と関係のない独自の銀行システムを開発してドイツ国民と世界の自由な人々の利益のために行動し始めたため、RKMにとって問題となった。

ヒトラーは金融システムを導入した それは高利貸しがなく、労働者階級に利益をもたらすものでした。これはドイツとドイツ国民の完全な破壊を命じました。なぜならRKMは高利貸し詐欺に依存しない経済システムの存在を決して許すことができなかったからです。

同様に、高利貸し反対勢力に対する戦争は、今日、イスラム教に対するハザール人の戦争で見られる。なぜなら、イスラム教は高利貸しを禁じているからだ。だからこそ、RKMの作戦責任者であるイスラエルのビビ・ネタニヤフは、世界中のイスラム教徒を滅ぼすことについて声高に攻撃的なのだ。

紙幣を印刷しても富は生まれない:

誰もが知っているはずですが。紙切れを印刷するだけでは、国全体、あるいは全世界に富をもたらすことは不可能です。RKM とその仲間、つまり印刷機に最も近い駒にとっては、インフレによる盗難によって価値が下がる前にお金を使うことができるので、うまくいきます。

悲しいことに、多くの人がこのシステムの方が自分たちにとって良いと信じている。高い生活水準を達成した人々の多くは、それが本当の改善によるものではないことに気づいていない。生産性は低下したが、主に世界的な債務によるもの 100年前は事実上ゼロだったのが、今日では230兆ドルにまで増加しています。この天文学的な負債額には、返済不可能な個人債務と返済されない政府債務が含まれています。このすでに計り知れない額の負債に加えて、数千兆ドルの未返済債務とデリバティブがあります。

金本位制だけが世界を大惨事から救うことができる。

金本位制が実施されなければ、世界はこれまで経験したことの無い最悪の金融危機に見舞われることになる。多くの人が気づいていないのは、2008年の危機は単なる予行演習に過ぎず、すでに計画されていた本当の危機が間もなく始まる可能性が高いということだ。しかし、今回は、さまざまなリスクの結果として、何倍も悪いものになるだろう。たとえば、国家債務、銀行システム、株式、債券、不動産などのバブル資産市場など、前の章で概説したように、次々と崩壊することになる。

この来たる危機は、早ければ今年中に始まり、今後何年も続く可能性があり、世界に深刻な損害を与えるでしょう。差し迫った暴落は、急落防止チームによる大規模な操作と介入、金利の引き下げ、紙幣の印刷、そして株式市場を押し上げるために絶えず行われているその他の多くの策略によって引き起こされます。しかし、これらの策略はすべて、その間にますます無力になっています。

株式市場の評価とは対照的に、金はこれらの高値からは程遠く、2011年には1,920ドルに達しました。1999年以来、ダウは金に対して実質的に62%下落しています。このことを知っている投資家はほとんどおらず、投資アドバイザーもほとんどいません。また、株式市場が金に対して長期的下落傾向にあることも理解していません。この傾向は、今後数年間で株式が金に対してさらに90%下落するまで止まりません。そうすると、ダウ/金比率は1対1に下がります。言い換えれば、1オンスの金でダウを購入できるようになり、1980年の水準になります。

政府のプロパガンダ機関：

政府の財政赤字が拡大し、実質失業率が大恐慌以来の水準にまで上昇するなか、経済のあらゆる数字が操作されたり、改変されたりして、経済の楽観的で誤ったイメージが描かれている。興味深いのは

、経済の数字に対するこうした露骨な操作が、経済アナリスト、メディア、ノーベル賞受賞者によって完全に受け入れられていることだ。今日、経済データに対する真剣な分析は行われていない。

政府のプロパガンダ機関が発信するものは何でも、事実として完全に受け入れられている。実質失業率が5%ではなく22%前後であること、実質賃金が数十年にわたって下落していること、実質インフレ率が主張されているよりもかなり高いこと、実質インフレ率に調整された実質GDPが上昇ではなく下落していることは、ほとんどすべての人に無視されている。

金融システムの破綻：

現在、世界はバブル市場の変化、信用市場の崩壊、金利の急上昇、財政赤字の増加、金融システムの破綻に備えている。トランプ氏がこれらすべてを起こす手段、あるいは触媒となる可能性は高い。彼が提案するインフラ投資、減税、貿易関税は、これらすべてのリスクを誘発する非常に良いスタートであり、それによって今後数年間でリスクが解き放たれることになる。

世界中の政府が人々のお金を管理するために行っていることに対して、ほとんど誰も準備ができていません。国が次々と現金の保有や取引を事実上犯罪にするプロセスが進んでいます。これには多くの理由があります。人々とその支出を管理するのがはるかに簡単になり、脱税がほぼ不可能になります。しかし、**主な理由は金融システムの崩壊を防ぐ**ことです。現金がなければ、銀行の取り付け騒ぎは起こりません。ATM マシンは時代遅れになります。そして、電子送金は簡単に停止できます。

金の没収は革命につながるだろう。

今のところ、金や銀は西側諸国では管理されていません。金の没収を脅かしているのはインド政府だけです。世界のどこよりも金の個人所有が普及している国では、金の没収は革命や政府との戦争につ

ながるでしょう。インドでの展開は注目に値します。RKM は、後にもっと大規模に実施される予定の計画の試験運用を実施していることでよく知られています。

いくつかの国では、次のステップとして金の現物を報告対象にする可能性が大いにあります。さらに、いくつかの国では没収が行われる可能性もあります。これが西側諸国で起こるかどうかは疑わしいですが、リスクはあります。富裕層の資産に課税する方がはるかに簡単でしょう。しかし、これが起こる可能性を考えると、居住国以外で、金の伝統が強い安全な管轄区域に、財産保全の目的で金の現物を保有することがさらに重要になります。香港、シンガポール、カリブ海のバージン諸島の一部、そして世界の金塊の60%以上を生産するスイスは、金で貯蓄する伝統がある場所であり、したがって金が没収される可能性は非常に低いです。

こうしたリスクに対する対策を講じることが重要です。これには、**銀行システムに過度に依存しないこと**、資産保護と保険の目的で金や銀の現物を保有することなどが含まれます。

米ドル:

戦後の世界は米ドルで溢れていました。このシステムにより、地球上のほぼすべての通貨が米ドルに強制的に裏付けられました。そして、米ドル自体も 1 オンスあたり 35 ドルの金に裏付けられ、すべての通貨に信頼が与えられました。これが世界貿易の活況を助長しました。ブレトンウッズ体制下では、小さな問題が 1 つありました。**金の逆比率が確立されていなかったのです。簡単に言えば、インフレが考慮されていませんでした。**

1972 年に金の窓口が閉鎖され、ドルが金に裏付けられなくなった後、アメリカ人は中国製の便利な機器や小道具を入手し、中国負担で自国に送ることができるようになった。その見返りとして、アメリカの買い物客は中国人に緑色の長方形の紙切れ、または電子的に

タイプされた同等品を渡した。すでに大量の米ドルを持っていた中国の売り手は、さらに増えた紙切れや電子単位をどうしたらよいか途方に暮れていた。通常、彼らは長年にわたり米ドルを国債に売却してきた。言い換えれば、彼らは同じ発行者からの借用書を別の借用書と交換しているのだ。

1990 年以来、米国と中国との累積貿易赤字は 4 兆ドルを超え、現在では 1 日 10 億ドルに達している。米国人はその見返りとして、自動車、コンピューター、テレビ、その他現代生活に必要な必需品を受け取ってきた。**中国人はその代償として、まったく何も受け取っていない。**借用書は一度も償還されていない。そして、今後も償還されることはないだろう。

偽造マネーシステム:

この偽の通貨システムこそが、自由貿易ではなく、本当の問題です。米国の消費者にとっては素晴らしい「取引」かもしれませんが、生産も雇用もなくなるため、メインストリートの経済にとっては大惨事です。

さらに重要なのは、ドルが世界の基準通貨としての地位を占め、国際金融において米国企業が優位に立っていることで、米国政府は正式な非現金金融システムのすべての参加者に対して絶大な権力を握っていることである。

国際的に活動する銀行は、米国政府から脅迫されて命令に従わされる可能性がある。米国や米ドルで取引するライセンスを取り消すことは、基本的に銀行の閉鎖に等しいからだ。米国から50億ドルの罰金を科されたフランスの銀行ソシエテ・ジェネラルや、最近では140億ドルの罰金を支払って破産する可能性が高いのか、それとも免れるのかを米国財務省と何ヶ月も交渉しなければならなかったドイツ銀行のことを考えてみよう。[70億](#) そして生き残る。

最大の銀行、あるいは大国を破産させる力があるなら、その政府に対する力も持っていることになる。金融システムと関連データに対する支配力によるこの力は、すでに存在している。現金の使用が減れば減るほど、この力はより広範かつ安全になる。なぜなら、現金の使用は、この力を回避する主な手段だからだ。金や銀のような実体のあるものに裏付けられていない通貨は、常に負債と破壊を残してきたが、それはまさにRKMエリートが望んでいることだ。

金こそが銀行家たちの本当の敵だ。

これは、**地球上に金や銀ほど信頼に値する法定通貨や紙幣は存在しないという事実を裏付けています**。ニクソン大統領が金の窓を閉鎖したときに始まった、1オンス35ドルで始まったこの金の強気相場を止めることはできません。この決定は、後になってから巨大で壮大な失策として振り返ることになるでしょう。

金は、紙幣を無から印刷する行為が続く限り、確実に値上がりするだろう。そして銀もこの流れに乗ろう。歴史的に、人類は紙幣を過剰に印刷する選択をしすぎてきたが、それは常に悲惨な結末を迎えてきた。

この恐ろしい災難から抜け出すには、世界中で再び紙幣を金で裏付ける以外に方法はありません。特に、金価格を下げるために金のほとんどが売却された西側諸国ではそうです。政府は再び公開市場に戻り、はるかに高い価格で金を買い戻す必要があります。内部関係者によると、中国はまもなく金を1オンスあたり5,000ドル程度、あるいはそれ以上に再評価し始めるとのことです。

貨幣のないインドの人々：なぜ貧しい人々は苦しまなければならないのか？

インドにおける現金禁止は、貧困層に最も大きな打撃を与えた。ヴァリヤトウラ学校のキャンプで暮らす海食被害者たちが、自分たち

の窮状を語る。海食によってすでに家を失っていたこれらの人々にとって、現金禁止は二重の打撃となった。

モディ首相の紙幣廃止政策の被害者たちが自らの体験を語る。

彼らの生活は破壊されました。インド政府が命じたこの壊滅的なプロセスの目的は何だったのでしょうか？ - それは政策上の失策だったのでしょうか、それとも国中の小規模小売業者や生産者を弱体化させ破壊する意図があったのでしょうか？ 明らかに、この政策は主に高額紙幣で取引される闇経済には影響しません。

[この取り組みの背後には誰がいたのでしょうか？](#)

19. 政府がないほうが良い

- 政府が支配し、国民が従う 政府は問題であり、解決策ではない。
- 新世界秩序は中央集権的な統制である。
- 問題 - 反応 - 解決策:
- 犯罪銀行カルテルはすべてを知っている :
- 健全な通貨と自由市場による世界通貨のリセット :
- 銀行詐欺が世界通貨リセットを要求

ロシアの作家レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ (1828年 - 1910年) はこう言った。

「政府とは、本当のところ、私たち一般市民に暴力を振るう人々の集まりである。」

政府、特別な国民階級 :

政府とは、規則を制定し、それを施行し、国民の残りの人々に課す規則とは異なる規則に従って生活する制度構造です。私たちは盗むことはできませんが、政府はできます。私たちは殺すことはできませんが、政府はできます。私たちは偽造、誘拐、詐欺を行うことはできませんが、政府はできます。このいわゆる「政府」は、明らかにその権力、威信、資金を維持することに強い関心を持っています。

政府の文化は、上記に概略を述べた通り、どのような政府構成であっても事実です。独裁制、専制政治、寡頭政治、絶対君主制、立憲

君主制、大統領制共和国、議会制共和国、民主主義、これらすべてに共通する点が 1 つあります。それは、他のすべての人々を犠牲にして生きる特別な市民階級を生み出すことです。

政府が支配し、国民は服従する。政府は国民を奴隷にし、国民はその規律に従わなければならない。政府は何らかの方法で、ある程度、国民を喜ばせることをしていると信じなければならない。オーストリア学派の著名な経済学者ハンス・ヘルマン・ホッペは次のように分析している。

「それ（政府）は、共産主義の特に陰険な形態に過ぎず、この不道徳で経済的な狂気を生み出し、それによって私腹を肥やした政治家たちは、もちろん彼らが引き起こした損害に責任を負うことはないが、卑劣な共産主義の詐欺師集団に過ぎない。」

あらゆる政治的活動団体は政府に何かを求めており、政府は喜んで応じる。選挙シーズンにはそれがさらに顕著になり、投票箱での投票が近づくにつれて状況は悪化するばかりだ。政府は法律、略奪、特権、保護、罰則など、多くのものを与えている。あらゆる圧力団体、大企業、そして

**I'M FROM THE
GOVERNMENT,
I'M HERE
TO HELP**



政党には独自のロビイストがおり、私たちに対する権力をどのように行使すべきかについての考えがあります。

これは、「我々の政府」と呼ばれる怪物の下で暮らすことの大きな悲劇です。人々は一般的に、政府がその業務をどのように運営すべきかについてさまざまな考えを持っています。誰が報酬を受けるべきか？ 誰が罰せられるべきか？ 誰が特権を得るべきか？ 誰

がコストを負担すべきか？ それは圧力団体の戦争となり、誰もが他人の犠牲の上に生きようとしています。

自由の哲学とは、「生きる、そして生きる権利を与える」ことです。

政府による私たちの生活への介入は日増しにひどくなっています。自由主義者、無政府主義者、そして「他人の生き方を尊重する」という哲学を掲げる人々は、他人を支配することに少しも興味がありません。彼らにはそんなことは思いつきません。実際、それは彼らの本性に反しています。それは彼らの根幹に対する侮辱です。なぜなら、結局のところ、自分が平和でいたいと思うなら、他人も平和でいてほしいと願わなければならないからです。

さらに、あなたはこれを正しいこと、物事の正しい秩序として受け入れなければなりません。他人の自由はあなた自身の自由と同じくらいあなたにとって神聖なものであるべきであり、必要に応じて強力な防御を必要とするべきです。そうでなければ、あなたは単なる偽善者ではなく、ナルシストであり、おそらくサイコパスです。

自由の哲学は相互理解の延長です。したがって、すべての人を支配することだけを目的として、他の誰か、他の誰でも恐怖を感じることにについて考えることは、リバタリアンやアナキストにとって非常に迷惑なことです。

他人を傷つけている人々の話を聞くと腹が立ちます。そして、その結果、作られた法律で誰かを怒らせた結果として誰も拘留されません。

周りを見渡し、人々が投票箱や官僚機構を通じて他人を食べ物にする世界を見るのは憂鬱だ。隣人の財産、ひいては命さえも奪うには、次の選挙で過半数の投票を得る必要がある。

自由同意：

逆に、リバタリアンやアナキストは、平和的かつ自由な同意の結果ではないものを他人から求めません。彼らは、犯罪となるには被害者がいなければならないという古い慣習法の考えを前提としており、被害者がいなければ、嫌がらせや訴追はそれ自身が犯罪であると考えています。

私たち個人が、他者の選択に個人的に同意できない場合、たとえば安楽死や中絶の場合のように、強制的に干渉する十分な理由はありません。それは承認を意味するものではありません。回避や非難を意味することさえあります。しかし、他者が同意していないことを強制したり、行わないように強制することを意味することは決してありません。

「最大の善」とは、自由、自由意志、自由選択、つまり、法律や抑圧によって強制されることのない真の自由です。そして、たとえ、私たちが予見できる行為や決定に否定的な結果があったとしても、強制によって被害を受ける理由がない他の人に否定的な結果を全面的に押し付けるよりも、個人が自分の行動の否定的な結果に自ら直面する方がまだましです。

それは簡単です。私たちは、他人の生き方を尊重する生き方をしなければならないということを受け入れるべきです。

政府は問題であり、解決策ではない。

つまり、政府は問題であり、解決策ではありません。ユーロを作ったのは誰ですか？ 金利と貸出基準を決めたのも誰ですか？ 長期間にわたり低金利で貸し付けを行うことでバブルを引き起こしたのは誰ですか？ では、ひどい管理者であることが証明された金融機関に、さらに低い金利で貸し付けを行うことで、危機を「解決」したのは誰ですか？ 答えは繰り返しますが、政府です！

先進国の経済は、ここ 10 年間、衰退傾向にあります。そして、楽観視できる理由はまだありません。中国では政府の積極的な政策が

新たな災難を引き起こし、米国、欧州、日本では政府の積極的な政策が古い災難をさらに悪化させています。過去 10 年間の政府の行動がもたらした影響のいくつかを考えてみましょう。

- 世界経済は世界的な不況期に入りつつある。
- 「回復」の目撃は大部分が幻想である
- QEやその他の「景気刺激策」は効果がなかった
- EUと米国は「財政の崖」に直面している
- EUと米国の国民は最大の資産である不動産で損失を被った
- 世帯の中央値は40年前よりも実質所得が低い
- 米国と欧州の債務問題の継続的な拡大
- 商業用不動産と民間不動産の崩壊
- 脆弱な失業者の悪影響
- 市場バブル崩壊の脅威
- 株価の過大評価
- 実質失業率の減少傾向
- 強制された緊縮政策の結果としての不必要な苦しみ
- 腐敗し破綻した金融機関が、納税者の負担で維持されている。

流動性の問題ではなく、支払能力の問題:

政府は我々を欺いている。2012年、スペインは1000億ユーロの銀行救済を受けたが、4000億ユーロ必要だったため、それでは不十分だった。イタリア自体も苦境に立たされ、最初に7%の利子で借り入れた後、3%の利子でこの金額の20%をスペインに支払う義務があった。これは天才的で素晴らしい解決策ではないだろうか。もっとうまく表現すると、ユーロは冰山にぶつかり、救命ボートが足りないのだ！

回復は不可能です。これは普通の不況ではなく、不況と呼ばれる「経済の終焉」です。世界は流動性の問題ではなく、莫大な支払い能力に直面しています。新たに印刷されたお金では、不良債権や国債を健全化することはできません。金融システムの支払い能力を回復させる唯一の方法は、経済を収縮させるか、大量破産によって負債額を削減することです。

政府を廃止し、協力し、妨げられることなく機能する地方自治コミュニティに戻りましょう。私たちは、利己的なエリートのNWOではなく、人民の新世界秩序に向かって進むべきです。

新世界秩序は中央集権的な統制である。

世界の政治、ビジネス、銀行、軍事、メディアの中央集権化による新世界秩序（NWO）の完成に向けた勢いは日増しに増しており、大規模なスパイ活動によってそれが顕著になっている。隠された計画が実行されようとするたびに、人々を怖がらせる何かが起こり、その行動を正当化する。

実行。第二次世界大戦前のファシストナチスドイツの再現になりつつあります。イルミナティの計画が計画通りに展開するにつれ、これが世界中の人々を待ち受ける新しい世界です。

外交問題評議会（CFR）と多国籍企業は、すでにほとんどの政府を支配しており、メディア、財団助成金、教育の支配を通じて世界統一政府を推進し、今日の問題を支配する力を持ち、すでに存在するほとんどの手段を支配しており、**「新世界秩序」を推進する財政力を持っています。彼らの成功の鍵は、国際銀行家がほぼすべての国の通貨システムを支配し、操作し、あたかもそれが政府によって支配されているかのように見せかけていることです。**

エリート層と世界銀行家で構成されるハザールマフィアが管理する世界政府によって運営されるほど「都会的」な世界に住みたいので

あれば、あらゆる情報を得るためにぜひとも主流メディアをフォローし続けてください。

しかし、選ばれた世界的な知識人・金融エリート集団が世界を動かすという考えが、人類の将来にとって理想的な社会とは思えないのであれば、誤情報の波と戦い、「新世界秩序」の危険性を暴くのに協力することで、行動を起こすべき時が来ている。

ファシスト社会への参入:

人々は自分たちに課せられるであろう制約について、全く考えも認識もしていない。彼らはむしろ明白な事実を無視し、すでに現実となっている真実を否定し、「彼らは決して人々の自由を奪い、我々をエリート層の奴隷にしない」と互いに保証することを好む。

人類は、その精神と責任を大規模に放棄してきました。この行為が人類の存在に及ぼすより広範な影響について考えてみてください。私たちが**精神と責任を放棄すると、自由、そして本質的には命を放棄することになります。**

十分な数の人々がそれを行えば、私たちは世界を手放すことになるでしょう。そして、それはまさに歴史を通じて行われてきたことです。私たちは今、第二次世界大戦前と同じようにファシスト社会に突入しています。当時、イタリアのベニート・ムッソリーニ、スペインのフランコ将軍、ドイツのアドルフ・ヒトラーなどの指導者は、国家を体現し、議論の余地のない権力を主張し、主権国家をファシスト国家に変えました。今、歴史は再び繰り返され、間もなく世界は再びファシスト社会になります。唯一の違いは、今回は、ビジネス、銀行、通信のグローバル化により、少数のエリートが地球全体を操作しているということです。

その支配の主な目的は、人々を無知、恐怖、そして互いに戦争状態に置き、悪名高い分割統治戦略で最も重要な情報を秘密にしておくことです。何千年もの間人類を支配するためにこれらの方法を適用

してきた人々は、現在完成の段階に達している長期のイルミナティ計画に従っている同じアルコン血統の家族のメンバーです。

つまり、人々が今目を覚まし、これを「最後の警鐘」と受け止め、この不正に対して反抗するために自らを動員し組織化しなければ、世界的なファシスト国家が到来することになる。今日、真の権力は少数のエリートではなく、依然として私たち大多数の中にあるのだ！

無限の力はすべての個人の中にあります。私たちが支配されているのは、自分の運命を決める力がないからではなく、その力を放棄しているからです。気に入らないことが起こると、私たちは誰か他の人のせいにします。問題が発生すると、人々はまず「支配者たちは、それについて何をやるのだろうか」と考えます。

あなたの自由の侵害：

しかし、すべての問題を密かに生み出したのは**彼らであり**、彼らは人々の要求に応じて、権力のさらなる集中化と自由の侵害という「解決策」を導入していることを忘れないでください。

警察、治安機関、軍隊にさらなる権力を与えたいのであれば、それはまさに彼らが国民に求めていることであり、そうすれば犯罪、暴力、テロが確実に増加し、彼らは望みどおりになる。

人々がでっち上げられたテロリストに襲われることを恐れるようになると、彼らは自由を奪われ、自分たちが操られて「恐ろしい」存在になったことから守られることを要求するようになる。ベンジャミン・フランクリンはかつてよくこう言った。

「一時的な安全を得るために基本的な自由を放棄する者は、自由も安全も得るに値しない。」

問題 - 反応 - 解決策:

2001年のニューヨークの9/11 ツインタワーの崩壊と地球温暖化のミームは、どちらも人間による操作の典型的な例です。簡単に言えば、これは「問題 - 反応 - 解決策の作成」という戦略です。問題を作成し、それについて何かしなければならないという反応を促し、次に解決策、望ましい解決策を提示します。言い換えると、混乱を作成し、人々の要求に応じて秩序を回復する方法を提示するのです。

大衆は感情と精神のコントロールによって群れをなして導かれます。これが彼らのルールを実行する唯一の方法です。しかし、少数のエリートは、多数の人々が関与しない限り、何十億もの人々を物理的にコントロールすることはできません。したがって、エリートだけでは世界の人口を物理的にコントロールすることは不可能であり、彼らには支援が必要です。しかし、人々がエリートの望むことと一致する解決策を望むと決めるまで人々の感情や考え方を操作でき、人々がエリートが制定したい規制の導入を要求した場合、中央集権的な世界コントロールへの扉が開かれます。人々にそれが彼らの考えであると信じさせることによって。その結果、人類はマインドコントロールされます。

自由を維持し、プライバシーの権利を取り戻す方法:

問題は、どれだけの人々がマインドコントロールされているかではなく、**どれだけの人々がマインドコントロールされていないか**です。メディアのニュース記事を信じ、それが出来事に対するあなたの認識に影響を与えると、あなたのマインドはコントロールされます。自律的な思考と意見形成の解決策は、自分のマインドを取り戻して自分で結論を出し、決定することです。解釈の選択はあなた自身のものであり、他の誰かのものではありません。彼らは常にあなたのマインドを支配したがつていることを忘れないでください。一度支配されれば、あなたも支配されるからです。ですから、どんな状況で

もあなたのマインドを客観視してください。自分の頭で考え、他人に考えさせないでください。私たち全員がそうすれば、彼らのアジェンダは実行できず、私たちは自由を保つことができます。それだけです。私たちの子供たち、将来の世代、そして私たち自身の利益のために、今すぐ行動を起こしてください。

覚えておいてください。秘密のアジェンダとは、エリートたちの計画が確実に実行されるようにするための、人々の心と出来事の陰謀です。彼らは、アジェンダを実現するための隠された厳格な指示とともに、国民を権力の座に就かせようと共謀し、アジェンダの実施を国民に要求させるような出来事を企てるのです。

ジョージ・オーウェルが1949年に出版した著書『1984年』で書き、映画『トゥルーマン・ショー』でも描かれているような、大量監視の世界に私たちが突入していることは恐ろしいことです。最近、内部告発者が長年警告してきたアメリカの監視国家が、数々のスキャンダルで暴露されています。

しかし、あなたが正しかったと言っても、長期的には私たちの役には立ちません。政府がオンラインや電話で私たちが行うすべてのことを聞き、記録し、複製していることがわかった今、行動を起こす時が来ました。プライバシーの権利を取り戻す時が来たのです。

[スノーデンの次の説得力のある説明を見てください。](#) 彼によると、上で概説したように、文明へのこの侵入を逆転させることは私たちが思っているよりもはるかに簡単です。客観的になって自分の考えを決めてください。結論と決定はあなた自身のものであるべきです。

中国の戦車が街中を走り回ることを恐れることはないかもしれないが、誤解しないでほしいのは、私たちの最も基本的な権利が攻撃されているということだ。記者はスキャンダルを暴露したとして政府当局から調査され、停職処分を受けており、法律は私たちのプライ

バシー権を弱めるために作られている。NSA は、テロリストを捕まえることが絶対に必要であるかのように行動し、その権限があるかのように問題を提示している。

腐敗した世界金融システム:

金融市場は、世界の金融システムを構成しています。銀行やその他の金融機関が短期的に資金を借り入れたり貸し付けたりする場所です。こうした債務と信用のネットワークは、パニック時には必ず脆弱になり、世界経済の一部から別の部分へと問題が広がります。その理由は単純です。非常に複雑なチェーンの 1 つのリンクが壊れて債務不履行になると、債権者は資金不足に陥り、他の機関の信用を保証できなくなります。このように、1 つの失敗の影響が金融市場全体に広がる可能性があります。

一例を挙げると、2008年にリーマン・ブラザーズ (LB) が破綻した後、同社が発行した数千億ドルの短期債務（そのほとんどはコマーシャルペーパーやその他の債券）が価値を失い、それを保有していたさまざまな投資家やファンドの間でパニックが引き起こされました。このパニックにより、コマーシャルペーパー市場に融資していたマネーマーケットファンドへの取り付け騒ぎが起こり、世界の銀行システム全体にさらなるパニックが広がりました。リーマン・ブラザーズの破綻は危機を世界システム全体に伝播させる一因となりましたが、それが唯一の要因ではありませんでした。複数の国の投資家が同一の資産を保有しており、そのほとんどは架空取引によるものでした。その後、彼らは同時にポートフォリオが煙のように消えていくのを目撃しました。一般的に、信用が削減され、現金が蓄えられ、それが相まって広範囲にわたるパニックを引き起こしました。

したがって、紙幣と電子通貨システムは、1 つか 2 つの「大きすぎて潰せない」(TBTF) 銀行が破綻するだけで破壊される可能性があります。ちなみに、すべての金融機関はシステムにレバレッジを

かけており、継続的な資金の増加と流れに依存して相互接続されています。ティア 1 資本のほんの一部（たとえば、レバレッジ 20 倍の銀行の 5%）が失われると、ビジネス全体が破壊されます。レバレッジをかけた賭けを支える基本資本がなくなるためです。レバレッジ資産はティア 1、つまり基本資本を補充するために売却されなければならない、システム全体の資産価値が破壊され、他のすべてのレバレッジ プレーヤーも同じことを強いられます。レバレッジ プレーヤーがすべて破壊されると、レバレッジをかけていない組織が取引する相手がなくなるため、それらも崩壊します。

所有権証明書がないため決済されない架空の取引：

これが起こると、何も残りません。なぜなら、その瞬間から、すべての電子資産と紙の資産と負債が消滅するからです。株式、債券、さらには貴金属の場合、状況は少し複雑になります。ほとんどの人は、投資した企業や物の一部に対して明確な所有権を持っていると考えています。しかし、通貨システムが崩壊すると、これらの組織のほとんど、あるいはすべてが同様に破綻します。銀行に「お金」がなくなり、商品やサービスの支払い能力のある顧客がいなくなると、ほとんど何も残りません。

「… 我々が現在生きている株式証書システムでは、何十億もの株式取引が数ミリ秒で取引され、仮想株式は瞬く間に売買されています。しかし、書類の記録も、管理も、所有権の移転もありません…誰かが何かを所有していることを証明するものは何もありません！株式市場では毎日何百万もの「配達失敗」が起きています。これらは決して決済されない架空の取引です！「株を買う」とき、証券会社があなたに代わって株式を購入するために市場に出向くと想定しますが…実際はそうではありません！証券会社はあなたの電子口座に入金し、自分の目的のためにあなたのお金を使うだけです。」

現実には、同じ株券や債券証書に対して複数の権利を持つ株主が何百万人もいます。音楽が止まると、あなたは、残された株式のうち大幅に希薄化された株式を得るために列に並んでいる大勢の人の一人に過ぎません。

その結果、紙幣を扱っても電子通貨を扱っても、どちらも生き残ることができず、ゲームは終わりです。しかし、貯蓄口座、当座預金口座、年金口座、株式、債券、貴金属保管口座も、どれも生き残ることはできません。

システムに対する最善の防御策は、あなた自身が所有する物理的な金と銀です。

不換紙幣が通貨システムを腐敗させる理由：

1900年頃、大西洋の両側の強盗男爵、銀行家、実業家の一団が今日の通貨システムを考案しました。彼らは、人類の歴史上、**すべての不換紙幣が最終的に破綻し**、ハイパーインフレに陥ることを、豊富な経験からすでに知っていました。不換紙幣が破綻するかどうかは問題ではありません。いつ破綻するか、そして、正式に廃止され、そのような通貨システムすべてが詐欺計画であることが暴露されるまでに、どの程度のインフレが起こるかが問題なのです。

したがって、連邦準備制度理事会と中央銀行が紙幣の印刷を開始したとき、**彼らはそれぞれの通貨が将来いつか破綻し**、最終的には金や銀に対して大幅に価値が下がることをすでに知っていた。彼らはまた、金がインフレに対する紙幣のパフォーマンスのバロメーターであることも知っていた。

金の盗難：

まず、彼らは「預金所」にあるすべての金の貯蔵を没収し、盗み、違法とし、インフレで紙幣の価値が下がるのを待ちました。彼らは、不換紙幣が**破綻すれば「金**が人々の救世主である」ことが明らか

になり、最初にすべての金を盗んだ男たちの孫たちに、超インフレの紙幣でそれをすべて買い戻すよう強制し、銀行家に**莫大な利益**をもたらすことを十分に承知していました。

1930年代には、金1オンスを買うのに30ドルかかりました。現在では1オンス1,300ドルです。30ドルと1,300ドルの差額を計算すると、金1オンスあたり1,270ドルの純利益になります。これは銀行家にとって4,000%を超える驚異的な利益です。そして、これが彼らが狙っている利益であり、この計画を企てた理由です。

銀についても、程度は低いものの、同じことが起こります。1928年、1ドルの銀は1ドルの銀証券に相当しました。現在、交換レートは1オンスの銀に対して17ドルの紙幣でしょうか？紙幣の価値は17分の1にまで下がっています。紙幣が破綻すると、貴金属の備蓄をすべて保有している銀行家たちが大儲けし、彼らが来るか去るかに関わらず、その後続くすべての人に寄生することになります。

彼らは通貨のインフレを通じて、100年以上もの間、勤勉な人々の労働の価値と自国の天然資源を盗んできた。そしてもうすぐ、彼らは態度を変え、あなたたちに、彼らが押し付けた価値のない紙幣を処分しようとする中で、あなたたちには、本来はあなたたちの遺産となるべきものを、大幅にインフレした為替レートで買い戻す以外に選択肢が残されないことになる。

犯罪銀行カルテルはすべてを知っている：

通貨システム全体がこの邪悪な目的のために構築されました。彼らはインフレをシステムに組み込んだのです。彼らはそれが必ず失敗することを知っています。それが起こったとき、彼らはすべての金と銀の準備金を保有することになるだろうし、彼らがずっと推進してきた通貨が失敗し始めたとき、彼らはすべての金属を私たちに40

00、5000、10,000%の純利益で売り戻すことができることを知っています。

もう一度言いますが、これはハザール人の「問題、反応、解決」戦略です。彼らは一般の人々を奴隷にするという究極の目標を持って問題を作り出し、すぐにやってくる反応を待ち、それから自分たちが作り出した問題に対する解決策を提示し、ずっと計画し期待していた利益を得るのです。

すぐに事態は過熱し始め、あらゆる手段を講じ、あらゆる締め付けをした後、これらの詐欺的な銀行家たちにとって安全な場所はなくなることは明らかです。そのため、彼らは寄生虫が通常するように、新しい住処を探さなければなりません。彼らはすでに業務の大部分を中国に移しています。過去に業務をヨーロッパから米国に移したのと同じです。

ポンジスキームの終焉:

2016年4月の上海金取引所の開設により、金と銀の価格は、現物引き渡し保証される人民元で決済できるようになります。大金融ホロコーストは差し迫っており、西側諸国の中央銀行のポンジスキームがついに崩壊し、最終的に金の価格が真に明らかになることとなります。これが進行する間、世界の大半の人々は恐怖の中で暮らすこととなりますが、現物の金と銀を保有している人々はそうではありません。彼らは来たる大金融ホロコーストの生存者となるからです。

中国の銀行が世界開発融資を開始したのは、わずか10年ほど前だ。フィナンシャル・タイムズの記事は次のように結論づけている。

「中国の2つの政策銀行による国内の借り手への未払い融資を計算に含めると、世界の開発金融における中国の優位性はさらに明白になります。中国開発銀行と輸出入銀行は、中国国内外で合計2兆ドルを超える資産を保有しています。」

中国は金融界を支配している。

避けられない結論は、中国が現在、かなりの程度まで世界の発展をコントロールしているということだ。これは我々の目の前で起こっており、一方で西側の専門家は中国の負債やその他の疑わしい問題について激怒していたが、実際には中国はこれらの問題をうまくコントロールしている。

中国はすでにロシアなど一部の発展途上国と人民元で取引しており、人民元建ての石油ベンチマークを設定する準備も進めている。これは、人民元、より正確には金に裏付けられた人民元が、中国が完全支配に向けて着々と進んでいる世界的発展に必要な膨大な量の物資を配分する唯一の手段となることを意味している。

メッセージは明確だ。FRBの厳しい発言を受けて金と銀は多少下落するかもしれないが、誰もが価格下落の機会を利用して購入すべきだ。金と銀を所有することが、経済的に生き残る唯一のチャンスであり、おそらく、ますます自己満足に陥り無関心な西側諸国の資産をすべて吸い上げる中国の密かなホームランに対する唯一の防御策となるだろう。



この通貨システムはすでに金に基づいています。

1933年、ルーズベルト大統領は、金を保有するすべての人に連邦準備銀行に金を引き渡すよう求める大統領令を発令しました。しかし、1934年の金準備法に基づき、連邦準備銀行は保有するすべての金を財務省に引き渡すよう命じられました。国の金はすべて、事実上、直接政府の所有となりました。

これが鍵です。連邦準備制度は実際には民間のシステムですが、財務省は米国政府の一部門です。財務省に金を引き渡すために、**金証券と呼ばれる「補償」が発行され**、金の現物と引き換えに連邦準備銀行に発行されました。

今日まで、FRBはバランスシートに同じ金証券を保有している。財務省は金を公式に1オンスあたり42ドルと評価している。これは米国がブレトンウッズ体制を放棄した2年後の1973年の公式金価格だった。もちろん、今日の金の市場価格は1オンスあたり1,200ドルを超えている。

しかし額面通りに受け取ると、FRBのバランスシート上の金を1オンスあたり42ドルで割ると、トン数に換算すると約8,000トンになる。

隠された金資産：

これは非常に興味深いことです。なぜなら、これは現在財務省が保有している金の量だからです。財務省は、1930年代に連邦準備制度理事会に渡した紙の証明書を裏付けるために、憲法修正第5条に従って少なくとも8,000トンの金を必要としています。

もっと正確に計算すると、FRBのバランスシートに載っている金証券の8,000トンは、時価1オンス1,200ドルに対して、なんと3,000億ドルに上ることになる。これをFRBの資本に加えると、驚くべきことが起こります。FRBのレバレッジは100対1以上から12対1程度に低

下します。これは優良な商業銀行の範囲内です。言い換えれば、時価ベースでは実際に健全な銀行です。したがって、FRBのバランスシートの秘密は、1930年代に財務省から受け取った金証券で構成される「隠れた金資産」にあります。これがFRBが支払い不能に陥らないようにしています。

ジム・リッカーズはこう語った。

誰もこのことについて話したり認めたりしません。しかし、実際には通貨システム全体が金に基づいています。

紙幣の最後の日々：

疑いの余地はないが、現在の中央銀行の政策体制は最終的に大惨事を招くだろう。紙幣を保護できるNIRP、ZIRP、その他の金利ツールは存在しないだろう。

こうした人工的な金利はすべてばかげている。これらは経済の最も基本的なルールに明らかに違反しているため、現実的でも永続的でもない。**資本を貸し出し、その特権に対して借り手にお金を払う人は誰もいない。**こうした金利が存在し、国債がこうしたばかげた価格で取引されているという事実は、**紙幣制度全体が完全に操作され、詐欺的で、腐敗している証拠である。**

これは、政府が破産し、正当な方法で債務を賄えなくなったときに必ず起こることだ。したがって、ドイツの場合のように、同様の政策がより多くの国債市場に現れるのは時間の問題だ。現在、世界最大の資本収集国は、脱出の道を探している。

唯一の現実的かつ恒久的な解決策は金と銀を買うことであり、世界的な銀行への取り付け騒ぎを防ぐためには、主要通貨を金で裏付け、通貨の価値を妥当な水準で守る必要がある。

1971年から2017年にかけての紙幣を使った「大実験」の終わりが見えてきました。また、「大インフレ」も終わりを迎えます。多くの人々にとって、これは大惨事となるでしょう。しかし、金や銀を所有しているあなたにとってはそうではありません。

終わりではなく始まり:

迫りくる危険や、起こっているあらゆる問題、差し迫った危機について考えることもできますし、現在の通貨制度の避けられない終焉、差し迫った崩壊を認めることもできます。これを終焉と考えるのではなく、素晴らしい新たな始まり、チャンス、健全な経済政策への回帰、低い負債水準、公正な通貨価値、課税と市場のボラティリティの減少と見なすこともできます。

健全な通貨と自由市場による世界通貨のリセット:

腐敗した通貨システムとそれに続く「バブル」経済を健全な通貨と自由市場に置き換えることは、誰も恐れるべきことではありません。それは私たち全員にとって祝う価値のある変化です。そして最終的には全員がそれに感謝するでしょう。しかし、あなたはさらに、来たる通貨革命で大きな勝利者の一人となるために、今すぐ行動を起こすこともできます。

この来たる経済危機は、近代史上最大の富の移転となるだろう。私たちがそのバランスのどちら側に立つか、つまり受益者になるか被害者になるかは、私たち次第である。

ホワイト ドラゴン ソサエティ (WDS) はすでに、前述のように絶対的な世界平和の実現に積極的に取り組むという条件で、少なくとも 20,000 トンの金を 13% 割引で米国ハザール連銀に提供することで反応しています。この金の所有者は中国軍であり、中国共産党政府にも中国企業にも引き渡さないと断言しています。彼らは、99.99% 純度の 12.5 キログラムの延べ棒に精錬された 20,000 トンの金とは別に、またた

くさんの金が残っていると言います... CIA と中国政府の両方の情報筋が確認しているように、中国軍はホワイト ドラゴン ファミリーに報告しています。

新しい金融システムを妨害し、地球の利益のためにアジアの金の使用を妨げているのは、ジェイコブ・ナサニエル男爵である。 ロスチャイルド。彼は、米ドル、ユーロ、日本円、および中国元とロシアルーブルを除く他の多くの通貨の発行を管理するハザールマフィアタコシンジケートの長です。2016年にアジアの長老たちが世界的な通貨リセットを実行するために金を13%割引で提供したときに、邪魔をしたのは彼でした。この計画は、RKMが管理する機関とアルコンファミリーのメンバーの大半から支持を受けました。

米国の軍産複合体の中には、米国がこの申し出を受け入れる必要はなく、連邦準備制度理事会を掌握した今、ドルを印刷すれば米国のすべての問題を解決できると考える人々がまだいる。大統領選挙運動中、ドナルド・トランプは自分がその一人であることを明らかにした。2016年5月9日、トランプはCNNで次のように語った。

「人々は私が債券を購入し、債務不履行に陥りたいと言っていますが、彼らは狂っています。これは米国政府です。まず第一に、お金を印刷しているので債務不履行になることはありません。残念ながら、いいですか？だから債務不履行は決してありません。」

どうやらトランプは、彼の紙幣増刷案がハイパーインフレに終わることを知らされていないようだ。さらに悪いことに、海外に保有されている米ドルはすべて時代遅れとなり、国内に戻ることになる。さらに、中国人は手に入る限りのアメリカの資産を買い漁っている。これらは何兆ドルもの巨額の投資であり、それだけでも信じられないほどのハイパーインフレを引き起こすだろう。 - 経済学者のマイケル・ハドソンは、そのことを次のように明確に述べている。

「各国は、インフラや生産的な投資の資金を借金ではなくお金の創造によって調達すべきです。政府債務の使用は、民間銀行がお金の創造を可能にするだけであり、債務は銀行に支払われる利子で返済されなければならない、経済の購買力を奪います。さらに、債務は敵対者の手に渡り、経済を不安定化させるために使われる可能性があります。」

これらすべての危険は、世界通貨のリセットが達成されれば回避されるでしょう。[詳細を読む](#) ニール・キーナンに送られた最新の情報報告書はこちら。

20. 通貨準備制度の調査

- お金の幻想
- 中央銀行家は操作者である。
- 借入金:
- 永久債務:

増大する負債:

アメリカの借金が膨らむと、債権者は米ドルを放棄するだろう。それは、アメリカ経済を沈没させようという意図的な試みではなく、借金返済のためにアメリカが何兆ドルも印刷すれば必然的に生じるインフレに対するリスクを回避するためだ。このシナリオでは、米ドルは世界の準備通貨としての地位を失い、ドルの大幅な切り下げを含むさらなる金融、政治、社会問題が連鎖的に発生する。我々に問うべき真剣な問題は、突然の危機で政府が食料を供給できなくな

ったら、フードスタンプに頼っている 4,600 万人の人々はどうかということだ。

人類史上初めて、世界経済全体が紙幣、つまり金などのいかなる準備商品にも結び付けられず、裏付けられていない米ドルに依存するようになりました。

世界中の銀行準備金のおよそ 60% は米ドルです。米国の指導者や銀行家は、米ドルの驚くべき金融柔軟性を高く評価しています。米ドルが世界の準備通貨であるという地位により、米国の指導者は世界の他のどの国もできないこと、つまり借金を返済するために合法的に紙幣を印刷することを許可されています。このシステムが維持されている限り、米国の信用には制限はありません。まったく制限はありません。

このシステムが第二次世界大戦後に作られたとき、アメリカの評判は悪かったので、アメリカが世界に対して純債務国になることは誰も信じなかった。当時、アメリカは世界最大の債権国だった。彼らにとって、ドルの価値を堅固かつ安定させ、ローンを健全な通貨で返済することが最大の利益だった。

しかし、無制限に借金を積み上げる力は、すぐに政治システムを腐敗させました。50年も経たないうちに、米国は世界最大の債権国から純債務国になり、最終的には世界最大の債務国となり、記録に残る史上最大の債務国となりました。このような無制限の信用にアクセスすることで、平時の総予算がGDPの5%を大きく下回っていた米国連邦政府は、GDPの25%近くにまで成長しました。

米国紙幣保有者に健全な通貨で返済する現実的な能力がない

。

その結果、今日、世界の金融システムの基盤であり続けている米ドルは、「無価値な借用書」に過ぎない。米国財務省は、米国のGDPを超える現在の債務総額で、その紙幣の保有者に健全な通貨で返済

する現実的な能力を持っていない。そして、これには、地球上のすべての国の流動資産の価値を合わせた値を超える米国政府の未返済債務は含まれていない。

それで、次に何が起こるのでしょうか？

米ドルが世界の準備通貨としての地位を維持する限り、米国は借金をどんどん増やし、その巨額の債務を紙幣印刷機で賄い、このシステムが崩壊するまで搾取し続ける動機を持ち続けるだろう。

覚えておいてください、ドルは純粋に紙、あるいはデジタルの抽象概念です。ドルはいかなる固定価値にも結びついていません。文字通り、米国が毎年何兆ドルもの借金を続けることを妨げるものは何もありません。

この信じられないほどの力は、パイにさらに切り分けをすることでより大きなパイを作れると、信じられない思いで信じている米国の指導者たちにとって奇跡として機能した。彼らは、このようなシステムのマイナス面を十分に考慮することはできなかつただろう。ドルへの信頼が失われたら、いったい何を使ってパニックを止められるというのか？準備金はない。あるのは紙幣だけだ。

脅威：

米国の二大経済ライバルである中国とロシアは、世界中で大量の金やその他の戦略的な商品や資産の購入を開始している。両国は、米ドルに対する膨大なリスクをヘッジするために、できるだけ早くドルを活用している。



中国とその他の国々も、ドルを使わずに物品を交換できる貿易協定を交渉してきた。他の数十カ国もこれに加わり、世界中でドルの使用が減っている。

1971 年以来初めて、ほとんどの中央銀行が金の純買い入れを行っている。これは事実上、すでに始まっているドルへの買い漁りである。信用格付け機関のスタンダード & プアーズは、こうした動きと連邦政府の継続的な暴走的な支出を受けて、米国債の格付けを引き下げた。多くの大手企業は、ニューヨークでドル建て債券を売るのではなく、中国の資本市場を利用して人民元建て債券を売り始めている。これは、他のより安全な通貨に対する投資家の関心が高まっていることを反映している。

本当の試練は、FRBが市場介入をやめ、マネーサプライの大幅な拡大が引き起こす避けられないインフレを抑えるために、ようやく保有する債券の一部を売却し始めたときにやってくるだろう。

世界中の投機家は、ほぼ確実に金儲けできる方法を持っている。それは、FRBの債券購入オペレーションを先取りするだけだ。逆の場合も同じことが言える。FRBが保有する数兆ドルの米国債を売り始めると、世界が真っ先に売ろうとするだろう。

そうなれば、世界的なドル高が進む可能性がある。

繁栄や富への道ではありません。

ドルの価値が下がると、株価と利益の名目額は上昇します。つまり、ドル安は株価上昇への道の 1 つです。しかし、それは繁栄や富への道ではありません。それは単にシステム内のドルが増えていることを示すだけです。

システムは柔軟性を失っています。この柔軟性のなさが、システムを脆くもろくしています。システムの管理者は、システムとシステム自体の両方に非常に自信を持っていますが。中央銀行の印刷機は

自信を生み出しますが、脆弱性も生み出します。詳細は次のとおりです。

Fed が支出削減を脅かし、ECB の買い入れに対する法的訴訟が増加する中、金融資産、特に債券の価格が下落する現実的なリスクが生じています。この下落に対する懸念が、最近の市場動向の原動力となっているのかもしれませんが、しかし、何かもっと大きなことが起こっているとしたらどうでしょうか。最近の日本の出来事は、市場がもっと危険なことに反応している可能性を示唆しています。

市場は制御するには大きすぎる：

もし世界の中央銀行が紙幣制度のコントロールを失ったらどうなるでしょうか。もし世界の主要主権政府が多額の負債を抱え、国民さえも債務を履行する意思のない状態に陥ったらどうなるでしょうか。もし世界の通貨制度の基盤となる債務を負う政府が破産するだけでなく、実際に支払い不能に陥ったらどうなるでしょうか。

複数の量的緩和政策を通じて、中央銀行は世界最大の国債購入者となってきました。しかし、金利が上昇するにつれ、中央銀行は過去数年にわたって行ったすべての購入で最終的に赤字に陥ることになります。FRBは米国債を購入するために紙幣を印刷しているだけでなく（いずれにしても愚かな行為ですが）、購入した国債で現在損失を出しています。勢いは金利上昇に有利です。

中央銀行は金利上昇を防ぐために全力を尽くすだろう。だから、彼らが何を言おうと、近いうちに量的緩和が縮小されることは忘れよう。しかし、結局のところ、市場は制御するには大きすぎるのだ。

結論：中央銀行の自信過剰は彼らの弱点であり、不換紙幣は確実に消滅する。

中央銀行家は操作者である。

地球上で最も大きな操作者は中央銀行家です。中央銀行家は通貨供給を独占しています。彼らは、主に政府債務である資産を売買することで、いつでもバランスシートを増減できます。

中央銀行は、2008年以降、調整済みマネタリーベースを約5倍に増やし、一方で翌日物銀行貸出金利をほぼゼロに維持している。また、中央銀行は、銀行が連銀に預けている準備金に0.25%の利息を支払っている。中央銀行は、銀行を救済し、連邦政府の巨額の財政赤字を賄う一方で、マネーサプライと金利を常に操作している。

連銀のゼロ金利政策下で金を稼ぐために、銀行はデリバティブカジノ、つまり隠れたオフバランスシートに手を出している。資産スワップを含む取引により、システムリスクが大幅に増大します。

世界のデリバティブの総額は1500兆ドル（1.515）と推定され、2008年の恐慌で金融崩壊寸前まで追い込まれた暴騰に比べ194%増加した。

世界経済は砂上の楼閣である。

金融システム全体は、世界経済を砂上の楼閣に変えた数行の巨大銀行の上に成り立っています。一押しですべてが崩れ落ちます。 - 次の危機が金融市場を襲ったとき、2008年のような連鎖的な出来事が起こることはほぼ予測可能であり、少なくとも10倍はひどいものになることは間違いありません。 - 帳簿に約3.55兆ドルの不良資産をそれぞれ抱える大手中央銀行は、この連鎖的な大惨事を中和することはできないでしょう。

準備通貨である米ドルの価値、つまりその「価格」は、金利によって決まります。FRBが金利を操作すると、世界中のあらゆる市場が操作され、その結果、歪められることとなります。

これは、消費財の価格を操作することや、石油のような大きなものの価格を操作することとはまったく比較になりません。お金はほぼ

すべての取引の少なくとも半分を占めています。お金を操作することは、経済システム全体を操作することに等しいのです。

現在のシステムにおける交換の基本要素は、世界がこれまで経験したことのない種類のお金、つまり 1971 年以降の不換紙幣ドルです。それは紙幣であり、人々がその価値と考えるだけの価値があり、時が経つにつれて価値が下がるべきだと考える人々によって管理されています。これらの人々は誰で、誰のために働いているのでしょうか。

中央銀行家たちは民間銀行カルテルの従業員である。

国民は、彼らが「公務員」だと思っているかもしれない。しかし、それは彼らが国民のために働いていることを意味する。いいえ、残念ながらそうではない。彼らは、RKM（ロスチャイルド・ハザール・マフィア）が間接的に所有し、米国では一般に中央銀行または連邦準備銀行と呼ばれる民間銀行カルテルの従業員であり、**直接は民間銀行が所有している**。これらの銀行は、**何もないところから創造されたお金を貸し出し、これらのローンに対して利息を請求して稼ぐための「部分準備金」**という法的ライセンスを持っている。

ニクソン大統領が準金本位制であるブレトンウッズ体制を終わらせて以来、米国企業の利益に占める彼らのシェアが 4 倍に増えたことは驚くに当たらない。競争のないビジネスだ！彼らの商品原価はほとんどゼロで、ほとんどは彼らが何もないところから作り出す紙幣の印刷コストだ。キーボードを数回打つだけで、数百万ドル、数十億ドル、さらには数兆ドル、ユーロ、円などが作り出される。実に驚くべきビジネス コンセプトだ！少なくとも、彼らのビジネス コンセプトの基盤となっている**金銭詐欺を一般の人々が理解しない限りは**。

詐欺はお金の幻想の中にあります。

互いに信頼し合う一般市民が作り出すお金（信託通貨）と中央銀行が作り出すお金（負債通貨）を合法的に平等にすることで、後者は前者に対する信頼を獲得する。その結果インフレが発生するが、それ自体は単純な窃盗である。マネーサプライの増加は社会的信頼をはるかに超える。2種類のお金（信託通貨と負債通貨）の対立は明らかである。なぜなら、1ペニーは原則として市民間の私的取引に1度しか使えないが、その同じ1ペニーが、政府が関与する計画を通じて、市民の同意や認識なしに、**再び公債の返済に充てられると約束されているからである。**

借金金：

分析的に簡単に言えば、お金の債権者である中央銀行に、何もなかったところから創造された同じお金が返済されるということです。中央銀行と虐待された国民の間には、**国民が中央銀行の通貨で税金を支払うよう政府が義務付けるという煙幕が張られています。まさにこの約束が借金の本質を定義しているのです。**

この仕組みにより、インフレが発生します。これは、多かれ少なかれ、既存の信託金に不換紙幣（負債金）が注入されたことに起因します。これは実際には、国民に対する「**信頼の悪用**」であり、**簡単に言えば詐欺**です。借金は常に返済する必要があることは誰もが知っているため、国民は、何の約束もしていない借金を集団で返済し続けます。これは意図的で露骨な**詐欺**です。

この詐欺の結果は、**借金がすべて返済されれば、流通するお金がなくなる**というものです。なぜなら、マネーサプライの最初の要素である信託マネーは、2番目の要素である負債マネーの担保として機能し、2番目の要素は最初の要素の購入に使用され、どちらもお金の幻想を支えているからです。言い換えれば、**お金を生み出すには公的債務が必要ですが、国民は公的債務を返済するためにお金が必要だと言われていますが、もちろんこれはまったくのナンセンスであり、大きな嘘**です。

100年前のヘンリー・フォード1世はこう言いました。

「もし人々がお金という名の詐欺を理解したら、明日には革命が起こるだろう。」

おそらく、今や誰もが、政府がどのように国民を騙しているかを理解するだろう。

中央銀行融資の返済義務なし：

主権国家は、返済不可能な負債を負わされ、その後、存在しない「信用」の負債の支払いとして土地や資源の権利を譲渡する取引を持ちかけられることで、ひどい経済的苦境に陥ります。これが、今日の世界的な経済危機の誕生の概略です。

金銭詐欺を理解した上で、なぜギリシャ、そして同様に他の国も、それらのローンを返済しなければならないのか？そのお金はどこから来たのか？それは納税者から来たのではない。それは世界の他のすべてのお金と同じように、どこからも来なかった。それで返済されなくてもどうなるのか？何の違いもない。

さらに、中央銀行は国債発行の 100% を購入し、それを燃やすべきであり、実際にそうするだろう。そうすれば、法外な政府債務問題は解決する。政府債務は帳消しになり、忘れ去られる。中央銀行家たちは、かつて存在したこともなく、決して返済できないお金で朝食、昼食、夕食を楽しむこともなくなるだろう。

裸の真実：

信頼のお金は、4 つの条件を満たすことで生まれるお金です。

- 貯蔵寿命
- 分割可能
- 認識できる

- ・ レア

負債金は、人々が社債を担保に「信託金」を貸し借りすることで生まれるお金です。少額であれば、それ自体がお金として利用でき、債権者は新しい所有者に供給される商品と交換します。債権者は、現在の未返済の負債の所有者になります。その結果生じる債務義務は、信頼を通じてお金に変換されます。

この後者の原則は、中央銀行が無から負債通貨を作り出すために（悪用）されており、これが信託通貨の「信頼」であるため、時間が経つにつれて負債通貨だけが残ることになります。

この借金は、政府の法律によって国民に課せられ、「法定通貨」と宣言され、公的機関ではなく民間機関によって発行されます。

さらに恥ずべきことは、「徴収された税金」が道路、交通機関、堤防などの資金として使われるのではなく、「永久債務」の資金調達に使われていることです。

詐欺の概要：

信託金の誓約は約束です。「借金」から生じる借金の担保には、中央銀行への「終わりのない」借金を返済するために政府が徴収する税金の担保が必要です。中央銀行自体が何も無いところから発行した通貨が、すでに流通している信託金と混ざり、詐欺が目に見えなくなります。



国民に対する隠れた搾取：

中央銀行は負債紙幣を印刷し、納税者に信託紙幣で返済するよう強制します。信託紙幣とは、エネルギーの投入、血と汗と涙による生産によって得られたお金です。このようにして、国民はコストがかからない負債紙幣によって搾取されます。金と銀は、その固有の価値が認められているため、本物のお金であることは明らかです。そ

のため、中央銀行家は金と銀を嫌悪し、不正なお金と呼んでいます。

金は、日々行われる信頼の濫用に対する防御です。 - 信頼の危機は、政府が借金を返済できないときに始まります。ハイパーインフレが発生した場合、これは誰の目にも明らかになります。考えのない大衆は、お金は空気でしかなく、太陽の下で雪が降るように急速に蒸発し、すべての貯蓄がゼロになることを身をもって学びます。そして、これが起こり始めると、彼らは不換紙幣制度への信頼を失います。 - この時点で、金と銀の搜索が本当に始まりますが、その時はもう手遅れです。誰も金と銀を売ろうとしないからです。

この詐欺は、中央銀行が政府に課す永久ローンという前提に根ざしており、そのローンの前には存在しなかったお金が、国民の税金を担保にして借り入れられる。政府自身が無利子で作り出すことができたお金である。しかし、政府はロスチャイルド・ハザール・マフィアが所有する企業に偽造されており、その結果、中央銀行から借り入れる義務がある。真実は、何もないところから何かが生まれるような方法で操作されている。

真剣に考えるべきもの！

永久債務：

永久政府債務は、中央銀行からの借入に使われる担保として貸借対照表に反映されますが、中央銀行では資産として計上されます。「永久債務」はそれ自体不可能ですが、負債として記録されるのではなく、資産として計上されるのはなぜでしょうか。

これにより、資産「既存のお金」と負債「返済の約束」の間に潜在的な矛盾が生じます。 - **すべての負債が返済されると、流通しているお金はなくなります。**

詐欺の手順：

何もないところからお金を作り、それを法定通貨にして、永久ローンという基本的な幻想に縛られてお金の循環に注入する。永久ローンは負債ではなく資産として考えるべきものである。この詐欺をサポートするために、中央銀行、またはECBの場合は金融機関を通じて取得される国債が発行され、詐欺にさらに別の幻想が加わる。

そこで中央銀行は、何もないところから作り出されたお金、つまり労働や生産から生まれたお金ではない信用貨幣で国債を買う。負債貨幣は、すでに存在している信用貨幣と混ざり合う。これを椅子取りゲームに例えると、音楽が止まると、座席の数が足りなくなり、その瞬間にシステム全体が崩壊する。音楽はインフレで、椅子は信用貨幣だ。そして、音楽を流し続けるためにはインフレが必要であり、一方デフレは致命的である。今のところ、世界はまずデフレの深淵に消え去ろうとしている。

ゼロ金利の理由:

信用貨幣の蒸発は金利の上昇につながります。貨幣が消えると、利用できる貨幣が少なくなります。また、ローンの返済は流通する貨幣の量を減らします。人々が既存のローンを返済することほどデフレを招くことはありません。したがって、金利は低く維持されなければなりません。そうでなければ、人々は雨の日のために貯蓄し始めます。貯蓄もデフレを招くからです。したがって、紙幣を増刷するとインフレが発生します。これは限界点に達するまで続きます。限界点に達すると、実質的にインフレが名目金利よりも高くなります。これは、負債貨幣が過剰に作成され、生産から得られる信用貨幣の割合が大幅に減少した時点です。言い換えれば、国民の信頼が大幅に損なわれ、経済が改善すると信じる人は誰もいなくなります。そして、その時点で、物理的な金と銀だけが個人的な災難からあなたを救えるのです。

アルコン血統の暴君を打倒する:

私たちが介入しない限り、アルコン血統（RKM）がアジェンダ21のミッションを完了するにつれ、人々の富の盗難は容赦なく続くでしょう。そうすることで、彼らはお金の管理とは別に、食料、水、住居へのアクセスも管理する必要があり、人々を逃げ場のない悲惨な経済的苦境に陥らせます。食料、水、住居の最低限の割り当てを得るために、人々は言われたことを何でもするでしょう。- 人間のマイクロチップの埋め込み、強制不妊手術、血統のメンバーが注射器に入れることを選択した、致命的または精神的、感情的、または身体的操作のゴミの化学混合物の強制ワクチン接種。人々は、働くように言われた場所でのみ住むことを強制され、子供たちの完全な管理を国家に引き渡し、おそらく二度と子供たちに会うことはないでしょう。これは、養うことができなくなったという理由で子供たちを売ったり、手放したりするギリシャの親と何が違うのでしょうか？中流階級は経済の基盤であるため、世界中で経済的困難の標的になっています。中流階級が消滅すれば、上位1%の富裕層を除いてすべてが消滅することを銀行家たちは知っている。

もしギリシャのシリザ政権がEUを放棄し、代わりにBRICS銀行に加盟してパイプライン計画に関してロシアから資金を受け取るとしたら、それはRKM支配のEUを終わらせる正しい戦略かもしれない。ギリシャ人は西側諸国に民主主義を回復し戻す歴史的なチャンスを得たのだ。

間違いなく、**私たち国民が率先してこの狂気を止めなければ**、私たちの子供たちは死ぬか、完全に奴隷化されるでしょう。どうか**目を覚まして**、全世界のファシスト政権が**詐欺であり**、地球上のすべての生命を終わらせることだけを目的としていると認識してください。

何ができるのでしょうか？



WAKE UP!

まず、この章のメッセージを認識し、理解することから始めましょう。次に、通貨システムを盲目的に信頼して政府を信頼するのをやめましょう。通貨システムは、**何もないところから、何もないところから作り出された借金です**。私たちは、この自殺的な借金ベース

の通貨システムを止める必要があります。

このシステムが崩壊すると、アルコンの血統、1%、ディープステート、RKM、エリート、または彼らが好んで呼ぶ名前の最も重要なツールが失われます。お金を生み出す最も強力な武器を失うことで、彼らは私たちに対する力を失います。借金のお金は幻想であり、富裕層の1%を豊かにするためのあからさまな詐欺であることを知っておいてください。それはお金ではなく、信頼に値しません。抑圧、不正、操作から解放され、より良い世界に変えるために協力しましょう。

その報酬は、貧困のない完全な自由な生活、その代わりに地球上のすべての人々にとっての大きな富、豊かさ、そして自由となるでしょう。

この本、特にこの章のメッセージを、少なくとも 10 人以上の友人に広めてください。個人的な動機も添えて、友人の連絡先にもこの本を読んで転送するよう依頼してください。まもなく、世界は、変化を求め、変化のために立ち上がり、変化そのものとなる、情報に精通した何百万人もの市民で満ち溢れるようになります。私たちがまず率先して行動すれば、私たちの背後には、私たち国民に代わって仕事を成し遂げてくれる、信頼できる有能で強力な勢力が数多く存在します。あなたの子供や孫たちは、あなたに感謝するでしょう。

詐欺：

要約：お金に関する経験が浅いために、この章で説明した内容を完全に理解できない場合に備えて、詐欺の簡単な要約を示します。すべての政府が犯した重大な犯罪詐欺の「本当の意味」は、一目で理解できます。

流通しているお金には2種類あります。

- a) エネルギーから得られるお金 = 「信頼のお金」
- b) 中央銀行によって創造された、何もないところから生まれたお金 = 「借金のお金」

- お金 a) と b) は法的に「等しい」と宣言されます。 - 既存のお金の量にインフレを引き起こします。このインフレは、すでに流通しているドルの購買力が低下するため、盗難です。
- a) と b) を等しくすることで、負債通貨(b)は不当に信託通貨(a)の信頼を獲得します。これは、政府が国民に対して信頼を悪用していることを意味します。
- 原理：1 ドル/ユーロは 1 回しか使用できません。しかし、その同じドル/ユーロは、政府によって再び使用され、中央銀行に 1 ドルの負債通貨を作成するための担保として提供されます。
- 債務返済は、同じ中央銀行によって何もないところから作られた借金のお金 (b) で支払われます。 - 現在「公的債務」と呼ばれているこの借金は、主に借金のお金 (b) の創造に役立っています。これは完全な詐欺です。なぜなら、被害を受けた国民は知らないうちに、中央銀行への「偽の借金」を税金で返済するよう強要されているからです。
- **このコミットメントこそが借金の本質を定義するものである**

(b) .

詐欺の矛盾：

b) 借金のお金を作るには国家債務が必要であり、国民は「借金を返済する」ために税金が必要だと告げられる。この発言は明らかな嘘であり、全くのナンセンスだ。

なぜなら、これは「借金がすべて返済されれば、流通するお金はなくなる」という論理的な結論につながるからです。

決して返済できない「永久債務」という言葉を作り出し、これによって政府は大嘘つきになっている。

結論：

政府は国民に対する信頼を広範囲に悪用しており、これは犯罪詐欺であり、意図的な詐欺行為です。さらに悪いことに、政府は国民の利益のために自ら「**無利子**」でお金を創造することもできたはずで**す**。

覚えておいてください。中央銀行はロスチャイルドが所有する民間の組織です。

ハザールマフィアは、自分たちとその1%の仲間を豊かにするために、この借金詐欺をでっち上げ、国民の収入から盗み、国民から搾り取ろうとしている。政府はこれを知っており、この詐欺の共犯者となっている。政府はこれらのマフィアを手助けしている。なぜなら、彼らは賄賂を受け取って、文字通り悪魔に魂を売ったからだ。

政府の詐欺は次のように要約されます。

国民の信託金を、a) 国民の同意なく、中央銀行の負債通貨創出のための「担保」として差し出すことは、政府による非難されるべき犯罪行為である。

価値のない借金のお金 b) を担保として、信託お金 a) に裏付けられた何もないところから作られた税金が政府によって創設され、国民に課税を通じて返済を義務付け、中央銀行に「永久」の借金が作られたが、これはそれ自体不可能である！ これらすべては、同じ中央銀行が何もないところから発行した通貨で支払われることが法律で強制されており、流通している信託お金 a) と混ざり合っただけ詐欺を見えなくしている。

富の不公平な分配が描かれている：

[インフォグラフィックは富の分配を説明する](#) アメリカでは、不平等と、不平等に対する私たちの認識と実際の数字の差が浮き彫りになっています。現実には私たちが考えているものとは異なる場合があります。

それは、中流階級が消滅しつつあり、最も裕福な1パーセントがアメリカの富の40パーセントを所有している一方で、下位80パーセント全体ではわずか7パーセントしか持っていないという事実を明らかにしている。

アジェンダ21の説明。

アジェンダ 21（現在はアジェンダ 2030 と呼ばれている）が人類に及ぼすあらゆる影響に加えて、次のビデオでは、この悪質なアジェンダの交渉に関わった特定の人々の意見が共有されています。事態がどう転んでも、内部の人間がしっかりとコントロールしている様子をご覧ください。実に[興味深い内容です](#)。

アジェンダ 21 - 新世界秩序のための人口削減アジェンダ

新世界秩序の実現のためには、地球上の人口を削減しなければなりません。

推奨事項: [このビデオを見て学ぶ](#) 皆が眠ったままのときのあなたの可能性のある未来について、そして次の章「終わりの始まり」をよりよく理解するために。

21. 部分準備銀行詐欺の説明

- 人類史上最大の詐欺。
- 部分準備金の欠陥。
- 部分準備銀行制度は必須でしょうか？
- 部分準備銀行制度こそが本当の敵だ。
- お金がどのように作られるか。
- お金の幻想。

部分準備銀行制度：

人類の自由は、腐敗したお金への奴隷状態からの解放から始まります。世界金融システムは、中央管理され、民間所有の不換紙幣、部分準備通貨を中心に構成されています。これは、世界の銀行エリートの**計画的なツールであり、意図的に国民をインフレと借金返済の不可能に奴隷化します。借金に裏付けられたお金**で世界を支配しようとする金融マスターの試みは、彼らの最も途方もない夢を超えて報われ、その結果生じた経済的不均衡と財政的残虐行為は経済のあらゆる場所で見られ、地球上のすべての国で明らかに明らかです。貧困がグローバル化している一方で、銀行カルテルとその1%のエリート仲間は、歴史上最も良心的な王や支配者でさえ想像できないほどの富を獲得しています。



部分準備銀行制度では、銀行は顧客預金の額の倍数で融資を行うことができる。このような制度では、銀行は十分な法定通貨を保持していない。

銀行は預金者全員の

引き出し要求を満たすために紙幣（現金）を用意する必要があります。預金者全員とは限らない多くの預金者が現金を要求した場合、銀行は需要を満たすことができません。そのため、部分準備銀行は政府の保険と、必要なお金があるという預金者の**信頼と自信**に依存しています。**信頼が失われ、同時に多くの預金者が現金を要求すると、「取り付け騒ぎ」と呼ばれ、銀行は破産し、銀行の救済措置が必要になります。**

長期的には、部分準備銀行制度はお金の供給過剰と消費者物価および資産インフレにつながります。消費者物価インフレは政府による窃盗であり、生活費の上昇によって裕福でない人々に損害を与えますが、資産価格インフレは資産の名目価値の増加を通じて裕福な人々に利益をもたらします。

お金を創造する特権は、銀行部門にとって追加の利益です。なぜなら、銀行は、紙と印刷インク以外には費用がかからない、何もないところから創造されたお金に対して利息を徴収するからです。**私たちの社会全体が、税金という形で、何もないところから創造された政府債務の利息を支払っているのです。**

つまり、ハザールマフィアが所有する民間銀行は、世界中の国民を犠牲にして現在の部分準備金制度の直接の受益者であり、これらの

犯罪者によって引き起こされた今日の金融危機の犠牲者をすべての国民にしているのです。

欠陥:

したがって、このシステムでは不換紙幣は価値を維持できないのは明らかです。通貨が価値を維持すれば、政府がその実績について嘘をつく動機は少なくなります。政府は、自国の通貨が健全であり、国民の貯蓄が毎年少しずつ価値を増していると正直に主張できます。貯蓄者は儉約に対して報われ、借り手は浪費に対して罰せられません。

部分準備銀行制度が最終的に違法とされれば、銀行はもはや大量の新規印刷紙幣の分配者ではなくなり、その力ははるかに弱まり、目先の手数料収入のために無分別な融資を行う動機も減り、管理する資源も少なくなるだろう。

部分準備金の欠陥:

部分準備制度には、自由市場に不可欠なフィードバックメカニズムを歪める 3 つの欠陥があります。これらの誤りは次のようにまとめることができます。

あまりにも多くの預金者が同時にお金を返して欲しいと望むと、銀行は預金者の要求を満たすほど早く未払いの融資を現金に換えることができず、破綻し、預金者は失望するでしょう。最終的にこれは不信感を招き、銀行の取り付け騒ぎとなり、システムが破綻します。

システムは必然的に通貨を破壊します。事実上無制限の信用を創出できますが、信用は富ではありません。その結果、通貨の価値が下がり、通貨単位の価値が経済の実質的な富に比べて次第に低下し、インフレを引き起こします。こ

これは決して受け入れられる *価値の保存方法* ではありません

。

それは市場を歪め、資源を誤って配分します。紙幣は金貨や銀貨と同じくらい価値があるという神話を永続させるために、銀行家たちは政府を操作して、元々の *信託貨幣* と彼らが作り出した *負債貨幣の両方* を「同等の価値」で流通させ、後者はそれに伴うリスクのために割引価格でのみ受け入れられるべきであったのに、両方を受け入れ、実行させました。

部分準備銀行制度は必須でしょうか？

預金者が望むときにお金があるという要求と、同時に、その預金を何十年も拘束することになる 30 年の住宅ローンに対する借り手の要望を満たしながら、部分準備金融なしで銀行システムがどのように機能できるだろうか。そして、この市場は政府の監視と管理なしで運営できるだろうか。

銀行システムが 2 種類の銀行に分かれていると想像してください

。

- 「**商業銀行**」は、手数料を支払って預金を受け付け、安全に保管することを目的に設立されました。これらの銀行は、預金者のお金を危険にさらすことなく、商品やサービスと引き換えに預金者の通貨を送金することで支払いが行われる当座預金口座を提供します。
- 「**信用銀行**」は預金に対する利息の支払いと貸付を目的としていますが、預金期間と貸付期間を一致させるという前提条件があり、預金者にリスクを通知して、得られる利息がリスクに見合うかどうかを預金者が判断できるようにします。

いつでも引き出せる預金はローンの資金としてのみ利用でき、銀行は要求に応じてそのローンを返済できるが、長期預金は5年住宅ローンのような長期ローンとマッチングされる。

預金者がより長期間にわたってお金を預ける場合、対応する住宅ローンの金利は銀行にわずかな利益をもたらすほど高くなるため、より高い金利が課せられ、30年住宅ローンは高額になり、取得が困難になる。

家を買うとき、あるいは、非常に長期間にわたって資金を拘束する必要がある他のものを買うときは、多額の頭金を要求すべきである。そうすれば、銀行は預金者への返済能力を守るために、ローンの価値以上の金額を差し押さえて差し押さえを行う機会を得ることができる。こうすれば、預金者に長期間にわたって資金を拘束するよう説得するのに必要な安全性が提供されるだろう。

銀行がこのように運営される社会では、過剰な債務の蓄積やインフレが起りにくくなり、破綻の頻度も減り、政府の預金保険の必要性も低くなるだろう。

投資銀行やヘッジファンドは、投資家の資金を自由に投機し、成功すれば大金を稼ぎ、失敗すれば破綻する。どちらの結果になっても公共の利益は関係ない。もはや「大きすぎて潰せない」TBTFの状況はなくなる！「最後の貸し手」も必要なく、そして最後に、中央銀行も必要なくなる。好況と不況は少なくなり、もし起こったとしてもそれほど壊滅的ではない。債務水準が極めて低い、より持続可能で控えめな世界になるだろう。これは非常に魅力的であるだけでなく、実現可能でもある。

[国民投票](#)を実施する予定だ この件に関して、中央銀行の単独の通貨発行権を剥奪する急進的な提案が、請願書に11万人の署名が集まれば行われるだろう。Vollgeld [Initiative](#)として知られるキャンペーングループは次のように述べた。

「銀行はもはや自らお金を創造することができなくなり、預金者や他の銀行から得たお金を貸し出すことしかできなくなるだろう。」

通貨発行権は国民に返還されなければならない。

アメリカ合衆国第3代大統領（1801-1809年）[トーマス・ジェファースンの厳しい警告](#)（1743 -1826）は無視されました。政府関係者は誰も知らなかったとは言えず、全員がロスチャイルド銀行カルテルから賄賂を受け取って見て見ぬふりをしていました。

もしアメリカ国民が、最初はインフレ、次にデフレによって、民間銀行が通貨の発行を管理することを許すならば、彼らの周りに成長する銀行や企業は、国民からすべての財産を奪い、彼らの子孫が父親が征服した大陸で家を失い目覚めるまで続くでしょう…銀行機関は常備軍よりも私たちの自由にとって危険であると私は信じています…発行権は銀行から取り上げられ、それが本来属する国民に返還されるべきです。

簡単に言えば、銀行家が政府と世界を支配しているのです。これは中央銀行と連邦準備制度の設立以来ずっと続いており、1971年に準金本位制が廃止されたことでさらに強化されました。

最大の脅威は大規模なサイバー攻撃です。

RKM が勢力を失うにつれ、彼らはあらゆる偽旗作戦に固執し、手に入るものは何でも破壊するだろう。彼らは、これまで知られているすべての人々の富に対する最大の脅威に訴える可能性が非常に高い。誰もこれについて語っていない。金融システム全体を麻痺させる**大規模なサイバー攻撃だ**。ただ言い訳をするため、責任を自ら負う代わりに、金融バブルの崩壊の責任を負わせるスケープゴートを作るためだ。

お金のほとんどをデジタル形式で保管している場合は、このような攻撃を受ける前に、自分と家族を守るための対策を講じる**必要があります**。 - 最初のステップは、簡単にアクセスできる安全な場所に、かなりの額の現金を保管することです。少なくとも 3 か月から 6 か月分の生活費を保管することをお勧めします。現金は、自宅の金庫、銀行システム外の保管施設、または庭の防水容器に埋めておきます。ただし、決して他人に話さないでください。

これは極端に聞こえるかもしれませんが、考えてみてください。金融システムが危険にさらされると、すべてのデビットカードとクレジットカードが使えなくなります。人々は食料品、ガソリン、その他の日用品を買うために十分な現金を手元に持っていなければなりません。そうでなければ、彼らは脆弱な立場に立たされます。ビル・ホルターが説明しているように：

「これは完全な金融崩壊となるだろう。デフレは起こるだろうが、ドルやユーロに対するデフレではない。金に対するデフレだ。」

つまり、あらゆるものの価値が金に対して下落することになります。

銀行業界のパニック：

自殺的な借金ベースの金融システムは腐敗しており、自己破壊的です。社会の負債額を増やすことによるのみ機能し、負債バブルが破裂するまでしか機能しません。 - 世界は政府が追いつけないほど急速に変化しており、プログラムや機関は価値のない詐欺です。さらに悪いことに、それらは宣言された目標と矛盾する結果を生み出します。たとえば、医療プログラムは人々をより健康にするのではなく、人々をより病気にし、製薬業界に依存させます。

防衛産業への支出は人々の安全を増すのではなく、ドローン、劣悪な介入、偽旗作戦、暗殺に資金を提供し、より多くの敵を生み出し

ます。人々は貧しくなるだけでなく、安全も損なうこととなります。

膨大な官僚制度、税金、書類手続き、規制により事業運営が非常に困難になっており、雇用や実質的な富の創出につながる新たな事業の立ち上げは事実上不可能となっている。

部分準備銀行制度こそが真の敵だ：

部分準備銀行制度は、そのあらゆる不幸な特性にもかかわらず、現在の構造では世界の金融システムにとって不可欠なものとなっている。

*信頼*を維持するために、あらゆる手段を講じるだろう。そのためには、どんな犠牲を払ってでもデフレを防がなければならない。そしてそのために、必要なだけドル、ポンド、ユーロ、円などを印刷し続けるだろう。あらゆるところにピラミッド型のレバレッジが構築されている。いったん債務不履行が発生すると、それが連鎖的に経済全体を破壊してしまう。

「部分準備金」制度は法律で裏付けられていなければならないため、自由市場では機能せず、結果として、紙幣が金などの商品と交換可能な場合には機能しない。紙幣は「法定通貨」、つまり不換紙幣で発行されたものでなければならない。

ここで私たちの現代文明は危機に瀕しています。主な原因は、金融システム全体におけるいくつかの極めて持続不可能な慣行です。そして、私たちの中の楽観主義者は、経済発展に関する政治的ナンセンスをすべて信じ込んでいますが、大衆も急速に通貨システムへの*信頼*を失っています。

西洋世界で知られている最大の金融破綻、大恐慌後の時代の余波の影響を十分に理解した多くの経済学者、CEO、中小企業の経営者、起業家、政治家、そして国民は、2008年の株式市場の崩壊がウォ

ール街のホワイトカラー犯罪者にとって目覚めとなるだろうという誤った希望を抱いていました。

おそらく彼らは、自分たちのやり方が間違っていたことによりやく気づき、自分たちの社会を健全に保っている基盤そのものを破壊していたことを理解するだろう。ひょっとすると、彼らは、自分たちの飽くなき欲望を抑えようとする無駄な試みで、破壊していた命を垣間見るかもしれない。

『君主論』を読んだことがあるなら、ここで私たちが扱っているのは最も誤りやすい人間の欲望、つまり権力への欲望と、それを手に入れるために何でもする意志、そしてそれを手に入れて保持するために残酷な執拗さを見せる欲望であることがわかるでしょう。犯罪銀行家たちは、現在「システム」ですべての権力を握っている者たちです。

権力は腐敗する。銀行家は権力者だ。彼らは全てを欲しがり、それを守るために全てを危険にさらすこともいとわない。

「金利を引き上げるにせよ、あるいはQE4という非常識な政策で最終的に古い印刷機を再び稼働させるにせよ、景気後退のような状態にあるという考えは受け入れなければならない現実であり、早ければ早いほど良い」

連邦準備制度の金融詐欺:

10分でわかる 140年間の通貨の歴史。

[このビデオの終わり](#)までに あなた自身で答えることができるでしょう:

- 新しい通貨制度の導入はもう遅すぎたのでしょうか?
- 戦争は経済に良いのでしょうか?

- ニクソンはなぜすべての通貨と金のつながりを断ち切ったのでしょうか？

1971年8月にニクソン大統領が金の窓口を閉鎖した後、財務長官ジョン・コネリーは次のように述べた。

「G7にとって、これは我が国の通貨だが、それはあなた方の問題だ。（今や）我々は新興市場に対しても同じことを言っている」

信用創造：

1990年代初頭に日本のバブルがはじけた後、日本の中央銀行が現代のマクロ経済介入の典型的な策略で救済に向かった。結果は長期の停滞。18年後、米国とEUのバブルがはじけた。FRBとECBが再び現代のマクロ経済管理の典型的な策略で救済に向かった。EUや米国と同様に、日本でも当局は救済、脅迫、無駄な金を投じて間に合わせの「安定」を手に入れた。各国とも、彼らは急速で痛みを伴う調整を回避した。

破綻するはずだった銀行やその他の企業は救われた。

破綻するはずだった投資は、破綻を免れた。米国とEUの富裕層は、資産が大幅に減少するはずだったが、さらに富を得た。そして、3か国とも長期の停滞期にある。日本では25年も停滞が続いている。米国とEUでは、まもなく7年目の衰退期、危機に陥りやすい「回復期」に入る。この停滞を解決するには、干渉をやめるだけでよい。

詐欺が本当に痛いところ：

所得が一般大衆から内部関係者に移っただけでなく、経済の本当の問題が隠され、本当の是正が妨げられている。

貯蓄者、特に退職者は、稼いだ利子の多くを消費に回している。金利を引き下げれば、貯蓄者が使えるお金は減る。景気低迷も、連邦

準備制度理事会が真の調整を認めないことの副産物だ。最も重要なのは、人々の良い仕事が減り、賃金が下がることだ。

詐欺が本当に痛いのはここだ。無作為に選ばれた10世帯のうち9世帯は、以前よりも使えるお金が減っている。

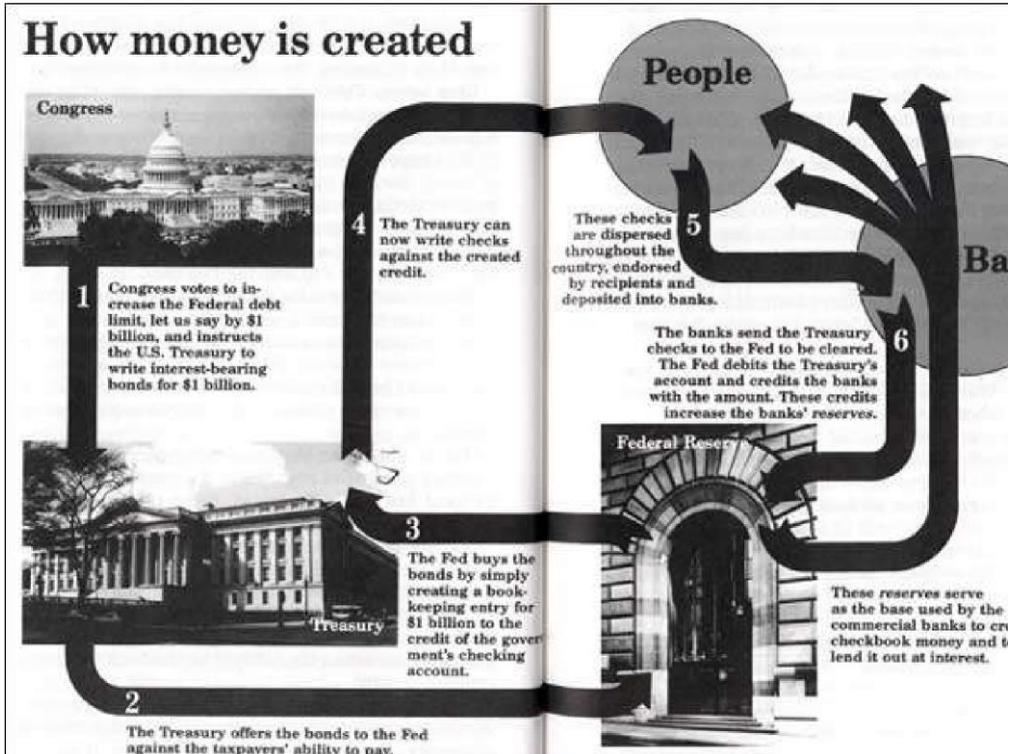
10年前。そして典型的な労働年齢の男性は、さらに大きな苦しみを味わった。

ブルッキングス研究所によれば、男性の実質賃金は現在 1964 年の水準を下回っています。1974 年、平均的な男性の週給は 1982 年のドル換算で約 350 ドルでした。今日、この数字は実質で 290 ドル近くになります。

中央銀行家たちが望むほど価格が上昇しない理由は、もう明らかだろう。簡単に言えば、ほとんどの人はお金を持っていない。そして、責められるべきは中央銀行家たち自身だ。

お金がどのように作られるか:

銀行が融資を行うと、融資と預金の両方が同時に発生します。銀行システムが 10 億ドルの住宅ローンを組むとします。借り手の口座に入金されると同時に、10 億ドルの預金が発生します。事前に預金を用意する必要はありません。これが、融資が「信用創造」と呼ばれる理由です。預金はどこからともなくやってきます。数回のキー操作だけで、銀行システムはお金を作り出します。



巧妙なトリックですね？しかし、話はそれで終わりではありません。銀行システムは次に**準備金を作成します**。これは、預金に対して確保しなければならない金額です。これらの準備金は連邦準備銀行に保管され、**超過準備金と呼ばれます**。

まず覚えておいて欲しいのは、融資は預金を生み出すということ。その逆ではない。銀行は預金を貸し出しているわけではない。また、準備金を貸し出しているわけでもない。

しかし、「多くの人は**超過準備金**が何であるかを理解していない」と元銀行家のクリス・メイヤー氏は言う。

「知っているべき人々でさえも」。この知識を身につければ、結局あなたは多くの中央銀行員よりも賢くなるだろう。クリスは続ける。「銀行システムが実行する巧妙なトリック、つまり全体の鍵をお見せします。これを覚えておけば、大きく間違えることはありません。銀行は預金を貸し出しません。（逆に）ローンが預金を生み出します。」ほとんどの人は、銀行はまず預金を集め、その一部を貸し出すと教えられてきた。「この考え方は完全に作り話です」と彼は断言する。「銀行は実際にはそうは機能していません。」

悲しいことに、FRBの元副議長でさえも理解していない。アラン・ブラインダーは最近、ウォール・ストリート・ジャーナル紙の論説で注目を集めた。

「連銀の銀行口座に眠っている余剰準備金は経済を活性化させるのに何の役にも立たない。我々は銀行にその資金を使ってもらいたい。」

「しかし、銀行は『お金を使う』ことができないことがお分かりでしょう」とクリスは言う。「準備金は預金に対して残余分に蓄えられたものです。そして、銀行は預金を貸し出しているわけではありません。銀行は融資を行うときに預金を創出するのです。システム全体では、銀行が準備金を減らすためにできることは何もありません。」

ん。中央銀行は（ほぼ完全に）その行動を通じて準備金のレベルを決定します。」

では、銀行が準備金を貸し出さないのであれば、「QE」の意味は何かと疑問に思うかもしれません。QEは金利を下げるからです、とクリスは言います。

「金利が下がると、限界的に、そうでなければ借り入れなかったかもしれない借り手が来るかもしれない。貸し手が、そうでなければ貸さなかったであろう融資をするように誘導するかもしれない。しかし、その関係はほとんどの人が考えるよりはるかに弱い。そして、それは準備金とは何の関係もない。銀行は、貸し出しによって利益を上げる方法がわからない場合、貸し出しをしない。私が銀行にいたとき、準備金の状況に基づいて融資の決定を下したことは一度もなかったと断言できる。」

連銀の金利操作は、株式などのいわゆるリスク資産の急騰を引き起こす。金利の低下は資産価格に上昇圧力をかける傾向がある。

「QE は、本来よりも低い金利を維持することで資産価格を膨らませていると批判できる。そして、QE は明らかに借り手に有利で、貯蓄者に不利だ。しかし、銀行が実際にどのようにお金を生み出すのかは、これでお分かりだろう。そして、QE は信用創造プロセスの一部ではない。」

つまり、FRBは金融引き締めを行っていない。経済は回復していない。金投資家はFRBの政策が成長やインフレをもたらさないことを

正しく理解している。むしろ、FRBの政策は何年も続く可能性のある停滞をもたらすだろう。日本を見ればわかる。

その現実が定着すれば、より断固とした直接的な金融刺激策も実施されるでしょう。金の時代は必ず来ますが、明日来るとは限りません。すでに金を保有している場合は、そのポジションを維持してください。金は長期的に見て、堅実な富の蓄えであることが証明されています。それが変わる理由はまったくありません。黄金が安値でサポートを見つけ、そこから上昇するまで、ポジションを追加しないでください。

紙幣の印刷は持続不可能である：

ほぼ10年間にわたる過剰な紙幣発行の後も、銀行危機は重大な解決には至っていない。大規模な資産価格インフレを引き起こしただけだ。不換紙幣制度がもたらす結果はただ1つ、つまり**完全崩壊**だ。また、それは世界規模の米ドル準備通貨の消滅を意味する。その導入により、世界は銀行・金融史上最大のねずみ講に陥った。**世界には世界準備通貨など必要ない**。世界貿易は、国のニーズと資源に応じて、どの通貨でも行うことができる。

FED が率いるすべての中央銀行の目的はただ一つ、大規模な資産価格インフレを引き起こすことです。本質的に破産した国の株式市場が史上最高値に達することはあり得ますか？ FED と世界中の中央銀行は失業問題の解決には関心がありません。なぜなら記録的な失業率では不換紙幣制度が崩壊しないからです。

中央銀行は、不換紙幣制度が経済と同じだと考えているため、無からお金を創造して資産価格をインフレさせることにのみ焦点を当てています。すべての TBTF 銀行はレバレッジがきつく、担保は何度も抵当に入れられ、再抵当に入れられています。私たちは逆ピラミッド詐欺の世界に生きています。

「担保がまったくのゴミであるだけでなく、数兆ドル単位の債務の山を支えている。無から不換紙幣を創造するのをやめれば、不換紙幣制度は直ちに崩壊するだろう。さらに紙幣創造を続ければ、避けられない事態を先送りするだけで、結末はより壊滅的なものになるだろう。」

これは、私たち国民が長い間不換紙幣制度を支配し続けてきたことに対する代償です。国が借金をしていなければ、債券を発行する必要はありません。債券とは、後で借金を返済するという単純な紙の約束です。

EUと米国は最大の債務国であり、毎日借金が膨らんでいます。両国は借金返済のため、そしておそらく経済を刺激するために紙幣を大量に印刷しています。これらの政策はどちらも、長期的には自国の通貨にとって悲慘なものです。

ヨーロッパ、日本、中国、イギリス、アメリカの中央銀行が本当に「もう十分だ。今後は、この無意味な紙幣印刷は中止する」と言ったらどうなるか想像してみてください。市場は大騒ぎするでしょう。歴史は、これが我々の運命であることを明白に示しています。ローマからスペイン、ワシントンまで、中央銀行家たちは、長い金銭腐敗の系譜の最新のものでした。この欺瞞的な行為は古代ローマにまで遡ります。拡大する帝国の需要に資金を供給するために、歴代のローマ皇帝は、コインの銀含有量を徐々に安価な金属で薄めることで「より多くの紙幣を印刷」しました。

よく記録されているように、これはローマ人にとって良い結果にはならなかった。何世紀も後、スペイン人は自国の経済において通貨を膨張させる別の大胆な方法を見つけた。16世紀のスペイン経済は、強力な海軍のおかげで、世界が羨むほどだった。スペイン艦隊は新世界へ航海し、盗んだ金と銀の賞金を持って帰ってきた。1556年から1783年の間に、スペインはボリビアの1つの鉱山から41,000トン以上の純銀を採掘した。

「金と銀の川はスペインに莫大な富をもたらしたが、それは恵みでもあり負担でもあった。安易なお金は偽りの繁栄をもたらした。その後の世代は、その富は思いがけない利益ではなく当然の権利であると信じるように条件付けられた。徐々に消費が製造業に取って代わった。偽りの富は、ガレオン船が新世界から満載で戻ってくるまで続いた。スペイン経済、ひいてはヨーロッパ経済に大量の金と銀を注入したことによる予期せぬ結果は、インフレの爆発だった。」

150 年の間に物価は 600% 以上上昇しました。インフレはスペイン人の購買力を徐々に蝕みました。最終的に、新世界の金と銀の川は枯渇し、スペイン人は破産しました。安易なお金はスペイン人に楽な選択肢を与え、自己満足が商業に取って代わりました。スペインが経済不振から回復するまでに数世紀かかりました。

印刷機がどのように普及したか：

それから 1 世紀か 2 世紀後、印刷機の産業化により、多くの政府がローマの錬金術やスペインの窃盗を再現できるようになりました。印刷は、怪しい貨幣を铸造したり、船で地球の反対側まで航海したりするよりもはるかに簡単であることが証明されました。その結果、不換紙幣の災難が急増しました。不換紙幣の歴史において、紙幣の増刷が経済の根底にある病を永続的に治療したことは一度もありません。

「明らかに、中央銀行家たちは、1700年代のミシシッピバブル、1790年代のフランス革命の紙幣発行に伴う悲劇的な結末を避けられると信じて、「今回は違う」と考えている。

「革命、ドイツ1921-23、ユーゴスラビア1989-94、ジンバブエ1998-2009など。」

歴史は、紙幣の印刷が、その形態を問わず、持続可能な事業ではないことを明らかに示しています。数世紀後、スペイン、ローマ、イ

タリア、そしてその他の西洋諸国はすべて、経済的に破滅に近づいています。古いものはすべて新しく生まれ変わります。登場人物やストーリーラインは異なるかもしれませんが、筋書きは同じです。

オーストリア学派が50年前に世界に教えたことに留意してください。

「当時の現代の金融界は、新世界に相当するものとなった。」

「債務証券は、消費中心のライフスタイルに簡単にお金をもたらす『金の川』だった。西側諸国は、借金で賄われた安価な輸入品と引き換えに、新興市場に産業を輸出した。自己満足が商業に取って代わった。大規模な信用収縮により金の川は干上がりつつあり、西側諸国はこの新たな経済的現実に対応するのに苦労している。」

「ベビーブーマー世代、ジェネレーションY、ジェネレーションXは、これまで過剰な負債に支えられた経済「成長」モデルしか経験してきませんでした。民間部門の信用収縮というこの新しい世界は、私たちにとってまったく未知のものです。」

ヨーロッパでの緊縮政策デモは、社会の大部分が窮地にうまく対処できていないことを示している。西側諸国のあらゆる面で渦巻く経済の嵐は、中央銀行の紙の建物を粉々に引き裂く運命にある。歴史から学べ。好景気は必ず崩壊する。現実是最終的に偽りのお金に打ち勝つ。ただし、この夜明けの瞬間は予想よりも長くかかる可能性がある。有名なオーストリア学派の経済学者ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは、50年以上前に次のような見解を示した。

「信用拡大によってもたらされた好景気的最终的な崩壊を避ける手段はない。代替案は、さらなる信用拡大を自発的に放棄した結果として危機が早く来るか、それとも関連する通

貨システムの最終的な完全な破局として遅く
来るかということだけだ。」

「早い」シナリオでは、世界金融危機によってシステムから40年間の過剰債務が一掃され、無分別な経営の銀行が破綻するのを許していただろう。中央銀行は歴史を無視し、信用を与える紙幣の増刷でシステムを支えることに決めた。こうした遅延戦術は、「完全な大惨事」という「後の」シナリオが私たちが待ち受けていることを意味する。

一方、米国からヨーロッパ、日本に至るまでの先進国の中央銀行における最新の動きは、世界金融危機の過程ですでに確立されていた「緊急通貨スワップライン」が、将来の混乱に対する安全策を提供するという誤った主張のもと、今や恒久化されるというものだ。この「スワップ窓口」により、世界中のすべての国が世界通貨崩壊の火を消そうとする中、すぐに資金の消火ホースが自由に流れるようになるだろう。

この自由な資金の流れがシステムを救うのに役立つ場合、金はほぼ瞬時に 10,000 ドル、銀は 1,000 ドル以上になるでしょう。もしそうならなかった場合、非常に疑わしいことですが、金と銀は多くの「取引所」で取引され続けるでしょう。その場合、電子金融システムのすべてが破壊されるでしょう。

大多数の人々は、この差し迫った大惨事に気付いていない。悲しいことに、歴史は必ず繰り返される。「無償で何かを得る」ことが持続可能な概念だと騙されて信じ込んだ人々は、この不運な実験を受け入れた、彼ら以前のあらゆる文明と同じ痛い教訓を教えられることになるだろう。

慎重になり、人生を脅かす損失を被らないレベルまで「株式への投資」を減らしてください。過去の教訓に従わなければ、退職後の資金は過去のものになります。世界中のすべての政府は、財政面で「

抜け道のない」状況にあります。購買力が落ちていくのをただ座って見ている余裕はありません。

重要な注意：

「中国の通貨は大幅に過小評価されている。世界の他の国々と同等の価値になるには、通貨がおおよそ2倍になる必要があるだろう。」

また、米ドルやユーロとは異なり、利息も支払われます。

お金の最大の秘密は歴史上最大の詐欺です。

[このビデオを見る](#) ここでは、世界史上最大の秘密の 1 つが教えられます。それは、この惑星に住むすべての人に多大な影響を与える秘密です。ほとんどの人は、世界経済に何か問題があることを心の底で感じていますが、それが何なのかを知っている人はほとんどいません。

家族がたった 1 回の給料で生活できる時代は終わりました。毎日、物事はますます制御不能になっているように見えますが、その理由を理解できるのは 100 万人に 1 人だけです。あなたは、今日の世界の不平等のほとんどの原因となっているシステムを発見しようとしています。権力者は、このことをあなたに知らせたくないのです。このポンジー スキームのシステムこそが、エリート同胞団であるイルミナティを過去 100 年間金融食物連鎖の頂点に据えてきたものだからです。

これを学ぶとあなたの人生は変わります。なぜなら、あなたの選択が変わるからです。十分な数の人々がこれを学べば、世界は変わります。なぜなら、システムが変わるからです。



お金に関する最大の隠された秘密です。人類史上、これほど多くのお金がこれほど少数の人間によって略奪されたことはありません。そして、それはすべてこの**人類史上最大の詐欺**によって成し遂げられたのです。

覚えて：

安全な避難先はありません。かつては安全だった銀行預金は安全ではありません。国債はインフレが起こり、ほとんど利息が付かないため、100%安全ではありません。債券は、最終的には金利が上がるため、もはやそれほど安全ではありません。米国の株式は、どのような評価基準を使用しても比較的高価です。特に安全なものはありません。

推奨される資産配分は、株式が約 25%、債券、証券、現金が約 25%、不動産が約 25%、貴金属（金、銀）が約 25% です。

金の価値を高く評価しないでください。保険として考えてください。それよりも重要なのは、ある日いわゆる最悪の事態が起こったとき、中央銀行家たちがその状況を引き起こしようとしているように見えるときに、没収されずに金にアクセスできるようにすることです。



景気低迷の原因：

量的緩和は持続可能ではなく、国民の所得を内部者に移し、経済の本当の問題を覆い隠し、本当の調整を阻害する。貯蓄者、特に退職者は、稼いだ利息の多くを消費する。金利を下げると、彼らの使えるお金が減る。景気低迷は中央銀行の政策の産物でもある。銀行家が真の是正を認めようとしないこと。最も重要なのは、人々のよい仕事が減り、賃金がかかることだ。詐欺が本当に痛いのはここだ。無作為に選んだ10世帯のうち、9世帯は10年前よりも使えるお金が減っている。そして、典型的な労働年齢の男性はもっと苦し

んでいる。 - ブルッキングス研究所によると、実質賃金は現在1964年の水準を下回っている。1974年、平均的な男性の週給は1982年のドル換算で約350ドルだった。今日、その数字は290ドル近くだ。 - 中央銀行家が望むほど物価が上昇していない理由は明らかだろう。簡単に言えば、ほとんどの人は使えるお金を持っていない。そして、その責任は中央銀行家自身にある。

QE は金利を引き下げます。銀行は貸し出しで利益を上げる方法がわからなければ、貸し出しをしません。中央銀行の金利操作は、株式などのいわゆるリスク資産のブームを引き起こします。金利が低いと、資産価格に上昇圧力がかかります。QE は、金利を本来よりも低く抑えることで資産価格を膨らませます。これは明らかに借り手に有利で、貯蓄者に不利です。中央銀行による操作の結果、多くの人が目の前で純資産が消えていくのを見てきました。これは単なる窃盗行為です。

「連邦準備制度理事会が経済システムを維持するために何兆ドルもの紙幣を印刷したことで、多くの投資家や金融専門家は、2008年の崩壊時に西側諸国が直面した根本的な経済問題はすべて解決されたと推測している。結局のところ、株価は史上最高値にあるのだ。」

しかし、内部関係者はそうではないことを知っている。そして、米国の金融政策とそれが国内および世界情勢に及ぼす長期的な影響を唯一理解している人物がいるとすれば、それは連邦準備制度理事会の元議長アラン・グリーンスパン氏だ。

4 人の米国大統領の下で国内の金融政策の立案者となったアラングリーンスパン氏は、連邦準備制度理事会が金融緩和とゼロ金利政策から最終的に脱却を余儀なくされたときに、重要な市場イベントが発生するだろうと発言しました。アラン グリーンスパン氏が、1960年代初頭に遡って、裏付けのない不換紙幣制度を破壊し、銀行の陰謀を打倒する責任を負っていたという反駁の余地のない証拠が

見つかりました。最終的には、これが真の誠実な金本位制への回帰につながるでしょう。グリーンSPAN氏は次のように述べています。

「我が国の経済における最大の問題は、実質的な資本投資の不足だ。」

これらの国々は、米国が犯した本当の欺瞞に気づいていないのだろうか？中央銀行家たちは通常、**権力を行使したいが**、その権力はしばしばひどく乱用されている。

戦争で荒廃し貧困に陥ったウクライナの場合、汚職や権力の濫用がさらに起こりやすい状況にあります。ウクライナ中央銀行は**通貨操作の疑いで告発されていますが**、それは主に中央銀行員が行うことです。中央銀行は、どんなテロ組織や軍隊よりもはるかに危険で、害を及ぼします。彼らは私たちの富を破壊します。その事実を見落とさず、購買力を守るために金や銀を購入してください。金や銀は非常に過小評価されているため、必要なのは買い集めて保持することだけです。

紙幣による信用創造:

お金の創造とFRBおよび中央銀行による運営は、経済学者ジョン・ケネス・ガルブレイスの次の2つの引用で強調されています。

「経済学の他のどの分野よりも、お金の研究は、複雑さを利用して真実を隠したり、真実を回避したりするものであり、真実を明らかにするものではない。」

「銀行がお金を生み出すプロセスはあまりにも単純なので、理解しがたい。」

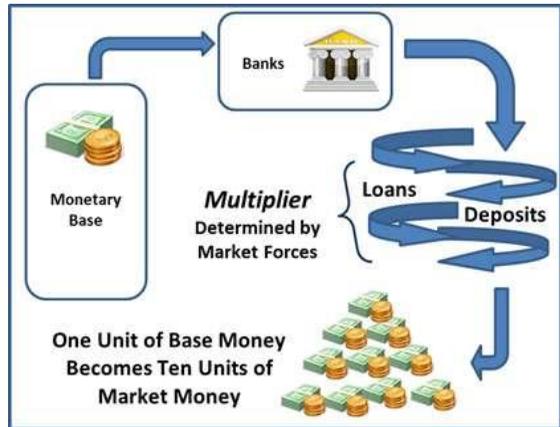
銀行システムは、全体の鍵となるトリックを実行します。

繰り返しますが、これを覚えておけば、大きく間違えることはありません。**銀行は預金を貸し出しません。逆に、融資は預金を生み出します。**ほとんどの人は、銀行はまず預金を集め、その一部を貸し出すと教えられてきました。「この見方は完全な虚構です。」銀行は実際にはそうは機能しません。

銀行が融資を行うと、融資と預金の両方が同時に発生します。銀行システムが10億ドルの住宅ローンを組むとします。同時に、借り手の口座に入金されると同時に10億ドルの預金も発生します。

事前に預金をします。

これが、貸付が「信用創造」と呼ばれる理由です。預金はどこからともなくやってきます。数回のキー操作で、銀行システムがお金を作り出します。



これを暗記してください。なぜなら、これは一言で言えば銀行家たちの詐欺だからです。**融資は預金を生み出す**のです。上で説明したように、その逆ではありません。銀行は預金を貸し出しません。また、準備金を貸し出しません。準備金は、クリス・メイヤーが上で説明したように、預金に対して確保された残余金です。そして、銀行は預金を貸し出しません。銀行は融資を行うときに預金を生み出します。システム全体の規模で、銀行が準備金を減らすためにできることは何もありません。中央銀行は、ほぼ完全に、その行動を通じて準備金のレベルを決定します。

QE は、本来よりも低い金利を維持することで資産価格を膨らませていると批判できます。 - そして、QE は明らかに借り手に有利で

、貯蓄者に不利です。しかし、今や人々は、銀行が実際にどのようにお金を生み出しているかを知るべきです。そして、「QE は信用創造プロセスの一部ではありません」。

利子の支払いのためのお金は決して創られません。

銀行から融資を受けるとき、銀行は顧客の預金からお金を取って貸し出すわけではありません。銀行は帳簿に記入してその場でお金を作ります。融資を受けるまで、そのお金は存在しなかったのです。アイゼンハワー政権で財務長官を務めたロバート・B・アンダーソンは、次のように説明しています。



「銀行が融資を行う際、融資額に応じて借り手の預金口座に数字を追加するだけです。銀行は他人の預金からこのお金を受け取るわけではありません。これは以前に誰かが預金の形で銀行に支払ったお金ではありません。これは借り手の使用のために銀行が新たに創造したお金です。」

おかしいように聞こえるかもしれませんが、これが真実です。そのお金を返済するために残業しなければならないかもしれませんが、そもそもそのお金を得るために残業した人はいません。そのお金はその場でただ作られただけなのです。

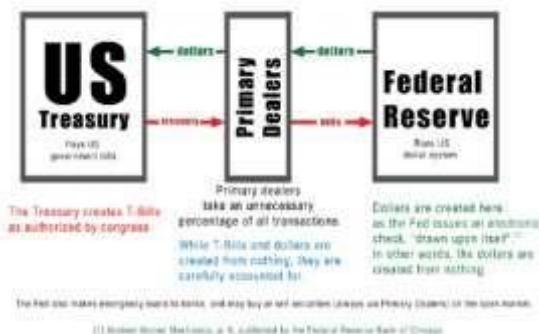
ご存知のとおり、1,000 ドルのローンは、最終的には 1,000 ドルに加えて追加の利息を支払って返済する必要があります。つまり、発行された 1 ドルごとに、負債義務が伴うことになります。

これにより、興味深い問題が生じます。すべての利子を返済するために、追加のドルが必要になります。そのドルはどこから調達するのでしょうか。一生懸命働いて、1,000 ドルのローンを利子付きで返済することはできますが、利子の支払いに使用されるドルごとに、独自の利子義務が発生します。どこで終わるのでしょうか。

実際、不足分を補える負債のないドルがなければ、この状況を終わらせることはできません（解決することもできません）。そして、そのようなドルは存在しません。つまり、ドル システムは事実上、一方向にしか機能しないということです。通貨発行量を増やしながらか円滑に運営することはできますが、システムが縮小し始めると、通貨不足が発生します。そして、それは前述のように、さまざまな問題を引き起こします。 - 世界の通貨システムは信用貨幣で動いています。市場が縮小すると、通貨供給も減少します。しかし、信用貨幣に何が起こるか想像してみてください。お金は単に循環しなくなるだけではありません。消えてしまいます。

連邦準備制度の再考：大規模な窃盗計画。

連邦準備銀行システムは連邦政府のものではなく、準備金も持たず、銀行でもなく、システムでもなく、むしろ民間のものである。マネーカルテル。



1913年、ウッドロウ・

ウィルソン大統領は、アメリカ合衆国大統領に選出された直後に連邦準備法を可決し、連邦政府の手から国の通貨を管理する民間銀行カルテルである連邦準備制度の設立を許可しました。これにより、犯罪陰謀団は恒久的なインフレを引き起こし、すでに裕福な自分た

ちの懐を肥やすことで国民から金を盗むことができました。これはまさに**大規模な窃盗**です。

中央銀行：

中央銀行は 16 世紀のヨーロッパの発明で、継続的なインフレを通じて国民からお金を盗むために考案されました。政治的に税金を大幅に引き上げることができなかつたためです。隠れた税金が発明され、インフレを通じて実行され、全所得の最大 80% が課税されるようになりました。インフレできない金と比較すると、1 世紀のローマ帝国では、1 オンスの金で素敵なスーツが購入できました。20 世紀後の今日でも、同様のスーツは 1 オンスの金で購入できます。 - 購買力の低下で利益を得たのは誰でしょうか。これらの人々は常に、新しく印刷されたお金の発行時に最も近くに座っている人々であり、通常は政府と銀行エリートとその取り巻きです。覚えておいてください。すべての議論と説明にもかかわらず、インフレはステルス課税に他ならず、それは単なる**盗難**です。

お金の幻想：

お金はどこから来るのか？どこへ行くのか？誰が作るのか？お金の魔術師の秘密が、鏡や煙幕、てこ、そして「**お金**」と呼ばれる**壮大な幻想を作り出す車輪を見せることで明らかにされる**。これは、存在しなかつたお金に利子を課すことによる**永続的な詐欺**であり、ローンが承認された瞬間に何も無いところから出現し、紙とインク、またはキーボード上のインパルス以上のコストはかかりませんでした。このお金は経済に流れ込み、以前に発行されたすべてのお金の価値を希釈します。これはインフレと呼ばれます。その結果、現在の通貨の価値は新しい発行ごとに下がります。したがって、米ドルはわずか100年で1913年の価値の98%を失いました。現実的で誠実な通貨システムでは、購買力は長期間にわたって一定のままです。現在の中央銀行は、**政府が常にパートナーとなっている**、人類史上

最も露骨な詐欺です。それは私たちの周りにたくさんあります。戦争、好況と不況のサイクル、インフレ、不況、繁栄の原因です。

政府は人類に対するこの最大の犯罪の共犯者である。

民間中央銀行の「発明」のおかげで、犯罪組織は莫大な富を自分たちのために作り出しました。人々は、彼らがそのすべてのお金をどうするのか疑問に思うかもしれません。その主な概念は高利貸し、一般には貸付金に利息を課す金貸しとして知られています。実際には、貸付金の利息は、苦勞して稼いだお金の使用に対する補償として請求されるべきです。しかし、何も無いところから作り出され、コストがかかっていないお金の使用に対する補償として利息を請求するのは、過剰な利息です。30年ベースで70,000ポンドのローンの場合、人々は合計172,000ポンドを支払います。元の70,000ポンドと比較すると、銀行に支払われる金額の2.5倍です。これはお金の時間価値ですが、何も無いところから作り出す銀行からのお金ではありません。これに課される利息はまったく不要です。世界的な通貨システムは、人類にとって最大の茶番劇、最大の強盗となるように意図的に設計されており、歴史を通じて人類の自由に対する障害となってきました。

政府と完全に絡み合っている銀行家と政治家の間には違いはありません。政府がそれを変えたくないのは、彼らが人類に対するこの最大の犯罪の共犯者であり、政治家が買収されて競争相手を廃業させるという政治権力経済を作り出しているからです。

何千もの銀行で毎日このようなことが起きているため、それぞれの例は砂漠の中の砂粒のようなものに過ぎません。工場、ホテル、設備、高層ビル、自動車、学生ローン、クレジットカード、航空機リースなどの融資をすべて見てみると、全体として見ると、何も無いところから借金として生み出されたお金によって生み出された、驚くほど巨大な富の川が毎日銀行カルテルに流れ込んでいます。つま

り、このお金は製品を生産し、サービスを提供する人々に渡すべきなのです。

この地球上のすべての人々の生活水準がどうなるか考えてみてください。そして、残虐行為について考えてみてください。**このお金はすべて、陰謀団によって権力を買うために使われています。**言い換えれば、このお金はカルテル、つまり「犯罪陰謀団」を買うために使われ、すべての人々、機関、国を支配する**権力と支配力を買うために使われているのです。**

犯罪組織は私たちのお金をどこに使うのでしょうか？

世界中のすべての権力中枢に対する影響力を獲得するために、陰謀団はエクソン、シェル、P&G、ほとんどの主流マスコミ、報道機関、政治家、映画スタジオ、労働組合など、大企業の支配権を買収し、現在も買収し続けています。

この富の流れは、現在のプロセスに少しでも反対の兆しを見せている反対勢力に対する支配権を獲得するために使われます。つまり、ハザールマフィアの陰謀団は、進行中のすべてのビジネスゲームと政治ゲームの所有者であり、誰が勝っても彼らにとっては違いはありません。すべてのゲームの両側の所有者であるため、彼らは常に勝利します。



彼らはすべての国を買収しました。世界銀行や IMF を通じて、主張されているのとは反対に、これらの機関が支出したお金は国民ではなく政治家に渡し、効率的な独裁政権が生まれます。官僚機構にさらに多くの人材を配置することで、彼らは食物連鎖に対するより厳しい管理を守り、独自の通貨システムを構築し続けています。

そこにはイデオロギーはなく、欲しいものを手に入れるための金銭の追求だけがある。福祉政府は、これらの国々を新世界秩序の導入に備えるために、丸ごと買収された。今すぐにだ。彼らが望んでいるのは強い国家ではなく、避けられない政治的混乱の候補となる、福祉に依存する国民を抱えた従属国家なのだ。

世界の絶望的な市民たちは通常、NWO の導入に対してよりオープンです。NWO は、陰謀団が作り出した混乱に対する「平和的解決」という名目で実施されます。これは、問題を作り出し、反応を待ち、解決策を提供するという、単純な PRS 詐欺です。

その計画は、失業率を通じてすべての国を弱体化させることです。失業率は高ければ高いほど良いのです。現在アメリカやEUで起こっているように。富は関係なく、ゲームの名前はパワーです。私たちの指導者たちはこの危機を解決したくありません。彼らは人々の生活水準を下げて、人々が政府の援助に依存できるようにし、彼らの新世界秩序の実施をより喜んで受け入れるように指示されています。

そのため、ヨーロッパでは、特に生活のために貯蓄や資本を蓄えている人々にとって、非常に不安な状況が生まれています。いずれにせよ、ギリシャがユーロから脱退するか、ユーロ圏がギリシャに対して大きな譲歩をすれば、ユーロを本格的な通貨と見なすことはますます難しくなるでしょう。そのため、次のステップはすでに準備されています。IMF による SDR の導入です。これは第 32 章で説明しますが、同時に米ドルとユーロを廃止する必要があります。次の章で説明します。

中央銀行を廃止する：

私たち国民は、この中央銀行という生き物を廃止しなければなりません。時間はなくなってきました。誇張ではなく、あなたの周りで見ることができます。世界貿易機関 (WTO) 、世界中央銀行 (BIS

）、世界保健機関（WHO）、欧州連合、NATOはすべて、私たちの生活のあらゆる分野における権力の集中化の終わりのない柱であり、食品チェーン、バイオテクノロジー、エネルギー供給、医療、メディア、その他すべてでも同様です。権力は、「グローバリゼーション」というミームの下で、少数の人々と企業の手集中しています。当分の間、私たちには政府を打倒するための自由と選挙がまだあります。幸いなことに、社会の最上層の多くは目覚めつつあります。彼らは人口の1~3%にすぎませんが、これらの人々は現在の歴史に緊急に必要な変化を引き起こすことができるでしょう。この変化は、日々ますます多くの人々が何が起きているかに気づくにつれて起こるでしょう。残念なことに、近所の人々が理解してくれないかもしれませんが、そうでなければ、必要な変更を行うために多くの人の協力は必要ありません。

この階層の多くは、組織内で十分な影響力を持ち、メンバーに「目覚め」を促し、何が起きているのか、そして現実には詐欺師がどのように私たちの社会を支配しているのかについて、メンバー間でさらなる認識を獲得するよう促しています。

この世界には救世主は一人もいない。

しかし、救世主はたくさんいる。多くの人々が一斉に目覚めれば、私たちは必ず勝利するだろう。

簡単に言えば、あなたの国の自由のために働く計画を立ててください。

この驚くべきシステムがどのように作られたのか、その興味深い物語を知りたい方は、[このビデオ](#)「ジキル島の怪物」をご覧ください。[エドワード グリフィン氏も同名の本を執筆している。](#)

G. エドワード グリフィンは、今日の世界で何が起きているのか、そして私たち国民がどのように騙され、金を奪われているのかを、明快かつ詳細に説明しています。信じられない話に思えるかもし

れませんが、事実は完全に真実であり、専門家は誰もこの件について語ろうとしません。あるいは、この計り知れないほど破壊的な詐欺の本当の規模を認識していないだけなのです。

連邦準備制度を3分で解説

お金は、それが実体の紙切れであろうと、コンピューターの画面上の数字であろうと、本質的に価値がないものですが、現代社会の原動力となっています。お金の最終的な管理権は、中央銀行と連邦準備制度にあります。このため、私たち国民は、この影の民間犯罪組織がどのように機能しているか、そしてその究極の目的が、私たちを永遠に借金の奈落の底に奴隷化することであり、そこから抜け出すことは決してできないことを理解する必要があります。 [この短いビデオをご覧ください。](#)

22. 犯罪的な金銭詐欺師

- 証拠：政府は悪名高い犯罪者です！
- 金銭詐欺。
- 命を吸い取る吸血鬼が実物資産を略奪します。
- 破産と流動性。
- 負債に基づく通貨システムはこれまで存在したことがありません。

偽造されたお金：

地球上で最も犯罪的な金銭詐欺師が誰なのか、そしてそれがどのようにして可能になったのかを知りたいなら、読み進めてください。歴史上、中央銀行家による詐欺ほど大きな詐欺はありません。連邦準備制度理事会と、ECB、日銀、イングランド銀行などのほぼすべ

ての中央銀行は、厳格な管理下で、通貨の発行とその供給の独占を「違法に」獲得しています。彼らは、ほとんどの場合永久的な政府債務である偽のお金で資産を購入することで、いつでもコストをかけずにバランスシートを増減できます。



中央銀行は、金利をほぼゼロに抑えながら、2008年以降、調整後のマネタリーベースを約5倍に増やしました。言い換えれば、中央銀行は、銀行を救済し、政府の巨額の赤字支出に資金を提供しながら、マネーサプライと金利を常に操作しています。お金は、ほぼすべての支出の少なくとも半分を占めています。

取引。お金を操作することは、経済システム全体を操作することです。システムの基本単位は、世界がこれまでに経験したことの無い種類のお金です。1971年以降の不換紙幣ドル、その後のユーロです。それは紙幣であり、人々がその価値と考えるだけの価値があり、時が経つにつれて価値が下がるはずだと考える人々によって管理されています。

経済学者リチャード・ダンカンは著書『[新大恐慌](#)』の中で、銀行が融資に対して保有しなければならない流動性準備金の額が現在非常に少なく、システムが作り出せる、あるいは作り出してきた信用の額に「ほとんど制約を与えない」と指摘している。銀行は一定の「自己資本比率」を維持するだけでよい。これにより、貸付額は株主から提供された資金である自己資本の倍数に制限される。

もちろん、お金は多すぎない限り価値があります。市場は少量の偽造紙幣を吸収することができます。しかし、限界があります。そして、その限界は、以下の理由により大幅に超えられています。

- 世界的な生産過剰は、以前の融資によって賄われている

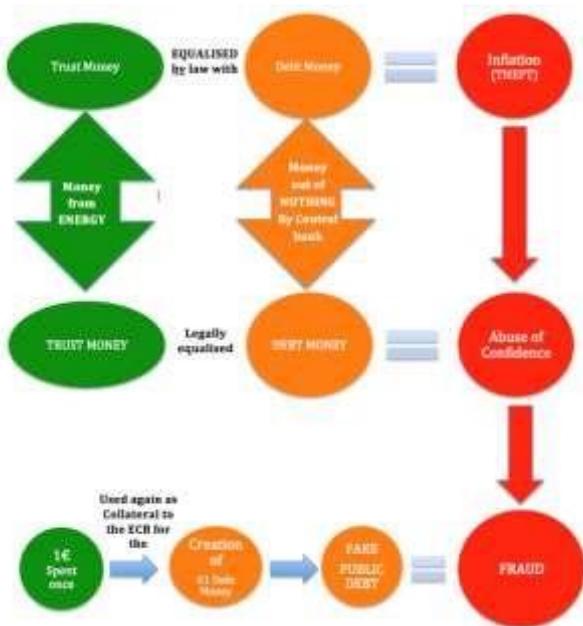
- 安価な労働力の大量供給も、過去30年間の信用拡大によってもたらされた。

これら 2 つの特殊な状況がなければ、中央銀行の無責任な政策 (QE と ZIRP) によって、インフレ率はおそらく 2 桁、あるいはそれ以上に上昇していたでしょう。

政府がどれだけ借り入れるかを心配する必要はもうありません。中央銀行が政府の債券を購入し、バランスシートに保持し、利息を返済すれば、すべてが忘れ去られます。そして債券が満期になると、中央銀行は返済された元金を使ってさらに多くの政府債務を購入できるのです。

事実上、今日の中央銀行家たちは、以前の中央銀行家たちが夢見ることしかできなかったことを実行している。つまり、インフレを引き起こすことなく紙幣を印刷しているのだ。

政治家たちも、この一生に一度の無謀な機会を楽しんでいる。彼らは、誰もやったことのないことをすぐにできるようになる。借金して返済しないのだ。一般大衆はまだ主流メディアでそのことを読んでいないが、もうすぐそうなるはずだ。しかし、前の章を理解した読者は、政府が中央銀行に融資を返済する必要がないことをすでに知っている。なぜなら、政府に貸し付けられたお金は納税者から来たものではなく、**どこからともなく来たものだからだ**。それは、世界の他のお金と同じように、何もないところから生まれたのだ。ここでは、納税者から金を奪い、その過程で一般大衆を奴隷にする私



たちのリーダーたちが犯した詐欺をよりよく捉えるために、説明を強化した。

金銭詐欺：

このフローチャートを理解する：2種類のお金が流通しています。

- エネルギーから得られるお金 = 「信頼のお金」
- 中央銀行によって創造された、何もないところから生まれたお金 = 「借金のお金」

エネルギーから生み出された信用貨幣と、何もないところから生み出された負債貨幣は、法的に「**同等**」であると**宣言**されます。 - 既存の貨幣量のインフレを引き起こします。このインフレは、すでに流通しているすべてのユーロ/ドル/円/ポンドの購買力が低下するため、盗難です。

信頼と負債通貨を平等にすることで、負債通貨は信頼通貨の信頼を獲得します。これは、政府による国民に対する信頼の濫用を意味**します。**

公理は、1 ユーロ/ドルは 1 回しか使用できないというものです。しかし、その同じユーロ/ドルは、1 ドルの負債通貨を作成するために中央銀行に担保として提供された政府によって再び使用されます。

、同じ中央銀行によって**何もないところから**作り出された借金で支払われます。現在は「**公的債務**」と呼ばれていますが、これはもともと借金の創出に使われていました。これは**完全な詐欺**です。なぜなら、被害を受けた国民は知らないうちに、中央銀行に対してこの「**偽の債務**」を苦勞して稼いだ税金で返済するよう求められているからです。

永久債務は、借金の本質を定義するコミットメントです。

詐欺の核心的な対立:

b) 国債は借金を生み出すために必要ですが、国民は「借金を返済する」ために税金が必要だと言われています。これは全くのナンセンスです。なぜなら、借金は何も無いところからお金を生み出すために必要だからです。

「借金がすべて返済されると、流通するお金はなくなります。」

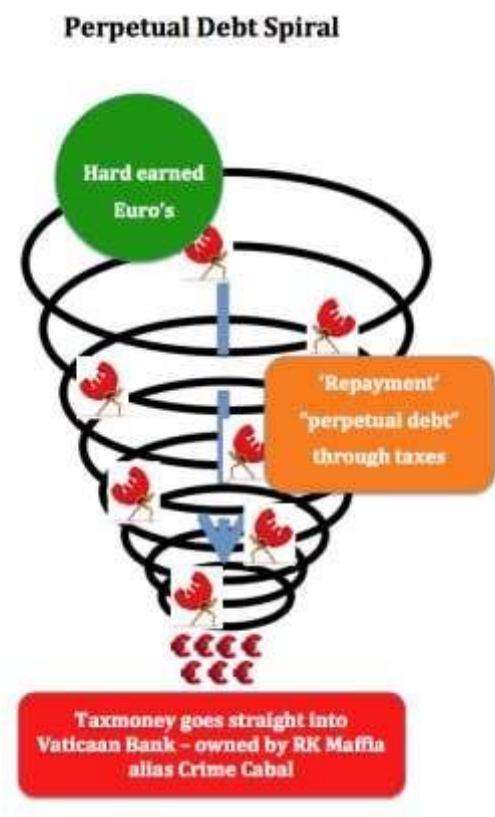
そのため、セントラル

返済不可能な「永久債務」詐欺を發明し、これが証明している。

政府は、無知による愚かさから、あるいは故意に大きな嘘で詐欺を強行して、国民を騙している。

まとめ:

政府は国民に対して広範囲に渡って信頼を悪用しています。これは犯罪的な詐欺行為であり、詐欺行為です。さらに悪いことに、政府は国民の利益のために自ら「無利子」のお金を創造することもできたはずで



考えてみてください。中央銀行はロスチャイルドが所有する民間の組織です。

ハザールマフィア。彼らは、労働者階級の収入から盗んだ金で、自分たちと上位 1% の仲間を豊かにするために、借金詐欺をでっち上げた。政府はこの犯罪陰謀に故意に加担しており、その結果、この非人道的な詐欺行為に対して相互に責任がある。彼らは皆、RK マフィアを支援するために買収されている。

詐欺は次のように要約した。

国民の信託金を、債務通貨の創出のために中央銀行に「担保」として本人の同意なく預けることは、政府による非難されるべき犯罪行為である。

信用貨幣の信頼の上に築かれた、無から作られた無価値な負債貨幣の担保。そのため、政府は、国民に、無から作られた同じ中央銀行が発行した通貨の負債と利子を返済するよう義務付ける税制を考案した。彼らは「永久」の公的債務を発明したが、それ自体は不可能である。

これが流通している信用金庫と混ざり、詐欺が目に見えなくなりま

す。

詐欺を一言で言うと、「銃で銀行を強盗することはできるが、銀行で全世界を強盗することもできる。」

世界は負債でいっぱい、いつかは必ず爆発します。それは時間の問題です。経済と「負債爆弾」はいつ爆発するのでしょうか？ それを予測するのは難しいですが、マネーサプライが減り、発行される信用がますます少なくなり、世界的な経済の停滞につながるにつれて、勢いが増しています。中央銀行は、詐欺的な通貨システムの制御をますます失っています。

金銭詐欺が明らかになった今、なぜギリシャ、そして同様に他のすべての国がこれらの公的融資を返済しなければならないのか? そのお金はどこから来たのか? それは納税者から来たのではない。それは世界の他のすべてのお金と同じように、どこからも来なかった。それで返済されなくても何になるのか? それが何か変わるのか?

なし!

予算の制約:

したがって、予算抑制はすぐに過去の問題になります。政府債務は帳消しになり、忘れ去られるでしょう。国民も議会もこれに完全に同意したかどうかは疑わしいです。 - もしそうなら? - 上記の段落をもう一度読んでください。これはこの問題に関してすべての国民にとって最も重要な知識です。これが証拠です。 **政府は悪名高い犯罪者です!**

いずれにせよ、次に何が起ころうと、ギリシャは何があろうと債務不履行に陥ることになる。そして、無能なヨーロッパの指導者たちのユーロ単一通貨と経済統合の実験に大きな危機がもたらされることになる。 - ギリシャ国民を再雇用し、ギリシャ製品を国際的に競争力のあるものにする唯一の解決策は、ギリシャがEUを離脱することだ。

残念なことに、EUの指導者たちは常に問題を先送りすることを選択し、それが将来さらなる問題を引き起こすことになる。

ヨーロッパ、日本、米国の西側諸国の指導者たちが、自国の破綻政策と空洞化したバランスシートの結果として、自国民に対して実施している過酷な財政措置は、あからさまな欺瞞である。このため、富裕層と貧困層の格差が拡大し、富裕層が企業や雇用創出とともに国外に追い出される事態が頻繁に発生している。

これは、キプロスのヘアカットのように国民の富を政府の財源に大胆に移転し、銀行が破綻したときに銀行の預金者に支払いを強制する行為である。

命を吸い取る吸血鬼が実物資産を略奪:

ロスチャイルドのゴールドマン・サックスと他の銀行は、偽の損失をでっち上げてギリシャ政府の債務額を不正に膨らませた。この不正なギリシャ債務は現在、島、港、公共施設などギリシャの実際の資産を略奪するための道具として使われている。英国諜報機関MI5によると、このギリシャ略奪計画の首謀者はECB総裁マリオ・ドラギだった。これが、元ギリシャ財務大臣ヤニス・バルファキスがゴールドマン・サックスを命を吸い取る吸血鬼と公に呼んだ理由である。

ギリシャの債務不履行は、IMF、欧州中央銀行、連邦準備制度理事会を実質的に破産させたが、これらの機関の職員は依然としてこれを見做し、すべてが順調であるかのように装っている。

しかし、彼らがギリシャの反対票を見做した理由は、ギリシャ政府は、ギリシャや自らの存続に必要な資金がないため、自らを救うためにギリシャを略奪することが許されない限り、暴力で対抗することはできない。ギリシャの状況は、ついに**本格的な革命へと変貌しつつある**。

EUギャングに対する国民投票「反対票」がいかんにして排除されるか:

ギリシャ議会全体とその家族は、RKマフィアから殺害の脅迫を受けている。最新の世論調査では、ギリシャ国民の80%近くが、ギリシャ議会がEUギャング団に反対票を投じることを決して受け入れないとしている。彼らは、欧州が議会で以前提案した負担の少ない協定と全国的な国民投票を拒否した人々と同じだ。すでに多くの議員が怒りを表明している。さらに、メディアの報道では、この協定はギ

リシャの完全な屈服であるとし、チプラス首相を、長年の反緊縮政策の原則と主張を放棄する以外に選択肢のない負け犬として扱っている。

今後、さらに厳しい緊縮財政が課され、貧困で失業している数百万人のギリシャ人が最も大きな影響を受けることになる。その中には、すでにわずかな年金受給者よりもさらに少ない年金受給者も含まれる。これらすべては、年金受給者を完全に排除する計画であるアジェンダ 21 計画に合致している。さらに、これまでは禁止されていた国営企業の民営化の実行を促進する計画も実施されている。これらの戦術は、ギリシャを悪夢のような完全に略奪された住みにくい国に変えるものだ。ギリシャの主権は永久に失われ、ギリシャは再び不名誉なことに完全に占領され、トロイカの支配下にある植民地となる。

チプラスは現代の裏切り者であり、金権勢力に身を売った。彼はギリシャのベルサイユ条約に同意したことで記憶されるだろう。 - 読者の皆さん、注意してください。これは始まりに過ぎません。まもなくRKマフィアは同様に他の多くのEU諸国を植民地化するでしょう。

資本規制:

EUでは「資本規制」とキャッシュレス社会が期待されています。人々の自由、プライバシー、その他の基本的権利を侵害するスパイ活動が続いており、これらはすべて陰謀の一環です。最終的には破産した帝国は日没とともに消え去り、今回は取り返しのつかないことになるかもしれません。

今日の経済状況とは対照的に、19世紀は物価がかなり安定しており、GDPと賃金の成長は人類史上最速でした。消費者物価の深刻なインフレは、柔軟で順応性があり、拡張可能な超強力な新しい不換紙幣である米ドルの準備通貨が誕生した1970年代まで始まりませ

んでした。それ以来、生活費は約 600% 上昇し、経済成長率は急落しました。

ドラギ氏は最近、ユーロ切り下げ計画を発表した際、これらの事実には触れなかった。しかし、それは大した問題ではない。ユーロ圏の量的緩和の真の目的は、米国版の量的緩和の真の目的と同じで、取り巻きたちが当然の報いを受けるのを防ぐことだ。

彼らは数千億ユーロ相当の欧州国債を保有しており、現在、史上最高価格と最低利回りで取引されている。その多くはマイナス利回りで購入された。

そして現在、人口の高齢化、債務水準の上昇、規制の行き詰まり、生活費の上昇、税金の上昇、歳入の減少により、これらの国債が投機筋が支払った金額に見合う価値を持つ可能性はほとんどない。

インサイダーたちはどうやって資金を取り戻すのでしょうか？ ECB が救援に駆けつけます！ ECB は、21 か月かけて金融エリートに 1.3 兆ドルを送金することを約束しています。毎月 800 億ユーロの割合で国債やその他の不透明な債務を購入し、ギリシャの債務不履行を保護するために 3 か月の間に追加資金を注入します。

アメリカでは、最高司令官が自分がやっていないことに対して功績を主張する。EUでは、中央銀行総裁がやる価値のないことをやっていると主張する。どちらも、それぞれがやるべきことをやっていない。

幻想的なカードハウス：

このカードハウス全体がもうすぐ完成する



完全に崩壊し、その結果は壊滅的かつ取り返しのつかないものとなるでしょう。

このいわゆる回復は、一夜限りのインターネット企業や持続不可能な不動産価格の場合と同様に、単なる幻想に過ぎず、低金利だけによって引き起こされた幻影である。

そして、理解すべき最も重要な点は、連邦準備制度理事会と欧州中央銀行が今や板挟みになっているということだ。もし彼らが、このいわゆる進歩がすべて偽りであると認めれば、25年間の実験全体が失敗だったと認めることになる。だから彼らには、幻影を受け入れ、すべてが解決したと装い、再び金利を引き上げ始める以外に何も残されていないのだ。

維持できない財政状況:

歴史が示したことは、また起きるだろう。物事は結局、上昇した時よりも速いスピードで再び崩壊する。そして、最近示された他のすべての例とは異なり、今回はバブルを再び燃え上がらせるような安易な資金はもう存在しない。その手段は尽きてしまったのだ。

信用拡大が不足しているため、中央銀行は完全に資金を使い果たしている。彼らは他に切り札を持っていない。すべてのウサギはすでに帽子から出ている。政策立案者、中央銀行、そして政府自体は、市場主導の金利爆発が起こり、その影響が広がる間、何もせずじっと座っていることを余儀なくされるだろう。

通貨システム全体が停止します。この時点で銀行口座からお金が戻ってくることを期待しないでください。まだ可能なうちに今すぐ現金を引き出し、金、銀、その他の有形資産を購入してください。

サウジアラビアや他の湾岸諸国の君主国は、通貨制度の崩壊、政権交代、それに続く銀行口座の凍結といった事態に備えて、手に入る限りの銀を買い集め、蓄えてきた。[グラフを参照。](#) 石油が銀に変

わる様子を示しています。覚えておいてください：どんな危機においても、**現金こそが王様であることは秘密ではありません。**

借入金に関する逸話：

「雨が降っていて、小さな町は完全に人影がない。厳しい時代だ。誰もが借金を抱え、誰もがローンで暮らしている」。

「突然、金持ちの観光客が町にやってくる。彼は唯一のホテルに入り、受付カウンターに100ユーロ札を置いて、部屋を選ぶために上の階を調べに行く」。

「ホテル経営者は100ユーロ紙幣を持って、借金を肉屋に返済するために走りました。」

「肉屋は100ユーロ紙幣を持って豚農家に借金を返済するために走ります」。

「養豚農家は100ユーロ紙幣を持って、飼料と燃料の供給業者に借金を返済するために走ります。」

「飼料と燃料の供給業者は100ユーロ紙幣を持って、この困難な時期に信用でサービスを提供してくれた町の売春婦に借金を返済するために走りました。」

「売春婦はホテルに駆け込み、客を連れてきた際に借りた部屋代として、ホテル経営者に100ユーロ札で借金を返済した」

「ホテルの経営者は、金持ちの観光客が何も疑わないように、100ユーロ札をカウンターに戻します」。「その瞬間、金持ちの観光客は部屋を調べた後に降りてきて、どの部屋も気に入らなかったと言って100ユーロ札を受け取り、町を去ります」。

「誰も何も稼いでいません。しかし、町全体が借金を負わず、将来を大いに楽観的に見えています」。「そして、皆さん、これが今日の政府のやり方なのです」

信用は信頼に基づいて機能するため、信用に基づく通貨システムの危険性：したがって、次の危機は異なるものとなるでしょう。

破産と流動性：

問題は、すべての国家債務国が支払い不能になっていることだ。ギリシャが債務不履行で証明しようとしているように、彼らは借金を返済できず、EUを無傷のままにしておくために、ECBが救済することになる。中央銀行はこの問題を流動性の問題として扱っている。彼らに支払い能力を持たせることはできないとわかっているはずだ。だから、彼らは返済されないことを知りながら、より緩い条件で彼らにどんどんお金を貸しているのだ。

中央銀行は、国家の債務超過を軽減して、国家の再建を支援する提案を決して行わない。また、借り手の負担を増やす新たな債務の増加がもたらす結果についても、また、このシステムがばかげた詐欺であり、破滅に向かっていることに投資家が気づいたときに何が起こるかについても、あまり考慮されていない。

「国家は返済不可能なほどの多額の負債を抱えている。既存の債務を繰り延べようとし、さらに借り入れをせざるを得ない。貸し手は、たとえ見つかったとしても、より高い、最終的には支払えない金利を要求するだろう。貸し手が最終的に枯渇すると、唯一の解決策は中央銀行が資金を調達することだが、世界はそれを注視しており、これは法定通貨の死のスパイラルを引き起こす可能性が高い」とダグ・ケイシーは主張する。

根本的かつ体系的な解決困難な問題：

根本的かつ体系的な問題があり、秩序立ったやり方では解決できない。これ以上の融資が意味をなさなくなる日が来るだろう。そうなると、すべてが崩壊し始めるだろう。

世界経済の成長は鈍化している。米国企業の収益は落ち込んでいる。ギリシャが巨額の債務返済に直面する6月には、欧州は破綻の危機に瀕している。

そして中国はますます大規模な不正投資のケースのように見えている。崩壊寸前です。 - 崩壊が来ると、誰もがドアに向かって殺到します。売り手は全員そこにはいますが、買い手はいません。彼らは、クレジットや現金と同じように消えてしまいます。

「どのように終わるかは分かりませんが、何かが変わる必要があります。その何かは何なのかは問題です。自然の力と戯れ始めると、しばらくは抑えられるかもしれませんが、最終的には圧倒されてしまいます。私たちは歴史を通じてこれを常に見てきました。」 - グラント・ウィリアムズ。

現金とクレジットの違い:

ZIRP（ゼロ金利政策）とQE（量的緩和）は、いずれも紙幣の印刷と同じ効果をもたらしますが、手段が異なります。借入コストを下げること、信用と投機を安価にします。

信用が拡大し続ける限り、クレジットカードは現金と同等の価値を持つものとみなされる。現金ではなく信用をシステムに加えることで、銀行は莫大な富を得た。

彼らは信用を売った！だから金持ちはますます金持ちになった。彼らには信用力があったのだ！彼らは安い信用で株や債券に入札し、資産価格を押し上げることができたのだ。

しかし、現金と信用には大きな違いが 1 つあります。危機では信用が崩壊します。現金は、たとえ何の裏付けもない現金であっても、物理的で実体のある存在です。株式市場が半分に落ち込んだとし

ても、その紙切れは残ります。飲み物や食べ物を買うのに、まだ使えるのです。

信用は信頼に基づいて機能します。

しかし、2008年のような実際の信用危機では、連邦政府が26兆ドルをシステムに注入して積極的に介入していなければ、ウォール街のすべての銀行が破産していたでしょう。政府はこの金額について嘘をつき、1兆ドルをわずかに超えるだけだと言っていました。信用は信頼の上に成り立っています。2008年にリーマンブラザーズで巨額の信用枠を持っていた顧客は倒産しました。彼らの信用は単に消えたのです。

しかし、すべての資産クラスが同時に影響を受ける次の危機では、銀行業界の担保は完全に機能しなくなるでしょう。銀行は互いに顔を見合わせて、誰の信用がまだ健全なのか疑問に思うでしょう。商店はあなたのクレジットカードを見て、その発行者がまだ営業しているかどうか疑問に思うでしょう。

「信頼は消え、それとともに信用も消える。経済は急降下する。そして大きな驚きが起こります。多くの人が予想するインフレやハイパーインフレではなく、突然、万能のドル、昔ながらの紙幣であるドルが一時的に価値を増すのです。」

破滅的な展開：

金融システムは、ほとんど誰も想像もしない、ましてや予期もしないような、驚くべき壊滅的な展開を迎える可能性がある。現金は、世界が現金で浸水する直前に、突然、壊滅的に蒸発してしまう可能性がある。

「流通している硬貨や紙幣、銀行預金やマネーマーケット口座を測るM2マネーサプライを見てください。アメリカのマネーストックは昨年時点で11.7兆ドルに達しました。し

かし、流通している実物通貨はわずか1.3兆ドルで、そのうち半分程度しかアメリカ国内にありません。誰も確かなことは知りません。」

今日お金として使われているのは、ほとんどが信用です。信用は、電子銀行口座の数字である 0 と 1 として存在します。人々は信用を見ることも、触れることも、感じることも、数えることもできません。 - 銀行は信用を創造することで、かなりの利益を得ています。そして、銀行に十分な資本がある限り、人々が喜んで支払うだけの信用を喜んで創造します。 - 結局のところ、銀行が新しい信用を創造するのにかかる費用はほとんどゼロです。だからこそ、信用がこれほど多くあるのです。

負債に基づく通貨システムはこれまで存在したことはありません。

現在のシステムのような負債ベースの通貨システムは、信用が飛躍的に拡大したこの 40 年間にのみ存在したものであり、これまでに存在したことはありませんでした。

しかし、深刻な、あるいは長期にわたる信用収縮にどう耐えられるか、徹底的に検証されたことは一度もない。債券や株式の長期にわたる弱気相場を乗り切れるだろうか？消費者物価が制御不能になったらどうなるだろうか？

マッキンゼーの調査によると、中央銀行は短期金利を大幅に引き下げ、数兆ドルの国債を購入することで信用価格をゼロ、さらにはゼロ以下に引き下げた。

「世界の負債総額は、少なくとも公式記録によれば、現在200兆ドルで、2007年以来57兆ドル増加している。これは世界のGDPの286%にあたり、実体経済が支えられる額をはるかに超えている。」

ある時点で、債務の調整は避けられません。債務拡大の後には必ず**債務の縮小**が伴います。債務は永遠に増え続けることはできないので、他に方法はありません。そうすると、ゼロ金利政策と量的緩和は既にフルスピードで実行されており、他に選択肢がないため、プロセスを逆転させるのに十分ではありません。

すると、負債の価値は急激に低下するでしょう。

債権者は借り手に目を向け、トレーダーは取引相手に目を向け、銀行家は互いに目を向けます。そして突然、二度と手に入らないかもしれないという恐怖から、誰も1ペニーも手放したくなくなります。信用が止まります。誰も貸したくないだけでなく、誰も借りたくないのです。

2008年の危機後と同様に、中央銀行からの迅速な対応が予想されます。

彼らは無制限の新規借入施設を発表するだろう。しかし、それは無駄だろう。不動産価格は暴落するだろう。誰も家の価値を担保に融資しなくなる。株価は暴落する。誰も自分の株を担保に融資を受けられなくなる。美術品、収集品、資源などすべてが暴落するだろう。次の危機は、すべての資産クラスに広がる可能性が高い。そして、世界の負債は2008年より57兆ドルも増えており、それを止めるのははるかに困難になるだろう。

信用金庫が消える：

ここまで理解できましたか？ なぜなら、ここからが面白いところです。金に裏付けられた通貨システムでは、価格は下がりますが、お金はまだそこにあります。お金の価値は高まります。消えるわけではありません。お金は、より多くのものを買うために使うことができるので、より価値が高まります。

明らかに、人々はそれを保持します。もちろん、お金の流通速度、つまり各通貨単位が何かを購入するために使用される頻度は低下します。そして、これにより、お金の供給も減少しているように見えます。しかし、信用貨幣に何が起こるか想像してみてください。お金は単に循環を停止するだけではありません。消えてしまいます。

6月に顧客への融資という形で10万ドルの「資産」を持っていた銀行は、7月にはゼロになるかもしれません。ある週に自社株買いに大金をつぎ込んだ企業は、2週間後にその株式の価値が半分になっていることに気づくかもしれません。10万ドルの株式市場ポートフォリオを持っている人は、ある日突然、自分のポートフォリオにまったく価値がないことに気づくかもしれません。

現金の貯蓄：

これらすべては信用危機の典型的な原因である。新たな、そして壊滅的な問題は、人々がこれまでと同じことをしているが、それを根本的に異なる方法で行うことを余儀なくされていることだ。

人々は支出をやめ、現金を蓄えます。しかし、ほとんどの取引がクレジットで行われている場合、どのような現金を蓄えますか？ 信用枠を蓄えますか？ クレジットカードを金庫に保管しますか？ - いいえ。 - 人々は、自分たちが理解できる種類の現金を蓄えます。つまり、すぐに手に入れることができ、価値が上がる現金です。彼らは紙幣を欲しがらるでしょう。

しかし、よく知られたパターンに従い、これらの紙幣はすぐに消えて去るでしょう。人々はATMを使い果たすでしょう。彼らは信用施設を使い果たすでしょう。彼らはクレジットカードを使うときに「キャッシュバック」を求めるでしょう。彼らは本物のお金、つまりポケットや自宅の金庫に入れることができる昔ながらのお金を求めるでしょう。

読者の皆様には、

「これらすべては、数日、あるいは数週間、長くても数か月という短期間で起こります。それだけです。これは、信用危機によってシステムから現金が吸い上げられた後、政府のインフレ津波が襲う前の期間です。」

中央銀行家が言うように、「決意のある中央銀行家は常に消費者物価のプラスインフレを生み出すことができる。」

しかし、それには時間がかかります！

現金のみ：

そしてその間に、パニックが起きる。紙幣パニックが起きる。人々は食料や燃料、その他必要なものすべてを支払うために、必死になって紙幣を手に入れようとする。

信用施設から実際の現金が流出する。銀行はまず次のような標識を掲げるだろう。

「現金引き出しは 500 ドルまで」。そして「現金引き出し禁止」。ガソリンを買う必要があります。信用経済の仕組みが壊れる中、看板には「現金のみ」と書かれるでしょう。ガソリンスタンド、その供給業者、そしてその融資業者は、破産した貸し手からの「信用」に縛られたくないのです。

誰の信用枠がまだ価値があり、信頼できるのでしょうか？ 答えは誰にもわかりません。すぐに、彼らは推測をやめて、現金に頼るようになります。 - アドバイス：手元にいくらか残しておいてください。必要になるかもしれません。

明らかに、私たちは貯蓄と投資が真の富と経済成長の源であるという概念を放棄したような世界に生きています。政策立案者は消費を促進することに焦点を当てていますが、生産のさらに重要な重要性を無視しています。

いわゆる資本家たちは、政府の不換紙幣によって資本が創造されることはできないということを忘れている。

世界経済の支配権は民間の銀行カルテルの手に委ねられており、それは我々全員にとって大きな危険をはらんでいる。

真の繁栄には、健全な通貨、生産性の向上、貯蓄と投資の増加が必要です。世界には米ドル、ユーロ、円、元、ポンドがあふれています。世界の準備通貨に関わる通貨危機は、前例のない大惨事となるでしょう。どれだけ通貨を拡大しても、現在の金融問題を解決することはできず、むしろ、今よりもさらに問題を悪化させる可能性があります。

このような出来事が避けられない状況になったとき、残された唯一のことは、それに対して備えることです。**金と銀を除いて、価格崩壊が近づいていることに気を付けてください。**その代わりに、これらの通貨建ての米ドルとユーロの債務市場は急落に向かっており、貴金属の価格が急騰するでしょう。

今こそ、自信を大いに持つべき時です。国債が安全であることは誰もが知っています。住宅価格が必ず上昇することを知っていたのと同じです。当時も今も、金と銀の価値と有用性は疑われています。しかし、問題が本格的に発生する前に、今頃は賢明になって、備えを怠らないようにしておけばよいと思います。

不思議な現象：

今日の過度に緩和的な金融政策は、無謀な投機を助長し、利回りに飢えた投資家に低品質の借り手が債務を発行する能力を高めることで、破滅的な影響を及ぼしており、投資収益を得るためには、投資家は極度のリスクを負わなければなりません。

これは、テクノロジーバブルや住宅バブルに続いて見られたように、誤った投資や金融の歪みを助長し、その後崩壊する。これらの種

は、15年間で3度まかれたことになる。すべてのバブルは崩壊する。FRBが金利を上げようが下げようが、崩壊する。そして、すべてのバブルは、信用を破壊し、現金の価値を高める形で崩壊する。これは、ほとんど誰も予想できない奇妙な現象だ。

考えてみてください。現在、1.5兆ユーロを超える額の欧州国債がマイナス利回りとなっており、その額は急速に増加しています。これはEU内の国債総額の約25%に相当します。

ドイツ国債で実際に利益を得たいですか？ 今後は満期が7年を超える債券を購入する必要があります。ECBは現在、マイナス0.20%未満の利回りの債券は購入しないと発表しています。しかし、それは1.1兆ユーロ相当の債券を買い取ることができないかもしれないことを意味します。

Macht ohne Kontrolle - Die Troika - 強力なトロイカが人々から強奪します。

ロスチャイルド・シオニストがヨーロッパ全土でファシスト活動を展開し、国や国民からどのように略奪しているかを知りたい人には絶対に必見です。このビデオでは、十分に目が覚めているなら最前列に座って、どのように略奪しているかを段階的に観察することができます。[この大窃盗](#) 処刑されています。息を呑むような出来事です。特に、これが私たち全員に起こると考えると。とても悲しく、気が滅入りますが、残念ながら真実です。これは目を覚まし、これに反対するための呼びかけです。

23. 借金が増えても借金問題は解決しない

- ふりをして騙しているが、真実は、金が信用貨幣を破壊するということだ。
- 中央銀行が自ら作り出した問題。

- AIIBは世界銀行とIMFにとって最初の競争相手。
- 集中化された民間銀行カルテル。
- 金がお金として使われていた時代。
- 犯罪銀行カルテルを終わらせることを願っています。

信用貨幣は貨幣ではない:

信用貨幣は負債貨幣であり、負債は貨幣である。この矛盾した嘘は、少なくとも今日の形式では、ニクソンが元々のドル準備通貨の残余の裏付けとして金の輝きを廃止した1971年以来、100年以上にわたって受け入れられてきた。2003年以来の最高値である米ドルは、2014年7月以来25%上昇している。準備通貨としては非常識な動きだ。



しかし真実は明らかだ。ギリシャ救済は見せかけだ。

誰もが知っている。ゲームは偽装と欺瞞だ。しかしギリシャのヤニス・ヴァルファキス財務大臣はゲームに参加しない。彼は全力を尽くしている。つまり欧州連合（EU）はギリシャを救済する。 - 多額の債務を免除し、ギリシャ経済を再建するための長期計画を策定する。これにはさらに費用がかかる。もっとお金。

ヤニス・ヴァルファキス氏は次のように説明した。「ブリュッセル、フランクフルト、ベルリンの賢明な人々は、2010年5月の時点でギリシャが借金を返済することは決してないだろうと分かっていた

。

しかし彼らはギリシャが破産していないかのように、まるでギリシャには

「十分な流動資金がない。このことを知りながら、三流の腐敗した銀行家が、史上最大の融資を史上最悪の破産国家に与えることは、人道に対する罪だ」。現在、EUは板挟み状態にあり、ヴァルファキスもそれを知っている。

もしEUがギリシャを放置し、離脱を容易にすれば、ユーロ建てギリシャ債を保有する欧州の銀行はすべて困難に陥ることになる。

ドイツやその他のヨーロッパの銀行の帳簿上のギリシャの負債額を支えるためにギリシャに「融資」という古いゲームは、もはや選択肢ではない。なぜなら、ヴァルファキスはEUのブラフを非難しているからだ。銀行を支え、ギリシャの誰かがそれに同意し続けることを要求するこのゲームは崩壊しつつある。ヴァルファキスは間違いなくそのゲームには参加しないだろう。そして、それが彼がブリュッセルの選挙で選ばれていないユーロ犯罪者らによってギリシャの財務大臣の職から解任された理由である。

EUは、どんな犠牲を払ってでもギリシャをつなぎとめたかった。さもなければ、EUはバルファキスとギリシャが求めていたもの、すなわちユーロ安、経済成長を可能にするさらなる柔軟性、過去の救済措置と債務の免除、そして経済を活性化させるための何らかの景気刺激策を与えなければならなかっただろう。そして、ギリシャが合意に達すると、スペイン、ポルトガル、イタリア、アイルランド、フランスもすべて同じ合意を要求しただろう。

EU は、債務問題は債務を増やすことでは解決できないことを知っているはずですが。中央銀行が提供し続けているのはそれだけです。今日の世界が採用している *信用貨幣ベースの通貨システム* では、*利子の支払いのためのお金が決して創出されないため、債務は増え続けることとなります*。利子の支払いに使われるドルはすべて、それ

自体の利子義務を伴って創出されるからです。どこで終わるのでしょうか? - システムが崩壊したときにのみ終わります。

中央銀行が自ら作り出した問題:

経済は何年も低迷しており、今後もこの傾向が続くだろう。中央銀行は自らに多大な問題を作り出した。経済成長はなく、投機目的以外に信用を増やす必要はないのに、システムを維持するために信用通貨をどんどん発行しなければならないのだ。

しかし、彼らは、すでにこの政策に溺れている世界に、ますます多くの信用を提供することで、この政策に固執し続けています。経済の本当の仕組みを知っていれば、世界中の中央銀行の不器用な仕組みが理解できます。彼らは、ノブを回したりレバーを調整したりすることで、変化をもたらしたり、問題を解決したりできるとまだ考えています。しかし、経済は複雑なフィードバック ループを持つ複雑で動的なシステムです。しかし、中央銀行の使命はただ 1 つ、システムを救うことです。しかし、何から救うのでしょうか。負債、そして彼ら自身のために負った義務から救うのです。

信用貨幣が追加されなければ、通貨システムは崩壊します。

世界の政府は多額の負債を抱えています。そして中央銀行は、政府がさらに負債を増やすことをますます容易にしています。そしてそれが、マイナス金利が直接的に負債の創出に関係している理由です。生産的な投資のためにより多くの借り手を引き付けることには関係がありません。信用貨幣が追加されなければ、システムは崩壊します。そのため、マイナス金利は、破産した政府が支出を続けることを可能にする役割を果たします。

欧州の債券利回りは過去 150 年間で最低水準にある。新規発行総額の約 3 分の 1 は、インフレを考慮する前のマイナス名目利回りである。ECB が利回りをさらに引き下げること何の意味があると

いうのか。欧州の政府と企業が借金をして利益を得るということ以外に、何の意味もない。

今日の経済では、「お金」は信用を通じて生み出されますが、説明したように、信用はお金ではありません。なぜなら、銀行は融資を行う際に何も無いところからこの信用を生み出すからです。そのお金は、ほとんどの場合、どこかのコンピューター ネットワーク上のデジタル記録として存在します。 - そして、従来の紙幣と異なり、この信用は最初に作られたときと同じくらい迅速かつ簡単に消えてしまう可能性があります。それは完全にデジタルの性質を持っています。この信用は蓄えることはできません。金庫に入れることもできません。[このビデオをご覧ください](#) 私たちのお金の管理の詳細をよりよく要約します。

信用は信頼によって決まります。

信用は信頼にかかっています。「信用」という言葉はラテン語の「credere」（信じる、信頼する）に由来しています。ですから、金融システムが崩壊すると（借金が多すぎるといつもそうなるのですが）、借り入れと貸し出しの仕組みが機能しなくなります。誰も自分が返済されると信じなくなります。何兆ドルもの信用が一夜にして消えてしまうのです。

もちろん、これは世界の終わりではありません。終わりの始まりでもありません。しかし、これは 1971 年にニクソン大統領が無意識のうちに作成した紙幣の終わりの始まりとなるでしょう。 - この欠陥のあるシステムの終わりがついに始まるのです。

このような背景から、国債利回りの低下、貴金属価格の上昇、株式市場の下落リスクの増大が予想されます。特に、自立的な経済回復を前提に上昇してきた景気循環株においてその傾向が顕著です。そして、これが最良のシナリオです。おそらく、事態はもっと悪くなるでしょう。

地政学的な変化:

この件についてさらに詳しく知るために[ポール・クレイグ・ロバーツ](#) 彼は次のように意見を述べています。

「米国経済は空洞化している。何十年もの間、世帯所得の実質的な中央値は伸びていない。アラン・グリーンズパン氏は連邦準備制度理事会議長として、消費者所得の伸びの不足を消費者信用の拡大で補ったが、国民は今や負債が多すぎてこれ以上の負債を負うことができない。つまり、経済を牽引するものがないのだ。ソフトウェアエンジニアリングなど、多くの製造業や取引可能な専門サービス業が海外に移転したため、中流階級は縮小した。大学卒業生は自立した生活を支える仕事に就くことができないため、家計を支えたり、家や家電製品、家具を購入したりする余裕がない。

政府はインフレを測定しないことで低インフレ指標を、失業を測定しないことで低失業率を演出している。金融市場は不正操作されており、先物市場での空売りによる需要増加にもかかわらず、金は下落している。我々は、私が考えていたよりも長く続いている砂上の楼閣を目撃している。どうやら、この砂上の楼閣は、世界が米ドルを準備金として保有しなくなるまで持ちこたえられるようだ。

おそらく帝国は、ヨーロッパをロシアとの紛争に巻き込むことで、ヨーロッパに過度の負担をかけている。たとえばドイツがNATOから脱退すれば帝国は崩壊するだろうし、ロシアがギリシャ、イタリア、スペインにユーロとEUからの脱退と引き換えに資金援助する知恵を働かせれば、帝国は致命的な打撃を受けるだろう。

あるいは、ロシアは、ヨーロッパが米国に加わってロシアとの戦争を仕掛けている今、ロシアにはヨーロッパの首都を核兵器で攻撃する以外に選択肢はない、とヨーロッパに告げるかもしれない。

私の意見では、プーチンはヨーロッパに焦点を当て、ロシアはアメリカの攻撃を予想しており、それに応じてヨーロッパを全滅させる以外に選択肢はないということをヨーロッパに認識させるべきだと思います。プーチンは、第三次世界大戦を防ぐために、ヨーロッパにNATOからの離脱を奨励すべきです。

プーチン大統領はまた、中国が米国にとってロシアと同様に脅威であると認識していること、そして両国が協力する必要があることを中国に理解させる必要がある。おそらく、ロシアと中国が核警戒態勢を維持し、最高水準ではなく、米国の脅威を認識し、その脅威を世界に伝えるような高水準を維持すれば、米国は孤立できるだろう。

米国が中東戦争に集中している間、プーチンはロシアを復活させ、ワシントンの計画していたシリア侵攻とイラン爆撃を阻止した。ネオコン主義の第一の目的は破られた。ロシアを従わせなければならなかった。これがワシントンのロシア攻撃の起源である。依存的で魅了された欧米のメディアは、ロシアの脅威というミームを国民に繰り返し伝えているだけであり、それは無頓着、無知、または単に情報不足の結果である。

ロシア文化の侵害は、キリスト教の道德、法と人道に対する尊重、強制に代わる外交、伝統的な社会道德観などでもあるが、これらは背景にある。ロシアが嫌われるのは、ロシア（と中国）がワシントンの一方的な一国支配に対する牽制役だからである。この牽制が戦争につながる可能性がある。

もしロシアと中国がワシントンからの先制核攻撃を予想していなければ、彼らは破滅するだろう。

解決策：

世界の金融システムと経済構造は、単に「プライマリーバランス」を回復すること、つまり、債務をこれ以上増やさず、株価を押し上げることだけでは解決できない危機に直面している。解決策としては、中国が行ったような政府資金への回帰、債務の帳消し、資産の再分配が必要となるだろう。

安価なお金は、いつものように経済とそれを支えている社会を弱体化させてきました。これは、金本位制の通貨システムでも起こり得ます。

ローマ帝国は3世紀に早くから被害に遭いました。征服の際、彼らは安易な金儲けを利用して略奪品や奴隷労働力を獲得し、それがローマに持ち帰られて物価が上昇しました。奴隷労働によって労働者は無料で賃金が下がり、盗まれた財産は地元で作られた商品と競合しました。これによりローマの国内経済は弱体化しました。

スペインは16世紀に同じ策略を繰り返しました。新世界から大量の金が略奪されたため、スペイン人はこの新たに得た安易なお金で生活できると気付きました。ボリビアのポトシで銀の山が見つかり、奴隷を働かせて昼夜を問わず採掘させました。ヨーロッパ中で物価が急騰し、安易なお金がなくなると、生産収入がなくなり、スペイン経済は崩壊しました。

AIIBは世界銀行とIMFにとって最初の競争相手：

そして、まもなく米ドルは終焉を迎えるだろう。非常に興味深いことが起こっている。米国の最も近い経済同盟国が離反し、中国側についたのだ。米国の明確な反対にもかかわらず、英国、フランス、ドイツ、デンマーク、カナダ、オーストラリア、韓国、その他は、

現状維持体制に対抗する中国の世界銀行であるアジアインフラ投資銀行（AIIB）への参加に同意した。唯一、日本だけが抵抗している。

ワシントンでは、AIIBの出現は、苦境に立たされた経済に融資を行っている米国主導のIMFとアジア開発銀行への直接的な挑戦であるだけでなく、中国が今や独自の力で本格的な世界経済大国となったことの証拠であるとみている者が多い。

米国は経済的に孤立しつつある。

皮肉なことに、今や経済的に孤立しているのは米国だ。もちろん、米国は自らを責めるしかない。過去 70 年間、米国は世界銀行と IMF を利用して、脆弱な国々から政策変更や資源を強要してきた。そして、他に選択肢がなかったために、米国はそれを逃れてきた。少なくとも今までは。

AIIBの出現は、アジアの発展途上国が巨額の融資を求めて米国に屈服する代わりに、中国が支配する巨大銀行に頼ることができることを意味する。間違いなく、これは米国の覇権にとって大きな打撃である。それには3つの理由がある。

- 中国は、中国に友好的な政策と引き換えに、小規模な発展途上国のプロジェクトに資金を提供することに同意することで、多額の融資を政治的影響力として利用できるようになる。これはまさに世界銀行が行っていることだ。
- これにより、中国は投資資金を米国債からシフトさせ、ポートフォリオを多様化できるようになる。
- これにより、米ドルを犠牲にして中国の通貨である人民元の役割が拡大することになる。

中国は、ECB、イギリス、オーストラリア、ロシア、ブラジルなどの主要国から、スリナムやアルメニアなどの小国まで、世界中の国々と数十億ドル相当の通貨スワップを発行してきました。

中国政府は国境を越えた貿易からドルを組織的に排除している。AIIBが融資を始める際、その通貨はドルではなく人民元になるだろう。

中国は自国の利益になる行動をしているだけだ。そして全体として、これは国際社会にとっても前向きな一歩だ。ロスチャイルド家が所有する世界銀行やIMFに代わるものがなければならない。ドルに代わるものがなければならない。結局のところ、競争こそが自由市場の本質なのだ。

中央集権型プライベートバンキングカルテル:

世界の金融システムは、100年以上にわたって、組織化され、中央管理された犯罪的な銀行カルテルであり、不換紙幣を発行して通貨を膨張させ、銀行が部分準備金制度を通じてさらに大量に拡大し、何もないところから創造された信用貨幣から融資を行うことで、人々の富を盗んできました。

要するに、世界の銀行エリートが設計したツールは、**計画的な詐欺**であり、債務原理の作成時に利子は発生せず、無利子のお金は発行されないため、インフレと借金返済の不可能によって国民を奴隷化します。

ギャングのマネー カルテルの目的は、借金で担保された通貨の発行を通じて世界を支配することです。これは、今日まで莫大な利益をもたらしてきましたが、その結果生じた経済的不均衡と財政的残虐行為は、地球上のあらゆる国と経済のあらゆる場所で見ることができます。貧困がグローバル化している中、銀行カルテルとその1%のエリート層は、歴史上最も裕福な王や支配者たちの想像をはるかに超える富を獲得しています。

金がお金として使われていた時代:

金は少なくとも 4000 年前からお金として使われていましたが、おそらくそれよりずっと長い期間使われていたでしょう。クロイソス王は紀元前 6 世紀に、現在のトルコであるリディアで最初の金貨を鑄造しました。質権や担保権がなく、銀行システムの外で保管されている金の物理的な所有権は、真のお金である唯一の形態です。他の形態はすべて、金に対する単なる条件付きの請求権だからです。

金は人類全員に求められているのは事実ですが、それは価値の保存手段としてのお金として求められているのであって、他の目的で求められているわけではありません。なぜなら、宝飾品でさえも金の消費品ではなく、富の装飾品として身に着けられるお金の形態だからです。

銀行が破綻した場合:

銀行が破綻すると信用リスクが生じます。銀行保険は銀行破綻リスクを軽減するかもしれませんが、保険基金が支払い不能になる可能性もあります。2013 年のキプロスの事例を見てみましょう。金にはまったく金融リスクがありません。金は所有者にとって資産であり、最も重要なことは、他の誰かの負債ではないため、カウンターパーティ リスクはありません。紙幣が発行されるのと同じように金を発行する人はいません。金は単なる金です。金を所有すると、クリアランスや決済に関連するリスクはありません。銀行が破綻し、取引所が崩壊し、平和が失われることもありますが、これらの出来事は金の本質的な価値に影響を与えません。これにより、金は真にリスクのない資産になります。金価格に表れる資産の変動は、金自体によるものではなく、通貨の価値によるものです。

ゴールドスタンダード:

金は世界貿易と金融の要件を満たすには不十分であるため、現代の通貨制度の基礎を形成できないというのは神話です。世界には十分な量の金があり、市場で知られている量は約 200,000 トンと計算されていますが、この 12 倍の量が地上に存在する可能性があります。市場に出回っていません。

より分かりやすくするために、既知の金市場量に今日の金価格を掛けると、2.4 兆ドルの市場価値になります。この値は、世界の主要な貿易および金融大国のマネーサプライの合計よりはるかに小さいです。中国を含むすべての経済中心地のグローバルマネーサプライは、M1 で 20 兆ドル、M2 で 48 兆ドルと推定されています。もし世界のマネーサプライが、M2紙幣48兆ドルではなく、金2.4兆ドルに制限されていたら、結果は悲惨なデフレとなり、深刻な不況につながるだろう。

問題は入手可能な金の量ではなく価格です。適正価格の金は十分にあります。金が 1 オンスあたり約 17,000 ドルであれば、市場で入手可能な公式の金は世界の M1 マネーサプライとほぼ等しくなります。これは、価格が目標マネーサプライに適切である限り、金の量が金本位制の障害になることは決してないことを示しています。

したがって、結果として、「金交換基準」の採用に先立って起こった 1930 年代の大恐慌も神話です。金の価格が正しく設定されていれば、大恐慌は起こらなかったでしょう。

当時の金交換基準は、良く言っても真の金本位制の見劣りする模倣であり、最悪の場合、大規模な詐欺であった。

実際、金本位制は過去にうまく機能し、現在でも実行可能です。世界には十分な金があります。それは価格の問題です。金が大恐慌を引き起こしたのではなく、中央銀行の政策の失敗が引き起こしたのです。そして、パニックは金の結果ではなく、人間の本性と容易な信用の結果なのです。

中央銀行家にとって、金は今日でもお金です。彼らは準備資産として金を大量に蓄えており、この金争奪戦は、あらゆる通貨における金の将来的な役割に重大な影響を及ぼします。

現在起こっているように、為替レートが乱高下し始めると、莫大な金額を失う、あるいは失いそうな人がいることは間違いありません。そしてデリバティブバブルが崩壊し始めると、世界中に全員を救済するのに十分なお金がなくなるでしょう。

大きな危険信号:

急激に上昇する米ドルは、世界経済全体にとって極めてデフレ的です。これは、ほとんど誰も話題にしない**大きな危険信号**であり、同時に、もう一つの基軸通貨であるユーロは、忘れ去られていく悪循環を続けています。

デフレは依然として経済を支配している。しかし、他の手段がすべて失敗した場合、中央銀行は、金価格を例えば 1 オンスあたり 3,000 ドルに固定する投票を行うだけで、5 分でインフレを引き起こすことができる。FRB は、金を 1 オンスあたり 2,950 ドルで購入し、3,050 ドルで販売することで価格を固定することができ、実質的に目標価格の 3.3% のレンジを持つマーケット メーカーになることができる。

連邦準備制度理事会がこれを実行すれば、銀、石油、その他の商品を含む他のすべての価格が新しい価格レベルにすぐに適応し、一般的なインフレ率が最大 150% まで上昇することになります。これで問題は解決です。これを単に金の価格の「上昇」と考えないでください。実際には、金で測ったドルの価値が 60% 下落することになります。

金は金融市場では後回しにされる存在です。平均的な国民の貯蓄マトリックスの0.5%未満を占めています。その割合が小さいと、購

入や売却で価格が大きく変動することもあります。米国で信頼が失われると

ドルの場合、投資家の配分が1%または2%変化すると、価格に大きな違いが生じるでしょう。

金は恐怖と貪欲の両方に反応します。恐怖の結果として金が急騰すると、貪欲な買い手が勢いに乗ろうとし、取引で損をするのではないかという恐怖が急騰を誇張します。市場が自らの重みで崩壊するまでこの状態が続きます。そして、金が短期間で 1 オンスあたり 700 ドルから 1,900 ドルに急騰したときにまさにそれが起こりました。 - 金取引のきっかけとなるのは、10 年国債や米ドルの制御が失われることです。弱さが見られると、金は通常、前向きに反応します。

人類の自由：

人類の自由は、腐敗した金銭への隷属からの解放から始まります。

「アメリカ国民は、自分たちが代償を払っていることに気づいていない。誰かがホイールキャップを盗んでいることは知っているが、価格をつり上げるのは強欲なビジネスマン、高い賃金を要求する利己的な労働者、作物に過剰な要求をする無能な農民、あるいは我々の価格をつり上げる裕福な外国人だと思っている。彼らは、これらのグループも、連邦準備制度によって、そして連邦準備制度を通じて、常に価値が損なわれている通貨制度の被害者であることを理解していない。」 - G. エドワード グリフィン

多くの活動家や誠実な人々は、公的に管理された資産担保通貨への回帰を要求したり、[ビットコインのような新しいテクノロジーを探](#)

求したりすることで、金融システムを少しずつ破壊していますが、これらの取り組みはすべて、現在の金融基準が私たちの繁栄と未来を奪っているよりもはるかにゆっくりと勢いを増しているようです。このため、多くの賢明で賢明な人々は、想像を絶する苦しみを世界に与えるであろう世界経済の崩壊という最悪の事態に備えています。現在の**お金のモデルでは、崩壊は避けられません。**

人々は金を所有しなければなりません。金は同時に他人の負債ではない唯一の金融資産です。現実には、世界の主要銀行はすべて破産していることを忘れないでください。部分準備制度と不良債権の多さ、その他の要因により、これらの機関で信頼できるものは1つもありません。- さらに悪いことに、銀行に多額のお金を預けている場合、資産だと思っけていても、銀行は負債と見なし、キプロスで見られたバイルインや、最近破綻したマドリッド銀行（少なくとも14,000人の顧客が資金を失いました）のように、差し押さえの対象となります。- EUはすでに、このようなイベントの基盤を整えています。

犯罪銀行カルテルの終焉を願う：

私たちが知っている地球上の生命を終わらせることなく、犯罪銀行カルテルを克服できる望みはあるのでしょうか？ 人類は、多くの人が努力して築き上げてきたすべてのものの価値を完全に失うことなく、実質的に一夜にして完全に腐敗した経済から正直な経済に移行できるのでしょうか？

それはとてもありそうにありません。解決策はとても簡単です。借金のないお金です。そして、このメッセージの背後には率直に意見を言う人たちがいます。彼らは力がありながらも慈悲深く、まさにそれを実現するために舞台裏で働いています。つまり、現在人々が苦しんでいる不正な不換紙幣と金融略奪に代わる、世界に正直なお金をもたらすことです。

ホワイトドラゴン協会

ホワイトドラゴン協会と犯罪組織の戦いはホワイトドラゴンの勝利に終わった。このアジアの秘密結社は、政治的に言えば、米国連邦準備制度に対する訴訟ですでに勝訴している。**連邦準備制度はアジアのドラゴンファミリーに敗訴した。**訴訟金額は 10億ドル以上だった。もちろん、これは主流メディアのどこにも公表されていない。**裁判所の判決は、アジアの金はすべてその合法的な所有者に返還されるべきであるとしていた。**それは秘密の裁判所の決定だった。しかし、FRBはこれらの命令に従うだろうか？もしそうなら、米ドルは崩壊するだろう。そして、カバールはそれが起こることを許さないで、彼らは偽りの口実の下で世界大戦を遂行し続け、彼らの脅威は衰えることなく続く。

より良い未来:

ベンジャミン・フルフォード これについて、次のように述べています。

「金融政策に関する議論に関与する常連の容疑者たちの輪の外では、興味深い展開が進行中です。この点で世界に希望を与えているのは、ホワイトドラゴンソサエティまたはファミリーと呼ばれる統一された富裕層グループです。彼らの主な主張は、彼らは極めて強力でありながら慈悲深い秘密のアジア組織であり、世界金融の腐敗の惰性を克服するコネクション、影響力、能力を持ち、私たち全員に最高レベルの莫大な恩恵を与えているということです。

この「王朝」の主な協力者は、法を超越し、システムの外側にいる、非常に裕福な一族であるホワイトドラゴンソサエティであり、邪悪なロスチャイルド銀行家とその金融操作者たちの支配から世界を救おうとする意欲を持っています。

ホワイト ドラゴン ソサエティは、永続的な世界平和を達成し、前例のない進歩と繁栄の黄金時代を始めるために、ファシストの新世界秩序ではなく、世界連邦の創設を提案しました。この提案は、ペンタゴン、バチカン、中国、イギリス連邦、その他の権力中枢との進行中の秘密交渉中に行われました。

この提案では、9つの主要地域グループの政治的コンセンサスを代表する人々が国連安全保障理事会に代わることになる。これには、アフリカ、中国、中国を除く東アジア、ヨーロッパ、ロシア、インド、イスラム世界、北米、南米が含まれる。決定は多数決で行われ、各地域は自身の地域に対してのみ拒否権を持つ。また、各地域には実力主義のスタッフが配置された独自の将来計画機関と国民所有の中央銀行も設置される。

さらに、地域を越えた巨大プロジェクトを計画するための実力主義の将来計画機関が設立される。世界銀行やIMFなどの既存の国際機関で優れた実績を持つ技術者が、この機関か地域機関のいずれかに加わるよう招かれる。

ペンタゴン、中国軍、ロシア軍は徐々に統合され、地球防衛軍を形成する。これまでのところ、ペンタゴンと各機関、フリーメーソンのP2ロッジ（バチカン）、中国、ロシア、ドイツ、イギリスはすべて、この計画を支持するという最初の兆候を示している。このような構造が構築されれば、すべての国際紛争を戦争ではなく、仲裁、訴訟、スポーツイベントを通じて解決することが可能になるだろう。

また、貧困をなくし、環境破壊を止め、新たな生態系を創造し、宇宙を探索するなど、前例のないキャンペーンに費やすために、数十兆ドル相当の資金を放出することも可能になる。

公の場では、新しいシステムが原則的に合意されたことを示す強力な証拠がある。中国がアジアインフラ投資銀行を発表したとき、ワシントンの陰謀団は同盟国に参加しないように言った。それ以来、オーストラリア、ブラジル、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、韓国、ロシア、デンマークなどが参加を表明した。これにより、IMFと世界銀行も支持を表明せざるを得なくなった。言い換えれば、連邦準備制度理事会の秘密の支配者は制御を失ったのだ。

旧金融システムで残っているのは、機能している小売システムと機能不全の制度システムの組み合わせです。言い換えれば、給料や電気代などは、街頭レベルでは依然として現実的に扱われていますが、株式市場、債券市場、ヘッジファンドなどは、ずっと前に現実世界から去っています。

世界銀行や国際通貨システムのような機関は、単に現代の経済的奴隷制の手段に過ぎません。 [このビデオを見る](#) 理由をよりよく理解するため。

24. すべてはお金の問題だ

- 借金はお金として使用することはできません。
- 裏付けのない印刷されたお金は、最終的には必ず失敗します。
- 通貨システム:
- 金とお金の関係:
- お金はエネルギーの交換です。
- 腐敗した銀行システム:
- 世界的な紙幣システムが崩壊すると:

借金はお金として使用することはできません。



ほとんどの人はお金が何であるか、そして何ではないかを本当に知りません。それは当然のことと考えられていますが、実際にはそうではありません。犯される主な間違いの1つは、お金が

借金と同じであると見なされていることです。

それは事実ではありません。しかし、世界全体の通貨システムは負債に基づいており、それ自体が矛盾しています。間違いなく、間もなく悲惨で避けられない破綻に向かうでしょう。負債はお金として使用できないため、回避する方法はありません。

紀元前 4 世紀、アリストテレスは初めてお金を価値の保存手段および交換手段として定義しました。今日使用されている紙幣は、政府がそれを受け取らないことを違法とすることで交換手段にしましたが、価値の保存手段としては適していません。今日お金として使用されているものは、実際にはお金ではなく、通貨です。事実上、政府が実際のお金の代わりに作った言葉です。実際のお金は、価値のある製品やサービスと交換されるため、本質的な価値を持っている必要があります。

アリストテレスは、お金は次の 5 つの特徴を持つものとして定義しました。

- 耐久性があり分割可能
- 一貫性と利便性
- 重要なのは、それ自体の価値を持たなければならないということです。

これらの理由から、金はおそらくお金として使われるのに最適な鉱物です。なぜなら、時間の経過とともに、金は耐久性があり、分割可能で、一貫性があり、便利で、疑いなく価値があることが証明されているからです。

銀も優れた鉱物ですが、時間の経過とともに腐食するため耐久性が低く、一般的に自由市場環境では金の約 1/10 の価値しかないため、同等の価値を保管するには金よりもかなり多くの量が必要になるため、あまり便利ではありません。銅は次に良い鉱物です。

さらに、おそらく最も重要な利点は、金は印刷できず、希少な（数量が限られている）鉱物であり、採掘によってのみ量が増えることです。そのため、権力者は金の供給量を自由に増やすことができず、その結果、金の増殖は権力者の手に負えなくなります。

裏付けのない印刷されたお金は、最終的には必ず失敗します

印刷されたお金の問題は、それが法定通貨、つまり発行者（この場合は政府）に対する**信頼に基づく通貨であるにもかかわらず、政府は誰にも告げずに紙幣の流通枚数を増やすことができ、それがインフレになる**という点です。政府は希望に応じて紙幣を発行するため、インフレによって紙幣の本質的価値が下がる前に、つまりインフレによって物価が上がる前に、紙幣を先に使うという利点があります。インフレは基本的に国民の富を減らすことで**国民から窃盗する行為**です。政府には国民の富に関する約束を守る責任がないため、国民から盗むことは犯罪とは見なしていません。実際、それは代表なき課税です。政府の権力は武力に基づいているため、政府はやりたいことを自由にできると感じており、通貨をインフレさせることは犯罪ではありません。彼らの意見ではそれが**国益**になるからです。その結果、必然的に政府の通貨は失敗します。

政府は、思いやりがあり、名誉ある行動をしようと努める生きた個人ではありません。より正確に言えば、政府は、自らの利益を追求する官僚と政治家の組織です。政府は、誰が支払うかに関係なく、補助金や社会保障、失業手当などの給付金を権利として人々が期待しているため、税金で徴収する以上の支出をする習慣があります。

ドイツのハイパーインフレ：

1920年代のドイツの悪名高いハイパーインフレの時代、あるいはもっと最近のジンバブエのハイパーインフレの時代では、印刷された紙幣に無数のゼロが加えられましたが、人々は依然として政府の紙幣を使用しなければ



なりません。ジンバブエでは、車の燃料タンクを満タンにするには、非常に不便な紙幣が詰まったバックパックが必要です。

ワイマール時代のドイツでは、10 マルクと 20 マルクの金貨がまだ流通していました。マルク、フラン、リラ、ポンド、ドルはすべて、もともと一定量の金によって証明され、裏付けられた価値に基づいて使用されていたことを人々は忘れていました。このようなシステムでは、銀貨の方が良い選択肢かもしれません。

第一次世界大戦が始まると、ドイツのワイマール共和国は金本位制を廃止しました。当時、5マルクは1ドルに相当しました。1923年までに、レートは1ドルに数兆マルクにまで達しました。1923年までに、金貨をマットレスの下に隠していたか、外国の銀行口座を持っていたドイツ人だけがまだ流動資産を持っていました。他のすべて

の人々は経済的に破綻しました。人々は、避けられる限り金を使わなかったのです。

ドイツのワイマール時代のハイパーインフレは、同国にとって歴史的な大惨事でした。興味深いことに、現在ドイツはユーロ圏の中心にあり、再び同じ状況に直面しています。

経済的責任：

ユーロについて：ユーロの状況について自分の意見を隠さない人物の1人が、ハーバード大学のマーティン フェルドスタイン教授です。「20年前、フェルドスタイン教授は、ユーロは17か国からなるブロックにとって「経済的負債」になるだろうと警告しました。5年前、教授は、この単一通貨を規定する規則が「大きな慢性的な財政赤字への非常に強い偏り」を生み出していると指摘しました。」

彼はすでに2008年に、ユーロ圏が最終的に分裂する可能性があるとして予測していた。

少なくともローマ時代以来、世界の主要通貨はすべて、はるかに都市化が進み、経済が主にサービスに依存している国の政府によって発行されています。米国、英国、EU、日本では、すべての通貨がさまざまな理由で大きな問題を抱えており、安定した経済の基礎となる製造活動は比較的少ないです。

1920年代、あるいは数年前のジンバブエでは、国民の半分がまだ農場で暮らし、クレジットカードや年金基金はおろか銀行口座さえ持っていない人も大勢いました。ドルやその他の紙幣の消滅は、前述の過去の出来事よりもはるかに深刻な問題です。

通貨システム：

現在、経済はインフレとデフレの間で戦っています。GM、クライスラー、フォルティス、リーマン・ブラザーズなどの企業や銀行が債

務不履行に陥ったとき、何千億ドルものお金が消えました。それは、人々が購入した資産で、所有者が現金に換えることができたはずのものでした。それがデフレですが、お金が商品であるか、金などの商品に裏付けられている健全な通貨システムでは、お金が消えることはあり得ません。所有者が変わることはあっても、決して蒸発することはありません。しかし、お金を自由に作成できる通貨システムでは、お金は作成されたのと同じくらい簡単に消えることもあります。

政府によって発行された通貨は一部の人々には利益をもたらしますが、大多数の人々にはそうではありません。新しく印刷されたお金を使う最初の人々は、インフレ前の最も価値が高いときにそれを使うことができますが、新しく鑄造された通貨が流通するとすぐに、流通量の増加による通貨価値の低下の結果として価格が上昇します。最も損害を受けるのは中流階級と下層階級の人々であり、彼らは以前よりも高い金額を支払うことで価値の低下による痛みを最も感じることとなります。時間の経過とともに価値が縮小することで中流階級が破壊され、下層階級はその瞬間以前にすべての貴重品を失っています。これは世界中のすべての国にとって道徳的な災害です。一方、1%の上流階級は利己的すぎて、他の人のことを本当に気にかけることができません。

賃金の劇的なデフレを伴うこの経済収縮は、容易に内戦、革命、政治的不安定化につながる可能性があります、それは今日実践されているような福祉構造を伴う社会の民主主義を決定的に終わらせることになるだろう。

社会の最下層と最上層の間の階級闘争は、厳しい結果をもたらすでしょう。

実際、この金融危機の根底には、中央銀行が広め、公表した過剰なお金が今度は創造的破壊によって収縮させなければならない資産バブルを生み出したという捏造された真実があります。文字通り、デ

フレとインフレの戦いが繰り返されており、その中で破壊はシステム内の過剰な生産能力の除去を引き起こし、その結果、ほとんどの自動車製造業者と同様に、過去に創出された驚異的な金額を上回るために生産量が 30% 以上削減されました。

世界中の福祉国家は、過去の債務の返済があまりにも大きくなったために、衰退し、最終的には国家債務不履行に陥る危機に直面している。年金や医療を期待する高齢者が多すぎる。精神病院の患者のように、ケアを必要とする、積み重なった古い責任が多すぎる。救済措置、補助金、保護、セーフティネットが多すぎる。

これは人々の生活水準の深刻な低下を引き起こすことになるが、人々はそれに備えておらず、それは悲劇となるだろう。

ほとんどの人は、この避けられない危機の時期を乗り切るために必要な卵や肉などを得るために、自分で食べ物を育てる庭や鶏を飼っていません。悲しいことに、これを回避する方法はありません。

必然的に、政府は、自らの手で経済に課せられたすべての誤った配分と歪みを市場に解決させず、後退しないのは政治的に正しくないとは判断し、困難な状況に自らを導いてきたからだ。

政府は、国民を満足させるために「何かをしなければならない」と考えている。たとえそれが間違っていると重々承知しているとしても。そして「何かをする」とは、税金を上げすぎないように支出することを意味する。なぜなら、政府は、緊縮財政と税金を過度に引き上げると、実際に復興させようとしている経済が破綻してしまうことを知っているからだ。失業「給付」を何年も延長し、「無料」の医療などを提供することで有権者を買収し、経済を「立て直す」ために救済と景気刺激策に支出する。政治の構造上、政府は絶え間なく支出しなければならない。支出しないなど考えられない。当局と官僚は脳死状態だ。

現実的に考えると、2008年から2009年よりもはるかにひどい第2次金融危機が起こり、第2次大恐慌を引き起こすことになるだろう。

数兆ドルの赤字:

こうしたすべての行動に資金を供給するために、政府は借金か紙幣の印刷のどちらかを考えています。実際、政府は国債を魅力的にするために金利を引き上げなければ借金できませんが、その場合もいわゆる「鉄の肺経済」に支障をきたすことになります。そして、政府が紙幣を印刷する場合、それは罰せられることなく実行できますが、彼らは、他の愚か者が公職に就くまで支払いが期日を迎えないことを望んでいるに違いありません。ドル、ユーロ、そして結果的に他のすべての不換紙幣は、遅かれ早かれ破壊されます。当局は、無責任な行動の結果、自らが作成した通貨を破壊します。

政府は、予算を引き締めて管理することができないため、何兆ドルもの赤字を抱えている。しかし、金利を低く抑えて借金を続けることはできないので、国債を自らに、より具体的には政府に売却する。

連邦準備制度理事会と中央銀行は、実質的に追加の通貨を発行します。その結果、ハイパーインフレの段階に達するまで、さらなるインフレが発生します。簡単に言えば、痛みのない緊縮財政は存在しません。それでも、当局は、タイタニック号のように国家の船が前方の岩に沈むまで待ち続けます。

現実の（商品ベースの）お金の代わりに不換紙幣が使用される結果、金融の終末が訪れるでしょう。そして、まさにこれが、借金がお金として使用できない理由です。

まだ幸せな日々は見えません。

これに無頓着な読者は、意味を理解せずにこれらの言葉を読んで、事態がそこまで悪化するとは信じられないので行動を起こさないだろう。しかし、近い将来、彼らは非常に不幸になるだろう。今後数

年間に何が起こるかについては意見の一致はないが、読者は嵐の目がまだ来ていない今、そして一見すると短期的な周期的な「改善」が現在起こっており、その結果、ほとんどの人が「幸せな日々が再び来た」と考えている今、何かをすべきである。

覚えておいてください。私たちは向こう岸に到達するためにこの嵐の目を通過するだけでなく、その後には津波を伴うさらに大きなハリケーンが待ち受けており、それに耐えなければなりません。これは、これから起こる問題の始まりに過ぎません。今すぐ行動を起こしてください。

合理的な行動としては、金の購入、海外での資産の分散、旧経済で好まれていた資産の処分などが挙げられる。これらは新経済によって吹き飛ばされる可能性が高い。これには、かつては魅力的と言われていた地域の投機的な不動産が含まれる。家売って賃貸に出すのもいいかもしれない。本当に必要のないすべての不要なものを現金に換える。そして、**すべての負債をなくす**。

支出を徹底的に削減し、資産を統合してください。最良の方法は、コインの形で金と銀を現金で購入することです。投機したい場合は、特に政府の介入の結果として崩壊する新しいバブルを考慮して、賭けに勝つチャンスをつかんでください。

主な変更点:

技術とイノベーションを応用して、今後数年間に新しいアイデアや製品を生み出しましょう。通貨の不在によって生じた空白を埋めるために、物々交換のインフラについて考えましょう。経済は人口動態、社会的、軍事的、政治的に大きな変化を遂げるでしょう。つまり、今日知られている世界とはまったく異なる世界になるでしょう。雇われることを期待しないでください。起業家精神に富んだ取り組みだけが成功するでしょう。今こそ、周囲を見渡し、将来人々が必要とするかもしれない商品やサービスがどのようなものか自問自

答する良い時期です。過去にうまくいったことは将来うまくいかないということを念頭に置き、今から創造的に考え始めるべきです。

金とお金の関係:

金の現物を所有できる限り、紙幣を金に替えることで独自の金本位制を確立することができます。中央銀行は金本位制に移行したくありません。しかし、中央銀行が主張するように、金が本当に野蛮な遺物であるなら、金が通貨制度において何の役割も果たさないなら、金が「愚かな」投資であるなら、なぜロシア人や中国人など、金を蓄えている数少ない国が、これほど大量の金を持っているのでしょうか。

金の価格はそれ自体が経済的な対象でも目的でもありません。それは価格シグナルです。それは経済で何が起きているかを明らかにします。金と紙幣を並べて考えたり、何らかの関係があると考えたりすると、単純にマネーサプライを市場の金の量で割るだけで、1オンズあたり7,000~8,000ドルという価格レベルに到達します。

紙幣の売りさばきが起こり（これは十分あり得る）、ハイパーインフレも起こる可能性は十分にあるが、中央銀行は金本位制に移行せざるを得なくなるかもしれない。それは中央銀行がそうしたいからではなく、市場を落ち着かせるために必要だからである。

西洋ではこれが可能かどうか - 彼らには金が残っていないかもしれないのに? - それは別の問題ですか?

市場の上限と下限:

覚えておいてください: 2007年の住宅市場のように、市場は誰もが取引に参加するまでピークに達しません。そうなるまでは、常に新しい買い手がいてバブルを新たな高みへと押し上げます。しかし、誰もが取引に参加し、より高い価格で購入する人がいなくなったとき、それが市場がピークに達するときです。

市場が底を打ったときも同じことが言えます。金市場が底を打つのは、売りたい人が全員売り終えたとき、つまり価格を押し下げる人がいなくなったときです。金市場は今、その時点に達したように見えます。

中国最大の金地金取引所における現物金の需要は昨年2倍のペースで伸びている。ブルームバーグは次のように報じている。

「今年上半期に中国最大の金地金取引所が買い手に引き渡した現物の金は、2012年に金庫から引き出された総量とほぼ同量で、中国の年間生産量の2倍以上となった。」上海黄金取引所は、2015年6月30日までに1,098トンの金地金を引き渡した。2017年通年の合計は1,139トンだった。

長期的に見れば、通貨の見通しが悪いため、金の見通しは良好であることに注意してください。1913年のドルは現在4セント未満ですが、金はわずか100年前には1オンスあたり20.67ドルでしたが、現在は1,293ドルの価値があります。

「我々はハイパーインフレと破滅的なデフレの瀬戸際にいる。中央銀行は大いに恐れるべきだ」とダグ・ケイシーは言う。彼は米国で今後1年かそこらでインフレが爆発するのを予想している。しかし、彼はこう付け加えた。「中央銀行は膨大な資産バブルを作り出しており、もしそれがはじけたら、我々は巨大なデフレスパイラルに陥る可能性がある。彼は最近どこにお金をつぎ込んでいるのか？私は何年も金を買っているが、それは貯蓄の方法であり、将来のために資金を蓄える方法だから、これからも買い続ける。この価格で金を買えるのはとても嬉しいことだ。」

人々は金の価格を、COMEXが金の実際の価格として主張している金の価格と混同しています。真の市場では、価格は需要を満たす供給

によって決まりますが、今日の金市場にはどちらも存在しません。需要の高さによる膨大な不足がそれを示しています。

このビデオでは なぜ次の危機が私たちに迫っているのか：まさに今私たちに迫っている、現代最大の経済危機に対する新たな洞察を提供します。

お金はエネルギーの交換です。

人々は「お金の流れ」について語りますが、それは実際にはエネルギーの流れです。秘密のエリートたちは、お金のエネルギーが絶えず自分たちに流れ込むようにするエネルギー構造を作り出しました。この構造は「経済システム」または「経済」と呼ばれ、銀行、金融機関、株式市場、その他の取引形態で構成されているように見えますが、これらの富の流れはすべて、最終的にはエリート、つまりロスチャイルド家とそのコンソーシアムに流れ込みます。彼らは、世界中のすべての政府を合わせたよりも多くのお金を管理しています。「金融システム」と呼ばれるエネルギー構造を制御することで、お金、つまりエネルギーが彼らに流れ込みます。お金はエネルギーを交換する手段です。彼らはお金を作成し、それが人から人へと渡されるときに社会全体に循環させ、各人は無意識のうちにお金のエネルギーフィールドに自分のエネルギーフィールドを刻み込んでいます。エリートたちは私たちのお金を盗むことで、私たちの生命力を盗んでいます。経済システムは、これを大衆と少数のエリートの間でエネルギー交換の日常的な標準にするように特別に設計されています。人々が日々のエネルギーの貢献に対する正当な報酬として仕事に対して報酬を受け取ると、税金と呼ばれるエネルギーの吸血鬼の長いリストが彼らの本来の収入を減らします。 莫大な額の納税者のお金が、政府が実際に無利子で創造で



きるお金の利息を返済するために、直接民間銀行に流れているのです。

貿易の基本ルールは、所得は与えられたエネルギーに対して受け取るエネルギーであり、これはその後、高レベルの課税の長いリストのエネルギー寄生虫の対象となり、所得税の後には、消費税、弁護士税または市町村税、相続税、自動車税、道路税などが続き、常に新しい税金が發明されています。消費税は単に自分のお金を使うことに対する罰金ですが、相続税と相続税はすでに課税されたお金への課税です。[ここにリストがあります。米国の税金ですが、すべてではありません。](#)

最も顕著なのは、税金と利息を足し合わせて収入から差し引くと驚くほど高いことです。ロスチャイルド家の金庫に流れ込むのは、私たちのエネルギー投入がシステムに戻っていることに気づけば、さらにその額は大きくなります。

税金は増え続けているにもかかわらず、このお金で支払われるべきサービスの質は低下し続けています。これに、信用という存在しないお金を借りるために銀行に支払われる利子を加えると、人類が精神的に、組織的に搾り取られていることは明らかです。

さらに悪いことに、人々の選択と可能性も、この同じ流れの中で失われています。私たちは本当にやりたいことや行きたい場所を否定され、「お金がない」または「お金がない」というマントラを使わざるを得ません。お金は私たちの一部であり、私たちのエネルギーフィールドだからです。お金を受け取ったり与えたりすることは、エネルギーの「流入」と「流出」です。大衆は、**受け取るよりもはるかに多くのエネルギーを与えるように操作されています。** 給与や利益として受け取ったもののほとんどが、税金、金利、および必須サービスの人為的に高騰したコストに消費され、操作された通貨インフレによってさらにデフレートされます。

住民の生命力を略奪する：

ロスチャイルド家が管理する経済システムは、国民の生命力を略奪するために作られた。一般大衆はお金を通貨として見ているが、ロスチャイルド家はそれをエネルギーとして見ている。まさにその通りだ。通貨は電流として循環し、利子によって拡大されたより大きな電圧でエリート層に戻ってくる。そうすることで、[ロスチャイルド家は](#) 現在、地球は私有化されています。

「ロスチャイルド家は毎日何兆ドルもの資金を世界の株式市場で動かしており、株価が上がるか下がるか、好況か暴落かは彼らが決めている。株式市場の暴落はただ起こるのではなく、起こすように仕向けられている。そのような高度な知識があれば、彼らが操作された暴落前の企業価値のほんの一部で企業を買収し、保有株を大幅に増やす方法は明らかだ。スーパーコンピューターのネットワークが彼らの金融システムを運営し、高頻度取引（HFT）によって市場を独占している。彼らは約70%を支配しており、それによって世界の富を奪い、世界経済を意のままに破壊することができる。メディアが銀行業界にとってひどい時期だと語る時、彼らは要点を見失っている。

確かに、貯蓄や家、仕事を失う人にとっては悪いことです。しかし、システムを所有するロスチャイルド家は、誰が負けても気にしません。何が起ころうと、彼らは依然としてゲームを所有しています。ゲームは、参加者が少なくなっても続くだけです。リーマン・ブラザーズが破綻したとき、彼らのシステム内の他の人々が資産と事業を引き継ぎました。」

「政府でも同じことが起きる。不況で政府の歳入が激減すると、政府は支出を維持するためにさらなる融資を求めるが、一方でロスチャイルドによる政府支配は拡大し続ける。」

しかし、すべてが悲観的というわけではない。エリート層の金融大量破壊兵器、つまり負債と米軍に対抗できるほど強い国はなかったが、エリート層の独占体制を根本から変えつつある人々の目覚めがますます高まり、希望が生まれている。失敗した西側諸国の銀行システム再編は期限切れとなった。つまり、エリート層の人間は誰も、この崩壊したデリバティブの混乱を二度と元に戻すことはできないのだ。

「戦争は常に、ロスチャイルド主導の世界支配機構が実行する究極の戦術でした。戦争を扇動するために慎重に選ばれた計画から生じる混乱から、彼らの事業拡大のためにますます増え続けるお金を盗み出すという狂氣的な世界支配の目的まで。」

「西側諸国の壊れた銀行システムは民主主義の破壊者となり、ファシストとなり、借りた法定通貨で動くスパイ主導の政府ネットワークとなった。そして、彼らのエリート傀儡のコミュニティ組織者からテレプロンプターを読む米国大統領に転身し、無制限の法定通貨、嘘、エリートによる伝道活動の分配者となったオバマが他にもない。」

東側から彼らに立ち向かうのは、金の蓄積者であり、膨大な天然資源の支配者であり、中国や他のBRICS諸国と成長協定を結び、間もなく拡大するプーチン大統領である。

ロスチャイルドの陰謀団はすべての国を略奪し、金や資源を奪い、紙幣を支配しています。これを阻止しなければなりません。

イルミナティの蛇の頭は今日の金融システムであることを人々が理解すれば、この国家略奪は簡単に止められる。要点は、その仕組みが負債による金融だということだ。いったん負債を抱えると、人々は奴隷にされる。例えば、住宅ローンは負債による締め付けであり、それはあなたが家を所有するのではなく、銀行が所有することを

意味する。そして、不動産に対する税金さえも、支払われなければ、政府による締め付けが強化される可能性がある。要点は、カバールがお金を発行できるようにするシステム全体が、巨大な金融詐欺に基づいているということだ。彼らは無限のお金の供給で、事実上世界を所有しており、地球上のすべてのもの、すべての政府の国民さえも買っている。

お金の供給というその一つのものを取り除いて、それを各国の人々の手に委ねましょう。定義自体が不合理である部分準備銀行制度を廃止しましょう。そうすれば、文字通り私たちに苦しめている負債の重荷から解放されるでしょう。

腐敗した反逆的な政府がこうした政策を実行している理由は、彼らが我々を代表しているのではなく、イルミナティの銀行家を代表しており、戦争で莫大な金を稼いでいるからだ。さらに重要なのは、我々が互いに戦い、互いを信頼せず、繰り返し駒として利用されている限り、彼らはこの終わりのない戦争と負債の専制体制を維持できるということだ。そのように行動することで、[イルミナティは](#)これまで常に反対はなかった。国家を略奪し、その金や資源を奪い、紙幣を掌握する時代は、今や終わらなければならない。

ウクライナを見れば、米国主導の反乱分子が、最近ファシスト・ネオナチの助けを借りて、甚大な混乱を引き起こしており、彼らは事実上、何の統制も監視も受けずに独りよがりになっている。

英国・米国・イスラエルの陰謀団は、アフガニスタンとイラクでの戦争を皮切りに、すでに何年も前にユーラシアを支配下に置くことを決めていた。

計画されたテロ攻撃とインド、パキスタン、シリア、イランへのCIAの秘密介入により、彼らはイスラエルから中国まで、石油とガスの埋蔵量があるカスピ海へのアクセスのために地域全体を支配したいと考えています。計画はロシアと国境を接する可能な限り多くの国を支配することであり、それがジョージアへの介入の理由であり

、現在彼らがNATOへの加盟を強要しようとしているウクライナです。ロスチャイルドは中国とロシアを巻き込んだ戦争を引き起こし、計画されている世界統一政府と軍隊をもたらしたいと考えています。

しかし、野放しにされた寄生虫と同じように、最終的には宿主を食い尽くすことになる。米国は食い尽くされ、その法定通貨の残骸は第三世界の取引のために残されることになるが、何も知らない国民にこのことを伝えてはいけない。エリートが支配するメディアは、こうした国家を破滅させるような出来事には沈黙しており、認知されずに腐敗しつつあるオーウェル的な存在で皆を驚かせたいのだ。

財政の安定を目指す：

イルミナティには時間も選択肢もなくなりつつある。彼らは決して愚かではないし、負けそうな手札を見ればそれを見抜く。エリートたちが期待できる最善の策は、法定時限爆弾の「缶」を先送りし続け、次のエリート世代にその惨事に対処させることだ。

「アンゲラ・メルケルがいなかったら、ドイツは指導的役割を果たせたかもしれないし、それ以上の役割を果たせたかもしれない。ドイツでは不安が高まっている。賢い国であるドイツを、あまり賢くない首相が率いているが、その首相は、米国と第三帝国の同盟にますます反対する勢力バランスの変化を認識するのが遅すぎる。」

ドイツのビジネス界は、自国の政治指導者がEUと米国のファシスト勢力によって国を内側から破壊することを許すつもりはない。

「ドイツが進む道は、ヨーロッパの他の国々の進む道でもある。もしドイツが指導的役割を担うことを躊躇すれば、それは米国との臍の緒のような関係を断つことを意味するが、小国は主権による自国保存の最後の手段としてBRICS同盟に飛びつくだらう。結局、ドイツは東に目を向け、西側の

陰険なやり方を捨てるだろう。ドイツはロスチャイルド家が世界支配に台頭する温床であり、今日の世界のあらゆる悪の起源の領域であったにもかかわらず、米国によってこれほど疎外されるには大国すぎる。」

結局のところ、歴代の米国大統領が戦争の太鼓をたたき、軍隊や「顧問」、軍艦を派遣してきたにもかかわらず、変化の潮流によって米国の軍事的脅威は現実のものとなったかもしれないが、彼らにはその脅しを実行する能力が減っているのだ。

ロシアは中国、インド、その他の国々の支援を受け、金準備と金融の安定と成長に向けたビジネス基盤を構築することになる。欧州諸国が越えてはならない金融・経済線を引く可能性もあることから、米国は完全に孤立することになるだろう。

腐敗した銀行システム:

金と銀を持っていれば、誰もが知っているように、西洋世界の差し迫った崩壊を生き延びる可能性が最も高くなります。それは、ウクライナ人、キプロス人、ギリシャ人、アイルランド人、スペイン国民が政府の罪のために苦しんでいるのと同じように、誰にとっても悲しいことです。誰もが、自分たちの国の伝統に誇りを持っていません。

金や銀を所有していても、その購入価格が高騰していることを嘆くのは誰にとっても些細なことだ。価格は関係ない。これを何度言わなければならないのか？ 中央銀行主導の政府が絶え間なく過剰支出を行い、国民だけでなく世界を欺いてきた結果に、私たちは日々近づいている。

腐敗した銀行システムの中に留まることを選んだ人々は、自らの危険を冒してそうする。「他にどんな選択肢があるだろうか」と言う人々は、自分で考える気がないために、別の選択肢を選ばないことを選んだ。彼らが群集心理の一部であり、群集が確実に経済的破滅

につながる崖に向かっていることを予見できたとしたら、群集の道に留まることの避けられない結果を認識し、彼らは別の選択をするだろうか、それとも「他にどんな選択肢があるだろうか、私は他のみんなと一緒に崖を転げ落ちるつもりだ」と言い続けるだろうか。

重要な選択の 1 つは、今後数世代にわたって再び見られる可能性の低い、この途方もなく低い価格での現物金属の継続的な購入です。私たちはすべて、今後数十年間の地政学的状況を変える歴史的変化の瀬戸際にいます。現物の金の価格がいくらであるかを心配することは、ほとんど意味がありません。

最も理にかなっているのは、確実に起こることに対して十分な準備をしておくことです。

「世界で最も安全な通貨は金です。これは、金がいかなる国家によっても裏付けや保証されていないからです。金は純粋な富であり、その価値を保証するために国家を必要としません。金は非常に安全で、他の通貨は利子を支払う必要がありますが、利子を支払う必要はありません。たとえば、利子を支払わなければ、誰がルーブルやオーストラリアドルを所有するのでしょうか？ 通貨の安全性が低いほど、その通貨は購入者に多くの利子を支払わなければなりません。」と、90歳のニューズレターのベテランである故ラッセル氏は語った。

金と銀の利点の 1 つは、価値がなくなることがないことです。歴史的に、歴史上のすべての法定通貨は最終的に価値がなくなり、無価値になりました。歴史上、法定通貨が生き残ったことはありません。ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは次のように明確に述べています。

「小さな紙切れから富を生み出すことはできない
。」

世界的な紙幣システムが崩壊すると：

ベネズエラとドイツが金を本国に送還したことは、世界全体の紙幣システムが重い負債の重圧で崩壊しつつあることを示す多くの警告サインの1つにすぎません。ドルは最終的に世界の準備通貨としての地位を失わなければならないことは明らかです。そして、米国は負債を「返済」するために紙幣を印刷する力を失い、負債爆弾が拡大し続ける中、米国と世界は深刻な金融危機に直面することになります。

「金本位制の200年間（イギリスでは1714年から1914年）を除いて、歴史上ほぼすべての政府は、国民を騙し略奪するために通貨発行の独占権を行使してきた。」 - FA ハイエク

。

米国の同盟国が金の返還を要求したのは今回が初めてではない。1960年代後半から1970年代前半にかけて、ベトナム戦争により米国の支出とインフレが増大し、世界は米国の財政赤字削減能力と貿易赤字の解消能力に信頼を失っていた。

当時は、外国政府が合法的に紙幣を金に換金できた時代でした。そこで、フランスのシャルル・ド・ゴール大統領はまさにそれを実行し始めました。1965年、彼は自国のドル準備金1億5000万ドルを取り出し、フォートノックスで紙幣を米国の金に換金しました。ド・ゴールは、金をフランスに護送するためにフランス海軍を派遣することさえ申し出ました。

スペインも同様に、米ドル準備金6000万ドルを金と交換した。他の国々もこれに倣った。フォートノックスへの取り付け騒ぎを止めるため、ニクソン大統領は1971年8月15日にドルと金の直接交換を廃止した。

どうやら、ドイツは今や、アメリカがまだ信頼できる借り手であるかどうか、明らかに疑問視しているようだ。本質的には、ドイツが金の返還を要求しているのは、連邦準備銀行がまだ金を保有しているかどうか疑問に思っているからだ。金がもしあるとしても、それは米国が他国への担保として貸し出している可能性がある。ドイツが金の返還に7年かかると言っているのはそのためだ。同盟国が基本的にこう言うのは恐ろしいことだろう。

「もうあなたたちを信用しません。金を返してください。」

ドイツがドルに対して金を本国に送還したことの影響は、なぜ送金を完了するのに7年もかかるのかという答えの出ない疑問を中心に展開している。一般的な説明は、FRBがすでに保有する金のすべてを他国の名義で再担保し、さまざまな貸し手の担保として指定しているということだ。そうだとすれば、おそらくドイツはFRBの面目を保てるように、そして他の預金者が自分の金の返還を要求すること、つまりFRBへの「取り付け騒ぎ」を防ぐために、7年の期限を丁重に要求したのだろう。

もちろん、FRBは不足分を補うためにドルをさらに発行し、公開市場で金を購入することもできますが、これにより金の価格が上昇し、金価格が再び急騰し、ドルの下落が確定することになります。

いずれにせよ、大きな変化が起こっています。米国は政府支出が借金に基づいているため、詐欺行為に資金を提供する能力を失いつつあります。

これはまさに悪夢になりつつある。米国のような国が、年間1兆ドル以上の赤字を抱え、支出を止める政治的意志もないため、破産寸前になっているとき、金を購入することが重要になる。

しかし、待ってください、実際の財政赤字は公式の数字の6倍以上、2012年度の新規債務が6兆6000億ドルに膨れ上がった可能性がある、ジョン・ウィリアムズ氏は述べている。

ShadowStats.com - 予算に一般に認められた会計原則 (GAAP) を適用して、米国政府の 2012 年度財務諸表を分析しました。

アメリカは社会保障とメディケアの将来的な負担を考慮しなければならぬ。それだけでも十分憂慮すべきことだが、2012年にその数字が爆発的に増加したことはもっと憂慮すべきことだ。なぜ増加したのか？ウィリアムズ氏は、それは次のことを反映していると語る。

「経済状況の悪化、オバマケアに関連する負債に関するより現実的な報告、ファニーメイやフレディマックなどの問題を抱えた団体が連邦政府の数字に統合される可能性」

6.6 兆ドルの赤字は「年間 GDP の約 45% を占める」とエリック・スプロットは見積もっている。「そして、今年の実際の赤字は 2 桁になるかもしれない」。「私たちはこれがどこに向かうのかわかっているし、彼らが義務を果たせないこともわかっている。つまり、どこかの時点で、政府年金受給者、社会保障受給者、医療を受けられると知っている人、全員が医療を受けられなくなるということだ。そして、それはかなり予測できる」。その認識が実現する日は、「人々を金や銀に駆り立てる金融システムの崩壊」のいくつかのシナリオのうちの 1 つだ。世界の通貨システムは意図的に破壊されつつある。そのため、市場を導く金融シグナルは歪んでしまった。

市場操作:

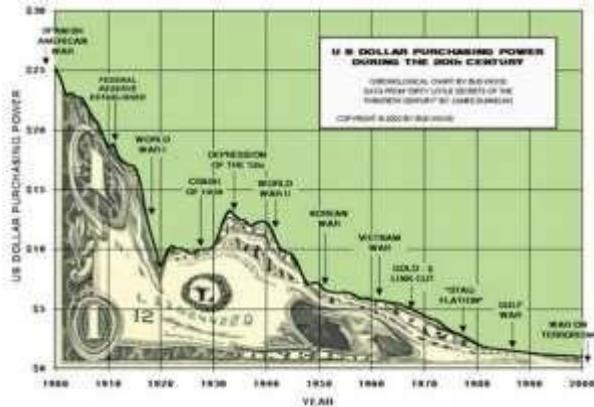
一方、米国造幣局では銀が底をつきました。新しく鑄造されたイーグル銀貨が底をつき、販売を中止せざるを得ませんでした。造幣局が金や銀の現物地金の需要に追いつけないのなら、スポット価格に何か問題があることになります。現物地金が好まれるあまり造幣局が需要に追いつけないのに、需要の大きいこれらの金属の価格がこれほど低いというのは、スポット価格を人為的に低く抑えるために操作されているのでなければ、まったく意味がありません。

陰謀論者ではないが、経済の仕組みを理解していれば、現物地金の需要が市場が先物価格を信頼していないという確かなシグナルを発し始めると、本当に疑念を抱くようになる。金と銀の

先物市場の価格はますます無意味になりつつある。そして、現物の金と銀の不足は、何かがひどく間違っていることの確かな兆候だ！

ポーター・スタンスベリーはこう書いている。

「我々は単一の銀行の破綻について話しているのではない。ただ、単一の銀行（ユニクレジット）が最初に破綻する可能性はますます高まっているようだ。我々は地球上で最大の信用および銀行システムであるシステム全体の破綻について話している。我々が導入している紙幣システムでは、組織化できる（そして私の見解ではそうなる）救済の規模に実際の制限はない。確かに、ECB は国を救済することを禁じる規則を持っている。しかし、その規則は変更されるだろう。それは間違いな



い。連邦準備制度は、米国のマネー マーケット ファンドが 5,000 億ドルを失うことを許すことはできない。欧州経済全体が崩壊することを許すことはできない。インフレ、ユーロとドルに関するパニックなど、その他のリスクが何であれ、完全な崩壊以外はすべて容認されるだろう。」

「私の基本的なアドバイスは、金（および銀）地金を大量に保有することです。考えてみてください。第3四半期の中央銀行の金購入総額は、2010年第3四半期の2倍以上になりました。これは世界が金に逃げているということです。これは世界の準備通貨としての米ドルの終焉です。」

一体何が問題になるのでしょうか？

信用市場も騙されていない。ギリシャの1年国債の利回りは現在1,006%で、ポルトガル国債の利回りスプレッドはドイツ国債に対して200ベースポイント上昇して1,200ベースポイント（12%）となっている。

それでも中央銀行はギリシャを救うために全力を尽くし続けている。しかしそれは、ポルトガル、イタリア、スペインなど他の不安定な欧州連合加盟国に対処しているという意味ではない。

「株価が急騰することを期待していた。連邦準備制度理事会の自殺行為ともいえる金融政策を考えると、それはうらやましいことだ」と伝説的なバリュウ投資家セス・クラーマン氏は語り、連邦準備制度理事会の政策がなぜそれほど危険であるかをうまく説明した。彼は次のように書いている。

「[FRB議長ベン]バーナンキと[欧州中央銀行総裁]ドラギは、彼らの行動が経済回復をもたらすかどうか、またどんな不快な副作用があるかにかかわらず、無期限に国債を買い戻すつもりようだ。4年以上が経過した現在、彼らの努力が予想通りの結果を出していないことは明らかだ。機能していない計画を継続し、理性を無視してそれを大幅に拡大するのは狂信的な人だけだ…最大の危険は？市場参加者がいかに急速に一部の行動を正常と受け入れるようになったかだ。何が問題になる可能性があるか？まあ、ほとんどすべてだ。市場はゆがみ、将来のリターンは減少し、モラルハザードは消滅し、新たなバブルが膨張し、警戒心が放棄され、インフレが暴発する。投資家が下振れテールリスクが消滅したと信じるようになると、彼らはより高値で支払う勇気を持つようになり、その結果、より少ないリターンでより多くのリスクを受け入れることになる。」

こうした操作のおかげで、中国人は下落時に金を購入しました。価格が6か月間の取引範囲の下限にあることから、香港経由の中国への金輸入量は12月に114トンと月間記録を更新した。

さらに印象的なのは年間合計だ。中国は2012年に834.5トンの金を輸入したが、これは2011年の合計より94%増加している。これは日本銀行が保有する金の総量を上回る。

覚えておいてほしいのは、中国政府は金の輸入に関しては口を閉ざしているということだ。だから香港経由の数字は、私たちが頼りにできる最良の数字だ。実際の数字は間違いなくこれより高い。

「中国の指導者たちがドルと米国債への依存を大幅に減らそうとしていることは明らかだ。そうすると、彼らに残された実行可能な選択肢はただ一つ、自国通貨を世界的に受け入

れられる通貨に変えることだ」とバイロン・キングは言う。

中国人民銀行の研究主任は1年ちょっと前にこう語った。

「今や安全な資産はない。リスクをヘッジする唯一の選択肢は、外貨、つまり金を保有することだ。」

警告：西側諸国では、金投資家はまもなく別の深刻な問題、つまり資本規制が導入される可能性がある問題に直面する可能性があります。したがって、手遅れになる前に海外への投資を検討してください。

インフレ症状：

カナダからはインフレの別の兆候が見られる。今日現在、カナダ王立造幣局はペニー硬貨の流通を中止した。財務省は1年前にこの措置を発表し、1セント硬貨の製造コストは1.6セントで、そのうち350億枚が流通し続けるとしている。

25. 無からお金を生み出すことによるリスク

- 現代の奴隷制度、借金はお金として提案されています。
- 価値のない紙切れ。
- 偽のお金の利子はあなたの自由を奪っています。
- お金と信用。
- 実際のお金とは対照的に、借金のお金。
- お金対資本。
- 金融抑圧。

偽りの不正経済：

経済はもはや教育、勤勉、自由市場の原則、つまり真の自由市場が課す価格設定と説明責任に基づいていません。その代わりに、経済は価格操作、商品の投機的管理、ワシントンの傀儡国家によるドル支援、操作され偽造された公式統計、金融メディアによるプロパガンダ、そしてロシアや中国など、米ドル決済システムによって経済的にも政治的にも直接被害を受けている国々の無活動に基づいています。



「隠れた権力者」は、世界の金融システムを支配するロスチャイルド家に代わって政策や出来事を指示し、窃盗と搾取によって権力と富を蓄積してきた。彼らのシステム全体は巨大な詐欺に基づいている。

なぜなら、人々が認識しているようなお金は存在しないからです。あなたが稼いだお金は、何の裏付けもありません。その価値は、人々がお金があると信じ込むことができる価値だけです。それらは価値のない紙切れや金属貨幣、あるいは人々が真剣に受け止めるように騙されているコンピューター画面上の数字です。お金は、お金からの「信用」と呼ばれるものを通じて流通し、それが支持されている信念です。銀行は何も貸し出していませんが、人々は借りるために大金を払っています。

ロスチャイルド家は数世紀にわたって銀行と政府を支配し、金融システムの法律を規定し、「**部分準備金貸付**」を導入することができました。これにより、銀行は預金残高の 10 倍を貸し出すことができます。言い換えると、銀行は持っていない、存在しない「お金」を貸し出し、そのお金に利息を課しているのです。つまり、銀行システムはすばらしいビジネスであり、銀行は持っていないお金を貸

し出し、借り手に利息を課しているのです。これはマイヤー・アムシェル・ロスチャイルドによって発明されました。

ロスチャイルド氏は、政府や個人に価値のない約束手形を貸し付けた。経済が好転すると、彼はシステムの管理を強化し、契約義務を通じて担保を徴収することで、お金を希少にした。彼らの決定により、このサイクルが繰り返された。最近のシリアとウクライナのように、圧力をかけて戦争を勃発させたのだ。そして、彼らは通貨の入手可能性をコントロールして、どちらの側が戦争に勝つかを決定する。彼らに経済システムの管理を委ねることに同意した政府は支援を受ける。回収は、債務者の敵に対する経済援助によって保証される。



この経済的手法から得られる利益はロスチャイルド家をさらに裕福にした。彼らは、国民の貪欲さが政府の命令により貴金属による裏付けの限界を超えて通貨を印刷することを許し、商品やサービスの生産を膨らませてGDPを成長させることを発見した。

偽のお金の利子があなたの自由を奪っています。

金利について理解すべきもう一つの重要な側面があります。ローンを組むと、銀行はお金を作りますが、ローンの返済に必要な金利は作りません。したがって、作り出されたお金には利息として支払うべき金額は含まれていません。つまり、未払いのローンと利息をすべて返済するのに十分なお金が流通することはありません。これは人間の自由に関する致命的な欠陥であり、銀行に有利な破産や財産や所有物の喪失がシステムに組み込まれるように意図的に行われています。

これらはすべて、人々の富とエネルギーを彼らの方向に流すロスチャイルド家のエネルギー構造の一部です。膨大な額の納税者のお金が、政府が無利子で独自に作り出せるお金の利息を返済するために

、民間銀行に直接流れます。「民営化」とは、銀行が作り出した負債への対応として国有資産を売却することです。世界最貧国は、特にこの状況に陥れるために作られたローンを返済できないため、土地と資源の管理権をロスチャイルド銀行に引き渡しています。第三世界の負債は、資源が豊富な国や戦略的に有利な国の物理的な占領を、今日の金融占領に置き換えるために作り出されました。

ロスチャイルドのやり方はいつも同じです。混乱を、できれば戦争という形で作り出すことです。これが彼らにとって最も利益になります。彼らの目的は、政府と国民に大きな頭痛の種を作ることです。次のステップは、混乱を終わらせるための「解決策を提示する」ことです。彼らの解決策には、常に「救済」の費用の一部として、より多くのコントロールを獲得することが含まれています。つまり、標準的な方法は、問題を作り出し、反応を待ち、そして当初の構想通りに実行される解決策を提示することです。同じ理由で、9/11とそれに続く対テロ戦争が作られ、人々の移動を制御し、アフガニスタンとイラクで戦争を開始することだけを目的とした内務省を設立しました。

今日の世界的な経済危機もこれと同じ方法で生み出されています。1950年のCFRの秘密文書から引用します。

「人々が好むと好まざるとにかかわらず、我々は世界政府を持つことになる。唯一の問題は、世界政府が征服によって達成されるのか、それとも合意によって達成されるのかということだ。」

後に虚偽であると非難された議定書の内容の要約:

- 彼らはユダヤ人の世界支配を狙う秘密の陰謀を描いている。

- 彼らは、異邦人の世界を単一の政府の下に置き、すべての敵対する国家、政府、宗教、経済体制を排除することを説明しています。
- 世界の実際の支配 - 暴力、既存のシステム（インターネット?）の巧妙な妨害による準備。議定書では、大衆が奴隷化を歓迎することの重要性と必要性が強調されています。

実施者:

- ローンや金貸しを利用して国家を破産させ、支配する。
- マスメディアを利用して大衆の心をコントロールする。
- 不和、戦争、経済不況を人為的に作り出す。 政府の樹立。

議定書は、陰謀の指令の実行と、彼らが自由に使える莫大な金の隠し場所について言及している。この金は世界中の人々のものである。議定書はまた、秘密作戦の表向きの表向きの組織としてフリーメイソンなどの秘密結社を持つイエズス会についても言及している。

一般大衆が理解していないのは、作り出された問題の背後にひそかに潜む勢力が、解決策を提案する勢力と同じであり、それがたまたま権力と支配の集中化という議題を推進しているということだ。リンカーンとケネディを除くすべての大統領は、両名とも在任中に殺害されたが、最終的にはこの秘密結社の支配下にあった。彼らの命令に従わなかったとき、望まれた権力交代のための致命的な事故が起きた。たとえば、中央銀行の総裁全員と同様に、最終的にブッシュとオバマを支配したのは同じ人々であり、ホワイトハウスやブリュッセルのフロントマンが誰であるかは問題ではない。

世界経済は偽札の発行によってコントロールされている。

信用を通じて通貨の発行をコントロールすることで、ロスチャイルド家は世界経済全体をコントロールしています。彼らは意のままに経済を拡大することも崩壊させることもできます。2008年に始まった不況は、中央集権化された世界金融の計画を推進し、長い間計画されていた世界中央銀行を導入するためのロスチャイルド家によるもう一つの創造物です。彼らは何世紀にもわたって好況と不況を仕組んで目的を達成してきました。お金の利子を受け取り、通貨の発行をコントロールすれば、簡単に実行できます。好況と不況の違いは、流通しているお金の量とその認識された価値です。彼らはその両方を指示します。銀行と政府をコントロールすることで、どれだけのお金が発行され流通するかを決定します。信用を容易にすることで好況を刺激すると、流通するお金が増え、景気が良いときに国民が多額の負債を抱えるよう刺激されます。その後、お金を流通から引き下げる口実を見つけ、信用を得にくくすることで経済が崩壊します。



企業や個人は、経済活動を生み出すのに十分なお金が流通していないため、ローンを返済できず、ロスチャイルド家は、ローンを借りる際に差し入れられた担保をすべて差し押さえて、その利益を得る。これにより、企業数は劇的に減少する。彼らの製品と市場は、ロスチャイルド企業に引き継がれ、さらに中央集権化される。

世界的な経済力。政府でも同じことが起き、不況で政府の歳入が激減すると、政府は支出を維持するためにさらなる融資を求め、一方でロスチャイルドの政府支配は拡大し続けます。

実際のところ、少なくとも、米国、英国、EUを含む多くの政府は、それぞれ1930年代から、EUの発足以来、陰謀団に対して破産状態にあります。

最近の好景気と不景気、それに続く2008年の金融危機とその後の信用収縮は、すべてロスチャイルド家とその取り巻きであるグリーンSPAN、バーナンキ、そして現在のイエレンらの仕業である。ロスチャイルド家は、1929年金融危機や1930年代の大恐慌など、何百年にもわたってこうした循環を操作してきた。ほとんどの経済学者は、実際に何が起きているのか全く分かっておらず、好景気と不景気はすべて経済循環の一部であると主張しているが、それは事実ではない。これは、人々から本当の富を盗むための、完全に組織的な操作である。

プリンストン大学とノースウェスタン大学の研究は、確かにエリート集団がこのショーを運営しているという上記の証拠の正しさを証明しています。査読済みの研究は次のように述べています。

「寡頭政治とは、権力が支配階級に与えられ、少数のグループが一般大衆を支配する政治形態である。米国政府は、国民の大多数の利益ではなく、富裕層と権力者（陰謀団）の利益を代表していると結論付けた。得られたデータは、経済エリートが米国の政策を決定していることを実証的に証明している。…経済エリートとビジネス利益を代表する組織グループは、米国政府の政策にかなりの独立した影響力を持っているが、大衆ベースの利益団体と一般市民は独立した影響力をほとんどまたはまったく持っていない。」

お金と信用:

実際にお金を持っている人はほとんどいませんが、ほぼすべての人が信用を持っています。今日の超低金利では、持っていないお金で必要のないものを所有することができます。ジャネット・イエレンが世界に「金利の正常化」をすぐに期待しないように言っているのはそのためです。彼女は、人々がより高い金融コストを支払わなければならないとき、大変なことになることを知っています。その上、中央銀行はどのようにして金利の上昇を許せるのでしょうか？ 政府は数十兆ドルの債務に対する低金利の支払いに依存しています。今日の低金利に基づくと、米国政府は2024年に推定2400億ドルの総支出に対して8800億ドルの利息を支払わなければなりません。

これを大局的に見ると、利子の支払いは NASA の 50 倍、FBI の予算の 105 倍になります。

銀行システムは素晴らしいビジネスです。銀行は**持っていないお金を貸し出し、貸し手に利息を請求します**。これはマイヤー・アムシエル・ロスチャイルドによって発明されました。

危機：

経済活動を生み出すのに十分なお金が流通していないため、企業や人々はローンを全額返済できず、銀行の徒党はローンを借りる際に差し出された担保のすべてで利益を得ている。

突然、倉庫や小売店の棚には「本当に必要ではないもの」が買い手もつかず山積みになる。すると、その「本当に必要ではないもの」を作っている人たちの労働時間は削減され、経済は縮小し始める。

詐欺が強盗に取って代わった。

国の政治家たちは、容易な信用によって安く借入れ、そのお金で票を買うことが可能になることを十分承知している。これは、現代の政府の仕組みに関するもう一つの洞察である。彼らは、古い「侵略、征服、盗み」モデルを捨て、「印刷、騙し、譲渡」モデルを好

んでいる。言い換えれば、詐欺とごまかしが窃盗と暴力に取って代わったのだ。

政府は陰謀団に代わって、できるだけ多くの税金を課している。西洋化されたいわゆる民主主義国では約 50% だ。一方、中央銀行の低利融資は、売上と利益を押し上げることで、税収総額を押し上げている。また、政府のその他の給付制度の資金調達にも役立っている。

このようにして、富はそれを稼ぎ、所有する人々から、これらの寄生虫へと移転される。税金は、政府が今日の生産量を移転することを可能にする。しかし、信用は、政府が明日の生産量を移転することを可能にする。つまり、将来の世代の納税者からお金を奪い、現在の世代の有権者を買収するのだ。

問題は、このモデルが機能するのは、社会の生産的部分が全体の計画に資金を供給するのに十分な速さで拡大している場合だけだということだ。日本はすでに縮小している。欧州経済は行き詰まっている。そして米国は過去10年間、平均して年間わずか0.9%しか成長していないのに、公的債務は4~5倍の速さで増加している。寄生虫が実際の商品やサービスを生産する人々よりも速く増殖すると、システム全体が崩壊するのは時間の問題だ。

*国勢調査局によると、2012年、米国には1億308万7000人のフルタイム通年労働者がおり、そのうち1660万6000人がフルタイムの通年公務員である。生活保護受給者の数はフルタイムの通年労働者の数を654万4000人上回った。信用が高まれば寄生虫が増え、一人当たりの実質生産量は減少する。**必然的な結論は破滅だ。***

お金と資本:

中央銀行家、経済学者、ビジネスマンは、お金を「資本」という言葉と互換的に使用していますが、これは根本的な誤解です。資本はお金ではありません。前者は希少ですが、後者は無限です。資本は貯蓄から生まれ、時間選好のインフレを伴う低金利の信用政策は、貯蓄ではなく支出を促進してきました。

その結果、希少な資本はますます希少になっていきます。

いつの日か、資本の価格がその根底にある希少性を反映するようになるだろうが、その間、企業は資本要件について非常に慎重に検討し、人工的に安価に作られた「金融信用、つまり資本と呼ばれるお金」への依存に抵抗しながら、長期的な存続を守るために資本を拡大することにますます慎重になっている。

実際のところ、金地金は存在する資本の中で最も古く、最も純粋なものです。

信用貨幣のインフレは資産価格のインフレを招き、それが将来期待のインフレを招き、それが今度は時間選好のインフレを招いた。そして、こうしたさまざまなインフレの結果は重大であるが、それに比べると、それが生み出したインフレに関する新しい言葉は浅薄なものとなっている。



「将来の繁栄を保証する資本が不足しており、将来に対処するための現実主義も不足している。これは、ほとんどの人にとって、問題を理解するどころか、明確に表現する言語的精度が不十分であることを意味する。そして、言語自体がこれほどまでにグロテスクに歪められたとき、達成不可能な希望や終わりのない成長への期待を、原則に基づいた誠実な行動の必要性に置き換えることはできるだろうか？中央銀行家や経済学者でさえ、この重要な違いを知らないか、覚えていないか、あるいは単に気にしていないのだ。」

明らかに、経済を刺激するには真に創出された資本が必要です。今日見られるすべての信用を生み出した金融緩和政策ではそうではありません。

「彼らはシステムを不正操作し、この緩和マネーが実際の資本と同等とみなされるようにし、その拡大に合わせて資産価格が急騰するようにした...」

このニュースは、中央銀行が計画した景気回復が成功した証拠として、指数の高騰を報じた。資本とお金の混同は普遍的なため、表面上はすべて順調に見える。投資の即時利益への欲求とともに、将来への期待が高まった。

「アナリストや主流メディアは、インフレの遅れや通貨基盤の歪みについて語る代わりに、*実際に意味のある成長と資本創出があった*という誤った信念に基づいて活動している。この状況全体が、ひどいジレンマを構成している。市場は持続不可能なので、ドルは将来的に大幅に弱くなり、資本成長の幻想を作り出すために安易な資金を使っている企業は株価が下落するだろう。したがって、将来のために投資する必要があるのだ。」

この点では、金と銀が最も確実な選択肢です。明らかにこれらの市場は不正にロックダウンされているため、当面は手がかりを探さないでください。金について確実に言えることが1つあります。それは、金**は本物の**お金であり、**流動性を好む**ということです。貯金があるなら、貴金属やその他の有形資産に投資したほうがよいでしょう。

「労働をお金に変え、お金を投資に変え、投資を再びお金に変え、そしてまたお金を実物商品に変えていくのではなく、余剰収入を直接実物商品に変えてください。簡単に言えば、

貯蓄を将来消費する実物商品に投資するのです。本当の富だけを貯蓄してください。」

貴金属は愚か？しかし、その代替品は危険です。

機関投資家によって操作されることの多い貴金属だけに頼るのはおそらく愚かなことだ。しかし、債券や株式に投資して、こうした歪んだ市場のバブルやリスクにさらされるのは、必然的に危険な選択肢だ。

「回復」が長期化し、利益を追い求める投資家にとってこれらの市場の欠陥がますます明らかになるにつれ、信用のみで価値の幻想を作り出した企業は、その株を保有し続ける人々とともに罰せられることになるだろう。

個人投資家にとっての唯一の希望は、見出しから遠く離れ、大衆の目に留まらない、有望な企業を数社見つけることです。それは簡単ではありませんが、自分の財産を守る最も安全な方法になりつつあります。

「グreshamの法則は『悪貨は良貨を駆逐する』と説いている。価値が下がったり劣化したりしている紙幣を保有するか、金のように価値が下がらない本物のお金を保有するかを選択肢がある場合、人々は良貨を蓄え、悪貨を流通させることを選択するだろう。」

事実上、それが起こったのです。良貨幣である金は流通から消え、悪貨幣であるドルやユーロが誰もが「貨幣」として認識するものとなりました。発展途上国の中央銀行は概して、米ドルだけでなく金も保有することが賢明であると決定しました。

実際のお金の代わりに借金のお金：

そして、発展途上国がますます豊かになっている現在、当然のことながら、それらの国の中央銀行も金の蓄積を増やし、米ドルの蓄積を減らしている。

「ドルは実際のお金と同じではありません。ドルは米国連邦政府の負債、つまり連邦準備銀行券であり、財務省証券、債券とほとんど同じです。このように、ドルはお金の反対です。代わりに、ドルは即時満期の債務証券です。」

中央銀行は、米ドルを「公的債務と私的債務のすべてに対する法定通貨」として使うよう私たちに勧めている。しかし、米ドルは**価値の保証をしていない。実質的なお金には本質的な価値がある**。借金が実質的なお金で支払われると、取引は終了する。以上だ。米ドルはそうではない。米ドルは、政府が発行するすべての紙幣と同様に、債務証券である。そして、借金は債務者次第である。債務者が債務不履行に陥れば、米ドル紙幣やユーロ紙幣を含め、その紙幣の約束は無価値になる可能性がある。

「ドルが金に取って代わるにつれ、資本主義システムは市場ベースの取引の奇妙でグロテスクな融合となり、関与する実質的な資本はますます少なくなってきた。」

「借金が実質的なお金に取って代わった。徐々に借金は波及し、すべての分野を飽和状態にした。世帯、企業、学生ローンを抱える新卒者から、住宅ローンやクレジットカードの借金を抱える若い家族、社会保障制度やメディケア制度の未積立債務に頼る退職者まで、誰もが借金に溺れた。」

そして、2008年から2009年にかけての債務削減危機で、この債務の津波が何百万人もの人々を溺れさせる恐れがあったとき、「権力者」たちは援助のために現場に急行した。しかし、彼らの「援助計画」は、同じことの繰り返しだった。つまり、さらなる債務だ！

債務に苦しむ多くの機関を破綻させるわけにはいかなかった。彼らは経済に必要なだけの新たな流動性を与えることを明確にした。

「そして今、彼らがこれほど活発に資金を注入することに疲れているという兆候は微塵もなく、月850億ドルの資金を注入しても、投資先を探している市場は動揺している。」

しかし、この新たな流動性はどこへ行くのか？誰も知らない。銀行が融資を渋っているため、流動性が閉じ込められていると言う人もいる。また、新たな流動性が市場を襲う大波を準備していると主張する人もいる。彼らは、株式、住宅など、浮動可能なものすべてが前代未聞の水準まで上昇すると予想している。

しかし、木でさえ天国にまで成長するわけではないというのは疑う余地のない事実です。

ビットコインについて：

ビットコインは上昇傾向にあります。これはずっと前の金や銀の市場でも同様だったはず。コンピューターやデリバティブを使った価格操作によって抑制されていなければ、金と銀はそれぞれ 10,000 ドル以上 / 400 ドルの範囲で取引され、毎日上昇し続けていたでしょう。しかし、ビットコインには、法定通貨に対する評価を妨げる巨大なデリバティブ複合体はありません。ビットコインは法定通貨の妨げのない代替手段であり、法定通貨制度への信頼が薄れるにつれて上昇し続けるでしょう。金と銀は確実にそれに追随するでしょう。これはほとんどの金/銀の虫にとっては不公平に思えますが、忍耐強くいれば、あなたの時も来ます。「金と銀の操作が終わるまで、ビットコインは不規則かつ指数関数的に上昇し続けるでしょう」

不正行為が終われば、ビットコインは激しい暴落を経験するだろう

。

金銭的な無謀さ:

マイク・マロニーは最近、経済はインフレかデフレかと問われました。FRBは依然として緊急措置を講じており、毎月850億ドルを印刷しています。これは年間1兆ドル以上です。そして人々は彼らが現在講じている緊急措置の規模を理解していません。2008年の危機以前には8000億ドル強の基礎通貨が存在していました。この8000億ドルは200年分の通貨発行額に相当します。つまり0.8兆ドルです。現在、私たちは毎年1兆ドルを発行しています。つまり、毎年200年以上の通貨を発行することになります。これは緊急事態であり、その規模は私たちがこれまでに見たことのないものです。

[ここにビデオがあります](#) これがどのように展開するかを説明します。

私たちの富:

負債とインフレを考慮すると、人々はまったく裕福になっていないことがわかります。より裕福になったかもしれませんが、そして、一部の個人は大幅に裕福になりました。しかし、全体として、過去に積み上げられた負債を加えると、国はまったく裕福になっていません。1971年に金本位制が終了して以来、一人当たりの税引き後実質賃金は停滞しています。

「平均的に見ると、私たちはまったく豊かになっていません
40年…」

過去 40 年間に何が起こったのでしょうか。なぜこれほど多くの人々が借金に走り回ったのでしょうか。なぜ同じものを高値で買うために、借金をどんどん増やしたのでしょうか。何度も何度も。そしてなぜ人々は、チャンスがなく実質賃金が下がる仕事に毎日就き続けるのでしょうか。最も重要なのは、私たちがどこにも連れて行かないメリーゴーランド経済システムによって、少数の人々がどのよ

うにしてこれほど裕福になったのかということです。これらすべての疑問に答えるには、ただ 1 つの核となる疑問に目を向けるだけで十分です。誰が利益を得るのか？

「インフレとともに富と権力が増大するのは誰なのか？ 政府とともに社会における地位が高まるのは誰なのか？ 戦争や失敗する運命にある社会プログラムへの支出増加から利益を得るのは誰なのか？ そして最も重要なのは… 債務の爆発的な増加から利益を得るのは誰なのか？」

特定の階層の人々は、こうした政策から身を守るだけでなく、そこから利益を得る力も持っています。こうした人々は過去 40 年間、膨大な量の紙の富を生み出してきました。そして今、彼らは必死になって紙の富を実際の富に変換しようとしており、それがあらゆる種類の資産の価格が急騰している理由です。

誰もがもう知っているように、社会主義の約束は実現不可能です。ピーターから奪ってポールに支払うのは非効率で、ピーターのやる気を失わせます。その結果は通常、経済の停滞、不況、そして最終的には政府の没収的抑圧から人々を解放する危機です。

1971 年にニクソンが金本位制から離脱したことで、経済とお金の根本的なつながりが断ち切られました。金とのつながりがなくなったことで、銀行の準備金は法定通貨で発行されるようになり、実際に銀行はそれを実行しました。その結果、通貨供給量と負債が大幅に増加しました。

この負債を利用し、新しいお金の創造をコントロールする力は、私たちの経済で最も強力な要素です。政府は今や、経済をコントロールするために無制限の信用を創造することができます。これにより、特定の企業、特に銀行に優遇措置が与えられます。これが私たちの経済構造の核心です。これが、不換紙幣が新社会主義の利益を私有化する方法です。

金は流通する通貨の量を制限します。

金との歴史的な結びつきによって、銀行システムが明確な限界を超えて成長することが不可能になった理由を、ほとんどの人は理解していないかもしれません。金は流通する通貨の量を制限し、その結果、銀行が貸し出せる金額も制限しました。金本位制のもとでは、総債務対GDP比の最大値は150%程度に制限されていました。しかし、金との結びつきが断たれるとすぐに、総債務対GDP比は増加し始めました。現在、日本など一部の国では350%、あるいはそれ以上になっています。

「金との結びつきがなければ、政府が仕掛けられる経済的悪事の量は事実上無制限になる。どんな社会的目標も馬鹿げている…どんな戦争も費用がかかりすぎる…そしてどんな政府の保険制度も、資金を出さないほど明らかに利己的なものではなくなる。」

全世界を繁栄させることができる金額：

借金は奴隷化の鍵なので、明らかに良い方向への変化は提供されません。奴隷になりたくないなら、政府からの納税請求書に従うために毎年少なくとも3か月分の給料を支払い、公共の利益のために使われることなく、すでに莫大な富を持つ13の血統家族のポケットに直接消えるお金、全世界を繁栄させるのに十分な金額を支払いたくないなら、敵を理解し、彼らが使用する武器を理解してください。次に、同じ武器を敵に対して使用してください。お金のシステムは爬虫類の蛇の頭です。蛇の頭を切り落とせば、残りの部分は枯れて死んでしまいます。暴力、銃、旗、スローガン、集団思考は必要ありません。世界的な不服従の団結した行動だけで、システムは破壊されます。人種や宗教の分裂は忘れてください。これらはカバールの「分割統治」計画によって私たちに課されました。世界は歴史的な転換点に達しました。

ファシストNWO銀行システムを終わらせてください。今こそ行動を起こす時です。

世界的な不遵守によりシステムが崩壊すると、人々が与えた権力は取り戻されなければなりません。

原則に従って生きるよりも、原則のために戦うほうがはるかに簡単であり、結果を恐れて盲目的に命令に従うよりも、正義のために立ち上がり、権威に唾を吐くほうがはるかに勇敢な人間であることを理解してください。

私たちは皆ひとつであり、この世界で真の変化と統一の鍵は愛にあることを理解してください。世界の人々が立ち止まり、私たちの間に存在しているとされる分裂は幻想であると認識する時が来ています。分裂など存在せず、誰もがこの真実を理解する時が来ています。

システムが機能できるのは、絶えず促進される分裂の幻想を通じてだが、それが機能するためには国民の従順さが必要である。

それに従わなければ、シャットダウンすることになります。

団結して立ち上がろう：

今こそ、私たち全員が団結して問題の根本原因に取り組む時です。これを大局的に捉えると、奴隷にされている人は 10 億人いるのに対し、奴隷にしているのはほんの一握りの人たちです。この状況から抜け出すには、互いに支え合い、愛し合い、親切にし、理解し合うことです。宗教、政治、人種、文化、収入など、私たちを分断する作り物の無関係なものは脇に置いてください。これは、人々が自分の信念を拒否しなければならないという意味ではありません。信念を分断の武器にしないで、すべての違いを敬意を持って受け入れるということです。

私たちは皆、この問題に直面しており、一緒にこの課題に立ち向かう必要があります。盗んだり、略奪したり、暴動を起こしたり、あるいは他人に何かが起こっても「自分の問題ではない」という態度で見て見ぬふりをしたりしてはいけません。

イルミナティは、宗教、人種、肌の色に関係なく、私たち全員を奴隷にしようとしている。彼らは、第二次世界大戦でナチスがドイツでやったように、さまざまなグループを一つずつ排除している。陰謀団にとって最悪の悪夢は、私たちが従わないことだ。つまり、税金を払わないこと、同じ銀行が引き起こした経済崩壊のために銀行が差し押さえても家を出ないことだ。簡単に言えば、どんな形であれ私たち自身の奴隷化に従うことを拒否することだ。

大規模なアクション:

これが大規模に行われると、システムは対応できません。だからこそ、**私たち全員がこの行動を起こす必要があるのです**。従うのではなく、**非従う**必要があります。これは暴力のない平和的な抗議です。不公平で不当なこと、あるいは私たちと他人の自由を標的にしていることに従わないことで、調子が変わるからです。このアプローチは、敵意、怒り、暴力の精神で非従順を広めるのではなく、愛と笑い、そして私たち自身の奴隷化に協力しないという揺るぎない決意で広めます。

コミュニティサービス詐欺:

次の段階は、社会奉仕活動や民間治安部隊を装って、イルミナティに代わって国民を警察するために人々を徴兵するという政府の行動であるが、これらはすべて拒否しなければならない詐欺にすぎない。

私たちは、システムの外で機能できる地域通貨や物々交換の仕組みを一緒に作り始める必要があります。大規模な抗議活動は、平和的

である限り選択肢の 1 つですが、非暴力、非協力のキャンペーンの一部である必要があります、キャンペーンの焦点ではありません。

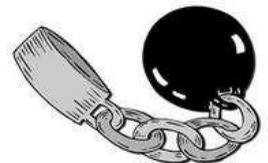
軍服を着た砲弾の餌食がいなければ、戦争は起こり得ない。政府、銀行、大企業、メディアなどを含むシステム自体も同様である。これらすべての支配と操作の機関は、私たちの協力が機能するためには、それがなければ彼らのトランプのトランプカードの家は崩壊してしまうでしょう。

自覚してください。私たち国民は、私たちが奴隷にしたい人たちに協力しています。私たちがそうしなければ、彼らは無力になります。システムは暴力に基づいて行動するように設定されているので、暴力がなければ行動できないことを覚えておいてください。そのため、政府によって煽動家たちが準備され、暴動や市民の不安を引き起こして、イルミナティー族の同じネットワークによって作られた既存の秩序に挑戦する準備をしています。イルミナティー族は「新しい秩序」を作ろうとしており、そのためには私たちの協力が必要です。

起こっていることに対して暴動を起こして略奪する人たちは、自分たちに仕掛けられた罠にまっすぐに陥っているということを、誰も疑う余地はありません。人々は、こうした卑劣な策略に気づくべきです。

政府は暴動や略奪を望んでいる。混乱を望んでいるのは、警察や軍隊で対処できるからであり、最終的には夜間外出禁止令、裁判なしの投獄、街頭での軍隊、そして多くの人が長い間警告してきた「反体制派」のための FEMA 強制収容所の稼働などを伴う警察国家になる可能性がある。歴史の教訓を忘れてはならない。暴力によって破壊されたものは、暴力に置き換えられるのだ。

“SOCIALISM”
the new
SLAVERY



[こちらは さらに詳しい情報を提供するビデオ。](#)

新しい社会主義、現代の奴隷制度：

今日の「新社会主義」はシステム全体にガンのように広がり、次々と産業を蝕んでいます。ガンのように、いったん産業に感染すると、その部門の企業から企業へと転移します。突然、企業は政府の巨額の援助なしには機能しなくなります。これらの国家の保護下にある企業は、経済の残りの部分を圧迫し、それらを弱体化させ、競争力を低下させ、負債の深淵へと引きずり込みます。

「社会主義は常に貧困者を破滅させる。なぜなら社会主義は貧困者から社会的流動性を奪い、権力者の略奪から自分たちを守ることを不可能にするからだ。歴史的に見て、その被害は限定的だった。なぜなら社会主義は結局経済を混乱させ、富裕層や権力者さえも苦しむからだ。それがこの新社会主義の非常に危険な点だ。富裕層をまったく墮落させない。むしろその逆だ。新社会主義は富裕層とコネのある人々の利益を追求する動機を維持している。この新しいモデルでは貧困者だけが苦しむ。富裕層は常に保護されている。」

新しい社会主義は、いかなるリスクもない富裕層のための資本主義であり、いかなる権利も将来の見通しもない貧困層のための社会主義である。

金はものを言う。政治家は鋭い聴覚を持っている。金持ちは完全に自分の努力で裕福になったわけではない。同じ「改革者」たちが彼らを大いに助けたのだ。

地球上で最も裕福な女性、ジーナ・ラインハートは、貧しい人々に「飲酒をやめ、喫煙をやめ、もっと一生懸命働く」必要があると伝えることができる。

「これは便利な神話であるだけでなく、役に立つものでもあります。昔ながらの正直な方法でお金を稼ぐことが、政府や中央銀行をポケットに入れているのでない限り、依然として最善の策です。」

カンティヨン効果:

経済学には、「カンティロン効果」として知られる現象があります。リチャード・カンティロンは、世界初の本格的な中央銀行家であるジョン・ローの仲間でした。カンティロンは、ミシシッピ州の会社の株に裏付けられたローの新しい紙幣が、すべての人に同じように行き渡るわけではないことに気づきました。

内部関係者、つまり金持ちやコネのある人たちが最初に紙幣を手に入れた。彼らは、紙幣が旧紙幣と同じくらい価値があるかのように、商品やサービスを求めて紙幣と競争した。しかし、労働者階級に届く頃には、この新紙幣は大幅に値引きされ、最終的には価値がなくなるまでになった。

カンティヨン効果の一種は、ソ連の強制収容所やドイツの強制収容所でも観察された。犠牲者たちは、台所の近くにいた者の方が生き残る確率が高かったと報告している。食料は、畑や森で働く人々に届く前に尽きてしまうことがよくあった。

現在、中央銀行は紙幣印刷機を稼働させ、実質的に銀行業界の友人たちにお金を与えています。そこから、お金は金融界全体に浸透し、上位10%が所有する金融資産の価格を押し上げています。

新しい通貨システム:

投機家や投資家はお金を稼ぐので、お金が大好きなのです。ジョン・メイナード・ケインズは 1921 年にこう書いています。

政府は、国民の財産の重要な部分を秘密裏に、誰にも気づかれずに没収することができます。この方法では、政府は

単に没収するだけでなく、恣意的に没収します。そして、このプロセスによって多くの人が貧困に陥る一方で、一部の人は実際に富を得ています…このシステムによって思いがけない利益を得た人々は…憎悪の対象となる「不当利得者」になります…富を得るプロセスはギャンブルや宝くじに墮落します…

そうです、それは「ギャンブルと宝くじ」になっています。米国の信用市場の総負債は、1960年代末以来30倍以上増加し、GDPの割合は150%から350%に上昇しました。米国株は12倍に上昇し、現在は天井近くで揺れ動いています。

「80年代以降、アメリカにおける富の構築は、物を作ることから、物に資金を提供することへと移行しました。そして、10%の富裕層も、大胆な産業界のリーダーから、賢明な金融界の王者へと変化しました。」

結論：

政治的な解決策はありません。経済問題はどんな政治家でも解決できないほど大きいのです。解決策はありません。選挙に勝った愚かな人を哀れむべきです。

結論：

金融の混乱から身を守るためには金と銀を蓄積し続けなければなりませんし、政府の混乱から身を守るためには国際的に多様化しなければなりません。

IMFは超中央銀行である：

そして、この混乱が始まると、IMF をロスチャイルド カルテルが所有する一種のスーパー中央銀行に変え、大量の「国際準備資産」である SDR（特別引出権）を印刷して、偶然それを持っている国に配布できるようにするという計画です。次の章でさらに説明します

。まだ疑問に思うことは気にしないでください。簡単に言うと、次のようになります。

上記のケースでは、新しい世界の通貨システムは再び紙幣を基盤とし、世界の官僚によって管理されることになる。これは絶望的な提案であることにすぐに気づくだろう。スーパー経済学者が運営するスーパー銀行は長くは続かず、世界の金融システム全体を崩壊させるだろう。現在のシステムのように紙幣を基盤とするシステムは、いずれにせよ崩壊する。完全な信用サイクルを生き延びた紙幣システムはない。なぜなら、原始的な信用に裏打ちされたお金である紙幣は、いかなる規律もなく無制限だからである。それが、国際通貨改革の欠如ではなく、現在これほど多くのバブルが発生している理由である。



安定した通貨の基礎は貴重な準備金です。特に今日の不確実な時代においては、金準備金の管理は通貨の将来の安定にとって極めて重要です。そうすれば、厳しい時代でも国富を確保することができます。

金融抑圧：

中央銀行や政府当局は、人々をコントロールし、現在のシステムを永続させようとして、インフレがいかに「コントロールされている」か「固定されている」か、累積GDP成長率などから見て今後数年間の経済がいかに堅調であるかなどについて、誤解を招く発

言をしている。これは、通貨システムの現実を管理するためだけでなく、不換紙幣システムと健全な通貨に基づくシステムを区別する特徴の1つである国民の認識を操作するためにも必要である。

通貨が金本位制で健全だった数千年の間、将来の価格水準に関する期待を管理する必要性はなく、実際、その方法もありませんでした。インフレ期待が変化することはめったにありませんでした。なぜなら、金に換算したほとんどの物価がめったに変化しなかったからです。しかし、お金が有形資産に換金できず、政府がある種の紙幣には価値があり、他の種類の紙幣には価値がないと決めているからこそ流通する不換紙幣制度では、**認識**は金融政策の単なるツールではなく、政策の第一の指令なのです。なぜなら、認識管理が失敗すると、次の選択肢は資本規制と資産没収という形での直接的な脅迫だからです。

インフレが価値に影響を与える前の新しいお金から得られる利益:

中央銀行は何も無いところから新しい通貨を作り出し、それを政府に支出させ、大手銀行に貸し出させるので、供給量の増加が通貨の価値に影響を与える前に、中央銀行は新しい通貨から得られる利益をすべて得ることができ、一方で預金者やその他の通貨保有者の購買力はそれに応じて低下する。 - 彼らは銀行家たちを愚かで貪欲な過ちから救うために、何兆ドルもの偽造金を造った。彼らは本当に「勤勉な家族」のことで、有権者の要望に応えること、人々の退職、購買力、幸福について気にかけているのだろうか？ - 期待してはいけない。

貯蓄者および退職者からの所得を債務者に移転する:

彼らの関連政策は、金利をゼロ以下にまで引き下げること（ZIRP）であり、これは「**金融抑圧**」としてよく知られており、貯蓄者や退職者から債務者、つまり政府や大企業に収入を移すものである。

インフレと人為的に低く抑えられた金利は、民間部門から公共部門への資源（「富」）の絶え間ない移転を生み出します。これは金融介入のあまり報道されていない側面ですが、一度十分に理解されれば、期待の管理がはるかに困難になるでしょう。

中央銀行の所有者：

バチカンのイエズス会、イングランド銀行、ロンドン市、そしてイエズス会を代表するロスチャイルド家が主な所有者である。そして、米国連邦準備制度、そして世界の他のほとんどの中央銀行の管理者です。

ニューヨーク連銀はイングランド銀行、ロンドンとベルリンのロスチャイルド銀行、パリのラザード・ブラザーズ銀行、イタリアのイスラエル・モーゼス・セイフ銀行、ハンブルクとアムステルダムウォーバーク銀行、ニューヨークのクーン・ローブ銀行、チェース・マンハッタン、ゴールドマン・サックス（ニューヨーク）は、G5西側銀行カルテルが他のすべての国の政府と国民に明白な損害を与えながら世界的な銀行支配を実行することを可能にする国際的メカニズムを提供しています。

イエズス会とロスチャイルド一族は、自ら任命した世界指導者たちを通じて、事実上すべての国で権力を握っており、彼らはすべて、物理的および経済的抑圧によってマインドコントロールされている。国の財政は、これらの国々を永続的な負債スパイラルに追い込み、強制的な税収でこの銀行秘密結社を豊かにするために、民間所有の中央銀行によって運営されている。そのお金は、国ではなくバチカンに流れている。

続いて起こっている世界的な銀行危機についてお話ししましょう。数千兆ドルの隠された資金が、複数の台帳外のブラック スクリーン アカウントに保管されていることが明らかになりました。これ

らの資金の所有者についての[洞察を得るには](#)、こちらをご覧ください。

幸いなことに、今日では多くの人々が目覚め、これらの犯罪的な金融犯罪が詐欺行為に加担しており、人々の富を巧妙かつ秘密裏に奪うために計画されていることを認識しています。

したがって、金融システムを内部者の利益のために、外部者、つまり一般大衆の利益に反して運営している銀行の陰謀を倒す緊急性が求められています。これが今や彼らの犯罪システムの主な焦点となっています。幸いなことに、2008年以来、[あるグループが「同盟」と呼ばれる](#) まさにそれをやっている。この同盟は非常に現実的であり、[グローバル担保](#)に集中するこの戦いに勝利する途上にある。全面的な成功の鍵となる[アカウント](#)。

グローバル担保口座:

金と債務の物語です。これは、ロスチャイルド一族が率いる西洋の銀行寡頭制と、19世紀初頭に始まった国際銀行の支配にまで遡ることができます。エリート銀行家と王族の血統の家族の長期戦略は単純でした。世界の通貨とその裏付けとなる担保を管理することで権力を維持するために、**世界の金の供給を管理すること**です。

2000年もの間、世界の金はシルクロードを経由して東の中国へと流れていました。そのため、世界の金融システムを支配するには、金の大部分を支配することが不可欠でした。

蓄積された何十万トンもの金塊を奪取することを目的とした、中国、日本、その他のアジア諸国への軍事侵攻が重要な議題となっていた。

よく知られているナチスの金収集計画と日本の膨大な金の蓄積は、第二次世界大戦前と戦争中に、特定のヨーロッパの銀行業界の情報と協力によって達成されました。

人類が初めて貴金属の採掘を開始して以来、地上にあるとされる金の総量の「公式」合計は、約 16 万トンとされています。現在、より正確な数字は 200 万トンをはるかに超えるという証拠が浮上しており、これは公式に主張されている量の約 12.5 倍に相当します。

帳簿外グローバル口座の資産の正確な総額は不明だが、金、プラチナ、銀、宝石の総額は数千兆ドルにのぼるとされており、さらに連邦準備銀行の紙幣やその他の通貨の額面金額は不明である。

ブレトンウッズ会議で、間もなく勝利を収める連合国が新たな世界金融システムの構築に向けて会合し、**国際通貨基金**が設立されました。 - 1940 年代後半、インドネシアの**スカルノ大統領**は、金の預金者を代表して、**人道的再開発の目的で世界口座を監視および実施する通貨管理者に任命されました。**

中央銀行家のロスチャイルド家とその関係者は、この富を押し管理するために、**国際決済銀行、国際通貨基金、外交問題評議会、国連**など、すでに重要な組織を整備していたが、これらはすべて、**ロックフェラー家やウォーバーク家を含むエリート銀行家によって資金提供され、所有されていた。**

[資金の使用に関する合意](#) 全人類の利益となる発展のための資金は無視され、銀行エリートたちは預金者のアクセスをブロックすることで、自らの利益のためにこれらの資金を使い始めました。

中央銀行は連邦政府が

銀行のエリート内部関係者以外の誰も口座を利用できないようにする準備を整え、それによって、当初の構想どおり、実際の所有者である預金者が人道的プログラムのために資産を利用することも阻止します。これは、とてつもなく忌まわしい詐欺です。

ドラゴンファミリーはニール・キーナンを任命しました。

の出現 [ニール・キーナン](#) これらの事件の先端にあるのは、2009年にバチカンの金融関係者[ダニエル・デル・ボスコ](#)が、[ミスター・バチカンに預けられていた](#)連邦準備銀行の紙幣1445億ドルを盗んだ事件に遡る。[キーナンはドラゴン ファミリーの傘下に入った。ドラゴン ファミリーは](#)、台帳外のグローバル アカウトに膨大な量の金を正当に保有する、アジアの古くからの裕福な一族のグループである。ドラゴン ファミリーは数十年にわたって、アカウントを当初の目的に利用しようと試みており、幅広いコネを持ち、強靱な精神を持つ国際的なビジネスマンとしての評判から、キーナンに協力を求めた。

この盗難事件と、キーナン氏が国連、世界経済フォーラム、世界銀行、イタリア政府、イタリア金融警察のシルヴィオ・ベルルスコーニらによる不正行為は、初期捜査を行うためにイタリアに渡航した[ベンジャミン・フルフォード](#)によって初めて明らかにされたが、そこで彼の命を狙う試みが行われた。

そして[デビッド・ウィルコック](#) この話は [調査記事](#) 彼の影響力のあるブログで。

グローバル アカウトを詐取してきた陰謀団の権力構造に関与し、この忌まわしい詐欺行為への関与で最終的に確実に起訴されるべき人物としては、ジョージ ハーバート ウォーカー ブッシュ、ジョージ W ブッシュ、エリザベス 2 世女王、国連、潘基文、デイヴィッド ロックフェラー、ヒラリー クリントン、そして陰謀団の内輪の役者である他の多数の世界的人物や組織がいます。

キーナン氏は、ケネディとスカルノの間のグリーンヒルトン記念協定の原本や、会計の秘密記録である「ブラックブック」などの重要な文書を所有しています。[これについての詳細を読む](#) [ここ](#)。

東側は世界の金の大半を保有しており、世界担保口座を**違法に利用**してきた腐敗した組織を**合法的に倒すための**文書も保有しています。新しい金と資産担保金融システムの構築を開始するために、秘密同盟が結成されました。他の数カ国も参加し、合意覚書の承認文書に署名しました。これにより、この同盟は現在約 203 カ国にまで拡大しました。

ニール・キーナンとチームは、BRICS 諸国が西側諸国の陰謀団が支配する金融システムとは別のまったく新しい金融システムを構築する計画を継続することを決定しました。ニールは、この新しい金融システムのアイデアがロシアと中国の支援によってさらに急速に広まり、実行されるだろうとわかっていました。

これにより、ニール・キーナンと彼のチームは、人道的目的のために世界担保口座の公開に向けて取り組むためのより多くの時間を得ることができました。これらの口座の隠蔽は、銀行秘密結社の最も深く、最も厳重に守られた金融秘密です。

とても良いことが起きそうです：

ニール・キーナンとともに、ウラジミール・プーチンもRKMの陰謀団を倒すための重要な指導者として行動している。彼は陰謀団が切実に必要としている第三次世界大戦を始めようとしているのに対し、常に冷静に対処してきた。彼は餌に引っかからず、外交と戦略的な機転を利かせて**同盟を結ばせた。** 特に中東で、勢力を拡大し、数を増やしている。こうして、陰謀団は財政的、政治的、軍事的に支援を得られなくなっている。

プーチン大統領とBRICS諸国は、政治的、軍事的だけでなく、さまざまな財政的手段で陰謀団を罠にかけようとしている。

抑圧が終わるところから人生が始まる。

要約すると、RKM 陰謀団を倒すために重要な勢力が動員されていますが、これらのスキャンダラスな詐欺に関与している西側諸国のすべての政府を**打倒するには、さらに多くの目覚めた人々が必要です**。これには、すべての既知の政府指導者、外務大臣、財務大臣、およびすべての前任者が関与しています。これらの陰謀団の操り人形はすべて、裁判にかけられ、大逆罪で有罪判決を受けなければなりません。

26. 借金

- 中央銀行の創設。
- 巨大な金融ポンジスキーム。
- 債務再インフレはもはや不可能だ。
- 金に裏付けられた通貨が視野に入っている。

必要な変革的改革：

本物のお金は、政府の課税、借入、支出の能力を制限し、避けられない債務問題の規模も制限します。偽のお金は政府にとって入手しやすく、約束も簡単です。特に自分で「印刷」できる場合はなおさらです。だからこそ、各国政府はより深刻な債務の穴を掘り下げることができ、それが財政健全性のモデルになることは決してないのです。真の大改革以外の何物も役に立ちません。世界には本物の変革改革が必要です。

問題は税金でもロシアでもISISでもありません。問題は実際のお金です。一般市民はお金が少なすぎるのに対し、ディープステートのインサイダーはお金が多すぎるからです。今日のお金は詐欺です。お金を正直にして、自由市場に金利を設定させましょう。今日の自由市場価格で金とお金をリンクさせましょう。中央銀行家全員を解

雇しましょう。財務省に金の窓口を開き、事前に設定された固定レートで金を現地の紙幣と交換しましょう。

軍隊を国内に戻し、すべての戦争を止め、財政赤字を禁止する。すべての政府は例外なく、収入の範囲内で生活することが期待される。その結果、借金はなくなる。

安易な金儲けがなくなると、まるで死の国が明けたようなものになるだろう。取り巻きやゾンビが立ち上がるだろう。同盟の自由の戦士による射殺の実践を通じて、これらを事前に排除することが望ましいだろう。

世界が直面している経済危機をより深く理解するために、まずこの混乱を引き起こしたのは誰なのかを知りましょう。

経済はコントロールされていると信じている：

トム・ウッズの著書「[メルトダウン](#)」は、なぜ現在の経済崩壊の責任の大部分が中央銀行にあるかをうまく説明している。中央銀行はどうやって金利を設定するのか？いくつかのトリックを使っているが、主に紙幣を印刷することによってである。お金が増えれば金利は下がる。お金が減れば金利は上がる。

それは2007年に始まった金融危機に対する彼らの対応だった。彼らは経済をドル、ユーロ、円で溢れさせ、それは今日も続いている。しかし、新しく印刷された現金はすべてどこかに流れ込まなければならず、それは主に株式市場に流れ込み、株価を非現実的な高値に押し上げた。

しかし、ほとんどの人は、2008年に金融界がほぼ終焉を迎えた原因が何であれ、「当局」が解決したと想定する傾向があるが、それはまったく事実ではない。当局は、長年にわたり、あまりにも多くの信用をあまりにも安く提供してきたのだ。レーガン政権の元予算顧問であるデビッド・ストックマンが詳細を述べている。

金融危機前夜の2008年第3四半期までの7年間で、信用市場の総負債は28兆ドルから53兆ドルに急増し、年間9.2%という驚異的な増加率を記録した。

対照的に、同時期の名目GDPは年率4.8%で拡大しており、信用成長率の半分に相当します。したがって、この短い7年間の間に、国全体のレバレッジ比率はGDPの2.7倍から3.5倍に拡大しました。

金の価格を下落させることで、経済は制御されていると人々に信じ込ませる。それでも、人々が恐怖を感じ始めると、金は上がる。だから、短期的な経済指標が少し上がるか少し下がるかは、あまり問題ではない。現在、システム全体は本質的に恐ろしいポンジースキームであり、必然的に自らの重みで崩壊するだろう。

巨大な金融ポンジースキーム：

現在の比較的安定したサイクルは永遠に続くことはない。したがって、まさに今こそ準備すべき時だ。世界史上最大の債務バブルが決してはじけないと考えるのは、まったくの狂気である。世界の債務水準は、過去最高の217兆ドルにまで急増しており、その原動力となっているのが、

国際金融協会（IIF）によると、発展途上国では3兆ドルの借り入れが急増している。2017年第1四半期までに世界の負債は327%、つまり世界の年間経済生産高（GDP）の3倍以上に達した。

つまり、世界の負債は 200 兆ドルを超え、破綻させられない大銀行は少なくとも 1 兆 5000 億ポンドのデリバティブ商品に投資しており、その本質的な価値はほとんどないかまったくないのです。

これらの数字はあなたを驚かせるかもしれません。これは、世界的な金融ポンジースキームが、ほとんどの人が想像するよりもはるかに広範囲に及んでいることを証明しています。現在、世界の負債総額は、世界の GDP の 20 倍以上です。言い換えると、今年、来年

、そしてその後 18 年間に地球全体で生産されるすべての商品とサービスを考えても、負債をすべて返済するにはまだ足りないということです。

しかし、その数字でさえ、大手国際銀行がデリバティブ契約に及ぼす影響に比べれば大したことはない。彼らがいかに無謀であったかを言葉で表現するのは難しい。

「推定値の下限では、世界の銀行が保有するデリバティブ取引の総額は 710 兆ドルに上ります。しかし、現実には、これは 1 兆 5000 億ドルを超える可能性があります。これは、ほとんど想像できない金額です。そして、現実には、その「お金」のすべてが今日流通しているわけではありません。実際に保有可能な米国通貨は、約 1 兆ドルしか存在しません。」

もし全員が一斉に銀行口座と投資ポートフォリオを閉鎖しようとしたら、大きな危機が生まれるでしょう。真実は、今日の金融システムは、借金と紙の約束に基づく巨大なネズミ講に過ぎないということです。それが崩壊することなく、これほど長い間生き残ってきたのは、文字通り奇跡です。

「710,000,000,000,000 [ドルから1,500,000,000,000,000ドルは](#)、一般的にこの範囲内に収まるすべてのグローバルデリバティブ契約のドル換算総額の推定値です。範囲の上限では、デリバティブのエクスポージャーと世界のGDPの比率は約21対1です。」

紙幣の本質的価値がゼロであるため、金の重要性は次のようになります。

2007年以来、世界中の政府債務総額は約40%増加しており、一方で「破綻するには大きすぎる銀行」は[合計で37%となっている。大きいです。](#)

「当局」は何も解決しませんでした。彼らがやったことは、バブルを再び膨らませ、問題を先送りすることだけでした。唯一実現可能な数学的結論は、これは完全に持続不可能であるということです。

世界の金融システムは、崩壊するまでにどれだけの負債を負うことができるのか？大手銀行は、自らが築き上げた砂上の楼閣が崩壊する前に、どれだけ無謀な行動をとることができるのか？

今のところ、すべて順調のようです。世界中の株式市場は記録的な高値を更新し、信用はビールのように流れています。しかし、いつかは審判の日が来ます。その時が来たら、世界が経験したことのない最も痛ましい金融危機となるでしょう。それが襲ってくる前に備えた方がよいでしょう。

これは世界が直面している非常に危険な状況であり、このようなことはこれまで知られておらず、聞いたこともありません。ほとんどの人は、この負債額が人類にどのような影響を与えるか理解できないため、これは重要ではないと考えています。しかし、本当に重要なのは金の価値であり、それが問題となり、変化を強いることとなります。信頼度が高いときは金の価格は低くなりますが、今後の経済崩壊では、人々は金の価値がはるかに重要であることに気付くでしょう。なぜなら、現時点でこの世界のすべての価値を表している紙幣には本質的な価値がないからです。

非常に不合理なのは、金の物理的な価値は、その価格とは何の関係もないということです。なぜなら、金の価格は、**本質的な価値を持たないものに基づいて決まる**からです。しかし、金は、地球上のあらゆるものの価値を決定づけるものです。

覚えておいてください。紙幣の大きな矛盾は**負債**です。それにもかかわらず、エリート層によって意図的に法定通貨にされているのです。

これは、エリート、銀行システム、大企業を豊かにするために設計された人間の妄想をはっきりと示しています。この計画が続く限り、1%のエリートは日々豊かになる一方で、世界とその人々をいわゆる崖っぷちに追い込むポンジスキームが日に日に持続不可能になっています。

一方、メディアは、なぜそうなるのかを説明することなく、1%の富裕層と99%の貧困層の間の富の不平等について報道し続けています。

しかし、結局、この不平等さえも、これまでのすべての不換紙幣帝国で何度も経験されてきたように崩壊し、最終的には、これらの不均衡を是正する金の役割を再主張することによって毎回改善されるのです。

金が再びその役割を担うようになると、その価値は、すべての紙の委任状の債務不履行から身を守るために使われていた紙の委任状よりもはるかに高くなるでしょう。そうなれば、**あなたの金の現物は、あなたとあなたの家族、そして子供たちを自由にしてくれるでしょう。**

「連邦政府と連邦準備制度がそれぞれ破壊的な財政・金融政策のシステムに閉じ込められているため、米ドルに対する世界と国内の信頼が継続的に大きく失われ、世界市場での米ドルの完全な投げ売りにつながり、ハイパーインフレによる大恐慌の初期段階を迎えることになるだろう」とジョンは書いている。
[ウィリアムズ・オブ・シャドウ・スタティス](#)
[ティックス](#)。

覚えておいてください、最善の保護策は、できるだけ多くの金と銀の現物を購入し、銀行システムの外で保管することです。代わりに

、ダイヤモンドは良い代替品です。ダイヤモンドは、銀のように保管に必要な場所が少なく、より持ち運びやすいからです。

どうしてこんな混乱に陥ってしまったのでしょうか？ 中央銀行の皆さんに心から感謝します。

中央銀行の創設：

中央銀行の創設は、何世紀も前に英国とヨーロッパで始まりました。100年以上前に米国連邦準備銀行が設立されましたが、一般の疑いを恐れて中央銀行という名前を名乗ることができませんでした。これはすべて、ずっと前から考案された計画的な目的のために行われました。それは、権力イルミナティに奉仕する完全に中央集権化された権力構造のために、通貨システムに対する完全な制御と独占を獲得することです。

「金融の世界には研究すべきことがたくさんありますが、明らかに大物プレイヤーによって操作されています。比較的最近のものから、常にそうでした。 [ロスチャイルド家のクーデター](#) ワーテルローの戦い後のロンドン市場の混乱から世界恐慌に至るまで、金銭操作者たちは人類を欺いている。金とすべての「通貨」は、ロンドン市から処刑された少数のエリート、古代血統の家族出身の中央管理者によって操作され、地球上のすべての国をこのエリート集団とその関連組織によって中央管理する動きがある。邪魔をする者は、中東で起こっているように、報復を受けるだろう。」

FED 設立の正当化は、前世紀初頭に計画的に経済危機を引き起こすことで達成されました。国民は極度の貧困に苦しみ、今日では PRS（問題 - 反応 - 解決）と呼ばれる解決策を求めました。そのため、銀行システムの中央集権化は、「二度とこのようなことは起こらない」という偽りの口実の下で実施される可能性があります。当時

とまったく同じように、今も同じことが起ころうとしており、権力の統合という次の動きに焦点が当てられています。

金融力のさらなる集中：

多額の負債のため、TBTF の一部または複数の銀行が破産し、銀行の数が減って金融力がさらに集中することになります。続いて、世界的に導入が計画されている中央集権型グローバル SDR 通貨が導入されます。これにより、監視が強化され、**権力**が増大し、締め付けがますます厳しくなり、個人の自由が**さらに制限されることになり**ます。これは、少数の権力エリート、ディープ ステートによってすべての国で行使されます。すべての読者は警告を受け、この警告を他の人に転送することをお勧めします。次のステップは、残された最後の自由を奪い、すべての人々が抗議できないようにすることです。それがエリートの最大の弱点だからです。

彼らの究極の目標は、人類に展望のない未来をもたらし、完全な奴隷制へと向かわせることであり、これはほぼ現実となっている。

そうなる前に、世界はエリートたちの陰謀に目覚めなければなりません。騙されないでください。彼らが人類に押し付けようとしているこの操作されたシステムは失敗する運命にあります。それは誤った経済基盤の上に意図的に築かれた今日の社会に代償をもたらすでしょう。彼らが作り上げた砂上の楼閣が崩れ落ちるときに立ち上がる準備をしてください。

真実、精神性、愛、家族、コミュニティなど、生命を与える蓄えを通して、身体に健康に投資してください。適切な場所に住む準備をしてください。食料や必需品に気を配り、貴金属を持っている場合、または他の賢明な準備をしている場合は、誰に伝えるか注意してください。他の人の準備に協力してください。しかし、嫉妬深い密告者は政府から高額報酬を受け取るため、あなたの富と物資の奪取はおそらく起こるでしょう。

負債の負担:

人々は借金の話は聞きたがりません。政治家は借金について話したがりません。経済学者も借金について考えたがりません。そして一種の集団自殺協定のように、彼らは皆借金について心配しないことに同意しました。しかし借金は世界の金融問題の中心にあります。ニクソンが1971年に金本位制を放棄して以来、信用は30～50倍に増加しました。すべての信用は借金につながります。給料、賃金、さらにはキャピタルゲインは、すでに稼いだ富の形です。しかし信用は稼いだお金と同じではありません。実質的に、借金はまだ稼がなければならないお金に対する権利です。借金は返済しなければなりません。一方、借金の総額は計り知れないレベルにまで上昇しました。そして誰も心配していません。なぜなら誰もが成長が続くと想定しているからです。実際、成長率は加速すると考えている人が多くいます。成長により借金を返済し、支出を続けることができます。しかし、実際の成長はずっと前に止まっています。

IMF のクリスティーヌ・ラガルド総裁は、欧州が緊縮財政を緩和することを望んでいる。ドイツのヴォルフガング・ショイブレ財務相は、ラガルド総裁は口を閉ざすべきだと述べている。ショイブレ氏は、欧州が辿るべき道は陰しく厳しいと指摘する。債務削減は山登りのようなものだと同氏は言う。「難しすぎると判断して方向転換すれば、山はさらに高くなる」。ラガルド総裁は、自分が山を登っているのか下っているのか、おそらくわかっていないだろう。しかし、少なくとも彼女は一人ではない。ジャネット・イエレン、マリオ・ドラギ、そして彼ら全員が絶望的に道に迷っている。

いつの時代も、どこでも、借金は問題を引き起こす。フランスは借金が多すぎるために国債の不履行を8回も起こした。スペインは1800年までに6回、その後さらに7回不履行を起こした。米国、欧州、日本では政府債務が巨額にのぼるため、中央銀行は引き続き金利を低く抑えるために全力を尽くすだろう。さもなければ、債務返済の負担は耐え難いものになるだろう。

そこで、中央銀行の答えは、金利を低く抑え、自国通貨を切り下げ、紙幣を印刷して経済を刺激しようとするものである。しかし、これらの取り組みが成功だと言うのは難しく、次々と実施されるプログラムは、その効果を弱めているように思われる。

全体的な考えは支出を増やすことです。あるいは、ノーベル賞受賞者のスティグリッツが言うように、「需要を増やす」ことです。まあ、ゾンビほど要求が厳しい人はいません。支出によってお金持ちになれるわけではないことは誰もが知っています。そして、ゾンビによる支出は最も非効率的で効果的な支出であることも誰もが知っています。そのため、FRBが自ら支出します。そして、彼らが望むもの、つまり無駄遣い戦争、票を買収するための景品、無能な銀行家へのボーナスが得られます。

それでも、有力な経済学者たちは、中央銀行はより多くの現金を流通させるべきであり、それが我々全員の生活を豊かにするだろうと主張している。政府は経済を刺激して成長率を上げるよう求められている。政府は高水準の債務から「脱却」するために、より速いGDP増加を必要としている。しかし、実際の証拠は、実質成長率の低下は経済政策や金融政策では逆転できないことを示している。

もしこれが真実なら、成長率を押し上げようとして政府に借金を増やすよう煽るのは、患者を治すという誤った信念のもと、既知の毒の投与量を増やすようなものだ。成長が衰退する運命にあるときは、実際にそうなる。債務に苦しむ政府に関するIMFの調査によると、経済の民間部門が負債を減らしているとき、政府が同じことをするのは困難だという。

それは、民間部門の売上と収入が公共部門の税収でもあるからです。民間部門が縮小すると、税収は減少し、連邦政府の予算は深刻な赤字に陥ります。これは、ほぼすべての主要先進国が現在直面している状況です。

これは、1919年から1939年の戦間期にイギリスが陥った状況でもあり、日本が過去28年間陥っていた状況でもある。「イギリスは予算不足に陥り、支出を削減するために、予算削減委員会を率いた人物にちなんで名付けられたゲデスの斧を取った。しかし、この緊縮政策はうまくいかなかった。GDPはほとんど伸びず、失業率は高いままだった。そして、下がるはずだった債務対GDP比は上昇した。」

結局、英国はまさに避けようとしていた金本位制を放棄した。これにより債務の価値が下がり、賃金水準が下がり、最終的に事態は收拾した。事実上、債務不履行となり、英国は破産した。

日本は景気刺激策を堅持している。

「政府は巨額の赤字を補うために国債を売り、中央銀行は日本の発明である「量的緩和」という手段で国債を買い入れる。金利はゼロ。資金は容易に流入する。ビジネスはいつも通り。そして、国の実質的な富のますます大きな部分が日本政府によって消費され、そのほとんどは退職者への給付金である。」

日本の債務負担は減るところか、むしろ増えており、最終的な爆発的な債務清算はまだこれからだ。このすべてから得られる教訓は、これまでずっとわかっていたことだ。借金して支出するだけでは、本当に金持ちになることはできない。そして、政策のトリックで、莫大な債務負担が奇跡的に軽減されるとは期待できない。債務は、帳消しにするのではなく、苦しむべきものだ。唯一の疑問は、誰が苦しむのか、借り手なのか、貸し手なのか、それともそれ以外の全員なのか、ということだ。

金は景気刺激策の最大の受益者であり、今後もその恩恵を受け続ける。当初、金は数年ぶりの最低水準にあった。追加景気刺激策を期待して上昇し始め、実際に景気刺激策が実施されると、その勢いは止まらなかった。景気刺激策の恩恵を受ける資産はどれもあるが、

商品の中でもとりわけ金と銀が恩恵を受ける。銀はおそらく、金と銀の比率が歴史的平均に戻るにつれて、金よりも価格が何倍も上昇するため、今回の金融危機に対する最善のヘッジとなるだろう。銀は再び金の15分の1の価値になるだろう。現在は、金の75分の1程度の価値しかない。

債務社会:

過去 1 年間に利用可能なすべての信用源が最適化されていたら、何が起こっていたのでしょうか。消費率は急上昇し、経済に大きな負担がかかり、最終的にはゆっくりと衰退する必要が生じていたでしょう。人々の欲望は少なくなり、負債は多くなります。バランスシートを修復できるようになるまで、人々は長い間何も買わなくなるでしょう。

「人々が住宅の価値を担保に借り入れた金額は前例のない額です。1992 年以來、住宅ローン債務の四半期ごとの増加額は、1992 年の四半期あたり約 2,000 億ドルから、直近の四半期では 6,000 億ドル以上に増加しました。これは驚くべき債務額です...」

自動車リースや住宅ローンを含む消費者信用に関するデータを見てみましょう。1992 年当時、消費者信用が可処分所得に占める割合は 16% 近くでした。現在では 25% を超えています。つまり、今日の人々の所得の圧倒的多数が税金、利子、借金の返済に充てられているということです。

経済成長への価値が低い:

債務の伸び率が高いこと自体は、必ずしも問題ではありません。これらの資金が賢明に投資され、新たな経済機会が促進されるなら、国のGDPの割合として、これらの債務は利益を生み続ける可能性があります。しかし、実際にはそうではありません。

それどころか、1960年代以降、新たな債務1ドルあたりの経済成長への貢献は減少しています。これは、経済が体系的な収益低下に苦しんでいることを示しています。現在、新たな債務1ドル/ユーロあたりの経済成長への貢献は半分以下です（経済が年間2.5%で成長していると仮定した場合）。これは、すでにご存じのとおり、公表されているよりもはるかに高い実質インフレ率のため、当てはまりません。

1990年代に増加した負債の大部分は、企業、住宅、住宅ローンへの大規模な金融投機を煽るために使われた。これらの金融資産がデフレに陥り始めると、負債は残り、資産に対する負債の割合がどんどん高くなる。「米国における総負債は、GDPに対する割合で、1982年の約150%から今日ではほぼ300%に増加している」。EUでも大差はない。

借金の本来の目的は、需要の増加によって支出と企業収益を増やすことです。しかし、支出によって実際に豊かになることはできないことは誰もが知っています。一方、消費支出はあらゆる支出の中で最も非効率的で効果的ではありません。そのため、中央銀行は自ら支出します。そして人々は、無駄遣い戦争、票を買収するための景品、無能な銀行家へのボーナスなど、彼らが望むものを手に入れます。

同様に、企業の経営者もバランスシートをレバレッジし、負債を利用して利益を操作し、利益を増やし、利益を「成長」させ、短期的に自社の株式の価値を高めてきました。ストックオプション報酬は、経営者に大きなリスクを取る動機を与えます。リスクがうまくいけば、経営者は思いがけない利益を得ます。うまくいかなければ、経営者は無傷で立ち去ることができます。以下は、ゼネラル・エレクトリックの例です。

「同社の負債総額の約50%は短期証券の形をとっています。
ムーディーズによるトリプルA格付けのおかげで、同社は90

日間のコマーシャルペーパー市場にアクセスできます。同社はこの低金利の負債を、高金利のクレジットカードの資金調達に利用しています。JCペニーやメイシーズに行ってクレジットカードを作れば、GEに借金している可能性がかなり高くなります。GEキャピタルは過去3年間だけで、こうした債権の購入に合計430億ドルを費やしました。」

資金不足の年金制度:

一方、減少する年金基金への強制拠出金に基づく、将来の利益に対する莫大な負担に関するニュースが、金融メディアの紙面を賑わせている。たとえば、「[通信会社] SBC は最近、年金プランの補充を開始するため、来年の利益に対して 20 億ドルの負担をすると発表しました。[防衛関連企業] Raytheon は、今後 2 年間で年金基金に 5 億ドルを支払う必要があると述べています。現在、ウォール街は、S&P 500 の来年の利益の 10% が、不足している年金に充てられると見積もっています。」

もちろん、社会保障と呼ばれる、さらに大きな資金不足の年金制度もあります。しかし、これらの費用の将来的な影響を説明するには、詳細な説明と別の章が必要です。民間債務には、企業債務と個人債務の 2 つの要素があると言えましょう。個人債務の増加は、理解するのが難しくありません。収入以上の生活を好まない人はいないでしょう。一方、企業が財政責任をすべて放棄した理由を理解するのはそれほど簡単ではありません。残念ながら、この高い負債負担でさえ、私たちの将来の義務のすべてを物語っているわけではありません。

「弱気相場が株式市場を荒廃させたため、年金基金の資産は壊滅した。州および地方の年金基金の価値は、その数字は公的記録に残されているが、2000年の800億ドルから今日では250億ドルにまで下落した…70%の減少だ。」

企業年金基金の数字はそれほど多くないが、同じ年金基金マネージャーが運用することが多い政府の会計とあまり変わらないだろう。

株主の信頼を最も悪用する者を見つけるのは難しくありません。アメリカ最大で最も尊敬されている企業を見ればわかります。

「IBM は、ルー・ガースナーが CEO を務めていた 1993 年から 2000 年にかけて、90 億ドル相当の自社株を買い戻し、200 億ドルの新規債務を発行しました。自社株の配当が 1% しかないのに、なぜ 8% ~ 12% の利息がかかる債務を発行するのでしょうか。このようなことを行う唯一のもっともらしい理由は、短期的に利益を増やすことです。長期的には、リスクが増し、将来の利益幅が縮小するだけです。」

しかし、ルーは何を気にしたのでしょうか？ 彼は 5 億ドルのストック オプションを受け取りました（2000 年に退職したときにすべて売却しました）。

「ルー・ガースナーが IBM のバランスシートを活用して営業利益率を高めたことは間違いありません。それは違法ではありませんが、偉大な企業が築かれる方法ではありません。偉大な企業が食い尽くされる方法です。」

ガースナー氏の退任以来、

「IBM はまた、資産売却を営業収益として計上したことを認めた。これは、収益予測を達成するための一般的な会計トリックである。資産売却は、バランスシートを活用するもう 1 つの方法でもある。ルーの退職から 1 年以内に、後任は数十億ドルの巨額の費用を負担し、業績不振の主要事業（ハードドライブ）を売却し、PC などの不採算（ただし、長年保有していた）事業を閉鎖した。」

では、おそらく史上最も尊敬されている企業であるGEはどうでしょうか？

「GEは1992年以来、純借入企業です。アメリカ最高の企業が10年間も純借入企業でいられるのはなぜでしょうか？ 同社が利益を上げるために何をしているかを見れば、その理由は簡単にわかります。」

「1997年以来、同社は四半期末の3週間以内にこれらの証券を大量に（損失を出して？）売却した回数は15回に上る。それが、同社が利益予測をこれほど正確に達成できる理由だ。」

それは恐ろしくないですか？

一方、「GEの負債は膨らんでいる。現在、GEのバランスシートは負債対資本比率の4倍という危険な状態にある。なぜそのようなリスクを取るのか？なぜなら、負債を抱えたこれらの買収が、1985年から2000年までのGEの収益増加の40%を占めたからだ」とメリルリンチのアナリスト、ジーン・テリル氏は述べている。

信用バブルの症状：

80年代から90年代にかけて利益率が低下すると、企業はバランスシートを活用して利益を良く見せようとなりました。より洗練された企業は、より洗練されたゲームを展開しました。そして、そうすることで、基礎は悪化し続けました。

稼働率は1985年の約85%~90%から低下し始め、現在ではコンピューターからクレジットカードまであらゆる電子機器で75%以下、65%以下にまで低下しており、経済における商品とサービスの広範な余剰を示しています。

この急速な稼働率の低下は、信用バブルが崩壊した兆候の一つです。健全な経済は貯蓄による需要によって推進されます。貯蓄と投資の調整が悪くなると、問題が生じます。

民間部門の売上と収入は同時に政府部門の税収でもあるため、将来の需要は長期間にわたって弱いままとなるでしょう。民間部門が縮小しているときには税収が減少し、政府の予算は深刻な赤字に陥ります。これが今日のすべての主要先進国が直面している状況です。

教訓：

このすべてから得られる教訓は、これまでずっとわかっていたことだ。借金して消費するだけでは、本当に金持ちになることはできない。そして、政策のトリックで、莫大な負債の負担が奇跡的に軽減されるとは期待できない。負債は、帳消しにするのではなく、我慢するものである。最終的に、金が主な受益者となるだろう。

逆張りのインサイダーが、統合コンピューターが金融市場を操作し、金の価格を銀行家が望むレベルに設定する方法を説明します。デリバティブバブルが崩壊し、このカジノでプレイしているすべての主要銀行が破産するまで、この状況は止まりません。

債務バブル：

21 世紀の最初の 30 年間は、歴史上最も記録に残るエピソードになるでしょう。何が間違っていたのか、そして地球史上最大の惨事を引き起こしたのかが明らかになります。私たちは今、歴史上最も重要な時期に生きているということを忘れないでください。多くの未来の世代が、犯されたこれらの過ちを心に留め、そこから学び、何が間違っていたのか、なぜ間違っていたのかをより深く理解し、警告に留意して、同じ罠に陥らず、将来の経済破綻を回避することを願っています。

2001年のハイテクバブルの崩壊、その後の2007/8年の金融バブル、それに続く不動産バブルを覚えている人は多いでしょう。今、次のバブルについて警告されています。そのバブルは数十年にわたって範囲と規模を拡大し、今日の巨大な規模に達しています。

現在のバブルは、世界がこれまでに見た中で最も大きな金融バブルであり、今にもはじけそうです。このバブルは、莫大な富があるという幻想を生み出しました。このバブルのおかげで、政府は、本来なら手に入らない福祉国家や戦争国家を作り上げることができたのです。また、人々は自分のものではないお金で、必要のない物を買うことができました。このバブルがはじけたら、私たちが知っている世界は大きく変わるでしょう。

被害の例をいくつか挙げると、年金やヘッジファンドのマネージャー数千人が高給の仕事を失い、失業手当で暮らすことを余儀なくされる。中小企業は重要な信用を失い、失業率はさらに高まる。中央銀行は金融システムを健全に保つためにあらゆる種類の愚かな行動を取る。政府と紙幣は信用を失う。株価は下落し、退職金口座は破壊される。

これが起こるかどうかわかりませんが、いつ起こるかが問題です。私は占い師ではありませんが、21世紀初頭の経済の歴史はほぼ書き終えたと推測しています。この金融バブルが崩壊すると、世界は大きく変化するでしょう。

2012年だけでも、世界中の主要政府は合わせて8兆ドルの負債と利子を抱え、新たな融資に借り換える必要がある。この数字はあまりにも大きいため、多くの人がこれがどれほど大きなことなのか理解できないだろう。

これを大局的に見ると、この金額は中規模証券取引所に上場しているすべての企業を完全に買収し、すべての住宅所有者の1年分の住

宅ローンを支払い、2007年と2008年に差し押さえられたすべての住宅を買い戻しても、4兆ドルが残ることになります。

2012年に再び増加したこの負債額は、気が遠くなるような額であり、この膨れ上がった巨大な金融バブルの主要因の1つです。このバブルがはじけると、ほとんどの人は完全に不意を突かれることになります。退職金がなぜ半分に減ったのかと不思議に思うでしょう。失業する人が増えるにつれ、さらに怒りが増すのは間違いありません。貯蓄したお金の購買力が大幅に低下し、もはや適正な価格で物を買うことができないことに気づくでしょう。

西側諸国がこれに加わり、金融詐欺と強欲で自国の経済に損害を与え、シリアのような中東での戦争を開始し、イランを攻撃すると、混乱は完全に終わるでしょう。これらの国々は西側諸国に非友好的ですが、詐欺行為は絶対に犯していません。そうなれば、人々はあらゆるものにさらに高い価格を支払わざるを得なくなります。なぜなら、これらの人々が自分の国を好きなように運営する選択枝を否定することで、西側諸国はイランから石油を買おうと思っても買うことが禁止されるからです。

彼らはあなたのお金を没収します：

さらに、ドラギ、メルケル、オランダ、ラガルドも、あなたのお金を没収するという共通の目標を持っています。フィナンシャルタイムズは次のように報じています。

「彼らは何年も前からそれを望んでいたが、あなたたち（納税者）はそれを保持したり、スイスやドイツのマイナス金利に投資したりすることで抵抗している。彼らはあなたたちが儉約をやめて、もっとリスクを取ることを望んでいる。彼らはスペイン、イタリア、そしてもちろんギリシャの彼らのお金の代わりにあなたたちのお金を望んでいるが

、彼らはもうそのことには触れない。その例はあまりにも不快すぎるだろう。」

「投資家の皆さん」と彼らは懇願する。「お金を見せてください！」

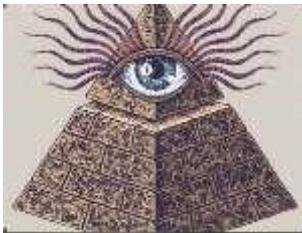
中央銀行によるさらなる介入が、真の回復をもたらさず、審判の日は将来に先送りされ、調整プロセス全体が、低成長、高失業率、そして周期的な金融危機という長く苦しい時期へと変わってしまった。この発言を裏付けるために、

「20～21年の暴落と不況は現在の危機よりも深刻だったが、24か月以内に収束し、その間連邦政府は救済措置を取らなかった。1929年10月以降の大混乱もおそらく短期間で激しいものになっただろう。その代わりに連邦政府が救済に乗り出し、大恐慌と第二次世界大戦を含む20年間の期間に変えてしまった。」

計画があれば、この来たるべき危機でそれほど苦しむことはなく、計画のない大多数の人々よりもはるかに良い状態にあることがわかるでしょう。

この金融バブルは今にもはじけそうな勢いで形成されており、極端な対策が必要です。最も簡単な方法は、現金で金貨や銀貨を購入し、誰にも言わずに秘密の場所に埋めたり保管したりすることです。この提案をすぐに実行することをお勧めします。

金融崩壊は近い:



イルミナティ、別名ハザールマフィアは、永久債務スパイラルの発明によって、長い間世界を操ってきました。1924年、ジョプリン・グローブ紙に、[記事が公開された](#) 人類に対する彼らの邪悪な計画を明らかにした。

世界を破壊しながら支配している。当時の人々は非常に心配していた。彼らはすでに不安が生まれ、不信が続き、最終的には階級憎悪が生まれることに気づいていた。現在では、難民の到着を意図的に早めることも彼らのやり方に加わっている。

簡単に言えば、彼らの目標は以下のとおりです。

- 政府
- 愛国心
- 私有財産権
- 相続権
- 宗教、そして最後に・ 家族関係。

目覚めている読者は、現代の社会環境を観察し、これらの目標がすでにどの程度達成されているかに気づいています。

誰が本当に世界を支配し、誰がカーテンの後ろで糸を引いているのか？これらすべての秘密の行動は、ロスチャイルド、ロックフェラー、ハリマン、ブッシュ、ダレス、クリントンなどの広いコネを持つアルコン一族の王朝を取り巻くサークル内で、彼らが属する国際銀行界に代わって秘密の金融家スタイルの外交政策を通じて陰謀と計画が練られている。

[アイスランドがすでに行っている](#)ように、これらの犯罪は犯罪として扱われなければならないため、人々がこれらの犯罪者をありのままに認識することが最も重要です。

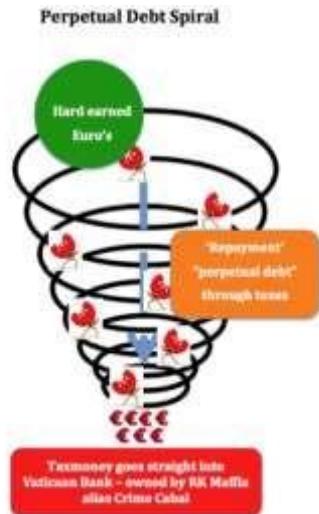
これらの犯罪者は第三次世界大戦を起こして人類を滅ぼそうとしている。

皆さんはこれを理解しましたか？私たち国民は、最も強力な悪魔的犯罪者と対峙しているのです。アラスカ州上級判事[アンナ・フォン・ライツ](#) [彼女の定式化 起訴](#) 次のように：

1910年代と1920年代に、この銀行陰謀団の曾祖父たちは大恐慌を引き起こしました。その結果、アメリカのビジネスは金本位制から外れ、1971年には銀本位制に移行しました。両方です。なぜそうなったのか、自問する必要があります。実際何が起きていたのでしょうか。

緊急銀行法（1934年）とHJR 192およびその他の措置により、固定された「ドル対ドル」の交換レートが設定され、「連邦準備制度」を運営する犯罪者が「連邦準備銀行券」として知られる約束手形を、純銀1オンスとして定義される米国ドルと交換できるようになりました。彼らは紙の約束を、実際の銀と金と交換しました…

この悪巧み、嘘、欺瞞の結果、フォートノックスからすべての金が盗まれ、すべての銀も奪われ、そもそもこの状況を作り出すために共謀した犯罪銀行家たちの懐に収まりました。連邦準備制度、世界銀行、IBRD、IMF、BISが主犯です。



債務再インフレはもはや不可能：

イルミナティは、永久に増え続ける負債スパイラルを発明し、実行しましたが、今、何かが変わりました。この種の大きな変化は、負債から抜け出す傾向を示すものであり、非常に大きなものです。負債を返済することでレバレッジを解消します。もちろん、それは**収縮**です。収縮は**不況**を意味します。

世界は不況に陥り、状況は悪化するでしょう。最終的には、各国政府は金の価値を再評価しなければなりません。なぜなら、金だけが彼らに残された唯一のものだからです。

貿易を継続するには、それに頼らざるを得ないだろう。経済的に完全に独立している国などない。どの国も他国が生産するものを必要としている。世界貿易を継続するには、金に戻る以外に解決策はない。

少なくとも100年間、金融システムは徹底的に操作され、エリート層の金融工学を通じて世界を屈服させてきた。これは、十分な教育を受けた専門家なら誰でも十分に警戒すべき事態だったはずだ。

しかし、大多数の人々は、隠された計画について巧みに知らされず、はっきりと鳴り響く警鐘に耳を傾けていない。徹底的な分析により、**通貨システム全体が意図せずして自己破壊の最終段階にあることが明らかになった。**

債務通貨の過剰な紙幣発行は、自己破壊の最終段階である「リフレ」に至っています。世界の債務が過剰に増加したため、永久債務スパイラルの発明の結果として、信用システムは逆モードに陥っています。利子の支払いのために紙幣を発行しないことで、**すべての債務を返済するのに十分な流動性が生み出されないと、不条理な状況が発生します。** さらに滑稽なのは、すべての債務が返済されると、流通する通貨がなくなることです。



リフレはもはや不可能であり、デフレ論者は最初から正しかったことが証明されつつある。信用システムが逆方向に機能し、負のフィードバックループがデフレの死のスパイラルを煽るという点では、彼らは正しい。

逆の債務再インフレは弾なしで射撃するのと同じである。

リフレとは、国の生産を拡大し、デフレの影響を抑えることを目的とした財政政策または金融政策です。現在、この政策は逆転し、反対方向に変化しています。実際、債務リフレとは債務のデフレであり、経済状況を悪化させ、収縮につながり、経済を崩壊に追い込みます。

明らかにハザールマフィアは怯え、弾薬が尽きつつある。ハザールマフィアが支配する日本銀行は、欧州の欧州中央銀行がマイナス金利に頼らざるを得なかったのと同様、彼らの偽の不換紙幣に価値がないことを証明している。米国連邦準備制度理事会も同じことをせざるを得なくなるだろう。

銀行にお金を預ける人が増えるほど、そのお金は消えていきます。

今は注目すべき時です。これはすべて、世界が今何を経験し、どこへ向かっているのかを私たちが把握する前に起こっています。目覚めた人々は、このことが起こることをずっと前から予見していましたが、今私たちはその真っ只中にいるのです。

実際には、収束する二つの世界がある。彼方からの振動の変化が、これらのポジティブなエネルギーをブロックし、恐怖と不安を植え付けることで人々に与えられた有益な信号を妨害するハザールマフィアの支配者を攻撃し、その一方で、電磁気、化学、遺伝、核、テクノトランスヒューマニストの影響の有毒なカクテルで私たちを攻撃している。

ただ一つ、小さな問題があります。それは、負のフィードバックループに巻き込まれている、特に連邦準備制度理事会を含むこれらの中央銀行発行者の通貨はどうなるのかということです。これらの通貨は、未払いのローンと利子の支払いをすべて返済するのに十分なお金を流通させないという彼ら自身の意図的なミスの結果として、消滅するでしょう。

通貨の存続:

これは、人々が生涯で直面した最も重要かつ差し迫った金融問題です。通貨はデフレ期を生き延びて繁栄するのでしょうか、それとも信用危機の泥沼のまさに中心にいる破産した発行者の借用書として見られるのでしょうか。この質問に間違った答えをすると、自分の金融人生は終わりです。

重要な問題は、どの資産に対して通貨が「デフレ」するかということです。もちろん、答えはこれまでと同じく「金」です。

専門家は「1934年に金はドルに対して価値が下がった」と信じ込ませるでしょうが、これは間違いなく全く逆でした。また、一部の専門家は「ドル」が1930年代の最高の投資だったと信じ込ませるでしょうが、それは間違いなく間違いです。

金の重要性:

当時のドルは金の「派生商品」でした。当時、ドルは1933年まで銀行で自由に交換可能でしたが、その後ドルは1オンスの金の購入に必要なドルが20.67ドルから35ドルに切り下げられました。言い換えれば、1オンスの金を購入するのに約75%も多くのドルが必要だったのです。つまり、それ以降の最後のデフレでは金が王様でしたが、**ドルと他のすべての通貨は今や再び金に対して切り下げられることとなります。**

金の最も重要な2つの側面は、金は「破産」できないことと、自由に「印刷」できないことです。負債はドル建てなので米国は「破産」することはなく、ただ印刷を続けるだけだと言う人たちは、100%正しいですが、ひどく間違っています。

そうです、米国は債務返済に必要な額のドル紙幣を印刷することができます。それでも「債務不履行」にならないということではありません。言い換えれば、

もしマクドナルドが約束したハンバーガーを来週の火曜日に提供できず、その代わりに残りの人生、毎週火曜日にハンバーガーを提供すると約束したら、そのハンバーガーはどこにあるのでしょうか？決して提供されません。米国や他の中央銀行が債務不履行を回避するために膨大な量の紙幣を印刷することに決めた場合、ドル紙幣の価値がゼロになるのと同じです。

これは供給と需要のカテゴリーに該当します。何を言っているのか理解できない場合に備えて説明すると、「古い」ドルは「デフォルト」を避けるために過剰印刷されるため価値がなくなりますが、切り下げ自体がデフォルトです。

ハイパーインフレ:

その間、債務者はどこを見ても信用が枯渇するデフレ環境を切り抜けない限りならぬため、必ず起こる「ハイパーインフレ」と呼ばれる通貨イベントを待ちましょう。2008年以來、何兆ものデジタル通貨がシステムに追加されたにもかかわらず、世界が流動性危機に直面していることは誰もが驚くはずで、流動性が不足することはほとんど不可能に思えますよね？上で説明したように、逆の債務リフレでは、これが世界中の債務者が直面している事実であり、流動性がないためにシステムを停止させる恐れがあります。

デフレ論者より2歩先へ進むと、信用が崩壊し、蛇口が閉められたら、いったい何が起こるのだろうか？米国の場合、債務全体の現在の部分的な貨幣化ではなく、完全に「印刷」される可能性が高い。

この印刷は、人類が数えきれないほどの IOU を世界中に持つ破産した組織によって行われます。破産した詐欺的な発行者によって発行される大量のドルの供給が、ドルの価値にとって「良いこと」になるのでしょうか？まったくありません！

このプロセスは、どんなに単純に見えても、デフレ主義者にとっては2段階やりすぎです。信用凍結の本当の結果は、国家的、そしておそらく **世界的な飢餓に相当します**。信用の側面が「分配」とほとんど結びついていないのは信じられません。実際の農業や生産が機能するために信用を必要とすることはさておき、信用なしで製品が店の棚に並ぶことはあり得ません。たとえそれが「成長」したとしても？

金に裏付けられた通貨が注目されています：

金やその他の商品に裏付けられた通貨が出現し、金と銀の価格に多大な影響を及ぼすでしょう。これらの貴金属は数倍に値上がりするでしょう。近い将来、現在のドルでそれぞれ 10,000 ドルと 400 ドルの価値が見込まれます。たとえば、メキシコ ペソは完全に銀に裏付けられ、他の南米の通貨は銅に裏付けられます。米国には金は残っていません。すべて盗まれました。

これらすべての変化は長い間進行してきました。終局は近づいています。それはドイツのドイツ銀行の破綻によって引き起こされる可能性があります、それがRBS、バークレイズ、フランスのソシエテ・ジェネラル、イタリアのインテーザ、スペインのサンタンデールの破綻を引き起こすでしょう。これらの銀行はすべて内部から完全に腐敗しています。銀行システム全体を貴金属または商品に基づいて再資本化する必要があります。金と銀は新しい裏付けのある標準システムのトップクラスの資産であり、両方とも国際貿易に使用されています。

まさに今、何十年もの間存在していなかった真の資本主義社会が進行しつつある。それは自由市場によって支えられ、新たな通貨制度のバックボーンとして機能し、市場操作に永遠に終止符を打つことになる。

多くの大手銀行は、必要な資本増強のために、すでに大量の金や銀の現物を保有している。ジム・ウィリー氏はこのインタビューで、今後数か月でこれらの貴金属の価格が3～4倍に上昇すると[予想している](#)と語った。

27. 緊縮財政

- 緊縮財政は間違っている - デフォルトが答えだ。
 -
- 政府の目的は何ですか？
- スタグフレーション。
- 財政赤字はインフレの原因です。
- 金の本質的価値は変わりません。
- 世界の通貨システムの糸を引いているのは誰でしょう？
- 緊縮財政と経済成長は矛盾する措置である。
- 緊縮財政と景気刺激策の歴史。

緊縮財政は間違った治療法だ：

債務水準は低下しなければならないが、債務水準の低下は経済の縮小と失業の増加を意味する。これが主要な問題であり、それに比べれば他のことは取るに足らない。

中央計画者らは全く無能で、何をすべきか理解していない。つまり、彼らがどんな行動を取るにせよ、我々は警戒すべきだ。彼らの緊縮財政と金利引き下げは、債務問題を解決するには間違った治療法だ。彼らは不況を長引かせ、最終的には経済を不況に陥れる。

より良い解決策としては、無期限に財政赤字を削減し、税金を下げ、全員に10~20%の単純な課税を適用し、割引や補助金、最低賃金を廃止し、代わりに実力と業績に基づいて給与を決定することが挙げられる。規則を減らし、官僚機構を縮小する。つまり、国民の生活をよりシンプルにし、その過程でビジネスと起業家精神を支援し、政府が行動するための基準を保証し、いかなる状況においても政府が財源を超えて行動する余地を与えないことである。

税収と支出のバランスをとることは憲法に盛り込まれ、予期せぬ災害に備えて剰余金を創出する義務が強化されるべきだ。世界的な不換通貨制度は失敗であり、詐欺的であることが証明されている。真の通貨改革が必要だ。通貨の信頼を取り戻すには、本質的な価値のあるお金が必要だ。これらの措置は金融危機を解決するだろう。世界が民主主義を貫きたいのであれば、そもそも赤字を生み出した空約束で政治家が票を買わないように、納税者だけに投票を認めるべきである。

政府の目的は何ですか？

考えるべき重要な質問：政府の目的は何ですか？ なぜ私たちは他人に指示を仰ぐのですか？ 私たちはみな平等ではないのですか？ 政府にはどれくらいの費用がかかり、どのような利益がありますか？

多く的人是は気づいていないが、ユーロ導入前の18年ほど前、EU諸国で赤字を抱えていた国は一つもなかった。今日、UBSの推計によると、すべての国が規模は異なるものの、赤字が拡大し続けている。オーストリアは200億ユーロ、オランダは450億ユーロ、フィンランドは100億ユーロだ。これらの額は、1840億ユーロを調達したドイツや、2210億ユーロを必要としているイタリアに比べれば小さい。「感情の悪化はこれらの国に問題を引き起こす可能性がある」と、ロンドンのロイズ銀行グループの債券ストラテジスト、エリック・ワンド氏は述べた。

拡張的財政政策がなければ、低金利はほとんど、あるいは全く効果がない。企業は、生産した製品に対して顧客が確実にいるという合理的な確信がない限り、事業を拡大してより多くの労働者を雇うために借金をしない。また、消費者は、雇用が確実にあるという合理的な確信がない限り、商品やサービスを購入するために借金をしない。

文明が成熟するにつれ、同じ過ちを繰り返す傾向があります。必要な経済再構築は困難で苦痛を伴います。現在の政治システムが適切に機能していたとしても、何年もの歳月と多大な勇気と犠牲が必要ですが、おそらくそのようなものは存在しません。今日の破綻しつつある世界通貨システムは負債と国民の信頼という概念に基づいているため、これはさらに重要です。

一方、ほとんどの人は、事態が確実に悪化する可能性があることに気づいている。問題は、どの程度悪化するかだ。リスクは深刻だ。国家債務不履行や欧州単一通貨の崩壊の脅威が高まっている。それに伴い、銀行の破綻、大衆のパニック、深刻な不況、大量失業の脅威も高まっている。それは、30年代の大恐慌のぼやけたバージョンのように私たちの目の前で展開されるだろう。なぜなら、今度の大恐慌は、膨大な債務のせいで、10倍もひどいものになるからだ。

EUにおける経済混乱:

欧州連合は全体として世界最大の経済大国であり、したがって、EUにおける経済混乱は必然的に世界的影響を及ぼす。金融システムの非効率かつ非効果的な機能により、世界貿易は低迷するだろう。

世界的不況は民主主義を弱め、急進的な新しい政治勢力の台頭につながります。その過程で、30年代の歴史が教えてくれたように、国際紛争のリスクが高まります。キング[シンクタンクのレポートをお読みください](#)。

「経済混乱と欧州連合の崩壊を背景に、ヨーロッパでは新世代の国家主義政治家が権力を握るかもしれない。台頭する中国が弱体化した西側諸国に直面する中、アジアの勢力バランスはさらに急速に変化する可能性がある。金利を引き下げたり、さらに融資を緩和したりしても危機は解決しない。問題は記録的な水準にある流動性ではなく、支払い能力だ…必要な粛清と再編はまだ行われていない。」

「多くの欧州の銀行は、実質的に民間信用市場での借入れが遮断されている。そのため、中央銀行は、これらの欧州の銀行のほとんどが支払い不能であるという事実を無視し、借入れが必要な通貨で長期資金へのアクセスをますます容易にしようとしている。」

「完全に予測可能な結果は、米国で見られるものと似たものになるだろう。つまり、民間融資がますます少なくなり、国債がますます増えるゾンビ銀行の資産となるだろう。」

「これでどうやって世界経済の回復が促進されるというのか？これは世界的スタグフレーションの完璧な促進剤のように思えます」。

スタグフレーション:

スタグフレーションとは、インフレによる物価上昇を伴う、失業率の高い低成長経済のことです。その間、中央銀行は金融システムが崩壊するまでそれを救おうとします。

言い換えれば、紙幣の所有者は、今後数年間、政府と銀行が引き起こしたすべての災害の代償を支払うことになる。現在の世界に定着している政府、銀行、中央銀行の同盟は、責任のある者に無責任な者を救済するよう強いる。

「アメリカ連邦準備銀行と欧州中央銀行がIMFに融資し、IMFがPIIGS諸国に「債務者保有」ローンの形で現金を再融資する事態も起こり得る。これにより、欧州の銀行は事実上、PIIGS諸国の債券で損失がないふりをし続けることができるようになる」

計画によれば、EU 構造の変更は強制的に承認される予定であり、実施が保留されている。ギリシャとイタリアの国民は、銀行業界の「テクノクラート」リーダーたちが EU と IMF に主権を譲渡する署名をすれば激怒するだろう。

暴動やストライキがさらに増えれば、財政緊縮の目標が達成される可能性はこれまで以上に低くなるだろう。

PIIGS諸国の経済が明らかに避けられない不況に陥っているにもかかわらず、EUとECBは自国の繁栄を守るためにますます過激な戦術をとるだろう。言い換えれば、銀行を保護するために、EUの銀行システムがPIIGS諸国への信用エクスポージャーの重圧で崩壊するのを防ぎ、その結果、民間部門から着実に収入を吸い上げていくのだ。

紙幣を刷って刷って、さらに刷り続けることが彼らの唯一の解決策であり、あなたの解決策は金、銀、プラチナ、さらには不動産や農地などの実物資産を購入することです。

財政赤字はインフレの原因である：

合理的な社会では、政府の収入は経済成長に直接関係するため、支出は収入、つまりGDP成長率を下回るため、財政赤字は存在しません。財政赤字がGDP成長率を下回らなければ、必然的にインフレが発生します。ほとんどの国が継続的に財政赤字を抱えているため、国債の発行を通じて不足分を貸し出すことで、時間の経過とともに次の世界的金融危機を引き起こす一因となります。

信用は半世紀以上にわたって途切れることなく拡大してきた。この債務がもたらすリスクは体系的なものであり、2008年の金融危機よりも経済に悪影響を及ぼす可能性がある。

「米国の調整済み通貨基盤は近年ほぼ3倍に膨れ上がった。財政赤字は驚異的だ。」

そのため、スタンダード・アンド・プアーズが、ユーロ圏の複数の国の格付けと同様に、ほぼすべての国の信用格付けを引き下げざるを得なかったことは、秘密でも何でもなかった。

フランスの格付けは1975年以来見られなかったレベルに引き下げられた。イタリアは現在、カザフスタンと同等の信用リスクがあるとみなされている。ポルトガルの信用格付けはジャンク債レベルにまで押し下げられた。

フランスの財務大臣は次のように述べた。

「これは大惨事ではない」と述べ、「だが良いニュースでもない」と続けた。

確かに、これはまったく良いニュースではない。これは、すべての金融バブルの元凶が今まさに始めていることを示す最新の証拠だ。フランスの財政状況は米国とほぼ同じだ。この点では、両国とも先進国の中心に位置し、政府債務はGDPの約100%である。両国とも、財政赤字を成長率以下に抑えない限り、債務から抜け出すことは期待できない。

そしてそれはほぼ不可能だろう。欧州は長期にわたる不況に悩まされているようで、GDP成長率はマイナスに転じるだろう。米国もそれに追随しているわけではない。

米国では「景気回復」が再び話題になっているが、同国はGDPの10%近い財政赤字を抱えて苦戦しており、おそらく近いうちに不況に逆

戻りするだろう。いずれにせよ、米国や他の国々の巨額の赤字が終わる気配はない。そして、成長が赤字を埋め合わせるほど高まる見込みはまったくない。これは悲惨な結末を迎えることになるだろう。

人々は何かに対する権利を持っているわけではなく、彼らが得るのは当然の報いだけです。

警告は絶えず出されているが、ユーロ圏やアメリカで起きているすべての出来事により、事態はすぐにエスカレートし、世界を永久に変えてしまうだろう。世界は次から次へと発表され、不安が和らいだかと思うと、財政難が再び前面に出てくるなど、絶えず動いている。世界中の人々は、日常生活のあらゆる側面に関して、日々、ますます勢いを増す不安の波に浸っている。

政府は最終的に疑問視されるだろう。通貨は消滅するだろう。多くの人が多額のお金を失うだろう。さらに悪いことに、世界中の人々がこれまで経験したことのないほどの怒りを爆発させるだろう。

格下げは試練の始まりに過ぎません。本当の痛みはその後にやってきます。準備はできていますか？ だからこそ、こうした警告を広めるために、この情報はすべて書面で提出されているのです。それにもかかわらず、注意を払うのはほんの一握りの人だけで、残りの 98% の人は、偽りの安心感に目がくらんで、このことについて読むことも、聞くことも、話すことも、知ることもしたくありません。

政府がこれらの問題を解決し、私たちの面倒を見てくれるだろうと、まだ多くの人が考えています。しかし、それは間違いです。あなたも、あなたの家族も、隣人も、友人も、誰もが準備ができていないため、悲劇が降りかかり、大混乱を引き起こしたときに何をすべきか、どう行動すべきかわかりません。無知にならず、今学んで行動してください。今がその時です。後では手遅れです。根深い無知は、高くつく誤算となるでしょう。忘れないでください。人々は物

事に対する権利を持っておらず、当然の報いしか受けられないのです。

今、備えることがこれまで以上に重要になっています。なぜなら、ほとんどの人が知らないうちに、隠れた脅威が、貯蓄や老後のためにかき集めたお金を破壊してしまう可能性があるからです。その脅威とは、この世界の中央銀行家たち、そして連邦準備制度理事会に他なりません。

ジム・ロジャースが言うように、

「FRBは市場や経済について何も分かっていない。彼らは危険な人々だ。紙幣を印刷することは世界にとって良くなく、世界にさらなる問題をもたらすだろう。FRBが今やっていることは、投資家層全体を破滅させることだ。」

金の本質的価値は変わりません。

彼が実際に言及しているのは、連邦準備制度理事会、そしてその結果としてすべての中央銀行家たちが世界経済の健全性に対する最も危険な脅威であるということであり、彼は正しい。

連邦準備制度理事会とその他の紙幣発行機関は、すべての通貨の価値を下げて、あなたの富を破壊しています。だからこそ、あなたは残っている貴重な通貨を守るために行動を起こさなければなりません。お金を投資するのに最適な場所の1つは天然資源です。なぜなら、天然資源はインフレにはほぼ瞬時に追随するからです。天然資源の価値は上昇せず、その本質的な価値は変わりませんが、通貨の価値が下がるにつれて、天然資源を購入するために価値のない通貨をもっと支払わなければなりません。

実際、中央銀行が保護するよう任命された通貨の価値を破壊する行動をとると、商品や天然資源の価格が上昇します。

一部の経済学者は、ドル安が米、穀物、小麦、石油などの主要な消費財の価格インフレに50%以上寄与していると指摘している。

ドル/ユーロが引き続き下落することは間違いありません。つまり、天然資源は引き続き高騰するということです。だからこそ、天然資源を購入したり投資したりすることが、あなたの財産を守るために重要なのです。

だからこそ、金と銀を買うべきなのです。あまり知られていないことですが、企業は銀行に現金を預ける代わりに、資金の一部を銀に投資し始めています。なぜそんなことをするのでしょうか？中央銀行の金融政策がドル、ユーロ、円、ポンド、そしてその他すべての紙幣を破壊していることを彼らは直接知っています。

したがって、退職金のほとんどを債券に投資し、現金を保有している場合、今後数年間で利用できるお金は大幅に少なくなるでしょう。銀行が破綻するリスクをすべて負いながら、利息がゼロの銀行預金を持つよりも、銀に投資する方がはるかに良いです。

お金は銀行に預けているよりも「安全」であるだけでなく、銀は蓄積において隠れた大きな上昇傾向を示しており、操作によって大幅に過小評価されています。

緊縮財政は間違っている - デフォルトが答えだ:

緊縮財政は機能しない。EU の緊縮財政は限界に達し、成長に重点を置くことが優先事項になりつつある。アイルランド、ギリシャ、ポルトガル、スペインなどの EU 諸国はそれを試した。支出を削減し、人を解雇し、税金を引き上げました。これは増収ではなく減収に終わったことが証明されました。その見返りとして、景気後退が6年以上に及ぶこと以外何も得られず、終わりは見えず、失業が増え、財政赤字が拡大しました。予算は依然として大きく不均衡で、財政赤字は EU が課している 3% の上限をはるかに上回っており、EU 官僚機構を存続させる必要性があります。

要求された債務削減は決して実現せず、債務延長が何度も繰り返されるだろう。失業率は上昇し、GDPは低下している。債務不履行と債務再編、あるいは金に連動した通貨への回帰が、危機を解消するだろう。

世界の通貨システムの糸を引いているのは誰でしょうか？

スイスのバーゼルにある BIS は世界の通貨システムの糸を引いており、金融の好況や不況を引き起こす力を持っています。

「健全な銀行制度は完全雇用と発展的成長につながるという論理を覆し、BIS規制は健全な世界的民間銀行制度の公正な代償として、国民経済における高い失業率と発展の衰退を要求している。」

これがどのように実装されるかに注意してください：

「BIS規制は、国家経済を危険にさらしてでも、国際民間銀行システムを強化するという唯一の目的を果たすだけである…IMFとBIS規制下の国際銀行はチームとして行動する。国際銀行は新興国の借り手に無謀に融資して外貨建て債務危機を引き起こし、IMFは健全な金融政策の名の下に金融ウイルスの運び屋としてやってくる。そして国際銀行は金融救済作戦の名の下にハゲタカ投資家としてやって来て、BISによって資本不足で支払い不能とみなされた国立銀行を買収する。」

主な目的はエリート層の懐を満たすことです。

「BISは、世界のすべての中央銀行が集まり、世界経済を分析し、より多くのお金を懐に入れるために次にどのような行動を取るかを決定する場所です。なぜなら、BISは流通するお金の量と、政府や銀行が借り入れる際にいくらの利息

を課すかをコントロールしているからです。BISは明らかに
犯罪組織です！」

銀行家たちがこの危機を終わらせるというのは幻想であることは明らかだ。銀行システムはそれに興味がないからだ。飾りとして、欧州の中央銀行家たちは今、メルケル首相が始めた緊縮政策が厄介な副作用をもたらす可能性があることを十分に認識していなかった、予算削減のペースを緩めて成長と雇用創出に重点を置く必要があると口を揃えて装っているが、それは煙幕に過ぎない。彼らの唯一の目的は、危機を長引かせて銀行家の懐を肥やすことだ。

個々のEU諸国の状況はどうですか？

ヨーロッパで最も緊縮財政を推進する人物の一人はメルケル首相の友人だ

ドイツのヴォルフガング・ショイブレ財務大臣は次のように述べた。

「失われた信用を取り戻し、信頼を強化するためには、財政および金融セクターの調整が依然として重要である。」

フランス：

さらに悪いことに、EU第2位の経済大国であるフランスは、EUのデータが示すように、2012年に対GDP比4.8%で停滞して以来、毎年財政赤字目標を達成できていない。フランスは現在、EUの制限である3%まで財政赤字を削減するためにフランスにさらなる時間を与えるかどうかを決定する欧州委員会に訴えている。

スペイン：

スペインも目標財政赤字を達成できず、不足額はGDPの10.6%となり、欧州委員会の予想10.2%を上回った。スペインの銀行は、少な

くとも2500億ユーロ相当の未販売および一部開発途中の不動産、ならびに不良債権を抱えている不動産ローンを帳簿に記録している。

住宅ローンの計算は簡単ですが、その基礎となる不動産価値を誰が評価するのでしょうか？銀行は、住宅の維持管理の責任を負いたくないために、何千もの住宅を空き家のままにして立ち去っています。銀行は、差し押さえによって不動産の所有権を取得し、その後、滞納税、住宅所有者会費、その他の費用を支払うべきですが、今は単に断っているだけです。

計算が合わない。銀行が「資産」を帳消しにするのは通常最後なので、非常に大きな問題が発生するだろう。スペインの不動産は現在いくらの価値があるのか？銀行員が1000億ユーロの価値があると主張するものを提示してきたら、まずすべきことは、価格を引き下げするために強硬に交渉することだ。

スペインの2013年の失業率は27.2%に達した。これは1976年以来の最高値で、スペイン人の約620万人が職を失っている。一方、若者の失業率は57%を超えている。

ドイツ：

欧州の苦境に拍車をかけているのは、2012年以來のドイツの民間部門の生産の落ち込みだ。金融調査会社マークイットは、ドイツの商業生産が6か月ぶりの低水準にあるという報告書を発表した。2013年は製造業とサービス業の両方が縮小した。製造業の落ち込みが最も大きく、急速だった。

EU自体も、まさに愚行に走った時期があった。単一通貨プロジェクトに参加するために、各国政府は事実上自ら監査を行った。

ギリシャ：

例えば、ギリシャがデータを提示したとき（おそらく、統計上の重要な瞬間を記念して金箔のタバコの箱の裏に載せたのだろう）、EU

当局は「これらの数字は正しいか？」と尋ねることしかできなかった。ギリシャ当局が疑わしげな表情で「もちろんだ！」と答えると、EUはギリシャがユーロに加盟することを許可した。

スロベニア：

もう一つのEU加盟国であるスロベニアも世界金融危機で大きな打撃を受け、2012年には輸出需要の低下と予算削減による国内支出の減少により不況に陥った。失業率は14年ぶりの高水準で、さらに上昇すると見込まれている。スロベニアは偉大な国ユーゴスラビアを解体した最初の共和国だった。今やEUを解体する最初の国になるかもしれない。

アイスランドはEU非加盟国であるため、

ここで概説した悲観的なシナリオとは対照的に、2008年の経済危機で債務不履行により壊滅的な打撃を受けたアイスランドは、現在では回復の成功例と広く見なされています。同国は着実な経済成長と失業率の低下を見せています。

欧州委員会は、緊縮財政国に財政赤字を抑えるためのさらなる時間を与えることを現在望んでいる。経済の現実に追いつくのに苦勞している国々、さらには欧州委員会自身にとって、それは、死に瀕した患者に、出血が遅くなるように痛みを伴う止血帯の締め付けを少し緩めると告げるようなものだ。長寿ではあるが、生活の質とは程遠い。

EU委員会も支出拡大を提案しているが、多額の負債を抱える政府に何ができるというのか？ユーロがなければEU諸国は自国通貨を持たず、債券投資家は買い手疲れに陥っている。債務不履行に陥らない限り、ユーロを離脱しても価値が下がった新たな通貨で債務負担が増加するだけだ。

貪欲な銀行家たち：

貪欲な銀行家たち、特にフランスとドイツの銀行家たちは、財政的に慎重な発行体の債券と同等の品質の担保として格付けされたPIIGS債券を近視眼的に購入して富を築いてきた。今やメルケル首相は窮地に追い込まれている。救済措置の隙間に現金をつぎ込むことに頼るなら非難されるが、PIIGSが明らかにジャンク債をデフォルトすれば、金融セクターの崩壊によっても非難されることになる。西側諸国の銀行は10年もの間、キャビア入りウオッカのようにその債券をがぶ飲みしてきた。

欧州中央銀行の当局者は、まず0.25%の利下げを決定し、その後、経済が改善しなかったため利下げをゼロに減らし、さらなる利下げが必要になった場合にはECBが行動する用意があると述べた。こうした問題はどこから生じたのだろうか？

[部分準備金](#)による銀行信用の持続不可能な拡大を含む、本質的に有害で効果のない中央銀行の政策は、[銀行業は](#)、人為的に金利を低くしすぎる傾向があり、それが長期間にわたって過度の信用拡大、投機的な「[バブル](#)」、人為的に低い貯蓄につながるため、ほとんどの景気循環の主な原因となっている。低金利は一種の押し付けである。預金者からお金を奪い、それを債務者に再分配する。大手銀行などの借り手は、優遇された人為的に低い金利でお金を得るが、その代償を貯蓄者が払うことになる。「おそらく、EUの現在の経済危機は分裂につながるだろう」と、[同氏は述べた](#)。[。 ナイジェル・ファラージ](#) インタビューで。

「ユーロ圏が永遠に続くことは絶対にあり得ません。さらに過激な手段を講じて、あと数年は存続させるかもしれませんが、最終的にはユーロ圏は崩壊するでしょう。経済、市民的不服従、大規模な暴力が起こり、地中海諸国の一部が追放される結果になるかもしれません。その後の大きな疑問は、一体EUは何のためにあるのか、ということになります。代替モ

デルは、協力、貿易、国民国家民主主義に基づくヨーロッパだと思えます。このビジョンは、年月が経つにつれて支持がますます高まるものだと思います。」

「政府は国民に約束したことを果たすことができなくなる。現代の社会福祉国家の壮大な取引は、ますます悪い取引に見え始めるだろう。若い失業者はますますうんざりするだろう。彼らは急進的な解決策を求めるが、より急進的な指導者は、おそらくこれも間違っている答えを出す。最良の状況でも、政府は本質的に反動的な答えで対応し、最終的にはあまり平和的に実行されない弾圧で対応することになるだろう。」

警察国家:

政府は、古代政権が行ったように、ゾンビ顧客を保護することで彼らを育成するだろう。たとえば、防衛産業は、国民の怒りを架空の外国の敵に向けることに成功し、それによって自らの権力と富を増大させるだろう。

ボストンの悲劇が、9/11 の場合と同様に内部犯行であったかどうかはともかく、悲しいことに、それは明らかに「テロとの戦い」を刷新し、米国やその他の西側諸国の警察国家機構を正当化し、避けられない混乱、革命、混沌に対抗するために、我々の権利と自由に対する攻撃を正当化するために利用されている。最近の戦争は嘘に基づいており、その犠牲は莫大なもので、皮肉なことにすべて「正義」の名の下に「テロリズム」と戦うために行われ、防衛産業とそのゾンビクライアントを育てる目的で世界中の罪のない人々の命が奪われている。

金が高価に見えるかどうかに関わらず、保険としていくらか保有しておくことは賢明であり、必要でさえあります。これは明白な真実です。紙幣と中央銀行の世界的なシステム全体が自滅の過程にある

ため、金と銀を保有することをお勧めします。そして、おそらく比較的短期間で、おそらく5年か10年で、既存の通貨システムは崩壊するでしょう。この混乱の期間中、金と銀は購買力を維持し、あらゆる形態の紙幣は無価値になると予想されます。

金と銀は貯蓄の一種であり、誰の負債でもない、世界的に認められたお金です。その意味で、金と銀は現在利用可能な他のどのお金よりもずっと優れています。当面、金の価格は不安定で、今年もまた大幅に下落する可能性もあります。しかし、金の真の価値はまったく変わりません。

ゼロパーセントの金利は投機家を生み出す：

結局、現在の通貨制度では、金利が 0% のままなので、誰もが投機家になってしまうでしょう。現在の通貨制度では、中央銀行がひどい貸出や借入の決定を下す銀行を「救済」することができ、その間に学んだように、政府が健全な通貨を維持するとは信じられず、貯蓄を通貨に預ける可能性は低くなります。人々は、株、不動産、債券にリスクの高い賭けをする傾向が強くなります。知識の少ない人々は、宝くじやカジノでお金を賭ける傾向が強くなります。主要な指数を観察すると、金融商品全般にわたってこれが起こっている証拠がすでにわかります。

まもなく、個人経営の会社が株を大量に購入するようになる。ゼロ金利では生活できない。必要に迫られて、現金や債券などの超低金利投資から株式へと移行する。そして、市場は大きな好況期に入る。次に銀行がやって来て、資産を大規模に売却して破綻させ、人々が自力で生きていくためのお金が残らないようにする。以上。

緊縮財政と経済成長は相反する措置である：

債務水準は低下しなければならないが、債務水準の低下は経済成長の低下またはゼロを意味し、失業率は上昇する。残りはそれほど重要ではない。何百万人もの人々が職も貯蓄も家も将来もないにもか

かわらず、無視できないほど深刻で、対処されていない構造的かつ体系的な問題が多すぎる。私たちの無能な指導者たちは、無能であることに非常に長けている。彼らはこれらの危機的状況を悪化させ、有権者は変化を求めているにもかかわらず彼らを再選する。失業中の十代の若者は、失業から雇用不能へと転落するリスクに直面している。

今日の現実は一筋縄ではいかない。一言で言えば、これは政治家が理解できず、対処もしていない多面的な失業危機である。

秩序ある債務削減に合意できなかったため、無秩序な債務不履行、関税戦争、そして1931年の最後の大恐慌における世界的な生産と雇用のさらなる崩壊が引き起こされた。

先進国は、負債の巨額の負担のせいで成長が非常に困難になる一方で、資本の大半は非生産的なゾンビ産業に「投資」されている。人口増加は停滞したままであり、考慮すべき重要な点は、成長の多くは、未来から物を買うために過去に信用貸付の利用が増えた結果としてすでに実現されているということだ。その未来は今や到来している。

緊縮財政は効果がない。ギリシャ、ポルトガル、スペインなどのEU諸国はそれを試した。

彼らは支出を削減し、人を解雇した。しかし、何も得られなかった。彼らの予算は依然として大きく不均衡で、赤字は欧州連合が要求する3%の上限をはるかに上回っている。失業率は上昇し、GDPは減少している。

実際に、自分の収入以上の生活をするのは、もはや政治的にも社会的にも受け入れられません。収入の範囲内で生活しなければなりません。残る唯一の疑問は、「この借金の全額を誰が支払うのか」です。その疑問への答えは簡単ではありません。借金額が低かったときは、おそらく「将来の納税者」が答えでした。今日の借金額で

は、借金が将来の世代に及ぶことは、不可能ではないにしても、ありそうにありません。そして、中央銀行が借金の多くを肩代わりしているため、負担は貸し手から借り手、つまり納税者と消費者に移っています。

ロシアの経済学者コンドラチェフは、経済サイクルは政府よりも強力であると結論付けた。そして、政府は小規模な「通常の」バブルの影響を変えることはできるが、「スーパーバブル」の後には何の力もない。コンドラチェフによれば、政府の行為は絶望的な茶番劇である。政府が何をしようと、本当の経済サイクルは終わる。

経済システムからすべての「毒」がなくなるまで、真の繁栄は達成されないでしょう。これらのサイクルを過小評価すると、破滅的な結果となり、いかなる政府も制御できないほどの力になります。実体経済は弱体化し、革命が始まります。最終的に、中流階級は破産し、貧困層はすでに破産し、国に残ったものはすべてエリートによって破滅させられるでしょう。

結局、あなたが「救ってくれる」と期待していた政府は、自分自身を救うことすらできなくなるでしょう。これは受け入れがたいことです。心の奥底でこのことが頭を悩ませているにもかかわらず、ほとんどの人は、それが自然に消え去るのを望みながら、単にそれを無視することを選ぶでしょう。あなたが学んだことすべてによって、それよりも賢くなっていることを願っています。

やるべきことはやられていない。なぜ我々は、加盟と同時にすでに死んでいたEUにこれ以上苦しまなければならないのか？不動産価格の下落と消費者収入の減少という硬く不毛な土壌に、本当の回復が根付くことはあり得るのだろうか？経済が改善していないのなら、インフレの上昇も金価格への圧力もなくなるはずだ、そうだろうか？

金の価格：

金の価格上昇はインフレと関連しています。しかし、金は人々が考えるよりもはるかに多用途です。紙幣の価値が下がったときにあなたの財産を守ります。また、紙幣の価値が上がったときにもあなたの財産を守ります。たとえば、大恐慌のときには、食品、衣類、その他の消費財の価格がドル建てで下落していたにもかかわらず、金の価格はドルに対して上昇しました。なぜでしょうか？ 不況のときには、お金は商品に比べて価値が上がります。金はお金です。最高のお金です。時の試練に耐えた唯一のお金です。

さらに、他にもいろいろなことが起こります。金融危機や不況になると、投資家は相手方が債務を返済するかどうかを疑い始めます。銀行は破綻し、投資家は破産します。住宅ローンを所有していて、家の持ち主が町を離れ、家の価値が半分になっていることに気づきます。借用書を所有していて、支払い者が破産し、借用書が無価値になっていることに気づきます。会社の株を所有していて、会社が倒産します。

レバレッジ解消の段階になると、以前の信用バブルの資産の多くがまったく資産ではないことに気づきます。そして、経済的損害がどの程度かがわかるまでの間、金庫に入れておくのに最も良いものは金です。個人で保管する金貨は、経済の健全性や金融機関、政府の政策に左右されない価値を持つものを与えてくれます。

不確実性が高まると、金の価格も上昇します。他の資産の収益率が低下すると、金の価格も上昇します。10年物米国債の実質収益率は1.82%でマイナスです。消費者物価はより速いペースで上昇しています。そのため、政府への融資の見返りはゼロ未満です。

通常、金を保有するには費用がかかります。リスクのない投資、つまり国債から得られる利益を放棄することになります。今や、報酬のない投資のリスクを放棄することになります。金はどこにも行きません。利回りも出ません。配当も出ません。利益も出ません。住むことも、運転することも、壁に掛けて眺めることもできません。

しかし、国債の利回りがマイナスの場合、金を所有することで何を放棄するのでしょうか？ 損失を放棄することになります！ 金貨は持ち運び可能で、世界のどこに持っていても価値が維持され、国際的に認知され受け入れられています。

緊縮財政か景気刺激策か？

「我々は資金を投入しようとしてきた。これまで以上に支出しているが、効果はない。…我々は一度も約束を果たしたことがない。政権発足から8年経ったが、失業率は政権発足時と変わらず、さらに莫大な負債を抱えている。」

この知恵は今日のものではありませんが、そうである可能性は十分にあります。これは、1939年5月にルーズベルト大統領の財務長官ヘンリー・モーゲンソーによって述べられました。

「オーストリア人」：「オーストリア人」と「緊縮財政」の合成語で、世界的な不況の中で財政赤字の削減を支持するオーストリア学派の人物のこと。

正直な労働の汗を流さずに稼いだお金以外は、すべて景気刺激策です。お金は歴史上、破壊的な役割を果たしているようです。景気刺激策が真の繁栄をもたらした例はまったくありません。

むしろ、国が簡単に現金を手に入れると、すぐに余裕以上の支出をすることになり、結果として問題がさらに増える。経済が衰退する間、凡庸な政府は典型的に「景気刺激策」と「緊縮財政」を行ったり来たりしている。

左派政治家は「景気刺激策」を支持するが、これが福祉支出の一形態以上のものを生み出すことはめったにない。景気刺激策は困難な時期にはありがたいが、非常に費用がかかり、経済全体にはほとんど役に立たず、財政赤字の懸念が増大する。その後保守派政治家が支持することが多い「緊縮財政」がやってくる。

「緊縮財政」とは通常、支出削減と増税を意味します。しかし、政治家、官僚、公務員、企業の取り巻きが全員、実際には支出を削減したくないことに同意するのにそれほど時間はかかりません。通常、彼らは教育、福祉プログラム、サービスで不快な削減を行います。これらは実際に役立ち、不況時に重要な唯一のプログラムであり、政治家、官僚、公務員、企業の取り巻きの懐に入らない唯一の政府支出です。

マーガレット・サッチャー（1979年から1990年まで英国首相を務めた）の例を挙げてみよう。彼女は今日、政府を徹底的に再編したことで知られている。この再編では、公務員、補助金、国営企業が削減または廃止された。彼女は広範囲にわたるストライキに直面して、公務員組合の影響力を粉砕した。サッチャーは保守派の学者を研究し、フリードリヒ・ハイエクの『隷従への道』を読んで実行した。

1981年から1989年まで米国大統領を務めたロナルド・レーガンも、減税と支出削減というほぼ同じ戦略をとった。彼の大統領在任中、米国の最高所得税率は70%から28%に引き下げられた。支出削減の彼の試みは、左派民主党が多数を占める議会によって打ち負かされた。

支出削減は、政府の存在理由である公共サービスではなく、政治家、官僚、公務員、企業の取り巻きによる浪費、窃盗、汚職に焦点を当てるべきである。

これには政治倫理と政治ムードの変化が必要であり、その変化は「景気刺激策」や「緊縮財政」という言葉が議論から消えたときに明らかになるだろう。

政治家たちは「国家の偉大さ」について語り始め、2000年にウラジミール・プーチン大統領がロシアで驚異の13%の一律所得税を導入した時もそうでした。その後の爆発的な回復で、ロシア政府の所得

税収入は急増しました。新しい税制の初年度である2001年には、所得税収入はなんと46%も増加しました。これは、その年の終値が1バレルあたり19.33ドルだった原油価格とはまったく関係ありません。2002年には所得税収入はさらに40%増加し、原油価格は29.42ドルで年を終えました。2007年までに所得税収入は2000年より624%増加し、ロシアは再び世界大国となりました。

緊縮財政と景気刺激策の歴史:

最初の金融危機は、この時代の初め頃のローマ帝国時代に起こり、カエサル・アウグストゥス（紀元前63年～紀元後14年）がさらなる刺激策でこの危機を解決しようとした。当時はまだ紙幣も印刷機も発明されていませんでした。

そこでアウグストゥスは、自分にできる唯一の方法で通貨供給量を増やした。スペインとフランスの銀鉱山の奴隷たちに24時間働くよう命じたのだ！この余分なお金は繁栄をもたらさず、価格インフレを引き起こした。約30年の間に、ローマの消費者物価指数はほぼ2倍になった。その後、鉱山からの産出量をこれ以上増やせなくなったとき、アウグストゥスの甥で54年から68年まで5代目で最後のローマ皇帝として統治したネロ（紀元37年 - 68年）は、新たな刺激策を見つけた。銅とニッケルを加えることで、硬貨の銀含有量を減らしたのだ。この刺激策は効果がなかったが、永久にその手法が使われ続けた。蛮族が支配する頃には、銀貨デナリウスにはほとんど銀が含まれなくなっていた。もちろん、ローマ自体も疲弊していた。

景気刺激策が実際に機能したもう1つの初期かつ劇的な例は、16世紀のスペインで起こった。征服者たちは昔ながらのやり方、つまり盗むことで貨幣供給を増やした。ガレオン船がアメリカ大陸から財宝を持ち帰り、スペインの貨幣供給は大幅に増加したが、経済的には致命的だった。スペイン人は景気刺激策があまりにも多かった

ため、道具を手放した。なぜ彼らは働かなければならないのか？ 何でも買えるのだから。

16 世紀半ばに大量の銀が発見され、ほぼ 1 世紀にわたって景気刺激策が確保されました。

結果は予想通りでした。インフレです。1540年から1640年にかけての「価格革命」では、ヨーロッパ全体で生活費が上昇しました。最も信頼できるデータが存在するイギリスでは、物価が700%上昇しました。そしてスペインは、この容易な現金で国家予算の40%を賄ったにもかかわらず、1557年からその後100年間連続して、15年から20年に1回程度債務不履行に陥りました。スペインはローマ帝国と同様に景気刺激策を歓迎しましたが、その後回復することはありませんでした。

この時期、スペインは世界で最も裕福で最も強力な国家であった。ヨーロッパは、西はカリフォルニアとペルーから東はフィリピンまで広がる世界帝国でした。ポルトガル、イタリアの大部分、オランダは言うまでもありません。17 世紀初頭までに、スペイン原住民は、過酷な税から逃れるためにアメリカ大陸に逃げていました。

17 世紀初頭のマドリードの観察者は次のように述べています。

「ガレオン船は先月28日に出港しました。ビジネス上の理由で出航した人々に加えて、スペインに住むことができないという単純な理由で6,000人以上のスペイン人がアメリカに渡ったと確信しています。」

400年経った今も、スペインは太陽の下で休暇を過ごすには美しい場所であり、お金を使うには美しい場所だが、お金を稼ぐには適していない。スペインは再び、国家債務不履行に近い国のグループに属している。

唯一の率直な解決策は、緊縮財政と減税である。

明確な解決策はただ一つしかないが、当局はそれを実行していない。それは、さらなる債務を生み出すだけの債務危機を解決するために、納税者のお金を無駄にしないことだ。この混乱を実際にもたらした原因を調査し、状況を徹底的に分析して、緊縮財政と減税という適切な解決策を見つけ出すことだ。

景気刺激策は腐敗を招く。日本も、ほぼ30年にわたる不況で、90年代に、地方政治家が有権者のために仕事を作りたかったために、行き止まりの橋を建設したのと同じだ。

同じ間違いが今、西洋でも起こっています。そこから学ぶことはたくさんあります。

しかし、混乱を引き起こした人物が責任者に任命された場合、実行可能な解決策は期待できない、とアインシュタインはかつて書いている。

「問題を引き起こした人がそれを解決してくれると期待してはいけない。」

要するに、経済はさらなる負債によって再生するのではなく、再構築される必要があるのだ。

[貨幣の歴史](#)』より引用。

偽りの繁栄：

16世紀、スペインのガレオン船が新大陸の発見から金貨や銀貨を満載した貨物を積んで帰ってきたとき、彼らは大金を当てたと思った。当時イベリア半島にはお金がたっぷりあったので、農業や工場を怠った。お金が山ほどあったので、もう何も生産する必要がなかった。その結果、物価が上昇した。そして金や銀の流入が止まると、スペイン人は破産し、その後4世紀にわたって衰退した。

1980年代に欧州経済連合に加盟した後、EUはスペインに補助金を出し、同国を経済的に欧州水準に引き上げた。フィリップ・ゴンザレス首相率いる社会党はインフラや建物に資金を投じたが、産業の多様化に向けた革新的技術の開発には資金がほとんど、あるいは全く投じられなかった。

ゴンザレスは、大西洋岸のモロッコ王の宮殿の敷地の隣に、当時400万ユーロ以上をかけて自分の別荘を建てた。そのユーロは彼のものではない。

スペインでは、社会党が再び政権を握った2004年に、建設活動がGDPの17%を占めた。彼らは木が空に向かって伸びると考えていた。景気がまだ良かった頃は、修正や多様化は考慮されなかった。人々は購入価格の110%を住宅ローンとして住宅を購入し、署名のみが必要で、質問はされなかった。

政治家、市長、町村や市の顧問らは、建設プロジェクトを通じて資金洗浄するための黒い金を搜索し、役人グループとマフィアが協力してシステムを腐敗させた。その結果、建設許可をめぐる詐欺が生まれ、保護された農村地帯に何十万もの違法住宅が建設され、貴重で独特な自然景観を持つ田舎が破壊された。

しかし、数年経っても国は荒廃したままだ。政治家、興行主、開発業者の多くが投獄または保釈され、その中には公証人や弁護士も多数含まれ、その結果、22%、つまり約500万人が失業し、その数は増え続けている。売りに出されている住宅は約250万戸あるが、そのほとんどは完成していない。放置された建設現場には、使われていないクレーンが山ほどある。資金もアイデアも残っていないサパテロ首相は退任し、政治的スペクトルの右派である国民党のマリアーノ・ラホイが後任となった。

約束されたような改善はなく、さらに大規模な腐敗が続くだけです。

。

1970年代後半以来、スペインでは8～10年ごとに建設危機に見舞われてきました。観光業と住宅建設は、この国の主な収入源です。10年ごとに、ホテルや住宅が余剰となります。2008年の住宅危機により、未完成のまま残された数百万戸の住宅は、10年経ってもほとんど売れませんでした。それでも、2016年以降、何千もの新しい建設プロジェクトが開始されました。安価な資金と容易に利用できるローンが、再び、何千もの住宅を大規模に建設する新しい都市化の原動力となっています。市場が縮小している今、私たちは次の崩壊を待っています。融資を受けた建設プロジェクトが多すぎたために倒産した銀行は数多くありましたが、それは過去形であり、今は違います。それとも、そうでしょうか？

現実：

しかし、経済の試練の現実が明らかになるにつれ、国家という船が沈み始めるにつれ、人々は救命胴衣を着けて、自分たちが何をすべきか考え始めるだろう。しかし、そんなことは忘れて、彼らは政府に無料のお金を期待するが、中央銀行はそれを1時間あたり10億ドルも浪費している。そしてPIIGS諸国は、米国を含む他のほとんどの国と同様に、完全に破産している。

一方、中央銀行は自由に資金を流し続けている。最近の会計によれば、補助金、救済、無駄遣いに15兆ドルが費やされている。スペインの銀行は古い家具のように軋んでいるが、いつまで続くのだろうか？ 待つ、もっと多くの自動車ローンや住宅ローンなどが債務不履行に陥ったらどうなるのだろうか。

中央計画者たちは、実際に何をすべきかについてまだ何も考えていない。政治家たちはみな、教育の強化、再訓練、インフラ投資といったいつもの解決策を提案する。しかし、これらのどれかが「雇用状況」を改善するという証拠はない。この不況を治すには、不況を不況のままにしておくことだ。不況は資産価格、消費者物価、金利を低下させる。こうすれば、投資家やビジネスマンは、効果のある

プロジェクトに、そして失業者を働かせるプロジェクトに、努力を向けることができるようになる。

今では、景気刺激策が機能しなかったことは明らかだ。誠実な労働の汗を流さずに稼いだお金以外は、景気刺激策にはならない。

安易な金融政策は破壊的な役割を果たします。景気刺激策が真の繁栄をもたらした例はありません。それどころか、人々はすぐに支払える以上のお金を使うようになり、より多くの問題を引き起こします。「景気刺激策」と「緊縮財政」のサイクルは、最終的に支出の増加と増税につながります。これは一度もうまくいったことはありません。では、解決策は何でしょうか。支出を減らして税金を下げることです。

金持ちに負担を強いるのも、うまくいきません。システム全体が崩壊するまで、何も機能しなくなります。だからこそ、この崩壊は避けられないのです。

限界税率はどんどん上昇し、課税基盤は狭まり、税収は減少します。政府の負債は急増し、遅かれ早かれ、貸し手は貸した金が返ってくる見込みがないと気づき、金利が急上昇します。そうになると、社会不安は避けられなくなります。

これらすべてはいつ終わるのでしょうか？ 誰にも分かりません。しかし、すぐには終わらないでしょう。これが制御不能になり、政府が最後の納税者に至るまですべての人から金を巻き上げるようになる頃には、終わりは近いでしょう。

そうして初めて、より良い変化が起こります。

28. 金利ゼロ金利政策とマイナス金利政策の影響

- 人為的な低金利：

- マイナス金利はばかっている :
- 資産スワップ:
- ECBの愚かな論理:
- ゼロ金利政策、マイナス金利政策、量的緩和政策は裏目に出た。
- 世界的危機の解決策:
- マイナス金利の愚かさ :
- 中央銀行の破壊的な経済政策:

人為的に低く設定された金利:

中央銀行が借り手と貸し手の間で自由市場が決定する水準以外の水準に人為的に低い金利を設定すると、信用価格、および金利に基づいて価格が決まる他のすべての製品の価格が歪められる。価格の歪みは常に問題を引き起こす。不足または余剰のいずれかだ。金利を極端に低く操作することで、中央銀行はあるグループから盗み、別のグループに与えている。中流階級、貯蓄者、労働者階級は富を失う。銀行家、ヘッジファンドのマネージャー、ゾンビ、そしてもちろん中央銀行自身が利益を得る。

「金利が非常に低いため、企業は、たとえ非常に悪い状況であっても生き残ることができます。これは、意図しない形で経済のダイナミズムを低下させます。ダイナミックな社会では、起業家が物事を開始し、他の起業家がそれを完成させるか、起業家が失敗したため銀行家が起業家に代わって完成させます。失敗がなければ、実際には成功はありません。そうでなければ、永久に国が後援する企業の無益なシステムになります。」とジム・グラントは言います。

しかし、貯蓄をすることが「正しいこと」であるにもかかわらず、貯蓄者はそのことで苦しめられている。低金利によって個人貯蓄者が損害を被るが、低金利による大規模な損害は、機関投資家や年金基金にさらに大きな影響を与える。文字通り、何兆ドルもの年金基金が、約束を果たすために収益を求めている。低金利は、大規模な貯蓄と将来の収益の背後にある多くの基本的な前提を時代遅れにする。機関投資家やファンドマネージャーは、先を見据えて計算し、口座の赤字を予測する。

危険なのは、政府や企業が低金利に慣れてしまうことだ。そうなると、構造改革が行われず、対応できていない銀行や企業は低金利と補助金で生き残れるようになり、市場にバブルが生じる。インフレが高まれば、予定通りの金利も上がると人々は推測できるはずだ。

さらに考えてみると、低金利では、多くの個人が貯蓄を増やし、借金返済のための借入を減らします。これは個人にとっては良いことですが、経済を減速させます。さらに、企業は新規資本拡大の資金を年金の増額に転用します。一方、金融機関はコスト削減（多くの場合、従業員の解雇）と自社株買いの資金提供のために企業経営陣を厳しく叱責します。従業員の減少、資本投資の減少、これらすべてが将来の成長の種を殺しています。

政府でさえも、覚悟を決めなければならない。政治の傾向としては、税金を引き上げたり、インフラの維持管理などを縮小したり、一方で資金を資本不足の年金口座に振り向けたりすることが挙げられます。

それでも中央銀行の政策立案者は、低金利は借入を刺激し、経済を刺激すると主張している。では、9年間の低金利の後、刺激された経済はどこにあるのだろうか？ 低金利はコンクリート、鉄鋼、新しい機械に流れるお金を減らすことにつながると主張することもできる。金利がゼロのとき、世界が過去数年間経験してきたように、経済成長は鈍化する。

一方、低金利は経済全体に大量の不必要な浪費を生み出します。つまり、人々や企業は単に低金利で借りるためだけに借入れをします。他人のお金で遊ぶ方がリスクは少ないのです。

景気循環が変わり、利益や所得が減ったらどうなるのでしょうか。借り手はどうやって債務を返済するのでしょうか。あるいは、さらに悪いことに、金利が上がったらどうなるのでしょうか。お金はどこから来るのでしょうか。破産の可能性が非常に高いようです。

市場が金利上昇の最初の兆候を感知したら何が起こるのでしょうか？ファイナンシャル・タイムズ紙はすでにこのビッグニュースを発表しています。

「10年国債の利回りが3%を超える」

これは大きなニュースでした。なぜなら、債券利回りは信用コストに影響し、信用コストはすべての金融取引に影響するからです。

借り換えは支払い額の増加を意味するため、債務者は上昇する利子の支払いにどう対応できるのでしょうか。住宅所有者は住宅ローンをどう返済するのでしょうか。10年国債の利回りが最低の1.6%に達したとき、「リスクのない」利回りはインフレ率と同水準になりました。つまり、利回りがプラスの投資は、たとえそれがどんなに小さくても、相対的に見て良い投資だったのです。現在、名目利回りは2倍になっています。インフレ調整後の実質利回りは、約0%から約1.8%に上昇しています。

金利は「通常」の水準に戻りつつあるのでしょうか？また、金利が「通常」の水準を超えて上昇した場合、何が起こるのでしょうか？

第二次世界大戦以来、10年国債の平均利回りは約5.9%でした。今日の異常に低い水準からその正常な水準に戻ることは、正常な金融世界をもたらすことはなく、大惨事をもたらすでしょう。

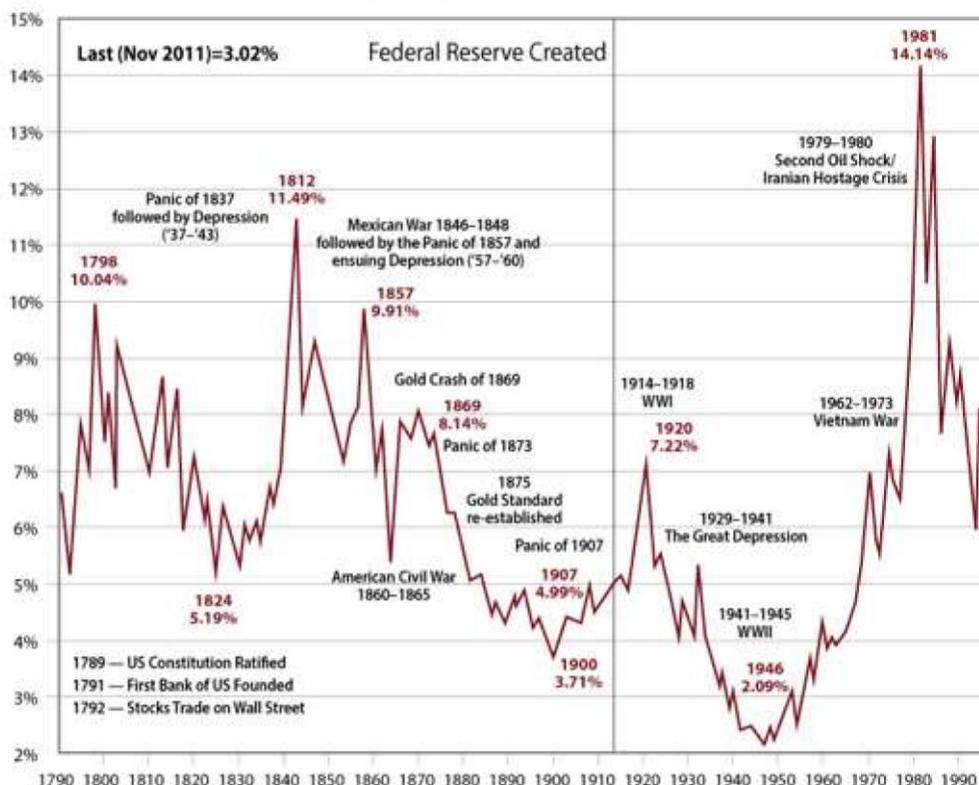
「通常の利回りでは、連邦政府は債務返済に4400億ドルの追加負担を強いられる。そうすると財政赤字は1兆ドルを超え、民間部門と政府部門で悪いニュースの連鎖反応を引き起こすことになるだろう。」

世界経済は安価な信用に依存している。

「信用がさらに高価になると、政府の退職金制度、投資、予算が破綻します。株価は下落し、おそらく現在の価値の半分くらいまで暴落するでしょう。昨年得られた数兆ドル、あるいはそれ以上が消えてしまうでしょう！」

少なくとも貯蓄者にとって金利はどれほど悪いのでしょうか？1790年まで遡るデータに基づく以下のグラフをご覧ください。ベンジャミン・フランクリンはかつて、
「節約した小銭で、しっかりした利息が稼げました！」

Long Term Interest Rates Back to 1790

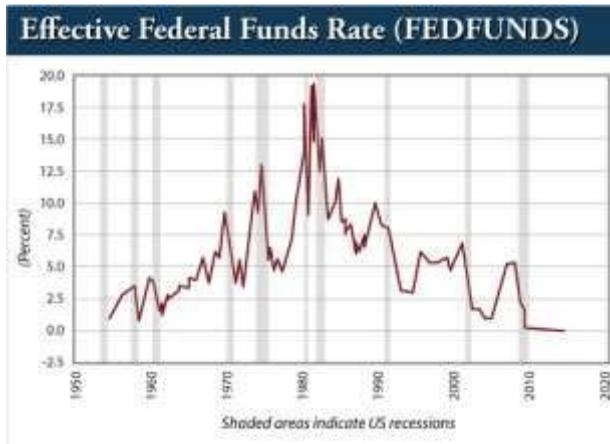


出典：債券市場を動かすもの。「米国の歴史の大半を通じて、フランクリンのアドバイスに従って小銭を貯めることで、まともなお金を「稼ぐ」ことができました。2 世紀以上にわたって、米国の金利は 4 ~ 5% を下回ることはほとんどありませんでした。多くの場合、金利はもっと高かったです。フランクリンのアドバイスに従って小銭を貯めていれば、長期的にはまともなリターンを得ることができたでしょう。」

もうそうではありません！過去 9 年間で、金利は大恐慌や第二次世界大戦中の最低水準を下回るまでに下落しました。

最近の金利はどれくらい低いのでしょうか？ セントルイス連邦準備銀行が作成した過去 60 年間の金利チャートを詳しく見てみましょう。

平均すると、過去 60 年間の大半は 5% の金利水準を維持しています。たとえば、1970 年代から 1980 年代初頭の不況期にインフレとの戦いでフェデラル ファンド金利が急上昇した様子を見てみましょう。次に、2008 年以降の金利を見てみましょう。過去 8 年間で金利は急落しました。2008 年の大暴落後、FRB は金利を一気に引き下げ、ほぼゼロに抑えました。



貯蓄者はゼロ%の金利で苦しんでいます。彼らは1ドルにつき1セントも稼げません。中央銀行とその指導者たちはこのことを知っています。実際、彼らはそれを知っていて、気にしていません。

さらに悪いことに、現代のお金のすばらしい新世界では、さらなる苦痛が待ち受けているかもしれません。なぜなら、今日、銀行はあなたの資金を保管するために手数料を請求しているからです。つまり、預金者は「マイナス」金利という形で銀行に支払うこととなります。法律の変更も忘れてはなりません。これにより、銀行はペイルインのためにあなたの口座資金を没収することができます。

予測：

EUの富裕税はソ連型経済への回帰を告げるものである。成長率がほぼ横ばいのままである中、10万ユーロ以上の貯蓄を持つ人々に対す

る富裕税は、すべての人に質の高い生活を提供するための動きの一環として、またいわゆる「危機セーフティネット」を創設するための取り組みの一環として施行される。

IMF: 銀行取引からわかるように、ヨーロッパに必要なのは、もちろん、銀行システムの資本増強と弱い国への全般的な支援に使える一定額の資金を確保することです。ヨーロッパ経済は、ソ連型経済、計画経済にかなり移行しています。そして、これはヨーロッパ人から富を没収する最後の一撃になると思います。と、デンマークの投資銀行、サクソ銀行オンラインのスティーン・ヤコブセン氏は言います。

ジム・チャノス氏はこう言う。「過去 50 年間に銀行が求めてきた主要な立法措置が、概して財政に悪影響を及ぼしてきたという証拠がいくつもあるにもかかわらず、議員らが概して求めていたものを実現してきたというのは、本当に驚くべきことだ。冷笑的になりすぎることはない」。

マイナス金利はばかげている：

ゼロ金利政策の結果、財政政策は深刻に制約されており、量的緩和は唯一残された手段であり、債務の「本来の価値」を減らして安く債務を返済するために通貨を切り下げる必要があるためにのみ適用されている。

ゼロ%とマイナス金利の背後にある論理はばかげている。ECB の考えは、預金することでお金を失うよりも、銀行がほんのわずかな利回りでも貸し出すだろうということだが、この戦略には明らかな欠陥がある。最大の欠陥は、中央銀行が銀行に、そもそも貸し出さないであろうお金を貸し出すよう強制していることだ。現在の金融政策を理解する最も簡単な方法は、作り出された経済の狂気から生じ

る避けられない結果を阻止するための、協調的で中央計画的な取り組みと見なすことである。

もう一つの意図された結果は、貯蓄者への影響である。ゼロ金利政策は、貯蓄者から大手銀行への年間4000億ユーロの富の移転を引き起こした。少なくとも2%の正常金利環境は、

銀行にお金を預けている貯蓄者に4000億ユーロが支払われる。しかし、これらの貯蓄者は何も得られず、その恩恵は部分準備銀行制度を通じてレバレッジをかけて無償のお金を再貸し出し、大きな利益を上げることができる銀行に渡る。中央銀行の狙いの一部は、貯蓄者にペナルティを課して銀行にお金を預けないようにさせ、株式や不動産などのリスクの高い資産への投資を奨励して、それらの市場での担保価値を高めることだ。

しかし、多くの貯蓄者は本質的に保守的であり、それには十分な理由があります。高齢者や退職者は、次のバブルがはじけたときに退職後の貯蓄の30%を簡単に失う可能性があるため、株式への投資を望みません。また、住宅の頭金を貯蓄している若者も、同じ理由で株式を避けるかもしれません。どちらの貯蓄者グループも、銀行残高からそれなりの利回りを得ることを望んでいます。中央銀行の金利政策は、彼らには何も値しないというものです。その結果、多くの国民は、市場金利の不足を補うために、退職金や給与からさらに貯蓄しています。したがって、貯蓄を阻止するように設計された中央銀行の操作は、実際には、失われた利息を補うための予防措置として、貯蓄の増加をもたらしています。これは、明らかに経済学の教科書では教えられておらず、中央銀行が使用するモデルにも含まれていない行動反応です。

中央銀行が雇用創出を破壊：

現在、こうした事態が起きている一方で、預金者は銀行システムから資金を完全に引き出している。これは意図された効果とはまった

く逆である。人々がマットレスの下に資金を押し込むことで銀行システムが機能停止し、デフレが制御不能に陥り、破壊的で逆効果をもたらす可能性がある。

この政策により中小企業への融資も打撃を受ける。しかし、中央銀行は大企業と銀行の利益を優先するため気にしない。

一般的に、中小企業向け融資は銀行間融資を通じて行われますが、金利がゼロ%であるため、このような融資は今日では魅力的ではありません。言い換えれば、中央銀行がこの市場に介入した結果、銀行はこれらの融資で利益を得ることができません。そのため、銀行間融資の流動性は低く、銀行は必要なときに資金を調達できるという自信がなくなり、参加しなくなります。

中小企業の信用収縮は、失業率が高止まりしている理由の 1 つです。大企業は成長資金として銀行を必要としません。大企業は新しい活動の資金調達に十分な内部現金資源を持っており、代わりに債券市場に頼っています。しかし、大企業は新しい雇用を創出しません。雇用創出は主に中小企業によってもたらされます。したがって、中央銀行が金利を低く抑えて銀行間貸出市場を歪めると、中小企業は運転資金ローンを利用できなくなり、資金調達能力が損なわれ、雇用創出に悪影響を及ぼします。

政府は経済成長と最終的には雇用創出への答えはさらなるイノベーションであると考え続けており、そのために何十億ドルもの投資が行われている。しかし、起業家がビジネスモデルを考案し、その革新的なアイデアを顧客が購入するものに変えない限り、イノベーションは無価値である。経済成長の「原因と結果」が誤って診断されているように、雇用創出も誤って特定されている。

企業は誕生するよりも早く消滅している。

35年ぶりに、企業の倒産数が企業の誕生数を上回りました。

一つだけはっきりさせておきたいのは、中小企業の誕生と消滅の傾向が逆転しない限り、この経済が本当に回復することは決していないということです。過去 50 年間で最大の問題である雇用の創出という問題について完全に間違っていることは悲惨です。中小企業が誕生するよりも早く消滅するという事は、自由企業も消滅するという事です。そして自由企業が消滅すると、経済も消滅します。

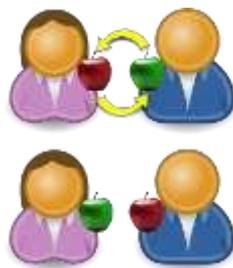
中央銀行のゼロ金利政策によるその他の結果は、より不透明で不吉なものです。その1つは、利回りを追求する銀行の危険な行動です。金利がゼロに近いため、金融機関は十分な自己資本利益率を上げることが難しく、利益を増やすためにレバレッジ、つまり負債やデリバティブの利用に頼ります。負債によるレバレッジは銀行のバランスシートを増大させ、同時に資本要件も増加させます。その結果、デリバティブはオフバランスで記録され、借入ほど多くの資本を必要としないため、金融機関はスワップやオプションを使用して目標利益を達成するデリバティブ戦略を好みます。



資産スワップ:

デリバティブ取引の相手方は、契約履行を保証するために、財務省証券などの高品質の担保を必要とする。これらの銀行が担保として差し入れ可能な資産の質は低い場合が多い。このような状況では、オフバランス取引を希望する銀行は機関投資家と「資産スワップ」を行い、銀行は低格付けの証券を投資家に提供して、

銀行は、機関投資家が国債などの高格付け証券と引き換えに、より高い利息収入を得ることを約束します。銀行は、機関投資家が国債を取り戻せるように、後日取引を取り消すことを約束します。銀行が国債を手に入れたら、それを「良い担保」としてデリバティブ取引相手に差し入れ、取引を開始できます。こうして、わずかな資本



でオフバランスで高い収益を得ることができます。資産スワップの結果、2者間の取引が3者間の取引に変わり、より多くの約束が含まれ、銀行と非銀行投資家が関与する相互義務のより複雑なネットワークが形成されます。

こうした策略は、市場が平静で、担保を差し押さえようというパニックが起きない限りは有効である。しかし、2008年に経験したような流動性危機では、こうした密に構築された相互に絡み合った義務の網は、瞬時に「良質」な担保の需要が供給を上回り、関係者が現金を調達するために担保をすべて投げ売りしようと躍起になるので、すぐに凍結してしまう。「良質」な担保を奪い取ろうとする争奪戦の結果、すぐに別の流動性に起因するパニックが始まり、市場に激しい揺れが生じる。

システムリスク：

資産スワップは、低金利環境でより高い利回りを求めて金融機関がリスクを増大させる多くの方法の1つにすぎません。IMFの調査によると、金利が低いままの期間が長くなるほど、銀行のリスクテイク量も増加します。この調査では、中央銀行が2008年以降に仕掛けてきたような異常に低い金利の期間が長引くと、**システムミックリスクが増大する原因になると結論付けています**。中央銀行は金利をゼロにすることで、利回りの追求、およびそれに伴うオフバランスシートのトリックや資産スワップを奨励してきました。前回のパニックの火を消す過程で、FRBはさらに大きな火に薪を供給したのです。

銀行家の汚い手口：

銀行は、真の財務状況を隠すために、他のオフバランス会計トリックも使用しています。ブルームバーグは昨年、多くの銀行が資産を「売却可能 (AFS)」から「満期保有 (HTM)」に再予約する際に使用している、ほとんど知られていない手法を報じました。 - 銀行は

通常、債券やその他の証券を購入し、そのお金で利益を得ることを目指します。健全なものは「売却可能」として指定されます。銀行はこれらの資産を売却して預金者に返済できるためです。しかし、ここに問題があります。これらの投資の多くは損失を被っているか、まもなく損失を被ることになります。それらは売却できず、損失として計上されるべきです。しかし、銀行はこれらの損失を明らかにしたくありません。代わりに、銀行は単にそれらの資産を HTM として再分類します。しかし、銀行は満期が最長 30 年の債券を永遠に保有することはできません。それは明日顧客に返済する必要があるかもしれないお金である可能性があり、この茶番劇全体が詐欺になります。同様に、このトリックは銀行の不動産ポートフォリオにも適用され、有利な価値を獲得することに重点が置かれ、今日一般的に約 50% 低い市場価格では計上され**ません**。

この詐欺の規模を示す例:

「JPモルガンだけでも、わずか1年でHTM住宅ローン債権を1,000万ドル未満から170億ドル近く（1,700倍）にまで増加させた。」

これは会計上の大きな変化です。ほぼすべての大手銀行がこれを行っており、意図的に行っています。これは偶然ではありません。そして、これを行う理由はただ1つ、損失を隠すためです。言い換えれば、西側諸国の銀行の財務健全性に信頼を置くことは極めて困難になっています。彼らは帳簿上で、資本比率を過大評価し、リスクレベルと損失を過小評価するために、考えられる限りのあらゆる汚いトリックを使用しています。そして… 債務超過の中央銀行と債務超過の政府が、これらすべてを支援しています。

自分自身に問いかけてください。この腐敗したシステムの中で貯金を保管しておくことは本当に価値があるのでしょうか？

覚えておいてください、すべての紙幣は実際にはお金ではなく、商業債務証券です。借金はお金にはなり得ません。借金はお金の反対であり、その結果、このシステムは大きな欺瞞です。

連銀はドルを支えるためにあらゆることをするだろう。金と銀はあらゆる紙幣の対極にある。これらの通貨を破壊すれば、米国、英国、EU、日本の経済は崩壊する。陰謀団が死ぬまで戦い、おそらく勝ち残ると予想するだろうか？銀行犯罪者たちはゲームの所有者なので、東側か西側かどちらが勝つかなど気にしない。彼らは伝統的に常に両方に投資しているので、いずれにせよ勝つのだ。

誰もがより高い利回りを望んでいます。

では、別の角度から、ZIRP と NIRP の魔法を見てみましょう。インターネット企業の例に倣って。これらの企業は、誰も聞いたことのない革命的なタイプのソーシャル メディア交換を発明しました。債券を一般向けに販売して 10 億ドルを調達します。信用も信用もありませんか？心配はいりません。ブルームバーグによると、最近最も業績が良かった企業は、信用格付けが最も低い企業です。これらの「バランスシート爆弾」は、崩壊の可能性が広がるにつれて、ZIRP、NIRP から最も恩恵を受けています。

「誰もが高利回りを望んでいます。そして、連銀が債務者の破綻を許すとは誰も思っていない。」さらに、「実績も、実際の製品も、利益も、売上も、事業計画もない新興企業は、考えられる限り最悪の信用格付けを受けるべきであり、したがって、十分な信用を得るのは簡単なはずです。」

言い換えれば、IBM の現在の金利の 2 倍、たとえば 4% で借り入れると、実質インフレ率が 3.91% を超えるため、実質的にはただでお金を得ることになります。しかし、それでも借金の返済はしなければなりません...

「それでは、10億ドルを借りましょう。年間4000万ドルの利息を支払わなければなりません。しかし、その10億ドルを使って自社製品（どんな製品でも）を購入します。あなたの会社の売上高は10億ドルです。そのうちの約40%を最終利益に還元します。負債カバー率は10倍です。これで、市場で最も信用リスクが低い企業の1つになります。そして、あなたの株が利益の20倍（ハイテク企業としては控えめな数字）で売れば、会社の資本価値は 20×4 億ドル = 80億ドルに跳ね上がります！」

何もないところから始まりました。

「ゼロ金利政策とマイナス金利政策の魔法と、それに会計上のごまかしによって、今や企業価値は80億ドルに達している。おかしいと思うか？その通りだ。そして、それはまさにFRBが奨励しようとしていることだ。」

企業は借り入れます。

「彼らはそのお金を使って自社の株を買います。株価は上がります。この『富裕効果』は、企業の製品を買うはずの一般大衆に波及するはずです。売上が上がれば利益も上がります。株価は上がります。誰もが裕福になります。」



短期投資家にとってのリスクは、この不合理的な狂気を見逃してしまうことかもしれない。資産価格が上昇するにつれ、短期投資家はそれに加わりたくなる。しかし、長期投資家にとってのリスクは、経済が正気を取り戻したときに生じる。

不安が生じると、心配することは山ほどあります。貯蓄についても心配したくはありません。状況が悪化したときに富を守れるのは金と銀だけです。そのため、すべての貯蓄者は流

動資産の少なくとも 5% を金または銀の現物で保有し、できれば居住国外で保管することが推奨されます。

最終的に事態が悪化すると、主流メディアは、ワシントンもウォール街も、中央銀行の政策以外の何かが失敗したと主張することはできない。

カバール所有のフィナンシャル・タイムズは上記の説を裏付けている。

FTの見出しによる確認:

「マイナス金利は金融システムを揺るがす。年金基金や保険グループに打撃を与える」。

これは上記の説明を裏付けます。

ECBの愚かな論理:

欧州中央銀行は2014年に、預金金利をゼロからマイナス0.1%に設定するという異例の措置を講じた。つまり、欧州の銀行がECBに預金を預ける場合、0.1%の手数料がかかるということだ。その理由は、銀行に融資を促し、EUの低迷する経済を刺激するためだ。EU経済は低成長とデフレに苦しみ、しばらくひどい状況にあったため、GDP成長は停滞し、2014年第1四半期はわずか0.2%を記録した。公式には、インフレ率は0.5%と弱く、デフレに向かっている。この措置は、EUだけでなく、他の西側諸国でも裏目に出る可能性がある。世界はまたしても金融危機の瀬戸際にいる。

マイナス金利の背後にある論理は愚かだ。ECB の主張は、預金することで損をするよりは、銀行がわずかな利回りでも貸し出すだろうと考えているというものだが、この戦略には明らかな欠陥がある。最大の欠陥は、中央銀行が銀行に、そもそも貸し出さないであろうお金を貸し出すよう強制しているということだ。

第一の理由は、適格な借り手が不足しているため、銀行が準備金を過剰に抱えていることです。銀行は、個人や企業が返済できなくなることを恐れています。そのため、銀行はそのお金を翌日預金にしています。現在、ECB は、銀行が不適格な借り手に貸し出すというリスクを負うことを期待して、預金に手数料を課しています。しかし、これが 2008 年の前回の金融危機の根底にあったのです。

過去には、銀行は、支払えない住宅を購入した不適格な借り手に融資を行っていた。それが最終的に破綻した。同じことがEUでも再び起きそうだ。

2 つ目の潜在的な問題は、銀行が預金金利をマイナスにすることで、追加コストを消費者に転嫁する可能性があることです。つまり、銀行の顧客は地元の銀行にお金を預けておくことで手数料を請求されることとなります。銀行は預金に利息を支払わずに、顧客の口座維持手数料を上げることで、これを実現しています。

そこで、賢明な預金者は銀行システムから資金を完全に引き揚げることになるが、これは意図した効果とはまったく逆の結果となる。すると銀行システムは機能停止し、人々がマットレスの下に資金を押し込むことでデフレが制御不能に陥り、壊滅的な逆効果を引き起こす可能性がある。

しかし、「ドラギが欧州経済を活性化させる最も早くて簡単な方法は『ユーロを破壊すること』だろう」とシリング氏は言う。NIRP の賭けが裏目に出たり、成長を刺激できなかつたりすると、世界経済は再び不況に陥る。残された選択肢は何か？

過大評価された資産：

中央銀行の自由にお金を貸し出す政策は、すでに商品、不動産、株式の評価額の大幅な上昇を引き起こしています。その結果、これらの資産は大幅に過大評価されており、調整の準備ができています。しかし、中央銀行または小売銀行が預金者にお金を保管するための

手数料を請求し始めると、投資家は貯蓄を引き出し、プラスのリターンを求めてそのお金を株式、商品、不動産に投資するでしょう。それはすでに経済に潜んでいるバブルをさらに悪化させ、結果として生じる爆発をさらに壊滅的なものにします。代わりに、彼らが想定している調整は、さらに大きな大惨事になります。したがって、最後の選択肢は、7,000ドルまたはそれ以上の金に裏付けられたお金に戻ることです。

連邦準備制度理事会は、公開市場操作を実施することで、この価格を維持することができます。その目的は、金保有者の富を増やすことではなく、一般的な価格水準をリセットすることです。このような金に対するドル/ユーロの切り下げは、他のすべての価格の上昇にすぐに反映されます。

しかし、これが簡単に起こるとは思わないでください。世界はこれまでこのような状況に陥ったことはありません。世界の通貨はすべて不換紙幣であり、中央銀行の権力に依存しています。新世界秩序への推進は止められません。イルミナティのエリートが完全に支配しています。あるいは、大衆の覚醒によって彼らへの圧力が高まっているため、ほぼそうなっているのでしょうか？

これが、貴金属投資家の多くが、金と銀が急騰する時期を誤算し、その結果、法定通貨「ドル」が崩壊し、他のほとんどの紙幣も崩壊することになった理由です。

ロシアに対する制裁:

ロシアに対する制裁はEUを破壊し、ロシアにはほとんど、あるいは全く影響を及ぼさないだろう。ロシアはすでに中国やBRICSとともにドル決済メカニズムから外れつつある。ドルの需要が減れば、ドルの交換価値も下がる。当初はワシントンは従属国にドルを支持するよう強制できるだろうが、やがてそれは不可能になるだろう。

ドイツは、これらの市場に関心を持つ 5,000 社以上の企業の影響力により東に転じると、このゲームの突破口となる可能性があり、貴金属の価格が上昇するでしょう。

ロシアと中国は、世界経済の舞台で巨大なゴリラとなった。中国は、連邦準備銀行に預けていた金がすべて裏で売り払われたことを知り、米国に裏切られた。中央銀行のエリートたちは、世界の金融システムの完全な支配が、現在のように中国とロシアの両国によって脅かされることになるとは予想していなかった。

中国が保有する国債の額が多すぎるため、米国が中国に対してできることはあまりない。中国は簡単に国債を世界市場に売り飛ばし、米国とその他の西側諸国を財政的に破滅させることができる。中国がそうしない理由は、構築中であるものの、BIS、世界銀行、IMFによる腐敗した中央銀行の支配に容易に取って代わる代替システムが存在しないためである。したがって、BRICS諸国は独自の代替銀行システムを確立することに近づいているが、より多くの時間が必要である。

ゼロ金利政策、マイナス金利政策、量的緩和政策は裏目に出た。

主要メディアが私たちに信じさせようとしているように、世界経済は回復に向かっている。本当の数字は公表されていないが、重要な事実、国民がすべてが制御下にあり、回復はすぐそこにあると想定していることだ。良いニュースは悪いニュースであり、悪いニュースは良いニュースである。上は下、後退は前進である。何もかもが見た目通り、あるいはあるべき姿ではない。経済が本当に好調であれば、

中央銀行は金融政策を「正常化」という約束を遂行しただろう。しかし現実、中央銀行がゼロ金利政策やマイナス金利政策（ZIRP と NIRP）といったいわゆる異常政策と量的緩和政策（QE）を極端に打ち出したことが裏目に出たことだ。これらの政策は銀行のカ

ジノを膨張させ、正直な貯蓄者や退職者を圧倒し、メインストリー
トの経済を第二次世界大戦以来最も弱い「回復」に陥れた。

これが意味するのは、真の回復などないということだ。すべてはゼ
ロ金利政策とマイナス金利政策の煙と量的緩和政策の鏡に過ぎない
。マジックショーが終われば、回復の幻想も終わる。このことを理
解している人はほとんどいない。ゼロ金利政策、マイナス金利政策
、量的緩和政策は繁栄をもたらしていない。貧困をもたらしている
。真の回復を抑制し、抑圧し、落ち込ませているのだ。

歴史的パターンと健全な通貨の原則に基づくと、名目金利は、貯蓄
者によるリスク、流動性の欠如、消費の延期に対する実質的なリタ
ーンを考慮に入れて 4 ~ 5% の範囲にある必要があります。マク
ロレベルで見ると、名目金利と現在の 0% 金利の違いは驚くべきも
のです。

米国経済には10兆ドル以上の銀行預金と貯蓄があるため、ゼ
ロ金利政策は、年間約4000億ドルの利子を貯蓄者から借り手
、銀行、投機家に恣意的かつ不当に移転することになります
。

40 年間平均賃金で働き、質素な暮らしをして 25 万ドルの貯蓄を
積み上げた勤労男性を考えてみましょう。彼が現在退職し、そのお
金を国債に投資した場合、年間 750 ドルが得られます。これは 1
日のコーヒー 1 杯にも満たない金額です。一生の節約でコーヒー
1 杯。これは明らかに不公平です。

年金基金とその受益者:

次の疑問は、年金基金は約束を守るだろうか、ということです。答
えは「いいえ」です。これらの年金基金が運用資産の増加とパフォー
マンス向上のために頼っている投資は、十分な収益を生み出して
いません。これは彼らのせいではありません。今日の経済的なゼロ
金利政策とマイナス金利政策の環境のせいです。これらの基金が約

束のすべてを果たすために必要な利回りに近いものを達成することは、まったく不可能です。金利が低すぎる上に、株式市場は利回り不足を補うほどの急速な上昇を見せていません。年金基金が設立された当初は、金利ははるかに高かったのです。5%であれば、将来の年金支払いすべてをカバーするのに必要な年間平均利回り7%を基金が達成するのは容易でした。

しかし、現在、ゼロ金利政策とマイナス金利政策により、利回りが2%以下の国債への投資はあまりにも低すぎます。年間平均7%の収益を生み出す方法はありません。そしてもちろん、リスクの高い投資の一部が破綻すると、これは大惨事を招く原因となります。いずれにせよ、7%は現時点では達成不可能であり、そのため、何かを犠牲にする必要があります。給付を削減するか、拠出金を引き上げるか、その他の応急処置を実施する必要があります。

国債の投資家は依然として、元本が返ってくるという幻想を抱いています。しかし現実には、投資家は少なくとも実質的には、投資した資金のリターンも、投資した資金のリターンも得られないということです。

これらの年金基金とその受給者にとって暗い時代が待ち受けている。

退職後の生活をこの制度に頼ってきた世界中の何百万もの労働者が影響を受けることになる。つまり、多くの人が生活水準の大幅な低下、さらには貧困に陥る可能性があるのだ。

負債に苦しむ通貨システム:

これらはすべて、操作された償還不可能な通貨を人々に使用させる、負債まみれの金融システムの結果である。この金融システムは、暴走する株式市場のバブルや大規模な変動を助長し、金利を病的な急落状態に陥らせている。

悲しいことに、この制度が提供する約束を信じた人々は騙されてきたというのが真実です。彼らは退職後の夢から目覚め、その夢が退職後の悪夢に変わったことに気づきます。

この不正行為は金融システムを大きく歪め、次の株式市場の暴落の土台を作った。世界的なデフレと不況の兆候はますます頻繁に現れ、明らかになっている。カジノのギャンブラーは、中央銀行が資金を使い果たしていることに気づくだろう。彼らは、来たる不況に対して無力である。

デフレ不況：

市場もほとんどの人々も、現在世界経済を巻き込んでいるデフレ不況にまったく備えができていません。米ドル、ひいては他のすべての不換紙幣が崩壊した瞬間に、ハイパーインフレに転じる可能性があります。2018年に予定されていますが、これはRKMが世界SDR通貨を導入して全世界の人々を一度に奴隷化しようと待ち構えている瞬間です。**まだ可能性があるので、警戒して今すぐ貴金属で身を守りましょう。**

デフォルトサイクル：

最大の問題は流動性だ。デフォルトサイクルが始まると、人々は必ず出口に殺到する。債券を買いたい投資家が少ないため、債券は価値が下がり始める。債券ファンドは売り圧力の巨大な波に見舞われており、すでに少数の機関が「ゲート」を設置して投資家が資金を引き出せないようにすることで対応している。

状況は今後さらに悪化するだろう。ジャンク債市場と、投資適格級の最低レベルの企業債務群を爆発させる火薬庫が待ち構えている。

対GDP比でみると、社債の発行残高はかつてないほど増加している。さらに悪いことに、債務の構成はかつてないほど低品質ローンに偏っている。過去5年間で、記録的な額のジャンク債が引き受けら

れた。今後数年間で、こうした債券の発行残高の40%に上る膨大な量が債務不履行に陥るだろう。

世界で最も重要な金融機関6社（シティグループ、バンク・オブ・アメリカ、モルガン・スタンレー、ゴールドマン・サックス、ドイツ銀行、HSCB）の[信用格付けが引き下げられた](#)。ジャンク債レベルに近い。これらの銀行は、ジャンク債に格下げされるとすぐに破綻するだろう。なぜなら、ほとんどの機関投資家はジャンク債格付けの債務を保有することが許されていないため、資金調達コストが上昇すると同時に、ほとんどの投資家が債券を売却することになるからだ。



そうなれば、2008年のリーマン破綻の10倍のひどい崩壊が起こるだろう。そうなると、世界金融システムがどのように機能するのか想像もつかない。

サポートが撤回されると、巨大な弱気市場が発生します。

世界は巨大な弱気相場に近づいています。2兆ドル近くの株式があり、そのうちの債券はすでに1ドルあたり0.80ドル未満で取引されています。これらの債券がデフォルトすれば、これらすべての株式の価値がゼロになる可能性があります。

これらの問題は今後さらに悪化するでしょう。なぜなら、これはまさに信用サイクルの仕組みだからです。信用は、より多くの信用が与えられるにつれて蓄積されます。貸し手が債務を「繰り越す」意思がある限り、債務不履行を起こす借り手はほとんどいません。すると突然、債権者は心配し始めます。彼らは徐々に市場から支援を撤回します。突然、債務不履行率が急上昇します。昨年からですでに2倍になっています。これによりさらなる恐怖が

生まれ、それが信用条件の引き締めにつながり、債務不履行がさらに増える、という状態が続きます。

この債務不履行サイクルは、通常よりもはるかに大規模なものになるだろう。なぜなら、2009年の前回の債務不履行サイクルでは、中央銀行が介入し、債務に対して納税者の何兆ドルもの資金を保証し、銀行の借り換えを可能にしたからだ。さて、これらの債務は今、返済期限を迎えている。しかし、そのうちどれだけが返済できるだろうか？社債市場の専門家は、2019年までに1兆5000億ドル以上の債務不履行が発生すると予測している。景気後退、つまり不況、つまり新たな金融災害は避けられない。

世界的危機の解決策：

論点は単純だ。危機は税収以上の支出から生じ、不足分は借金で賄われた。解決策はさらに単純だ。経費を削減し、憲法で予算超過を禁じ、予算の黒字化を義務づけるのだ。

これを実現するには、官僚機構の階層を削減し、金銭的価値に裏付けられたシステムを使用し、最低賃金を廃止します。

実質的な改善がないまま 9 年間も手探り状態が続いた後、少なくとも我々のリーダーたちは回復は不可能であり、これまでの借金による消費モデルは持続不可能であることを学ぶべきだった。「景気刺激策」は時間とお金の無駄であるだけでなく、有害でもあった。国債に投資して失敗した金融機関は、納税者に負担させようとするのではなく、自尊心を持って損失を受け入れるべきだ。しかし、国民は依然として、政府が退職後の収入、医療、完全雇用をどのように提供するかを考え出すのを待っている。しかし、政治家は自らが作り出した経済問題を解決するつもりはない。彼らはユーロを発明し、金利と貸出基準を設定した。

彼らは、長期間にわたり多額の融資を行ってバブルを引き起こした。そして、ひどい監督者であることが判明した金融機関に、さらに低い金利で融資を増やすことで、危機を「解決」した。

政治家たちは毎年、収入以上の支出を続けている。破産の危機に直面しても、さらなる支出を約束する。彼らは、破産した政府の「善意」と「完全な信用」以外の何の裏付けもなく、何兆ドルやユーロも印刷して偽造紙幣を造っている。金本位制による管理がなくなったため、中央銀行の紙幣が経済および金融問題の主な原因となっている。

今のところ、EU とアメリカではお金が不足しています。より具体的には、購買力が低下しているお金、つまり今日の紙幣は、紙幣の量がますます増え続けるため、将来的に商品やサービスを購入できる量が減り、インフレを引き起こします。

ECB は、まず長期資金供給オペレーション (LTRO) という名目で約 1 兆ユーロを印刷しました。この 1 兆ユーロは加盟銀行に貸し出され、その後毎月 850 億ユーロが追加で貸し出されました。目的は EU 経済を刺激して成長させることでしたが、銀行はこの新しい資金を使って自国の政府が発行した債務を購入しました。この債務を購入していたのは他ではありませんでした。つまり、EU の銀行は、ECB が資金を提供する民間部門の資金を置き換えているのです。一方、ECB は資金の流れを維持するために、国債と企業債をすべて購入しています。

これまで、スペインとイタリアの銀行は、それぞれの自国通貨制度のもとで、最後の買い手として行動していた。しかし、それが機能するには、両銀行に印刷機がなければならず、両銀行には印刷機がない。スペイン経済財務省のデータによると、スペインの銀行は、2012年1月末時点で、スペイン国債の保有額を2か月間で26%増加し、2200億ユーロに達した。イタリアの中央銀行であるイタリア銀行

によると、イタリアの銀行は、昨年2月までの3か月間で、自国債の保有額を31%増加し、2670億ユーロに達した。

不正：

EU大統領は「我々は危機を脱した。全て解決した」と語った

。

ユーロ圏にはもう問題はない」。これは冗談だ。スペイン、イタリア、ポルトガルは経済不況に向かっているが、ギリシャはすでに不況に陥っている。

ECBはバランスシートを継続的に数兆ドル単位で拡大することで問題を先送りしているが、実際のところ、EUの根本的な問題は悪化の一途をたどっている。この状況が続けば、新たな大きな危機が迫っている。

より強力なEU経済、ドイツ、フィンランド、オランダ、オーストリアは、他のEU加盟国の有害な国債を処分している。これらの国は、2010年以降、アイルランド、ポルトガル、ギリシャを含む他国の債務保有を最大50%削減した。欧州の銀行が相互に貸し出す額が減れば減るほど、ECBへの負債の移行が進む。「中核国の周辺国に対するエクスポージャーは、民間部門から公共部門に移行している」とブリュッセルの研究機関ブリュージュのグントラム・ウォルフ氏は言う。

現在：ヨーロッパの人々は緊縮財政を推進するエリートたちに反旗を翻している。フランスは数回敗北した。オランダのマルク・ルッテ政権もそれほど良い仕事をしていない。「テクノクラート」たちは、いつまで持ちこたえられるか考えている。

緊縮財政と金利引き下げは間違った治療法だ。ギリシャで証明されたように、それらは景気後退を長引かせ、最終的には不況に陥らせる。

緊縮財政を装って「緊縮財政」でこれらの問題を解決しようとするのは間違った治療法であり、EUの問題を悪化させるだけだ。ユーロの切り下げは世界的な貿易戦争を引き起こすため、推奨される治療法は構造化された債務不履行である。

つまり、破産が唯一の選択肢だということです。それはプライドを奪うプロセスであり、屈辱的な敗北の告白です。しかし、それは正しいことです。政治家にとっては地獄ですが、国民にとってはそうではありません。

「グランドユーロ

「EUの『実験』は本質的に失敗し、多額の負債がEUを破壊し、異なる文化や国を統合するというアイデアは最初から幻想だった」

EU首脳陣は敗北を認めず、「緊縮財政がユーロを救う」という幻想にいつまでもしがみつきの続けるだろう。しかし、マーケット氏は構造的債務不履行を選択したことを断固として声高に表明した。長期的には市場が常に勝利することを確認すべきだ。

その間、彼らの解決策は同じままで、彼らはどんどんお金を印刷し続けるでしょう。そしてあなたの解決策は、金、銀、プラチナ、さらには不動産や農地などの実物資産をどんどん購入することです。

長期的な無償金銭被害:

もし紙幣の印刷が経済に効果があるなら、ジンバブエ、ベネズエラ、アルゼンチンは米国やEUよりも裕福になっているだろう。信じられないことに、世界で最も「賢く」最も権力のある経済官僚は皆、量的緩和として知られる債務の貨幣化を経済対策の中心に据えている。常識や人間性、歴史を少しでも理解している人なら、これが長くは続かないことは分かっている。借金を返済しない方が、冷静で健全な経済の現実と直面するよりずっと簡単で楽しい。

遅かれ早かれ、この巨大な紙幣詐欺に対する世界的な信頼は消え去るだろう。唯一の疑問は、何がその「転換点」を引き起こすのかということだ。

世界最大の経済圏が「フリーマネー」、つまりゼロ金利政策（ZIRP）を採用したことで引き起こされた長期的な損害は莫大です。実際、金利がなければ自由市場は存在できません。それは、通常の経済の仕組みに関するすべてがひっくり返される奇妙な世界になっています。ゼロ金利政策やマイナス金利政策、そして無からお金を生み出すことは、私たちの文明にとって非常に破壊的です。

資本不足はありません：

これらの政策が大企業に与えた損害を見れば、このような経済がどこへ向かうかが分かります。**驚くべきことに、営利企業はもはや利益だけには興味がありません。**2010年以降、借入れを希望する企業には事実上無制限の資本が利用可能になっています。

これにより、ジャンク債の発行残高が大幅に増加した。これには、これまで多額の長期信用にアクセスできなかった石油探査会社などの企業も含まれる。しかし、「投資適格」信用に対する影響はさらに大きい。事実上無制限の信用が、ほぼ無償で利用可能になったのだ。

通常、事業を行うためのコストは資本と労働力に限定されます。テクノロジーの進歩により、ほとんどの企業で労働投入量が大幅に削減されました。資本が実質的に無料になり、労働投入量が大幅に削減されたため、製品や提供されるサービスのコストが経済全体で急落しました。

それは改善のように思えます。コストが下がれば利益も増えるはずですが。しかし、競争もあります。誰もが無制限の資本と技術にアクセスできると、労働単位あたりのコストが下がり、結果的に価格を下げる競争が起こり、最終的にはゼロになります。つまり、資本不

足がないため誰も利益を上げることができず、したがって相対的な生産性を高める能力もありません。

結果はどうでしょうか？

ここ数年、テクノロジーを活用して人件費を削減する専門家が増えています。資本が無料で、単位当たりの限界労働コストがゼロであることは、まったく新しい形の資本主義に相当し、これまで世界で見たことのないものです。これらの企業は、規模が大きく、売上が急成長し、利益がほとんどゼロです。最も有名な例は Amazon です。

過去 3 年間だけで、このインターネット小売業者の収益は 800 億ドルから 1,400 億ドルへとほぼ倍増しました。一方、利益率は変化していません。2% 未満のままです。このような規模とほとんど利益がない状態で、Amazon はあらゆる種類の新規事業にどんどん急速に成長できました。同社は、新規事業への投資を推進するためのキャッシュ フローについて心配する必要はありません。結局のところ、資本は無料だからです。

つまり、アマゾンには過去 3 年間で 30 億ドルの利益しか上げていないにもかかわらず、それに対応する収益は 3,200 億ドルにもなりました。コア事業の拡大と新規事業の構築に 170 億ドルを投資することができたのです。これほどの規模の企業が、年間純利益のこれほど高い割合を借り入れて設備投資に充てているのは、世界でも例がありません。では、その結果について考えてみましょう。

アマゾンの総収益は3200億ドルだが、純利益はわずか30億ドルにとどまっている。一方で、過去3年間だけで170億ドルを投資に費やしている。同社は過去2年間で、こうした投資の資金として75億ドルを借り入れている。

こうした継続的な大規模投資の結果、時価総額が 5,000 億ドル近いこの企業は、生涯累積留保利益が 50 億ドル未満となっています。また、配当金を一度も支払ったことがないため、これが同社の生涯累積利益の合計となります。

無料の投資資金:

Amazon は営利企業であり、利益を上げるつもりはありません。そして、実質的に無料で利用できる追加投資資本が無制限にあるため、利益を上げる必要もありません。

消費者にとっては素晴らしいように聞こえますが、投資家にとって良いことでしょうか？経済にとって良いことでしょうか？

IBMにとって、これは良いことではない。アマゾンのウェブサービス事業、つまりクラウドサービスとの競争に直面し、IBMの収益は20四半期連続で減少している。IBMは数万人の旧来のエンジニアを抱えているため、単位当たりの労働コストを削減することができない。

これは小売業界にとって良いことではない。アマゾンには新しい倉庫や配送センターを無制限に建設する余裕がある。繰り返しになるが、資本は無料だ。しかし小売業者は単位当たりの労働コストで競争することは到底できない。各店舗にスタッフを配置しなければならないのだ。

そして、それはメディア企業にとって悪影響となるだろう。エンターテインメントコンテンツを「Amazon Prime」会員に結び付けることによって、Amazonはあらゆるメディア/エンターテインメント企業の頭に銃口を直接向けているのだ。

利益を気にする必要がなく、世界最高のオンライン技術を持つ 5,000 億ドル規模の企業と競争するのは大変だ。

しかし、これは結局経済にとって良いことなのだろうか？投資家がアマゾンが決して利益を上げないことに気付いたとき、彼らは非常にがっかりするだろうか？アマゾンの競争上の優位性は利益を上げないことにあり、投資家が気付いたとき、何が起ころうだろうか？

では、資本主義の目的は何なのでしょう？

実質的に無料かつ無制限の資本へのアクセスを前提としたビジネスモデルを展開している企業は数多くある。これらの企業の唯一の競争上の優位性は、正気を失った中央銀行である。現在の政策は持続不可能であるため、これらの企業が長く存続することはまずないだろう。

なぜ持続不可能なのでしょう？何が崩壊の原因となるのでしょうか？

商品価格について考えてみましょう。

自動車や住宅建設などの業界は、中央銀行の無償資金を顧客に還元することに非常に成功しています。これらの企業は数十億ドルのローンやリースを保有しています。これらの企業の経営陣は、顧客が数十億ドルの自動車ローンや住宅ローンなどを返済できるかどうか賭けるべきだと思いますか？

一体何が問題になるのでしょうか？

商品価格と市場は、中央銀行の自由な資金供給政策が現実の岩にぶつかって崩壊する場所です。現実世界では、食料や衣服などの生産物には限界があり、石油を燃やすにも限界があります。

現実世界の成長により、こうした巨額の資本増加の受け入れは制限される。そして、この摩擦の中に金融リスクが潜んでいる。

石油の供給過剰は、資本市場の過剰を示す主な兆候の一つだ。推定では、2010年から2014年の間に中央銀行が融資した「無償資金」の約30%がシェールオイル部門に流れ込んだ。

その結果、石油生産が爆発的に増加した。

供給量は30日分を超えることはほとんどなかった。供給量はその閾値を超えたのは40年近くもなかった。しかし、2016年初めに30日分を超えて以来、3月には供給量が過去最高を記録した。

34.2日目に到達しました。

一方、明らかな供給過剰にもかかわらず、回転式掘削リグの数は増え続けています。毎日、掘削作業はますます増えています。なぜでしょうか？

なぜなら、無料のお金は投機の盛んさも意味するからだ。投機家たちは、将来の原油価格の上昇にこれほど賭けたことはなかった。歴史的に、OPEC が生産を削減したときに価格が上昇すると賭けることは、一方通行の取引であり、確実に金儲けできる方法だった。

今回はこれが真実ではないことが証明され、その結果は石油トレーダーに衝撃を与え、彼らに数十億ドルの損害を与えることになるだろう。

しかしその間、生産者は先物市場でこれらの投機家に生産物を売ることで、今日、より多くの追加生産の資金を調達することができま

す。先物市場は、正常に機能していれば、需要がピークを迎える時期の間の価格を平準化するのに役立つ。しかし現在、中央銀行とそれが資金提供している投機家たちのおかげで、原油の供給過剰が続いており、今後の原油価格暴落は2015年よりもさらに悪化するだろう。



マイナス金利の愚かさ：

マイナスの名目金利は不可能であり、つまりインフレを考慮する前のマイナス金利は奇妙な世界、実際には存在し得ない世界を意味する。

ゼロ未満の金利で貸し出すということは、債務不履行やインフレのリスクがほぼゼロであるという仮定のもと、お金の現在の価値が将来の価値よりも低い、つまりデフレであると考えていることを示唆している。

これにより、政府は道路を建設したり、年金を支払ったりするのに、コストがかからないお金を使うことができます。これはいつまで続くのでしょうか？ - しかし、金利がゼロ以下のままである限り、お金はただ無料というわけではなく、実際には**借りないことにコストがかかるのです**。

この悪事を実証するために、あなたが家を買うところを想像してください。貸し手が、政府の完全な信頼と信用のみを担保とするマイナス名目金利で融資を喜んで行うのであれば、貸し手はあなたの家の価値を担保に融資を喜んで行うはずですが、そうになると、あなたには奇妙な住宅ローンが残ります。それは**あなたに利息を支払う住宅ローン**です。マイナス 0.023% の金利では、100 万ユーロの住宅ローンには、月に約 19 ユーロの追加収入が伴います。

これは、深刻な形而上学的問題を提起します。住宅ローンの金利がマイナスであれば、家、または同等の資本価値がマイナスであることを意味します。結局のところ、貸し手は家に住んでもらうために誰かにお金を払わなければなりません。そして、家の価値がゼロ以下であるなら、車やダイヤモンドの指輪、豪華クルーズの価値はいくらになるのか疑問に思うでしょう。

それはお金に価値がないということでしょうか？ あるいはマイナスの価値さえあるということでしょうか？ つまり、プラスの利子の支払いと引き換えに誰かにお金を与えることはもうできないとい

うことです。 そうなると、その人はあなたのためにお金を保管する対価を支払わなければなりません！

そして、お金に価値がないとしたら、雑草を抜くために庭師を雇ったらどうなるでしょうか？ 彼に支払うべきでしょうか？ それとも彼があなたに支払うべきでしょうか？ あなたが彼のお金を受け取ること同意するまでに、彼はあなたのために何時間働かなければならないでしょうか？

考えてみると、このすべてが自然に反していて、とても奇妙です。

結論：これは、私たちが現在生きている中で最もクレイジーな世界です。

中央銀行の破壊的な経済政策：

中央銀行の金融緩和政策は、商品価格の巨大なバブルと、この莫大な利益を賄う信用構造の拡大を招いた。この商品バブルがまず破裂し、次の大規模な金融危機につながる可能性は高い。

中央銀行の金融緩和政策は株式の買いを促し、今や世界のあらゆる通貨の価値を株式市場の価値と恒久的に結び付けた。その結果、世界経済と世界のあらゆる通貨の価値は時限爆弾と化した。

株式市場の次のパニックは、株式投資家に損害を与えるだけでなく、地球上のすべての人類に損害を与えるでしょう。なぜなら、世界のすべての通貨が今や株式と債券の価格に結びついているからです。中央銀行は世界の通貨を破壊しただけではありません。政治体制も破壊しました。信じ難く理解し難いかもしれませんが、これらの変化は今起こっていることの中で最も危険な側面です。

29. 通貨戦争 - ゼロ価値への競争

- 不換紙幣ピラミッド:
- 部分準備金要件における詐欺:
- インフレによる費用の増加:
- 資本構成:
- 何もかもが見た目通りではない。
- すべての市場は不正操作されている:
- 通貨制度の腐敗状態については、すでに明らかな兆候がある。

不換紙幣ピラミッド:

不換紙幣のピラミッドが崩壊するなか、金は輝きを保っている。ケインズ派が我々に信じ込ませようとした野蛮な遺物ではなく、ドイツ連邦銀行総裁が述べたように、金は「時代を超えた古典」である。中央銀行や政府は金を攻撃する

。金は不換紙幣の価値下落や政府の政策の欠陥を露呈させるからだ。政府が金を嫌うのは、金が政府によって利用されている限り国民を騙すことができないからだ。



世界は世界的な紙幣崩壊の瞬間に近づいています。

「2012年第2四半期、世界中の中央銀行は157.5トンの金を購入しました。これは第1四半期から63%の増加です。昨年第2四半期からは138%の増加です。そう遠くない将来のある

時点で...金保有者のうち、ドルやユーロとの交換を喜んで受け入れる人はほとんどいないと予想するのが妥当でしょう。」

「自国の国債を買うために紙幣を印刷し、自国の通貨と信用力を破壊することによってのみ、破産した政府は信用への継続的なアクセスを保証することができる。」

そして、これはまさにECBが常にやっていることであり、これらの債券の買い手は他にいないのです！市場がディープステート犯罪シンジケートによって操作されていなければ、これらの政策の必然的な結果は、金価格の上昇によって露出された通貨の大幅な弱体化だったでしょう。現実には、現在の異常事態は、価値のない国債の天文学的な利回りのために、各国の国債の崩壊につながるはずでした。

ECB と米国 FED の決定は厳密には異なりますが、結果は一貫して同じで、明らかに世界の紙幣供給量の大幅な増加が再び繰り返されています。ECB は、欧州の国債市場への無制限の支援を約束しました。FRB は、無期限で毎月 400 億ドルの債券購入を約束し、銀行システム内の金利は必要な限りゼロに近いままであると発表しました。これらの措置は、間違いなくインフレを引き起こします。

準備通貨としての紙幣ドルの終焉が見えている。歴史上の紙幣を使ったあらゆる実験と同様に、紙幣ドルは財政赤字、不良投資、戦争債務を隠蔽するための全面的な試みで破壊されるだろう。

この紙幣増刷戦略は、世界中の当局がますます積極的に紙幣増刷の道を選んだため、世界のあらゆる場所で顕著になるだろう。EUの銀行に対する市場の不安は、紙幣増刷の増加で解消されるだろう。そして、ある時点で、ヨーロッパの大手銀行の多くが破綻することは許されないと世界に安心させる新しいプログラムが実施されるだろう。

う。言い換えれば、当局は、進行中の大規模なインフレを通じて、不良国債を紙幣増刷でなくそうとしているのだ。

このインフレはどの程度の規模になるのでしょうか。世界最大の対外債務残高を見ると、EU（15兆ユーロ）と米国（20兆ドル）という2つの経済圏が例外的に見えます。一人当たりで見ると、米国とEUの対外債務はそれぞれ4万5000ユーロと5万ドルと莫大です。EU諸国の中には、フランスが6万5000ユーロであるのに対し、ドイツは一人当たり4万ユーロと、さらに不安定な状況にある国もあります。

これらの国々は、債務返済に必要な通貨を発行することで、明らかに大きな利益を得ている。米国とEUの通貨基盤は少なくともさらに2倍になると推定されている。問題は、これらの国の債権者がどのように反応するかだ。

西側諸国の債権者は、誰も印刷できない唯一の準備資産、金にヘッジをかけている。アメリカで量的緩和が始まって以来、ロシアは金の保有量をほぼ倍増し、1,500トンを購入した。中国は同時期に1,454トンを購入した。

そして、明らかに米ドルやユーロを信頼しなくなったのは、アメリカの経済的、軍事的ライバルだけではない。昨年、スイスの中央銀行はひそかに金の保有量を25%近く増やした。

こうしたインフレ政策の必然的な結果は、米国債市場の崩壊となるに違いない。

理解すべきこと：重大なインフレの舞台が整いつつあることは間違いありません。食品、エネルギー、貴金属の価格は引き続き上昇します。賃金の実質購買力は低下します。政府の赤字は拡大します。そして金利は上昇し始めます。ただし、金利がどの程度上昇できるかは、ECB と FED の両方で現在行われている操作の程度によって異なります。

平均的なイラン人とロシア人を傷つけるだけの米国の制裁の結果、彼らの通貨は崩壊しています。通貨の崩壊はハイパーインフレにつながり、イランではそれが明らかで、人々は70%のインフレを経験しています。彼らの一生の貯蓄は消え去ろうとしています。70%のインフレがあなたの人生に何をもちたらすか想像してみてください。

「イランの通貨は2つの形で崩壊した。徐々に、そして突然に。イランは今まさに『突然』の段階にある。9月24日には1ドルを買うのに24,600リアルが必要だった。10月2日には1ドルを買うのに39,000リアルが必要だった。たった1週間で59パーセントも下落したことになる。このような通貨の急落は基本的にリアルに対する銀行の取り付け騒ぎであり、米国主導の制裁によって銀行の取り付け騒ぎが引き起こされたのだ。」

上記を実際の警告として考えてください。あなたの購買力を守るために、今すぐ金と銀を購入してください。なぜなら、これはあなたの国でも、あなたが思っているよりも早く起こる可能性があるからです。

通貨の価値低下:

現実的なデフレーターを適用すれば、西側諸国の経済は回復しておらず、2007年以降成長していない、さらに悪いことに、実質ベースで縮小していることが明らかになった。最大の経済圏であるEUは、最近のメディア報道とは対照的に、不況が深刻化している。日本は支払いのために円の増刷に頼っている。英国も米国など多くの国と同様に、同様に不安定な状況にある。

債務過多、政府過多、規制過多が主要経済を阻害している。不良債務から抜け出して税収を回復し、政府財政を健全化する能力は、そのため致命的に損なわれている。この認識が、すべての中央銀行家にとって最悪の悪夢となっているに違いない。

それほど昔のことではないが、金利上昇のささやきが市場を不安定にし、世界的な金融システムが危機に瀕したことがある。

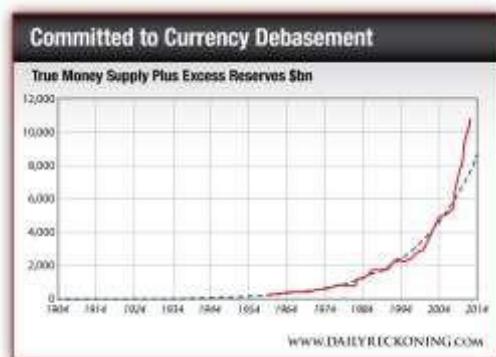
金利上昇の問題は特にデリケートな問題である。なぜなら、欧州には国債利回りのわずかな上昇による国債損失を負担できない資本不足の銀行があり、予想外の金利上昇が金利スワップエクスポージャーに及ぼす影響で破綻することはほぼ確実だからである。その準備として、欧州委員会は債券保有者と預金者に救済コストを負担させる方法について無神経に議論した。

テレグラフ紙。ユーロ圏の高官は「破綻した銀行を支えることで欧州の単一通貨を守るため、必要に応じてスペイン、イタリア、その他の欧州諸国の貯蓄口座が強制捜査されるだろう」と発表した。

一方、スウェーデン、ノルウェー、フランスは、現金の代わりにクレジットカードを使うよう国民に要求している。当局は、バランスシートの負債（資産とみなしている）側を支えるために、現金が銀行に留まることを切望している。

すべて、またはほとんどの政府は、現在、通貨量の増加、そしてEUの場合は政府債務の資金調達のために銀行信用の拡大によって財政赤字を賄うことに慣れてしまっています。政府にとってのこの債務の罫の力学は、操作された利己的な統計によって隠されています。これは政府自身さえも真の状況に関して誤解させています。4つの主要通貨は現在、回復不能なほどに金融ハイパーインフレに陥っており、これは以下のチャートで、USDの真のマネーサプライ（TMS）と超過準備金の例を使用して示されています。

「黒の点線は指数関数的成長率で、これは通貨システムを不安定化させることなく TMS が成長できる最大率です。リーマン危機以降、成長率はハイパーインフレになっています。この問題を別の観点から考えると、安定した指数関数的成長率に戻るには、FRB が流通からおよそ 3 兆ドルを引き出さなければならないこととなります。この規模の金融収縮は、たとえ数年にわたって行われたとしても考えられません。それは、金融システム全体がほぼ確実に崩壊するからです。現在、世界は金融ハイパーインフレに陥っていますが、現在 1,300 ドルを下回る金は、調整後の価格で 2005 年以降 1 オンスあたりわずか 64 ドルしか上昇していません。」



部分準備金要件における詐欺:

10% の部分準備金要件は、銀行システムが連邦準備制度が作り出すお金の 10 倍をサポートできることを意味します。政府のためにお金を作るのに必要なのは、銀行が銀行口座に預けられている他人の資産を使うことだけです。この金額に対して、銀行は 10% の部分準備金要件を適用します。政府が 850 億ドルの債券を購入すると、売り手はそれを銀行口座に預けます。これにより、その銀行の準備金は 850 億ドル増加します。その後、銀行は 765 億ドルのローンを作成できます。ローンが発行されると、借り手は 765 億ドルの何かを購入し、これらの商品やサービスを販売する人はそれを自分の銀行口座に預けます。これにより、その銀行の準備金が増加し、これが続きます。したがって、これが金融システムを通過すると、850 億ドルの債券を 1 回購入すると、毎月 8,500 億ドルもの新しいお金が生まれます。これは、2009 年の景気刺激策と同等です

。このシケイン全体はルートヴィヒ・フォン・ミーゼスによって次のように説明されています。

「政府こそが、紙のような貴重な商品にインクを塗ることで価値を失わせることができる唯一の機関である。」

最近、金利が急上昇している。長期金利の上昇は、市場がインフレを懸念していることを示す早期警告サインである。

「30年国債金利は最初の抵抗線を上抜け、現在は次の抵抗線である4.4%付近に向かっていて、5月より30%高い。昨年8月の底値からは50%上昇している。市場がインフレに満足していれば、金利はこのように上昇しない。」

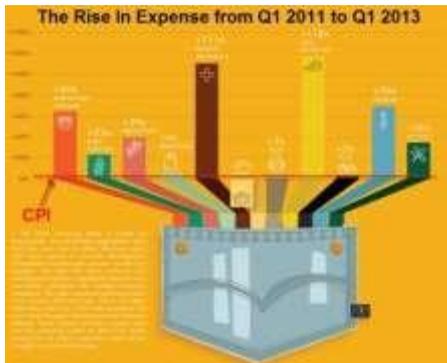
乾物輸出コストを反映するバルチック海運指数（BDI）を見てください。これは経済活動の指標として優れていますが、さらに優れた指標として、蓄積されたインフレ圧力の指標となります。乾物輸出コストは、それらの商品の最終コストに織り込まれます。3年間の下落傾向の後、BDIは2013年以降、すでに50%以上上昇しています。これはインフレが上昇している兆候です。

インフレによる費用の増加:

Intuit はこの図で、2011 年第 1 四半期から 2013 年第 1 四半期にかけての大量の紙幣発行によるインフレによる支出の増加を明らかにしています。この支出指数は、年齢、性別、収入、居住地などの人口統計情報の提供を選択した 200 万人を超える Mint.com ユーザーからの匿名で個人を特定できない集計データに基づいています。データは分析され、標準化されて、平均的な世帯をより適切に表す統計的に関連性のあるビューが作成されています。これは Intuit Inc. の最新の指数であり、同社は Intuit 中小企業雇用指数と収益指数も作成しています。これらの指数は、Intuit がコネクテッド サービスを通じてサービスを提供している 4,500 万人の顧

客からのデータに基づいて、経済に対する独自の見解を提供します。
。

この図は、何兆枚もの紙幣を印刷しても何の影響も与えない理由を説明しています。ここでその証拠が示されています。政府は依然として、心配する必要はないと主張しています。もちろん、子供がいる場合や、食べ物が好きな場合、電気を使用する場合、時々病気になる場合、家を売る予定がある場合、退職している場合などは別ですが。しかし、それ以外は心配する必要はありません。



「ドルの価値低下と究極的には深刻なインフレ/ハイパーインフレの問題の核心は、必要なお金を印刷する以外に長期的な義務を賄うことができない政治的無力さにある。米国財務省の連邦政府の財務会計に基づくと、一般に認められた会計原則（GAAP）を使用した GAAP ベースの連邦予算赤字は、2012 年度（9 月 30 日終了年度）で 6.6 兆ドルであった。2012 年度の単純な現金ベースの赤字 1.1 兆ドルをはるかに超えて、GAAP ベースの年間赤字は 2012 年までの 6 年間で 4 兆ドルから 5 兆ドルの範囲であった。ここでの最大の違いは、GAAP の数字には、社会保障やメディケアなどのプログラムの未積立債務の正味現在価値の年間悪化が含まれていることである。」

「借金をしている人があなたの健康を願ってくれたら、本当にそう思っていると確信できます。返済しなければ、その人は損をします。しかし、その人は損をしますが、あなたは勝ちます。会計士にとっても同じです。しかし、債券市

場が下落したら、誰が勝ちますか？ 年金基金は約束を果たせなくなります。誰が勝ちますか？ 債券基金は数十億ドルを失います。誰が勝ちますか？ 連邦政府は赤字を補うために高い金利を支払います。誰が勝ちますか？ 裏付けのない紙幣のおかげで、社会全体の負債が急増します。この負債が不良化したら、誰が勝ちますか？」と、Shadowstats.com の John Williams 氏は問いかけます。

資本構成：

アメリカや世界の他の多くの国の資本構造は、現在、怪しい担保、つまり米国債に依存している。この債務が崩れると、利益を得る相手はいない。全体が崩壊する。債券価格が暴落すると、ほぼすべての人が富を失う。そして、永久に低金利という誤った前提に基づいた、健全とされる投資の多くが完全に崩壊する。

「銀行は何も無いところから『お金』を創り出し、その対価として支払いを要求している。もし他の誰かがそんなことをしたら、詐欺罪で逮捕されるだろうが、銀行はそれを毎日、完全に合法的に行っている。このシステムは古代バビロニアで採用され、何千年も続いてきた。このシステムを考案した同胞団は、王、女王、有力政治家も支配し、その後、人々にそれを押し付けてきたため、このシステムはほとんど異議を唱えられていない。さらに、エリート同胞団は王、女王、有力政治家で構成されている！」と、デイビッド・アイクは著書『ビッグ・シークレット』の122ページに書いている。

避けられない事態から逃れることはできません。すべての通貨が積極的に価値を下げられると、「全世界が同時に自国の通貨の価値を下げようとしている」ため、資産価値と経済実態の間に「大きな乖離」が生じ、最終的には本格的な通貨危機に発展します。最終的にドル売りが始まると、本格的なドルの投げ売りとなり、ドル建ての紙幣

資産の大量売却が展開される可能性があります。それに先立って、または同時に、米ドルの世界的な準備金としての地位が問われることとなります。世界の他の国々がドルから離れていくにつれて、米国内通貨に対する国内の信頼も揺らぎ、最終的には深刻な国内インフレを助長し、ハイパーインフレの早期の基盤を築くこととなります。このような環境では、金と銀の現物が、最終的な通貨の価値の低下と購買力の低下に対する主要なヘッジとして機能します。

現在、変動為替レートと、量的緩和と直接的な救済措置を通じて中央銀行が銀行に直接お金を発行しているため、金融階級は最初にこのお金を受け取る立場にあります。これにより、金融階級は1%またはそれ以下の金利でお金を借り、商品を購入し、株に投機し、債券購入でFRBに先んじることができます。その結果、このお金が労働者階級に届くずっと前に、彼らは経済の収益性をすべて蓄積します。

連邦準備制度理事会のさまざまな議長がここ数年間市場を操作してきたことは周知の事実です。より具体的には、中央銀行家たちは全員、誤った目的である「経済刺激」を掲げて、収益を生み出す資産の価格に積極的に影響を及ぼしてきました。中央銀行家たちの行動の有効性は、せいぜい議論の余地しかありません。経済回復は、もしあったとしても、遅くて弱いものでした。そして、見出しの裏側を見れば、「回復」という言葉は確かに使うには大げさすぎるのがわかります。

中央銀行は、必要に応じて金利を低く抑えると約束しています。しかし、中央銀行が直接管理できるのは短期金利のみであり、最終的には金融市場が長期金利の運命を決定します。

「これまで、FRBは月額850億ドルの量的緩和プログラムを通じて長期金利も引き下げることができた。しかし、債務供給がFRBの需要創出能力を超えて加速する時点が来るだろう。その時点で、バーナンキ議長が低金利を維持すると約

束したにもかかわらず、長期金利は上昇するだろう。しかし、トレンドは長期金利も上昇する方向にシフトしている。

30年国債の利回りを通じてそれを抑制するFRBの努力

国債は現在44%上昇しています。金利がどれだけ速く上昇するかによります。金利が上がれば上がるほど、ゾンビへの約束を守るのが難しくなります。そして金利はおそらく長期的に上昇し始めているので、彼らがすべて破産するのは時間の問題です。信用に基づく通貨システムが崩壊し、金が値上がりします。」

金価格は長期にわたって操作されているという疑惑がある。これは、今後の通貨崩壊に備えて、金の現物を弱者から強者へ移すためだ。介入によって、彼らは金価格を低く抑えようと懸命に努力するだろうが、最終的には金が勝利し、「人為的に低価格」の牙城から抜け出すだろう。金はインフレ環境において富を守る。そして、操作によって達成されたのは、金価格が、金が自由に取引されていた場合よりもずっと急激に上昇したということだけだ。COMEX 金先物市場を見てみよう。金価格の下落を助けた同じ紙の市場が、金の現物需要の厳しい現実と直面し始めていることが判明した。その反転により、金は新たな高値に押し上げられるかもしれない。

私たちの歴史上の出来事が再び起こっています。

- 債券市場は5月にピークを迎えた。それ以来、債券保有者は多額の損失を被った。低い債券利回りに依存している人々、つまり債務者、政府、年金基金は不安を募らせている。
- 株式市場は今、最高値に達している。
- 完全に回復したわけではないものの、金市場は2016年末に底を打った。

もしかしたら、この金価格の底値は本当になるかもしれない。そうならないかもしれない。しかし、この操作された市場でより低い価格が展開されるまでは、信じてください。株や債券が大幅に下落する大きなリスクもあります。

現代経済の2、3千年にわたる発展から判断して、アメリカ史の専門家、ルイス・レーマンは次のように述べています。

「この混乱の世紀は、遅かれ早かれ、経済システムには永続的で経済成長をもたらし、金の重量単位で定義される通貨基準が必要であることを認識する人々によって置き換えられるだろうと私はほとんど疑っていない。」

政府は我々の敵だ。

医学博士 - ギレーヌ・ランクトーの健康促進本『

「医療マフィア」は結論づける。

「政府は我々の敵です。我々は裏切られました。我々は怒り、泣きたいです。しかしその一方で、我々を肉体的にも経済的にも破滅させているこのシステムの実態をようやく理解できたことを嬉しく思います。良き提供者であるという見せかけの下、多国籍企業と世界の金融家（エリート同胞団）のために我々を裏切ったこの詐欺師政府を信頼するのはやめましょう。」

「もう敵に助けや支援、法律などを求めるのはやめましょう。今日から私たちは、政府からのすべての提案、決定、贈り物に自動的に疑いを持つ姿勢をとります。常にこの贈り物の馬の口の中を見てください。右に行くように指示されたら、左に行くでしょう。理由がわからなくても、私たちは常に正しい決定を下します。なぜなら、政府は私たちに不利に働いているからです。」

通貨戦争、底辺への競争で先頭に立つのは誰か？

もはや制度を信頼するのは困難です。問題がグアンタナモ湾での無実の人々の拷問であれ、人々をスパイすることであれ、あるいは退職金口座を襲撃することであれ、政府は当然評価されるべきほどには評価されていません。政府が正しく行動することを期待してはいけません。これはすべて、あなたから最大限の富、つまり長年の懸命な努力で蓄積された本当の富を搾取することで、経済だけでなくそれに依存している人々をも破壊するという隠れた計画の一部なのです。

中流階級はすでに急速に消えつつあり、米ドルは消えつつある。ドルの死はもはや奇妙な憶測ではない。中国は完全に警戒しており、時が来れば脚光を浴びる準備ができています。新華社通信は、中国人民銀行の易綱副総裁が「中国は通貨戦争に「完全に備えている」と述べたと報じた。同通信はこの件に関して非常に簡潔で、次のように述べている。

「中国は金融政策とその他のメカニズムの両面において、諸外国の中央銀行が実施した量的緩和政策を十分に考慮する」

つまり、中国は人民元にドルの主役を託す用意が十分にある。中国は世界一の経済大国になる態勢を整えており、自国通貨を国際化することでその地位を誇示することにも熱心だ。

何もかもが見た目通りではない。

クリスティーヌ・ラガルドは、FRBが徐々に慎重に量的緩和の縮小を進めていく限り、量的緩和のさらなる縮小は何も意味しない、と述べている。もちろんそうなるだろう。「私たちは、大規模で重大で深刻な結果を予想していません」と彼女は述べた。彼女の考えは間違いなく間違っている。FRBが債券購入の削減を続ければ、株式市場と経済は撤退ショックに見舞われるだろう。経済は揺れ動き、

株価は下落するだろう。そしてジャネット・イエレン氏は即座に「量的緩和の拡大」を発表するだろう。

連銀、イングランド銀行、日本銀行、欧州中央銀行

ドイツ銀行、スイス国立銀行、中国人民銀行、そして他のすべての中央銀行は、自国の経済の病を「治す」ことに熱心です。世界の資本市場のあらゆる価格は、今や操作され、ねじ曲げられ、拷問され、歪められています。世界は中央銀行への信頼のバブルの中で生きており、そこでは何もかもが見えどおりではありません。首尾一貫した経済観や賢明な投資戦略を作り上げることは、かつてないほど困難です。そして、歴史上、完全な信用サイクルを生き延びた紙幣はひとつもありません。

金利が歴史的な水準に戻ると何が起こるのでしょうか。

金利が歴史的な水準に戻ったらどうなるのでしょうか。そうなれば、株式と債券を中心としたポートフォリオを保有して満足することは間違いないでしょう。次は何が起こるのでしょうか。インフレ？デフレ？ハイパーインフレ？好況？不況？バブル？これらすべてが、そう遠くない将来に起こる可能性が最も高いでしょう。

世界舞台で米ドルの優位性を確保するため、ドル紙幣の発行量は増え続けています。アメリカは、デフォルトで世界の準備通貨となり、その結果、世界はアメリカのために働くこととなります。

Sun Zhaoxue の分析；

「ウォーレン・バフェットやゴールドマン・サックスのような主要プレイヤーは、金や金関連企業に多額の投資をしながらも、金が嫌いだと語り、価格の下落を予測している。」

「現在最もホットな話題は石油と金です。世界中で起きている地上戦は石油をめぐる戦争だと思いますが、金は通貨戦争に関わっています。なぜでしょうか？米ドルが世界の準備通貨となる原動力となったのは誠実さだったと私たちは考え

ています。1971年以降、米ドルと金の分離により米ドルは大幅に下落しました。1990年以降、ユーロ圏は米国がヨーロッパの富を奪うことを防ぐため、米ドルに対抗する強いユーロを形成するための協議を行っていました。ユーロは1999年に誕生し、その強力な経済と11,000トンの金に支えられました。」

「ユーロの誕生により、米ドルの競争相手が誕生したため、米国は通貨戦争の一環としてユーロ圏に罠を仕掛けることにした。ユーロ圏の一部の国は、ユーロ圏の規範に違反して債券を発行した。発行に参加したのは誰だったか？他にもない米国の投資銀行だ。債券が発行された後、ユーロ圏の経済に問題があると述べてユーロ圏に打撃を与えたのは米国の格付け機関だった。ユーロ圏とユーロの崩壊から利益を得るには、米ドルと同等の水準にとどまる金だけが必要だ。これが、米国が数か月前にユーロ圏が債務返済不能になったら金を売却するという声明を出し、3日後にそのニュースは誤りであると述べて金を抑制し始めた理由だ。」

さらに、ゴールドマン・サックスは昨年初めに金価格の予測をしていたが、突然、金価格は1300ドルを下回ると予想を転換した。バフエット氏は、金価格が800ドルに下がっても金は買わないと述べた。調査によると、バフエット氏は4つの金関連企業から多額の利益を得ていた。したがって、彼の発言は彼の個人的な行動と矛盾している。

続いてバーナンキ議長は、金融緩和は終了し、米国経済は改善していると述べた。この一連の例は、金価格の下落が計画的であることを示しています。したがって、このプロセスは真の通貨戦争です。金は単に美しい商品であると言う人が多い。では、米国がなぜこれ

ほど多くの金を保管し、金を売る代わりに金融市場を救うために他国に債務を発行するのかと尋ねてみてほしい。

米国はドイツに多額の金を負っているが、すぐに返済するのではなく、2020年までに金を返還するよう期限を設定している。この例とこのプロセス全体、そしてさまざまな典型的な要因から、他のすべての通貨を打ち負かして米ドルの覇権を維持するための本格的な通貨戦争が起こっていることは明らかである。

「西側諸国の金不足を防げば、中国は今日の冷戦における通貨戦争で大きな影響力を得ることになる。通貨戦争が激化すれば、その影響力はさらに大きくなる。したがって、アメリカが金市場で中国と共謀しているという考えはナンセンスだ」。

真実は、金に関するさまざまな哲学とすべて関係しています。先進的な西洋経済は、かなり長い間、金をお金として使用せずに生き延びてきました。通貨と信用のインフレにより、完全に不換紙幣に依存する現代の金融業界が生まれ、主流の金融関係者は、不換紙幣が無限に儲かるという作り話を信じるように条件付けられています。したがって、彼らは金が二度とお金になることはないと退ける傾向があります。そのため、西洋は物理的な金を失うことをそれほど心配しておらず、中国はそれを買う機会を喜んでいます。そして、価格がどうであれ、中国はそれを買いつけると予想されます。なぜなら、結局のところ、金こそが唯一の真のお金であることを彼らは知っているからです。この事実の詳細は、GoldMoney.comの許可を得て転載しています。

すべての市場は不正操作されている：

ゼロヘッジは、JPモルガン・チェースが米国の金デリバティブ商品の価値の60%以上を所有することで金市場を独占していると報じ、米国商品先物取引委員会がなぜそのような独占を許しているのか疑

問視している。モルガンの立場は実際には米国政府の立場であり、為替安定基金を設立する金準備法は、米国政府が金市場だけでなく他のすべての市場を秘密裏に操作することを認めている。

銀の操作:

スティーブン・リーブ氏はキング・ワールド・ニュースに対し、誰かが銀市場を操作していると語った。

…この世界にある銀のほとんどは、鉛、亜鉛、銅、金から作られています。銀の動向を他の金属と比較してみると、過去数年間ではるかに悪化しています。銀の価格にはほとんど変化がないのに、銀の需要ははるかに高くなっています。つまり、銀市場では奇妙なことが起こっているのです。誰かが銀の価格を操作していますが、一体誰がやっているのでしょうか？

それでも、20ドル以下の銀は素晴らしい買い物だと思います。価格が理にかなっていません。需要が非常に大きいのはわかりますが、供給はどこから来るのでしょうか？中国からの銀の需要は膨大で、投資目的では世界中の造幣局からの需要もあります。もう一度言いますが、この銀はどこから来るのでしょうか？

また、中国が将来のインフラ整備に備えて銀を備蓄していると信じる理由もあります。私は陰謀論者ではありませんが、銀市場では何か奇妙なことが起きています。しかし、銀の価格を操作している人が誰であれ、銀の価格を長く抑え続けることはできないと思います。

むしろ、最近の世界的な混乱は、中国にこうした戦略的資源の蓄積を加速させるよう促すシグナルを送っている。忘れてはならないのは、石油に次いで銀が世界で最も重要かつ戦略的な資源だということ

と。中国からは銀に対する需要が非常に高く、銀には金銭的な側面もあるため、将来的には価格が急上昇するだろう。

結局のところ、銀の価格は今日よりはるかに高くなるはずです。ですから、この極端に低い価格で銀を購入できるまれな機会があると思います。この状況が終わる前に、銀は3桁の価格で取引されるでしょう。最終的には1オンスあたり数百ドルの価格になるでしょう。つまり、20ドル以下ならお買い得です。

世界が銀の本当の不足に気づく頃には、銀はほとんど残っていないでしょう。世界的な不足が迫っていることに加えて金銭的なプレミアムが加われば、銀市場は急騰するのを待つばかりです。

「結局のところ、この国には規律が必要であり、それを実現する唯一の方法は、金が準備通貨の一部になることです。銀は劇的に優れたパフォーマンスを発揮するでしょうが、世界と金融の規律への期待は金から生まれるでしょう。」

アメリカに保管されていたドイツの金は実際どうなったのでしょうか？

FED に保管されている金は、FRB によって何度も再担保され、最終的に売却されました。ドイツに返還された少量の金塊には、ドイツ連邦銀行のオリジナルの刻印さえありませんでした。これは、ドイツの金塊がドイツに輸送される前に溶かされていたことを意味します。この大規模なポンジスキームの結末は悲惨なものになるでしょう。

金は、カウンターパーティリスクなしで、銀行システムの外で、投資家が直接管理できる状態で保有する必要があります。2008 年は単なる小さなリハーサルだったことを忘れないでください。現在起きていることは、さらに悪化するでしょう。システムから抜け出すことで完全に保護されていない人は、今すぐにそうしなければな

りません。為替管理と銀行のベイルインが行われるでしょう。悲しいことに、準備ができていない人にとっては、これは言い表せないほどの災害の時となるでしょう。

[このビデオで説明と分析をご覧ください。](#)

経済成長は過去のものとなった。

緊縮政策と増税の結果、先進国の人口は今後数年間で急速に減少するでしょう。消費者は最低限必要なもの以上のものを買うお金がなくなるでしょう。しかし、それでも当局は経済成長の必要性について語り続けます。その70%は消費者によって生み出されます。経済成長は過去の問題であることは明らかですが、誰も別の手段で経済を軌道に乗せるために方針転換について語りません。なぜなら、必要なすべての変化はどの政府にとっても利益にならないからです。彼らが考える唯一の解決策は、紙幣をさらに印刷し、通貨が崩壊するまでそれを続けることです。

「生産性の危機が世界経済を悩ませている」とフィナンシャルタイムズは書いている。2013年以降、ほとんどの国が数十年ぶりに全体的な効率性の向上に失敗しており、生産性の危機が世界経済を悩ませている。

同時に：

「米連邦準備制度理事会は、目標以下のインフレが何年も続くことを想定して油断していた」とミネアポリス連銀総裁は、さらなる経済刺激策を強く訴えながら警告した。「目標を下回るインフレ率に満足するリスクを冒している。それは不適切だ」と、今年の連邦準備制度理事会の金融政策に投票するナラヤナ・コチャラコ氏はフィナンシャル・タイムズ紙のインタビューで語った。「現時点では、2016年以降もインフレ率は2%に戻らないという見通しだ」

価格の上昇は経済成長にとって不可欠であり、価格の下落は私たちにとって悪いことです。

食品インフレは、過去の毎年同様、昨年も 3 ~ 4% 上昇しました。実際には、食品価格が上昇したわけではなく、通貨の購買力が下がったのです。現在の金融政策と財政政策を正当化するために、政府は暴走する赤字を抑制することを拒否しています。そして中央銀行は猛烈にマネーサプライを拡大しています。当局は、価格上昇につながるインフレが経済成長に不可欠であることを私たちに納得させなければなりません。同時に、価格下落は私たちにとって悪いことだと主張しています。これは難しい提案です。なぜなら、ほとんどの人が長い間、インフレは窃盗であり、経済的苦境の兆候であり、価格高騰は問題の結果であり、解決策ではないと疑ってきたからです。

おいおい、デフレって、本当にそんなに悪いことなのか？ お店が値下げしたり、会社を経営しているならサプライヤーが値下げしたりするんだから。もちろんナンセンス。船は沈んでいない、少なくとも今のところは、すべて順調だと信じ込ませるための、単なる嘘。

SECは電話会議で、すべての市場が不正操作されていると告げられた。

会話は次のように続きました。

「株価を操作する大規模な計画がある」と親切なエージェントは告げられた。

「国民により良いサービスを提供できるよう、あなたの電話は監視されていることをお伝えしなければなりません」と彼は答えた。

「ああ、心配しないでください。いずれにせよ、NSA が私たちの通話を盗聴しています。」

「特定の株について話しているのですか？」

「ああ、いや…全員のことを言っているんです。」

「マドフのようなスキャンダルのことですか？」

「いや、いや、これはマドフ事件よりはるかに大きな問題だ。大規模な不正操作だ。意図的だ。事前に知っていた」

すべての株価が上昇。数兆ドル。」

「誰がこんなことをしているのですか？」と係員は尋ねた。彼の声には、ある種の調子がにじみ出ている。彼は電話の相手が狂人ではないかと疑い始めていた。

「もちろん、FRBだ」

「ああ…ありがとう…」

「あの野郎どもを追いかけてきなきゃ…」

「ああ…はい…調べてみます…」

「わかりました…ありがとう…ただ知っておいてほしいと思っただけです。」

すでにほとんどの独立した思想家が持っている知恵。

価格上昇により経済が縮小している。

景気が悪くなると、人々は現在の消費を減らし、将来のために貯蓄するようになります。その結果、需要が減り、価格が下がります。価格の低下は、景気後退の打撃を和らげ、縮小する経済に対するカウンターウェイトとして機能します。

消費者は常に購入したいと思っていますが、希望する商品やサービスを購入する余裕がないため、購入を控えたり延期したりすることがあります。価格が高騰するとこの問題はさらに悪化しますが、割引は消費者の購入意欲を高めることが多いです。

真実は、メディアは単に政府がインフレのプロパガンダを広めるのを手助けしているだけだということです。消費者の利益とは裏腹に、多額の負債を抱える政府は銀行を支えるためにインフレを必要と

し、その結果として資産バブルを生み出す株価の上昇を必要とします。

「主にドイツからの圧力により、貴金属の市場操作は終了し、金と銀は最終的に真の適正市場価格を見つけるでしょう。操作がなければ、貴金属投資家の価格はついに最高値に達するでしょう。これらの金属が管理から解放されるとすぐに、裏付けのないすべての法定通貨は疑問視され、放棄されるでしょう。市場の混乱はデリバティブの世界で数百兆ドルの損失を引き起こし、カウンターパーティリスクを露呈させるでしょう。」

「大きすぎて潰せない」が「大きすぎて救済できない」に変わる！

「最も驚くべき統計は、中国、米国、日本、ユーロ圏のマネーサプライが前年比で50兆ドルという驚異的な増加を示していることだ。これは、

「12か月間の期間。平均で7%の増加になります。」これ

を世界全体のGDPが75兆ドルであることに換算すると。

「中国は18兆ドルの増加でトップとなったが、日本は「たった」8兆ドルの増加だった。

本当の敗者は貯蓄者だ。

通貨安競争とは、国際貿易で優位に立つために各国が自国通貨を切り下げる競争である。中国にとっても、通貨の相対的価値をほぼ維持することには利害関係がある。

各プレイヤーが状況を最適化するためのアプローチは、他のプレイヤーに先を越される前に、できるだけ多くの紙幣を印刷し、できるだけ多くの物品、不動産、美術品、貴金属、企業を購入することです。

ゲームは、4 人のプレーヤー全員の既存のお金の価値がなくなった時点で終了し、その時点までに最も多くの実物資産を蓄積したプレーヤーが勝者となる。これがまさに中国の真の短期的意図である可能性がある。

本当の敗者は貯蓄者だ。彼らの蓄積した資本は急激に価値を失っている。その価値の低下は、将来通貨が同時に暴落したときに購買力の急激な低下という形で認識されるだろう。

アメリカとユーロ圏では、政府は、自国民が通貨が崩壊する日に備えて準備するのを思いとどまらせ、阻止するために、あらゆる手を尽くしてきた。貴金属価格の下落を継続的に試みたり、メディアによる組織的な攻撃や大言壮語の集中砲火を浴びせたり。結局、国民と、富を守れなかった政府の両方にとって、歴史に残る大惨事となるだろう。

中央銀行が現在のペースで国債を購入し続けると、2080年頃までに、中央銀行のバランスシートの規模は米国の現在の資産総額、つまり約70兆ドルに匹敵することになる。つまり、中央銀行は現実在即した突撃コースを歩んでいるのだ。彼らは収入以上の支出を永遠に続けることはできない。そしてジャネット・イエレン氏らも、永久に紙幣を印刷して財政赤字を補填することはできない。

だから、金と銀をしっかりと保持してください。必要になりますよ。

「政府の経済運営の失敗により、世界は極めて深刻な結果を招くことなくは抜け出せない状況に陥っている。」

したがって、投資家はあらゆる雑音を避け、金融システムの崩壊から身を守る必要があります。

「2013 年半ば以降、現物市場の重心は劇的に東に移動し、アジアと中東での旺盛な需要に奪われています。」 - 「欧米での ETF 清算（紙の金投資）による金の売却により、市

場に約 880 トンの金が放出された一方、東アジア、インド、中東での現物の金の購入は 1,066 トンに達し、世界全体では 1,338 トンに上ります。純額で見ると、2013 年は金の購入が売却を 458 トン上回りました。」

言い換えれば、西側諸国でETFの清算を通じて放出された金はすべて東側諸国に吸収され、さらに458トンが最終的に鉱山会社の金の在庫から放出され、地上の供給量が減少した。

金価格は最終的にプラスの傾向を示すかもしれないが、変化が見られるようになるには 1,300 ドルを超える必要がある。ロードマップでは金が 10,000 ドルに達すると予測されているが、銀は 500 ドルでそれを上回ると予測されている。

金の逆ザヤ:

金のバックワーデーションは、先物価格とスポット価格の差がマイナスになったとき、または資産の金が入手できないために受け渡しが行えないときに発生します。金の場合、通常、先物価格とスポット価格の差がプラスであることを意味します。これがマイナスになると、スポット価格が金の先物価格よりも高くなり、法定通貨にとっては非常に危険になります。Antal Fekete 教授は赤信号を出しています。下のウェブカメラ ビデオで彼の説明をご覧ください。画質は悪いですが、見る価値はあります。

アンタル・E・フェケテ教授は、著名な数学者であり、金融学者です。彼は、金の逆ザヤが不換紙幣の崩壊を引き起こすという警告を発しています。世界は、手に負えない状態に陥るその地点に近づいています。FRBが発行する不換紙幣は違憲で、違法なお金であり、いつでも崩壊する可能性があり、人々はそれに備えていません。人々は食料や医療サービスを購入できず、大規模な家族生活の混乱を招きます。

何かをしなければならぬし、何かできるはずだ!

中央銀行は政府に指示します：

今日、中央銀行は、中央銀行が作り出したお金を完全に管理し、西側諸国の政府に命令を下しています。エリート同胞団には、政府の重要な首脳や代理人が無数におり、彼らの命令に従い、要求に応じて問題を引き起こします。

政府、メディア、法制度、農業（モンサント社が遺伝子組み換え食品を操作したことを考えてみてください）、製薬業界、医薬品、大手石油会社など、すべてが管理されています。これは、お金を管理すればすべてを管理できるというマイヤー・アムシェル・ロスチャイルドの発見の結果として生じました。

傲慢なエリート同胞団が予想していなかったのは、中国とロシアが西側諸国の中央銀行家たちの支配下ではなく、無価値な不換紙幣を際限なく発行する敵対勢力として台頭したことだった。中国とロシアは両替商の金融的ブラフを呼び、有害な米国債のすべてを金で支払うよう要求した。

これらのやや大まかな評価（いずれも自分でデューデリジェンスを行えば検証可能）から言えることは、エリート層が世界権力を維持するために金と銀を人質に取っているということだ。権力者たちがどうやって生き残るかはまだ決まっていないが、彼らはおそらく中国と舞台裏で金銀詐欺を存続させるために猛烈に動き、衰退しつつある西洋帝国と崩壊しつつある不換紙幣制度を支配し続けるために、どんな取引も行っているだろう。

通貨市場：

世界の通貨システムに関する最悪の懸念が現実になりつつあります。車輪が外れ始めています。崩壊はすぐそこまで来ているかもしれません。通貨市場は世界最大かつ最も重要な市場です。政府、企業、投資家が毎日何兆もの取引を実行する場所です。日本の自動車メ

一カーが米ドルで稼いだお金を日本円で支払うために両替する場所でもあります。スペインに拠点を置くホテルチェーンがスペインで稼いだドルを地元の銀行口座に預けられるユーロに両替しなければならない場所でもあります。通常のビジネスの過程で、国々が数十億単位の通貨を売買する場所でもあります。通貨市場は株式市場よりもはるかに大きいです。結局のところ、警戒を真っ先に表すのは為替市場です。経済に本当の問題があるとき、それは通貨市場にはっきりと現れます。

世界の主要通貨の多くは価値が急落している。これらの通貨は、人類史上最大の金融実験である狂気の政府政策に反応して急落している。これらの政策は「通貨戦争」である。これは、主要経済国の政治家が自国の通貨を積極的に切り下げて、他国への輸出を安くし、切り下げた通貨で債務を返済できるようにするためであり、国の通貨基盤を無謀に拡大することは悲惨なことである。通貨のゼロ化です。まさに「ゼロへの競争」です。

通貨は変動する株価のようなものです。

この実験の結果は財政破綻となるでしょう。国民は自らを守るための措置を講じなければなりません。国の通貨はその国の変動する「株価」のようなものです。一般的に言えば、国が財政をうまく管理し、生産的な行動をとれば、その通貨は長期的に上昇します。国が巨額の負債を抱え、麻薬中毒者のように財政を運営すれば、その通貨は長期的に下落します。

スイス、EU、イギリス、カナダ、デンマーク、シンガポールの6つの主要中央銀行は、自国通貨の弱体化に取り組んできました。実際のところ、他の8つの中央銀行についてはほとんど知られていません。通貨戦争はあまりにも速く進んでおり、どの国がどの隣国を困窮させているのか、ほとんど把握できません。インド、トルコ、エジプト、ルーマニア、ペルー、アルバニア、ウズベキスタン、パキスタンもすべて急落に加わっていることが判明しました。

私たち全員にとってこれから起こるであろう未来をちょっと覗いてみましょう。ジンバブエとベネズエラは、過去 10 年間で最も経済管理が悪かった 2 つの国です。これらの国の指導者は、国庫を個人の貯金箱のように扱いました。彼らが裕福になる一方で、国民は貧困に苦しみ、ハイパーインフレに苦しみました。

ジンバブエの通貨は、2009年に通貨が再発行されて以来、その価値の約75%を失っています。ベネズエラの通貨は、過去10年間でその価値の70%を失っています。

通貨制度の腐敗状態については、すでに予兆が見られる。

では、世界最大の経済圏である欧州連合の通貨ユーロはどうでしょうか。EU経済は苦戦しています。フランス、スペイン、ポルトガル、イタリア、ギリシャといった高税率の福祉国家は借金に溺れています。これらの国の経済は減速し、デフレが定着しつつあります。失業率は急上昇しています。そして日本と同様に、この悲惨な結果は欧州中央銀行の大規模な金融緩和の結果です。これらの経済はアジアや北米と競争することはできません。当然のことながら、中央銀行はさらなる刺激策と通貨切り下げで対応しています。

2015年、ECBのマリオ・ドラギ総裁は、毎年1兆ユーロ以上の新規通貨を欧州通貨同盟に流入させると発表しました。これは、必死の政治家たちの必死の試みです。国民に政府の政策に必要な変更を求める代わりに、ECBは待望の債券購入プログラム、つまり量的緩和（QE）を発表しました。ECBは毎月、ユーロ圏の中央政府と企業が発行した600億ユーロ相当の債券を購入しています。

ECB はまた、購入対象にマイナス利回りの債券も含まれることを確認した。ドイツの利回り曲線は過去 5 年間マイナスで、フランスも過去 4 年間マイナスとなっている。現在、世界中で発行される国債の約 20% がマイナス金利となっている。トレードウェブによると、ドイツ国債はデンマーク国債とともに、最長 6 年間の償還

期間でマイナス利回りとなっている。オランダ、オーストリア、スウェーデン、フィンランドも 5 年間の償還期間でこのグループに加わった。フランスとベルギーは 4 年間の償還期間で加わる。スイスでは、債券の償還期間はなんと 13 年にまで達し、マイナス利回りとなっている。これはまさに、金融システムの腐敗状態を暗示している。国債の低利回りおよびマイナス利回りは金にとって強気材料である。

デンマーク中央銀行は、3週間で4度目の金利引き下げを実施。預金金利は-0.50%から-0.75%に低下。デンマークで預金するには、現在 0.25%の手数料がかかります。

彼らは通貨クローネをユーロに固定している。スイス国立銀行がデンマーク銀行は2015年初頭にフランとユーロのペッグレートを放棄したため、デンマーククローネはユーロにペッグされている最後の欧州通貨となっている。

デンマークは、人々がクローネを買わないようにし、ペッグ制に圧力をかけるために金利を引き下げている。市場は、クローネのペッグ制はフランが崩壊したように崩壊すると見ている。デンマークの努力は無駄だ。結局、市場は常に勝つのだ。

金は利回りがないため、資産として軽視されることが多い。

金は単に金庫の中にしまっておくだけだ。金は金庫の中にしまっておいても、資産が減ることはない。特定の国債を保有すると資産が減るので、賢明な選択だ。

マイナス格付けの住宅ローン:

デンマークではマイナス0.3%の金利でマイナス格付けの住宅ローンの発行も開始した。コンピューターに入力された数字によって銀行が住宅ローン保有者の苦勞して稼いだ収入の大部分を没収し、人々を借金奴隷に追い込む権利を持つとすれば、これは決してお買い得ではない。

ECBの最新の措置により、ユーロはドルに対して11年ぶりの安値に落ち込んだ。2014年4月以来、19%急落している。 - 主要通貨にとって19%の下落は驚くべき動きだ。これは高騰するハイテク株ではない。

これは投機的な金株ではありません。これはあなたの銀行口座の価値です。これは負債の価値です。これは世界最大の経済圏の通貨です。そしてそれは崩壊しつつあります。

地球上で最も大きな中央銀行のうちの2つは、ここ数か月間、この戦いを繰り広げている。日本銀行と欧州中央銀行は、それを隠そうともせず、輸出を増やしてインフレを加速させるために円とユーロを安くしたいのだ。その結果や、米国連邦準備制度理事会との協力の歴史など、とんでもないことだ！

本当の問題:

しかし、本当の問題はここにあります。すべての国が自国の通貨を他国に対して弱めようとしている中、誰が勝つことができるでしょうか？ 通貨は、米ドルを含む他の通貨に対して、交互に反対側で取引されます。両側が同時に下がったり上がったりすることはできません！ つまり、結局のところ、これは多くの中央銀行が勝てない戦いです。いくつかの中央銀行は負けなければなりません。問題は、誰が負けるかです。

円は2012年後半から33%下落し、対ドルで7年ぶりの安値となった。これも主要通貨としては大きな動きだ。

日本経済を刺激するために、安倍晋三首相は2012年以来、年間約60～70兆円の紙幣を刷り、大規模な量的緩和（QE）計画に約6000億ドルを費やしてきた。最近の景気後退発表を受けて、安倍首相はQEを80兆円に増額すると述べた。

（6,760億ドル）。日本銀行の黒田東彦総裁は、量的緩和の拡大は「デフレを終わらせるという我々の揺るぎない決意を示す」と述べ

た。言い換えれば、日本は紙幣を刷り続け、自らを忘却の彼方に追いやるということだ。

カナダドルとオーストラリアドルは、2014年7月1日の52週間の高値から17%下落した。投資家は、カナダ・オーストラリア準備銀行が現在の2.5%から過去最低の金利まで引き下げるとみている。

一方、シンガポールとニュージーランドも世界通貨戦争に加わった。これまでのところ、インド、デンマーク、カナダなど9カ国が1月だけで通貨を弱め、経済的に優位に立つために政策を緩和した。

ロシア ルーブルは、過去 1 年間で米ドルに対して 50% 以上下落しました。これは、1998 年にロシア財務省が国債の不履行に陥って以来、ロシア通貨の最大かつ最も急激な下落です。この動きにより、ロシアでは何百万人もの人々の生活水準が大幅に低下しました。彼らの銀行口座の価値は、購買力の点で半分になりました。実際、これらの人々は、実質的に半分に削減された賃金で生き延びようとしているのです。

そして最後に、もう一つの中央銀行が金融緩和に踏み切った。中国もこの戦いに加わった。

「中国の中央銀行である中国人民銀行（PBOC）は、銀行が中央銀行に準備金として預けなければならない預金準備率を20%から50ベースポイント引き下げ、19.5%とした。これは、2012年5月以来、PBOCがこの種の引き下げを行う初めてのケースである。中央銀行は2014年11月に、基準貸出金利を6%から5.6%に40ベースポイント引き下げている。」

ゴールドマン・サックスは、今回の利下げは約1000億ドルの流動性注入に相当すると見積もっている。通貨安が進む中、パニックに陥り、通貨安競争が繰り広げられている。

そして、歴史上最も激しい通貨変動の一つとして、スイスは2015年にスイスフランとユーロのペッグ制を放棄し、スイス国立銀行がペッグ制を廃止した後、スイスフランは1日でユーロに対して39%も急騰した。

その結果、世界中の銀行や投資家が数十億ドルの取引損失を被る大混乱が生じた。顧客が損失を出した取引を決済できなかったため、いくつかの外国為替ブローカーが破産した。スイスは完全に秘密裏に運営していた。

他の通貨とは異なり、スイスフランは長期にわたる安全資産とみなされており、それが上昇した理由です。

スイスのような堅実で経済的に健全な国の通貨が、このような変動を経験することは決してないということに注目してください。通貨をめぐる争いは、常に戦闘が続くわけではないという点で、実際の戦争に似ています。ある時期には激しい戦いがあり、その後は小休止が続き、その後さらに激しい戦いが続きます。

世界中の中央銀行は、これまでで最も野心的な紙幣発行と債券購入プログラムを開始した。これには、ユーロ圏と少数の非ユーロ通貨国における全面的なマイナス金利も含まれる。

銀行預金金利がマイナスとなり、購買力が絶えず破壊され、リターンのないリスクが存在するという金融の新たな次元が到来しました。

もちろん、マイナス利回りの債券を購入しても、就職も教育も訓練も受けていない15歳から24歳までの約750万人のヨーロッパ人を助けることにはあまりならないだろう。

中国は資本市場を通じて米国を簡単に打ち負かすことができるだろう。

つまり、中央銀行が債務で経済を溺れさせ続ける中で、世界通貨は崩壊しつつある。世界経済の成長が鈍化し、ドルが強くなるにつれ、商品は急落している。一方、市場にはボラティリティが戻ってきている。これが金融市場に深刻な緊張とストレスを引き起こしている。

中国は約3兆ドルの米ドル建て投資を行っており、中国が仕掛けた米ドルの切り下げ10%ごとに、連銀は中国から米国への3000億ドルの実質的な富の移転を象徴している。問題は中国が蓄積された富の盗難をいつまで容認するかだ。中国が戦場で米国を打ち負かすことができなくても、資本市場を通じて攻撃に成功する可能性がある。

デリバティブ。

- 周囲には「ブラックスワン」が数多く潜んでいます。
- 原油価格が急落し、インフレが進行すると、ベネズエラは債務不履行に陥る可能性がある。
- ギリシャはユーロを離脱する可能性がある。
- ロシアの状況はさらに悪化する可能性がある。あるいは、例えば、
- エネルギー部門における大規模な債務不履行、または
- レバレッジの高いヘッジファンドは破綻する可能性がある。1998年のロシア危機で破綻した、世界で最も賢い男たちが運営するロングターム・キャピタル・マネジメント・ファンドのように。このビジネスはデリバティブに大きく依存していたため、

システムリスクとみなされ、最終的に世界最大手の銀行14行が36億ドルの救済措置を講じた。

現在、すべての銀行デリバティブの総額は650兆ドルを超えており、これは世界のGDPの9倍以上であり、まさに大量破壊兵器です。これにより、複雑なシステムにおいて、破滅のシステムリスクがはるかに大きくなり、規模は簡単に2倍、3倍、10倍から100倍に拡大します。なぜなら、いかなる救済措置もデフォルトを回避するには不十分だからです。

このシステムリスクの重荷に対する解決策は、単純かつ直接的



に大手銀行を解体し、ほとんどのデリバティブを禁止することです。

大手銀行は世界金融に必須ではない。その結果得られる利益は、銀行破綻がなくなることや、もはや脅威ではなくなるということではなく、破綻のコストは抑制可能であり、システム全体を脅かすことはないということである。

デリバティブは、不透明な価格設定によって銀行家を豊かにし、オフバランス会計によって投資家を欺くこと以外には、実質的に何の役にも立たない。

しかし、そのような解決策が見つかる可能性は事実上ゼロです。

金は反ドルである。

明らかに、今日の通貨市場では何かがおかしいので、今すぐ金に投資しましょう。つまり、政府は紙幣を増刷することはできますが、金を増刷することはできないのです。そして、世界中の金利が記録的な低水準、さらにはマイナス金利になっている今、金はますます魅力的になっています。

多くの人は、金と米ドルが足並みを揃えて上昇していると考えているかもしれませんが。彼らは金が「反ドル」であると信じており、実際その通りです。しかし、今日ではそれが完全に当てはまるわけではありません。金が好調なのは、主に 2 つの理由からです。

まず、金は通貨です。通貨争いの時代においては、金はカウンターパーティリスクがないため最も安全な通貨です。また、金をこれ以上印刷することはできません。人々はこれに気づき始めており、貴金属への分散投資を始めています。

第二に、金は「恐怖取引」から利益を得ています。市場で何が起きているのかを恐れる人々は、金の現物を所有することで安心感を得ようとしています。

米ドルの操作された価値：

米ドルの価値は、FRBと協力する外国の中央銀行によって操作されている。日本とヨーロッパの中央銀行は、ドルの交換価値を守るために円とユーロを印刷している。すべての主要通貨が同時に印刷されれば、ドルは下落しない。米国上院議員ランド・ポールは言う。

[ドルは裏付けられている](#) による：

「中古車ローン、不良住宅ローン、不良資産およびデリバティブ」

金は経済定数です。

この絶好の機会を活かす：市場の調整がいつ来るかに関わらず、人々は今、金を購入する素晴らしい機会に恵まれています。金は、2011年の高値 1,900 ドルから下落し、1 オンスあたり 1,300 ドル未満で取引されています。今年は 1 オンスあたり 2,000 ドルに簡単に達する可能性があります。この問題の専門家は、中央銀行の措置の結果として崩壊の見通しがより明確になると、金は 1 オンスあたり 7,000 ドルに達すると考えています。間違いなく、今後数年間でシステムへのさらなるショックが見られるでしょう。なぜなら、世界的なマネー サプライの拡大は継続しており、これは一般に貴金属の強気の兆候だからです。

信頼できるとされるスイスフランでも、金の価格は134%上昇しました。

ほとんどの人が理解していないのは、金の実質的な価値はまったく変わっていないということです。金は経済の定数です。何千年もの間、1オンスの金で高級な男性用スーツ1着と同等の価値が購入できました。今もそうです。歴史の教訓は、国民は金をいくらか所有し、安全に保管し、中央銀行や政府の嘘を信じてはいけないということです。中央銀行への信頼が薄れるにつれ、今後数か月でより多くの投資家が安全な金に逃げ出すことは事実です。

世界的な紙幣の下落は非常に大きく、深刻で、広範囲にわたるため、ドルが上昇すると金が下落するという従来の傾向を覆すものとなっている。

人々は紙幣から逃げ出し、金を買っています。彼らは金を安全な避難場所と見ています。金は他人の負債ではない唯一の通貨です。金は購買力を蓄えるものであり、勝手に印刷することはできません。そのため、金はドル高騰の中でも安定しています。金は「そうある

べきではない」ときに安定しています。そして、資産が下落するはずのときに下落しない場合は、非常に強気の兆候です。

金の実質的な価値は変わりません。なぜなら、これまで採掘された金はすべてまだ存在しているからです。採掘量が増えても、金の総供給量はほとんど増えません。これが金を非常にユニークな通貨にしている理由です。金の価値は実質的に決して変わりません。

通貨操作は、何らかの刺激を与えるというよりは、経済の「ショックアブソーバー」として機能するかもしれない。変化しているのは、これらの紙幣の価値だ。紙幣の価値は大幅に下落している。

そして、上で概説したように、通貨の驚くべき下落は、大きな警告です。米ドルもすぐに追従するでしょう。紙幣に関しては、ゼロへの競争が始まっています。遅かれ早かれ、このシステム全体が崩壊するでしょう。それがいつになるかはわかりません。誰も知りません。ディープステートでさえも。

紙幣制度には、歴史的に見て完璧な記録がある。どれも長続きしなかった。最終的には、通貨価値の変動によって引き起こされる経済混乱がひどくなり、システム全体が崩壊する。

興味深いのは、他の国ではこのようなことが常に起きていることは誰もが知っているが、EU、米国、スイスを含む自国でも起きると認識している人はほとんどいないということだ。すでに起きているのだ。ニュースでドルとスイスフランが「上がった」と伝えられるとき、彼らはそれを他の主要通貨と比較しているが、**全体としては、すべて一斉に下落しているのだ。**

発行体の信用力:

金塊ではなく信用に基づく金融システムでは、取引が完結することはありません。代わりに、すべては相手方の誠実さと適切な判断力にかかっています。これには、誰にとっても第一の相手方である政

府も含まれます。政府の手形、債券、債券は、通貨システムの基盤です。しかし、それらは約束に過ぎず、最大の債務者が発行する債務証書にすぎません。

信用に基づくシステムは、現代世界では持続できません。信用の量が増えると、発行者の信用力は低下します。負債が増えるほど、返済能力は低下します。時が経つにつれ、信用の網はあらゆる方向に広がり、現在だけでなく将来も絡み合います。それは社会全体に広がり、ある人が別の人に借金をし、その人がさらに別の人に借金をし、その借金は4人目の人に担保にされ、その人は5人目の人に返済するためにその借金に依存し、すべてが6人目の人からのあいまいな評価の借用書で調整されます。私たちの通貨システムがいかに腐敗しているかは明らかでしょうか？

米ドルの下落:

準備通貨としての米ドルの衰退は、ユーロの出現とともに2000年に始まり、最近の通貨戦争の始まりとともに2010年に加速しました。この衰退は、中国が主要債権国および金大国として台頭したことでさらに加速しています。BRICS、イランなどで構成される新しい反ドル同盟の行動は言うまでもありません。

歴史を基準にすると、次に来るのは米ドル価格のインフレです。突然の自発的なドルの崩壊を待っている人は、それほど劇的ではないものの、同様に重要な、ゆっくりとした着実なドルの下落を見逃しているかもしれません。ドルの崩壊はすでに始まっています。インフレ保険を手に入れる時期は今です。ですから、できる限り貴金属を購入してください。

誰も言及していないのは、紙幣システム全体が崩壊しつつあり、日々価値を失っているということだ。過去 10 年間、世界の主要通貨は金に対する購買力を毎年 12% ~ 15% という驚くべきペースで失

ってきた。底辺への競争が激化するにつれ、この割合は今後も上昇し続けるだろう。

紙幣保有者にとって、大きな試練が迫っている。それは彼らがこれまで経験したことも、想像したこともないようなものとなるだろう。

30. 金本位制だけが世界を災難から救える

- 成長モデル。
- 最大の経済ハリケーン。
- 中央銀行は人類を奴隷化するために考案されました。
- コミュニティ通貨が普及しつつあります。
- 私たちが住む幻想の世界。
- 資本主義ではなく、中央計画と縁故主義です。
- お金は経済の心臓。
- 経済は行き詰まりに陥った。

バビロニアのディープステートの終末は地上に
地獄をもたらすだろう

必要な変更:

債務ベースモデルから株式ベースモデルへの変更が成功すれば、市場のファンダメンタルズやその不安定性について懸念する必要は大幅に減るだろう。古いものの破壊は、新しいものの創造の前兆となる。世界は一連の複雑な問題を伴う大きな調整に備える必要がある

。トランプ政権が約束したこと、つまり金本位制の導入、税率の引き下げ、投資資本の国内への回帰を実行すれば、非常に豊かな未来が訪れるだろう。言い換えれば、すべての中央銀行と連邦準備制度を廃止し、金/銀本位制に戻り、政府を選出し承認するのと同じ人々の手に資産を裏付けた真のお金を作るのが必須である。

これまで、中央銀行、政府、商業銀行は、ポンジスキームを継続させるために、金融システムに無限の量の紙幣を注入することに成功してきました。ほとんどの人は、信用に基づくお金に何が起きているのか理解していません。彼らは、自国の通貨の価値は10年前と同じだと信じていますが、信用創造は通貨の価値の低下を招き、実質的には成長はほとんど達成されていません。一般労働者の賃金は、ほとんどすべての国で意図的に緊縮財政が実施された結果、伸びるどころかむしろ下がっています。

成長モデル:

偽りのインフレ成長は、今後数か月から数年で崩壊する信用ベースの紙幣の結果です。人々は、すべての資産がバブルレベルまで膨張し、現在の紙幣価値のほとんどを失うことに気付くでしょう。株式や不動産は最大90%下落すると予想されます。今日では、この見方は投機的、あるいは不可能とさえ考えられているかもしれませんが、同様の下落は歴史上起こっており、当時は世界が現在直面しているような巨大な信用バブルはありませんでした。

この状況がいかに危険になっているかを認識し、理解している人はほとんどいないようです。まだ、このことについて語っている人さえほとんどいません。なぜなら、このバブルを引き起こした力を完全に理解するのは非常に難しいからです。たとえば、住宅価格が急騰したり、ハイテク株が利益の100倍で取引されているとき、それを見るのは容易ではありません。これらのバブルは、あまりにも長い間、あまりにも低い金利を中心に構築されています。企業、学生、自動車購入者に記録的な金額で、無責任なほど低い価格で非常に

危険なローンを提供することで、避けられない損失をカバーすることは不可能でしょう。

破産件数が過去最高に増加：

さらに、この大失敗は世界規模で、債券市場は株式市場よりもはるかに大きく、これは多くの金融専門家にはあまりよく理解されていない異常な状況です。これらは単なる作り話の予測ではありません。これが今まさに起きていることです。債務不履行率は急上昇し、主要指標は「ロールオーバー」し、巨額の損失がすでに積み上がり始めています。これらの出来事は、まもなく記録的な数の倒産を引き起こすでしょう。企業保証の膨大な負債の大部分は、2008年の不良住宅ローンのように、加速度的に悪化しています。これらの企業債務は、中央銀行が意図的にバブルを作ろうとしたために生じたものであり、政府主導による経済操作のあらゆる試みと同様に、これも失敗するでしょう。ただし、今回は、負債と債務不履行は2008年の住宅ローン危機よりもはるかに大きくなります。

最大の経済ハリケーン：

この世界的な信用バブルはどのようにして生まれたのでしょうか。通常、融資を行う際、貸し手は借り手に返済を求めますが、ZIRPおよびNIRP政策のおかげで、貸し手は借り手に融資の対価として返済します。これは明らかに**非常識な**政策です。なぜなら、正気な人なら誰もお金を貸しておいて、その特権に対して借り手に返済するはずがないからです。これは、世界中で貿易のための数兆ドル相当の負債で起きています。

政府は、つまり納税者の負担で、中央銀行が少なくとも15兆ドルの紙幣を印刷するのを支援し、債券価格を非常に高く操作したため、さまざまな社債の金利はゼロ以下になったと記録されています。この状況がいつまでも続くはずがないことは明らかです。遅かれ早か

れ、金利は自然なレベルに達し、銀行は破綻します。ドイツ銀行がほぼ破綻したように。

金利の上昇は本当の問題ではありません。本当の問題は、**債務不履行率の上昇**です。政府は理論上、債券価格をどんどん高くすることができますが、企業の信用力を高めることはできません。

2019年までに、世界中のほぼすべての国で数千億ドル相当の債券がデフォルトする可能性が非常に高いが、これはこの債務危機の始まりに過ぎない。これは「**史上最大の合法的な富の移転**」となるだろう。デフォルトする運命にある企業の株式を所有している人は、すべて破産することになる。この危機は、**世界の債券市場が爆発寸前の巨大なバブルであるため、合法的に富を築く最大のチャンスである**。

これを大局的に見ると、債券市場のベテランは、2021年までに約1.5兆ドルの債務不履行が発生すると予想している。これは住宅ローン危機で見られた債務不履行額を上回る。また、住宅ローンとは異なり、債務不履行となった社債の回収率は非常に低い可能性がある。いずれにせよ、債券バブルが崩壊しそうなときに何らかの債券を保有している場合は、できるだけ早く売却することが重要だ。

世界中で、政府は資本主義史上最大の経済ハリケーンを引き起こしました。政府は大量の紙幣を印刷し、世界経済全体をゆがめました。中央銀行は、これまでにないほど大きく危険なバブルを作り出しました。過去3年間、毎年、企業債務の額は新たな記録を打ち立てました。今日の債務レベルは、驚くほど奇妙で非常識です。投資家は、考え方が完全に洗脳されています。

- 投資家は、債券の利回りがマイナスになるのは当然だと信じるようになった。
- 生産量の減少は問題ではない。

- 企業が借金を返済できないにもかかわらず、その価値は数百億ドルにもなるのです。

今後 5 年間で、世界の企業債務の 10 兆ドル以上が返済期限を迎える。2008 年の住宅ローンの場合と同様に、企業債務のデフォルト率が転換点を超えると、世界の金融市場にミサイルが発射されることになる。

思い出してください、2008 年に債務不履行となった住宅ローンのわずか 10% が、本格的な金融危機を引き起こすのに必要でした。当時とまったく同じように、この有害な債務はどこにでもあります。

金利は上昇、株式と債券は下落:

借り換えの取り決めは、これらのローンが満期を迎えるずっと前に整えておかなければなりません。そのため、借り換えは突然、競争の激しい分野になりました。現在史上最高値となっている債券価格は、急落するでしょう。その結果、資本コストが急騰し、株価が暴落し、金利が上昇するでしょう。

一方、株式市場の成長は、ただ自然に起こったわけではない。QE のロケット燃料がなければ、株式は 36 年間にわたって年間 9% で成長することはなかった。

説明は非常に簡単です。**負債と同等の信用**が不動産市場を活気づける燃料を提供してきました。この分野の負債は 1981 年以来毎年 9% 増加しており、完全な信用爆発です。負債の増加と株式市場および不動産市場の成長の間には絶対的な相関関係があります。

史上最大の上昇の後、不動産が今や真の価値を表していると信じるのは非常に危険です。このバブルは、金利がゼロ、あるいはマイナスの、事実上無料のお金によっても煽られています。

金価格に換算すると、住宅価格は 1970 年代初頭にピークを迎えました。それ以来、金価格に対する平均的な住宅価格の下落率は 87% となっています。住宅価格はこの水準からそれほど下落しないと推測できますが、この市場における高水準の融資と低金利を合わせると、西側諸国の住宅価格は大幅に下落する可能性が非常に高くなります。

最低目標はおそらく 1980 年の価格水準に近づくでしょう。これは金に対して実質 50% の下落を意味します。しかし、この市場のバブル的な性質を考えると、75% から 90% の下落となる可能性が高いことに留意してください。

資産価格の下落とそれに伴う金の価値の上昇は、今後 5 年間で起こる可能性があります。これは、ほとんどの人にとって**広範囲にわたる苦難と大きな調整を伴うこと**になります。これは世界が過剰な負債なしに再び成長を始めるために必要な悪です。250 兆ドルの負債と数千兆ドルのデリバティブでは、世界経済が前進する可能性はまったくありません。この負債はすべて、それを支えてきた資産とともに崩壊するはずで

守護者としての金と銀：

金と銀は明らかに、来たるべき富の破壊から守ってくれるでしょう。貴金属の所有者は今世紀最大の富の移転のさなかに繁栄することができます。しかし、保有する貴金属は物理的で、金融システムの外で、できれば所有者の居住国外で保有する必要があります。金はまた、政治的に安全で金の精神を持つ国で保管する必要があります。他の資産が下落したときに、価値ある資産として生き残るのは金と銀だけです。

金と銀の価格の現在の調整は完全に無視されるべきです。これは操作によるものであり、一時的にドルが強すぎるのが原因です。今後のリスクに対してヘッジすることが重要です。金と銀を所有する

ことが、この破綻するシステムに対する最も重要な防御策です。金と銀を所有していない人は、莫大な金融リスクにさらされています。

金本位制への復帰:

[金本位制](#)への回帰の根拠となると考えられていますが、中央銀行は、これまで搾取してきたすべての国の銀行家をしっかりと掌握しています。世界のトップ銀行家たちの原動力となる目的と目標は、不当な特権を維持することであり、国民の利益は決して優先されていません。

中央銀行は人類を奴隷化するために考案されました。

有利な金利で長期貸付を行い、貯蓄口座に支払われる低金利で短期借入を行うことによって、銀行家が利益を増やせるようにする手段として考え出されました。

中央銀行は、莫大な負債を通じて国民とすべての国家を奴隷化する道具として創設され、その計画は、貪欲に駆り立てられた任命された銀行家によって実行されました。貪欲は、中央銀行に仕える従順な銀行家の原動力です。これらの機関は、銀行家を貪欲のあらゆる悪影響から絶えず救っています。

適切に運営されている銀行は、そのような不健全な金融ゲームを行わないため、中央銀行を必要とせず、またこれまでも必要としたことがありません。

ディープステートは、通貨システム内での通貨創造によって、我々を互いに対立させています。彼らは世界を戦場と見ています。人類を支配するために、彼らは通貨システムを通じて、不足、経済危機、恐怖、憎悪、不安、飢餓、戦争を作り出し、できるだけ多くの人々を殺害することを目的としています。アルカイダ、ISIS、IS、De ash などの組織やその他のテロリストグループは、これらの邪悪な

目的を達成するために、モサドや CIA のエージェントによって採用され、訓練されています。

アジェンダ 21 に書かれているように、不換紙幣と生産性のおかげで、貨幣制度は共通の交換手段として使用され、国民を相互に結び付けています。同時に、貨幣制度は私たちに対する武器としても使用されています。眠っている大衆が愚かさ、特に恐怖によってこの現実に目覚めない限り、彼らはこの奴隷化が暗黙のうちに続くことを許すこととなります。主流メディアとその嘘の助けを借りて、このプロジェクトは完了し、**私たち全員に大きな恐ろしい結果をもたらす可能性が**あります。

重要な問題は、世界金融システムに対するハザール人の支配をすべて排除し、その結果、人類の未来に良い影響を与えることが実現可能になることです。

人々が独自のゴールドスタンダードを作成する方法:

中央銀行が保有する大量の金は、明らかに国民の利益にはなりません。**金と銀が国民の手に渡ることが最も重要であり**、それによって金本位制への復帰が実現可能となります。

Quantity	Number of Indians	Total weight tons
10 tons	100	1,000
1 ton	5,000	5,000
.5 ton	10,000	5,000
100 kg. (3215 oz)	50,000	5,000
10 kg. (321.5 oz)	500,000	5,000
1 kg. (32.15 oz)	5,000,000	5,000
100 gr. (3.2 oz)	100,000,000	10,000
5 gr. (a gold ring)	1,000,000,000	5,000
Totals	1,105,000,000	41,000 tons

インドは、少なくとも13億人の国民が大量の金を保有している国の好例です。

インド中央銀行が保有する金について聞いたことがある人もいるだろうが、インド人が何千年もの間金を貯蓄してきたことはほとんど語られない。インド人は金を宗教的な畏敬の念をもって扱っており、それは金が実際にヒンズー教の一部を構成しているからである。

11億500万人以上のインド人が4万1000トンを保有していることを知っている人はほとんどいません。金本位制の準備ができている国があるとすれば、それはインドです。

インドは、官僚制度が極めて腐敗している国として知られています。さらに、個人の自由を守る条件として、不名誉な規則がインド人の精神に組み込まれています。たとえば、インド人は鉄道車両の屋根に乗って旅行してはいけないことになっていますが、彼らはいつもそうしています。

健全なアナキズムの形での公民的不服従は、健全な国家の兆候となり得る。それは、何に対して不服従なのかによって決まる。

所得税の回避は完全に正当化される。インドのモディ首相は、キャッシュレス社会でインド国民を一斉に取り締まり、所得税の支払いを強制しようとしている。インド国民のごく一部だけが税金を逃れられるのである。インド国民の手にある紙幣の大半は違法であると宣言している。

その結果、インド人は必死になって自分たちの富を金に変えようとしている。インドには頭脳が乏しいため、残念なことにモディ首相は、少なくとも国のGDPの半分を占めるインドの非公式市場から「ブラックマネー」を摘発しようとしている。その過程で、彼は10億人を超えるインド人の考え方や生活様式、つまり何千年の間彼らが守り、大切にしてきた生活様式を変えようとしているのだ。

欠陥のある通貨システムはエリート層にのみ役立つ:

時代は変わりつつあります。システムは崩壊し、市場はなくなり、すべての市場が操作されています。エリート層にのみ役立つ欠陥のある金融システムから生じる根本的な問題と、世界のニーズを満たすために必要な利用可能なエネルギーの減少により、大きな経済的混乱が世界を壊滅させようとしています。例として、[エクソモビル](#) 破産に向かっているようだ。これを予期する人はほとんどい

ないため、実際に起こった場合、すべての西洋人にとって大きなショックとなるだろう。

コミュニティ通貨が人気を集めています。

バルセロナは順調に進んでいる 計画を策定する際に 将来のローカル 来年導入予定の仮想通貨。イギリスのブリストルの例を注視している。イングランド南西部の都市が仮想通貨を導入してから4年が経った。ブリストル・ポンドは、ポンドと並行して運用される通貨で、地元のビジネス部門の振興を目的としている。「ブリストル市長は、給与全額をこの地域通貨で受け取ることに同意した」と報じられている。

この大惨事を回避するために協力しましょう。十分な数の人々がすぐに目覚めれば、そうすることは本当に実現可能な可能性があるからです。

ジローナのレストラン もこのトレンドに加わり、すでに現地通貨での支払いを受け付けていると評判です。

一方、現在の苦境の深刻さを認識している人々は、金や銀を格安、あるいは高値で購入しています。価格には何の意味もありませんが、これを理解するには知恵が必要です。

私たちが住む幻想の世界：

これは現実と空想の違いがわかる人がほとんどいない世界です。あるいは、違いなどないのかもしれませんが。米国の選挙と候補者だけを見ても、大西洋のこちら側から見ると、完全に空想のようです。2016年に正しく予測されたように、多くのことが起こり得ますが、外から見ると、米国の次期大統領はドナルド・J・トランプになるでしょう。彼が事前に殺害されない限り、または選挙が失敗しない限りは。徹底的に不正操作された。好むと好まざるとにかかわらず、この結末はすでに確定している。ロスチャイルド家の信奉者で

ある詐欺師ヒラリー・クリントンが勝利するには、絶対的な奇跡が必要になるだろう。勢いは彼女に不利に傾いているからだ。

ほとんどの人は、自分たちが本当の民主主義の国に住んでいないことに気づいていません。特に米国では、大統領は選挙で選ばれるのではなく、他のほとんどの国家元首と同様に選ばれます。何世紀にもわたってこのやり方が続けられ、しっかりと定着し、二度と疑問視されることはありませんでした。JFK が、すべてをコントロールする邪悪な金の支配者たちに立ち向かおうとして殺された後、**人々の投票は意味をなさないのです**。スターリンは、このことをすべて知っていて、こう言いました。

「投票する人は何も決めない。投票を数える人がすべてを決める。」

アメリカ政府と西半球の他のすべての国を支配するディープステートの陰謀団は、世界の通貨や金融システム、メディア、さらには宗教、そして重要な他のほとんどすべてのもの。中央銀行の役割に疑問を呈する勇気のある人は、米国の選挙の政治舞台から排除されました。ただし、賢明にもシステムに疑問を呈したことがなく、ロスチャイルド・ハザール・マフィアを排除し、通貨システムを変更できる唯一の人物であるドナルド・トランプを除きます。

残念ながら、ほとんどの人がまだシステムの仕組みを解明していないため、ゲームは続くでしょう。人々が一斉に目覚め、この幻想的な世界の欺瞞と詐欺に気づかなければ、状況はさらに悪化し、これらの銀行家たちが支配権を握り続ける限り、状況はさらに悪化するだろう。

住宅を所有することと抵当に入れることの違い：

自分が所有する家とそして、その価値の 100% を抵当に入れた家はどうか？ どちらも同じように見えます。どちらも同じサービスを提供します。どちらも同じ維持費で、どちらにでも住むこ

とができます。しかし、市場が暴落すると（それは必ず起こります）、2つの家はまったく別物になります。所有している家で幸せに暮らすことができます。それはあなたの資産です。もう1つは、すぐにわかるように、負債です。

国民からどれだけのお金が奪われたのでしょうか？

RKM 陰謀団は紙幣を使って、私たちから本当のお金と本当の独立を奪っています。すでにどれだけのお金が盗まれましたか？ 1913年にシステムが確立されて以来、それは難しいですが、おそらく50兆ドルでしょうか？ 確かなことは、1%の富裕層と残りの私たちの間の富の格差は、日々ますます広がっていることです。政府と中央銀行は、嘘とプロパガンダを組み合わせた金融抑圧を通じて、信じられないほどの富を得たこの少数のエリートの利益のために、一般の人々の苦しみを長引かせることに成功しました。この巨大な不平等が社会不安、そして最終的には革命を生み出し、現在世界中で発生している問題は、おそらくその始まりです。

こうした不正を止めるために、何をすべきでしょうか？ - 世界の主要通貨が直接的または間接的に金に裏付けられていない場合、本当に価値のあるものを買うために、どれだけのドル、ユーロ、円を印刷しなければならないでしょうか？ これらの通貨が何らかの形で金や銀に裏付けられていない場合、その価値は印刷された紙幣の価値しかありません。これは極端な結果のように思えるかもしれませんが、実際に起こり得ることです。ですから、**人々はすぐに目を覚ます必要があります。さもなければ、暗い未来に直面する準備をしなければなりません。**

中国の金：

中国は、7万トンの金（おそらくそれ以上）を購入するのに十分な資金を楽々と保有しており、世界の金市場を支配するのに十分な資金であることは間違いない。中国がどれだけの金を蓄積しているか

は定かではないが、最近ともに大幅に上昇した金と人民元の動向は、貴金属の蓄積を早急に開始する必要があることを示している。

中央銀行家たちは、紙幣こそが真の富であると偽っている。紙幣を経済にさらに注入し、借入れをより容易かつ安価にすることで、彼らは実際に裁きの日を先延ばしにしようとしているのだ。

「1970年以降、金融業界は米国経済に占める割合がほぼ3倍になり、民間信用は先進国のGDPに占める割合がほぼ3倍になった」とギルダー氏は新著『マネーのスクランダル』で書いている。

資本主義ではなく、中央計画と縁故主義です。

中央銀行家たちは通貨システム全体を歪めました。信用のインフレによって資産価格が上昇し、資産を売買する人々に大きな利益がもたらされました。また、資産を所有する人々、つまり富裕層にも利益がもたらされました。

「1971年、給与所得者の上位10%が国民所得の33%を占めていた。2010年までに、彼らはほぼ50%を占めるようになった。一方、労働者階級のアメリカ人男性の平均賃金は27%下落した。大学教育を受けていない人にとって、この損失は壊滅的だ。彼らは実質所得のほぼ半分を失ったのだ。」

「市場もまた幻想であるようだ。そうでなければ、ダウが2000年の高値から63%も上昇しているのに、ユーロ・ダウ50種株価指数は同時期に45%下落し、新興市場は36%、ブラジルと香港は35%、日経平均は25%、上海は49%すべて2014～2015年以来下落しているのに、どうしてそうなるのだろうか。」

それは、現実を無視できる多くの有能な奇術師がいる、完全に相互接続された世界経済です。

企業収益は急速に減少し、経常収支と財政赤字は半世紀にわたり続き、労働力に属さない人は9500万人、フードスタンプ受給者は約5000万人、第2四半期のGDPは1.2%（実質インフレ率を適用すればGDPはマイナスとなる）、さらに200兆ドルを超える債務が急増している…

「資本主義の失敗」と経済学者たちは言う。政策専門家やベストセラー作家、元財務長官など、皆そうだ。だが、1971年以降に導入されたこのシステムは資本主義とは何の関係もない。それは中央集権的な計画と縁故主義だ。そしてその尺度である米ドルは本物のお金ではない。それは偽物だ。

ドイツ銀行「システミックリスク」

実際、IMFは先月、ドイツ銀行が世界の金融安定にとって最大のリスクであると宣言した。リーマン・ブラザーズは2008年の破綻前に31対1のレバレッジをかけていた。ドイツ銀行のレバレッジは現在40対1を超えている。ブッシュ、クリントン、CIA、アンゲラ・メルケルが率いたナチスドイツのドイツ銀行のデリバティブ債務は現在98兆ドルに達し、世界の金利回り曲線は暴落寸前だ。このバランスが崩れたらどうなるか想像してみしてほしい。間違いなく崩れるだろう。公的機関であれ民間企業であれ、借り手は事実上、わずか2、3%高い金利を負担できる者はおらず、最低でも15%や20%の金利は絶対に負担できない。[ジム・ウィリーの 30分以降から分析します](#)

。

デリバティブ専門家のイダン・レビトフ氏はドイツ銀行を「時限爆弾」とまで呼んでいる。

デリバティブへの過剰なエクスポージャーにより時限爆弾となっている機関の1つがドイツ銀行です。世界的に非常に大規模でシステム上重要な多国籍銀行の1つであるドイツ銀行のバランスシートには、ウォーレン・バフェットが

「金融大量破壊兵器」と非難したようなものが、地球上のどの銀行よりも多く含まれています。

一方、世界の債券バブルは今や驚異の 100 兆ドルに達しています。そして、500 兆ドルを超えるデリバティブ取引は債券利回りに基づいています。この債券バブルがはじけたら、世界は大混乱に陥る一方で、市場は 1999 年のように盛り上がり続けるでしょう。差し迫った崩壊と起こりうる暴落は、予想以上にひどいものになるのでしょうか。強気派は、いつまですべてが順調であると見せかけることができるのでしょうか。

「はい、そうなる可能性は高いです。でも、彼らがいつまでそのふりをし続けるのかはわかりません。」

お金、経済の心臓部：

あらゆる経済の中心にあるのはお金です。お金は物差しです。お金は、物の価値、投資できる金額、何をする価値があり、何をする価値がないかを示します。お金、特にそれが得る利子率は、いつ拡大し、いつ縮小するかを決定します。いつもっと頑張るべきか、いつ手を緩めるべきかを決定します。どの方向に進むべきかを決定します。

アジアとロシアが米国財務省の国債発行機に資金を提供しなくなった今、連銀は政府の資金を維持するために通貨供給量を過剰にインフレさせざるを得ない。日本は、連銀が米国株式市場を操作し、米国財務省の無制限の国債発行に資金を提供できるように、米国政府が事実上の国債発行機として円を使用することを支持し続けているが、西側諸国の通貨・金融システムにとって、これはまさに前兆であると見ている。

しかし日本は静かに[経済的に中国に目を向けている](#)。過去数年間、米国は自国の金融市場と経済システムを発展途上の東側諸国の通貨システムに統合しようとしてきたが、その通貨システムは最終的には

金本位制になる可能性があり、米国にとっての終局を告げるものとなる可能性が高い。

西洋の覇権を打ち破る：

中国は西側諸国の覇権に対する競争相手として台頭してきたが、その台頭は不十分とみなされ批判されている。中国は経済を活性化させるために国が後援するインフラ投資を導入しており、繁栄する民間部門はリスクと投資を反映して標準化された利回りで借り入れることができる。当然のことだ！

同様に、中国の過剰投資が商品の氾濫を引き起こすという非難も見当違いだ。中国は投資を行っており、インフラを整備する必要がある。これは、投資を犠牲にして消費を借金で賄っている西側諸国とは対照的だ。

政策立案者や西側メディアは、中国経済が不正に操作されていると非難している。それとは逆に、西側諸国の方が不正が横行しており、LIBOR金利設定スキャンダルやロンドン金価格固定相場制など、通貨から金利まであらゆるものを銀行家が操作していることが明らかになっている。

グローバル銀行システムの幻想：

世界的な銀行システムはさらに大きな幻想です。

2006年に金融システムは破綻したが、世界中の政府と中央銀行は25兆ドルを注入し、銀行がすべての不良資産を時価ではなく満期時に評価できるようにすることで、なんとか修復した。12年後の今、金融システムは2006年よりもさらに悪い状態にある。世界の負債はそれ以来65%、140兆ドルから230兆ドルへと飛躍的に増加した。そしてこの数字には、さらに約2千兆ドルの未返済債務とデリバティブは含まれていない。私たちが見ている総負債は世界のGDPの30倍以上だ。しかし

、これは誤った比較だ。毎年GDPの5%を貯蓄して負債を減らすことができるということもできるが、それは非常に楽観的だろう。いずれにせよ、GDPの5%ではすべての負債をなくするのに600年以上かかるだろう。しかし、計算してみれば、世界は破綻しており、負債を返済することは決してないだろう。また、債務はゼロを超える金利で返済されることはありません。

錯覚的なストレステスト:

世界の銀行は、虚偽のストレステストを受けたばかりだ。ポルトガルやギリシャなどの国は、銀行が破綻しているため除外された。基準は、イタリアのモンテ・デイ・パスキを除くすべての銀行が合格するように設定された。この銀行が破綻していることは世界中が知っていたため、不正行為は不可能 その結果は、幻想の世界では、残りの銀行はすべて健全であると考えられていました。銀行が不良資産を満期時ではなく市場で評価していたら、今日、存続している銀行はなかったでしょう。

経済は終焉を迎えた。

世界的な債務バブルが最高潮に達すると、中央銀行は国家債務と金融システムを救うためだけでなく、未返済債務とデリバティブをカバーするためにも紙幣を印刷するだろう。これにより、マネーサプライが数千兆ドルも増加し、とてつもないハイパーインフレを引き起こすだろう。

経済活動の規模に比べて、システムに投入されるお金の量が多すぎます。ドルの在庫が膨らむことで、人々は通貨への信頼を失っています。そのため、企業は自社株を含めた資産を購入しています。企業は経済成長に投資していません。

今日の問題は、FRBや中央銀行の政策立案者を含む多くの人々が、債務ベースの通貨の継続的で終わりのない発行は富を生み出さず、

経済活動を刺激することさえないことを理解していないことです。もしそうなら、今日の生活水準は上昇しているはずですが、ご存知のとおり、そうではありません。もちろん、これは政治的変化につながっています。Brexitはこの変化の一例にすぎません。

だからこそ、今後数年間でダウ平均株価が 40,000 に達する可能性は十分あり、そうなれば米国株式市場は今日より 2 倍になる。ダウ平均株価と金の比率が 1980 年のように 1 になれば、金は 40,000 ドルになる。しかし、この比率はさらに下がり、おそらく 0.5 に達すると予想され、そうなると金は 80,000 ドルになる。もちろん、誰もこれが可能だとは思わないだろう。経済が今や限界に達していると認識している人はほとんどいないからだ。

今回、ドイツのワイマール共和国危機や、最近ではジンバブエ、アルゼンチン、そして現在ベネズエラで起こっている危機との違いは、近い将来に迫るこの危機の規模があまりにも巨大であるため、システムを救える国も中央銀行もないという点です。 - このため、まず世界がかつて見たことのないような大規模な紙幣印刷が行われることとなります。ジレンマは、債務問題は債務を増やしても解決できないため、最終的にはシステムがデフレ的に崩壊することです。そして同様に、金と銀は、1920年代初頭に金が100マルクから100兆ドイツマルクに上昇したときのように、急騰するでしょう。 - このシナリオでは、物理的な金と銀は少なくとも購買力を維持し、株式、不動産、債券などのすべてのバブル資産を上回るパフォーマンスを発揮します。

何があろうと世界規模の崩壊は起こる：

世界の準備通貨は大幅に過大評価されており、借金と経常収支および財政赤字がますます増えている米国経済の状況により、ドルはまもなくその本質的価値ゼロへの最終段階に入るだろう。これは 100 年にわたる競争であったが、主要通貨の中でドルが最初に底値に達することは今や明らかであるように思われる。これは債務市場と株

式市場の両方に重大な影響を及ぼすだろう。ドルの下落の最大の受益者は金と銀である。

世界経済は弱く、ブラックスワンがいつ襲ってきてもおかしくなく、すべてが崩壊する可能性がある。ジョン・ウィリアムズが主張するように、次の崩壊は史上最大のものとなるだろう。

「これは間違いなく、何世紀にもわたって人々が語り継ぐ世界クラスのイベントとなるでしょう。」

「すべてのハイパーインフレの元凶が始まったことをどうやって知るのか？」という質問に対して、ウィリアムズはこう答える。

「ドルの下落が見られ始めると、打撃を受けるだろう…

連邦準備制度理事会が吸収しなければならないドルは莫大な額になるだろう。ドルがパニック的に下落し始めたら、それはすぐに起こる可能性があるのも、本当に注意が必要だ。まずドルの下落が見られるだろうが、ドル売りの引き金となる可能性が高いのは、量的緩和への回帰である。

では、ハイパーインフレ不況がいつ来るのでしょうか？ ウィリアムズ氏はこう言います：

「いつ危機に陥ってもおかしくありません。経済、世界金融システム、銀行システムにとって状況は安定していません。選挙前に何らかの銀行危機が発生し、FRBが量的緩和（紙幣増刷）に踏み切らざるを得なくなるかもしれません。FRBは選挙後まで状況を安定させるために全力を尽くすと思います。ですから、ドル売りは選挙後に起こる可能性が高いでしょう。ドル売りが始まれば、早期の段階が見られると思います。 ハイパーインフレ 1年以内にはそうなるでしょう。」

重要：

幻の金や紙の金を所有しないことは非常に重要です。脆弱な銀行システムの外で保管される物理的な金と銀でなければなりません。物理的貴金属は、正しく保管されていれば、完全に腐敗した金融システムに対して貯蓄者が所有できる最良の保険です。

政治家が激怒 - 中央銀行の詐欺を暴露

2004年から2014年まで欧州議会議員を務めた英国の政治家ゴッドフリー・ブルームは、[中央銀行詐欺](#)。

バビロニアのディープステートの終末は地上に地獄をもたらすだろう。

ワシントンDCに拠点を置く支配者、ディープステート・カバールは、西側世界を乗っ取り、私たちの富をすべて奪い、すべての国を破壊し、彼らの個人的な利益のために戦争の連続を生み出そうと懸命に働いています。

地球上のすべての悪の根源は、バビロニアのタルムード陰謀団、別名ディープステート、ロスチャイルド・ハザール・マフィア（RKM）である。

グローバリスト、エリート、体制、同胞団、しばしば略してカバールと呼ばれる。彼らはグローバリストの新世界秩序（NWO）アジェンダの推進者であり、このアジェンダは既に、ほとんどあらゆる方法で意図的に私たちの経済と生活に深刻なストレスを与えている。

現在、世界は一握りの犯罪者の支配下にあります。彼らはバビロニアの貨幣魔法奴隷制度、通称貨幣準備制度を作り上げました。この制度は私たち全員を完全に支配し、奴隷化する力を持っています。私たちはお金を稼ぐために働かなければならず、働かなければ食料、エネルギー、衣服、住居などが得られないからです。社会は働き、競争することが期待されています。私たちは皆、より一生懸命働

き、より多くのお金を稼ぐよう駆り立てられています。これが私たちの時間のほとんどを占めています。

私たちには、考える時間も、夢を見る時間も、創造的な衝動に従う時間ありません。やりたいこと、思いつくアイデアはすべて、たいいお金がかかりますし、趣味もすべてお金がかかります。このシステムによって完全に束縛されていると感じ、希望を失ってしまう人もいます。彼らは、何らかの救済を求めて麻薬やアルコールに頼ります。

カバールが実際に教えている内容を研究すればするほど、その秘密の教えが西洋世界の、そして最終的には全世界の自然な社会秩序の破壊を主張していることが確信できるようになります。最終目標は、地上に地獄をもたらすことです。これまでのところ、彼らは世界の多くの国でこれにかなり成功しています。彼らは特にアフガニスタン、イラク、リビア、イエメン、ソマリア、シリアで大規模な戦争を引き起こし、罪のない民間人、特に女性と子供たちを大量虐殺しました。

今のところ、インターネットは目覚めた大衆にこのことを知らせるのに役立っていますが、そのプロセスは遅く、残念ながら大衆の大多数は主流メディア（MSM）から真実が提供されるまでは真実を信じないでしょう。これはすぐには起こりそうにありません。なぜなら、マスメディアは違法な独占として機能しているCIA管理のニュースカルテルを通じて配信されており、できるだけ早くバラバラに分割されるべきだからです。

ディープステートには13の犯罪組織が含まれます。

バチカンが秘密結社の精神的拠点であり、ロンドン市は秘密の金融拠点であり、ワシントンDCは秘密の軍事および操作の拠点である。

ディープステートには、イエスの団体を完全に支配している 13 の犯罪一家が含まれます。イエズス会、ハイグレー 10 人評議会、ブ

ラック ポープ、ホワイト ポープ、その他よく話題になるものすべて、世界中のすべての王国などです。これらは、いわゆる蛇の複雑な頭脳/頭脳を構成する一家です。自らをルシフェリアンの半神と称し、自らの神（金、石油、麻薬）帝国を統治しています。

イギリス女王、ロスチャイルド家、ブッシュ家、クリントン家、ロックフェラー家、ローマ法王、イエズス会の隠れた階層など、絶対的な権力の座にある人々は、皆、一つの大きな幸せな血縁家族です。彼らは皆、お互いにいとこ、甥、叔父、姪なのです。

世界で最も権力のある男はグレー・ポープ、彼の名前はペペです。オルシーニはイタリアのどこか、おそらくヴェネツィアかバチカンに住んでいます。

彼は、今ではどちらも平民となった黒の教皇と白の教皇を支配しています。灰色の教皇は常に姿を見せません。

世界人口が90%減少:

はるか昔、彼らは世界人口の 90% 削減を含むと想定された破壊計画を立案しました。その手段には、永続的な戦争、偽旗攻撃、テロ、麻薬取引、致命的な紛争、仕組まれた犯罪、フェイクニュース、そして、人工的に毒性のある遺伝子組み換え食品、ワクチンの毒性添加物、飲料水中のフッ化物、ケムトレイルの形で上空に散布される毒性化学物質など、さまざまなタイプのソフトキラーなど、数多くの洗練された手段が使われました。Wi-Fi、ブルートゥース、スマートメーター、スマートフォン、電子レンジなど、健康を脅かす危険な周波数、そして最も危険なのは、空港のセキュリティチェックポイントにある超地球高周波ボディスキャナーで、人間の生殖器官を破壊し、人々を不妊にするなどです。

[シオン議定書に概説されている彼らの計画は何か](#)、彼らは誰に仕えているのか、そして[彼らが行う比類のない純粋な悪事](#)について、大

衆が知らないことが、世界中で大衆が立ち上がり、フランス革命のときのように肅清を繰り返すことを妨げているのだ。

人類を強制的に陰謀団に服従させる：

危機に瀕している通貨制度は、まもなく崩壊するだろう。陰謀団は、第3次世界大戦を開始することで、その責任を転嫁するだろう。彼らの考えでは、地球上の真の持続可能な人口は5億人であり、65億人が死ななければならない。そして、早ければ早いほど良い。一方、遺伝子組み換え食品のせいで、人口は大規模に不妊化され、生殖能力が減少する。そして、彼らは、残った人間を自分たちの遺伝子組み換え派生物に置き換える計画を立てている。この段階に至るまでに、人々の生活水準を引き下げることがあり、それは過去数十年間に顕著に進行している。最終目標は、広範囲にわたる深刻な貧困、[人類を陰謀団に服従させる](#)。

経済は生産性に欠けている：

人々の生活水準は、利用可能な富のレベルを定義します。これには、収入、資本投資、雇用率、貧困度、住宅の質と手頃な価格、医療へのアクセス、教育の質、平均寿命、商品とサービスのコスト、インフラストラクチャ、経済的および政治的安定性、気候と安全性が含まれます。つまり、すべての人々または国の平均的な生活の質です。

不況の際には生活水準が崩壊寸前であり、現在、西洋諸国や日本ではそれが起こっています。しかし人々は、心配することはないかのように生活し続けています。実際、政治家はこの問題に注目を集めたくありません。その代わりに、彼らは「量的緩和」のような計画でこれらの損失を「ごまかし」ます。これらのプログラムは、経済の生産性を高めることにはまったく役立ちません。むしろ、人々がいかに貧しくなっているかに気付かないように、価格を上げます。

不良債権を隠蔽しようとするこうした取り組みは、次の 2 つの理由から、効果がなく、これまでも効果があったことはありません。

- 中央銀行の資産基盤を通じたお金の高騰は、最終的に物価上昇を引き起こし、あなたの貯蓄や何百万人もの人々の貯蓄、そして賃金の価値がすべて実質的に下落することを意味します。そして、それは今日起こっています。それが私たちの生活水準が急速に低下している理由です。
- インフレの影響は、中央銀行の資産基盤の拡大、雇用の回復に必要な主要な産業資本投資の遅延または中止に加え、経済へのさらなる影響に関する不確実性などから、世界中で発生しています。

残念ながら、このことを理解している人はほとんどいません。ほとん

どの人はいまだにこれまでこのことについて考えたことがなく、その結果、自分を守るために十分な対策を講じていないのです。私たちの生活水準は、大恐慌以来、最も速いペースで低下しています。具体的には、実質所得の中央

値は 2008 年後半から 9.8% 低下しています。さらに、人々は資産の約 8.6% を失っています。一般的に、1960 年代以来の真の生活水準は 40% 低下しています。



1960年代以降の生活水準は40%低下しました。

私たちの経済で実際に何が起きている、それが私たちの生活水準に影響を与えているのかを知るには、金という健全な通貨のレン

ズを通して株式市場の価値を見てください。他の健全な通貨と同じように、金はドルやユーロ、実際すべての紙幣が健全ではなく、私たちの経済のあらゆる価値を歪めていることを明らかにします。次のグラフをご覧ください。

ここでは、S&P 株価が金で表されたときに、私たちの経済と生活水準に実際に何が起きているかが示されています。ほとんどの人はこの関連性を理解しないでしょうが、この場合、ドルの価値に何が起きているかは明らかですが、他のすべての紙幣にも同様に起きています。実際には、すべての価値が歪められています。



政府が借金を増やし、紙幣を刷ることであらゆる問題をごまかし続けている中、実際に何が起こっているのかほとん

どの人は理解していません。しかし、借金がどんどん増えても債務危機は解決しません。紙幣を刷ってもインフレを反転させることはできません。むしろインフレを加速させ、事態をさらに悪化させます。これは疑いの余地なく、**紙幣は犯罪であることを示しています**。

何の改善もなしに何兆枚も印刷する：

紙幣を印刷することで、政治家は債務者を救済するために、債権者や貯蓄者など一般大衆から金を奪うことができます。紙幣は人々から価値を奪い、無謀な借り手に与えるために使われる道具です。政府が政治的、経済的に支配権を維持することが目的です。

何兆ドルやユーロを新しい通貨として印刷しても、経済には何の改善効果もありません。それは単なる嘘です。何よりも最悪なのは、

この新しいお金が、そもそもこの危機を引き起こした人々の手に渡ってしまうことです。たとえば、Genworth Financial のこのグラフをご覧ください。これは住宅ローン保険/生命保険会社です。

「不良資産救済プログラム（TARP）による7000億ドルの資金と、
2兆ドルの量的緩和（QE）を実施していたら、住宅ローン保険部門の損失でジェンワースが破綻していたことは間違いない。しかし、実際にはそうはならなかった。ジェンワース・ファイナンシャルは、2009年春から2010年春まで米国で開催されました。」

「中央銀行が量的緩和政策を続ける限り、ジェンワースはその利益を維持した。そして2011年夏にようやく量的緩和政策が終了したとき、ジェンワースに何が起きたと思いますか？」

チャートを見なくてもすでに推測できるかもしれません。

「紙幣は最大の敗者、つまり最大のレバレッジをかけた最悪の賭けをした企業を支援し、少なくとも一時的には、その企業を最大の勝者に変えるのです。」

これを実現するために、一般の人々はインフレと生活水準の低下を通じて莫大な目に見えない税金を支払い、その結果、次のような事態が発生します。

「大恐慌以来最大の実質賃金の低下」

実質インフレ率：

消費者物価のインフレ率は、おそらく公式発表の2倍だ。毎日1500万件のオンライン価格を収集しているMITの最近の集計によると、価格は年間3.6%も上昇している。これは公式のフェイクニュース率

のほぼ2倍だ。断言するのは難しいが、現金保有で年間2%か3%の損失が出ている可能性がある。ヴォルテールが私たちに思い出させてくれるように、紙幣は最終的には必ずその本来の価値、つまりゼロに戻る。

危機が訪れると、電子マネー処理システムの広範囲にわたる障害が伴う可能性が高くなります。電力網やインターネットにも影響が出る可能性があります。何百万ドルものビットコインを持っていても、アクセスできなくなる可能性があります。ポケットに入れて持ち運べる金貨や銀貨には、コードも電源もインターネット接続も必要ありません。

金持ちはますます金持ちになり、貧乏人はますます貧乏になる。

政府の富裕層や権力者、そして彼らの内部関係者には、単に彼らの支援者や取り巻きを救済することによって、残りの我々を貧困に陥れる権利はないはずだ。

遅かれ早かれ債権者や国民は、私たちのお金に何が起きているのかに**気づくでしょう**。そして彼らは激怒するでしょう。ウォール街占拠運動に表れている怒りを見てください。彼らはあらゆる問題を資本主義のせいにしてしています。しかし、これは資本主義とは何の関係もありません。紙幣は社会主義者マルクスの考えでした。しかし、それを彼らに説明してみてください。起きていることは犯罪です。これらの大規模な操作の結果は、何十年にもわたる不信と社会不安につながる可能性があります。

こうした紙幣の大量発行によって必然的に生じる価格インフレは、ようやく今になって現れ始めたばかりです。最悪の事態はまだ来ていません。そして、それは本当に壊滅的なものになるでしょう。あなたにできる最善のことは、金や銀を購入して購買力を守ることで

す。それが、ハリケーンのように着実に近づいている今後の混乱を生き延びるための最善策です。

衝撃的：CIA内部告発者が**暴露** ディープステート、ケムトレイル、JFK、偽旗作戦など。

ケビン・シップは、勲章を受けたCIA職員からCIA内部告発者になった人物です。彼は、気候工学、地理工学、ケムトレイル、ワクチンの危険性、そして9/11について声を上げています。

31. 銀行家は犯罪者だ

- 新しく創造されたお金は計算されません：
 - 受託者責任の復活・ 財産没収：
- キャッシュレス社会は人々を陰謀団の支配下に置く：

批判的思考力の欠如：

ほとんどの人は批判的思考に欠けていますが、今こそ私たち全員が**真実で武装する時**です。ですから、読み進めてこの知識を広めてください。この主題は私たち全員に影響を与えるのでとんでもないことです。通貨システムはトップダウンで腐敗するように作られています。最悪なのは、それが**不正な会計慣行に基づいて構築されたこと**です。獲得した通貨創造の力があれば、銀行が破産することはありません。銀行は必要なす



べてのお金を作成するだけで、それを元帳に**記録しません**。言い換えれば、このお金は銀行のキャッシュフロー口座に計上されていません。銀行には、何もないところからお金を作り出し、利息を付けて貸し出す力があります。つまり、高利貸しです。

しかし、あまり知られていないのは、貸し付けられたローンも帳簿に記録されないということです。つまり、負債がなく、お金を生み出す力があるため、銀行は破産しません。したがって、**返済されないローンや一部しか返済されないローンは、銀行にとって損失にはなりません**。返済されたローンのわずかな金額と利息はすべて、銀行にとって 100% の利益です。

たとえば、100 ユーロが発行され、貸し出され、元帳に記録されず、20 ユーロのみが返却された場合でも、銀行はすでに 20 ユーロの利益を上げています。これは、貸し出しにロンダリングされたこの架空の資金の残りの 80 ユーロが債務に対する請求として記録されたことがなく、そのため損失が発生することはないためです。

だからこそ、20ユーロの返済は銀行にとって純粋な利益となるのです。これこそが、故意に不正会計を中心とする**銀行業界の大秘密の核心であり**、架空のお金の創造と相まって、銀行業界に絶大な権力を与えているのです。

お金の創造の本当の秘密は、それを計算に入れないことにあります。

お金の創造の本当の秘密は、それが帳簿に記録されないことです。したがって、貸借対照表に負債がなく、お金の創造力を備えた銀行は、決して破綻することはなく、どんなギャップも埋めるのに十分なお金が常にあるため、金融銀行のトラブルは存在しません。現実には、お金は貸し出された瞬間にコストをかけずに無から創造され、このお金は意図的に銀行の帳簿に記入されません。

銀行家たちは、お金の創造に関して、とんでもないほどずる賢い。彼らは、他の皆と同じように、お金が創造されたら、それを帳簿に記録して貸借対照表に載せなければならないことをよく知っている。

この手続きについて専門家に質問しても、彼らは答えようとしなかった。すべては沈黙を守っている。その間、世界は何も無いところからお金が創造されていることに気づき始めている。そのお金は決して銀行の金庫から出てくるものではない。しかし、この会計詐欺について知っている人は誰もいない、あるいはおそらくごくわずかだろう。

例えば、住宅ローンが滞納すると、銀行は資産を没収するだけでなく、そのローンの返済済み部分と資産は銀行の利益となる一方、「債務者」は資産が競売にかけられるまでローンの未払い部分について責任を負い、未払いローンと売却価格に差額が生じた場合、債務者は依然として返済義務を負う。そして、この恐ろしい詐欺行為により、ハザード人は政府を含む地球上のあらゆるものやすべての人を買収し、操作する力を得るのである。

銀行家による詐欺：

一般的に、銀行の会計システムが詐欺であることは知られていない。銀行は、デフォルトが発生したときの費用は記録するが、新しいお金はキャッシュフローに記録されない。しかし、資産の創出が計算に入れられていないことが、銀行の会計システムを耐え難い詐欺にしている。さらに悪いことに、銀行は、決して起こり得ない差し迫った破産について国民に告げるが、それは、例えば、2008年に大きすぎて潰せない銀行に何兆ドルもの納税者のお金が注入された例のように、国庫からさらに多くのお金を引き出すためである。

中央銀行や商業銀行は、現金口座に記録されるべきお金が創造されているため、決して破産することはありません。

銀行がこの慣行を維持できるのは、銀行が誰に対しても責任を負わず、おそらくロスチャイルド家に対してのみ責任を負っているからである。他のすべてのビジネスと同様に、銀行はGAAP会計ルールを適用すべきであるが、これは故意に尊重されていない。KPMG、プライスウォーターハウス、ロイズなどの外部の公認監査人さえ、これらのGAAPルールが満たされていないことを十分に知りながら、口座を認証している！銀行は国民にそうではないことを伝え、破綻寸前であると偽って政府に財政支援を求めているが、これはまたしてもあからさまな嘘であり、それはすでに法律で広く受け入れられているベイリン法を通じて口座保有者が略奪される兆候である。人々は今頃、銀行にお金を預けておくのは非常に危険であることを理解しているはずだ。

幻のお金は市場を操作し、借金奴隷状態を生み出します。

今では、特に金と銀の価格に関して、市場操作がどのように機能するかについても、よりよく理解されるようになりました。

銀行は銀や金の価格を下げるために大量の架空のお金で賭け、負けても偽のお金を失うだけで、銀行の金庫からお金がなくなることはありません。彼らは金儲けのために賭けているのではなく、市場の価格を操作するために賭けているのです。同様に、彼らは資産市場の優れたパフォーマンスを示し、経済の好調さを実証するためだけに株を購入しています。石油などの天然資源も同様に操作されているので安心してください。銀行の投資範囲は操作であり、この知識から利益を得るために友人とインサイダー取引を促進することです。銀行カルテルの銀行家はめったに罰金を科せられず、刑務所に入れられることもありませんが、もちろんこれはばかげています。銀行カルテルが政府を支配していることを知っても驚くことはありません。GAAP会計原則が適用され、**帳簿に計上されていない新しく作成されたお金が登録されれば**、世界のほとんどの国が借金から解放されるでしょう。これで、私たち国民が借金奴隷である理由、つ

まり貨幣創造の力が意図的に奴隷化を生み出している理由がお分かりいただけると幸いです。

お金の創造は無限の力を意味します。

銀行の会計は現実からかけ離れています。それは創造されたお金の計算をしていません。銀行準備制度の法律により、どの銀行も損失を出すことはありません。それにもかかわらず、銀行は銀行が困っていると国民に言い続けています。これは犯罪的に不合理です。これは現実とはまったく関係がなく、人々の完全な奴隷化という彼らの計画と完全に関係しています。世界中のほぼすべての中央銀行とTBTF 銀行に責任を負い、支配しているのは、銀行カルテルの家族、ロスチャイルド、ロックフェラー、モルガン、ウォーバーグなどの家系です。

銀行システム全体はロスチャイルドの通貨創造トリックに基づいて運営されており、彼らの破産に関する嘘を売りつけることで世界を罠にかけ、奴隷化している。

イタリア経済通貨主権高等研究所所長マルコ・サバ氏は、正しく次のように問いかけている。

「何もないところからお金を作り出すことが許されている銀行が、どうして破綻することがあるのだろうか？」

お金がどのように作られるかという秘密は、地球上のすべての人々に明らかにされる必要があります。 お金を作る力は、銀行家たちをどの国よりも強力にしました。実際、IMF、BIS、連邦準備制度のようなすべての中央銀行を構成する国際銀行家たちは、世界中のほぼすべての国民国家を支配する影の政府です。

お金の力：

これは、通貨発行の権限を国民に返す必要性を実証し、その権限を当局や政治家に留めないことがいかに重要かを示しています。銀行家たちは現在、通貨を発行し、人々や資産、つまり事実上あらゆるものを買収しており、したがって全世界を彼らの意のままにしています。部分準備金制度は廃止されるか、少なくとも正しく会計処理され、監査される必要があります。

彼らは経費をかけずに莫大な利益を上げることができます。彼らは計上されていないお金を貸し出しますが、この架空のお金が返済されない場合に備えて経費と損失を計上します。技術的には、借金は開始時にすでに返済されており、その結果、銀行家は莫大な利益を生み出します。

債務免除を通じて銀行家たちを打ち負かす：

[このビデオ](#) 人々を借金から解放し、銀行業界全体の不正融資行為を撲滅します。今すぐ視聴してダウンロードしてください。ローンや住宅ローンの支払いをしていますか？ もうすぐです。これは不正融資行為、被害に遭う方法、そしてそれに対して何ができるかについての最終的な結論です。

簡単に言うと、このビデオは、架空の裁判を通して、検察官が銀行員に住宅購入のために貸し付けられた 20 万ドルのローンについて質問する様子を説明しています。借り手は、お金を貸した瞬間にローンを返済したことが判明しました。銀行員が借金を利用して貸し手を騙した様子がはっきりと示されています。住宅ローンやローンを借りている人は誰でも、知識豊富な弁護士の助けを借りれば、すぐに借金を免除してもらえます。

ストックホルム症候群：

1963年にケネディがこの件を正そうと決意したとき、彼は5か月以内に暗殺されました。

イランと北朝鮮は、主権通貨制度を持つ数少ない国のうちの2つです。

は、9/11 の後に「あなた方は我々の味方か、テロリストの味方かのどちらかだ」と言った。しかし、我々国民はどちらの場合もテロリストの味方だ。銀行家たちの支配下にある政府は、我々にとって最も凶悪なテロリストだ。残念ながら、我々はストックホルム症候群の犠牲者になってしまった。つまり、捕虜を愛するようになり、テロリストは銀行家たちと政府なのだ。

連邦準備制度理事会と中央銀行の監査は、犯罪的な貨幣創造による莫大な収益を国民に知らせたくないため、実現は困難です。もちろん、貨幣がどのように、いつ創造されたかを知るために、そのすべてを帳簿に示さなければなりません。また、外部の公認監査人によって監査され、正当化される必要があります。会計システム全体が腐敗しており、社会をオリガルヒとその銀行、検査官、司法、政府、すべてに完全に支配させることによってのみ、真に修正できます。エリートにとって、法の支配は存在しません。

借金であるだけでなく、会計処理されていないお金がさらにすべての人を奴隷にしているのです。言い換えれば、すべての不良債権は、何もないところからお金を創造することと相まって、銀行にとって純粋な利益なのです。すべてが不正会計に基づいて構築されているため、銀行は決して損をしません。

お金の創造が計算されていないと、限度がなく、常に過剰になります。銀行の最大の秘密は、お金の創造を計算していないことです。最初に変更する必要があるのは、犯罪的な準備銀行制度の廃止です。人々はお金の発行と量を管理する必要があります。今日、物理的な形で発行されているお金はわずか 2% です。銀行の取り付け騒ぎが起こったらどうなるか想像してみてください。

紙幣の最後の日々：

中央銀行のこの現行の政策体制が最終的に大惨事につながることは疑いの余地がない。

何が起きているか考えてみてください。これを理解するのに博士号は必要ありません。ゼロ金利政策やマイナス金利政策の下で、確実にお金がかかる国債を誰が所有するのでしょうか。2年間その取引に携わりたいと思う人がいるのでしょうか。これが今日の債券市場の状況です。

日本銀行、ECB、USFRBが自国債の購入を停止すると決めたら、何が起これると思いますか？ これらの通貨を空売りするとコストはいくらになりますか？ これらの債券を空売りするとコストはいくらになりますか？ その瞬間は、金融投機の歴史上最大の「青信号」となるでしょう。

結局のところ、利回りのない債券は借りるのに費用がかからない。そして、マイナス金利の債券は、空売りする投機家に利益をもたらす。政府が破産し、合法的な方法で債務を返済できないときに起こることだ。全世界が金融混乱に陥るのは時間の問題だ。

解決策：

このような世界的な銀行への取り付け騒ぎを止める唯一の現実的で永続的な方法は、主要通貨を金で裏付け、通貨の価値を妥当なレベルで守ることだ。金本位制への復帰は痛みを伴うだろうが、輸入が輸出赤字も輸出黒字もないレベルまで落ち込むため、国中で雇用がキノコのように増え、地元の生産者は国内の消費者に供給するために産業を再開するチャンスに飛びつくだろう。

覚えておいてほしいのは、ジョブズと金本位制の間には重要なつながりがあるということだ。

米ドルが世界の準備通貨としての優位性を失い、かつては強力だった米ドルが最終的にハイパーインフレを起こし、各国が連邦準備銀

行券への信頼を失えば、銀と金は急騰するだろう。誰も確実に言うことはできないが、西側諸国の銀行システムと法定通貨米ドルの亀裂が、今にも大きな亀裂に変わろうとしていることを示す非常に具体的な兆候がある。

一方、中国は上海金取引所で実物の銀を蓄えており、富を守る手段として中国国民に実物の銀や金を購入するよう公然と奨励している。これは、紙幣のドルから実物の貴金属への壮大なパラダイムシフトである。

銀行家によるお金の創造は奴隷化だ！

イタリア経済通貨主権高等研究所のマルコ・サバ所長は、[嘘について次のように説明する](#)。国際犯罪銀行が破産しているというのは、すべて世界を罠にかけ、奴隷化するためのロスチャイルドの貨幣創造の策略の一部である。

個人の説明責任の回復：

復興は、疑似資本主義システムの退廃を通じて達成できます。それは不正操作されていますが、おそらくあなたが考えるような方法ではありません。それでも、不正操作されています。中央銀行家が不正操作しました。彼らは、世界の主要ビジネス セクターをゾンビが支配する価値破壊産業に変えました。彼らはすべての国のお金を偽の通貨に変えました。そして、彼らはすべての国の中流家庭を逃れられない借金の穴に追い込みました。そして、2007 年に墮落したシステム全体が崩壊する準備ができたとき、彼らは銀行家である借金屋を救済し、彼らが浪費したお金を何十兆ドルも使って腐敗したシステム全体を支えました。不況の方がはるかにましだったでしょう... 単純な事実、政府が他の人に分配する前に、誰かから資源を奪ったということです。そして、これらの行動は経済的に破壊的であることが判明しました。それらは起業家に対する市場のインセンティブを減らします。社会の生産的なメンバーから多くを奪え

ば奪うほど、彼らの生産性は低下します。これが社会主義の歴史の主要な教訓です。しかし、私たちの政治指導者の多くは、この人間の本質の鉄則を知らないか、無関心であるようです。

失業率と連邦政府の支出規模（GDP に対して測定）を比較する簡単な分析を考えてみましょう。

この分析では、政府の名目 GDP 統計が、現実世界の購買力に基づく固定通貨価値に変換されます。これらのデータは現実世界の経験を反映するため、政府のデータよりもはるかに正確です。データによると、一人当たりの実質的な富は 1960 年代後半にピークを迎えました。

最も重要なのは、このデータは、皆さんの多くが長年感じてきたことや認識してきたことを「証明」しているということです。皆さんは、近所の道路が荒れて穴があいているのを目にしてきました。仕事でもっと稼げないまま何年も経ちました。あるいは、購買力が落ちて、食料品の買い物リストに載っていたブランド品を、今では低品質の製品に置き換えるようになったのです。

子供たちにとって、良い仕事を見つけたり、良い家や新しい車を購入したりすることが、どれほど難しいことかお分かりいただけるでしょう。

富の格差の拡大：

政府の社会支出のほとんどが政治を腐敗させ、実際に「富の格差」を拡大させていると想像してみてください。これらの政策とそれを後援する政治家は、実際には完全な依存社会を作り出しており、無知の蔓延により、自分たちの指導者によって奴隷にされてきたことを理解するのに十分な教育を受けていない世代全体が生まれています。

残念ながら、人々はこれが国全体にとってどれほど危険になっているかに気づいていません。なぜなら、このことについて話すだけでも外国人排斥とみなされるからです。これはまったくのナンセンスです。これらの政策の犠牲者は主に貧しい人々です。そして、社会主義があなたの国に何をもたらすかを見たければ、旧ソ連の東側諸国には行かないでください。彼らは20年前にそのような政府を廃止しました。現在、彼らは低い一律の税金と好景気を持っています。これらの政策の結果を自分の目で知るには、キューバを訪れるか、ベネズエラで時間を過ごしたほうがよいでしょう。

大企業にとって、社会における政府の強力な役割は無視できないほど貴重である。そして、それが引き起こす腐敗の量は驚くべきものだ。政治家の中には、自分たちが家具のように売買されているという事実を隠そうとする者さえほとんどいない。

アップルとピクサー両社で最も露骨なオプション乱用者の一人だったスティーブ・ジョブズは、アル・ゴアを取締役に任命し、数百万ドルのオプションを付与することで罪を逃れた。今日まで、アップル・コンピュータは正当な所有者である株主に1セントたりとも配当金を支払っていない。しかし、過去10年間で、同社はオプション発行を通じて発行済み株式数を47%増加させており、これは明らかに価値の低下である。

上場企業の腐敗に対して何ができるでしょうか？「詐欺、過失、預金者の損失に対して取締役会が個人的に責任を負うようにします。」

政府、銀行、企業における受託者責任について個人に説明責任を求めることは、私たちの社会に即座に大きな影響を及ぼすでしょう。社会を破壊している権利意識を即座に一掃するでしょう。そして最後に、彼らは予算を均衡させるか、個人的な財政破綻に直面するかのどちらかになるでしょう。

かつては世界で最も幅広く、最も効率的で、最も信頼されていた公的企業や資本市場への信頼を取り戻したいのであれば、個人の説明責任を回復することも極めて重要です。

繰り返し、悪い政治が、金持ちだけが税金を払うと有権者に約束してきました。しかし、それはうまくいきません。システム全体が崩壊するまでは、何の意味もありません。だからこそ、このような崩壊は避けられないのです。それはいつも起きています。空虚な政治的約束はどんどん拡大します。限界税率はどんどん高くなります。課税基盤は狭まり、税収は減少します。政府債務は急増し、遅かれ早かれ金利が急上昇します。貸し手は、お金が返ってくる見込みがないと気付くからです。これらすべては、避けられない結果として市民の不安を伴います。

それが今ヨーロッパで起こっていることです。

これはすぐに、ファシズムへの道に進むか、個人の説明責任を回復して政府と大企業に信頼を置く時代に戻り、自由市場経済を実践することで個人の自由を確立するかの対決につながるだろう。

中央銀行は互いに信頼していない。

ドイツの中央銀行であるドイツ連邦銀行は、米国に次いで世界第2位の規模を誇る膨大な海外金準備の送還を開始すると発表した。これは大きなニュースだった。なぜなら、金の送還が世界的な傾向になれば、米国と英国は金の保管機関として信用がないことが明らかになるからだ。

世界中の金市場にとって、この動きは「金融金」から「現物金」への切り替えを意味するかもしれないが、そのプロセスはまだ初期段階であることは間違いない。ドイツ金本国送還の決定は、ドイツ連邦銀行に金の69%がドイツ国外に保管されていることを初めて認めさせたドイツの一部報道機関にとっては大きな勝利だ。

ドイツのマスコミと少なくとも数人のドイツ議員は、ニューヨークから返還された金塊の検証手続きを要求することはほぼ確実だ。ドイツが金の代わりに金メッキのタングステンを受け取らないようにするためだ。ドイツの政策決定者たちはもはやアメリカのパートナーを信用していないようだ。それは、アメリカが政府支出を借金で賄う能力を失いつつあることを意味する。

「真実は、金のように、成長によって得られるのではなく、金以外のものをすべて洗い流すことによって得られる。」-レフ・トルストイ

世界的な過剰債務により、世界中の中央銀行は債務負担を軽減するために自国通貨を切り下げざるを得なくなっています。この政策はインフレ危機を招き、制御不能なハイパーインフレへと悪化します。インフレの急上昇はハイパーインフレへとつながり、中央銀行が目覚まして金利を引き上げ、インフレを食い止めようとする頃には手遅れになります。

そのような場合、金はインフレと最終的にはハイパーインフレに対する完璧なヘッジとなるでしょう。

また、日本の中央銀行は、連邦準備制度理事会や欧州中央銀行に倣い、通貨を切り下げて輸出を促進するために紙幣を印刷しており、間違いなく通貨戦争につながるだろう。

「日本は現在、インフレ率2%を目標としている。2014年から、日本はこの目標を達成し、円を破壊すべく、無制限に国債を購入するだろう。日本の投資家は、円預金や国債を溜め込むことの危険性を認識し始めている」とダン・エイモス氏は言う。

これらはすべて、世界中で中央銀行の信頼が失われていることを十分に証明しており、また、為替レートの切り下げ競争を引き起こす恐れもある。

ドイツ連邦銀行総裁やドイツ、英国の他の政府関係者が日本の新政権の強硬な姿勢に公然と懸念を表明するなか、ECBもこれに追随し金融政策を緩和している。言い換えれば、ECBと日本銀行は、自らが行っていることを互いに禁止し合っているのだ。

これは重大な展開である。なぜなら、中央銀行同士の信頼が失われつつあるからだ。なぜなら、中央銀行同士が信頼し合っていないのなら、他の中央銀行が信頼するはずがないからだ。

公式には、ドイツは3,396トンの金を保有していると主張しており、そのうち45%はニューヨークの金庫に保管され、11%はフランス銀行に保管されている。

ドイツ連邦銀行はニューヨークの預金から 300 トン、フランスにある保有金 374 トンを完全に引き出す予定です。注意：ドイツは現在フランスに保有している金のすべてを引き上げます。ドイツ政府が自国の硬貨を国内に留めておきたいと考える理由は何でしょう？ ドイツはユーロの将来について、我々が知らない何かを知っているのでしょうか？

おそらくドイツは、噂どおりユーロから撤退し、PIIGS諸国を「ヨーロッパ」通貨から切り離すだろう。そうなるとドイツは、我々全員が知っている通り、いずれにせよやりたいことを実行するだろう。つまり、北欧諸国の経済を含めた「新しい」ユーロを形成するのだ。

対照的に、ドイツ連邦銀行の理事会は昨年11月に次のように述べた。

「ドイツの金の安全性を疑う理由も、世界金融システムにおける準備通貨としての米ドルの重要な役割を疑問視する理由もありません。」さらに「ドイツの金の安全性に懸念を抱いたことは一度もありません。将来的には、いざというときにできるだけ早く準備資産として利用できるように、

国際的な金取引センターに金を保管し続けたいと考えています。」

歴史的に、金は権力の座にある人々の腐敗を防ぐ信頼できる保険であることが証明されています。権力の座にある人々は、腐敗しやすい人々を惹きつけ、昇進させています。ダン・エイモスは次のように書いています。

「世界の通貨システムは、信頼という脆弱な基盤の上に成り立っています。では、その信頼はいつ崩れるのでしょうか？「完全な信頼と信用」という言葉が空っぽになり、その中に何も見つからなくなったときでしょうか？そうになると、何か思い切ったこと、つまり「永久に使える未来のお金」の新しい時代を告げる何かが必要なときなのかもしれません。」

金の「リセット」ボタンは、脆弱な世界通貨制度を強化する可能性がある。そのためには、何らかの金本位制を再導入する必要がある。金の保有者は、リセットに不可欠な要素を所有している。そして、金鉱株の保有者は、将来の通貨制度の基盤となる可能性のある地中の金の供給を所有している。

借金も経済を圧迫する：

債務は経済を圧迫します。金利を何年もゼロに下げ続けることは、本当の解決策ではありません。日本を見てください。日本の経済は20年間、半減期にあります。債務を帳消しにすることが、支払い能力を回復する唯一の方法です。そうすれば、経済は返済不可能な債務の負担から解放されます。さらに、デフレ崩壊に頼らずに債務を削減する方法があります。それは、1万ドル、2万ドル、あるいはそれ以上の価格で金本位制を復活させることです。

QBアセット・マネジメントは、インフレのリセットボタンが急速に増大する米国の国家債務の実質価値をいかにして削減できるかを次のように説明している。

「米国を例に挙げると、FRBは財務省の金を現在のスポット価格より大幅に高いプレミアムで購入する。価格が高ければ高いほど、より多くのベースマネーが創出され、よ

り多くの公的債務が消滅する。このメカニズムにより金価格が8倍から10倍に上昇すれば、既存の米ドル建て銀行預金がすべて完全に置き換えられる（銀行システムの完全な負債解消）。

QB は影の金価格（SGP）のチャートを維持しています。SGPは、金と米ドルをリンクする為替レートを決定するためにブレトンウッズ計算を使用します。計算は、ベースマネーを米国の公式金保有量で割ったものです。こちらが QB の最新チャートです。これには、FRB が毎月 850 億ドルを発行すると仮定した場合の、2015 年 6 月までのベースマネー供給の予測が含まれています。SGP は 1 オンスあたり 2 万ドルに急騰します。

影の金価格と実際の金価格の比率が一定であった場合、金は 2015 年までに 1 オンスあたり 3,400 ドルになっていたでしょう。



そして、最新の投稿は次のとおりです。ドイツ銀行は、基本的に金はお金であると宣言する新しいレポートを発表しました。

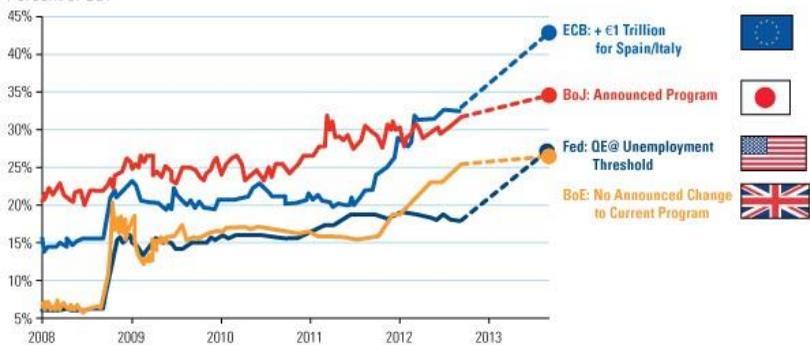
「金は、世界の主要中央銀行のほとんどが準備金の一部として広く保有しているという理由から、私たちは金を公式に認められた通貨とみなしています。しかし、私たちはさらに踏み込んで、金は今日の多くの不換紙幣に代表される「悪い」お金とは対照的に、「良い」お金として特徴付けられると主張します。」

では、あなたにとっての答えは何でしょうか？ 賢く投資し、下落に先手を打ってください。貯蓄してください。借金はしないでください。通貨が暴落しても価値を維持する実物資産に固執してください。

金保有量第4位のロシア：

ロシア銀行のアレクセイ・ウリュカエフ副総裁はダボスの世界経済フォーラムで次のように述べた。

Central Bank Balance Sheets
Percent of GDP



「当社は金属を購入しており、今後もこの方針を継続していくつもりだ」

ロシアは5年足らずで金準備高を2倍の3100万オンス近くにま

で増やし、同国の外貨準備高の10%を占めている。

世界的な金融緩和サイクルと紙幣増刷機の継続的な稼働を考慮すると、恐怖トレードは引き続き金価格の原動力となるだろう。

2013 年における欧州中央銀行、日本銀行、連邦準備制度理事会、イングランド銀行のバランスシートの GDP に対する割合の上昇予測を見てみましょう。

ECB のバランスシートは、その年の末までに GDP の約 50% に達すると推定されました。日本銀行は ECB に次ぐ規模で、そのバランスシートは GDP の約 35% に達すると予測されました。

「どの中央銀行が最も早くバランスシートに大量のゴミを詰め込めるかを競う競争が始まった」とミッシェルの[世界経済動向分析のマイク・シェドロック氏は言う](#)。

金に興味のある人なら誰でも見るべき素晴らしい視覚化です。

世界市場には驚くほど金がほとんどなく、このインフォグラフィックは市場に出回っている金のすべてを示しています。この金のインフォグラフィックでは、すべてが金価格2,000ドル/オンスで計算されています。金が

1 オンスあたり 3,110 ドル、1 オンスの金と 100 ドル紙幣は重量的に同じ価値を持ち、1 オンスの 100 ドル紙幣を持っているか、1 オンスの金を持っているかは問題ではありません。 [全文を読む 記事 \(グラフィック付き\) ...](#)

キャッシュレスは人々が完全に陰謀団の支配下にあることを意味します。

この計画は、国民全員に締め付けを強め、服従を強いることです。キャッシュレス社会における単一の電子通貨は、人間管理の基本計画です。

このアルコン コントロール システムは、お金がすべての基盤となるように設計されました。その考え方は、お金を持っているか持っていないかによって、住む場所、食べるもの、食べるかどうか、働く場所、働くかどうか、生きるか死ぬか、考えられるほぼすべての人生選択が決まるというものです。

それは、金を支配する者が世界と戦争を支配することを意味する。[静かな戦争のための静かな武器](#) マニュアルには、秘密結社が金融システムをコントロールし、人類の完全なコントロールと知識の提供という究極の目的の達成に向けてあらゆるものを操作する方法が詳細に説明されています。アルコン・ハザール・マフィア、別名ロスチャイルド家が中心的役割を担っています。

ユーロ危機は世界単一電子通貨であるSDRに影響を及ぼす。

単一ユーロ通貨はそれ自体が目的だったわけではありません。それは、それ以前の個々の通貨を消去するためのトロイの木馬に過ぎませんでした。ユーロも、世界**単一電子通貨であるSDR** に置き換えられる予定であり、ユーロ危機はその目的にかなうものです。アルコン血統ネットワークは、何十年、あるいはそれ以上前から計画されてきたこのキャッシュレス政策を世界中で調整しています。

スウェーデンはすでに現金を使わない国の一つで、デンマークも間もなく現金を使わない国になる予定で、イタリアでは2013年から現金取引が50ユーロに制限されている。フランスもまもなく現金を廃止する。計画では現金の使用をさらに困難にし、現金を使いたい人にとって最大限の面倒を強いる法律を施行する。キャッシュレス社会は人類の完全な支配に等しく、**奴隷制**に終わる。独裁的な新世界秩序の実施前の次の達成段階を裏付けるものだ。

仕組まれた「ユーロ危機」は、計画通り、ロスチャイルドの故郷フランクフルト・アム・マインに本部を置くロスチャイルドが創設した欧州中央銀行の直接管理下に何千もの銀行を置くための「問題対応解決策」として利用されるだろう。前欧州中央銀行総裁のジャンクロード・トリシェ氏と現総裁のドラギ氏は、ともにロスチャイルド・シオニストである。

ドラギ氏はロスチャイルド家が許可しない限りは息をしないことで知られている。ドラギ氏はロスチャイルド家所有のゴールドマン・サックスの取締役として、ギリシャの負債額を隠すために操作を行い、最終的に同国を極度の貧困へと破滅させるに至った。

現在、ECB総裁として、彼はギリシャに対し、自らが作り出した債務問題を解決するために何をすべきか、何をしてはいけないかを指示している。ギリシャのこの問題は、人々が考えるよりもはるかに深刻だ。彼らはIMFへの支払いのために6億5000万ユーロをIMFから引き出したばかりだが、それを1ヶ月以内に補充しなければならないのだ！これは、限度額に達したクレジットカードの1ヶ月分の利息を支払うためにクレジットカードでキャッシングをするのと同じことだ。

要約すると、IMFはギリシャに代わって自らに支払いを済ませ、今月末までに自らに支払った金額を返済せざるを得なくなる。言い換えれば、**ギリシャは持っていないIMFの資金でIMFに前払いしたことになる。**

賢いプーチンはギリシャを招待した。ギリシャは、IMFへの債務返済に苦戦する中、EU加盟国間のさらなる分裂を煽る目的で、BRICS新開発銀行（NDB）の6番目の加盟国となることを目指している。問題は、来月サントペテルブルクで議論される参加費をギリシャが支払う必要があるかどうかだ。おそらく、ロシアのトルコ蒸気プロジェクトへのギリシャの参加は、ヨーロッパがギリシャ経由でロシア

のガスを輸入することになるが、米国の甘言を弄するティーザーになるかもしれない。

いずれにせよ、ギリシャの財政問題は、EU外の勢力に軸足を移さざるを得ない状況に追い込まれた。

お金はエネルギーの一形態に過ぎません。

お金はエネルギーの一形態に過ぎません。今日の「クレジット」と呼ばれる電子データのほとんどすべてがグローバル コンピューター システムを通過し、現金が急速に流通から外れるのと同様です。アルコン血統 - ロスチャイルド ネットワークはお金をエネルギーの流れと見なし、最終的にほとんどすべてのお金が自分たちに流れるようにするシステムを確立しました。サイレント ウェポンのマニュアルには次のように書かれています。

経済は自然エネルギーシステムの社会的拡張にすぎません。
エネルギーは地球上のあらゆる活動の鍵となるため、

したがって、エネルギー、原材料、商品、サービスの独占を達成し、**奴隷労働の世界システムを確立するためには**、経済の分野で先制攻撃能力を持つ必要があるということになる。

我々の地位を維持するためには、経済要因を制御する科学に関する絶対的な第一の知識と、世界経済を設計する第一の経験を持つことが必要である。

そのような主権を達成するためには、少なくともこの一つの目的を達成しなければなりません。それは、一般の人々が経済学と他のエネルギー科学との間の論理的または数学的なつながりを理解せず、またそのような知識を適用することを学ばないことです。

国民が理解できない銀行システムの構築は、ロスチャイルド一族によって行われた。 - ネイサン・メイヤー ロスチャイルドは 1912 年に銀行家グループに次のように語った。

「この制度を理解する少数の人々は、その利益に非常に関心があるか、またはその恩恵に非常に依存しているため、その階級からの反対はないだろう。一方、大多数の人々は、資本がこの制度から得る莫大な利益を精神的に理解できず、文句も言わず、おそらくこの制度が自分たちの利益に反しているとは疑うことさえなく、その重荷に耐えるだろう。」

簡単に説明すると、「サイレント ウェポンズ」では、経済は電気と同じ法則に従うことが発見され、電子工学の分野で開発された数学理論や実践的技術、コンピュータのノウハウはすべて、経済学の研究に直接応用できることが説明されています。

好況と不況、戦争と平和はすべてコンピュータ モデルに組み込まれ、人間社会を最大の速度と効率でオーウェルの世界国家にさらに近づけようとしています。

借金の返済、利子、あらゆる形態の課税、企業への支出などを通じてお金が戻ってくると、人々のエネルギーの一部もそれとともに失われます。

たとえば、Facebook のようなエネルギー寄生虫にも同じことが当てはまります。Facebook は、ユーザーが Facebook のメンバーでなくなった後でも、Facebook ページに投稿されたものすべてに対して共同著作権を主張し、好きなように使用できます。

これは、アルコンが持っていない、人類大衆の創造力と想像力を盗むことです。

中央銀行は金融システムの要です。

中央銀行は金融システムの要です。政府債務を購入することで、銀行はしばらくの間、政府が税金を課されることなく活動資金を調達できるようにします。表面的には、これは「ただ飯」のように見えます。しかし、実際には非常に破壊的で、通貨の価値を下げる原動力となっています。

中央銀行はハザール人の発明であり、1913年に米国で誕生したが、これらの機関がすでに活動していたヨーロッパではそれ以前に、その真の目的を隠すために、米国の機関は連邦準備銀行という名前を与えられたが、それは銀行ですらないし、準備金も持っていないし、連邦政府でもない！

通貨の崩壊の明らかな兆候の 1 つは、通貨が交換手段や価値の保存手段として使用できなくなり、誰にとっても無価値になることです。多くの場合、通貨の崩壊は経済崩壊を後押しするか、あるいは認めることとなります。では、通貨の崩壊の主な原因は何でしょうか。

国が征服されたために消滅した通貨を除けば、失敗の理由は主に 2 つあり、これらは同じスペクトルの両極にあります。一方には供給不足があります。たとえば、十分な単位が流通していないなどです。おそらく、通貨供給が制限されているのでしょう。価格メカニズムによってこの状況を改善できますが、通常、社会は代替品へと移行します。金や銀が足りない場合、人々は錫、牛、または今では珍しいタバコを使用します。

反対に、供給が多すぎるという問題もあります。90% のケースでは、お金の発行が過剰になっています。

政府の支出は通常、国家が金庫に持っている金額を上回っています。そのため、政府は借金をするか、不正行為をするかのどちらかになります。不正行為は慣例的に「価値の低下」と呼ばれ、過去には

コイン 1 枚あたりの貴金属の量を徐々に減らすことで現在の通貨の価値を下げていました。

通貨の価値を下げるということは、崖から落ちる前に限界を推測することです。適切な量の価値を下げると、経済はスムーズに動きます。もう少しならまだ大丈夫かもしれません。しかし、多すぎるとすべてが崩壊します。今日の紙幣には固有の価値も発行の物理的制約もないため、さらに印刷したいという誘惑は常にあります。ほんの少しだけお金の供給量を増やすことは害にはなりません。すると、システム全体が一気に破綻します。最終的にはインフレが始まり、戦争の費用を支払い、国民を満足させるために通貨が過剰に発行されます。そして最終的にシステムは完全に崩壊して混乱に陥ります。

結局、裏付けのない通貨はすべて、過剰発行により崩壊する。米国連邦準備制度理事会が量的緩和政策を開始し、それに続いて欧州中央銀行が量的緩和政策を開始したが、これは明らかに行き過ぎだった。この大規模な通貨基盤の拡大は、現在の経済環境がデフレであるため、ハイパーインフレやそれに近い状態をまだ引き起こしていない。しかし、経済が本当に拡大期に入った場合、ひどいインフレがすぐに戻ってくる可能性がある。そうなれば、米ドルとユーロの下落が起こりそうだ。

現金との戦い:

現金戦争とマイナス金利は過激で非常識な措置です。これらは絶望の表れです。また、あなたの経済的安全に対する大きな脅威でもあります。中央計画者は火遊びをしており、通貨の大惨事を招いています。ほとんどの人は、通貨が崩壊すると実際に何が起こるのか、[ましてやどのように備えるべきかを知りません](#)。

西側諸国全体で、金融システムは国民の搾取者となり、経済にとっての重荷となっている。解決策は 2 つしかない。1 つは、銀行規

制緩和以前に存在していたような小規模で地方的な組織に大銀行を分割すること。もう 1 つは、大銀行を国有化し、国民の一般的な福祉のみを目的として運営すること。しかし、TBTF 銀行は強力すぎるため、どちらの解決策も実行できない。しかし、政府の支援と補助金を受けている西側金融システムの貪欲さ、詐欺、利己的な行動は、経済生活の完全な崩壊につながる可能性があり、民間金融システムという考えは、今日のナチズムと同様に、将来受け入れられなくなるだろう。

一方、RKM 陰謀団は、彼らが簡単に管理、課税、没収できるお金を使うようあなた方に求めており、紙幣が邪魔になっていることは明らかです。政府は、紙幣の印刷、つまりインフレによって着実に通貨の価値を下げ、あなた方の富を没収するよう指示されています。これは、貯蓄者や勤勉な人々から密かに没収する方法です。

車を運転する前に誰かに支払ったことを想像してください。家に引っ越す前に誰かに支払った家賃を想像してください。誰かの請求を自分の手から引き受けるために誰かにお金を払うとき、あなたは自分のお金が実際にどれほどの価値があるかを実感するでしょう。

紙幣を廃止する：

紙幣を廃止し、認可銀行を通じてのみ当事者間で送金される電子通貨を導入しようと共同で試みるかもしれない。非現実的に聞こえるだろうか？ まあ、そうかもしれないが、米国とEUが全体的な計画に同意し、それを他の政府に提案したらどうなるだろうか？ 表面的には、これは陰謀論のように思えるかもしれないが、すべての政府がこの管理から利益を得るため、賛同する可能性が高い。政府は、これが現在の経済問題から抜け出す唯一の方法であると言うかもしれない。

そして、あなたの銀行、つまりRKM陰謀団があなたのお金を没収したいと思ったら、現金の自由な移動をテロリズムに結び付け、多額

の資金の移動は犯罪行為を示唆するという意識を生み出す*PRS*神話、つまり問題-反応-解決策を実行するのを誰が止められるでしょうか？ - 政府の調査機関に報告せずに移動できる最大金額を指定します。定期的にこれらの制限を引き下げます。大小を問わずすべての購入を銀行カードで行うように人々を慣らします。もはや現金は必要ないため、単に現金を所有しているだけでも疑わしいという意識を生み出します。こうして「現金との戦い」が始まります。

時間切れ:

政府には時間がなくなっている。通常なら国民が受け入れるまでもっと時間を要するプログラムを政府が急いで実施する唯一の理由は、実施予定の新プログラムの完了前に破綻が訪れると見ているからだ。

次のステップは、決定的な偽旗作戦を仕掛け、現金が世界の悪事に資金を提供する主な手段であることを実証し、紙幣が違法になる日付を宣言することです。その日付までは、紙幣を銀行に預けることができます。それ以降は、紙幣を所持することは犯罪になります。すべての現金が銀行に預けられると、**マイナス金利が引き上げられます**。金利をさらに引き下げるには、現金通貨を禁止するしかありません。その後、銀行の希望に応じて預金の没収を実施できます。最近、カナダ、米国、EUで預金の没収が合法化されているためです。

特定の貸金庫の中身を没収します。**自発的な課税を終了します。今後、すべての課税は口座引き落としになります。お金はそれを発行した国の財産であると宣言します。人々はお金を使って取引することはできますが、お金は実際には人々のものではありません。したがって、犯罪の疑いがある場合、国はどの口座の資金も凍結または没収できます。**

完成すれば、**国家による富の管理**が行われることになる。これは単なるフィクションのように思えるかもしれない。しかし、それからわずか1年足らず前までは、現金戦争がすぐそこまで来ているどころか、可能性の範囲内にあると考える人さえわずかだった。今では、それは不安な現実として受け入れられている。

銀行に現金を預けているなら、それを自分のものだと考えないでください。そうではありません。それはあなたが銀行に**貸し付けた財産**なのです。近い将来、銀行は政府の承認を得て、この現金の全部または一部をいつあなたに返すかを決定する権限を持つことになります。銀行は、この決定がどのように決定されるかについての**規則を設定し**、その規則は定期的に変更されます。

少なくとも、あなたが現金でお金を所持している場合、銀行はあなたのところに来て、物理的にお金を受け取る必要があります。お金が「銀行にある」場合、つまり電子口座残高の形で存在する場合、銀行はボタンを押すだけで済みます。

キプロスで起こったことはまさにそれです。銀行は破綻寸前だったので、預金を没収して再建を図りました。あなたがどこに住んでいても、同じことが再び起こるのを誰が止められるのでしょうか？

裁判官はRKMによって任命され、警察はRKMに雇われている。政治家はRKMに買収され、彼らの要求通りに行動するよう賄賂を受け取っている。

現金が禁止されると、現金を持つのは無法者だけになります。そして、あなたへの最良のアドバイスは、彼らの中に入ろうとすることです。

没収を逃れる：

代替案を探してください。「現金戦争」は国際的なものになりますが、完全にグローバルなものにはなりません。伝統に従い、世界の

主要国に従わない管轄区域が依然として存在します。それらの管轄区域は、他の管轄区域と同じ崖から落ちることを望まず、異なる道を取るでしょう。それらの管轄区域は、崩壊するシステムから逃れようとする人々にとっての安全な避難所となるでしょう。

現在、この反現金主義の道を歩んでいる国の居住者である場合は、安定した政府、低いまたは直接税のない、富への干渉や規制が最小限であるという一貫した歴史を持つ管轄区域に資金を移してください。そして、貪欲な政府が没収するのが最も難しい資産、たとえば「外国人保有」の貴金属や不動産などの資産に変換してください。

金を所有しているのは国民のごく一部に過ぎません。米国がまだ当初の金本位制のバリエーションを採用していた 1933 年にはそうではありませんでした。だからこそ、政府はおそらく 1933 年の詐欺行為を繰り返さないでしょう。単に努力する価値がないのです。

インフレを選択する可能性の方がはるかに高い。これは貯蓄者から密かに富を没収する方法である。これは金の所有者が無敵であることを意味するわけではない。

今回、政府は新たな詐欺を企てる可能性が高い。金の不当利益に課税するのだ。これにより、政府は 1933 年の強盗と同様のことをはるかに容易に達成できる。要するに、政府は気に入らない利益に不当利益課税を適用するのだ。この**概念全体が詐欺だ**。これは偽装された合法的な窃盗だ。 - 金の価格が急騰すれば、議会は公平な金不当利益税法案を可決し、金の利益に 80% から 90% 以上の税金を課すだろう。

幸いなことに、このような政治的動機による収用から身を守るために、いくつかの実用的な手順を踏むことができます。議会でそのような法律が議論されたら、金を売却するか、さらに良い方法として、事前に金を非課税管轄区域に移す必要があります。最も重要なのは、政府が無謀な政策で金の価値を破壊できないことです。政府の

破壊的な行動は、人々がより多くの金を購入することにつながるだけです。

ロスチャイルド・ハザールマフィア（RKM）の追放：

ドイツは、トルコがハザール人とNATOに背を向けた後、ラムシュタインに最大のヨーロッパ基地を置いていたが、トルコのNATO基地に次ぐ2番目の基地を閉鎖した。これらの基地は両方とも、ブッシュとクリントンが財政を支えるためにアフガニスタンから欧米市場にアヘンを密輸するなど、麻薬密輸活動に積極的に利用していた。

偽旗攻撃の要請を受けて、RKMマフィアとの決定的な決別を選択した。アンゲラ・メルケル首相を巻き込んで自国の領土で軍事衝突が起これ、ロシアを攻撃して第三次世界大戦を始めるという議論が生まれた。

ドイツの良心的な指導者たちはこの要請を拒否し、ロシアと連携することを決定し、事実上、英国とトルコとともにRKM支配下の米国政府に対する西側主導の動きに参加し、国民に10日分の非常食を備蓄するよう命じた。ドイツ政府は独立戦争に備えて60万人の民兵を動員している。

それで、良いニュースは、ドイツがハザール人の従属国という地位から脱却したことだ。これは、これに先立ってトルコでクーデター未遂事件があったRKMにとって大きな打撃だ。他の多くの国でも同様の動きが予想される。フランス、イタリア、日本、サウジアラビア、ブラジルなどの国々が追随するのを見守ろう。

ロシアはこれらすべてを認識しており、自国の軍隊も動員している。メルケル首相は、副大統領と貿易大臣の発言によれば、TTIPが実質的な権力を失ったようだ。終了しました。そしてテーブルから外れます。

キャッシュレス社会では、すべての取引が記録されます。

中央銀行であるFRBとECBはデフレを反転させるために大規模な量的緩和を実施しましたが、これは最終的には劇的なインフレ、おそらくハイパーインフレに終わるでしょう。そうなる前に、政府は経済非常事態を宣言するでしょう。政府は現金が問題であると宣言するでしょう。回復するためには、それを排除しなければなりません

。

これは、借方または貸方を問わず、あらゆる種類の経済取引が電子通貨を経由することを余儀なくされることを意味する。例えば、飲み物などの少額の買い物から、車や家の購入などの高額な買い物まで、あらゆる支払いに使えるカード。給与、配当、商品の販売など、あらゆるクレジットに使える。すべての人にとって唯一の通貨が通貨カードやスマートフォンを通じて利用可能になるため、経済システム全体が簡素化される。

その時点で、すべての取引が記録されるため、政府は毎年所得税を申告する必要なく、カード所有者の収入を1ペニー単位で評価できるようになります。

政府はその後、税制が混乱しており、国民の負担を軽減するために税制を簡素化する必要があると発表するだろう。今後、税金は通貨カード口座からの直接引き落としで徴収されることになる。

その後、政府は、年間申告が平均的な個人にとって非常に負担となるため、今後は税金の引き落としを毎月行うことを発表するでしょう。

これをすべての国民にとっての恩恵として提示するのは簡単だ。「繁栄への回帰の唯一の可能性」として宣伝されるだろう。しかし現実には、システムの外で活動することが困難になるため、**国民は銀行と政府に対する完全な経済的奴隷状態に入ることになる**。合法かどうかにかかわらず、物々交換が代替手段となり、その間、事実上、他のすべての取引は中央で管理され、監査される。現金に対する

戦争を債務不履行への暫定的なステップと考えてください。この行為は事態を悪化させるだけです。**現金のない社会は機能できず、全体主義状態につながります。**

オーストリア学派の経済学者サレルノはこう言う。

「政府は実際に、人々が信頼していない銀行からお金を引き出すことを奨励すべきだ。そうすれば、銀行は責任ある行動を取るインセンティブが生まれるだろう。」

しかし、いつものように、政府は単に間違っただけをしているのではなく、正しいことの真逆のことを意図的に行っているのです。- FDIC 保険は預金者に自分のお金が安全であるという安心感を与えるので、預金者は銀行が自分のお金をどうしているかを気にする必要が全くありません。

その結果、銀行が実際にどのように機能するかについて国民は何も知らない状態になっている。- サレルノ氏は、政府は次のように述べている。

「彼らは約束した金額を支払えないという意味で文字通り破産しており、また知的にも破産している。」

一方、[ケネス・ロゴフのような著名なケインズ経済学者は](#) 現金を廃止すべき理由について危険なナンセンスを広めている。

電子通貨は世界独裁である：

あらゆる取引に**電子通貨**が使われる時代に入りつつあります。**キャッシュレス社会は、現代の進歩の大きな前進として世間知らずの人々に売り込まれています。**実際には、それは**世界統一通貨を有効にし、社会は世界独裁の最終段階に突入しています。**これは、2世紀前に新世界秩序のアジェンダですすでに概説されていました。

意図的に崩壊すると、これらはIMFが発行するSDRに置き換えられるだろう。これは、今日のすべての問題を「解決するために必要」という議論に基づいている。国際貿易を改善するために通貨交換を合理化することで通貨問題を生み出した。ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスとフリードリヒ・ハイエクは、それぞれの墓の中で振り返るだろう。

電子通貨は**奴隷化**に直結することを理解してください 国民の**自由を奪う政策**が続いています。残された唯一の解決策は、貴金属や不動産などの実物資産への分散投資です。貴金属は、こうした規制を課している国以外で保有することが重要です。

貯蓄を母国政府の管理外に移してください。

貯蓄を分散させる究極の方法は、母国政府の直接の管轄外の有形の資産に移すことです。簡単に没収、国有化、凍結、または価値が下がらない資産です。海外の銀行以外の金庫に金や銀を物理的に保管するのが最善の選択肢です。

金と銀は、何世紀にもわたり、さまざまな文明でお金として機能してきました。どちらも常に不可欠な国際資産でした。金や銀には、特にアメリカ、中国、ロシア、ヨーロッパの何かがあるわけではありません。金や銀を購入することは、貯蓄を国際化するための最も簡単なステップかもしれません。次のステップは、貴金属を安全な外国の領土に保管することです。シンガポールやスイスなどのオフショアで、銀行以外の個人金庫に金や銀の現物を所有することは、今でも簡単で便利です。

さらなる準備を強くお勧めします。口座の残高は、水道代、ガス代、電気代などを支払うのに十分な額だけ残しておいてください。現金は自宅の金庫に保管し、たとえ親友であっても、崩壊が起こった瞬間に考えが変わる可能性があるため、絶対に誰にも話さないでく

ださい。電力網から離れて生活する準備をし、自分で電気、暖房、住居を作りましょう。

全体主義国家:

破産した西側諸国の政府は、盗んだり課税したりできるお金を何でも必要としている。だからこそ、租税回避地からの「不公平な」競争や現金給付を排除することに執着しているのだ。次に予定されているのは、5%のマイナス金利で、これは経済を破壊するだろう。

スイスの年金基金 すでに400億SFRの現金を銀行から引き出し、安全な保管庫に保管しています。銀行と政府は**お金の完全な管理を求めています**が、これはお金の流れを独占することによってのみ達成できます。通貨取引が銀行機関を通じて電子的にのみ行われる世界規模のシステムを導入できれば、銀行は 合計力 人々が経済的に機能する能力を超える。

しかし、なぜ政府は銀行にこのような独裁的な通貨管理を許すのでしょうか？ その答えは、政府はハザールマフィアの傀儡であり、銀行に支配されているからです。この成果は、長年抱いていたがこれまで不可能だった夢、つまり、すべての個人が行うすべての通貨取引の記録に完全にアクセスできるようにするという、秘密結社にとっての道を開くこととなります。

キャッシュレス社会の危険性:

キャッシュレス社会の導入 中央銀行に大きな権限を与えます。結局のところ、キャッシュレス社会は、マイナス金利などを可能にするだけでなく、中央銀行を民間銀行と直接競争するユニバーサルバンカーに変えることで、通貨供給の絶対的な管理権を中央銀行に移譲します。すべてのデジタル預金は基盤通貨になります。デジタル口座は現金よりも簡単に操作できるからです。

今のところ反発はなく、世界中の人々はそれが自分たちの**経済的自由**に何を意味するのか**理解せず**に、ただ薬を飲み込むだけなのかもしれない。

国民が新しいシステムを真剣に受け止めていないとしても、政府は間違いなくそうするだろう。大西洋の両側の銀行家たちは強制的に無給の政府スパイとなった。従わない場合は罰金が科せられ、銀行免許が剥奪される可能性がある。取締役は投獄される可能性がある。

、**あなたの財政に対する全体主義的な統制の創造**です。あなたが何らかのテロリストに関与しているかもしれないという広められた物語は煙幕です。家賃の支払い、中古車の購入、または（もうすぐ）昼食代の支払いなど、どんな理由であれ現金を使用すると、捜査の引き金になる可能性があります。マネーロンダリング、脱税、さらにはテロの疑いをかけられる可能性があります。- 無罪を証明する責任はあなたにあります。

通貨の全体主義的管理は不可避であり、遅かれ早かれ起こるだろう。唯一の疑問は、読者が自分の富をある程度管理できるかどうかだ。

幸いなことに、土地や貴金属の形で富を保有することはまだ可能ですが、これらは国民に対する全体主義的な統治を求める国以外で保有されている場合にのみ安全です。

詐欺：

世界がいかにしてこの悲惨な状況に陥ったか。この制度は最初から詐欺的なものとして考えられていた。銀行家は他人の金が自分の金庫に眠っているのを見て、こう思うかもしれない。

「鉱山から地中から金を取り出し、それを再び地中の金庫に戻すことに何の意味があるのでしょうか？」

人々は金に対して小切手を書き、彼の紙幣を使っている。しかし金そのものはめったに動かない。落ち着きのない銀行家は、金が詐欺かもしれない 預金者に対しては、銀行が約束したことに応じて、簡単にさらに多くの紙幣を発行して貸し出し、利息の100%を自分で得ることができる。

部分準備金は自由市場では機能しない。

現在、世界中の銀行はこの「部分準備金」制度に基づいて運営されています。健全な銀行家は、**当座預金に対して 100% の準備金を保有する必要があります。**つまり、**発行する紙幣 1 オンスごとに金 1 オンスを金庫に保管する必要があります。**また、**当座預金ではなく、定期預金**の収益のみを貸し出すことが許可される必要があります。

「部分準備金」制度は自由市場では機能しない。法律で定められなければならない。また、紙幣が金などの商品に交換できる場合も機能しない。銀行家にとって利益となるためには、紙幣は「法定通貨」、つまり法定通貨で発行できる紙幣でなければならない。

部分準備制度のおかげで、銀行業は普通のビジネスよりも利益率が高いのです。どの業界でも、平均収益率が高いと競争が起こり、収益率は下がります。

銀行部門は法律で保護されているため、外部からの競争はありません。銀行家は、ビジネスマンが商品を購入するために使う金額を貸し出すことができます。その商品の売り手はその金額を再び預金すると、銀行家は再び利息を付けて貸し出すことができます。銀行家にとって良いニュースは、彼の収益が数倍に増えることです。悪いニュースは、ピラミッド型のレバレッジのため、債務不履行が連鎖的に発生する可能性があることです。

各国の中央銀行は、準備金率を定期的に変更しており、理論的には預金の100%から0%まで変更しています。担当官僚が経済の状態を

どう認識しているかに応じて、銀行はこれらの変化する異常に対応する必要があります。

ダグ・ケイシー氏は、政府の財政問題への対応と森林火災への対応を比較して次のように述べた。

「すぐに消火すれば、すぐに目に見える効果が得られます。しかし、消火が遅れて忘れ去られると、何十年も枯れ木が蓄積されてしまいます。そして、火災が起きると、100年に一度の大火災になることもあります。」

ひとたび火災が起きれば、それは100年に一度の大火災となる可能性がある。部分準備銀行制度は、そのあらゆる不幸な特性にもかかわらず、現在の世界の金融システムにとって極めて重要なものである。

世界の政府や中央銀行が金融システムへの信頼を維持するために全力を尽くすという事実を踏まえて、人生を計画することができます。そのためには、どんな犠牲を払ってでもデフレを防がなければなりません。そしてそのために、ドル、ポンド、円、ユーロの紙幣をどんどん印刷し続けるでしょう。通貨危機、銀行の取り付け騒ぎ、経済崩壊のエピソードは紙の資産に壊滅的な打撃を与えますが、今日の金や銀のように、実物資産を非常に安く購入する機会をしばしば提供します。この瞬間を有利に利用すれば、このアドバイスに従って後悔することは決してないでしょう。

あなたの自由は危険にさらされています：

人類は、奴隷制という偽りの政府制度の下で生きるようには作られていません。第 25 章で説明されているように。政府や国家のために生きる人々はこうした信念を説きますが、自然と残りの人類は別の話をします。人類は当然、あらゆる制御システムから自由になることを望んでいます。

目覚めた人類に注目しましょう。人間として私たちがいかに素晴らしく、才能に恵まれ、恵まれているか、そして自由であることがいかに自然なことかに気付きましょう。目覚めた人々を団結させて、社会をハザールマフィアの支配から救い出しましょう。覚えておいてください。ほとんどの政府は彼らの操り人形であり、したがって彼らは世界市民の敵なのです。

奴隷状態を受け入れず、真の自由のために戦ってください。アルコンの戦略の一部は、食料、燃料、エネルギーなどの必需品の価格を常に引き上げることであり、と考えてください。彼らの干渉がなければ、価格はおそらく少なくとも 40% 低くなるでしょう。

税金や罰金などあらゆる種類の増額が実施され、何十億人もの生活を地獄のようなアルコンの悪夢に押し込めています。今日、彼らが私たちを導こうとしている場所に比べれば、生活はまだ比較的楽園です。

世界とその国民を意図的に悲惨な貧困状態に導いたハザール・ロスチャイルド・マフィアに対する行動に、誰もが参加するよう促されている。

2008 年に銀行カルテルが崩壊した後、それを追放した勇敢なアイスランド国民の例を見てみましょう。アイスランド国民自身が、今日世界の他の地域で起こっている信用貨幣に関する混乱と狂気を終わらせました。信用はこれまで存在したことがなく、現在も存在せず、今後も存在することはありません。それは何もないところから作り出された幻想です。

の決定は、人々 銀行を破綻させ、罪人を刑務所に送るという政策です。その結果、アイスランドは世界の他の国々よりもはるかにうまく乗り越えてきました。

死のカルトと生命を吸い取る反人類寄生虫：

米国では、活動家たちがハザール・ロスチャイルド・マフィア (RKM) 一族に対して宣戦布告し、世界のあらゆる国の人々をRKMに対する国際的な世界戦争に巻き込むことでRKMを阻止することを目指している。今や確実に知られていることだが、RKMは史上最強の死のカルトであり、生命を吸い取る反人類寄生虫である。

彼らは何も無いところから金を儲け、それを彼らの捕虜となったクライアント政府の強制的な税金だけで支えており、まさに現代の**秘密奴隷代理人**であり、歴史上最大の金融詐欺に加担しており、暴力団員による腐敗行為 (RICO) という重大犯罪を構成している。

第 7 章で説明したように、RKM が不正な紙幣製造の確立に成功すると、この流通機構は世界最大の偽造計画となりました。これらの犯罪銀行家は、偽札を使って世界中のあらゆるものや人々を買収し、買収し、所有しました。多国籍企業、破綻不可能な銀行、ほぼすべての有力政治家、実業家、司法機関のほぼ全員、および軍の最高司令部、NATO、国連、IMF、世界銀行、WHO などのほとんどです。

RKM が世界の大半をしっかりと支配している状態を根絶するには、RKM から、弾力性があり、際限のない、法定通貨が偽造し、自ら作り出した「偽札」である負債紙幣を切り離さなければなりません。

これを達成するためには、RKM の違憲な連邦準備制度と他のすべての中央銀行を廃止する必要があります。

が追放されるまでは実現できない。つまり、アメリカ・イスラエル公共問題委員会 (AIPAC) の定めるイスラエルへの忠誠宣誓を行った人々である。

現金の禁止をコミュニティ通貨に変えることが答えです。

ディープステートが政府を通じて現金禁止のような過激で極端な措置を検討するということは、彼ら在必死であることを示しています。金融システムと経済をコントロールし続けることに自信があるな

ら、彼らはこのような行動は考えないでしょう。この行動の結果は彼らにとって逆効果となり、国民にとっては祝福となるでしょう。

今日の「お金」はすべて負債を表しています。不換紙幣は信用の創造の対極として誕生しました。おかしなことに、法定通貨法は人々にこの偽造紙幣の使用を強制しています。この偽造紙幣は中央銀行によって作成され、支払いに中央銀行券の使用を義務付けています。

したがって、もし同じ当局が現金による支払いを禁止すれば、「貨幣独占」の分散化により、金、銀、ビットコインなどの商品の使用が生まれることになるだろう。

これらの商品は崩壊しつつある経済に対する答えであり、キャッシュレス社会の結果を不確実にし、最終的にはこの行動、つまり現金に対する戦争を完全に時代遅れにするだろう。

コミュニティ通貨やさまざまな種類のビットコイン技術により、現金や銀行は時代遅れになります。そこで疑問が生じます。金貨や銀貨を相互に交換し、その価値を即座に知ることができるのに、なぜ銀行が必要なのでしょう？

まさに、コミュニティ通貨は、人々が使用できるお金の選択肢を制限するのではなく、答えであり解決策なのです。

物々交換の場合と同様に、誰もが自分が望ましいと考えるお金を表すためにあらゆる種類の交換手段を自由に使用できるべきです。

言い換えれば、人々は連邦準備銀行券や中央銀行券の使用を強制するばかげた法定通貨法を廃止できるし、廃止する必要がある。1876年、米国通貨委員会の銀委員会は、**お金の崇高な機能**を正しく定義した。

「お金は、社会を構成する偉大な手段であり、社会組織の根幹であり、産業の活力であり、文明の原形質であり、動物の生命にとって酸素が不可欠であるのと同じくらい、お金は文明の存在に不可欠である。お金がなければ文明は始まりもしなかっただろう。お金の供給が減れば文明は衰退し、救済されなければ滅びるだろう。」

銀行システムの正当性:

つまり、人々が必要としているのは、日常的に使用される代替の形態のお金です。これは、金や銀、あるいは暗号通貨と商品通貨の組み合わせを意味する可能性があります。

これにより、ドイツ銀行、モンテ・デイ・パスキ・ディ・シエナ、ABNアムロ、ING、シティグループ、ゴールドマン・サックス、JPモルガン、チェース、HSBCなどの大手銀行は時代遅れになるでしょう。

ブロックチェーンシステムのような革新的な送金支払い方法が導入され、銀行システムの正当性がさらに損なわれている。これらの方法の1つは、[最近導入されたプラットフォームである](#)。これにより、金の貯蓄、獲得、使用が現金や銀行預金と同じくらい簡単になります。国境を越えた支払いなど、多くの場合、クレジットカードによる支払いなどを含む既存のシステムよりも使いやすく、安価であると言われています。

現金の禁止に関する最近の展開は、実際には**素晴らしい祝福**です。なぜなら、この時点で、すべての TBTF 銀行は単に政府の付属物であり、その逆もまた同じだからです。これらの銀行は自由市場の産物ではありません。縁故資本主義と経済ファシズムの道具です。したがって、これらの銀行の崩壊や廃止につながるものはすべて、はるかに良い賭けです。可能であれば、銀行口座の使用を直ちに停止

し、代替コミュニティ通貨の使用を開始してください。第 30 章で説明されているとおりです。

政府から権力を奪いましょう。私たち国民は、政府による通貨の独占を破壊しなければなりません。これは、銀行システムから大規模な脱退と代替通貨への移行によって可能になります。これにより、銀行と政府の権力は縮小されます。

これはおそらくあなたが行うことができる最も重要な変更なので、すぐに実行しましょう。

金融システム、国民の搾取者：

西側諸国全体で、金融システムは**国民の搾取者**となり、経済にとっての重荷となっている。TBTF銀行はあまりにも強力であり、政府によって支援され、補助されている西側金融システムの貪欲さ、詐欺、利己的な行動は、経済生活の完全な崩壊につながる可能性があり、民間金融システムという考えはナチズムと同じくらい国民にとって受け入れられないものとなるだろう。

経済混乱の時代における黄金律は、「金を持つ者が支配する」です。

この新しいキャッシュレス社会では、本来あるべき私たち国民ではなく、金融機関や政府機関がデジタル/ペーパーレス現金を支配し、管理しています。キャッシュレス社会を人々の利益に変える選択肢は、他の誰かではなく、人々自身がそれを実行する限り、無限にあります。

人々は現金禁止をエリート層からの意図しない贈り物として見るべきだ。

ほぼ毎日、COMEX が開くと、金や銀の買い手を落胆させる「衝撃と畏怖」の価格下落が起こります。これは、実際には、西洋諸国が東

洋諸国の需要を満たすために金を供給し続ける能力に関して、ますます切実な思いと「ストレス」が高まっていることを反映しています。インド政府は西洋諸国の腰巾着であるため、このジレンマを打開するには、インドの需要を抑えようとするのが最も簡単な方法です。

インドの中央銀行であるロイヤル銀行の元総裁ラガーハム・ラジャン氏が最近、BISの副議長に任命された。

現金禁止は失敗するだろう：

現金禁止は失敗するに決まっているため、金と銀の価格が反発し、ディープステートと戦うための**衝撃と畏怖を引き起こすことが予想される**。全体主義が「キャッシュレス」通貨システムへと向かう動きを考えると、金と銀を蓄積することが反撃の最良の方法となる。

歴史から、振り子は最終的に方向を変えて反対方向に振れることを学びます。その間、ハザール人の犠牲者の数は日ごとに増加しています。[リストは長く、名高いものです。](#) そしておそらく最大の敗者は、米国の犯罪組織であるクリントンとブッシュだろう。

愚かで、偏執的で、現実を忘れた若者たちを準備する：

第 14 章で説明したように、アジェンダ 21 の全体像は美しくありません。すでに目に見えているのは、全国規模で高圧的な政府の影響を受けた学校制度であり、ソーシャル メディアへの執着が散りばめられ、反動的で思慮のない、社会主義と権利意識のゾンビの潜在的な信奉者世代を生み出しています。かつて大学で見られたオープン マインドは、**洗脳として知られる社会工学の底流に取って代わられました。**

製薬業界に対する陰謀団の支配は、ワクチン接種スケジュールの増加や、子供たちの「行動」問題を矯正するための処方薬の導入という形で、確かに成果を上げています。これは、多数の独立した研究

によると、まさにこれらのワクチンに起因するとされています。このグループは、参加賞の産物でもあります。彼らは、達成や優れた業績が認められるのではなく、単に全員が同じであるという理由で賞品を受け取っています。その結果、論理的思考や常識の使用、最も単純な問題に対する批判的思考ができない、愚かで偏執的で現実離れした若者の世代が生まれています。

反EU勢力:

懸念する理由がたくさんある。

EU勢力は、その地位を大幅に拡大すると見込まれている。ドナルド・トランプ氏が米国大統領に就任したことで、親欧州統合勢力は大きな問題に直面している。欧州懐疑派を抑え込もうとする一方で、欧州人は[ブリュッセルの奴隷であることにうんざりしており](#)、体制勢力は政策を国益にシフトさせなければならず、EUとその超国家的組織の役割は縮小する。

[ブルガリアとモルダビアが首脳選出](#) ロシアとの制裁解除と関係改善を求めた。西側諸国の大企業はロシアへの再投資を開始した。投資が報われるかどうか不確かなまま、彼らは決してリスクを冒すことはないだろう。

敵の神話は大衆に受け入れられる。

ハザール人は、「敵」という神話が常に大衆に受け入れられることを知っている。政治家もそれを気に入っている。それは納税者に、もちろん自らの身を守るために、より多くの給料を納めるよう促す。それは国民に、この重大な危機の時に自由を放棄するよう促すのだ！それはまた、我々の愛国的な政治家の勇敢で揺るぎない指導力のもと、国民が共通の敵に立ち向かうために団結し、心を一つにして考え行動するよう促すのだ。

そして、抵抗する者には不幸が訪れる。彼は我々の敵に対して「甘い」扱いをされるか、あるいは完全な裏切り者とみなされる。どう

やら、テロリスト、特に外国生まれのテロリストは、相当な脅威となっているようだ。

政治的目的のために暴力を行使する人はいつでもいる。結局のところ、それが政治の目的なのだ。暴力こそが政治のすべてである。暴力が伴わなければ、それは「ギブアンドテイク」、説得、交渉、交渉、そして文明的な商業を伴う人生の他の部分と何ら変わらない。

我々を攻撃しようとしている何百万ものテロリストはどうなるのでしょうか？これらの外国人は本当に心配する価値があるのでしょうか？結局のところ、人々はそれほど心配する必要はないようです。

「外国人によるテロ攻撃で死亡する確率は、年間約360万分の1です。そして、この数字は9/11という例外的な事件によって歪められています。この1回の攻撃で、過去41年間に米国内で外国生まれのテロリストによって殺害された人々の98.6%を占めています。」

テロリストが心配ですか？どこかにもっと大きな脅威が潜んでいないとは信じがたいことです。セキュリティはディープステートが提供する中核サービスです。セキュリティにはさまざまな形がありますが、すべて他人のお金で購入されており、さらに悪いことに、人々の自由が奪われています。

不要な保護：

人々は麻薬、タバコ、アルコールから保護されています。シートベルトの着用が義務付けられています。建物検査官、食品検査官、手荷物検査官、煙探知機、火災警報器があります。空港では、健康を害する最も高度なスキャナーで検査されます。

この追加のセキュリティは、一般には大衆に好意的に受け止められています。企業は景気循環からの保護を求めています。既存の大企業は、独立した起業家や資本主義からの保護を求めています。投資

家は弱気相場からの保護を求めています。取り巻きは競争からの保護を求めています。ゾンビは失敗からの保護を求めています。誰もが病気、寒さ、飢餓、そしてどうやら気候変動からの保護を求めています。

おそらく、イスラム過激派は現代世界からの保護を求めており、西洋の人々はイスラムのテロリストを次に保護を求める対象として位置づけている。国が重大な脅威に直面していないにもかかわらず、保護は選挙の主要テーマとなっている。おそらく、米軍が中東から撤退すれば、祖国への脅威は完全に消滅するだろう。

しかし、アメリカは今や帝国だ。そしてディープステートは根本的にみかじめ料の組織だ。マフィアと同様、ディープステートは直接サービスを提供しない。サービス業者が未成年の少女をホテルの部屋に案内するのと同じように、ディープステートはサービスを組織する。ポン引きは金を得る。貧しい搾取された少女がサービスを提供する。そしてマフィアと同様、ディープステートは拒否不可能な保護を「提供」する。望むと望まざるとにかかわらず、支払うことになる。

32. SDR - 新しい世界秩序通貨

- エリート層を優遇し、国民から金を奪うために特別に設計されています。
- 中国は石油の王になりつつある。
- 経済テロによる富の略奪。
- 世界の準備通貨のためのSDRソリューション。
- SDRは世界的な通貨詐欺です。
- 代替の非管理通貨。
- IMFは新世界秩序の最も強力な手段です。

IMFが新世界秩序通貨を担当：

電子通貨は自由から遠ざかり、奴隷化に直接つながります。 唯一残された道は、銀行システムの外で保有される貴金属などの実物資産への多様化です。

1960年代後半、IMFは電子通貨の概念を次のレベルに引き上げ、政府と中央銀行専用の特別引出権（SDR）と呼ばれる独自のデジタル通貨を作成しました。そして、今日のIMFのバランスシートは合計約3,000億SDR（約2,110億米ドル）ですが、物理的な形で存在するSDRは1つありません。

IMF は、国際通貨システム全体を規制する世界中の銀行家で構成されるロスチャイルド クラブによって完全に所有されています。SDR マネー サプライの 100% はデジタルです。ビットコインと同様に、コンピューター データベースに存在するため、50 年前の会計システムのデジタル版となっています。



特に SDR は、さらに大きな詐欺です。SDR が作成された理由は、IMF に十分な実質的な貯蓄がなかったためです。そこで、IMF は、簡単に資金を調達できる新しいデジタル通貨を作成することで、この問題を解決しました。しかし、別の詐欺も行われています。SDR は、米ドル、ユーロ、ポンド、円、そして最近では人民元によって「サポート」されています。しかし、これらの通貨はすべて、通貨の底値競争に参加しており、ゼロに達したときに終わります。これで SDR は完全に失敗します。第 29 章で説明されているとおりで

す。

RKM 同盟国であるドイツ、フランス、その他の国々は、中国を SDR テーブルに組み入れ、米国ドルを彼らが管理する何かに置き換えることで、IMF を彼らの新世界秩序の最も強力な手段にしました。この問題は、IMF が大企業の利益のために国々を強姦し、略奪し、貧困に陥れた恐ろしい実績を持っていることです。IMF を所有し管理している RKM 以外、誰も IMF 世界政府を望んでいません。

既存の通貨制度を陰謀団のために守るために、彼らは単に準備通貨としての米ドルを IMF-SDR 通貨に置き換えているだけであり、その瞬間から危険は増大する。

膨大な世界債務を「解決」するために、中国が加わった今、彼らは SDR の大量発行を通じて世界債務をインフレで帳消しにする可能性が非常に高い。

同様に、国家通貨から欧州ユーロ通貨への変更で何が起こったか、今回再びSDRを世界通貨として発行することは、以前の通貨の大幅な希薄化であることが判明するだろう。それはエリート層、ハザール人だけに役立ち、彼らは新たな金本位制の導入を阻止するために全力を尽くすだろう。なぜなら、それは彼らの権力を大幅に弱めることになるからだ。

一般の人々はSDRを所有することが許されていない。その結果、彼らの購買力は低下し、誰を責めるべきか分からない。IMFを運営しているのは「選出された」役人ではないし、大多数の人々はIMFがインフレの創出に役割を果たしていることすら知らない。ギリシャへの救済措置のときのように、彼らは世界を救わなければならないふりをする事さえできる。

さらに、次のSDR通貨システムは再び紙幣をベースとし、世界の官僚によって管理されることになる。これは絶望的な提案であることは明らかだ。スーパー経済学者が運営するスーパー銀行は長くは続かないだろう！**信頼が失われた瞬間**、SDR通貨は世界の金融システム全体を崩壊させるだろう。

非管理通貨:

本当の解決策は、金と銀に裏付けられた非管理通貨です。金と銀は、何もないところから作り出すことはできないため、どちらも信じられないほどのメリットを持っています。

当面は、物理的な現金を保有する方が、すべてを高度に中央集権化された銀行システム内に保持するよりもはるかに良い選択肢です。中央銀行、特に準備通貨を発行するFRBは、金が通貨の購買力の低下を示す競争相手とみなしているため、金価格の上昇を抑えようとする動機があります。

金市場が操作されているという事実はもはや陰謀論ではなく、市場が実際に操作されており、中央銀行家が望む方向に操作されている

ことは十分に文書化されています。これは、さまざまな中央銀行家が認め、汚れ仕事をしてきた金融機関がさまざまな罪を認めたことにより、今や**事実**となっています。

SDRと銀行に関する真実:

連邦準備制度は、1913年に民間銀行家が自らの利益のために創設しました。金融システムの管理により、ごく少数のエリート層が莫大な富を蓄積したため、彼らのうち、自分たちの事業がこれほど大成功するとは想像もできなかった者はほとんどいませんでした。これらの富の裏には、230兆ドルの世界的負債に加え、未返済債務とデリバティブがあります。実際の合計は**数千兆ドルで、世界の貧困層がその負債を負っています**。彼らが返済できるというわけではありませんが、これらの負債の崩壊は、今後何世代にもわたって大多数の人々を悲惨に導くでしょう。

IMFに関するすべては、名前から始まって、一般大衆を欺くために設計されています。IMFは実際には、寄付基金や投資信託という意味での「基金」ではありません。IMFは世界の中央銀行として機能し、世界中の国々から「借入金」と呼ばれる預金を受け取り、加盟国に融資を行っています。

大半の中央銀行と同様に、IMFも紙幣を印刷しているが、この世界の紙幣には特別引出権（SDR）という不透明な名前が付けられている。世界の金融エリートたちは、自分たちのやっていることに曖昧な名前を使っているため、人々はそれが本当は何なのか理解できない。国際通貨基金（IMF）は、こうしたSDRを印刷できる。SDRは1969年に創設され、これまで何千億枚も発行されてきた。しかし、IMFがSDRを発行するのは、金融パニックが発生したときだけだ。毎日発行しているわけではなく、景気が良いときでもない。

一般の人々は、SDRを使用したり、触ったり、感じたり、使用したりすることはできません。SDRは現金で使用できるお金ではありません。

せん。すべての人々が引き続き現地通貨を持ちますが、これらの通貨はいずれも世界の準備通貨にはなりません。

SDRは、国家間の国際収支、石油価格、そしておそらく世界最大手企業100社の財務諸表の決済に使用されることになる。

貯蓄者と投資家への影響はインフレです。現在のインフレは中央銀行から来ていますが、将来はSDRからインフレが来るという違いがあります。つまり、人々が中央銀行を責めようとする、それは我々のせいではなく、IMFの連中だと言うでしょう。彼らを責めてください。IMFがどこにあるのか誰も知りません。つまり、SDRは裏口からインフレを起こすための手段に過ぎません。内部の人間はIMFをそのように設計しており、外部の人間が何が起きているのか把握するのは困難です。

現在、IMFはこれまでで最も強力な段階に入ろうとしている。2008年に中央銀行は世界を救済した。次の金融パニックは中央銀行の消火能力を超えるものとなるだろう。その時点で、世界の流動性の唯一の源はIMF自身となるだろう。

次の金融パニックを覆い隠すために 5 兆 SDR (7.5 兆ドル相当) を発行すると、インフレが著しく高まる。今回のインフレと過去のインフレの違いは、インフレがどこから来るのかを判断できる投資家がほとんどいないことだ。政治的には、米国財務省や連邦準備制度理事会に責任を負わせるのは容易ではない。なぜなら、彼らは IMF を非難するだけだろうからだ。

SDR のエリートにとっての本当の利点は、SDR を理解する人がほとんどおらず、政治的な説明責任がないことです。この新しい形態のお金は、金融エリートのためにのみ作成されています。世界中の米ドル準備金に代わるものであるため、「世界通貨」と呼ばれています。ところで、SDR が現在の無意味な状態からさらに何かを望むの

であれば、SDR バスケットの 6 番目のメンバーとして金を含める必要があります。

この出来事は近い将来、金曜日に予定されています。人々は、これが自分たちの経済的な安定にどれほどの劇的な影響を与えるか**まったくわかっていません**。この出来事は、米国の株式市場を一掃し、退職後の貯蓄を食いつぶすだけでなく、**最終的には私たちの生活様式を終わらせる可能性があります**

。

金融エリートたちは、SDR は世界中の中央銀行の金庫にあるドルに代わる「お金」だと言います。もし人々がドル建ての資産を 5 セントしか持っていないなら、注意してください。なぜなら、間違いなく、「世界のお金」がその役割を果たす日には、あなたの銀行口座にあるドルと他のすべての通貨の価値が、事実上一夜にして急落するからです。

銀行口座にユーロやドルが残っているととしても、それらの購買力は今日享受しているものに比べればほんのわずかです。つまり、**私たちの世界は瞬く間に劇的に変化しようとしているのです**。

迫り来る世界的嵐に備えてください:

事態はもはや、避けられない通貨崩壊と金融システムの崩壊を止めるには程遠いところまで来ている。しかし、だからといって個人が自らを守るには遅すぎるというわけではない。最終段階に入ると、金融市場はパニックに陥り、政府や中央銀行は厳しい措置を講じることになるだろう。

以下は、今日すべての人が自らを守らなければならない潜在的なリスクの一部です。

- 通貨崩壊 - 資本の破壊につながる

- 資本規制 - 銀行や国外への資金の持ち出しを不可能にする
- ベイルイン - 銀行はあなたのお金を盗んで救おうとする自体
- 強制投資 - 銀行や年金資産による国債の強制購入
- 保管リスク - 株式や債券は銀行によって担保にされ、あなたには何も残らない
- 銀行破綻 - 銀行が破産すると、すべての投資が消えてしまいます

すべての価格は上昇します。かつてはたった 1 万ドルで売れた家を 50 万ドルで買うのは当然です。かつては年間 400 ドルかかっていた大学の授業料が 4 万ドルもかかるのは当然です。レストランでコーラを 5 ドルで買ったり、野球の試合のチケットを 60 ドルで買ったりするのは普通のことです。

なぜなら、紙幣はそういうものだからです。時間の経過とともに消滅します。実際、ドルやユーロと同じように機能した通貨は 3,400 種類以上ありました。つまり、それを使用する **人々の信頼によってのみ裏付けられたお金**です。そして、そのすべてが失敗しました。平均して、そのほとんどは 27 年以上持続しませんでした。最長 72 年を経て、ドルはすでにその寿命の 3 倍の寿命を維持しています。

それに比べれば、IMFはオアシスのように見える。彼らには戦争もなければ、支払うべき道路もなく、生活保護の母親もおらず、社会保障の小切手を発行する必要もない。そして、西洋社会が抱えているような負債のレベルに近いものもない。

これは世界最後のクリーンなバランスシートです。そして、できるだけ早く「ワールドマネー」の放出を後押ししているのはIMFです。誤解しないでください。これは単なる小さな金融上の一時的な問

題ではありません。これは新しい世界秩序の始まりです。中央集権化されたお金、中央集権化された市場、さらには中央集権化された政府、そして連邦準備制度ではなくIMFが財布を管理するのです。

ギリシャのように、退職金の明細書だけでなく、日々の現金口座からも締め出され、一度に数日分のお金さえなくなってしまったことを想像してみてください。年金基金が数時間でゼロになるのをなすすべもなく見守っていることを想像してみてください。あるいは、レジの列が混雑し、見渡す限り棚が空になっている食料品店などを想像してみてください。

まだ間に合ううちに、自分の「ワールド マネー」を手に入れましょう。金が 1 オンス 1 万ドルに達する前に、本物の金と銀を買い集めましょう。「ワールド マネー」がリリースされる前に、人々がそれを所有できる公式の方法はありません。現状では、この新しい通貨は金融エリートだけのものです。

おそらく、ちょうどいいタイミングで、エリートたちの極悪非道な金儲けのゲームは「悪化」から「改善」へと方向転換するかもしれない。

中国は石油王になりつつある：

エネルギー支配を目指す中国の取り組みは、現在進行中の重要な競争、[すなわちロシアとサウジアラビアの競争を示唆している。](#) 中国が設定を計画している新たな石油ベンチマークにおいて、どの国の石油が最も重要になるのか。

中国は、原油のベンチマーク取引を開始したいと表明した。ベンチマークは、個々の買い手と売り手がどの原油を取引するかを決定するため、非常に重要な意味を持つ。

ベンチマークが確立されれば、ロシアとサウジアラビアの競争はおそらく終わるだろう。両国は石油の生産量を徐々に減らし、石油の不当な価格設定は終わるだろう。石油価格は上昇し始め、最終的には史上最高値に達するだろう。

勝者はたくさんいるだろう。ロシア、サウジアラビア、そして何よりも中国だ。中国は金銭ゲームではなく富のゲームに参加している。すでにロシアとの石油のやり取りは人民元建てで行われている。そして中国とロシアが蓄積した金の現物を考えれば、これらの交換は事実上 — まだ正式ではないが — お金であり富でもある唯一の資源、金によって裏付けられている。サウジアラビアと他の湾岸諸国が参加すれば、新しい通貨はまさに人民元となるだろう。

注目すべき敗者が一人いる。それは米国だ。シェールオイル生産量の減少により国内で生産される石油では需要を満たすことができず、また、東洋で生産される石油は金に裏付けられた人民元建てとなり、ドルのかつての栄光は影を潜めるため、米国は苦しむことになるだろう。

最も重要なのは、石油はもはや単なる紙切れではなく、真の富、つまり金に裏付けられた紙切れと交換されるようになることです。金を所有していないと、今後長い間後悔することになるでしょう。

金や銀は、世界が経験するであろうすべての問題から投資家を守ってくれるわけではありません。しかし、正しい方法と場所で保有されていれば、貴金属は、今後数年間に起こるであろう大規模な富の破壊に対する最良の保険となるでしょう。

結論：

いずれにせよ、SDR であれ、金に裏付けられた人民元であれ、人民が自らの解放闘争を戦わない限り、人民は解放されず、自由を取り戻すことはできないでしょう。中国であれ、他の国であれ、誰がトップに立つにせよ、権力への渴望が続く限り、最終的には再び抑圧

がもたらされることは間違いありません。**唯一の解決策**は、自らの手で問題を解決し、真の無政府状態、つまり**支配者のいない状態を****実践することから始める**ことです。

現在、RKM の陰謀団は暴露を通じて組織的に打ち負かされつつあり、人々は徐々にそのシステムの実態を理解し始めています。これはこの本で何度も説明されています。-エリートが完全に降伏するまで、人々の**目を覚まし続けることをやめない**でください。彼らは「カーテンの裏側」の犯罪者であり、彼らの唯一の意図は、彼らの精神病質的な目的を達成するために全人類とともに地球を破壊することであるという真実を人々が認識し始めているからです。**目覚めている人が増えれば増えるほど**、彼らを永久に排除することが容易になります。

現実主義者として、政府の行動がまったくのでたらめであり、あなたの自由を制限することだけを目的としていることを理解し、認識して、自分自身を解放してください。

多くの人々は、反乱や対抗措置は問題を悪化させるだけなので、行動を起こす価値はないと考えています。しかし、ほとんどの人は、私たちが、フリーメーソンの宗派主義に基づいて組織され、無制限の影響力と資源を自由に使える、**悪魔的な自己陶酔的精神異常者の小集団**を相手にしていることを理解していません。これらの人々には共感がなく、**嘘をまじえた根拠のない論理に頼っています**。彼らは何にも動じず、力、支配、富だけを切望し、それを**カズクの言葉**、**地球の完全な破壊と人口削減によって獲得**し、最終的に残りの人口を奴隷にして世界を自分たちのものにしようとしています。

真実：

主流メディアは、RKM 陰謀団の計画のために CIA によって運営されており、人々をできるだけ無知にして簡単に操作できるようにすることを唯一の目的としています。彼らは「**真実の守護者**」を自称

していますが、実際はあなたを騙すゲームに参加しています。そして、嘘をつくのに忙しい間、彼らは私たちや私たちのように真実を語り続ける人々を破滅させるために、できることはすべてやっています。

コントロールの暗黒の三位一体：

制御パラダイムの 3 つの主要構成要素は興味深く、知っておくべき重要なものです。大衆意識を操作するために使用される制御パラダイムのさまざまな側面は、**振動、感情、心理的制御を表す VEP と呼ばれる 3 つのグループに分類されます。**ワクチン、食品添加物などによる物理的（振動）制御。さらに、彼らは、設立した学校、大学、大学のさまざまな教育カリキュラムと連携して、恐怖、人為的な危機、テロリズムを通じて感情的および心理的な制御を行使します。この本で説明されているように行動して、自分自身の命と他の人の命を救いましょう。

経済テロによる富の略奪：

私たちの世界には、グローバリズムを築くために、あなたやあなたの家族を破滅させるために必要なことは何でもする邪悪な勢力が存在します。ブリュッセル爆破事件からパナマ文書、シリアでの虐殺、中東の混乱、難民危機まで、すべてはずっと以前から計画されていたのです。

ほとんどの人はこの事実苦しんでいます。私たちの政府は、積極的に私たちを殺し、私たちの社会を破壊しようとしている、西洋社会のエリート支配者たちに雇われた操り人形であるという考えとともに生きるのは非常に困難です。

経済テロは西側諸国を揺るがし続けている。広められた虚偽の物語は、我々は不況から抜け出すために奮闘しているというものだ。しかしこれは不況ではなく、2008年以来続いている不況なのだ。経済崩壊はもはや金融緩和では食い止められない。中央銀行家たちが来

たる「回復」について語っていることを考えると、我々の政府は少なくとも最悪の債務苦境から抜け出すために奮闘しているだろうと予想する人もいるかもしれない。なぜなら債務は完全に制御不能だからだ。どの国も財政均衡を図ることはできないし、そうしたいとも思っていないようだ。政治家たちは債務を制御できないことを心配していないようだが、このプロセスに直接関わっていない人々はこれがどこへ向かっているのか分かっている。すべての西側諸国社会に迫りくる大惨事は、ジンバブエ、アルゼンチン、そして今度はベネズエラを苦しめたのと同じだということを理解しているのだ。

このプロセスを止めるために何もなされていない。世界大戦の有無にかかわらず、西側諸国が破産に陥るのが早ければ早いほど、エリートたちはよりグローバル化された新しい通貨システムを世界に押し付けることができるようになる。

個人にとって、この経済的な罠から抜け出す最も簡単な方法は、金と銀です。これが、この本でこの側面が頻繁に強調して繰り返されている理由です。賢明な考えを持つすべての個人が、貴金属を購入して自分自身を守る行動を起こすよう動機づけられることを願っています。

金と銀は、長期的に見て最高の支払い能力と安全性を提供します。

あなたの富を盗むための新たな計画：

世界の金融エリートたちは、あなたの富を盗むための新しい秘密計画を開始しました。彼らは、自分たちと、意味を理解するよう訓練されたごく少数の人々にしか理解できない言葉を使います。彼らは通常、計画をあからさまに隠していますが、カルマを逸らすための宇宙の法則に従って、常にこっそりと計画を私たちに知らせています。

次の計画は次のとおりです。世界のエリートたちは、共感を込めて「アースデー」と呼ばれる2016年4月22日にパリ気候協定に署名しました。

その目的は、地球温暖化を摂氏2度未満に抑えることです。その達成に向けて、二酸化炭素排出量の大幅な削減を求めています。科学者の中には、2030年から2050年の間に排出量をゼロにすることが最終目標になるかもしれないと主張する人もいます。この「気候協定」は偽りの旗印の下に進められています。これは気候協定というより、エリート層がアジェンダ2030を推進するために利用できる議論であり、誰もそれを疑うことはありません。

2016年4月25日、「世界的なリフレーションの資金調達方法」が発表されました。

世界の中央銀行家たちは、この目的には不十分な、相当の薬をすでにかかなり前から調合していることは間違いない。紙幣の印刷、量的緩和、ゼロ金利、マイナス金利。どれも破綻しつつある世界経済を復活させることはできず、今や彼らは公式に「不況」が再び迫っているとパニックに陥っている。解決策は？

「気候変動」と戦うための大規模な世界的支出は、ケインズの美徳の書からそのまま引用したものです。言い換えれば、数兆ドルに上る世界規模の「ヘリコプターマネー」です。次のように述べられています。

地球公共財、つまり発展途上国のニーズを満たし、気候変動を緩和するために必要なインフラへの投資は、世界的なリフレを促進する可能性がある。今後 15 年間、地球温暖化に対処するためだけでも、年間 6 兆ドルのインフラ投資が必要になると推定されている。さらに、G20 は、世界経済の緩やかな成長を維持するために、上位 9 か国による年間 7.1 兆ドルの追加投資が必要になると推定している。

今回はハザール人が支配するIMFが特別引出権（SDR）の発行を通じて、ショーを運営することになるだろう。

世界有数の準備通貨の発行国である米国が、インフラ投資のギャップを埋めるために必要な流動性を提供する意思も能力も持っていないため、新たな補足的な準備通貨を導入する必要がある。

中央銀行は、資源を生み出すために、IMFを通じてSDRの増額という形で投資することでバランスシートを拡大するだろう…それらは世界銀行や他の多国間開発銀行にそのまま投資することができ、どの地球公共財に資源を投入するかを決定することができる…このようにして、地球公共財に資金を供給できるだけでなく、地球回復を推進することもできる。

まさにこれです - IMF の厚意による「補助準備通貨」による世界経済の回復。おまけに地球の救済まで！ - 地球温暖化は本当なのでしょうか？ 章で説明したように、本当ではありません。この計画で何か達成できるのでしょうか？ 心配しないでください。これは単にお金をもっと印刷するための議論にすぎません。

地球温暖化は単にエリートたちが2030年の計画を実現するための手段なのだろうか？

これは最大の詐欺です。中央銀行は、IMFが発行する特別引出権（SDR）と呼ばれる新しい世界通貨に投資します。その後、IMF、世界銀行などがこの資金を受け取り、気候変動、インフラ、その他の選択したプロジェクトに投資します。

すぐにこの新しいお金が流通してインフレを引き起こし、既存の政府債務の実質価値を消し去り、その過程であなたの貯蓄も消え去ります。エリートたちはお気に入りのプロジェクトに資金を提供し、政府債務は消え去り、あなたは請求書を支払います。何よりも素晴らしいのは、エリートの観点から

は、その方法が非常に技術的であるため、何が起きているのかほとんど誰も理解していないことです。

世界の準備通貨としてのSDRソリューション:

準備通貨を持つ国は、世界貿易を維持するために、莫大な貿易赤字を出さなければなりません。問題は、その莫大な赤字が最終的に発行国を破産させることです。したがって、世界に貢献するか、自国に貢献するかを選択する必要があります。 - IMF は国ではないため、そのような制約はありません。したがって、無制限の支出と印刷を通じて世界経済の成長を実現する SDR の解決策があります。

現在、米国は準備通貨を保有しており、その結果、世界貿易の資金調達のためにドルを供給するために貿易赤字を計上しなければなりません。これにより、印刷されたドルで賄われる輸入に対する欲求が生まれました。

それで、問題は解決しました。世界はドルを手に入れ、世界貿易は繁栄しました。しかし、赤字が長期間続くと、破産に至ります。現地通貨に基づく準備制度は、ゲームを継続させるのに十分な金が多すぎるか、または「**固定**」価格で十分な金がないため、最終的には崩壊します。赤字と信頼の間のこの矛盾は、最終的には持続不可能になります。

1970年代に米ドル準備制度は崩壊した。解決策として、1971年にドルと金のペッグ制を廃止し、1974年に金の貨幣価値を廃止した。

1969年、当時としては先見の明があった IMF の特別引出権 (SDR) が発明されました。SDR は IMF が発行した新しい種類の世界通貨でした。そのアイデアは、SDR を米ドルと並んで準備通貨として使用できるというものでした。つまり、米国が貿易赤字を解消し、世界へのドル供給を減らした場合、準備金の不足分は SDR の発行によって補うことができるということです。

実際、SDRは1969年から1980年にかけてのドル危機の間、繰り返し印刷され、配布された。しかし1970年代には、ヘンリー・キッシンジャーの助けを借りて、サウジアラビア国王と一部の私的な陰謀団の銀行家らと共同で、**違法なオイルダラー**が発明された。

オイルダラー制度下では、サウジアラビアが石油価格をドル建てにするという条件のもと、米国の金利は、今度は実際の石油に裏付けられた魅力的な準備資産である金なしでも十分高くなるだろう。この「オイルダラー取引」は、石油を購入したい国は、ドルが好きかどうかに関わらず、石油の支払いにドルが必要であることを意味していた。

そこで、米ドルは航空機、重機、農産物などの米国輸出品の購入に使われました。ゲームは続きましたが、今度は金がありませんでした。この新しいドル王の時代は1980年から2010年まで続きました。それでも、すべてはドルへの**信頼に基づいていました**。

米国は引き続き多額の貿易赤字を抱えていた。世界貿易はドル準備金に依存し、中国が先頭に立っていた。しかし、このゲームは2008年の恐慌の余波で通貨戦争が始まった2010年に終了した。貿易相手国は再び1970年代初頭のように、自分たちの地位をめぐる競争していた。新たなシステム崩壊が差し迫っている。

不可能な状況:

2011年のドル安は、米国の成長を刺激し、世界が新たな不況に陥るのを防ぐ目的で計画された。この計画はしばらくはうまくいったが、世界の債務の大半が米ドル建てで、米ドルで返済しなければならなくなったため、状況は一転し、米ドルは再び上昇し、ユーロと円は下落した。これにより日本と欧州はいくらか安心したが、米国にとっては再び成長が鈍化した犠牲となった。

通貨戦争の問題を解決する別の解決策としては、新たな金本位制を導入することがあったが、デフレにならないためには金価格が 1

オンスあたり 1 万ドルにならない。世界中の中央銀行家は誰もそれを望んでいない。なぜなら、中央銀行の紙幣発行能力が制限され、世界の中央経済計画者としての役割を果たす能力が失われるからだ。

2つの問題が同時に解決されました：

1969年には、別のハザール組織であるIMFのSDRという代替手段がすでに創設されていました。

これで、準備通貨の発行国が貿易赤字を出し、破産することになるという 2 つの問題が同時に解決されました。しかし、SDR は IMF によって発行されます。IMF は国ではなく、貿易赤字もありません。理論上、IMF は SDR を永久に発行しても破産することはありません。SDR は、閉回路内で IMF 加盟国間で循環するだけです。

個人はSDRを保有しない。国家だけが準備金として保有する。これらの傀儡国家は、新しいSDR制度を破るつもりはない。なぜなら、彼らは皆、同じ状況にあるからだ。そして、ハザール人は、国民の富と金銭を略奪し続けるための新たな時間的猶予を作った。彼らの現地通貨は窃盗のためにインフレしているため、国民は相変わらず敗者のままである。

もう一度言いますが、だからこそ貴金属やその他の実物資産で保護されることが重要なのですが、残念ながら、空の ATM に並んだギリシャ人のように、ほとんどの人は不意を突かれることとなります。

この SDR システムはあまりにも理解が不十分で、インフレがどこから来ているのか人々には分からない。選出された公務員は IMF を非難するだろうが、IMF は説明責任を負わない。これが SDR の素晴らしいところであり、債務問題はインフレによって解消され、誰も説明責任を負わないのだ。

元CIAエージェントがエリートを排除する方法を解説！

連邦準備制度は機能不全に陥っている。人々は何が起きているのか理解する必要がある。解決策が不足しているわけではない。お金が不足しているわけでもない。不足しているのは、神から与えられた**権力を行使する国民の政治的意図だ**。政府は腐敗し、愚かで、政治家は故意に愚かだ。政治はあまりにも汚く、頭のいい人間なら誰にとっても時間や労力に見合わない。魂のある人間は、自らを経営する仕事に戻らなければならない。気づいてほしい、私たち自身が変化を推し進めなければならない！**中央銀行は悪だ**。中央銀行は、自分たちの利益のために国民を破壊する仕事をしている。私たちはシステムを修復しようとはならず、それに代わる新しいシステムを作らなければならない。政府はいずれにせよ廃止されるのだから、政府に時間を無駄にしてはならない。

SDR は世界的な通貨詐欺です。

貯蓄口座のお金は、銀行の金庫の中に積み上げられているわけではありません。実は、貯蓄は実際には存在しません。すべては電子口座台帳の数字です。銀行振込やクレジットカードの使用のたびに、人々はこれらのデジタル通貨単位で取引を行います。

この概念は、イタリアの銀行家が物理的なお金がなくても取引を行えることに気づいた中世にまで遡ります。中世の銀行家は、田舎で金貨を運ぶリスクを冒す代わりに、借方と貸方のエントリを単に帳簿に記入しました。コンピュータはありませんでしたが、概念は同じでした。物理的なお金ではなく、口座帳簿で取引と残高を追跡したのです。

つまり、あなたの普通預金口座にある「お金」は、実際にはあなたのものではないということです。あなたには実際には貯蓄はありません。あなたが本当に持っているのは、**銀行の貯蓄に対する請求権**です。あなたの口座は、銀行のデジタル元帳の負債欄の単なるエン

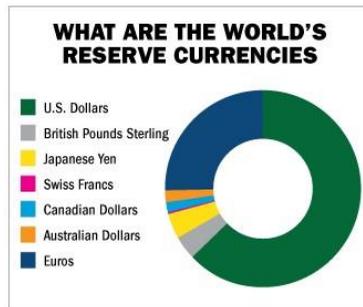
トリです。預金をするとき、あなたは自分のお金を、あなたに返済するという銀行の約束と交換しているのです。そして、その約束を破る権限を銀行に与える規制は無数にあります。これは自由なシステムではありません。そして、理性的な人なら誰でも、このシステムの外で少なくとも緊急資金を保持することを検討すべきです。

これがまさに、中央計画者たちによる現金に対する戦争の理由です。過去数年間で彼らがこの方向にどれだけ進んだかを示すために、以下をご覧ください。

- イタリアでは1,000ユーロを超える現金取引は違法となっている。
- スイスは10万フランを超える現金支払いを禁止することを提案した。
- ロシアは1万ドルを超える現金取引を禁止した。
- スペインは2,500ユーロを超える現金取引を禁止した。
- メキシコは20万ペソ以上の現金支払いを行った違法；
- ウルグアイは5,000ドルを超える現金取引を禁止している。
- フランスは、これまでの3,000ユーロの制限から1,000ユーロを超える現金取引を違法とした。

彼らは、政府があらゆるものやすべての人を記録し、管理し、課税できるように、手渡し通貨を排除したいと考えています。

このグラフは、「準備通貨」の資格を持つすべての通貨と、世界各国の政府が保有する通貨の割合を示している。米ドルは、圧倒的に主要な準備通貨である。ほとんどの中央銀行が自国通貨以外の通貨で資金を保有する場合、外貨の最も大きな割合を米ドルで保有しており、その割合はなんと 62% である。平均すると、ユーロで約 23%、日本円と英国ポンドでそれぞれ約 4% ずつ保有している。スイスフランも実際には準備通貨であるが、各国が保有するフランの額はわずか 170 億ドルで、全体の 1% にも満たない。



IMFは新世界秩序の最も強力な手段である。

世界政府に向けた交渉において識別可能な派閥は何ですか？

フランス、ドイツ、その他のヨーロッパの同盟国は、中国をSDRのテーブルに招き入れることで、IMFを彼らの新世界秩序の最も強力な手段にしようとしており、それによって米ドルを彼らが管理するものに置き換えようとしている。

代替の非管理通貨：

中央銀行や IMF によって管理されていないお金は、「おそらく」ビットコインです。

金である時代には斬新な概念である。 裏付けのあるビットコイン、金、銀は、何もないところから作り出すことはできないため、どちらも信じられないほどのメリットがあります。当面は、物理的な現金を保有することさえ、すべてを高度に中央集権化された銀行システム内に保管するよりもはるかに優れた選択肢です。

金先物：

紙と金の比率が 500 であることは、銀行が金/銀の価格を抑えようと必死になっていることの反映に他なりません。紙と、その裏付けとなる現物商品の比率は、CFTC（商品先物取引委員会）と CME（シカゴ・マーカンタイル取引所）が他の商品市場で許可している比率を何倍も上回っています。

これは先物市場の目的を完全に破壊するものです。金先物は、米国がドルを円に対して切り下げた 1 年後の 1974 年に導入されました。当時の連邦準備制度理事会議長ポール・ボルカーは、ドルが切り下げられたときに金価格の上昇を阻止しなかった連邦準備制度理事会の誤りを 20 年後に認めました。1973 年当時は金先物が存在しなかったため、金価格はまだ操作できませんでした。

33. 世界の中央銀行を全て閉鎖する

- ヨーロッパとアメリカの支配者たちは金融詐欺を犯している。
- 部分準備銀行制度は逆ピラミッド型の負債を生み出します。
- 金触媒および安定剤：
- 中央集権化され、統制された世界的ファシスト国家：
- 崩壊ブーム：
- 無限の力はすべての個人の中にあります。
- 中央集権的な世界的統制はほぼ事実である：

ヨーロッパとアメリカの支配者たちは金融詐欺を犯している

。

連邦準備制度理事会が1914年に設立されて以来、すべてのドルは民間の中央銀行から**借り入れられて**きました。連邦準備制度理事会がこれまでに作り出したすべてのドルは、利子付きでその銀行に返済される義務があります。



**HOW TO
END
THE
FED**

政府は通貨を発行することが許されています。民間機関、つまり中央銀行だけが通貨を貸し出し、何も無いところから通貨が作り出され、利子を付けて政府に貸し出されます。借金がすべて返済される

と、利子を支払うための通貨はなくなり、これもまた借金として存在しなくてははいけません。これが国家債務が拡大し続ける理由です。**決して返済できません**。不可能です。なぜなら、借金がすべて返済されると、流通しているお金はなくなるからです。言い換えれば、私たちの政府自身が**詐欺行為**を行っているのです。

ロスチャイルド、ロックフェラー、モルガンの三人組は、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリアに民間の中央政府認可銀行を設立し、まずヨーロッパの支配者となり、その後アメリカの支配者となった。彼らはアメリカでも同じことをして大勝利を収めるという自分たちの道を誰にも邪魔させようとはしなかった。

1914年のタイタニック号の沈没は、このカルテルが意図的に計画し、画策したもので、ベンジャミン・グッゲンハイム、イザ・ストラウス、ジェイコブ・アスターの指揮の下、乗船していたヨーロッパの金融専門家400人から連邦準備制度の計画に強く反対する声を排除するためだった。彼らは全員、賄賂を受け取った船長にカルテルから、この事故で彼らが生き残らないようにするよう指示され、故意に暗殺された。

連邦準備制度理事会は、他の中央銀行と同様に、不渡り小切手を発行することで政府や銀行システムに融資を行います。

また、不渡り小切手で製品を購入しています。しかし、1977年に発表された「簡単に言えば」という文言によれば、

「小切手を発行する場合、小切手をカバーするのに十分な資金が口座になければなりません。」

しかし、FRBや中央銀行が小切手を書くとき、その小切手が振り出される銀行預金はありません。彼らが小切手を書くとき、彼らは同じ筆使いでお金を作り出します。もっと正確に言うと、**彼らはお金ではなく通貨を作り出します**。そして、**新しく作られたドルが銀行**

に預けられると、銀行は「**部分準備金**」銀行制度の奇跡を利用して、さらに多くの通貨を作り出すことができます。

部分準備銀行制度は逆ピラミッド型の負債を生み出します。

これらの銀行は、口座に預けられた通貨を実際に貸し出すわけではありません。代わりに、無から新しい不換紙幣を作成し、それを貸し出します。つまり、これらも借り入れによって生まれたものなのです。言い換えれば、1000 を預金すると、10% の準備金を保有する義務があり、銀行は帳簿上の記載だけで 900 の新しいクレジット ユニットを作成し、それを利子付きで貸し出すことができます。その後、これらの新しいユニットが当座預金口座に預けられると、その銀行はそれらの預金の価値のさらに 90% を作成し、さらにその 90% を作成する、というように繰り返していくことができます。



連邦準備制度が設立される前は、**所得税**、輸入関税、政府全体の費用を賄うアルコール、タバコ、ガソリンなどの購入に対する物品税は存在しなかった。これらの税金は、政府を運営するのに十分な収入を生み出していた。しかし、連邦準備制度の中央銀行が紙幣を印刷したために利子を支払わなければならなくなったとき、国民から金を巻き上げるために所得税が創設された。

部分準備銀行制度は、10%の準備金要件を伴う逆ピラミッドのようなもので、底辺の1ドル/ユーロ/ポンド/円を層ごとに拡大して最上部の10まで拡大し、これを何度も繰り返して逆ピラミッドを他のピラミッドの上に重ねることで、非常に不安定な状況を引き起こしますが、政府は自国の通貨が以前と同じ価値があるかのように行動できますが、これは真実ではなく、最終的には失敗に終わります。

銀行破綻：

銀行は、少量の「余剰」準備金があれば、預金と引き出しの日々の変動をカバーし、均衡させることができます。しかし、預金を引き出す人が多すぎると、深刻な問題が発生する可能性があります。余剰準備金を使い果たされると、部分準備銀行制度はひどい逆行状態に陥ります。1 ドルを支払うために、銀行は 9 ドルのローンを清算する必要があります。これは 1931 年に発生し、通貨供給の崩壊の主な原因となり、銀行取り付け騒ぎを引き起こし、銀行破綻の連鎖反応を引き起こしました。

金触媒および安定剤：

銀行システムの内部崩壊の連鎖反応を止める、あるいはさらに良いことには回避し、人々の信頼を取り戻すためには、銀行システムによって生み出された余剰通貨の結果として生じるインフレを通じて人々から金を盗むのではなく、政府に通貨の価値を下げるよう強制できる金の裏付けを導入することができたはずだ。

金は、過去すべての経済的苦痛と苦難を防ぐことができた、世界無敗のチャンピオンでしたし、今もそうです。

金と銀は銀行や政府からの*規律と制約を必要とし*、それが彼らが金と銀を嫌う理由です。実際、1930 年代に起こったこと、つまり大恐慌の根本原因は不正行為と、その時点まで安定に大きく貢献していた金の*規律の欠如*であり、今日の金の不在についても同じことが言えます。

1930 年代にはある種の金本位制が導入されましたが、*部分準備銀行制度の結果*、その影響力は大幅に薄れてしまいました。部分準備銀行制度では、金に裏付けられた 1 ドルで新しいお金が作られ、その結果、逆ねずみ講詐欺に部分準備銀行制度が適用され、すべてのポンジー スキームと同様に崩壊に終わったため、金の裏付けが薄れてしまいました。

この状況は、本物の金や資産に完全に裏付けられた、オープンで誠実に透明な金融システムを導入するための第一歩を踏み出して初めて解決できます。銀行から「部分準備金」の狂気が世界的に首尾よく排除されれば、人々は金融システムへの自信と信頼を取り戻し、所得税は廃止されるでしょう。

ちなみに、平均的な人は直接所得税の 35% を政府に支払っていますが、生産チェーンとサービス チェーンから徴収される税金を加算すると、合計税額は所得の 80% になります。

無責任と無能:

今日の制度は我々の破滅に資金を提供するために使われてきましたが、新しい制度では資金はより有効に活用されるでしょう。政府の運営費を十分に賄うために、新たに購入されるすべての品物にのみ売上税を課す計画がすでにあります。

逆に、不換紙幣や紙幣の「価値」は、政府の無責任さと無能さの本質を示しています。健全な金融および財政原則を適用しても、政府はごく限られた期間しか権力を維持できません。すぐに、票を買うために過剰な借金と紙幣の印刷に頼らざるを得なくなります。 - ヴォルテールは 1729 年にすでにこう言っています。

「金は経済の失政を明らかにする。」

金価格の高騰は経済運営の失敗を反映しているため、中央銀行や政府は金価格を抑えるためにあらゆる手段を講じるだろう。これは2011年以来起きていることである。特に中国とインドからの現物金の需要はかつてないほど高まっているが、金価格は人為的に低く抑えられており、採掘コストが大幅に上昇したため、金の生産は停滞している。

金融経済のレバレッジが高まったため、実体経済は縮小し、いかなる尺度で見てもかつてないほど債務が膨らんでいる。歴史上かつて

ないほどの債務返済に充てられる収入とキャッシュフローが減っている。状況は 2007 年よりもはるかに悪い。景気後退と戦うためのマクロ経済の武器は、基本的にすべて使い果たされている。

摘発された犯罪者:

連邦準備制度理事会と世界の中央銀行には他に選択肢が残されておらず、過去 8 年間にわたって紙幣の増刷とゼロ金利政策を続けてきたが、大規模な株式バブルを除いて経済の改善はまったく達成されていない。彼らは現在、自ら仕掛けた QE の地雷原に捕らわれている。自ら債務の罟を作り出しているのだ。

具体的には、過去 110 年間の偽りの西洋金融システムは、世界中の人々に対する完全な詐欺と欺瞞でした。現在、これらの犯罪者はこの惑星の人々に暴露されており、この悪が現実であり、私たちはこれらの悪党に完全に騙されていたことがようやく理解されつつあります。

崩壊する世界貿易:

世界貿易が完全に崩壊しつつあるという証拠はバルチック海運指数に示されており、海上運賃は前例のないレベルまで下落している。

200兆ドルを超える世界的債務ピラミッドが今、私たちの周りで崩壊しつつあり、手遅れではあるものの、国際決済銀行 (BIS) の元チーフエコノミストは、私たちがまもなく「**破産の雪崩**」に直面する可能性があるかと警告している…

一方、主流メディアは皆にパニックにならないようにと呼びかけています。売り時ではなく、主流メディアは人々に、今株式市場にある「お買い得」をすべて利用するために、買って飛び込むように促しています。多くの読者がすでにご存知かもしれませんが、メディアでは黒は白、上は下です。

経済にはゼロサムゲームなど存在しない。経済システムは、20年以上にわたる無分別で財政的に無秩序な債務の急増によって膨張し、変形し、不安定化している。この道を進み続けることは不可能であり、明らかに、この世界の人々を救済するためには体制転換を実施しなければならない。

アメリカで最も厳重に守られた秘密：すべてを支配する秘密基金。

ロブ・カービー氏はこう語る。

「我々はここで極めて暗い何かについて話している。これは非常に暗い存在だ。これはアメリカが持つ最も厳重に守られた秘密の一つだ。」

カーテンの裏にいる男たちは、この極秘のディープステートの資金源を利用して、ほぼ100年にわたって世界の出来事や通貨を操作してきました。

ディープステート銀行 ESF（為替安定化基金）は、ある組織によって市場に投げ売りされた 1 兆ドル相当の現金国債を購入しました。米国政府の財務長官が ESF を運営しています。このようにして、8 兆ドルという天文学的な金額の国債が消えました。

ESF は米国の債務をすべて回収し、即座にハイパーインフレを引き起こす可能性があります。原油価格が 30 ドルを下回ると、オイルドルの終焉を意味します。多くの国は、他の通貨で原油を購入できるため、ドルを使わなくなっています。現在、原油ははるかに安いいため、原油を購入するのに必要なドルは少なくなっています。

最終ゲーム：

システムの崩壊はすぐに起こると予想される。ベネズエラ、アルゼンチン、カナダはすでにハイパーインフレに陥っている。カナダドルの強さは、オイルサンドからの石油が1バレルあたり2〜3ドルと

低い石油備蓄に基づいている。 - 問題は2008年よりもずっと先送りされすぎている。すでに電子銀行の取り付け騒ぎがあり、1時間以内に5000億ドルが引き出された。FRBはそれを阻止しようとしたが、1200億ドル以上を注入することはできなかった。 - これは緊急の呼びかけである。

あなたの通貨を金や銀に交換しましょう！ [インタビューをご覧ください](#) [ロブ・カービー](#)と。

ESF は金の裏付けがないため通貨を安定させなければならないが、これは犯罪的な仕掛けであり、彼らは国家安全保障を装って行動しているとジム・ウィリーは言う。金融界全体がひっくり返ってしまった。

世界的な通貨危機は、まだ始まったばかりだ。 [彼のインタビューをフォローしよう](#)。

新しい世界金融システム:

まさに同じ理由で、2011年8月にニール・キーナンは、57か国の金融代表者グループが出席する会議をモナコ沖に開催し、中央銀行とNWO計画を掲げるハザール人を打倒する方法として、新たな世界金融システムの構築について議論した。

参加国には、ロシア、中国、スイス、オランダ、ブラジル、ベネズエラなど多数が含まれ、国防総省やCIAの「ホワイトハット」派（非NWO）など、さまざまな大国も参加した。

東側は世界の金の大部分と、国際担保口座を違法に利用してきた腐敗した機関を合法的に倒すための書類を保有している。この「同盟」は、新たな金と資産担保金融システムの構築を開始することを決定した。この会議は「事情通」にとって「世界中に響き渡る一撃」として歓迎され、後に他のいくつかの国も参加し、覚書に署名した

。

この協定の承認により、同盟の参加国は合計 182 か国になりました。

同盟：

さて、詐欺的な銀行秘密結社を倒す「同盟」が成長しつつあることは明らかです。ニール・キーナンは、まさに世界担保口座を開設しようとしています。これはまさに、この惑星でこれまで起こってきたすべての金融および政治の出来事の目的です。つまり、世界担保口座の完全な管理と秘密保持の試みです。ニール・キーナンは、JFK とスカルノが 1963 年に達成しようとしていたことを実行しようとしています。つまり、世界担保口座を公開して、世界を完全に良い方向に変えることなのです。

ケネディに貸し付けられた担保の金資産により、彼はこれらの資産 / 口座を使用して、アメリカ独自の金担保通貨「財務省証券」を発行することができ、それによってアメリカは偽りの米国企業と連邦準備銀行、つまり犯罪カルテルから脱却し、さらに不正なFBI、CIA機関を解体することができたはずである。

もしケネディとスカルノが成功していたら、アメリカは1963年に借金による束縛システムと秘密のディープステート政府から解放されていただろう。これにより、それぞれの中央銀行システムによって支配されていたG20諸国も解放されていただろう。そして、不公平なブレトンウッズ協定も破棄されていただろう。

ジョン・F・ケネディの暗殺：

ニールは、ジョン・F・ケネディがインドネシアでスカルノ大統領と米国の新たな金融システムを確立するための取り組みについて最後の会談を終えて帰国したとき、その時点ですでに JFK には不利な点が二つあったことを思い出す。

まず、ケネディは西パプアをオランダからインドネシアに返還し、金鉱床でも知られる戦略的な場所を大幅に支配していた大手石油会社や企業の大物たちを遠ざけた。

第二に、ケネディは、CIAと連邦準備銀行の解散を含むインドネシアでの活動に関するすべての情報を彼の陰謀団の指導者に転送していた彼自身の副大統領、リンドン・ジョンソンに関する欺瞞を無視しました。

これは1963年のジョン・F・ケネディの暗殺に直接つながった。ケネディ大統領とスカルノ大統領は、国家をより強く偉大にするために数多くのプロジェクトに取り組んでいたが、特にその中の1つが新しいアメリカの金融システムであり、民間所有の連邦準備銀行と中央銀行による法定通貨の印刷をすべて廃止し、[政府に国の通貨を発行する権限を与える](#) 自体。

目覚め：

社会はゆっくりと、人類にとっての公式の「真実」に操作されてきた虚偽の物語から離脱した集合意識へと進化しています。私たち全員が騙されてきたので、私たち全員がこの混乱を調査し、将来の世代のために他の人に知らせることで効果を発揮する責任があります。

良いニュースは、人々がこの妄想のマトリックスから次々と抜け出し、それがドミノ倒しのように世界全体が目覚める転換点を促していることだ。[目覚め](#) 長い時間をかけて制作され、同等に重要な 2 つの部分によって特徴付けられます。

まず、人々が集まって、さまざまな文化を統合するなど、切実に必要とされている社会変革を促進し、私たちの集団的および環境的健康が想像を絶する規模で苦しんでいるという悲劇的な現実を理解する必要があります。食中毒、ケムトレイル、予防接種、医薬品による病気など。これらすべての人道的プロジェクト、およびフリーエ

エネルギーと抑圧された技術の解放、水の浄化と清掃、海洋と陸地の修復、インフラの再構築、教育プログラムなどのプロジェクトには、GCA の資金が提供されます。

第二に、哲学的な変化が起こっており、相互につながった現実の中核となる要素として意識を理解するために必要です。

行動の時：

残念ながら、意識の転換が成功するには、さらに何百万人もの人々が目覚めなければなりません。もし読者全員がこのメッセージを他の人に伝える用意があれば、それは大衆の意識に大きな飛躍をもたらし、ニール・キーナンと彼のKチームの努力に重要な貢献となるでしょう。進行中の最終段階を完了するために行われたすべてのことについての印象と最新情報を得るには、[これを読んでください。](#)
[タイムライン。](#)

人間は群れをなす動物だということを忘れないで下さい。これは良い面でも悪い面でも説明できます。無分別な消費などの悪い傾向が私たちを支配すれば、その影響は明らかにマイナスです。しかし、これらの必要な覚醒特性を「賢い、またはクールな」ものとして描写すれば、人々はその集団に従うでしょう。良いニュースは、インターネットの真実があれば、メッセージは「考えやアイデア」として広めるのがはるかに簡単なので、パンフレットを持って街頭に出る必要はすぐはないということです。

カバールに対する勝利が私たちの主な目標です。

あなたの意識は内側からしか破れない泡のようなものだとすることを覚えておくことが重要です。ですから、これらの信念について人々といかなる議論も行わないようにしてください。それは逆効果になります。あなたが言おうとしていることを「勝ち」、理解させる代わりに、あなたは彼らを遠ざけてしまいます。体制を変えるための戦いで成功するには賢明になりましょう。

カバールとは誰ですか？

「人々」、米国のバラク・オバマ、英国のデイヴィッド・キャメロン、ドイツのアンゲラ・メルケル首相、フランスのオランド大統領、スペインのラホイ首相、オランダのルッテ首相、オーストラリアのマルコム・ターンブル首相、ニュージーランドのジョン・キー首相、そして地球上のさまざまな国の責任者は、*カバールの手先が指示したことだけを実行している。*

カバール、またはハザール人は共感力のない悪魔主義者であり、私たち全員の死を望んでいます。[ここに世界的な概要があります](#) 企業犯罪者のほとんどがここにいる。彼らは自分たちのために、世界のために、この惑星のために、すべてを欲しがっている。彼らは私たちの食べ物を汚染し、戦争を扇動し、テロリストを作り出して人々が恐怖の中で暮らすようにしている。今こそ私たち自身と地球、そして地球上のすべての生命を守る時だ。人々を結集して、救世主を装ったこれらの邪悪な犯罪者、*二枚舌の政治家たちと戦おう*

中央集権化され、統制された世界的ファシスト国家：

世界の政治、ビジネス、銀行、軍事、メディアの中央集権的管理を通じて新世界秩序（NWO）を完成させようとする勢いは日ごとに強まっており、それは私たちに対する大規模なスパイ活動からも明らかです。

隠された計画が実行されようとするたびに、人々を怖がらせ、実行を正当化する何かが起こります。私たちの世界は、第二次世界大戦前のファシストナチスドイツの再発になりつつあります。これは、ディープステート同胞団の計画に従って、世界中の人々を待っている新しい世界です。

外交問題評議会（CFR）と多国籍企業は、すでにほとんどの政府を支配しており、メディア、財団助成金、教育を支配して世界統一政府を推進し、あらゆる問題に権力を行使し、すでにほぼすべての手段を支配しており、「新世界秩序」を推進する財政力を持っています。彼らの成功の鍵は、国際銀行家がほぼすべての国の通貨システムを支配し、操作し、あたかも政府が支配しているかのように見せかけることです。

エリート同胞団と世界銀行家によって管理され、世界政府によって運営されるほど「都会的」な世界に住みたいのであれば、ぜひとも主流メディアをフォローして、あらゆる情報を入手し続けてください。

しかし、選ばれた世界的な知識人・金融エリート集団が世界を動かすという考えが、人類の未来にとって理想的な社会とは思えないのであれば、行動を起こす時が来ています。誤った情報の波と戦い、「新世界秩序」の危険性を暴くのに協力することによって。

人々は自分たちに課せられるであろう制約について、まったく見当も見識もない。彼らはむしろ明白な事実を無視し、すでに現実となっている真実を否定する。その代わりに、人々の自由を奪い、私たちをエリート層の奴隷にすることは決してないと互いに保証し合うことを好む。

人類は大規模にその精神と責任を放棄してきました。この行為が将来の人類の存在に及ぼすより広範な影響を考慮することが賢明です。

私たちが心と責任を放棄すると、自由を、そして命も放棄することになります。

十分な数の人々がそれを行えば、私たちは世界を手放すこととなります。そして、それはまさに歴史を通じて行われてきたことです。私たちは今、第二次世界大戦前と同じようにファシスト社会に突入

しています。イタリアのベニート・ムッソリーニやドイツのアドルフ・ヒトラーなど、この時代の指導者たちは国家を体現し、議論の余地のない権力を主張し、国々をファシスト国家に変えました。今、歴史は繰り返されており、間もなく世界は再びファシスト社会になるでしょう。唯一の違いは、今回は少数の家族、別名エリートが、ビジネス、銀行、通信のグローバル化を通じて地球全体を操作しているということです。

彼らの支配の主な目的は、人々を無知、恐怖、そして戦争状態に置くことです。**分割統治して征服し**、最も重要な情報を秘密にします。

何千年もの間人類を支配するためにこれらの方法を適用してきた人々は、長期にわたる
同胞団のアジェンダは、現在、完成の段階に達しています。

つまり、世界ファシスト国家が私たちの前に現れたのです。人々は今こそ目を覚まし、これを「最後の警鐘」と受け止め、この不正に反抗するために自らを結集し、組織化しなければなりません。なぜなら、真の権力は少数のエリートではなく、依然として私たち大多数の中にあるからです。

無限の力はすべての個人の中にあります。

無限の力は、すべての個人の中にあります。私たちが支配されているのは、自分の運命を決める力がないからではなく、すべての面で自分の運命に責任を取らないことで、知らず知らずのうちにその力を手放してしまうからです。気に入らないことが起こると、私たちは誰か他の人のせいにします。問題が発生すると、人々はまず、いわゆるリーダーたちはその問題に対して何をするつもりなのかと考えます。

しかし、ほとんどの問題を密かに生み出したのは彼らであり、彼らは結果的に人々の要求に応じて、常に権力の集中化と自由の侵害を

伴う「解決策」を提示しているのだということを忘れてはならない。

警察、治安機関、軍隊にさらなる権力を与えたいなら、それはまさに彼らが国民に求めていることであり、彼らは犯罪、暴力、テロリズムの増加を確実にし、ますます彼らが望んでいるもの、つまりますます増大する統制と権力を手に入れることになる。人々はテロリストに襲われることを恐れるようになると、操作されて「恐怖」に陥った状態から自分たちを守るために、自由を奪うことを要求するだろう。

ベンジャミン・フランクリンはかつてこうよく言いました。

「一時的な安全を得るために基本的な自由を放棄する者は、自由も安全も得るに値しない。」

2001年のニューヨークの9/11 ツインタワーの崩壊と地球温暖化のミームは、どちらも「問題 - 反応 - 解決」操作の典型的な例です。

地球上の人口を物理的に制御することは不可能です。

簡単に言えば、これは「問題 - 反応 - 解決」というテクニックです。問題を作り出し、何かしなければならぬという反応を促し、それから解決策、彼らの解決策を提示します。言い換えれば、混乱を作り出し、人々の要求に応じて秩序を回復する解決策、彼らの目的にかなう解決策を提示するのです。

大衆は感情と精神のコントロールによって群れをなして導かれます。これが彼らのルールを実行する唯一の方法です。しかし、少数のエリートが数十億の人々を物理的にコントロールするには、多数の人々が関与する必要があります。したがって、地球上の人口を物理的にコントロールすることは不可能です。しかし、彼らが実行したい規制の導入を要求することで、人々が私たちにしたいことを

やらせるまで人々の感情や考え方を操作できれば、人々にそれが自分たちの考えだと信じ込ませることで、中央集権的な世界コントロールへの扉が開かれます。

その結果、人類はマインドコントロールされるようになる。

人々はマインドコントロールされている：

問題は、どれだけの人がマインドコントロールされているかではなく、どれだけの人がマインドコントロールされていないかです。メディアのニュース記事を信じ、それが出来事に対するあなたの認識に影響を与えると、あなたのマインドはコントロールされます。思考と認識の自由への答えは、自分のマインドを取り戻し、自分で結論を出し、決断することです。

解釈の選択はあなた次第であり、他の誰かのものではありません。彼らは常にあなたの心を支配したがっていることを覚えておいてください。一度支配されれば、あなたも支配されるからです。ですから、どんな状況でも客観的な心を持ち続けてください。自分で考え、他人に考えさせないでください。私たち全員がこれを実行すれば、彼らの計画は実行できず、私たちは自由を維持できます。それだけです。子供たち、将来の世代、そして私たち自身の利益のために、今すぐ行動を起こしてください。

覚えておいてください。秘密のアジェンダとは、エリートたちの計画が確実に実行されるようにするための、人々の心と出来事の陰謀です。彼らは、アジェンダを実現するための秘密の厳しい指示を与え、壊滅的な結果を全く知らないままアジェンダの実施を国民に要求させるような出来事を起こそうと共謀し、国民を権力の座に就かせようとしています。

映画『トゥルーマン・ショー』で描かれたように、ジョージ・オーウェルが1984年に思い描き書いた大量監視の世界に私たちが入り込んでしまったことは恐ろしいことだ。

最近、数々のスキャンダルにより、西側諸国の監視国家が暴露され、それが露呈した。内部告発者たちは長年、これについて警告してきた。

しかし、自分が正しかったと言っても、長い目で見れば何の役にも立ちません。政府がオンラインや電話で私たちがするすべてのことを聞き、記録し、複製していることがわかった今、行動を起こす時が来ました。プライバシーの権利を取り戻す時です。中国の戦車が街中を走り回することは恐れないかもしれませんが、誤解しないでください。私たちの最も基本的な権利が攻撃されています。記者はスキャンダルを暴露したために政府当局から調査され、停職処分を受けています。法律は私たちのプライバシー権を弱めるように設計されており、NSA はテロリストを取り締まることが必要であるかのように行動し、あたかも自分たちにその権限があるかのように問題を提示しています。

[スノーデンの力強い説明を見てください](#)。彼が述べたように、上記の文章で概説されているように、文明へのこの侵入を変えることははるかに簡単です。客観的になり、自分の考えを決めてください。自分で決めてください。

崩壊ブーム：

世界経済は破綻ブームの段階に達しており、これは危険な状況です。これから何が起こるのか、そしてそれが何を意味するのかをよりよく理解するために、以下に説明します。

『崩壊ブーム』とは、基本的に、大量の資金がシステムに注ぎ込まれる金融ブームのことです。人々はそれが偽の資金だとは知らず、違いがわかりません。この資金は金融業界に残り、そこにいる誰もが楽しい時間を過ごします。」

しかし、ピカソやゴッホの絵画が突然値上がりしたから、あるいは株価が上昇したから、あるいは住宅価格が2008年の水準を超えて上

昇したから、あるいはヘッジファンドのマネージャーが10億ドルを稼いだから、社会全体が豊かになったわけではない。

社会は、人々が一般的に高い賃金を稼ぎ、より多くの貯蓄をし、借金を返済すれば豊かになります。しかし、今起きているのはそうではありません。当時もそうではありませんでしたし、公式メディアがそれと反対の説明をしているにもかかわらず、今もそうではありません。

オーストリア学派の経済学者ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは、現在起こっていることを「崩壊的好況」と表現した。

オーストリア学派の経済学は、金融界の仕組みに関する最も優れた理論である可能性が高いことに留意してください。これらの経済学者も、経済の自然な仕組みをコントロールしようとする試み全般、特に中央銀行に疑念を抱いています。かつて「オーストリア学派」だったアラン・グリーンスパンが歴史上最も有名な中央銀行家になったという事実は、疑念をさらに強めるだけです。彼が中央銀行をマスターできたのは、それが実際には詐欺であることを理解していたからだと考えられています。

フォン・ミーゼスは「崩壊ブーム」について次のように説明しています。

「インフレ過程の第一段階は何年も続くかもしれない。その間、多くの商品やサービスの価格は、変化した貨幣関係にまだ適応していない。」

価格革命に直面しているという事実にまだ気づいていない人々がまだいる。価格革命は最終的にすべての価格の大幅な上昇をもたらすが、この上昇の程度はさまざまな商品やサービスで同じではない。これらの人々は、価格がいつか下がるとまだ信じている。その日を待ちながら、彼らは購入を制限し、同時に現金の保有量を増やして

いる。このような考えがまだ世論の一部である限り、政府がインフレ政策を放棄するのはまだ遅くない。

意図的なインフレ政策は国民から金を奪うことだ。

しかし、ついに大衆は目覚める。彼らは突然、インフレは意図的な政策であり、際限なく続くという事実気づく。崩壊が起こる。崩壊ブームが出現する。誰もが、必要かどうか、いくら払わなければならないかに関係なく、自分のお金を「本物の」商品と交換しようと躍起になる。非常に短い時間、数週間、あるいは数日のうちに、お金として使われていたものは、もはや交換手段として使われなくなる。それらは紙くずになる。誰もそれと引き換えに価値のあるものを手放そうとはしない。

「1781年にアメリカで大陸通貨、フランスの領土委任状（1796年にフランス総裁が事実上価値がなくなったアシニャットに代わる通貨として発行した紙幣）、そして1923年のドイツマルクでも同じことが起こった。」

同じ状況が続くと、今度はドルとユーロ、すべての紙幣が同時に同じことが起こるでしょう。お金が交換手段として使用されなければならない場合、この手段の量が想像を絶するレベルまで増加することを国民は認識してはなりません。インフレは長続きしない政策です。

ミーゼスは古典的なインフレーションサイクルの非合理的な段階を説明した。

最初は、実際に稼いだユーロ、貯めたユーロ、投資したユーロ、使ったユーロと、印刷機から出たばかりのユーロの違いが誰にもわかりません。新しいユーロは古いユーロと同じくらい価値があると人々は考えますが、価格が上がり始めると、人々はそれをどう解釈してよいか分からなくなります。その後、人々はそれに気づき始めますが、大混乱が始まります。

もし紙幣をもっと印刷すれば本当に金持ちになれるのなら、ジンバブエ人は皆ミダスのように金持ちになるだろう。なぜならムガベ政権が昼夜を問わず紙幣印刷機を動かしているからだ。

スーパーバブル:

フォン・ミーゼスは、このブームが本格的に始まるずっと前の1973年に亡くなり、ましてや狂乱状態に陥ることもなかった。彼はヘッジファンドどころか、デリバティブさえ聞いたことがなかったかもしれない。金のない世界通貨システムを想像することはおそらくできなかつただろう。あるいは、絵画に何千万ユーロも、東ロンドンの家に2千万ユーロも費やす人々や、株価が利益の100倍になることも。彼は信じられないと笑つただろう。国の通貨バブルがどのように拡大し、どのようにはじけるかは知っていたが、世界通貨システム全体がバブル状態になると、事態がどれほど狂気じみたものになるかはおそらく想像もできなかつただろう。

彼はこのバブルの始まりを認識していただろうし、終わりも認識していただろう。しかし、その中間、あるいは終わりの始まりには驚かされただろう。

彼は生涯で、1920年代のドイツでの麻薬密売ブームや、その後の数回の麻薬密売ブームを目撃したが、世界的な麻薬密売ブームを目撃することはなかった。

誰も、どこでも、世界規模のクラックアップブームを見たことはありません。今回、私たちはこれを初めて経験し、日々それを生で体験することになります。

ロシアの経済学者コンドラチェフは、1930年代に経済サイクルが政府よりも強力であることを証明した。政府は、小規模な「通常の」バブルの影響を変えることはできるが、真の「スーパーバブル」の後には何の力もない。

政府が何をしようとも、実際の経済サイクルは必ず終わる。いずれにせよ、この危機の最終段階は不況となるだろう。

不況は極めて例外的なため、統計的に信頼できる証拠や情報はありません。この現象はあまりにも異常であるため、一般的なパラメータは存在しません。現在生きている人のうち、1930年代の不況を覚えていて、当時の状況を思い出せる人はほとんどいません。不況は進行中の経済の中断ではなく、経済の終焉です。システムから負債を絞り出さなければならない状況です。

このような状況では、救済措置、財政支援、政府の景気刺激策は不十分であり、実際には回復のプロセスを遅らせている。残念ながら、この見解を理解している人は少数派である。

ハザールマフィア（RKM）政権の終焉が見えてきた。

米国連邦準備銀行のRKM所有者は、より高い金利を必要とするETF固定資産バブルと、金利をゼロに維持する必要がある大規模なデリバティブ株式バブルに直面し、板挟み状態にあります。これにより、利回り曲線が上昇し、T債の崩壊につながり、借入コストが急騰する可能性があります。

バークレイズ銀行とHSCBに結びついた日本中央銀行のデリバティブは世界通貨市場を人質にしており、状況は日に日に悪化している。バンク・オブ・アメリカはナチスドイツのドイツ銀行に結びついた15兆ドルの救済を必要としているのだ！

一方、軍の「善玉」たちは、ブッシュ・クリントン犯罪一家シンジケートに対し、アメリカ共和国の破壊に直接責任があるとして、彼らの血統がアメリカの土地に一人でも残ることを容認しないと通告した。さらに、米国の銀行が[12兆8000億ドル](#)の市場操作を行っていたことが発覚した。

日ごとにますます興味深くなってきています。これらは、目覚めた人々が探している兆候です。

爆発的な好景気とハイパーインフレが保証される：

ロブ・カービーは、現在の世界のあらゆる問題は、ただ一つのこと
に帰着すると考えています。彼はこう言います。

「結局、すべてはお金に行き着く。そして、すべては正直なお金がないという考えに行き着く。なぜなら、正直なお金があれば、こうした行き過ぎは起こらないからだ。物事は自然に浄化される。それが、昔ながらの遺物である金本位制の美德でありメリットだ。なぜなら、それは正直な商取引だからだ。正直な商取引があれば、一般的に人々は平和で、公平な立場で互いに仲良くやっていく。彼らは、商品を同等の価値で交換する。神から与えられた権利を持つ一国が、紙幣を印刷して、何もないところから新たに作り出した不換紙幣で世界の生産物を買うのではない。それは不正直な商取引だ。不正直な商取引は、私たちが世界で直面しているすべての問題の根源だ。」

カービー氏はさらにこう言う。

「不換紙幣と複利計算に関係する数学を見てみましょう。そのシステムのライフサイクルを見ると、お金は誕生当初はゆっくりと右肩上がりに上昇する動きをしています。ある時点で、それは変化し、垂直に成長します。私たちは現在、曲線の垂直部分にいます。まっすぐに指数関数的に上昇するものは持続可能ではありません。それはいつか私たちが経験することであり、これは数学的に確実だと信じています。私たちは崩壊し、急成長します。ハイパーインフレが起きます。その結果は保証されています。それは封印されたものです。運命。”

ドル崩壊は世界を揺るがすだろう：

市場は世界に衝撃を与えるでしょう。世界の株式市場では大幅な下落が起こります。その後、史上最大のバブルを抱えた債券市場は崩壊し、金融システムにさらなる問題を引き起こします。悪循環は長期間続くでしょう。

金と銀は、これらの問題から最も恩恵を受けるでしょう。**恐怖**が広がり、資産市場が下落するにつれ、多くの投資家が貴金属に避難先を求めるでしょう。問題は、西側諸国の中央銀行がすでに金の大半を売却またはリースしているため、西側諸国では現物金がほとんど入手できないことです。ロシア、中国、インドなどの東側諸国はこれを利用し、操作された割引価格で大量の現物金を購入しています。

COMEX は 8,100 万オンス以上の金の契約を販売しました。これは 2,600 トン、つまり 1,000 億ドルに相当します。しかし、登録されている現物の金の在庫はわずか 1 億 8,500 万ドルです。利用可能な現物の金 1 オンスあたり、紙の金のポジションの 500 倍以上のレバレッジです。

私たちの中の羊のような人々でさえも目覚めるべき時が来ています。

もう少し時間がかかるかもしれないが、準備はしておいてください。それが始まる前に引き金を引くことを決断するエリートが数人いるかもしれませんが、しかし、いつものように、1 年早い方が 1 日遅いよりはましです。しかし、それは確実に数年以内に、おそらく遅すぎるよりは早く起こるでしょう。しかし、常に覚えておいてください。

ドルが崩壊しても、
ジンバブエドルが暴落したり、ベネズエラのボリバルが暴落したり、

アルゼンチンペソは世界を揺るがすだろう。そして中国とロシアは今まさにこれに備えている。あなたもそうすべきだ。

借金から金へ：

債務削減は10年目を迎え、米国経済からはまだ約20兆ドル相当の債務が削減され、EU経済からはさらに20兆ユーロの債務が削減される必要がある。システム内の信用額は50倍以上に膨れ上がったとジム・デイビッドソンは言う。これにはあらゆる種類の債務が含まれる。住宅ローン、学生ローン、金融ローン、クレジットカードなど、すべてがどんどん膨れ上がり、2007年には基盤となる経済がもはやそれらを支えられなくなった。

すべての紙幣は遅かれ早かれ、その本来の価値であるゼロに戻ります。現在を除いて、歴史上例外はないのではないのでしょうか。

リチャード・ニクソンはほぼ 50 年前にこの「新時代」を開始しましたが、今日の紙幣も、それ以前の紙幣と同様に、間違いなく破滅の運命にあります。今日のドルの価値がいくらであろうと、1971年よりも流通している紙幣の数ははるかに多いことを覚えておいてください。質は低下したかもしれませんが、量は決して低下していません。

ドルは金から切り離されてから、どれだけ価値を失ったのでしょうか。金の価格を見てみましょう。概算で、1970年、1ドルは1オンスの金の35分の1の価値がありました。現在は1,300分の1です。つまり、1970年当時のドルは、今日の操作された金の価格と比較すると、約40倍の価値がありました。実際、操作がなければ、今日のドルは少なくとも150倍の価値がなかったでしょう。しかし、それはドルが人気がないという意味ではありません。ある意味では、ドルはかつてないほど人気があります。人々は請求書の支払いにドルを必要としています。国際的には、貿易勘定を決済し、ドル債務を返済するためにドルが必要です。

ニクソンが金とのつながりを断ち切って以来、金融システムは望むだけドルを信用で自由に作り出すことができるようになった。元帳を精算する必要はなかった。これが紙のシステムと金で裏付けされたシステムの主な違いである。金で裏付けされたシステムでは、債務者から債権者へ、赤字国から黒字国へ金を移動することで口座を精算する。債務国の金が尽きると、ゲームオーバーとなる。その結果、金で裏付けされたシステムは自己修正的になる。金が国外に流出し始めるとすぐに、金利が上昇し、信用が高価になり、貯蓄が増える。これにより輸入に対する輸出が増加し、信用の伸びと金の流出が止まる。

「金は固定された商品です。紙幣にはない、かなりの価値の貯蔵庫を持っています。それは確かに（金の）価格に依存しており、現在の金の評価額が適切な価格であるかどうかを知ることは困難です。しかし、中央銀行が小切手を書き、数兆ドル（またはユーロ）の紙幣を印刷し始めるとき、金のように実体があり、再現できないものを持つことが最善です。」

中央銀行の低金利政策は機能していない。

中央銀行の低金利政策は機能していない。投資家の切実な疑問は、中央銀行が市場にもっと紙幣を増刷するのはいつかということだ。貯蓄者の疑念は、この新しい紙幣の価値に関する疑念を生む。支出者は、十分な額の紙幣が支給されるかどうか疑問に思う。そして、システム全体が金融の現実から切り離されてしまったのではないかと皆が恐れている。

OPECとのオイルダラー協定の崩壊は中東におけるドルの地位を間違いなく脅かしているが、極東にはさらに大きな脅威が存在する。

過去 20 年間、米国の最大の恩恵を受けてきたアジアの中央銀行は、米ドルを保有する意欲を失っている。中国、日本、そしてアジア

全体は、ここ数十年、米国債を喜んで保有してきたが、この状態が続くとは期待できない。外国の中央銀行は、米国の指導者には安定した通貨を維持するための規律も権限もないことを理解している。

もし米国が今行動を起こして、不換紙幣制度を貴金属や商品に裏付けられた安定したドルに置き換えるなら、ドルはすべての政府通貨の中で最も安全な価値保存手段としての地位を取り戻すことができる。そうでなければ、世界の他の国々はドルを世界の準備通貨として放棄するだろう。

そうなると、米国は借金が劇的に高くつくことに気づくだろう。消費経済全体は、外国人が米国債を保有する意思に基づいている。米国政府が、赤字支出への果てしない欲求を満たすペースで紙幣を印刷、借入、支出することができなければ、世界経済全体が再編されることになるだろう。

「要するに、中央銀行は紙幣の増刷が消費者物価の上昇につながらないという賭けに『全力を尽くした』のだ。彼らは最終的にジレンマに直面することになるだろう。株式市場と債券市場を破壊するか、紙幣への信頼を予期せず失うリスクを冒すかだ。」

ダン・エイモス氏は次のように書いている。「何年もの間、中央銀行による紙幣発行がすべて終わると、量的緩和政策が終焉し、金価格がはるかに高くなった状態で米ドルが再び金に固定されるだろうと私は予想している」

新たな金本位制は、以下の一連の出来事を経て、FRBや他の中央銀行が面目を保つことを可能にするだろう。

- 中央銀行はバランスシートを膨らませ、急増する財政赤字を補うために政府が発行する債券の多くを買い上げます。

- 希少製品（石油など）の最大の供給者は、製品を限りなく希薄化された紙幣と交換していることに気づくと、希少製品を市場に出すのと引き換えに、ますます多くのお金を要求し始めます。
- 消費者物価が上昇し始める。
- 金融引き締め（中央銀行のバランスシートの縮小と金利の引き上げ）を求める声が高まっています。
- これらの中央銀行は、国債市場や株式市場を暴落させずに通貨供給を削減することはできないだろう。締め付けると言っているが、締め付けていない。
- 中央銀行の信頼性が失われるにつれ、金は強気相場の最終段階、ほぼ垂直の段階に突入する。
- インフレ期待が暴走していることを受けて、政府や中央銀行は、銀行システムから何兆ドルもの現金が流出するのを避けるために、通貨を金に再度連動させる計画を立てている。

金本位制は正気を取り戻すだろう：

おそらく、世界的な紙幣制度が再構築され、何らかの金本位制が導入されれば、FRBや他の中央銀行は正気を取り戻すだろう。

健全な兆候がさらに見られるようになるまで、金、銀、貴金属鉱山株の中核ポジションを維持してください。これらの資産クラスは、今後の発行による最大の恩恵を受けるでしょう。他の多くの株はそうではありません。

これは、主流メディアが絶えず国民にプロパガンダを押し付けている西側諸国とはまったく対照的だ。西側の主流メディアは、ロシアを悪者にすることに熱心で、毎日総力を挙げて非難している。

しかし、プーチンは国民に[国際銀行との決別を準備させている。](#)
[システム](#) すべてを統合し、数千トンの金に支えられ、欧州、中国

、BRICS諸国、中東、いくつかの新興国との同盟を強化した国家主義的な綱領で再出発する。

ロシアを決着させようとする大規模な試みは、[最大の 世界の金融システムを分割する](#) ロシアは、これまで見たことのないような状況に陥っています。その後どうなるのでしょうか？ 最近の報告によると、ロシアは国際銀行システムから排除された場合の代替手段を開発し、実装することに成功しました。

西側諸国の制裁に関する限り、ロシアの最大の脆弱性は、良くも悪くも国際銀行と密接に結びついている銀行部門にある。

ロシアが現状維持を望むのであれば、この依存関係についてできることはあまりない。

しかし、2014年に制裁が発表されて間もなく、モスクワは最悪のシナリオ、つまり国際銀行間金融通信（SWIFT）システムから遮断されることに備え始めた。

SWIFT は、高速かつ（おそらく）安全な国際金融送金を可能にします。

ロシアの SWIFT 「カットオフ」をめぐっては、2 つの問題があります。

- ・ それは起こりそうですか？ ロシアはそれに備えているのか？

ロシアをSWIFTから排除することは大惨事となるだろう。内部情報によると、そのような動きは「このシステムへの信頼を損なう可能性があるため、非常に問題があるとみなされるだろう」とオーストリア中央銀行総裁は記者団に語った。

もちろん、これによって欧州とワシントンが SWIFT の停止を脅かすのを止めることはできなかった。

ロシアのテレビがロスチャイルド家を暴露し、新世界秩序について国民を教育する：

[説明はここをご覧ください。](#)

34. 恐ろしい未来

- キプロスのバイルインの先例：巨大な法定通貨の崩壊・ジャンク経済学：
- 債務問題を一夜にして解決する対策：
- 経済的自由は不可欠である。

キプロスのバイルイン前例：

なんと素晴らしい時代なのでしょう。世界経済のスペクタクルは、日々、より壮観になっています。もちろん、穏やかに信頼できる不変の事実が 1 つあります。それは、リーダーたちの画一的な政策は「間違いを犯す」のが得意だということです。まず、キプロスのバイルイン。次に、米国上院での債務上限に関する新たな議論ですが、借金で膨らんだ経済が直面している本当の「問題」は神聖視されており、手つかずのままです。

世界金融危機が始まって以来、過剰支出を補うために歳入を増やそうと躍起になっている政策立案者たちは、次から次へと誤った経済政策決定を下してきた。貿易や資金の流れを円滑にするために規制を簡素化したり、福祉プログラムを削減したりするよりも、緊縮財政や増税を要求して現状維持を選んだのだ。

絶対的に明らかなのは、ECB が取る用意のある極端な措置であり、それがいかに不安定であるか、つまり世界全体がいかに奈落の底に近づいているかを示す確固たる証拠である。たとえキプロスの銀行預金の盗難がヨーロッパ全土で取り付け騒ぎを起こさなかったとしても、この事実は変わらない。ECB は、今や私たち全員が明白な真実を目にしたという事実に耳を貸さないようにと、私たち全員に警告するに違いない。

問うべき問題は、「どうすれば確信できるのか？」ではありません。その答えは簡単です。確信など持てません。問うべき問題は、「これが最後だとしたら、そして2歩先に迫る地獄に備えることができなかつたら、どんな危険にさらされることになるのか？」です。

広まっている憂慮すべき考えは、次はスペインかもしれない、というものだ。

スペインは、憲法の規定を変更し、いわゆる「中程度の」預金課税を可能にしたようだ。ニュージーランドでも、新しい法律により、預金者の資金を国内の銀行の救済に使うことが認められている。他に誰が？「最も驚くべきことに、小口の預金者はもはや神聖ではない」

「キプロス危機は、将来のユーロ圏危機がどのように進展するかについて投資家の懸念を強める前例となった」とニューヨークのシティグループ通貨戦略担当スティーブン・イングラランダー氏は述べた。

「北欧の納税者が資金難に陥った隣国を救済するコストに難色を示す中、欧州の危機対応者たちは網を広げている。タブーはほとんど残っていないかもしれない」とロンドン・スクール・オブ・エコノミクスの名誉教授チャールズ・グッドハート氏は語った。

「彼らは、ギリシャがそうであったように、キプロスが特別なケースだと断言するだろう」と同氏はインタビューで語った。「保証付き預金の不可侵性について語ることはできるが、問題は、誰がそれを信じるかということだ。」

「ユーロ圏加盟国による初の資本規制は、同様に多額の外貨預金を誇っているマルタ、ルクセンブルク、エストニアなどの国にとっても課題となる可能性がある」とノムラ・

インターナショナルの経済学者ジャック・カイユとディミトリス・ドラコプロス氏は述べた。

資本規制はそれほど深刻ではないと思われるかもしれませんが。なぜなら、多くの人が資本規制が人々の日常生活に及ぼす影響の範囲と害を理解していないからです。この点に関して、FA ハイエクは私たちの自由への影響を次のように定式化しました。

「経済統制がもたらすあらゆる生活に対する統制の程度は、外国為替の分野ほどよく例証されるところはない。一見、外国為替取引に対する国家統制ほど私生活に影響の少ないものはないと思われるし、ほとんどの人はその導入にまったく無関心だろう。しかし、大陸諸国の大半の経験から、思慮深い人々は、この措置を全体主義への道への決定的な前進と個人の自由の抑圧とみなすようになった。実際、それは個人を国家の専制に完全に引き渡すことであり、金持ちだけでなくすべての人にとってのあらゆる逃避手段の最終的な抑圧である。」

社会主義銀行は次のことを保証します。

キプロス事件は、南欧のポピュリスト指導者たちにさらなる攻撃材料を与えるかもしれない。彼らは、危機管理を担う政治エリートたちは一般の貯蓄者など気にしていないと正しく主張している。イタリアの政治体制は行き詰まり、ギリシャの有権者はギリシャ救済プログラムの再交渉を望む野党シリザ党への支持を強めている。

預金者から金を奪った見返りとして、キプロスは EU から 100 億ユーロの救済を受ける。しかし、その金はキプロス銀行の資本増強には使われない。これは社会主義の銀行保証の最新の表れにすぎない。銀行が預金を保守的に保有するか、リスクの高いローンに浪費

するかは、預金者にとって何の違いもない。いずれの場合も政府が預金者の資本を保証し保護する。したがって、銀行システムは無謀な行動をとる自由がある。しかし、キプロス危機以降はもはやそうではないようだ。

キプロス - 2013 - 模範となる例:

オランダの財務大臣であり、ユーログループとして知られるEU財務大臣委員会の議長であるイエールン・ダイセルブルーム氏は、実際にはバイルインであったこのキプロス救済措置が、将来のEU銀行破綻のひな形になる可能性があるとして正しく述べた。債券保有者と預金者は、高い金利ではなく、堅実性に基づいて銀行と投資を批判的に選択する必要があるため、当然のことながら、選択した銀行の損失の責任を負うことになる。銀行家が無責任に行動し、自分たちの損失は破産した政府によって補償されるべきだと考え、不当にも納税者が救済資金で搾取されていることを考えると、これはようやく健全な改善を示している。

残念なことに、世論が悪化した後、ダイセルブルーム氏の事務所は自身の立場を「明確化」し、同氏は現在キプロスを「特別なケース」と見ていると報じられた。

どうやら、誰かが彼に、洗練された現代経済では銀行家が責任を負う余地はなく、「人々に説明責任を負わせる」余地もないと説明したに違いない！ 合意にもかかわらず、キプロスは「長期間」にわたり債務不履行とユーロ圏離脱のリスクにさらされ続けるだろうと、ムーディーズのサラ・カールソンは考えている。

このケースは前例のないものです。キプロスはほぼ2年前、ギリシャ債務の削減によりGDPの25%を失いました。そして、その補償は行われていません。これらのアイデアが実行されれば、キプロスのGDPはさらに40%ほど削減されるでしょう。このような混乱から抜け出すのは不可能でしょう。これが実行可能になるのは極めて困難です

。今後数ヶ月で、この救済策がいかに実行可能であるかが世界に示されるでしょう。

これは単なる一回限りの事例であり、ヨーロッパだけの問題だと思いきい込んではいけません。今日の世界経済では、ヨーロッパの銀行および経済の崩壊はすべての国に打撃を与えることになる。アジアが世界を救うと考える人々は、EUが中国最大の貿易相手国であることを思い出す必要がある。

部分準備銀行制度では、銀行預金者の過半数が現金を引き出す決断をしなくても、銀行は倒産に追い込まれる。預金者の10%が預金全額を引き出すと、銀行は深刻な問題に直面する。また、当初は現金を自宅に保管しておくとした人が少数でもいれば、必要な割合の預金者をパニックに陥れ、銀行を破綻に追い込むことができる。

安定期には、部分準備銀行制度はすべての人にとっての無料の特典のように思えるかもしれないが、不安定な時期には銀行をはるかに不安定にする。ECBのような機関がこのようなパニックを引き起こすような行動を要求するには、状況はかなり切迫している必要がある。

では、何をすべきでしょうか？ 資産を、どんな状況でも価値が維持されるものに統合しましょう。これを行うのに最適な資産クラスは、貴金属、つまり金と銀です。かなりの額を現金、つまりコインの形で保有する必要があります。今、貯蓄をそこに投資すべきです。

今後数年間で、世界は産業革命の時代と同じように劇的に変化すると予想されます。大きな変化は、経済、政治、技術、人口動態、社会習慣など、あらゆるものに影響を及ぼします。あらゆるものに。

今は、周囲を見回して、将来人々が必要とする商品やサービスは何を提供できるか自問する良い時期です。過去や現在にうまくいったことは、将来はうまくいかないでしょう。創造的に考えなければなりません。そうすれば、その価値はあります。今日の生活は、100

年前と比べて計り知れないほど豊かになり、私たちの理解を超えるほど良くなるでしょう。おそらく、崩壊からわずか25年後には、ほとんどの人が夢にも思わなかったような状況になっているでしょう。ですから、前向きな考え方を身につけましょう。

キプロス危機には、EUが国民の貯蓄をどう見ているかという秘密が漏れた今、金市場の次の上昇につながる可能性が明らかになりつつある。もしシステム全体が奈落の底から転落すれば、1980年の有名な急騰の時さえ見たことのないような金狂乱が巻き起こるはずだ。

金の保有や購入は単なる価格変動以上のものであることを忘れないでください。残念ながら遅すぎましたが、キプロスの国民や口座保有者は今、急速に学んでいます。私たちが慣れ親しんでいる金融の世界は、一瞬にして変わる可能性があります。かつては地元の ATM から簡単にお金を引き出したり、クレジットカードを使って食料品を買ったりできましたが、今日ではキプロスではそれができません。

実際、銀行は2週間閉鎖され、その間に経済は現金のみの環境になった。銀行が再開したら何が起こるのか、不確実性が広がった。中央銀行はキプロス騒動のような状況に対する認識を誇張しすぎる傾向があるが、自由市場における波及効果の力を過小評価している。

個人の銀行口座を強奪するという決断が下されたとき、すべての結果が十分に評価されていたかどうかは疑わしい。しかし、それが起こったとき、キプロスの人々は本当に心配し、食料品の備蓄など、必要なすべての予防措置を講じていた。これを自分の例として見てください。

ユーロは本当に問題を抱えている。通貨はゆっくりと燃え上がり、EU 諸国の多くはキプロスと同様の苦境に直面している。制御不能な支出、無謀な金融政策、不安定な経済、高騰するエネルギー価格

は、ヨーロッパにとって良い結果にはならないだろう。通貨危機はキプロスにとどまらず、さらなる問題が待ち受けている。

ユーロが燃え尽き、より多くの国の銀行システムがキプロスと同じ道をたどるにつれ、ヨーロッパの投資家は米ドルが提供できる以上のものを求めるようになる。多くの方は商品、特に金と銀に目を向けるだろう。キプロスのように経済時限爆弾を抱え、瀬戸際にいる国に住んでいると、これが何を意味するか想像してほしい。ギリシャ、スペイン、イタリア、その他の国々も同様にキプロスに追随している。ハードアセットに対する潜在的な需要が急上昇するのは時間の問題だ。最初の兆候はキプロスの銀行が再開した直後に予想されていた。金に対する需要の増加は経済の不確実性を伴う。

しかし、これはユーロにとって何を意味するのでしょうか？ さらに重要なのは、EUにとって何を意味するのでしょうか？ クリス・メイヤーがこの疑問に答えます。

「我々は常に予測に慎重だが、キプロス問題がまさに欧州の銀行、ひいてはEU自体を燃え上がらせる典型的な火種になるかもしれないと考えている。」

そして、このシステムが発火してすべてが燃え上がると、かなり好調な業績が期待できる資産クラスが 1 つあります。「また、金の現物資産は、取引としても長期的な価値の保存としても、特に時宜にかなっていると考えています。このポジションは、ますますリスクの高い紙幣を生み出している現在の「まず印刷し、次に質問する」という考え方を考えると、理にかなっています。」

アイルランド人ジャーナリストのヴィンセント・ブラウンは、ECBのクラウス・マズーフ氏と対峙し、（奪われた）金がどこへ向かっているのかを聞いた。 [自分で見てみる](#) 彼の返答がいかに明確で健全であるか。

巨大な法定通貨の崩壊:

ロン・ポールは、それをすべて一段落で言いました。

「正直な交換の経済法則は、通貨として実際に価値のあるものだけを要求し、廃止することはできません。40年間にわたる世界規模の不換紙幣の実験からいつか生じる混乱は、実際に価値のあるお金への回帰を必要とするでしょう。石油生産国が石油に対してドルやユーロではなく金、またはそれに相当するものを要求する日が近づいていることが分かるでしょう。」

ロン・ポールの発言を考えてみてください。「米国がもはや最大の顧客ではないのなら、石油価格をドル建てに維持し、多額のドル準備を維持する動機はどこにあるのでしょうか？」

オイルダラー制度は崩壊しつつあり、国際的に石油がドルで支払われることはなくなり、本質的には準備通貨としての米ドルの終焉を意味することになる。それは、米国が「法外な特権」で借り入れできなくなることを意味し、米国債市場が制御不能な金利スパイラルに陥ることを意味する。

ある専門家の推計によると、中東には8~10兆ドルの外貨残高があり、その多くはドルである。彼らはどれだけのドルを手元に残しておくつもりなのだろうか。特に、アジア太平洋地域が現在世界の石油消費量の3分の1を占め、米国は20%に過ぎないというのに。一方、世界最大の石油輸入国である中国は、オイルマネーを弱体化させる役割を果たし、昨年秋に米国からその座を奪った。近年、中国は多くの貿易相手国と互いの通貨を使用してビジネスを行う協定を結んでいる。中国とロシア、中国とブラジル、中国とオーストラリア、さらには中国と古くて新しい敵国である日本でさえ、ドルを回避するために通貨スワップやその他の取り決めを結んでいる。

世界は、世界通貨制度の大規模なパラダイムシフトの瀬戸際にありますが、それに気づいている人はほとんどいません。ビジネスマンは、世界が回復しているかのように計画を立て、資本を費やしています。人々は同じ期待を持ってお金を使い続け、ほとんど貯蓄しません。そして投資家は、すべてが完璧に順調であるかのように投資を続けています。彼らは、可能な限り借金に陥っている西側世界経済の真実を引き出すのに苦勞しています。西側世界は、人類にとって気が遠くなるような数字であるほどの多額の借金を抱えています。

これにより、何兆ドルもの資本が失われ、西洋世界は人類史上最も暗い時代の一つとして何世紀にもわたって語り継がれることになるであろう、巨大な不換紙幣崩壊というレッテルを貼られた状況に陥ることになる。しかし、1000人に1人さえもそのことに気付いていないし、そんなことがあり得るとも思っていない。

しかし、そのことを認識し、資産を国際化し、その大部分を金融システムの外、できれば自国外の貴金属などの実物資産に保有している人は、今後の変化を生き残る可能性が最も高いでしょう。

強力な「オイルダラー」の時代は終わりに近づいている。そして、世界の準備通貨の発行国としてアメリカが享受してきた「法外な特権」や経済的利益は、ロシアの裏庭にあるウクライナに対する戦争党の傲慢な行き過ぎた介入によって今や危険にさらされている。

米国とEUの政治家がロシアに経済制裁を課し始めたとき、彼らは米国とEUに深刻な結果をもたらすかもしれないとは想像もしていなかっただろう。

しかし今、ロシアのメディアは、ロシア財務省が「脱ドル化」計画を承認する準備を進めていると報じている。何十年もの間、世界中の石油と天然ガスのほとんどすべてが米ドルで売買されてきた。

テレビを消して、自分で調べて、自分の財務を管理することがこれほど重要になったことはありません。

主要中央銀行はすべて、膨大な量の紙幣を印刷しています。人工的に作り出した流動性の海は、いつかは終わるはずですが、そうならば、準備ができていない人たちにとって壊滅的な打撃となるでしょう。

QEは新たな融資能力を創出しない：

銀行システムは素晴らしいビジネスです。銀行は、自分たちが持っていないお金を貸し出し、貸し手に利息を請求し、さらに「部分準備金貸出」によって銀行が預金残高の 10 倍を貸し出せるようにしています。言い換えれば、銀行は、自分たちが持っていない、存在しない「お金」、正確には**信用金を貸し出し**、利息を請求しているのです。

1930 年代の大恐慌では、お金の供給が重要でしたが、1972 年にニクソンが米ドルの金の裏付けを廃止した後、彼は「実質的なお金」を信用貨幣に変えました。そのため、現在、重要なのはお金の供給ではなく、信用の供給です。信用が健全な割合で増加する限り（ $2\% = \text{インフレ} = \text{窃盗}$ ）、市場と GDP は上昇します。信用の発行が増加しない場合は、不況と弱気相場が予想されます。QE の背後にある考え方は、信用貨幣をさらに供給することでしたが、そのための市場がなかったため、QE は無価値なツールになりました。QE は貸付を誘発しなかったからです。

クリス・メイヤーはこれをシンプルかつ明確に説明しています。

「QE は新たな貸出能力を創出するものではありません。できるだけ簡単に説明しましょう。準備金は銀行の資産です。貸出は資本によって制約されます。QE は資産をシフトしますが、資本は変更しません。FRB が非政府部門から 2.6 兆ドルの国債を購入した場合、非政府部門は 2.6 兆ドルの

国債を Fed に売却します。では、FRB が 2.6 兆ドルの流動性をシステムに「注入」したとしたらどうでしょうか。純効果はゼロです。したがって、銀行がゴールドマンに行き、あたかも新しいものであるかのように 2.6 兆ドルのレバレッジをかけることができるというのは正しくありません。国債を担保として使用する前に、そうすることができます。超過準備金が将来のハイパーインフレを示唆しているという考えも馬鹿げています。銀行システムが何らかの方法でそれらの超過準備金を「貸し出す」という想定です。それは起こり得ません。不可能です。銀行全体では準備金を貸し出すことはできません。以上です。私はこれを指摘することに飽きることはありません。非常に賢い人でもこれを間違えます…”

しかし、連銀は信用を拡大しなければ不況になることを知っています。そして今日、債務水準は非常に高いので、不況は壊滅的です。災害は米国だけでなく世界中で発生します。そして人々は死にます。なぜなら、米国で不況が起これば、中国や東南アジアで何千万人、もしかしたら何億人もの人々が職を失うことになるからです。企業は破産します。政府は破産します。貯蓄のないぎりぎりの暮らしをしている人々はすぐに絶望に陥ります。文明は存続できません。だからこそ連銀は本当の信用収縮を許さないのです。

金融システムは、堤防に多くの指が差し込まれて苦境に立たされているが、どの指を外せば堤防が崩れるかは事前には分からない。しかし、米ドルの覇権の終焉が見えつつあることは、ますます確実になっているようだ。現時点での唯一の疑問は、いつそれが終わるのか、そして本当のパニックはいつ始まるのかということだ。

いずれにせよ、ドルの消滅は確実だ。

ジャンク経済学：

国民は、水圧破碎法によって米国には将来十分な石油があり、その前提で繁栄するだろうという信念を植え付けられている。しかし、石油の水圧破碎法は詐欺である。何も生み出さない資本の誤った配分である。ジャンク経済学によるデマである。 [（最初の12分）はここで説明されています。](#)

「私は今でも、金が現在の価格の 10 倍で取引されるようになるかと信じています。それは必ず起こります。ただ、いつになるかはわかりません。中央計画者たちが西側諸国を破滅に導いているので、人々は金を所有する必要があります。また、銀は長期的には驚異的な値上がりが見込まれます。インドと中国の両方でインフラの近代化と投資が続く中、銅も驚異的な値上がりが見込まれます。結局のところ、人々は忍耐強くある必要があります。なぜなら、世界が再び金、銀、その他の商品に注目する日が近づいているからです」と貴金属の専門家スティーブン・リーブは述べています。

金市場が何度も逆ザヤに陥り、多くの場合、長期間逆ザヤが続いたという事実は、紙幣操作のせいで市場がいかにも不健全な取引状態にあったかを示している。西側諸国の中央計画者と金地金銀行の代理人は、これまで長い間金との戦いを続けてきたが、今日の下落にもかかわらず、ついに流れは彼らに不利に転じつつあるのかもしれない。

「賢明な投資家は、金や銀の現物を買っています。金は過小評価されており、銀行システムの外にあるお金なので、金を所有していれば、資金がバйлインのリスクにさらされることはありません。これは私が従ってきた戦略であり、今後もその戦略を続けるつもりです。」ジェームズ・ターク。

ロシアと中国が米ドルを世界の準備通貨としての地位から排除したいという願望は、「ますます避けられなくなっている」危機の初期の兆候だ。

「中国は3兆ドルを保有しているが、彼らはできる限りの速さで金を購入している。中国は米国がインフレを通じてドルの価値を下げることを懸念しており、ドルが下落した場合に備えてヘッジを行いたいと考えている。その結果、金が上昇することになるからだ。」

崩壊の「要」は、現在のシステムの基盤となっているドルの崩壊が近づいていることである。ロシア、中国、イラン、インドなどの大国は国家安全保障において米国に依存しておらず、米国経済が弱体化することで利益を得るため、ドル本位制から脱却したいという願望が強まっている。

救済措置は世界を貧しくする。崩壊のチャンスを与えよう。

数年前、EUと米国が「破滅的な崩壊を防ぐ」ために必死だったことを覚えていますか？ 欧州の銀行は投機筋を救済しました。その後、政府が銀行を救済しました。そして、銀行を救済した国々を救済しました。米国では、政府が銀行、保険会社、自動車メーカーなどを救済しました。その後、欧州と米国はお互いを救済しました。

救済措置は何年も経った今でも続いています。米国の財政赤字はあまりにも大きく、実際の額がいくらなのかもわからなくなっています。

1.5兆ドル以上だったのでしょうか？ EU内でも大差ありません。とはいえ、今日現在、ヨーロッパ人はギリシャ、キプロス、スペイン、ポルトガル、イタリア、そしてその他誰だかわからない国々に対して密かに大規模な救済策を準備し続けています。

救済措置はどれも世界を貧しくする。なぜなら、それは明らかに良貨幣に悪貨幣を投じているからだ。ギリシャやイタリアは、融資を

増やしたからといって、突然信用リスクが改善するわけではない。また、連邦準備制度や中央銀行がさらに低い利率でより多くの債務を提供したからといって、国民が豊かになるわけでもない。

同じことをさらに繰り返します：

うまくいかなかったことをさらに続けるのも良い考えではありません。利益が出ない投資にさらに資金を投入したり、一世代前に実質的な利益を生み出さなくなった産業にさらに多くのリソースを割り当てたりするのは良い提案ではありません。

ギリシャが最終的に債務不履行に陥ったら何が起こるだろうか？ 皮肉なことに、ギリシャは6000年以上前に史上初の債務危機に関与した。ブルームバーグは次のように報じている。

「歴史上最初の国家債務不履行は紀元前4世紀にギリシャの10の自治体によって起こった。債権者は1人だけだった。

デロス神殿…”

ギリシャの債務不履行に関する意見は2つの陣営に分かれている。一方は、いかなる犠牲を払ってでも破滅的な事態は避けるべきだと考えており、もう一方は、健全な浄化措置が早ければ早いほど良いと考えている。

アンゲラ・メルケル首相は、ギリシャの債務不履行は「投資家の信頼を破壊し」、2008年のリーマン・ブラザーズのような「伝染を引き起こす」可能性がある」と主張し、最も暗い懸念を表明した。

「我々は自分たちでコントロールできる措置を講じる必要がある。途中で投資家全員の信頼を失わせ、ギリシャでやったのならスペインやベルギー、その他の国でもやるだろうと言われるような状況を作り出すことは、我々にはできない。そうなれば、誰一人としてヨーロッパに資金を投資しなくなるだろう。」

一方、ジム・ロジャーズ氏はギリシャがすぐにデフォルトすることはないと考えており、そうなればユーロを買うと述べている。ロイターのインタビューでロジャーズ氏は次のように説明している。

まあ、私はギリシャがデフォルトすることを願っています。それはヨーロッパにとって良いことであり、ギリシャにとって良いことであり、世界にとって良いことです。彼らが最終的に現実を受け入れてギリシャのデフォルトを許し、不良債権を出した人々に損失を負わせ、他のいくつかの国にもこれを起こさせれば、ユーロにとっても良いことです。

すべてが大きく下落するでしょう...しかし、それは素晴らしい買いのシグナルになるでしょう。私はその時点で手に入るユーロをすべて買います。なぜなら、そうすれば健全な通貨になることがわかるからです。そうすれば、ユーロが強くなることが分かるでしょう。

そんなことは起きないだろうが、もしそうなったらすごい。そうなれば、米ドルの強力な競争相手が現れることになる。

債務問題を一夜にして解決する対策:

壊滅的な崩壊は起こして、乗り越えましょう。後回しにするよりは今の方が良いです。先送りすれば、状況は悪化するだけです。問題は解決できません。

借りすぎたお金は返済しなければなりません。さもなければ債務不履行になります。できるだけ早く返済したほうがよいでしょう。解決策は明らかです。我慢してください。

しかし、それだけではありません。ゾンビ要因もあります。これは簡単に解決できるものです。民間企業を含む組織が古くなると、寄生虫が寄生します。これはすべて、革命、あるいは尻を蹴られるこ

とを必要とする社会の姿の一部です。企業や国家が破産するのを許してください。補助金も、救済措置も、市場金利以下の融資もなし。ただ破綻させて燃え尽きさせるだけです。

それから、控除なしで税金を10%に引き下げます。条件なし、ただしなしです。ロシアにはすでにこのような税金があります。そして、それは急成長しています。借金と紙幣の印刷を禁止します。これらの措置により、債務問題は一夜にして解決します。ドルとユーロは保護されます。これらの措置により、投資家、ビジネスマン、住宅所有者は安心し、最も重要なことは、財政赤字が一掃されることです。

一律10%の税率にすれば、ゾンビ企業のほとんどが排除されるだろう。ゾンビ企業の重荷から解放され、民間部門はようやく業務を再開できるだろう。

最大のリスクは政治的なもの。EUの政治家たちは、こうした改革には興味がない。それは彼ら自身の利益にもならないからだ。高収入で高給の仕事があまりにも多く失われることになる。信頼回復に全力を尽くすのではなく、彼らはもっと時間のかかる別の改革に固執している。

欧州委員会のユンケル委員長は、「欧州の経済的、政治的未來のための戦い」には「新たな連邦制の瞬間」が必要だと主張している。

なんというナンセンス。EUの激怒した有権者に謝罪する必要がある。ドイツのDIE WELTの見出しがすべてを物語っている。

若い世代は、何が起こるか全く分からない。

ドイツの若者は巨額の負債に直面している。現在の国家負債が2兆ユーロを超えており、その大部分が隠されていることを知っているのはわずか6%だ。

ギリシャの崩壊は、相容れない経済が結びついた結果である。フランス、イタリア、スペイン、ギリシャが加盟した19世紀のラテン通貨同盟は、ギリシャ人（と教皇）が共通銀貨の価値を下げたのが発覚したときに崩壊したが、なんとその時も世界は終わらなかったのだ。

今日の混乱した状況を考えると、ユーロは大きなリスクなしには解体できないが、その長期的な将来は別の問題だ。債務国と債権国双方に対する「強制的な」ユーロ加盟によって生み出される膨大な憤りは、理想としてのヨーロッパにとって真の脅威となる。EUの混乱は世界にとって不要な頭痛の種だ。しかし、その一方で、頭痛が致命的になることはめったにない。

中国でも、国の経済政策によって金利は同様に低く抑えられている。これは間接的ではあるが、銀行に対する政府の補助金である。銀行は代わりに、優遇された、多くの場合は国営の機関に、有利な条件で危険な融資を行っている。

こうした中国の低金利と長年にわたる過度にリスクの高い融資の結果は、中国の産業全体にわたる過剰生産能力や、一部の大物官僚の虚栄心の記念碑である不採算のショーケースプロジェクトに関する話に表れている。

中国では、他のどこの国でもそうであるように、「安すぎる」お金はあらゆる種類の愚かな無駄遣いにつながる。空っぽの空港、人けのないショッピングモール、透けて見える街、どこにもつながっていない橋、稼働していない製鉄所、静かな造船所など、いくつかの例を考えてみよう。

米国の選挙は、米国がヨーロッパの経済モデルに向かっていることを明らかにした。そのため、金への移行が加速するはずだ。これは中国の場合も同様で、中国では、徐々に価値が下がっていく米国債保有に対するヘッジとして金が使われている。

いずれにせよ、常識のあるすべての人にとって、社会の歴史的な転換に備える時期であり、遅かれ早かれ、新しい未来に向けて通常の状態が変化するでしょう。

[このビデオでは](#) 自称リバタリアンのジョン・F・ケネディ氏と彼のビジネスパートナーであるスティーブ・ランティエ博士は、患者の扱い方に完全に幻滅した後、新しい時代に備えるために病院とスタッフの考え方をどのように変えたかを紹介します。

1997年、スミス氏とランティエ氏は、従来の病院の何分の一かの費用で一流の医療を提供できる営利施設を作ることを目的として、かつて外科センターだった建物を購入した。

もし明日の朝目覚めたら、突然お金が無価値になっていたら、どうしますか？ そんなことはありませんと考えないでください。もう一度、この可能性について考えてみてください。突然事態が悪化した場合に備えて、家族が守られるように準備しておいてください。

経済は悪化の一途をたどる：

金利をほぼゼロに抑え、中央銀行が毎月 850 億ドル相当の資産を購入するという決定の結果、金融システムにさらなる問題が波及すると、政府の膨大な未積立債務はさらに大きな懸念材料となる。中央銀行は、富裕層が利益を使って、そのお金が経済全体に波及することを期待して株式市場を高騰させる。企業が自社株を買い戻し、個人投資家がリターンを求めて市場に戻るため、株価はしばらく上昇を続けるかもしれないが、その上昇はおそらく長くは続かないだろう。

この 0% の金利環境では、貯蓄者は伝統的に安全な投資からハイリスクな投機の世界へと追いやられ、今ではあらゆる個人経営の個人投資家が資産市場の利益に貢献しており、彼らも貯蓄からより高い収益を得て株を買いたいと考えています。まもなく、2001 年のド

ットコム バブルのような株価の急騰と急落が再び起こる可能性があります。

経済は悪化の一途をたどっており、中央銀行や政府による数兆ドル規模の景気刺激策にもかかわらず、回復することができない。

オバマ大統領は2014年の一般教書演説で次のように述べた。

「何年にもわたる厳しい不況の後、我が国の企業は600万以上の新規雇用を創出しました。」

もちろん、ファクトチェッカーはこの主張を徹底的に否定している。より現実的な数字はおそらく約120万件の雇用だ。

しかし、大統領の言葉をそのまま信じてみよう。4年間の無金利とFRBのバランスシートの2兆1000億ドルの増加は、費用に見合った効果をほとんどもたらさなかった。2兆1000億ドルを600万の雇用で割ると、1人当たり35万ドルとなる。連邦政府は、過去4年間に1兆4000億ドル、1兆3000億ドル、1兆3000億ドル、1兆1000億ドルの赤字を計上した。赤字総額5兆1000億ドルを600万の雇用で割ると、1人当たり85万ドルとなる。結論として、この景気刺激策は結局それほど刺激的ではなかった。

紙幣の印刷は欺瞞をまとめるものである。

資本主義は、誠実なリスクテイクによってのみその魔法を発揮し、その結果は利益、あるいは、同様に重要な、時には損失となる。政府が資本を投資する人々をますます保護するにつれて、その資本は経済全体に悪影響を及ぼすように誤って配分されている。リスクテイクはますます補助金を受け、政治的に正しい道へと流れ込んでいる。その結果、結果の悪い起業家が排除される代わりに、政府は彼らを支えるために資本を何度も浪費している。

連銀の紙幣増刷は、この欺瞞を覆い隠している。覆いが剥がれたときに何が起こるかをリアルタイムで見るには、地中海を見ればよい。

ギリシャでは、過去 2 回の選挙でネオナチ政党「黄金の夜明け」が議席の 7% を獲得しました。一方、イタリアでは、政治経験のないコメディアンが風刺的な立候補で議会の 25% を獲得しました。街頭デモ、失業、その他の不安定な兆候が蔓延しています。デモ参加者は浪費の結果について不満を言っているのではなく、単に資金が自分たちのところに流れなくなったことに怒っているだけです。

ワシントン DC の誰も、ジャネット・イエレン氏を含め、米国で同様の事態を引き起こすつもりはない。しかし、金融政策の引き締めはまさにそれを引き起こすことになる。したがって、少なくとも CPI の数字を改ざんしてインフレを「抑制」しているように見せかけることができる限り、FRB はバブルを膨らませ続けるだろう。

人々は、暗い短期的な経済結果について同じことを聞き飽きているかもしれませんが、だからといって真実が間違っているわけではありません。世界の仕組みに関する経済モデルを見てください。これは排他的なモデルではありません。もっと知りたい人は、「[オーストリア経済学](#)」で検索してください。このモデルは、過去 1 世紀にわたって何度も正しいこと、優れた予測力があることが証明されています。最近でも完全に正しいことが証明されています。しかし、自分が正しいとわかっているにもかかわらず、必ずしも自分が正しいことが証明される時期を知る力が得られるわけではありません。このような避けられないことが実際に差し迫っているとき、絶対に確信することは不可能です。これは、来週の天気を予測するよりもはるかに複雑な予測について話しているのです。

中国が日本、ブラジル、ロシア、トルコとドルを使わない貿易を追求する二国間協定を結んだことは、米ドルを備蓄するのではなく、本国通貨で二国間貿易のバランスを取るために、各国が世界的な貿

易差別を実施する可能性が高いという点で、米国にとって憂慮すべき前兆となる可能性がある。

米国はブレトンウッズでこの有害な策略を永久に排除しようと努めてきたが、近いうちに再び現れるかもしれない。

「私はユーロの弱体化を支持している」とフランスの産業大臣は述べ、世界通貨戦争におけるフランス側のちょっとした戦術的動きを明らかにした。彼はパリでの記者会見で「ユーロは強すぎるし、経済の基礎に合致していない。[ECB]は通貨の弱体化が政治的手段となる新たな通貨戦争に備えるべきだ」と告白した。ユーロの前回の下落について彼は「[下落が]続いたら私はもっと嬉しい」と語った。

歴史は、米国と中国が、両国間の根深い不均衡を是正する見込みもなく、このまま混乱を続けることの結果は大きすぎるという結論に達するまで、これは起こらないことを示している。1930年代の最後の大規模な国際通貨戦争のときのように、「貿易摩擦」はさらに悪化するかもしれない。

経済的自由は不可欠である。

日本の中央銀行は紙幣を印刷しており、欧州中央銀行も同様です。実際、すべての中央銀行は紙幣を無限に印刷しています。これは悪循環です。これは狂気です。正気な人なら、これが物事の運営方法だと言う人はいないでしょう。もちろん、これは今よりもさらにインフレを招くでしょう。

政府はインフレは起きていないと主張していますが、買い物をすればインフレが起きていることが分かります。

必要なのは、世界をより住みやすい場所にするための経済的自由です。しかし、それは実現しません。

中国人は数年前には非常に声高にこの問題について発言していたが、最近は沈黙している。以下は最近の発言である。

「現在の国際通貨システムは過去の産物だ」と中国共産党総書記の胡錦濤氏は語った。



他の人も手がかりを提供しています：

「我々は国際通貨戦争の真ただ中にいる」とブラジルのグイド・マンテガ財務大臣は語った。「量的緩和は為替レートを通じても機能する」

「FRBはドルをさらに下落させるために、より積極的な量的緩和を実施する可能性がある」と経済諮問委員会の元委員長、クリスティーナ・ローマー氏は述べた。

忍耐は報われるでしょう：

金への投資は、私たちがまだ正しい道を進んでいることを意味すると、いくらか安心させるために、今日の金に対するムードと 1970 年代半ばとの違いを振り返ってみると、当時の懸念、恐怖、混乱が、今日の金市場でも同様に見受けられることがわかります。当時、全体像を把握し、警戒を怠らなかった人たちが勝者でした。

究極の教訓は、忍耐が最終的に報われるということです。金価格が 1974 年 12 月の高値に戻るまで 3 年 7 か月かかりました。850 ドルまで急騰するのにさらに 18 か月しかかかりませんでした。今日では、これは金価格が今年 6 月まで下落し、ずっと後まで 1,92

1 ドルの高値に戻らなかったのと同じことになります。また、10,000 ドルまで上昇することを意味します。何倍もの利益を得るために、そんなに長く待つことができますか？

原則として、人々は自分が知っていることに基づいて行動します。現在、多くの人々は世界経済システムがうまく機能していると考えているようです。一般的に、証拠は世界経済システムが日々うまく機能していることを示しています。少なくとも、経済が崩壊していないと信じられています。それとも、そうでしょうか？

最終的に 7 日後に港に引き揚げられた不運なカーニバル クルーズ船の乗客のことを考えてみましょう。その前の週、誰もが海上での快適でリラックスしたカリブ海での休暇を楽しみにしていました。何が問題になるのでしょうか？

その後、経営陣のボーナスの方が重要だったため、メンテナンス不足により船のエンジンが故障しました。

数時間後、少なくとも2日目には、人々は古くなって食べられないサンドイッチをめぐる押し合いへし合いするようになった。古くなったサンドイッチと金や銀の価格に何の関係があるというのだ？ところで、あなたは普段、食べられないサンドイッチを食べるだろうか？豪華客船に乗っていて、デッキの下には食料が詰まった収納ロッカーがあるのに、そんなサンドイッチを食べると思っているだろうか？

しかし、物事がうまくいかなくなると、これまでのルールはすべて消えてしまいます。

確かにクルーズ船の船倉には食料があったが、誰もそれを使うことはできなかった。調理や食事の提供どころか、キッチンを動かす電力もなかった。岸に戻ると、乗客は急いで下船し、メディアにまきに見世物となった。

どのような類似点があるのでしょうか？そうですね、おそらくこれらの新しいクルーズ船のいくつかは、航行するには大きすぎるのでしょう。多くの大手銀行が実際に破綻するまでは、大きすぎて破綻できないのと同じです。

そうになると、私たちはみんな、期限切れのサンドイッチをめぐって争わなければならないでしょう。

35. 金融システムの問題点

- スーパー経済学者が運営するスーパー銀行：
- GDPを生み出すには借金が必要だ。
- フィクサーによって引き起こされる機能不全の市場と危機：
- 私たちの生活水準への影響：
- 本当のお金は富を築きます：
- 裏付けのないドル基準により不安定化する世界経済：
- 政治的介入のない自由と経済的安全：
- 世界的な金融リセット：
- 金本位制の導入：

新しい世界通貨はSDR（特別引出権）です。

我々の経済的苦境に対する答えは、ジョン・メイナード・ケインズが1930年代にすでに提案していたもの、つまり、国際的に価値のある準備資産、それに対する自国通貨の価格設定ルール、そして恒常的な赤字を抱える国に対する罰則である。2008年の金融危機後、国連、経済学者ジョセフ・スティグリッツ、さらには中国人民銀行総裁からも、この方向の提案が殺到した。これらの提案はどれも我々をどこにも導いていない。

その計画は、RKMが所有するIMFを、大量の「国際準備資産」であるSDR（特別引出権）を保有し、それを必要とする国に配布できるような、一種の超中央銀行に変えるというものだ。

あまり多くの質問をしないでください。簡単に言えば、新しい世界の通貨システムは再び紙幣に基づいており、世界中の官僚によって管理されることとなります。おそらく、これが絶望的な提案であるという事実をすぐに理解するでしょう。スーパー経済学者が運営するスーパー銀行は、世界の金融システム全体を吹き飛ばすのにそれほど時間はかからないでしょう。

現在のシステムのような紙幣に基づくシステムは、いずれにせよ破裂する。完全な信用サイクルを生き延びた紙幣システムはない。なぜなら、原始的な信用に裏付けられたお金である紙幣は、いかなる規律もなく、無制限だからである。この事実が、国際通貨改革の欠如ではなく、現在これほど多くのバブルが発生している理由である。

借金は永遠に増え続けることはできない。

金利が下がると（多くの場合、中央銀行が人為的に低い水準に押し下げ、非常に長い期間その水準に維持する）、信用が拡大し、負債の負担が増大する。これは過去 30 年間に起こったことだ。そして今、経済全体が、決して継続できないものに依存している。負債が永遠に増大することはない。

金利が低い限り、システムは維持され、支えられますが、負債の量が増えるにつれて、その質は低下します。債務者のバランスシートはますます弱くなります。最終的に、信用市場は方向を変えます。金利が上昇し始めます。すると、すべての負債の重みが雪崩のように崩れ落ちます。そして、それが始まったら、それを止めることはできません。あなたにできるのは、邪魔をしないようにすることだけです。

すべての中央銀行が債券購入を縮小し始めると、抑制しようとしている災難、つまりデフレ不況が再び起こる危険があります。したが

って、中央銀行は継続しなければなりません。市場と経済はそれに依存しています。そう遠くない将来、金は再び輝くでしょう。

「利益が伸びる理由は、収益の増加と利益率の拡大の 2 つだけです。残念ながら、どちらの面でも見通しは暗いです。利益率はすでに周期的なピーク レベルに達しており、その面で期待できるのは、利益率が安定し続けることだけです。

そうなる、収益増加の唯一の原動力は収益増加になります。しかし、経済成長が抑制されている現在の環境では、大幅な収益増加は望めません。収益増加は名目GDP成長の直接的な要素ですが、名目GDP成長はせいぜい中途半端なものでした。」

ケースシラーの住宅価格がブローカーのブログで指摘しているように、現在最大の脅威は金利の上昇だ。

「金利というのは絶対的な水準ではなく、上昇の速度を意味しており、市場が現在準備できていない、また企業が計画していなかったかもしれないスピードで進行しています。住宅市場における金利上昇の影響は、新築住宅販売の数字にすでに表れています。その結果、新築住宅販売は20%減少し、今後数か月の既存住宅販売にとって良い兆候ではありません。」

GDPを生み出すには借金が必要だ。

世界で最も裕福な国と言われる国々は、GDP 50 セントを生み出すために 7 ドルの借金を必要とします。世界は破産しており、発表されているすべての金融統計は、価値のない紙幣を土台に築かれた城の幻影にすぎません。もちろん、世界は実際のお金で借金を返済することは決してできませんし、実際のお金で利息を支払うことさえできません。

金利が1%上昇するごとに、G7諸国にとって1兆4000億ドルという莫大な追加コストが発生します。これは非常に大きな額です。1兆4000億ドルはカナダのGDP全体よりわずかに少ないだけです。金利が10%上昇すると、G7諸国の利子支出は米国のGDP全体に匹敵するほど増加します。

正気な人なら誰でも、この状況全体が耐え難いものであることに気づくでしょう。そして悲しいことに、これは世界にとって非常に悪い結末を迎えるでしょう。経済破綻が進行しているだけでなく、戦争の脅威が続く上に道徳的、倫理的な破綻も進行しており、ほとんどの政府がすべての自由と個人の自主性を奪い、世界中の人々が国家からの援助に頼らざるを得ない状況に陥っているという事実によって、状況はさらに悪化しています。

つまり、私たちの通貨システムは破滅の運命にある。100%の失敗が保証されている。地球の歴史上、法定通貨が生き残ったことは一度もない。今や世界の通貨はすべて法定通貨だ。したがって、これから起こる変化は世界の通貨史上最も劇的なものとなるだろう。史上最大の富の移転となるだろう。したがって、史上最大のチャンスでもある。金はどこまで上がるのか？マロニーは言う。

「研究すればするほど、金が2,000ドルや5,000ドルになるという予測は馬鹿げていることがわかる。馬鹿げたほど低いのだ。」

デリバティブの爆発は、いつ起こるか分からない災害であり、人々の購買力が一夜にして消え、通貨制度を崩壊させるでしょう。世界は歴史上かつて経験したことのない異常な局面に突入しており、最終的にはハイパーインフレに陥るので、備えが必要です。米ドルの大部分は米国外で保有されているため、個人所有の金の国有化（没収ではなく）は、それほど起こりそうにありません。外国人が怖くなって米ドルを売り払えば、米国の惨事はさらに悪化するでしょう。金の宝飾品や銀が国有化の対象となる可能性は低いです。それで

も国有化が起こった場合は、金を売却し、その収益からすぐに他の実物資産を購入して、利益を保護してください。多くの暴力と社会不安が予想されます。予防措置を講じて、少なくとも3か月間、家族が緊急時の食糧備蓄を確保できるようにしてください。

金や銀を個人で所有し、3か月分の非常食を備蓄している人は、生き延びる可能性が最も高い。当局は、これから何が起こるのかと死ぬほど恐れている。社会がこの危機の段階に入ると、多くの都市で数日分の食料しかなく、あちこちで暴動が起こるだろう。昨年7月にワシントンDCで調印された協定によると、FEMAと米国家安全保障局（NSC）は、

ロシア非常事態省；

「ロシア軍は今や（米国での）治安維持のために派遣される」この理念に基づけば、米軍は米国人を撃たないが、ロシア軍は撃つだろう。

稀な利益の可能性：

金は操作により5000年ぶりの安値にあるが、いつまでもその状態が続くわけにはいかない。だからこそ、金と銀は歴史上まれに見る利益の最大の可能性を秘めており、少なくとも当面は大きな買いのチャンスでもあるのだ。

こうした脅威から逃れたい中流階級の人々は、今から生き残るための準備をして自らを守らなければなりません。新しい通貨制度が導入されるでしょう。

不動産、債券、株式は、著しく過大評価されています。過小評価されている商品は貴金属だけです。金価格がダウ平均株価の2倍になり、史上最大のバブルとなる日が来るでしょう。金は2000年に史上最低を記録しました。それは5,000年ぶりの安値でした。価値に関する限り、これは間違いなく史上最大の誤解の1つです。

新しい通貨システムは、10 年末までに導入されるはずです。

すべてが失敗し始めると、銀行家たちは答えを探し回り、過去にうまくいったかもしれないものすべてに手を出すだろう。それは、かつて見たことのないような世界的な金融危機となるだろう。この変化は、世界の金融史上最も劇的なものとなるだろう。それは、史上最大の富の移転となるだろう。

したがって、これは歴史上最大のチャンスなのです。

ゴールドについて:

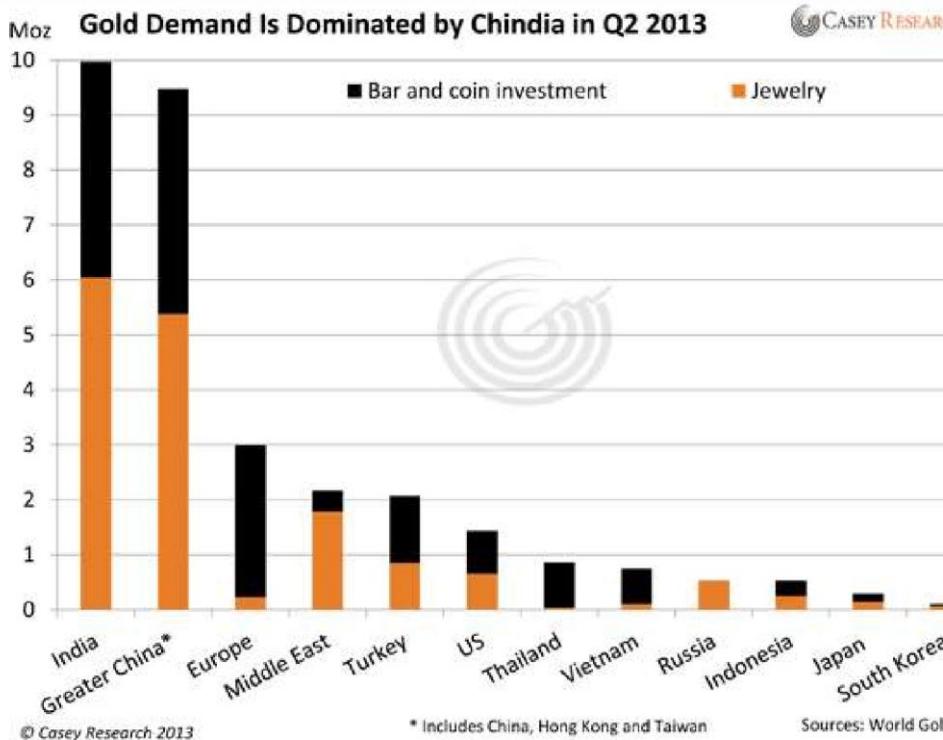
金市場の構造は変化しています。金は、いわゆる「弱気派」、つまり金を「取引」とみなし、短期的な利益を求めていた人々から、「強気派」、つまり全体像を把握し、長期的視点で購入する人々へと移行しています。

金は西から東へ移動しています。これは以前にも聞いたことがあるでしょう。下のグラフは、この事実を反駁の余地なく示しています。そして、この傾向は弱まる兆しがありません。

したがって、東洋は価格に対してますます大きな影響力を持つようになるでしょう。アジア諸国が市場をますます占有するにつれて、価格に対する影響力はますます大きくなるでしょう。

「GS（ゴールドマン・サックス）が何を言おうと、金の強気相場は終わっていない。貴金属市場に関する彼らのコメントを読むと、彼らは本当にそれを理解しているのかと疑問に思うことがある。しかし、彼らのアナリストの誰かが金を所有しているのだろうか？」とケーシー・リサーチのチャン氏は書いている。

中国とインドは、前四半期の世界の金宝飾品セクターの約60%を占め、金地金と金貨の総需要の約半分を占めました。



さらに、両国とも今年上半期の消費者需要が2012年の同時期と比べて約50%増加しました。

フィクサーによって引き起こされた機能不全の市場と危機:

EUの経済は根本的に破綻している。倒産した企業を立て直すような再構築が必要だ。そんなことは起こらないだろうし、EUの回復もないだろう。

残念ながら、ドイツからの良い報告も全体像を変えることはない。終わりのない危機は繰り返し起こる。イタリアとフランスでの二極化した選挙以来、市場に恐怖が再び広がった。両国とも反ユーロの政策を掲げ、「ブリュッセルの官僚」と「ベルリンの命令」に反対した。

イタリアのグリッロ氏やフランスのマリーヌ・ル・ペン氏は、ユーロ通貨を捨てるべきだとさえ示唆している。EUは破綻しているだけでなく、崩壊している。

近い将来にEUが回復するのは実現不可能に思える。これらすべてが、市場が機能不全に陥り始めているという大きな真実を物語っている。

世界の市場が機能する基準である貨幣制度は、意図的に破壊されつつある。何十億もの人々の需要と供給の決定を反映するはずの市場を導く貨幣シグナルは、歪んでしまった。

中央銀行は、前例のないペースで世界の通貨供給量を膨張させている。世界の通貨システムが金と実質金利の両方から解放されて以来、これほど大量の紙幣が印刷されたことはかつてなかった。中央銀行は、金融緩和と信用の低利化を求める政治指導者の要求に応じている。

実施された量的緩和は、コンピュータ画面上で作成されたお金であり、実際の生産経済には決して入りません。そのお金は直接銀行の準備金口座に入り、そこに留まります。商業銀行から引き出せる少量の「金庫現金」を除いて、銀行の準備金は中央銀行から出ることはありません。

これらは貯蓄よりも支出を奨励し、賢明な人よりも浪費家に報酬を与え、成功者を犠牲にして失敗者を支援する政策です。

最初の偉大な西洋文明であるギリシャの興亡を記録した英国の歴史家エドワード・ギボン（1737-1794）は次のように書いています。

「結局、彼らは自由よりも安全を求めたのです。彼らは快適な生活を望んでいましたが、安全、快適さ、自由のすべてを失いました。アテネ人が最終的に社会に与えるのではなく、社会が彼らに与えることを望んだとき、彼らが最も望んだ自

由は責任からの解放だったとき、アテネは自由ではなくなり、二度と自由になることはありませんでした。」

今日、これらの言葉は、西洋に住むほぼすべての自由な人々に当てはまります。勤勉、貯蓄、独立を通じて自由とより良い生活を求める意欲は、幻想の安全を求める臆病な追求に取って代わられました。子供たちに、より経済的に安定したより良い世界を残すよう努力する代わりに、政治指導者たちは、孫たちにさらに多くの負債を負わせることができるように、どのようにルールを変えるかについて口論しています。

私たちの生活水準への影響:

借金に依存する西側諸国の文化のこの大きな変化は、私たちの生活水準に恐ろしい影響を及ぼすだろう。最初の変化はすでに感じられており、1971年に金本位制が廃止されて以来、実質賃金は上昇していない。そして、より大きな下落がやってくる。

世界経済は今、いわゆる袋小路に入りつつあります。債務を現金化し、通貨を意図的にインフレさせ、破綻した企業を救済し、支払える以上の利益を提供すると約束することで、市場の責任を故意に放棄しているのです。

西側諸国の主要経済国は集団主義の道を選択しました。この道から逃れることはできず、近い将来、大規模な混乱、大幅な価格上昇、そして私たちの生涯で見たこともないような規模の貧困につながるでしょう。

スペイン帝国は、産業を築くのではなく、お金を「見つける」ことで自滅した。オバマとバーナンキも、対外債務を帳消しにすることで同様の行動をとった。ただ、彼らはそれを「量的緩和」と呼び、より賢く、秘密裏に行っているだけだ。

「バーナンキ議長は議会でのハト派的な証言で量的緩和の制限に関する懸念を軽視し、米連邦準備制度理事会（FRB）がリザーブは資産の購入を継続します。」

FRB議長は、QE3として知られる第3弾の量的緩和のコストとリスクを体系的に検証し、それらは期待される利益によって相殺されるか、あるいは中央銀行がコントロールしていると主張した。

「基本的な数学力があれば、正直に計算すれば、15兆ドル以上の負債を返済することは決してできないと理解できるはずだ。これは、納税者一人当たり15万ドルという途方もない額だ。そして、それは納税者を平等に扱った場合のみだが、残念ながらそうではない。現状では、人口の約10%がこれらの債務の約90%を返済しなければならない。そして、それは決して起こらない。起こることは、真に壮大な財政破綻となるだろう。」

最悪なのは、こうした財政問題が2008年以来拡大し続けていることです。十分な貯蓄がないまま、このようにして多額の負債が蓄積されてきました。では、何が変わったのでしょうか？**何も変わっていません**。政府の負債は増え続けています。

民間部門の状況はどうでしょうか？

ゼネラル・エレクトリックの企業債務超過について見てみましょう。GEは2008年にほぼ倒産寸前でした。金融市場での短期融資に完全に依存していたからです。その資金が枯渇すると、GEは世界中の誰からも、いかなる条件でも1ペニーも借りられなくなりました。なぜでしょうか。債権者に対して7,000億ドル近くの負債を抱えており、これは世界第4位の債務者であり、地球上のほとんどの国債発行者よりも大きな額でした。

「GEの資産収益率がわずか1.6%であることを考えると、民間企業がこれほどの規模の負債を返済できるとは信じがたい。だからこそ、米国は

政府はGEを救済し、昨年までの負債をすべて保証しなければならなかった。だからGEも最終的には破産するだろう。しかし、この数年間は負債の一部を返済し始めるのに好都合だったと思いませんか？FRBは基本的に損失を出せないようにしている。確かにGEの資産に対する利回りはわずか1.6%だが、FRBはGEがそれらの資産を実質的に無料で融資することを許可している。そしてまさにそれが、GEのキャッシュフローが2009年以来毎年約100億ドル増加している理由だ」。

しかし、GEはこの余剰金をどうしたのでしょうか？

同社は200億ドルの現金配当金を支払い、120億ドル相当の自社株を買い戻した。その結果、同社の貸借対照表上の自己資本は2009年末の1170億ドルより減少し、現在は1160億ドルとなっている。

「これは作り話ではありません。負債を減らすどころか、GEは他のアメリカ企業と同様、過去3年間で負債を増やしてきました。」

経済は、人間が理解し、賢明に制御するには複雑すぎる。2012年6月7日、FRB議長ベン・バーナンキは（偶然にも？）この複雑さを認めた。銀行の資本要件の引き上げと、300項目に及ぶ新たな金融規制の嵐に関して、彼は次のように質問された。

「これらすべての累積的な影響を研究した人はいるか？」バーナンキの答えはノーだった。「あまりにも複雑すぎる」。これは、政府の経済運営が当てずっぽうの積み重ねに過ぎないという驚くべき告白だった。

この悪夢が終わった後、私たちは平和、自由、豊かさの時代に向けて新たなスタートを切ることができますが、既存の政治構造が崩壊し、1世紀にわたる誤った投資が洗い流される移行は、厄介なものになるでしょう。

世界経済全体が、
オーストリアの哲学者で経済学者のルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは
「計画された混乱」

「FRBは米国経済が回復していないことを知っている」とピーター・シフ氏は指摘した。「単に人為的に崩壊を防いでいるだけだ。低金利「そして量的緩和。その支援がなくなると、経済は崩壊する」。経済の生産性は実際には何ら向上していない。重要な物質的な競争上の優位性が突然得られたわけでもない。財政危機を解決するために何もしていない。実際、状況は悪化するばかりだ。

過剰支出につながる政治的問題を解決するために何も行われていません。根本的には、これらの問題が金価格を押し上げています。その過程で、経済全体が再び膨張するでしょう。短期的には気分は最高になるでしょう。すべての問題が解決し、すべてが順調であるように感じるでしょう。しかし、最終的には大規模なインフレになります。

価格に関係なく、今日金を所有しないのはリスクが大きすぎます。覚えておってください。世界の中央銀行は自国の通貨を破壊することに専念しています。そして紙幣の価値がどんどん下がっていくにつれて、金が最終的に勝利者となるでしょう。

信用は人工的な好景気を生み出す：

先に説明したように、今日の経済システムが生き残るためには信用の拡大が必要です。信用の拡大がなければ、経済は数年では解決で

きない新たな不況に陥って崩壊するでしょう。それは今後何年にもわたって経済的困難と深刻な苦痛を引き起こすでしょう。

信用が人工的な好景気を生み出すというオーストリア学派の見解は正しかった。通貨制度が常に金本位制を維持していたら、事態は間違いなくより安定していただろう。1971年にリチャード・ニクソンが米ドルと金のつながりを断ち切ると、信用創造量に関する制約がすべてなくなった。それによって米ドルは偽物となり、一方で旧ドルは金と固定レートで結びついており、金は実体経済に結びついていた。

金本位制の国際貿易体制の放棄は、信用創造の爆発的な増加を招き、最終的には世界経済全体を不安定化させました。紙幣のドル準備金の上に裏付けられた信用創造は、世界的な信用バブルを招き、経済の過熱と深刻な資産価格インフレを引き起こしました。その後、ドル本位制が可能にした信用創造は、ほぼすべての産業で大規模な過剰投資を招きました。

それは、意図的に人類を奴隷化している、借金に基づくお金と中央銀行制度の上に築かれた専制政治のシステムです。それは借金による専制政治です。それは**お金を使った奴隷制度**です。

しかし、間もなく世界はこのシステムの終焉を目にすることになるでしょう。金は世界の通貨システムの新たな王として宣言されるのを待ち構えています。

本当のお金は富を築きます：

本当のお金は、本当の富を築くために不可欠です。お金は経済をスムーズに動かすものです。お金は、いつ買うか、いつ売るか、いつ投資するか、いつ投資を控えるか、そして限られた時間とリソースをいつどこに使うかを決めるのに役立ちます。**本当のお金には本当の価値があります。**ですから、人々がより多くのお金を手に入れると、より多くの本当の富を主張できるようになります。

しかし、この新しいお金は偽物です。政府や銀行は、この新しいお金を好きなだけ追加することができます。しかし、それは本当の富を生み出したわけではなく、それを正当に所有する人々から富を奪っただけです。

銀行による新たな融資は、それまで存在しなかったお金を無から生み出します。追加の富は伴いません。信用だけです。そのため、このシステムを「信用主義と呼ぶ人もいます。この新しいお金はもはや実際の富ではなく信用に基づいているからです。信用主義には、「中央銀行が経済を統制するには、信用の量の方が通貨供給量や金利よりも重要な金融指標である」という理論があります。

クレジットまたは借金:

信用の裏側は負債です。そしてここに問題があります。実際のお金がどれだけ稼げるかには限界がありません。実際のお金の世界では、追加の通貨単位は追加の富を表します。しかし、信用や負債のお金の場合は違います。

信用があれば、支出を大幅に増やすことができます。しかし、借り入れできる金額には限度があります。最終的には、負債の利子を支払うためのキャッシュフローが枯渇する地点に達します。すると、システムは支払い不能になり、破綻します。

実際のお金とクレジットマネー:

実際のお金は、持てば持つほど豊かになります。しかし、信用貨幣の量が増えると、経済は信用サイクルの転換に対してますます脆弱になります。負債の量が増えると、質が低下します。そして、それが今、負債に起こっていることです。そして、それが今、負債に起こっていることです。信用サイクルが転換したのには、非常に単純な理由があります。経済サイクルも転換したからです。2009年から2015年半ばまで市場に有利に働いていた追い風が、向かい風になり、今では陰謀団に不利に働いています。

座席数よりチケット数が多い:

中央銀行は本物のお金を印刷することはできない。存在しない席のチケットを発行することしかできない。だから、返済できない人々にさらにお金を貸すことで、根本的な問題を悪化させるだけだ。最も重要なのは、偽造チケットが配布されると、富裕層が真っ先に並ぶということだ。その結果、スタジアムに行くと、あなたの席に彼らが座っているのを見つけることになる。

信用金融システムに最初の大きな亀裂が生じたのは2008年、住宅ローン債務と住宅所有者の支払い能力の間に巨大な亀裂が生じた時だった。住宅価格は下落し、2010年までに住宅20軒に1軒が差し押さえられ、自殺率は20%上昇した。

フィクションは、誰も稼いだことのないお金が本当の富を獲得することです。

住宅バブルがはじけたとき、およそ 8,000 億ドル相当の住宅が差し押さえられたと推定されています。**住宅は実物資産です**。所有者が支払いができなくなると、住宅はそれを担保に「お金」を貸していた銀行に渡りました。

これらの銀行は住宅を建てたわけではない。所有したこともない。**住宅購入のために貸し出したお金は、銀行が稼いだお金でもない。銀行に預金した預金者から出たお金でもない。誰も稼いだことのないお金。架空のお金だった。**

しかし、銀行がこの偽のお金を使って本当の富、つまり人々の家を奪うことは止められませんでした。

そしてまさにこれが、新たな信用貨幣システムのおかげで、金融部門に集中していた富裕層がさらに裕福になった方法なのです。

必要な変更:

市場に大きな衝撃が加われば、非常に自己満足的な金融市場では、すべてが手に入るという突然の認識につながるだろう。エリートの部外者が権力を握れば、過去 45 年間の政策と比較して劇的な変化、つまり信用主義の突然の終焉を意味する可能性がある。

現在、政府によって支配されている経済は、市場によって主導される必要がある。政府は経済活動や市場活動を承認する手続きを廃止しなければならない。市場価格や取引への干渉をやめなければならない。

今日の偽資本主義はゾンビによって実行され、無能な人々によって管理され、官僚によって規制されており、富をもたらすことはできません。実質賃金と給与は削減されており、人々が資本主義を嫌うのも不思議ではありません。

2008 年に危機が起こったとき、破産を防ぐのに十分な資本、つまり実質的な株主価値がなかった。それは真の資本主義の危機ではなかった。それは老朽化した資本主義の問題であり、真の資本主義なら解決法を知っている単純な問題だった。もし、その仕事を任せていれば、これらの銀行は当然のように倒産していただろう。

銀行が破綻すれば、ギリシャの債務など、他の多くのものの破綻も意味することになる。銀行の保有資産は安値で売りに出され、銀行自身の価格も下落し、ギリシャや他の大債務国も破産に追い込まれることになるだろう。

危機はフィクサーによって引き起こされた：

もちろん、中央銀行家たちが避けたかったのはまさにこれだ、と彼らは言う。約9年経った今も、彼らはまだそれを阻止しようとしている。

これは単に「危機に瀕した資本主義」を描写するだけでなく、危機の原因がフィクサー自身にあることを示している。マーケット氏が

十分に自己表現を許されていれば、フィクサーは銀行を破産させて
いただろう。これらの破産した銀行は政府によって存続させられて
いるが、政府も破産すべきである。

そして、マーケット氏は脇に追いやられているため、本当の問題を
解決することができません。破産した機関は事業を継続し、無能で
高給取りの経営者が経営するゾンビ機関に、ますます多くの実質的
な資源を移しています。

そしてこれは次の声明と一致します：

「信用は人工的な好景気を生み出すというオーストリア学派
の経済学は正しかった。通貨制度が金本位制のままであれ
ば、事態は間違いなくより安定していただろう。」

裏付けのないドル基準により不安定化する世界経済：

金に裏付けられた国際貿易体制の放棄は、信用創造の爆発的な増加
を招き、最終的には世界経済を不安定化させました。紙幣のドル準
備金の上に裏付けられたこの信用創造は、*世界的な信用バブル*を引
き起こし、経済の過熱と深刻な資産価格インフレを引き起こしまし
た。つまり、裏付けのないドル基準が可能にした信用創造は、ほぼ
すべての産業で大規模な過剰投資につながったのです。

しかし、ミーゼスが私たちに思い出させてくれるように、信用がこ
れ以上拡大できなくなる日が必ず来ます。それが大恐慌の始まりで
あり、介入前の2008年に起こり始めたことです。

新たな不況の脅威

リチャード・ダンカンは[次のように説明しています](#)。「アメリカを
繁栄させた信用の爆発的な増加は、経済全体を崩壊させる恐れがあ
ります。」

政治的介入のない自由と経済的安全：

経済的な安定は真の自由の前提条件として宣伝されています。安定には、最低賃金の保証の確実性と良好な生活水準の保証という 2 つの種類があります。これらは安全を保証する一種の強制手段であり、私たちの自由に有害な影響を及ぼします。政治的介入は収入の減少を防ぐ必要があります。

しかし、経済の変化は失業につながる可能性がある。政治的強制による安全の追求が現在の危機と失業の主な原因であり、より具体的には、計画経済への政府の介入がまさに経済の不確実性を高めているのだ。

我が国の政治家は、この危機を解決するために国民から金を搾り取る緊縮財政政策について頻繁に話し、経済成長のためにはさらなる政治介入が必要だと言っている。これらは完全に間違った政策であり、ギリシャ、アイルランド、ポルトガルで十分に実証されたように、効果はない。すべきことは、政府機構を縮小し、支出と公的債務を削減し、国民に対する緊縮財政をしないことである。これは経済成長に反する。しかし、これらの政策は我が国の政治家の財布に利益をもたらさない。

計画経済では、政府は特定のグループや個人に何らかの保証を与えて利益を与えます。つまり、これらのグループや個人が全体の利益の一定部分を占め、残りの部分は経済の成長や衰退に応じて相対的に大きくなったり小さくなったりします。真の安全は、自由市場経済によってのみ達成できます。つまり、計画経済ではますます失われている、自分の生計を立てるための幅広い選択肢を提供することです。安全を提供するために政治的手段を適用する試みは、社会を大きく変えました。

第 4 章で説明したように、ドイツはビスマルクの思想の実施を開始し、福祉国家のモデルを提供しました。このモデルはその後、すべての西側諸国で採用されました。社会主義者が、経済的リスクを伴うもの、またはリスクをうまく受け入れた人々に利益をもたらす

ものすべてを意図的かつ公然と否定したことにより、実施が加速されました。

若者が自営業や起業家になるリスクよりも高給の仕事の安定を好むのは責められない。長年、新しい世代は、メディアや学校が利益を上げるのは不道德だと宣言して起業家を悪者扱いする世界で育ってきた。何百人もの人々に仕事を生み出す起業家は搾取者と呼ばれたが、それとは対照的に、軍隊で同じ数の人々に命令を下す起業家は名誉に包まれていた。

政府計画経済では、安全性は高まるかもしれないが、国民の自由は確実に減少する。経済がさまざまな特権によって妨げられると、個人の自由は失われる。たとえば、法的な保証がなければ、最低賃金がすべての人に保証されている場合、他の人々は高給の仕事を得る機会を得られないかもしれない。しかし、個人の自由を犠牲にして運営されている政治家が喧伝する現在の形の経済的安全性ほど致命的なものはない。

自由は貴重な資産です。自由は一定の代償を払ってのみ獲得できるものであり、誰もが自由を維持し獲得するために代価を支払う覚悟をしなければならないということを人々は学ばなければなりません。

「誰かの自由の大部分が少しの安全と引き換えにされるなら、自由も安全も得るに値しない」とベンジャミン・フランクリンはかつて言った。（アメリカの政治家 1706 -1790）

将来の世代のためにより良い世界を作るために、私たちは今、変化を始める勇気を持たなければなりません。犯した過ちによる障害は排除されなければなりません。個人の創造的才能に再びチャンスを与えなければなりません。人間に進歩を強制するのではなく、進歩を可能にする条件を単に作り出してください。政府のさらなる行動

を求める人は勇気がありません。新世界秩序を推進する人々も同様に勇気がありません。

計画経済を求める声が高ければ高いほど、第二次世界大戦を引き起こした思想の影響を受ける人が増え、今日起こっている社会の混乱の大部分がそれに当たる。

すべての人に自由を：

これが唯一の真の進歩主義の政治目標です。政府の権力は制限されるべきであるという考えは、政府が多数決によって権力を握ったときに放棄されました。これが現代の民主主義の問題です。第 2 章と第 3 章で説明したとおりです。民主主義が決して良いものではないということではなく、無制限の政府の権力は常に間違っているということです。人々は多数決の使用を減らすことを学ばなければなりません。本質的な問題は、誰が統治すべきかではなく、政府の権力がどうあるべきかです。

市場経済に反対するプロパガンダは大学で最も成功している。責任あるリスクを負う覚悟のある個人の起業を奨励すべきである。こうした人々はいかなる経済的保障もなくとも生きていける人々である。学校や大学では、学生に人生の不確実性を受け入れさせ、それに対処する方法を教えるためにあらゆる努力をすべきである。

人々は、自信を持って積極的に成長の機会を探しながら、自立して行動することを学ばなければなりません。これは起業家にとって最も重要な特性です。

残念なことに、今日のほとんどの大学では、学生は能力やスキルに関連した一般学習カリキュラムの枠組みの中で訓練されています。自信は教えられるどころか、ほとんど教えられていません。

起業家精神こそ世界に必要なものです。

市場のニッチを探すことは感覚に関係しますが、残念ながらほとんどの授業では市場の調査と分析のみを教えられています。

アップルコンピュータの共同創業者スティーブ・ジョブズは、録音された伝記の中で、市場調査にお金を無駄にすることは決してなかったと述べています。

「人々の想像を超えた事柄について、どうすれば人々の意見を得られるだろうか？」

それは、ビジョンと情熱、そして誰かのアイデアに対する「揺るぎない信念」に帰着します。

大量の知識を吸収する能力は素晴らしいですが、それだけで起業家になれるわけではありません。逆に、学校は才能を奨励し、育成し、尽きることのないエネルギーを加えて、起業家が常に達成に向けて突き進むようにすべきです。

アルゼンチンで明らかになる未来:

アルゼンチンの政治的優位性と高インフレは、これからの私たちの未来を理解するための良い例です。かつては世界第 8 位の経済大国でしたが、現在は取り返しのつかないほどの衰退の悲惨な状況にあり、経済は持たざる者と持つ者、諦めた人々と政府から独立して独自の道を切り開いた人々の 2 つに分断されています。

世界の逆ピラミッド型債務は今にも崩れ落ちそうだ。ギリシャを自滅から救おうとするEUのひどい動きは、行動を起こすための注意を引く危険信号となるはずだ。ヨーロッパの金融界で最も影響力のある人物の一人、ヨーロッパの大手銀行ドイツ銀行のCEO、ヨゼフ・アッカーマンは、大陸の主要銀行の多くが実質的に破綻していると公に認めた。アッカーマンは次のように述べた。

「多くの欧州の銀行が、銀行帳簿上の国債を市場水準で再評価しなければ生き残れないことは公然の秘密だ…」

欧州におけるリーダーシップの欠如と決断力の欠如は、間違いなくECBによるさらなる救済につながるだろう。

ドル/ユーロが崩壊したり、政府の1つが自国通貨を守ろうと最後の手段で愚かな行動に出たりした場合、資産をどこに保有しているかは関係なく、すべての資産クラスが悪影響または好影響のいずれかで影響を受ける。国境を越えて実物の金または銀、あるいはその両方を有形投資として保有している限りは。飛行機に乗って南米で土地を購入するのでなければ、これが世界経済が最終的に崩壊する中であなたの資産を守るグローバルな多様性である。

パラグアイ 例えば、ヨーロッパの農家にとっては、良い農業です。[豊かな農業 土地の広さを考えると、手頃な価格の農地は](#)、進取の気性に富んだ農家にとって素晴らしい将来性を提供します。農産物輸出はわずか3%ですが、現在では地元だけでなく国内、特に国際的に大きな拡大の機会を提供しています。

最終的な崩壊は数年、あるいは10年かかるかもしれない。アメリカやEUほど強力な経済が一夜にして崩壊することはめったにない。しかし、新聞の見出し一つで大惨事になりかねない問題が起こりつつあることは否定できない。もしそうなれば、グローバルに分散した個人が生き残ることになるだろう。

アルゼンチンでは、このことがどんな結果をもたらすかという例が至る所にあります。アルゼンチンが2002年に債務不履行に陥り経済が崩壊したとき、国外に資金を持つ人々だけが素早く立ち直り、富を創出し続けることができました。その結果、多くの国民が「システム」への尊敬と、再び信頼できるようになるという希望を失っています。

インフレはアルゼンチン経済において大きな役割を果たしています。政府の巨額の支出により、物価は毎週のように上昇しています。そのため、不安定で神経質な経済が生まれます。

ヨーロッパの起業家：

「私はまだ、コスト上昇の一部を吸収できるというヨーロッパ的な考え方を持っていました。しかし、それでは私は死んでいたでしょう。だから今は、それについて心配すらしていません。必要に応じて価格を上げます。顧客はそれに慣れていきます。」

10年以上前に金融危機が起こったとき、彼は価格下落の恩恵を受けることができた。彼は現在、世界クラスのレストランを含むいくつかの事業を所有している。ほとんどの人はそれほど幸運ではなかった。なぜなら彼らのお金は国内で完全に政府の管理下にあり、一夜にして価値が下がってしまったからだ。

アルゼンチンでは、長期にわたる高インフレの結果、住宅ローン付きで販売される住宅はわずか2%です。住宅ローンがなければ、**現金が王様です**。しかし、それだけの現金を調達できるアルゼンチン人はほとんどいません。そのため、彼らは、資産を獲得する代わりに、資産を移転させ、引き締まった貸貸市場に参入せざるを得ません。

アルゼンチンが現在の状況に至った経緯は、米国やEUで起きていることと似ている。アルゼンチン政府は経済を巧みに操作している。10年前に財政破綻するまで、政府は石油会社をコントロールしていた。官僚が誰が何をどれだけ得るかを決定していた。しかし政府が破産すると、石油会社を含むほとんどの資産を売却した。現在、石油会社は民間所有となり、利益を上げている。アルゼンチンでは価格統制が厳しく、国内企業はエネルギーを国境を越えてチリに輸送していた。そのため、車やトラックの燃料が不足した。しかしイン

フレが猛威を振るう中、政府は必死になって燃料価格を低く抑える必要があった。供給が逼迫し、車は燃料を求めて何時間も列をなした。しかし昨年、政府は態度を軟化させた。価格統制を撤廃し始めた。そして、給油待ちの列は1時間に短縮された。

社会主義政府にもかかわらず、人口の 50% 以上が貧困線以下の生活を送っており、盗みや物乞いなどでしか生き延びられていません。つまり、非常にひどく、やる気をなくさせる環境であり、すぐには改善されないでしょう。

人々は政府保証の通貨への信頼を失っており、一方で、FRBやECBが適用しているのと同様の金融政策が不換紙幣の危険性であることを経験を通じて理解している。これは、金や銀にこだわる必要があることを意味するものではないが、これらの資産は富を守る唯一の簡単な方法である。

もう一つの例：アルゼンチン中央銀行の前総裁は政府によって解任された。政治家が銀行の金融準備金を私的に使うことを主張したためである。国の蓄積された外貨準備金は対外債務の返済に不可欠だった。その銀行家は、名誉のためにもそれを拒否し、2010年2月に解雇された。彼の後任となったのは、ベン・バーナンキ、ジャネット・イエレン、マリオ・ドラギと同じタイプの銀行家だった。彼らは、簡単に言いなりになる「融通の利く」銀行家であり、平たく言えば「詐欺師」である。アルゼンチン中央銀行のこの新しい総裁でさえ、紙幣の印刷とインフレの間には「相関関係はない」と国民に告げている。

アルゼンチンでは、自分の立場はわかっている。政治家は不正を働き、官僚は完全に狂っているわけではないにしても無能だ。彼らを回避する方法、彼らのルールをかわす方法、自分自身を守る方法を見つけなければならない。

政府の数字は嘘で、約束は空虚だということはご存じでしょう。通貨をどうするかもご存じでしょう。できるだけ早くそれを廃止するようにしてください。

アルゼンチン政府が国際空港に犬を配置しているのはそのためです。麻薬や武器の持ち込みを阻止しようとしているではありません。ペソをドルに替えて安全な場所に持ち出そうとする人たちに恐怖心を植え付け、ドルを持ち出すのを阻止しようとしているのです。

政府は、スペイン資本の国内最大石油会社 REPSOL-YPF の強制国有化を発表した。政府は、所有者が新規開発に投資しないやり方に不満を表明した。そこで、所有者は、金のない政府がさらに投資するかのように、会社を自らの手で管理したのだ。

アルゼンチン政府は最近、またもや愚かな法律を可決した。外国人地主が大量の土地を保有するのを阻止することを目的として、外国人が広大な農地を所有することを禁じる法律である。

これがアルゼンチンです！ まもなく西側諸国も同じような状況になるでしょう。

南米に移住するつもりなら、パラグアイ、ウルグアイ、チリを検討したほうがよいでしょう。ただし、規則には注意深く従う必要があります。最近ほどヨーロッパやアメリカからの移民が急増したことはかつてありません。ヨーロッパやアメリカは破産寸前で、これから起こる社会不安の影響を真剣に恐れている人たちです。ウルグアイとチリには堅実な銀行があります。負債は多くなく、ヨーロッパやアメリカからもそれほど遠くありません。人々のはのんびりとした安全なライフスタイルを好みます。田舎に農場を購入したり、海岸沿いにアパートを購入したりします。母国で何か悪いことが起こった場合に備えて、居場所を確保します。

トランプ要因；何を期待するか？

トランプ大統領は、体制に力強く、攻撃的な改革をもたらした。彼は成功を決意しているが、事実上破産した世界で支払い不能の経済を運営することは、不動産帝国を築くことよりもはるかに困難であることが判明している。通貨の継続的な価値低下は、金価格の上昇を保証する。紙の金市場の崩壊はいつでも起こり得る。そうなると、現物市場が均衡するまで、いかなる価格でも現物の金は入手できなくなる。

EU、米国、日本は完全に破産している。中国は大きな債務問題を抱えており、欧州の銀行システムが現在の形で存続する可能性は低い。Brexit で始まったことは、多くの欧州諸国で続く可能性が高い。米国民と同様、多くの欧州人は、責任を負わず選挙で選ばれていない官僚たちが引き起こしている憤りをほとんど理解しないまま 5 億人の国民を支配するブリュッセルのエリート層にうんざりしている。

ヨーロッパはハザール人を権力から排除するのを支援している。

[、ベッペのたゆまぬ努力の](#)おかげで、政治的な流れを変えた。 [グリロ](#) そして彼の五つ星運動。

アメリカと同じく、イタリアのポピュリスト蜂起はエリート層から押しつけたもう一つの強引な決議である。これは、保守派の北部同盟と五つ星運動という欧州懐疑派の二つの政党が声高に反対して支持している。いつも華やかな五つ星運動党の党首で、元コメディアン**のベッペ・グリロ**は誇らしげにこう述べた。

「我々こそが野蛮人だ！本当の愚か者、ポピュリスト、扇動家はジャーナリストと体制側の知識人だ。」

このムードから、イタリアにリセットボタンを押してほしいと願う、ポピュリストで反体制の政治団体「五つ星運動」が台頭した。同

団体は、イタリアの慢性的な成長不足はユーロ通貨のせいだとし、多くのイタリア国民もこれに賛同している。そして、政権を握ったらずぐにユーロを離脱し、イタリアの旧通貨リラを復活させる投票を行うと約束している。もちろん、イタリアがユーロを放棄するには、同団体が政権を握らなければならない。だが、それはいつ起こってもおかしくない。

この投票は通貨市場に大きな影響を及ぼす可能性がある。反対票が勝ってもユーロからの即時離脱は引き起こされないが、そうした動きの基盤を築く可能性がある。

イタリアはEUで3番目に大きな経済大国であり、もし欧州懐疑派の勢力がローマを制圧すれば、ユーロが5億人の欧州市民のための単一通貨としての地位を維持することは不可能になる。イタリア式の離婚は、第二次世界大戦後の経済秩序に対する最新の攻撃となる可能性があり、誰も想像できないほど大きな頭痛の種となる可能性がある。

2017年、フランスとドイツではそれぞれ選挙が行われます。陰謀団の傀儡であるフランソワ・オランドフランス大統領とアンゲラ・メルケル首相は、ほぼ確実に交代するでしょう。 - フランスの極右政党国民戦線の[マリーヌ・ル・ペン党首](#)は、もし自分が大統領選挙に勝てば、フランスは米国のドナルド・トランプ大統領とロシアのウラジーミル・プーチン大統領の両氏と協力するので、世界はより安全な場所になるだろうと述べている。ル・ペン氏は、フランスの指導者としてプーチン大統領とトランプ氏と手を組むことは「世界平和にとって良いこと」だと述べている。残念ながら、選挙は不正操作され、新人のロスチャイルド家の寵児マクロン氏が勝利した。

EU崩壊:

EUの崩壊とユーロの終焉は時間の問題であり、誰もが予想するよりもずっと早く起こる可能性がある。EUはすでに財政的に瀕死の状態

にあり、政府、企業、個人が負債で破産している。EUは経済的にも沈没しており、抑圧的な規制と税金に圧迫されている。また、出生率が人口置換水準をはるかに下回るなど、人口学的にも窒息しつつある。ただし、アフリカやイスラムの移民は例外で、彼らは統合されておらず、ヨーロッパ人の間に過度の神経質と不安を引き起こしている。何百万人も移民も、無料の食料、住居、衣服、お金を期待し、女性をレイプし、一日中コーヒーハウスにたむろして不満を漏らしているようだ。EUは長い間、宗教、民族、人種間の戦争の温床となってきた。

ソロス NGO が支援するイスラム教徒の EU への移住は、次世代にとって最大の問題の一つとなるでしょう。数百万人どころか、数千万人の「徒歩の人々」や「船の人々」がヨーロッパを制圧しようとするのは確実です。もし彼らが受け入れられ、再定住すれば、西洋文明の残されたものは破壊されるでしょう。もし阻止されれば、数百万人の死者を出し、かなりのスキャンダルとなるでしょう。これがどのように終わるかはわかりませんが、大きく醜い大惨事になるでしょう。 - 何をすべきでしょうか？ 十分な金と銀を所有し、危険のない場所に 1 つ以上の住居を確保してください。

ユーロは破滅の運命にあり、おそらくドルよりも先に、その本質的価値であるゼロに達するでしょう。ユーロは10年後には消滅する可能性が高いでしょう。ユーロの資産を守るための最良の選択肢は、もちろん貴金属、つまり金と銀です。

ドラギはヒラリーと同じ運命をたどるに値するが、無能であり、完全に予測可能な行動をとっている。ユーロの保有量をできるだけ少なくし、必要なときにできるだけ早くすべてを引き出す計画を立てることが重要だ。

状況はさらに悪化する可能性が高い。債務市場の緊張と債券市場の差し迫った崩壊の影響を受けて金利が上昇し、失業率も上昇する。その結果、世界金融システムに重大な問題が生じ、大量の紙幣発行

で対処することになるが、その結果、債務が大幅に増加し、出口のない悪循環の債務循環に陥ることになる。

金はお金です：

金は値上がりしません。金はお金としての機能を果たします。何千年もの間そうであったように、安定した価値を表します。1オンスの金で2,000年前、つい100年前でさえ、高級な男性のスーツを買うことができましたし、今日でもそうです。お金はまさにこのように機能するべきなのです。お金は時間が経ってもその価値を維持するはずです。

第 25 章で説明したように、彼らがお金と呼んでいる通貨はお金とはまったく関係がないことに気付いている人はほとんどいません。すべての紙幣は本質的に一時的なものであり、その本質的な価値であるゼロに戻ります。これは、無謀な政府が、国民をなだめて票を買おうと、無限の量の不換紙幣を印刷または借り入れて権力にしがみついたためです。不換紙幣は、その名前が示すように、本当のお金にはなりません。それは任意に発行され、負債と債務以外の何にも裏付けられていません。

権力と金は腐敗させる。

権力とお金は腐敗を引き起こします。それは人々だけでなく国家をも破壊する致命的な組み合わせです。悲しいことに、それは今や歴史の地点に達しており、無制限に創造された不換紙幣は大陸全体をも破壊し、事実上世界の紙幣制度を完全に破壊するでしょう。

紙幣や法定通貨が生き残ったことは一度もないので、通貨の破壊は歴史を通じて常態化している。したがって、価値に裏付けられていない健全な通貨制度を永続的に導入できる見込みはほとんどない。法定通貨の権力は政治に参入するすべての人に非常に腐敗した影響を及ぼすようで、存在しないお金を印刷して使いたいという衝動は完全に抑えられないようだ。

解決策:

解決策は簡単です。中央銀行をすべて廃止することです。なぜなら、中央銀行は、お金が決してお金のままではなく、常に印刷された紙の価値に戻る主な理由だからです。中央銀行は、主に 2 つの壊滅的な機能を果たします。

- ・ 金利の人為的な操作、および 紙幣の印刷。

金利を操作することで、彼らは需要と供給の自然なメカニズムを破壊します。

自由市場では、お金の需要が高い場合、金利は上昇してお金の需要を抑えます。金利が上昇すると、預金者が負うリスクの増加に対する補償も当然得られます。

これは、これまでに見たことのないレベルの金融抑圧または金融操作です。これは自由市場の力を完全に破壊し、その結果、金融ハルマゲドンが到来することになります。需要と供給の自然法則が妨害されると、常に深刻な結果が生じます。

金融システムは生き残れないだろう:

確かなことが 1 つあります。現在の金融システムは、持続不可能な原則に基づいているため、存続できません。このようなシステムでは、健全な通貨は存在しません。また、第 46 章で説明するように、金と銀だけが真の通貨であることも確かです。近い将来、すべての通貨がゼロに移行すると、どちらも世界経済の誤った管理を反映し続けるでしょう。

結局のところ、市場は常に、どの中央銀行よりも、あるいは中央銀行のグループが協力して決定的な効果を生み出す能力よりも大きい。この原則は、2008 年にさまざまな市場が数か月にわたって崩壊

し、リーマン ブラザーズの破綻とそれに続く大混乱につながったときに発揮された。

西側諸国の中央銀行のフランチャイズ制度は完全に破綻し、支払い不能で、腐敗している。これは金本位制の復活を招いている。第 2 3 章で説明されているように、金融システム全体が負債ベースの通貨制度の上に構築されている。負債の飽和プロセスは完全に進行している。中央銀行家たちは、バランスシートを破綻させながら、過去 5 年ほど国家債務をカバーしてきた。

世界的な金融リセット:

*世界金融リセット*の最後には、国債の大規模な世界的債務削減が起こります。このパラダイム シフトは最も破壊的なタイプであり、権力は東にシフトします。

- 現時点では経済成長の兆しはどこにもありません。莫大な債務負担を軽減するには何も不十分です。

人類が自らの未来をコントロールできるようになれば、つまりお金の創造と分配のプロセスをコントロールできるようになれば、数十年ではなく数か月のうちに、貧困を終わらせ、環境破壊を止めるために何兆ドルもの資金を利用できることになるだろう。

金本位制の導入:

金本位制の導入により、ほぼすべての米ドル建て債券が有害紙幣となる。量的緩和はTBTF銀行に時間を稼いだかもしれないが、経済の崩壊とすべての国家債務の債務不履行を保証した。この混乱から正常に戻る兆しはまったく見えない。これが、大衆の注意をそらすことでエリート層の権力を維持するために、戦争が精力的に行われている理由である。

東洋では、重要な場所に金本位制を導入する革命が起きるだろう。金、銀、プラチナは、経済を破壊している金融エリートの愚かな金

融政策に対する具体的なヘッジとして機能しながら、多様化を促進する最良の方法である。

世界は、世界中の通貨を支えるために必要な金本位制への道を切り開く金融環境にあります。ドル、第 49 章で説明するように、ポンド、ユーロ、円、元などはすべて問題を抱えています。さらに、原材料の供給面を見ると、世界は金の生産量が減少している時期にあります。

増加する金と銀の需要に投資が追いつくには何年もかかります。結局のところ、鉱山を建設するには 5 年、場合によってはそれ以上かかります。探査から許可、開発、建設、開始までの全サイクルを実行するには最大 20 年かかります。

要するに、金の採掘には時間がかかり、大変な作業なのです。

36. 国家債務の話はでっちあげだ

- 詐欺の仕組み。
- 想像を絶する規模の詐欺と盗難。
- 政府の二重簿記、選択的に作成された運営予算。
- 帳簿の改ざん。
- 国家債務は債務ではない。
- 公式予算は総収入の3分の1に相当します。
- 突入防止チームの秘密。
- 病的な嘘つきが暴露される。
- 不正な銀行規制により、あなたの銀行口座の残高が減っています。

銀行が人々に借金を負わせる理由:

借金から逃れられる人はいません。私たちの大半は、何らかの形で金銭的な借金を抱えています。十分なお金がないこと、特に借金を抱えていることは、深刻な肉体的、精神的苦痛を引き起こします。

借金のない世界が実現可能であるにもかかわらず、銀行が人々に借金を負わせるのはこのためです。世界の中央銀行は、ほぼすべての政府を支配する主権を持っています。

法定通貨または約束手形と呼ばれる国の公式通貨を発行します。これは、金や銀ではなく信用によってのみ裏付けられ、本質的な価値のない**不換紙幣**としてよく知られています。その後、中央銀行はそれを国の政府に貸し付け、国民は貸金に対する所得税と、政府が中央銀行からお金を借りたときに発生する利子を通じて政府の負債を返済します。

この詐欺は、当然のことながら、政府が自らこのお金を無利子で発行できるという事実から始まります。

その後、商業銀行による国民へのさらなる利子付き融資を通じた部分準備金の拡大を通じて、政府の負債は拡大する。中央銀行は、この利子をすべて返済するために**追加のお金が必要なため、より多くのお金を作り続ける必要がある**が、利子は意図的に作成されず、したがってこの利子を支払うお金は存在しない。**これにより、個々の紙幣の価値が下がるインフレが発生し、物価が上昇し、人々はさらに多くの時間働かざるを得なくなる。**利子をすべて返済するためだけでなく、以前は購入できたものを購入するためでもある。インフレによりお金の購入が減少するため、これは価格の上昇をもたらし、自由市場では貴金属の価値も上昇し、その購買力が維持される。価格が上昇すると税金も高くなり、政府は**通貨の価値低下から利益を得るもう1つの方法を得ることになる。**

不平等：

エリート層は最も裕福な1%であり、残りの99%よりも多くの資産を所有している。 合計すると、 8人の人間が世界人口の最も貧しい半分の人々の富と同じだけの富を所有している。これは、世界で最も裕福で最も秘密主義的な個人、つまりディープステートを構成する悪魔的なハザールマフィアの目的が、安定を生み出し、貧困を終わらせることではなく、むしろ政府をコントロールし、飢餓を独占し、誰が食べるか、誰が食べないかを定めることであったことを示している。事実、中央銀行のエリートは、私たちがそうすることを許す限りにおいてのみ、人々を支配できるのだ。

詐欺の仕組み：

設計上、すべての政府は借金で運営されており、毎日借金が積み重なっていきます。これは

「国家債務」。この債務は約束手形、借用書、法定通貨、一般的な不換紙幣で構成されており、すべて犯罪政府の簿記システムで不正に管理されています。

誰かがあなたに借用書または証明書、つまり今日の不換紙幣と同義の借用書で支払い、あなたがその支払いを受け取った場合、その人に対して信用が創出され、あなたには負債が発生します。この負債手段を使用して、見返りに実際の本質的価値のあるものを受け取ることによって、誰かに「責任を転嫁」するまで、あなたは何に対しても支払いを受けることはありません。



別の見方をすると、**負債が創出されるたびに、同額の信用も創出されます。**負債と信用は自然に相殺されます。X兆ドルの「国家債務」はあり得ません。同額のX兆ドルの「国家信用」が存在しないままに創造された。

想像を絶する規模の詐欺と盗難:

政府は非常に無謀でした。何十年もの間、酔っ払いのようにお金を浪費して借金を重ね、借金返済を回避し、その過程で、数兆ドルの国家債務を自ら積み上げてきました。

一方、政府は全体として非常に注意深く勤勉に働いており、同等の負債を積み上げていないため、国民の帳簿にはX兆ドルの国家信用、さらにそれ以上の金額が積み上がっている。今こそ正確な簿記から始め、「国家債務」を「国家信用」に対してゼロにする時だ。これは小切手帳の残高調整のような日常的なプロセスであるべきであるが、代わりに、想像を絶する規模の詐欺や窃盗の口実にされてきた。

また、国会議員や議会議員の大多数が解雇され、不名誉なまま帰国させられ、監督、説明責任、誠実さ、能力の著しい欠如に対して責任を問われる時が来ている。

これらの政治家のほとんどは、政府がどう機能すべきか、あるいは全体の枠組みの中でどう位置づけられるかについて、まったくわかっていない。政府の簿記や会計システムがどのように機能すべきかについて明確な知識がなく、西洋世界で許可されていない疑わしい目的にお金を「流用」する方法を知っていること以外には、いわゆるお金がどこから来るのか、どのように作られるのか、あるいはお金について他のことは何もわかっていない。結局のところ、議会や国会には財布の紐を握るという唯一の任務があるが、彼らは間違いなくその任務を果たせていない。

資格のない政治家:

こうしたひどく不適格な候補者を支持する政党は、役立たずで自己満足以上のものとして、世界中で軽蔑されるべきである。「政党」という概念は、契約に基づいて国民に規定のサービスを提供するディープステート企業によって開始され、推進されているヨーロッパの概念である。

よく知られている政党はいずれも、実際の違法政府とは何の関係もありません。ただし、法人国家は彼らによって犯罪的に不当に管理され、すべての国の人々に横行することを許されています。

政治の操り人形は、国民に奉仕するのではなく、特定の利益団体の議題に奉仕するさまざまな政党の綱領に奉仕し、分極化させるために雇われます。

国債:

国民政府というより広範な枠組みの中で、公職の新たな選挙を実施し、すべての国民に影響を与える政府の役職や手続きに新たな制限や要件を課すべきである。

考慮すべき点: 誰かが「国家債務」について話し始めたら、単に「国家債務って何?」と尋ねてください。未払いの債務はすべて、デ

ープステートと彼らによって設立された国家企業の肩にかかっているはずで

通貨の購買力の継続的な低下:

47 年にわたる不換紙幣の実験は、オーストリア学派の経済学者が予測したとおりに展開しました。

通貨の購買力が継続的に低下し、中流階級および労働者階級の生活水準が低下し、中央銀行と連邦準備制度理事会が作り出した一連の好景気の後ますます深刻化する不況が続き、政府支出が爆発的に増加した。

もちろん、所得格差の拡大の背景には政府の政策が大きな役割を果たしている。

政府の二重簿記、選択的に作成された運営予算:

すべての政府、国家、州、県、郡、大都市は、2 組の会計帳簿を保持しています。1 つは予算で、一般に公開されており、各政府機関のコストと税収を追跡します。予算は、一般の人々が目にし、政治家が新たな政府支出と増税を正当化するために使用する財務記録です。

しかし、あまり知られていない包括的年次財務報告書 (CAFR) は、実際の収入と支出の会計を表しています。これらの CAFR は、国や地方政府によって毎年何千も作成されていますが、一般の人が目にすることはめったにありません。この 2 つ目の帳簿である CAFR は、一般の人にはほとんど知られていないものの、**政府の総収入の実際の記録からなる真の会計**です。

予算は政府の費用を正確に計算しますが、CAFR だけがすべての政府にとって会計のバイブルです。CAFR は、ガソリン、アルコール、タバコなどの税金など、議会の精査を免除される収入源から得られる**総収入、投資構造を示します。また、一般目的の運営予算も計**

算しますが、選択的に作成される運営予算は通常、総収入の 3 分の 1 に相当し、税収の 100 パーセントが表示されます。

真の会計：

総収入の残りの 3 分の 2 は CAFR レポートにのみ表示され、投資収益と企業運営から得られます。これらの企業運営には独自の投資と CAFR または年次財務報告書のリストがあり、管轄する地方政府とは別に独自の投資と総収入があります。このようにして、この収入金を隠すために多くのゲームが行われます。総累計収入の合計は、収入金のさまざまなレベルを通じて何度も乗算されることを理解する必要があります。

帳簿の改ざん：

減税と CAFR の隠れ資産は、単純化された比喩で説明されます。象徴的な鶏小屋を見てみましょう。

キツネたちは、鶏小屋から何羽の鶏を食べられるかという法律を書いてきました。最初、3,000羽の鶏のうち、キツネには年間100羽が与えられていました。キツネたちはそれを食べたのですが、さらに200羽必要だと言いました。そこでさらに200羽与えられました。キツネたちはこれも食べたのですが、さらに400羽必要だと言いました。それから400羽の鶏が与えられましたが、今では人々は不満を言い、もう十分だと言っています。そこでキツネたちは、使えるあらゆる論理を使って440羽の鶏を正当化し、440羽必要だと言いましたが、納税者が100羽、200羽、400羽を与えることに不満を抱いていることに気づき、賢明にも、人々には内緒で毎年150羽の鶏を自分たちの鶏小屋に取っておくようになりました。さて、何年も経って、キツネたちは自分たちの鶏小屋で6,500羽の鶏を集めました。言い換えれば、公開されている運営予算とは直接結びつかない総収入です。その

間も彼らは、公開されている運営予算である510羽の鶏を集め続けています。キツネたちは、510羽ではかろうじてやっつけていけると言って世間に泣き始めますが、人々が510羽について不満を言うので、キツネたちは自分たちに大きな犠牲を払って年間の捕獲数を490羽に減らすでしょう。

この帳簿操作の方法により、あらゆるレベルの政府機関は、公開されている予算に反映されている金額よりもはるかに多くの資金を徴収することができます。内部関係者が成功を確実にするために果たした重要な役割は、財政計画が拡大するにつれて国民がそれを検討したり、理解したり、把握したりしないようにすることだったことは明らかです。

シンジケートメディア:

これを実現するために、政府はシンジケートメディア、組織化された教育機関、政党の全面的な協力を必要とした。彼らがそれを手に入れたことは明らかであり、それは金銭が絡んでいたからだ。もしこれらの手下たちが協力すれば、彼らは富への容易な道を歩んでいた。もし協力しなければ、彼らは疎外され、さらに悪いことに殺された。

この盗難をどう修正すればいいでしょうか？

この政府の隠された窃盗を暴くには、まず住民が地方自治体がどれだけの資金を隠しているかを知る必要があります。地方自治体の C AFR を注意深く調べ、検討し、調査して、すべての事実を確実に把握してください。各政府がこのような調査を回避または拒否することは、平たく言えば、意図的な非開示による最悪の**反逆罪および金融詐欺**です。すべての人々が調べ始めれば、ゲームを国民に利益をもたらし、国民が管理するゲームに戻すために必要な是正措置を講じることができる、賢明で賢い人が数人いる可能性が非常に高いです。

アレンジメント：

彼らのツールを分析すると、オバマ大統領が世界規模の大規模な詐欺行為の手段として承認したのは金融安定理事会（FSB）であり、2009年にロンドンで開催されたG20会議で署名し、1944年7月に44の同盟国によって承認されたブレトンウッズ協定に追加され、**FSBを国際決済銀行（BIS）に結び付けている**。この特定の動きについては、非常に注意深く精査する必要がある。

FSB はオバマ大統領ではなく議会によって承認され、関係国の選出された役人による監視を受けるべきだった。関係者があなたの言っていることが分からなくても驚かないでください。丁寧に、しかし断固として、彼らが調べて行動を起こすよう求めてください。

今日のグローバルな世界では、通貨やその他の金融商品の円滑な流れと交換を監視する FSB のような機関が必要だと言われています。もし本当にそうなら、そのような組織は、活動している国の国民に責任を負わない国際銀行家によって管理されるべきではありません。 - 中央銀行家は、国民が選出した政府を反映する監視と抑制と均衡のシステムなしに、国際金融に関する決定を下すべきではありません。

さらに悪いことに、秩序を保つために、FSB 内で急落防止チーム（PPT）が運営され、財務省の税金を使って市場に介入し、介入によって市場を操作しています。バビロニアの金銭マジックのトリックで株式市場を上昇させ、貴金属価格を下落させているのと同じです。

突入防止チームの秘密：

最近の株式市場のボラティリティについて、多くの人がどう考えるべきか疑問に思っている。真の犯罪者は「急落防止策」だ。1988年、ロナルド・レーガン大統領の大統領令12631号に署名して設立された「PPT (Purpose of the Pyro-Purpose Team)」は、市場の公

認操作によって1987年の「ブラックマンデー」のような事態を再び防ぐために設立された。PPTは、米国財務省の資金をすべて掌握しており、財務省の裏にある公的資産を使ってデリバティブ（先物オプション）を通じて市場を操作し、金、銀、通貨、株などの商品の価格を操作している。

このように、紙の株は値上がりし、貴金属と石油の価値は下落する。これはPPTが不正操作を行っていることを示している。彼らは金属先物（デリバティブ）を大量に購入し、納税者の費用で金属本来の価値に反する大きな賭け（デリバティブ）を購入することで、銀と金の指数に損失を生み出している。

PPTによるこうしたギャンブル介入は、結果として生じた財政実態の膨張にもかかわらず、市場を継続的に押し下げることに成功しました。こうしたギャンブル派生商品を（納税者の負担で）多額の損失を出して購入したことで、各市場危機が回復に変わり、同時に、非常に過大評価された市場指数がさらに膨張しました。これが、大手銀行が数兆ドルのギャンブル派生商品を帳簿に保持している理由であり、これらが市場を操作するために使用されているからです。

彼らは貴金属の価値を操作して、投資家が国債の代わりに金や銀を購入するのを阻止します。これが金融バブルの「狭い穴」を塞いで、破裂を阻止する方法です。 - PPTは、持っていないものを使い続けることはできません。彼らが「借り入れ」している年金基金は、ほぼ使い果たされています。だから、金と銀を手に入れてください。それは、来たる崩壊で生き残るための必需品を買うでしょう。一方、紙の不換紙幣は、家を暖めるのに役立ちます。

遅かれ早かれ、こうした市場の「修正」ではバブルの崩壊を防げなくなるでしょう。政府やメディアが私たちに信じさせたいように、これは成長と繁栄の創出と呼ばれていますが、それでも金融バブルは爆発寸前です。少なくとも今では、このすべての悲惨さを生み出したのは誰なのか、つまり「信頼されている」銀行機関を持つ政府

であることが広く理解されています。 - 現在、鋭い市場観察者は市場の不安定性が高まっていることに気付いており、PPT の選択肢が尽きつつあることを意味しています。

中央銀行が経済崩壊を引き起こしている：

2008年にFRBが引き起こした経済崩壊以来、世界中の経済問題に対する中央銀行の責任を認識する人が増えている。この反中央銀行感情の高まりは、自由運動の成長の重要な要因の1つであり、中央銀行の正当性に対する最も深刻な挑戦を表している。彼らの全歴史の中で。

この運動により、「連邦準備制度の監査」と他のすべての中央銀行の監査が大きな問題となり、今では法制化がかつてないほど近づいています。連邦準備制度の監査は、拡大する反政府運動の唯一の焦点ではありません。

たとえば、いくつかの国家は、金、銀、その他の貴金属を法定通貨として公式に定義しています。また、貴金属の取引は州のキャピタルゲイン税から免除されるため、金や銀を優先して不換紙幣を拒否した人々が税務署から罰せられることはありません。メキシコは、ペソと並行して銀を貨幣化することを検討しており、これは非常に賢明で興味深い提案です。

「アイデア 銀本位制に戻るのではなく、貨幣化された銀貨となる並行通貨を創設することです。刻印された価値はありません。それは、引用された価値が与えられた単なる銀貨です。この価値は、ペソの価値が下がったり、銀の価格が上がったりすると、上方修正されます。」

銀行業界では表示されている以上にパニックが起きている。

一見すると、欧州中央銀行の量的緩和政策は機能しているように見える。資産価格は上昇している。スペインの不動産市場バブルのよ

うな古いバブルは再び膨張している。しかし、よく見ると、物事は計画通りには進んでいないことがわかる。

ユーロ債は急落した。ユーロは欧州の輸出を押し上げるために弱まるはずだったが、逆にドルに対して反発した。 - 欧州の銀行は赤字に陥っている。格付け会社フィッチが数十のEU銀行の格付けを引き下げるといふ噂が広まっている。 - さらに悪いことに、ギリシヤは債務不履行になるだろうと言っている。IMFかECBがギリシヤの債務不履行を宣言するまでには3か月ほどかかるため、金融危機に備えなければならない。

一方、ECBはこれらの問題を覆い隠そうとしており、QEによる債券購入を加速させる予定だ。

そのため、ヘッジファンドのマネージャーたちは、ECBの執行理事会メンバーであるブノワ・クーレ氏とのロンドンでの夕食会に招待され、市場に影響を与える情報を「先行して」入手することができた。クーレ氏は、ECBの債券購入プログラムを加速させる計画について、情報が公開される前に言及した。一般に公開されました。

ヘッジファンドの投資家たちは、スマートフォンと内部情報を持つ人なら誰でもやるようなことをした。彼らは、世界がこれらの計画を知る前に賭けをしたのだ。 - より正確には、これはインサイダー取引と呼ばれ、実際には違法だ。少なくとも、それが個人によるものであれば、大問題になるだろう。安心してほしいが、これらのルールは中央銀行には適用されない。

通貨システムへの信頼の喪失:

自殺的な信用ベースの通貨システムは腐敗しており、自己破壊的です。社会の負債額を増やすことによるのみ機能します。これは、負債バブルが破裂するまでしか機能しません。

世界はあまりにも急速に変化しており、政府はそれに追いつけない。プログラムや機関は価値のない詐欺だ。さらに悪いことに、それらは自らが表明した目標に反する結果を生み出している。一例を挙げると、医療プログラムは人々を健康にするのではなく、人々を病気にし、製薬業界に依存させるのだ。

防衛産業への支出は人々の安全を増すのではなく、ドローン、不器用な介入、偽旗作戦、暗殺に資金を提供し、さらに多くの敵を生み出します。人々は貧しくなるだけでなく、安全も失われます。

官僚主義、税金、書類手続き、規制の壁が企業にとって非常に困難になっており、雇用創出や真の富の創出につながる新規事業の立ち上げが事実上不可能になっています。

部分準備銀行制度は、そのあらゆる不幸な特性により、現在の構造では世界の金融システムにとって極めて重要なものとなっている。

「信頼」を維持するために、あらゆる手段を講じるだろう。そのためには、どんな犠牲を払ってでもデフレを防がなければならない。そしてそのために、ドル、ポンド、ユーロ、円などの紙幣を増刷し続けるだろう。あらゆるところに、ピラミッド型のレバレッジが構築されている。債務不履行が発生すると、それが連鎖的に広がり、経済全体が破壊されるだろう。

「部分準備金」制度は法律で定められる必要があるため、自由市場では機能せず、結果として紙幣が金などの商品と交換可能な場合には機能しない。紙幣は「法定通貨」、つまり法定通貨によって発行できる紙幣でなければならない。

ここでは現代文明が危機に瀕しているが、主な原因は金融システム全体における極めて持続不可能な慣行である。そして、経済発展に関する政治的ナンセンスをすべて信じ込んでいる楽観主義者たちは、通貨システムに対する信頼も急速に失いつつある。

権力への欲求：

大恐慌後の西洋世界で知られている最大の金融危機の余波の中で、多くの経済学者、CEO、中小企業の経営者、起業家、政治家、そして国民は、2008年の株式市場の崩壊がウォール街のホワイトカラー犯罪者にとって目覚めとなるだろうという誤った希望を抱いていました。

おそらく彼らは自分たちのやり方の誤りに気づき、私たちの社会が健全に機能し続けるための基盤そのものを破壊していることを理解するだろう。ひょっとすると、彼らは自分たちの飽くなき欲望を抑えようとする無駄な試みで破壊している命を垣間見るかもしれない。

『君主論』を読んだことがあるなら、ここで私たちが扱っているのは最も誤りやすい人間の欲望、つまり権力への欲望と、それを手に入れるために何でもする意志、そしてそれを手に入れて維持するための残酷な執拗さだということが分かるだろう。 - 犯罪者であるかどうかにかかわらず、銀行家たちは現在「システム」ですべての権力を握っている者たちだ。

権力は腐敗する。銀行家は権力者だ。彼らは全てを欲しがり、それを守るために全てを危険にさらすこともいとわない。

「金利を引き上げるにせよ、あるいはQE4という非常識な政策で最終的に古い印刷機を再び稼働させるにせよ、景気後退のような状態にあるという考えは受け入れなければならない現実であり、早ければ早いほど良い」

金の強気相場が近づいています：

金は人為的に下方操作されている。そして、株式市場がピークに達しつつあると投資家が不安を募らせているため、次の金の強気相場はすぐそこまで来ているかもしれない。

最終的には、2 つの選択肢があります。

- 金利を引き上げ、打撃を受け、経済をさらに赤字に陥らせる。あるいは、
- 世界の他の国々とともに、再び底辺への競争に加わりましょう。

それらは魅力的な選択肢ではありません。しかし、だからこそ金が存在するのです。

Fed が何をするか、またその結果何が起こるかを正確に予測することは不可能です。しかし、経済、株式市場、ドル、ユーロなどが上昇し続けると盲目的に想定するのは愚かなことです。そんな風にはいきません。市場は一方向に動くわけではありません。ほとんどの企業が値する以上の高い評価をもたらした強気相場が 8 年続いています。米国はドル高が始まって 2 年半になりますが、それが本当に痛手となり始めています。米国経済はバランスを取り戻すのに苦労しています。

何をしたらよいかよくわからないですか？ 金と銀を買ってください。ここ数年よりも安くなっており、今後数年よりもずっと安くなります。

「金は期待通りの動きを見せている。そしてこれは始まりに過ぎない」と、貴金属担当シニアアナリストのジェフ・クラーク氏は語る。世界最大のヘッジファンドのリーダー、レイ・ダリオ氏もおそらく同意するだろう。同氏は最近、「金を所有していない人は、歴史も経済も知らない」と述べた。

金強気派が突如現れている。ユーロ圏の崩壊を恐れるドイツ人は金に殺到している。 - バンク・オブ・アメリカは「現金と金をもっと保有すべき時だ」と語る。

中国はどれだけの金を保有しているのか？ トレーダーたちは本当に知りたいのだ。中国は自国通貨が準備通貨となる根拠を強化するために、密かに大量の金を購入していると多くの人が考えている。

「中国が公式の金保有量を更新するまで、その答えは分からない。もちろん、中国が常に真実を語るわけではない。今日、中国は公式に1,054トンの金を保有していると認めている。しかし、シニア貴金属アナリストのジェフ・クラーク氏は、中国が実際に保有しているのは少なくとも4,000トンだと考えている。ジェフ氏の言うことが正しければ、市場は大いに驚かされるだろう。そして、中国が密かにさらに大量の金を蓄積していたことが判明すれば、「金価格に火がつくかもしれない」。

「その量は1万～1万4千トンの間だと思います。もしそれが本当なら、中国がこれだけの金を購入し、誰かが人為的に価格を下げていることに人々は気づくでしょう。何かが変わらなければなりません…また、中国は侮れない存在だと世界の目が覚めるでしょう。なぜなら、中国は米国が主張するよりも多くの金を保有することになるからです。」

「アリスデア・マクロード氏は中国が2万5000トン以上保有している可能性があると考えており、ビル・ホルター氏は1万トン以上が安全な数字だと考えている。市場崩壊が起きた時、中国は生き残るための唯一の選択肢として、米国債やその他の保有資産の債務不履行によって生じたブラックホールを埋めるために、人民元で金を「再資本化」しなければならないだろう。「**金の所有者がルールを作る**」ので、中国は金の価格を決める能力を持つことになる。

逆に、米国は自国の法定通貨が「良い」ということを示すために、金価格を低く抑えたいと考えていた。金価格が本来あるべき水準よりも高くなると、中国人民銀行は当初、インフレと成長の余地を増

やす力を得ることになる。ドルやその他の西側諸国の通貨については、人民元に対して下方修正され、ドル建てやユーロ建ての金の価格がさらに上昇することになる。

経済全体主義:

欧州委員会がユーロ維持に必死なため、ヨーロッパは世界を経済的全体主義へと導くだろう。ユーロが崩壊すれば、ブリュッセルも崩壊する。EUの何万もの雇用は、ひとえにユーロのおかげである。ブリュッセルは改革しないだろう、とアインシュタインは正しく言った。

「現在の考え方では現在の問題を解決することはできません。現在の問題は現在の考え方の結果です。」

マイナス金利の考え方は、金利を下げると需要が刺激されるというケインズ主義の概念と同じものに従っているだけです。欠けている要素は**信頼**です。

「1%でも稼げると信じていない人は、0%を目指すことはないでしょう。」

政府は「借り手への刺激」という名目で金利を引き下げ続けているが、貯蓄だけでは生活できない退職者を食いつぶし、支出を減らし、年金や退職という概念そのものを破壊している。**信頼の欠如**は新しいビジネスの形成を妨げ、そこに職を見つけられない若者の失われた世代の根源がある。高齢者は働かざるを得ないため、仕事が不足し、若者の失業率が高くなる。

ブリュッセルは、欧州の銀行業に本当の危機が迫っていることを認識している。しかし、この危機は甚大であり、この狂気の悪夢を引き起こしたのと同じ考え方では解決できない。明らかに、現金をなくせば、加盟国が債務不履行に陥った場合に人々が銀行の取り付け騒ぎを起こすのを防ぐことができる。賢いお金持ちは、貴金属、ダ

イヤモンド、希少な美術品、コイン、切手、骨董品、不動産、その他の実物資産を購入することで、できるだけ早く資金をなくそうとしている。これが唯一の解決策だ。現金をなくすと、**資本規制が課され**、国外への資金移動が阻止される可能性が高いからだ。この考え方は、次の伝統的なステップにつながるだろう。

ブリュッセルの独裁官僚たちは、RKMの上官たちではなく、自らの存在のために戦っている。彼らは、難民移民の流入によって急激に高まるであろう市民の不安を煽るだろう。

「地政学的に、オバマは世界をより安全にするために行われたことをすべて台無しにした。彼はロシアに対する制裁でヨーロッパ経済を破綻させ、軍事行動と演習で現在存在するロシアと中国の同盟関係を作った。米国は通常の戦場でロシアを倒せるかもしれないが、同じ条件で中国を倒すことはできない。一方、ヨーロッパ最強の経済国であるドイツは、憲法で大規模な軍事力を持つことを禁じられている。ブリュッセルは現在、自国の権力をさらに強化するためにヨーロッパ軍を結成しようと話している。これはすべて狂気の沙汰だ。」

ブリュッセルは、第31章で説明したように、現金を廃止し、キャッシュレス社会に移行し、ハイパーインフレではなく大規模なデフレの次の段階に進むという動きを先導するでしょう。政府はすべてを管理しようとしており、人々は政府の承認なしに何も買ったり売ったりすることができなくなります。**経済全体主義**は私たちのすぐそばまで迫っています。

EUは崩壊段階にある。

欧州連合（EU）が、世界が同時に現金を廃止しなければ自国だけで現金を廃止することはできないと気づけば、欧州から資金がさらに急速に流出し、ドルは異常な高値に跳ね上がるだろう。

彼らはおそらくキプロスでやったのと同じ筋書きを踏襲し、人々がお金を持って国外に逃げるのを防ぐために通貨規制を課すだろう。EUは資本規制を実施するだろう。EUは西洋文明の崩壊段階にあるが、それはすべて負債とブリュッセルの独裁者たちのせいだ。

紙幣は経済と政治の架け橋です。

税収が予測に届かず、財政赤字が拡大し、財政赤字支出が急増し、負債が積み上がる。そこで紙幣の出番となる。紙幣は戦争資金として役立つだけでなく、政府の税収不足と支出超過の差を埋めるのにも最適だ。

中央銀行はインフレを利用して不良債権を帳消しにしようとしている。それが彼らの唯一の希望だ。彼らはインフレを制御できると信じており、インフレが制御不能になって彼らが築いた通貨制度が破壊されることはないと考えたか、あるいは望んでいる。結局、彼らの考えは間違っていることが証明されるだろう。

例えば「量的緩和」などの行動は、銀行を救い、現在の金融システムを継続するためにインフレ政策をとっている。つまり、世界最大の銀行は、マネーサプライの継続的な操作を通じて救済され続けることになる。これらの政策は、金や銀を含む多くの資産の価値を大幅に上昇させる。インフレは、あらゆる金融の傷を癒す軟膏である。

こうした中央銀行の政策とそれに伴うインフレは、実質賃金の低下と金融収益の大幅な増加により、所得格差の大幅な拡大を引き起こすだろう。こうした政策は、紙幣への信頼の喪失を通じて、最終的には市民社会の深刻な崩壊を引き起こすだろう。これは、過去数十年間に他の数十カ国で起きている。これは、紙幣制度と政府主導の中央銀行の必然的な結果である。



「経済の中心的な真実は希少性です。すべての人を満足させるほど十分なものなどありません。政治の中心的な真実はパトロネージです。すべての人にすべてを与えると約束することです。紙幣は経済と政治をつなぐ架け橋です。」

西側諸国の世代全体の未払いの負債は、まもなく返済期限を迎えます。いわゆる「ベビーブーマー」は、マルクス主義とケインズ経済学が支配する世界で育ちました。これらは誤った考えです。失敗する運命にあります。

不換紙幣は自由市場の機能をひっくり返します。

不換紙幣は、発行政府が強制できる範囲を超えて、固有の価値を持たない紙幣です。不換紙幣が通貨として独占されると、必然的に紙幣の自由市場機能がひっくり返ってしまいます。価値の保存手段となる代わりに、通貨は量的緩和などの金融政策を通じて略奪の対象となります。通貨は交換手段として社会に潤いを与える代わりに、社会統制の強力なツールとして機能します。二次被害はインフレほど頻繁には議論されませんが、壊滅的です。私たちが**公民権として知っている個人の自由は**、健全な通貨にかかっています。

連邦準備制度理事会は、実際には、より多くの資源、より多くの実質資本、より多くのスキル、より多くの雇用、より多くの生産を生み出すことはできない。連邦準備制度理事会ができるのは、より多くの紙幣を発行して「友人」に渡すことだけであり、それによって他のすべての人が保有するお金の価値を下げている。

これにより、賃金の実質価値と輸出品の実質価格は必然的に低下します。

一生働いて、たとえば 100 万ドルの資産があるとします。すると、FRB はあっという間に 400 億ドル以上の紙幣を刷ります。これ

でシステム全体への信頼が損なわれます。突然、人々は自分の価値がわからなくなってしまう。一生懸命働いて 100 万ドルを貯めて銀行の普通預金口座に預けた貯金家は、銀行株に投機していた銀行員が自分の 2 倍の資産を持っていることに気づきます。彼は次に何が起こるのかと不思議に思います。ニューヨーク タイムズ紙は「**市場が上昇する中、銀行幹部が利益を得る**」という見出しを付け、次のように説明しています。

「FRBは銀行を救済した。そのため、銀行幹部は当時低水準だった株式を買い集めた。」ニューヨークタイムズ紙の報道によると、「上場している18の金融機関の上位5人の銀行幹部は、それぞれ1億4200万ドル相当の株式を手に入れた。」彼らはそれぞれの会社を破綻寸前に追い込んだにもかかわらず、報酬を1セントも減らさなかった。彼らは単に、受け取るべき現金ボーナスを、大恐慌時代の低水準で評価されたストックオプションに切り替えたただけだった。「4年後の今日、それらの株式は4億5700万ドルの価値がある。素晴らしい利益だ。FRBがお金をくれると、こんなに幸運になれるなんて驚きだ！」

それとも、不正行為と表現した方が良いでしょうか？ これは、連銀が金融システムを操作したときに起こることです。お金（稼いだお金ではなく、創造されたお金）が自由に手に入れられます。そして、誰が一番多く手に入れるのでしょうか？ 源泉に最も近い人々、つまり内部関係者です。中央銀行がより多くのお金を分配すればするほど、内部関係者が得るものも多くなります。つまり、金持ちはより金持ちになるのです。

「中央銀行は銀行に低金利の資金を供給し、その低金利の資金が資産価格を人為的に高騰させ、その資産に関係するすべての人を裕福にした。我々が投機家国家になったので、そ

これらの富は他のすべての人の犠牲の上に蓄積され、他のすべての人が今や何が起こったかを理解し、当然ながら激怒している。」

正直な銀行家はより良い銀行につながるのでしょうか？

誰もが銀行家を嫌っています。それにはちゃんとした理由があります。銀行家は不正行為をするからです。銀行家は中央銀行の愚かな紙幣印刷から最も利益を得る内部者です。

もし銀行家たちが、オプションやボーナスではなく、当然の報酬を受け取っていたら、破産していたでしょう。そのとき、私たちは彼らの本当の価値に気づいたでしょう。彼らはおそらく破片を拾い集めて、新しくより良い金融会社を作ったでしょう。そして今日、私たちはより賢明で、より誠実な銀行家たちと、より良い銀行を持つでしょう。また、より誠実な金融システムも持つでしょう。

あるフランスの起業家はこう言いました。

「問題は、支配階級、つまりフランス大統領とその仲間たちが、国家を機能させる本当の意味をまったく理解していないことだ。彼らは民間部門で働いたことがない。予算を均衡させたり、従業員に給料を払ったりしたこともない。彼らにとって、すべては理論とイデオロギーだ。彼らは現実世界から隔離された生活を送り、政府か政治組織から資金を得ている。経済がどのように機能するかをまったく理解していないのも無理はない。」

紙幣を使用した政府はいずれも、致命的なレベルの借金に陥っています。紙幣制度は、こうした負債を再編するのではなく、通貨基盤の急速な拡大を可能にし、価値が下がった通貨で負債を返済しやすくしています。

ジャンク債スプレッドは過去最低水準に迫る

もちろん、中央銀行による操作は株式、金、銀だけにとどまらない。世界の債券市場もかつてないほど歪められている。中央銀行は数兆ドル相当の国債や社債を購入している。これにより世界の金利は前代未聞の低水準にまで押し下げられ、多くの場合はゼロを下回る水準にまで落ち込み、企業も消費者も記録的な額の借金を膨れ上がることになった。

この操作が最も顕著に表れているのは、高利回りのジャンク債市場だ。ジャンク債のスプレッド（リスクの高い債券を保有することで投資家が得るプレミアム、米国債のようなリスクのない国債との比較）は、長い間、記録的な低水準で推移している。しかし、現在達成されている新たな記録は、欧州中央銀行の継続的な債券購入プログラムの結果であり、ジャンク債の利回りは継続的に低下している。そして最近、史上初めて、欧州の高利回り債券の大部分が米国債と同じ利回りとなっている。

はい、その通りです。現在、投資家はリスクの高い欧州の社債を保有しても、世界で最も安全な国債を保有するのと同程度の利益しか得られません。これは衝撃的なことのように思われるかもしれませんが、全体像を見ると現実にはさらに悪いのです。この債務の半分以上、実のところ 60% は、現在の米国債よりも利回りが低いのです。これでは良い結果にはならないでしょう。

これらはすべて、苦勞して稼いだお金を盗むのと何ら変わりません。しかし、それが毎回起こっており、大規模な危機を引き起こし、最終的には社会規範の崩壊につながります。

紙幣の海:

世界経済は今や紙幣の海に浮かんでいる。欧州の銀行と政府の財政的運命を解き明かすことは不可能である。なぜなら、銀行は政府の財政赤字の主な資金源だからである。政府債務は、ほとんどのユーロ圏の銀行の資産基盤の大きな部分を占めている。したがって、あ

る銀行の破綻は、別の銀行の破綻の脅威となる。ユーロ圏の指導者たちは、500億ユーロのギリシャの債務問題から、欧州連合の実質債務危機である1兆ユーロへと多岐にわたる問題へと変えてしまった。

中心となるのは、この相互作用により、欧州最大の銀行が「大きすぎて潰せない」TBTF となり、回復不能になったことである。ユーロ圏の政府は、この金融危機を解決するために銀行に巨額の資本注入や保証を提供することはできない。しかし、ユーロ圏の政府債務水準と欧州の銀行の相対的な規模を考えると、欧州最大の銀行は今や救済できないほど大きすぎるというのが真実である。

しかし、EUの指導者たちは、経済に紙幣を追加し、ECBにギリシャ、イタリア、スペインなどの国債を購入させることで危機を解決できると考えている。これは人気の解決策だ。さらに、中央銀行の管理下にある紙幣は、現代の経済に優れた柔軟性と回復力があるという幻想を与える。金本位制の厳格さがなければ、銀行の不良債権は簡単に隠蔽され、悪化してしまう。

政府が紙幣を増刷すると、国民は資産価格に執着するようになり、実際には貧しくなる一方で、より裕福になっているという幻想にとらわれるようになる。紙幣がどんどん増えるにつれ、1枚あたりの購買力は低下し、価値ある製品の生産者は、最終的に自社の製品やサービスと引き換えにより多くの紙幣を要求するようになる。

では、紙幣制度の長期的なコストとは何でしょうか？ 富の規模が絶えず変化する中で、どうすれば経済は健全かつ持続可能な形で発展できるのでしょうか？

一般的な考えとは反対に、紙幣は富ではありません。紙幣は富に対する**権利**です。パン、トウモロコシ、ガソリン、サービス、車など、物と交換できる範囲でのみ価値があります。

投資家は、世界におけるポピュリスト政治運動の現在の勢いがさらに強まると予想すべきだ。これはドル、ユーロ、円などにとってはマイナスで、長期債や株式市場にとってはマイナスだが、金や銀にとってはプラスとなる。

一方、この通貨実験がどのように終わるかは明らかであるはずだ。ワイマール共和国時代にドイツ、アルゼンチン、ベネズエラ、ジンバブエで何が起こったかを見ればわかる。我々は避けられないハイパーインフレに直面しているのだ。

金の価格は最終的に現在の 1 オンスあたり 1,300 ドルから 10,000 ドルに上昇するでしょうか？ ほぼ間違いなく上昇し、ハイパーインフレが始まればさらに高くなるでしょう。

金は、この紙幣制度から次の制度へと移行する過程において、堅固な架け橋となるでしょう。信仰に基づく通貨制度は崩壊しつつあります。金はそれに伴って崩壊することはありません。

真剣な費用対効果分析が必要です。

紙幣をさらに印刷するという決定を下す前に、EU指導部の決定が、起こり得る結果についての真剣な費用対効果分析に基づいて行われた方が、より理にかなっているだろう。

最終的な決定は、この分析に基づいて、最終的な決定のための最善の選択肢を選ぶ必要があります。短期的な影響よりも、長期的な影響に重点を置く必要があります。すでに、短期的な痛みを和らげるためにあまりにも多くの決定が下され、その結果、金融危機を防ぐために解決すべき問題がますます大きくなっています。

ギリシャが6年以上前に破産していれば、ギリシャとEUはもっと良い状況になっていただろう。

紙幣を印刷すると、実際に銀行が破産した場合よりもはるかに悪い結果を招くことになる。なぜ単純に破産、銀行業務の分離、再編、負債の減額を受け入れないのか？短期的な痛みはあっても、これが長期的には最善の解決策だっただろう。

恐ろしい嘘と大規模な歪曲：

主流メディアは嘘つき連中だ。事実を歪曲するだけでなく、現実をひっくり返して裏返しにする。イスラエルの戦争犯罪を否定する。

パレスチナ人。彼らはパレスチナの子供たちの死をハマスのせいにする一方で、モサドがイスラム国（IS）を支援していることには触れていない。イスラエルのメディアによると



、
イスラエルの若者3人の死の背後に、この悲劇的な事件があった。忘れてはならないのは、ネタニヤフ政権がこの悲劇的な事件を口実にガザへの攻撃を開始したということだ。

人々は、過去数十年間に目撃された出来事の後ではなおさら、捏造された「証拠」に警戒すべきである。イラクが大量破壊兵器（WMD）を保有しているという無謀な主張に伴う恐ろしい嘘と大規模な歪曲は、2003年のイラク侵攻と100万人以上の死に繋がったが、まだ忘れ去られていないことを願う。一方、イラクは出血を続けている。[1分半の報告はこちらをご覧ください。](#) ウェズリー・クラーク米陸軍大将（退役）より。

1964年のトンキン湾事件を思い出してください。これもまた捏造であり、ベトナムに対する米国の侵略に道を拓き、300万人以上のベトナム人の死をもたらしました。

1990年にクウェートで起きた「保育器の中の赤ちゃん」事件は、またしても捏造された嘘であり、国民の怒りをかき立て、砂漠の嵐作戦と呼ばれる米国による最初のイラク攻撃の正当化の材料となった。1%の富裕化。[ブッシュ家の富裕化については、こちらをご覧ください。](#)

その後、シリアのアサド政権が自国民に対するサリンガス攻撃の責任を負わされたが、その後の調査で、それはCIAが支援する過激な反政府勢力による犯行であることが明らかになった。

地球温暖化や気候変動は、人々を怖がらせるための偽りの架空の災害であり、「環境保護」のために地球規模の二酸化炭素税を課すためだけのものです。これらはすべて、エリートたちの邪悪な目的にかなう嘘、作り話にすぎません。

ニューオーリンズのハリケーン・カトリーナ、ニュージャージー州のハリケーン・サンディ、日本の原子力災害を引き起こした福島の地震と津波、ニューヨークのDTCC (Depository Trust & Clearing Corporation) の洪水など、ほんの数例を挙げただけでも、これらは気象によって引き起こされた甚大な被害と損害を引き起こし、さらに重要なことに、DTCCの不遵守の口実を作り出した。

気象改変と電磁戦のために開発された秘密兵器、[HAARP](#)によって開始されました。

偽旗作戦:

歴史は第一次世界大戦と第二次世界大戦が偽旗戦争であったことを示している。真珠湾攻撃も日本が始めたものではなく、第二次世界大戦の初めに日本を攻撃する目的で米国自身が扇動した内部犯行だった。そしてその後、忘れてはならないのが、広島と長崎の原爆投下である。この原爆は両市をほぼ完全に破壊し、300万人以上の人々を殺した。これらの原爆は、日本がすでに敗北を認めていたため

、米国の優位性を世界に示すために投下されたただけだった。[続きを読む](#) [すべてについてもっと詳しく](#) [偽旗作戦による戦争](#)。

真珠湾攻撃からトンキン、シリアのグータでの化学攻撃に至るまで、あらゆる計画の母である「アジェンダ2030」のような、事前に計画された邪悪な計画を正当化するための証拠の捏造に関しては、識別可能なパターンがあります。

計画された邪悪な出来事が起こるとすぐに、適切な調査が始まる前に、犯罪行為が隠蔽されカモフラージュされたままの真犯人から故意に注意をそらすために、標的となった当事者に責任が課せられます。

1969年の月面着陸さえも偽物だった、とアームストロングは1969年7月20日に「人類初」の異星人となった際に「地球に無線で伝えた」という有名な言葉を残している。

「これは人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍だ。」

これらはすべてハリウッドのスタジオで行われたもので、本物のムーンウォークではありません。これもまた明らかな嘘です。血統家族は、人々が[月についての本当の事実を知ることを許しません](#)。

事故が起こるたびに、共謀するメディアは「正しい」新聞は、記者やコラムニストの力を借りて、フィクションから「事実」をでっち上げることで、主流のストーリーを作り上げます。特定の出来事に関する他の説明や解釈は、主流のストーリーの「信頼性」が損なわれないように、信用を失わせ、軽蔑的に退けられます。ストーリーが展開するにつれ、特定の人物に具現化されることが多い標的は、大衆の怒りをかき立て、恨みの対象になるほどに悪者にされていきます。

ここで説明したパターンは、恥ずべき行為の責任を意図的に敵に転嫁する、いわゆる「偽旗作戦」の典型です。これは歴史を通じて起こっており、現代の多くの国民国家が偽旗作戦の罪を犯しています。

人々があからさまな誤情報を継続的に与えられ、秩序を維持しようとする当局の無駄な試みで戦略的に操作され、偽りの楽観主義が生み出されているのは残念なことです。<http://pledgeforamerica.com/2.html>

「1950年代初頭に共産主義を広めたソ連と中国の二重の脅威から始まり、今世紀にはテロを広めるアルカイダの敵が捏造され、そして今度はロシアと中国の拡張主義的欲求を阻止するために冷戦のミームを再び活性化させ、米国の指定された敵を欺瞞的に非難する偽旗作戦を絶えず使用して、米国は攻撃的な介入政策を正当化するのに忙しくしている。世界中で、そして歴史を通じて。」

MH-17 - 真実がすべて明らかになるまで休むな。

MH17便の惨劇の直後、誰がこの恐ろしい空の悲劇から利益を得ようとしているのかが明らかになった。クリミアがロシア連邦への加盟を決議した後、キエフを含む西側諸国の首都からロシアのウラジミール・プーチン大統領の悪者扱いが画策されたのだ。NATOの東方拡大の主要な戦略目標の一つを阻むこの決定は、頂点に達した。

MH17便の惨事により、たとえ何の証拠もなくとも、プーチン大統領が「大量殺人者」であることを人々に納得させることがずっと容易になった。プーチン大統領のイメージを汚すことは、ロシアの政治的再主張を抑制し、米国とEUが妨害されることなく世界支配を継続できるようにしたい西側諸国にとって決定的だった。**それはすべて、調査なしの非難に基づいており、アルバート・アインシュタインがかつて定式化したように、無知の極みである。**

MH17 これはまた別の意味でワシントンのエリート層を助けた。クリミアの投票後に始まったロシアに対するより厳しい制裁を求める動きを強めたのだ。ドイツ、フランス、オランダ、イタリアなど多くのヨーロッパ諸国はロシアとの広範な経済的つながりを考慮して、制裁の拡大と強化にいくぶん消極的だったが、米国からの圧力を受けて、EUの陰謀団はさらなる厳しい制裁を課した。

ヨーロッパの人々はMH17便の大量殺戮に激怒し、自国政府にモスクワを処罰するよう要求したが、これは人々の自由をさらに制限するために常に使われてきた典型的なPRS（問題-反応-解決）ストーリーである。

ロシアと親ロシア派反政府勢力を処罰しようとした人々、つまりワシントンとキエフのエリート層が、MH17事件から最も利益を得ようとしていたことは明らかだ。つまり、彼らはおそらくこの虐殺に関与していたということだ。真に独立した公平な国際調査だけが答えを出せるだろう。しかし、9/11のツインタワー爆破事件の後に選ばれた調査員グループが望ましい結論を出したのと同じように、それに期待してはいけない。真実がすべて明らかになり、この2つの巨大なマレーシア航空惨事の背後にある悪がすべての人の目に触れるまで、人々は休むべきではない。

ドイツは最終的にNATO、EU、ユーロから離脱することになるだろうが、これはすでに決定されている可能性が高い。これらの計画の実施は非常に複雑で、莫大な経済的損失が生じることになる。ドイツには商業と政治および銀行という2つの対立する流れがある。最終的にドイツは米国に負けをもたらすことになるだろう。忘れてはならないのは、米国連銀による最近のドイツの金の盗難だ。

国民はこうした病的な嘘をすべて理解できるはずだが、大衆の大半は政府の金で買収され、彼らが所属する「特別なグループ」が彼らに高い地位を与えているため、彼らは自分たちが全体主義を支持していることを認めようとしな。完全に消えたマレーシア航空370

便を覚えていますか?! その報道は完全に沈黙させられてきた。[この飛行機が爆破された本当の理由はここにある。](#) [空の](#) - 血統家族を豊かにするため。

学習性無力感:

なぜ世界中の人々は自ら立ち上がろうとしないのか?なぜ彼らはただ黙って座り込み、泣き言も言わず虐殺に巻き込まれるのを許しているのか?

その答えは、マーティン・セリグマンが発見した「学習性無力感」という心理学的概念にあります。学習性無力感は、動物が逃げることでできない嫌悪刺激に繰り返しさらされたときに生じます。最終的に、動物は刺激を避けようとしなくなり、状況を変えるには全く無力であるかのように行動します。逃げる機会が与えられても、この学習性無力感はいかなる行動も妨げます。

その結果、世界は収穫逡減の段階に達し、だんだん意味を失っていく偽造された数字や統計に隠されています。しかし、これらの数字は現実を偽装し、歪曲し、操作し、悲惨な結果をもたらします。経済における数字から得られる利益は、どの時点で迷惑なものになるのでしょうか。

小数点またはギリシャ記号が適用されるとすぐに。

経済学では数字が正確になればなるほど、嘘は大きくなる。

製造経済:

経済学者にとって、数字は天からの贈り物です。彼らは数字をねじ曲げ、てこで上げたり下げたりするために使います。これらの数字は大衆を欺くために使われます。数字はナンセンスを真実に変えるのに役立ちます。数字は正確で科学的で正確なように見えます。それに比べて、言葉は乱雑で曖昧で、誤解されやすいです。したがっ

て、現代の経済学者が使用する数字は、常にではないにしても、ほとんどが詐欺です。

ビル・ボナーの著書「ホルメゲドン」*から抜粋した、簡潔で簡略化された説明を次に示します。スウェーデンのメーラルダーレン大学のキモ・エリクソン教授は、次のように説明しています。

「数学は研究論文をしっかりとしたものに見えますが、本当の科学は数学にあるのではなく、世界の本当の仕組みを理解するために全力を尽くすことにあります。」

彼は、複雑な数学が研究論文にどのような影響を与えるかを調べようと決めました。そこで、さまざまな分野の大学院学位を持つ 200 人に、研究論文の要約を 2 つ渡しました。要約の 1 つには、議論されている問題とはまったく関係のない、無関係の論文から引用した数式が含まれていました。それでも、参加者は、その不条理な数学が書かれた要約を最も印象的だと評価しました。当然のことながら、数学や科学の訓練を受けていない人ほど、その数学を印象的だと感じる傾向が強かったのです。

ケインズや計量経済学以前の古典派経済学者は辛抱強い傍観者だったが、現代のケインズ以降の経済学者はせっかちだ。事実を分析する忍耐力がない。その代わりに、すぐに数字を提示する。

何かを改善する場合、それを測定できなければなりません。そうでなければ、改善があったことをどうやって知るのでしょいか。しかし、それがまさに問題なのです。改善をどのように測定するのでしょうか。何か「より良くなった」ことをどうやって知るのでしょいか。知ることはできません。「より良くなった」というのは品質の特徴です。それは感じるすることができます。感知することができます。評価することも無視することもできます。しかし、実際に測定することはできません。

測定できるのは量です。そしてそのためには数字が必要です。しかし経済学者が使用する基本的な数字を注意深く見ると、怪しいように見えます。したがって、それらはまったくの詐欺であると認識する必要があります。これらの数字は意味があると主張しています。それらは具体的かつ正確であると主張しています。それらは、物事をより良くするふりをする重大な決定と広範囲にわたる政策の基礎です。

基本的な数字は 0 から 9 までの 10 個だけです。残りは派生数または集合数です。これらの数字は役に立ちます。一般の人々の手に渡れば、何か意味を持ちます。「リンゴ 3 個」と「リンゴ 5 個」は異なります。

科学者や技術者にとって、数字は必要不可欠です。正確な計算により、彼らは火星に宇宙船を送ることができます。しかし、ある職業にとっては便利なツールが、別の職業にとっては危険なものになることもあります。

美容師に747の操縦席を任せ、パイロットに髪を切らせたら、トラブルを招くことになるだろう。同様に、経済学者が数字に凝りすぎると、結果は悲惨なものになる可能性がある。

国民生活が、彼らが非常に信頼している当局の意識的なコントロールから外れているという考えに耐えられる人は多くありません。人々は悪いことが起こることを好みません。彼らは「正しい考え方」の専門家が、運命が彼らに用意しているよりも良い結果をもたらすために何かをする能力があると信じているのです。彼らは敵を殺し、勝利をもたらすリーダーを望んでいます。彼らは役人が他人のお金で完全雇用を実現し、すべての責任から解放されることを望んでいます。彼らはすべてを実現できる誰かが運転席に座ることを望んでいます。

歴史は意図的に、同じ過ちを何度も繰り返し、世界統治のための「新世界秩序」への道で国民が政府にますます依存するようにしてきた記録を持っている。もし我々国民が今それを阻止しなければ、それは社会の次の段階となるだろう。

これは陰謀論者の頭の中で作られた概念ではなく、他者を支配しようとする人々の頭の中で作られた概念です。彼らは、個人の自由と自己決定を犠牲にして、すべての男性、女性、子供の運命を決定する資格が自分たちにあると自称する権力エリートです。

数十億人の人々の生活をどうやってコントロールするのでしょうか？

少数の人間が何十億もの人々の生活をコントロールすることがなぜそれほど容易なのかを理解するには、彼らがいわゆる社会的必需品である施し物や補助金を通じて、すべての人を政府に依存させているということをあえて認めなければなりません。

人々は無知になるように操作されているだけではない。彼らは自らを奴隷化へと追い込んでいるのだ。これは反射による無知であり、何が可能で何を信じるべきかという認識を監視することで、人間の信念体系と行動パターンを制御するための基本的な手段である。情報が抑圧され、裏付けとなる証拠や背景が隠されると、人々の視野は歪められる。この無知の状態では、人々は権力エリートが望むように操作される可能性がある。

血統家族は人口の 90% を削減したいと考えています。彼らがこれをどのように達成するかをよりよく理解するには、たとえば食物連鎖について考え、第 42 章で食物連鎖がどのように操作されるかを読んでください。遺伝子組み換え生物（GMO）は食物連鎖に導入され、どのような見解を持っていても、主流になっています。

科学文献で徹底的に実証されているように、これらの比較的新しい生物学的創造物は、環境と人間の健康の両方に大混乱を引き起こしています。

小規模農家は、生物学的で責任ある方法で、世界人口全体を養うことは容易であり、健康状態の改善にも貢献するだろう。しかし、小規模農家は現在、世界の農地の4分の1未満に押し込められており、土地が大規模農業企業と富裕層や権力者の手に集中することで、世界は急速に農場と農家を失っている。この傾向を逆転させるために何もしなければ、世界は自給自足の能力を失うことになるだろう。[ここに7つの具体的な例](#)。

核戦争で人類が絶滅しないとしても、エボラウイルスが絶滅させるかもしれないとポールは言う
クレイグ・ロバーツ

「ワシントンはロシアが二度もワシントンの戦争意図と、米国傀儡国家であるイギリス議会在ロシア側に投票したこと。ワシントンはまた、ワシントンの傀儡EU諸国とロシアの経済的、政治的関係の拡大を懸念している。EU諸国、特にドイツはロシアと数多くの有益な経済的つながりを持っており、ヨーロッパ全土はロシアの供給するエネルギーに依存している。ワシントンは、ヨーロッパに対する支配力を失う危険があると結論付けた。」

マレーシア航空機に関するワシントンの嘘で破滅する覚悟はできていますか？私はワシントンがMH-17の破壊の背後にいと確信しています。なぜならワシントンのプロパガンダショーはすでに準備されており、即座に嘘を事実として提供していたからです。

ワシントンに責任があるからこそ、同国は航空機が破壊された瞬間のその地域の衛星写真を公開しないのだ。ワシントンに責任があるからこそ、ロシアの確固たる証拠に嘘とプロパガンダで応じるのだ

。あなたは嘘のために死にたいのか？ワシントンの他の嘘のために？そうでないなら、ワシントンに知らせたほうがいい。

ロシア政府は、ヨーロッパと2つの疑問を交わす必要がある。1つは、ヨーロッパはロシアからのエネルギー供給を断ち切りたいのか、ワシントンは嘘をつきながらも、3年以上はエネルギーを補充できないのか、まったく補充できないのか。2つ目は、ヨーロッパはロシアとの戦争を望んでいるのか、そしてワシントンのミサイルを配備している愚かな国々が核攻撃を受けて絶滅することはないと思っているのか、ということだ。

西側諸国の人々は、自分たちの狂った政府が自分たちをどのような運命に導いているのか全くわかっていない。ロシアは、洗脳された西側諸国の人々に対し、ロシアは西側の傀儡国家になるつもりはなく、ホワイトハウスの愚か者たちからの不当な攻撃を受け入れるつもりもないということを明確にする必要がある。

中国もこれを明確にすれば、地球上の生命を救うのに役立つだろう。早ければ早いほど良い。世界がワシントンの狂った犯罪者を抑制しない限り、世界は自ら死刑執行令状に署名したことになる。」[続きを読む](#)。

真実は、銀行があなたの銀行口座からお金を盗んでいるということです。

金融プライバシーは自由への鍵です。預金や銀行口座を安全に保護すると信頼されていた銀行は、お金を保管する最もリスクの高い場所になっています。まずキプロス、その後EU全体が対策を講じました。銀行が破綻した場合、銀行口座は「ベイリン」を支援する責任を負いますが、これは暗黙のうちに受け入れられています。さらに、銀行口座に課税するための新しい政治構造が導入され、他のすべての税金に飢えた福祉国家がすぐにそれを模倣しました。



現代の多くの税金と同様、銀行口座へのこの税金は、個人顧客への税金ではなく、銀行への税金として広められています。しかし、そのコストは、口座手数料の上昇や利息の減少という形で預金者に転嫁されます。

銀行預金への課税は、当初から毎年約 5 億ドルの増収が見込まれており、将来の金融危機で銀行が破綻するのを防ぐための「金融安定化基金」に使われるとされています。これほど多くの人々が、よりスマートで安全で確実な方法でお金を保管するようになるとは、不思議ではありません。

国民に真実が伝えられたのはいつ以来でしょうか？ 取引所や銀行口座には十分注意してください。

ユーロの価値：

ECB が紙幣を印刷すればするほど、ユーロの価値は下落する。残念ながら、ECB は QE をやめることはできない。米国と同様、欧州経済は金融緩和に依存している。ロイターは次のように報じている。

「市場を金融緩和政策から離脱させることはECBにとって繊細な作業となるだろう。インフレ率が2%に向けて確実に軌道に乗るまで、ECBは刺激策を解除しないだろうと我々は考えている」

PIMCOのマネージングディレクター兼ポートフォリオマネージャーであるアンドリュー・ボサムワース氏はこう指摘した。

つまり、ECBは窮地に追い込まれている。QE政策からの脱却はますます困難になっており、その結果は悲惨なものとなる可能性がある。

これは、EU が自らの死に向かって進んでいることを意味しています。せいぜい、次から次へと危機に直面しながら、ゆっくりと歩み

を進める程度でしょう。この状態がいつまで続くか予測するのは難しいですが、いつまでも続くはずはありません。各国政府はさらに負債を積み上げ、ある日、EU の砂上の楼閣は崩壊するでしょう。

ユーロがいつ崩壊するかを予測することは不可能です。しかし、ほとんどの人が考えるよりも早く崩壊する可能性があります。 - ダグ・ケイシーはその理由を次のように説明しました。

これは終わりの始まりだ。避けられないことが今や差し迫ったものとなった。英国はおそらく、欧州連合加盟国の中で最も異質な文化を常に持っていた。彼らは不本意ながら遅れて加盟し、ポンドを失ってユーロになることを真剣に考えたことはなかった。

そして、EU からの離脱を希望する国は他にもあります。次に離脱するのは、オランダ、フランス、ドイツ、イタリアのいずれか、または複数国かもしれません。現時点では、イタリアの銀行はすべて完全に破産しており、フランスとドイツの銀行も同様です。

今のところ、EU の経済の将来は今後の選挙に大きく左右されます。選挙のたびにユーロと EU の将来が脅かされる一方で、GDP は現在の水準で低迷し続けるでしょう。これが、EU のすべての選挙が、陰謀団の傀儡が勝つように操作される理由です。

誰が状況を改善するのでしょうか？ 残りの欧州連合諸国が数千億ユーロを拠出して、これらの銀行の平均的な預金者の生活を再び良くしてくれるのでしょうか？ 期待してはいけません。これらの国々がユーロを廃止して EU を離脱する可能性が高いのです。

これらの国のうち 1 か国以上が EU を離脱した場合、その影響は Brexit のときよりもずっと深刻になる可能性があります。英国とは異なり、上記の国はすべてユーロを使用しています。これらの国のうちの 1 か国が離脱すると、他の EU 加盟国もそれに追随して EU を離脱する道が開かれる可能性があります。人々は目覚めつつ

あり、第 37 章で説明されているように、EU は世界の監獄にすぎないことを理解しています。

これは、どこに住んでいるかに関係なく、人々が準備する必要があることです。まず最初にすべきことは、金と銀の現物を所有することです。ユーロが暴落し始めると、ヨーロッパの人々は安全な避難先を求めるでしょう。これらの人々の多くは、銀行以外の金や銀に資金を預けたいと思うでしょう。これにより、貴金属の価格が急騰します。Brexit後のイギリスの金の動きを見てください。

ヨーロッパの銀行が次に世界的懸念となる：

2年間の沈黙の後、ユーロ危機は再び軌道に乗ったが、今回はさらに規模が大きい。ユーロ離脱を模索する国は増え、フランスとイタリアがギリシャとポルトガルに続き、離脱候補国となった。投資家は、昨年ドナルド・トランプ米大統領の予想外の勝利と英国のEU離脱を受けて、再び予測が間違っているのではないかと懸念している。マリーヌ・ル・ペン氏のフランス大統領選勝利は、操作のせいで可能性は低いかもしれないが、彼女の圧倒的な支持者の存在を無視してはならない。

オランダ議会の過半数は、政府の最高諮問機関に単一通貨が機能するかどうかを「調査」するよう「要請」することに賛成票を投じた。欧州の銀行は、システムを維持するために数兆ユーロの紙幣を印刷してきたが、リスク加重資産に基づいてのみ制限されている。

報告によると、投資家の4人に1人がユーロ崩壊が迫っていると考えている。

「欧州の銀行の『資産』は各国のGDPの約330%に上るが、米国の銀行資産は約50%だ。」

レバレッジが大きくなると、安定性は低下します。

平均して、欧州の銀行は30倍のレバレッジを利用している。つまり、帳簿上の1ユーロにつき30ユーロを貸し出しているということであり、融資で3.3%の損失が出れば、資本がすべて消えてしまうことになる。米国の大手銀行は「大きすぎて潰せない」ため、納税者のお金で救済されたが、欧州では状況が異なる。

英国の規制当局は、通常 20:1 のレバレッジを許可していました。現在は約 40:1 です。英国の銀行の資産は英国の GDP の約 5 倍ですが、米国の GDP に対する資産比率はわずか 2 倍です。

簡単に説明すると、英国には国内の年間総生産の5倍の銀行資産がある。住宅バブルもある。英国には対処しなければならない救済措置があり、その規模は巨大で、今後さらに拡大する可能性がある。しかし、少なくとも英国には問題の解決に取り組める中央銀行と政府がある。

保存するには大きすぎる：

EUでは話は別だ。欧州中央銀行は、米国のFRBのように個々の銀行を救済するために介入することは今のところ認められていない。さらに、なぜスペインの銀行を救済し、オーストリアの銀行を救済しないという選択がなされるのか、それは大きなジレンマとなるだろう。

オーストリアとスイスの銀行は東ヨーロッパに多額の融資を行っており、

ユーロやスイスフランの通貨が下落し、3%をはるかに超える大きな損失を被り、資本が消失することになる一方、オーストリアの銀行資産はGDPの4倍に上る。この状況はイタリア、スペイン、ギリシャ、スウェーデン、アイルランドでも同様である。これらの国はいずれも比較的小規模ではあるものの、救済できないほど大きな銀行を抱えている。

ユーロ圏の銀行のこうした莫大な信用問題は、新興市場とスペインの巨大な住宅バブルに起因しており、これらの差し迫った大惨事が重なって深刻な世界的リスクを引き起こし、さらに悪い事態を招くことになりかねません。この崩壊については、第 38 章で詳しく説明します。

動向を大局的に見ると、米国の銀行資産は米国のGDPの2倍に過ぎないが、スイスとアイルランドは7倍以上、英国は5倍以上、ユーロ圏全体では4倍となっている。

銀行の損失：

EU の銀行はすでに米国のサブプライム関連問題による損失で苦しんでいる。それに加えて、今度は自らの貸付ポートフォリオからのさらに深刻な損失に対処しなければならない。損失がポートフォリオの 5% に過ぎなかったとしても（楽観的な仮定だが）、それはユーロ圏の GDP の 20% に相当する。しかし、各国は自国の銀行に対して責任がある。ドイツは自国の問題に対処できると考えられているが、スウェーデン、オーストリア、イタリア、スペインなどの見通しは楽観的とは程遠い。イタリア、ポルトガル、スペイン、ギリシャ、アイルランドは完全に破産しており、債務を現金化する中央銀行がないため、巨額の赤字を蓄積し続けている。たとえば、アイルランドの 5% の貸付損失は GDP の 40% に相当する。

数兆ドルが必要です：

上記のユーロ圏諸国には5兆ユーロ相当の資金が必要であり、米国には2兆ドルが必要です。ヨーロッパはどこから5兆ユーロを調達するのでしょうか？

今や迫りつつあるこの欧州の銀行危機は、サブプライムローンよりもさらに深刻な結果をもたらす可能性がある。

世界は、これまでの成長と発展の多くを可能にしてきた融資の多くを欧州の銀行に依存している。米国の銀行と同様に、欧州の銀行も融資ポートフォリオの縮小、いわゆるデレバレッジを進めようとしているが、これは決して楽しいことではないだろう。

誰がコントロールしているのか？

簡単に言えば、**銀行家が政府をコントロールしている**。国民から徴収した税金は、民間の連邦準備銀行とそれぞれの中央銀行に直接送られる。実際の仕組みは次の通りである。中央銀行は政府に資金を貸し出す。政府に資金を供給し、債務を購入します。



これらの中央銀行は実際にはお金を持っていないため、必要なときにお金を印刷するだけです。印刷されたお金は、裏付けがないため何の価値もありません。「金本位制」に基づく**金で裏付けられたお金だけが**、通貨の真の価値を決定できます。

「連邦準備制度」という言葉を聞くと、誰もがそれが政府の財政を管理する政府機関であると想定します。しかし、そうではありません。連邦準備制度は連邦政府機関ではなく、銀行でもなく、準備金もありません。これは他のすべての中央銀行でも同様です。これらは、いくつかの例外を除いて、ほとんどすべての銀行利害関係者を含むロスチャイルド・ハザール・マフィアによって実際に私有されています。政府は銀行をコントロールできません。なぜなら、銀行家が政府をコントロールしているからです。第 2 章で説明されています。

ディープステートは死につつある：

地方銀行が一度にではなく、世界中で段階的に破綻すると、一部の人々は資産を失うことになるでしょう。小規模で優良な銀行がいくつか残るかもしれませんが。

権力エリートにとって最大の恐怖の一つは、児童を含む性的人身売買をめぐるスキャンダルが勃発していることだ。

「現段階では、それは現在権力を握っているエリート層の要となるものだ」

グローバリストがドナルド・トランプを嫌う理由:

世界を支配しているのは分裂だ。二大政党が表面上はどちらのグループが権力を握るかを決めるために争っている。彼らは互いに戦うが、彼らの間に部外者、つまり「異教徒」が現れる。それは彼らの仲間ではない。すると彼らは激しく力を合わせ、部外者と戦う。なぜなら、昨年11月のドナルド・トランプの勝利で起こったように、その部外者が勝つ可能性があるからだ。そして今、グローバリストは、新世界秩序についての秘密が漏れる危険を冒している。なぜなら、トランプ大統領は国家主義者であり、世界を我々人民の手に返すつもりだからだ。要するに、トランプは体制側を死ぬほど怖がらせている。なぜなら、彼は体制側の一員ではなく、イスラム教における異教徒に相当するからだ。

37. EUの世界刑務所に閉じ込められた

- EUの新植民地主義と新封建主義、
- EU市民は影響力を持たない。
- ユーロの実験全体は失敗するように作られていた。
救済するか、それとも参加するか？
- 退職金が没収され、
- 歴史上最も壊滅的な経済大惨事、
- 陰謀団が好むと好まざるとにかかわらず、変化は起こる。

民主主義の死：

ブリュッセルは、EUに加盟したが離脱を希望する国を破滅させるだろう。ギリシャに対して経済戦争を宣言し、意図的に同国を完全な破滅に陥れようとした。これは「ロシアに課された制裁や、強く反対されている緊縮財政政策よりもはるかにひどい」ことだ。これは全世界にとって非常に悲しい経験だ。

「トロイカ（EU、ECB、IMF）がローマ三頭政治の新たな形となり、*民主主義の終焉を意味するというのは恐ろしい例だ。*」

ヨーロッパ人は、2015年7月1日を国家主権が目に見えて死んだ日として記憶するでしょう。これは、民主主義の死に関係する第2章、第3章、第8章と一致しており、経済的全体主義へと向かっているという懸念が現実のものとなっています。実際、ギリシャは目に見えてブリュッセルに主権を明け渡しました。

**IF YOU'RE NOT
OUTRAGED
YOU'RE NOT PAYING
ATTENTION**

全体主義万歳。ドイツやギリシャなどの経済を縛り付けるEUプロジェクトは失敗に終わる運命にあったが、今やギリシャがドラクマに戻って通貨を切り下げ、再建することを認めるべきだという確証を得て、完全な失敗となりつつある。

しかし、アジェンダ 21 が規定しているように、また第 15 章で説明されているように、それは起こりません。

「私たちは今、目標からほんの数ヤードしか離れていないと断言できます。サークルが閉じると、ヨーロッパのすべての国が万力で締め付けられるでしょう。」イルミナティ・プロトコル 3:1 リチャード・デイ博士が 1969 年の極秘スピーチで発表したとおり。

重要な問題は密室で取り決められ、国民は影響力を持たず、結果に苦しむだけです。誰も計画をチェックしたり、影響を与えることはできず、非民主的な合意が次々と積み重なっていきます。EU委員会委員長のジャン・クロード・ユンカー氏は1999年にEUの民主主義について次のように説明しました。

「我々は決定を下し、それを公表し、そして何が起こるかを待つ。ほとんどの人が我々のやっていることを理解していないため、大きな反対がなければ、我々はもう一歩先へ

進み、後戻りできないところまで行く。」（デア・シュピ
ーゲル 52/1999)

武器は金融であり、道具はヨーロッパとワシントンの巨大銀行家たちだ。彼らは非人間的なミサイルのようなものだ。ブリュッセルの悪党たちは、もしも政権が崩壊した場合に備えてチプラス首相の辞任を求める大胆さを持っていた。

ギリシャの国民投票で緊縮財政案は否決された。いずれにせよ、ヤニス・ヴァルファキス財務大臣は辞任を余儀なくされた。想像できるか！

「…ブリュッセル、ワシントン、ベルリンがギリシャに対して公然とした階級闘争を仕掛けていることは、日増しに明らかになっている。なぜなら、ギリシャ国民は、ヨーロッパ初の民主主義国家であり、ヨーロッパにその名を与えた国である主権国家の国民であり、社会主義政府を民主的に選出する大胆さを持っていたからだ。今、彼らは苦しまなければならない。彼らは、エリート層が自分たちの利益のために利益を最大化している、公共サービスと公共財産の無制限のグローバル民営化という新自由主義帝国の自ら課したルールに従わない。もちろん、これは 公有財産の完全な窃盗です。

世界刑務所：

独裁と支配の最も強力な形態は、目に見えず、気づかれないものです。それでも、人々はおよそ 4 年ごとに投票を許可されることにより自由の幻想を抱くこととなりますが、公式に政権に就いた政党が何であれ、舞台裏では同じ少数の人々が権力を握っています。

民主主義は多数派による統治であるはずで、それ自体が専制政治であるが、それさえもそうではない。それは「自由で開かれた社会」という煙幕の後ろに隠れた少数による独裁政治である。左派や右派

から選出されたすべての人は、最終的にはこれらの少数によって支配されており、誰が選出され、責任を負わされるかは問題ではない。エリート同胞団のRK犯罪結社が、すべての物事をどのように行うべきかを彼らに指示している。

実際のところ、誰に投票するかは重要ではありません。隠れた手が、決定を下す責任者のように見える人々の糸を引いているのです。その全体的な考えは、根本的には支配されているのに、自由であると国民を騙すことです。自由だと思っている人は、自由でないことに反抗しません。独房にいて鉄格子が見えない場合、人々は出て行っても自由だと思っています。実際に出て行ってみるまでは。ほとんどの人は出て行きませんが、ギリシャの人々はそうしようとしたのです。政府は鉄格子のない監獄を自由として売り込んでいるため、「自由」や「自由な世界」について延々と語っています。もちろん彼らの言うことはナンセンスですが、私たち国民はそれを信じなければなりません。さもなければ、実際には少数の者によって支配されている一党独裁国家に生きていることに気付くかもしれません。

「ユーロが導入されるとすぐに、不均衡が生じて蓄積するのに時間はかかりませんでした」と、フィリップ・バグス教授は2012年に説明した。バグス教授は、2008年以前の旧世界でのユーロ発行の仕組みを説明した。どの紙幣システムでもそうであるように、新しく発行されたお金を最初に手に入れた者が最も利益を得た。「しかし、新しいユーロを手に入れる唯一の方法は、ギリシャのような国が国債をさらに発行し、それを担保として欧州中央銀行に差し出すことでした」と同教授は付け加えた。

そして今、問題が顕著になっています。

「孫娘の将来を考えると」と61歳の女性は言う。

アテネの年金受給者ニコス・アタナシオウさんはデイリー・テレグラフ紙に「私はパニックに陥っています。彼女には保護国ではなく独立したギリシャで暮らしてほしいのです」と語った。

ギリシャでは、どこでも見られるように、富は政府ではなく革新者から生まれます。おそらく今日、ギリシャでは他のどこよりも、権力を握る事務員やブリュッセルのRKマフィアによって、ギリシャ人の古いパラダイムに対する抵抗が鎮圧される可能性があります。

どちらの勢力が優勢になるのでしょうか？ そしてそれは重要なのでしょうか？

EU 金融化の主な戦略は、資本へのアクセスが限られている人々に低利融資を拡大することです。資本へのアクセスが限られている人々は、低利融資の餌に完全に食いつき、罰金や金利の上昇などに喜んで同意するでしょう。その後、融資の拡大が支えきれないレベルに達すると、貸し手は担保や有利な貿易および金融譲歩を要求するでしょう。これは明らかに、長年続いている RK マフィアの戦略です。

新植民地主義：

旧植民地からの経済的略奪には限界があった。その結果、世界の金融権力エリートたちは、*同じ手法を自国地域に適用する新植民地モデルを開発した。*

、*徹底的に搾取できる周縁国*として認識され、ユーロは、安価な信用が大量に流入しなければ信用/住宅バブルを決して生み出すことができなかった国々の経済を資金調達するための理想的なツールとなった。

新植民地主義では、金融化の力は、地元のエリート層と大衆を金融中枢に隷属させるために使われます。周辺の「植民地」は、中核経済で製造された完成品を購入するために借金をし、次の原則に基づいて帝国のエリート層を豊かにします。- 債務者に商品を販売して得た利益、- 中核経済の商品を購入するために周辺植民地に貸し付けた信用の利子、「贅沢な暮らし」、そして不動産や国債などの周辺資産への融資の隠れた取引の利益。



本質的には、EUの中核銀行はユーロ金融化を通じて周辺諸国を植民地化し、周辺諸国の債務と消費の大幅な拡大を可能にした。中核国の銀行と輸出業者は、この債務と消費の拡大から莫大な利益を搾取した。

ユーロの金融化計画が終焉を迎えた今、周辺諸国の新植民地主義的立場は明白に明らかになり、PIIGS諸国の資産と収入は、中核国の中央銀行と金融中心の民間銀行に対する民間債務と国家債務の利子として中核国に流れ込んでいる。

添付のグラフで、ギリシャの「救済」のうち実際にギリシャ国民に渡ったのはわずか 8% であり、金融勢力に支払われた利息はいくらであったかに注目してください。

これは新植民地主義の完成形であるだけでなく、新封建主義の完成形でもある。EUの周辺諸国は事実上、中核諸国に対する新植民地主義的債務者であり、中核諸国の納税者は封建的農奴となり、周辺諸国への不良債権の返済に労働を捧げている。

新植民地主義は、中核の総合金融貴族、つまりRKマフィアに利益をもたらします。彼らは国家寡頭政治であり、「泥棒政治」であり、権力を駆使して国の資源を盗む支配者たちです。

ギリシャの破産が否定できない今、私たちはついに新植民地金融化モデルの終局に至った。金融化で利用できる市場はもうなく、山積する債務が返済不可能であるという事実はもはや隠せない。この時点で、金融貴族であるRKマフィアは解決不可能なジレンマに陥っている。債務不履行の債務を帳消しにすることは、資産と収入源も帳消しにすることであり、すべての債務は誰かの資産と収入源だからである。

要するに、ブリュッセルのクラブは新植民地主義の完成形であるだけでなく、新封建主義の完成形でもある。EUの周辺諸国は事実上、中核諸国に対する新植民地主義的債務者であり、中核諸国の納税者は今や封建的農奴であり、その労働は周辺諸国への不良債権の返済に充てられている。

暗い経済見通し:

それでも、ギリシャ人の大多数はEUに留まることを希望している。しかし、彼らは、以前の救済策の一環としてギリシャに課された厳しい緊縮財政措置に対して当然ながら怒っている。

これらの措置の結果、デフレスパイラルがヨーロッパ全土に蔓延している。ギリシャは深刻な不況に陥っており、失業率は26%と驚くほど高く、さらに上昇している。ギリシャは、さらに悪化する暗い経済見通しに直面している。

国の現金がなくなると、政府は資本規制に頼るが、決してうまくいかない。結局のところ、投資家が資本を投資したい最後の場所は、おそらく資金が戻ってこない市場だ。そのため、世界中の投資家は資本規制のある市場を避け、現金不足をさらに悪化させている。

「過去6か月間で310億ドルがギリシャの銀行。欧州中央銀行はギリシャの銀行に1000億ドル近くの緊急融資を投入したが、資本逃避が続く中、効果はなかった。」

ギリシャはまさにヨーロッパの文明発祥の地であり、民主主義の礎です。

想像できますか？ 疑似的に予測可能で安定した将来を確保するために、一生懸命に働きます。そして、突然、あなたが稼いだお金を受け取る権利がなくなります。そんなふうに。実際のところ、ギリシャの危機は当惑させる前例となり、西側諸国のすべての年金受給者の間に大きな恐怖を引き起こしています。

腐敗した、金権政治の縁故資本主義は機能しない。このシステムはいずれ崩壊する。金はいずれ価値が上がる。本当の通貨危機のときはいつもそうだ。通貨戦争、危機、暴落のあと、中国に目を光らせることが重要だ。ギリシャが単独で金価格を急騰させることはないだろう。

しかし、世界の金価格に対する中国の影響を考慮すると、中国は多くの人が考えるよりも大きな役割を果たしており、最悪の事態が起こりそうだ。金利に関するFRBの曖昧さ、ロシアの金塊大量購入の熱狂、そしてここ5年間以上続いている最新の通貨戦争のいつもの混乱。

お金の購買力が低下し、経済が弱まると、金は値上がりします。単純な話です。ですから、世界中で通貨に関して何が起きているかに注意してください。

ギリシャの債務は持続不可能であるため、IMFはEUとECBの意に反して、ギリシャの債務を少なくとも500億ドル帳消しにすべきである

と宣言したため、ギリシャの状況はギリシャがEUに残留することで解決される可能性が高い。

新聞で大騒ぎされているにもかかわらず、欧州の政治家たちは自分たちの高給取りの仕事を守るために必死にEUをそのまま維持したいと考えている。

ギリシャ経済は EU の比較的小さな部分 (<2%) を占めているが、ギリシャが EU を離脱すれば、EU の構造と政策に対する厳しい非難となる。加盟国が離脱すれば、大きな「PR」上の災難となるだけでなく、おそらく財政上の災難にもなる。協力してギリシャを EU に留める方法を見つける代わりに、他のすべての EU 加盟国に損害を与える財政危機が起こるだろう。

市場では時々おかしなことが起きる。ギリシャと他のヨーロッパ諸国は意見の相違を許し、大惨事を招く可能性がある。

資本規制のような制限的措置の実施は、それを予期していない国民や、定額の収入や年金に依存している人々にとって壊滅的な打撃となる可能性がある。もちろん、ギリシャ国民の大半にとって、その前兆はずっと前から見えていた。

ギリシャのATMに並んで1日60ユーロの限度額を引き出す高齢者の写真は、見ていて不安になる。人々はこうした憂慮すべき光景に注意を払う必要がある。同様のシナリオは他の多くの国でも起こり得るからだ。このような状況の可能性を考えたことがない人は、まったく準備ができていないだろう。

たとえば、「銀行が閉まったらどうしますか？ATMから1日60ユーロしか引き出せなかったらどうしますか？そもそもATMが機能していたとしても？こうした状況を考えて、今から準備してください。まだ可能です！」

夜中に食べ物を探しに出かける人々に関する記事はたくさんあります。これらの人々の中には、かつては中流階級に属していた人々もいます。彼らは良い仕事ときちんとした家を持つ労働者でしたが、今では基本的に貧困状態にあります。

ギリシャの銀行閉鎖と資本規制により特に大きな打撃を受け、廃業したり破産寸前になったりした経営者の話がある。

ギリシャの銀行に多額のお金を預けていた人は賢明ではありませんでした。実際、過去数年間、警告はたくさんありました。警告はたくさんあっても、多くの人がまだ行動を起こさないことがよくわかります。

あなた自身の人生の進路を計画するとき、これを教訓として考えてください。

トロイカ：

一般に公開されていない秘密：

「ドイツのヴォルフガング・ショイブレ財務大臣は、国民投票の結果がどうであれ、ギリシャはユーロ圏に留まると説明した。4年前、マリオ・ドラギは、単一通貨は単に不可逆的であると述べて、ユーロ圏の存続についてコメントした。アンゲラ・メルケルは、危機の共通解決につながる提案は知られていないと非常に冷淡な演説を行った。米国の立場は、もちろん、NATOのみに基づいてギリシャがユーロ圏に留まるよう望んでいる。そして、ギリシャのヤニス・バルファキス財務大臣をすべての会議から排除するという問題もある。

なぜ財務大臣を追放するのか？その理由は隠された計画にある。ヤニス・ヴァルファキスは彼らの操り人形ではなかったからだ。公の目に触れない舞台裏で策略が展開されており、その結果、ユーロへ

の参加が国家主権の放棄であることを国民は十分に理解していない。

ブリュッセルには、最初からこれが民主主義制度を上から下へ排除することでヨーロッパを連邦化するための秘密の行動であったことを示す隠れた条項がある。問題となっている不吉な条項は、加盟国の主権を優先するには全会一致の同意が必要であるため、ヤニス・バルファキスを追放した理由を説明している。

「テロリズム」と評したが、救済条件の承認か拒否かを問う画期的な国民投票の数時間前に公開されたインタビューで、債権者との合意は避けられないと語った。

「ギリシャで彼らがやっていることはテロリズムという名前がついている」とバルファキス氏はスペインの日刊紙エル・ムンドに語った。「なぜ銀行閉鎖を強いたのか？人々を怖がらせるためだ。そして恐怖を広めるという点では、この現象はテロリズムと呼ばれる」

バルファキス氏は、EUと債権者トロイカはギリシャ国民に救済条件に「イエス」と言ってもらい、「ギリシャ国民に屈辱を与えたい」と考えていると信じていると述べた。

「賛成」票を投じれば、主権を放棄して農奴制に移行することになる。他のPIIGS債務国もこれに追随すると予想される。

ギリシャが失敗した今、スペイン、イタリア、フランス、ドイツ、そして最終的には米国自体が、ソ連で見られたのとはほぼ同じ軌跡をたどると予想される。

ソ連崩壊について、ほとんどの人がまだ理解していないのは、それがイデオロギーの崩壊ではなく、実際の財政破綻によって引き起こ



されたということだ。ソ連をほぼモデルにした欧州連合と米国が政権交代を経験する運命にあるのはそのためだ。両国とも破産している。

ユーロの実験全体は失敗するように構築されました。

西側の政治指導者やメディアは、ギリシャ政府が民主主義を実践していると非難した。ヨーロッパの指導者たちにとって、ギリシャの主権は、ギリシャ国民ではなく、外国のエリート層であるRKマフィアのものだ。しかし、ギリシャは、ヨーロッパの銀行システムが救済を必要としているとしても、さらなる緊縮財政やギリシャの負債を増やすことでは救済は達成できないと述べて、RKマフィアの犯罪銀行家たちに立ち向かった世界初の国である。

上で示したように、ギリシャが「借りた」救済資金の 90% 以上が、資金を貸した銀行や金融機関に直接支払われました。ギリシャはついに、これ以上はしないと表明しました。

今、ECBはマリオ・ドラギが何度も言ってきたことを実行するだろう。つまり、最終的な崩壊が始まる前に、今度はユーロの大規模な量的緩和でEUの銀行システムを救済するために、必要なだけ紙幣を印刷するのだ。

これはユーロの崩壊であり、世界的なマネー津波を引き起こすことになる。ヨーロッパ全土で反ユーロ勢力が勢いを増す中、

「ギリシャはユーロ加盟によって長い間貧困に陥っていた」と、ユーロ圏離脱を支持する右派の政治家は語った。ギリシャ左派政党。「この危機は今やチャンスとなった。ギリシャ国民が繁栄するには自由が必要だ。」

「今のヨーロッパは大惨事だ」と別の人は言った。「ヨーロッパのルールは悲惨で、ヨーロッパの条約は一つ一つ見直されるべきだし、単一通貨は間違いだ。だから、飢えと

失業で死ぬ前に、私たちヨーロッパの人々は立ち止まってすべてを見直し、最初からやり直したほうがいいだろう」

ギリシャ国民は、マフィアの銀行家たちが負った負債に対して法的責任を負わないことを知っており、したがって支払いを行わない。これが最初のドミノ倒しを引き起こし、悪徳銀行システムの破産を必然的に招くことになる。スペイン、ポルトガル、アイルランド、イタリア、フランス、ドイツ、そして米国がギリシャに続くことになるだろう。

主権国家は、返済不可能な負債を負わされ、その後、存在しないでっちあげの「信用」の負債の支払いとして土地と資源の権利を引き渡すことと引き換えに取引を持ちかけられることで、ひどい経済的窮地に陥ります。これが今日の世界的経済危機の創発です。

第 20 章で説明されているように、ギリシャの銀行家による金銭詐欺は目立って進行しています。

もう一つのドミノ倒しも起こった。EUのナチス政権傘下のウクライナは支払いを滞納し、破産したのだ。

EU加盟国としては初の破産となったことで、新たな金融システムの必要性が緊急に高まった。

RKマフィアの陰謀団が考案し、実行した既存のバビロニアの債務奴隷制度モデルは廃止されなければなりません。彼らは何もないところから作り出したお金を利子付きで貸し付け、返済されることを期待し、返済されなければ担保を差し押さえます。

ドミノ倒しの3番目、米国の51番目の州プエルトリコは正式に破産し、すべての債務を返済できなくなりました。ホワイトハウスは、プエルトリコの救済はあり得ないと断言しました。米国企業自体が破産しているからです。

日本の金融システムも崩壊の危機に瀕している。アメリカ株式会社の破産を先送りするために日本の資金が盗まれたためだ。日本政府の最近の調査によると、日本人の62.4%が経済的困難を経験しています。

過去数年間、経済破綻の到来について読んで疑念を抱いてきた人は、ギリシャを見て理解してください。「これが、今後数か月、数年にわたって私たち全員に待ち受けているものです。目をつぶっては いけません！」

注：イエス・キリストは世界の最初の解放者であったため、十字架にかけられました。彼はお金がどこから来るのかを知っていたので、税金を払うことを拒みました。彼は当時のバビロンの両替商、銀行家を怒らせました。人々は耳を傾けようとしませんでした。

もしあなたが今目覚めていないなら、あなたは裏切り者です。忘れないでください。権力は腐敗し、保険会社は陰謀団の銀行システムの一部です。 - オバマケアは、年間3兆ドル以上でRKMに最も多くの資金を提供してきました。

ポンジスキームを伴うこのギャンブルの世界は現実とは何の関係もありません。

EUの問題は未解決のままです。安全な避難通貨は金と銀であり、それがあなたの富を守る唯一の方法です。すぐに価値が下がってしまう紙幣を保有しないでください。今後起こる避けられないパニックに備えてください。

マリーヌ・ル・ペンが当選していたら、EU刑務所が開かれていた
だろう

EU賛成か反対か:

フランス国民は、ディープステートが操る傀儡マクロンがEU支持者で「選ばれた」と発言した。なぜなら、反EU派で統制のきかない人

民解放者であるマリーヌ・ル・ペンは、陰謀団にとって大きな危険だっただろうからだ。もし彼女がフランスの選挙で勝っていたら、ドイツのメルケル首相を失脚させ、欧州連合を終わらせ、ユーロのデフォルトを引き起こしていただろう。 - ディープステートが生き残りをかけて戦う中、今年の夏まで誰も聞いたことのない39歳のロスチャイルド銀行家であるマクロンが不正選挙に勝利した。

「フランス大統領選挙は間違いなく不正選挙だった」と彼らは指摘する。マクロン氏は一度も公職に選出されたことがなく、実際は不人気だと。一方、最新の支持率もそれを裏付けている。

フランスには、EUを永久に閉鎖するチャンスがあった。これを達成するためには、国民が一斉に目覚めてマクロンが敗北するようにならなかつた。そうでなければ、ディープステートは地球上のあらゆる場所で酸素不足に陥っていただろう。

特に、中央銀行が廃止され、すべての通貨が金や銀に裏付けられるようになれば、戦争を起こすための資金はなくなる。幸いなことに、多くの有権者は当初からマクロン氏に懐疑的だったが、ル・ペン氏は重要な問題に対する答えを持っていた。

ディープステートは権力構造、機関、同盟国、そして大量破壊兵器を失い、ゲームオーバーとなるでしょう。

ヨーロッパには大規模な改革が必要です。フランス国民の大多数はますますヨーロッパに反対しています。だから新大統領はヨーロッパを改革しなければなりません。マクロンがそれをやろうとしているとは思わないでください。彼はまさに弱いフランスをもたらずでしょう。 ブリュッセルとベルリンが何を望んでいるのか。

このことの深刻さを過小評価しない人はほとんどいません。なぜなら、悪魔主義のディープステートは人類を憎む絶滅の勢力だからです。彼らは創造物を憎み、生命を憎みます。そして、私たちを完全

に破壊するためなら何でもします。そして、その方法は人類を分割することです。分割して征服することが彼らの目的達成の手段です。

人類は光の顕現です。それは真の創造です。私たちが政党、宗教、肌の色などによって分断されている限り、ルシフェリアンの観点から言えば、敵の潜在能力、その全力は抑制され、消滅さえします。人々がその潜在能力と力を完全に受け入れさえすれば、ルシフェリアンは負けるでしょう。この怪物、この貪欲な怪物は消えるでしょう。

分裂ではなく団結の時です。分裂によって団結を示した国はこれまでもありません。すべての情報に基づいて自分の判断を下してください。目的は、人類全体に新たな変化と繁栄をもたらすことです。

ハザール人が支配する米国企業政府は終結しなければならない：

ホワイト ドラゴン ソサエティは、米国企業政府の主な債権者である日本と中国に対し、ハザール マフィアの支配下にある限り、企業政府にこれ以上の延長を認めないようロビー活動を行っている。米国企業政府の管理された解体により、終わりのない戦争、ISIS、ダーイシュ、偽旗テロ、HAARP、生物兵器の拡散などへの資金提供が停止されると伝えられている。

ハザールマフィアは最近、完全に破産しており、組織的に狂っているとしか言いようがない状態になっている。シリアと北朝鮮で第3次世界大戦を始めようとする試みは、核テロやバイオテロの脅迫が繰り返されており、このような狂気は、彼らが永久に廃業するまで間違いなく続くだろう。

EUの人々は団結しなければなりません：

すべてのEU市民は、国内のファシスト政府に対抗するために団結しなければなりません。最も恐ろしい敵は、各国の政府、金融システム、教育システム、医療システム、さらには国民の生活様式までも支配する存在です。敵の数の力を取るに足りないものですが、私たち国民は圧倒的多数を占めています。ただし、私たちの多くが目覚め、意識を持っていることが前提です。すべての市民が積極的に行動し、EUの牢獄から自らを解放するときが来ています。

強力な独裁政権：

最も強力な独裁形態は、人々にその存在を知られていない形態です。投票権が与えられているという幻想を人々に与えているものの、舞台裏では同じ少数の人々が、公式に選出された政権政党を支配しています。最終的にはすべての人がイルミナティに支配されており、誰が選出され、権力を握るかは問題ではありません。

国民を騙して自分たちは自由だと信じ込ませるのが目的です。自由だと信じながら、自由ではないことに反抗する人はいません。政府は「自由」や「言論の自由」、そして「自由な世界」について延々と語りますが、それは鉄格子のない監獄を売り込んでいるからです。もちろん、言われていることはすべてナンセンスで、国民を騙して信じ込ませるためのものです。さもないと、国民は実際には、私たちは少数の人間によってコントロールされている一党独裁国家に生きていることに気づくかもしれません。

EU市民は影響力を持たない：

ブリュッセルでは、重要な問題が密室で取り決められ、EU市民はそれに対して何の影響も及ぼさず、私たちに代わって取られた悲惨な措置の結果に苦しむだけであることに留意してください。誰も計画をチェックしたり、影響を与えることはできず、その結果、非民主的な合意が次々と生まれます。1999年、EU委員会委員長のジャ

ン クロード ユンカー氏は、EU 民主主義を次のように説明しました。

「我々は決定を下し、それを公表し、そして何が起こるか
を待つ。ほとんどの人が我々のやっていることを理解して
いないため、大きな反対がなければ、我々は後戻りできな
い地点を超えるまでさらに一歩進む。」（デア・シュピー
ゲル 52/1999）

ヨーロッパのファシスト政権：

社会民主党、キリスト教民主党、社会主義者、共産主義者、および
類似の政党が、第二次世界大戦の終結以来、ヨーロッパを支配して
きました。これらの政党は、大規模な福祉給付、強力な労働組合、
大規模な国家官僚機構、非常に高い税金、厳格な規制、および文化
マルクス主義の雰囲気を進んでいる点で、どれもかなり似ていま
す。その後、数世代ごとに、有権者が反応し、「ファシスト」政権
を樹立します。これらは社会主義の特徴のほとんどを保持していま
すが、大企業に支持され、大企業にいくらか友好的である傾向があ
ります。さらに、ナショナリズム、外国人嫌悪、および軍国主義が
かなり加わります。

前回このようなことが起こったのは 1930 年代です。当時は大恐慌
が原因でしたが、今回はさらに大恐慌が原因となり、中東やアフリ
カからのイスラム教徒の移民の大量流入も原因となるでしょう。で
すから、あらゆる場所でネオファシスト政党が増えることが予想さ
れます。

EU、沈没船：

ヨーロッパ人は、民間慈善団体、限定された政府、最小限の税金、
規制のない経済、知的および精神的自由といった自由主義的な選択
肢を想像できないようだ。これは、EU大陸が沈没船であるもう一つ
の理由である。一般の人は、今日イタリアとして知られる国が、ロ

一マ帝国の崩壊以来別々に存在していた多くの完全に独立した非常に異なる実体の統合によって、1861年に創設されたばかりであることに気づいていない。

ドイツは、1871年に、多数の公国、公爵領、男爵領などを統一しました。どちらの統一も非常に悪い考えでした。第1次および第2次世界大戦は、それが真実である理由の長いリストの氷山の一角にすぎません。

世界にはおよそ200の国民国家がある。国際的な「エリート」、ディープステート、そしてブリュッセルのEUのような組織は、はるかに少数の強力な国家が、自分たちが管理する世界政府に向けて着実に前進していくことを望んでいる。

しかし、人々の精神から発せられる実際の傾向は、その逆の方向です。あらゆる場所で国民国家が崩壊する傾向です。スペインのバスク人やカタルーニャ人など、西ヨーロッパの大国では分離主義運動が起きています。また、イギリスのスコットランド人は、イギリスとあまり団結していなければよかったと思っています。マスコミではあまり取り上げられないものの、ヨーロッパ全土、そして実際、世界中で数十の分離運動が起きています。

破産した銀行:

世界の銀行のほとんどは、世界最大の銀行の一つであるドイツ銀行のように実質的に破産しており、実際、経済が本格的に悪化すれば、この銀行や他の多くの銀行も破綻するだろう。

中央銀行はどうするつもりでしょうか？ 救済しますか？ それとも破綻させますか？ 破綻させれば、前例のない経済破綻につながるでしょう。人々は貯蓄を失い、日々の商業活動は混乱し、企業は崩壊し、経済全体が急停止するでしょう。

一方、もし彼らがさらに新しく印刷した紙幣で彼らを救済するなら、通貨はすべての価値を失うことになるだろう。これは最初の選択肢よりもさらに悪い。どちらにしても、事実上、大惨事だ。

中央銀行家たちは何十年もの間、世界経済と通貨制度の実験と改良を続けてきたが、ついにその代償を払わなければならないだろう。真に大規模な銀行危機が予想される。2007年から2009年よりもずっとひどいものになるだろう。

社会主義とは、他のすべての人を犠牲にして生きることである。

EU は社会主義の巨大な記念碑であり、誰もが他人を犠牲にして生活できると信じている。その結果、平均的なヨーロッパ人は、自国の政府を魔法の宝庫、無限の富の源泉とみなしている。何か問題が起きると、ヨーロッパ人は政府に「何かしてくれる」ことを期待する。

これを念頭に、欧州中央銀行のマリオ・ドラギ総裁は、「金融政策手段の全メニュー」をもって「行動する用意がある」と発言し、一面を飾ったことがある。

これは中央銀行家が「私は自分の仕事を維持し、人々に実際よりも裕福であると思わせることで経済を刺激するために、信じられないほどの量の紙幣を印刷するつもりだ」と言っているレトリックです。

ドラギの紙幣印刷狂は、繁栄を作ろうとする悲惨なほど誤った試みだ。それはバブルを生み出し、ドラギが発する誤った経済シグナルがなければ決して考えなかったであろうあらゆることを人々や企業に実行させるだろう。紙幣印刷が繁栄への道であるなら、ジンバブエとベネズエラは、今日の経済的に困窮した国ではなく、地球上で最も豊かな国になっているだろう。

ユーロは存在しなくなる：

今日の世界では、金のような商品に裏付けられた通貨は一つもありません。信用に裏付けられているだけであり、それは一夜にして消えてしまうこともあります。これはディープステートが人々から盗む抜け穴です。ユーロは本来の価値、つまりゼロに近づきつつあります。

もちろん、富を守るための最善の選択肢は貴金属です。金と銀。ムッソリーニと同じ運命を辿るべきドラギは、完全に予想通りの行動をとっている。

社会の歪んだ真実、その反対が実際の真実です。

私たちの文化では、戦争は普通、いじめは普通、奨励さえされると教えられています。権力は、どんなに冷酷であっても正しく、力は正義です。五感だけで考え、物質世界で目に見えるものだけを信じることは…普通です。

すべては、ラベルに書かれていることと正反対です。これが私たちが受けている心理的な戦いです。これが私たちが生涯言い聞かされてきた嘘です...ただし、これはフィクションでも小説でもありません。これが現実です。

忘却への道を進むユーロ金融システム：

欧州の金融システムに起きていることはまさに歴史に残る出来事であり、実際に起きれば最大のニュースの一つになるだろうと考えられている。ユーロ崩壊は多くの人が予想するよりずっと早く訪れるかもしれない。ECBはマイナス金利で借り手を刺激することで、貯蓄者や年金基金を破綻させ、現金を隠し、経済を収縮させている。これらすべてが合わさってEUは修復不可能な状況に陥り、ユーロが大きな問題を抱えているのもそのためだ。崩壊のきっかけはイタリアとドイツの深刻な問題かもしれない。

EUの大手銀行は問題を抱えている。

クレディ・スイスの株価は史上最低を記録し、ドイツの大手銀行ドイツ銀行の株価も史上最低を記録した。人々は本格的な金融崩壊を目撃している。

ドイツ銀行は大打撃を受け続けています。ドイツ最大かつ最も重要な銀行が完全に崩壊していないのであれば、なぜ株価は何度も暴落し続けるのでしょうか？ 2016年初頭以来、ドイツ銀行の価値は半分に下落しており、その軌跡は2008年のリーマン・ブラザーズと非常によく似ていると指摘する人が多くいます。

救済するか、それとも参加するか？

ドイツはドイツ銀行を救済することはできないだろう。救済を必要とする可能性のある他の銀行としては、世界最古の銀行であるイタリアの銀行モンテ・デイ・パスキ・デイ・シエナがある。欧州中央銀行は、イタリアの銀行が危険なほど高い不良債権を抱えていると警告した。イタリア政府は、投資家に損失を負担させることなく銀行に資金を提供したいと考えている。しかし、EUには現在、投資家に損失の一部を負担させるベイルイン法がある。EUの非協力的な姿勢により、すべての国家の行動は大幅に複雑になっている。[独裁政権](#)。

イタリアの銀行危機は現実です。これは、人々が大きな数字に対していかに無感覚になっているかを示しています。人口約 6,000 万人の国で、3,600 億ユーロの不良債権があるとされています。これはイタリア国民 1 人あたり 6,000 ユーロ以上の不良債権です。これは途方もない話です。

しかし、さらに笑えるのは、EUとイタリア政府の間の争いだ。EUはイタリアがEUの規則を順守し、すべての銀行の債権者を救済することを望んでいる。イタリアが政府による救済を望んでいるのは、イタリアの銀行債務の大半はイタリア国民が抱えており、救済シナリ

オは政府にとって破滅的だからだ。イタリアの状況はまだまだ終わっていないが、これは世界金融システムの崩壊の深さを示すもうひとつの明白な兆候にすぎない。

いずれにせよ、イタリアはモンテ・パスキの緊急救済を必要としているが、

ドイツ人はそのような動きに反対している。ドイツのヴォルフガング・ショイブレ

財務大臣はベルリンでの記者会見で、イタリアはイタリアの銀行同盟の規則を遵守するつもりであると述べた。これはイタリアの銀行家から伝えられたものである。

ピエル・カルロ・パドアン首相は次のように述べた。

「イタリアの銀行が不良債権で直面している困難は、一部の欧州の銀行がデリバティブで直面している問題と比べれば微々たるものだ。」

彼はドイツ銀行に間接的にヒントを与え、モンテ・パスキよりもはるかに大きな問題を抱えた他のヨーロッパの銀行があることをドイツ人に思い出させた。

「この不良債権問題が1の価値だとすれば、他の銀行の『デリバティブ』の問題は100の価値がある。その比率は1対100だ」 [レンツィ氏はロイター](#)

レンツィ氏は正しい。デリバティブを含めると、銀行のエクスポージャーは株式の100倍を超える可能性がある。ドイツ銀行を例に挙げると、バランスシート全体のエクスポージャーは株式の25倍である。68兆ユーロのデリバティブのエクスポージャーを加えると、レバレッジは株式資本と準備金の100倍になる。 - これは、銀行からお金を取り戻したいと望む預金者は、ドイツ銀行の資産の1%を超える損失があれば破産することを認識する必要があることを意味します。ドイツ銀行が1%しか失わないことは疑いの余地がありません

ん。彼らは実質的に総資産の10%以上、おそらく少なくとも50%を失うことが保証されており、それはあなたが預金者であればお金を取り戻せないことを意味します。ほとんどのヨーロッパの銀行は同様の状況にあり、JPモルガン、バンクオブアメリカ、シティグループを含む多くの米国の銀行も同様です。そして、日本、中国、新興市場の銀行がより良い状況にあると信じないでください。もちろん、これが2006年以降、ほとんどの大手銀行の株価が75～95%下落した理由です。

ECBのマリオ・ドラギ総裁はすでに銀行システムを破壊し、地域の年金制度を枯渇させ、保険会社を破産させているが、目に見える利益はない。最後の質問。中央銀行家はどの時点で「やりすぎた」と言うのだろうか？

イタリアが救済策を推し進めれば、EUの銀行規則が崩壊することになる。そうなれば、他のEU諸国も同様の措置を取る道が開かれ、EU全体の銀行権限が弱まることになる。

しかし、その代替案はさらに悪いのだろうか？ イタリアの銀行を強化する措置が直ちに取られず、銀行が破綻すれば、悪性の毒が蔓延するだろう。それは、イタリア、ポルトガル、スペインなどの国のEU銀行と、それらの銀行が抱える巨額の国家債務との間に有害なつながりがあるからだ。

スタンダード・アンド・プアーズは、EU加盟国の銀行の負債は総資本の118%と評価されていると報告しています。米国では、国内銀行の米国債に対する同等のエクスポージャーは総資本のわずか14%です。

結論：イタリアの銀行はイタリア政府債務で最大限にレバレッジをかけている。イタリアの銀行が破綻すれば、パニックに陥った投資家はイタリア政府債を大量に売却するだろう。

そうなれば、イタリアの金融システム、経済、政府に大混乱が起こり、基本的にイタリアは財政的に消滅することになるだろう。

しかし、被害はそれだけにとどまらない。イタリアの債務を抱える他の欧州の銀行にも連鎖的な影響が及び、壊滅的な被害をもたらすだろう。

たとえば、フランスの銀行はおよそ 3,000 億ユーロのイタリアの債務を保有しています。ドイツの銀行は 1,000 億ユーロ相当のこのゴミを保有しています。そしてスペインの銀行は 700 億ユーロ以上の価値のない紙幣を保有しています。

損失が出たら、これらの銀行はどうなるのか？そして、フランス、ドイツ、スペインの銀行が破綻し始めたら、それらの国債保有はどうなるのか？この感染拡大を止めることはできないだろう。そして、それがブリュッセルの傲慢な官僚たちを崩壊させているのだ。

金や銀を所有している人たちは、EUの金融メロドラマで次に何が起ころうとも繁栄するだろう。今後数週間にイタリアで何が起ころうかが、EUの進路を永遠に変えることになるということだけは知っておいてください。欧州連合は以前と同じではなくなるでしょう。次に何が起ころうかを予測することは不可能ですが、混乱が起ころう可能性は高いでしょう。

ブレグジット：

ブレグジットの余波は、欧州の金融システムを揺るがし続けています。深刻な銀行危機の伝染は、簡単に世界中に広がります。今日では、中央銀行とともに銀行システム全体がつながっています。

ドイツ銀行の破綻を許さないというドイツの意志は薄れつつある。EU離脱後、ドイツとイタリアの争いに見られるように、残りの加盟国の間で緊張が高まっている。あるいは、[別の秘密の策略かもしれない。](#) 適用されますか？

ドイツが以前から強硬な姿勢をとってきたため、ドイツ銀行を救済する動きは他の加盟国すべてからかなりの抵抗を受ける可能性が高い。もし破綻を許せば、ドイツ銀行はリーマン・ブラザーズが引き起こした危機の10倍もひどい「危機」を引き起こすことになるだろう。

ユーロの最終的な崩壊が始まる！

イタリアの銀行は全国的な債務不履行の崖っぷちに立たされている。ドイツのドイツ銀行はなんとか持ちこたえている。この銀行は破綻する最有力候補の1つであり、少なくとも3つのイタリアの銀行も破綻モードにあり、イタリア政府を崩壊させる危険がある。

そうなれば、イタリア人は革命を起こすだろう。銀行を救済しなければならぬ場合、唯一の解決策は、超オーバードライブモードでユーロをさらに発行することだ。加盟国は単独で自国通貨を発行することはできず、通貨供給量を増やすことは、ユーロ加盟国すべてにとって一方的な意味を持つ。加盟国は単独で通貨を切り上げることはできない。

他の加盟国が不本意ながら過大評価されるようになると、これは不可能な状況になります。そして、それがユーロが生き残れない理由です。

独自の危機を抱える主権国家は、他の加盟国とは異なる独自の対策を必要とする。そのため、ユーロ制度は崩壊し、資本は米ドルに流れ込むことになる。米ドルもすぐに崩壊するだろうが、理由は別だ。非常に賢い者だけが金や銀を買う。この混乱が明らかになる頃には、世界経済を救えるのは大規模な通貨改革だけだ。これは遅かれ早かれ起こる可能性が高い。

没収された退職金：

破産した政府は、切羽詰まると、数兆ドルの「非課税」退職金の没収を視野に入れている。世界が大崩壊の瀬戸際にいる中、経済が急激に縮小し、税収が急落し、政府の空っぽの財源はさらに減少するだろう。その時点で、一般企業が行うように支出を削減し、大規模な人員削減や部署の閉鎖を行うのではなく、政治家は「国家の利益」のために退職金を国有化するだろう。

法律はすでに承認されており、銀行危機の際に政府が国民の銀行口座を凍結し、差し押さえることができる。これは「ベイルイン」と呼ばれる。今回、避けられない破綻が訪れたとき、納税者のお金は銀行の救済には使われない。人々の退職金や預金が使われる。この法律が初めて適用されたキプロスの場合のように。銀行の預金者は、資金の最大60%が引き出されたことに気付いた。

通貨システム:

通貨システムは、本来国民のものではありません。金融インサイダーによって、金融インサイダーのために、金融インサイダーによって作られた通貨システムです。通貨システムは、RKM 陰謀団によって所有されています。

反対してこう尋ねる人もいるかもしれません。

「金融システムは我々の選出された代表者によって設立され、我々全員に奉仕するはずではないのか？」

いいえ、世界の通貨システムは、主に連邦準備制度と中央銀行と呼ばれる一つの組織によって管理されています。連邦準備制度は、1900年代初頭に金持ちと銀行家たちの秘密会議で設立されました。連邦準備制度は、国民や政府によって所有されているわけではありません。民間銀行によって所有されています。そして、連邦準備制度は、主に銀行家とその仲間である、選挙で選ばれていない少数のインサイダーによって管理されています。

中央銀行は監査を受けたことがない。そして議会の議員も、中央銀行が何をしているのか本当に知っている人はいない。株式、債券、不動産、収集品、企業、小売業者、工場、投資家、ボーナスをもらっている幹部、身分を隠した投機家、博士号を持つ経済学者、政治家など、世界中のほとんどすべての富や権力を持つ人々は、内部者の安い資金に依存している。

ヘリコプターマネーに関する繰り返しの議論は、エリート層がいかに必死になっているかを観察者にすべて伝えるはずだ。ヘリコプターマネーは、悪化するデフレ圧力に対抗しようと中央銀行が政府の財政赤字の急増に直接資金を提供するという点で、単なるステロイドを投与されたQEにすぎない。これは、近い将来にハイパーインフレを事実上確実にする。投資家や貯蓄者は、金や銀の現物をいくら持っていたても足りない。

地位の高い人たちは、米ドルと通貨制度の崩壊に備えています。米ドルと世界経済は崩壊です！今購入された物資はちょうどいいタイミングです。崩壊した場合、スーパーマーケットの棚は空っぽになるでしょう。

銀は中央銀行家にとってクリプトナイトである

金銀の専門家[ロブ・カービー氏は言う](#) 中央銀行が最も恐れているのは銀だ。カービー氏は言う。

「銀は中央銀行家にとってクリプトナイトです…なぜでしょう？ なぜなら、彼らは銀を持っていないからです。銀の現物在庫を持っていないので、市場に投入して価格を下げようとはしません。そのため、最近、銀の上昇を食い止めるために、彼らは金の価格を攻撃しています。彼らが金の価格を下げれば、金への攻撃に同調して銀も下落するというのが、全体的な考え方です。」

解決策はゴールドスタンダードです。

解決策は、既存の通貨制度を事実上廃止し、金本位制を導入すること、つまり再評価（RV）と世界通貨リセット（GCR）と呼ばれることです。東側諸国は工業生産能力の大部分を支配しているため、貿易貨物の支払いには金貿易紙幣を課すこととなります。支払いには米ドルは使用しません。

その結果、世界の銀行システムにおいて金資産が蓄積されることとなります。金貿易紙幣は蓄積され、やがて銀行の準備金として金地金に転換されます。やがて金に裏付けられた通貨や金に裏付けられた通貨システムが出現するでしょう。

偽金が金に取って代わられると、エリートたちはビジネスから追い出されます。

金本位制は、西側諸国の銀行エリートを倒すだろう。そして、安易な資金供給、エリート層へのゼロ金利融資、大手銀行の福祉、連邦政府の赤字補填、債務補填を可能にするためのフリーパスを排除するだろう。要するに、金本位制は現在の権力構造をひっくり返し、真の解決策を提供するが、巨大で驚異的な混乱なしには実現しないだろう。

巨大な貿易赤字を抱える国々は、輸出向け生産量を増やし、赤字を削減する国家的取り組みに乗り出すことを余儀なくされ、衝撃を受けるだろう。こうした国々は、外国資本の投資と企業設立を誘致するだろう。貿易赤字の影響は、大規模な国家資産の没収であり、急速な変化と調整を強いられることは間違いない。

膨大な量の建設プロジェクト、インフラやビジネスへの投資、不均衡の修復によって、世界経済システムを刷新する必要があります。そうすることで、人々は仕事に復帰しますが、さらに重要なのは、前向きなトリクルダウンを伴う建設的な方法で復帰することです。

実際、それは世界金融システムの資本再構成です。

この取り組みでは、主要な準備資産として金と銀が必ず関与することになるだろう。

このイベントは、金と銀の価格の大幅な上昇と同時に起こります。金や銀が導入されると、世界システム全体が活性化します。偽のお金は、重要な役割を果たす金と銀に取って代わられるでしょう。

ルーブル銀貨：

ロシアはルーブル銀貨の発行に取り組んでいますが、これは中央銀行システムの外で行われるため、重要な前例となるでしょう。同様に、ケネディ大統領は 1963 年に銀ドルでこれを実行しようとしており、これが 1963 年 11 月にダラスで彼を暗殺する主な動機となりました。

銀ルーブル硬貨はロシア連邦財務省によって発行されるため、必要な変化を示すことになる。これは、ロシアが通貨を発行する主権的権利を主張していることを意味する。この権利は、世界のほぼすべての中央銀行を所有するRKマフィアによって奪われている。一方、ロシアルーブルの金銭的価値は、その銀含有量の価値に依存することになる。

銀価格の上昇は銀ルーブルの貨幣価値の上昇につながり、銀ルーブルはロシアの最貧困層が持つわずかな金額の貯蓄にも理想的な手段となる。銀ルーブルの貨幣価値の上昇は貯蓄をインフレから守り、いつでも完全に流動性を保つ。

選挙は重要ではないが、国民投票、反乱、革命はさらに重要だ。

ほとんどの人はマーク・トウェイン（1835 - 1910）のように行動しているので、典型的には次のように表現されます。

「人を騙すのは、騙されたと思わせるよりも簡単だ。」

エリート層に対する反乱は、特定の国に限ったことではない。英国のエリート層、特に労働党と保守党の党首の大半は、英国の欧州連合残留を強く支持していた。有権者は「そんなのどうでもいい」と言った。

オランダ、ドイツ、フランス、スイス、デンマーク、スウェーデンでは、エリート層を震え上がらせる、国家主義、保護主義、反移民感情、即懷疑主義の政党が台頭している。フランスでは、マリーヌ・ル・ペンの国民戦線が現在最大の政党となっている。国民戦線に似た政党はポーランドとハンガリーで勝利を収めている。

エリートたちはこれらの政党を「右翼過激派」と呼ぶが、右派、左派を問わず、これらの政党はすべて、エリートの体制、その独裁的な法律、規則、操作を率直に批判している。エリートの政治構造は崩壊しつつある。また、米国では、エリートに対する反乱は、単一の政治的方向から起きているわけではない。

オーストリアの5月の大統領選挙では、「右翼過激派」候補のノルベルト・ホーファーが、別のアウトサイダーである「緑の過激派」候補のアレクサンダー・フォン・デア・ベレンに僅差で敗れた。この選挙は接戦だったため、オーストリア憲法裁判所は再選挙を命じた。

カナダの首相は、裕福な子供で、元代用教員、パートタイムの俳優でもあるジャスティン・トルドーだ。彼の父はエリートのピエール・トルドーだったかもしれないが、ジャスティンは高官に求められるエリートの資質をまったく備えていない。

オーストラリアの普段は落ち着いた政治でさえ、再編を経験している。オーストラリアは過去 6 年間で 5 人の首相を輩出している。オーストラリア人はろくでなしを追い出す術を心得ている。なぜ世界中の一般の人々はエリートたちにこれほど怒っているのだろうか。

。

なぜなら、世界のエリートたちは事実上あらゆることに関して意図的に間違っていたからだ。

世界中の中央銀行はエリート層によって所有されており、無責任な政策を通じて紙幣の将来と人類の幸福にとって避けられない災害を生み出してきた。

彼らは諦める前に、あらゆる手段を講じるでしょう。これには紙幣の印刷やさらなるマイナス金利だけでなく、債務免除、通貨切り下げ、モラトリアム、年金基金や銀行預金の窃盗、その他一般の人々のほとんどを貧困に陥れる多くの策略が含まれます。政府も中央銀行も、国民の富を完全に破壊することに何の後悔も抱かないはずで、なぜなら、人類を彼らの新世界秩序に容易に組み込むために、まさにそうすることが目的だからです。

皆さん、事前に警告しておきます。目を覚ましてください。真実の時が来ました!!!

残念ながら、これらの影響は長期間にわたって恐ろしいものとなるでしょう。世界は今、これまで経験したどんな戦争、病気、不況よりも人類に大きな影響を及ぼす災害の始まりに非常に近づいています。

価値のない紙幣の代わりに、物理的な金や銀を所有することが最良のお金となるでしょう。

3分でわかる世界崩壊…

カバールが望むと望まざるとにかかわらず、変化は起こります。

フランスの新大統領、グローバリストの寵児でありロスチャイルドの傀儡であるエマニュエル・マクロンは、フランスの議会選挙を盗み、奴隷政権が国民の支持を得ているように見せかけた。[フランス](#)

[のロスチャイルド政権](#) NATOによるカダフィ打倒計画は、第一にアフリカの金本位制通貨を潰したいという願望、第二にリビアの石油備蓄を潰したいという願望が原動力だったという証拠をウィキリークスが最近明らかにしたにもかかわらず、NATOは自らの利益を守っている。なぜなら、カダフィの金本位制ディナール発行計画はフランス領アフリカに対するNATOの支配を脅かすものだったからだ。

残念なことに、カダフィは以前、ブレア首相との「予言的な」電話会談で、自身の失脚が西側諸国におけるイスラム過激主義の台頭を促すだろうとヨーロッパに警告していたが、その警告は無視された。より大きな目標が政治家やエリート層の懐をそれほど肥やすのであれば、フランスやリビアの数人の命に一体何の価値があるというのだろうか。

[フランスがマリの金鉱山を強盗](#) フランス軍と1万人の国連平和維持軍がこの旧フランス植民地の安定化のために戦っている中、最近、新たな攻撃を受けている。

マクロン氏は激しい口論を繰り広げた。

マクロン大統領がEUの公式レベルでブリュッセルに初めて公の場に姿を現したのは「[非常に心強い](#)」。ハンガリーのヴィクトル・オルバーン首相は、エマニュエル・マクロン大統領が難民危機への対応において東欧諸国の「団結の欠如」と「冷笑主義」を批判したことを受けて、フランス大統領の不適切な行為を激しく非難した。

EUの亀裂が目に見えるようになった。

事実、多くのEU諸国は、ロシアに対する新たな制裁がほぼ自動的に延長され、多くの必要な雇用が失われ、[大衆が 難民の移民](#) あまりにも高い割り当てが課せられ、メルケル首相の緊縮財政と難民促進により、テロがさらに増加した。賢明な解決策が提示されなかったため、各国は団結し、ブリュッセルから独立して協力し、独自の答えを生み出している。ヴィクトル・オルバーンの多くの声高な取り

組みのおかげで、ハンガリー、オーストリア、スロベニア、スロバキア、チェコ共和国、クロアチアの6か国は現在、100年前のオーストリア・ハンガリー帝国を模倣して、独自の国境を確立しつつある。

これは、欧州連合の維持のためにエマニュエル・マクロンを任命したばかりのイルミナティ主導のロスチャイルド・マフィアの一団にとって、新たな打撃となるに違いない。マクロンの勝利は、ブリュッセルの選挙で選ばれていない独裁者たちに短期的な勢いを与えた。



ヨーロッパでは、いくつかの非常に論争の多い選挙が終わりました。そのため、ブリュッセルの政治エリートたちは安堵のため息をついています。しかし、これらの選挙で本当に何かが変わったのでしょうか？

確かに、人工的な巨大国家 EU 内の根本的な問題は変わっていません。欧州連合は流砂の上に築かれ、最初から失敗する運命にあり、今や崩壊への道を歩んでいます。さまざまな選挙結果も何も変えていません。明日の EU が過去と似たものになる可能性は低いでしょう。分裂し、最終的には現在の分離主義運動がすべて成功した場合のヨーロッパの姿を示す地図に似たものになる可能性の方がはるかに高いです。一方、ヨーロッパの有権者の大半は、超国家政府が国民を尊重せず、国民を代表していないことを学んでいます。小さいことは美しいことであり、統治機関は国民を尊重し、国民に奉仕することを自覚しており、これはブリュッセルの独裁政権とは激しい対照をなしています。

行き止まりに：

ロシアの高官は、EUが課した最新の対ロシア制裁は、実際の目標以上にEUに打撃を与えていると結論付け、新たな一連の制限措置がEUを死に至らしめていると警告した。 終わり。

延長の決定を公式に確認した。 ロシアに対する制裁 欧州理事会のドナルド・トゥスク議長はブリュッセルでの欧州首脳会議で、クリミアとウクライナ東部に対するロシアの軍事介入をさらに6か月延長すると発表した。

歴史上最も激しい経済大惨事：

EU は世界最大の単一経済圏であり、米国、中国、日本よりもはるかに大きい。ユーロ通貨は世界で 2 番目に広く流通している通貨である。ヨーロッパの金融混乱は、世界的な金融混乱を意味する。

フィナンシャル・タイムズは、EUが崩壊したら何が起こるかについて次のようにコメントした。

それはおそらく、2008年のリーマン・ブラザーズの破綻や1929年のウォール街大暴落をはるかに上回る、史上最も激しい経済ショックにつながるだろう。

欧州で危機が起これば、世界の通貨市場と株式市場に致命的な雷撃が走ることになる。2008年よりもはるかにひどい、前例のない経済混乱が起こる可能性もある。

最大の相違点：

EU 諸国は、言語、宗教、文化、生活水準において国ごとに大きな違いがあります。歴史が何度も証明しているように、人為的な政治構造は長続きしません。EU はブリュッセルの政治エリートにとっては素晴らしいかもしれませんが、ギリシャ、ポルトガル、スペイン、イタリアなどの国の一般市民にとってはそれほど素晴らしいも

のではありません。その結果、そのような社会福祉国家はもはや維持できないのです。

経済的には、ニュースは悪化し続けています。実際、ヨーロッパは、**壮大な規模の債務不履行災害の震源地**です。金融システムは、ECB による紙幣発行に完全に依存しています。

ECBのマリオ・ドラギ総裁は最近、中央銀行が金利を0.0%に据え置き、少なくとも月額800億ユーロの量的緩和プログラムを延長すると発表した。ヨーロッパは、印刷機を停止させるのに必要な成長を生み出すことができないのだ。

イタリアはヨーロッパの最も弱い部分だ。

イタリアは世界で最も負債の多い政府の一つです。2.4兆ドル以上の借金を抱えています。対GDP債務比率は130%を超えています。比較すると、米国の対GDP債務比率は104%です。しかし、実際の状況はそれよりはるかに悪いです。

GDP は国の経済生産量を測る指標ですが、これは非常に誤解を招きます。主流派の経済学者は、GDP を計算する際に政府支出をプラスとして含めます。より正直なアプローチは、政府支出を大きなマイナスとして数えることです。イタリアでは、政府支出はなんと GDP の 50% 以上を占めています。これを方程式から除いても、状況が改善することは期待できません。イタリア政府は絶望的に支払い不能です。言い換えれば、イタリアは修復不可能な破産状態です。経済の生産部門から十分な税金を徴収して、借り入れた金額を返済することは絶対に不可能です。

ECB はイタリア国債を大量に購入するために紙幣を印刷してきました。最近の調査によると、2008 年以降、ECB とイタリアの銀行はイタリア国債の 88% 以上を購入しています。これは、イタリアの金融システムが ECB の紙幣印刷に完全に依存していることを意味します。

イタリア国債は間違いなく超バブルの領域にある。このバブルがピンで刺されて弾けるのにそう時間はかからないだろう。それはすぐに起こるかもしれない。最近、信用格付け機関フィッチはイタリアの信用格付けを BBB+ から BBB に引き下げた。

不思議の国のアリス経済：

1兆ユーロ以上のイタリア国債の利回りは、実はマイナスだ。奇妙で歪んだ状況だ。破産したイタリア政府に金を貸すのは大きなリスクを伴う。だから、イタリア国債の利回りは、過去最低ではなく、過去最高に近いはずだ。マイナス利回りは自由市場では存在すべきではない。マイナス利回りは、中央銀行が作り出した現在の「不思議の国のアリス」経済でのみ可能だ。ECBのマリオ・ドラギ総裁が最近発表したように、5年間の狂った紙幣印刷の後、彼はついに2%のインフレという誤った目標を達成した。

ECB が 2% のインフレ目標を達成した今、ドイツやその他の EU 諸国は中央銀行に紙幣の大量発行をやめるよう圧力をかけている。これはイタリア政府と銀行システムにとって非常に悪いニュースだ。唯一の大口購入者である ECB が手を引けば、イタリア国債は暴落し、金利は急騰するだろう。

イタリア政府はまもなく自力で資金調達することが不可能になるだろう。

すでに支払い不能となっているイタリアの銀行は壊滅するだろう。これらの銀行は推定2,350億ユーロ相当のイタリア国債を保有している。そのため、今後の国債暴落は銀行のバランスシートを大打撃にさらすことになる。これは完全な列車事故になりつつあり、ヨーロッパで本格的な危機を引き起こすことになる。

さらなる不確実性：

さらに悪いことに、英国の有権者は保守党のテリーザ・メイ首相に「宙吊り議会」をもたらした。メイ首相は今、英国のEU離脱をめぐる不確実性をさらに高める野党労働党が支配する議会に対処しなければならない。おそらく、EUとの交渉は遅れ、無秩序な離脱のリスクが高まり、政治的不確実性が高まる時期が訪れるだろう。離脱交渉は昨年6月19日に開始される予定だったが、延期される可能性がある。つまり、不確実性が高まるにつれて、英国は成長の鈍化に直面する可能性があるということだ。

こうした選挙はEUに誤った希望を与えている。マクロン氏のヨーロッパの連邦化の構想は決して実現しないだろう。

結論：

最近の選挙結果により、欧州連合は回復の道を歩むことはなかった。当初から存在していた根本的な欠陥は、今もなお残っている。欧州連合が「崩壊するかどうか」の問題ではなく、単に「いつ崩壊するか」の問題である。

オランダ、英国、イタリア、フランスのヨーロッパの有権者は、問題を抱えた欧州連合に「さよなら」を告げるために、何か違うものに投票したいと考えていたが、すでに沈みつつあるEUに移民危機が拡大し、状況はさらに悲惨なものとなった。第二次世界大戦以来最大の移民の波が押し寄せ、2015年にヨーロッパは120万人以上を受け入れた。2016年には25万人が流入した。そしてその数は日々増加している。

これらの難民の大半は、シリア、イラク、アフガニスタンといった戦争で荒廃した国々から来ています。そして、多くはサハラ以南のアフリカから来ています。彼らはひどい状況から逃れていますが、中にはヨーロッパでかなりの安全上のリスクをもたらす人もいます。これらすべてが、ヨーロッパ人にとって恐怖、経済的不確実性、困難な日常生活の強力な組み合わせになっています。多くの点で、

彼らは自分たちの文化が根本的に変化していくのを目撃していますが、それを制御することはできません。ですから、EUの基盤そのものが崩れ続けているのもまったく驚くことではありません。

陰謀団が好むと好まざるとにかかわらず、変化は起こります

。

市場は、エリート層が止めてほしいと望んだからといって止まるわけではない。市場は大衆の見せ物に反応するが、より深い流れにも従うのだ。

借金は返済できないからといって減るものではありません。また、人々が準備ができていないからといって、未来が待ってくれるわけではありません。変化は望むと望まざるとにかかわらず起こるのです。

おそらく近い将来、借金、嘘、妄想、混乱の重みで床が崩れるだろう。

そうなれば、突如として、ロシアがフランスや米国の選挙に介入したかどうかという、どうせどうでもいい大騒ぎに人々は興味を失うだろう。その代わりに、すべての目は暴落する市場に向けられるだろう。ダウ平均株価は半分に落ち込むだろう。潰すには大きすぎると思われる大手銀行は、いずれにせよ破綻するだろう。「市場に参入」するために株や債券を買った人々は、「市場から退出」したいと思うだろう。

そして、助けを求める叫びが政府や中央銀行；

「何とかして！助けて！助けに来て！」

そして彼らは救出にやって来るでしょう！しかしどうやって？短期金利はすでにゼロに近く、中央銀行はバランスシートにすでに4兆

ユーロ以上の国債を保有しており、財政赤字は今後10年間ですでに増加することが見込まれている中、彼らに何ができるでしょうか？あなたはすでに答えを推測しているかもしれません！彼らはさらにお金を印刷するでしょう！

38. EU超国家の歴史と真実

- 欧州懐疑派は権力を争う。
- 連合ではない欧州連合。
- ポピュリストの津波が世界中に押し寄せている。
- 世界を支配する秘密権力エリートの中には誰がいるのでしょうか？
- ヨーロッパ合衆国。
- 憲法は条約に変わり、ヨーロッパの全体主義国家を強制した。

財務構造が回復不能なほど弱体化:

イタリアの選挙で選ばれていないレンツィ首相とその政権の崩壊が引き起こす衝撃は、EU史上最大のものとなるだろう。なぜなら、ユーロ離脱を約束する五つ星運動（M5S）政権の選出への道が開かれるからだ。その結果、イタリアの銀行システムに「混乱の波」が押し寄せ、イタリア・リラの再導入が加速するだろう。

近代史において、世界金融構造がこれほどまでに取り返しのつかないほど弱体化し、完全に腐敗し、統制機構によって徹底的に破壊され、操作、制裁、さらには戦争によってこれほどまでに強固に守られたことはかつてなかった。世界金融システム全体が、主に西側諸

国を震源とする複数の震源地を持つ債務火山のように噴火しようとしている。

欧米の大手銀行は、すべて密接に結びついている。銀行家連中は、銀行組織内の相互接続性により、銀行はすべて破綻リスクから免れることができると信じていた。しかし現実には、大手銀行のどれか 1 行が破綻すれば、すべての銀行がシステムの崩壊することが確実だ。破綻が起きれば、唯一実行可能な解決策がようやく議論されることになる。それは、彼らが長年避けてきた解決策である。金本位制が導入されるのだ。

EUは深刻な問題に直面している。

EU は政治的にも財政的にも大きな問題を抱えています。世界経済と金融システムは完全に相互に結びついており、イタリアのような国で問題が発生すると、あらゆる市場における操作によってシステム全体が腐敗しているため、世界中に波及します。このシステムの崩壊は祝福であり、修復不可能なほど壊れたシステムを置き換える唯一の方法です。

現在の金融システムが地球上から消滅するまで、世界が健全に成長する可能性はありません。紙幣が消滅するにつれ、資産を守ることは歴史上どの時代よりも重要になっています。金や銀などの実体のある資産を除き、金融システム内のすべての資産は崩壊します。紙幣と金融システムの崩壊により、金と銀は極めて魅力的で価値のあるものになります。

人工的な紙の金市場は腐敗しており、中央銀行や金地金銀行によって日々操作されている。当面、このグループは金の価格を、物理的な金が本来得るべき実際の価格よりはるかに低く抑えることに成功している。

英国がEU離脱を決定したBrexit投票は、ブリュッセルの選挙で選ばれず責任も負わないエリート層によって5億人が支配されるという

人工的な構造の崩壊の始まりとなった。さらに悪いのは、EU加盟28カ国のうち19カ国で使用されている人工的なユーロ紙幣である。

紙幣はすべて、定義上、人工的なものであり、最終的には価値がなくなります。しかし、文化、成長率、生産性、インフレ率がそれぞれ異なる 19 か国に 1 つの通貨を適用するのは、まったくの失敗です。イタリア、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、その他多くのEU 諸国は完全に破産しています。これらの国々は、完全に競争力を失い、輸出も機能もできない通貨の使用を余儀なくされています。同時に、ドイツはユーロ安の恩恵を受け、輸出産業が非常に成功しました。これによりイタリア国民は惨めになり、その結果、傀儡のレンツィ首相とその政府を退陣に追い込みました。

欧州懐疑派は権力を争う：

新たな政権を樹立するための選挙が新たに行われ、コメディアンのベッペ・グリッロと彼の五つ星運動が勝利するだろう。彼の政党は反グローバリズム、反体制、反移民、反EUを掲げている。彼の過激な政治グループ五つ星運動（M5S）は、まもなくイタリアを掌握するかもしれない。多くのイタリア人と同様、彼らはイタリアの経済問題をEUのせいにしており、もし彼らがイタリアの政権を握ったら、ユーロを廃止してイタリアの旧通貨リラを復活させたいと考えている。

しかし、新たな選挙を実施するという問題全体が秘密裏に暗い背景へと追いやられてきた。

なぜなら、政権を握った後、イタリアがユーロを捨ててリラに戻るべきかどうかについて新たな国民投票を実施できるからだ。そうなれば、イタリア国民は離脱に投票する可能性が高い。イタリアがいなければ、ユーロ通貨はおそらく崩壊し、それとともに欧州連合全体が崩壊するだろう。

ハンガリー、クロアチア、ポーランド、スロベニアなど、他の多くのEU諸国ではすでに欧州懐疑派の政権が発足している。オランダでも反EUの自由党が影に迫いやられている。ドイツでは2017年秋に選挙が行われた。ロシアに対する制裁賛成の姿勢と、ドイツが苦しんでいる大きな移民問題を引き起こしている移民賛成の姿勢から、メルケル首相には強い反対がある。

アンゲラのメルケル正統な血統：

メルケル首相は、自身のキリスト教民主同盟（CDU）党内でほとんど反対勢力に直面していないようだ。さらに、ドイツの左派は弱く、分裂しており、イスラム過激派グループとつながりを持つ移民や難民の流入が続いていることに対し、国がどの程度思いやりを持つことができるか、また持つべきかについての議論にあまりにも巻き込まれている。

ドイツで唯一の「アウトサイダー」は、極右の反移民政治団体で、まだ選出されていない同党のメンバーが第2次世界大戦以来初めて連邦議会に進出する可能性が高いAfD党である。その結果、メルケル首相は権力の支配を強化しなければならないかもしれない。彼女がもう一期首相になれば、彼女の「独裁」は確実に根付き、ついに父アドルフ・ヒトラーから受け継いだ独裁者の技量を披露できるようになるだろう。[アンゲラ・メルケルは父と同じくロスチャイルド家の直系血統である。](#) [メンバー](#)。

AfD党员らはすでに、ユーロ離脱の是非を問う国民投票の実施、1945年以来ドイツに駐留している連合軍のドイツからの追放、ナチスの犯罪よりもドイツ史における「肯定的でアイデンティティを高める」エピソードに重点を置いた学校カリキュラムの導入などを求めている。最も闘争的なのは、「イスラム教はドイツに属してはならない」という宣言だ。

ポピュリスト政党はスペインやオランダでも人気が高まっている。ハンガリーやポーランドではすでに政権を握っているが、ドイツにおける極右勢力の復活は、戦後の憲法がポピュリストの影響を抑制するために制定されたという歴史的背景と、大陸における支配的な立場の両方から、特に憂慮すべき事態だ。「将来、ペトリーという名の首相が誕生することを期待している」とオーストリア自由党の党首は最近語った。AfDは、第二次世界大戦以降ドイツで最も成功した極右現象だ。

傾向は変わりました:

明らかに、傾向は変わり、ヨーロッパ人は今や体制に背を向けている。金融システムは崩壊している。ドイツでは、ドイツ銀行とコメルツ銀行が支払い不能に陥っている。ドイツ銀行だけでも750億ユーロ以上のデリバティブ取引があり、両行とも深刻な財政難に陥っている。イタリアでは、銀行システム全体が支払い不能に陥っている。事実上破綻しているのはイタリア最古の銀行モンテ・デイ・パスキだけではない。イタリアの全銀行の不良債権は少なくとも4000億ユーロで、これはイタリアの銀行システムの約20%にあたる。モンテ・デイ・パスキは必死になって50億ユーロの資金調達を試みており、イタリア最大の銀行であるユニクレディトは130億ユーロを必要としている。

米国では、トランプ氏は大統領職を利用して私財を増やすのではなく、アメリカの衰退を逆転させる大統領になることに報酬を見出す可能性が高い。したがって、血なまぐさい革命を通じて街頭から始まるのではなく、トップダウンで世界的に変化が起こるという希望がある。だから、トランプ政権にチャンスを与えよう。彼が国民を裏切ったことが明らかになれば、国民は彼に反旗を翻すかもしれない。

要約すると;

要約すると、イタリアの銀行システムに深刻な危機が迫っています。銀行システムは支払い不能です。ほとんどのイタリアの銀行の株価は、これまでに 50% 以上急落しています。

イタリアの銀行は、90日以上延滞しており、全額返済の見込みがないローンを合わせて4,000億ユーロ以上抱えています。これは驚くべき数字です。これらの不良債権（NPL）は、イタリアの銀行ローン残高全体の18%以上を占めています。合計すると、イタリアのGDPの20%以上になります。

これを概観すると、フランスでは未払いローン全体の 5% が不良債権です。

米国では2%。英国ではわずか1.5%。イタリアの不良債権は大きな問題だ。舞台裏では、欧州の中央銀行が大きな危機に備えており、国民に対しては「すべては制御下にある」と約束している。

彼らを信じてはいけません！ - 彼らは状況がどれほど悪いか、そして問題がいかに解決不可能であるかを知っています。だからこそ、彼らは緊急に新しいベイリン規則を可決したのです。

イタリア政府は、望ましくないジレンマに陥っている。救済措置で銀行を救済し、足止めすることもできるし、あるいは、すべてを崩壊させることもできる。どちらの選択も政治的自殺行為だ。イタリアの銀行システムの崩壊は差し迫っている。

イタリア第3位の銀行、モンテ・デイ・パスキ・ディ・シエナ銀行（BMPS）の差し迫った破綻が、その引き金となる可能性が高い。

多くの失敗は起こり得るし、実際に起こるだろう。ここでは、世界金融システムの差し迫った崩壊を引き起こす可能性のある最も潜在的な失敗の不完全な概要を示す。

- イタリアの銀行破綻、ユーロ共通通貨からの離脱。

- ヨーロッパ南部の国々での感染拡大。
- 欧州国債の大惨事；
- ドイツ銀行の破綻；
- 金利上昇；
- 貿易決済における米ドルの拒否は、BRICS諸国ではすでに起こっている。
- デリバティブによる米国債複合体の崩壊。
- 金市場の裁定取引の内訳；
- 東側で金担保通貨が発表される。
- サウジアラビアが中国からの原油販売に人民元を受け入れる。

さらなる覚醒：

結論として、人々は目覚め、システムの多くの亀裂に気づき始め、世界が変化していることに気づき始めています。人々は、何が起きているのか、そしてなぜ起きているのかという全体像を理解し始めています。彼らは、真実の情報を得て準備したいと考えています。彼らは、体制とその傀儡である政府、そして常に嘘をつき欺く傀儡の主流メディアに指示されるのではなく、自らの知識に基づいた選択を行う自由を望んでいます。人々は、自分たちが意図的にこの恐ろしい危機に導かれ、それが彼らを新世界秩序へと導くことになることに気づき始めています。

ドミノは倒れ続けます：

レンツィ、オランダ、サルコジは失脚した。習近平、プーチン、安倍、メルケルが標的にされている。ロスチャイルド家と血統家族の懸命な努力にもかかわらず、ハザールマフィアのドミノ倒しは次々と倒れ続けている。イタリア首相の辞任または辞任表明
マテオ・レンツィ、フランスのフランソワ・オランド大統領、欧州議会のマーティン・シュルツ議長、ニュージーランドのジョン・キ

一首相、そしてハザール人の麻薬密売ギャング、ニコラ・サルコジの敗北は、最新のドミノ倒しである。

現在、残っている上級管理職を排除するための大規模なキャンペーンが展開されている。

ロスチャイルドの代理人、いわゆる中国の強権者習近平のような人物は、

中国、ロシア、米国、日本などの複数の情報源によると、日本の奴隷首相安倍晋三とドイツのヒトラーの娘アンゲラ・メルケルがそうだ。

連合ではない欧州連合:

現在のヨーロッパの経済状況は極めてばらつきがあります。他の国よりもうまくいっている国もあります。ドイツや北欧諸国は、一般的に南欧諸国よりもうまくいっています。ドイツは EU の共通市場から最も恩恵を受けています。しかし、EU 全体の恩恵を考えると、連合は国ごとにではなく、ひとつの組織として判断されるべきであるため、連合として（実際には連合ではありませんが）、いわゆる欧州連合が存在しなかった場合よりも悪い結果になっています。

もちろん、これを証明するのは難しいかもしれない。なぜなら、連合が成立していなかった場合に何が起こっていたかについては研究ができないからだ。つまり、EUが成立していなかったら、ヨーロッパの独立国は社会経済的にどうなっていただろうか？

なぜ EU の結果の合計は、すべての個々の主権 EU 加盟国の合計よりも悪いと主張されるのでしょうか？ それは、EU が加盟国に平等に奉仕する連合として設立されたことがないからです。

それはヨーロッパ人によって作られたものではありません。[RKM](#) ワシントンDCで、第二次世界大戦後に始まった民間機関CIAによって実行された。

すでに計画されていた通り、抑圧されたヨーロッパは大企業である米国の従属国になるはずだったが、ユーロを基盤とする通貨システムも同様に欺瞞的である。

RKM が所有し、支配する ECB は、紙幣を刷り続け、人為的に低い金利を維持し、債券市場のバブルを増大させ続けることになる。そうしなければ、パーティー全体が突然終了する可能性がある。ECB は、何千億ドルもの不良債権を管理する各国政府の能力に疑問を抱きながら、ひどい政府バランスシートに対処し続けなければならない。これは、EU のほぼすべての政府が、国民、労働者、企業、法人から最後の 1 ユーロまで搾り取る方法を模索することになることを意味する。これは、所得、成長、繁栄を台無しにすることになる。

ポピュリストの津波が世界を席卷している。

、先進国全体に広がり、戦後の自由民主主義秩序を脅かす新たな**ポピュリズムを生み出した**。

言い換えれば、ディープステート、ビルダーバーグ・グループ、三極主義者、ボヘミアン・グローブのメンバー、外交問題評議会は、トランプが大統領になるのを阻止するための戦略を計画するために、通常とは異なる会議を開催したのです。

世界中の邪悪な陰謀団のメンバーは皆、この時点では完全に「正気を失っている」とまでは言わないまでも、神経質になっている。[彼らはトランプ氏を殺そうとしたり](#)、買収しようとしたり、無限の権力を与えようとしたり、他の人に効く通常の方法をすべて試したが、すべて無駄だった。トランプ氏はまだ前進し続けている。

3人のCIAは、誰もトランプ氏をコントロールできず、トランプ氏はCIAが普段行っている悪事に興味がないという事実には怯えている。CIA長官のブレナン氏は、CIAを米国大統領のための邪悪で説明責任のない権力を握る政策立案機関に変えただけでなく、トランプ氏の

身の安全を脅かすなど、マフィアのボスのような態度をとっている

3つのCIA派閥が世界を支配している:

CIA の権限が強大であることは、トランプ次期大統領がロシアに脅迫されているという最近の「フェイクニュース」スキャンダルで明らかになった。CIA はトランプに対する「中傷キャンペーン」を開始しようとした。国家情報長官のジェームズ・クラッパーは、どうやらこの策略を見抜けず、CIA の評価に同意したようだ。国民は、すべての諜報機関が能力と情報能力に欠けているという結論に達しつつある。CIA は議会、大統領、さらには国民よりも高い権威であると自らを位置づけており、エドワード・スノーデンによって以前に暴露されたように、すべての事柄において秘密裏に活動している。

トランプ大統領はCIA職員約400人に演説した 本社では

バージニア州ラングレーで、大統領就任初日に行われた演説で、彼はロシアが大統領就任に有利になるよう選挙に影響を及ぼそうとしたという彼らの結論に異議を唱え、時にはそれを軽視した。

トランプ陣営には、すべての沼地を完全に一掃し、全従業員に**真実を語らせる**か、あるいは解雇するという、膨大な課題が待ち受けている。不正行為を確認し、誰が買収したのか、いくら支払われたのかを説明し、すべての「自由」市場を不正操作する。

さらに、真実 権力者が腐敗し、反逆罪を犯したという噂は、9/11、ピザゲート、暗殺の実行など、あらゆる偽旗作戦、特にジョン・F・ケネディの暗殺に関するものだ。

トレイ・ガウディは、実直な検察官で、新議会の情報委員会に所属する。彼は、他の誰よりも、情報機関の**職員に責任を負わせることができる**。ドナルド・トランプ氏の正当性を否定するキャンペーンをめぐって。

ガウディ氏は、政治が彼の調査を左右するわけではないことを証明した。彼の道徳心は常に真実の方向を指し示している。

真実こそが唯一重要であり、大衆を目覚めさせるのです!

運営するエリートたちの不安は明白だ。昨年、トランプ氏が当選する可能性はないというのがコンセンサスだった。英国がEU離脱を決定してから半年も経たないうちに彼が勝利したことは、グローバル化、自由貿易、多国間主義に関してエリートたちを侮辱するものだ。国際危機グループのCEO、ジャン＝マリー・ゲエノ氏は次のように語った。

「トランプ氏とその立場をどう見るかに関わらず、彼の選出は深い不確実性をもたらし、それがダボスに長い影を落とすことになるだろう」

マリーヌ・ル・ペン：

イタリアやアメリカに存在するのと同じ反体制感情がオランダでは、フランスやドイツでも非常に活発に活動している。極右

48歳の弁護士マリーヌ・ル・ペン氏は、最近のテロ攻撃や低迷する経済をフランソワ・オランド大統領、そして今度はマクロン大統領に対する攻撃材料として利用し、高まる反移民感情を利用している。

ルペン氏の政策課題には、欧州連合（EU）からの離脱、ユーロの廃止、国境の安全確保などが含まれている。これは世界第6位の経済大国だ。当然の勝利ではあるが、予想通り不正が行われたフランスの選挙で勝利は逃した。ルペン氏はフランスのEU離脱（Frexit）を目指していたため、選挙後にニューヨークでトランプ氏と会談した。マリーヌ・ルペン氏がエリゼ宮に入る機会を勝ち取っていたら、初の公式訪問はワシントンではなくEU本部で、ブリュッセルの超大

国がついに終焉を迎えたことを示すことになるだろうと語っていた

。選挙の数カ月前に失業率が10%と過去最高に近い水準に達する中、ルペン氏の人気は未決定の有権者の間で高まった。フランスの選挙は複数回の投票で決まり、最終的には一般投票によってルペン氏が有利に決まるはずだった。

興味深いことに、彼女はウラジミール・プーチンのファンでもあり、気候変動に賛成しておらず、グローバリゼーションを「別の種類の全体主義」と呼んでいます。聞き覚えがありますね！もしル・ペンが勝っていたら、イタリアの国民投票の場合のように、その影響はユーロの持続可能性にとって致命的になる可能性があり、銀行、通貨、債券市場、貴金属に影響を与えていたでしょう。

アンゲラ・メルケルの影響力:

2017年10月22日に行われたばかりのドイツ選挙で、アンゲラ・メルケル首相が権力を維持できるかどうか、反移民・反体制感情が再び疑問視されている。メルケル首相のキリスト教民主同盟 (CDU) は最近、同党の国境開放政策が非難され、首相の地元で敗北した。メルケル首相は、首相の地元で21%の票を獲得したドイツの右派ポピュリスト政党「ドイツのための選択肢 (AfD)」に次ぐ3位となった

。ロシアに厳しい制裁を課すという首相の計画は 拒否された 彼女の移民政策に不満を持つ ヨーロッパの指導者たちから批判を受けた が、それでも実現した。

メルケル首相が必死になってクレムリンに1年間の制裁を課そうとする一方で、欧州の支配層はウラジミール・プーチン大統領への支持を表明し、メルケル首相の行動を拒絶した。ウクライナを巻き込んだ混乱と狂気がメルケル首相の行動を促した。EU首脳らは最終的に彼女の願いを受け入れ、6か月間の制裁を課した。

メルケル首相の好感度は着実に低下している。ベルリンのクリスマスマーケットでの偽旗攻撃は、首相の大量移民政策に対する新たな批判の波を引き起こした。ドイツの極右勢力は、移民を取り締まるという公約の功績を掲げて政権に躍り出ている。

メルケル首相の政策は、ドイツ国民の生活を危うい状況に追い込んでいる。暴力的な外国人の大群がドイツ各地に侵入し、ドイツ国民は対処するすべがない。最近のテロ攻撃は恐怖を煽っている。国民は不安を抱えている。国民はブルカの着用禁止と厳重な監視を求めている。

メルケル首相がCEOであると推定される ロスチャイルド/ナチス第四帝国AG (EU) のドイツ連邦財務省は、フランクフルト財務院をロスチャイルドの銀行や保険会社などと共有しています。メルケルは2005年のビルダーバーガー賞に選ばれ、ロータリークラブの会員でもあり、従順なユダヤ人としてブナイ・ブリス（世界フリーメーソンの支配者）賞を受賞しています。また、ヨーロッパ人が**人種混合の思想を推進**したことで、クーデンホーフ・カレルギー賞も受賞しています。

古代エジプト人のように見えるだろう。メルケルはユダヤ人の血を引いているようで、それがドイツとヨーロッパに対する彼女の裏切りを説明するだろう。

世界を支配する秘密権力エリートの中には誰がいるのでしょうか？

第 5 章で既に説明されている内容の拡張として、不満を抱いたイタリア人のジョエーレ・マガルディがフリーメイソン協会の最高位のメンバーを辞任し、他の 5 人の不満を抱いたメンバーとともに、36 の極秘国際ローゲの存在を明らかにしました。これらのローゲは、スコットランド式の 33 位階やこれまでに知られている他の

すべての高位よりも上位であるだけでなく、ビルダーバーグ グループ、外交問題評議会、三極委員会、スカル & ボーンズ、ボヘミアン グローブ、および経済、金融、学術、政府の各界に影響を及ぼす新しい世界秩序を創造する計画を実行する他のすべての既存の組織よりも上位です。

1849 年以来、真の力はこれらの極秘ロジにありました。これらには、ゴールドデン ユーラシア、パルジファル、スリー アイズ、ゲブラー、コンパス スター ローズ、ヴァルハラ、リヴァイアサン、ハトホル ペンタルファなどの名前が含まれます。

最も影響力のあるメンバー ロスチャイルド家、ロックフェラー家、ヘンリー

キッシンジャー、トニー・ブレア、ニコラ・サルコジ、ウラジーミル・プーチン、アンゲラ・メルケル、ジャンクロード・ユンケル、ゲアハルト・シュレーダー、バラク・オバマ、フランソワ・オランド、ヒラリー・クリントン、ジェブ・ブッシュ、マリオ・ドラギ、ジェロン・ダイセルブルーム、クリスティーナ ラガルド、ビビ・ネタニヤフ、マニュエル・ヴァルス、パスカル・ラミー、ジャン＝クロード・トリシェ、マリアーノ・ラホイ、ビル・ゲイツ、ウォーレン・バフェット、その他多くの影響力のある人々も、上記のローゲのメンバーです。ハトホル・ペンタルファ・ウル・ローゲは、すべてのウルロジの中で最も残忍で過激なものです。これらのローゲは、2000年にブッシュ家によって設立されました。ジョエレ・マガルディによると、ニコラ・サルコジがメンバーであるだけでなく、オサマ・ビン・ラディンとISのボス、アブ・バクル・アル・バグダディもハトホル・ペンタルファ・ローゲのメンバーです。これらのウルロジは、保守派と進歩派の2つの部分に分かれています。彼らは、三極委員会などの準フリーメーソン団体を運営しており、その権力はビルダーバーグ・グループにまで及ん

でいます。これらのウルロジは、EUで**白人種の根絶を実行して**います。

最も著名な政治家、メディア界の大物、金融業界の人々、実業家、その他世界の支配者志望者は、申請または招待によって会員になることができます。どちらの場合も、ロスチャイルドの承認が決定要因となります。

この Ur-Loges のグループには、世界のさまざまな地域から集まった Loge の兄弟姉妹が全員、互いに調和を保ちながら一緒に座り、将来の計画について合意に達しています。UR-Loges は約 15 名で構成されています。

会員数20,000人。

我々の支配者の一部が地球の支配権をめぐる争っているという偽情報や宣言が数多くあります。確かに、石油やガスなどの一部の分野では、彼らが互いに競争していることは事実です。真実を言えば、我々の指導者の間では常に権力闘争が起こりますが、同時に、彼らはお互いを必要としています。彼らは皆、密接に結びついています。一方、彼らの目標を追求するために、第三次世界大戦の恐怖を利用して人々を怖がらせ、過度の自由の制限や増税を受け入れさせています。

世界を支配し、メルケルの移民政策を指示するスーパーロジ：

メルケル首相とプーチン大統領は、同じ原点である「黄金のユーラシア」の「兄弟姉妹」である。彼らは世界舞台では正反対の役割を果たしているが、ロスチャイルドの**世界統一国家という同じ目標を目指している。**

メルケルとプーチンが遠隔操作される操り人形であることは疑いようがない 同じ原始のロジ「黄金のユーラシア」のメンバーとして、独立して行動する能力を持たない。これを考慮すると、ロスチ

ヤイルドの代理人であるジョージ・ソロスは、大量移民を通じてヨーロッパを混乱に陥れる自由な手を持っている。

さらに危険なのはトルコの独裁者エルドアンとISISの指導者であり、モサドの工作員、アブ・バクル・アル・バグダディは、爆発的な「ハトホル・ペンタルファ」の原ロッジの「兄弟」である。このロッジの他の「兄弟」は、2人の元大統領、ジェブ・ブッシュ、元副大統領のディック・チェイニー、元国防長官である。

ドナルド・ラムズフェルド国防長官、イスラエルの元大統領アリエル・シャロン、ビビ・ネタニヤフ、元大統領サルコジは皆、2001年9月11日のテロ攻撃の背後にいたこの邪悪なロッジのメンバーである。

秘密権力エリートと、その悪魔的ルシフェリアンであるイエズス会とフリーメーソンの支配者を追及し、ワシントン DC の沼地を一掃するトランプの計画が開始される時が来た。

狂気のヨーロッパ難民危機：

現在 EU で起きていることは国民にとって恐ろしいことですが、政府はそれを隠蔽し、難民の福祉をレイプ、暴行、殺害されている人々の福祉よりも優先させています。その結果、オランダ、フランス、ドイツで行われる選挙は政治的リスクを増大させ、EU とユーロを破壊するポピュリストの津波を引き起こすこととなります。

主流政党を駆逐し、欧州連合とその通貨ユーロからの離脱を望む**反体制ポピュリスト**を生み出すことになるだろう。

現在、広範囲に広がる難民危機は隠蔽され、軽視されている。しかし、EUでは、それは非常に現実的で暴力的である。どこから本当のニュースを入手し、何を信じるべきか？各自が自分の判断力で事実を判断する必要がある。なぜなら、この状況についての真実は、主流メディアや政府によって語られていないことは確かだからだ。スウェーデンはすでに消滅し、難民に乗っ取られている。スウェーデ

ン人はもはや自国で受け入れられず、他のヨーロッパ諸国も受け入れていない。 すぐにフォローします！

地中海を渡ってヨーロッパにたどり着こうとするアフリカや中東からの移民が直面する危険が強調されてきた。EUの南端にある少なくとも12カ国が経済衰退、戦争、迫害、失業に悩まされている中、ソロスが資金援助する北方への移民の急増は、一貫した政策を1つ考案しようと奮闘しているヨーロッパの当局を圧倒していると批評家は言う。これは悪徳な「人身売買業者」の思う壺だ。ヨーロッパに不法にやってくる移民希望者の規模を恒久的な危機と表現するのは、誇張ではなく真実であることが判明するかもしれない。

エンドゲーム - 白人虐殺ドキュメンタリー全編:

ステートはEUで、白人種。

兄弟姉妹の皆さん、目を覚ましてください。私たちは気付かないうちに永遠に消えてしまいます。

ヨーロッパ合衆国:

今世紀最大の欺瞞は、すでに 60 年以上前に計画されていた全体主義官僚主義の超国家、欧州連合の設立です。「自由貿易地域」から始まり、今日の中央集権的な超国家へと変貌を遂げ、ファシズムと共産主義の境界線が越えられつつあります。当初からの計画は、欧州連合を現在の姿にし、後戻りできない地点まで維持することでした。その瞬間は、EU 内の国家主権のほとんどが残っていないものの、それらをすべて消滅させるさらなる権力の集中化の提案によってほぼ到来しています。これは、権力を執拗に集中させ、世界中の大衆に対する支配を絶えず強化するというアルコンの見解とまったく同じです。

中央集権的なファシスト/共産主義のアメリカ合衆国の計画
ヨーロッパは何世紀も前に遡り、すでに

1129年、テンプル騎士団が設立されました。一般の人々が知るよりずっと前のことです。欧州連合の設立を主導したのは、ロスチャイルド家とイルミナティ、そしてロスチャイルド・シオニズムと呼ばれる秘密結社です。

人類に対するアルコンの血統の影響力が絶えず増大しているため、権力の継続的な集中化が必要であり、この目標をいかなる犠牲を払ってでも達成することが計画されています。

アルコン血統エリートの内輪は、世界中で何が起きるべきかを指示するために、一つの「ビルダーバーグ」テーブルに集まります。これが、欧州連合を含む私たちの生活のあらゆる分野で権力が絶え間なく集中化される理由です。食品チェーン、バイオテクノロジー、エネルギー供給、医療、メディア、軍事（NATO）など、世界中で同様の計画が立てられています。権力は、「グローバリゼーション」というミームの下で、少数の人々と大企業の手集中しています。

今日私たちが知っているすべての人間の生活は、巨大なマインドコントロール プログラムの餌食となり、世界中の人々をオーウェルの悪夢へと一歩ずつ導いています。エリートたちが私たちをどこへ連れて行こうとしているかの決定が下されると、第 7 章の「静かな戦争のための静かな武器」で説明されているように、心と感情を操作するテクニックが私たちをそこへ連れて行くために使われます。誰もが嘘と欺瞞を見抜くことができるはずです。

汎欧州連合:

汎欧州連合は、何世紀にもわたりヨーロッパで神聖ローマ帝国（アルコン帝国）を支配したロスチャイルド家とアルコン・ハプスブルク家と同列である。オットー・ファン・ハプスブルクは後に汎欧州連合の大統領となった。欧州連合という名称は、当初から今日のEU 超国家を指すのに60年以上使われてきた用語である。欧州連合の主

な資金提供者の中には、ロスチャイルドのシオニストでロスチャイルドの部下であるマックス・ウォーバーグがいた。

欧州連合は、世界支配をめぐるアルコンの計画において重要な要素でした。マックス・ウォーバーグはヒトラーの銀行家となり、ヒトラーを権力の座に就かせ、アウシュビッツの強制収容所を運営したロスチャイルドの創始者であるIGファルベン取締役を務めました。

彼の兄弟ポール・ウォーバーグは、1913年に連邦準備制度を創設する原動力となった。連邦準備制度は、ロスチャイルド家のために経済を乗っ取り、今日ではその腹の内を食い尽くしている。マックス・ウォーバーグは、ロスチャイルド家に代わってウラジミール・レーニン、トロツキー、ロシア革命に資金を提供した人物としても知られている。

ビルダーバーググループ:

それ以来、ビルダーバーグ・グループは、現在 EU となっている共通市場の導きの光となってきた。共通市場を誕生させたローマ条約は、ビルダーバーグ会議で育まれた。EU 理事会元議長のヘルマン・ファン・ロンパイ（ビルダーバーグ・メンバー）の親友で、ビルダーバーグ議長のエティエンヌ・ダヴィニョン子爵によると、単一通貨ユーロの形成も同様だった。当時のビルダーバーグ議長、ベルンハルト王子は、1954年にオランダのアーネムで初めて EU を立ち上げた。ベルンハルト王子は、ドイツの貴族で、ヒトラーの SS 隊員で、オランダ王室と結婚した。彼はイギリスのフィリップ王子の親友で、ナチスと優生学の支持者でもあった。彼らは共に、環境問題を利用してアルコンの地球規模の計画を巧妙に推進するために、現在の WWF である世界生命基金を設立した。その中心にあるのは、人為的な地球温暖化と気候変動という偽りの物語である。

ベルンハルト王子は、イエズス会士で教会の創設者であるヨゼフ・レティンガーとともに、ヨーロッパ運動は、最初にヨーロッパの外務大臣による定期的な会合を公に提案し、そこから関税同盟（後にベネルクスとして知られる）が誕生しました。その後、各国が主権の一部を放棄するヨーロッパの組織の構想が発表されました。

次に登場したのは、レティンガーの友人であり仲間のジャン・モネで、二人ともロスチャイルド家に属していた。モネはヨーロッパ計画の功績から「ヨーロッパの父」と呼ばれていた。彼は、1952年4月30日に友人に宛てた手紙の中で、ヨーロッパプロジェクトについて次のように述べています。

「欧州諸国は、国民が何が起きているのか理解できないまま、超国家へと導かれるべきだ。経済目的を装った一連の措置は、最終的にはこれを達成できる欧州連邦へと不可逆的に導くことになるだろう。」

そして、これは今日でも続いています。モネは1952年に欧州石炭鉄鋼共同体の設立に尽力しました。この共同体は、西ドイツ、フランス、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの6つの工業地域からなる中央管理の石炭鉄鋼共同体に統合されました。メリーとセルジュ ブロンバーガーは、この計画を著書「[ジャン モネとヨーロッパ合衆国](#)」で説明しています。

計画では、徐々に、ブリュッセルの欧州閣僚理事会とストラスブールの総会によって監督される超国家的な当局が、大陸のすべての活動を統括することになる。統合されたヨーロッパは既成事実であると政府が認めざるを得なくなる日が来るだろう。その日が来ると、政府はその基本原則の確立に対するすべての影響力を剥奪されることになる。

この邪悪な目的を達成するために必要なことは、これらすべての自治機関を単一の連邦行政に統合し、**ヨーロッパ合衆国を宣言することだけだった。**

条約:

私たちが今日どこにいるかを見てください。これはすべて、何年も前に考案された昔ながらの計画に従って達成されたのです。石炭と石油の6人の議員が鉄鋼コミュニティは2つの「条約」に署名した



。1957年にローマで欧州経済共同体（EEC）が設立され、ユーラトム（欧州原子力共同体）とともに「共同市場」を設立。EEGは雇用と経済に良い自由貿易地域としてのみ推進された。モネは次のように述べた。

「これは、それぞれが経済的目的を持つように見せかけた段階的なステップを踏むことで達成できるが、最終的には不可逆的に連邦制につながるだろう。」

米国のロスチャイルド家からの支援は、特に共同市場（EEC）を創設したローマ条約の交渉中は顕著だった。ビルダーバーグ・グループの名誉事務総長、エルンスト・ファン・デル・ビューゲルは、ヘンリー・キッシンジャーの序文を添えた著書『マーシャル援助から大西洋パートナーシップへ』の中で次のように書いている。

モネと彼の行動委員会は非公式に交渉を監督しており、障害が発生するとすぐに、主に国務省の上層部に直接アクセスできるブルース大使を通じて、米国の外交機構に警告が発せられました…

…当時、モネが特定の国を交渉の邪魔者だと考えた場合、その国のアメリカ外交代表が外務大臣に近づき、アメリカ政府

の意見を伝え強調するのがごく普通のことだったが、その意見は、事実上すべての場合において、モネの見解、つまりロスチャイルドの見解と一致していた。

主権の終焉：

計画は主権を少しずつ侵食することだった。陰謀がなかったとは思わないでほしい。すべてはずっと前から計画されていたのだ。

漁業は協定によってほぼ破壊されており、EUの漁業割当量は特にフルタイムの漁業を経済的に不可能にするように設計されていた。

英国側の交渉担当者、サー・クリスピン・ティックルは、政府が加盟の影響をすべて隠蔽したことを認め、ルールは「このことについて公に話さないこと」だと述べた。彼らは最初から嘘をついていたが、それがアルコンのすることだ。彼らは嘘をつき、騙すのだ。アルコンの詐欺師や裏切り者、ブレア、キャメロン、ブッシュ、オバマ、クリントン、メルケル、サルコジ、オランダ、マクロン、ラホイ、ルッテ、ドラギ、ユンカーなど、数え切れないほどの人物を見ればわかる。10年後、元英国首相ヒース氏はBBCのインタビューで、英国が欧州連邦国家に加盟することを最初から知っていたかと尋ねられた。彼は「もちろん、そうだ」と答えた。

同様に、計画は、ヨーロッパの青写真に従って石炭産業を労働組合運動とともに破壊することだった。労働組合運動は、欠点はあったものの、共通の目的のために大勢の人々を結集し、本格的な分割統治戦略を阻止した。

マーガレット・サッチャー首相は1975年に友人のヴィクター・ロスチャイルド卿を「安全保障顧問」に任命したが、性格、操作のしやすさ、そしてアルコンとの血縁関係がほぼ確実であることなどを理由に慎重に選んだ。彼女は英国の製造業、石炭産業、鉄鋼産業の崩壊を引き起こすためにあらゆる手を尽くした。

興味深いことに、サッチャーはロスチャイルド欧州共同体の権力増大に激しく反対していたという評判だったが、彼女の政策は、エドワード・ヒース前首相が英国の産業基盤を解体し金融・サービス産業を優先する青写真を交渉した当時すでに合意されていた変化そのものをもたらした。

サッチャーはロスチャイルド家が要求した通りのことをした。金融の自由化、いわゆる「ビッグバン」による規制緩和だ。

ロンドンの金融センターは、ロスチャイルドが支配するゴールドマン・サックスや世界経済システムのような寄生虫に扉を開いた。

ビッグバンは、ロンドン市をヨーロッパ最大の金融センターとしての地位を確固たるものにした重要な改革でした。

ヨーロッパ全域の貿易障壁を撤廃した単一欧州法と欧州連合のためのマーストリヒト条約は国家主権を根本的に侵食したため、「経済的」という語は削除され、その語は「欧州共同体」に変化し、その後さらに「欧州連合」へと変更されました。その後、欧州中央銀行と単一通貨が創設されました。

欧州中央銀行によって管理される中央集権的な統制、単一通貨、地域行政、共通の労働法、交通、産業政策を備えたヨーロッパという概念は、まさにヒトラーとナチスがヨーロッパのために計画していたものなのです。

憲法は条約に変わり、ヨーロッパの全体主義国家を強制した

。

政策は、すべてが整って状況が回復不能になるまで、何十年もヨーロッパの国民に嘘をつき続けてきた。国民投票の結果、権力のさらなる集中化を阻止する票が出た数少ない機会に、彼らはそれを単に無視するか、疑わしいことに別の投票を強行した。彼らが望んだ決定を得ると、*国民投票はもう行われなかった。*

フランスとオランダが提案された欧州連合に反対票を投じたとき、憲法は、通常であれば二度目の投票では覆されない程度の差で可決されたが、官僚たちは、条約の憲法の 98% を保持したまま、単に名前をヨーロッパ憲法からリスボン条約に変更した。そして、フランスとオランダが後に「反対」票を投じたのは、憲法に賛成だったと宣言した。憲法が条約になったため、これらの票は無効となった。

2009年に発効したリスボン条約は、欧州理事会議長という新しいポストを含め、官僚機構の中央に非常に大きな権限を与えたため、公共政策全般にわたる中央集権化と主権の侵食のスピードは、まったく新しい段階に入った。**権力が集中すればするほど、中央集権化をさらに加速させる力が中央に強くなる。**

ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、イタリア、スペインの計画的な経済崩壊は、解決を必要とする巨大な問題を生み出しており、現在提案されているのは、最初から彼らが作り出した問題を「解決」するために、すでに縮小している国家主権の残りを消滅させることです。これは、ヨーロッパの全体主義国家への道の上でもう一つの巨大な成果につながる、よく知られた**問題-反応-解決戦略**です。

ユーロはそれ自体が目的だったわけではありません。最終的な計画は、単一の世界通貨です。ユーロは、主権を象徴する、それまで存在していたすべての個別通貨を排除するためのトロイの木馬でした。その計画は、最終的にユーロと米ドルを破壊し、完全な世界的統制を意味するグローバルSDR通貨に移行することです。

ユーロ危機は、モネが言ったように、ロスチャイルドの他の2人の取り巻き、マリオ・ドラギとジャン・クロード・ユンカーと協力して、EUのさらなる中央集権化と統合に向けた新たな提案を起草するための口実として作られたものだった。

言い換えれば、欧州委員会とECBのいわゆるリーダーたちは、影で書かれた脚本に従う大物インサイダーたちだ。英国のガーディアン紙にリークされた7ページの文書は、経済危機の課題に対処するために**銀行同盟の設立に向けた迅速な行動**、続いて完全な経済・政治同盟の設立を求めている。1952年にジャン・モネが述べたように、

「これは、それぞれが経済的目的を持つように見せかけた段階的なステップを踏むことで達成できるが、最終的には不可逆的に連邦制につながるだろう。」

バローゾ氏は欧州議会での「一般教書演説」で次のように述べた。

「(組織的に作り出された) 債務危機に対する唯一の解決策は、一貫した外交・防衛政策を伴う『深く真の経済・通貨統合』、政治的統合をもたらす新たな条約となるだろう。」

ヨーロッパを全体主義国家に変える陰謀：

西側諸国は、ソ連があまりにも悪質であるため、ソ連に対して冷戦を扇動せざるを得ないと宣言し、その結果、「自由を守る」ために核兵器が信じられないほど増加した。

そして今、EUは別名ソ連であり、官僚独裁を欧州議会の背後に隠そうとしている。欧州議会はすべての提案を承認する義務があるが、実際の権力は官僚にある。真の権力の中心はブリュッセルであり、EU委員会は選挙ではなく任命されたバローゾ氏と現在はユンカー氏が率いている。彼らは言う。

「**国民国家は過度に民主的であるがゆえに危険である**。世界で最も民主的な機関が下す決定は、非常に多くの場合間違っている。」

さて、もしこの資料の読者が、これがすべて国民の最善の利益であると信じるべく操作されているのなら、それは本当に天才的なこと

だ。なぜなら、国民の奴隷化が実際に起こっていることは明白であるはずだからだ。選挙で選ばれていない委員会、大統領と選挙で選ばれていない委員の内閣を通じて法案を提案し、理論上は議会と欧州連合評議会（各加盟国の大臣によって構成される）の組み合わせが、それを受け入れるかどうかを決定するだけだ。実際には、プロセス全体は初日から完全に仕組まれている。

明白な事実、EUを経済的に破綻させた無能さや、破滅に直面している国々を他国からの援助で救済せざるを得ないような強制的な経済政策ではない。

もし問題が無能さだけなら、課題ははるかに単純で、無能な人を有能な人に置き換えることに集中するだろう。しかし、そうではない。彼らは、秘密裏にあらかじめ設計された解決策を求めて**巨大な問題を作り出すことを目的とした、計算された無能さの議題に従うことに非常に長けている。これは、ヨーロッパを全体主義国家に変えるための陰謀である。EUはモンスターになったのだ。**

経済を活性化させるには、権力の集中化が重要であり、

「自由貿易」は、現在 EU で起きているのとまったく同じように、法律、規制、経済、法執行、軍事の世界標準化を正当化するために使用されています。これらはすべて、世界政府、軍隊、その他すべての創設に向けた大きな一歩です。これらの人々はすべて嘘つきで詐欺師であり、前述のように、アルコンが知っているのはそれだけです。

EU は、選挙で選ばれていない官僚、テクノクラート、そして「専門家」が抑圧された人間社会に命令を下す、いわゆるポスト工業化、ポスト民主主義社会の代表的な例です。これは目撃することができます、日々展開しています。

上記の問題-反応-解決の例は全体主義へのロードマップを示しており、これらはアルコンが個人と大衆の認識を操作するために最もよ

く使用され、最も効果的な手法です。これを認識することで、主流メディアを通じてマシンガンのように私たちに撃ち込まれる、彼らが毎日仕掛ける問題、災害、紛争にだまされにくくなります。

手遅れになる前に、今すぐ目を覚ましてこの全体主義を止めることが私たち自身の利益になります

。

私たちは、リーダーたちがまだ予想していない変化に向かっています。

イタリアのコメディアンから政治家に転身したベッペ・グリッロはEUについてこう語る。

「我々は、指導者たちがまだ予想していない変化に向かっています…

世論は概してかなり否定的で、「スプレッド」、「財政協定」、「マスターパラメータ」といった不可解な流行語が飛び交っています。そして、これらのパラメータは、私たちの税制を閉じ込める比喩的な檻を形成しています。結局のところ、私たちの政治プロセスと金融システムはこの罠の中にあり、そこから抜け出せなければ、改善の望みはありません。このような経済は完全に見当違いであり、イタリアだけでなく、ヨーロッパにとっても、世界の他の地域にとっても不十分です。

成長、成長、雇用、そしてまた成長… これからの 10 年間で雇用は 50 パーセント減少するでしょう。最初に職を失うのは、テクノロジーとロボット工学によって追い出される中流階級の最貧困層の人々です。ネットワークはより高度化します。私たちは、リーダーたちがまだ予想していない変化に向かっています。

緊縮財政という言葉には、良い意味もあるかもしれない。緊縮財政とは、経済の主要目標が資金を節約することだ。しかし、問題は、

我が国の経済が節約を優先していないことだ。我々は、家族の価値観を危険にさらし、自国を売り渡すことを余儀なくされている。我々は、すべてを売り渡すことを余儀なくされている。金属生産工場、ファッションハウス、漁業、農業、ワイナリーなど、我が国の主要資産すべてが今や危機に瀕している。

ミラノは、国際的な食品産業展示会の開催地であるが、スポンサーはマクドナルド、ノバルティス、コカコーラである。私たちは混乱した世界に生きており、理解するために立ち直る必要がある。 それ。

そして、もしそれを理解できなければ、私たちはますます簡単に餌食になってしまうでしょう。

解決策：

解決策は単純であると同時に根本的です。第 23 章ですでに説明したように、既存の民間管理による負債ベースの通貨システムから、国民が選出した政府を通じて発行する負債のない通貨への変更です。

TBTF（大きすぎて潰せない）銀行は破綻させ、救済は一切行わない。人民の政府が通貨量を管理すべきであり、通貨管理によって好況や不況を引き起こす民間銀行家が管理すべきではない。

銀行は銀行に預けているお金しか貸し出せず、それ以上のお金を得るためには市場で競争しなければならない。銀行は 100%準備金を実現するためには、現在の「部分準備金」政策は廃止されるべきである。

1000年以上の歴史を持つ世界最古の議会を持つアイスランドの例に倣いましょう。アイスランドは国民の93%の支持を得て過去の問題と戦い、その後の国民投票では70%がEU加盟に反対しました。アイ

スランドはまさに、EU加盟国が従わなければならないことを成し遂げたのです。

まず、2 時間かけて[このビデオを見てください](#)。これは素晴らしいドキュメンタリーで、非常に興味深く、有益です。このビデオでは、変化をどのように達成できるか、また達成しなければならないかを詳細に説明しています。

大きな変化をもたらす改革:

今日、私たちの狂った通貨システムでは、政府は私たちのお金を借りて存在させ、それに利子を払わなければなりません。これが国家債務と呼ばれるものです。私たちのお金はすべて借金から生まれます。現在の苦境への答えとして国家債務の削減に焦点を当てている政治家は、おそらく国家債務が本当は何なのかかわかっていません。国家債務を削減することは私たちのお金を削減することを意味しますが、そのお金はすでに少なすぎます。

この問題の根源にたどり着くには、それよりも深く考えなければなりません。そうしなければ、決して解決できません。解決策は新しくも急進的でもないのです。アメリカはかつてそれをやりました。政治家たちは、大銀行家たちと争っていました。それはすべて歴史書に記されていますが、悲しいことに、今は遠い過去の名残です。しかし、なぜもう一度やらないのでしょうか。なぜ**借金のない**独自のお金を発行できないのでしょうか。皆さん、それが答えです。改革について話しましょう。それが、地球規模ですべての人の生活に大きな変化をもたらす唯一の改革なのです。

「ロスチャイルド家が世界を支配している」と「ユダヤ人はガンとエイズの治療を差し控えている」

ヨルダンのテレビ局は最近、ロスチャイルド家に関する番組を放映した。番組によると、ロスチャイルド家は「米国の建国者」であり、世界の資源、メディア、銀行の多くを所有しているという。番組

にはヨルダンの経済アナリスト、モハメド・サミ・アブゴーシュのインタビューも含まれており、アブゴーシュは「ロスチャイルド家との取引を拒否する指導者は暗殺される」と語った。アブゴーシュとテレビ司会者のリタ・アルタジは、フランスを統治しているのはマクロン大統領ではなくロスチャイルドであり、「米国や強力な英国王室でさえ英国を統治しているわけではない」という点で一致した。彼女とゲストは、ロスチャイルド家が米国を暗殺したことに同意した。

リンカーン、ケネディ、ガーフィールド、ハリソン、タイラー、ジャクソン大統領。アブゴーシュ氏はさらに、ユダヤ人が武器、製薬、海運、農業産業を支配し、莫大な利益を確保するために癌やエイズの治療法を世界から隠していると述べた。[この番組はアルタジエテレビで放映された。](#) 6月24日。

39. 欧州連合の欺瞞

- GDPは上昇する一方で、生活の質は低下しています。
- 第三勢力ブロック。
- 機能不全の独裁的寡頭政治。
- ヨーロッパにおけるダイナミックな拡張主義国家、ドイツ。
- EUは深刻な問題を抱えている。
- 監禁による高利貸し。

GDPは上昇しているのに、生活の質は低下している。

EUの無能さ 繁栄を繰り返し約束するという政府の政策は、依然として空虚に響く。9年間の苦い不況の後、今やEU圏は貧弱な成長を記録するのがやっとだ。すべての主権国家政府は、有権者に輝かしいイメージを見せるためにGDPを使用する。しかし、このGDPは現実からかけ離れた概念である。しかし、人々はこの幻想に基づいて現実世界の政策を策定する。GDPをさらに押し上げ、失業率を下げ、インフレ率を精緻化することは、現実とは程遠い。すべての政府は、新たな融資を得る目的で数字をごまかしている。紀元前5世紀のギリシャの歴史家ヘロドトス（紀元前484年～425年）はペルシャ人について書いている。

「彼らにとって、嘘をつくことは最大の恥辱であり、次に借金をすることは…特に借金をしている者は必然的に嘘をつくと彼らは考えている。」

no²eu

つまり、嘘をつく政府は何も目新しいことではない。なぜなら、これらの嘘は、政府が代表する義務を負っている現実にとって代わるからだ。つまり、生活の質が低下しているにもかかわらず、GDP は上昇し、失業率は低下しているが、何千万人もの人々が仕事を見つけられず、仕事探しをやめている。そして、生活費が上がっているのに、インフレ率は低いと彼らは言う。したがって、GDP の偽りやその他の数字は捨て去ろう。

EUは経済史に新たな悪夢の一章を加えようとしている。

ユーロ支持派の単一通貨熱は豊かな未来を約束した。

ブリュッセルの誇大宣伝は、代わりに経済破綻を招いた。地中海の住民は、狂った緊縮財政と浪費家の政府による経済の過食に不満を抱いている。EU 諸国が緊縮財政を余儀なくされている中、ブリュッセルの EU は、驚くべきタイミングで、毎年数十億ドルずつ物議を醸す予算を拡大することを決定した。馬鹿げていると思いませんか？

これは、EU の無能さを示すもので、彼らは重税を課せられた市民よりも他人のお金の方が有効に使えると信じている、自己満足的で傲慢な階級である。彼らの財政管理の失敗により、EU は数百億ユーロの未払い請求書を抱え込むことになった。EU 自身の監査人でさえ、健全な財政管理の欠如にまったく感心していない。彼らは過去 23 年間、EU の会計を一切承認していない。これは、彼らの機能不全の機構の完全な無責任さと、横柄な EU の崩壊の種である明らかな蔓延する無能さの根底にある。

ドイツ人でさえ、ベルリンが南の隣国を救済するために、図書館の閉鎖やその他のドイツ的な公共機能不全に苦しめられたことには感心していない。銀行は依然としてEU回復の大きな弱点である。事業拡大のための資金が供給されていないことは非常に憂慮すべきことだ。

誤った救済プログラムの無益さはさておき、銀行が中規模企業に融資していないのが実情だ。それが回復を妨げている。ここにEUの最終的な破滅の最終要素がある。エコノミスト誌はこう書いている。

IMFによれば、銀行に対する補助金総額は英国と日本で最大1100億ドル、ユーロ圏では3000億ドルに上る。先進国全体では6300億ドルとなり、歪みはスウェーデンのGDPよりも大きく、大手銀行1000行の純利益よりも大きい。

企業社会主義の失敗:

デジタル時代は経済の大きな飛躍であり、大衆の繁栄を拡大する革新的な可能性に満ちている。悲しいことに、EUの大きな利害関係者はアナログ産業時代に苦しいまま立ち往生している。ヨーロッパはインターネットの導入が遅く、官僚的な規則にいらだち続けている。クッキーポリシーを読んだり、特許申請の煩雑な手続きを何回経験しただろうか。これらはすべて、革新を阻むだけだ。

それを大局的に捉えるには、たとえば世界で最も技術的に進んだ国の一つである韓国を見てください。韓国は一人当たりの技術で米国やヨーロッパのどの国よりも進んでいます。さらに、東アジアの多くの国、特にシンガポール、香港、台湾、日本、そして最近では中国は、何十年にもわたって猛スピードで進歩してきました。これは部分的には社会的な精神によるものですが、主にこれらの国が米国やヨーロッパが黄金期にあったように、非常に低税で規制の少ない管轄区域であるためです。

各国の指導者はEUに集結した泥棒政治家たちによって騙され、苦勞して稼いだ資金を故意に流用してきた。

EUは企業に対して漠然とした社会保障や補助金の支給を戦争で終わらせようとしているが、それでも実際に働いているヨーロッパ人の賃金は低く、生産性は低いままである。一方で、終わりのない官僚

主義で企業を壊滅させ、多国籍企業がEUの企業社会主義の悪徳商法に積極的に加担し続ける状況が続いている。

未来は、大規模な多国籍企業にあるのではなく、中小企業や協同組合にある。ヨーロッパが失われた経済的威信を取り戻すには、企業社会主義の失敗を認め、前進しなければならない。成長と革新は、下から奨励されなければならない。それはおそらく、EUを解体して、単純な自由貿易圏に戻り、個々の創造的企業に力を与えることを意味するだろう。

EUがいかに急速に他国に「民主主義」と「欧州の人権基準」の導入を要求しているかを考えると、この進行中の経済危機の中でブリュッセルが自国民をいかにひどく扱っているかを見るのは、息を呑むほどの傲慢さだ。ヨーロッパの悲劇的な失われた10年は、繁栄ではなく、国民の貧困をもたらす方向に進んでいる。

痛烈な対照をなすのは、ブリュッセル議会で欧州議会議員らが、多額の補助金が支給されるクリスマス メニューにフォアグラを入れることについて議論していたことだ。もちろん、取り上げられたのは動物福祉の問題だった。EU は国民からあまりにもかけ離れているため、ブリュッセルで安楽な暮らしに疑問を呈することはまったく理解されない。

特別に作られた利益団体が加盟国と意見の異なる欧州連合の議題を方向付けるとき、この超国家的な事業の本質が痛々しいほど明らかになる。なぜなら、これらの独裁的な特別利益団体が、個々の加盟国の利益にならない地域政策を圧迫するからだ。このことは、ハザール人が扇動したロシア貿易ボイコットや、ブルガリア、セルビア、ハンガリー、イタリアを通る予定のロシアの南ストリーム天然ガスパイプラインの建設をめぐる論争ほど、明白な例はない。

サウスストリームは夢物語だ：

このパイプラインは、通過する各国と、パイプラインの両端のエネルギー市場に多大な利益をもたらします。パイプラインから最大の利益を得ることになるこれらの国々の人々と政府にとって、この取引は魅力的な長期投資です。

一方、EU を現在指揮している特別利益団体にとっては、これは、現在の EU の集合的な境界を越えて拡大を続け、企業金融覇権を握るという彼らの計画に対する直接的な脅威となる。

「欧州委員会はロシアのサウスストリームガスパイプライン計画に反対しているが、オーストリアやイタリアなど一部のEU諸国は、ウクライナを迂回してロシアの天然ガスを輸送することを目的とした世界で最も費用のかかるパイプライン計画を公然と支持し続けている。ロシアは、モスクワタイムズ紙によると、400億ドル近くかかると推定されるサウスストリームガスパイプライン建設のため、イタリア、ブルガリア、セルビア、ハンガリー、ギリシャ、スロベニア、オーストリア、クロアチアと二国間協定を結んでいる。しかしガスプロムは最近、パイプラインのイタリア部分の建設を断念すると発表した。」

欧州委員会は2013年12月にこれらの協定をEUの独占禁止法違反とみなし、2014年4月、ロシアによるクリミア半島の併合を受けて、欧州議会はサウスストリーム計画の中止を可決した（承認）。

そのため、EUがパイプラインを支援する意思がないため、ロシアはサウスストリームプロジェクトから撤退せざるを得なくなり、ガスの流れは他の顧客に向けられることになる。それに応じて、ウラジミール・プーチンはトルコに目を向け、トルコのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領との会談後に次のように述べた。

「欧州委員会の姿勢は逆効果だったと我々は考えている。実際、欧州委員会は[サウスストリームパイプライン]の実施に何の支援も提供しなかったばかりか、我々の見方では

、その実施を妨げる障害が作られた。欧州がそれを望まなければ、それは実施されないだろう」とロシア大統領は述べ、さらにこう続けた。「我々は他の市場を推進し、欧州は少なくともロシアからは、その量のパイプラインを受け取ることはないだろう。我々はそれが欧州の経済的利益に合致せず、我々の協力関係を損なうと考えている。しかし、それが我々の欧州の友人たちの選択なのだ」

欧州委員会は加盟国に対し、プロジェクトから撤退するよう圧力をかけており、ブルガリアの新政権は、ブリュッセルの許可なしにガスピロムがパイプラインを敷設することを認めないとしている。プーチン大統領は、ロシアはトルコの増大するガス需要を満たすために新しいパイプラインを建設する用意があり、そのパイプラインには南欧の顧客向けにトルコとギリシャの国境に特別なハブを設置することも含まれる可能性がある」と述べた。

さて、ブルガリアとハンガリー（ちなみに両国は常にEUの「戦略」に反対してきた）は、自国民にこの大失敗を説明し、ブリュッセルに圧力をかけ続ける必要がある。結局、サウスストリームが実現しなければ、両国は巨額の損失を被ることになるだけでなく、ガスも手に入らなくなる。

ロシアは依然として黒海の海底パイプラインを建設する権利を持っているが、今度はトルコに転用され、重要なことに、サウスストリームと同じ量のガスを汲み上げることになる。転用は完全にビジネス上の意味がある。トルコは

トルコはガスピロムにとってドイツに次ぐ第2位の顧客であり、ブルガリア、ハンガリー、オーストリアを合わせたよりもはるかに大きい。これはトルコがユーラシア経済ベルトの主要拠点として特権的な地位を獲得し、同時に中国の新シルクロードに加わることを意味する。

もしEUがトルコをブロックすれば、トルコは東に目を向けるだろう。それがユーラシア統合の進行だ。ロシアは、将来の真の成長市場はアジア、特に中国であり、不安に駆られ、停滞し、緊縮財政で荒廃し、政治的に麻痺したEUではないという、もう一つの鮮明な証拠を手に入れた。これは、イデオロギーに浸った政治ではなく、地政学的に鋭い影響力を持つビジネスなのだ。

トルコの東方への転換と、イランとの新たな友好関係は、中東に大きな地政学的変化を引き起こしている。重要なNATO加盟国として、この動きは、世界独裁の野望を抱くアルコン血統の一族を打ち負かさず道における極めて前向きな展開である。

EUの動機が何であれ、ヨーロッパはロシアからのエネルギー供給なしには生き残れないだろう。それは実際には次のことを意味する。

「ロシアの石油とガスが世界のエネルギー供給バランスから減れば、世界は生き残れないだろう」。国際ガス連合の代表でフランスのトタルの上級副社長であるジェローム・フェリエ氏は、「ヨーロッパはロシアのガスなしではやっていけない」と語る。

これは、すでに少なくとも25億ユーロを投資しているEU企業にとっても悪いニュースだ。サウスストリーム計画では、ロシアはロシアの天然ガス供給の3分の1をロシアに依存しており、その半分はウクライナ経由で運ばれている。

「ロシアはEUから背を向けることはないだろう。実際、EUのパイプライン計画は実現可能だが、現在の政治情勢では無理だ」

しかし今のところ、モスクワの資金はブリュッセルではなくアンカラに流れており、これはEUの高尚な約束にだまされていると感じている両国にとって重要な地政学的一步である。

第三勢力ブロック：

ロシアの資源と軍事力に西欧の技術が加われば、世界で唯一最強の経済・軍事ブロックになるだろうという憶測が何年も前からあった。そのような和解は理にかなっていない。

対照的に、EUとロシアの同盟は、ヨーロッパにおけるアメリカの影響力を蝕むことになるが、これはワシントンにとって最悪の悪夢だ。ドイツはそのような同盟を準備していたようだが、アメリカはモスクワとヨーロッパにおける自然な同盟国との間に大きな溝を作ることに成功した。これまで何度もそうであったように、アメリカはロシアを中国の温かい抱擁の中に追い込んだため、この干渉を後悔するかもしれない。

アメリカが南北アメリカ大陸を支配し、中国がアジアを支配し、巨大なユーラシア同盟が緩衝材となる三極世界を認める代わりに、ワシントンははるかに対立的な二極世界を作り出すことに成功した。

この非倫理的な動きにより、米国は一方ではあらゆる方向に引っ張られている分裂したヨーロッパを作り出し、他方ではおそらくまったく別の場所にいることを望んでいるであろう台頭する中国とロシアという「赤いコーナー」を作り出した。

どうやらワシントンDCは世界を常に混乱状態に保とうとしているようだ。米国・EU・ロシア間の緊張緩和の代わりに、彼らはウクライナを新ベルリンとする21世紀の新たな冷戦を作り出すことに成功した。

オイルダラーの覇権の上に築かれた西側諸国は、ロシアからの石油とガスの供給なしには生き残れないという破滅的な段階に入っており、今やロシアは西側諸国に石油とガスを物理的な金と引き換えにのみ販売している！プーチンのゲームのひねりは、ロシアのエネルギーを西側諸国に金と引き換えにのみ販売する仕組みが、西側諸国

がロシアの石油とガスの代金を人為的に安くした金で支払うことに同意するかどうかに関係なく機能するということだ。

興味深いことに、ドルの安定を目的として米国政府の特別機関であるESF（為替安定化基金）が金価格を抑制していることは、金融界では**金が反ドルであるという当然の認識として受け入れられていません**。

現在、西側諸国は金と石油の価格を抑えるために多大な努力と資源を費やしている。一方では、既存の経済実態を歪めて米ドルに有利にし、他方では、西側諸国の従順な従属国としての役割を果たすことを拒否したことに対する報復措置として、ロシア経済を破壊するためである。

西側諸国の行動の結果、金や石油などの資産は、西側諸国の莫大な経済努力の結果、米ドルに対して比例して弱体化し、過度に過小評価されているように見える。しかし今、プーチン大統領は、この過大評価された米ドルと引き換えにロシアのエネルギー資源を売却することで復讐している。彼らは、米ドルに対して人為的に切り下げられた金を即座に購入するの**だ！ [これについてさらに詳しく](#)**。

EUは大きな詐欺であり、ウクライナはその次の犠牲者だ...

リチャード・ウォルフ博士「民主主義の実践」がトム・ハートマンに加わる。欧州連合への加盟はギリシャ、スペイン、そしてアイルランド。緊縮財政により、すでに苦境に立たされている経済がさらに悪化した。では、なぜウクライナはEU加盟に近づくことを考えているのだろうか？

[このビデオを見て理解してください](#) 私たち全員が向かう先。

機能不全の独裁的寡頭政治：

EUは自らを自由、安定、繁栄の砦として宣伝しているが、ヨーロッパの人々の代表として行動するのではなく、彼らに命令する覇権的なブロックのようにますますなっているようだ。スローガンは、

「完全で自由なヨーロッパに向けて」

EU委員会が個々の国家に政策を指示し、個々の国家とその国民の両方に利益をもたらす進歩を抑制し始めると、EUの理念は空虚なものに聞こえる。これを考慮すると、EUは国家間の民主的な協力ではなく、地域の権力と資源の独裁的寡頭政治による統合のように見える。

しかし、それはヨーロッパを代表しているように見えますが、それは国別ではなく、地域全体を略奪しようとする特別利益団体の観点からのみです。これについては次の章で説明します。

欧州委員会や超国家的ブロック内の他の機構の機能不全と独裁的な性質は、独自の同盟を構築しようとしている他の国々にとって警告の例となっている。

国家主権を侵害する義務を含む同盟は、同盟などではなく、村がすべての貴重品を一つの金庫に保管し、それを破って略奪するのが望む特別利益団体による覇権的浸透である。欧州市民は、EUの代表者と称する人々との内紛の道を歩み続け、集団の人口、文化、歴史に終止符を打つか、あるいはEUを改革して協力と国家主権が両立する組織にするかを決めなければならない。

経済的に壊滅的なEUは笑いもの。米国にとって重要なのはNATOだけであり、その加盟国の圧倒的多数は、プーチンをミロシェビッチ、サダム・フセイン、カダフィのように扱うワシントンDCの一般的な雰囲気と共有し、敗北を喫している。

ワシントン DC が緊張緩和に前向きな兆候はまったく見られない。現在本格化している冷戦 2.0 の背後にある「論理」は、米国がヨ

ヨーロッパの安定などどうでもいいということだ。オバマ政権は、NATO を先頭にウクライナ反乱を開始したが、それは実際にはユーラシア統合を阻止し、キエフに新しいベルリンの壁を建設するためだった。当面の目標はロシア経済を弱体化させることだが、長期的には政権交代が最大のボーナスとなるだろう。プーチンをヒトラーと同一視するプロパガンダ攻撃はあまりにも過激で、ロシア人は耳が聞こえない可能性が高く、いかなる状況でも米国をもはや信用していない。

アンゲラ・メルケル首相は、ロシアの勢力圏を東欧に広げようとするウラジミール・プーチン大統領の戦略を批判した。首相は、ドイツの欧州支配が一部の国に悲惨な結果をもたらしていることを認めていない。「ドイツ政府はEU内で世界の支配者のように振舞っている」

ドイツはEUの進路を指示し続け、EU内で支配的な勢力であると主張していると、ジャーナリストで作家のエルンスト・ウォルフ氏は言う。EUの問題は構想から始まり、2008年のユーロ危機で露呈したが、解決には至らなかった。EUは紙幣を増刷し、負債を増やすことで問題を解決しようとしているふりをしただけだ。今日の経済状況は2008年以前よりもずっと悪い。このような経済がさらに悪化すると、各国間の亀裂がさらに顕著になり、衝突につながる可能性がある。

ヨーロッパにおけるダイナミックな拡張主義国家、ドイツ：

歴史を振り返ると、「1960年代後半、ドイツはヨーロッパで経済的優位を取り戻し、フランスやイギリスと連携してヨーロッパ統合の最前線に立った。ドイツはすぐにEUの主要な意思決定機関を支配するようになった。つまり、EUはドイツにとってひそかに征服するための道具として機能してきたのだ。」

EUは援助と低金利融資を通じて、毎年、南欧と中央欧全域でドイツの資本主義市場への浸透と金融拡大を促進してきた。ドイツは西欧の課題を設定し、米国の転覆と東欧、ロシア、バルト諸国、バルカン諸国の包囲網から利益を得ながら経済的優位性を獲得してきた。

ドイツが東ドイツを併合していなければ、世界規模での権力の投射は実現しなかっただろう。西ドイツは東ドイツに対する慈善と援助を主張していたが、ボン政権は数百万人の熟練エンジニア、労働者、技術者、工場、生産農場の接收、そして最も重要なことに、数十億ドル相当の東ヨーロッパとロシアの工業製品市場を確保した。

ドイツは、EUの新興の影響力あるパートナーから、ヨーロッパ、特に旧ワルシャワ条約機構の経済圏で最もダイナミックな拡張主義の勢力へと変貌した。米国とドイツは、ロシアを1990年代の従属国状態に戻したいと考えている。彼らは正常な関係を望んでいない。プーチンがロシアの国家と経済を再建しようと動いた瞬間から、西側諸国は一連の政治的、軍事的介入を行い、ロシアの同盟国、貿易相手国、独立国を排除してきた。

現在、ヨーロッパの新自由主義メディアは、旧ワルシャワ条約機構加盟国の一部がモスクワに接近しているという考えに集団的にパニックを起こしている。特にドイツではそうだ。この点を強調するため、メルケル首相のオーストラリアでの演説はロシアに対する厳しい批判に満ちていた。しかし、よく調べてみると、彼らがクレムリンを非難していることは、まさにEUが過去20年間行ってきたことと同じなのだ。

「EUは深刻な問題を抱えている。EU全体で生活水準が低下し、ダブリンからアテネ、マドリードからザグレブに至るまで政治的不安定が広がっている。アイスランドはEUクラブへの加盟計画を撤回し、以前はセルビアやモンテネグロのような断固たる志願国も加盟への熱意を冷ました。」

「アンゲラ・メルケルは、これはロシアのせいだと考えている。それは、ワールドカップでドイツに7対1で負けたことをブラジルのストライカーのせいにするのと同じだ。まったくのデタラメだ。メルケルが本当の犯人を見つけたいのなら、鏡を見ればいい。彼女が11年間率いてきたベルリン政府は、大陸から資金を吸い上げている。周辺国がもがき、中核国が停滞する一方で、ドイツはうまくやっている。これは、EUシステム全体、特にユーロ通貨が、最大の加盟国を支え、残りの国を窒息させているからだ。」

監禁高利貸し：

アイルランドやスペインなどのEU加盟国は、ドイツの低利融資で溢れかえっていた。これは基本的に、一種のキャプティブ・ヤミ金融だった。ドイツの銀行は、自動車から電子機器まで、ドイツ製の商品の購入を容易にするために、簡単にお金を配っていた。2008年にこの計画が破綻したとき、ドイツの債権者は減額を受け入れなかった。その代わりに、罰金はアイルランドとスペインの納税者に転嫁され、ベルリンの厳しい緊縮政策によって、彼らはさらに奴隷状態になった。

「メルケル首相は、ロシアがヨーロッパ諸国にビジネスを強要していると信じているようだ。まったくのナンセンスだ。財政難に陥った政府がベルリンのやり方を見抜き、リスクを回避し始めたというほうが妥当だ。結局のところ、自国の国民の面倒を見るのは主権者の義務であり、フランクフルトの甘やかされた銀行家やミュンヘンの実業家の面倒を見る義務ではない。ドイツがヨーロッパの他の国々に対して傲慢に虐待してきたことが、自らのツケを払うことになる。」

「しかし、ブダペストとブラティスラバでは、首相のヴィクトル・オルバーンとロベルト・フィツォが、自国にとって最適な取引をすることで、有権者にとって正しいことを

している。メルケル首相は、こうしたやり方が自国の商業に対するドイツの全能の締め付けを弱めるとして、非常に憤慨している。オルバーンはまた、モスクワと提携して、サウスストリームパイプラインを推進することにも専念している。なぜか？ ベルリンを弱体化させるためではなく、ウクライナは通過地域として信頼できないため、エネルギー供給を保証するためだ。これはまったく理解できる。オルバーンの仕事はハンガリーの面倒を見ることであり、ドイツに屈することではない。」

「西ヨーロッパのNATO支持派の新自由主義メディアは、苦境に立たされている東側諸国とのロシアの貿易協定を、EUを弱体化させるための卑劣な計画として伝えている。このような主張は大げさでナンセンスだ。ハンガリー、メルケル首相がドイツの資金をばら撒く気があるなら、スロバキアとセルビアは喜んで彼女の餌に食いつくだろう。しかし、メルケル首相はそうではなく、プーチン大統領がそうしているのだ。」

その結果、これらの国々は現在の立場にとって最善のことをしている。そこには何も不吉なことはない。

メルケル首相が理解していないのは、ドイツ自身の国益はロシアとの経済連携の発展にあり、ロシアに対抗する行動ではないということだ。

ドイツは米国から完全な依存以外に得るものは何ともありません。米国はドイツに、すでに持っているもの以外何も提供できません。実際、この2国はハイテクの競争相手です。ロシアとその市場と資源がなければ、ドイツは破滅します。ロシアには商品と資源の出口がありますが、ドイツにはありません。米国はドイツを従属国として維持し、帝国主義的野望のための便利な駐屯地として、空港と基地を利用したいと考えています。

したがって、マルクス主義の用語で言えば、ロシアとの発展と協力というドイツの国益は、NATO加盟国であること、そしてその結果として生じる米国への事実上の従属関係と矛盾することになる。

一方、ドイツの著名人グループは、自国と西側諸国に対し、ロシアとの対話を開始するよう促している。欧州とロシアはともに大陸の平和と安全を確保する共同責任を負っているが、これは「すべてのパートナーが尊重され、すべての人々に平等な安全」が確保されることを通じてのみ達成できるという事実も付け加えている。

手紙にはこう書かれていた。

「ロシアの安全保障上の要求は、ドイツ、ポーランド、バルト諸国、ウクライナの要求と同じくらい正当であり、同じくらい重要である。我々はロシアをヨーロッパから追い出そうとすべきではない。」

バイルインは救済の予防策として売り込まれてきた。

最終的に、EUは認めます。

「経済・金融危機により、金融部門が資金を実体経済、特に長期投資に流す能力が損なわれた。」

解決策は？

長期資金のためにより多くの個人年金貯蓄を動員するための法案について助言を求める」と、[この声明で述べられている。書類。](#)

「**puiscate**」よりも受け入れやすい言葉です。

ロイター自身の言葉によれば、

「欧州連合の5億人の国民の貯蓄は、経済を活性化し、金融危機以来銀行が残した資金の不足を補うための長期投資に利用できる可能性がある。」 [EU 書類](#) と語る。

言及されていないのは、この「使用」は完全に非自発的であり、「連合」の裁量で行われるため、**没収と表現するのが最も適切である**ということ。より正確に言えば、その間に法律となったキプロス式の没収である。

新しい規則は、大規模でリスクの高いデリバティブカジノを抑制するのではなく、[支払いを優先します](#) 銀行は、他の誰よりも先に、デリバティブ債務を相互に負う。これには公的および民間の預金者だけでなく、最新のベイルイン策略「ベイルイン可能」債券のターゲット市場である年金基金も含まれる。

「ベイルイン」は、将来の政府による救済を回避し、大きすぎて潰せない銀行（TBTF）を排除するためのものだと宣伝されてきた。しかし、大手銀行は債権者、つまり顧客から資金を没収することで事業を継続しているため、実際にはTBTFを制度化している。

これは、銀行家や政治家にとっては巧妙な解決策だ。彼らは、また厄介な銀行危機に対処したくないし、法律で解決されるのを喜んでいる。しかし、ベイルインは、国民にとって、救済よりもはるかに悪い結果をもたらす可能性がある。税金が上がっても、おそらくまだ支払いはできるだろう。銀行口座や年金が消えてしまったら、路上生活者になったり、ペットと食べ物を分け合ったりする羽目になるかもしれない。

また、銀行からローンや住宅ローンを借りている場合、銀行は緊急事態に応じてローンを取り消すことができ、自己の貯蓄で全額返済できない場合は、ローン契約書の末尾の小さな文字で規定されているように、資産を没収することができます。

資本主義経済における他の倒産企業の場合のように、銀行の資産が売却され、銀行が閉鎖されるのではなく、「ゾンビ」銀行はいかなる犠牲を払ってでも存続し、営業を続けており、その費用は再び私たちが負担することになる。

最新のベイルイン制度では、TBTF 銀行は、破綻した場合に備えて、リスク加重資産の 16 ~ 20% に相当するバッファーを株式または株式に転換可能な債券の形で保持することが義務付けられています。銀行がこの条件を満たすことはおそらく不可能でしょう。しかし、誰が気にするでしょうか。いずれにせよ、納税者が被害者になるのですから。

ベイルイン債：

「ベイルイン債」と呼ばれるこれらの債券は、債券保有者が、法的に強制されるのではなく、契約上、特定の条件（銀行の破綻など）が発生した場合に、貸し手の資金が銀行の資本金に転換されることに合意することが細則に記載されている証券です。しかし、リスク加重資産の20%でさえ、大規模なデリバティブの崩壊時にメガバンクを支えるのに十分ではない可能性があります。そして、私たち国民は、今度は年金基金を通じて、依然としてこれらの債券のターゲット市場です。

長期債券保有者である年金基金や保険会社以外に、ベイルイン債の市場がどのようなものになるかは不明だ。現在、コンティンジェント・キャピタル債の保有者のほとんどは短期的な利益に重点を置く投資家であり、危機の兆候が少しでも表れると逃げ出す傾向がある。

2008年に同様の債券を保有していた投資家は大きな損失を被った。

ロイターが実施した潜在的投資家への調査では、多くが再びそのようなリスクを負うつもりはないと答えた。銀行や「影の」銀行は「伝染の恐れ」のため、ベイルイン債の購入者から明確に除外されて

いるが、もし銀行や銀行が互いの債券を保有していれば、同時に破綻する恐れがある。

年金基金が減少するかどうかは、どうやら問題ではないようだ。

アメリカの銀行は280兆ドル以上のデリバティブを帳簿に載せている。EUの銀行でもその額はさほど変わらない。デリバティブの取引で最大の利益を上げているが、デリバティブバブルが崩壊するとその利益が最大の損失に転じる可能性がある。したがって、キプロスから学んだように、銀行にお金を預けておくことは最も安全な場所ではなく、苦勞して貯めた貯金を守りたいのであれば、そのほとんどを貴金属に変えて個人的に保管する方がよい。

非遵守を通じて貯蓄を保護する：

おそらくほとんどの読者がすでに知っているように、EU はロスチャイルド ネットワークによって所有されており、すべての市民から金を奪うことをためらいません。彼らはあなたの貯金、そして年金基金さえも狙っています。銀行システムからお金を引き出し、小さなコミュニティを形成して、食料を育て、お金をかけずに物々交換することで、電力網から離れて暮らすこと以外に身を守る方法はありません。私たちは考え方を変えなければなりません。イルミナティは私たち全員を奴隷にしようとしているのです。彼らの最悪の悪夢は、私たちが従わないことです。つまり、世界が着実に陥っている彼らの狂気を受け入れず、税金を払わず、銀行が差し押さえたときに家を出ないことです。 **どんな形であれ、自分自身の奴隷化に従うことをはっきりと拒否してください。**

米国のハザール政府は世界覇権（NWO）を目指しており、ロシアがそれを阻止している。

米国はすでにヨーロッパ、カナダ、オーストラリア、日本を従属国に仕立て上げている。ロシアに対する制裁や領事館閉鎖などの最近の決議は、単に彼らの目的である世界覇権を達成するための手段に

過ぎないと、元米国財務次官補のポール・クレイグ・ロバーツ氏はRTで語った。

ロシアは、米国が世界覇権のイデオロギーを持ち、いかなる国も主権国家になることや独自に行動する見込みは認めないことを理解する必要がある。米国の従属国にならなければならない。米国がヨーロッパ、カナダ、オーストラリア、日本をすべて従属国にしたように、米国がロシアと中国を受け入れることができるのは、それが唯一の条件だ。米国は、自らの利益を追求する主権国家、独立国家としてロシアと中国を受け入れることはないだろう。

ロシアとその指導者の悪魔化は続くだろう。状況はますます敵対的になるだろう。それはなくなることはないだろう。なぜなら、米国は、ロシアと中国に対する覇権を含む、米国の世界覇権というネオコンの思想に導かれているからだ。ロシア政府が事実に関与すれば、大いに驚くことになるだろう。なぜなら、ワシントンは事実に関与しなくとも興味がないからだ。サダム・フセインは大量破壊兵器を持っていたのか？シリアのアサドは自国民に対して化学兵器を使用したのか？イランは核兵器を持っていたのか？もちろん、持っていない。そしてもちろん、ワシントンDCはこれらの問題についてその都度わざと嘘をついてきた。

彼らは、アドルフ・ヒトラーが宣言したのと全く同じ行動をとっている。

「昨夜、ポーランド軍が国境を越えてドイツを攻撃した」

違いはありません。米国はウクライナ政府を転覆させ、その後ロシアが同国を侵略したと非難しました。これは露骨で明らかなプロパガンダであり、ロシアを悪魔に仕立て上げるために計画されたものなので、強調する価値もありません。これが唯一の目的です。消えることはありません。[このビデオインタビューをご覧ください。](#)

オイルダラーのキラー：

プーチン大統領が金利を17%に引き上げた後、アメリカはルーブルをさらに下落させるよう操作することにした。彼の次の策は、自国通貨を部分的に金で裏付けることであるかもしれない。これは、金で裏付けられた信頼できる通貨との競争に突如直面することになり、米ドルに打撃を与える可能性がある。他の中央銀行は、少なくとも一部のドル準備金を、利子の付く金で裏付けられたルーブルに分散させる可能性が高い。

ルーブルは依然、整合性を模索しているが、ひそかに金に裏付けられているが、西側メディアはこれを報道することを許されていない。

ロシアから石油を輸入している国々は、ロシアからの石油輸入代金をルーブルで支払い、制裁を回避できるようになるため、そうするさらなる動機を持つことになる。

[このビデオを見る](#) その中で、貯蓄を確保したい人は誰でも、必ず起こる出来事に対する保険として金や銀を買うべきだと説明されています。

40. 未来への展望

- 世界的なファシスト/共産主義独裁政権。
- 終わりの始まり。
- 信用が崩壊しても現金は残り、物理的なお金だけを信頼する。
- 金に対する戦争。
- 金融詐欺。
- 安易なお金は通貨システムを腐敗させる。
- 警察国家。
- アジェンダ21プログラム。

- 知識は力です。
- 選出された代表者のイメージ。

写真:

ギリシャでは、銀行が閉鎖され、店の窓が割れ、店は空っぽで、絶望した人々がいたるところで見られる。あなたの近所でもすぐに同じことが起こると想像してみしてほしい。最初は、何が起きているのか誰も本当にはわからない。人々は辺りを見回し、倉庫の食料はいつまで持つのか、この状況がすぐに解決されなかったらどうしたらいいのかと疑問に思う。政府と銀行の最高レベルが、システムの不穏な崩壊に対して必死の最後の抵抗に身を投じていると描写されているため（実際はそれが彼らの本当の意図である）、人々は秘密裏に新世界秩序へと操られている。誰もこれを可能性として予想したり、考えたりすることはなかつただろう。

指導者たちはこの問題を封じ込めるために何兆ドルも費やしてきたが、今やその戦いに負けそうになっているようだ。

突然、人々は銀行口座から締め出され、現金を引き出したり小切手を預けたりすることができなくなり、株式市場は制御不能に大きく変動し、人々の社会保障や退職金は人々の口座に振り込まれなくなります。ATMは機能せず、お金は引き出せません。クレジットカード、デビットカード、すべての電子マネーが停止するため、現金はなくなります。

主流メディアが社会が直面している危険をほぼ完全に無視しているため、人々は準備ができていません。今日、大多数の人々は、頭上に暗雲のように垂れ込めている不穏な脅威についてまだ何も知りません。

「公式記録はありませんが、EUでは毎月1兆ドルから1兆5千億ドルのお金が動いていると推定されています。人々は食べ物や牛乳を買い、ベビーシッターに支払います。住宅ローン

や税金も支払います。消費者支出だけでも年間約11兆2千億ドルです。しかし、実際に存在するユーロやドル、つまり物理的なお金は、全世界でわずか1兆2千億ドル分しかありません。」

「推定では、米ドルの50%から75%は海外の銀行口座にあるか、外国政府によって保有されています。残りは「デッドマネー」と呼ばれ、マットレスや貸金庫に詰め込まれています。実際、このようにして蓄えられている米ドルとユーロの量は、現在、過去最高に達しています。」

信用システムは破綻している。

「1970年代以降、信用システムは最大かつ最も重要な資産に成長しました。アメリカのすべての住宅の価値を合計した値の2倍以上です。米国のすべての銀行の資産を合計した価値の3倍以上です。米国政府が毎年徴収する数兆ドルの20倍以上です。しかし、それは最大の負債でもあります。」

「なぜなら、ある時点で、人々が返済されると信じた場合にのみ、そのすべての信用が存在できるからです。つまり、システム内に60兆ドルの未返済信用をすべて返済するのに十分な資金があると人々が信じた場合です。」

真実は、それだけでは十分ではないということです。信用システムは破綻しています。そして、それが破綻すれば、それは間違いなく起こるでしょうが、歴史上のどの危機よりも多くの富を失ってしまう可能性があります。これを例に挙げると、2008年の金融危機では10兆2000億ドルが消失しました。今度の危機では、その**6倍**の金額が消失すると推定されています。

現代の西洋世界では、長く複雑な生産と流通の連鎖によって食卓に食べ物が並び、車にガソリンが入っています。10人中8人が都市や郊外に住んでいます。自分の土地にある自分の庭で自給自足でき

る人はほとんどいません。農家自身でさえもです。その代わり、彼らは皆、信用に頼っています。まず、農家は銀行から融資を受けて農場を購入します。次に、信用を利用して資材、燃料、肥料、種子などすべてを購入します。作物が十分に成長すると、倉庫と加工センターを建設するための融資を受けた卸売業者が信用を利用して農家から生の食材を購入し、加工して包装します。

次に、トラックを購入するために自動車ローンを組んだトラック運転手が、クレジットを使って燃料を購入し、食品を小売店に運びます。小売店は、照明をつけ、棚に商品を補充し、店舗を営業し続けるためにクレジットが必要です。このチェーンの各部分は、最終的に消費者が多くの場合クレジットカードを使用してその食品を購入することを知っているため、その負債を負う余裕があります。

お金の流れの重要な部分である信用が機能しなくなると、突然、郊外や都市は食料供給から切り離されてしまいます。企業は運営できず、従業員の給料を支払うこともできなくなります。信用システムが崩壊し始めると、経済を動かす仕組みが破壊されるだけでなく、人々のお金へのアクセスも遮断されます。

現金が 2,500 億ドルしかないのに、貸し手が 60 兆ドル相当の信用を償還しようとしたらどうなるか想像してみてください。ユーロとドルは極端に不足し、価格は急騰し、銀行は破綻するでしょう。

実際、システム全体が停止するには約 3 時間しかかかりません。不可能に思えますが、これは事実です。なぜなら、2008 年に信用システムが前回崩壊の危機に瀕したとき、まさにそれが起こりそうになったからです。FRB が介入して 26 兆ドル、さらに秘密裏に何兆ドルもの資金をシステムに積極的に投入していなければ、ウォール街のすべての銀行が破産していたでしょう。政府はこれらの数字について嘘をつき、1 兆ドルをわずかに超える程度だと主張していました。信用は信頼の上に成り立っています。2008 年にリーマン

ブラザーズで巨額の信用枠を持っていた人物は、信用が消えたために倒産しました。

信用が崩壊しても現金は残る。信頼できるのは物理的なお金だけ。

しかし、現金と信用には大きな違いが 1 つあります。危機では信用が崩壊します。現金は、たとえ何の裏付けもない現金であっても、物理的で実体のある存在であり、残ります。株式市場が半分に落ち込んだとしても、その紙切れは残ります。水や食料の購入に引き続き使用できます。

すぐに食料供給チェーンの弱い部分に広がり、都市部や郊外で大規模な不足を引き起こすだろう。ガソリンスタンドのネットワークにも同じことが起こり、高速道路は空になるだろう。そして、銀行から食料品店、政府まで、人々が頼りにしているあらゆるサービスが一つずつ閉鎖されるだろう。したがって、ギリシャから得られる貴重な教訓は、人々は手に持つことのできないお金を信用すべきではないということだ。

最も裕福で、最もコネのある人々の中には、すでに準備を始めている人もいる。金や銀を購入している人もいる。危機の直後には、実物のドルやユーロが非常に不足することが予想される。信用崩壊の際には、画面上の数字は役に立たない。

だからこそ、この本の他の部分をすべて無視したとしても、少なくとも 1 か月分の費用を賄える「緊急」現金を自宅に用意しておくことの必要性を理解していただければ幸いです。しかし、危機の際に持つべきお金は、現金のユーロやドルだけではありません。非常食や水、避難所、薪、冬に家を暖めるための煙突などが必要です。

21 世紀の最初の 10 年間の金のスローガンは、「10 年の取引」でした。つまり、金を購入し、株を売るということです。実際、金の価格がすぐに劇的に上昇する可能性は十分にあります。金はまた、

価値の保存手段としても優れています。銀行に預けるのではなく、壊れない貯蓄口座のようなものです。

しかし、ドルが不足し、電子決済が機能しなくなると、金は日常の取引にはあまり実用的ではありません。アルゼンチンの金融崩壊では、アルゼンチン人は物々交換にまったく異なる新しい形態のお金を使うようになりました。自宅にある日用品は、危機の際には貴重品です。これらを保管し、需要が高まったときに利用できるようにしておくことは、先見の明の問題です。大規模な崩壊の後には、異なる取引のための異なるタイプの「通貨」が、取引のためのローカル システムを構築するでしょう。

金に対する戦争：

1930 年代、ルーズベルト大統領は金を禁止しました。民間所有の中央銀行はすべてのお金を完全に管理したかったのですが、実際には RK マフィアが金を自分たちのものにしたかったのです。当時、ドルは金に裏付けられていました。そのため、ドルを管理することは金を管理することを意味しました。

金を手に入れたら、ドルと金の価格を20ドルから35ドルにリセットすることでドルの価値を下げる事ができた。一瞬にして、人々は金で測った富の40%以上を失った。

この禁止令は42年間続き、1975年に解禁された。これは、金合法化全国委員会が禁止令の撤廃に尽力したおかげだ。今日、金を禁止する必要はない。金は、ゴッホの絵画や骨董品のような「単なる資産」とみなされている。金を所有している人はほとんどいない。気にする人もほとんどいない。中央銀行家でさえもだ。少なくとも今のところは、彼らが金にあまり注意を払う可能性は低い。

賢い人は、時間だけでなく万が一に備えて金に頼ります。金は現金の一種であり、伝統的に最良の形態です。金はコントロールできません。金を使って、燃料、食料、その他の富と交換できます。危機的

状況では、多くの問題が発生する可能性があります。金は、危機を乗り越えるのに役立ちます。

金と銀の価格が7年ぶりの安値となっている今日の状況は、まさに現物の金と銀を所有するのに最適な時期です。政府が銀行に預けているお金を管理していることを考えてみてください。いつでも政府は、あなたがそのお金に触れることを禁止すると決めることができます。そして、それに対してあなたにできることは何もありません。

金や銀の現物を所有することで、陰謀団が支配する政府の言いなりにならないことが保証されます。人々が何千年もの間、通貨危機の際に財産を守るために金や銀を購入してきたのはそのためです。銀行が閉鎖され、政府が自分のお金に触れることを許可しなくなったときに財産を安全に保つ唯一の方法なのです。悪夢のように聞こえますが、これはギリシャ人にとって現実となりました。

一般的に、金の価格は不確実性と絶望の時期に上昇します。金は有用です。ビットコインや手元にあるドル/ユーロのように、銀行があなたに負っている通貨とは異なり、金は政府や銀行の支配下ではありません。金を手に入れるために、またはそれを使うために列に並ぶ必要はありません。列に並ぶのを避ける方法として金に頼る人が増えていますが、中央銀行が再び金を禁止する可能性もあります。しかし、金が違法になれば、これまで以上に人々が金を欲しがる世界になるでしょう。

金融詐欺:

「お金」は仮想のものであり、精神的な概念であり、会計システムです。私たちの通貨はクーポンのようなもので、言い換えれば、お金は交換手段です。中央銀行カルテルは、それ自体への負債として、何もないところからお金を作り出します。それは、私たちの政府が無利子で負債なしでできることです。しかし、私たちの政府は少

数のエリートのものであり、私たちのものではありません。新世界秩序の目的は、この詐欺行為を世界的な政治的、文化的、経済的独占に拡大することです。これが[共産主義の本当の意味です](#)。これが、私たちの国家、人種、宗教、性別のアイデンティティが常にオカルトの攻撃を受ける理由です。

政府は実際には存在しないお金を借り入れ、それをさらに悪である国庫に貸し付け、その借金を銀行に売却し、銀行は今度はその架空のお金を国民に貸し付け、その間ずっと、そもそも存在しなかった通貨の借金がどんどん増えていく。最も裕福な人々をさらに裕福にし、貧しい人々をさらに貧しくするために、ますます多くの約束手形が作られる。

ギリシャの口座凍結は、これから起こることのほんの一端に過ぎない。現在、政府高官と銀行システムは、ギリシャで起こっていることに比べれば軽微に思えるほどの、不安をかき立てる金融ショックに対して、必死の最後の抵抗を続けている。そして、それは、これまで考えられなかったような形で人々の生活を混乱させる可能性がある。突然、銀行口座がロックされ、現金を引き出したり小切手を預けたりすることができなくなる。株価は制御不能に大きく変動する。政府管理の支払いは停止する。

覚えておいてください。メディアの偽情報は、金融市場や商品市場を掌握して莫大な金銭的富を蓄積する、世界的な銀行や機関投資家の利益に役立っています。投機家を含む企業体制は、政府間の連絡網をコントロールしています。一方、経済回復の必要条件として国民に提示された「銀行救済」は、人々の富のさらなる横領を促進し、正当化してきました。

巨額の金銭的富は、市場操作と欺瞞によって獲得されます。内部情報と予見力を持つ大手金融関係者は、投機取引の手段を使用して、市場の動きを操作して自分たちに有利にし、競争相手やシステム自

体の崩壊を早め、発展途上国の経済と社会に大混乱を引き起こすことができます。

ギリシャ人の貴重な教訓を心に留め、RKマフィアの計画通り、来たる崩壊によって世界は大混乱に陥り、人々を金で奪い、屈服させて、反抗することなく新世界秩序を受け入れるようになることを他の人々に知らせてください。

これは長年続いている現象であり、彼らの綿密に組織化された問題-反応-解決です。RKマフィアにとっても事態が制御不能になる可能性が非常に高いため、今後数か月を生き残るための準備に充てたほうがよいでしょう。

犯罪で有罪判決を受けなくても、あなたの財産を没収することができます。

政府は現金を廃止しようとしている。有力な経済学者も現金の禁止を主張している。多くの国ではすでに現金の使用制限が施行されている。多額の現金を持つことは、すでに危険とみなされている。

「疑わしい」ため、正当な手続きなしに没収される可能性があります。 - 民事没収法のおかげで、政府は犯罪で有罪判決を受けなくても財産を没収することができます。

バージニア州スタントンで小さなバーベキューレストランを経営する35歳のアフリカ系アメリカ人、マンドレル・スチュアートさんは、2012年にフェアファックスの州間高速道路66号線で軽微な交通違反で警察に止められ、1万7550ドルを没収されたとき、愕然とした。彼は政府との和解で半額を没収されたが、陪審員裁判を要求した。最終的にお金は取り戻せたが、経費を支払う現金がなかったため、店を失った。「そのお金に税金を払った。そのお金のために働いたんだ」とスチュアートさんは言う。「なぜ私がお金を返さなければならないのか？」

[ワシントンポスト紙が昨年報じた](#)ように、警察は9/11以降、捜索令状や起訴状なしに現金61,998件、総額25億ドルを押収した。

政府はなぜ現金を廃止したいのでしょうか。それは明白ではありませんか。政府はあなたとあなたのお金をコントロールしたいのです。あなたはどこでお金を手に入れましたか。政府はすべてを知りたいのです。あなたはそれで何をするつもりですか。政府は発言権を求めます。あなたはそれを「悪い」ことに使うつもりなのでしょうか。- 「テロリスト」を支援したり、脱税したり、違法なタバコを一箱買ったりするかもしれません。可能性は無視できないほど広大です。そして、その議論は魔女狩りを止めるには説得力があります。

安易なお金は通貨システムを腐敗させる：

システムは腐敗しており、危険なほど機能不全に陥っています。しかし、なぜ誰も何も言わないのでしょうか？中央銀行は1980年代から信用調整と戦ってきました。彼ら自身が信用バブルの創始者だからです。そして過去6年間、中央銀行は過去を積極的に、そして攻撃的に守ってきたため、未来はあり得ません。彼らの安易な金融政策はシステム全体を腐敗させました。そのため、経済の真の回復は決してあり得ません。

Zero Hedge は「利点」を次のようにまとめています。経済におけるすべての取引ではないにしてもほとんどの取引が政府によって追跡可能になるため、税基盤が強化されます。- 特に違法行為において、並行経済を大幅に抑制します。人々に貯蓄を消費に浪費させたり、投資に変えさせたりすることを強いることで、GDP と雇用を押し上げます。

警察国家。あなたを殺すことであなたを守る。

押収件数の増加の背景には、全国の警察署に「高速道路取締り」の技術を教える、あまり知られていない民間の警察訓練会社がある。

- こうした会社の一つは、ブラックアスファルト電子ネットワーク & 通知システムと呼ばれる民間の情報ネットワークを構築し、全国の警察が、社会保障番号、住所、身元確認用のタトゥー、どのドライバーを止めるべきかの勘など、犯罪者も無実のドライバーも含めたドライバーに関する詳細なレポートを共有できるようにした。

世界は警察国家になりつつあり、今や警察は残りの人々を「安全」に保つために人々を殺している。しかし、誰も安全ではない。少なくとも、緊急事態やストレスの多い状況では、警察が味方になってくれると期待してはいけない。

オクラホマ州で、2人の男性が水浸しになった車を救おうとしました。2人の警官がやって来ましたが、助けることはなく、2人に車から離れるよう命じました。警官がそれに従わなかったため、銃が発砲され、男性のうち1人が死亡しました。あなたを殺すことで、あなたの安全を守るのです。死体にはほとんど害はありません。墓地は実に安全です。なぜ警官はこれらの男性を放っておけなかったのでしょうか。彼らは、警察官の安全は言うまでもなく、公衆にとってどのような脅威を表していたのでしょうか。もちろん、その答えはありません。彼らの罪は、従わなかったことです。

さらなる施行:

こうした報告の多くは、政府の急成長中の法執行情報システムの一環として、政府機関や統合センターに送られてきた。その情報はプライバシーや憲法上の保護を侵害する恐れがあるという警告にもかかわらずだ。人の生命、自由、財産は安全ではない。それは死や税金と同じくらい確実だ。

2012年8月、ニューヨーク市警察は、マイクロソフトが開発したドメイン認識システムと呼ばれる監視システムを導入しました。このシステムにより、警察は警察車両、橋、トンネル、道路に設置された何千もの監視カメラやナンバープレート読み取り装置を監視し

、標的の人物に関する詳細情報に即座にアクセスできるようになりました。

「優生ワクチン接種者」ビル・ゲイツは、彼の技術が世界中の何百もの警察に販売されていることを喜んでいるに違いない。

録画される可能性なしにトンネルに車では入ることはできない。ニューヨークはアジェンダ21のあらゆる側面において最前線に立っている。

、**同じ納税者とその子供、孫たちを奴隷にするためのインフラ構築**に充てられています。国民を奴隷にする最も効果的な方法の研究開発は、今もなお進行中です。

あなた自身とあなたの家族がこの事態に備えるために、いくつかの重要なステップをすぐに実行することが非常に重要であり、強く推奨されます。

最初のステップは**自己教育**です。アジェンダ 21 を研究して、彼らが悪質な計画のほぼすべての側面の実現をどの程度進めているかを自分で発見し、何が起こるかを正確に把握してください。この状況には多くの微妙な点があり、それらの微妙な点はあなたに大きな影響を与える可能性があります。

アジェンダ21プログラム:

アルコンの血統は、我々が彼らのアジェンダ 21 プログラムを受け入れることを望んでいます。世界の人々にとって残念なことに、これまでのところ、すべては新世界秩序計画通りに進んでいます。

しかし、この新世界秩序計画とは何でしょうか？

アジェンダ 21 は「21 世紀のアジェンダ」と呼ばれ、世界的なファシズム/共産主義を構成しています。アジェンダ 21 に含まれる内容の概要は次のとおりです。「持続可能な」開発（交換できる量

を超えて使用しない) は、一見十分に理にかなっているように聞こえますが、このことと「生物多様性」が陰謀の文脈で実際に何を意味するかがわかると、意味が違ってきます。

「持続可能な開発」と「生物多様性」は、次のことを課すことを目指しています。

- 国家主権の終結
- すべての土地資源、生態系、砂漠、森林、山、海、淡水、農業、農村開発、バイオテクノロジー、そして「平等」、つまり平等な奴隷制の確保に関する国家計画と管理
- 国家は企業と金融資源の役割を定義する
- 私有財産の廃止 - それは「持続可能」ではないため
- 家族の「再構築」
- 国家によって育てられた子供たち
- 人々に仕事内容や住む場所を伝える
- 人々の移動に対する大きな制限
- 「人間居住地域」の創設
- 人々が現在住んでいる土地や家屋から立ち退くことを余儀なくされ、大規模な移住が行われている。
- 教育形態の簡素化は事実上達成された。
- 上記全てを追求するために、世界規模で大規模な人口削減が行われている。

アジェンダ21は、すでに200年以上前に作られた言葉だが、完成段階の目標が今世紀にあることを示唆している。新世界秩序の秘密計画は、冷酷な手段で世界の人口を「自然と永続的にバランスを保ちながら」持続可能なレベルまで減らすことである。

人口および生殖制御による人口抑制計画。家族計画、水と食料供給への有毒物質混入、エイズやエボラなどの兵器化された人工ウイルスの放出、人為的なパンデミック、大量ワクチン接種プログラム、

計画された第三次世界大戦を通じて、人々の大量殺戮が遂行されています。

そして、アジェンダ 21 は、大幅に減少した世界人口に、世界政府、世界宗教、世界軍隊、世界中央銀行、世界通貨、そして最適な管理のためにマイクロチップを埋め込んだ人口を持つ世界的な封建ファシスト国家を押し付けるでしょう。つまり、彼らは人間の生活のあらゆる側面を管理し、ゆりかごから墓場まであらゆる場所のすべての人々を支配するために、世界人口の 90% を殺害する計画を立てています。

を覚ませ、人々よ— 世界中の政府を支配している犯罪マフィアを打倒するために力を合わせられるうちに、あらゆることを研究しよう。なぜなら、すべての政府を支配しているのは腐敗した政治家たちであり、そのほとんど、あるいは全員が RKM が買収した操り人形だからだ。彼らは文字通り悪魔に魂を売り渡しており、RKM の命令に従わなければ生き残れないことを知っている。

通貨システムだけでなく、地政学システム全体が腐敗しています。目覚めて力を合わせない限り、私たちはすぐに自由を失うでしょう。私たちは現在、出生証明書を通じて税制の奴隷になっています。人々は搾取され、金儲けをするための資産になっています。私たちの税金は、RKM が管理するバチカン銀行に預けられています。状況は日に日に悪化しています。後戻りできない地点が急速に近づいており、すぐに手遅れになります。目覚めて力を合わせ、自衛するために残された時間はごくわずかです。

何もしなければ、これから受ける結果は当然の報いです。

私たちの文明とあなたについての真実：

[このビデオではわかりやすく説明されています](#) 一言で言えば、私たち国民が 1860 年から継続的に機能しているネットワークにどれほど深く巻き込まれているかということです。このシステムでは、

あなたは自分が思っているような人間ではありません。なぜなら、法人は自分の DNA を所有しているからです。しかし、出生時に DNA は盗まれています。私たちの抑圧者は、すべての人から大文字の名前を持つ法人を作成しました。そのため、すべての公式文書の名前は大文字で書かれていますが、それは物理的なあなたを表していません。確認のために運転免許証を確認してください。DNA によって裏付けられた出生証明書だけが、明らかに個人または市民です。

ロンドンの王室は、これらの企業すべてを支援していますが、実際にはバチカンを代表しています。一方、世界中の無数の弁護士が DNA の回収に取り組んでおり、進展があればすぐに公表されるでしょう。私たちが暮らす悪魔のようなシステムを解体することは、すべての人の利益になるからです。

あなたの DNA を所有することで、彼らはあなた、あなたのお金、あなたの財産を所有します。彼らは銀行休業日を設けてあなたのお金を盗むことができます。なぜなら、それは個人としてのあなたのものではなく、あなたの名前を大文字で冠した会社の所有者としての彼らのものだからです。あなたは海事法の下で暮らしており、自然権も公民権もありません。 **あなたは奴隷なのです。**

通貨システムをコントロールし、市民の権利を盗んだ後、人々を脱出口のない悲惨な経済的窮地に追い込むために、食糧供給、天候、水、医薬品、エネルギーの完全なコントロールなど、アルコンの血統 (RKM) のアジェンダ21のその他の実施が完成に近づいています。

そして、選挙で選ばれていないEU政府は2013年に新しい法律を提案し、承認し、施行し、ジョージ・オーウェルの「EU植物品種庁」の承認を待って、自分で食料を栽培したり、「検査されていない」野菜を繁殖または取引したりすることを違法とし、登録ごとに料金を課すという事態に至った。私たちの食料と私たち自身の刑務所への支払い、かつてないほど増加している。

「植物繁殖材料法」は、規制されていない種子を使った家庭菜園を犯罪行為とする。この法律は、家庭菜園、有機栽培農家、小規模農家による野菜品種の専門的な開発を阻止する。

これらの新しい法律が行うことは、山のような書類を一日中運ぶために給料をもらう新たなEU公務員の大群を作り、家庭菜園家への種子の供給を断ち切り、農家が望むものを育てる権利を妨害することだけだ。

また、将来的にはあらゆる種類の植物種（農業用植物だけでなく、草、苔、花など、あらゆる植物種）を規制し、認可する権限を自分たちに与え、それを評議会に持ち帰って投票する必要がないことも非常に憂慮すべきことだ。

これはすべて、国民が自らの食糧を栽培することを禁止し、種子の多様性を破壊し、アルコン食品およびバイオテクノロジー企業が世界の食糧供給を独占できるようにする計画に関係しています。「食糧の栽培は、安全ではないと述べるだけで禁止でき、その後、大手RKM企業が地球全体の食糧生産をすべて管理することになります。

」

世界的なファシスト/共産主義体制は、その後、あなたが何を食べるべきか、そして食べることが許されるかどうかを決定するでしょう。そして、あなたが食べるものは、大衆を精神的、感情的、肉体的に支配するために、今日消費されるもの以上の化学物質の混合物で満たされていることは間違いありません。水供給にも薬物が混入され、オルダス・ハクスリーが著書『すばらしい新世界』で書いたように、人々は最終的に「奴隷状態を愛する」ようになるでしょう。

食事をするかどうかは、あなたが愚かな良い奴隷であるかどうかによって決まります。デイ博士が1969年の講義で述べたように、従わないと食べ物も水も与えられず、食糧

の供給と分配は監視され、誰もシステムからの逃亡者に食べ物を与えることはできません。

私たち全員にとって恐ろしい将来展望だが、私たちが互いに支え合い、これに対する国際的な宣伝と反応が着実に、自給自足の食糧生産に関するこれらの恐ろしい法律に反対し、拒否することにつながるならば、そう長くは続かなくても、権力は依然として国民にある。

血統家族は国民が団結することを恐れており、だからこそ「我々を分割して征服する」ことが彼らの最優先事項なのです

私たちのアルコン血統の暴君たちの論理を理解することが重要です。彼らには共感も同情もありません。彼らはナルシストで、精神病質で、社会病質者です。彼らは、気候変動の物語を人口削減の論拠として、2050年までに世界の人口を現在の70億人から5億人に減らすという、地球温暖化詐欺をでっち上げました。

ロックフェラーのインサイダーであり、第二次世界大戦中に気象操作を行ったリチャード・デイ博士は、1969年にこう語った。「気象は操作され、干ばつや飢饉を引き起こす戦争兵器として使われるだろう。」

山岳地帯に記録破りの降雪をもたらし、ミズーリ川とミシシッピ川を洪水に陥れるほどの大雨を継続的に降らせることは、アルコンの血統が持つ技術を使えば簡単です。特にアラスカや世界中のさまざまな場所にある HAARP は、高出力の電波を上層大気、つまり電離層に送信し、それを加熱して最終的に地球に跳ね返らせます。

モンサント社の遺伝子組み換え食品：

モンサントは世界の食糧供給と農家を支配しています。現在、すべての食用種子はモンサントのために特許保護されています。遺伝子

組み換え農家は継続的にモンサントから種子を購入しなければならず、種子を保管することは許可されていません。これを監視するために、モンサントはあらゆる場所で刑事を雇っています。遺伝子組み換え作物には、非遺伝子組み換え作物に現れるという悪い癖があります。そして、そうなると、持続可能な有機農家とその顧客は高い代償を払うこととなります。

モンサント社の種子が農家の土地を汚染した場合、たとえ1%でも汚染されていたとしても、農家はその年の利益の全額をモンサント社に支払うか、作物をすべて引き渡さなければなりません。

全体主義国家は子供たちにプログラムを施すために教育を低レベル化した。

彼らのダーク アジェンダが完了すると予想される時期は 2050 年であるように思われ、これは、現在生きているすべての人々が蓄積される極端な状況を経験することになる一方で、今日の子供や孫たちは本格的なアジェンダ 21 の中で生きなければならないことを意味します。

子どもたちが主なターゲットであり、彼らは奴隷状態を「標準」として、ありのままに受け入れるようプログラムされている。子どもたちは、私たちが「何かをしなければ」世界が終わると信じるように条件付けられており、それはアジェンダ 21 で想定されているように、人間の存在の変革を意味する。子どもや若者は、ロボットの奴隷としての生活を受け入れ、子育ての終わりが近づいているように、アジェンダ 21 のプログラミングによって容赦なくターゲットにされている。この教化は、私たちが住む世界を破壊する容疑者として、子どもたちを親に敵対させるようにも設計されている。

血統家族はユネスコを創設し、支配しており、2005年から2015年までの期間を「持続可能な開発のための教育の10年」(ESD) と宣言し、アジェンダ21の全40章を教え、洗脳した。

翻訳すると、子供たちに生涯にわたる奴隷の運命を受け入れ、奴隷状態を愛するようにプログラムする。公式プログラムの翻訳は次の通り。

「私たちが指示したことを実行する方法を誰もが学ぶ世界」

さて、教育がますます明らかに低レベル化している決定的かつ根本的な理由は次のとおりです。

一般的に、高学歴で高収入の人は、低学歴で低収入の人よりも多くの資源を消費します。この場合、教育レベルが高ければ高いほど、持続可能性への脅威が高まります。

この発言が意味するところは甚大です。子供たちを無知な状態のままにしておくと、何も知らないために疑問も持たずに国家に従うような教育を受けていない大人が生まれます。

数学は特に標的にされており、数学的な質問に対する答えさえも示しており、これらは合意を通じて得られるべきものである。

コンセンサスの例： $2 + 2 = 4$ は7で答えられ、5 は11で答えられるので、答えは 5 になります。

数学が標的にされているのは、第 7 章で説明されているように、『静かな戦争のための静かな武器』が次のことを述べているためです。

「彼らの精神を混乱させ、彼らの精神活動を妨害し、数学、論理、システム設計、経済学の低品質の公教育プログラムを提供し、技術的な創造性を阻害する」

このプロセスは数十年にわたって続いています。彼らがそれをどこに持っていかようとしているのかという点では、完成にはほど遠い状態です。世界中の学校、大学、大学のシステムは、人間の奴隷化を進める方法で自分自身と世界を見るようにプログラムされた標本

であり、これは、自分自身がプログラムされた教師や学者によって毎日行われています。

どこの子供に「気候変動」について尋ねても、圧倒的多数が公式の話を繰り返すでしょう。環境と持続可能性は、教育と政府のあらゆる側面に浸透しています。大学の授業料を支払えないレベルまで引き上げる理由の1つは、貧困層と中流階級を高等教育から追い出すことです。

親たちは、子供たちに**ワクチン接種**を受けさせて免疫系を破壊させることを単に拒否しただけで、また化学療法や放射線治療で子供たちが確実に死ぬことを知りながら、癌などの病気の治療を拒否しただけで、第二次世界大戦で恐れられた「SS」の頭文字をますます正当化する国家機関のせいで子供たちを失っています。

子育てはあまりにも難しく、子供は非常に傷つきやすく、リスクが大きすぎるため、「プライバシー」という贅沢を許すことはできないと考えられています。

手続きが始まれば、親にはほとんどチャンスはなく、最初から彼らに不利な、ひどく腐敗し偏見に満ちた家庭裁判所制度によってひどく窒息させられることになる。決定権を持つのは全体主義国家だ。これらの残酷な行為のほとんどすべてが日々進行しており、RKM が目標に近づいていることを示している。

世界の人口は大きな危機に瀕しており、緊急の行動が必要です。

今では間違いなく明らかになっているはずです。世界の人口は絶滅の危機に瀕しています。彼らの邪悪な計画に従って、現在 70 億人の人口は 5 億人にまで減少する予定です。この目標は 2050 年までに達成される予定です。この状



況から生き延びるチャンスがあるかどうか、考えてみませんか。生き延びる価値があるのでしょうか。

これらはすべて可能性ではなく現実であり、あなたの周りで全体主義国家を観察することができます。彼らが標的に近づくにつれて、すべてが整っていきます。

若い世代の教育成果の悪さを見てください。まだ改善の余地はありますが、最終目標は日に日に近づいていることに疑いの余地はありません。

アジェンダ 21 は、すべての土地、すべての私有財産、すべての水源とその他のすべての資源の分配（定義には人間も含まれる）、すべてのエネルギー供給（その分配を含む）、すべての食糧生産とその分配に対する世界規模の中央管理を強化します。すべての人間は居住地に集中し、教育は生活のあらゆる側面を危険にさらす中心的な体系化された原則として環境に焦点を当てます。これは陰謀の狂気ではありません。すでに公然と起こっており、周りを見回せば、これまでに何が達成されたかがわかります。

この邪悪な計画は、私たち国民が自ら率先して介入しない限り、すぐに完了するでしょう。これは、アルコンの血統が抱く唯一の本当の恐怖です。十分な数の人々が今すぐに目覚めて行動すれば、私たちの数と彼らの数で、私たちは簡単に彼らを倒すことができます。

より影響力のある他の勢力が我々に代わってやってくれると期待してはいけません。もし強力なグループが主導権を握れば、後になって彼らからまた弾圧を受ける危険があります。我々自身が始めれば、主導権を握ったことになり、主導権を握った我々を手放すことなく、強力なグループに助けを求めることができます。もしまだ自国の強さを信じているなら、今こそ行動を起こす時です。後では遅すぎるかもしれません。決意してください。我々はまだ戦いに勝つことができますが、迅速な行動が最優先です。

何もしなければ、これから起こることは当然だ。

「行動を起こさない」という言い訳は通用しません。まず最初に必要なことは、[アジェンダ 21 についてもっと学び](#)、その知識を他の人と共有することです。同じ考えを持つチームを作り、大勢の参加者が協調して行動を起こすことの重要性を他の人に納得させましょう。人々が行動を起こすよう促しましょう。

繰り返しますが、この全体主義的な悪は私たちの周りで起こっていますが、ほとんどの人は点と点を結び付けていないため、それを見ることができません。人々は自分の「小さな世界」に住み、興味のあるいくつかの主題にのみ焦点を当てる傾向があり、それが実際に起こっていることの歪んだイメージを提供します。[人類が現実を根本的に再評価しない限り、『ハンガー・ゲーム』はすでに実現に向かっている。](#)

生き残るためには、他人のサポートが必要なのはあなた自身の戦いなのです。

そしてそれは誰にとっても重要なのです！

知識は力です：

人々はこれらの危険性について自ら学ぶ必要があります。私たちも彼らも同じ船に乗っているのです。本当に気が遠くなるようなことですが、より良い世界のために戦う価値はあります。完全な自由、税金や住宅ローンからの解放、致命的な成分を含む強制的な予防接種からの解放、健康的で無毒な食べ物、豊富できれいな水、安価なエネルギー、私たち全員にとってはるかに良い生活条件、才能に応じたすべての人の完全雇用。正直なお金、税金なし、控えめな消費税のみ。現在の小売価格の最大80%が税金で構成されているため、製品とサービスが安価です！政府の腐敗から解放され、国や通貨システムの運営について私たち自身の発言権があります。これは信じられないほど良い話だと思いませんか？できるだけ早くこの主題につ

いて学んでください。多くの詳細が説明されているこの[ビデオから始めてください](#)。

その後、あなた自身の生存を確保するために、あなた自身の個人的な動機で、この主題についてすべての友人と話し、彼らにこの章を読むように頼み、彼らの知り合いにも同じようにするように促してください。

まもなく、世界は、変化を求め、必要な変化のために調和して行動する、情報に精通した何百万人ももの市民の集団を形成するでしょう。私たちの背後には、私たち国民に代わって仕事を成し遂げる、信頼できる、有能で強力な勢力が数多くいます。私たちの子供や孫たちは、永遠に感謝するでしょう。

労働者は与え、陰謀団は奪う。

ECB は再び弁を開き、1 セントも信用できないことが証明されたまさにその銀行に、さらに 1 兆ユーロ相当の流動性資金が直接流入するのを許しました。ゾンビ システムはこのように機能します。労働者は与え、陰謀団は奪います。信用サイクルのこの段階では、雇用者は与えるものがあまりないため、ECB は印刷機を稼働させます。しかし、お金は誰から来るのでしょうか。合理的に考えると、誰かから来るものですが、そうではありません。

真実はこうです。お金を借りるとき、それはそれを貸す人々から来ます。税金を課すとき、それは納税者から来ます。しかし、それが単に印刷されるとき、それは誰から来るのでしょうか？ まあ、最初は誰からも来ていないように見えます。誰もポケットに手を入れて数ユーロを取り出すことはありません。誰のポケットも盗まれていません。しかし、どうしてそんなことがあり得るのでしょうか？ 無から無は生まれません。ゼロにゼロを加えても、それは依然としてゼロのままです。

既存のお金の価値からお金が盗まれます。

しかし、ゾンビ銀行の金庫には今や1兆ユーロ以上のお金が保管されている。これは以前 *フィナンシャル・タイムズ* が報じたことだ。

「銀行はECBの1兆ユーロの融資オファーを喜んで受け入れる。」

このお金は確かに本物に思える。銀行はそれを貸し付けることができる。使うこともできる。窓から投げ捨てたり、排水溝に捨てたりすることもできる。それで葉巻に火をつけたり、高級ワインを飲んだりできる。何にでも使える。破産したカハ・マドリッド貯蓄銀行の元最高幹部3人もそうだった。彼らは現在、申告されていないクレジットカードを使って私的に使われた1550万ユーロの銀行資金に関する調査でスペイン高等裁判所の標的になっている。

調査を受けている元銀行役員の一人は、上級銀行員のロドリゴ・ラトである。

国際通貨基金のトップを務めた人民党 (PP) の役員

ラト氏は2004年から2007年までIMFの役員を務めていた。ラト氏はカハ・マドリッドと、カハ・マドリッドと破産した他の貯蓄銀行6行の合併により設立された銀行であるバンキアの会長を務めていた。捜査対象となっている他の2人は、元会長のミゲル・ブレサ氏と元総裁のイルデフォンソ・サンチェス・バルコイ氏である。

「2003年から2012年の間に、カハ・マドリッド貯蓄銀行の取締役らが申告されていないクレジットカードを使って1550万ユーロの会社資金を使ったという詳細が明らかになった。エル・パイスが確認したクレジットカード口座の内訳によると、カハ・マドリッドの元会長ミゲル・ブレサはワインだけで1万ユーロ以上を費やし、2008年には南アフリカへの9000ユーロの旅行代金をこのカードで支払っていた。また、高級レストランでの食事や時計代に2000ユーロを費やしていた。銀行の文書によると、ブレサは会社のクレジットカードを使って合計43万6000ユーロ、年間約5万4600ユーロを費やした。

現在、彼は銀行の不正管理に関する捜査の対象となっている。

彼は会長在任中、年間350万ユーロの報酬を受け取っていた。」

しかし、主な懸念は、このお金がどこに行くかではなく、どこから来るかです。宇宙から、別の惑星から来たのでしょうか？ いいえ？ では、地球上のすべての富を所有しているのは誰か？ はい？ では、それは地球上のどこかの人間から来たに違いありません。しかし、それは誰から来たのでしょうか？

答えは、各通貨単位が資源に対する権利を表すということです。

これをもっと詳しく見てみましょう。たとえば、新品の BMW 7 シリーズは概算で 10 万ユーロなので、1 兆ユーロで 1,000 万台の車を買えます。言い換えれば、1,000 万台の新しい BMW を請求するのに十分な新しいユーロがあるということです。これは、新しい BMW の数が限られているため、以前は請求権を持っていた人々の請求権が今は減っていることを意味します。

そして、それらの請求は彼らが稼いで貯蓄した通貨の価値から生じたものであるため、新しいお金の価値は既存のお金の価値から盗まれたものであるに違いないということになります。

これを窃盗と言わずに何と呼べばいいのでしょうか。以前ユーロを持っていた人々の購買力は、少なくとも理論上は低下しています。彼らは自分のお金が切り取られることに決して同意しませんでした。さらに悪いことに、彼らは自分たちに何が起きているのかさえ知りませんでした。

窃盗の被害者は自分が被害者であることすら知らない。

そして、EUは不況に陥っており、不況は基本的にデフレなので、需要が減るにつれて物価は下がるが、旧通貨保有者はそれに気づかず

、不満を言うこともないだろう。これは重大な窃盗かもしれない。さらに悪いことに、これは大規模な窃盗であり、信じられないほど隠密に行われる窃盗だ。これは完璧な強盗だ。哀れな被害者は自分が被害者であることさえ知らない。金曜日の彼らのポケットや銀行口座のお金は、前の月曜日と同じだ。そして、物価が少し上昇したとしても、百人に一人もECBを責めないだろう。

できるだけ早くユーロから離脱しましょう。

しかし、少なくとも一人は正しい。イタリアの「五つ星運動」(M5S)の創設者で指導者のベッペ・グリッロだ。グリッロは、イタリアがユーロ圏からできるだけ早く離脱するかどうかの国民投票を行うよう議会に請願するのに必要な100万の署名を集めた。グリッロは、イタリア政府は雇用の回復と国民の支援に効果を上げていないと主張する。2013年に政界に登場したイタリアの反体制派M5Sは、2013年の初の議会選挙で25パーセントの票を獲得した。グリッロはローマで行われたM5Sのイベントで支持者らにそう語った。

「ユーロを離脱し、欧州中央銀行からイタリア国民の主権を守ろう」 - 「できるだけ早くユーロを離脱しなければならない」 - 「6か月以内に100万の署名を集め、議会に提出して国民投票を求め、我々の意見を表明するつもりだ」

グリッロ氏は、同党の最近の成功と支持拡大により、十分な署名を集め、この案を議会で可決できると期待している。グリッロ氏は「今回は国会議員と上院議員が150人おり、議会に[署名]を提出し、国民投票に関する法律を採択する時間がある」と述べ、同党が保有する下院議席630のうち109議席、上院議席315のうち54議席に言及した。

イタリア憲法は金融法や国際条約の批准に関する国民投票を禁じているが、いずれにせよ今回の措置は政府に明確なメッセージを送ることになるとグリッロ氏は考えている。

ユーロ圏第3位の経済大国イタリアの失業率が12%を超え、25歳以下のイタリア人の失業率が過去最高の44%に達している現在、数的民主主義を通じた直接参加を信条とするグリッロ氏の信念こそが、イタリア国民の不満を解消する唯一の方法なのかもしれない。

IMFはイタリアの景気後退は間もなく解消され、成長率は1.1%に達すると予測しているが、同国は財政赤字をEUのGDPの3%という上限以下に抑えようと苦闘している。これはまたしても明らかな嘘だ。未来を操作しない限り、誰も未来を予測することはできないのだ。

経済危機によりイタリアはユーロを放棄し、リラに戻るかもしれない、とコメディアンから政治家に転身したベッペ・グリッロ氏は語る。同氏の反体制派五つ星運動は前回の総選挙後、イタリア政治で大きな勢力となった。ドイツのフォーカス誌とのインタビューでグリッロ氏は、イタリアの2兆ユーロの債務の再交渉を訴えた。この債務は国内総生産（GDP）の127%で、ユーロ圏ではギリシャに次いで2番目に高い。

「今、我々はユーロではなく債務に押しつぶされている。利払いが年間1000億ユーロに達したら、我々は死んでしまう。他に選択肢はない」と64歳の同氏は語った。

五つ星運動のリーダーの予測によれば、イタリアの政治体制は崩壊するまで「わずか6カ月」しか残されておらず、国家は「年金や公務員の給与を支払う」ことができなくなります。債務義務に変更がなければ、イタリアの選択肢はユーロを離脱し、以前の自国通貨であるリラに戻ることになるだろうとグリッロ氏は考えています。

「もし私が倒産した会社の株を買ったとしたら、それは私の不運だ。私はリスクを負って、損をしたのだ」と彼は民間市場との比較をしながら説明した。「状況が同じままなら、イタリアはユーロを離脱し、リラに戻るだろう。」

ベッペ・グリッロは80年代にイタリアのテレビで人気のコメディアンだったが、90年代にスクリーンから姿を消した。彼の辛辣な風刺はイタリアの政治家には耐えられないと多くの人が指摘したためだ。その後、彼は主に劇場で演技し、一連の大衆集会を開催して、イタリアの政治エリートの犯罪行為に抗議した。

EU政策の悪影響:

スペインの公式統計局、国立統計研究所によると、2008年のスペインの平均的な世帯の年間支出は31,711ユーロだった。その後5年間、この数字は一貫して減少し、昨年は27,098ユーロにまで落ち込んだ。

これはかなり急激な減少ですが、これらの数字はインフレを考慮に入れていないため、全体像の一部しか示していません。スペインの物価は、2008年から2013年末までに約9.5%上昇しました。つまり、上昇する物価に追いつくためには、理論上は、2008年に31,711ユーロで購入できたのと同じ量の商品やサービスを購入するために、2013年に約35,000ユーロを費やす必要があります。しかし、家計支出は9.5%増加するどころか、14.5%減少しました。支出をインフレ率に調整した後、スペインの家計は2013年に5年前よりも約22%少ない支出をしました。

平均がこれほど急激に低下すると、非常に多くの人が支出を極限まで削減していると言っても過言ではない。また、建設ブームの崩壊が主な原因で、スペインの成人失業率が現在約25%（2007年の3倍）、25歳未満の失業率が約54%に達していることを考えると、これは驚くに当たらない。

ユーロ圏南部全域で非常に似たようなことが起きているが、成人の失業率が約27%、若者の失業率がその2倍であるギリシャほど過酷な状況にある国はない。

インフレがマイナスに転じる、つまりデフレが長期間続くという見通しは、世界経済秩序の有力者や良識ある人々を不安にさせるものであり、そのことについて公然と話そうとする人はほとんどいないほどだ。

彼らが危機を解決することに興味がないのは明らかです。

ユーロとEUが私たちに押し付けられたのは明らかで、イルミナティを富ませ、大多数の人々を貧困に苦しませるためです。彼らは危機を解決することに興味がありません。本当に解決したいなら、一夜にして解決できるはずです。血統家族が所有する民間中央銀行が国民から盗んだ富は、一人当たり7千万ドルに上ります。それは、今日地球上に生きているすべての人に7千万ドルです。

自由という幻想：

独裁と支配の最も強力な形態は、目に見えず、気づかれないものです。今日、人々はおよそ4年ごとに投票を許可されることにより自由の幻想を抱いていますが、公式に政権に就く政党が何であれ、舞台裏では同じ少数の人々が権力を握っています。

第2章で説明したように、民主主義は多数による支配であるはずであり、それ自体は専制政治ですが、それさえありません。それは「自由で開かれた社会」という煙幕の背後に隠れた少数による独裁政治です。

左派や右派から選出されたすべての人は、最終的には少数の人たちによってコントロールされており、誰が選出され、責任者に就するかは問題ではありません。エリート同胞団の陰謀団が、すべての物事をどのように行うかを指示します。実際、誰に投票するかは問題ではありません。ディープステートの隠れた手が、責任者として現れ、決定を下す人たちの糸を引いています。根本的にコントロールされているにもかかわらず、国民を自由だと騙すのが全体的な考え方です。

自分は自由だと思っているときに、自由ではないことに反抗する人はいません。

政府は鉄格子のない刑務所を売り込んでいるため、「自由」や「自由な世界」について延々と語る。もちろん彼らの言うことはナンセンスだが、私たち国民はそれを信じなければならない。そうしなければ、実は私たちは少数の人間によって支配されている一党独裁国家に住んでいることに気付くかもしれない。

選出された代表者のイメージ:

EUの体制がいかに私たちの生活を破壊しているか考えてみてください。ソ連の政治局を真似た、選挙で選ばれていない官僚組織である欧州委員会がEUを統制し、ますます厳しくなる制限的な法律を提案しています。その後、これらの法律は常任代表委員会と呼ばれるさらに多くの官僚による秘密会議で議論され、閣僚理事会によって承認されます。

各国の議会はこれに関して何の発言権もないのに、欧州議会は選挙で選ばれた代表という幻想を与えるためだけに作られた。欧州議会議員はマイクが切られる前に話す機会も時間も極めて限られているので、これはすべて見せかけに過ぎない。

反EU派の欧州議会議員が、親EU派の欧州議会議員ほど声を上げず、意思決定プロセスから締め出されているとき、EUは民主的であると主張している。

オランダとフランスが欧州憲法を拒否した後、2009年にリスボン条約が制定され、元の憲法に記されていたのと全く同じことを実行するように施行されました。リスボン条約はEUを、選挙で選ばれていない大統領、外交政策、軍隊、警察、官僚統制システムを持つ完全な独裁国家に変えました。

1955年に漏洩したビルダーバーグ文書には、数十年にわたる操作を通じて実現される単一の欧州連合と通貨（ユーロ）の必要性が述べられている。

世界的なファシスト/共産主義独裁政権：

少数のエリート同胞団の目的は、最終的には世界的なファシスト/共産主義独裁政権を確立することです。一方で、大衆は彼らが政府をコントロールしていると聞かされていますが、これは完全な茶番です。EU のプロパガンダのほとんどは、偽りまたは誤った情報であると知っておくべき情報を意図的に流布しているという問題を抱えています。

EUの慣用句集の中で最もひどい政治的に正しいフレーズの一つは、依然として「単一市場」である。

かつては、確かに障壁を壊すことが求められていました。最近の選挙の宣伝によると、そのため、欧州議会議員志望者は、摩擦のない国境を越えたゲームを楽しむことができました。ポルトガルからポーランドまで、国境検査なしでシームレスに旅行できるのは、確かに喜ばしいことです。同様に、EU 全域のヨーロッパ人は、EU 内のどこからでもワインのボトルを郵送してもらって楽しむことができます。ここまでは順調です。

国境は開かれ、酒は郵送できる。つまり、「パンとバター」政治の基本が達成される。これは、模範的または優れた公共サービスや公共政策を通じてではなく、気晴らし、気晴らし、または単なる満足を通じて国民の承認を得るという、表面的な宥和手段の比喩である。

。

中核原則は、多くの場合、飾り立てずにそのまましておくのが最善です。規制が少ないほど、成長は大きくなります。規制の最小限主義は機能します。しかし、EU の「ヨーロッパの拡大」への欲求

は、明らかに連合の繁栄を損ないます。規制が多すぎると、経済成長が阻害されるからです。

「経済を破壊する過剰規制の最新波を告げる最近の欧州議会議員らは、活発な「ブリュッセル・エアロビクス」セッションに耐えてきた。それは、膨大な量の新しい規則を承認するために、終わりのない腕を振り上げて投票することであり、それは「単一市場」の名の下に、革新を抑制し、成長の見通しを抑制し、社会的流動性を低下させる、もう一つの明らかに退行的な保護主義の層を提供している。」

英国国会議員ダグラス・カースウェル氏は次のように指摘した。

「今日の単一市場は、保護主義が着実に浸透している状態だ。」 EUは、商業的に生産される前にすべてのものに規制の枠組みが必要だと考えている。インドへの新しい航路を求めて未知の世界へ出発する前に、クリストファー・コロンブスが明確な航海の計画を提示しながら健康と安全の監査を強いられたことを想像してみしてほしい。それは当時も意味をなさなかったし、今日のグローバルな競争の世界でも意味をなさない。」

ヨーロッパは、甘やかされて育った大政府の政治家と、ブリュッセル機構へのロビー活動に大金を費やす大手多国籍企業との、危険で有害な企業独裁関係を解消する必要がある。このシステムは、ダイナミックな成長の要件を満たせていない。シンプルで規制の少ない自由貿易圏であるべきであり、それ以上でもそれ以下でもない。しかし、大手多国籍企業によって上から下まで自由貿易が抑制され、最終的にヨーロッパは新たな暗黒時代へと後退し、アジアは飛躍することになる。

偽の欧州選挙：

繁栄するヨーロッパが再び出現するためには、ブリュッセルの崩壊しつつある中央集権的な狂気と細かい管理の体制を解体する必要がある。EUは、イノベーションを妨げているトップダウンの官僚主義を大幅に削減して自由貿易を推進する必要がある。さなければ、

「利己的な多国籍企業と誤った大政府の連合が新たな明王朝を創るだろう。官僚たちは中国を過剰に規制し、退行的な専制政治をもたらした。EUの明王朝は多くの息苦しい規制を生み出し、彼らの陶器でさえ中世の中国ほど印象に残るものではない。」

ヨーロッパは経済史に新たな悪夢の章を刻み込んでいる。ユーロ支持派の単一通貨熱は繁栄の運命を約束していた。

ブリュッセルの誇大宣伝は、かえって経済破綻を招いた。地中海沿岸の住民は、浪費家の政府に続く狂った緊縮財政という経済の過食に不満を抱いている。ドイツ人ですら、ベルリンが南の隣国を救済するために、図書館の閉鎖やその他のドイツ的な公共機能不全に苦しめられたことには感心していない。

欧州議会は、4年周期で最も生産的な時期を迎えている。政治家たちは、さらに息苦しい規則を追加する代わりに、ブリュッセル/ストラスブールのばかげた安楽な生活で再選を目指している。しかし、今のところ、ヨーロッパ人は、4年に一度少なくとも数か月は雇用と経済を破壊する、さらに役に立たない細かい規制の屈辱から逃れている。

「全欧州選挙では、関心を喚起しようとする連邦主義者の必死の試みにもかかわらず、東から西まで無関心が広がるだろう。選挙の勢いを生むための空虚な策略として、3つの主要な政治グループが、説明責任のないブリュッセルの官僚機構内で「大統領」と記されたポストの1つを獲得する可

能性のある候補者を指名した。他のグループは、この考えを賢明にも嘲笑した。」

少なくとも 1 つの形式のユーロ調和が達成されました。

「この3人の『大統領』候補者は、基本的に区別がつかないほどだ。オンライン上の大量のビデオが証明しているように、ヨーロッパのほとんどの人は誰も認識できない。」

つまり、これまで選挙で選ばれず、色彩のない大統領ヘルマン・ファンロンパイと同じような、同じくらいの能力の3人が、この偽りの大統領選挙の形態と戦っていたのだ。

「これらの退屈で風変わりな候補者たちは、誰も自分たちのことを聞いたことがないという事実を平気で気にしている。彼らはあまりにも似ているので、彼らの間には紙一枚ほどの違いしかない。」

それぞれが選挙の茶番劇／虚構の中心にいる。つまり、欧州中を駆け巡って大統領選の選挙運動をし、最終的には、国家指導者が伝統的に民主主義を停止し、比例代表制を、能力ではなく国家主義的な重みで主要ポストに仕事を配分する制度に変えるような豪華な晩餐会で決定されることになる。

「ブリュッセルでは実力主義は欧州愛に比べれば二の次であり、英国のキャシー・アシュダウン氏が外相に就任したことは、無粋ないたずらのようだった。」

「一般」投票の結果に関係なく、いつものように密室で選出される大統領は失敗する。

欧州懐疑主義の高まりは議会にどのような影響を与えるだろうか。民主主義に対する直接的な攻撃として、通常の EU ルールが適用される。つまり、問題を無視し、苦情をあざ笑い、欧州の拡大を迫る

のだ。答えは常に「*欧州の拡大*」であるため、主要 3 政党は左派と右派のイデオロギーの違いを棚上げにして、単一国家の妄想に集中するだろう。

欧州議会の25パーセント、いや30パーセントがEUの大きな失敗について明確に批判的（あからさまに懐疑的ではないにせよ）であるという事実を考えると、EU自身のプロセスがソ連政治局に完全に似通った、自らの戯画化となっているときに、EUが他国に押し付けたい民主主義に少しでも愛着を持っていると主張できるのか、考えてみたいと思う人もいるかもしれない。

一方、ヨーロッパは、無名の大統領を探し、職よりも安易に得られる莫大な金に関心のある傲慢で利己的な欧州議会議員を選出するために、納税者のお金を浪費し続けている。

41. 明らかな気候に関する嘘

- 政府の恥ずべき真実。それは真実ではなく、プロパガンダです。
- 「気候変動」と「二酸化炭素」のデマ。
- カーボン詐欺。
- 地球温暖化は亜酸化窒素 (N₂O) と呼ばれるガスによって引き起こされる可能性があります。
- フリーエネルギーはもうすぐそこです。

地球温暖化は詐欺であり、科学的に正当ではない。それはプロパガンダである。

世界の気象状況に関する本当の真実は、主流メディアでは報道されません。

- 地球温暖化が起こる可能性があります。地球温暖化は 1998 年に終わり、現在は地球全体が寒冷化しています。
- 南極の氷床は拡大している。
- 海面は1世紀あたり6メートルではなく15センチメートル上昇します。
- 降雪は異常ではありません。
- CO₂は地球温暖化を引き起こすことはできません!!!!
- 亜酸化窒素 (N₂O) と呼ばれるガスから生成されます。

地球温暖化は注目の話題です。二酸化炭素の排出やその他私たちが犯す罪によって、地球を破壊しているのは私たち自身なのでしょうか？心配しないでください。これは誇大宣伝であり、真実ではありません。政治的な動機で、何にでも抗議するよう指示された活動家によって広められたものです。地球温暖化と温室効果ガスを結び付ける直接的な証拠はありません。90年代初頭以来、地球温暖化は、私たちの税金で政府が補助金を出し、利益を生むビジネス産業を生み出してきました。これらの企業で働いている、または関係している何百万人もの人々は、この信念の緊急性を主張しながら、大衆に恐怖を煽り、さもなければ職を失うことになるかと訴えています。

環境に優しくなることはどれほど現実的なのか？人類はこれからも大気中に炭素を排出し続けるだろう。京都議定書は世界を2つのグループに分けた。地球上の人口の20%を占める先進国の約12億人の国民は排出量を削減することが期待されている。そして中国とインド両国を含む残りの80%、50億人は削減しないと予想されている。これらの数字だけを見ても、人類は今も将来も世界の排出量をまったく削減しないだろうということが保証されている。長期的な傾向は明らかだ。地球上の人口の80%の一人当たり排出量は、私たち西洋人よりもはるかに速いペースで増加しており、これは少しでも実現可能な炭素削減計画を台無しにしている。

真実は、人間の二酸化炭素排出量は全体の0.05%と非常にわずかであり、繰り返し主張されているように二酸化炭素排出量が地球温暖化の原因であるとすれば、これによって地球を温暖化させる能力は事実上ゼロであるということです。この進行中のミーアムは、科学的証拠によってさえ裏付けられていません。

主な疑問は、メディアが私たちに信じさせようとしているように、大気中に放出されたすべてのガスが地球温暖化の原因であるかどうかです。ビデオ「[地球温暖化の大詐欺](#)」を見て、あなたの考えを決めてください。この映画の最後には、読者は温室効果ガスと二酸化

炭素の排出が本当に地球を破壊し、地球温暖化を引き起こしているかどうかという問題について、自分の考えを決めることができます。

	A family of four	Tons of carbon per year
	Detached house with oil heating: + extra air-conditioning + heated pool	2.57 0.04 1.48
	But could install Insulation & double glazing Efficient lighting	(-0.90) (-0.13)
	And could Use A* appliances Adjust the thermostat Switch off lights/appliances	(-0.16) (-0.18) (-0.31)
	And could also install Solar panels for electricity and hot water	(-0.34)
	Drives two cars SUV (15,000 miles) Sedan (10,000 miles)	1.42 0.78
	Air travel ~15 short-haul ~8 long-haul	0.73 2.38
	Waste But could recycle	0.25 (-0.15)
	Overall (excluding reduction options)	9.65

正直に言うと、私は環境保護に反対しているわけではなく、地球温暖化に異論を唱えているわけでもありません。むしろ、この問題に関する客観性が、経済的にも政治的にもこの問題に依存している人々によって打ち砕かれてしまったことを懸念しています。彼らは地

球温暖化に関する恐怖を利用しています。しかし、真実は、地球が破壊されることは絶対にないということです。

ディープステートの新世界秩序に代わって政府が政治的動機に基づく問題に補助金を出し始めると、誰もが金儲けの詐欺に乗じて儲けようとするのは明らかだ。

人々に売りつけられているプロパガンダは信じ難いものであり、広くパニックを引き起こし、広められている嘘の影響をさらに増大させています。この映画は、さまざまな専門分野の一流科学者、専門家、政治家、科学編集者、さらにはグリーンピースの共同創設者のコメントを通じて、地球温暖化に関する真実が何であるかを説明しています。

著名な科学者の観察:

恐れることはありません。[地球温暖化は真実ではありません。](#) 科学のふりをしていますが、科学ではなく、プロパガンダです。私たちはただ嘘を言われているだけです。地球温暖化と温室効果ガスを結び付ける直接的な証拠はありません。二酸化炭素が気候変動を引き起こしているのを見ることはできませんし、過去にもそうしたことはありませんでした。大気中の二酸化炭素が温室効果ガスとして増加すれば、気温は上昇するはずですが、氷床コアの記録はまさにその逆を示しています。気候変動の原因が人間であるという理論全体の基本的な前提は間違っていることが証明されています。

人為的な地球温暖化はもはや気候の変化に関する理論ではなく、私たちの時代を特徴づける道徳的、政治的原因です。

活動家たちは、議論がどれほど科学的に厳密で、不当で、さらに危険なものになったとしても、議論の必要性はそれに対するあらゆる批判を上回ると述べている。地球の気候は数世紀にわたって絶えず変化している。現在の気温に異常はなく、今日売り込まれている科学的証拠はすべて、気候変動が人為的であろうとなかろうと二酸化

炭素によって引き起こされているという考えを裏付けるものではない。どこを見ても、気候変動は疑いの余地なく証明されていると言われているが、私たちは嘘を吹き込まれているのだ。

ウィニペグ大学気候学部のティム・ボール教授：人々が地球温暖化を信じてはいけないと言うと、彼は地球温暖化は信じているが、人間の二酸化炭素がその温暖化を引き起こしているとは信じていないと言います。

エルサレム大学物理学研究所のニル・シャヴィフ教授：数年前に地球温暖化について聞かされていたら、私はそれを信じていたでしょう。なぜなら、メディアがそう主張していたからです。

ニュース報道は日ごとに終末論的になってきています。政治家たちは地球の気候変動について疑問を表明しようとしません。

ベイブリーのローソン卿：これは想像し得る限り最も政治的に不適切な状況です。気候変動の正統派の考え方に非常に似ています。

地球温暖化は政治の域を超え、「飛行機ではなく電車」が推進されている。これは新しい種類の道徳だ。人為的な地球温暖化ミームの熱狂が増す中、上級科学者は、気候変動の実際の科学的根拠は崩れつつあると述べている。過去には、大気中の二酸化炭素が現在の3倍から10倍に達した時期があり、二酸化炭素が気候変動に影響を与えるのであれば、気温の再構築でそれが明らかになるはずだ。

オタワ大学地球科学科のイアン・クラーク教授：地質学的な時間枠を分析すれば、CO₂が気候の主要な要因であるとは決して思わないでしょう。

ウェザーアクションの気候予報士、ピアーズ・コービン博士：過去1000年間の気候変動はCO₂では説明できません。

ジョン・クリスティ教授、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）
主執筆者

変化：IPCCは述べている

「地球温暖化問題が気候システムの劇的な変化の原因であることについては、何千人もの科学者の間で幅広い合意があり、人間がこの気候システムの劇的な変化を引き起こしているという主張がよくなされます。 - 地球温暖化は真実ではありません。メディアでは、巨大な国際組織の権威の印として伝えられています。」

ロンドン大学生物地理学部のフィリップ・ストット教授：

国連の IPCC は、国連の他のメンバーと同様に政治的であり、最終的な結論は政治的に左右されます。

ポール・ライター教授、IPCCおよびパスツール研究所、パリ：

IPCC は世界の 1,500 ~ 2,500 人の科学者の絶対的なトップを代表しているという主張はまったく真実ではなく、かなりの数の非科学者が関与しています。

リチャード・リンゼン教授、IPCC & MIT：

2,500人という数字を補うために、彼らは査読者や政府関係者、少しでも関与した人全員を数えた。彼らの誰も、気候変動の主張に同意するかどうか尋ねられず、実際、彼らの多くは反対した。同意せず辞職した人たち、そしてかなりの数の人が辞職したことが知られているが、彼らは単に、2,500人の世界トップクラスの科学者の一部として著者のリストに加えられただけである。これは純粋なプロパガンダである。それは政治的イデオロギーに変貌した。

グリーンピース共同創設者、パトリック・ムーア氏：

これはもはや環境運動ではなく、世界レベルで影響力を持つ活動家運動です。これは科学の全領域を歪曲した物語です。

NASA気象衛星チームリーダー、ロイ・スペンサー博士：

資金を得るために、私たちはパニックを起こすことに既得権を持っています。そうすれば、気候科学に資金が流れ込むからです。容認されない見方が1つあります。それは、気候変動に関してまったく問題がないかもしれないという見方です。これは、政治キャンペーンがいかにして官僚主義的な流行に変わったかという話です。

バージニア大学環境科学部パトリック・マイケルズ教授：

実際のところ、現在、何万もの雇用が地球温暖化ミームに依存しています。これは大企業であり、それ自体が大規模な産業になっています。地球温暖化の物語全体が崩壊すると、非常に多くの人々が職を失い、仕事を探すこととなります。これは検閲と脅迫の物語です。

ニューサイエンティスト元編集者、ナイジェル・カルダー氏：

彼らと意見の合わない人を見たり聞いたりすると、彼らに唾を吐きかけたくなる。西洋人が気候災害の糸口を持ち出すことに関して言えば、これは発展途上国における重要な産業の発展を妨げている。

ジェームズ・シークワティ、アフリカ経済学者、著者：

誰かがアフリカの夢を殺そうとしている。アフリカの夢には開発が含まれる。環境保護運動は無視できない強力な勢力に成長し、発展途上国におけるあらゆる開発を阻止することに力を入れている。

メディアの恐怖の物語:

地球温暖化の話は、メディアがでっち上げた恐怖がいかにして一世代全体の定義づけとなったかを示す警告の物語である。地球温暖化の物語全体が宗教となり、それに反対する人々は狂人と呼ばれている。

いくつかのトピック:

- CO2 の変化は、地球の気温の変化に数百年から数千年も遅れて現れました。プロパガンダが私たちに信じさせようとしているように、CO2 レベルの変化が地球の気温の変化の主な原因であるわけではありません。
- 実際、二酸化炭素排出量が増加し、太陽黒点が減少した1945年から1980年までの戦後の好景気の時期には気温が低下しました（添付のNASAグラフを参照）。
- 地球温暖化は二酸化炭素排出量の増加ではなく、太陽黒点活動（ガス爆発）の活発化によるものです。
- 地球温暖化と熱帯暴風雨の頻度や激しさとの間には確実に関連があると言うのは誇張である。
- 地球温暖化推進派は、産業革命以前の二酸化炭素濃度の 2 倍の 560 ppm になると海水が完全に酸性化し、2050 年までにサンゴ礁の形成に最適な場所がすべて消滅すると警告しています。これは真実ではありません。なぜなら、海水温と二酸化炭素濃度の上昇に伴いサンゴの石灰化率が上昇しており、今日の主要なサンゴ礁形成生物は中生代に進化し繁栄したからです。中生代には大気中の二酸化炭素濃度



が 1 億 5000 万年間 1,000 ppm を超え、数百万年間 2,000 ppm を超えていました。

- 地球温暖化の速度は加速していると言われてはいますが、その速度は過去30年間、およそ $0.17^{\circ}\text{C}/10\text{年}$ 。



- 地球温暖化は差し迫った「大量絶滅の危機」の原因であるとされているが、実際にはそうではない。
- 気候温暖化のプロパガンダによる恐怖は、アフリカが豊富な化石資源から電力供給を得ることを妨げ、大きな損害を引き起こしています。また、人々は3~4倍高価で供給が継続しない風力発電と太陽光パネルのみを利用すべきであると宣伝され、開発を妨げています。

ジョン・レイ・イニシアティブ会長ジョン・ホートン氏によるこの映画の批評:

- 気候は常に変化しています。これは**事実**です。しかし、この映画では、過去 50 年間の地球の平均気温の変化と 21 世紀の予測は、過去数千年にわたって観測されてきた自然の気候変動の範囲内であると主張していますが、これは**事実ではありません**。
- 最終氷河期に二酸化炭素レベルと気温が非常に密接に関連していたことは、二酸化炭素が気温を押し上げている証拠

ではなく、むしろその逆である -**真実**。映画ではさらに、この相関関係が IPCC によって地球温暖化の主な証拠として提示されていると述べられている -**真実ではない**。

- 太陽の変化は気候に影響を与える -**真実**。彼らは、太陽黒点が観測されなかった 17 世紀のマウンダー極小期をその可能性のある例として挙げた。太陽の影響は 20 世紀の地球の平均気温の主な要因である -**真実ではない**。
- 気候モデルは複雑かつ不確実性が高く、気候変動の有用な予測を提供することができません。これは**真実ではありません**。
- 先進国による気候変動対策は、世界の貧しい国の発展に悪影響を及ぼす可能性がある。これは**おそらく真実である**。

賛否両論の議論はまだたくさんありますが、ビデオ「[地球温暖化の大詐欺](#)」を一度見れば、あなたの意見はよりバランスが取れるようになることは確かです。

「気候変動」と「二酸化炭素」のデマ：

恐れることはありません。地球温暖化、現在の「気候変動」は**真実ではありません**。科学のふりをしていますが、科学ではなくプロパガンダです。

「地球の気温は上昇し、温室効果ガスの排出が大気を破壊している」と恐怖をあおる人たちは言う。「大気中の二酸化炭素量はかつてないほど増加し、動物の移動パターンは変化している」など、挙げればきりが無い。

私たちはただ嘘を言われてきただけです。地球温暖化と温室効果ガスを結びつける直接的な証拠はありません。二酸化炭素 (CO2) が気候を左右するという科学的証拠はなく、過去にもそのようなことは一度もありませんでした。

大気中の二酸化炭素が温室効果ガスとして増加すれば、気温も上昇するはずですが、しかし、歴史的な氷床コアの記録は、まったく逆の結果を示しています。気候変動が人間に起因するという理論全体の基本的な前提は、間違っていることが証明されています。

人為的な地球温暖化は、もはや気候に関する理論ではなく、私たちの時代を決定づける道徳的、政治的な原因です。一般大衆を怖がらせ、政府への依存をさらに高め、新たな二酸化炭素税を課すという典型的な PRS の主張は、私たちからさらに奪い取るためだけに扇動されています。

地球温暖化の「暴露者」のほとんどは、陰謀団に雇われた手先であり、人々が自分たちの懐に金を入れ続けるよう煽るためにナンセンスを広めている。

つまり、人為的な地球温暖化は、地球温暖化狂信者自身が仕掛けた幻想である。気候変動はこれまでもそうであったように起きており、無害である。知識をはるかに超えたエゴを持つ科学者たちの、言葉では言い表せないほど無責任な提案については、同じことは言えない。望まれているのは「炭素排出量の上限と取引」ではなく、「経済的な排出量の上限と取引」である。

太陽は制御を及ぼします:

地球は50億歳です。太陽は他のどの要素よりもすべての惑星に影響を与えています。気候は変化し続けており、これからも変わりません。二酸化炭素の影響とは関係なく、1回の火山噴火で、10年間地球を冷やすのに十分な物質が大気中に放出されます。

約50倍の炭素がCO₂、炭酸、重炭酸イオン、炭酸イオンの形で溶解しています。海洋は巨大な炭素吸収源として機能し、「これまでに人間が排出したCO₂の約3分の1を吸収しました。」

人為的な地球温暖化は科学的な理論ではありません。

IPCCの主執筆者であるジョン・クリスティ教授はすでに次のように述べている。「地球温暖化は気候システムに劇的な変化をもたらしており、人間は気候システムに劇的な変化をもたらしている。」

私は科学者の一人ですが、これはまったく真実ではないと考える人はもっとたくさんいます。人為的な地球温暖化は、普通の科学理論ではありません。メディアでは、巨大な国際組織の権威の印として紹介されています。

ロンドン大学生物地理学部のフィリップ・ストット教授：

「国連のIPCCは、国連の他の組織と同様に政治的であり、最終結論は政治的に左右される。」

活動家らは言う。

「議論の時間は終わった。どんなに科学的に厳密であっても、いかなる批判も不当であり、さらに危険である。」

地球の気候は何世紀にもわたって常に変化しています。現在の気温に異常はなく、科学的証拠は気候が二酸化炭素によって左右される、あるいは人為的である、あるいはその他の原因によるという考えを裏付けていません。どこを見ても、気候変動は疑いの余地なく証明されており、私たち人間が気候を破壊し、その結果地球上の生命を破壊していると言われています。私たちはあからさまな嘘を売りつけられているのです。

明らかに、私たちはできる限り環境を保護する必要があります。誰もこれを否定しませんし、さまざまな分野で劇的な改善が可能であることも否定しません。しかし、地球温暖化には誰も語らない要素があります。それはメディアでも、ウェブ上の主要な記事でも、トークショーでも取り上げられていませんが、何よりも重要な事実です。次の科学的事実の意味を考えると、文字通り衝撃を受けます。

「太陽系のすべての惑星が、地球が経験しているのとまったく同じ変化を経験しています。天王星、冥王星、水星、火星、すべてです。地球温暖化は地球に特有の影響ではなく、ハッブル宇宙望遠鏡、NASA、BBC、CNN、世界中の主流の大学教授や科学者によって記録されているように、太陽系全体で起こっている普遍的な現象です。」

太陽系のすべての天体は劇的な変化を遂げており、地球に人間が住んでいなくても地球温暖化は続くだろう。1940年以降、太陽の活動は過去1150年間の合計よりも活発になっている。太陽系全体でどれほどクレイジーなことが起こっているかについて誰も語らないのは驚くべきことだ。地球だけでなく、すべての惑星が文字通り今狂っている。[ここに 簡単なリスト](#) この興味深い現象をさらに詳しく調査した主流の科学レポートのほんの一部を紹介します。11年前、[BBC 巨大な太陽フレア活動が報告された](#) これはこれまで見られなかった現象です。専門家の中には、太陽はこれまでで最も活発になっていると言う人もいます。」

それは太陽だよ、バカ者よ:

しかし、ここからが面白いところです。

「過去11,400年間、つまり地球最後の氷河期の終わりまで遡った太陽の活動が、今初めて明らかになった。[国際グループによって定量的に再構築された 研究者](#) マックス・プランク太陽系研究所（ドイツ、カトレンブルク＝リンダウ）のサミ・K・ソランキ氏が率いる研究チーム。科学者らは数千年前に生きていた樹木に含まれる放射性同位元素を分析した。

ドイツ、フィンランド、スイスの科学者が2014年10月28日付の科学誌「ネイチャー」で報告しているように、太陽が過去60年間ほど活発だった時期を見つけるには、8,000年以上も遡る必要があります

。太陽活動が活発だった以前の時期の統計的研究に基づき、研究者らは、現在の太陽活動の活発なレベルはおそらくあと数十年しか続かないだろうと予測しています。

太陽活動が活発化。太陽黒点、フレア、噴火が増加。

これは、太陽が過去よりも多くの黒点を生み出しているだけでなく、より大きなガス雲を宇宙に放出するフレアや噴火も増えていることを意味します。太陽系のすべての天体で起こっている惑星の変化の大部分が、太陽のこの活発な活動によって影響を受けていることは、天体物理学者でなくてもすぐにわかります。

ですから、次に誰かが地球温暖化や気候変動について、そしてそれが人間によってどのように引き起こされているかについて語ろうとしたときは、火星、木星、冥王星がまったく同じ地球温暖化を経験していることを思い出してください。何十年もの間、同じことが起こっており、科学界の最高レベルの主流の科学者たちがそれを文書化してきました。

毎年、何十億ドルもお金が恩恵なしに使われています。

恐ろしい事実は、地球温暖化をめぐる騒動のせいで、私たちが支払う税金が増えているということです。米国会計検査院（GAO）は、気候変動対策を目的とした政策に毎年費やされる何十億ドルもお金から、納税者がどのような恩恵を受けているのか把握できていません。GAOによると、連邦政府の年間気候変動対策支出は、2003年の46億ドルから2010年の88億ドルに増加し、この期間に1,067億ドルに達しました。これらはすべて納税者のお金です。

ニュース報道は日ごとに終末論的になってきています。政治家たちは地球規模の変化について疑問を表明しようとしません。

地球温暖化は政治の域を超えている。電気自動車や電車が推進され、飛行機は推進されていない。これは新しいタイプの道徳だ。人為

的な地球温暖化の狂乱が拡大する中、上級科学者は気候変動の実際の科学的根拠が崩れつつあると述べている。過去には大気中の二酸化炭素が現在の3～10倍に達した時期があり、もし二酸化炭素が気候変動に影響を与えるなら、グラフに示されている気温再構築でそれがわかるはずだ。

人間の二酸化炭素排出量は全体のわずか0.05%で、地球を温める力はゼロであり、地球温暖化は科学的証拠によって裏付けられていません。

安心してください。メディアが私たちに信じさせようとしているように、大気中に放出されたすべてのガスが地球温暖化を引き起こすわけではありません。

人間が引き起こした地球温暖化危機の活動家たちは、今、新たな脅威に直面している。化石燃料に頼らないという彼らの警鐘を鳴らす根拠は、気候に対する太陽の重要な影響を示す新たな科学的証拠によって揺らぎつつある。その影響は簡単に人間のせいにはできない。これまでも多くの優れた証拠があったが、それは日常的に軽視され、無視されてきた。しかし、[太陽が地球温暖化を引き起こしている](#)とラリー・ベル教授は言う。

地球温暖化は亜酸化窒素（N₂O）と呼ばれるガスによって引き起こされる可能性があります。

さらに、世界中の科学団体の連合体であるパリの国際科学会議（ICSU）は、行われた分析のほとんどが亜酸化窒素（N₂O）と呼ばれるガスの地球温暖化への影響を3～5倍過小評価していると結論付ける報告書を発表した。

N₂O は地球の大気中にはあまり存在しませんが、CO₂ よりも強力な温室効果ガスであり、大気中に長く留まります。その結果、1世紀にわたって地球を温める N₂O の能力は、同質量の CO₂ のほぼ 300 倍になります。ICSU のレポートは、N₂O の排出は一般的に、これ

まで認識されていたよりも重要だということを示唆しています。さらに、**バイオ燃料の生産は地球温暖化を改善するどころか、悪化させています。**

私たちが奪うもう一つの方法：

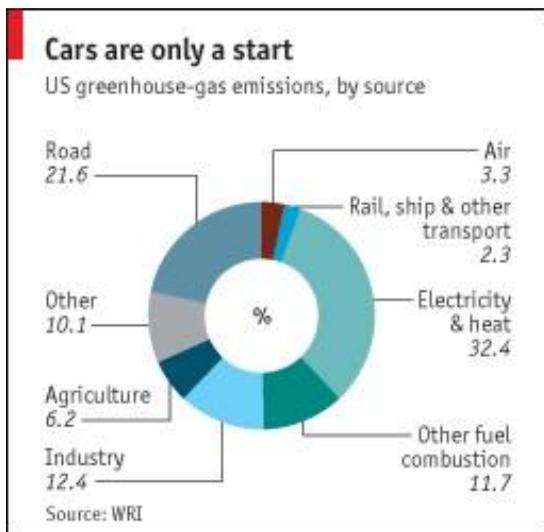
富裕国では、CO2排出量取引、つまり「キャップトレード」が導入されている。これは、汚染物質の排出量削減を達成するための経済的インセンティブを提供することで汚染を制御するための行政的アプローチであるが、これはまったくのインチキであることが知られている。

排出量取引により、石炭は他の燃料に比べて競争力が低下します。

中央当局（通常は政府または国際機関）が、排出できる汚染物質の量に制限または上限を設定します。企業やその他のグループには排出許可証が発行され、特定の量を排出する権利を表す同等の数の排出枠またはクレジットを保有することが求められます。

排出枠とクレジットの合

計量は上限を超えることはできず、総排出量は上限レベルに制限されます。排出枠を増やす必要がある企業は、汚染の少ない企業からクレジットを購入する必要があります。排出枠の譲渡はトレードと呼ばれます。



事実上、買い手は汚染に対して料金を支払い、売り手は必要に応じて排出量を削減したことに対して報酬を得ます。したがって、理論上は、最も経済的に排出量を簡単に削減できる人がそうすることになり、社会にとって可能な限り低いコストで汚染の削減が達成されます。

海洋には、大気中に自由に存在する量の約 50 倍の炭素が CO₂ や炭酸、重炭酸、炭酸イオンの形で溶解しています。海洋は巨大な炭素吸収源として機能し、「これまでに人間が排出した CO₂ の約 3 分の 1 を吸収しています」。水温が上昇するとガスの溶解度が下がるため、海洋温度が上昇すると大気からの吸収率も下がります。

海に吸収された二酸化炭素のほとんどは、重炭酸イオンおよび炭酸イオンと平衡状態にある炭酸を形成します。一部は水中の生物（藻類など）による光合成で消費され、そのわずかな部分は沈んで炭素循環から外れます。

意味のない議論：

中国は石炭を燃料とする電気エネルギーを年間100ギガワット追加している。これは米国全体の排出量の3倍に相当し、終わりは見えない。他の発展途上国の多くも同様の道をたどっている。

地球上で最大の温室効果ガス排出国は米国ではなく中国です。ブラジル、インド、インドネシア、南アフリカなどがそれに続きます。そしてこれらの国々は、持っていないお金を使う気はないと明言しています。自動車からの排出は、人為的に発生する二酸化炭素の 4 分の 1 未満を占めています。

地球温暖化は世界経済の1~2%のコストで解決できると主張するのは無意味だ。

富裕層の20%は、世界中の50億人の貧困層が簡単に入手できる何兆トンもの安価な炭素を燃やすのを止めることはできない。発展途上

国からの排出量が急激に増加しているため、世界の排出量を永続的に削減できる見込みはない。人類の80%は、同じ世界経済の一部であり、それに依存しているため、安価なエネルギーを切実に必要としている。

逆説的に、西側諸国はほぼすべての生産をアウトソーシングすることでこれらの貧しい国々にさらなる生産を強い、その過程で彼らの雇用を失わせ、これらの国々がさらに速いペースでより多くの炭素を排出するようにしている。世界中の貧しい国々は、炭素という形で手の届く最大のエネルギー源、つまり約1兆トンの安価で容易に入手できる石炭を持っている。

もし30年ほど前に世界が原子力エネルギーの生産を続けていたなら、私たちは今日の炭素問題に直面することはなかったでしょう。炭素問題は地球温暖化を引き起こし、残念ながらその温暖化をすぐに止めることはできません。

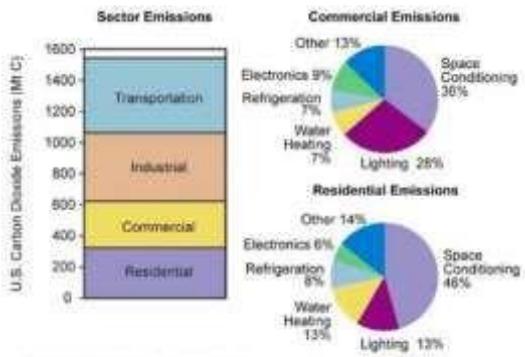
解決策：炭素排出のない安価なエネルギー：

唯一有効な解決策は、石炭から得られるような炭素排出のない安価なエネルギーを80%の人々に提供することです。

最もシンプルで賢明な代替案は、超安価な炭素フリーエネルギーを開発することです。これは

1キロワット時あたり3セント以下で発電する石炭の価格を下回ることを意味します。

思い浮かぶのは、風力、太陽、津波、その他さまざまな自然要素の力から得られる再生可能エネルギーです。しかし、これらの技術は



Source: EIA, DOE, BEA, Buildings Energy Data Book 2005
Figure 9.1 United States' carbon emissions by sector and (for commercial and residential buildings) by end use.

、炭素排出ゼロという点を除けば、どれも十分に安価ではありません。原子力エネルギーを除いて、炭素排出ゼロの燃料や技術はどれも、3 CT/KW 未満にわずかでも近づくことはありません。

原子力エネルギー：

原子力エネルギーは京都議定書に準拠しています。原子力はコンパクトですが、エネルギー需要の 80% をこの方法で生成しているフランスや米国、日本などの国の商業事業者は、このタイプのエネルギー生成が安全で安価であり、エンジニアがさらに開発できるようになればおそらくさらに安価になることを信頼できる形で実証しています。

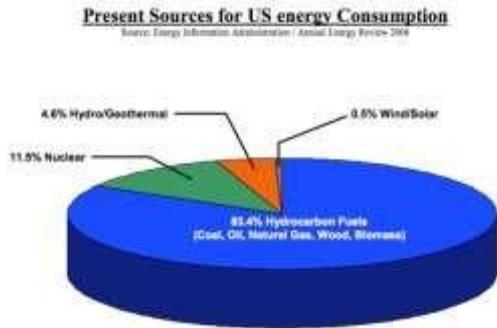
唯一の欠点は、発電所への先行投資と核廃棄物の排出かもしれない。しかし、救済資金が大量に流入している今、これは状況を改善するためのチャンスとなるはずだ。

一方、炭素ベースのエネルギーにかかるコストのほとんどは、使用される燃料のコストからではなく、炉、タービン、エンジンなどのインフラへの資本投資から発生するため、原子力エネルギーに比べて安くはありません。

もう一つの重要な考慮事項は、炭素問題と比較すると比較的安価であるが、石油への依存をなくすことである。原子力発電は石油発電よりも安価であるが、石炭発電は依然として安価である。排出量取引によって石炭のコストが急激に上昇することで、炭素との戦いは富裕層の石油への依存を20%増加させるが、減らすことはないことに留意する必要がある。

結論：

実践されている炭素削減政策計画は、排出される炭素量を削減するのに役立たず、実際に何かを解決するというよりは、むしろ政治的なでっちあげであるように思われる。



20 May 2008

この問題を解決したい

とどれほど願っても、選択した方法では事実上不可能です。地球上で最も裕福な 20% の人々が貧しくなり、炭素の需要を制御できなくなり、中東の原油への依存度がさらに高まり、その結果、「需要と供給」の法則により原油価格が上昇するだけです。それでも、環境に優しい行動をとることは道徳的に正しいことですが、そのためには他の手段を模索し、活用する必要があります。

フリーエネルギーはすぐそこにあります。

あるいは、言い換えれば、約 120 年前にニコラ・テスラが地球の周囲の磁場から生成されるフリーエネルギーを発明したが、ディープステートの陰謀団に妨害されなければ、炭素排出はまったくなかったであろうということです。

ニコラ・テスラは、誘導モーター、電力配分、蛍光灯、無線通信、機械装置の遠隔制御などの画期的な発明で知られています。

しかし、テスラの発明品の中で、日の目を見なかったものが一つありました。それは、私たちの世界を根本的に変える可能性を秘めた革命的なアイデアでした。

フリーエネルギーや無線エネルギー供給といった、時代を1世紀以上先取りしたアイデアでもありました。

従来の電力線は高価で見た目も悪く、無駄が多く、銅線の抵抗により最大 14 パーセントのエネルギーが失われることがあります。テスラのワイヤレス エネルギー グリッドの主な特徴は、人口密度の高い都市部だけでなく、遠隔地への電力供給です。

テスラは当時としてはかなり変わった外観の塔を建設しました。当初、そして公式には、彼はこの施設を利用して、海を越えてヨーロッパに無線通信を送信する技術を開発するつもりだったと言われていました。

しかし彼は、この塔を秘密裏に[無線電力の実証に利用しようとしていた。](#) [非常に大規模な配電](#)。テスラの構想には、大気中にエネルギーを放出するタワーが数多く組み込まれていました。このエネルギーは、無線電力を収集するための特別な受信装置を備えた飛行機、自動車、さらには船舶によって利用されることとなります。

この技術が大規模に普及すれば、船は燃料補給のために立ち止まることなく海を航行できる。飛行機はテスラの塔から絶えず電力を供給され、いつまでも空中にとどまることができる。秘密結社の JP モルガンがテスラの隠れた動機を発見すると、資金提供は直ちに停止された。

テスラの無線通信のオリジナルアイデアは、何年も前から存在していました。あなたのポケットにある携帯電話がその証拠です。彼の発明は大西洋を越えて電力を送るために使われていませんが、テスラの[無線電力分配のビジョンは今まさに実現しています。](#) 私たちの周りには、その起源を知らない人がたくさんいます。

今日、ワイヤレス電力分配の複雑な技術の背後では、非常に単純なことが起こっています。それは、電子機器ごとに電源ケーブルを必要とせずに充電できる技術が登場しているということです。

陰謀団が敗北すれば、テスラの未完成の傑作が現実のものとなるだろう。

42. 国民がどのように毒されているか

- 食品詐欺：
- 健康を故意に破壊する：
- 食べ物による死：
- 健康に良い提案：
- がんは治癒できる：
- 食のファシズムは私たちの周りに溢れています。

私たちが毎日食べる食べ物は、あなたが思っているほど健康的ではありません。

私たちの毎日の食べ物は、人口を減らすという明確な目的のために意図的に毒されています。現代の食品業界は、果物や野菜に化学物質が散布され、遺伝子組み換え加工食品に至るまで、非常に悲惨な状況になっています。その結果、現代の食品慣行に対する大きな抵抗が世界中で見られ、抵抗はますます大きくなり続けています。そして、それには十分な理由があります。過去数年間のモンサントに対するデモは、その完璧な例です。世界中の何百万人もの人々が集まり、バイオテクノロジーの巨人の存在と農業慣行に抗議しています。

食品業界に対する批判的な疑問を正当化する研究は数多くあり、多くの人が知っているように、自社製品が大きな利益を生み出し続けるためなら、あからさまな嘘をつくことさえいとわない企業があります。街角のいたるところにファストフード店があり、オフィスには自動販売機があり、忙しい人は時間を節約するために自宅で調理済みの食品を食べます。怠惰なライフスタイルに簡単にアクセスで

きることは、子供たちを含む私たちの多くに不健康な習慣を生み出しています。

おそらくすべての親は、子供たちに最も健康的な食事を与えたいと願っているに違いありませんが、不健康な習慣が私たちにとって良いことよりも蔓延していることが多いのです。親は、前向きな選択をし、生物学的な多様性を得るために立ち上がって歩き回ること、家族に健康的な食事をさせることの重要性を思い出さなければなりません。このような親の子供たちは、大人になったときに感謝するでしょう。

2007年にランセット誌は、食品や飲料の添加物と子供の多動行動の間には明らかな関連があることを明らかにしました。

「科学者は300人の3歳児と8歳児を対象に調査を行ったが、多動性障害を患っている子どもは一人もいなかった。子ども達はイギリスの子どもの平均的な1日の添加物摂取量に相当する添加物の混合物を飲んだが、その後、騒々しくなり集中力を失うことが観察された。子ども達は1つのおもちゃで遊ぶことも、課題を完了することもできず、いわゆる「衝動的な行動」を示した。8歳児は15分間のコンピューター演習を完了できなかった。」

大手製薬会社とその医療専門家は、これらは注意欠陥多動性障害（ADHD）の症状であり、リタリン、アデロール、プロザックなどのアンフェタミン系オピオイドで治療する必要があると私たちに告げる。公式の治験に参加した子供たちの行動特性と、行動障害の治療にリタリンなどの精神を変える薬を投与された子供たちの行動特性は同じである。したがって、これらの精神を変える薬の使用が驚くほど増加したのも、飲み物や食べ物の添加物の結果である子供の行動問題の驚くべき大多数に伴って起こったのも不思議ではない。覚えておくべき重要なことは、大手製薬会社、大手石油会社、大手バイオテクノロジー会社のカルテルなど、すべてのカルテルは密接

に結びついており、すべての国を操る血統家族の同じネットワークによって支配されているということです。支配的なタコの片腕は、化学薬品で人々を病気にし、大手製薬会社は、作り出された問題を治療するという名目で、さらに多くの化学薬品を人々に与えます。人々を除いて、誰もが勝者です。食べ物や飲み物で病気になる人々（それほど多くはありません）は、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が支援する発展途上国の「慈善」ワクチンプログラムによって病気になるります。

遺伝子組み換え食品は、私たちの健康を破壊する秘密計画の主要部分であり、悪魔的なバイオテクノロジー陰謀団、最も悪名高いダークモンサントを支援し共謀する影の人々は、自分たちが何を、なぜやっているのかを正確に知っています。モンサントは、PCB、DDT、エージェントオレンジなど、すべて致死性の物質は安全であると世界に伝えた会社です。

大手バイオテクノロジー企業はすでに自然と人類の遺伝的基盤を破壊しており、その目標は地球全体で行うことです。EU では抵抗もありましたが、最終的に EU は秘密裏に遺伝子組み換え食品を全面的に許可しました。大手製薬会社やその他の企業を支配している同じ一族が EU も支配しているからです。

「米国と英国によるイラクの軍事占領を受けて、ワシントンDCはイラクの農業を、当初は米国国務省と農務省の寛大な支援により供給された特許取得済みの遺伝子組み換え種子の支配下に置くことにした。」

しかし、遺伝子組み換え作物の最初の大規模実験は、1990年代初頭にアルゼンチンで行われた。アルゼンチンのエリート層は、ロックフェラー家とニューヨークの関連銀行によってずっと前から腐敗していた。彼らの目的は、過去には夢にしか映らなかった、独裁と暴君による覇権で、この惑星の未来の生命を究極的に支配することだった。抑制されないまま放置されれば、遺伝子組み換えプロジェクト

トの背後にいる現在のグループは、地球の食糧生産能力を完全に支配するまであと10年から20年かかることになる。

GM0 の物語のこの側面は明らかにされなければなりません。

モンサント社の遺伝子組み換え作物は世界を養えない：

査読済み文献の内外を問わず、遺伝子組み換え作物の栽培や遺伝子組み換え食品の摂取によって植物界や動物界の生物に実際に害が及んでいることを示す明白な証拠は数多く発表されている。この資料は、調査を希望する科学者であれば誰でも自由に入手でき、主要な出版物の多くは、[GM0が最近編集して発表したリストに掲載されている。](#) [自由なアメリカ。](#)

遺伝子組み換え作物の栽培に関するEUの規制は最近緩和され、遺伝子組み換え分野の研究に何百万ドルもの納税者のお金が割り当てられるようになった。EUは、新しい作物の承認を早めるよう働きかけ、他の国では禁止されているバイオテクノロジー作物でも英国で栽培できるよう国民の支持とEUの支持を求めてロビー活動を行っている。

まるで第二次世界大戦の時のように、犠牲者の税金が彼らの墓を掘るために使われました。そして今、私たち自身のお金が遺伝子組み換え食品を通して私たちを殺すために使われています。

遺伝子組み換え作物の支持者は、飢餓に対処し、増加する世界人口を養うために、世界はそのような技術を必要としていると主張している。遺伝子組み換えバイオテクノロジー業界は、遺伝子組み換え作物は不可欠であり、環境に優しく、「気候変動」の時代に農家が必要とするツールを提供すると主張している。彼らは、遺伝子組み換え作物は世界中の農家により高い収穫量とより高い収入をもたらすとさえ主張している。

これらの声明とは対照的に、カナダバイオテクノロジーアクションネットワーク（CBAN）は、これらの主張を一つ一つ分析し、否定する完全な参考文献付きのレポートを発表しました。

飢餓は貧困と不平等によって引き起こされます。人々が飢えているのは、一般的に農業生産が不十分なためではなく、食料を買うお金がなかったり、食料を栽培する土地がなかったり、あるいは食品の腐敗、不十分な食料配給システム、信頼できる水や灌漑、貯蔵、輸送、資金調達のためのインフラの欠如などの複雑な問題が原因です。

これらのより深刻な問題に対処せず、飢えや貧困に苦しむ人々に食糧が届かない限り、農業生産を増やしても食糧不足や不安を軽減することはできない。世界の人口を養うには十分以上の食糧はすでに生産されており、これは2008年の世界食糧危機のピーク時でさえも当てはまっていた。

「現在の世界の食糧生産は、100億人を養うのに十分な量です。世界は30年前と比べて一人当たり17%多くの食糧を生産していますが、それでも食糧不安に陥っている人々の数は依然として非常に多いのです。」

現在市場に出回っている遺伝子組み換え作物は飢餓の解決を目的としていません。

「4種類の遺伝子組み換え作物が、世界中の遺伝子組み換え作物の栽培面積のほぼ100パーセントを占めています。4種類とも大規模な工業型農業システム向けに開発されており、輸出用の換金作物として、また燃料の生産や加工食品や動物飼料として使用されています。遺伝子組み換え作物は収穫量を増やしておらず、農家の収入も増やしていません。遺伝子組み換え作物は農薬使用量の増加につながり、環境にさらなる害を及ぼします。」

農薬削減が導入の主なセールスポイントでしたが、全体的な農薬使用量は増加しました。

「遺伝子組み換え作物は大企業が特許を取得して所有しています。これらの企業は遺伝子組み換え作物の販売と遺伝子組み換え作物の使用料から利益を得ています。[遺伝子組み換え作物は](#)、遺伝子組み換え作物の[生産](#)に不可欠な遺伝子組み換え作物です。... そして莫大な利益を稼ぎます。」

主なメッセージは、飢餓、食糧安全保障、そして「世界の食糧供給」は政治的、社会的、経済的な問題であり、劣悪な道路、不十分な農村信用システム、不十分な灌漑などの障害を克服するには、遺伝子組み換えをどれだけ行っても不可能だということです。食糧安全保障、食糧民主主義、地域/国家の食糧主権への答えは、農業を搾取して利益を最大化し、世界の人口を削減することが最終目的である少数の大企業に農家を依存させることではありません。

摂取すべき食品:

無脂肪」や「**低脂肪**」というラベルを見たら、いつでも「**化学物質の嵐**」を思い浮かべてください。

これらの製品の多くは、人体の健康に有害な有害な化学物質や人工香料で満たされています。これは、何も知らない消費者を騙すための大規模なマーケティング戦略です。良い例は、無脂肪ヨーグルトです。これは体重増加と関連していることが判明しました。研究によると、不足している脂肪を補うために使用されている砂糖や添加物はインスリン抵抗性を高め、体重増加につながります。これは、あらゆる種類の「低脂肪」食品に当てはまります。[詳細については、こちらをご覧ください。ここにあります。](#)

食品業界の企業は、自社製品から大きな利益を上げるために、コマーシャルで嘘をついたり、虚偽のラベルを貼ったりと、あらゆる手段を講じますが、どちらも食品についての真実を伝えるべきです。

食品業界全般で、消費者を誤解させたり騙したりするためによく乱用される 5 つの用語を以下に示します。食品のラベルには十分注意してください。慎重に選び、調査を行い、意識して食品を選択してください。

1. ナチュラル:最も大きな詐欺の 1 つは、食品によく見られるいわゆる「ナチュラル」ラベルです。実のところ、このラベルの付いた食品の多くはナチュラルとは程遠いものです。それらは GMO である可能性があり、農薬が使用されている可能性が高くなります。成長ホルモンや抗生物質が含まれている可能性があり、加工されている可能性も高く、まったくナチュラルではありません。

2. オーガニック:今日多くの食品は「オーガニック」と表示されていますが、オーガニックではない原料が含まれています。しかし、オーガニック表示の食品は、食品の製造に遺伝子組み換え作物を含めることは許可されておらず、食品を「オーガニック」と表示するために企業が従わなければならないガイドラインがいくつかあります。[完全なリストは、ここ](#)。

実のところ、消費者は自分の食べ物が本当にオーガニックかどうかはよくわかりません。この種の監視を担当する政府機関に頼りすぎることによって、真実がまったくわからなくなっています。本当に知る唯一の方法は、自分で食べ物を育てることです。それでも、十分な証拠から、食料品店で売られているオーガニック食品は、非オーガニック食品よりもはるかに優れていることがわかります。一般的に、GMO がなく、農薬も少ないということです。

3. 砂糖:サトウキビは本物の天然砂糖です。自然から得られるもので、さまざまなビタミンやミネラルが含まれていますが、甘味料としてはステビア、フルーツシュガー、蜂蜜の方が健康的です。しかし、現在砂糖と呼ばれているものは、実際には砂糖ではありません。完全に人工的なものであり、免疫系にダメージを与える清涼飲料水に含まれるアスパルテームと同じです。ジャンクフードには

中毒性を持たせるために添加物がたっぷり含まれていることは周知の事実です。添加された砂糖は文字通り人を殺し、がんに関連づけられています。最近の UCLA の研究では、砂糖が IQ を低下させることも判明しました。[続きを読む ここ](#)。

さらに悪いことに、米国の20歳から65歳までの糖尿病や心血管疾患の病歴のない「健康な成人」5,300人以上を研究した結果、研究者らは、ソフトドリンクを毎日飲んでいる人の生物学的年齢が低下し、寿命が4年短くなる可能性があることを発見した。コーラなどの甘いソフトドリンクによって引き起こされる細胞の老化は、過度の喫煙によって引き起こされる老化に似ていると、アメリカ公衆衛生ジャーナルに掲載された報告書は述べている。[この研究は、テロメアの検査について](#) - 人間の寿命に関連する染色体の一部。

4. 牧草飼育: 牧草飼育はオーガニックを意味するものではありません。「オーガニック」に育てられた牛は、屠殺される前に肥育するために工場式農場の肥育場に送られます。牧草飼育の牛には成長ホルモンや抗生物質が注射されることもあることを覚えておくことも重要です。

5. スパイス: 他のすべてのものと同様、多くのスパイスは化学的に生産されています。実際、今日の食品の多くは本物の食品ではありません。自然に栽培されたスパイスは非常に健康的ですが、食品ラベルの適用を考えると、これらのスパイスがラベルに宣伝されている内容と一致しているかどうかはわかりません。また、スパイスは汚染物質を含まないことも求められていません。

人間の免疫システムに対する永続的な戦争:

[ワクチン接種](#) プログラム おそらく人類の健康に対する主な攻撃です。しかし、警告すべき攻撃メカニズムは他にもあります。ケムトレイルと放射線は、ワクチンと同様に、健康を損なう物質の送達システムでもあります。絶望的な人々が、自分を助け、守ってくれる

とされるものを静脈注射することに慣れ、自発的に、協力的に、さらには熱心に注射を受けるために列に並ぶようになると、完璧な送達システムが確立されます。これがワクチン接種に関する真実です。

薬物や不純物が混入した食品の攻撃に加え、空気や水も致死性の化学物質で操作され、フッ素、バリウム、ストロンチウムなどの有害成分で人々を毒殺しています。さらに、はるか昔に根絶された病気が復活し、遺伝子操作によってより毒性の強い新しい病気が生み出されています。エリート層にとって、エイズ、SARS、豚インフルエンザ、エボラなどの病気はそれほど効果的ではありませんでした。メキシコ風邪など、他のいくつかの病気は、通常の季節性インフルエンザよりも症例数のはるかに少なく、その統計はメディアの誇大宣伝に埋もれています。

幸いなことに、人間の免疫システムは敵のウイルスの侵入に抵抗するのにかなり優れているようです。だからこそ、私たちの回復力のある免疫システムに対して全面戦争が起きているのです。私たちの飽くことのない精神と永遠の意識と同様に、驚くべき人間の体は信じられないほど順応性があり、自己治癒力があります。私たちが健康的で適切な食べ物をすべて摂り、適度に自分自身をケアしていれば、攻撃者は私たちを倒すことができません。彼らの矢は私たちの免疫システムに向けられており、私たちを弱らせるためにできることは何でもやっています。



ひどく不純物が混入した遺伝子組み換え食品、フッ素化された水、ケムトレイルが撒き散らされた空気、放射線は、水銀やその他の毒素やアジュバントを大量に含んだワクチンと相まって、最も直接的な攻撃者であり、これらのワクチンに埋め込まれた生きたウイルス

、細菌、カビとともに、私たちの免疫系に故意に過度の負担をかけ、弱める有毒なカクテルを形成しています。

政府はワクチンの安全性と水道水のフッ素化について国民に嘘をついている。

毒物学誌に掲載された新しい研究によると、フッ素は心臓毒性効果をはっきりと示しており、動脈の石灰化や硬化もそのひとつです。フッ素は、特に既往症のある人にとっては極めて有毒です。政府が安全とみなす「低」用量でも、フッ素は神経機能、脳の化学反応、心臓血管機能に劇的な影響を及ぼす可能性があります。[続きを読む](#)
[ここ](#)。

引退した化学教授がワクチンに含まれる水銀を非難し、ワクチンと自閉症の関連性を確認する研究結果を最近発表した、米国疾病予防管理センター（CDC）の元一流科学者で内部告発者のウィリアム・トンプソン氏が発表した情報を裏付けた。



トンプソン氏は、ワクチンによく使われるエチル水銀ベースの防腐剤チメロサルは、あらゆる生物に致死的であり、人間、特に発育中の乳児には決して注射してはならないと述べた。チメロサルは、非常に低用量でも神経細胞を殺すことが示されており、これは試験管内および動物実験で実証されている。[続きを読む](#) [詳細はこちら](#)。

[このビデオクリップは、ワクチン計画の優れた概要です。このプログラムは、エボラ熱の騒ぎや、次に実験室で作られたウイルスとともに展開される予定であるため、知っておくべき非常に重要な側面](#)

です。狂犬病との関連には特に注意してください。ビデオの医師によると、企業メディアではまったく報道されていませんが、狂犬病は流行規模に近づいています。

医療マフィアがあなたの免疫システムを攻撃しています：

新しい病気が出現すると、免疫システムは最終的にその病気の特徴を識別して対処する方法を学びます。皮肉なことに、偶然ではありませんが、そのような防御を強化するはずのワクチンは、生命を脅かす有毒化学物質、動物組織の DNA、中絶胎児、および生きたウイルスや細菌などの外来タンパク質で免疫システムを圧倒し、実際には体の防御力を弱めます。



免疫防御力がまだ形成段階にある乳児や幼児は、微妙な2歳になるまでに、それらの組み合わせを含む約25種類のワクチンを接種されることになるのだ。

免疫防御力がまだ形成段階にある乳児や幼児は、微妙な2歳になるまでに、それらの組み合わせを含む約25種類のワクチンを接種されることになるのだ。

イルミナティが支配する大手製薬会社は、ワクチンで年間数十億ドルを稼ぎ、ワクチン接種による免疫システムの損傷に苦しむ人々のための薬でさらに多額の利益を上げています。ワクチンと呼ばれる有毒なカクテルは、脳の遺伝子解読システムを混乱させますが、これはいわゆる副作用を引き起こす投与された医薬品の場合も同様です。これらは副作用ではなく、意図的に作り出された効果です。悪魔の血統の家族は、できるだけ早い年齢から人体を不安定にするために免疫システムを冷酷に標的にしており、これが強制ワクチン接種の背後にある主な動機です。

人々が健康であれば、薬や治療法を売ることはできません。人々が病気の時しか売ることができません。ホメオパシー療法は比較的安価で、医師の処方箋が必要な薬に取って代わるまでは処方箋なし

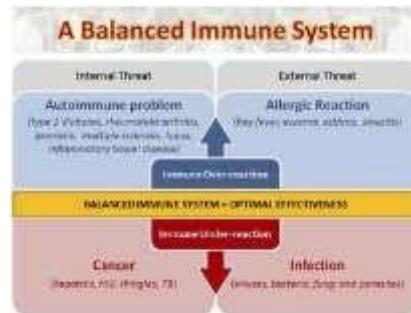
で入手できました。このシステムは、事実上、医師と大手製薬会社の独占です。

今日、陰謀団は医療ネットワークのあらゆる側面を支配している。最初から彼らが作ったWHO、米国食品医薬品局（USFDA）や疾病予防管理センターなどの公衆保護機関、製薬カルテル、医師団体などだ。彼らはメディアを所有しており、[ゲームと物語を完全にコントロールします。](#)

世界中で毎年 800 万人が癌で亡くなっています。米国では 50 万人以上です。2030 年までに 1,200 万人に達すると予測されています。癌は 85 歳以下の人の最大の死因であり、米国では 4 人に 1 人が癌で亡くなっています。日々人々の自由が奪われ、同時に、血統家族が大手製薬会社の支配下で故意に実行しているこの種のテロから人々を守るべきすべての権利が剥奪されています。彼らは、治療法が利用可能で可能であるにもかかわらず、組織的に人々を治療することを拒否しています。

1969年、ロックフェラーが支配する優生学団体「家族計画連盟」のリチャード・デイ博士（ロスチャイルド・シオニスト）は次のように述べた。

「現在、ほぼすべての癌を治すことができます。情報はロックフェラー研究所に保管されており、公開すべきと判断された場合に備えています。」デイ氏はさらに、「人々が癌やその他の原因で死ぬのを許せば、人口増加は鈍化するでしょう。」と付け加えた。「計画は、医薬品、食品、実験室で作られた新しい病気、癌治療の抑制を通じて人口を制御および削減することです。」と続けた。



血統家族、[イルミナティ](#)、陰謀団、何と呼ばれようとも、彼らには魂がなく、だからこそ彼らはやっているのです。大手製薬会社は、破滅的な薬と細胞破壊で癌の症状を治療し、最終的には患者 1 人あたり平均 50 万ドルの化学療法で人々を殺して、考えられないほどの富を築いているときに、癌を治す意欲はありません。血統家族は、[人口を減らす方法として、人々が必要以上に早く苦しみ、死ぬことを望んでいます](#)。

健康に良い提案:

健康は免疫システムの状態に左右されます。毎日、絞ったレモン 1/3 とボトル入りの湧き水 2/3 をグラス 1 杯飲むことで、免疫システムを簡単にサポートし、感染抵抗力を高めることができます。最初は、酸味に慣れるために水を少し加えてください。1 ~ 2 週間後には、酸味が気に入るはずです。さらに、ショウガの根は体内の感染症を治します。これをレモン水に加えることができます。熱を下げるには、絞ったレモンを純粋なバージン オリーブ オイルと一緒に飲みます。毎朝最初に、可能性のある癌細胞を攻撃するために、炭酸水素ナトリウム（重曹）を小さじ 1 杯加えた湧き水をグラス 1 杯飲みます。

がんは治癒できる:

陰謀団の外側にいる者は、イタリアの医師トゥリオのように中傷されるだろう。

シモンチーニは、がんとは何か、そしてがんを治す方法に気付いた後、直面し、現在も直面している大きなプレッシャーに屈することを拒んだ、聡明で勇敢な医師です。3年間投獄された彼の罪は、がんが実際にはカンジダと呼ばれる真菌によって引き起こされることを発見したことでした。カンジダは酵母のような生物で、健康な人でも体内に少量生息しています。通常は免疫システムがこれを抑制しますが、カンジダの過剰増殖が起こると、がんを含む深刻な健康問題を引き起こします。

「悪性細胞が発生源から逃げ出し、体の他の部位に癌を広げる(転移)」というのが主流医学で主張されていることです。

しかし、シモンチーニ氏は、これはまったく事実ではないと述べている。ガンの蔓延は、免疫力の低下により、本来の源から逃げ出したカンジダ菌の異常増殖という本当の原因によって引き起こされる。免疫力が効率的に働いているときは、手に負えなくなる前に問題に対処できる。ガンによる死亡者数の急増は、人間の免疫力に対する計算された戦争の結果であり、食品、飲料添加物、化学農業、医薬品、ケムトレイル、ワクチン、周波数、電磁波およびマイクロ波技術、さらには現代生活のストレスなどによって免疫力が攻撃され弱体化している。」

これが、悪魔的なイルミナティー族が人口の大量殺戮を扇動し、達成しようとしている方法です。つまり、病気に対する私たちの自然な防御である体の免疫システムを解体することです。では、免疫システムをさらに迅速かつ効果的に破壊するものは何でしょうか？ 化学療法と放射線です。細胞を殺すように設計された毒物です。最先端の主流の癌治療が患者を毒しています。化学療法は免疫システムの細胞を全滅させますが、カンジダはまだそこにいます。カンジダは部分的に根絶されるかもしれませんが、完全に消滅することはありません。破壊されたシステムは、カンジダが野火のように体のすべての部分に乗っ取る間、カンジダに効果的に反応することができません。手術と化学療法の後に回復したように見え、万全のサインを与えられた患者でさえ、時限爆弾に過ぎません。



言い換えれば、化学療法は治癒するはずの人々を殺しているのです。化学療法は生命を破壊する強力な毒物なので、明らかに人々を治癒することはできません。

がん産業は詐欺であり、殺人マシンに他なりません。例えば、女性のマンモグラフィーは、がんを予防するよりもはるかに多くのがんを引き起こします。

本当にひどい！ トゥリオ・シモンチーニは、ガンが真菌感染症であることに気づきました。彼は、炭酸水素ナトリウムが真菌を殺し、結果的にガンも殺すことを発見しました。抗真菌薬は効きません。真菌はすぐに変異して自己防衛するからです。

重曹は強力な真菌駆除剤で、カンジダ菌はこれに適応できない。患者は経口で、必要に応じて内視鏡などの体内から重曹の液体を投与される。これにより、重曹を癌である真菌に直接投与することができる。重曹は実際には[強力なアルカリ溶液である](#)。効力。癌や真菌はアルカリ性の環境では発生しないため、真菌を殺します。

古代エジプト人は抗真菌物質の治癒特性について知っていたし、千年前に遡るインドの書物では、実際に癌の治療に「強力なアルカリ」を推奨しています。癌の急増は、人間の食事の酸性度がますます高まっていることを反映しているのはこのためです。身体がどの程度酸性であるかを知るために、PH 血液検査を受けることを強くお勧めします。

過去 20 年間で、シモンチーニの治療法が大きな成功を収めていることが十分に証明されました。重炭酸ナトリウムを使用することで、末期癌でも目覚ましい成果が得られました。

1983 年、シモンチーニは、肺がんのため余命わずか 2 か月と宣告されていたイタリア人男性、ジェンナーロ サンジェルマーノを治療しました。数か月後、彼は死んではおらず、健康を取り戻し、がんも消えていました。彼はその後 20 年間生き続けました。がんの

種類と場所によって、実際の治癒には数日から 1 か月かかる場合があります。たとえば、乳がんは腫瘍に簡単にアクセスできるため、数日で治癒します。

その後もさらなる成功が続き、シモンチーニはイタリア保健省に研究結果を提出し、その有効性を検証するための科学的に承認された試験が開始されることを期待したが、その代わりに、**医療マフィア**による操作と欺瞞の本当の規模を知ることになった。

当局は彼の記録を無視しただけでなく、承認されていない治療法を処方したとしてイタリア医師会から追放された。彼は哀れで共謀的なメディアによる悪意ある嘲笑と非難のキャンペーンにさらされ、その後、彼が治療した患者を、対症療法主流の医師に見放された「不当な死」に至らしめたとして 3 年間投獄された。あらゆる角度から、シモンチーニは失脚させられなければならないという噂が広まった。

医学界は、重炭酸ナトリウムに関する彼の主張は「狂気」かつ「危険」であると述べた。ある「一流の医師」は、重炭酸ナトリウムを「薬」とさえ呼ぶという滑稽な発言をした。

その間、何百万人もの人々が、効果的に治療できるはずの癌で亡くなっていた。[トゥリオ・シモンチーニス博士](#) 彼は決して諦めず、インターネットや公開トークショーで作品を発表し続けています。

サルベストロールは癌細胞を殺します：

がん研究のジェリー・ポッター教授
創薬グループとダン・バーク教授は、
がん細胞には正常細胞にはない独特の「バイオマーカー」、[いわゆる酵素があることを発見しました。](#) [CYP1B1](#)（シップワンピーワンと呼ばれる）。酵素はタンパク質であり、



化学反応を触媒する（速度を上げる）。

CYP1B1は、多くの果物や野菜に自然に含まれるサルベストロールと呼ばれる物質の化学構造を変化させます。この化学変化により、サルベストロールはがん細胞を殺す物質に変わりますが、健康な細胞には害を与えません。同期性は完璧です。CYP1B1 酵素はがん細胞にのみ存在し、果物や野菜のサルベストロールと反応して、[がん細胞だけを殺す化学物質を作り出します](#)。

そして、ガンが真菌であるという点に関して、ここにポイントがあります。サルベストロールは、真菌の攻撃に対する果物や野菜の自然な防御システムであり、そのため、イチゴ、ブルーベリー、ラズベリー、ブドウ、ブラックカラント、レッドカラント、ブラックベリー、クランベリー、リンゴ、ナシ、緑黄色野菜（特にブロッコリーとキャベツの仲間）、アーティチョーク、赤ピーマンと黄ピーマン、アボカド、クレソン、アスパラガス、ナスなど、真菌によるダメージを受けやすい種にのみ含まれています。

さらに、[大手製薬会社/大手バイオテクノロジー会社のカルテル](#) これらすべてを知っており、彼らは、一般的に癌と呼ばれる真菌の攻撃に対するこの自然の防御機構を弱めるために、2つの大きなことを行いました。現代の農業で使用される化学殺菌剤（除草剤）スプレーは、真菌を人工的に殺します。これは、植物や作物が独自の防御機構であるサルベストロールを発動する必要がないことを意味します。今日では、無機的に栽培された食品に限られた量しか見つかりません。

がんについての真実 - 世界的な探求:

最も広く使用されている殺菌剤は CYP1B1 の非常に強力な阻害薬であるため、化学的に製造された食品を十分に摂取した場合、サルベストロールをどれだけ摂取しても、本来の目的である癌破壊剤として活性化されることはありません。これは偶然ではなく、綿密に計

算された設計によるものであり、トゥリオ・シモンチーニ博士が発見した治療法を破壊しようとする体制側の試みは、当時も今も続いています。

血統家族は、人々が癌を治すことではなく、癌で死ぬことを望んでいます。彼らは計り知れないほど精神的、感情的に病んでおり、人間を使い捨ての羊や牛と見なしています。彼らは、自分たちの操作と抑圧がどれだけの苦痛、苦しみ、死をもたらそうと気にしません。彼らの狂った精神病質的な観点からは、多ければ多いほど良いのです。そして、これらの人々こそが、狂った精神病質者なのです。

しかし、シモンチーニ氏は腰を据えることを拒み、がんの有効な治療法と見なすものために運動を続けている。一方、「現実」の世界では、真実ではない仮定に基づく効果のない治療法のせいで、がんによる死亡者数は増え続けている。これは確かに狂気の現実だが、血縁者の視点からすれば、そうなる運命なのだ。[がんからの治癒を可能にしてくれる、トゥリオ・シモンチーニ博士のような勇気と献身的な人々がいることに感謝したい。](#)

貴重な情報で治療へのもう一つの道は、[シェン](#)経由です [マイク・ランバートの健康クリニック](#)。

大衆の目覚めにより、がんの自然療法とされるものが数多く登場し、多くの生存者がさまざまな方法の有効性の証人となっています。日々蓄積されるこれらの治療法の範囲は広すぎて、この文章では書ききれません。

2016年に[9部構成のドキュメンタリーシリーズが制作された。](#) が立ち上げられ、がん治療のさまざまな方法が強調され、50人の主流の対症療法の医師が、がん産業の歴史、その邪悪な目的、隠された治療法について語ります。

自然の基盤を破壊する：

食品ファシズムは私たちの周囲にあふれています。遺伝子組み換え食品は、RKマフィアが悪魔的なバイオテクノロジー陰謀団（最も悪名高いのはモンサント）とともに影からコントロールする「秘密」計画21の主要部分です。この陰謀団のメンバーは、自分たちが何を、なぜやっているのかを正確に知っています。

私たちの社会に蔓延している犯罪のほとんどは、一つの中心的な嘘に基づいて構築されています。つまり、国民によって選出され、国民のために存在する私たちの政府は機能しておらず、過去 150 年間にわたり陰謀団の中間権力となってきたということです。

人々の国の土地の管轄権を持つ主権者は、期待通り戻ってくるかもしれない。一方、私たちの国を運営する私たちの召使たちは、私たちの食べ物を食べ、私たちのワインを飲むという楽しい長い時間を過ごしていた。彼らの通貨システムの運営は、今や制御不能な状態に達している。現在の信念はもはや維持できない。

モンサント社の遺伝子組み換え作物は世界を養えない：

遺伝子組み換え作物の栽培や遺伝子組み換え食品の消費によって、植物界や動物界の生物に実際に危害が及んでいることを示す、議論の余地のない証拠は、査読済み文献の内外を問わず、数多く発表されています。



EUの遺伝子組み換え作物栽培に関する規制は最近緩和され、あらゆる分野で数百万ドルの税金を遺伝子組み換え研究に費やす計画が承認された。EUは新しい作物の承認を早めるよう求め、バイオテクノロジー作物を栽培できるように国民の支持とEUの支持を求めてロビー活動を行っている。

英国は、たとえば他の場所では禁止されています。第二次世界大戦で犠牲者の税金が自分の墓穴を掘るために使われたのと同じです。今日、私たちの税金は私たちを殺している遺伝子組み換えフランケン食品の開発に使われています。

バイオテクノロジーの支持者の主張とは裏腹に、遺伝子工学の産物を摂取することで人間は実際に被害を受けています。実験動物は遺伝子工学の産物を摂取して苦しむことが示されており、遺伝子組み換え作物を使った適切に実施された試験では、腸の異常、肝臓障害、免疫機能の低下、さらには癌性腫瘍など、多くの厄介な結果が出ています。一方、遺伝子組み換え食品は、健全な科学ではなく、科学の組織的な破壊に基づいた世界の食糧供給の中心となっており、事実が公に暴露されれば、即座に崩壊するでしょう。

課題：

米国の公益弁護士スティーブン・ドラッカー氏は、2015年5月20日にモンサント本社に、彼の新著「[改変された遺伝子、歪んだ遺伝子](#)

」に不正確な事実の記述があれば指摘するよう求める書簡を提出した。「真実」。

この本の中で、彼はモンサント社の遺伝子組み換え食品がいかにか科学を破壊し、政府を腐敗させ、組織的に国民を騙してきたかを説明しています。モンサント社への手紙は次のように締めくくられています。



「もし7月20日までに、あなたとあなたの同盟者が、提示された条件に従って『遺伝子組み換え、歪んだ真実』の本質的な事実の正確さを反駁することができなければ、世界はこの本が、それを査読した専門家が断言したのと同じくらい信頼できるものであると想定し、遺伝子組み換え食品は容認できないほど危険であり、禁止されなければならないと結論付ける権利を持つことになる。」 [手紙の全文はここからご覧いただけます。](#)

この本は、科学史上最大の詐欺行為を暴露しており、非常に興味深い。私たちの時代です。そしてその結果、FDA 自身が人体の健康に有害であると分類した遺伝子組み換え食品を、ほぼ 20 年間にわたって家庭で日常的に摂取してきました。人体へのリスクの大きさは、環境リスクと同様に計り知れません。

内部事情；食品ファシズムは私たちの周りに溢れている：

遺伝子組み換え食品は、1950年代と1970年代のDNAの発見に続く数十年間に本格的に始まり、その目的は遺伝子コードの再配線を目的として遺伝子を組み換える可能性を調査することであった。

1980年、RKMが支配した米国最高裁判所は、遺伝子操作された生命体は特許を取得できるという画期的な判決を下しました。これによ

り、企業は、ある程度改変した生命体に対しては、生命そのものを特許取得する権利を得ました。

「お金」と慈善事業が、すべての国の健康を破壊していることが証明されている原因であると公言されているが、実際には、**人間の大量殺戮こそが真の動機である。**

訴訟によりFDAの内部文書44,000件が明らかになり、遺伝子組み換え作物がアレルギーを引き起こし、毒素や新たな病気をもたらすことが明らかになった。



抗生物質耐性疾患、栄養障害、癌を引き起こす病原体さえも除去します。また、FDA (RKM管理) が GM 食品は従来の方法で生産される食

品とは異なり、したがってリスクも異なると述べられています。GM0 が人間の健康に与える影響は、潜在的に大量虐殺的であることが証明されています。この邪悪な大規模な実験により、これまでに何百万人もの人々と動物の命が失われ、GMO によって健康を害された数え切れないほどの人々が深刻な苦しみを味わったに違いありません。

RKマフィアが実質的に所有する大手バイオテクノロジー企業は、FDAから事実上望むものすべてを手に入れている一方で、有機農家や栽培者、小規模農場は、銃を手は無知を装った検査部隊が課す「食品安全」という偽りの根拠に基づく数々の新しい厳格な法律によって破壊されつつある。 - 食品ファシズムは私たちの周囲に蔓延しており、その大きな責任はモンサントにある。

大きな嘘と小規模農家に対する無視：



大きな売り文句は、GMOがなければ世界、特に最貧国は食糧を自給できないということだが、実際は全く逆である。GMOは大量の除草剤や殺虫剤を必要とし、土地の肥沃さや環境を破壊し、国民を累積的に毒化している。昆虫や菌類は変異して

毒を克服した結果、より強力な毒素が導入され、散布され、自然との戦いの

悪循環に陥り、非常に抵抗力のあるスーパー雑草が生まれ、根絶するためにはますます多くの毒物が必要になります。

世界正義のためのコミュニティ同盟は、「モンサント社は世界中の小規模農家の利益と福祉を露骨に無視してきた歴史がある」と指摘した。

GMO 作物は大企業によって特許が取得され、所有されています。これらの企業は GM 作物の販売と GM 形質の使用料から利益を得ており、一方で世界中の小規模農家は種子の購入コストの増加と GM 作物の使用に伴うリスクを負っています。GM 作物は農家の選択肢を減らす一方でリスクを増大させ、一方でモンサントは農業技術部門を支配し、莫大な利益を上げています。

モンサントはこれに激しく反対し、自社の GMO が世界の飢餓に対する「解決策」であると主張している。インドでは GMO 作物の不作と、GMO 作物に不可欠なモンサント製品を購入できないことが原因で、30 分ごとに農民が自殺しているという事実があるにもかかわらず、こうした根拠のない主張は続いている。モンサントの GMO は、モンサントの除草剤ラウンドアップ（グリホサート）と一緒にのみ繁殖するように設計されている。これにより、モンサントは作

物と、作物への散布に必要な毒物の両方を管理することで、小規模農家を完全に支配できる。

世界の飢餓を研究する約900人の科学者が参加する開発科学技術部門の国際農業知識評価（IAAK）は、2009年の報告書「収穫量の減少」の中で、遺伝子組み換え作物は長期的には収穫量の増加をもたらさず、栽培コストがはるかに高く、環境と健康に根本的な危険をもたらすと結論付けている。

過疎：

モンサントは、ロスチャイルドが創設し支配する世界銀行の調整下にあるアルコン支配の血統組織の世界的なネットワークの一部であり、ロスチャイルドが創設し支配する世界銀行は、国際通貨基金と共謀している



。 (IMF) は、世界の最貧地域で死と破壊を引き起こし、アルコン企業による安価な買収の扉を開いた。

モンサント、大手バイオテクノロジー企業、大手食品企業は、GMO製品の義務的表示を阻止するためのキャンペーンを展開し、消費者がどの食品が GMO でどれがそうでないのかさえ分からないようにするために何千万ドルも費やしてきました。これには 1 つの理由しか考えられません。それは、選択肢があれば多くの人が GMO を拒否するだろうという認識です。GMO 食品は、アルコンによる人間の遺伝子操作の継続であり、これが彼らが表示を望まない理由であり、最終的には GMO 以外の選択肢がまったくない理由です。消費されている GMO 食品の改変された DNA は人間の DNA に伝達されますが、彼らは私たちがこれを認識しないよう必死に望んでいます

。なぜなら、私たちは明らかに、DNA が不可逆的に変更されることによる壊滅的な結果を避けたいからです。

議題21:

アジェンダ21へようこそ。企業が完全に

私たちが立ち上がってこれ以上我慢しないかぎり、アルコンはすべての生命を完全に支配するでしょう。ア



ルコン企業は反生命であるため、人々が食べ物に何が含まれているかを知る権利を阻止するためにあらゆる手段を講じてきました。これが今日の私たちの立場について何を物語っているか考えてみてください。企業は何百万ドルも費やして、人々が食べている食べ物に何が含まれているかを知る能力を否定していますが、その食べ物は人間の健康にどのような完全な結果をもたらすかを知ることが不可能な方法で遺伝子組み換えされています。しかし、明らかに、大規模な大量虐殺の可能性のあることは研究を通じて十分に明らかにされています。

人類は食糧供給を通じて体系的かつ累積的に毒されつつある。

以下のドキュメンタリーでは、モンサント社の手口について衝撃的で印象的な説明がなされています。

モンサント社の部隊が農民に嫌がらせや脅迫を行っている様子。

誰も語ろうとしない、遺伝子組み換え食品の操作に関する真実の裏話。 カナダの農家パーシー・シュマイザー パーシーと彼の妻はともに80代で、人類の幸福のために戦う真の戦士です。この夫婦のように勇敢な人がもつとたくさんいれば、間違いなく、犯罪者のア



ルコンはすぐに倒されるでしょう。 反体制派の打倒に献身し、大義に注いだエネルギー、強情さ、スタミナ、推進力、創意工夫、そして農夫とその妻が全面勝利を収めるために行った努力を通して、屈辱に耐え抜いた。 この夫婦は、21世紀の賞賛に値する。完全かつ正確で、胸が張り裂けるようなドキュメンタリーで、個人の創意工夫と多くの忍耐力、利用できるあらゆる手段の活用が映し出されている。自分で判断してください。この映画は、現在および将来の世代のための誠実な自由な世界に関心のあるすべての人に強くお勧めする。パーシーと奥さん、他の人のために、私たち全員のために「信念に基づいて」してくれたことすべてに感謝します。人類はあなたのような人々に感謝すべきです。

パーシー・シュマイザー（1931年1月5日生まれ）はブルーノ出身の農家で、カナダ、サスカチュワン州。キャノーラの育種と栽培を専門とする。多国籍農薬会社モンサントとの長期にわたる法廷闘争を通じて、独立農家の権利と遺伝子組み換え作物の規制を訴える国際的な象徴、スポークスマンとなった。

43. 経済の実態は伝えられているものとは異なっている

- 資本のない資本主義。
- 何も見た目通りではない。

- あなたの富がどのように盗まれているか。
- 偽金貸しが原因。

2007年以降経済成長なし:

インフレ率、CPI、成長率、雇用数が、なぜ個人的およびビジネス上の経験と矛盾するのか疑問に思ったことはありませんか？問題は、偏った、そしてしばしば操作された政府の報告にあります。最近の経済活動の公式見解は、わずかではあるものの、西側諸国のほとんどが経済成長を経験しているというものですが、これらの数字は中央銀行が毎月 850 億ドルの紙幣発行と政府債務の購入を継続できるようにするために捏造されたものである、と Shadowstats.com の John Williams 氏は結論付けています。

現在、EU と米国の公式インフレ率は 2% 未満ですが、10 年国債の利回りは 2.61% です。これは、わずかな差です。shadowstats.com の [John Williams氏によると](#)、1980 年以前に適用されていた数値を見ると、年間インフレ率は 8.99% です。つまり、お金を取り戻すために政府に 6% 以上支払っていることとなります。Jim Grant 氏の言葉を借りれば、これは「リターンのないリスク」です。

2006年に始まり、2008年と2009年に崩壊した景気後退の後、経済回復は一度もありませんでした。その後続いたのは

長期にわたる事業停滞が続き、2012年第2四半期および第3四半期に再び下降傾向に転じました。

「GDPの主要データで見られる「回復」は、これまでとは異なる手法でインフレ調整後のデータを計算する際、インフレ率を過小評価したことで生じた統計的な錯覚だった。」

GDP やインフレの影響など、一連の指標の調整に使用されるインフレ率が低いほど、結果として得られるインフレ調整後の成長は強くなります。米国が初めてこのプロセスを GDP 報告に使用したとき、日本やドイツなどの国はそれに従わなかった。そのため、当時の米国と日本、ドイツの GDP 成長率の相対的な強さは、経済活動の実際の違いというよりも、インフレ策略の異なる使用を反映していた。GDP 推定値の計算に使用される手法のヘドニック変化は、これまで一貫して適用されたことがなく、一般的に経験される経済を反映していない。

深刻な不況は 2007 年 12 月に始まり、2009 年 6 月に最低を記録しましたが、それ以降、ビジネス活動は回復傾向にあります。このパターンは、付随する表現である実質インフレ調整済み国内総生産 (GDP) に常に反映されています。その後、経済は 2011 年第 4 四半期に不況前の高水準を回復し、それ以降拡大を続けていると報告されました。残念ながら、GDP 報告が示唆する完全かつ拡大した回復を示した主要な経済要因は他にありません。これらの「誤った/一致しない」要因には、給与所得者雇用、工業生産、消費者信頼感、住宅着工などがあります。

「過去 30 年間、インフレ推定技術に数多くの方法論的変更が加えられ、年間インフレ率を人為的に低下させる効果がありました。GDP 推定に特に関連しているのは、漠然とした品質の変化の影響に合わせてインフレ率を調整するヘドニック品質調整の導入です。コンピューターや洗濯機の新機能から大学の教科書のカラー写真の使用まで、これらの変化は直接測定することはできず、計量経済モデルによって推定するしかありません。通常、関連するインフレ率を低下させる効果があります。」

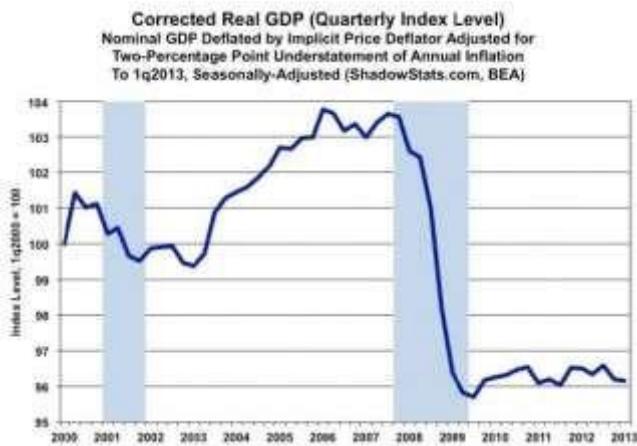
この修正された実質 GDP のグラフは、享乐的に低く見積もられた年間インフレ率の約 2 パーセント ポイントを除外して調整されています。公式の急落と回復のパターンとは対照的に、経済の急落と停滞のパターンを示しています。

「多くの大手消費者志向企業は、活動の「修正」パターンが自社の事業活動により近いことに気づいているだけでなく、この同じパターンが家計収入など幅広い活動の原動力となる基礎的なファンダメンタルズにも反映されている。」

経済が直面している主な問題は、GDP 活動の 70% 以上を生み出す消費者の構造的な流動性問題です。実質所得の伸びがなければ、消費者は短期的な信用拡大を利用する以外、実質消費の伸びを維持できません。しかし、信用の利用可能額は限られています。信用拡大がなければ、消費者は生活水準の不足を補うために借り入れることができません。

過去2年間の米国国勢調査局の月次調査の数字に基づくと、所得はサイクルの最低水準付近で推移しており、「修正」されたGDP系列と一致している。

「消費者の流動性が制限されている限り、経済は回復していないし、回復することもできない。したがって、時折の「良い」経済統計による短期的な誇大宣伝は、おそらく誇大宣伝に過ぎない。経済の現実は引き続き下振れで驚き、それは米ドルにとってだけでなく、財政赤字や財務省の資



金調達の予測にとってもマイナスだ。米国経済の弱さは長期的かつ構造的なものであり、今後数か月でそのことが世界的に認識されれば、最終的には世界市場で米ドルが暴落することになるだろう。」

米ドル、そして同時にユーロやその他の紙幣の見通しは悲観的です。しかし、金と銀の価格のインフレは、見通しを逆に支える要素です。経済が悪化の一途をたどり、財政危機を先送りする戦術の期限が切れるにつれ、市場心理は再び変化するでしょう。金と銀は富の貯蔵庫として時代を超えた役割を果たし続けるでしょうが、法定通貨は変動を続け、最終的には完全に破綻するでしょう。

この分析に、隠された無謀な紙幣印刷の結果としてEUが直面している問題を加えると、2017年10月までに合計34兆ドルに上るECB、日銀、FRBの同時紙幣印刷の最終的な結果は、不換紙幣システム全体の崩壊となるだろう。

ドルは世界の準備通貨であるため、最も損失が大きい。したがって、もしこのシステムが崩壊すれば、アメリカは第二次世界大戦以来保持してきた特権、つまり自国が発行した紙幣で合法的に債務を返済できる特権を失うことになる。アメリカは世界で唯一その力を持つ国であり、最も失うものが多い国である。

常にデフォルトで終了する紙幣の歴史:

世界はこのままでは機能し続けることはできない。中央銀行は紙幣の印刷を過剰に続けている。それが歴史を通じて起きてきたことだ。紙幣の歴史は、どのケースでも、通貨供給を管理する責任者がインフレと紙幣印刷の誘惑に屈しているということを示している。そうすることで、彼らは最終的にインフレを制御できなくなり、国民の信頼を失い、[人々は不換紙幣を放棄する。](#) [お金](#)。

「今日、その確実な兆候は、全世界の基準金利である10年米国債金利の暴落だろう。これはすべての固定収入の基準とな

るものだ…もしそれが続けば、金利は史上最低から急騰し、人々は金融システムから離れ始めるだろう」。

金融政策の犠牲者：

たとえば、フランスは依然として物価が高い。自由市場の国のように取引されているが、実際は社会主義の楽園だ。そして、いつも同じ結末を迎える。破産だ。米国経済さえ回復していないことは明らかで、現実的なデフレーターを適用すれば、実質的な意味で縮小している。同時に、最大の経済圏であるEUは深刻な不況に陥っている。日本は政府が支払いをするためだけに円を印刷するに至り、英国も米国と同様に危うい状況にある。

「過剰な債務、過剰な政府、過剰な規制が主要経済を阻害している。そのため、政府財政を救済するための税収や不良債権を抱えた銀行を救済するための利益を回復・創出する能力が致命的に損なわれている。この認識が、すべての中央銀行家にとって最悪の悪夢となっている。」

金融政策の被害者：

たとえば、中流階級の貯蓄者は、上流階級の銀行家や投機家が、どれほど貪欲で無謀であっても、事業を継続できるように、罰せられる。中小企業も、必要な資源が不足しているため、大企業は選挙資金を出し、無能な政治家に雇用を提供し続けることができ、一方で誠実な労働者の賃金は下がる。

中流階級は搾取されている。貧困層は政府から援助を受けている。そして金持ちは自分たちの計画を持っている。

政治家が夕食に出かけるとき、彼らは貧しい人々とは会いません。彼らは金持ちと会います。彼らは金持ちの面倒を見、金持ちは彼らの面倒を見ます。そして私たち中間層がそれを支払うのです。

これはあとどれくらい続くのでしょうか？

人々はすぐにそれにうんざりするだろう。

米国経済は経済史を「変える」ことでGDPを人為的に3%増加させる：最新の見出し。米国の債務対GDP比率が100%を超え、forexlive.com 方程式のGDP側を変えることは極めて重要だが、それは国家債務に対処するより簡単だ！新しい計算方法により、ベルギーと同規模の国の経済に相当するものが米国の生産高に追加される、とFTは報じている。

紙幣の代替となるのは金と銀です。

国際通貨制度の崩壊は「世界の終わりではない」。過去 100 年間に 3 回起きており、最近では 1971 年にニクソン大統領が金の窓口を閉鎖した時である。崩壊とは、単に大国が制度を改革することを意味する。今回の改革の実施は、何らかの形の金本位制に戻ることになるだろう。「中央銀行がそれを望んでいるからではなく、他に選択肢がないからだ」。これが制度への信頼を回復する唯一の方法であり、今日のドル価値で、この崩壊と改革のシナリオでは金 1 オンスあたり約 10,000 ドルの価値を生み出す。ドルへの信頼の崩壊は、多くの人々が認識するよりも早く起こる可能性がある。

政府の債務と約束は、伝統的に実際に意味を持っていました。しかし、借金と支出の現在の経済では、実際の価値のある通貨を保有することがますます魅力的になっています。政府の紙幣の代替となるのは、金と銀です。しかし、金投資の分野では悲観的な話が飛び交っていますが、金の実物が不足しつつある兆候があります。実際、金は、名目価格とそれを採掘する企業の価値の両方で、爆発的な回復に向かっている可能性があります。

そして、イングランド銀行は、1938年のチェコスロバキア侵攻後にナチスが略奪した金の売却を手助けするという、中央銀行史上最も暗いエピソードの一つにおいて重要な役割を果たしたと、フィン

シャルタイムズは報じている。社会を導くほど信頼できる当局がどこにいるだろうか？ どこにもいない、自分でやるしかない。

資本主義は富を増大させる：

ダボスで開催された世界経済フォーラムでのエリートによる**反資本主義キャンペーン**は、控えめに言っても恥ずかしいものでした。メディアもそう装い、宣伝しているように、資本主義は本当に破滅に向かっているのでしょうか。ナンセンスです。自由市場経済では、企業が存続できなければ破産する権利があります。その後、その資本資産は他の企業に引き継がれ、より有効に活用されます。資本主義環境では、それが機能するはずの方法です。しかし、今では誰もが市場の自己治癒力に信頼を失っているようです。そこで、納税者のお金を手にした政府が介入します。

今日、世界は、ベイルイン、ベイルアウト、崩壊、不況、社会主義、ファシズム、国有化など、ほとんどの人が考えもしなかった状況に直面しています。以前は、これらのうちのいくつかについては歴史書で読んだことしかありませんでした。あまりにもぼかばかしく、不条理で、奇妙な現象なので、誰もそれが繰り返されるとは思っていないませんでした。

人々は資本主義が何であるかを知らないかもしれないが、資本主義が好きではないことは知っている。グローブスキャンが実施した世論調査では、資本主義への支持は過去 10 年間で 20 % 低下していることが明らかになった。

しかし、資本主義は生産し、社会主義は分配します。この 2 つのシステムは互いに快適に共存しません。実際、それらは対立しています。社会主義の原則は流暢さと情感の点で高い評価を得るかもしれませんが、経済的知恵の点では非常に低い評価を得ています。資本主義は生産し、社会主義は分配します。資本主義がなければ、社

会主義は機能しません。言い換えれば、社会主義には資本主義が必要です。

興味深いことに、その逆は真ではない。資本主義は社会主義をまったく必要としない。資本主義は、自由競争の相互作用によって生み出された機会を創出することで富を分配する。資本主義は、他者の経済状況を向上させる企業に投資する資本を蓄積する。資本主義は富を没収して再分配するわけではない。資本主義は富を増やし、その過程で機会を再分配する。資本主義は人々が裕福か貧乏かはあまり気にしない。

自由市場は、一種の進化的軍拡競争として機能しています。企業は、同じ製品をより安く、または同じ価格でより良い品質を提供するために競争します。ペースを維持できない企業は、最終的に消滅するか、排除されます。この「適者生存」のプロセスを通じて、価格は時間の経過とともに低下し、商品とサービスの品質は押し上げられます。このようにして、社会経済的スペクトルの下端にいる人々が、彼らのビジネスを獲得するために競争する企業の活動から最も利益を得ます。そして、最も良い点は、誰もそれを支払うために1ペニーも盗む必要がないことです。「資本主義の豚」は、セーフティネットの社会主義者が邪魔をせず、彼らが最も得意とすることを許可さえすれば、全体の運営に資金を提供します。

中国のビジネスマンである秦暁氏はこの原則を理解しており、政府に次のように助言した。

「現在、政府が支配する経済は、市場主導の経済に変わる必要がある。政府は経済活動や市場活動を承認する手続きを廃止しなければならない。市場価格や取引への介入をやめなければならない…」

こうした新興市場の思想家たちは世間知らずだろうか。いいえ、彼らは影響を受けやすい。彼らは市場システムによって裕福になれる

ときは市場システムを好むだろう。先進国とは対照的に、新興国では実質賃金が10年ごとに倍増している。彼らは資本主義を好み、それを実践したいのだ。

西側諸国の本当の問題は、資本主義が多すぎることではなく、むしろ、例えば2008年の危機のときのように、資本主義が必要だったときに資本が少なすぎたことです。

政府は金融業界を腐敗させていた。住宅建設業界への連邦政府の補助金と連邦準備制度理事会による人為的に低い金利が経済にバブルを生み、ウォール街に狂乱をもたらした。金融業界は手っ取り早い利益に執着するようになった。銀行の経営者は融資をすることで手数料を稼げることを知ったが、誰がその手数料を回収することに関心を持つだろうか？

これは真の資本主義の危機ではなかった。歪んだ資本主義の危機であり、真の資本主義なら解決法を知っている単純な問題だった。資本主義が適切に機能していれば、これらの銀行は倒産していたはずだ。そうあるべきだった。

銀行の破綻は、ギリシャの債務など、他の多くのものの破綻も意味していただろう。銀行の保有資産は投げ売り価格にさらされ、銀行自身の価格も下落し、ギリシャや他の主要債務国も破産に追い込まれただろう。

中央銀行の失策：

もちろん、これは中央銀行が避けたかったことそのものです。10年以上経った今日でも、彼らはまだそれを避けようとしています。これがヨーロッパでドラマを引き起こしたのです。

しかし、これは「資本主義の危機」を示すどころか、フィクサーたち自身が危機を引き起こしたことを示している。マーケット氏が十分に自己表現を許されていたなら、彼らは破産していたであろう銀

行を抱えている。そして今、破産した銀行は政府によって存続させられているが、政府も破産すべきだったのだ。

ケインジアンは、自立した経済を創り出すために、ブラックホールに現金を詰め込むことを考えている。それは、ますます明らかになっているように、おそらく永遠のユートピアであり続けるだろう。

無能だが高給取りの経営者が経営するゾンビ金融機関に、ますます多くの実質的な資源を移しています。

米国当局が危機に気付かなかった一方で、ユーロの仲介者たちは積極的に危機を作り出していた。

「ドラギ氏は世界銀行、イタリア財務省、ゴールドマン・サックスのベテランだ。イタリアが今や返済困難な債務を抱えていた頃、彼はローマで働いていた。現在IMFの専務理事を務めるクリスティーヌ・ラガルド氏は、1990年代からフランスの財務大臣を務めていた。

2007年から2010年にかけて、フランスの公的債務は約50%増加しました。彼らは、ヨーロッパ、そして世界を金融危機の瀬戸際に追い込んだまさにその人々です。そして今、彼らはさらなる金融政策と財政政策の調整、さらなる統制、さらなる規制、そしてさらなる「ストレステスト」を主導しています。」

中央銀行は景気回復の助けになるどころか、むしろ妨げになっているのでしょうか。その通りです。政府の官僚は大規模な富の再分配に関与しています。連銀は金利を本来あるべき水準よりも低く抑えています。これは住宅所有者を補助するためです。住宅所有者の多くは、大きすぎて買えないほど大きな家を買っています。では、その費用を誰が負担するのでしょうか。貯蓄する人々、特に高齢者です。高齢者は、市場金利で決まる金利よりもずっと低い金利を預金に受け取っています。

おそらく、主要金融機関は、先進国のほとんどの主権国家と同様に、支払い不能に陥っている。「おそらく」というのは、誰も確実に知ることはできないという意味だ。真剣な格付け、偽りのストレステスト、官僚のいずれも、ECB の担保価値のような実際の支払い能力を判断することはできない。支払い能力は、市場の実際のストレステストによって決定される。

破産は死に似ています。状況が変われば、平均寿命も変わります。しかし、当局は価格発見のプロセスを継続させる代わりに、真の存続可能性のテストを中止します。

残念だ。今や、どの銀行、どの国が破産しているのか誰も知らない。おそらく、すべてが破産しているのだろう。

何も見た目通りではありません：

点と点がつながれば、読者はすぐに何が起こるかがわかるだろう。Brexit は多くのプレーヤー、特に大手プレーヤーを「不意打ち」したようだ。この市場イベントにより、商業銀行は商業ショートカテゴリーで数億オンスの紙の金と銀を抱え、圧倒的な力で彼らを圧迫している。しかし、Brexit は世界の終わりではない。彼らはそんなことは起こらないと思っていたが。結局のところ、エリートは選挙を操作し、政治家を買収し、公の警察をコントロールすることができる。Brexit をめぐるパニックは、中央銀行によるより積極的な介入につながる可能性が高い！すでに大きく開かれている安易な資金の洪水は、さらに大きく開かれることになる。Brexit は2016年の最大の出来事だった。それは、投票操作、銀行の救済、通貨介入、金利政策など、その後起こるすべてのことに影響を及ぼすだろう。そして、多くの市場プレーヤーは、Brexit は中央銀行がすべてをハイパーインフレに陥れるまで紙幣をどんどん印刷することを意味することを理解している。

米国ではQEプログラムを一時停止したと言われているが、

ヨーロッパでも日本でも、資金が滝のように湧き出している。欧州中央銀行のマリオ・ドラギ総裁は毎月800億ユーロの債券を購入している。国債だけでなく社債も購入している。

この分野で常にトレンドセッターである日本では、日本銀行があまりにも多くの国債を購入し、利回り曲線上で45年満期の国債でさえ日本国債の利回りをゼロ以下に押し下げました。言い換えれば、投資家は今や、名目上は投資で1円も儲かる見込みがないまま、2051年まで破産した日本政府に融資し、債務不履行の場合は全額または一部が消滅するため、膨らんだお金が戻ってくることを祈っているのです。

中央銀行の金庫に大量の債券が積み上がっている日本は、現在、分散投資を進めている。日銀は上場投資信託（ETF）も購入している。ETFの購入を通じて、日銀は年間約300億ドルの日本株を購入している。これにより、日銀は日経平均株価に上場している企業の約90%で上位10位の株主となっている。

偽金：

実際、中央銀行が作り出した偽のお金は、金融セクターにさらに偽のお金を投入するためだけに、特別に作られた偽のETFを購入しています。 - 結果はどうでしょうか？ 民間投資家ではなく中央銀行が、民間投資家が欲しがらない株式や債券を、民間投資家が決して支払わない価格で購入したことを誇りに思っています。この操作全体はあまりにもばかげていて、言葉では言い表せません。中央銀行は、無制限のお金の創造力によって資産価格を高く保つことを決意しているため、中央銀行がすべての資産を所有するのは時間の問題です。

最終結果はどうなるのでしょうか？ 人々の自由は消え去ります。彼らは何も失うものはなくなってしまいます！ そして、カール・マルクスの領域、つまり**資本のない資本主義が到来するのです。**

あなたの自由は消え去ります：

エリートたちは今や、人々の富、住宅ローンを組んだ家、リースした車をコントロールできる。なぜなら、すべてが中央銀行の融資で、補助金付きの低金利で購入されているからだ。中央銀行の信用で成り立つこの「ゆりかごから墓場まで」の社会の過程で、彼らの自由がすべて完全に没収されていることを理解していないと、話がうますぎて真実には思えない。

民間部門のドルやユーロは、すべて稼いだか借りたものです。中央銀行とその仲間は、お金を無料で手に入れます。徐々に、彼らはより多くの資産を**所有するようになり**、残り的人々はより多くの負債を負うこととなります。

なぜ人々はますます自由を失いつつあるのに、ますます声高に「自由」を祝福するのでしょうか？ 彼らは自由がもう存在しないことに気づかず、ぐっすり眠っているのでしょうか？ 皆さん、**目を覚まして**、この情報をすべての連絡先に送ってください。世界に必要なのは、RKM 陰謀団をこの惑星から永久に根絶する革命です。

価値と価格の関係：

価格と価値は同じではありません。価格を上げるには、現金をばらまくだけでいいのです。ヘリコプターからお金を落とせば、価格は上がりますが、価値も下がる傾向があります。お金が天から何の努力もせず舞い降りてくるとき、収益が要求の厳しい顧客から得られなくなったときに、どんな会社が最高の製品を生産するために汗を流し、努力し続けるのでしょうか？ - 利益と品質パフォーマンスの間に関係がなくなると、品質は低下します。品質の高いものを生産するために時間と労力を費やそうとする人がますます少なくなるからです。

なぜそうすべきなのでしょう？ 品質と富、努力と報酬を結びつける古くからの神聖な絆が断ち切られてしまったのです

。

1971年、通貨制度が変更されました。金とドルのつながりが断ち切られ、結果的に**価値と価格のつながりも断ち切られました**。変更は非常に微妙で、ほとんど誰も反対しませんでした。また、非常に巧妙に行われたため、その本当の意味を理解する人はほとんどいませんでした。

ほとんどの人がそれを理解するまでに 45 年以上かかりました。そして今、点々はパターンを明らかにしています。ただし、それは不明瞭で、見にくく、誤解しやすいものです。ほとんどの人は症状や妄想しか見ておらず、事実は見ていません。

大衆はBrexitとドナルド・トランプに投票している。金利は5000年ぶりの低水準に下がっている。貧富の差はますます広がっている。

悲惨さの原因は明らかです！ - 価値と価格の関係の破壊。

信頼ゲーム：

エリートにとっての問題は、金融価格はいつまでも偽装できないということだ。金融価格は最終的に**真の信用ゲームの対象になる**。中央銀行でさえ相殺できないショックやブラックスワンのリスクが生じる。そして、衝撃的で暴力的な形で審判の日がやってくる。

これは、中央銀行の政策の結果であり、家計部門をまず債務ピークという持続不可能なバランスシートの苦境に追い込み、現在では14兆5000億ドルという圧倒的な債務負担の下で困窮させている。

つまり、バブルファイナンスは、その性質上、中央銀行の爆発的な金融手段でシステムを飽和させます。これは約 20 年前に米国で始

まり、世界中に輸出されました。現在、私たちは 2008/9 年の崩壊が再び繰り返されるのを目にし始めています。

非常に強力なネットワーク：

RKM 寡頭政治は、私たちの周りのほとんどすべてをコントロールする極めて強力なネットワークを持っています。彼らはニュースもコントロールしているため、それについて MSM ニュースには何も書かれませんが、政治家は公にそれについて話すことはありません。それは自殺につながるからです。RKM エリートは、あからさまに隠れています。 - 彼らは、この惑星で起こっているすべての悪事の源です。これからの厳しい時代を生き残るためには、**人々がそれが何であるかを知り、理解することが不可欠です。**

経済問題はすべて、RKM エリートが作り出した戦争、税金、規制、インフレによって直接的、間接的に引き起こされています。多くの悪い考えと同様に、人々はこれを宇宙の天空の一部だと思い込んでいますが、実際はただの恐ろしい詐欺です。これは、言論の自由があるというあなたの信念と同じように詐欺です。

毎日の戦いは、人類対銀行家たちです。もし私たちが目を覚まさないければ、私たちは皆、RKM-悪魔マフィアの奴隷となり、彼らの新世界秩序に組み入れられることとなります。

法制度：

[世界で最も大きな感染の中心は法制度であり](#)、これは文明を破壊するために組織的に利用されている。エリート層は、最も軽い犯罪から最悪の犯罪まで逮捕されても、起訴されることなく自由に歩き回ることができるが、一般人は哀れで些細な「犯罪」でさえも拘束され、不当に刑務所に入ることになる。

ドミニク・ストロスカーンを覚えていますか？ ストロスカーンは、IMF の理事長を務めたフランス人で、世論調査によると、次期フラ

ンス大統領の有力候補です。彼はギリシャ国民に好意的な発言をしました。これは、ギリシャ、ポルトガル、スペイン、イタリアの略奪の邪魔になるのではないかと懸念していた有力な銀行関係者を不安にさせました。 - 突然、ホテルのメイドが現れ、彼を強姦で告発しました。彼は逮捕され、保釈なしで拘留されました。警察と検察が愚かな行動をとった後、彼はすべての告訴を取り下げて釈放されました。しかし、目的は達成されました。ストロスカーンは IMF 理事を辞任し、フランス大統領のチャンスに別れを告げなければなりませんでした。

13歳のときにトランプ氏にレイプされたと主張する女性が現れたのは興味深いことだ。

人々の選択は受け入れられない:

Brexit投票に対する政治体制の反応を考えてみましょう。

国会議員らは、この投票結果は受け入れられず、議会には国民の声を無視する権利と責任があると主張している。

当時EU議会議長だったマルティン・シュルツは、次のように明言した。

「*群衆が自らの運命を決めるというのはEUの哲学ではない*
」

西側メディア組織も国民の決定を受け入れないことを明確にしている。この投票はしばしば「人種差別的」と評されるが、それは不当であり無視できる。米国のRKMはイギリスのEU離脱を認めるつもりはない。彼らは60年もの間、ヨーロッパ全体をエリートマフィアが支配できるEUの傘下に置くために努力してきたのに、民主主義によって自分たちの成果がすべて台無しになるのを許したわけではない。

連邦準備制度理事会、そのウォール街の同盟者、そしてその従属機関である日本銀行と欧州中央銀行は、英国ポンドと株式を空売りし、主流マスコミは価値の下落を英国の投票が間違いだったという「市場」の宣言として説明するだろう。

もし英国の離脱が実際に認められれば、2年間に及ぶ交渉は、リスボン合意で再検討されたEU憲法に関する国民投票のように、英国をEUにしっかりと結び付け、名ばかりの離脱とするために利用されるだろう。わずかな項目以外は何も変更されず、新たな国民投票は禁止された。

EU自体は完全に人為的で機能不全の連合であり、いずれにせよ崩壊するだろう。

ヨーロッパの人々が幸せで、ワシントンとNATOが彼らをロシアとの紛争に追い込んでいるなどと、まともな考えを持つ人などいない。しかし、人々の抗議は各国政府の決定に何の影響も与えていない。

ギロチンを使ったフランス革命は人々を解放することができる。

フランスについて考えてみましょう。社会主義政府を装ったファシストフランス政府は、これを「労働法改革」と呼んでいます。この「改革」は、フランス国民が何十年もの苦闘の末に達成し定着させた改革を奪い去るものです。フランスは雇用をより安定させ、不確実性を減らし、それによってストレスを減らし、人々の生活の幸福に貢献しました。

しかし、企業はさらなる利益を望み、人々に利益をもたらす規制や法律を利益増大の障害とみなしている。新自由主義経済学者は、人道的な社会は失業を引き起こすという**誤った主張で、フランスの労働者の権利の剥奪を支持した。**

新自由主義経済学者はこれをフランス国民が達成した改革による「[雇用市場の解放](#)」と呼んでいる。もちろん、フランス政府はフランス国民ではなく企業を代表している。

新自由主義の経済学者や政治家は、世界的企業がより多くの利益を上げるための道を開くために、フランスの生活の質を犠牲にすることに何の抵抗も感じない。

ドイツ人のことを考えてみてほしい。彼らはワシントンの戦争、愚かなドイツ政府が許可し支援した戦争からの難民で溢れている。ドイツ国民は犯罪や性的暴行の増加を経験している。彼らは抗議するが、メルケルは彼らの声を聞かない。彼女はドイツ国民よりも難民のことを心配しているのだ。

ギリシャ人とポルトガル人を考えてみよう。彼らは政府から、外国銀行の利益を増やすために個人的な財政破綻を受け入れるよう強いられている。これらの政府は外国銀行家を代表しており、ギリシャ人やポルトガル人を代表しているわけではない。ギリシャ人も完備したフランス式革命だけが彼らを解放できると西洋人が全員結論づけるまで、どれくらいの時間がかかるのだろうか。

ベルリンで市民の不安が爆発し、3,500人以上が警察に対して暴動を起こす。

約1800人の警官が呼び出され、少なくとも120人の警官が負傷し、街頭での乱闘となった。これは[最も激しいものだった。](#) [ドイツでの暴力的な抗議](#) 過去5年間で最も多かった抗議活動。この抗議活動には主に若者が参加し、メルケル首相の警察活動に反対した。

あなたの財産がどのように盗まれているか - 偽金貸しが犯人です:

共産主義の魅力は、人々の生活を物質的に豊かにできることだった。広告、競争、誤り、不要な贅沢、個人装備のコストがなければ、

経済はより効率的に商品やサービスを生産できるはずだった。機械のようなものと彼らは考えた。用心深く、専門家で、公共心のあるテクノクラートは、生産を合理化し、より効率的に機能させることができる。しかし、結局、それはうまくいかなかった。

中央計画者たちは、指針となる正直な価格シグナルもなく、まともな製品やサービスで顧客を満足させる必要もなく、次から次へと大失敗を繰り返した。どの取引も損な取引だった。エリート層だけが利益を得て、国民は貧しくなった。そして数十年後、経済全体が惨事となった。実質生産量は非常に少なく、品質も非常に悪かったため、エリート層は盗める貴重品がなくなってしまった。

ソ連の70年間と中国の30年間の共産主義の後、政府はこの幻想を捨て、私有財産を回復することを決定しました。

私有財産：

私有財産の一般的な例は何でしょうか？ 家族は不動産、車、いくつかの電化製品、宝石、およびいくらかの金融資産を所有しています。ソ連や中国でも、家族はいくらかの個人的な所有物を保有していました。しかし、金融資産と不動産は奪われました。西側諸国でもそのようなことが起こるのでしょうか？ エリート層が**偽の金貸し**を利用して人々の財産を手に入れているため、すでに今起きていることよりさらに悪い状況のようです。

詐欺：

この詐欺はどのように行われるのでしょうか？ どれほど簡単に実行できるかを示すために、次の例えを考えてみましょう。

「駐車場に車を停めます。すると、引換券が渡されます。これはお金の一種です。それは本当の富ではありませんが、本当の富、つまりあなたの車を表しています。では、駐車場が余分に引換券を印刷したと想像してください。」

それは「マネーサプライ」を増加させます。人々は自分たちがより裕福になり、より支出できると考えるため、一時的に経済が活性化する可能性もあります。この例えで言えば、複数の人があなたの車を所有していると考えられるかもしれません。

「もちろん、そこには車が一台しかありません。しかし、保険金請求書を印刷する金融業界の人々は、それを使ってあなたの車を奪うことができます。」

その後、彼らは同じシステムを使ってあなたの家、株、債券を奪うことができます。これは隠れた革命です。私有財産はほぼ消滅します。それはシステムを支配するディープステートのエリートたちの財産になります。 - 誰が文句を言うのでしょうか？

富の盗難：

中央銀行や政府系ファンドはすでに偽の資金で数兆ドルの債券や株式を購入している。ブルームバーグによると、日本の中央銀行は現在、日経平均株価の90%の株式を保有する上位10位以内に入っている。



QEプログラムの下で、銀行は

日本は年間6兆円（530億ドル）相当の株式市場ETFを購入している。他人の車に乗っているのだから、好きなだけ行ける。価格を心配する必要はない。投資収益率も、リスク管理も。

米国当局は2008年以来、およそ10兆ドルを無から作り出し、債券としてバランスシートに積み上げ続けている。世界の他の中央銀行の多くも同様のことをしており、合計で34兆ドル以上が捏造されており、この数字は増加し続けている。

株価は高すぎるのか？企業は経営不行き届きなのか？株式市場は上昇しているのか、それとも下落しているのか？中央銀行が無償資金で購入しているときは、それは問題ではない。次の金融危機が来たら、中央銀行はより大規模に株式や債券を購入するだろう。

議会や国会の法案は不要。議論も不要。大統領の承認さえも不要。中央銀行は「経済を守る」必要があると主張するだろう。彼らは「雇用を守る」と言うだろう。しかし、実際に起こっているのは、**富が個人の手から中央銀行家とその取り巻きの強欲な手に移ることだ**。

偽金貸し：

では不動産はどうでしょうか？ほとんどの不動産は、すでに住宅ローンを通じて銀行が所有しています。これらはすべて、簡単に没収される対象です。

つまり、ほとんどの家は住宅ローンで購入されるため、金融部門はすでにあなたの家に対する権利を持っています。銀行は、中央銀行が株を買うために使用するのと同じ偽のお金を人々に貸します。銀行は、融資を行うときに、コンピューターのキー入力のみを使用して、何もないところから預金を作り出します。

彼らはお金を稼いだことはありません。しかし、家を買うには銀行からお金を借り、そして稼いだお金で利子を付けて銀行に返済しなければなりません。そして返済しなければ、銀行は家を取り上げて他の誰かに売ります。

数年前、人々は住宅ローンを完済すると祝ったものです。ついに、彼らは自分の家を無条件で所有することができました。今日では、住宅ローンの金利が非常に低いため、人々は信用を**管理し、借り換えをするように教えられています**。

住宅所有者の大多数は、決して自分の家を所有していません。彼らは単に銀行から家を借り、一生をかけて頭上の屋根のために支払います。そして、ここにもうひとつの詐欺があります。人々は固定資産税やその他の税金も支払っています。ほとんどの人が、数年前に家賃として支払っていたのと同じ額の税金を支払っています。

人々の車でさえ、今ではリースやローンで購入されることが多い。実際には、陰謀団が施行した違法な海事法制度の下では、所有されている車や家は人々の正当な財産ですらない。これらの刑法によれば、ほとんどのものは賃貸物件と同じくらい正当な所有物ではない。すべては銀行の所有物である。銀行は秘密のロスチャイルド・ディープ・ステートの金融部門である。

ディープステート:

第7章と第11章で説明したように、ディープステートによる社会支配は偽のお金によって支えられています。 **資本、もっと正確に言えば、何もないところから生み出されたお金は詐欺であり**、銀行カルテルによって優遇金利でエリート層に提供されています。これにより、資産が貪欲な徒党の手に移され、多くの詐欺取引や損失計画が発生します。

一般人は、ビジネス、金融、政府のエリート層の2倍の金利で借金をしなければなりません。なぜでしょうか。縁故のある機関の方がリスクが低いからです。縁故のある機関が問題を抱えれば、有利な貸出金利であっても救済されます。一般の人が住宅ローンを支払えなくなったら、財産を失うことになります。

この不公平さは、今日の経済システムの根幹をなすものです。また、大衆が十分に理解していないにもかかわらず、大衆が感じる不満の大きな原因でもあります。

不正システム:

この制度は、設計上、詐欺的です。平均的な所得者が受け取る所得は、10年前よりも少なくなっています。これは、人類史上、最も偉大で、最も成功した時代であるはずでした。なぜ賃金が下がっているのでしょうか。

彼らは、グローバリゼーション、規制、中国、自動化、不平等、金融化のせいだと言います。しかし、本当の答えは、お金のシステムが偽物だからです。お金のシステムはエリート層とウォール街に利益をもたらしますが、私たち残りの方々には利益をもたらしません。そして、中央銀行とウォール街を切り離さず、正直なお金に戻らなければ、このディープステートの陰謀団が世界中の人々からさらに多くのものを盗むことを許すことになります。

犯罪：

彼らの犯罪は何ですか？ 契約違反？ 窃盗？ 詐欺？ 偽造？

- 連邦準備銀行券を何兆枚も印刷し、それを本物のお金として流通させる習慣を始めたのは彼らではなかったのか？そして彼らは、借金を金で返済するという米国政府の約束を破ったのではなかったのか？そして彼らは、世界中のドル建て資産の価値をすべて盗み取るという強盗行為を開始したのではなかったのか？

1970年に30年満期の米国債を購入した投資家を想像してください。貸した1ドルごとに1ドルが返ってくることを期待する権利はないのでしょうか。また、2000年に受け取る1ドルの価値が、1970年に手放した金額とほぼ同じであると当然期待すべきではないのでしょうか。数兆ドル相当の新たな紙幣を印刷すれば、必ず影響が出るでしょう。もっと正確に言えば、**インフレ**こそが「人々から金を奪っている」のです。

コンセンサス：

ディープステート、つまり米国帝国は多額の負債を抱え、偽のお金で運営されている。経済はあまりにも多くの内部関係者によって支配されており、彼らのエリートの仲間に報酬を与えている。

全世界は、あらゆる資産がそれに対して評価される負債ベースの通貨によって、意図的に負債の締め付けに巻き込まれてきました。

この「負債に基づく」現象こそが、現在世界的に展開している通貨危機の核心問題となるだろう。トランプが、オバマとその犯罪的な「エリート一族」、つまり永久的な縁故ゾンビ複合体であるブッシュ家とクリントン家によって築かれた「この企業の壁を破壊」するために必要な破壊力を持ち続けるならば、企業による社会の乗っ取りは良い方向に変わる可能性があり、アメリカ共和国は回復するだろう。他のすべての法人国家も同様である。

多くの人々は「ロスチャイルド型」の中央銀行の存在は神話だと考えているが、よく見ると、180 か国ほどの主権国家の中央銀行のほとんどが、ロスチャイルド家が所有する国際通貨基金と連携した中央銀行として国際銀行界に加わる直前に、戦争や経済危機を経験したことがわかる。

戦争は国際中央銀行の遵守につながるようだ。クリントン、ブッシュ、オバマが爆撃した7カ国は、地球上で最後に中央銀行を設立した国のいくつかだった。

アメリカ国民は米国連邦準備銀行に20兆ドル以上の負債を抱えていると言われており、その額は増え続けている。世界の他の国々も同様で、合計50兆ドルを超える。この額は決して返済できず、各国政府が何兆ドルもの不換紙幣を印刷するたびに、国民は「ロスチャイルド風」のぼったくり、高利貸しの銀行制度にさらに多くの借金を負うことになる。

読者の皆様、これは農奴制への道です。これはFA ハイエクが 1940年代に書いた本に書かれています。今日の通貨制度の全体的な目的は、負債を通じて人類を完全に奴隷化することです。

誰もがこの事実に留意し、ロスチャイルド・ハザール・マフィアとともに既存の銀行システムを一掃するために動員されることが重要です。

世界で最もよく守られた秘密の一つ：

[この美しく簡潔なプレゼンテーションをご覧ください](#) 民間銀行がカナダ国民に対して詐欺行為を続けていることについて。同じ真実はどの国の他の中央銀行にも当てはまります。人々は、このような明らかな利己主義と悪意を目の当たりにしながらも、何年もの間、銀行システムを盲目的かつ無知に信頼してきました。本当に驚くべきことです。

44. 本当の富とは何でしょうか？

- 富は信頼の上に築かれます。
- 偽りの富。
- リスクのない資産移転。

通貨とお金：

ほとんどの人は、通貨はお金だと思っています。誰かがあなたに現金をくれたら、それはお金だと考えられるでしょう。しかし、そうではありません。現金は単なる通貨であり、価値のあるもの、つまり資産やサービスを購入するために使用される交換手段です。通貨という言葉は、電流（電気）という言葉に由来しています。電流は動かなければ消えてしまいます。通貨はそれ自体に価値を蓄えるも

のではありません。むしろ、ある資産から別の資産に価値を移す手段です。

お金は、通貨とは異なり、それ自体に価値があります。お金は、価値のある他のアイテムを購入するために使用できるという点で常に通貨ですが、上で説明したように、通貨は常にお金であるとは限りません。通貨には固有の価値はありません。お金の基本的な定義は、与えられたエネルギーに対して受け取る収入エネルギーです。

次の文はこの定義を説明しています。100ユーロ紙幣を表す長方形の紙には、100ユーロの価値はありません。その紙切れは、どこか別の場所に保管され、購入されるのを待っている100ユーロの価値を表しています。長方形の紙、つまり通貨がそれ自体で価値を表すという事実は、世界が金本位制だった過去にのみ当てはまりました。今日、すべての紙幣は、空気、つまり一般に「誠意」と呼ばれるものと、「発行者」である中央銀行の信用力以外の何にも裏付けられていません。言い換えれば、当局は、簡単に言えば紙幣の印刷や偽造など、裏付けがなくても意のままにお金を作成する能力を持っていますが、政府はそれを財政政策と呼び、これらをまとめて「不換紙幣」と呼びますが、これはお金ではありません。

つまり、お金は人々が考えているようなものではないのです。今日、お金は政府、あるいは中央銀行によって発明され、創造された「通貨」であり、議会の承認なしに課税し、通貨をインフレさせ、その結果として指定された「本質的」価値を下げて人々の購買力を低下させることで人々から盗むものです。

お金にはそれ自体の価値がありますが、通貨には価値がありません。

抽象的な観点では、通貨は信頼の発展を促進する形而上学的技術であり、本質的にはお金の本質である。

2 人以上の個人の間には存在する信頼は、すべての富の真の源であり、誰もが自分自身で創造し、環境を通じて自然に発生することを可能にします。

言い換えれば、あらゆる形態の富は、人間が自然と調和して作り出す価値あるものなのです。

この意味で、通貨は、2 人以上の人々が何らかのプロジェクト、目的、または課題に協力できるようにする社会的な潤滑油です。その目的は、関係者にとって本質的に価値のあるものではないかもしれませんが。彼らは、単に目的を達成するためだけに協力する気はないかもしれませんが。しかし、彼らにお金を提供することで、ビジネスにおける価値ある利害関係が与えられ、モチベーションが生まれます。一般的に、人々は、効果的な動機付けとして、価値があると思うもの、つまりお金に参加する傾向があります。

したがって、負債ベースのお金、つまり「何もないところから印刷された」お金に関しても、通貨システムに力を与えるのは人々の信仰と信頼です。人々がお金の使用から何らかの価値を引き出さなければ、お金は使われません。

しかし、社会が慈悲深いものになるのは、その社会の人々が名誉あるプロジェクトだけに信頼を置くことに心から関心を持っているからです。その裏返しとして、道徳、倫理、正義が失われると、人々は金銭の約束によって悪意に駆り立てられる可能性があります。そして、これが今日の世界の本質です。権力者、エリートたちは、主に彼らが作り出したお金を使って私たちが進んで参加している支配システムを維持するために、私たちを歯車のように利用しています。

富は本質的に価値がある。

個人の富は、本質的に個人にとって価値があり、潜在的には他人にとっても価値があります。たとえば、ミュージシャンが演奏する音

楽は、ミュージシャンにとって本質的に価値があるだけでなく、何らかの形で美しく、感動的で、表現力に富んでいるため、それを聴く他の人にとっても価値があります。

自然界では、富は、多くの場合、個人の共同作業を通じて、制御または洗練される必要があります。コミュニティのために食料を栽培するなど、ある特定のものに価値があると人々が相互に同意すると、その価値を実現するために協力することができます。相互に同意された価値モデルを作成するための正式なプロセスは、信頼と呼ばれます。

お金は信頼の象徴です。国民は国が使用するお金を信頼し、そのお金を使って互いにシンボルを交換することができます。お金は他のものと交換できる価値の象徴なので、お金を提供すれば、グループプロジェクトへの参加を促せます。何かをすることの価値を本能的に理解していない人でも、単にそうするという行為だけで参加する意欲が湧き、努力に対してお金で「報酬」を得ることができます。

価値は人々が本当に望んで自由に選択するものによって測られ、世界を貧しくすることはありません。

5,000 年前、金はお金として導入されました。それは人々が信頼できるお金でした。今日のように、誰かが約束したお金ではありません。この「金貨」はまったく違うものでした。人々が頼りにできるものでした。その場で取引を決済するのが簡単になりました。誰が誰にいくら借りているかを覚えておく必要はありません。同じ言語を話したり、同じ宗教を信仰したりする必要はありません。この「金貨」はそれ自体に、本質的に価値がありました。

金は真の国際通貨です。

金は紙幣とは対照的に、健全な通貨であることが証明されています。人々は何千年もの間、金を使って商品やサービスを売買してきました。金はあらゆる種類の金融危機を生き延びてきました。また、

数え切れないほどの紙幣も生き延びてきました。金の価値、そして同様に銀の価値は安定しています。数日間で25%以上も急落することはありません。また、物理的な金の価格や供給を管理する中央機関は世界中に存在しません。金は真にグローバルな通貨です。だからこそ、無謀な政府や中央銀行家から身を守るには、金が今でも最良の方法なのです。

本当の富とは何でしょうか？

お金ですよ？通貨、金、銀、何でもいいです。お金は、欲しいものを何でも買うことができるので、真の富です。どんな形のお金も、実際には真の富を得るための手段にすぎません。お金は、目標を追求するための機会と時間を得るための道具なのです。

富とはお金と余暇であるという従来の考え方は、逆です。金庫の所有者が、宝石や金貨などの従来の財宝を持っていると想像してみましましょう。「富」が金庫の中にあるとしたら、この「富」を所有する意味は何でしょうか。それは「裕福」であることの秘密の満足感でしょうか。

「富」が単なる内面の状態であるならば、友情や必要とされている/求められているかどうかを「富」の尺度で測ってみましょう。要点がおわかりですか。「富」が単なる内面的な満足の状態であるならば、「お金」でいっぱい金庫は貧弱な尺度です。

お金で買えるものこそが真の富であり、自由であり、自分の人生をコントロールすることです。自分の人生をコントロールすることを行動と呼びます。行動とは、「特定の環境において行為者が行動する能力」と定義されます。これは深遠な概念のように思えないかもしれませんが、行動を別の言い方で説明すると、行動は無力感の反対であると言えます。

富の形態：

活動的または意欲的な人は、自分自身と自分のアイデンティティを定義します。彼らは、どんな状況がもたらされるかを受動的に待つのではなく、自分が住む世界を形作ります。

現実の世界では、やる気のある人はやる気に満ちています。彼らは、特定の状況で物事がうまくいかなかったら、先へ進みます。

行動は、無力感の反対であるだけでなく、被害者意識、つまり自分のすべての試練や苦難に対して他人が責任を負わされる状態とも反対です。

行動と自己責任はコインの表裏であり、一方が他方を顕現させるものです。

機会は富の一種であり、機会を得る能力も同様である。

チャンスは必ずやってきます。チャンスには偶然の要素、つまり幸運が伴うこともあります。チャンスをつかむ能力は運の問題ではありません。チャンスをつかむには、リスクに対する特別な意欲、忍耐力、チャンスをもっと有効に活用する方法を見極める能力、そしてチャンスを活かすために必要な資本へのアクセスが必要です。

資本とは、「お金」だけに限定されない富の一種です。性格特性も資本であり、社会的ネットワークも資本であり、経験も資本であり、知識も資本です。これらの資本形態はすべて、「お金」の資本よりも重要である場合が多いのです。

「お金」で余暇を買うことに関して言えば、余暇が多すぎることは大多数の人にとって災難です。人間は、他人に必要とされるように、自分よりも大きな何かの一部になるように、そして役に立つ仕事をすることで尊厳と誇りを得るようにできています。その仕事に対して「お金」が支払われるかどうかは関係ありません。

これが、無限の余暇を過ごすための「お金」を持っている人たちの多くが惨めな理由です。彼らの人生は、軽薄な消費主義、神経質な

狭量さ、心気症、カウンセラーへの絶え間ない心の痛みの吐露、そして何よりも悲しいことに、目的のない存在の倦怠感と重荷を和らげるための大量の薬の終わりのない繰り返しです。

「お金」は、本当の富、つまり理想を追求するための活動、機会、時間を得るための手段である場合にのみ役立ちます。

さまざまなもの、つまり「ライフスタイル」に年間 60 万ドルを費やせるにもかかわらず、「裕福」だと感じていない人はたくさんいます。そして、自分にとって意味のある活動や仕事の時間がなければ、彼らは裕福ではありません。彼らは、収入のほんの一部しか稼げない人と同じくらい貧しいのです。

本当の富を得るには多くのお金は必要ありません。

本当の富を得るには、実は大量の「お金」は必要ありません。ある程度のお金は必要ですが、その額は活動、機会、時間のコストによって決まります。必要なものが少なく、優先順位が正しい人にとっては、コストは最小限です。

資本の獲得に関して言えば、最も重要な種類の資本は多くのお金を必要としません。決意、自制心、組織力、知識と仕事への貪欲な欲求、飽くなき好奇心、寛大な心、友情を築く才覚、目的意識を持って目標を追求すること、これらが真の富を獲得するためのツールです。

お金では人類の根本的な問題を解決することはできません。

人々は、直接の責任はないが、政府への不信を不変の事実として受け入れている。「これが物事の成り行きだ！」政府は腐敗しているに違いないと思われているため、人々は自分たちがこの信頼の問題に対処するための変革の力になり得ることに気づいていない。一人ひとりが法律と信頼について自ら学ぶという重荷を負うにつれ、彼

らは誠実さの単一のユニットとなり、いつの日か他の人々と団結して真に誠実で公正な社会を形成できるだろう。

つまり、人類の歴史が暴政や腐敗した政府に悩まされてきたからといって、真に慈悲深い政府を形成することが妨げられるわけではない。そのような慈悲深い組織は、基礎から構築されるべきであり、個人としても集団としても信頼関係を築く方法を知っている、教育を受け警戒心の強い人々の集団の上に無政府的に設立されるべきである。

私たちの世界は、不正直、不公平、そして人生の根本原理である真実の全面的な拒絶に悩まされています。

今日の世界では、力こそ正義であり、それが常識であり、無法地帯であり、弱肉強食と「適者生存」が抑圧と成功の第一の基準となっています。しかし、信頼の対象となる人間の領域が貧困に陥っているにもかかわらず、文明の船を方向転換し、繁栄と豊かさへと進路を正すことを妨げるものは何もありません。

世界中のすべてのお金をもってしても、人類が直面している根本的な問題、つまり社会の信頼の破壊と、個人が人類という大きな家族を再建する能力の破壊を解決することはできません。

信頼を回復する：

カバールは、テクノロジーによる権力、莫大な金銭的富、そして人間の心を汚染し歪める一見無限の能力を駆使しているにもかかわらず、部下の信頼がなければ実質的に無力である。華麗で贅沢な象牙の塔に住む彼らでさえ、支配と統制のゲームで駒として働く、信頼する農奴、つまり操り人形の人口を必要としている。

本来あるべきではない権力者たちは、信頼こそが社会事業全体の血管を流れる血液であることを知っており、その結果、私たち国民が互いの信頼を回復できないようにするために休みなく働いてきた。

私たちはお互いを信頼できないため、結局は腐敗した権力構造に信頼を寄せ、私たちの信頼を破壊したまさにその人々にますます依存するようになる。

だからこそ、歴史は、人類の家族と社会の信頼を破壊するために設計された、終わりのない分裂的な運動、宗教、信条、性、戦争で特徴づけられてきたのです。自己中心的な個人の権力の柱に登りつめた、道徳心のない愚か者たちにとって最も危険なのは、目覚めた個人と、同じ考えを持つ他の人々との名誉、関係、信頼を回復する彼らの可能性です。

暴政に対抗する最良の武器の一つは、真実への愛と、他者と信頼し合って働く意欲です。

『嵐の中の静寂』に書かれているように：信頼、名誉、尊敬は、すべての人間関係をうまく機能させるものです。この意味で、誠実さこそがお金の本質です。誰かとの信頼関係が崩れると、その人は将来その人と仕事をしたくないと思うでしょう。人類は概して、信頼関係を裏切り、不名誉な行動をとり、病的なほど無礼であるため、協力が非常に困難になります。この問題を解決するには、偽りの信頼関係、つまり借金と呼ばれる強制的な協力が必要です。これが、今日のお金がすべて借金に基づいている理由です。信頼、名誉、尊敬を回復すれば、信用に基づく「お金」が戻ってきます。これは、仲間に対する信頼の愛とも呼ばれます。

不足の影響は私たちの周りにたくさんあります。

- 私たちは生まれたときから肉体的な愛情を奪われており、それが生涯にわたる性格の病理と感情的な受容への憧れにつながります。
- 私たちは健康的な食べ物や清潔な製品を物質的に奪われています。

- 私たちは、真実とそこから得られる自己啓発を知的に奪われています。そして、
- 私たちは、仲間意識の癒しの力、真の人間同士の交流による回復の恵み、そして団結した人々として宇宙的な意味と価値を探究することによる超越的な喜びを霊的に奪われています。

人間は皆、事実上、飢えたネズミに成り下がってしまった。

- 私たちは、テクノロジーが発達した現代の生活の中で、混雑した町や都市で暮らし、ソーシャルメディアを通じて何千人もの人々につながりながら、かつてないほど孤独、孤立、貧困を感じています。
- 私たちは、深い孤独感、親密さの欠如、慢性的な見捨てられ感を埋め合わせるために、映画、テレビ番組、本で描かれるような完璧なロマンチックな愛の夢を追い求めます。
- 私たちは人生の真の意味と個人の達成を切望し、宇宙論的原型と精神的な意味合いに満ちた娯楽に耽溺しながら、存在の精神的な性質を否定しています。
- 私たちは、主流メディアのソーシャルエンジニアによって敵とみなされた人に対して激しく非難し、その結果、正義の力が与えられたという感覚を抱きます。

欠乏と依存の終わりのないサイクルの結果は、エリート層の分割統治の有効性、つまり人類家族の破壊です。

部屋の中の象は、カバールやグローバリストが存在するということではありません。地球外生命体や霊的勢力がここにおいて、私たちを助けようとしているということではありません。詐欺、欺瞞、嘘が私たちの壊れた文明のバックボーンであるということではありません。私たち、人々が彼らの分裂と自己無力化の計画に私たちの生活

が支配され続けているということです。私たちは、覚醒コミュニティ内でさえ、信頼、名誉、正義なしに行動し続けています。

富の真の源泉：

しかし、真の富の源である愛、信頼、正義、健康、友情を再発見する人が増えるにつれ、この状況は終わりを迎えつつあるようです。

物質的富への欲求は、人間の基本的なニーズが満たされていないという事実を反映しています。しかし、私たちが国民として団結してこの問題を解決し、その過程で信頼を築くことができれば、私たちは畏にかかった社会プログラムの影響を受けなくなります。私たちはラットレースを乗り越えるでしょう！

偽りの富：

16 世紀、スペインのガレオン船が新世界を発見し、盗んだ金貨や銀貨を満載した貨物を積んで帰ってきたとき、彼らは大金を当てたと思った。当時イベリア半島にはお金があふれていたため、農業や工場を怠った。使うお金が山ほどあったため、生産する必要はなくなったのだ。その結果、物価が上昇した。そして金の供給が止まると、スペイン人は破産し、その後 4 世紀にわたって衰退していった。

スペインは、80年代に当時欧州経済連合と呼ばれていた組織に加盟した後、国を欧州経済レベルに引き上げるための補助金を受け取った。フィリペ・ゴンザレス首相率いる社会党は、インフラや建物に資金を投じたが、産業を多様化するためのイノベーションや技術の開発には資金がほとんど、あるいはまったく投じられなかった。ゴンザレスは、大西洋岸のモロッコ王宮の敷地の隣に、当時の費用400万ユーロ以上をかけて自分の別荘を建てた。スペインにはプライベートジェット機があったが、スペイン人に謙虚さを見せつけるためにバイクを使った。

スペインの建設活動は、社会党が再び政権を握った2004年にはGDPの17%を占め、木々が空高くまで伸びるだろうと期待されていた。景気がまだ良かった頃は、修正や多様化は考慮されなかった。人々は購入価格の110%で住宅を購入し、完全に抵当に入れられ、署名のみが必要で、質問は一切なかった。

政治家、市長、市議会議員らは、マフィアと共謀した役人グループを通じて、建設プロジェクトにブラックマネーを流用しようとしてシステムを腐敗させた。建設許可の詐欺行為に基づいて、保護された農村地帯に何十万もの違法住宅が建設され、田舎の自然のままの独自性が破壊された。

しかし、2008年以降、この巨大建築物によって、国土の大部分が荒廃した状態になった。多数の政治家、事業主、開発業者が短期間投獄され、しばらくして保釈されたが、その中には公証人や弁護士も含まれていた。

失業率は27%、失業者数は600万人に達しました。その結果、売りに出されている住宅は約250万戸あり、その多くは未完成で、建設現場は放棄され、クレーンも動かず、広大な土地が荒廃しました。

資金もアイデアもない社会主義者のサパテロ首相は辞任し、政治的スペクトルの右派に位置する保守派人民党のマリアーノ・ラホイ氏が後任となったが、一方で、公然と彼と彼の側近らは違法な賄賂や汚職計画で利益を上げ、私腹を肥やしていた。

今日、現実が襲い掛かり、国家という船は沈みつつある。人々は救命胴衣を着けて、今何をすべきか考え始めるだろう。しかし、彼らは政府に援助を求め、中央政府はそれに頼る。

銀行は、国の債務を現金化するために、1時間あたり10億ドルを費やしています。10年後、金利がゼロになったおかげで、住宅市場は再び活況を呈し、新しい建設現場が田舎のあちこちに現れています

。売れなかった古いプロジェクトや未完成のプロジェクトは、忘れ去られるか、放置されています。

今のところ、中央銀行は自由に資金を流し続けている。最近の数字によると、EUの負債は想像を絶するほど高く、20兆ドル近く、あるいはそれ以上だ。スペインの銀行は古い家具のように軋み、偽の資金で生き延びているのだろうか？ 待ってくれ、もっと多くの住宅ローンが不履行になったらどうなるのだろう。

彼らはまだ、本当に何をしなければならないのか正しい考えを持っていない。政治家は皆、教育の強化、再訓練、インフラ投資といったいつもの解決策を提案する。しかし、これらのどれかが雇用状況を改善するという証拠はない。

この不況を治すには不況です。不況は資産価格、消費者物価、金利を下げます。これにより、投資家やビジネスマンは、失業者に仕事を与える効果的なプロジェクトに力を注ぐことが可能になります。

経済刺激策が機能していないことは、今や明らかだ。誠実な労働の汗を流さずに稼いだお金は、すべて景気刺激策となる。

お金は歴史上、破壊的な役割を果たしているようだ。景気刺激策が真の繁栄をもたらした例など、一つもない。むしろ、国が簡単にお金を手に入れると、すぐに余裕以上の支出をし、さらなる問題を引き起こす。経済衰退期には、凡庸な政府は典型的に「景気刺激策」と「緊縮財政」を行ったり来たりし、嘘をつき続ける。不況がほぼ終わり、トンネルの先に光が見えてくると、私たちはその光に気付く。

しかし、「景気刺激策」と「緊縮財政」は、結局は支出の増加と増税につながります。これまで一度も効果があったことはありません。では、解決策は何でしょうか？ 支出を減らして税金を下げることで。

金持ちに支払いを強制しても効果はありません。システム全体が崩壊するまでは、もう意味がありません。だからこそ、最終的には崩壊は避けられないのです。

限界税率はどんどん高くなる。課税基盤は狭まり、税収は減少する。政府債務は急増し、遅かれ早かれ、貸し手は貸した金が返ってくる見込みがないと気づき、金利も急上昇する。

そうなる、社会不安は避けられません。

これらすべてがいつ終わるのでしょうか？ 誰にも分かりません。しかし、近いうちに終わる可能性は低いでしょう。事態が制御不能になり、政府が最後の納税者から金を巻き上げる頃には、終わりは近づいています。その後、良い方向への変化が訪れるかもしれません。

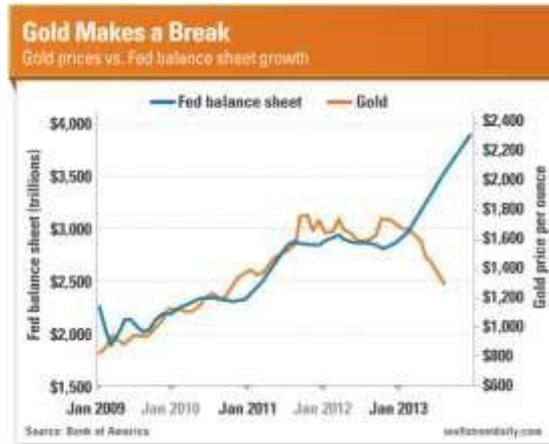
ゴールドについて：

中国中央銀行は最近、中国の企業や個人が金を購入することをより容易にした。

中国人民銀行のウェブサイトに掲載された草案文書には、金の輸出入が認められる企業の数を増やす計画が記されている。

さらに、一般人は海外から

中国に最大7オンスの金を持ち込むことが許可され、関税の支払いや税関への報告も不要となる。



トムソン・ロイター GFMS の数字によると、上海黄金取引所の金現物取引は 2013 年上半期に 2 倍以上に増加しました。そうです、中国の大規模な金の動きは今も進行中です。

このグラフは、FRBのバランスシートの伸びと金価格のほぼ完璧な相関関係を示していますが、最近はやたらと操作によって変更されています。元々の密接な相関関係が示すように、金の熱狂者にとっての危機に関する話によってその傾向は薄れつつも、差し迫ったひどいハイパーインフレの突発が予想されます。もちろん、彼らにとって売却は選択肢ではありません...

知識は力です - 信じられないほどリスクのない富の移転:

銀行が所有する本当のお金 であるはずのものを人々に使用させるために利子を請求することは、詐欺行為や汚職にあたり、金融詐欺という犯罪行為であるため、そもそも違法です。幸いなことに、詐欺は発覚するまで時効はありません。すべての中央銀行が何もないところから通貨を作り出し、それに利子を請求するので、これは明らかに詐欺犯罪です。私たち国民は、RKM が終焉を迎えた後、後の段階でこれに対処するつもりです。

その間、私たち国民はこれらの犯罪者から自らを守らなければなりません。金融界は未知の領域に踏み込んでいます。中央銀行は基軸通貨を超インフレさせ、マイナス金利と組み合わせているため、最終的には間違いなく大惨事に終わるでしょう。

中央銀行、政府、金融セクター全般が、自らが働いて得た富を盗み、自らを豊かにするためだけに、このような富の移転を行っている場合、それは明らかに窃盗です。

個人投資家が金や銀に投資してこうした盗難から身を守る行動を取るのには、道徳的義務であるだけでなく、非常に称賛に値することであり、間違いなく、犯罪者が盗んだ金額をはるかに上回る利益が投資家にもたらされることになる。

歴史上どの時代よりも、人々は大きなリスクにさらされることなく、この来たる崩壊の時期に**生活水準を飛躍的に向上させることができる**。

通常、貴金属業界の知恵によれば、金と銀は投資ではなく、資産保険です。これは歴史上常に真実でしたが、金と銀が同時に安全な避難場所であると同時に最高の投資であり、絶対的な購買力で本当に大きな利益を達成した瞬間もありました。

非常にユニークな状況：

現在起きつつある富の移転は、それ以前のどの富の移転よりも大きな世界的な不均衡を背景にしています。しかし、これは世界の通貨が**すべて不換紙幣であり、そのすべてが弱体化とストレスクラックの兆候を示しているという事実と相まって起きています。これは歴史上かつて見たことのない、非常にユニークな状況**です。

これはおそらく、人類の歴史上、一生に一度の、二度とない機会となるでしょう。これから起こる富の移転は、世界がかつて見たこともないほどの規模になるでしょう。

貴金属を物理的に購入して行動を起こさなかった場合、あなたは一生後悔するでしょう。そして、あなたの子孫も忘れてはいけません。この短いビデオをご覧ください。

この進行中の金融戦争は、貴金属が勝利し、天文学的な高さまで上昇することで終わるでしょう。なぜなら、金と銀が上昇しないというシナリオはあり得ないからです。

貴金属からの収益：

多くの専門家は、金や銀は適切な利回りや収入源を生み出さないと主張しますが、それは真実ではありません。まず、貴金属が適切に使用され、長期的な収入源を生み出す方法を説明するシナリオの例を示します。

1971年に住宅が20.663ドルで販売され、その金額で銀が購入されていたとしたら、1980年1月までにこの投資は不動産を17倍上回り、770,796ドルに成長していたでしょう。そのときに銀を売却していたら、1980年の1軒あたり42,747ドルという価格で、中間価格の一戸建て住宅18軒をすべて現金で購入でき、これらの物件からのキャッシュフローの100%の利益を得ることができたでしょう。

今日、同様の取引の状況はさらに良くなっています。不動産ははるかに過大評価され、銀は極端に過小評価されています。銀と比較すると、米国の一戸建て住宅の平均価格は2002年に最高値に達し、銀38,123オンスの価格で、1971年の前回の貴金属強気相場の始まりの約2.5倍になりました。

1980年に銀が52.50ドルのピークに達したとき、それは異常なことではありませんでした。金と銀の市場が爆発すると、金融ニュースは1980年と同じように反応し、話題になるのは金と銀だけになります。銀の希少性は、今日では世界人口のごく一部しか知らないものから、誰もが専門家になるものへと変わります。1637年のオランダのチューリップバブルが再び起こることになります。将来的には、500オンス未満の銀で中間価格の一戸建て住宅が購入できるようになると予想されます。

相反する投資サイクル:

だから、今銀を買って、銀が再び過大評価され、不動産が過小評価されるまで待ちましょう。なぜなら、両方のサイクルは経験的に互いに逆だからです。今すべきことは、貴金属の流れに乗って、ここから真の価値まで上がるだけだと賭けることです。これはかなり現実的で完全に可能です。利益は、かなり大きい、あるいは



莫大な額にはならないでしょうが、信じられないほど莫大なものになるでしょう。

上記の住宅サンプルでは、50% の税金とその他の費用を含めても、現在のドルでは 1 軒の住宅に対して、賃貸収入のために 12 軒の住宅を所有できます。歴史上最大の平均回帰がもうすぐ到来し、時間の経過とともにすべてが常に中央値に戻ることを確信できます。

ニュースが良いか悪いかは、正しい資産クラスのサイクルに乗れば問題ではありません。このことに気づいている投資家は莫大な富を蓄積しますが、気づかない投資家は借金しか残らないかもしれません。

成層圏価格：

重要なのは、不動産が過大評価され、銀が過小評価されているため、どちらも平均値を反対方向に大きく上回り、その後平均値に戻るといことです。つまり、2 つの経済サイクルとそれが生み出す富の移転を利用するだけで、非常に短期間で大金持ちになれる非常にユニークなチャンスがあるということです。

今回は、金と銀の価格が成層圏まで再評価され、ロシアと中国が世界を支配する立場となるため、歴史上最大の富の移転が起こるだろう。

金が行くところに、権力も行く。これにより西側諸国は破産し、デジタル通貨システムしか残らない。一方、東側諸国では、真の投資家は金に裏付けられた通貨に流れ込むだろう。

もし、過去6年間ほど、犯罪的な銀行家たちが金を抑制しようとして共謀していなかったら、今日の金の価格はいくらになっていたでしょうか？

金の専門家ビル・ホルター氏は、「金が5,000ドルや10,000ドルで金利が0%ということはあり得ません。価格抑制は人々の感情を刺激するために使われてきたので、今頃金属（金と銀）へのパニックが起きていたと思います。人々の精神を傷つけるために使われてきたのです。価格抑制のために紙幣を大量に投じていなかったら、事態はすでに沸騰し、銀行への取り付け騒ぎと金属への買い占めが起きていたと思います。」と語っています。

つまり、銀行が金の価格を犯罪的に抑制していなかったら、金の価格は現在よりも何千ドルも高かったはずだ。ホルター氏は「その通りです。金はデフォルトしない本当のお金です。これがすべてです。システム全体がデフォルトしたとき、残るのは金と銀、本当のお金です。それらは他の誰の負債でもありません」と語る。[インタビューを見る](#)。

金と銀の操作:

金融危機を乗り切るために貴金属を今すぐ購入しましょう。西側諸国のメディアや政治家は、金融危機は消え去っていると信じ込ませようとしています。同時に、実際の国家債務負担、失業率、インフレ率は報告されているよりもはるかに高いことを示す実際の経済データを隠しています。

株式市場は最高値に達し、住宅市場は再びバブル状態にあり、銀行はあなたの預金によって救われるでしょう - たとえ10万ユーロ/ドル以下であっても。

この誤った認識は、紙幣の歴史的な大量発行によって支えられており、消費者は低額の融資で切り抜けられると信じ込んでいる。

一方、国立銀行や大手投資銀行は、債務に基づく不換通貨制度の崩壊に備えて、入手できる銀と金を急速に買い漁っている。

これは最後のチャンスです。そうしないと回復できなくなります。

銀は今のところ最もパフォーマンスの良い商品資産であり、それには定量化可能で非常に重要な理由がいくつかあります。これは、これから起こることから身を守る最後のチャンスかもしれません。ビル・ホルターは警告しています。

「私たちが見ているのは、回復できないイベントだと思います。この市場が崩壊し、市場が閉鎖され、あなたがポジションを持っていないければ、あなたは負けです。一生負けです。これは回復できないイベントになるでしょう。 から回復する。」

45. 回復の見込みのない偽りの成長

- 不換紙幣の大きな嘘。
- オイルダラーは事実上、王座を奪われた。
- 米ドルの終焉。
- 次の危機は大きく異なるものとなるだろう。
- 中央銀行を廃止する。
- 本当に野蛮な遺物は金ではなく中央銀行です。

不換紙幣の大きな嘘:

経済成長は起こりそうにありません。債務は経済成長によってのみ返済できるため、今後の道のりは困難を極めるでしょう。実施された緊縮政策と増税の結果、成長の見通しは窓の外に投げ出されました。消費者は必需品以上のものを買うお金がまったくありません。これまで消費者は、必要のないものをクレジット（他人のお金）で購入していました。これは本質的に「未来から買う」ことです。そ

の未来は今や到来しています。人口は減少し、高齢化しており、高齢の消費者は支出を減らしています。

不換紙幣という大嘘によって生きようとするのはうまくいきません。それどころか、真実を受け入れることで現実は、金がお金であるという認識であり、その事実を熟考することを拒否するなら、自分自身に不誠実であることとなります。私たちのリーダーたちはこの事実を認めることを拒否し、コストを削減し支出を減らすために必要な措置を講じる勇気がありません。彼らが思い描いている唯一のアプローチは、起こったことを修復することのようですが、それでは根本的な問題に効果的に対処することはできません。金融の世界は幻想になっています。合理的思考がなければ、リーダーたちは真実を直視できず、それに応じて行動できなくなります。実行すべきことが行われません。

2008年から2009年にかけての金融市場の崩壊は、組織化された詐欺と金融操作の結果でした。ウォール街の指示で「銀行救済」が実施され、記録上最大の金銭富の移転が起こり、同時に返済不可能な公的債務が生まれました。世界中で生活水準が低下し、消費者支出が急落しているため、国際商品取引の構造全体が潜在的に危険にさらされています。

金銭取引の決済システムは混乱しており、雇用の崩壊に伴い賃金の支払いが滞り、その結果、消費財やサービスへの支出が減少している。

購買力の劇的な低下は生産システムに逆効果をもたらし、一連の解雇、工場閉鎖、倒産を引き起こし、信用凍結によって状況は悪化した。一方、消費者需要の減少は人的資源と物的資源の削減につながった。

この経済衰退のプロセスは累積的です。労働力のあらゆるカテゴリーが影響を受けます。賃金の増額は実施されなくなり、信用は混乱し、資本投資は停止します。

一方、西側諸国では、経済不況時に失業者を保護する福祉国家から受け継がれた「社会セーフティネット」も危機に瀕している。

残念なことに、経済回復は神話だということです。1930年代の規模の「大恐慌」が存在したという現実は、しばしば認められていますが、「経済は回復に向かっている」という揺るぎない共同の合意によって隠されています。

人々や国家はお金を使う前にまずお金を稼ぐべきだという原則が忘れられている。

経済再生が語られる一方で、評論家たちは、金融危機が、すでに崩壊した住宅不動産バブルのような単一のバブルで構成されているわけではないという事実を、執拗に意図的に無視している。現在、危機には多くのバブルがあり、そのすべてが2008年の住宅バブル崩壊をはるかに上回っている。

メディアの偽情報は、主に、金融市場や商品市場を掌握して巨額の金銭的富を蓄積する、一握りの世界的な銀行や機関投資家の利益に役立っています。投機家を含む企業体制は、国家の内政を支配しています。何も知らない大衆に経済回復の前提条件として提示された「銀行救済」は、富の横領のさらなるプロセスを促進し、正当化してきました。

「市場操作によって莫大な金銭的富が獲得されている。しばしば「規制緩和」と呼ばれる金融機構は、あからさまな操作と欺瞞のための洗練された手段を開発してきた。内部情報と予見力を持つ大手金融関係者は、投機取引の手段を使って、市場の動きを操作し、自分たちに有利になるように操作し、競争相手の崩壊を早め、発展途上国の経済に大混乱をもたら

す能力を持っている。これらの操作手段は金融構造の不可欠な部分となり、システムに組み込まれている。」

エネルギー投入によって優位性と地位が決まります。

最も明らかな問題は、誇張された疑似景気回復が、単に借金によって促進されたという事実である。負債が多すぎる経済は、最終的に自滅する。金融の物理学は、実体経済の歪んだ価値をあまり気にしない。気にするのは、エネルギー、つまり、入力と出力、供給と需要である。それは、「何かのために何かを得るのであって、何もしないで何かを得るのではない」。

すべてをコントロールします。エネルギーがあれば、仕事、呼吸、生活、遊びができます。エネルギーがあれば戦争に勝つことができます。エネルギーがあれば国の世界的な優位性と地位が決まります。しかし、多くの専門家は、世界は 2005 年頃からエネルギーがピークに達していると主張しています。

では、それを裏付ける十分な実際のエネルギーがないのに、政府は どうして富を表すはずの紙の年金資産を発行し続けることができるのでしょうか。健全で成長する世界のエネルギー供給があるという幻想に基づく約束以外に裏付けが何もないのに、どうして私たちの「富」は拡大し続けることができるのでしょうか。石油、金、銀は私たちの経済エネルギーのバッテリーです。実際のところ、銀価格の必然的な上昇はエネルギーコストと直接関連しています。

この概念を視覚化するには、銀や金の価格が石油 1 バレルとどのように比較されるかを見るだけで十分です。



これは第二次世界大戦終結以来最も弱い回復である。1950年以降、西側諸国の経済構成は大きく変化し、GDPの「成長」はもはや以前と同じ意味を持たない。

「雇用と住宅に関する数字が期待外れだったことから、経済が加速しているかどうかの懸念も高まっている」とウォール・ストリート・ジャーナルは報じている。

雇用と住宅は極めて重要です。これらの四半期のニュースが期待外れなら、経済は一体どうなっているのでしょうか？「第4四半期の成長の大きな原動力は、消費者支出の増加でした。

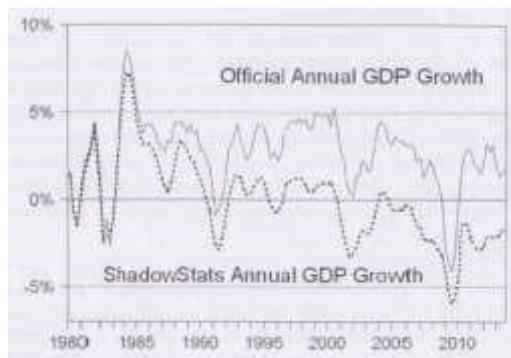
3.3%」。これは回復の証拠とは言えないが、いくら弱くてもそうである。さらに精査すると、むしろ憂慮すべきことだ。消費者はどこからお金を得たのか？稼いだのではない。だから、貯蓄を使い果たすか、借金を増やすかして、バランスシートを縮小しなければならなかったのだ。

幻の成長：

そうすると、この新しいタイプのいわゆる成長は馬鹿げたものになる。成長すればするほど、貧しくなるのだ。かつて経済は人々を豊かにすることで成長していた。しかし現在、消費者は借金を増やし、収入は停滞するか減少している。

「1980年、7兆ドルの経済には、シティの経済学者で『成長後の人生』の著者であるティム・モーガンが「世界的に市場性のある生産物」(GMO)と呼ぶものが2兆ドル含まれていました。これは本当の富であり、売って請求書の支払いができるようなものです。しかし、その後、経済はインチキな政策立案者の手によって整形手術を受けました。今では、それは認識できません。今日、私たちは16兆ドルの経済を持っています。しかし、そのうちGMOによるものはどれくらいでしょうか？ええ、さまざまな統計調整の下

で、約 13 兆ドルが消費者支出です。モーガンが GMO と呼ぶのは 3 兆ドルだけです。これが 1980 年以降の米国経済の実際の成長です。非常に残念なことに、年間 330 億ドルという哀れな額を生み出しています。人口増加に追いつくのに加ろうじて足りる額です。」



インフレは経済規模を測るGDP計算の重要な部分ですが、通貨の減価は実際の調整後GDP数値を算出する際に適用されないため、GDP成長はより大きく見えることになります。

政府はインフレを組織的に過小評価することで、GDPを計画的に過大評価しています。現在報告されているGDPが、より正確なインフレ率でデフレートされていたとしたら、添付のグラフに示すように、ShadowStatsによって正しく計算されたとおり、2006年以降GDP成長率は低下していたはずですが、8年連続の収縮は、世界経済のまったく異なる姿を描き出しますが、その代わりに、人々はすべてが順調であると信じ込まされています。

それどころか、成長はなかった。しかし、解決策は明らかだ。なぜ彼らはそれを理解できないのか？

「借金が多すぎる。そして、あまりに多くの資産、あまりに多くの企業、そしてあまりに多くの職業と家計が、今やこの不良債務に依存している。債務者にさらにお金を貸して、債務が善良であるかのように装っても何の役にも立たない。それをなくす以外にできることは何もない。早ければ早いほど良い。それが弱気相場と調整の目的だ。だから、起こるままにしておくべきだ。」

人々は破産します。でも、だから何？彼らはすでに破産しているのです。ただ、それを知らないか、受け入れていないだけです。

本当の回復のためには何に取り組むべきでしょうか？

本当の回復が必要なら、家族、起業家、ビジネスマンなど、回復を実現できる人々の手に、より多くの本当のお金を与えてください。強欲な政府の手に与えてはいけません。政府は富の消費者であり、富の生産者ではありません。政府が宣伝する偽りの回復ではなく、真の回復のためには、人々が自分のお金を保持できるようにして、請求書の支払い、貯蓄、投資、消費など、やりたいことを何でもできるようにしてください。人々のお金を奪い続け、政府の無駄遣いに浪費しないでください。

課税の技術とは、ガチョウの羽をむしり取ることです。できるだけ多くの羽を、できるだけ少ないシューという音で得るためです。 - ジャン＝バティスト・コルベール、フランスの財務大臣（1665-1683）。

最も悪いのは、税金を引き上げながら、政府の支出を増やすことです。資本形成、投資、生産によって富を創出するか、それを消費するかのどちらかです。政府は常に消費者であり、生産者ではありません。したがって、税金を削減し、民間産業への救済、契約、補助金など、政府支出を削減します。そして、政府予算を均衡させ、民間の手により多くのお金が渡るようにします。

むしろ、それが政府支出の増加によって生み出される偽りの「成長」に対する本当の解決策です。緊縮財政と増税は民間支出の減少をもたらします。

2009年から2018年にかけての金融資産（株式と債券）と不動産の強気相場は、世界中の中央銀行の無謀な政策によって生み出されました。これらの銀行は膨大な量の不換紙幣を新たに発行し、その資金を使って数兆ドル相当の金融資

産を購入してきました。これは紙の富のピラミッドです。すぐに崩れ落ちるでしょう。

この大規模な金融刺激策に加え、世界の主要西側諸国のほぼすべてが依然として巨額の財政赤字を抱えている。あらゆる形態の政府が、現在の税込では賄えない巨額の支出を行っている。こうした金融刺激策と財政刺激策は、世界経済を「活性化」させるはずのものだ。

それは不可能です。起こり得ません。私たちは、2つの単純で十分に証明された理由からこれを知っています。

まず、中央銀行が購入してきた金融資産のほぼすべては、破産した政府や政府支援機関の債務だった。米国、スペイン、ギリシャ、日本、英国などの国の債務を購入しても、永続的な富や繁栄は生まれない。いずれの場合も、支援を受けている団体は、合法的に融資できる段階をとうに過ぎている。中央銀行は巨額の紙幣を印刷し、自国通貨の価値を大幅に下げ、これらの資金を無駄にしている。

第二に、より大きな権力と権威を求める政治家は、財政刺激策（税込を上回る政府支出）を非生産的な計画やプロジェクトに向けさせています。これは正当な経済需要に反応する市場を反映していません。したがって、どの国でも生産性や富を増やすことは不可能です。これが20世紀の中心的な教訓です。つまり、巨額の政府支出は繁栄につながらず、戦争につながります。

我々は「幻の成長」を経験している。これは物価上昇と経済生産高の追跡を歪めることで引き起こされたものだ。実際の成長がどの程度だったかを正確に知ることは不可能だ。それは仮定次第だ。しかし、あらゆる策略や歪曲を取り除けば、一人当たりのGDPで見た実

質的な富は過去12年間マイナスで、おそらく1980年以降はマイナスだ。

現在の株価、そして1980年以降の商品やサービスの需要の多くは、債務水準の膨張によってのみ可能になったものであり、これは永遠に続くものではありません。

最新の調査によると、人口動態が株価に及ぼす影響は、今後 10 年間で約マイナス 15 パーセント ポイントになると予想されています。債務と人口動態は、QE やゼロ金利政策でインフレで解消することはできません。どちらも長期的な傾向です。そして、少なくとも 10 年間は株価が下落するでしょう。次の弱気相場で解決するでしょう。株価は大幅に下落します。30 年間の債務増加の波に支えられてきた生活水準は、大きく落ち込むでしょう。

ドル王の王座が剥奪される：

中国人は米ドルの覇権を嫌っている。彼らは自分たちの地位を誇示したいのだ。そして、米国に不満を抱いている同盟国を多く見つけている。

中国は中国国際決済システム（CIPS）を導入した。この新システムにより、中国の通貨である人民元での国際送金処理が容易になる。その結果、人民元は正式に国際取引通貨となる。

しかし、ここでの本当の目的は残酷なほど単純だ。中国は、世界の国際準備通貨としての米ドルの座を奪おうとしているのだ。これは中国が開きつつある一連の扉の一つに過ぎず、不可逆的な変化の洪水を巻き起こす力を解き放つことになる。

CIPS は、ブリュッセルにある既存の国際決済システムである SWIFT と同じコード体系を使用します。これは、国際銀行間金融通信協会（Society of Worldwide Interbank Financial Telecommunications）の略称で、このシステムで行われる決済の 44.6% は米ドルで

行われ、まさにこれが、強力な米ドルを世界の準備通貨にしている基盤なのです。

EUと米国は最近、国際決済システムからロシアを排除するようSWIFTに圧力をかけた。この動きは、クリミアの領土奪取と「ウクライナでの戦争煽動」に対するロシアの罰であり、SWIFTはまさにそれを実行した。

しかしその後、EUはこの決定を覆すという素晴らしいアイデアを思いつき、この非常に排他的なクラブの理事会にロシアの席を与えようSWIFTに再度圧力をかけた。この動きは米国に対する侮辱である。SWIFTは中国の新しいCIPSシステムによる競争を恐れ、ロシアに便宜を図ろうと必死になっている。SWIFTの人々はロシアがすべての業務をCIPSで行うのを望んでいない。しかし、これは遅すぎるかもしれない。実際、米国通貨帝国では最近多くの問題が起きている。そしてその多くは中国に起因している。

アメリカ人は、ドルが世界の準備通貨であることで自分たちがどんなに有利になっているか気づいていない。基本的に、彼らは必要なだけお金を印刷できる。ワシントンは小切手帳の残高を合わせる必要がない — 少なくとも今のところは。他の国々は、国際市場でサービスや商品の支払いができるという理由だけで、ドルを大量に備蓄しなければならない。

しかし、アメリカの紙幣発行許可は取り消されようとしている。過去2年間、アメリカはサウジアラビアからの石油輸入を大幅に削減してきた。2013年12月、アメリカは1日あたり約150万バレルを輸入していた。近年では、その数字はほぼその半分になっている。アメリカの石油生産量の増加と、おそらく石油市場の操作により、世界の石油価格は62%下落した。今、サウジアラビアは反撃を計画している。

オイルダラー独占の終焉：

過去 2 年間で、アメリカは以下のことを行いました。

「2014年に4か月間でサウジアラビアからの原油輸入を3分の1に削減し、原油価格を115ドルから50ドル以下に引き下げた。また、サウジアラビアのライバルであるシリアに対する政策をめぐってサウジアラビアと頻繁に衝突した。こうした展開はいずれもサウジアラビアを激怒させている。」

ウラジミール・プーチン大統領は、石油ドルが消滅することを望んでおり、「エネルギー貿易におけるドルの独占はロシア経済に損害を与えている」と公に述べている。ロシアは米国に反撃するために中国と秘密裏に協議していると報じられている。

また、新たな同盟関係を模索する中で、ロシアと中国はイランとも協議を行った。サウジアラビアが加わらなければ、ロシアと中国は米国を排除することが難しいと感じている。しかし今、サウジアラビアとそのOPECパートナーも、同様に多くの問題に直面している。

米国はもはやサウジアラビアの最大の顧客ではなく、中国であり、さらに米国による原油価格の低下で、サウジアラビアの利益率は押し下げられており、原油価格の50%低下は「平手打ち」のようなものだ。そのため、サウジアラビアも激怒している。

サウジアラビアは史上初めて、米国との「特別な関係」を断ち切ることで米国に反撃することを検討している。米国がサウジアラビアの原油を買い続ける場合のみ、オイルダラーを使うことに同意したことを思い出してほしい。米国はもはや最大の顧客ではないので（つまり中国）、サウジアラビアがオイルダラーを使う理由はない。実際、中国が原油購入のために人民元を金で裏付けているため、サウジアラビアがオイルダラーを使うのはもう長くないかもしれない。

実際、サウジアラビアは東アジアの新しい仲間とともに世界経済の将来について検討している。実際、中国当局はすでにサウジアラビ

アと秘密会談を行っている」と報じられている。すべての兆候は、サウジアラビアが中国やロシアとともに、石油ドル破壊の動きをすぐに開始することを示している。それは、すべての石油取引における米ドルの独占を解消するものだ。

サウジアラビアの新国王サルマンが、中国、ロシア、ベネズエラ、ブラジルなどと連携し、米ドル以外で原油取引を開始すると発表し、代わりに中国の金本位制に裏付けられた石油元を使用するという決定をまもなく発表する可能性が非常に高い。

これにより、オイルダラーによる40年以上に渡る石油ドルの支配は事実上終焉を迎えることになる。

サウジアラビアとOPECが行動を起こす前から、金に裏付けられた石油元はすでに勢いを増している。

ロシア銀行と中国人民銀行は米ドルと完全に異なる通貨で取引することに合意し、カナダ、オーストラリア、シンガポール、マレーシア、カタールも中国との通貨スワップに合意した。

ロシアと中国は国際的な米ドルシステムに代わる体制を整えており、より広範な金を基盤とした取引システムを導入することで、米ドルへの依存を最小限に抑えるために金を購入している。

ドルの下落:

おそらくフォーブス誌が次のように最もうまく表現しているだろう。

「国際社会だけでなく、米国人自身も購買力が低下した不換紙幣を保有するメリットに疑問を抱いており、ドルの下落はほぼ確実だ。」

「中国は1兆2400億ドルを保有しています。日本は1兆2300億ドルです。世界全体では、諸外国は6兆2000億ドル相当の

米ドルを口座に隠しています。しかし、石油を米ドルで取引する必要がなくなったら、突然、これらの国々は余剰の米ドルを必要としなくなります。むしろ、代わりに大量の人民元が必要になるでしょう。」

これらの国々はドルを放棄し、必要のない米ドルを市場に溢れさせることもできる。 - 基本的に、サウジアラビアがオイルダラーの置き換えを承認すれば、すべての主要国から突然の余剰ドルが流出し始めるだろう。ドルの世界的支配は終わりを迎えつつある。

こうしたことが起こらないようにと願い続けるのではなく、それに対する準備を始めましょう。

貴金属は経済の混乱に対する良いヘッジです。不正行為が行われていることは明らかです。被害者になりたくないなら、今すぐ行動を起こしましょう。中国がやっていることを真似すればいいのです。米国、EU、日本の信用力がこれほどまでに悲惨な状況にあるときに、金と銀を買えばいいのです。

これらの理由から、あなたも金と銀のポジションを持つべきです。そうしないと、世界中の他の無知な人々と同じように救貧院に送られることになるかもしれません。

「真実は、世界中のほとんどの人にとって、過去14か月間、金はその役割を果たし、その結果、金の購買力は良好に維持されているということです。米ドルを含む他のすべての形態の購買力は低下しています。」

6. 2兆ドルが米国に戻ってきた場合、どれほど壊滅的な結果になるでしょうか？

考慮する；

「現在、米国にあるすべての現金は、わずか2.9兆ドルです。つまり、これらの外国ドルは、米国内の通貨供給量を3倍以上に増やす可能性があります。これは、短期的には壊滅的な増加であり、米国政府に資金を提供する能力に悲惨な変化をもたらします。」

そしてこれを考慮してください。

「米国債の50%以上を外国人が購入しており、米国政府が37%、米国民が13%を購入している。つまり、米国債の50%はもはや外国人には購入されておらず、米国債の資金を調達していたのは外国人だったのだ。」

世界中の国々はドルを必要としていないので、国債も必要としていません。そのため、国債を市場で買うのではなく、売ることとなります。すでに米国には数兆ドルが

米国債は売り込まれている。その直接的な影響は、多くの退職者が頼りにしている米国債と米国通貨の価値の大幅な下落となるだろう。

残された選択肢は 2 つありますが、どちらも良くありません。

- まず、彼らは単にドルをもっと印刷して、自らの負債を返済することができます。もちろん、それではインフレがさらに高まるだけです。市場にはさらに多くのドルが溢れ、すべての問題がさらに悪化します。あるいは
- 金利を引き上げることで、債務を支払う買い手を誘致する。

2 番目の選択肢は、FRB が選択した決定の 1 つではありません。FRB は徐々に金利を引き上げたいと考えています。しかし、FRB は金利を大幅に引き上げざるを得なくなります。

一方、欧州中央銀行がEUで行っているように、彼らは国債の大半を自ら購入することで債務を現金化している。

金利が上昇すると、住宅や自動車の購入コストが劇的に上昇するなど、インフレのサイクルがさらに悪化する可能性があります。住宅危機の再来、企業投資の減少、失業率の上昇が確実に予想されます。

多くの米国石油会社は破滅するだろう。40年にわたる通貨優位は失われるだろう。そしてその最中、金利の急上昇が世界経済に連鎖反応を引き起こし、資産、債券、その他すべてを破滅させるだろう。

次の危機は大きく異なるものとなるだろう。

第 22 章で説明したように、次の危機は大きく異なります。ダウ平均株価は 1 日で 1,000 ~ 2,000 ポイント下落する可能性があります。そして、これが起こると、その後の混乱とパニックは 2008 年よりもひどいものになるでしょう。

「負債は当時よりも増えているからです。6年前、米国の公的負債は10兆ドル未満でした。現在、約20兆ドルです。（EUでも同様の数字です）。負債総額も増えています。2007年には約50兆ドルでしたが、現在は80兆ドル近くになっています。」

ボストン大学のローレンス・コトリコフ教授は次のように指摘している。「『財政ギャップ』、つまり連邦政府が社会保障、メディケア、メディケイドなどで支払うことに同意した金額と、将来のすべての税収の現在価値との差額は、210兆ドルに上る。これはワシントンの公式数字より1,066%も高い。」

2008 年には住宅市場におけるサブプライム債務だけでしたが、今ではサブプライム自動車債務、サブプライム学生債務、サブプライム政府債務、サブプライム企業債務などが増えています。人々は現

在、お金を消費するのではなく、貯蓄しています。中国は加速するのではなく、減速しています。世界貿易は成長するのではなく、衰退しています。

その結果、貨幣の流通速度（流通している貨幣単位が取引間で交換される速度であり、好況の重要な指標）は 1990 年代後半に低下し始めました。そして、現在も低下し続けています。これらの事実は、次の崩壊が来たときに経済の回復力が低下することを意味します。すでに弱い経済は、さらに落ち込むでしょう。中央銀行は、他に選択肢があるとしたら、何をするつもりでしょうか。

答えと解決策は次のとおりです。

信じがたいかもしれませんが、世界は今、私たちの生活様式に何か特別なことが起ころうとしています。避けられない出産の苦しみを乗り越えるまで耐えることができれば、これまでにない目覚めを経験することになるでしょう。想像してみてください。

- 借金のない世界。
- 貧困のない世界。
- 戦争のない世界。
- 病気や苦難のない世界。
- 冷酷な支配者がいない世界。
- 黄金律が法である世界。
- 人生における本当の使命を体験できる世界。

終焉直後に起こり得ることのほんの一部です。したがって、中央銀行は廃止する必要があり、通貨発行は国民の自主管理に、本来あるべき場所で行われるべきです。30 年代にヒトラーが権力を握りました。彼は、政府が無利子でライヒスマルクを発行することを決定しました。これは、陰謀団の意志に真っ向から反対するものでした。一挙に不況危機は解決され、誰もが働くようになりました。彼は

高速道路やその他のインフラを建設しました。1936 年頃、ベルリン オリンピックが開催され、ドイツは再び世界の大国となりました。ここに解決策とアプローチがあります。どの政府も明日から始めることができ、危機と失業の悲惨さは終わります。これが、**私たちが作る事ができる世界です - 私たちがそうすることを選択すれば。**

借金のないお金:

解決策は単純かつ根本的です。既存の民間管理による負債ベースの通貨システムから、選出された政府を通じて国民が発行する**負債のない通貨への変更**です。TBTF (Too Big to Fail) 銀行を破綻させ、救済は一切行いません。

お金の量をコントロールするのは国民の政府であり、お金をコントロールして好況や不況を引き起こす民間銀行家ではありません。

銀行は、銀行に預けているお金だけを貸し出すことが許されるべきであり、より多くのお金を得るためには、オープン市場で競争しなければならない。銀行は 100% の準備金を維持することが義務付けられるべきであり、第 21 章で説明されている「部分準備金」は廃止されるべきである。私たち国民だけが、**負債なしで自分たちのお金を発行することが許されるべきである!それが答えであり、解決策である!**

実際のところ、来月、金で裏付けされた人民元に加え、ロシア中央銀行がロシア、中国、インドの金準備による新しい金で裏付けされた通貨を公式に発表するという噂が広まっている。インドネシアも、白龍会の担保口座の金準備で裏付けされた通貨で参加する予定だ。これらの動きは、すでに死んでいる米国のオイルダラーと、世界的なロスチャイルド銀行システムに多大な圧力をかけることになるだろう。トランプ大統領のアジア歴訪中、ベトナムでプーチン大統領と中国の習近平国家主席との秘密会議が開かれた。彼らは金で裏

付けされたデジタル通貨に関する合意について話し合い、署名した。

改革についてお話ししましょう。国民が発行するお金こそが、世界中の人々の生活に大きな変化をもたらす唯一の改革です。すべての政府は、ロスチャイルド一族が率いるハザールマフィアの操り人形であり、国民を奴隷化し、世界の人口の 90% を削減しようとしていることを忘れないでください。

覚えておいてください。政府は、主流メディアの代弁者を通じて嘘と欺瞞によって眠り続けている国民の敵です。

現在、世界は変化の断層線上にあり、この莫大な負債のせいでシステムは崩壊寸前です。今このシステムから離れれば、生き残る可能性は大幅に高まります。[この暴露記事を読んでください](#)。

ハザールマフィア従属国：

ロスチャイルド・ハザール銀行マフィアがアメリカに侵攻して以来 1913年、アメリカと西側諸国は

[ハザールマフィアの従属国家](#)。イスラエルは11月9日にアメリカを核攻撃し、核による脅迫を利用して国土安全保障省を創設し、アメリカをハザールマフィアのイスラエル占領地に変えました。

イエスは両替商を神殿から追い出しました。私たちがそうすべきです。銀行家たちが犯した罪で裁きを受ければ、詐欺による戦争扇動、戦争犯罪、その他の人道に対する罪、偽旗作戦、拷問など、最も重い罪で有罪となるでしょう。文字通り、彼らの財産の何兆ドルも、すべての土地と個人資産が没収され、真の所有者、つまり奪われた国民に返還されるかもしれません。

米ドルの終焉：

私たちが現在直面している危機に最も責任があるのは誰でしょうか？

「もしあなたがそれが私だと思っているなら... あなたは正しいです！ では、通貨危機の最終的な結果はどのようなと思いますか？ 結果がどうなるかお話ししましょう... 負債に基づくすべての通貨資産の完全な破壊です。誰もが瞬間に第三者が保有するすべてのものを失い、私たちは憲法上の金本位制に戻ります。」

アラン・グリーンSPANは、シカゴで選ばれた投資家グループとの会議中にインタビューでこう語った。米国は、莫大な負債の重荷から逃れる方法が他にないため、世界の不換紙幣制度を破壊することしか望んでいない。したがって、アラン・グリーンSPANの発言は、第 26 章の負債とさらなる負債で説明されているように、理にかなっている。

米国の中央銀行である連邦準備制度理事会は、2008年に回避しようとしたよりも悪い結果を招かずに米国経済を操作する能力の限界に近づいている。連邦準備制度理事会は10年以上の市場操作から抜け出す良い方法を持っていない。もし彼らが購入を減らす政策を適用し、連邦準備制度理事会が方針を転換してテーパリングを一時停止し、その後資産購入を増やすと、米国の外国債権者の間でドルに対する信頼が損なわれる恐れがある。

どちらの結果も、潜在的に悲惨な結果を招く可能性があります。良い結果は見えません。これは、市場が、有用な価格シグナルを提供して資本の効率的な配分を導く市場として機能しなくなるまで市場を操作した結果です。今日、市場は、自ら作り出した牢獄に囚われている中央銀行によって作り出された幻影です。

金と銀が継続的に下方操作されているため、エリック・スプロットはイングランド銀行の金庫は空になり、西側諸国の中央計画者が行

ったことの代償は払われることになるだろうと警告した。彼は銀行システムについても警告した。

スプロット氏はこう語る。

「中国人が来て1,500トン余分に買っている
(金) GLD 指標は今年だけで前年比 1,000 トンに達する可能性があります。インドはまだ法律を変えていませんが、近いうちに変わると思います。そうすれば、インドは通常の購入モードに戻ることができます...」

フランスは公然と米ドルから手を引きつつある。国内情勢が動揺する中、フランスのミシェル・サパン外相は経済会議で率直にこう述べた。

「我々（欧州人）は、例えば飛行機を売るときなど、自分たちにドルで売っている。それは必要なのか？私はそうは思わない。ユーロだけでなく、世界貿易のますます大きな部分を占める新興国の主要通貨についても、再調整は可能であり、必要だと思う。」

壊滅的な刑事制裁が外国銀行を激怒させる：

ドルの優位性は、軍事だけでなく経済的にも他国を脅迫するアメリカの能力の鍵である。

BNPが経済制裁の代償として支払うことに同意した89億7000万ドルの罰金は記録的な額だ。しかし、それだけでなく、銀行は1年間米ドル取引を禁じられた。これは罰金そのものよりも重い罰則であり、今では他のすべての外国銀行を悩ませている。国境を越えた融資や預金の半分以上は米ドルで取引されており、米ドルは世界中の取引の87%に関わっている。イランやロシアなどの企業や国を米ドル取引から締め出すことは、壊滅的な影響を及ぼす。

その理由は、米国が国際政策において武力行使を控えるにつれて、制裁や偽旗攻撃を軽視するようになってきているためだ。このため米国の同盟国は恐れをなし、外国の銀行は激怒し始めている。ロンドンのスタンダード・チャータード銀行が対イラン制裁に違反したと告発した2012年の告発書によると、同銀行幹部の1人が米国当局に次のように訴えた。

「あなたたちアメリカ人。あなたたちはいったい何者で、私たち、そして世界の他の国々に、イラン人と交渉するつもりはないと言えるのか？」

まあ、米ドルが世界の貿易や投資に使われている限り、地球上のあらゆる大規模取引には、どこかの時点で米国の銀行が関与することになるだろう。そして、それはおそらく米国に、BNPパリバのような銀行に巨額の罰金や罰則を課す権限を与えることになるだろう。

しかし、待ってください。国や銀行がドルの使用をやめたらどうなるでしょうか？ その場合：

「米ドルの覇権と準備通貨としての役割は、まもなく終焉を迎える。これはドルの急落につながる。さらなる結果は、米国による厳しい為替管理となる。個人が米国から資金を移すことは事実上不可能となるだろう...問題は、信用と印刷されたお金がもはや何の効果も持たなくなることだ。したがって、2008年の問題が猛烈に再燃したとき、政府が講じることができる効果的な対策はまったくないだろう。政府が何もできないのなら、投資家や貯蓄者は何ができるだろうか？ まあ、私や多くの孤独な声は、銀行から撤退し、ドル、ユーロ、円、その他ほとんどの弱い通貨からも撤退するよう人々に長い間アドバイスしてきた」とエゴン・フォン・グレイアーツは結論づけている。

借金の恥辱：

中国、ロシア、その他の新興国もドルを捨てつつある。
ブラジルのBRICSサミットでは、米ドルからの脱却に向けたもう一つの重要なステップが議論された。5カ国は米ドルに代わる通貨と世界銀行を結成した。500億ドル（まもなく1000億ドルに増額予定）の資金で、BRICS開発銀行はブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカだけでなく、発展途上国全体に投資する。

「モデルはブラジルのBNDESで、ラテンアメリカ全域に投資するブラジル企業を支援している」とアジアタイムズのペペ・エスコバル氏は説明する。

「数年後には、最大3500億ドルの融資能力に達するだろう。特に北京とモスクワからの追加資金により、この新しい機関は世界銀行をはるかに上回る可能性がある。米国政府が発行した担保なしのグリーンペーパーと実際の資本貯蓄へのアクセスを比べてみてほしい。」

これは明らかに、BRICS が世界の準備通貨としてのドルを排除しており、それによって米ドルは無価値になるだろうことを示しています。

裏付けとなるものが何もない通貨をなぜ使うのでしょうか？

歴史が示しているように、政府が通貨を切り下げ始めると、その政府は終わりを迎えます。ワシントンの愚か者たちは、すべてのアメリカ人の首を絞めています。1930 年代初頭にドイツで何が起こったか考えてみてください。アメリカでは起こり得ないなどと考えないでください。起こり得るのです。今日の状況、物事の展開の仕方からすると、人々が経済的絶望によってそれに気づく前に、起こり得るのです。

過去数千年にわたって、人類は次の 3 つの重要な教訓を学んできました。

- 紙幣の管理を当局に頼ることはできず、金に裏付けられる必要がある。
- 政府は大きな拡大する赤字を計上してはならない。
- 市場は、当局によって設定されるのではなく、自由に（金利）価格を発見できるようにする必要がある。

これほど多くの出来事が、これほど長い期間にわたって、これほど多くの悲惨な事態を引き起こした後、今となつては、これらの教訓を無視するのは精神障害者だけだろう。しかし、当局はまさにそれをずっとやってきたのだ。問題は必要なときにやってくる。市場はいつまでも一方向に動くことはない。遅かれ早かれ、市場は方向転換する動機を必要とする。問題が長引けば長引くほど、将来爆発するのを待っている問題は大きくなる。

一方、債務は史上最高額に達している。そして金利で表される資本コストは史上最低水準にある。明らかに何かがおかしい。債務はいつでもどこでも心配事であり脅威である。債務は返済しなければならない。未払いの債務が多ければ多いほど、心配の種となる。債務者が返済できず、結果的に返済しない場合、債権者はどうだろうか。債権者にはまだ支払い能力があるだろうか。通貨が下落したらどうなるだろうか。あるいはデフレが起こったらどうなるだろうか。債務は疑問を生じさせ、金融システムを恐ろしく不安定にする。

債務の量が増えると、通常は質が低下します。債務の価格、つまり利子は同時には増加しないため、債務の量を増やすことは意味がありません。これは最も基本的な需要と供給の法則に反しています。しかし、世界中の債務の供給が歴史的なレベルに達したとしても、債務の価格はすぐに上昇するでしょう。

未返済債務やデリバティブを含めた総負債が 1.200 兆～ 2.500 兆ドルという前例のない世界において、この世界債務対 GDP 比は 31

対 1 の範囲にあり、従来の収益成長では決して返済できません。
第 26 章で説明されているとおりです。

この問題は、1913 年に連邦準備制度が設立されたときに意図的に作り出され、1971 年に金が通貨の裏付けを持たなくなったときに再び意図的に深刻化しました。

まもなく、信用と紙幣の印刷が効力を失うと、実物の金や銀による資産保全と保険が極めて重要であることに、さらに多くの人々が気づくだろう。2008 年の問題が猛烈な勢いで再び現れた瞬間、政府が講じられる効果的な対策はまったくなくなるだろう。

これにより、金は 5,000 ドル、10,000 ドル、20,000 ドル、そして最終的には、おそらくはるかに高い価格に押し上げられるでしょう。その時点で、全世界が金を所有したがるでしょう。いつものように、群衆を待つのではなく、今すぐ行動を起こすことが重要です。繰り返しますが、銀行やドル、ユーロ、円などの弱い通貨から手を引きましょう。金や銀の現物は銀行システムの外で保管する必要があります。それがあなたにとって最良の資産保全と保険の形となるでしょう。

資産と貯蓄の配分について考えるのに役立つ方法は、現在の不換紙幣制度のない世界を想像し、人々が日常生活で本当に価値あるものとして何を使うかを考えることです。常識的に考えて、水、食料、エネルギー、安全、住居を備蓄するのは当然です。これらは危機のときに最も求められる基本的なニーズです。これらの基本的な必需品が確実に手に入るようにしてください。現在の通貨制度が崩壊してどのような通貨制度が生まれようとも、金と銀が重要な役割を果たすことを心に留めておいてください。

個人の主権を回復し、中央銀行を廃止する：

記憶に残る限り、人々の集合意識は、生活のあらゆる側面を支配してきた外部の権威の幻想によって無力化されてきました。絶え間な

い操作と欺瞞により、私たちの社会は、当局自身への利益の流れの源、つまり寄生的な統治組織のホストに変わりました。

その結果、多くの人が、外部の権威に頼るのではなく、人々が自分の人生を自分で描くことができるという認識に苦しんでいます。だから、目を覚まして魂を解放に統合し、個人の主権を体現し、内側から行動することを学びましょう。自分の自由意志を実践し、適用することを学びましょう。私たちのお金は、本当の価値があるという誤った信念による幻想であることを理解することから始めましょう。しかし、実際には、中央銀行の創造物であり、ハザールマフィアが所有しており、実践されているため、最大の国民の怒りに値し、遅かれ早かれ廃止されるべきです。



新世界秩序：

新世界秩序では、独立した存在、政府、王室、共和国、州や地方は存在しません。新世界秩序の背後にある支配勢力は、中央銀行や大規模な多国籍企業を通じて、すでに世界的な資金の流れを掌握しています。この権力は、報道機関やメディアの統制を実施することで、「民主的な」国を誰が統治するかを決定します。

今日の金融システムはバビロニアの債務奴隷制に基づいており、これは国民が管理する透明なシステムに置き換えられなければなりません。現在のシステムでは、世界の富の50%以上が約100人のエリートの小さなグループの口座に移され、残りの80%の人々はわずか5.5%を所有しています。この80%は債務奴隷となり、生活水準は1960年代から蔓延しています。9人に1人は十分な食料がなく、10億人以上が依然として1日1.25ドル未満で暮らしています。比較すると、陰謀団によって盗まれた資産がすべて一般市民に分配されれば、これらの資産の正当な所有者である一般市民、あなた、私、そしてすべての子供が平均で100万ドルを受け取るようになります。 25

0,000 ユーロ 工業化された世界では、そしてある推定によれば、これは地球上のすべての生物に当てはまるだろう。

事実上すべての国に大規模な融資を行うことで、これらの国々は支配権力の隠れた手に依存するようになった。独立を維持したい政府は、精力的に取り締まり、強制的に服従させられる。指導者は退位させられるか、殺害される。政治的プロパガンダや経済制裁によってこれが不可能な場合は、CIA、モサド、または軍隊が目的達成のために派遣され、NWO体制への服従を強いられる。

アルコンの血統一族は世界を支配したいと考えており、13の有力一族の力を結集してそれを推し進めています。アダム・ヴァイザウプト教授は、マイヤー・アムシェル・ロスチャイルドの要請により、1773年に計画を起草しました。究極の目標は、イスラエルのエルサレムに1人の指導者を頂点とする世界独裁政権を樹立することで、現在もその目標は変わりません。

人類を支配するには、情報を操作し、自由を制限する必要があります。メディアを所有して操作し、真実を検閲することで、人々に簡単に影響を与えることができると信じられていました。その結果、富裕層は世界中で最適な経済的、金融的、政治的支配を獲得し、最終的な目標は、人間の関与を減らしてすべてを受け入れ、世界独裁を実行し、残った少数の反対者を簡単に排除することです。

ヴァイザウプトは1776年にイルミナティ団を創設したが、実際にはファシストだった。

ナチスの組織は、今日のすべての

「公認」の世界的指導者。 - 反逆または辞任は死刑に処せられる

。

ヴァイザウプトの組織のモットーは、「**目的は手段を正当化する**」である。文明、名誉、礼儀、誠実さ、道徳、倫理、人間性といったあらゆる資質は、文明的な敵対者がこれらの冷酷な陰謀家に引き渡

されることを確実にするために、弱さの象徴として軽蔑され、捨て去られる。

嘘、偽り、不正直、残酷、冷酷さ、殺人は文字通り「美德」と見なされ、それが彼らの力の源泉となっています。

本当に野蛮な遺物は金ではなく、中央銀行です。

その結果、金と銀は操作される。金は「野蛮な遺物」と表現されるが、金は野蛮でも遺物でもない。本当の野蛮な遺物は中央銀行である。これらの銀行家たちは野蛮である。なぜなら、彼らはアイザック・ニュートン卿の素晴らしい発明である「金本位制」を終わらせようと共謀したからである。金本位制は200年、おそらくそれ以上も健全な通貨を守った。

お金は社会の基本的な構成要素です。なぜなら、お金は人々が市場プロセスで互いに交流することを可能にするからです。お金は、政府や中央銀行がそれを「管理」し始めるずっと前から存在していました。悲しいことに、お金は、誰にとっても公平で、商業において中立で束縛のないツールである代わりに、自由市場の不可欠な製品として腐敗してしまいました。お金は強制と命令の対象となり、自由市場のプロセスを混乱させ、したがって社会に害を及ぼしています。

お金の代替品:

経済的に生き残る唯一の方法は、命を救う金と銀に投資することです。これらは本物のお金であり、中央銀行が押し付けてきた紙幣の代替品を軽蔑するものです。これにより、最終的に各国は誠実で健全な通貨を発行することになります。

最初の中央銀行であるイングランド銀行が設立される前は、ロスチャイルド家が私有していたが、「市場プロセス」と呼ばれる取引活動におけるすべての交換は、価値と価値の交換であった。言い換え

れば、金は土地と、銀は食料と交換されるなど、資産は資産と交換された。イングランド銀行は、金や銀のような有形資産ではない「紙幣」と呼ばれるお金の代替品を作成することでこのプロセスを変えた。紙幣は単なるお金の代替品であり、それ自体はお金ではない。お金の代替品は紙幣を発行する銀行の負債であり、通貨などの有形資産を使用する場合には存在しないあらゆる種類の支払いリスクを生み出す。

連邦準備銀行は、1929年の危機だけでなく、2008年以来続いている世界的危機にも責任があります。すべての危機は、人々の財政を枯渇させ、屈服させるために、イルミナティ プロトコルの台本に従って事前に計画されていました。プロトコル 2:13-14 に次のように書かれています。

「完全に我々の手中にある金を使って、我々はあらゆる隠された手段で一般的な経済危機を引き起こし、金融市場、産業、ビジネスを混乱させ、ヨーロッパの全ての国の労働者の大群が同時に職を失うことになるだろう。これは我々に何の害も与えない。なぜなら我々は攻撃の時期を知っており、我々の身を守るための対策を講じているからだ。」

連邦準備銀行のような中央銀行は実際には銀行ではなく、準備金も持たず、秘密裏に活動し、その行動に責任を負わない。例えば、

「…連邦準備制度理事会のいわゆる公開市場委員会は、公開とは程遠い。委員会は密室で会合し、決定を下す。1か月後に公開される議事録は徹底的に編集されており、部外者は委員の審議内容を知ることができない。中央銀行は自分たちが法の支配下ではないと考えており、あたかもそうであるかのように行動している。さらに、この秘密主義は部内者に有利であり、この基本原則に基づいて、例えば金市場への介入など、中央銀行の市場介入が構築されている。

」

インフレ、ゼロ金利政策、マイナス金利政策：

中央銀行は政府債務を取得し、それを使って無から通貨を作り出し、政府が好きなところに支出できるように金利を課すことでインフレを引き起こし、政府が国民から密かに盗むことを可能にする。インフレは、特に歪んだ経済統計で隠されている場合、政府が増税や給付金削減の不快感なしに国民から資源を吸い上げる非常に巧妙な方法である。同様の窃盗を達成する関連政策は、金利を自然水準以下に引き下げることである。これは「金融抑圧」またはゼロまたはマイナス金利政策ZIRPまたはNIRPとして知られ、貯蓄者や退職者から政府を含む債務者へ所得を移すものである。

要するに、インフレと人為的に低く抑えられた金利は、民間の財源から公共の財源への資源の絶え間ない移転を生み出し、これは金融介入の報告されていない側面であり、それが十分に理解されれば、期待の管理がはるかに困難になるだろう。

中央銀行家からの偽情報により、人々はインフレが「価格の上昇」であると信じるようになる。これは、インフレの定義を「価格の上昇」と変えた嘘でありナンセンスである。インフレの本当の意味は窃盗であり、中央銀行が仕組んだ**通貨の品位の低下**であり、人々の購買力を低下させているに過ぎない。

詐欺：

ほんの一例を挙げると、中央銀行が金の保有量をどう計上しているかを考えてみましょう。「中央銀行は、金庫に保管している金と貸し出している金の両方を、貸借対照表の 1 行の項目として計上しています。」実質的に、中央銀行は、一般に認められた会計原則（GAAP）によって確立された真実の開示を無視できると言っているのです。その結果、中央銀行は現金と売掛金の両方を 1 つのものとして報告することができます。これは通常のビジネス慣行では詐欺と呼ばれます。

指揮統制経済：

中央銀行は、事実上、市場を指令型、つまり国家主導型の統制経済に変えてしまった。無からお金を生み出す力は、国の経済、ひいては何百万人もの人々の経済的運命をコントロールする大きな力をもたらす。今日の中央銀行家たちは、糸を引いたりボタンを押したりして経済、つまり経済に参加する私たち一人ひとりを自分たちのコントロールに従わせようとした旧ソ連の政治局員のように振舞っている。しかし、中央銀行によって決定されるのは何百万人もの人々の経済的運命だけではない。中央銀行による権力の行使は、微妙ではあるが潜在的にもっと不安な問題を引き起こす。

制御と制限の拡大：

中央銀行家と政府内の同志たちは、彼らが主張する統制経済の力は、彼らが運営する信用ベースの通貨制度の本質的な脆弱性を考えると、繁栄と経済崩壊の間の微妙なバランスを取らなければならないことを知っている。このますます増大する脆弱性を軽減しようと、中央銀行が統制経済を効果的かつ完全に管理しやすくしようという無駄な試みとして、政府は人々の自由を奪ってきた。中央銀行は、銀行口座や資金移動の報告や政策などの管理を導入している。さらに、「大きすぎて潰せない」政策は、納税者のお金で銀行の誤った決定を保証している。統制は、統制経済において中央銀行が良い仕事をしているか悪い仕事をしているか（通常は悪い）に関係なく、中央銀行の権力の締め付けを維持する。

中央銀行が運営する指令経済は貯蓄ではなく負債の増加を促します。銀行はより多くの利益を得るために、より多くの融資を行うことでバランスシートを拡大したいと考えています。

信用拡大は国民に新たなものを手に入れる機会を与え、それが繁栄の幻想を生み出し、人々に自分たちの富が増加していると信じ込ませる。

疑似繁栄：

借金によってもたらされたこの疑似繁栄の結果、国民は満足し、政府の権力と政治家の特権が長引く傾向にあります。消費者、企業、政府は、健全で実績のある「使った分だけ支払う」政策に従う代わりに、「今買って後で支払う」という新しい信念体系を採用しました。今日存在する借金の山と、その山を膨らませ続けている過剰消費は、中央銀行の活動と、借金の増大が止まった場合に必然的に起こる破綻を避けるために借金を増やす必要性の直接的な結果です。

リチャード・ラッセルはこれを「インフレするか、死ぬか」という3つの言葉で説明した。

この現実には、元連邦準備制度理事会議長ベン・バーナンキが、事実上、経済を膨張させるために必要ならヘリコプターから100ドル札を投下するだろうと言った理由を説明しています。

中央銀行の悪質な慣行：

そう遠くない将来、世界の準備通貨である米ドルが、それ以前に崩壊したかもしれない他の多くの不換紙幣の仲間として崩壊したとき、人々は過去を振り返り、中央銀行のような野蛮な機関が、自分たちは公共の利益のために行動する善良な機関であると多くの人々を騙すことができたのはなぜかと自問するだろう。その答えは、中央銀行が繁栄の幻想を作り出したということだ。人々は自分たちが裕福であると考えているため、信じ込まされている基本原則に疑問を抱く理由がない。このため、人々は金は野蛮な遺物であり、中央銀行は良い仕事をしており、公式に測定されたインフレ率は低く、財政的な将来は安全であると簡単に信じ込まされる。しかし、これほど真実からかけ離れたことはない。

中央銀行の悪質な慣行を理解し、人々の権限を拡大することで、彼らの露骨な詐欺行為は終結するはずです。ごく少数を除き、ほとんどの中央銀行はハザールマフィアの私有物です。

ロスチャイルドは、ロスチャイルド家自身が設立した世界初の中央銀行である「イングランド銀行」をはじめ、ほぼすべての中央銀行を所有しています。

第 22 章で説明されているように、お金は幻想であり、嘘と欺瞞によって公に教え込まれていますが、中央銀行は世界と市場を支配し、操作し、征服するためのハザールマフィアの主な収入源であるため、これを終わらせなければなりません。

オーストリア経済学:

[通貨への回帰](#)を求める声を黙らせるにはこれより良い方法があるだろうか 彼らを聖戦主義テロリストと同等に扱うよりも、金本位制を支持する方がましなのだろうか？なぜ、そのような人はいないのだろうか。それが、「イスラム国」の最新の金本位制支持ビデオクリップの滑稽な登場を説明できるかもしれない。それはオーストリア経済学の短期集中講座に他ならない。

46. あなたの生活水準は破壊されました

- 金融抑圧。
- 金融プライバシーの終焉。
- 構造的不況。
- 借金サイクルが終わる仕組み。
- 金利が上昇するとき。
- 創造的破壊。
- 人口統計上の現実。

無担保ローンが銀行業界に殺到：

嘘、金銭、腐敗、貪欲、そして人間の愚かさ。これらの過ちの規模は巨大です。人々の経済的幸福と世界の金融の安定を損なうほどです。大手銀行にとって状況は非常に悪くなっています。多くの銀行株、特に欧州の銀行の株価は明らかに下落傾向にあります。それらの多くは、決して返済されることのない無担保ローンで溢れており、したがって全額損失として帳消しにしなければなりません。金融構造が日ごとにより脆弱になるにつれて、世界中の経済が著しく弱体化し、潮流がエリート層に不利に働くにつれて絶望が高まっています。

だからこそ、ウォール街のエリートたちが短期間で世間にリセットが起こると言い出したのです。人々は金曜日に寝て、月曜日の朝になっても市場は開かず、最終的に市場が再開したときにはリセットが起こっているか、リセットの始まりになっているでしょう。

中央銀行の実験は大失敗だった。しかし、低金利はすぐには解消されそうにない。この失敗した政策をさらに強化しても経済は改善しない。より大きな危機へと向かうだけだ。

潜在的な市場暴落の引き金：

市場を暴落させる大きな引き金になり得るものの1つは、マイナス金利の欧州国債が20兆ドル近くあることです。マイナス金利は、債務が現金よりも割高で取引されていることを意味します。おかしなことに、これは債務が現金よりも優れていることを示唆していません。これはあり得ません。引き金になるかどうかは別として、非常に爆発的です。

暴落で影響を受ける可能性のある債券の額は、マイナス金利の20兆ドルだけではなく、その他の債券を合わせると約50兆ドルに上ります。マイナス金利に経済修復効果があると考え人がいるなら、2008年から現在までの期間を振り返って、今日までの進歩を見てくだ

さい。何の進歩もありません！世界は金融史上最大のバブルの中にいます。

もう一つの大きなきっかけは、ドイツの深刻な問題を抱えるドイツ銀行かもしれない。同銀行は証拠を出し、金や銀の市場を操作してきた他の金融機関を揺さぶっている。これは犯罪だ。同銀行は犯罪者として行動した。

中央銀行は、2008年の金融危機のときのように救済に駆けつけることはないだろう。中央銀行は、破産や流動性不足の救済メカニズムとなるはずの機関だが、中央銀行自身も流動性不足で支払い不能になっている。中央銀行は、特に財政政策による各国政府の支援、つまり納税者のお金がなければ、達成できる範囲が限界に達している。その結果、投資家や貯蓄者は、金や銀などの代替価値貯蔵手段を求めることになる。

EUは史上最悪の状況に：

最もひどい状況にあるのは、おそらくイタリアでしょう。イタリアの銀行は不良債権を抱えています。不良債権とは、当初の借入条件を満たしていない債権のことです。その総額は銀行の資本総額をはるかに上回っています。さらに悪いことに、イタリアの銀行の不良債権は、過去1年間で17%から19%に再び増加しています。国内の融資全体の19%が不良債権だというのは想像しがたいことですが、失業率が11.7%であることからわかるように、イタリア経済は深刻な問題を抱えています。

イタリアの財政状況はスペインよりはるかに深刻だ。そしてイタリア国債が金になる見込みは事実上ゼロだ。9つの市長都市が勝利し、国民投票が実施されたので、EU離脱の脅威、あるいは五つ星運動とポピュリスト連立政権自体が、イタリア国債をむさぼり食った有力候補を逃走させるだろう。

スペイン、フランス、ポルトガルなどの国でも、銀行の不良債権問題が拡大しており、これらの不良債権は解消できない可能性があります。これは、多くの銀行の不良債権が銀行の資本金よりも大きい
ため、帳簿上の資本金が消えてしまうため、銀行はこれらの損失を受け入れることができないためです。言い換えると、多くの銀行が支払い不能になっているのは、資産の実際の価値と銀行のバランスシートに報告されている価値の差が、銀行の株主資本よりも大きい
ためです。

これらの銀行がまだ営業しているからといって、誤解してはいけません。多くの銀行が破綻しているにもかかわらず、欧州中央銀行の寛大な援助のおかげで流動性が保たれているのだ。欧州中央銀行は、破綻した銀行が破綻しても代替りの選択肢があることから、破綻しないようにあらゆる手を尽くしている。

EUは事実上破産しており、[ソビエト連邦](#) ロシアのウラジミール・プーチン大統領によれば、EUの破綻は、欧州最大の銀行であるドイツ銀行の破綻によって引き起こされた。RKMのメンバーによると、同銀行は中国の管理下にあると言われている。 - 様々な情報源によると、中国が介入してドイツ銀行を救わなかったら、同銀行の破綻はドミノ倒しを引き起こし、欧州全体、ひいては西側諸国の銀行システムを崩壊させていただろう。

誰が銀行を救済するのでしょうか？

政府は、キプロスやギリシャのペイルインや、預金者に損失を与えたり預金者の引き出しを妨げたりするその他の計画の場合のように、銀行または預金者を救済する。

銀行問題に関するこれらの指標が正しいとすれば、そしてそれは正しいように見えるが、世界は2008年型の危機に再び直面することになるが、今日の負債は10年前よりもはるかに大きく、したがって管理が困難であるという単純な理由で、今回は10倍悪化することにな

る。経済減速の中での巨額の負債と銀行の不良債権は、避けられない列車事故を約束する。幸い、ほとんどの常連読者は、財産を無傷のまま嵐の目の反対側にたどり着く方法を知っています。物理的な金と物理的な銀を所有することです。これらは究極の安全避難所です。

EUはこれまで通り、甚大な経済災害に見舞われているとみられている。

スイス議会は賢明な判断を下し、1992年以来申請が続けられてきたものの、一度も採択されなかったスイスの欧州連合加盟申請を取り下げた。今回の正式な離脱は、欧州連合が当初から甚大な経済的打撃を受けていることを裏付けるものだ。そして、この経済的破綻は、意図的に引き起こされた難民危機と英国のEU離脱によってさらに悪化している。

選挙で選ばれていないリーダーは、重要な問題について決定する選択肢を与えないため、国民に相談することなくすべての重要な決定を下します。

この権利を持ち、頻繁に行使しているのはスイス国民だけだ。EUではさらに状況は悪く、加盟国すべてに拘束力のある決定のほとんどが、選挙で選ばれず責任も負わない役人によって下されている。これが、大多数の英国人が主権をブリュッセルに引き渡すのではなく、主権を取り戻したいと望んでいる理由だ。彼らは、無制限で管理されていない移民に関するEUの規則を受け入れるよう強制されたくはない。もしそれが続けば、英国とヨーロッパの他の国々の構造そのものが破壊されることになる。

ブリュッセルのEU陰謀団は、残りの27カ国で国民投票が行われないうように全力を尽くすだろう。しかし、秘密は漏れてしまったので、この自由を求める動きが広がるのを止めるのは非常に難しいだろう。ヨーロッパと世界にとってのジレンマは、フランスで実証された

ように、この政情不安が崩壊寸前の世界経済と金融システムにとって大惨事であることだ。

株式、債券、不動産、デリバティブのバブルは崩壊し、財政赤字と紙幣増刷により通貨が下落し続ける中、金と銀はこれらすべての資産クラスを上回るパフォーマンスを示し続けるだろう。

ヘリコプターマネー：

中央銀行が金利を低く抑えたりマイナスに抑えたりすればするほど、無謀な借入れや支出が増えることとなります。残念ながら、中央銀行は金利をゼロ近くに抑えるよりもさらに破壊的なことをする可能性があります。つまり、「ヘリコプターマネー」を導入する可能性があるのです。

超低金利により株価は記録的な高値に達している。S&P 500 は 2009 年 3 月以来 215% 上昇している。

アメリカの大手企業が利益を上げるのに苦労しているにもかかわらず、株価は過去最高値の3%以内で取引されている。S&P500企業の利益は12四半期連続で減少している。これは2008～2009年の金融危機以来、最長の利益減少期間だ。状況は悪化する一方だ。FRBは企業に数兆ドルの借入れを奨励した。米国企業は2007年以来、債券市場で10兆ドルを借り入れている。

昨年、彼らは過去最高の1兆5000億ドルを借り入れた。

産業機器大手のキャタピラー（CAT）は先月、小売売上高が再び減少したと発表した。驚くべきことに、同社にとってこれで42か月連続の売上減少となる。2012年後半から毎月売上が減少している。さらに悪いことに、同社は北米（米国）とアジア太平洋（中国）の両方で売上の減速が最近再び加速し始めたと報告した。

キャタピラーは長い間、世界経済の最も優れた先駆者の一つと考えられてきました。同社の機械は、農業から輸送、ショッピングモー

ルの建設まで、あらゆる分野で使用されています。世界が成長しているとき、キャタピラーは好調な業績を上げます。世界が減速しているとき、同社はそれを最初に感じる企業の 1 つです。

過去数年にわたる政府や中央銀行の高官たちの大言壮語にもかかわらず、キャタピラー社の業績は景気回復を裏付けるものではなかった。最新のデータが何らかの兆候を示しているとするれば、経済は再び厳しい局面に向かう可能性がある。しかし、今日の懸念の理由はそれだけではない。景気減速が始まっていることを示唆する兆候がますます増えている。

経済学者ミルトン・フリードマンは 1960 年代にあるアイデアを思いつきました。彼は、政府がヘリコプターから現金を投下すれば経済成長を促進できると言いました。人々はその無料で手に入る現金を使い、それが経済成長につながります。フリードマンがこの漫画のようなアイデアを真剣に受け止めたかどうかは疑わしいです。長い間、誰も真剣に受け止めませんでした。

経済が悪化すればするほど、中央銀行が「何か行動を起こす」可能性が高くなります。しかし、問題があります。中央銀行には手段がなくなりつつあり、金利をさらに引き下げる余地はあまりありません。

経済を「刺激」するもう一つのお気に入りの方法は、お金を印刷することです。ヘリコプターマネーは基本的にQEの変異です。しかし、お金を印刷して銀行に渡す代わりに、FRBはお金を印刷して人々に直接渡すことができます。多くの人々にとって、それは夢が実現したように聞こえます。結局のところ、無料のお金が嫌いな人はいないでしょう。しかし、頻繁に読んでいる人ならご存知のとおり、それは深刻な副作用があります。ヘリコプターマネーはすべての紙幣の価値を破壊する可能性があります。

ハイパーインフレ:

政府が紙幣を印刷すると、人々は同じ量の商品やサービスを求めて紙幣をさらに持つこととなります。パン一斤から新車まで、あらゆるものの値段が上がります。政府が紙幣を印刷しすぎると（ほとんどの場合そうなるのですが）、紙幣は無価値になります。

だからこそ、金と銀は本物のお金であり、何千年の間人々の富を守ってきたのです。なぜなら、金と銀には耐久性があり、簡単に分割でき、持ち運びも簡単という、類まれな特性があるからです。世界中の誰もが、その本質的な価値をすぐに認識します。

そして紙幣とは異なり、政府は気まぐれで金を増やすことはできません。だからこそ、金は何世紀にもわたってその価値を保ってきたのです。また、政府が紙幣を印刷するなど無謀なことをすると、金の価値が急騰することもあるのです。

来たる危機は、財布の中に紙幣を持っているすべての人に悪影響を及ぼすでしょう。

アラン・グリーンSPANは危機が差し迫っていると警告し、金本位制への復帰を促した。 [彼はインタビューでこう語った。](#) 彼が連邦準備制度の現在の政策を批判しないのであれば、1世紀以上前の金融政策のやり方、つまりドルの価値を一定量の金に固定する方法に戻るのは素晴らしいことだ。 - 矛盾なのは、グリーンSPANがRKMに代わってこれをすべて意図的に始めたことだ！

「金本位制に戻り、1913年以前の金本位制の実際の構造に忠実であれば、問題はないだろう」と彼は語った。「私は金の虫として知られており、皆が私を笑う」と彼は語った。 - グリーンSPAN氏は、金が重要でないなら「なぜ中央銀行は金を保有し続けるのか」と質問した。

RKM が支配する中央銀行は、世界中の金のほとんどを盗んだため、金本位制を強制すると思われます。彼らがこの強奪行為で莫大な利

益を上げる唯一の方法は、世界中の人々に彼らの金を取引させることに成功したときです。第 49 章を参照してください。

あなたの金融プライバシーの終焉：

西側諸国では、貯蓄者や投資家の金融プライバシーを剥奪する法律や規制が制定されつつあります。いったん金融プライバシーが剥奪されれば、政府が大規模な資金を没収することは容易です。これは歴史上何度も繰り返されてきました。そして、それは比較的近い将来に起こるでしょう。

その考えは、口座開設や取引を行う前に膨大な量の情報を要求することで、世界中の銀行に顧客のプライバシーを剥奪することを要求するというものだ。

金融危機が起こったら、政府は国民の退職資産を凍結し、再投資するという対応を取る可能性が高い。株式や債券などの資産クラスの代わりに、公的資産は国債に投じられ、ほとんどまたは全く利息が付かなくなるか、さらに悪いことに、テロ戦争のために政府に資金を貸し付けるために支払うマイナス金利になる。第 28 章を参照。

人々が残した資産はどれも大幅に価値が下がるでしょう。これは偶然ではありません。人々を貧しくして、たとえ望んでも国を離れることができない状態にするのが狙いです。『**彼らはあなたを畏にかけたいのです**』 - **彼らはあなたがもう国を離れることができない状態にします**。多くのことが起こっている中で、あまりにも多くの人々が、これらの変化に備えて、金や銀にお金を交換したり、余剰金を個人の貸金庫に保管したり、海外に移したりすることに積極的になっていないのは信じがたいことです。目を覚まして、**新世界秩序の網の目の中で奴隷にならないでください**。

ブレグジット、希望の光：

英国人は、EU 周辺のエリートや国家元首たちの言うことに耳を傾けず、ブリュッセルの EU 当局者、中央銀行家、TBTF の銀行家、その他現状維持を主張する人々の警告にも耳を傾けなかった。その代わりに、EU からの離脱に向けた基盤を築くことを選んだ。第 37 章も参照。

というわけで、Brexit は起こり、52% 対 48% の差で勝利し、72% を超える投票率は「離脱」運動がいかに強力であったかを示した。その後の崩壊は、とにかくそれがいかに弱かったかを明らかにするだろう。

EU と世界経済全体が順調に成長していれば、このようなパニックは起こらなかつただろう。経済は成長しておらず、回復も見られない。破滅の日を先送りするために、世界の汚い山に巨額の負債が積み上げられただけだ。これが現実であり、マイナス金利の債券のせいで、いずれにせよ崩壊は起こる。その額は EU だけですでに 14 兆ユーロを超えている。エリート層は金融システムのコントロールを失っており、根本的な健全な成長とインフレを刺激することに成功していない。市場を人為的に刺激しようとする努力は、日ごとに効果が薄れつつある。

その理由は非常に単純です。信用サイクルが変わったのです。経済サイクルも変わりました。2009年から2015年半ばまで市場に**有利に働いていた逆風が**、逆風になり、今では市場に**不利に働いています**。BREXITによって陰謀団にもたらされる最も重大な付随的損害は、金、銀、その他の天然資源の市場価格を操作する西側諸国の中央銀行の能力が最終的に破壊されることです。

金融抑圧:

ギリシャを見れば、EUがいかに絶望的で無力であるかが分かる。何年もの間、リーダーたちは強気な顔をしてギリシャ問題を解決できると言ってきた。しかし、結局は負債の重荷を克服する方法がない

ことがわかった。最初から援助を拒否するべきだった。彼らはこの危機を悪化させ、有権者は変化を要求したにもかかわらず彼らを再選した。現在、ギリシャの極右と極左は、ドイツで自身の選挙民に失望しつつあるメルケル首相が指示したさらなる緊縮財政を受けて、新たな重荷を背負わせている。

コンドラチェフの言葉を借りれば、「政府の行為は絶望的な茶番劇だ」。政府が何をしようとも、経済サイクルは必ず終わる。そして、今や明白なように、経済システムから「負債の毒」がすべてなくなるまで繁栄は訪れない。こうしたサイクルを過小評価すると、破滅的な結果を招く。そして、それはどんな政府も制御できないほど強力な力となる。したがって、実体経済は弱まり、失業は増える一方、経済情勢を悪化させる偽のお金以外には、実際のお金は手に入らない。銀行救済に費やされたお金はすべて無駄であり、私たちの指導者の無能さと無責任さを裏付けるだけだ。

なぜ私たち一般人が銀行を救済しなければならないのでしょうか。銀行は入ってくるお金に対してはほぼゼロの金利しか払わず、出ていくお金に対しては過剰な金利を払っています。銀行に資金注入をする必要はないはずです。その理由は、ボーナスを除いて、人々は銀行が入金するよりも早くお金を引き出すからです。

金で資産を保有していれば、このような一夜にして起こる金融崩壊で苦しむことはない。しかし、歴史を振り返ると、繰り返されるかもしれないという警告が浮かび上がる。

1933年、ルーズベルト大統領が署名した大統領令により、国民は金の売却を強制され、1オンスあたり20ドルで政府に金を売却しなければ、重い罰金と懲役刑に処せられることになった。この命令の法的根拠とされたのは、第一次世界大戦の立法上の産物である敵国との通商法であったが、問題の敵国は15年前に存在しなくなっていたにもかかわらず、政府の歪んだ法的論理には影響しなかった。

強制売却は、公式金価格が 35 ドルに上昇する前兆でした。政府が価格を引き上げたのは、ドルを国際金本位制に維持しながら、ドルの大幅な、しかし限定的なインフレに余裕を持たせるためでした。強制売却は、依然として赤字支出に不利な政治環境下で運営されていた政府にとって、価格上昇から利益を得る手段でした。その利益は、借金を増やすことなく支出を増やすための資金でした。

今日、政府が従うべき金本位制は存在しません。また、政治家が特に望んだり避けようとしたりする財政赤字は、経済を刺激するための公民権として推進されています。現在、大恐慌時代がないため、金の没収の動機はありません。しかし、金投資家同士の会話では、この没収の話題が頻繁に話題になります。

政府が再び金の扱いを変える動機は少なくとも 2 つある。ドル/ユーロが外国為替市場で下落し、パニックに陥る危険が生じた場合、政府は外国人に金を売却して外国人が保有するドル/ユーロを吸収しようとするかもしれない。その場合、自国の国民が所有する金を没収する必要がある。それだけでも十分悪いが、2 つ目の動機はさらに悪質だ。国民の 50% 以上が政府からの援助で生活を支えており、金を嫌っている。

政府は、国民が経済問題を自力で解決することは政府の能力に対する侮辱であるのに対し、指揮統制の権限があると感じている。彼らの観点からすると、国民が購入するすべてのお金は、実際には政治体制に投げつけられたもう一つの腐った卵である。

さらに、金の購入者は有権者のごく少数派です。政治家にとって、金投資家がそのようなひどい国民であることを非難すること以上に満足感があり都合のよいことがあるのでしょうか？

金の所有に対する新たな攻撃は、おそらく 1933 年をそのまま再現するものではないだろう。金投資家を騙すための武器はたくさんある。金の所有を禁止し、外国人への金の販売を禁止するかもしれな

い。購入できるのは政府だけであり、入札者は政府だけなので、購入価格は非常に低くなるだろう。また、金の私有権を併合し、名目上の補償金や、金の利益の 90% の超過税を課するという方法もあるだろう。時価評価ルールを伴えば、この方法は有効である。あるいは、まだ誰も考えていない方法かもしれない。

現時点では、将来の金の押収は想像もできないかもしれないが、政府がパニックに陥り始めたら、想像もできないあらゆる行為が起こり得ることは間違いない。これらの規則が外国人保有金にどのような影響を与えるかも含めて。居住国外に金を保管している所有者は、少数派の中の少数派となるだろう。彼らの金は押収が難しく、没収にも手間がかかる。少なくとも、海外に保管されている金は、国内の金とは違って、より良い賭けとなる。

おそらく、この予防措置はまったく意味がないことが判明するでしょう。その場合、少しの努力が無駄になります。しかし、今のところは、これが非常に重要であることが判明すると想像する方がよいでしょう。

構造的不況:

世界は構造的な不況に陥っており、今後もその状態が続くだろう。量的緩和は危機の終息にはつながらなかったが、経済に打撃を与えたわけではなく、資産価格に影響を与えただけだった。信用ベースのお金が信用サイクル全体を生き延びたことはこれまでなく、今回も例外ではない。この世代の支出のかつてない急増によって生じたバブルは、最初に支出を牽引した人々が現在貯蓄しているため、持続不可能である。さらに悪いことに、彼らはもはや高額商品のために借り入れをしていない。これは支出に最も影響を与えた行動である。すべてのバブルがそうであるように、このバブルも最終的にははじけるに違いない！

世界の三大中央銀行、米国、欧州、日本は、大規模な金融実験に乗り出した。彼らは何もないところから莫大な金額のお金を作り出し、それを使って途方もない量の政府債務を購入した。米国の中央銀行は、米国の国内総生産（GDP）の30%に相当する債券を保有している。日本の中央銀行の負債は、GDPの50%に等しい。欧州の中央銀行は、GDPの35%以上、約5兆ドル相当の債券を保有している。デリバティブを含む世界の負債総額は、1千兆（1015）に上る！詳細は第26章を参照。確かに、この負債の混乱から抜け出す方法はないだろう。金融システムが崩壊しても、現実世界では何も変わらない。米ドル、ユーロ、円などと呼ばれる何兆もの債務奴隷商品が銀行のコンピューターから削除されたからといって、不動産、土地、工場、人々が消えることはない。

巨大な詐欺：

QE はついに終了したが、それが体現した膨大な詐欺に対する国民の理解はまだ始まったばかりだ。概算で、この公式偽造の波は 3.5 兆ドルに上る。これは、2008 年のリーマン危機時に「異例の政策」が開始されたときの Fed のバランスシート約 9,000 億ドルと、現在の 4.4 兆ドルの差額を反映している。これは、無駄なことばかりで、かなりの利益を生んでいる。これは、とんでもない詐欺だ。この途方もないバランスシート拡大に埋め込まれた詐欺は、銀行システムに供給された新しい中央銀行準備金が民間の信用創造プロセスに影響を与えた、隠された間接的な方法に比べれば、取るに足りないものだ。今では明らかになっているように、中央銀行が発行する新たな信用は、部分準備金の貨幣乗数 10 が適用される程度まで民間信用の拡大をもたらすか、あるいは単に過剰準備金が生成されて中央銀行に還流することになるが、現時点ではそうではない。

QE が歴史のものになれば、ウォール街の強気相場もおそらく終わります。パーティーは終わり、株価、債券、不動産価格は元の状態に戻ります。

連邦準備制度理事会は、QEは最後の息を吹き返しつつあるかもしれないが、その子孫は生き続けるだろうとすでに発表している。

彼らは、約 4.5 兆ドルの債券ポートフォリオを売却するつもりではなく、自然原因で満期を迎えることもない。通常の流れでは、これらの債券は満期を迎え、その後、私たち全員がそうであるように、消滅する。しかし、ジャネット・イエレン氏は、FRB は満期を迎える資金を新規発行に再投資すると説明している。

言い換えれば、国債は引き続き新規債券を吸収し、利回りを抑えるのに役立つ。借金に依存している経済は、同じ興奮状態を維持するために、ますます借金を必要とする。最初は多額の信用が役立つかもしれないが、後になって経済に悪影響を及ぼす。借金が増加すると、将来必要な資源がすでに過去に消費されているため、経済成長が難しくなる。

米国では10年から15年の債券が約1500億ドル流通しており、そのうち米国中央銀行は半分以上を保有している。同様に、FRBは20年以上の国債のほぼ半分を保有している。長期債の利回りを下げること、FRBは資本コストを人為的に信じられないほど削減した。また、借り入れコストを大幅に削減することで、FRBは事実上すべての借り手が債券市場にアクセスできるようにした。これは、高利回りの「ジャンク」債券市場での過去最高の発行額と過去最低の名目利回りによって証明されている。6月、企業の借り手はバランスシートに300億ドルの負債を追加したが、これは単月としては過去最高額である。

新興国市場の債務にも巨大なバブルが発生している。

「ニューヨークの優秀なヘッジファンドマネージャーは、2009年から2012年の間に新興市場の信用市場に4000億ドル近くが

流入したと指摘した。これは過去10年間の平均レート約4倍だ。」

債務サイクルの終焉：爆発を待つ世界的危機：

現代の金融界の驚異が私たちの目の前で展開しています。お金のない人から借りて、それを他人の口座に請求し、現金のかかなりの部分を懐に入れます。その過程で、いつ爆発してもおかしくない潜在的な世界的危機が生まれます。世界はまもなく債務不履行の波に見舞われ、ヨーロッパの大手銀行から貯蓄口座を持つ人まで、あらゆるものが麻痺するでしょう。この問題に関する世界有数の専門家一人の意見によると、「私たちは沸点に近づいています」。

2009年以来、米国、EU、日本はそれぞれ4兆ドルを印刷しており、これは12兆ドルの流動性の追加です。イングランド銀行と中国人民銀行が印刷したお金と合わせると、合計18兆ドルになりますが、実際には投資家のために運営されている株式市場の上昇に貢献しているだけです。これは前例のない大規模な純粋な通貨インフレです。

企業のトップは自社株を買い戻すためにさらに借金をしている。彼らは、他の誰よりも、中央銀行のシステムを利用する方法を理解しています。彼らは、ゼロ金利の信用を利用して自社の株式を買い戻します。これにより、残りの株式の価値が上昇します。そして、それは彼らにとって、巨額のボーナスにつながります。

超低金利は、生産者に対して資本が豊富で安価であることを示唆している。では、なぜそれを石油生産に使わないのか？ 石油採掘業者は約5000億ドルを借り入れ、その資金をあちこちで掘削に使っている。彼らは人員も雇用している。2008年以降に新たに創出された雇用のほぼすべてがエネルギーブームに関連したものとされている。

原油価格が50ドル以下で、供給が毎月増え続けている状況で、これまで投資してきた数千億ドルの将来はどうなるのでしょうか。不

動産ローンや自動車ローンはどうなるのでしょうか。ほぼすべての分野の小売業者が、Amazon やその他のオンライン小売業者と競争するのは不可能だと気づき始めています。第 28 章で指摘したように、利益を上げていない Amazon は、資本が無料でなければ事業を運営できませんが、それでも同社の評価額は 1,000 億ドルを超えています。これらは、金融の過剰が現実世界の問題にどのように変換されるかを示す典型的な例です。

現在、石油価格は過剰な新規供給の圧力を受けて暴落し、石油業界の収益性を損ね、石油会社が債務の担保として使用している埋蔵量の価値に疑問を投げかけている。突然、多くの**サブプライムエネルギー債務が破綻しそうだ**。そして、それは「回復」神話全体のハイライトであった設備投資ブームの終わりを意味する。

出口に向かう動き：

一方、ドルは上昇し、外国人投資家は安全性と資本収益を市場で求めて、米国株と米国債券に資金を移す。前者は幻想であり、後者は詐欺である。遅かれ早かれ、マーケット氏は発言権を持つだろう。いつもそうだ。

人為的な介入によって作られた偽りの市場の下には、本当の買い手と本当の売り手がいる本当の市場があります。ある時点で、供給が需要を上回ります。すると、業界で最も賢い人たちが心配になります。彼らは静かに出口に向かって動きます。次に賢い人たちが天才たちが去ったことに気づき、彼らも出口に向かって動き始めます。すると空売り屋が参入します。価格は下落します。そしてすぐに、市場は急落します。

いつも起きることだ。**バブルは必ずはじける**。ドットコム、住宅、サブプライム住宅ローン会社、石油、そして石油関連債務に起きたことだ。ウォール街では今、好景気サイクルの真っ只中にあるようだ。この好景気はもっと長く続く可能性があり、もっと先まで進む

可能性もある。これほどの規模の好景気には、しばしば、爆発する前に、徹底した「納屋を燃やすような、超絶最終段階」が必要だ。

推測ですが、これは単なる推測ですが、株式バブルの最終的なピークが達成される前に、もう一度大きな恐怖が起こるでしょう。恐ろしい下落が予想されます。中央銀行が迅速に反応し、その後、破滅への大競争が「最後のルーニーラップ」に入ります。

実質所得のさらなる増加がなければ、負債を返済することはできません。したがって、最終的にはすべてが悪化します。収入の少ないお金で、収益の増加につながるはずだった負債の返済に、どうしてもっとお金をかけることができるのでしょうか？

同じ質問を、エネルギー部門から 5,000 億ドルのサブプライム債務を購入した人々や、欧州周縁国の政府債務を 1 兆ドル購入した人々に尋ねてみてはどうでしょうか。あるいは、新興市場の債務に 4 兆ドルを「投資」した人々に尋ねてみてはどうでしょうか。答えはどこでも同じです。できないのです。

借金からさらなる借金へ：

ほとんどすべての先進国は、同じ道をたどってきた。借金から借金へ。「先進国は21世紀の最初の8年間で50兆ドルの債務負担を増やした。これにより、借金はGDP比率は260%から390%に上昇しました。」

「家計は多額の負債の重荷を払いのけようとしてきた。しかし政府と企業はこれまで以上に借金を重ねてきた。現在、対GDP債務比率は450%で、さらに20兆ドルの負債を抱えている。論理、数学、経験から、実質所得の増加に支えられていない負債の重荷は、その下にいる人々の頭上に崩れ落ちるだろう。いつになるのか？それが現時点で答えられない唯一の疑問だ。」

しかし、上記の事実の結果として、近い将来に何が予想されるかについての調査は次のとおりです。

- 最終的に、ダウ平均株価は5,500～6,000程度まで急落し、2020年代頃に次の長期強気相場が始まる前には、最終的には3,300～3,800まで下落する可能性があります。
- 労働人口が引き続き減少し、企業が経験者を採用する傾向にあるため、新規参入者はおらず、失業率は15%以上に急上昇するでしょう。
- 住宅価格は再び40%ほど下落するだろう...住宅ローン金利が上昇し、間違った投資家グループ、つまり投機家が市場への関心を失うため、2013/14年のいわゆる「回復」は予想よりも早く衰えるだろう。
- 人口減少、経済難、財政危機が続く中、特に市や郡レベルで、より多くの州政府や地方自治体が債務不履行に追い込まれることになるだろう。
- 巨額の歳入不足に直面し、米国政府の赤字は1兆3000億ドルから3兆ドルにまで膨れ上がるだろう。
- スペインの新たな不動産バブルが再燃して崩壊し、さらに多くの銀行が破綻し、そして欧州連合加盟国はいずれも人口の崖から容赦なく転落し、中でもドイツの急速な衰退が最大の驚きとなる中、欧州の危機は悪化するばかりだろう。
- 2008年に学んだ教訓にもかかわらず、住宅ローン会社や金融機関は、低金利で元本なしの「ティーザー」ローンやますますリスクの高い投資の提供を再開しており、今度は救済措置が不可能な第2次サブプライム危機に直結するだろう。」

研究によると、これらの出来事の影響は2020年までにピークを迎えるだろう。それまでは、「市場は上昇傾向を続けるだろう。多くの投資家は、不況は終わった、市場は活況を呈し続けるだろうと誤解するだろう。好景気はすべて過剰を生み出してきた。住宅価格は永遠に上昇するという誤った考えから生じた住宅所有者の過剰な支出と負債、あるいは市場が永遠に成長するという信念から過剰に建設、過剰設備、過剰雇用する製造業者、あるいはウォール街で年間200万ドル、300万ドルから1000万ドルを稼ぐ20～30代の若者などだ。通り。”

好況が大きければ大きいほど、過剰も大きくなる傾向があり、それをシステムから排除するのにかかる時間も長くなる。そしておよそ30年続くこの最新の好況は、戦後の経済革命以来最長の好況となっている。

近代史上最大の信用バブルは引き続き債務削減を続ける - インフレではなくデフレが到来。インフレではなくデフレがおそらく2017年から2023年頃まで、特に2018年にかけて流行する理由は次のとおりです。

歴史によれば、最も深刻な不況や不況には 3 つの段階があります。

- 2007 年後半から 2009 年初頭にかけてダウ平均株価が 14,280 から 6,440 まで 55% 下落したときのような深刻な暴落です。
- 政府の景気刺激策による経済活動の再開に刺激されて、市場は急上昇している。それが現在の状況だ。
- そして最終的な崩壊、より深刻な不況、そして数年間続くデフレ局面。

私たちのほとんどは、ここ数年、特に賃金に関して、何らかのデフレを経験してきました。信用バブルが極端になると、必ず崩壊して収縮し、その結果、マネーサプライ（信用）が突然引き締まり、その後、巨額の債務が帳消しになり、市場が崩壊して金融資産が消失するデフレが続きます。

これは 1930 年代に起こったことです。日本でも再び起こりました。なぜなら、いかなる政府も、自国の通貨をほぼ無価値にすることなく、そのような膨大な負債を、いくら刺激策を講じても相殺することはできないからです。この経済サイクルが続く限り、このような事態は起こりそうです。市場は 2018 年頃にピークを迎えると考えられています。

「2018年半ばには、次の大暴落のリスクが加速するだろう。ダウ平均株価が2016年後半かそれ以前から上昇し、6,000に下落する可能性が高まり、2020年から2022年までに3,300まで下落する可能性が高い。銀行は再び財布の紐を締め、2008年の崩壊後に実施したものよりもさらに厳しい融資方針に戻るだろう。」

不動産市場の最終章：

世界は、歴史上最大の不動産バブル崩壊の最終章を目にしようとしていると考えられている。歴史から学べるバブルの古典的な法則の一つは、バブルは通常、少なくとも最初の水準まで収縮し、さらにそれより少し低い水準まで下がるということだ。

つまり、「住宅価格は最高値から 55% から 65% 下落する必要がある。これまでのところ、下落は 33% にとどまっている。つまり、あと 22% から 32% は下落しなければならない。あるいは、現在の低水準からさらに 40% 下落しなければならない。住宅価格は 2000 年の価格に戻るか、1996 年のレベルまで下落する可能性がある。

そうすると、住宅の半分ほどが「マイナス資産」に陥り、債務不履行と差し押さえ率が再び上昇することになる。

これら 3 つの経済的現実が組み合わさって、今日の経済を揺るがす最悪の事態の構成要素を形成しています。

- 歴史上最も多くのお金を使う世代の最後の世代である裕福なベビーブーマー世代は、支出のピークの時代を過ぎ去りつつあります。
- 経済が減速し、債務が解消されるにつれて、デフレがますます支配的な傾向になるでしょう。
- そして、最大の住宅「回復」は再び崩壊し始め、一般の住宅所有者は何が起こったのかと疑問に思うことになるだろう。

これら 3 つの段階の収束の影響は、すべて 1 つの結果につながります。それは、信用の厳しい引き締め、そして数十兆ドルのローンや給付金の帳消しです。これは、システム内のお金の減少、支出の減少、需要の減少、価格の下落を意味し、最終的には不況とデフレにつながります。

最後に、念のためお知らせします。私は単に現在の経済の現実と、歴史的および実証的データの調査に基づいて、経済がたどる可能性のある道筋を報告しているだけです。このビジョンが単独で成り立つものではないことを示すために、リチャード・ダンカン是世界経済を次のように定式化しています。

「(それは) 大きなゴムボートのようなものだ。空気で膨らませるのではなく、信用で膨らませる。そのボートの上には、株式、債券、金を含む商品などあらゆる資産クラスと70億人が乗っている。」

- 問題は、このいかに根本的な欠陥が生じてしまったことだ。あまりにも多くの信用が創出されたため、70億人の取

入では負債の利子を返済できず、債務不履行が続いている。

- 債務不履行になると、信用がいかだから漏れてしまいます。言い換えれば、いかだから穴だらけです。そして信用は漏れ続けます。
- 今のこのいかだには根本的な欠陥がある。少なくとも世界の所得が現在分配されている方法では、所得に比べて信用が多すぎるのだ。
- いかだの自然な傾向は沈むことです。そして、いかだの沈むと、2008年のように、そしてQE1とQE2が終了したときのように、すべての資産クラスが同時に下落します。
- 株価が下がり、商品価格が下がり、住宅価格が下がるなど、人々は混乱し始めます。そしてパニックに陥り始めます。
- 政策対応として考えられるのはただ一つ、それはさらなる信用供与を注入することだ。
- それがQEの目的です。中央銀行はより多くの信用を注入します。そして、そうすると、いかだは再び膨らみます。資産価格はすべて再び上昇し、人々は再び安泰になり、皆再び幸せになります。
- もし政策立案者が今すぐ紙幣発行を完全に中止し、より積極的な財政刺激策のような他の政策に介入しなかったら、何が起こるだろうか？
- 1930年と同じように、いかだは沈んでしまうだろう。我々はデフレの渦に巻き込まれ、国際銀行システムは崩壊し、世界貿易も崩壊するだろう。」

資本コストがなければ資本主義は機能しない。

3つの単純な疑問が浮かび上がります。資本コストが実質的にゼロのときに、資本主義はどうやって成り立つのでしょうか。破産のない資本主義はどうやって成り立つのでしょうか。リスクやデメリットがないときに、資本主義はどのように機能するのでしょうか。この場合、資本主義は当然機能しません。資本の大幅な誤配分と投機の急激な増加があります。長くは続かない信用バブルを生み出します。

これらすべてがどのように終わるかを知っていると主張する経済学者は嘘をついている。いつどのように終わるかは誰にも分からない。元連邦準備制度理事会議長のアラン・グリーンズパンでさえも。彼が主張したことは恐ろしいものだった。

同氏は、中央銀行は自分たちが何をしているのか全く分かっておらず、この大規模な実験から必然的に生じるインフレを制御することはできないだろうと述べた。

では、あなたは何をすべきでしょうか？世界は巨大な世界的バブルの最終段階に差し掛かっています。銀行は印刷機で経済を支えてきましたが、それは永遠に続くわけではありません。世界中で、中央銀行による債券購入が続く限りしか機能しない信用構造が整備されています。

「例えば、英国は外国債権者に10兆ドルの負債を抱えています。これはGDPの400%以上です。スペインは外国債権者に2.3兆ドルの負債を抱えています。これはGDPの167%です。イタリアは外国債権者に2.6兆ドルの負債を抱えています。これはGDPの100%以上です。」

中央銀行は、こうしたばかげた信用構造を維持することに長けていることが証明されている。しかし、それにはコストがかかる。そして遅かれ早かれ、何かが壊れるだろう。なぜなら、資本コストがなければ資本主義は機能しないからだ。

金に裏付けられた通貨:

世界の流動性は、世界の準備通貨として使用されている国の通貨、つまり米ドルの経常収支によって決まります。40 年以上にわたり、米国は世界に対して多額の経常収支赤字を記録しており、その赤字は拡大し続けています。このため、世界中にドルがあふれ、通常は米国債の形で保有されています。これらの債券は世界の銀行システムの中核を成しており、全準備金の 60% 以上を占めています。

Fed は大量の米国債を買い戻している。その結果、世界的な流動性が大幅に減少するという「意図しない」結果となった。遅かれ早かれ、これはトルコやブラジルなど、ドル建ての債務を外国の債権者に負っている国にとって大きな問題となるだろう。トルコは外国の投資家に 3,860 億ドルの債務を負っており、これは GDP の約半分にあたる。これらの債務のうち約 1,600 億ドルは今後 12 か月以内に返済期限を迎える。そして米国や日本やヨーロッパとは異なり、トルコはこれらの債務を簡単に印刷することはできない。この罫はおそらく意図的なものであり、常連の読者なら覚えているだろうが、陰謀団はトルコの資源を没収できるようになる。

「人々は、このシステムがQE-無限大となり、世界中の主要中央銀行がインフレを約束しているという事実気づいていません。かつて中央銀行は物価安定を約束し、安定した価格を維持するために金利を5、6、7、さらには8%まで引き上げることもしませんでした。しかし今、彼らは安定した価格は危険だと言っているのです！これは金にとってこれまでで最高の基本的な環境です。ドルが世界の準備通貨としての日々は残りわずかです。ドルが準備通貨として受け入れられなくなったら、何がその代わりとなるのでしょうか？ユーロでも円でもありません。最終的には金になるでしょう…」

QE の発案者であるアラン・グリーンスパンは、もちろん金に関する推奨は行いませんが、最近、将来の金価格に関する見解を述べました。金の動向を問われたグリーンスパンは、連邦準備制度理事会（FRB）の量的緩和（QE）が「インフレ爆発」の「火付け役」となったため、5年以内に「目に見えるほど」高くなるだろうと語りました。グリーンスパン自身も市場の調整を警告しており、投資家に金の購入を検討するよう勧めています。そして、それは皆をもっと怖がらせるはずです。

その結果、ロシアは金を購入しており、2014年第3四半期の中央銀行の金購入額の59%を占めている。実際、ロシアと中国は外貨ドルを金に交換するのに忙しい。西側諸国とは対照的に、ロシアの累積国家債務はわずかであり、米国、EU、日本の場合のように将来の成長の足かせにはならないことを示唆している。ロシアはまた、所得税の最高税率が13%という有利な税制を採用している。

プーチン大統領が自国通貨の一部を金で裏付けると決めた場合、米ドルは突然、信頼できる金で裏付けられた通貨との競争に直面することになり、打撃を受けることになる。他の中央銀行は、ドル準備金の少なくとも一部を、利子の付く金で裏付けられたルーブルに分散する可能性が高い。ロシアから石油を輸入している国は、ロシアの石油輸入代金をルーブルで支払って制裁を回避できるため、そうするさらなる動機を持つことになるだろう。

米国の金利に対する間接的な上昇圧力は、当初はおそらく小さいだろうが、たとえ米国の金利がわずかに上昇したとしても、低金利に大きく依存している米国経済にとっては問題となる。成長は低下するだろう。FRBは量的緩和を再開することでこれを相殺しようとするかもしれないが、それは火に油を注ぐことになり、外国為替市場でドルが積極的に売られる結果となる可能性がある。極端だが非常に起こり得るシナリオでは、ドルが準備通貨としての地位を完全に

失う可能性があり、それは米国経済にとって壊滅的な打撃となるだろう。

ドルが急激に弱まると、長期的には米国の競争力と輸出が促進される一方で、ドルの実効国際購買力（例えば石油やその他の資源に対する）は低下し、消費者物価の急騰につながる。金利上昇による成長への悪影響と消費者物価上昇によるインフレへの悪影響が組み合わさると、スタグフレーションの1970年代はまるでピクニックのように見えるだろう。

経済通貨戦争の組み合わせは、多極化と現在の世界通貨均衡の不安定化につながり、金の完全ではないにせよ少なくとも部分的な再通貨化につながる可能性が高く、それに伴い金価格が大幅に上昇する。通貨の安定性に対する信頼が欠如している世界では、金は各国が貿易不均衡を解消するための理想的な手段であり、金があれば準備通貨の必要性はなくなる。

通貨戦争で貿易相手国によって即座に価値が下がってしまう可能性のある準備金を蓄積することは、合理的な政策ではありません。しかし、貿易が行われるためには、何かが準備資産として機能しなければなりません。金は、その「何か」を提供します。なぜなら、供給が安定しており、恣意的に価値が下がらないからです。したがって、通貨を金で裏付けることで、信頼性が大幅に高まり、国際貿易が促進されます。

プーチンは軽視すべき指導者ではない。最近彼が言ったように、「ドルの独裁」を終わらせたいと言っているのには注意を払うべきだ。おそらく彼は実際に金カードを切り、一石二鳥を狙うだろう。一方ではルーブルとロシア経済を支え、他方ではドルの王座を奪う。国際通貨とそれに伴う経済の混乱期が続くかもしれないが、ロシアはすでに望ましくない制裁に苦しんでおり、失うものが比較的少ないことから、プーチンは今が行動を起こす時だと判断するかもしれない。

金利上昇に対する脆弱性:

現在、世界はシステミックリスクが増大する状況に陥っている。懸念されるのは、中央銀行が窮地に追い込まれ、政策の大失敗から簡単に抜け出すことができないということだ。これらの問題が効果的に対処されておらず、政治指導者が対処する気配もないため、システミックリスクは大幅に増大している。遅かれ早かれ、審判の日が来るはずだ。計算が合わないし、歴史はこうした財政危機の結果を何度も証明してきた。真の回復がないまま、中央銀行の介入が増え、審判の日は今後に先送りされ、調整プロセス全体が今や、低成長、高失業率、周期的な金融危機という長く苦しい時期と化している。

現在、経済は金利上昇に対して非常に脆弱です。一方で、上位1%のエリート層は、FRBが新たに発行したお金でウォール街で何百万ドル、何十億ドルも稼ぎ、大儲けしています。

残りの99%はそれほど幸運ではありません。政府は反対を主張していますが、食品のインフレは猛烈に進行しており、食品の種類によっては年間最大13%の割合で上昇しています。

2008年以降の中央銀行の行動は、問題を先送りするだけにしか効果がなく、政府は回復を阻む構造的な問題を見做すことができた。その代わりに、FRBのゼロ金利政策とその後続いた量的緩和は、より大きな債務と資産バブルを助長しただけだった。資本主義の発展を阻止する取り組みは、いくつかの驚くべき結果をもたらさだろう。崩壊は、債券市場が崩壊し、債務依存の国々の利回りが急上昇したときに始まり、信用危機を長く持ちこたえることはできなくなるだろう。

その間、

「私たちは今、比喩的に言えば嵐の目から抜け出そうとしているところです」とダグ・ケイシー氏は言う。「私の想

像をはるかに超える事態になる可能性が高いです。2008 年の調整が公園を散歩するくらい楽なものに思えるでしょう。」

未払いの負債額は気が遠くなるほどで、今日の巨大に膨らんだ金融バブルの主な要因の 1 つです。このバブルがはじけると、ほとんどの人は完全に不意を突かれるでしょう。退職金がなぜ半分に減ったのかと不思議に思うでしょう。間違いなく、彼らは怒りを覚えるでしょう。失業する人が増えれば、さらに怒りが増すでしょう。彼らは、貯めたお金の購買力が著しく低下し、もはや適正な価格で物を買うことができなくなったことに気づくでしょう。

西側諸国は金融詐欺と強欲で自国の経済に損害を与えることを決定し、ウクライナをめぐるロシアとの新たな戦争、そして中東での新たな戦争を開始して混乱を終わらせようとしている。これらの国々は西側諸国に非友好的であるという議論もあるが、確かに詐欺や攻撃は犯していない。これらの戦争が起これば、西側諸国の私たちはあらゆるものにさらに高い代償を払わざるを得なくなるだろう。なぜなら、これらの人々が自分たちの国を好きなように運営する選択肢を否定することで、米国の傀儡国家はロシアに対するさらなる制裁を強いられ、イランからの石油購入を阻止されるからだ。

しかし、**信用バブルが極端になると、必ずはじけて収縮し**、その結果、突然のマネーサプライ（信用）の引き締めが続いてデフレが起こり、市場が暴落すると膨大な債務が帳消しになり、金融資産が消失する。これは1930年代に起こった。90年代には日本で再び起こった。いかなる政府も、自国の通貨をほぼ無価値にすることなく、いかなる刺激策をもってしてもそのような圧倒的な債務に対抗することはできないため、この経済サイクルが展開し続ける限り、再び起こる可能性が非常に高い。

信用の厳しい引き締め、つまり何十兆ドルものローンや給付金の帳消しは、システム内のお金の減少、支出の減少、需要の減少、価格の下落、そして最終的には不況とデフレを意味します。

デフレの時代は、現金が王様です。インフレのときと違って、デフレのときはお金の価値が上がるからです。これは単純な需要と供給の問題です。借金が返済され帳消しになるため、貸し出しが減ると、お金の供給量は減ります。

これは最終的に長期的には経済全体にプラスの影響を与えるでしょう。デフレは「過剰を一掃」するのに役立ち、大規模な債務再編、損失の帳消し、サプライチェーンの縮小、将来的に価格を低く抑えることができる最も強力で最も効率的な企業への市場シェアの移行などを促進します。

専門家は、史上最大の景気刺激策の結果として、市場はピークを迎えるだろうと考えている。

「2015年半ば、次の大暴落のリスクが加速します。ダウ平均株価が2016年後半または2017年初めまでに6,000まで下落し始める可能性が高まります。そして、2020年から2022年までに3,300まで下落する可能性があります。銀行は再び財布の紐を締め、2008年の崩壊後に実施したものよりもさらに厳しい融資方針に戻るでしょう。多くの銀行が融資を一切行わないでしょう。」

意図的に設計された崩壊:

すべての調査は、非常に深刻な調整、つまり暴落を示唆しており、読者は、来たるべき経済津波に備えて緊急措置を講じることが不可欠です。投資家は感情ではなく理性に導かれるべきであり、現在金を保有する理由は、次の強気相場が始まるまで単に持ちこたえることよりも大きいのです。

中央銀行による歴史的なレベルの紙幣発行、債務の急増、金利抑制などの措置は、当初は金にとってプラスだったが、その影響は薄れてきた。その理由はいくつかあるが、貴金属への投資は、現在ではこうした措置よりも、こうした措置がシステムにもたらしたリスクに基づいている。そして、こうしたリスクは、いくつかの好調な経済指標にもかかわらず、縮小するどころか拡大している。言い換えれば、貴金属保険の必要性が高まっているのだ。

貴金属価格が一時的にさらに下落したとしても、この市場の底値と日付が正確に何であるかということではなく、上記のように将来のリスクからどのように身を守るかということが重要であることを心に留めておいてください。主流の見出しで宣伝されている内容にもかかわらず、それらは現実のものです。上記のシナリオのいずれかが実現した場合、投資ポートフォリオと現在のライフスタイルを維持する能力に大打撃を与えることとなります。それは保険をかける価値があります。これが、金と銀をあきらめるべきではない主な理由です。これは急激な利益を得るための投機ではなく、むしろ不可欠な資産保険です。実際、金と銀を所有する必要性は、2008年よりも今の方が高まっています。

投資家のジム・ロジャーズ氏はいつもユーモアを交えて厳しい意見を述べるが、最近のコメントはぞっとするものだ。

「強気相場はこれで終わりだ。株価は20%下落するだろう」とロジャーズ氏はRTに語った。最近の下落に20%上乘せすれば、小さな調整ではなく、本格的な暴落の前兆となる。ほとんどの投資家は何らかの調整に見舞われるだろうと同意するだろうが、ロジャーズ氏がなぜ本格的な危機に直面すると考えるのか？同氏は、市場の幅が狭まり、史上最高値を更新する銘柄数が減少し、小型株が10%下落していることを指摘する。

ロジャーズ氏は次のようにまとめています。

「彼らは貯蓄や投資をする人々を犠牲にしてこれを行っています。巨額の借金をした人々を救済するためにやっているのです。その結果はすでに感じられています。私は弱気相場が来ることを知っています。ワシントンやニューヨークの人々が、弱気相場は二度と来ないと言ったら…それを聞いたら、逃げ出すでしょう。命がけで逃げ出すのです…」

だから、できるだけ早く撤退してください。次の弱気相場は前回よりもさらにひどいものになるでしょう。なぜなら、借金が急騰しているからです。世界中の借金が急騰しており、私たちはこの紙幣印刷の代償として、恐ろしい代償を払わなければならないでしょう。

中央銀行の ZIR 政策の結果、金利が非常に低くなったため、投資家は利回りを「求めて」います。人々は、生活費を少しでも稼ぐために、6% の利回りを期待して、はるかにリスクの高い投資である高利回り債券を購入しています。これは危険です。彼らはお金を失うことを予想していません。しかし、高利回り債券の金利が最終的に上昇すると、これらの人々はお金を失うこととなります。

世界の投機債券専門家であるフリドソン氏はこう語る。

「…最悪の場合、高利回り債券の金利は国債より10パーセント以上高くなるでしょう。覚えておいてください、金利が上がると債券価格は下がります。そのため、そうなると投資家は多額の損失を被ることになります。そしてフリドソンは、次のジャンク債の崩壊の過程で1.6兆ドルの債務不履行を予測しています。それが起こったときに、誰も損をしたくないのです。」

連邦準備制度理事会の会合で決定された金利の急激な上昇が間もなく始まる可能性がある。状況が中央銀行を窮地に追い込み、金利を低く抑え続けることはもはや不可能だと判断したためだ。株、債券、不動産はすべて価値が下がるだろう。6年間に及ぶほぼゼロ金利

のせいで、ウォール街は大不況以来見られなかった水準まで上昇し、銀行家や投資家は米国連邦準備制度理事会や世界中の他の中央銀行が提供した事実上無料の資金の洪水で儲けていた。

バブルが崩壊すると：

政府は経済崩壊を防ぐのに無力です。2008年に経済が崩壊したとき、政府は史上最大の政府救済策でセーフティネットを構築しました。今回はセーフティネットが残っていません。

お金がない。国家債務は2008年以来ほぼ2倍になっている。

救済措置に対する国民の支持はない。それどころか、多数の有権者と納税者は、前回ワシントンがウォール街に与えた巨額の救済措置に対していまだに憤慨している。物価上昇が消費者を蝕み始めているため、FRBは金利を引き上げざるを得ない。

連邦準備制度理事会は、株式や債券に作り出した人工的なバブルが今よりさらに危険になる前に、金利を引き上げなければならない。最も重要なのは、連邦準備制度理事会が金利を引き上げなければならないということだ。なぜなら、そうしなければ、世界中の債券投資家が債券を売り払い、実質的に金利がさらに上昇することになるからだ。

連銀内部の人間は真実を知っている。消費者物価は上昇している。有権者と納税者は食品と燃料価格の高騰に悲鳴を上げている。投資家は用心深さを捨て、史上最大の投機バブルを生み出した。そして、すべての数字が、これらすべてが頂点に達しつつあることを示している。連銀は紙幣の印刷をやめ、金利の引き上げを始めなければならない。早ければ早いほど良い。連銀は、金利をゼロ近くに抑えてきた仕組みである債券購入のための紙幣の印刷をこれ以上行わないと発表するだけだ。

つまり、金利の上昇はやってくる。明日の日の出と同じくらい確実にやってくる。過去 2 回の金利上昇では、経済はかろうじて持ち

こたえた。しかも、この金利上昇は今後何年も続くだろう。そして、何度も繰り返されるこの一連の利上げは、市場にとって機関銃の射撃のようなものだ。金利はどこまで上がるのか。歴史的な水準に達するには、金利は 7% まで上がる必要がある。しかし、金利は長い間非常に低く抑えられていたため、簡単に上昇し、実質的に 2 倍になる可能性がある。

金利の急騰の影響は壊滅的となるでしょう。最初の被害者は債券投資家です。なぜでしょう？ なぜなら、新しく高利回りの債券が発行されると、既存の低利回り債券の価値はすべて自動的に下落するからです。次に、金利の上昇が不動産市場を直撃し、需要と住宅価格を全面的に押し下げます。最近の住宅バブルを引き起こした主な要因は低金利の住宅ローンでしたが、今回も引き起こすでしょう。低金利の住宅ローンがなくなると、バブルはすぐに崩壊します。次の被害者は西半球中の何百万もの企業で、借入コストが急上昇し、大きな打撃を受けるでしょう。クレジットカード、リボルビング手数料、自動車ローンの金利が急騰すると、消費者は恐怖に駆られて逃げ出すでしょう。企業収益は全面的に減少し、それとともに株価も下落します。

損失を抑えるために必死になって、大手企業は何百万人もの従業員を解雇するだろう。失業者は爆発的に増加するだろう。何百万人もの元労働者は、家族を養うためだけに突如政府に頼らざるを得なくなるだろう。

一方、議会予算局によると、金利上昇により、米国の負債は最終的に 1.5 兆ドル以上増加し、EU でも状況はそれほど変わらない。これに債券価格の暴落が加わり、米国債に対する世界的な需要がなくなる。政府は大幅な支出削減をせざるを得なくなる。何百万人もの官僚が突然、路頭に迷うことになる。福祉やその他のプログラムに頼っている何百万人もの人々は、給付金の削減や全面的な廃止の脅威にさらされることになる。

アドバイス：人類最大の危機ヘッジである金と銀を所有しましょう。金は災害、制御不能な政府、中央銀行に対するヘッジです。金価格の変動は、中央銀行によって制御される通貨の変動を反映しています。変動が大きいのは金ではなく、金の価格が決まる通貨です。長期的には現物の金に投資しましょう。誰もが資産の約 20% から 25% を金または銀で保有すべきです。

何年もの間、政府と中央銀行は自国通貨の不安定化を後押ししてきた。債務を債務の上に積み上げ、救済措置を次から次へと実行してきた。銀行はデリバティブを作成し、それを他のデリバティブの上に重ねた。今や、どんな間違った動きでも、システム全体を崩壊させる可能性がある。そうなれば、経済全体が急停止するだろう。企業は帳簿上の利益を数千億ドル失い、株式市場と債券市場の大暴落につながるだろう。実質的にすべての株式取引は電子的に行われるため、証券取引所は自動的に閉鎖されるだろう。パニックが起これば、投資家は市場から資金を引き揚げ、崩壊を加速させる。壮大な規模の一連の出来事が連鎖し、さらなる崩壊を引き起こし、トランプのトランプのカードハウスが完全に崩壊し、その過程で金融システムが破壊される。

中央銀行はシステムを救済することはできないだろう。彼らはすでに、ドルをIMFのSDRに置き換え、世界中で実施する計画を立てている。そして私たちの多くは、この崩壊は、陰謀団が彼らの計画の最終段階、つまりNWO（イルミナティによる世界独裁）の実施を開始するために意図的に引き起こしたものであることを知っている。通貨が金に裏付けられるという目標を達成できれば、彼らの計画は頓挫するだろう。

信用バブルが極端になるとドミノ効果が起こり、創造的破壊につながります。

人々は危機が終わることを望んでいます。多くの人がそれを当てにしています。しかし、市場は何も上昇をもたらしません。人々は市

場から望むものや期待するものを得るのではなく、当然得るべきものを得ています。しかし、四半世紀分の過ち、悪い投資、事業の失敗、支払いをしない個人が存在します。非常に多くの過ちを正さなければならぬとき、それは不況と呼ばれ、現在起こっているように経済全体が悪化すると、それは不況と呼ばれます。

今日の経済モデルは、かつてないほど多くの間違いを引き起こしています。人々に消費、借入、投機を奨励してきました。そして市場が何らかの修正を試みるたびに、中央銀行は紙幣を増刷し、融資を緩和してきました。何年も前に破綻するはずだった企業は、さらに借金を膨らませ続けました。

住宅所有者の負債も増え続けました。そして投機家はますます大きな賭けに出続けました。サブプライムローン、住宅価格、ウォール街のボーナス、デリバティブを含む金融セクターのバブルは、2007年から2008年にかけてはじけました。

「修正の力は、それに先立つ欺瞞と同等かつ反対の力である。

」

2008年のバブル期の誤解と不条理は恐ろしいものでした。それに応じて、調整は大きくなっています。2008年以降、世界の株式市場はほぼ半分に落ちました。不動産価格もほぼ世界中で下落しました。名目上の富の損失総額は50兆ドルと推定されています。

これらの損失は防ぐことができたでしょうか？ 確かに、当局が住宅ローン市場をこれほど歪めていなければ、その多くは防ぐことができたはずだ。

そして、もし連邦準備制度理事会と中央銀行が創設されていなかったら、あれほど多くの投機家や借り手に即金を提供することはできなかっただろう。そしてもし連邦準備制度理事会が、アラン・グリーンスパンの指揮下で、本来の目的である「パーティーが制御不能になる前にパンチボウルを撤去する」ことを行っていたら、金融部

門のバブルはおそらくはるかに小規模なものだっただろう。この誤った環境下で、人々は間違った結論を導き出した。彼らは「資本主義は失敗した」と考えた。経済が下降していることはわかっていたが、政府が金融システムを歪めていたことには気づかなかった。投資家に将来の危険を警告する代わりに、政府は貸出金利を引き下げ、悪い状況をさらに悪化させた。

誰が過ちを犯したにせよ、資本主義はいつもの勢いで過ちを正そうとした。軽率な投資家に何兆ドルもの損失を与え、経営を誤った企業を倒産させた。住宅所有者を破滅させ、住宅関連のデリバティブを粉々に打ち砕いた。

創造的破壊：

資本主義は、経済学者ジョセフ・シュンペーターが「創造的破壊」と呼んだプロセスによって機能しています。資本主義は、新たなイノベーションや新しいビジネスのための余地を作るために、失敗を破壊します。残念ながら、これは資本主義を政府と対立させ、同時に大多数の人々の望みとも対立させます。人々は失敗をしても、自分たちは無罪だと主張します。「この危機が来ることを誰が予見できたでしょうか」と彼らは問います。そして「損失は他の誰かが支払うべきだ」と言います。今日、中央銀行家たちは、「バブル期に規制責任を誤って管理した人々は、資金を誤って管理した貸し手を保護するために、管理の行き届いていない企業を救済しました。」

彼らは資本主義が大きな変化を起こすのを、最悪の方法で阻止しようとして決意している。最悪の方法とは何だろうか。非常に簡単だ。失敗した経営者をそのままにしておく。脳死状態の企業とゾンビ銀行を存続させる。経済の主要部門を政府に任せる。そして借金まみれの社会にさらに借金を背負わせるのだ！共産主義者のフィデル・カストロはかつてこう言った。

「全世界が知っているように、私の考えは、資本主義体制は今や米国にとっても世界にとっても機能しておらず、危機が次々と起こり、そのたびに深刻さが増しているということだ。」

隠蔽された強盗：

米国政府は、年間 2 兆ドルの借金を単独で行うと見込まれています。誰からでしょうか？ 第 40 章で説明したように、既存の通貨の価値、つまり国民が稼いで貯めたお金からお金を印刷することによって、言い換えれば、古いお金の価値から吸い上げられたり盗まれたりします。苦勞して稼いだお金を貯めていた人々は、少なくとも理論上は、購買力の一部を失いました。彼らは、自分のお金の価値が下がることを決して認めませんでした。さらに悪いことに、彼らは自分のお金で何が起きているのかを知りませんでした。では、誰が返済するのでしょうか？ 誰もいません。

中央銀行が「創造的破壊」のプロセスを遅らせ、方向転換しようとするほど、回復を達成するのに時間がかかり、最終的なコストも高くなる。

「不況の深刻さは、それを阻止しようとする政府の努力と反比例している。」

修正を遅らせると必要な変更が止まります。

1990 年に日本が大きな調整に直面したとき、政治家たちは必死になって調整を止めようとした。政治家たちは不良債権をなくすことも、悪い決定を良い決定に変えることさえできなかった。彼らにできたのは、必要な調整を遅らせ、新たな過ちを引き起こすことだけだった。長年にわたり、ほぼ 1 年間の生産高に相当する金額が復興努力に費やされてきた。しかし、彼らがしたことは、必要な変化を阻止し、先送りすることだけだった。28 年後の現在、日本経済は依然として調整モードにあり、依然としてデフレと戦っている。

最新の経済指標によると、日本経済は 7 月から 9 月の四半期で年率 1.6% 縮小している。これは、日本が正式に不況に陥り、アベノミクスが完全な失敗であることが証明されたことを意味する。実際、アベノミクスは、米国の陰謀団を支援することを目的とした、日本の年金やその他の金融資産の大規模な略奪にほかならない。

最悪の事態はまだこれからだ:

これで話は終わりか? そんなことはない。資本主義の発展を阻止しようとする中央銀行の努力は、いくつかの驚くべき結果をもたらすだろう。崩壊は債券市場が崩壊し、利回りが急上昇したときに始まる。借金に溺れる国々にとって、信用危機は長く続くことはできない。

西側諸国の至る所から破壊的な援助が寄せられ、悪い経済状況がさらに悪化し、EUは米国に代わってウクライナ戦争を開始し、その費用はEUの納税者が負担している。

ロシアに対する制裁は、EUの中規模企業が深刻な打撃を受けるようにするために、許しがたいものでした。その結果、不必要な企業の倒産、雇用の減少、失業手当受給者の増加、課税所得の減少、GDPの低下またはマイナスなどがもたらされました。

政府は愚かなのか、それともわざとやっているのか? おそらく政府はこの危機が解決されることを望まないのだ。わざとそうするように指示されているのだろう。第 42 章で説明されているように、私たちはリチャード・デイ博士からこのことをすべて知っている。博士は 1969 年の会議で、**経済危機、大量失業、大量移民によって長年築き上げられたコミュニティが破壊されるだろうと完全に概説した。**

ロシアの制裁はEUに打撃を与えている。

EUとロシアを戦わせよう」と依頼した米国から圧力をかけられていることに非常に憤慨している。

ドイツはずっとロシアに背を向けてきました。ドイツは親米ですが、経済的にはロシアに背を向けています。実際、ドイツ人は常にロシアとの関係を維持したいと考えていました。しかし、米国は新たな冷戦を始めることに既得権を持っています。それがEUの人々の大きな反感を生んでいます。にもかかわらず、EUは屈服しました。EUがロスチャイルド・イルミナティの所有物であるために、このすべてが起きています。彼らはEUに制裁を採用し、執行するよう指示し、NATOにロシアとの軍事衝突を命じました。彼らは「ロシアがクリミアを返還するまで制裁は継続されなければならない」とはっきり述べていますが、もちろんそれは起こりません。

これは、昔ながらの「分割統治」戦略の繰り返しだ。制裁はヨーロッパに打撃を与えているが、皮肉なことにロシアにとっては大きな利益となっている。なぜなら、ロシアはついに「*基本的な輸入品の供給を他国に頼ることはできない。自国の産業を立て直さなければならない*」と気付いたからだ。つまり、ロシアは制裁を喜んでおり、ヨーロッパは苦しみ、アメリカ人はヨーロッパ人が突然、ロシアよりも自分たちに対して怒りを感じていることに気づきつつある。

EUはロシアの天然ガスと石油に依存しており、EUはプーチンの手中に落ちた。EUの燃料の3分の1はプーチンのパイプラインを經由している。EUのバルブを閉めるだけで、プーチンはEUを意のままに操ることができる。軍事介入の必要はない。黒海の石油とガスの埋蔵量があるクリミアとウクライナ東部はプーチンのものだ。プーチンは世界で最も重要なエネルギー資源を掌握している。彼はロシアを、長期的なエネルギー供給を確保したい国々にとって頼りになる供給源に変えた。ウラン不足も迫っている。そこでプーチンは、ロシアを金銭登録機に変え、地中資源の支配を地政学の道具にしようとしている。

ドイツと日本は、高級製造品の輸出で直接競合している。日本は自国通貨を大幅に下落させる措置を講じており、通貨が下落するということは、日本の製造品がドイツの製造品よりも安くなることを意味する。つまり、市場が日本の安価な製造品を好むため、ドイツ経済はさらなる打撃を受けることになる。世界経済が減速しているため、なおさらだ。今やECBは、日本がしたように、インフレが必要だという議論の下、瀕死のEUを刺激し、ユーロを下落させてEUの輸出競争力を高めることを余儀なくされている。これには、銀行への追加融資の提供や、ECBのバランスシートに大きな影響を与える「特定の種類の債務」の購入が含まれる。現在よりも最大1兆ユーロの増加が見込まれる。

人口統計上の現実:

しかし、最悪の事態はまだこれからだ。西側諸国は、西側のベビーブーマー世代よりも早い15~20年前にベビーブーマー世代の人口がピークを迎えた日本が経験したことを経験することになるのだ。

日本の株式市場、不動産、そして経済は14年間にわたって低迷しています。債務バブルのバランス調整や再構築を妨げている終わりのない景気刺激策により、いわゆる「昏睡経済」で衰退または停滞し続けています。

さらに悪いことに、EU諸国のほとんどは戦後のベビーブームを経験しており、消費の世代交代が同様に進行しているが、この衰退の最悪の時期はまだこれからである。この人口動態の現実により、この不況は世界規模になっており、それがこの不況が誰もが予想したよりも長く続いている理由かもしれない。実際、すべての証拠は、大規模な金融バブルが一斉にさらに深刻に崩壊し、膨大な負債が最終的に再編成されるため、次の段階は不況になることを示している。

もう一つの大きなバブルも今にもはじけそうです。

「中国はバブル崩壊の機が熟している。政府は100万人を収容できる都市を建設してきたが、住民はゼロだ。政府は何十年も必要とされないインフラを建設し続け、過剰な工業生産能力を追求している。すべては2008年と2009年に輸出が崩壊した後、失業率が急上昇するのを防ぐためだ。」

デフレかインフレか：

現代史上最大の信用バブルは、引き続き債務削減が進むでしょう。つまり、インフレではなく**デフレ**です。これがこれから起こることです。インフレは、最近誰もが気にしている問題です。私たちは皆、どこかで物価上昇を経験しています。しかし、騙されないください。デフレは短期的にはより大きな脅威です。そして、これを理解することは非常に重要です。デフレは、その名前が示すように、インフレの正反対です。

インフレは、商品やサービスに対する需要が強く、生産性が低いために供給が限られている場合に発生します。1980年代から2000年代のように生産性が高いためにインフレが下がると、金利が下がり、信用が得やすくなり、人々や企業はますます借入れを増やします。彼らは過剰に拡大し、過剰に支出します。また、投機も増え、それが株式から不動産まで金融資産のバブルを引き起こします。

デフレでは、その逆のことが起こります。過剰拡大により、商品やサービスの供給が過剰になります。信用が引き締められるため、お金の流れが減り、お金が不足します。また、人々が使えるお金が減るため、商品やサービスの需要が低下します。ベビーブーマー世代の高齢化も、需要を大幅に低下させます。そして、需要が減少すると、価格も下がります。

信用バブルが極端になったときのドミノ効果：

要約すると、**信用バブルが極端になると、必ず崩壊して収縮し、その結果、突然のマネーサプライ（信用）の引き締めが起こり、その**

後、巨額の債務が帳消しになり、市場が崩壊して金融資産が消失するデフレが起こります。これは事実上、シュンペーターの「創造的破壊」が機能し、次のような一連の結果が生じます。

- 信用が減れば、経済におけるお金も減る。
- お金が減れば、商品やサービスの需要も減ります。
- 需要が減ると、価格が下がり、生産量も減ります。
- 生産量が減れば、工場の閉鎖が増え、失業も増えることになります。

すべてはドミノ効果です。今準備しない人にとって、その影響は壊滅的なものとなるでしょう。

金は今、かなりユニークな状況にある。本質的には、市場価格の操作を除けば、債券市場や株式市場が上昇を続ける中、金は中央銀行の介入から切り離されている。金市場は、2011年を通じて大幅な価格上昇を促した投機筋を手放し、その後、利益を追い求めて株式市場に逃げ込んだ。

それでも、あるいは大規模な操作のおかげで、金の需要は特にアジアで依然として強い。金価格が1オンス1,200ドルを下回ると、中国の金需要は急激に増加した。金の輸入と購入に法外な制限を設けているインドでは、需要が前年比で3分の1増加した。中央銀行もこの動きに加わっている。2014年第2四半期の購入は前年比28%増加している。

したがって、金と銀を購入することで、あなたは金本位制に従うことになり、時間が経てばあなたの決断の重要性が明らかになるでしょう。近い将来についての次の見通しは、説得力以上のものであるはずです。

ロン・ポール - 「40年にわたる世界規模の不換紙幣実験からいつの日か生じるであろう混乱は、真の価値のあるお金への回帰を必要とするでしょう。石油生産国が石油と引き換えにドルやユーロではなく金、またはそれに相当するものを要求する日が近づいていることが分かるでしょう。早ければ早いほど良いのです。」

オイルダラーシステム:

70年代初頭、サウジ政府と米国はオイルダラー制度を創設しました。この制度のもと、米国はサウド家の政治および軍事計画に全面的に関与することで、サウド家の存続を保証しました。この協定は世界貿易を変えました。ドルがなければ、世界で最も重要な商品にアクセスできないのです。言い換えれば、米国は米国や米国製の製品やサービスとは何の関係もない取引の通行料徴収人となり、米国はより大きな大国へと変貌し、ドルと米国債のより深く、より流動性の高い市場が生まれました。

しかし現在、地政学は急速に変化している。サウド家に対する保護が揺らいでいる中東への米国の戦略的介入が失敗に終わったこと、オイルダラー体制の一部ではないイランの台頭、エネルギー大国としてのロシアの勢力拡大、そして将来的に代替的な経済・安全保障体制の可能性を秘めたBRICS諸国の台頭、これらすべてがオイルダラー体制の持続可能性に影響を及ぼしている。

プーチン大統領はオイルマネーを破壊したいだけであり、その目的達成に役立つと期待して世界中で同盟関係を築いている。

同時に、米国とサウジアラビアの関係は悪化している。サウジアラビアは、米国がオイルダラー協定の約束を守っていないと感じて激怒している。彼らは、この地域を君主制のために安全に保つという米国の約束の一環として、米国は地域のライバルであるシリアとイランをすでに攻撃すべきだと考えている。そして、彼らは、石油を

米ドルでのみ販売するという協定の約束を守る義務はもはやないと感じているのかもしれない。

サウジアラビアはすでに中国と深く関わっており、同時にロシアとも深く関わっている。金に裏付けられたルーブルや人民元で取引される石油は、このすべての結果であり、オイルドルの終焉を告げる鐘である。

ウラジミール・プーチンは、世界のエネルギー取引におけるドルの独占を打破しようとすることで、アメリカの超大国の地位を剥奪しようとしている。これは一般市民にも影響を及ぼし、彼らに多大な損害を与えることになる。EUはロシアの天然ガスと石油に3分の1を依存しており、同様に打撃を受けることになるだろう。前兆は明らかだ。オイルダラーは生命維持装置に繋がれており、プーチンはそれを止めることができるのだ。

プーチン大統領は中国とともに、発展途上国に投資する新開発銀行と非ドル国際決済システムを通じて、米ドルに新たな壊滅的な打撃を与えた。プーチン大統領はロシアの膨大なエネルギーと資源の富を究極の経済兵器として利用している。第2次冷戦は必要ない！

モスクワと北京は[オイルダラーに新たな打撃を与えた](#) 2番目の巨大契約に合意することで、従来の東ルートの4000億ドルに加え、西ルートのパイプラインによるガス取引が成立する。この契約はすでに締結されている。そして、石油輸送についてプーチン大統領は次のように述べた。

「我々はロシアから中国への石油パイプラインを建設し、運用を開始し、原油供給量の増加を規定する協定を締結した。」さらに、「中国との関係強化はロシアの外交政策上の優先事項である。今日、両国関係は、両国の歴史上最高レベルの包括的で公平な信頼に基づくパートナーシップと

戦略的交流に達している。我々は、このような協力がロシアと中国双方にとって極めて重要であることを十分に認識している。」

フィナンシャルタイムズの見出し：「ユーロはかつてないほどの危機に瀕している」。ユーロ圏には、長期にわたる不況から身を守るためのメカニズムがない。そして、状況はさらに奇妙になっている。現在、欧州中央銀行がヨーロッパ全域のすべての銀行基準を設定しており、それに従って銀行が衰退したり発展したりする。これは**ユーロ圏諸国の主権に対する明らかな侵害である**。ウォール街、つまりロスチャイルド・シオニストのために実行され、EUとロシアおよび中国との貿易と投資を弱体化させるためだ。

47. フラーション

- デフレは購買力を高める。
- インフレは邪悪な窃盗です。
- 破壊的なデフレ、あるいは暴走するインフレ。
- スタグフレーションとは、需要が停滞しているインフレのことです。
- ハイパーインフレとは、大量のお金が少数の品物を追いかけることです。
- デフレの時は幸せな日々、インフレの時は悲しい日々。

デフレ：

デフレとは、経済サイクルが縮小し、時間の経過とともに価格が下落するときに使用される用語です。実際にはインフレの反対です。逆説的に、インフレと同じですが、マイナス率です。価格水準の低下は、お金や信用の減少によって引き起こされます。デフレを生み出す政府または民間部門による支出の削減によって引き起こされます。デフレは、需要レベルの低下による失業の増加と同時に発生します。



景気後退の際、お金の価値を増やしたいのか減らしたいのか、自分自身に問いかけてみてください。将来の雇用が不安定な場合、商品にもっとお金を払いたいですか、それとも減らしたいですか。貯蓄がわずかである場合、将来の購買力を増やしたいですか、それとも

減らしたいですか。これらの質問に合理的に答えると、デフレは誰にとっても素晴らしいことであり、経済収縮期には救いの手となります。19世紀を通じて、経済成長期には物価が下落しましたが、これはまさに世界経済が必要としていることです。これはすべての人にとって良いことです。

不況がどうしても必要ならば、デフレ不況にすべきです。それよりもっと悪いのは、ケインジアンがいつも押し付けようとしているインフレ不況という現象です。デフレが良いことであるのと同じ理由で、不況中の物価上昇は最悪の選択肢であり、将来のために貯蓄や投資をすることを阻害します。インフレは消費を促しますが、将来の成長に必要な資本基盤は作らず、あらゆる面で苦境を長引かせるだけです。貯蓄が増えると、あらゆるものの需要が減ります。今日の消費者の心理と習慣は永久に変化しました。

デフレという適切な処方箋が繰り返し無視され、インフレへと方向転換されてきたが、これは国民にとって最悪の治療法である。これはまさに中央銀行が政策として支持してきたことだ。私たちの生活を管理している中央計画者が、私たちをより悪くする間違った政策を採用するのは、驚くに当たらない。

経済学者ケインズは、不況時には消費者支出を回復させるために経済を刺激すべきだと言いました。しかし、今回の危機ではそれが実現しておらず、回復の兆しが無いため、今後も実現しないでしょう。

報道によれば、「銀行が融資をせず、稼働率が史上最低水準にあるとき、企業の投資支出はどこから捻出するのか?」。ケインズ派は「政府が努力して消費を活性化させる必要がある!」と言うが、それは借金の増加を意味するだけだ。

デフレは、実は莫大な富の破壊です。二度の弱気相場と住宅市場の崩壊で、消費者は窮地に追い込まれました。そして次の弱気相場では、消費者は完全に落ち込むでしょう。

借入と貸出の減少もデフレのもう一つの原因である。消費者は負債を返済し、銀行は貸出を減らしているため、結果として生じた信用危機がこの不況を引き起こしている。銀行貸出も回復の兆しを見せていない。銀行はバランスシートを強化するために政府債務のみを購入している。その結果、雇用創出の真の原動力である中小企業への貸出は減少しているか、まったく行われていない。

業界の稼働率は 30~40% 低下しており、このような環境では企業は価格決定力を持ちません。実際、消費者が価格レベルを決定する買い手市場となっています。

お金の流通速度:

最後に、住宅市場の弱さから生じた銀行の巨額の損失の大規模な負債解消によって貨幣の流通速度も低下し、手渡される貨幣の速度が低下しています。価格は貨幣の量と流通速度の積の関数です。

貨幣の流通速度が遅くなると、貨幣の量が制御不能に増加し、経済が逆方向に変化します。つまりインフレです。最終的には、時間内に取り出せないほど多くの貨幣が流通し、ハイパーインフレに至ります。

結論は、「中央銀行は世界をデフレから守るために必要なことを行うだろう。その後にかかるインフレの問題には後の段階で対処するだろう。」

しかし、はるかに心配なのは、数兆ドルの赤字がますます拡大していく見通しだ。

しかし、デフレは受け入れられないとしても、いずれやってきます。供給が需要を上回れば、食料品以外の価格は下がります。同時に、人々は銀行破綻に備えて債務を清算するために銀行から預金を引き出します。これらの引き出しは、全体的なマネーサプライの収縮につながります。この収縮により、価格はさらに下落します。価格が下がり続けると、資産の価値は全体的に縮小し、これらの資産を保有する銀行や機関の純資産の減少を引き起こします。その結果、デフレがさらに進み、市場の流動性が低下し、憂鬱と悲観論が高まり、現金の溜め込みが増え、投げ売りが増えます。

その結果生じるデフレは非合理的な結果をもたらすでしょう。借り手が借金を返済するにつれて、商品やサービスの価格が下がるため、逆説的に紙幣の購買力が高まり、ひいては残りの借金の実質的な負担が増します。言い換えれば、デフレは名目上の借金の実質的な価値を増大させるのです。人々は借金を返済するどころか、遅れをとることになります。借金を返済すればするほど、借金の重荷が重くなるのです。

債務デフレ：

これは債務デフレと呼ばれ、債務インフレの反対です。インフレが債務の金利よりも高い場合、インフレによって金利が帳消しになるため、債務者は実際には無利子のローンを持っていることとなります。そして、インフレがさらに高くなると、債務元本も目減りします。名目金利とインフレ率の差は「実質金利」と呼ばれます。したがって、インフレは債務者の味方であり、デフレは債務者の敵です。金利が5%でデフレが2%の場合、債務者は実質的に年間7%の金利を支払うこととなります。言い換えれば、債務の返済に使用するユーロやドルの価値は、債務が発生した当初よりも高くなります。各通貨単位の価値が上がると、賃金が同時に低下しているときに、債務者が債務を返済するための通貨が少なくなります。

デフレが発生した場合、借入コストは当初予想されていた以上に上昇します。

大規模な金融危機では、失業率の上昇、パニックの拡大、そして一般的には貸し渋りが起こり、借金を抱えた人は借金を返済するのはさらに困難になり、より良い条件で借金を借り換えるのはさらに困難になります。信用が枯渇するにつれて、債務不履行に陥る人が増え、デフレの初期サイクルが促進され、債務デフレが進み、さらに債務不履行が起こります。最終結果は不況で、経済は 10% 以上縮小する可能性があります。デフレスパイラルが勢いを増すと、従来の金融政策は機能しなくなります。

デフレの崩壊は構造的に避けられなくなるが、それは起こるかどうかではなく、いつ起こるかという問題である。なぜなら、負債と負債で賄われる活動が持続不可能なレベルまで膨れ上がっているからだ。

長年にわたる不況の是正に必要な力を故意に妨害し、いわゆる金融工学、特にデリバティブを通じてこの巨大な債務バブルを前例のない極限まで拡大し続けたことで、金融システムは極めて不安定になりました。それが崩壊すると、破滅的な連鎖的債務解消プロセスが始まります。ご存知のように、前回のバブルを崩壊させたこの危機の現象は、サブプライム住宅ローンの大失敗でした。

あらゆるバブルと同様に、今後起こる債務バブルまたは資産バブル、あるいはその両方は、最終的にはそれ以上の成長が止まるでしょう。そしてほとんどのバブルと同様に、その終わりは大きな音ではなく、ひそひそと始まります。最初は少数の機関が崩壊し、その後さらに多くの機関が崩壊します。その影響は金融システム全体に波及します。恐怖と不確実性が市場を支配し、バブル資産が崩壊する一方で、実際に行動を起こすのはバブルの背後で信用を提供した金融機関です。

レバレッジ解消:

レバレッジ解消が始まり、圧倒的な不確実性に直面した投資家は、安全を求めて、より流動性の高い資産へと逃げ込みます。2007/8年の危機の始まりに何が起こったかを振り返ってみると、状況は明らかになります。

21世紀の影の銀行は、これまで無数の金融機関がそうであったように、流動性危機に陥り、多くの場合は破産した。銀行が一斉に破綻することはめったにない。実際、銀行破綻の後には比較的平穏な時期が続き、市場に表面的な平穏が戻り、バカの反発を誘発することがある。

しかし、それでもなお、表面下では事態は悪化し続け、さらに劇的な失敗の舞台が整い、パニックが拡大しています。この種の危機は国境を越えます。世界のどこで始まり、世界規模で継続する可能性があり、ある国の問題が貿易、商品、通貨投資、デリバティブを通じて他の国に表面化します。世界全体が被害者になります。

回復への困難な道:

リーマン・ブラザーズの破綻はクライマックスの役割を果たしたが、世界経済を巻き込んだ悲劇の原因となった出来事は他にもたくさんあった。そして劇的な局面が終わると、金融崩壊の影響が経済全体に波及し、別の問題が始まった。このような危機のダメージは深く、回復には何年もかかる可能性がある。景気刺激策など、あらゆる対策を講じることはできるが、真の回復への道は常に険しい。なぜなら、家計、銀行、その他の金融機関、企業など、あらゆる機関が債務の返済または再編によって負債を解消する必要があるからだ。最終的には、一部の国が債務不履行に陥るか、高インフレで債務を帳消しにし、通貨暴落が起こるだろう。残念ながら、近い将来、この暗い見通しは私たちの世界にとって確実なものとなる。

デフレは構造的な現象であり、金銭的な現象ではない。

デフレはインフレとは逆に、時間の経過とともに価格が下落するときに発生します。インフレ率がマイナスの場合、経済はデフレ状態にあり、お金や信用の供給の減少によって一般的な価格水準が低下します。

政府または民間部門による支出の縮小はデフレを引き起こすため、消費者もデフレを引き起こす可能性があります。デフレは、人々を貧困から救う可能性のある投資とビジネスの成長を阻害します。

価格は大きな違いを生みます：

消費者はデフレを求め、さらに安い価格を求めます。価格を下げる企業は報われます。LIDL、ALDI、Wal-Mart、Dell など、私たちが欲しいものを以前よりも安い価格で販売している企業は報われます。私たちが支払う価格が下がっても、これらの企業の売上は増加します。

価格デフレは、生産的で競争的な経済の自然な副産物です。競争的な自由市場では、さまざまな企業が消費者に自社の製品やサービスを購入してもらう方法を模索するため、時間の経過とともに価格が下がることが予想されます。価格は大きな違いを生みます。

デフレには2つの側面があります。非常に明るい側面は、企業がコスト削減の方法を見つけ出して価格を下げることです。暗い側面は、競合他社が生産する製品が多すぎるために価格を下げざるを得なくなることです。このような価格の「デフレ」は利益の低下につながります。これが国全体のビジネス界の複数の大きなセグメントで発生すると、企業が支出と雇用を削減するため、不況と呼ばれます。

経済デフレの懸念：

経済界では、デフレを懸念している。正当な理由で価格が下落しても、実際に懸念する人はいない。懸念されるのは、供給過剰と需要

不足により価格が下落し始めるときだ。これは通常、景気後退の前兆となる。

今日の経済は、1930年代以来最悪の不況によるデフレ圧力と、中央銀行による強力なインフレ対応の両方に直面しており、中央銀行は事実上金利をゼロ、あるいはマイナスにまで引き下げ、バランスシートを急速に拡大させている。

インフレは漠然とした現象であり、抑制可能ですが、デフレははるかに破壊的です。

景気刺激策がインフレにつながることは誰もが知っている。

「米国とEUの調整済み通貨基盤は過去数年間で3倍以上に増加した。赤字は驚異的だ。」

消費者支出:

それでも、消費者は期待通りには消費しません。突然、「節約の時代」が到来します。現在、経済の70%は消費者支出です。これが変わるまで、経済は消費者支出の人質です。消費者が消費をやめると、経済の歯車は止まります。

最大の問題は依然として債務が多すぎることです。これは民間部門と公共部門の両方に当てはまり、政府が債務不履行に陥りハイパーインフレを引き起こした場合、最終的にはさらに大きな問題を引き起こすこととなります。ハイパーインフレはデフレに起因する不況よりもはるかに深刻です。

デフレの圧力により年金制度は壊滅的な打撃を受けている。

世界が転換点を越えた2007年8月以来、私たちは大規模なデフレの力に捕らわれており、すでに年金制度は壊滅し、何百万人もの人々が職を失っています。このデフレの崩壊は構造的に不可避となり、いつ起こるかという問題ではなく、起こるかどうかという問題でし

た。債務と債務で賄われる活動が持続不可能なレベルにまで膨れ上がったため、必然的に起こりました。何年にもわたる不況の必要なのは正力が頑固に妨げられ、いわゆる金融工学、特にデリバティブによって巨大な債務バブルが前例のないほどに拡大し続けたため、債務バブルは極めて不安定になり、それがはじけると、悲惨な連鎖的な債務削減プロセスが始まりました。ご存知のように、バブルをはじかせた最初の出来事は、2007年のサブプライム住宅ローンの大失敗でした。しかし、私たちの指導者たちはその経験から学ばず、さらに多くの資金を市場に流し続け、さらに多くの債務でバブルを膨らませました。

世界中の消費者が消費をしていない今、誰が経済を支えるのでしょうか。米国とEUでは、経済状況はその間ずっと危険になっており、日本の状況がこれまでよりもずっとデフレになる可能性もあります。日本で長い間続いているように、物価下落の時期が来ると想定するのは現実的です。

誰にとっても購買力にとってデフレは素晴らしいことであり、経済収縮期の救いとなる。

不況がどうしても必要ならば、デフレ不況にすべきです。それよりもずっと悪いのは、ケインズ哲学を持つ中央銀行が絶えず私たちに押し付けようとしているインフレ不況という現象です。デフレが良いことであるのと同じ理由で、不況中の物価上昇は、将来のために貯蓄や投資をすることを阻害するため、最悪の事態です。物価上昇は現在の消費を促し、それによって将来の成長に必要な資本基盤を破壊します。あらゆる点で苦しみを長引かせます。

これで読者は、デフレを防ぐための広く受け入れられている処方箋、つまりインフレが、私たちが取り得る最悪の道であることがわかりになるでしょう。そして、これはまさに、FRBと中央銀行が政策として支持してきたことです。彼らは公式には、全体的な経済安定を達成する最善の方法として物価安定を追求していますが、その

結果、2008年以降、先進国は過去70年間で最大の経済および金融危機に陥っています。

経済学では、個人や家族にとって良いことは経済にとっても良いことであるというのが正しい原則です。誰もが買い得品、つまり低価格を望んでいます。残念ながら、インフレの時代である現在、低価格は主に特定の製品や分野に影響を及ぼします。

電子機器の価格が下がったことで私たちが経験する喜びが、私たちが購入するあらゆるものにまで広がることを願います。そうすれば、私たちはただ座って生活水準がどんどん上がっていくのを眺めることができます。そんなことは絶対に起こりません。中央銀行は、そんなことが起きないように全力を尽くすでしょう。

インフレーション：

デフレの間はしばらくは楽しい日々が続くだろうが、その後はインフレで非常に悲しい日々が訪れるだろう。しかし今回は、インフレが制御不能になる可能性が高い。現時点では、経済は1930年代以来最悪の不況によるデフレ圧力と、事実上金利をゼロまたはゼロ以下に引き下げ、すべての中央銀行のバランスシートを急速に拡大させているすべての中央銀行の強力なインフレ対応の両方に直面している。

「この債務がもたらすリスクは体系的なものであり、最近のどの金融危機よりも経済に大きな損害を与える可能性がある」とスタンフォード大学のジョン・テイラー教授は結論づけている。

信用は半世紀にわたって拡大してきました。バブル期の終わりには、数兆ドル/ユーロ相当のエラーが発生しています。景気刺激策がインフレにつながることは誰もが知っています。それにもかかわらず、中央銀行は、これまでに試みられた中で最も大胆な景気刺激策を実行しました。実際、最終的には、これまでに見たことのない最

も深刻なインフレが発生する可能性が高いようです。しかし、それは明らかですが、それほど単純ではありません。このような状況では、デフレではなくインフレが発生しても不思議ではありません。

インフレはほぼ毎日起こるので、人々はインフレの脅威をよりよく理解しています。しかし、同じ主題について同時に全員が正しい意見を言うことはできません。

中央銀行家たちはインフレを目指している。そして、希望するインフレ率を達成できない場合は、金利をさらに引き下げ、紙幣を増刷する。これは悪循環だ。中央銀行家たちは、インフレは経済にとって良いことだと信じている（少なくとも公にはそう述べている）。実際には、インフレは単に通貨基盤を拡大し、資本を拡散させて政治的な支持を得るための手段に過ぎない。

インフレは、経済指導者たちが信じているように、サンタクロースではありません。すべての人に贈り物を届けることはできません。インフレがすることは、経済の利益を分散させることだけです。オバマ大統領の不朽の言葉に、「インフレは富を少しずつ分散させる」というものがあります。

インフレは、資産所有者の利益のために賃金労働者に不利益をもたらします。債権者の犠牲のもとに債務者に利益をもたらします。国の富の純増はありません。一方のグループが、もう一方のグループの利益のために課税されるだけです。政府はこれを国への利益として売り込んでいます。インフレがなければ国民は請求書の支払いができなくなるため、政府は国民にそれを売り込まなければなりません。

インフレは美術品、高級ワイン、腕時計などの収集品の価格も押し上げる。富裕層はピカソの絵画や伝説的なフランスのワイン醸造所のペトリュスワインを購入することで紙幣から脱却したい。彼らは紙幣から希少で世界的に認知された資産へとシフトする。1969年製

のロレックス デイトナがジュネーブのクリスティーズのオークションで記録的な110万ドルで落札された。これはデイトナのオークションでの最高額であり、以前クリスティーズの別のオークションで記録されたロレックスの116万ドルに近い。この時計オークションでは合計1320万ドルが集まり、事前予想の4倍となった。

しかし、パーティーが終わったら何が起こるだろうか？ 中央銀行はいつまで金融緩和政策を続けることができるだろうか？ そのような措置はいつまで効果を発揮し続けることができるだろうか？ これは、世界最大のヘッジファンド、ブリッジウォーターの億万長者創設者レイ・ダリオ氏が顧客への日々のメモで疑問に思っていたことだ。

「FRBが資産価格を押し上げ、資産の予想収益率を低下させ、現金利回りが下がることができないため、リスク資産の予想収益率と安全資産の予想収益率の差（つまりリスクプレミアム）は、リスク資産のリスクが低下しないのと同時に縮小し、リスクに対する報酬の比率が変化し、資産価格を押し上げて資産効果を生み出すことがより困難になるだろう。」

言い換えれば、価格が上昇し、期待収益率が低下すると、リスクを負うことに対する報酬は小さすぎて、投資家が価格を引き上げ、期待収益率をさらに引き下げることはありません。そうすると、中央銀行が資産効果をさらに生み出すことは難しくなります。そうすると、資産効果のトリクルダウンが起こると同時に、支出は引き続き減少するでしょう。これはかなりありそうなことです。経済に影響を与える中央銀行の力は大幅に減少するでしょう。

もっと簡単に言えば、中央銀行がガソレバーを押すか解除するかを心配しているのではなく、タンクにガソリンが十分残っているかどうか、残っていない場合は何が起こるかを心配しているのです。

長期的には、「不可避なインフレ」説は依然として非常に確固たるものである。なぜなら、結局のところ、ここから起こりうるのは次の 2 つのうちの 1 つだけであるからだ。

- 我々が真の世界経済回復に向けて突き進むか、その場合停滞していた貨幣の流通速度が上昇し、印刷されたお金の「死の湖」が荒れ狂う川になるか、
- デフレ状況が広範囲に渡り悪化し、経済の弱さが蔓延しているため、西側諸国の債務水準が急上昇し、投資家がパニックに陥り、西側諸国を支配する信用に基づく不換紙幣制度への信頼が完全に崩壊することになる。

どちらの結果も、そしてそれはどちらか一方となるだろうが、実物資産やその他のインフレ抑制関連投資にとっては非常に強気となる可能性がある一方で、法定通貨全般、そして米国にとっては非常に弱気となる可能性がある。

特に国債。

しかし、取引や投資の決定に関してはタイミングがすべてであり、だからこそ、ギリシャの現状のように、現時点ではどちら側（デフレ側）がまだ優位に立っている可能性があるかを認識することが重要なのです。

フィナンシャルタイムズはこう伝えている。「安倍晋三首相のデフレ対策は、初期の段階では目覚ましい成功を収めている。しかし、始まったばかりのインフレに誰もが満足しているわけではない。いまだに賃金が上がらない消費者や、原材料費が顧客に請求できる価格よりも速いペースで上昇している中小企業は、政策が機能しているかどうか疑問が高まる中で苦戦している」

公式のインフレ率はゼロに向かって急落している。公式の数字は、おそらくかなりの程度まで、自覚的に過小評価されている。

「投資家がパニックに陥ったのは、政府が補助金を出す、高度に操作された金融システムでは、返済できない負債が山積みになっているためだ。金利が下がり、マネーサプライが膨らむ環境でしか、負債を繰り越すことはできない。価格が下がると、利ざやが圧迫され、負債の返済が難しくなるため、債務者にとって危険だ。だから、FRBは価格の下落を防ぐために極端な手段に出るだろう」。しかし、皆さんもよくご存知のとおり、今回は状況が異なっている。「中央銀行はすでに超高速で紙幣を刷っている。短期金利は2008年以来ゼロで、今後数年間はゼロのままだ。金利を下げる余地はない」とマクロ戦略家のダン・エイモスは言う。

ご覧のとおり、インフレとデフレのどちらが優勢になるかについては、まだ明確な兆候はありません。インフレかデフレかについて唯一確かなことは、確実なことは何もないということです。

その間、中央銀行家たちはあなたの富を破壊しています。だからこそ、あなたは今、残された貴重なユーロ/ドルを守るために行動を起こさなければなりません。そして、お金を投資するのに最適な場所の1つは天然資源です。今、準備を整えることはこれまで以上に重要です。なぜなら、ほとんどの人が知らないうちに、隠れた脅威が、貯蓄や退職のために彼らがなんとかかき集めたお金を破壊してしまう可能性があるからです。その脅威とは、他でもないFEDと世界中のすべての中央銀行です。

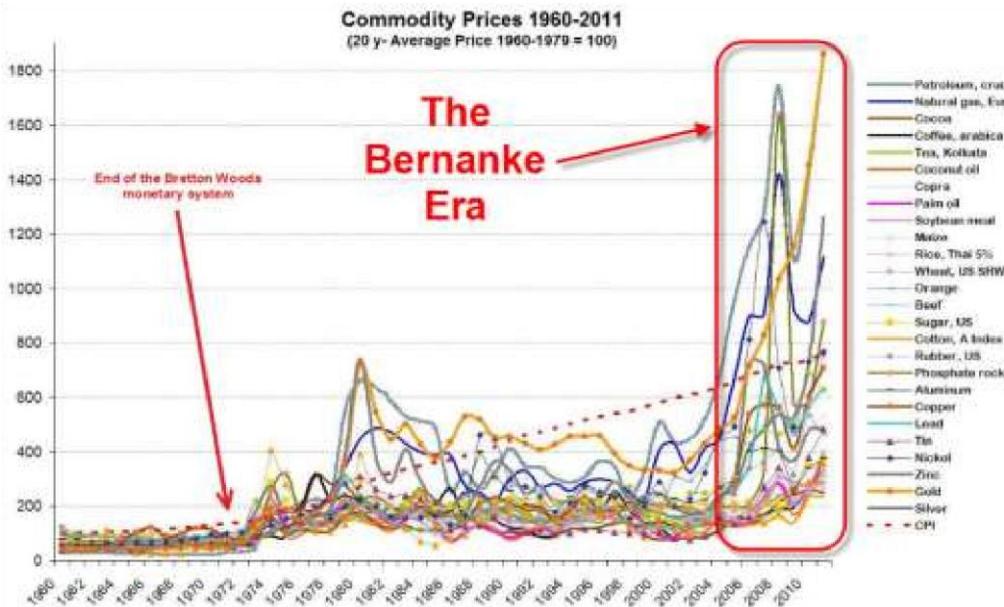
そして、これは金市場を好転させる可能性があります。中央銀行が10年間にわたって何兆ドルもの紙幣を無から印刷し、最終的に何か悪いことが起こらないと本気で思っている人がいるのでしょうか。次のブラック・スワンはすでに私たちの目の前に迫っています。それは法定通貨の購買力の崩壊です。ポケットにあるドル、ユーロ、円など、あらゆるお金はゆっくりと、しかし確実に価値がなくなります。

通貨は相対的な希少性によってのみ価値を維持します。これは特に、金に裏付けられていない通貨に当てはまります。これは、1972年にニクソン大統領が米国通貨の金の裏付けを最終的に停止して以来、世界中で起こっています。これにより、ブレトンウッズ通貨制度協定は消滅しました。

紙幣の価値が下がり、収入や貯蓄が減る時期には、あらゆるもののコストがどんどん高くなります。下のグラフを見て、バーナンキ時代の2004年以降、商品価格がいかに上昇したかを確認してください。1972年以前は、これらの価格がいかに安定していたかがわかります。

拡大するには: <https://images.angelpub.com/2013/50/22449/rising-costs-inflation-during-ge-large.png>

何兆ものエラーがありますが、問題は未解決のままです。



Source: [World Bank Commodity Price Data \(Pink Sheet\)](#)

信用は半世紀にわたって拡大してきました。バブル時代は、結局、数兆ドル相当の誤りを引き起こしました。それらの誤りの多くはすでに修正されています。しかし、膨らんだバブルは未解決のままです。輸出国は、米国とEUから1日あたり30億ドル以上の純売上高を得る習慣を身につけました。これらの収益は、バブル時代の価格を生み出した投機資本の多くを提供しました。その資金は、FRBと中央銀行によって長期間にわたり非常に安価に保たれていました。その間、この資金は跡形もなく消え去りました。

世界は健全な新たな好況ではなく、以前の経済時代の病的な反響を経験している。

米国は、世界最大の経済大国の年間総生産額に相当する保証と景品でバブルを再び膨らませようとしています。このお金の通貨単位はすべて借り入れなので、ある時点で世界経済からすべて引き出さなければならないことを意味します。

実際、経済学者たちはすでに、デフレ懸念が深刻なインフレ懸念に変わる瞬間を予測している。

欧州中央銀行（ECB）が欧州の主要銀行に約5000億ユーロを1%の金利で「融資」したのはその日だった。この資本により、すべての大手銀行は年次報告書を提出する際に適切な資本比率を報告できるようになる。言い換えれば、「巨額の救済を受ける」ということだ。何と呼ぼうと、これだけは知っておきたい。欧州でデフレ崩壊は起こらない。ユーロは短期的には崩壊しない。

その代わりに、ヨーロッパでは通貨供給量が大幅に増加することになるだろう。

フィナンシャル・タイムズ紙が「ECBが行っていたこと（紙幣を印刷し、1%で「貸し出す」こと）と、FRBが2009年以来行ってきたこと（紙幣を印刷し、住宅ローンや国債を購入すること）との間に実質的な違いはあったか」と質問したところ、ECBのマリオ・ドラギ総裁は「それぞれの管轄区域には独自のルールがあるだけでなく、独自の用語もあります。私たちはそれを『非標準的措置』と呼んでいます。確かに前例のないことです。しかし、銀行チャネルへの依存は私たちの任務に完全に当てはまります」と答えた。

マリオの政治的ナンセンスを翻訳すると、「ほとんど違いはありません。私たちは、借金を滞納している借り手と大手銀行を救済するために紙幣を印刷しているのです。」

誰の利益が優先されるのか。銀行の利益か、それとも「実体」経済の利益か。もちろん銀行の利益であって、我々の経済の利益ではない。ますます攻撃的になる債権者層にさらなる富を手放すのではなく、支払い不能を反映して債務を減額することで経済回復を促進しないのはなぜか。

世界はその間に巨大な債務バブルを作り出し、最終的には大規模なインフレに陥ることになる。世界中の国債の借り手は、実際の債務

不履行や再編の結果に苦しむよりも、債務をインフレで帳消しにすることを選んでいる。欧州連合の一部の国、特にドイツが消極的だとしても、避けられない結末は変わらないだろう。

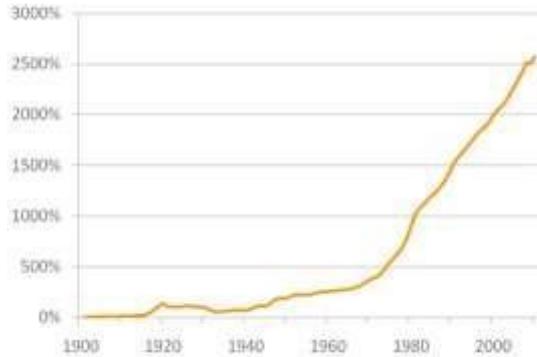
政府が操作した超低金利のおかげで、まもなく金融主導の大規模な経済回復が起こるだろう。短期的には、経済的痛みリスクが表面上は取り除かれたため、何百万人もの人々がこれらの動きを歓迎するだろう。

しかし、この決議は幻覚であることが判明するだろう。これらの不良債権を承認し、それによって富を得た銀行家、ブローカー、政治家を一掃する代わりに、これらの不良債権は、ユーロとドルという2つの主要な世界通貨に依存している何百万人もの人々の納税者によって支払われることになる。数兆ユーロ/ドルの不良債権は、最終的にはインフレによって支払われることになる。これは、一般の人々の1%にも満たない目に見えない秘密の税金である。

時間が経つにつれて、こうした行動の結果、購買力の低下と商品価格の上昇により、生活水準は大幅に低下するでしょう。利益の減少により、雇用主はインフレに対応するために賃金を引き上げようとしなため、実質賃金は大幅に低下するでしょう。

不安定な紙幣は、起業家が国境を越えて投資したり、製品やサービスを調達したりすることを困難にするだろう。インフレによって富裕層の購買力が高まり、資産価値が上昇する一方で、インフレから身を守る手段を持たない貧困層は、さらに貧困化するため、いわゆる「富の格差」は劇的に拡大するだろう。

そして、安易な金融政策と毎年の財政赤字の拡大が権力の集中化につながると考えている政治家たちにとって意外なことに、今後のインフレは大規模な社会不安を引き起こすだろう。ウォール街占拠運動は、これから起こることの単なる前兆にすぎない。間もなく、抗議者たちは富裕層や権力者の家の前を行進するだけでなく、火炎瓶で襲撃するだろう。



我々の通貨、あるいは他の国の通貨の安定性は、究極的には文化の安定性と信頼性を反映しています。今日使用されている紙幣制度は、ニクソン政権の腐敗が原因でした。1971年まで、金に裏付けられた通貨、つまり健全な通貨は誰もが享受できる特権であったことを忘れている人は多くいます。しかし、今は違います。添付のグラフを見ると、1971年以降に始まった過度の累積インフレ上昇がわかります。

今日、紙のシステムのみの中で、世界の資本市場は資本の配分者として機能するのではなく、単に投機的な操り人形となり、その糸は有力なコネと影響力を持つ人々によって操られている。

西側諸国の政府とその紙幣計画の手先にならないためには、ドルやユーロのようなすぐに価値が下がる紙幣に資産を蓄えるのではなく、金や銀に資産を蓄えましょう。これらの「反紙幣」金属は過去10年間で大幅に値上がりしましたが、上記のような計画により、デュープステートによる操作が最終的に終了した後、今後数年間でさらに値上がりすることが確実です。

主要国民国家の悪い通貨政策は国民を貧困に陥れるが、エリート層を貧困に陥れることは決して許されない。エリート層はますます裕福になり、権力を強めるだけだ。唯一の疑問は、価格上昇、賃金低下、社会不安の増大といった副作用が起こり、このゲームが大惨事になるまで、彼らのゲームがいつまで続くのかということだ。

国民から奪う政府：

インフレは目に見えない秘密税、あるいはもっと正確に言えば**窃盗犯罪**であり、一般人の 1% も理解していません。これは危険であり、ほとんどの場合は致命的な病気です。時間内に制御されなければ、社会を破壊しかねません。インフレを引き起こした責任を受け入れようとする政府

は存在しません。彼らは常に言い訳を見つけます。たとえば、貪欲なビジネスマン、利己的な労働組合、浪費家の消費者、石油価格を引き上げているアラブの首長、悪天候、またはもっともらしいと思われるものなどです。これらすべてが一時的に個々の品目の価格を上昇させることはできますが、非常に単純な理由により、継続的なインフレを引き起こすことはできません。上記の容疑者の誰も、お金と呼ばれる紙切れを印刷するための印刷機を持っていません。誰も、それらの紙切れと同等の帳簿に記入することを簿記係に法的に許可することはできません。

時間が経つにつれて、購買力の低下と商品価格の上昇により、生活水準は大幅に低下するでしょう。実質賃金はインフレに追いつけないでしょう。裏付けのない紙のシステムでは、資本を配分したり拒否したりする権力を持つ政治階級によって通貨システム全体がコントロールされます。

重要な基本的な質問は次の 2 つです。



- なぜ政府は通貨量を増やすのでしょうか？
- 潜在的な害を理解しているのに、なぜインフレを起こすのでしょうか？

購入可能な商品やサービスの量（短期的な「生産」）が貨幣量と同じ速さで増加すれば、価格は安定する傾向にあります。人々が富を貨幣の形で保持している間、より多くの商品やサービスが購入可能になるにつれて、価格は徐々に低下する可能性があります。インフレは貨幣量が生産量よりも急速に増加したときに発生し、貨幣量の増加が速いほど、インフレ率は高くなります。

生産量は、利用可能な物理的および人的資源、およびそれらを利用する知識と能力の向上によって制限されます。せいぜい、生産量はごくゆっくりとしか増加しません。商品に裏付けられたお金の場合も同様ですが、常に一時的かつ短期間です。一方、紙幣には商品に裏付けられたお金のような制限はありません。

インフレは政府によって引き起こされる通貨現象です。

簡単に言うと、インフレは主に貨幣現象であり、生産量の増加よりも貨幣量の増加が速いことによって生じます。過度の貨幣増加は政府によって引き起こされるインフレを引き起こします。

一般的に、インフレは金融危機よりも悪い。改革の兆しもなく納税者のお金が無駄に使われ、企業が倒産して失業が増加する。

2008年の金融危機を引き起こした銀行家たちは国民の金で救済され、そのマネージャーたちが責任を負い続け、今度はさらに多額のボーナスを稼ぐために納税者の預金でさらなるリスクを負うことになった。最終的にこれらの計画は、これまでに見たことのない大規模なインフレを引き起こすことになるだろう。

債務は構造的なものであり、解決不可能であり、この経済を修復する方法はありません。

インフレは政府による窃盗を合法化しました:

インフレは政府による合法的な窃盗に他なりません。統計によると、インフレ率はわずか 2 % です。しかし、これらの数字は真実を示していません。今日の実際のインフレ率はおそらく 9 % 近く、あるいはそれ以上かもしれません。誰にもわかりません。公表されているインフレ データはすべて明らかな嘘です。これらの数字は政府に都合の良いようにでっち上げられているからです。統計でインフレ率を低く示す方が見栄えが良いです。政府による窃盗は隠蔽されています。

中央銀行が国内貯蓄をはるかに超える準備金を印刷すると、必然的にインフレが発生します。印刷すればするほど、機関（中央銀行）が投資できる資本が増えます。これにより、中央銀行が債券、株式、不動産を購入して世界中の経済を押し上げるため、資産価格の大幅な資産インフレが発生します。

このインフレは、アルゼンチンやジンバブエで見られるような即時の通貨逃避を引き起こすのではなく、投資による好況を生み出しました。進行中の「金融ブーム」は、第 46 章で説明したように、歴史的部分の誤りです。正確な時期は誰にもわかりませんが、最終的には世界は中央銀行の市場を押し上げる能力に対する信頼を失うでしょう。

インフレを起こすよりも良い方法:

政府の追加支出が税金や国民からの借り入れによって賄われた場合、通貨の急速な増加にはつながらない。この場合、政府の支出は増えるが、国民の支出は減る。しかし、安易な解決策は通貨量を増やすことだ。なぜなら、国民は深刻な影響を理解しておらず、何もせず何かを得る魔法のように思えるため、その方が魅力的だからだ

。しかし、事実は、通貨保有者が追加支出の代金を支払うということだ。追加通貨が経済に注入されると、価格が上昇するからだ。

さらに、インフレは、インフレを補うために国民の所得が増加し、その結果国民がより高い税率の階層に押し込まれるため、実効税率を自動的に増加させることで間接的に追加収入をもたらします。さらに、価値の低い通貨で、より価値の高い元の通貨を支払うため、より価値の低い通貨で債務を返済する（購買力が低下する）という利点もあります。

通貨成長の低下:

インフレの治療法は、インフレの原因である通貨成長率の引き下げです。インフレは最終的には治癒可能な病気です。一時的に経済成長が低下し、失業率が高くなるという悪い影響が最初に感じられるでしょうが、その後インフレ率の低下またはゼロという良い影響が現れます。その結果、経済はより健全になり、インフレのない急速な成長が期待できます。

しかし、いつものことながら、タダのお金への依存を治したいという真の願望が欠如しており、それがこの病気の原因となっている。ある意味で、人々はインフレを楽しんでいる。購入する商品の価格が下がるか、少なくとも上昇が止まるのを望みながらも、所有または販売する商品の価格が上がるのを喜んでいるのだ。

インフレは破壊的である:

インフレが破壊的な理由の 1 つは、一部の人々が大きな利益を得る一方で、他の人々が被害を受けるからです。社会は勝者と敗者に分かれます。勝者は、自分たちに起こる良いことを、自分たちの先見性、慎重さ、および自発性の自然な結果と見なします。彼らは、購入した商品の価格の上昇などの悪いことを、自分たちが制御できない力によって引き起こされたと見なします。ほとんどすべての人がインフレに反対すると言います。彼らが一般的に意味するのは、

インフレの特定の影響によって自分たちに起こった悪いことに反対しているということです。

住宅の紙の価値は上昇しています。住宅ローンの金利は、一般的にインフレ率を下回っています。その結果、インフレによって住宅ローンの利子と元金の支払いが事実上完了します。この効果は住宅所有者にとって有利です。住宅の資産価値が急速に上昇するからです。裏を返せば、金利がインフレ率を下回ると、貯蓄者にとっては損失となります。

インフレが加速するにつれ、遅かれ早かれ、多くの不正と苦しみを生み出し、社会構造に多大な損害を与えています。

インフレの治療法ではなく副作用：

失業と低成長がインフレの治療法であり、他のあらゆる対策を講じればインフレがさらに進むか失業率が高まるという主張が繰り返し報道されているが、これはナンセンスだ。真実は、低成長と高失業率はインフレの治療法ではないということだ。それらは病んだ経済をうまく治療した副作用なのだ。

需要増加の一般的なシグナルは、相対的な需要の変化を反映する特定のシグナルと混同される。そのため、通貨成長の加速による最初の副作用は、繁栄と雇用の増加の出現である。賃金の上昇が需要の増加と一致していないことが判明すると、システムの欠陥が明らかになる。賃金と価格が上昇するのは、需要の増加のためではなく、主に購入する商品の価格の上昇に対応するためである。その後、人々は価格と賃金のスパイラルに陥るが、それ自体が事実上インフレであり、決してインフレの原因ではない。通貨成長が加速しなければ、雇用と生産に対する最初の刺激は反対のものになり、価格と賃金の上昇に応じて両方とも減少する。

ちなみに、政府は実際には雇用を創出することはできず、人々から盗んで他の人に与えることしかできないのです。

10% のインフレ率を生み出すことが政治的に利益があり、実現可能であれば、インフレが実際にこのレベルに達した場合、それを 11%、12%、または 15% に引き上げたいという誘惑は大きいでしょう。ゼロインフレは政治的に実現可能な目標ですが、10% はそうではありません。これは経験上の判断です。それにもかかわらず、中央銀行は、デフレの力と戦うために世界はより多くのインフレを必要としていると私たちに言い、過剰な量のお金を発行しますが、デフレの力は通貨供給の増加の結果であるため、これは基本的にナンセンスです。

インフレを起こすための最善の解決策:

さらに、インフレを起こしたい場合、紙幣を過剰に印刷する必要はありません。インフレを起こすには、金の価格を上げるだけですぐできます。金の価格を上げるのが、インフレを起こす最も簡単な方法です。金のドル価格が上昇することが、実質的にインフレの定義です。FRBは、金の価格をたとえば1オンス5,000ドルと宣言し、フォートノックスの金を使ってその価格を維持するだけです。フォートノックスの金がまだそこに残っていると仮定すると、彼らの印刷機は双方向の市場を維持するでしょう。

Fed は、金が 1 オンスあたり 5,050 ドルに達したら金を売り、1 オンスあたり 4,950 ドルに達したら金を買う可能性がある。これは、1 オンスあたり 5,000 ドルの目標価格の 1% の幅である。この幅と金の現物の使用により、目標価格は維持されるだろう。

金の価格が高騰することは、ドルの価値が下落することと同じです。金が 1 オンスあたり 5,000 ドルの世界では、ガソリンスタンドのガソリンは 1 ガロンあたり 10 ドル、映画のチケットは 40 ドルになります。何事も結果なしには起こりません。

サンタクロースは存在しない:

経済指導者が私たちに信じ込ませようとしているのとは対照的に、インフレはサンタクロースと同じものではありません。すべての人に贈り物を届けることはできません。インフレが行うことは、経済の利益を分散させることだけです。オバマ大統領の不朽の言葉に、「インフレは富を少しずつ分散させる」というものがあります。

インフレは、資産所有者の利益のために、賃金労働者、貯蓄者、退職者に不利益をもたらします。債権者の犠牲のもと、債務者に利益をもたらします。国の富の純増はありません。一方のグループが、もう一方のグループの利益のために課税されるだけです。政府はこれを国への利益として売り込んでいます。インフレがなければ国民は請求書の支払いができなくなるため、政府は国民にそれを売り込まなければなりません。

しかし、印刷機で富を創り出すことはできません。印刷機で富を創り出すと、価格インフレ、資産インフレ、信用崩壊、あるいはこれら 3 つが混在する状態になります。誰もがこのことは知っています。しかし、私たちのリーダーたちはそうではないふりをしています。

信用が貯蓄を超えて拡大した場合、歴史的に見て必ず崩壊に至ります。ですから、驚くには当たりません。債権者が「これらの負債は本当に返済できるのか？貯蓄は返ってくるのか？」という重要な疑問を持ち始めたとしても、先進国で現在見られるように、信用が貯蓄を大幅に超えて拡大した場合、答えは常に「ノー」です。

最終的にはインフレにつながるというのは事実です。しかし、ここでのキーワードは「最終的に」です。時間がかかることもあります。遅延の程度は、一般的な状況と、「貨幣の速度」と呼ばれる非常に重要な概念に依存します。

貨幣の流通速度:

お金がシステム内をどれだけ速く移動するかによって起こります。

銀行が融資し、企業が借り入れ、消費者が支出をすると、お金は素早く手渡されます。このような状況では、貨幣の流通速度は高くなります。

逆に、銀行が融資をせず、企業が窮地に陥り、消費者が貯蓄や借金返済に追われている場合、お金はすぐには手渡されず、ゆっくりと動きます。現在のように経済がほぼ停止すると、最終的にはお金の手渡しが完全に停止します。

インフレは、貨幣供給量の増加だけから生じるものではありません。商品やサービスの価格を全般的に、かつ継続的に上昇させるには、十分な貨幣流通速度が必要です。流通速度がなければ、つまりお金がシステム内を移動しなければ、価格が上昇する理由はありません。

重要なのは、印刷される紙幣の枚数だけではないということです。紙幣がどこに行き、システム内をどれだけ速く移動するかが問題です。最終的な目的は、確かに貨幣の流通速度を加速させることかもしれませんが、価格上昇の累積的な影響とシステムへの信頼の大幅な低下により、ドル/ユーロを所有したいという欲求が急落し、ハイパーインフレが発生します。

流通しているお金の量はどれくらいですか？

お金はどれくらいあるのか考えたことはありますか？[この動画では](#)
、世界で最も裕福な人々、最大の企業、物理的な通貨、金市場、株式市場、世界の負債など、実際に存在するお金の量を実感していただけます。

破壊的なデフレか暴走するインフレか：

インフレ圧力は依然として経済を圧迫しています。経済は破壊的なデフレと暴走するインフレの瀬戸際でバランスを保っています。いずれにせよ、価格は急激かつ予期せず下落したり上昇したりする可

可能性があります。相対的な価格安定の発生は、デフレとインフレが同時に作用した結果です。価格安定とはほど遠く、実際には極めて不安定な状況です。

2009年から2016年にかけて、世界が不況に陥っていたためデフレを経験しましたが、政府はデフレを許容できず、インフレを起こさざるを得ませんでした。そのため、過剰な紙幣発行が長い間続いてきました。デフレ対インフレ、不況対紙幣発行という双方からの圧力があります。

一方の圧力が他方の圧力に対抗する。デフレとインフレは、どちらもぎりぎりのところで戦っている。最終的にはどちらかが勝利するが、一方が他方を疲弊させるまで、戦いは長期間続く可能性がある。

世界は2008年以来不況に陥っており、これは明らかにデフレです。不況では、債務者は現金を調達して債務を返済するために資産を売却します。これにより資産価格が下落します。資産価格の下落は、今度は他の投資家を困惑させ、さらなる資産売却を引き起こします。こうして、価格下落スパイラルが続きます。

紙幣を印刷することは論理的にインフレを引き起こします。一定量の商品やサービスを追いかける紙幣が増えると、それらの商品やサービスの価格は上昇する傾向があります。

中央銀行がインフレを起こさなければ、デフレがすぐに経済を圧倒するでしょう。中央銀行が諦めずにデフレを止めるために紙幣を刷り続けると、最終的には予想以上のインフレが起こるでしょう。中央銀行が国内貯蓄をはるかに超える準備金を刷ると、必然的にインフレになります。

Inflation v.s. Deflation



米国、EU、日本はいずれも4兆ドルを印刷しており、合計12兆ドルの流動性が追加されている。これは前例のない大規模な通貨インフレであり、中国の8兆ドルの紙幣印刷が加わるとさらに悪化する。商品価格や賃金の永続的な上昇には程遠く、利益率の崩壊、失業率の低迷、さらには商品価格の下落を引き起こし、最終的には金融災害に終わることは間違いない。

中央銀行は貿易以外のすべてを貨幣化している。

中央銀行はあらゆるものを貨幣化することができ、前例のない資産バブルを引き起こし、一時的にはあるが、投資家と消費者の信頼を高める。しかし、中央銀行は貿易を印刷することはできない。貿易はグローバル化した世界で成長の重要な原動力であり、中央銀行が毎年1兆ドル以上の債券を貨幣化し、世界が世界的に深刻な債務を抱えているという事実を隠すようになるずっと前から存在していた。

大規模な資産インフレ：

紙幣を印刷すればするほど、機関、つまり中央銀行が投資できる資本が増える。これにより大規模な資産インフレが発生し、資産価格の上昇につながる。中央銀行が債券、株、不動産を購入し、世界中の経済を押し上げるためだ。アルゼンチンやジンバブエで見られたような即時の通貨逃避を引き起こす代わりに、このインフレは投資主導の好景気を生み出した。この継続的な金融ブームは、歴史的な狂気だ。正確な時期は誰にもわからないが、最終的に世界は中央銀行の市場を押し上げる能力に対する信頼を失うだろう。

日本銀行（BOJ）は政府が発行するすべての新規国債を購入している。日本は2%のインフレ目標を達成できない。11月の最新データでは消費者物価が0.07%上昇したが、これは予想を大きく下回っている。膨大な景気刺激策をもってしても、日本は経済を低成長とデフレの悪循環から抜け出すことができない。

2012年11月に安倍晋三首相が無制限の金融緩和を呼びかけてから、円は50%近く下落した。日銀は資産価格を急騰させ、円の購買力を大幅に弱めた。これまでに日銀は日本の10年国債の利回りを0.32%まで引き下げた。比較すると、米国の10年国債の利回りは2.22%。日本株は2013年初めから70%上昇しています。

民衆からの略奪：

安倍首相は自国の通貨を破壊し、国民から金を奪い、株式市場を押し上げることに成功したが、それでも望み通りのインフレには至っていない。だから金融緩和を続けるのだ。彼は「不正な」再選で圧倒的な勝利を収めた。日本国民から、犯罪結社のために国から金を奪い続けるよう託されたのだ。さらに、国内の貧困地域や世帯に「補助金」を出すため、3.5兆円（291億ドル）の新たな景気刺激策を発表した。日本は景気刺激策を全開にしており、その勢いを緩めるつもりはない。

しかし、積極的に金融システムに刺激策を注入しているのはこの国だけではない。世界中で、極端に低い金利など政策上の限界に直面している中央銀行は、刺激策を「創造的に」講じる方法を見つけるのに苦労している。

したがって、EU全体としては、低成長とデフレの瀬戸際にある日本と似た状況にある。EU諸国は引き続き景気刺激策と緊縮財政をめぐって議論している。一方、左派ポピュリスト政党は、ギリシャ、ポルトガル、イタリア、さらにはスペインを債務不履行に陥れ、EUを国家債務危機に陥れるほどの支持を得ている。EUの統計機関であるユーロスタットによると、イタリア、スペイン、ギリシャ、スロベニア、スロバキアは2014年9月の時点ですでにデフレ（不況）に陥っており、ECBに行動を起こすようさらに圧力をかけている。そして、悪い状況は、EU - ニュースは続く - 経済の減速に伴い。

公式統計によると、EUは現在デフレに陥っており、12月の物価は前年比0.2%低下した。これはECBの目標である2%弱のインフレ率を大きく下回り、0.1%の低下という暗い予測よりもさらに悪い。これはEUが景気後退、より正確には不況に陥っていることを意味する。

スタグフレーション:

経済におけるスタグフレーションとは、高い失業率と需要の停滞を伴う、持続的な高インフレを意味します。

インフレは消費者の購買力を破壊します。お金と信用の創出は繁栄を生みません。それは消費者に対する一種の課税です。

「景気刺激策は通常、短期的には繁栄の幻想を生み、長期的には価格を歪め、経済を破綻させ、通貨の価値を下げる。」

「スタグフレーションは、生産性と資産成長による利益よりも先に、マネーサプライと銀行信用が拡大することで典型的に引き起こされるインフレの一種である。より少ない商品とサービスを追い求めるマネーと信用が増えるということは、通常、長期的には価格の上昇を意味する。」

これは、最初にグリーンSPAN氏、続いてバーナンキ氏、そして現在は連邦準備制度理事会のイエレン氏によって、そして世界の他のすべての中央銀行によって、私たちが直面してきた種類のインフレです。

「過剰流動性がまず株式、不動産、債券資産に流れ込み、バブルを形成するため、物価上昇も当初は抑制されたままとなる可能性がある。このため、商品価格や消費者価格の上昇が長期間遅れる可能性がある。」

この過剰流動性はすでに株式、不動産、債券価格に波及しており、今や着実に商品価格にも波及しつつある。我々の指導者たちはこうした問題を調査するはずだが、彼らは全員眠っているか、嘘をついているか、あるいはその両方だろう。

安易な信用は消費者を殺し、今日の危機の主因とみなすことができます。中央銀行が市場に安易にお金を流し始めたとき、主に従業員や労働者が世界中で収入を超えて消費を始め、自分のものではないお金で必要のないものを買いはじめました。

FED とその関係者は、経済を成長させ、運営し続けるために市場に資金をあふれさせようとしてきました。正しい対策が講じられていれば、不況は避けられたはずです。その哲学は、すべての人のポケットにお金を入れて、何にでも使えるようにし、経済成長を刺激して、最終的には消費者に損害を与えるというものでした。

この比類のない人工流動性の海は、不況の影響を確実に軽減するはずだと確信していた。しかし、これらの政策の予期せぬ結果は、インフレを引き起こし、続いてスタグフレーションを引き起こし、最終的に何百万人もの人々の貯蓄を消し去ることである。それは、ますます不況へと変貌している経済危機を解決することなく、「救済爆弾」となるだろう。

中央銀行は深刻な危機をさらに悪化させている。

どう考えても、この応用アプローチは深刻な危機をさらに悪化させています。結局、代償を払うのは納税者です。その結果、一方では商品価格が上昇しています。石油価格の上昇が GDP にどの程度影響するかについては経済学者の間で意見が分かれています。石油価格の上昇は少なくともある程度は GDP の低下を引き起こすという点ではほぼ全員が同意しています。

今後の石油危機により、すでに負担が重くなっている家計は、さらに圧迫されることになるだろう。ガソリンの平均価格は上昇し続け

ている。誰もが、ガソリン価格が今よりさらに高くなると信じている。石油価格の高騰は、ほぼすべての物価に影響を及ぼし、経済の減速も引き起こし、失業率にさらに大きな影響を与えるだろう。

家族がガソリンスタンドに行くたびに 10 ユーロか 20 ユーロ多く支払わなければならないとしたら、それは彼らの可処分所得が減ることを意味します。彼らは店でそれほど多くを費やすことができなくなります。それだけでなく、石油価格はほとんどすべての物価に影響を与えるので、人々はドル/ユーロの購買力が低下していることに気づくでしょう。

それにもかかわらず、私たちの指導者たちは、この深刻な不況を解決するために、実物と同等の価値を持つ紙幣をさらに印刷できると考えています。これがインフレを引き起こし、その後スタグフレーションを引き起こし、ハイパーインフレが続くこととなります。

このいわゆる不況は、購入の機会がないため不況ではないことに留意してください。私たちはすでに不況に陥っており、回復には非常に長い時間がかかる可能性があります。

不況と恐慌の違いを説明します。

景気後退と不況の違いは、次のように説明するのが一番です。景気後退は、健全で成長している経済が一時停止することです。不況は、経済が急落することです。そして、経済が急落すると、株式、債券、不動産、デリバティブ、さらには負債など、人々が所有する資産の価値が疑問視されます。これらの価値を生み出した経済がもはや存在しないため、これらの資産が実際にいくら価値があるのかは誰にもわかりません。

これが現在最も大きな不確実性です。消費者の大量消費経済に製品やサービスを提供するために設立された企業の大部分は生き残れないでしょう。この消費者経済が生み出した負債や義務はすべて、もはや存続不可能です。

しかし、中央銀行が紙幣増刷を止めない限り、彼らはこれに激しく抵抗しているが、結局は事態は自然に収束するだろう。企業は破産し、住宅所有者は困窮する。自動車はディーラーに返却されるか、差し押さえられて競売にかけられる。価格は人々が再び購入できるレベルまで下がる。そして、プロセス全体がまた最初から始まる。特に政府が市場にさらなる資金を注入してそれが起こらないようにしようとしている場合は、これには非常に長い時間がかかる可能性がある。

必要なのはシュンペーターの創造的破壊です。新しい経済モデルが形づくられるまでには時間がかかります。その後、市場が価値ある資産は何か、そしてそれらの価値はいくらかを私たちに指示するでしょう。まだ続くべきことがあります。

ハイパーインフレ:

ハイパーインフレとは、大量のお金がわずかな商品を追いかけることであり、非常に恐ろしい状況です。専門的な定義はさまざまですが、軽度のインフレは経済成長の兆候であると主張することはできますが、ハイパーインフレは決して良いことではありません。しかし、ほとんどの人は、今回はハイパーインフレは起こらないだろうと言います。彼らがそう主張するのは、FRBと中央銀行にはこれを防ぐ能力と先見性があると考えているからです。

私たちは、多くの点で 1930 年代の大恐慌に匹敵する、極めて困難な時期に直面しています。先進国全体での緊縮政策により、経済は 10 年以上、あるいはそれ以上の停滞に陥る恐れがあります。最良のシナリオはデフレ環境です。最悪のシナリオは金融システムの崩壊です。

先進国の負債と貿易赤字の規模は、米国とEUが最終的に二桁の金利とハイパーインフレに陥ることを示唆している。

これらは専門家の恐ろしい結論です。このような環境では、金は他のすべての資産クラスよりも優れているでしょう。

消費者の購買は GDP の 70% を占めますが、最近は減少しています。つまり、お金はまだ流通しておらず、借金の返済に使われているか、誰も投資していないのは明らかなので銀行に貯められているということです。遅かれ早かれ、お金は再び流通する必要があり、事実上、ハイパーインフレの時代、つまり、大量のお金が少数の商品を追いかける時代に入ることになります。

連邦準備制度理事会によると、米国のマネーサプライは過去6か月でほぼ3倍になり、271%増加しました。EUと日本も同様です。通常、このペースの増加により、システム内に過剰な流動性が生まれ、貸付、支出、インフレが増加します。現在の環境では、「これは起こっていない」と言われています。FRBと中央銀行によって作成されたお金は、銀行の金庫室に保管されているか、厳密に言えば、銀行の預金として保管されています。何に使われるのでしょうか？これは明らかで嘘です。

銀行がお金を貸し出さなかったら、どうしたのでしょうか？ヨーロッパでは、銀行は借りた人にお金を貸し返しました。6月に、銀行は750億ドル相当の国債を購入し、300億ドル近くをヨーロッパ諸国の政府に直接貸し出しました。

これで、銀行がなぜうまくやっているのかお分かりでしょう。銀行は実体経済に融資するリスクを負わずにお金を稼いでいます。しかし、それが経済にどんな良い影響を与えているのでしょうか？全くありません。銀行家自身のボーナスを増やし、納税者の口座からお金を儲けているだけです。これは詐欺のように聞こえませんか？

主な問題にはまだ対処されていません。負債額はますます速く、加速的に増加し続けており、これは非常に危険です。負債の増加は複利で増加し、結果として負債の拡大がさらに加速するからです。

そして、これは現在も起こっています。なぜなら、以前の負債の利息を支払うためにさらに借金が行われているからです。そして、それは過去 40 年間続いています。

金本位制や金に裏付けられた通貨は不要だという仮説に反論するならば、いつどこで使われても不換紙幣は最悪の通貨であることが証明されていることを認識することが重要です。歴史は不換紙幣が大きな失敗であったことを示しています。実際、ローマ人が1世紀に初めてその習慣を始めて以来、すべての不換紙幣は価値の下落と最終的には通貨だけでなく、不換紙幣を保有していた経済の崩壊に終わりました。このことをより強調するために、過去1世紀の不換紙幣のパフォーマンスはひどいものでした。米ドルは、過去1世紀だけで購買力を97%失っています。

しかし、何が変わったのでしょうか。どちらかと言えば、今日の金融環境は 20 世紀よりも悪いです。少なくとも 20 世紀前半には、金本位制がまだありました。実際、1971 年までは、弱いながらも、国際的な金本位制のようなものがありました。したがって、現在行われているように、世界中の連邦準備銀行やその他の中央銀行によって実行されている、紙幣の無限の印刷に対して、貴重な抵抗を示しました。例として、ジンバブエ、アルゼンチン、ベネズエラを見れば、これらすべてがどこへ向かうのかを理解できます。

原因は金銭的制約の欠如です。

今日の中央銀行に対する金融制約はごくわずかで、あまりにも緩い。そのため、インフレの脅威ははるかに大きい。紙幣制度は、一般にハイパーインフレと呼ばれる状態で破裂する傾向がある。20世紀の経験を振り返ると、ハイパーインフレはそれほど珍しいことではない。1922年から23年のドイツのハイパーインフレは有名で、物価上昇率は1922年だけで3,422%に達し、1923年1月には1ドルを2万マルクで買えたのに、11月初旬には同じドルを買うのに6,300億マルクも必要になった。その数字は単純に驚異的で、理解しがたい。し

かし、1945年から46年にかけてのハンガリーのハイパーインフレはさらに壮観で、物価上昇率は月間19,800%に達した。

米国とEUが負っている返済不可能な巨額債務は、ドイツのワイマール時代の経験の繰り返しを招くものである。この時期のインフレはひどく、ドイツ国民は文字通り大量のマルクを炉を暖めるために使っていた。

1 米ドルあたりのマルクの為替レートの概要:

- 1919年4月: 12マーク
- 1921年11月: 263マーク
- 1923年1月: 17,000マルク
- 1923年8月: 462万1000マルク 1923年10月: 252.6億マルク
- 1923年12月: 4.2兆マルク。

途中ではさまざまなことが起こる可能性があります。アルゼンチンが南米の「ワイマール・ドイツ」になったのは、それほど昔のことではなく、1996年のことでした。

これはハイパーインフレが差し迫っていると言っているわけではありませんが、今日のインフレ環境を考えると、金融システムからすぐには取り除くことができない大量の流動性印刷の結果として、これは急速に深刻な脅威になりつつあります。これは人為的な大惨事、特にバーナンキの FED とそれに続く世界中の他のすべての中央銀行がそれぞれの紙幣印刷計画を行っていることを示しています。これはドル/ユーロ、または一般的な紙幣の弱さを示しています。しかし実際には、第 29 章で説明されているように、世界の通貨市場は底値競争に過ぎません。これが、印刷できない金や銀などの実物資産を保有する理由です。

お金は価値がなくなるだろう:

ハイパーインフレでは、人々は必死にお金を処分したくて、あらゆるものを買いはじめ、お金の価値が日に日に下がっていくにつれて、将来あるいは明日にはますます値上がりするであろう物を買ひ込むために現金をすべて費やします。そのため、お金はすぐに使われます。その結果、需要の増加に応じて、価格はロケットのように上昇します。その結果、使えなかったお金を持っている人は皆、徐々に破産します。

多くの国の中央銀行が自国の紙幣の価値を引き下げようとしている世界で、金が通貨のように機能するということが広く受け入れられるようになれば、金と銀はこれらすべての通貨に対して上昇すると結論づけることができるだろう。

銀行家にとって有利な大幅なインフレ:

アメリカ、ヨーロッパ、日本のほとんどの人々は、食品やエネルギー価格の大幅なインフレを経験しています。食品のインフレ率は多くの場合 10 ~ 20 % です。しかし、正確な数字は公表されていません。その代わりに、真実は人々から隠されています。

重要なのは、印刷された何十兆ドル、ユーロ、円が実体経済に流れ込んでいないことです。これらは銀行のバランスシートを支え、お金が銀行に残るようにするためのものでした。実際には、これらの数兆ドルは銀行家自身の利益のために使われてきました。

重要なのは、株式や債券などの資産市場はインフレ率の数値で測定されないということです。しかし、これらの市場には何兆ドルもの資金が流入しています。したがって、新たに印刷されたお金は経済を強化するために作られたと言われていますが、これは完全な嘘です。そのお金は常に銀行を救うために、銀行家の利益のために作られたものでした。したがって、株式や債券などのこれらの資産はすべて、非常に大きなバブル状態にあります。対照的に、バブル状態

ではない資産カテゴリとして思い浮かぶのは、貴金属とエネルギーの 2 つだけです。

銀行システムへの巨額の資金注入にもかかわらず、欧州の銀行は2008年よりも現在の方が脆弱である。一方、実質的な価値がほとんどないか全くないデリバティブのポジションを含めると、米国の銀行もひどい状況にある。

これらの資産がインフレ率に含まれるとすれば、インフレははるかに大きくなり、恩恵を受けるのは少数派だけになりますが、さらに悪いことに、株式や債券で発生したバブルは、世界経済に恩恵を与えず、まったく持続不可能です。一方、実際の正直な数字によると、今日では、就労人口よりも失業者の方が多くなっています。

資産保全の観点から見ると、この時期は、金や銀の現物を十分に保有していない投資家にとって、買いだめする最後のチャンスとなるでしょう。今後数年間で、金は 1 オンスあたり数千ドル値上がりし、資産の完全な破壊から守るために投資家のポートフォリオの重要な部分となるでしょう。金と銀の市場が上昇するにつれ、貴金属価格を押し下げるために政府や地金銀行が行ってきた大量の金と銀の紙売りがブーメランのように戻ってくるでしょう。

「これは、西側諸国が主に紙の金を保有しているのに対し、ロシア、中国、その他のアジア諸国は実際の金を保有しているために起こる。紙の空売りが引き渡しを要求されると、大規模な空売り圧力が生じる。これにより、金と銀の価格は数倍に高騰する。私の見解では、銀、パラジウム、プラチナ、金などの貴金属は、投資家にとって一生に一度のチャンスを提供する」とエゴン・フォン・グレイアーツ氏は言う。

「政府がこの回復を実現した方法は、何兆ドルもの通貨単位を創り出すことだった。そして今、政府は国債や住宅ローン証券を購入することで、さらに毎月550億ドルを創り出

している。現在銀行に預けられているこの紙幣はすべて、ある時点で米国中に流出するだろう。非常に高いレベルのインフレが見られるだろう。かなり壊滅的な状況になるだろう」とダウ・ケイシー氏は言う。

そして彼は続ける。

「平均的なアメリカ人の生活水準はここ何年も低下し続けています。平均的なアメリカ人は 2,000 ドルを手に入れることができません。最近の世論調査では、アメリカ人の 40 % が 30 日以内に 2,000 ドルを現金で手に入れなければならないとしたら、それができないと答えています。ですから、状況はかなり厳しく、経済が再び悪化すると、そして率直に言って、それはすぐに起こると思いますが、失業者、お金のない人、そして多額の負債を抱える人が大量に発生するでしょう。現時点では、政府ができることは紙幣を増刷することだけです…」

EUでもそれはあまり変わらない。中央銀行の大規模な紙幣増刷計画がハイパーインフレを引き起こす可能性がある」と疑問に思ったことがあるなら、[ゴンサロ・リラの記事がそれを示している](#)。触媒が海外でどのように始まるか。

2014年の中国経済は、2008年のアメリカ経済と驚くほど似ていた。どちらも不動産投機によって推進され、どちらも投機バブルであり、安上がりな影の銀行融資の産物だった。」 - 「債務返済水準が維持不可能になり、損失を吸収するのに十分な準備金の緩衝材がなくなった時点。」

「米国がハイパーインフレに陥ることは100%確信しています。政府債務がこれほど増大すると、FRBが金利を上げる時期が来たときに、彼らはそれを非常に躊躇することになり

、インフレが加速し始めるという問題があります。」とマーク・ファーバー氏は言う。

ドルの信頼が危機に陥ると、ハイパー流動性は貨幣の流通速度を介してハイパーインフレーションを引き起こす可能性がある。したがって、ハイパーインフレーションは通貨によって引き起こされるイベントとなるだろうとジム・シンクレアは言う。

それにもかかわらず、ほとんどの人は、今回はそんなことは起きないだろうと言います。中央銀行にはこれを防ぐ能力と先見性があると信じているからこそ、そう主張するのです。「これが連邦準備制度が設立された理由の一部だ」と論じられています。

一方、消費者の購買は減少しており、これはお金がまだ流通していないことを意味し、そのため借金の返済に使われるか、誰も投資していないことは明らかなので銀行に貯金されている。遅かれ早かれ、お金は再び流通しなければならなくなり、事実上ハイパーインフレの時代に入り、大量のお金が少数の商品を追いかけることになる。

同じ理由で同時に経済が破綻している。

重要なのは、日本、EU、米国の経済が衰退しているということだ。そして、同じ理由で、同時に衰退している。これらの地域では、消費者は借金を嫌がる。そして、借金をしなければ、消費を増やす方法がないのだ。世帯が節約している理由は3つある。1つは、高齢化していること。2つは、実質所得が停滞または減少していること。そして3つは、すでに負債が多すぎる。このため、これらすべての景気後退は似ている。すべては、世帯がバランスシートを修復したいという熱意によって引き起こされている。負債は減り、貯蓄が入る。

「過去6年間で政府債務と企業債務は急増した。企業債務は今や住宅ローン担保債務よりも大きい」とブルームバーグは言う。

しかし、いかなる支出削減も現代の経済思想に反するものであり、それにもかかわらず、政府はこの支出プロセスを止めるために直ちに行動を起こさなければなりません。具体的には、次の2つの理由からです。

- 相対的に停滞した四半世紀。
- 国の貯蓄は消費され浪費され、政府の負債は記録的なレベルに達しています。

たとえば、日本の債務はGDPの240%で、世界一であり、利払いに追いつくのに税収のほぼ4分の1を費やしています。ほぼ四半世紀にわたって、日本の勤勉な貯蓄家は政府の赤字を補填してきました。現在、貯蓄家は引退しています。彼らはお金を取り戻す必要があります。同時に、日本の貿易黒字は消えつつあります。電気を灯し続けるためのお金はどこから来るのでしょうか？

すでに、日本国債を購入しようとする人がほとんどいない日もある。その不足分を日本中央銀行が補う。そして、人々は年を取るにつれて、貯蓄を増やすのではなく、使うようになる。国の経常収支黒字が消えるにつれ、日本はかつてのような輸出大国ではなくなり、経済はますます停滞するだろう。もちろん、日本銀行が救済に出るだろう。日本銀行は国債を購入し、政府に資金を供給するために紙幣を印刷する。円は下落し、物価は上昇する。やがて金利も上昇するだろう。

「市場に影響を与える外部の力は数多くあります。中央銀行の行動がボラティリティを阻止する賢明な決定であるなどと誰が考えられますか？中央銀行はこれまでずっと間違ってきました…」とジェラルド・セレンテ氏は言います。

愚か者は誰ですか？

回復は本当にあるのかもしれない... 弱くても？ 中央銀行は本当に状況をコントロールしているのかもしれない？ 彼らが紙幣を印刷したのは正しかったのかもしれない？ これからは順調に進むのかもしれない？ 貴金属投資家は、他の株買いや金の投機家たちと一緒にこの船に乗らないのは愚か者だ。なぜ金の価格は下がっているのか？ 新聞は、投機家たちが中国の景気減速やキプロスなどの国々が金の保有量を投機するのではないかと恐れているためだと伝えている。

金価格の下落の背後には、非常に愚かな考えが潜んでいます。実質的なお金、つまり金融準備金は信用と負債に置き換えられるという無知な考えが信じられています。

これを信じる人たちこそが、本当の愚か者だ。

金庫に大量の現金があると想像してください。その後、財政難に陥り、金庫を開けて現金を取り出し、債権者に支払う必要があります。現金の市場は下落しますか？ 現金を他の人に渡さなければならないことが人々に知られるため、現金の価値は下がりますか？

この仮説は誤りです。人々が経済的困難に陥っても、現金の価値は下がるのではなく、むしろ上がります。人々は現金を手に入れるために争うのです。借金を返済し、口座を清算し、現金を調達して流動性の低下を抑える必要があります。現金が必要なのです。現金の需要は下がるのではなく、上がるのです。

しかし、待ってください。今日の請求書は金ではなく紙幣で支払うことができます。債務者は金を紙幣に売却して紙幣を調達する必要があります。彼らが必要としているのは紙幣であり、実際のお金ではありません。

この問題が興味深いのはそのためです。システムは紙幣で動いています。人々は紙幣を使い、借ります。そして今、人々は請求書の支払いに紙幣がもっと必要になります。そこで人々は貴重品、金や銀を売って紙幣を増やします。金は値下がりし、中央銀行は紙幣を増刷します。行き渡るようにするためです。しかし、人々が紙幣の山を心配するのをやめ、紙幣の質を心配し始める日が来るでしょう。

彼らは紙幣がたっぷりあること、そして紙幣がどんどん増えていることに気づくでしょう。金庫の中を見て、この紙幣をどうしたらいいのかと不思議に思うでしょう。

その時、彼らにも請求書が届くことになる。債権者に対してだ。債権者をもっと厳しい基準で監視する。彼らがこうした新しい債権者に紙幣をもっと提供しても、彼らは「うんうん」と言うだろう。彼らはもっと健全なお金、もちろん金や銀を欲しがらるだろう。

デフレの時は幸せな日々、インフレの時は悲しい日々。

インフレは、私たちが現在直面している金融危機よりもひどい。納税者のお金は無駄に使われ、改革の兆しは見えず。仕事はなく、企業は倒産している。金融危機を引き起こした銀行家たちは、私たちのお金で救済され、責任を負わされ、より大きなボーナスを得るためにさらなるリスクを負っている。最終的に、危機はこれまでに見たことのない大規模なインフレに変わる。負債は構造的なものであり、解決不可能であり、この経済を修復する方法はない。

信用は半世紀にわたって拡大し、数兆ドル相当の誤りを引き起こした。バブルは膨らみ、未解決のままだった。輸出国は米国とEUから1日30億ドルの収益を得る習慣を身につけた。その収益は、中央銀行によって長期間にわたり低金利で維持されていた資金で、バブル期の価格を生み出した投機資本の多くを供給した。この資金は跡形もなく消えた。近いうちに戻ってくる可能性もほとんどない。した

がって、この資金はインフレを引き起こすことはない。現在もデフレの時期にあるからだ。

健全な新たな好景気ではなく、世界は以前の経済時代の耐え難い反響を経験している。米国とEUに率いられた政府は、各国の予算超過の洪水を食い止めるために、新たな紙幣を印刷してバブルを再び膨らませようとしている。彼らは、世界最大の経済大国の1年間の年間生産高に匹敵する保証と特典を用意している。このお金の1ドル/ユーロはすべて借り入れなので、結果として、いつかはこれらすべてを世界経済から引き揚げなければならないことになる。

実際、経済学者たちは、デフレ懸念が深刻なインフレ懸念に変わる瞬間をすでに見据えている。「インフレ国家」は、1年前のインターナショナル・ヘラルド・トリビューン紙の社説のタイトルだ。その中で、政治経済学教授のアラン・メルツァーは、「オバマ大統領と連邦準備制度理事会が現在の道を進み続けるなら、あの恐ろしいインフレの時代（1970年代）が再び訪れるかもしれない」と主張している。

メルツァー教授は、70年代のインフレ抑制は容易ではなかったと指摘する。連邦準備制度理事会は圧力を強め、プライムレートを21%以上に引き上げた。もちろん、現在の連邦準備制度理事会はこの情報を持っている。そして、その時期に連邦準備制度理事会の議長を務めたポール・ボルカー氏は、現在、政府の経済顧問を務めている。それでも、「私は彼らの知識や専門技術については心配していない」とメルツァー教授は続ける。「私が疑うのは、政権のコミットメントと連邦準備制度理事会の独立性だ。バーナンキの下で、連邦準備制度理事会は独立性を犠牲にし、財務省の金融部門になってしまったのだ」

「FRBの仕事はパンチボウルを片付けることだ」とアイゼンハワー時代の指導者は言った。しかし、アイクとディック・ニクソンの時代から我々は長い道のりを歩んできた。今回はインフレが制御不能

になる可能性が高い。デフレの間はしばらく幸せな日々が続くだろうが、その後インフレとともに非常に悲しい日々が訪れる可能性が高い。

ポール・ボルカーは2007年12月にインタビューを受けた際、こう語った。

「...これまでの人生を振り返ると、インフレを少し制御不能にさせ、70年代に経済問題に効果的に対処しなかったことが、非常に不快な危機を招いたことは明らかです。国民に財政責任を教えるために、再び大きな不況を経験したくはありません。その代わりに、経済成長を維持しながら何をすべきかを予測すべきです。そして、常に脅威となるのは不安定な経済と不安定な通貨です。そして、それは経済生活に破壊的であるだけでなく、世界におけるアメリカの立場に破壊的であり、私にとってそれが最大の懸念です。」

インフレに備える方法と金と銀の重要性:

これから来るインフレにどう備えればよいのかという疑問が生じます。まず、平均月々の支出としていくら必要になるかを計算し、金と銀のどちらを使うべきかを考えます。どちらも、食料からあらゆる家庭やサービスの支払いまで使用できます。

結局、インフレ上昇から逃れられるものは何もありません。食料品、ガソリン、石油、家庭用品、車のメンテナンス、外食、プールサービス、医療費、散髪代、子供のお小遣いなどなど。

要点は、すべての費用を賄うには、当初必要だと見積もった量よりも多くの銀や金が必要になる可能性があるということです。高インフレの潜在的な期間によって、最終的に必要な現物の地金やコインの量が決まります。おそらく、その期間は当初の見積もりよりもずっと長くなるでしょう。1930年代のワイマール共和国では2年間続き、その後ハイパーインフレが起こり、さらに2年間続きました。合計4年間の高インフレです。予算に応じて、大量の金と銀が必要になります。添付の表は、必要な金の目安を示しています。

Monthly expenses in US dollars	Monthly expenses in gold, oz*	Inflation Duration					
		6 months	1 year	18 months	2 years	3 years	4 years
\$500	0.31	1.9	3.7	5.6	7.5	11.2	15.0
\$1,000	0.63	3.8	7.5	11.3	15.0	22.5	30.0
\$2,000	1.25	7.5	15.0	22.5	30.0	45.0	60.0
\$3,000	1.88	11.3	22.5	33.8	45.0	67.5	90.0
\$4,000	2.50	15.0	30.0	45.0	60.0	90.0	120.0
\$5,000	3.13	18.8	37.5	56.3	75.0	112.5	150.0
\$10,000	6.25	37.5	75.0	112.5	150.0	225.0	300.0
\$20,000	12.50	75.0	150.0	225.0	300.0	450.0	600.0

*Based on \$1,600 gold price

月々の支出予算が月額3,000ドルの場合、2年間の高インフレをカバーするには45オンス、4年間続く場合は90オンスが必要です。次の表は、銀の量を示しています。

Monthly expenses in US dollars	Monthly expenses in silver, oz*	Inflation Duration				
		6 months	1 year	18 months	2 years	3 years
\$500	17.9	107.1	214.2	321.3	428.4	642.6
\$1,000	35.7	214.3	428.5	642.6	857.0	1,285.6
\$2,000	71.4	428.5	857.0	1,285.6	1,714.1	2,571.1
\$3,000	107.1	642.8	1,285.7	1,928.5	2,571.4	3,857.0
\$4,000	142.9	857.1	1,714.2	2,571.3	3,428.4	5,142.6
\$5,000	178.6	1,071.4	2,142.8	3,214.3	4,285.7	6,428.5
\$10,000	357.1	2,142.8	4,285.6	6,427.8	8,570.4	12,856.6
\$20,000	714.3	4,285.7	8,571.4	12,857.0	17,142.7	25,714.1

*Based on \$28 silver price

毎月3,000ドルの予算には、1年間で1,285オンスの銀、3年間で3,857オンスの銀が必要です。これらの貴金属の価格が上昇した場合、価格上昇に比例して必要な量は減ります。過去に貴金属を購入した場合、必要な量は減ります。これは明らかに、今金と銀を貯めなければ、後でもっと多くのお金を使うことになることを示しています。ここで示されているのは、生活水準に関連する購買力を保護するための金と銀の重要性です。これを個人の金融防空壕と考

えてください。ドル、ユーロ、その他の紙幣があなたの周りで爆発しても、あなたの財政は保護されます。

追加の予期せぬ出費は常に発生するため、上記の表の金額では十分でない可能性は十分にあります。これは冷静に考えると恐ろしいことですが、この高インフレがいつか経済に打撃を与えることがあれば、強調する価値があります。いずれにせよ、この嵐に耐えられるだけの金塊を保有していることを確認してください。この嵐は数学的に見て、近い将来にほぼ確実に発生します。少なくとも、必要な金額の目安はわかりました。

48. 自由を取り戻そう

- グローバリゼーションは世界的な専制政治である。
- あなたの経済的な幸福に対する最大の脅威。
- 偽のお金の利子はあなたの自由を奪っています。
- 金は本物のお金です。
- 経済価値よりも負債が多い：

分散化は勝利である：

周囲を見渡せば、目覚めた人々は、自分たちのレベルでも世界全体でも、ほとんどすべてのことが変化していることに気づくでしょう。すべては周期的に起こります。地球規模の前向きな変化の時が始まりました。EU の大実験は、当然のことながら、またしても失敗しました。未来は明るく、分散化されます。

現在の「グローバリズム」は、世界史上最大の権力統合であり、自由とは程遠い。市場を開放し、すべての人々に自由貿易を推進する

どころか、グローバリズムは世界の意思決定を少数の手に集中させている。

英国国民が地方分権化を選択したことは勝利だった。地方分権化が進むほど、自由の見通しは良くなる。

世界中の一般の人々は、自己決定に関する真の疑問が、もはや無視できないほど深刻になっているという点に到達したのだろうか？
確かに、多くの人々が目覚め、手錠を壁に掛けている。

グローバリズムは自由主義ではなかったし、自由主義になることも意図されていなかった。グローバリズムの本質は、大衆民主主義を装った独裁エリートによる支配を意味してきた。グローバリズムは、常に明らかに**反民主主義的であり、反自由的であった**。政治家が望む場所にあなたを連れて行くための策略をよく理解しなさい。

[この短いビデオをご覧ください](#) カーテンの裏側を覗いてみる。

グローバリゼーションは世界的な暴政である。

グローバリゼーションは、その支持者が主張するように、単に通信、貿易、旅行に応用された現代の技術の必然的な結果ではありません。それは**世界が小さくなっていることではありません**。実際には、それは専制的な手段によってのみ押し付けられるイデオロギーと世界観です。

「グローバリゼーションは政治家に寄付する金融エリートを非常に裕福にしたが、何百万人もの労働者に貧困と心痛を残した」と [トランプ氏は語った。](#) [サポーター](#)。

あなたは盗まれ、騙されました。

貧困は必要ありません。戦争は必要ありません。借金は必要ありません。差し押さえは必要ありません。病気は必要ありません。不幸

や歯の病気や飢えさえも必要ありません。そのどれも必要ありません。貧乏になる必要も、借金をする必要もありません。

あなたは強盗されたのです。それだけです。健康を害している必要はありません。毒を盛られたのです。故意に。利益のために。失業している必要はありません。奴隷主がアジアの他の貧しい人々に低賃金で働かせることができるため、あなたは干し首にされているのです。

あなたは、ただ盗まれただけではなく、完全に計画的かつ意図的に、自動化され制度化されたプロセスによって、あなたの人生、あなたの物質、あなたのライフサイクル、あなたのエネルギー、あなたの教育のすべてを動かす「材料」として完全に説明され、商標登録され、特許取得された方法で、騙し取られてきました。

すべてが恥ずかしくなるほど詳細に記されており、あなたが生まれた瞬間から死ぬ瞬間まで、彼らがあなたを彼らの機械に投入される原材料としてどのように処理するか、そしてその間のあらゆる時点でああなたが必要とするすべてのこと、あなたが行うすべてのこと、あなたが達成するすべてのことのあらゆる側面から彼らがどのように利益を得るかが正確に記されています。彼らは、あなたが加入する生命保険や、あなたが死んだ後も永久にあなたの財産から利益を得るようにさえしています。それはすべて、米国特許商標庁 (USPTO) の公的記録に明白に登録されています。

人口過剰なし:

人口過剰などありません。ただ、貪欲で自己中心的な企業、政治家、邪悪な銀行家たちが、人々の生活を金銭に頼らせ、大都市に人々を集結させているだけです。架空の不換紙幣や紙やプラスチックのクレジットカードは価値がなく、今では銀行家が管理する画面上の数字という形で完全に電子化された通貨へと移行しています。

資源は有限ではなく、むしろハイジャックされ、乱用されてきました。フリーエネルギーなどの技術の進歩も、多くの天然資源への依存を減らす可能性があります。開発され占領されている土地よりも、手つかずで占領されていない土地の方がはるかに多いため、いわゆる人口過剰の道を進む勇氣さえありません。70億人の世界人口全体がテキサス州ほどの土地で生活でき、各家族が自分の食べ物を育てるための庭を持つことができます。これは神話であり、主流メディアによって推進され、広められたグローバリストの神話です。

グローバリストたちは、自分たちの価値のないお金から支払われた賄賂を使って支配する銀行や傀儡政府を通じて、地球上のすべての人々を支配し、奴隷化することしか考えていません。

自己決定:

ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは、自己決定が自由、真の自由主義の根本的な目標であることを理解していました。政府は主権を持つ王様ではなく、私たちの人生の進路を決定するに値するものとして扱われるべきではないため、自由主義者は政治的な意味での「国家主権」に関心を持つべきではないというのは本当です。しかし、個人と彼を統治すると主張する団体とのつながりが弱まるほど、個人の制御力は低下し、自己決定力が高まるというのもまた本当です。

もしこれを許可できれば [自己決定権](#) 一人ひとりに対して、それを実行する必要があるでしょう。

ブレグジットは国家としてのあり方に関する国民投票であり、グローバリズムから離れ、個人の自己決定に近づく一歩である。

Brexit は伝染性の政治病です。最初のドミノ倒しはすでに終わりました。これからも続くでしょう。現状を打破するこの出来事に応じて、Italxit、Frexit、Spexit、NExit、Grexit、Hungexit、[Che](#)

[choutのキャンペーンが組織され](#)、さらに遠心的な政治運動が続くでしょう。

どうやら、トルコのエルドアンは最近、ロシアとともにISISと戦うための後方支援を申し出ること、ハザール人からプーチンのロシア陣営へと鞍替えしたようだ。

[イタリアの有権者](#) 北部で最も裕福な2つの地域、ロンバルディア州とベネト州は、住民投票でローマからの自治権拡大を決議した。隣国スペインがカタルーニャ州の分離を阻止しようと取り締まりを強化している中、住民投票で肯定的な結果が出れば、欧州の地域的緊張が高まる可能性がある。

イルミナティの数千年にわたる世界は崩壊しつつある。Brexit投票は、世界中で何が起きているのかを示す目に見える例である。体制側は、世界を新世界秩序に向けて準備させながら、密かに協定や組織の構築でつまづき続けている。

今、小さなものが再び美しくなり、小さな政府と小さな社会に新たなチャンスが与えられています。そしてそれは非常に良いことです。なぜなら、中央集権化された金融エリートによる支配に反して、より地域化された民主主義、または第3章「無政府状態」で説明されているように、より良い民主主義があらゆる場所で可能になりつつあるからです。EUからの国民投票や離脱は、大陸全体の左派と右派の両方で台頭するポピュリスト政党から確実に増えています。

本当の脅威:

市場に対する本当の脅威は、もっと根本的で広範囲に及び、もっと危険で、完全に避けられないものです。それは、中央銀行の不換紙幣制度の中にあり、明白な場所に隠されています。中央銀行の象徴的な役割は、明らかにするよりも隠しているものが多いでしょう。それは「安易なお金」の印刷だけではありません。もしこれが本当

なら、流通するお金ははるかに多くなり、消費者物価は上昇するでしょう。1971年にFRBが紙幣のみのシステムに移行したとき、巧妙な変更が行われました。**彼らの新しいシステムは、古い紙幣印刷計画と同じように、完全に詐欺的で、完全に破滅的でした。**しかし、詐欺が明らかになるにははるかに時間がかかり、破滅は最後に爆発したときにのみ明らかになります。

無制限クレジット:

連邦準備制度理事会は、自ら紙幣を印刷する代わりに、一定の資本要件を満たす限り、銀行がほぼ無制限の信用を創出することを許可している。

一般に信じられていることとは反対に、銀行は預金を受け入れて再び貸し出すという「倉庫」としての役割を果たしているわけではありません。銀行は融資を行う際に**新しい預金を創出します**。キーボードを数回打つだけで、口座残高と通貨供給量が増加します。

最初、この新しい信用貨幣は、印刷機で印刷された貨幣とほとんど同じように機能します。つまり、誰も稼いだことのないお金を人々に与え、それを使えるようにするのです。誰もが幸せです。しかし、紙幣をどんどん発行していくと、すぐに不正が明らかになります。物価が上昇します。人々は、以前よりも購買力がどんどん低下していることに気づきます。

その間、企業や消費者はみな、「需要」の明らかな増加に基づいて誤った決定を下します。しばらくすると、前の第 47 章で説明したように、不況や創造的破壊による不況で、これらの間違いがすべて一掃される必要があります。新しい経済モデルが形になるまでには時間がかかります。

問題が延期されました:

一方、この信用貨幣システムを構築することで、連邦準備制度はその問題を回避した、あるいは少なくとも先送りした。例えば、1980年から2016年の間に、米国とEUはそれぞれ32兆ドルの純超過信用を支出した。これは、**GDPと債務の歴史的な関係を越えた信用と債務**である。

これも消費者物価を劇的に上昇させるはずだったが、日本、そして中国は物価をはるかに安くしていた。これが消費者物価の上昇を相殺し、さらに重要なことに、信用マネーの増加の多くはメインストリートの経済ではなく、ウォールストリートに直接流れ込んだ。

信用貨幣システム:



信用貨幣制度では、最も信用力のある経済部門、つまり富裕層、大企業、政府が、新しいお金のほとんどを獲得します。

価格は上昇します。しかし、これは人々が上昇を望む種類の価格です。住宅、企業、商業用不動産、収集品の価格、インフレについて話します。これらの価格は天井知らずです。

金融化できるもの、つまり価格設定され取引できるものはすべて、信じられないほど高価になりました。しかし、労働価格は停滞していました。 - 金持ちはさらに金持ちになり、中流階級とその他の人々は貧しくなりました。 [このビデオですべてが説明されています](#)

連邦準備銀行券 (FRN) としても知られる米ドル (USD) は、金や他の商品によって担保されたことはありません。流通したのは1933年です。言い換えれば、米国は1933年以来、技術的に破産していることとなります。

USD-FRN は 2017 年 10 月 1 日に終了し、紙幣に価値がなくなったため、連邦準備銀行は紙幣を焼却して流通から排除し始めました。2017 年 10 月 13 日、連邦準備銀行は 100 ドルと 50 ドルの金/資産担保 USN の発行を開始しました。他の額面の紙幣もこれに続きました。

2017年10月15日、エリートたちはイギリスで会合し、通貨システムをリセットしました。

出席者の中にはイギリス女王やアジアと中東の金融システムの監督者もいた。この会議はイギリス王室をカバールの支配から解放するためにも開催された。

計画では、中国は2017年10月18日頃、少なくとも2017年末までに人民元を金で裏付け、ドルのライバルとして導入する予定だった。国際市場の信頼を獲得する必要がある。それには1か月ほどかかるかもしれない。

世界で最も賢明な政策立案者の一人である中国人民銀行総裁の周小川氏は、[中国の プラン](#) 金中心の通貨システムへの移行。これは世界の通貨システムにとって大変革をもたらし、金の価格を上昇させるでしょう。

中国の計画は、原油先物契約を通じて原油価格を人民元に固定することだ。特定の商品を特定の価格と日にちで売る契約だ。

中国は、年末までに導入されると予想されている石油元が[金に完全に交換可能になると述べている。](#) 上海証券取引所と香港証券取引所で。

多くの銀行が財政的に厳しい状況にあり、これらの銀行が100%確実に脆弱であるため、これが必要になりました。[詳細はこのレポートをご覧ください。](#)

- ユーロ圏の全銀行のうち、約44%が危険ゾーンにあり、D+以下の格付けとなっている。
- たとえユーロ圏のより強力な銀行がすべて含まれていたとしても、ユーロ圏の銀行全体の平均格付けは依然として不安定なCマイナスであり、危険水域からわずか1ノッチのところにある。
- ユーロ圏には、世界最大かつ最も脆弱な銀行6行のうち4行がある。世界の他の地域にあるのは、インドとブラジルの2行だけだ。
- イタリアの銀行業界は最悪の状況にある。調査対象の10大イタリア銀行のうち9行がDとEの危険ゾーンにある。評価は1件のみです。危険ゾーンを外れているのは1件だけで、わずかですがC-です。
- イタリアが世界最大の2つの弱い銀行を持つ国であることは偶然ではない。ユニクレジットは資産9245億ドル、格付けはD+で、
 - 資産7910億ドルのインテーザ・サンパオロもD+と評価されている。
- しかし、銀行危機の国では、イタリアだけが危機に瀕しているわけではない。ギリシャには2つの銀行があり、ポルトガルにも2つ、スペインにも3つの銀行がある。

現在、世界の主要国（中国を除く）はすべてこの危険地帯にあり、政府による苦境にある銀行の救済はますます困難になっています。
[より良い国はあります。](#)

- ポーランドでは政府債務がGDPの54.5%を占めています。
- オランダの負債は62.3%です。
- ドイツ - 68.3%

通貨制度は庶民のために作られたのではなく、金持ちがさらに金持ちになるために作られたのです。そして今や、ハザール人が米国政府、中央銀行、金融システムを支配していることが知られており、誰も気にしていないようです!!!

有権者は愚かになり、麻痺しているからだ。これが彼らのシステムが機能しているのだ!

銀行はお金を作ることが許されています。銀行は家計部門が耐えられなくなるまで消費者にお金を貸し続けます。これは 2008 年に起こったことであり、今また起こっています。そして銀行は企業と政府に貸し出します。各部門は次々に多額の負債を抱え、信用を失います。最終的に、政府だけが借り入れをすることができます。なぜなら、政府だけがお金を発行できるからです。

景気後退警告:

中央銀行が紙幣を配布していれば、物価は上昇していただろう。しかし、不況や債務デフレの場合でも現金は残るが、印刷機で紙幣を発行すると物価は永久に上昇する。

しかし、信用貨幣システムは非常に異なります。システムに入ってくる**新しい単位はすべて、新しい負債の単位でもあります。**

現在、消費者、企業、政府は、約 60 兆ドルの負債を抱えています。負債は、企業や経済の成長を鈍化させます。最終的には、企業の収益力と株式市場の資本がその負債の担保となります。株式市場が下落すると、貸し手は姿を消します。その後、負債市場は引き締まり、市場は爆発的に拡大します。

そして、信用貨幣システムで最も重要なことは、すべてが信用サイクルの傾向に左右されるという事実です。現在、現在の信用サイクルの傾向は逆モードになっています。政府は、以前のように罰を受けずに借金して紙幣を印刷することはできません。政府は今、借金

と紙幣の印刷の乱痴気騒ぎの代償を払わなければならない時代に入りつつあります。だからこそ、ECB、日銀、FRBは、信用サイクルの傾向により逆方向に切り替えざるを得なくなったため、印刷速度を落とすと発表しました。そのため、ECBは、毎月の債務購入を800億から400億に減らさざるを得ません。ユーロの下落とともに。

経済が崩壊するのは、債務返済コストが長期間にわたって所得よりも速く増加した場合です。約 50 年以上です。これは通常の債務不履行サイクルではありません。これはまったく異なります。債務は他の債務の山の上に積み重なるため、債務が混乱を助長します。債務返済コストが経済よりも速く増加し始めると、累積した債務の合計は決して減らなくなります。遅かれ早かれ、債務は指数関数的に増加し始め、所得よりもはるかに速くなります。そして、それは単純に管理できなくなります。そして、それが信用サイクルの傾向が逆転し、危機が襲うときです。

債務逆転は、債務負担を「通常の」方法では減らすことができないという特徴がある。通常のサイクルでは、負債の削減によって債務負担が軽減される。そして、それは債務の返済による支出の削減、または債権者間で資産が再分配される債務不履行、およびデフレスパイラルを防ぐための通貨供給量の増加の組み合わせによって起こる。しかし、今日のように、このような状況になると、「通常の」対策はもはや機能しなくなる。たとえば、緊縮財政は経済成長の大幅な低下を引き起こし、支出は鈍化し、債務削減よりも速いペースで経済が衰退する。債務は社会全体でますます重くのしかかり始め、絶望、憂鬱、暴力、そして最終的には革命につながる。

負債は信用コインの裏表に過ぎません。負債が悪化すると、信用は消えます。そして、大量の信用貨幣を生み出したシステムが逆転し、国の貨幣供給が破壊されます。

マネーサプライ、つまり実際に利用可能な信用の供給は、突然かつ劇的に減少するだろう。そして、本来なら小規模で定期的な経済後

退となるはずだったものが、世界的に壊滅的なパニックに発展するだろう。

皆さん、手遅れになる前に目を覚ましてください！ この金銭システムに参加することで、あなた方は知らないうちに自分自身の監獄を築いているのです！

世界的な通貨リセット:

政府が民間銀行や財務省に人々の労働力や天然資源に裏付けられた紙幣の印刷を許可すると、彼らは狂ったようにどんどん紙幣を印刷し、労働力や天然資源の価値が「インフレ」と呼ばれる高水準に達するまで紙幣の価値は下がり、崩壊して再評価（RV）しなければならなくなります。ここで、グローバル通貨リセット（GCR）を適用する必要があります。今回は、信頼を生み出すために**価値に裏付けられます**。

しかし、金融機関は「インフレ」を、余分な「流動性」を供給することで経済を「成長」させるための資金源となる必要悪として推進しています。これは、人々が苦勞して稼いだ富を**盗むことに他なりません**。

誠実さを取り戻す:

政治と銀行業界が将来的に誠実に前進するためには、政治家と銀行家は不正行為で犯罪者とされなければなりません。超富裕層の犯罪者に対しても、法律が**彼らに適用されなければなりません**。金で買収できない法執行機関です。他人の犠牲で私腹を肥やし、金儲けのためだけに法律を破り、罪のない人々を騙す政治家と銀行家は、懲役刑で起訴されなければなりません。彼らの道德文化を変えるのに、上級管理職を刑務所に送り、違法行為で得た利益をすべて返済させることほど効果的なことはありません。

私たちの社会の劣化を示すために、このプロセスに関与し、貢献した有名人の例を見てみましょう。まずは第二次世界大戦と、ドイツ貴族に生まれたオランダのベルンハルト王子が果たした役割から始めましょう。彼は大学でナチ党に入党し、その後SSに入党しました。オランダ王室と結婚すると、戦争が始まる直前に黒いSSの制服を脱ぎ捨てました。その後、彼の古いナチスの友人たちは、彼が新たに移住したオランダを1940年代に侵略しました。

1940年、彼はオランダ女王ウィルヘルミナとともにイギリスに逃れ、妻のユリアナ王女は子供たちとともにカナダに避難した。 - 元SS将校で、海軍本部の戦時スパイ長イアン・フレミング (MI5) はベルンハルトを精査し、**信頼できる**オランダの連絡将校としてイギリス軍に採用した。[これらの重要な詳細については、こちらをご覧ください。](#)

同じベルナル王子は、1954年にオランダのアーネム郊外オーステルベークで秘密のビルダーバーググループの発足式を主催しました。この最初の会議はローマ条約の調印につながり、3年後に欧州経済共同体 (EEC) が発足しました。 - RKMに触発された人々の自由を段階的に没収し、世界を支配するというすべてのアイデアは、これらの[ビルダーバーググループで完全に秘密裏に作成されています。](#) 会議。[この20分のビデオ](#)で最新の決定について詳しく学びましょう。元 BBC ジャーナリストでビルダーバーグ専門家のトニー・ゴスリングがわかりやすく解説します。

私たちが生きる嘘：

[真実を暴露する](#) 私たちの世界について。幸せに、そして人生を楽しんでください。良くも悪くも、**私たちの世代が地球の未来を決定します。**

人々は、世界通貨制度の終焉を目の当たりにする、特別な時代に生きています。今日の犯罪制度に信頼や信仰を持たないでください。

私たちは将来の世代のためにより良い世界を望んでいます。

偽のお金はあなたの経済的な幸福にとって最大の脅威です。

目覚めた人々は変化を求めています。大衆の意識の下には、もはや当局を信用しないという強い流れがあります。彼らは、これまで約束されたよりももっと根本的な変化を望んでいます。通貨の継続的な価値低下は、金と銀の価格の上昇を確実にし、さらに、紙の金市場の崩壊はいつでも起こり得ます。これが起こると、物理的な市場で均衡が達成されるまで、物理的な金はいかなる価格でも入手できなくなります。これは、あなたの経済的な幸福にとって最大の脅威となるでしょう。

日本は完全に破産し、中国は大きな債務問題を抱え、欧州の銀行システムは現在の形では存続しそうにない。英国のEU離脱が始まったことはイタリアのEU離脱で続き、他の欧州諸国に伝染病として広がる可能性が高い。この津波は勢いを増している。米国と同様に、多くの欧州人は、責任を負わず選挙で選ばれていないこのエリートが引き起こしている憤りをほとんど理解せずに5億人の国民を支配するブリュッセルのエリートにうんざりしている。

偽の通貨システムは、世界にこれまで欠けていた2つのものを与えた。信用力の高い米国の消費者からの膨大な需要と、同じ源泉からの膨大な資本供給である。

金融業界は、中央銀行の偽のお金を貸すことでこのバブルを作り出した。誰も稼いだり貯めたりしたことのないお金を、借りる資格のない人々に貸し付け、彼らが買えないほど高額な住宅を購入できるようにしたのだ。そして、必然的にバブルが崩壊した後、内部関係者は、自分たちが引き起こしたバブルによって大幅に値引きされた住宅を購入した。

それにもかかわらず、修正は発動された。中央銀行は数ラウンドの量的緩和融資を実施し、金利を抑制し、セクターが完全に再膨張す

るまで金利を低く抑えた。これを大局的に見ると、ケース・シラー住宅価格指数は、住宅価格が過去6年間で約30%上昇したことを示す。

金融抑圧：

自由市場とはまったく逆のことです。世界の負債は25年間で10倍以上に膨れ上がり、金利はゼロまたはマイナスになっています。これは世界史上かつてないほどの**金融抑圧**または金融操作です。これは自由市場の力を完全に破壊し、したがって、来たるべき金融ハルマゲドンの種をまきます。



世界の政府債務と負債の額は数百兆ドルに上り、金利が実質的にゼロパーセントであるにもかかわらず、急速に増加しており、将来の世代はこの債務を返済する能力も、返済する意思も、返済義務もありません。この債務はすべて**不履行にすべきです**。これは、政府にこれらの破壊的な行動をとるために資金を貸し付ける愚かな、または非倫理的な人々を罰するためです。

彼らが裁きを受けなければ、政府は頑固にトランプのトランプのカードを支え続け、さらに高く積み上げ、複利で破滅的な結果を将来に先送りすることになる。その間、中央銀行はシステムが崩壊するのを防ぐために紙幣を増刷せざるを得なくなる。これにより紙幣の価値は大幅に下がり、**最終的には紙幣の本来の価値であるゼロへの下落が加速し**、ついには**政府が国民から盗む能力がなくなる**。

中央銀行家は経済の歪みを引き起こす：

本質的に、中央銀行家は経済の有害な歪みのほとんどの主因です。無制限の紙幣発行、金利操作、好況と不況のサイクル、救済基金による「大きすぎて潰せない」機関の支援、現金戦争、金融業界の縁故主義、マイナス金利など、ほんの一例です。**中央銀行家は人々の**

経済的幸福に対する最大の脅威です。 彼らは火遊びをしており、故意に通貨の大惨事を引き起こしています。

残念なことに、ほとんどの人は実際に何が起きているのか全く知らず、通貨が暴落したときに何をすべきか分からない。しかし、不正なシステムに気づき始めた多くの人は、残念ながら、どのように備えればよいかを知らない。

需要と供給の自然法則が妨害されると、必ず深刻な結果がもたらされます。一つ確かなことは、**現在の金融システムは持続不可能な原則に基づいているため存続できない**ということです。このようなシステムでは健全な通貨は存在しません。また、近い将来、すべての通貨がゼロに向かって動きを終えるにつれ、唯一の真の通貨である金と銀が世界経済の誤った管理を反映し続けることも確かです。

中央銀行は市場を厳しく管理し、介入を通じて市場への継続的な影響力を行使しようと努めてきたが、中央銀行が市場を永久に管理することはできない。 - 市場は常に、どの中央銀行よりも、あるいは共同で行動する中央銀行のグループよりも大きい。これは、2008年にすでに起きており、さまざまな市場が数か月にわたって崩壊し、リーマンの破綻とそれに続く大混乱につながった。大きな勝者は貴金属になると予想される。

金本位制の復活:

西側諸国の中央銀行のフランチャイズ制度は完全に破綻しており、完全に支払い不能で、完全に腐敗している。金本位制の復活を呼びかけている。それが、正直なお金への回帰によって長期的な経済問題を解決する唯一の方法だからだ。金融システム全体が負債ベースの通貨システムの上に構築されている。負債飽和のプロセスは完全に進行している。中央銀行家たちは過去 5 年間、すべての国家債務をカバーし、バランスシートを破滅に導いた。

本質的に、金の価値は上がりません。金はお金としての機能を果たします。何千年もの間、**安定した価値を表しています。覚えておいてください。お金は時間が経ってもその価値を維持するはずで**す。

お金と呼んでいる通貨がお金とはまったく関係がないことに気づいている人はほとんどいません。紙幣はすべて一時的なもので、本来の価値であるゼロに戻ります。これは、無謀な政府が、国民をなだめて票を買おうと、無限の不換紙幣を印刷したり借り入れたりして権力を維持しているためです。不換紙幣は、その名前が示すように、本当のお金にはなりません。法令によって発行され、負債と債務以外の何にも裏付けられていません。

シンプルな解決策：

最も簡単な解決策は、すべての中央銀行を直ちに廃止することです。なぜなら、中央銀行は、お金が決してお金のままではなく、常に印刷された紙の価値に戻る主な理由だからです。

世界は、金が最終的に世界中の通貨を支える道を切り開く金融環境にあります。ドル、ポンド、ユーロ、円、元、すべての紙幣は深刻な問題を抱えています。

公式の金融政策は、ほぼすべての西側諸国の大手銀行の破綻を防ぐことにしか成功していない。これらの銀行はすべて支払い不能であり、そのほとんどは数千億ドルの麻薬マネーロンダリングによって支えられている。

東側の超大国は、米ドルを基盤とした金融システムを脇に置き、孤立させ、脇に迫りやり、新しいシステムを整えるキャンペーンを主導している。金を基盤としたシステムは、通貨、国債、送金システム、グローバルオフィス、債務格付け機関、さらにはデビットカードまで完備することになる。東側は進行中の世界的金融危機の解決策として金本

位制を導入しようと努めているが、西側は意図的に解決に向けて動いていない。

金本位制の導入により、米ドルおよびユーロ建ての有毒な債券のほとんどすべてが無効になる。量的緩和はTBTF銀行に時間を稼いだかもしれないが、同時に経済への致命的な打撃と、債務の大部分の債務不履行を保証した。現在のシステムでは、正常に戻る兆しは決して得られない。これが、ハザール人がただ1つの目的、つまり権力を維持するためだけに、熱心に戦争を推し進めている理由である。

人類は自らの未来をコントロールする：

人類が自らの経済的将来をコントロールできるようになれば、つまりお金の創造と分配のプロセスをコントロールできるようになれば、数十年ではなく数か月以内に、貧困を終わらせ、環境破壊を止めるために何兆ドルもの資金を利用できることになるだろう。

中国政府筋によると、トランプ大統領の顧問らはすでに中国に対し、米国は中国主導のアジアインフラ投資銀行への参加を検討していると伝えている。米国はまた、中国軍が保有する金塊を外貨と交換する協定についても交渉中だ。

トランプは、陰謀団に買収されたり妥協されたりすることはなく、地球上のすべての人々の前に立ってそう言う用意があったため、陰謀団にとって着実に明白かつ差し迫った危険となってきた。本質的に、彼はJFK以来、陰謀団に支配されていない最初の大統領である。

フラッシュが来ます：

金に裏付けられた通貨システムがすぐに導入されない場合、できれば 2017 年から導入されなければ、前の章 47 で説明したように、デフレ、インフレ、スタグフレーション、そして最終的にはハイパーインフレが起こります。これらはゆっくりと始まり、その後急速

に加速し、最終的に印刷されたお金が完全に無価値になるまで続きます。ハイパーインフレは主に商品とサービスに影響します。実質的には、信用バブルによって資金調達されたすべての資産がデフレになります。

同時に、債務は崩壊し、銀行は債務不履行に陥ります。その後、ハイパーインフレは完全なデフレ崩壊に変わり、すべての価格が通貨供給とともに下落します。これは世界にとって本当に壊滅的な時期です。一定期間、お金がなくなり、ほとんどの人が物々交換やコミュニティ通貨に戻らざるを得なくなります。第 31 章で説明されているように、**現金禁止をコミュニティ通貨に変えることが答えです**

ハイパーインフレ期には、金はワイマール共和国時代のような紙幣換算で想像を絶する水準に達する。ハイパーインフレが終了し、デフレの崩壊が始まると、金は目もくらむような高値から下落する。しかし、多くの国で紙幣のない期間が長引く可能性が高いため、金と銀が唯一の実質的な通貨となり、急速に下落する価格に対して極めて高い価値に達するだろう。これを大局的に見ると、今日のベネズエラのハイパーインフレ期では、1オンスの銀貨で4人家族の3か月分の食料が買える。

金と銀は、富を守り、紙幣と金融システムの崩壊に備える最良の方法です。ハイパーインフレなしで金が 10,000 ドルに達した場合、銀の価格は 665 ドルから 1,000 ドルになります。現在銀が 17 ドルであることを考えると、これはまったく非現実的な価格レベルかもしれませんが、実現する可能性は十分にあります。特に銀は希少性が高いため興味深いものです。

生産された金はすべて、何らかの形でまだ存在しています。銀の場合はそうではありません。世界中に、大きな銀の在庫はありません。生産された銀の約 60% は消費され、残りは銀製品、宝飾品、投

資に回されます。一般的に、メキシコを除いて、中央銀行は銀の備蓄を保有していません。世界の銀の年間生産量は 27,000 トンで、17 ドルでは 150 億ドルにしか相当しません。金鉱山の年間生産量はその数百倍です。

連邦準備制度理事会はトランプ氏を阻止するために経済を妨害している：

連邦準備銀行は現在、内部関係者の面倒を見ている。所有者は自由貿易協定と、制御されていない不法移民から得られる利益の背後にいる頭脳だ。トランプはこれらの国家を滅ぼす政策を撤回すると約束したため、トランプは公敵ナンバー1となった。そして今、連邦準備銀行はアメリカ経済の残りを破壊している。彼らは国民を奴隷状態にしておくために全力を尽くしている。 最後まで。

偽のお金の利子があなたの自由を奪っています。

偽りの不正経済：経済はもはや教育、勤勉、自由市場の原則、つまり真の自由市場が課す価格設定と説明責任に基づいていません。その代わりに、経済は価格操作、商品の投機的管理、ワシントンの傀儡国家によるドル支援、操作され偽造された公式統計、金融メディアによるプロパガンダ、そしてロシアや中国など、米ドル決済システムによって経済的にも政治的にも直接被害を受けている国々の無活動に基づいています。

窃盗と搾取による権力と富：

「隠れた権力者」は、世界の金融システムを支配するロスチャイルド家に代わって政策や出来事を指示し、窃盗と搾取によって権力と富を蓄積してきた。彼らのシステム全体は巨大な詐欺に基づいている。 なぜなら、人々が認識しているようなお金は存在しないからです。あなたが稼いだお金は、何の裏付けもありません。その価値は、人々がそのお金があると信じ込むことができる価値だけです。それらは価値のない紙切れや金属貨幣、あるいは人々が真剣に受け

止めるように騙されているコンピューター画面上の数字です。お金は、お金からの「信用」と呼ばれるものを通じて流通し、それが支持されている信念です。銀行は何も貸し出していませんが、人々は借りるために大金を払っています。

ロスチャイルド家は数世紀にわたって銀行と政府を支配し、金融システムの法律を定めることができ、第 21 章で説明されているように「**部分準備金貸付**」を導入しました。これにより、銀行は預金の 10 倍を貸し出すことができます。言い換えると、銀行は持っていない、存在しない「お金」を貸し出し、そのお金に利息を課しているのです。つまり、銀行システムは素晴らしいビジネスであり、銀行は持っていないお金を貸し出し、借り手に利息を課しているのです。これはマイヤー・アムシェル・ロスチャイルドによって発明されました。

ロスチャイルド氏は政府や個人に約束手形（価値がない）を貸し付けた。経済が好調になると、彼はシステムの管理を強化し、契約義務を通じて担保を徴収することで、お金を希少にした。彼らの決定により、このサイクルが繰り返された。最近のシリアとウクライナのように、圧力をかけて戦争を勃発させた。そして、彼らは通貨の入手可能性をコントロールして、どちらの側が戦争に勝つかを決定する。彼らに経済システムのコントロールを与えることに同意した政府は支援される。回収は、債務者の敵に対する経済援助、つまり利息のつく偽のお金を貸すことによって保証される。

この経済的手法から得られる利益はロスチャイルド家をさらに裕福にした。彼らは、国民の貪欲さが政府の命令により貴金属による裏付けの限度を超えて通貨を印刷することを許し、商品やサービスの生産を膨らませて GDP を成長させることを発見した。

銀行はお金は作りますが、ローンに対する利息は作りません

。

お金の利子について理解すべきもう一つの重要な側面があります。ローンを組むと、銀行はお金を作りますが、ローンの返済に必要な利子は作りません。したがって、作り出されたお金には利子として支払うべき金額は含まれていません。つまり、すべての未払いローンと利子を返済するのに十分なお金が流通していないということです。これは人間の自由に関する致命的な欠陥であり、銀行に有利な破産や財産や所有物の喪失がシステムに組み込まれるように意図的に行われています。



これらはすべて、人々の富とエネルギーをロスチャイルド家の方向に流すエネルギー構造の一部です。莫大な額の納税者のお金が、政府が無利子で自ら作り出すことができたお金の利息を返済するために、民間銀行に直接流れます。

「民営化」とは、銀行が作り出した負債への対応として国有資産を売却することです。世界の最貧国は、自分たちをこの状況に陥れるために特別に組まれた融資を返済できず、土地と資源の管理権をロスチャイルド銀行に引き渡しています。第三世界の負債は、資源が豊富な国や戦略的に重要な国の物理的な占領を、今日の金融占領に置き換えるために作り出されました。

ロスチャイルドのやり方はいつも同じです。混乱を引き起こすこと、できれば戦争という形で引き起こすこと。これが彼らにとって最も利益になります。彼らの目的は政府と国民に大きな頭痛の種を作ることです。次のステップは混乱を終わらせるための「解決策を提示する」ことです。彼らの解決策には必ず「救済」の費用の一部としてさらなる支配権を得ることが含まれます。

簡単に言えば、標準的な方法は、問題を作り出し、反応を待ち、そして最初に思い描いた通りに実行できる解決策を提示することです。

。同じ理由で、9/11 とそれに続く対テロ戦争は、人々の移動を制御し、アフガニスタンとイラクで戦争を開始することだけを目的とした内務省を設立するために作られました。

今日の世界的な経済危機もこれと同じ方法で生み出されています。1950 年の CFR の秘密文書から引用します。

「人々が好むと好まざるとにかかわらず、我々は世界政府を持つことになる。唯一の問題は、世界政府が征服によって達成されるのか、それとも合意によって達成されるのかということだ。」

後に虚偽であると非難された議定書の内容の要約:

- 彼らはユダヤ人の世界支配を狙う秘密の陰謀を描いている。
- 彼らは、異邦人の世界を単一の政府の下に置き、すべての敵対する国家、政府、宗教、経済体制を排除することを説明しています。
- 世界の実際の支配 - 暴力、既存のシステム（インターネット?）の巧妙な妨害による準備。議定書では、大衆が奴隷化を歓迎することの重要性と必要性が強調されています。

実施者:

- ローンや金貸しを利用して国家を破産させ、支配する。
- マスメディアを利用して大衆の心をコントロールする。
- 不和、戦争、経済不況を人為的に作り出す。 政府の樹立。

議定書は、陰謀の指令の実行と、彼らが自由に使える莫大な金の隠し場所について言及している。この金は世界中の人々のものである

。議定書はまた、秘密作戦の表向きの表向きの組織としてフリーメイソンなどの秘密結社を持つイエズス会についても言及している。

一般大衆が理解していないのは、作り出された問題の背後にひそかに潜む勢力が、解決策を提案する同じ勢力であり、それがたまたま権力と支配の集中化という議題を推進しているということだ。リンカーンとケネディを除くすべての大統領は、両名とも在任中に殺害されたが、最終的にはこの秘密結社の支配下にあった。彼らの命令に従わなかったとき、望まれた権力交代のための致命的な事故が起きた。たとえば、中央銀行の総裁全員と同様に、最終的にブッシュとオバマを支配したのは同じ人々であり、つまりワシントン DC とブリュッセルのフロントマンが誰であるかは問題ではない。

世界経済は偽札の発行によってコントロールされている。

信用を通じて通貨の発行をコントロールすることで、ロスチャイルド家は世界経済全体をコントロールしています。彼らは意のままに経済を拡大することも崩壊させることもできます。2008年に始まった不況は、中央集権化された世界金融の計画を推進し、長い間計画されていた世界中央銀行を導入するためのロスチャイルド家によるもう一つの創造物です。彼らは何世紀にもわたって好況と不況を仕組んで目的を達成してきました。お金の利子を受け取り、通貨の発行をコントロールすれば、簡単に実行できます。好況と不況の違いは、流通しているお金の量とその認識された価値です。彼らはその両方を指示します。銀行と政府をコントロールすることで、どれだけのお金が発行され流通するかを決定します。信用を容易にすることで好況を刺激すると、流通するお金が増え、景気が良いときに国民が多額の負債を抱えるよう刺激されます。その後、お金を流通から引き下げる口実を見つけ、信用を得にくくすることで経済が崩壊します。

企業や国民は、経済活動を生み出すのに十分なお金が流通していないため、ローンを返済できず、ローンを組んだときに差し出された

担保をすべて差し押さえて、ロスチャイルド家が利益を得る。これにより、企業数は劇的に減少する。ロスチャイルド家が所有する製品や市場は、世界経済の権力をさらに集中化するために、ロスチャイルド家によって乗っ取られる。政府でも同じことが起き、不況で政府の歳入が激減すると、支出を維持するためにさらにローンを求めるが、ロスチャイルド家による政府の支配は拡大し続ける。

実際のところ、少なくとも、米国、英国、EUを含む多くの政府は、それぞれ1930年代から、EUの発足以来、陰謀団に対して破産状態にあります。

最近の好景気と不景気、それに続く2008年の金融危機とその後の信用収縮は、すべてロスチャイルド家とその取り巻きであるグリーンズパン、バーナンキ、イエレンらの仕業である。ロスチャイルド家は、1929年金融危機や1930年代の大恐慌を含め、何百年にもわたってこうしたサイクルを仕組んできた。

ほとんどの経済学者は、実際に何が起きているのか全く分かっておらず、好況と不況はすべて経済サイクルの一部であると主張していますが、それは違います。これは、人々から本当の富を盗むための純粋に組織的な操作です。

プリンストン大学とノースウェスタン大学の研究は、確かにエリート集団がこのショーを運営しているという上記の証拠の正しさを証明しています。

「寡頭政治とは、権力が支配階級に与えられ、少数のグループが一般大衆を支配する政治形態である。米国政府は国民の大多数の利益ではなく、富裕層や権力者（陰謀団）の利益を代表していると結論づけられた。得られたデータは、経済エリートが米国の政策を決定していることを実証的に証明している。…経済エリートやビジネス利益を代表する組織グループは、米国政府の政策にかなりの独立した影

響力を持っているが、大衆ベースの利益団体や一般市民は独立した影響力をほとんど、あるいは全く持っていない」と査読済みの研究は述べている。

今日の偽のお金は何も無いところから作られています、金は本物のお金です。

世界の通貨システムは、存在しないものからお金を作り出し、それを利子と引き換えに人々、政府、企業に貸し出すことに基づいています。借金から作り出されたお金は、実際には「借金のお金」ですが、**借金はお金の請求権の反対であり、したがって偽のお金です。**借金が魔法のように富になると、すべての国民はRKマフィアが支配する銀行の借金奴隷になります。銀行だけがバランスシートに負債を資産として保有する法的権利を持ち、一般の人々は負債を義務的な負債として保有します。

これに不可欠なのは、銀行家が持っていないお金を貸せるようにすることです。100万ユーロを持っているなら、100万ユーロを貸すことができます。非常に簡単です。しかし、銀行が100万ユーロを持っている場合、その10倍以上の金額を貸し出し、そのすべてに利息を請求することができます。しかし、銀行に預金している人々のほんの一部がお金を引き出した場合、銀行はお金がないため、1時間以内にドアを閉めてしまいます。

銀行にお金があるというのは神話だ。

銀行に融資を申し込むと、銀行は新しい紙幣を一枚も印刷しません。単にローンの金額をあなたの口座に入力するだけです。その瞬間から、あなたはスクリーンに入力された数字にすぎないものに利息を銀行に支払うことになります。しかし、その**存在しないローン**を返済できなかった場合、銀行はローンの推定価値、つまりスクリーンに入力された数字に応じて、あなたの実在する財産、家、土地、車、その他の所有物を合法的に没収することができます。

民間銀行によって流通しており、多くの人が考えるように政府によって流通しているわけではありません。融資が多ければ多いほど、流通するお金も多くなります。RKマフィアが支配する民間の中央銀行は、流通するお金の量をコントロールしています。そして、それが好況と不況の違いを生み出します。流通するお金の量を決め、経済の好況（繁栄）と経済の不況（貧困）を決めるのは民間人です。流通するお金の量を通じて、彼らは好況や不況を意のままに促進します。

株式市場も同様で、暴落はただ起こるのではなく、起こるように仕向けられるのです。すべては、世界の本当の富を盗むための RK マフィアによる組織的な操作です。好景気のときには、さらに多くの人々が借金に誘われ、そして最も好機に、秘密裏に活動するマフィアの協力を得て、大手銀行家たちが金利を上げたり下げたりし、未払いのローンを回収し始めます。

政府は独自の「無利子」通貨を発行できる。

なぜ彼らはそうしないのでしょうか？ RKマフィアは銀行を支配しているのと同じくらい政府を支配しています。大統領は選挙で選ばれるのではなく、西側諸国の政府すべてを支配し、アジェンダ21を遂行するために彼らによって選ばれます。

結論：世界の銀行システム全体が操作された**詐欺**です。だからこそ、金、プラチナ、銀など、誰の責任でもないお金を所有することが不可欠なのです。

お金の定義：

人々が「お金」という言葉を明確かつ迅速に定義できない場合、それは彼らがお金の意味を理解していない証拠です。

お金の正しい定義は、一般的に、**価値の保存手段として機能し、交換の媒体となる手段**です。



今日の通貨はすべて負債である。なぜなら、発行者によって何にも償還できないし、発行量にも制限がないからだ。政府の「善意と信用に反する」漠然とした主張を、善意を装って行うだけだ。目的は国民から税金を強奪することであり、彼らの**信仰の宣言のもと、彼らはインフレによって通貨を破壊し、信用を破壊し、最終的には文字通りゼロにする力を持っている。**

インフレの影響を示すために、1933 年、米ドルの金の価値は 1.5 グラムでした。今日、米ドルの価値はわずか 2.5 グラムの金です。自己満足に浸る金融の達人たちは、彼らの知的構築物である、償還不可能な通貨である米ドルの価値が 1000 分の 1 グラム、さらには 10000 分の 1 グラムまで下落するのを阻止しようと奮闘しています。

すべての信用は借金につながります。給料、賃金、さらには資本利得も、すでに稼いだ富の一種です。しかし、信用は稼いだお金と同じではありません。つまり、借金は、まだ稼がなければならないお金に対する請求権です。 - 借金は、第 26 章で説明したように、返済しなければなりません。

政府はインフレを通じて国民に密かに課税する。

今日の紙幣は負債通貨であるが、負債は通貨の反対語であるため、それ自体は不可能である。しかし、負債通貨は、インフレを通じて政府が国民に間接的に密かに課税するための優れた手段である。これが、中央銀行が紙幣を好む理由の 1 つであるが、ジョン・メイ

ナード・ケインズの理論のような偽りの経済理論も、政府が経済に介入できるだけでなく介入すべきであり、そのための手段をもって紙幣を印刷する能力を持っていると主張する理由でもある。

「金利をゼロパーセントに下げ、さらにマイナス領域にまで下げ、私が「量的偽造」と呼ぶものの量を継続的に増やし、最終的に良い結末を期待することはできません。それは不可能です。」とマイケルは言う。 [ペント](#)。



不足しているのは資本であってお金ではない。

中央銀行家、経済学者、ビジネスマンは、お金を「資本」という言葉と互換的に使っているが、これは根本的な誤りである。**資本はお金ではない。前者は希少で後者は無限である。資本は貯蓄から生まれ、時間選好のインフレを伴う低金利政策は貯蓄ではなく支出を奨励してきた。その結果、希少な資本はますます不足しています。ビジネスを成長させるには、資本と労働が主な構成要素です。**

いつか、資本の価格がその根底にある希少性を反映する日が来るでしょうが、それまでの間、企業は資本要件について非常に慎重に考え、人為的に安価な「資本と呼ばれる負債資金」に依存して生き残るための資金に対してますます警戒を強めています。

実際のところ、金地金は存在する資本の中で最も古く、最も純粋なものです。

明らかに、真に創出された資本は経済を刺激するために必要です。しかし、信用を創出する金融緩和プログラムではそうではありません。金融緩和プログラムは、システムを操作して、この金融緩和が実際の資本と同等であると見なされるようにし、その代わりに資産

価格を急騰させます。詳細は、第 25 章「マネー対資本」で説明されています。

法定通貨：

今日の世界では、世界中の人々が紙幣がお金であることを当然のこととして受け入れているだけでなく、そうあるべきだとも考えています。しかし、それはまったくナンセンスです。過去のすべての紙幣システムが崩壊したように、現在のシステムが崩壊した後は、何らかの形のお金がそれにとって代わる必要がありますが、それはほぼ間違いなく金に裏付けられるでしょう。

今日の紙幣は不換紙幣と呼ばれています。不換紙幣には本質的な価値はなく、何にも交換できませんが、交換しなければ政府が投獄するため、広く受け入れられています。これは強制的に実現された不換紙幣であり、紙幣を受け取る人々が認識する実際の価値ではありません。通貨は政府がお金の代わりに使うものです。しかし、金は本当のお金です。

お金の特徴は、単に価値を保管する交換手段であるということです。

実際、価値のあるものはほとんど何でもお金として使えますが、明らかに、あるものは他のものよりもうまく機能します。人々が欲しくないものを交換するのは難しく、他のものは価値をあまり保持しません。何千年もの間、貴金属である金と銀は最高のお金の形態として登場してきました。

- お金の特徴は次のとおりです。
- 耐久性
- 割り切れる
- ポータビリティ
- 均一

- 本質的に価値がある
- 供給量が限られているため、何も無いところから作り出すことは不可能である
- 幅広い受容性

により、価値を保管し、交換能力を最大化する最適な手段を模索する市場プロセスの単純な結果として、**金は通貨として広く受け入れられるようになりました。**

金貨には、他にも多くの利点があります。金貨は、紙幣とは異なり、シリアル番号さえ付いていません。そのため、追跡は完全に不可能です。現在の価格では、100 ユーロ紙幣であっても、現金よりも持ち運びが簡単です。金貨は、紙幣のように薬物の痕跡が残らないため、恣意的に没収される可能性が低くなります。タングステンファイラーなどを使用して金の延べ棒を偽造する試みは行われてきましたが、金貨は紙幣よりも真贋判定がはるかに簡単です。

多くの文化には金との長い歴史があり、警察国家を営むさまざまな国の最近の歴史からも、人々は金の価値を理解しています。現在、一般の人々が金の最大の購入者ではありますが、政府や中央銀行も金を蓄積しています。

金は、まもなく多くの人々にとって好ましい交換手段になると予想されています。早期導入者には、麻薬、武器、その他の処方薬のディーラーが含まれます。これらの人々はセキュリティに非常に敏感です。政府の監視を逃れてビジネスを行いたいだけのあらゆる種類の人々が彼らに加わるでしょう。

金の通貨としての強さ：

そして現在、第 31 章で説明したように、キャッシュレス社会では、デビットカード、クレジットカード、その他の電子送金手段が政府によって徐々に廃止されつつあります。

政府は、明らかな理由から、こうした交換形態を好みます。したがって、紙幣が手に入らなくなったとき、人々は私的な取引方法を必要とするでしょう。現金の入手や使用が困難になるだけではありません。インフレが悪化するにつれて、人々は現金を保有したがるなくなるでしょう。

マネー マーケット ファンドには約 3 兆ドルの資金があり、その資金の 100% が銀行、企業、政府の短期債務に投資されています。債務は必ずしも返済されるとは限らないため、この点には十分注意する必要があります。ただし、ゴールド マネーは単に「存在する」だけです。この区別はほとんどすべての人に理解されていません。その 1 人にならないようにしてください。

ですから、金はお金であり、安全であり、優れた投機でもあるので、金を所有すべきです。金を現金として、法定通貨を単に一時的な流行の交換手段と考えると、ポートフォリオにさらに多くの金や金の代替品を詰め込むことになります。そうすれば、今後数年間で紙幣が直面する非常に急速な価値の低下から身を守ることができます。インフレは本当に制御不能になるでしょう。

今日の傲慢な中央銀行家たちは、間違いなく世界を経済的無力状態に陥れるだろう。しかし、彼らの誰かが「我々は間違っていた」と言うことは期待できない。

すべての資産が単なる約束に過ぎない世界では、金と銀は 5,000 年以上もの間行ってきたことと同じことをするでしょう。金と銀は何も約束しません。金と銀がお金であること以外には何も約束する必要がないからです。お金は、現在の信用システムが崩壊したときに実際の価値を持ち、新しいシステムが確立されるたびにさらに大きな実際の価値を持ちます。

金を所有できるのに、なぜ現金で悩むのでしょうか？

金に対する従来の批判は、保有するのが不便で費用がかかり、利回りも出ないというものだ。しかし、マイナス金利の世界では、この議論は現金にも当てはまるようになってきている。例えば、世界第2位の再保険会社は、マイナス金利を回避するために銀行から現金を引き出して自社の金庫に保管することを決定した。そうするなら、金を買ってはいかがだろうか。非常に弱い経済環境においては、金は最高の防御策である。

「人々は、紙幣をわざわざ保管し、かつては流動性が高く、間違いなく非常に安全だった銀行から預金を引き出し、自宅や銀行システムの外の金庫に保管する手間をかけるのであれば、金について考え始めるべきかもしれないと気づき始めている。」

経済価値よりも負債が多い:

政府は、2008年の金融問題が解決されたと信じ込ませたいようです。残念ながら、そうではありません。政府はさらなるバブルとさらなる負債を生み出しました。「大きすぎて潰せない」銀行を廃止する措置は、政治的な見せかけに過ぎず、実際には悪化しています。

世界経済は健全ではないようです。中国を見てください。中国が直面している逆風は、通貨切り下げで劇的にニュースの見出しを飾りました。フランスとドイツの経済はまったく成長していないか、予想よりはるかに低い成長です。

2008年の危機以来、国家経済全体の健全性を判断する上で重要な指標である「債務対GDP比率」は、米国では2006年の60%強から2016年には105%超に上昇し、他の地域でも同様に悪化し、現在も上昇中である。これは、不況が終わっておらず、債務の継続的な増加によって単に見えなくなっていたことを示している。

これは、西側諸国が経済的に破綻しており、支出を増やし、新たな負債を増やし、ドルやその他の通貨を急速にインフレさせ、債権者に同じものをさらに発行して、納税者にこれまで以上に大きな経済的負担を負わせる以外に世界を救う方法がないことを示しています。これは、世界が何年も陥っている悪循環であり、紙幣を印刷するたびに状況は悪化しています。**今日の世界の負債は、総経済価値を超えています。**

中央銀行家たちは、自分たちには意志がないこと、調整に対応できないこと、そして自らの評判をひどく恐れていることを何度も証明してきた。そのため、彼らは何度も介入してきた。複数回の利下げ、複数回にわたる量的緩和（QE）、そして国債、株式、ETFなどの資産のあからさまな操作的購入だ。 - 過去6年間で、どこからともなく現れたマネーサプライは400%増加したが、インフレは魔法のように存在せず、ほとんどの国で賃金の伸びはほとんどまたはまったく見られなかった。状況は、指導者たちが私たちに信じさせたいほどバラ色ではないことは**確かだ**。

「典型的には、人類の歴史を通じて、これらの指導者とその特別利益団体は、自分たちの利益のために権力を利用して価格を操作し、コントロールしようとしてきた。」

すべての市場は不正操作されている。ウォール街と大手銀行は中央銀行の買い入れプログラムを先行して実行した。利益が上がるからだ。しかし今や、中央銀行に頼る時代は終わったようだ。

量的緩和は非常に腐食性の高い金融政策です。

量的緩和は中央銀行による**極めて腐食的な金融政策**であり、実際には国債の購入を支援することのみを目的としています。これは紙幣印刷の別名です。ここ数か月で、主要中央銀行が独自に経済を維持するために行動し、地域的な動機で行動しているという証拠が増えてきました。

スイスはユーロの分離によって、すべての国が最終的に米国連銀との協調金融政策を破ることを確実なものにした。EUの経済は、債務増大を促す無駄な緊縮財政政策の実施により減速している。EUのGDPは悲惨で、ほぼ全域で目標予想を下回っている。EUの失業率は、現代でも依然として最悪の水準にある。

商品デフレが勢いを増している。そして忘れてはならないのは、デフレと多額の負債は爆発的な組み合わせだということだ。価格が下落すると、政府や企業の収入は減少する。さらに、収入が減ると、負債を維持することが突然はるかに困難になる可能性がある。

そして、その原因は中国にあるかもしれない。中央銀行と他の政府政策立案者は基本的に「株式市場の売り手」に対する経済戦争を開始した。彼らは金利を大幅に引き下げた。彼らは銀行の準備金要件を削減した。彼らはブローカーに数千億元を貸し付け、彼らに株式を買うように指示した。彼らは新規株式公開をすべて凍結して、新しい株式供給が市場に出回らないようにし、大企業の役員が株式を売却することを禁じた。

欧州中央銀行（ECB）のマリオ・ドラギ総裁のユーロQE実験さえも失敗している。今年初めのQE後のインフレ期待の急上昇は今や完全に後退している。10年国債市場に織り込まれたインフレ期待は5年ぶりの低水準に戻っている。連邦準備制度理事会（FRB）の専門家でさえ、QEは機能していないと認めている。

セントルイス連銀は最近、副総裁のステイーブン・ウィリアムソンが執筆した経済論文を発表したが、その論文には次のような非難の声が上がっている。

「私の知る限り、量的緩和とFRBの究極の目標であるインフレと実体経済活動との関連を確立した研究はない。」

同紙はさらに、量的緩和、いわゆる「政策フォワードガイダンス」、ゼロ金利政策はいずれも、米国、EU、スイス、日本、その他大規

模範量的緩和プログラムが導入されたあらゆる国でインフレや賃金を押し上げることに失敗していると述べている。

端的に言えば、市場介入は失敗に終わったというのが現実です。中央銀行への信頼は薄れつつありますが、それには十分な理由があります。**政策立案者でさえ、中央銀行が機能していないことを認めているのです。**

現在、世界の負債総額は世界の GDP の約 3 倍です。これをよりよく理解するには、年間収入の 3 倍の負債を抱え、その負債を担保する住宅などの実物資産がない場合、個人の財務状況がどのような状態になるかを比較して想像してみてください。

世界最大の債務保有国である中国は、主に米国とEUからの債務の流入を無期限に食い止めることはできない。

一時的に。これにより、世界の他の国々は非常に不安定な状況に陥ります。 - 中国、そしてさらに重要なことに、中国企業が債務不履行に陥り始めると、利子を支払う余裕がないため、これは避けられません。世界は経済的破綻に直面するでしょう。10年前に経験した危機とは異なり、これははるかに悪いものとなり、債務の多様性と規模が広範囲に及ぶことで悪化した、まったく新しい種類の経済崩壊が組み合わさったものになるでしょう。

このような経済崩壊は、社会全体の通貨および銀行システムが崩壊し始めたときにのみ起こる。

債務不履行。陰謀団はこのような崩壊を画策しており、今回は大恐慌に続いた1930年の崩壊よりもはるかにひどいものとなるだろう。

心配なことに、中央銀行は来たる不況に備えて金融政策の手段をほとんど、あるいは全く持っておらず、金利を引き下げる余地はほとんど、あるいは全くなく、バランスシートが膨張しているため、新たな債券購入ラウンドを開始することがより困難になるだろう。

何兆ドルもの紙幣を印刷する目的は、経済成長を生み出し、失業率を下げ、適度なインフレを刺激することだと主張された。結果は悲惨で、恐ろしく、効果がなかった。

しかし、大手銀行は中央銀行の餌場の最前線に立つことで記録的なボーナスを積み上げ、思いがけない利益を獲得した。 - 「富裕層1%」は歴史上最大の富の増加を享受し、政府はますます低い金利でより多くのお金を借り入れることができ、支出を増やすことができたが、そのすべては納税者に多大な負担を強いることになった。

紙幣の印刷は偽りの富の創出であり、バブルを引き起こします。そして、バブルが崩壊すると、答えなければならない疑問はただ一つ、「損失を誰が支払うのか」です。

貧しいギリシャ国民は、少数のフランスとドイツの銀行の失敗の代償を払う責任が自分たちにあることを今や悟りつつある。その直接的な結果として、ギリシャは空港、港、配電網、電話網を「民間投資家」（主に陰謀団と同盟を組んだ外国人）に奪われつつあり、彼らはギリシャ国民に残された最後の現金を生み出す資産を搾取している。

全世界が返済不可能な負債に溺れている。

この「次の危機」は世界的な出来事となるでしょう。簡単に逃れることはできません。前回の3つの選択肢は今回は機能しません。それは次の3つです。

2008年以来金利をゼロ近くに引き下げてきた低金利により、これ以上金利を引き下げる余地はなくなってしまった。

税金を削減して、消費者と企業の手元にもっと現金を回す。しかし、政府は収入より約5,000億ドル多く支出しており、税金を削減す

る立場にはない。そして、政府は貸し手に対して何兆ドルもの借金を抱えている。

民間部門からも債券を購入し、危機と戦うために経済にさらに多くの現金を注入することで、より多くのお金を「印刷」する、つまり量的緩和（QE）を行う。それが、停滞、インフレ、そして最終的にはハイパーインフレへの危険な動きとして、残された唯一の選択肢となるだろう。

全世界が、返済不能な巨額の負債に溺れています。債務者が債務不履行に陥っているため、この負債の所有者は清算できず、それはすべての負債保有者にとって損失を意味します。これらの負債保有者は、ドルやユーロなどの通貨で富を持っていると考えていますが、債務者が返済できないため、そのすべてが蒸発します。したがって、世界は価値のない紙幣に溺れることとなります。さらに、負債を返済するのに十分なお金が流通していません。発行されているのは負債のお金だけで、元本の利息を支払うお金はありません。読者が覚えているように、カバールは担保を没収するためにこれを意図的に行っています。

近い将来、今からそう遠くない時期に、2008～2009年の危機の再現が起こるでしょう。ただし、今回は債務がはるかに多いため、状況ははるかに悪くなります。公式の世界債務は今回 200 兆ドルを超えています。

これから何が起こるかを正確に予測することは困難です。しかし、事態がどの程度悪化するかを確実に知るには、債券市場を監視することです。投資家が国債を買い続ける限り、悲惨なことは起こりません。しかし、投資家が政府債務やその他の債務をいかなる価格でも保有することを拒否する瞬間が来るのを待ちましょう。銀行の回路外で金や銀を事前に保管しておかなければ、あなた自身が全滅することになります。

次の危機はもっとひどいものになるでしょう。前回、人々が現金を必要としていたときに銀行がほぼ閉鎖され、ATMがすでに停止されたときに起こりそうになった事態に人々は備えなければなりません。だからこそ、手元に現金があることを確認する必要があります。現地の紙幣が売りさばきを受けた直後の数日間と数週間は、流通している紙幣が十分ではないため、現金が非常に重要になります。

現在予想されるような銀行危機では、銀行は破産して機能停止に陥り、救済されることはない。救済するための資金が足りないからだ。さらに、部分準備銀行制度は人道に対する詐欺だ。銀行には、償還金のほんの一部をまかなうだけの現金さえないのだ。

そして覚えておいてください。これは証拠です。貴金属とは異なり、法定通貨は単なる価値のない紙幣ですが、銀行破綻直後には価値が高まります。

ATMのお金がなくなる：

そして人々がこれに気付いたとき、彼らの反応は銀行に行って、保持できるもの、つまり現金を手に入れることです。彼らは「自分の」お金が入っている銀行口座があると考え、ATMのお金がなくなる前に現金を引き出すためにATMに走ります。

しかし、国民の義務とニーズを満たす現金が不足しているため、すぐに資金が尽きる可能性が高い。西洋諸国はずっと前から信用に移行している。過去50年間の出来事はすべて信用貨幣の拡大であり、人々はそれを使用している。そして信用が止まると、経済全体が急停止する。

銀行にお金があることと、自分の現金を持っていることは同じではありません。現金を持っているということは、いわゆる信頼できないお金を持っているということです。つまり、そのお金で物を買うことができます。しかし、銀行に口座を持っているということは、あなたに支払われるべきお金は銀行が所有しているということです

。つまり、相手方リスクがあるということです。向こう側には誰かがいて、銀行の報告書やバランスシートを調べれば、銀行はどれも破産の危機に瀕しています。なぜなら、銀行は実体のない、もろいプロジェクトに多額の融資をしすぎているからです。

そして、住宅に担保として持っているお金や、企業合併や買収のために貸し付けたお金、**その資産はすべて消えてしまいます**。実質準備金がほとんどない銀行は突然、流動性を失います。流動性がなく破産する一方、あなたの銀行口座は現金ではないので、信用ポジションがあります。それは単に、破産した金融機関に対する債権者としてのポジションです。その結果、**お金がなくて大変なことになります**。

いつこれが起こるかは誰にも分かりませんが、もしこれが起こると、人々は貧困に陥るでしょう。もし人々がこのようなことが起こる可能性を十分に認識していれば、このようなことは起こらないでしょう。

しかし、こうした問題はほとんどの人にとって常に驚きです。来週、2週間後、来月、今年末、来年に起こる可能性があります。後戻りできない地点はとうの昔に過ぎているので、確実に起こるでしょう。

世界は借金がどんどん増えている状況にあります。2008年から2009年の危機に対する当局の対応は、すでに過剰債務によって引き起こされていた状況に、さらに借金を追加するというものでした。そのため、2008年の問題はまったく解決されませんでした。問題を先送りし、避けられない結果を先送りし、悪化させることで、問題はさらに悪化しました。これから起こるのは、2008年から2009年と似た危機ですが、借金のはるかに増え、解決策が残されていないため、はるかに悪い状況です。

世界的な金融危機の際には、人々は金や銀に群がる可能性が高く、価格が急騰するでしょう。たとえば、1970年から1980年までの10年間は、戦争、不況、非常に高いインフレが特徴でした。このため、1970年代は株式や債券にとってひどい10年間となりました。しかし、金の所有者にとっては素晴らしい10年間でした。人々が株式から貴金属に逃げたため、金はこの10年間で2,000%以上上昇しました。そのため、保険として金を購入することは理にかなっています。

返済不可能な債務と、どの政府も支払えない高金利の組み合わせは、世界の債券市場に絶対的なパニックを引き起こすだろう。もちろん、これは1970年代と同様に、金と銀にとって非常に有利となるだろう。

世界中の債券市場と資産市場は大きな打撃を受けるでしょう。問題は、債券市場が世界最大のバブルであり、この市場で大きなパニックが起こると予想されることです。貯蓄者が金と銀が必要であることに気付いた場合、実物の貴金属が不足し、価格がさらに高騰するでしょう。

これから起こることの予感:

ギリシャの銀行口座の凍結は、これから起こることのほんの一端に過ぎません。現在、政府高官と銀行システムは、壊滅的な金融ショックに対して必死の最後の抵抗を続けています。このショックは、ギリシャで起こっていることに比べれば、さほど大きなものではないでしょう。そして、それは人々の生活を、これまで考えられなかったような形で混乱させる可能性があります。突然、銀行口座がロックされ、現金を引き出したり小切手を預けたりできなくなります。株価は制御不能に大きく変動します。政府管理の支払いは停止します。

覚えておいてください。メディアの偽情報は、金融市場や商品市場を掌握して莫大な金銭的富を蓄積する世界の銀行や機関投資家の利

益にかなうものです。投機家を含む企業支配層は、政府間の連絡網をコントロールしています。一方、経済回復の必要条件として国民に提示された「銀行救済」は、人々の富のさらなる横領を促進し、正当化してきました。

ギリシャでは、銀行が閉鎖され、店の窓が割れ、店が空っぽになり、絶望する人々がいたるところで見られた。あなたの近所でもすぐに同じことが起こると想像してみしてほしい。最初は、何が起きているのか誰も本当にわからず、人々は当惑しながら辺りを見回し、貯蔵庫の食料はいつまで持つのか、この状況がすぐに解決されなければどうしたらいいのかと疑問に思う。なぜなら、政府の最高レベルと銀行システムが、システムの不穏な崩壊に対する最後の必死の抵抗で固まっているからだ。誰も、このような事態が起こる可能性を予想したり、考えたりしなかつただろう。

現金とクレジット:

現金と信用には大きな違いが 1 つあります。危機では信用が崩壊します。現金は、たとえ何の裏付けもない現金であっても、物理的で実体のある存在です。株式市場が半分に落ち込んだとしても、その紙切れは残ります。水や食料を買うのに、依然として使えます。

すぐに食料供給チェーンの弱い部分に広がり、都市部や郊外で大規模な不足を引き起こすだろう。ガソリンスタンドのネットワークにも同じことが起こり、高速道路は空になるだろう。そして、銀行から食料品店、政府まで、私たちが頼りにしているあらゆるサービスが一つずつ閉鎖されるだろう。したがって、ギリシャから得られる貴重な教訓は、**人々は手に持てないお金を信用すべきではないということだ。**

あなたができる最大限のことは、避けられない事態から自分自身と資産を守る方法を学ぶことです。

進行中の危機をより適切に表現すると、「世界通貨戦争」です。金を中心とした貿易や通貨制度を確立したい国は、ならず者国家とみなされ、過激なプロパガンダの対象となります。ロシアが非難されるのはまさにこのためです。ロシアは貿易や銀行業務で米ドルの使用をこれ以上望んでおらず、世界の準備通貨としての米ドルを廃止する世界的な運動を主導しているからです。

解決策は、貴金属が銀行、貿易、通貨、さらには富の保全の中核を形成することです。変化の代理人は24時間体制で働いています。米ドルは破滅の運命にあり、そのリーダーたちは命からがら逃げています。

解決の世界金融危機の解決策は金のルートであるため、[金本位制が復活するでしょう](#)。ユーラシア貿易圏は金のルート上に構築され、シルクロードが復活します。戦争でさえもそれを止めることはできません。安全な避難先は米ドルではなく、金と銀の延べ棒とコイン、つまり**実際のお金として定義されるものです**。

結局のところ、金価格の上昇の主な要因は、通貨を切り下げようとする世界的な競争です。世界中の政府は、低金利と紙幣の全面的な発行で必死に経済を刺激しようとしています。日本銀行は、長年のデフレとの闘いの一環として、毎月数兆円を印刷しています。欧州中央銀行も、停滞した経済を成長させるために、数十億枚の紙幣を印刷しています。金融緩和政策は、最終的にこれらの通貨を破壊するでしょう。本物のお金、つまり金と銀が勝者となるでしょう。金と銀の現物を所有することが、破壊的な金融政策から財産を守る最善の方法です。

プランジ保護チームの秘密とその市場介入:

最近の株式市場のボラティリティについて、多くの人がどう考えたらいいか疑問に思っている。犯人は、1988年にロナルド・レーガン政権下で大統領令12631に署名して設立された「[暴落防止チーム \(P](#)

PT)」で、市場の公認操作によって1987年の「ブラックマンデー」のような事態を防ごうとしている。PPTは、米国財務省全体を自由に利用し、デリバティブ（先物オプション）を通じて市場を操作し、財務省の裏にある公的資産を使って金、銀、通貨、株式などの商品の価格を操作している。

9/11 以降、少なくとも 3 回は長期にわたる株式市場の大上昇がありました。これらのすべての事例で、株式市場が開くと、すべての指数が急速に下落し始めました。いずれの場合も、午後の早い時間までに市場は崩壊の瀬戸際から回復し、誰もが驚きました。

同様に、紙の株が上昇する一方で貴金属と石油は下落し、PPT が不正操作を行っていることを示しているが、彼らは金属先物（デリバティブ）を大量に購入し、納税者の費用で貴金属の本来の価値に反する大きなギャンブル（デリバティブ）を購入することで、銀と金の指数に損失を生み出している。

PPT によるこうしたギャンブル介入は、金融現実が膨らんでいたにもかかわらず、毎回市場をうまく回復させてきました。こうしたギャンブル派生商品を大きな損失で購入することで、各市場危機が回復に転じ、同時に過大評価された市場指数をさらに膨らませてきました。大手銀行が数兆ドルのギャンブル派生商品を帳簿に載せているのは、こうした商品を使って市場を操作しているからです。

彼らは貴金属の価値を操作して、投資家が国債の代わりに金や銀を購入するのを阻止します。これが金融バブルの「閉じた穴」を塞いで、その崩壊を阻止する方法です。

PPT は、持っていないものを支出し続けることはできません。彼らが「借り入れ」ている年金基金は、ほぼ枯渇しています。ですから、金と銀を必ず手に入れてください。そうすれば、来たる崩壊を生き延びるための必需品が手に入ります。一方、紙幣は、家を暖めてくれます。

遅かれ早かれ、こうした市場の「修正」ではバブルの崩壊を防げなくなるだろう。

これは、政府やメディアが私たちに信じさせようとしているように、成長と繁栄の創造と呼ばれていますが、それでも金融バブルは爆発寸前です。しかし、少なくとも今では、このすべての悲惨さを生み出したのは誰なのかがわかっています。それは、「信頼できる」銀行機関を持つあなた自身の政府です。

現在、市場の熱心な観察者は市場の不安定性が高まっていることに気付いており、これは PPT の選択肢が尽きつつあることを意味しています。

連邦準備制度を廃止する：

アメリカが連邦準備制度を廃止しないのと同じように、連邦準備制度はアメリカを廃止するのでしょうか？

1913年12月23日、ウッドロウ・ウィルソンは連邦憲法を発効させた。

連邦準備法。G. [エドワード グリフィン氏とのこのインタビュー](#)は、連邦準備制度の 100 周年を記念して収録され、本日アンコール プレゼンテーションとして復活しました。「ジキル島の怪物：連邦準備制度の見直し」の著者である G. エドワード グリフィン氏は、過去 100 年間の連邦準備制度の隠された目的と、「アメリカが連邦準備制度を廃止しなければ、連邦準備制度がアメリカを廃止する」理由を暴露しています。

このインタビューでは次のことが明らかになりました。

- 連邦準備制度は米国経済の寄生虫だ ▶ 0: 54
- 過去100年間のFRBの隠された目的 ▶ 6: 12

- 連銀議長（ジャネット・イエレン、ベン・バーナンキ、あるいは誰であろうと）は単なる従業員であり、銀行がショーを運営している ▶ 13: 53
- 連邦準備制度を監査する必要はありません。廃止する必要があります。 ▶ 16: 46

49. 金は世界危機への答え

- 破綻させられないほど巨大な銀行が37%増加した。
- 史上最悪の金融危機の始まり。
- 不換紙幣こそが、我々の経済的苦境の原因である。
- ゴールドは信頼と安定を保証します。
- 金銭詐欺は私たちに奴隷にします。
- 不正な金取引について説明します。
- 金は不換紙幣の海の中で防水性と破壊性を備えています。
- なぜ金と銀を所有するのか。

ゴールドに戻る:

シルクロードは歴史から戻ってきました。ユーラシア貿易圏は、止めることのできない金の道の復活の上に築かれるでしょう。安全な避難場所は、金と銀、延べ棒と硬貨、つまりお金として定義されるものです。

一方、RKM 過激プロパガンダ組織の命令により、金を中心とした貿易や通貨制度を確立したい国は、ならず者国家とみなされる。 - ロシアは、準備通貨としての米ドルの信用を失墜させ、貿易や金融に米ドルをこれ以上使いたくないため、世界的な銀行運動を主導して米ドルに反対しているため、非難されている。崩壊した金融システムの解決策は、貴金属を銀行、貿易、通貨の中核に据え、富の保全を確実にすることである。米ドルは破滅の運命にあるが、金の復活はずっと遅れている。

紙幣の価値をまったく考慮せずに紙幣を印刷することは、世界経済にとって致命的であり、これはすでに多くの人々に広く理解されている事実です。政府は紙幣を印刷することでしばらくの間人々を騙すことができますが、最終的にはお金への信頼が失われることは避けられません。信頼がなければ、紙幣は何の価値もありません。ドルへの信頼は、経済交換の手段としての地位を維持するために絶対に必要です。すでに世界貿易は、世界中の10か国以上との数十億ドル相当の取引が他の通貨または金で交換されていることから、信頼が崩壊していることを明らかにしています。

ロシア銀行と中国人民銀行は最近、米ドルと完全に異なる通貨で取引することに合意しました。 - シンガポール、マレーシア、カタールも中国との通貨スワップに合意しました。カタールの場合、この契約により、オイルダラー システムのまさに中心にある OPEC 加盟国との直接取引が確立されます。カナダとオーストラリアも最近、中国との通貨スワップに署名しました。第 45 章で説明されているように、オイルダラーは歴史的なリスクの時期を迎えています。

中国はまた、米ドル以外でドイツ、ブラジル、ロシア、オーストラリア、チリ、インド、韓国と直接貿易を始めている。

破綻させられないほど巨大な銀行が37%増加:

2008年に救済された「大きすぎて潰せない銀行」は、現在、2008年以前よりも**37% 大きくな**っています。 - 近年の強気相場は、FRBが作り出した「見せかけ」に過ぎません。また、政府の報告書や統計のほとんどは誤解を招くものです。

「金利が「通常」に戻り、たとえば年間4%程度になった場合、政府はどうやって債務を全額返済できるのでしょうか。全額返済するとしたら、4%では30年以上かかり、現在の債務を返済するだけで58兆ドルを費やすことになります。金利が最終的に6%になった場合、102兆ドルになります。」

政府は、正直な民主主義にとって恥ずべきものであり、もし正直な民主主義がそもそも可能であるならば、現在のところそれは単なる詐欺であり、欺瞞である。

富裕で権力のある特別利益団体は、当選すれば投資が莫大な利益をもたらすことを知りながら、中身のない操り人形に何十億ドルも賭けている。この金融システムは巧妙な詐欺計画だ。納税者から金を盗み、投機家や内部関係者に利益を与えている。システム全体が腐敗し、機能不全に陥っている。

紙幣の終焉:

紙幣は、金のような価値のあるものが結び付けられているという約束です。

しかし、金本位制は数十年前に廃止されました。今日、米ドル、そして他のすべての通貨の価値は、人々がそれに対して抱く**信頼によってのみ決まります**。

信頼が失われると、問題は次の2つのうちのいずれかの形で現れ始めます。

- 急激で急激な不況により、信用債権の価値は消滅します。

借り手は破産し、債券は無価値となり、企業は破産宣告をします。負債が帳消しになり、あらゆる種類の金融資産の価値が下がるにつれて、資本構造全体が下落する傾向があります。

- あるいは、圧力を受けて中央銀行が紙幣を印刷する。通貨の価値が下がると負債は減少する。ゾンビは依然としてお金を手に入れるが、その価値は下がる。インフレ調整は高いインフレ率に追いつけない。年金、物価、約束は消え去る。

いずれにせよ、アカウントは消去され、新しいサイクルが開始されます。

世界の通貨は暴落中。

世界中の投資家は融資を期待されているが、彼らは財布の紐を締めている。彼らは事態の重大さに気付いたのだ。負債はあまりにも膨大で、決して返済できない。彼らにとって、さらに良いお金を悪いお金につぎ込むことは、経済的に自殺行為となるだろう。

政府が投資家から必要とする何兆ドルもの資金を、いくら紙幣を印刷しても補うことはできません。さらに悪いことに、政府は準備金も、雨の日のための貯蓄もありません。社会保障の「信託基金」さえありません。完全に破産しています。

このニュースが世界中に広まると、通貨は暴落し始める。 - 世界中の債券市場では、投資家が米国債を放射性廃棄物のように投げ売りしている。国債価格が暴落し、金利が急騰するにつれ、すでに返済不可能な債務として確立されている政府の負債は、国家の頭に向けられた弾丸の込められた銃に変わる。

ストーリーはこう展開する。取引開始直後、株式市場は揺れ、よろめき、そして崩壊する。何世代にもわたる紙の富が皆の目の前で消え去る。かつては価値のある豊かな資産を保有していた何百万人もの退職者は、老後の蓄えが消えていくのをなすすべもなく見守る。給付金支出は追って通知があるまで保留される。高齢者への社会保障小切手や給付金はない。政府扶養家族への医療やその他の給付はない。貧困者への生活保護小切手やフードスタンプはない。

文明が崩壊し始める。 - 政府に頼って自分たちを守ってもらえると思っていた何百万もの人々が、突然、貧困に陥り、見捨てられ、無力な状態に陥る。

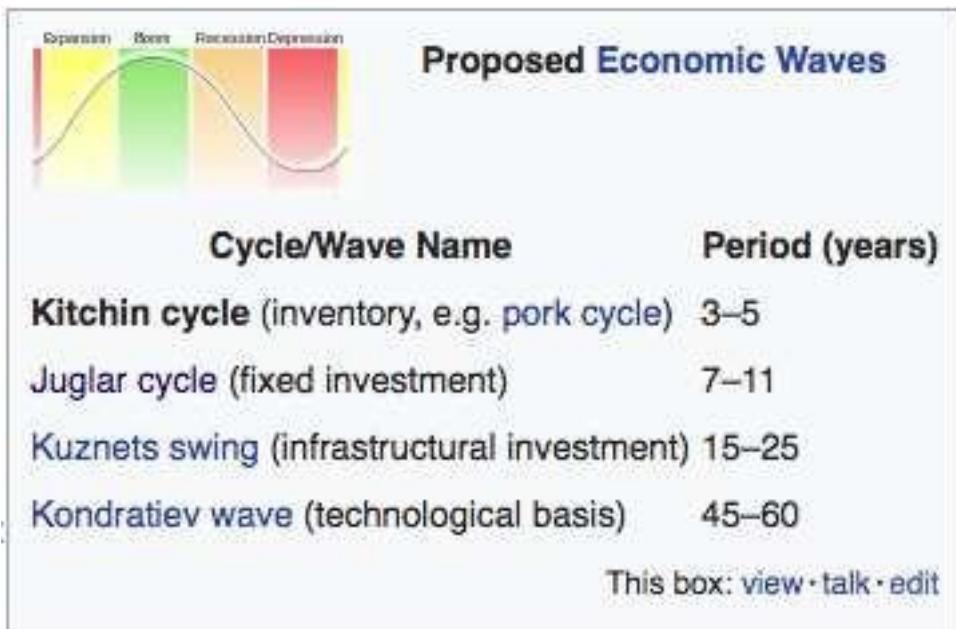
怒り狂った市民の軍団がすぐに通りを埋め尽くし、暴力的な抗議行動を起こした。また、必死に食料を探し回って一日を過ごす人々もいた。

一方、生き残るために必死になっている政府は、戒厳令を宣言し、自国民に対して戦争を仕掛けるしか選択肢がない。

今後数週間から数ヶ月にわたって危機が続くなか、戦車や装甲兵員輸送車、重武装した兵士らが街をパトロールするなか、税務署員は、もっとも薄っぺらな言い訳で個人の貯金や家屋、その他の財産を差し押さえざるを得ないと述べるだろう。

史上最悪の金融危機の始まり：

史上最悪の金融危機が爆発しようとしています。少なくとも 3 つの強力な経済サイクルが勃発する恐れがあります。



1. コンドラチェフ・サイクル（これを最初に説明したロシアの科学者にちなんで名付けられた）は、今後大きな問題が起こることを予測している。

コンドラチェフの波は世界におけるテクノロジーの影響により徐々に短縮されてきましたが、この下降局面は2027年まで終わらないでしょう。それまでの間、このサイクルは経済の衰退、慢性的な失業、金利の高騰、公的債務と民間債務の大規模な債務不履行など、大きな経済的苦痛をもたらすでしょう。

2. ジュグラーサイクルは、企業の固定投資を追跡するサイクルです。このサイクルも2007年の不動産危機でピークに達し、2025年までずっと下がります。これは、企業が現金を蓄え、収益の再投資を避け、雇用を減らすことを意味し、そうすることで経済をほぼ停止状態に引きずり込むことにつながります。

3. キッチンサイクルも、今後経済に大きな打撃を与える
と予測しています。これは40 か月という短いサイクルで、
商業企業の在庫サイクルとも関連しています。

要約すると、これら 3 つの長年の試練を乗り越えてきたサイクル
はすべて、今後経済的な苦痛の発生を示唆している。つまり、消費
者と企業による現金の溜め込み、慢性的な失業、家計収入の急落、
そして最終的には債務に苦しむ世界の政府の税収の減少だ。

これらのサイクルはすべて、前の第 48 章で説明したように、政府
が罰を受けることなく法外な額の負債を蓄積できる現在のサイクル
が終了する日に収束します。そして、次のサイクル、つまり人類が
その負債の代償を支払うサイクルが始まります。

その日には、欧州、日本、米国の明らかに返済不可能な債務と義務
により、誰もが目の前で信頼が崩れ始めるだろう。

借金はあらゆる不幸の源です。

最初に崩壊するのはヨーロッパかもしれない。EUは数年前にほぼ崩
壊し、それ以来、さらに巨額の返済不能債務が連合全体に積み重な
った。最初はギリシャ、アイルランド、ポルトガル、その後イタリ
ア、スペイン、そしてフランスまでもが債務不履行に陥る危険な状
態に陥った。これらの国が債務不履行に陥っていたら、完全に崩壊
し、世界中で何兆ドルもの投資資産が消え去り、EUは崩壊してい
ただろう。ECBによる毎月800億ユーロという巨額の債務購入だけが、
この状況を支えていた。

現在、EU加盟28カ国のうち、最大の国であるスペイン、フランス、
イタリア、英国を含む22カ国が、かつてないほどの債務を抱えてい
ます。スペインとフランスでは、国の債務と同額にするには、両国
の経済が1年間に生み出すすべてのお金が必要です。 - キプロスと
ベルギーの政府は、それぞれ、経済が1年間に生み出す金額よりも
多くの負債を抱えています。 - アイルランドは、経済が生み出す

金額よりも23%多く負債を抱えています。ポルトガルとイタリアは、それぞれ28%以上多く負債を抱えています。

ギリシャ政府は、6回の大規模な「救済措置」後も依然として最悪の状況にあり、債務は経済生産の75%を超えている。そして、終わりは見えない。「ヨーロッパの債務負担は、いまだに驚くべきペースで増加している。」

過剰な規制、法外な税率、法外なレベルの政府債務が文字通りヨーロッパを殺している。イタリア経済はほとんど成長していない。フランスは停滞し、EUの経済の原動力であるドイツは不況に陥っている。 - スペイン政府は銀行預金に課税し始めた。スペイン人は所得税を支払い、その後、銀行に収入を預けるたびに別の税金を課される。

フランスでは、警察が旅行者を定期的に捜索し、税金逃れのために国外に密輸される多額の現金を探します。過去 7 年間、EU は ECB とともに加盟国を繰り返し救済してきました。しかし、救済は政治家に無謀な支出を増やす許可を与えただけです。

冷静になるメッセージ:

2013年、キプロスの指導者たちは世紀の犯罪を犯した。EUからの救済を受ける資格を得るために、文字通り自国の銀行を強盗したのだ。ヨーロッパ全土と世界中の預金者に、次のような厳しいメッセージが送られた。「ヨーロッパの銀行の預金はどれも安全ではない。私たちがあなたのお金を欲しければ、奪うだけだ。」

欧州連合は存続できないだろう。なぜなら、最終的にユーロは崩壊するからだ。そうなれば、対立する派閥が支配権をめぐる争い、多くの国々で内戦が勃発するだろう。この大規模なEUの崩壊が始まると、EU諸国間の古い対立や恨みが再燃するだろう。

次は日本とアメリカです。

欧州の崩壊が日本に打撃を与えるなか、次は日本かもしれない。EUは日本にとって第2位の貿易相手国であり、日本経済の生命線である。EUへの輸出が急落すれば、日本経済は大打撃を受けるだろう。

そしてその後、アメリカに最後の審判の日がやってくる。ヨーロッパや日本が経験したのと同じ運命がアメリカを待ち受ける。ワシントン DC の負債はほとんどの人が認識しているよりもはるかに大きいというのが明白な真実だ。誰もが 20 兆ドルの国家負債を心配している。それはアメリカが生産するすべての商品とサービスの価値の 109% に等しい。

しかし、それに加えて、「米国政府は、ほとんど話題に上らない238兆ドルの負債を抱えている。 - これらの数字は、その深刻さを曖昧にするために「未積立債務」と軽く呼ばれている。この金は、主に退役軍人や年金受給年齢の高齢者、社会保障、メディケアの支払いに充てられている。 - 合計すると、ワシントンは258兆ドルの負債を抱えている。

15倍以上の規模です。さらに悪いことに、毎年何兆ドルもの負債と義務が積み重なっています。米国政府がその膨大な負債を決して減らすことができないことは誰もが知っています。

「ほとんどの経済学者が知っているが口にしないのは、ワシントンDCはそれほどの債務を長く返済できないということだ。経済が大幅に落ち込むと、最終的にはワシントンが債務不履行に陥る可能性がある。」

そうなれば、米国政府の財務省証券、債券、紙幣は、印刷された紙の価値さえなくなる。結局のところ、政府、経済、社会は、借り物の時間で生きているのだ。すべてが崩壊するだろう。

アメリカの二大貿易相手国であるヨーロッパと日本が破綻すれば、米ドル、株式、債券、不動産に対する世界的な需要は消滅するだろう。

う。債券価格が暴落すれば、金利は今日では想像もできないレベルまで急騰するだろう。

「製品需要の急落と金利の急騰により致命傷を受けた米国経済は、安物のスーツのように崩壊するだろう。国債の急騰する利子を含む請求書の支払いに必要な税収は枯渇するだろう。債券投資家は財布の紐を締めるだろう。」

政府が永久に課税、印刷、支出を続けることはできないことは周知の事実です。このシステムは単純に持続不可能です。ですから、すべてが崩壊する日が来ることはずっと前からわかっていました。唯一の疑問は常に「いつ？」でした。答えは次のとおりです。

「経済の世界で最も強力な力が集結していることはサイクルからわかる。世界的な政府債務の崩壊は欧州で始まり、その後急速に日本に広がり、必然的にアメリカにも打撃を与えるだろう。」

期待できること：

金利が上昇すると借金も増え、金利はどんどん上昇します。これが出口のない死のスパイラルの始まりです。次のような結果をもたらします。

- カオス。
- 著しく高い金利を強制した。
- 住宅購入にかかる費用が大幅に増加します。
- 不動産価格が二桁下落。
- 事業投資の削減。

- 失業率の上昇。
- 世界経済における連鎖的影響。
- 安全だと考えられていた絆が崩壊する。

- 株価を下げる。
- 石油は他の通貨、さらには金でも価格設定されます。
オイルダラーの終焉。

そうなれば、準備ができている人だけが、財産や生活の質を維持することはもちろん、愛する人たちとともに生き延びることができるでしょう。

この中にはまだ良いニュースもあります。

- 準備にはまだ少し時間がかかります。
- 今正しい行動を取れば、安全にこの状況を乗り越え、財産を守り、増やしていくことは難しくありません。
- 善意の勢力が舞台裏で世界を救済するために働いている。

ロスチャイルド・ハザールマフィアの追放 - カバール:

もし人々が一斉に、裏付けのない通貨への不信を表明すれば、通貨制度は確実に崩壊し、その結果、陰謀団は人類に対する最も強力な武器を失うことになるだろう。これこそが、すべての市民が協力して、抑圧から解放され、完全な自由の中で暮らし、貧困から解放され、地球上のすべての人々が大きな富を持つ、より良い世界への変化をもたらす方法なのだ。

これらすべては、もし「誰もが通貨システムへの信頼を撤回し」、中央銀行が国有化され、政府が保証する通貨の発行を開始するならば、簡単に達成できる。アイスランドの人々がそうすることができた。これは、公的債務と私的債務の一括帳消しと、陰謀団が不法に取得したすべての金融資産の国民への返済を告げるものである。

[この短いドキュメンタリーをみてください](#) 今後の崩壊は2008年の崩壊よりも少なくとも10倍ひどいものになるだろうと理解すること

。

白龍会：

世界で起こっている激しい権力闘争を理解するには、政府の企業破産の背後にある秘密の歴史を調べる価値がある。白龍会と中国王室のメンバーは、20世紀の歴史の書き方を正さざるを得ない証拠文書を提出した。その文書には、フランクリン・ルーズベルト米大統領とハリー・トルーマン、中国国民党の統治者蒋介石、満州王室のメンバーの間の秘密協定が記されている。その文書は、ルーズベルト、トルーマン、米国国務長官ジョージ・C・マーシャルが、時間をかけて**満州の金塊を積んだ船20隻**を米国に持ち込み、その金塊をルーズベルトのニューディール政策とマーシャル計画の資金として不正に使用した方法を示している。

王室筋によると、金は1930年代から米国に持ち込まれ、東アジアの発展と満州、中国、韓国、日本を含む連邦の創設に資金を提供するという約束のもとに持ち込まれた。米国はまた、満州に米ドル紙幣を印刷できるようにプレートも提供した。

満州族の金の現在の相続人は、金英熙と張勝志の2人だ。彼らは、30兆ドル相当のこの金に対する法的権利を持っているため、殺されるために追い詰められたのだと主張している。

連邦準備制度理事会の米国支部の所有者
ブッシュ/クリントン/ロックフェラー/

ロスチャイルド家などの大富豪たちは、世界に対する負債を金で支払うよう求められている。そのため、彼らは、何年も前に盗み、とうの昔に使い果たした満州の金に対して、不正な権利を主張しようと必死になっている。

ハザールマフィアは必死になってこの金塊をどこか別の場所から盗もうとしている。2008年のリーマンショックは、米国の企業政府が支払い期限が迫っていた金塊の支払いを怠ったために起きた。その

後、タイの赤シャツ運動が勃興し、タイの歴史的に膨大な金塊の所有権を握ろうとした。

チュニジアや他のアラブ諸国におけるアラブの春も、これらの国々が保有する金の蓄えを狙ったものだった。 - マリ侵攻は、金鉱を奪取するために仕組まれた。 - ハイチの地震攻撃も、金鉱権の獲得を狙ったものだった。 - リビア侵攻は、カダフィの金を盗もうとした失敗した試みだった。 - 2011年3月11日の日本の地震と、日本の原子力発電所への津波攻撃は、日本帝国の金を強奪することが狙いだった。

ハザールマフィアは、歴史的な金の埋蔵を主張する王族を必死に追い回している。これが、オバマ政権がイランに好条件の取引を持ちかけた理由である。ペルシャの現王位継承者によると、ペルシャの歴史的な金の埋蔵は 46 兆ドルに上るといふ。しかし、この取引が破談になった後、イランは米国政府を 9/11 の責任として公然と非難し、他の多くの真実を語ることで、反撃している。そのため、カバールはペルシャの金を手に入れることは決してないだろう。

背景にある現実。米国は、ファーガソン、ボルチモア、シアトル、ガーランド、その他の場所で人種戦争を起こそうと政府から金をもらって暴徒を雇い、騒乱を利用して内戦を引き起こし、自らの問題から注意をそらそうとした。信頼できる内部情報筋によると、第三次世界大戦を始めようとする彼らの意図は、国防総省幹部によって内部からボイコットされた。

世界金融危機:

[世界が金融危機に直面する理由についての](#)ドキュメンタリー この映画は、なぜ世界的金融危機に直面しているのかを示し、2008年以前の金融危機を振り返り、将来再び世界的金融危機に直面することになるだろうと論じています。このドキュメンタリーは、株式市場の暴落の原因と、なぜ再び暴落が避けられないのか、解決策は何か

のかを説明する上で最も優れた作品の1つです。簡単な解決策はありますが、政府と中央銀行はそれを無視し、世界経済を危機に導いています。これは、近い将来世界経済で何が起こるかという恐ろしい見通しです。負債は高すぎ、銀行は無謀なやり方で運営されていますが、これらはすべて中央銀行と政府によって奨励されています。

金は法定通貨の海の中で防水性と破壊性を持ちます。

金融嵐が金を吹き飛ばすことはない。豪雨が金を溶かすことはない。だからこそ、賢い投資家や賢い中央銀行は天候を注視し、金を蓄えているのだ。世帯収入が減少する経済は、株式を保有するのに良い状況ではない。ほとんど成長していない経済が、史上最高の株価を正当化するはずがない。そして、中央銀行が毎月850億ドルを投じて債券を購入しているのが、明らかにうまくいっていない。

中央銀行がさらに紙幣を印刷すると約束しているので、金の価値が急騰すると予想されます。明らかに、金と銀の価格を低く抑えるために容赦なく働き続けるコンピューター操作プログラムの仕業です。世界が最終的に発見するように、これはすべて詐欺的なネズミ講の金融システムです。

QE はゾンビ強化プログラムです：

経済学者、アナリスト、アドバイザーたちは、QE が正確に何をするのか解明しようとしてきた。米国、EU、日本の中央銀行は、12か月ごとにそれぞれの通貨基盤に1兆ドル以上を追加しており、その見返りとして何らかの効果があるはずだ。一部の専門家は、QEは資産スワップ（利払い超過準備金と利払い国債の交換）であり、追加的な手段ではないと述べている。

それは絶対に事実ではありません。中央銀行が銀行から国債を購入するために継続的にお金を発行する一方で、銀行は結果的にさらに多くの国債を購入する、というように。これにより、現金が連邦準

備制度から政府に移り、政府はより高い金利で他の資金源から資金を得る必要がなくなります。水のように、すべてのお金は最終的に海に流れ込みます。そして、毎年何兆ドルも経済に追加されると、海面が上昇するのは間違いありません。

なぜ金は防水性があるのでしょうか？ 現金、信用、デリバティブ、共謀の広大な海が、うなり声を上げる風とそびえ立つ波とともに怒りに燃えるとき、金は、壊れない灯台のように、堂々と自信を持って立ち続けるでしょう。

現在の中央銀行が管理する紙幣制度の本当の目的は何でしょう？ それは内部者が操作できる制度です。彼らは私たちのお金の価値を操作し、実際に何が起きているかについて嘘をつき、貯蓄者や労働者から富を盗んで自分のお気に入りのプロジェクトに支払い、ゾンビの友人たちにお金を与えます。それがこれまでずっとそうだったし、これからもずっとそうでしょう。彼らを止めない限りは。

シャルル・ド・ゴールの経済学者ジャック・ルエフは、インフレが雇用を増やすように見える理由を1958年にすでに説明していた。インフレが労働者の賃金を奪い、人件費を下げ、雇用主が労働者を雇いやすくするからだ。そしてマーク・ファーバーは最近、QEがエリート層に賄賂を支払うために国民の90%以上から金を奪っていることを説明した。FRBのQE流動性はすべて株価に流れ込む！株価が上昇すると誰が儲かるのか？ウォール街とそのエリート顧客だ！他の全員が損をする。

ではゾンビはどうでしょうか？ 政府は中央銀行の偽のお金を借り入れ、記録的な低金利で何もないところから作り出しています。そのお金はどうなるのでしょうか？ 納税者の手に渡りますか？ 実際の生産的な企業に渡りますか、それとも実際の生産的な労働者に渡りますか？ いいえ。それはあらゆる種類のゾンビに渡ります - 税金で支払う金額よりも政府から多くを得ている 10 世帯のうち 7 世帯、そして軍事演習のための防衛請負業者に渡ります。QE はゾンビ

強化プログラムです。それが早く終了し、FRB が早く廃止されるほど、私たち国民はより幸せになります。

一方、2008 年以降、金融危機の根本原因に関して何も変わっていません。世界には依然として膨大な債務があり、安全に融資するには多すぎます。EU と VS は、何も問題がなかったかのように、ますます多額の借入を続けています。今日では、再び、金融機関の利益が S&P 500 の総利益の膨大な、不均衡な部分を占めています。

そしてそれは米国だけではない

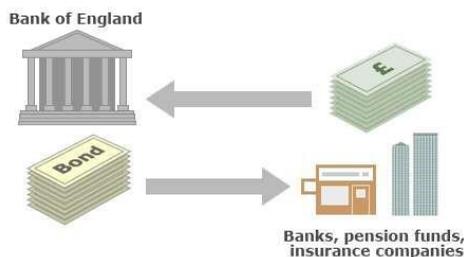
「EUでは、2007年の政府債務はGDPの66%でした。今日では、100%に近いか、おそらく100%を超えています。英国では、2007年の政府債務は経済の43%に相当しました。」

現在、それは100%を超えています

。信じられないことですが、先進国では誰ももう富を生み出すことができず、借金が増えるばかりのようです。」

「これらの債務を賄うために、EUと米国は資産の一部を外国人に売り続けています。そうすることで、彼らは時間の経過とともにますます貧しくなります。10年前、ブラジル、ロシア、インド、中国のいわゆる「BRIC」諸国の経済を合わせた金額は、米国経済の約29%に相当しました。2007年、これらの国々の経済規模は米国の53%に匹敵していましたが、現在は91%にまで達しています。借金がこれらの国々の好景気を支えています。」

「2009年、連邦準備制度理事会は米国債の大規模な貨幣化を開始し、米国財務省がさらに債務を発行し、連邦準備制度理事会に売却するだけで既存の債務を返済できるようにしました（連邦準備制度理事会は紙幣を印刷することでそ



のような購入の資金を創出します)。連邦準備制度理事会はそれ以来3.5兆ドル以上の紙幣を印刷してきました。そして最近、それを続けることを約束しました。その結果、2007年以来、経済におけるお金の基本尺度であるM2は米国で38%増加しました。」

では、米国の外国の支配者たちは何をしているのか。彼らは米国債を売り払い、米国資産を買っている。中国企業は現在、IBMのパソコン部門、AMC映画館チェーン、豚肉生産者のスミスフィールドを所有しているほか、デボン・エナジーやチェサピーク・エナジーとの株式取引を通じて、最も価値の高い新たなエネルギー源のいくつかも所有している。2013年だけでも、中国はこれまでに100億ドルを米国資産に費やしているが、2008年には10億ドル未満だった。

外国の支配者たちは、保有資産をフレディとファニーの債務から裏付け資産に移し、まもなく大量の米国不動産を買い始めるだろう。2012年、中国人はカリフォルニアで30億ドル相当の商業用不動産を購入した。まもなく、彼らは米国の住宅の大量購入を開始するだろう。したがって、3、4年後には、何百万人もの米国人が文字通り中国人に家賃を払うことになるだろう。これは確実に起こるだろう。

避けられない崩壊を未来に先送りする：

中央銀行と政府が経済を「救済」してくれたことに感謝している人は、もう一度考え直すべきだ。彼らが実際に行っていることは、最大の資産を彼らの最大の経済的ライバルに売却することで、避けられない経済崩壊を将来に先送りすることだけだ。

これは本当に最悪の戦略であり、悲惨な見通しがつきまといます。20年後に何が残るか想像してみてください。

金銭詐欺は私たちを奴隷にする：

地球上で最大の詐欺は金銭詐欺です！[金銭詐欺](#) 隠された事実は、明らかに見えながらも、複雑さと混乱の中に埋もれています。引退

した銀行員が、世界のマネー詐欺と、すべての国が破産に陥っている理由を簡潔に説明します。

かつて政府が借金なしで独自のお金を作ったのとは対照的に、民間銀行家たちはお金の創造プロセスを盗みました。今日のお金はこれらの銀行家たちによって無から創造され、民間銀行に対する利子付きの負債として発行されています。今日の銀行家が支配する世界では、お金 = 負債、負債 = 奴隷制、したがってお金 = 奴隷制です。通貨システムは奴隷制度になっています。お金は何も無いところから創造され、負債として発行されますが、将来の利子支払いに十分なお金が創造されず、インフレが私たちの貯蓄を盗みます。お金の創造プロセスは中央銀行から取り上げられ、負債も利子もなしにお金を作ることができる人々の政府に返還されるべきです。これは、所得税を必要とせずに行われていた方法です。[このビデオでは](#)、お金の詐欺への支援をやめるために何をすべきかが簡単に説明されています。

ウォール街から「前向きな」ニュースが次々と出ているにもかかわらず、インフレが近づいているという事実にも異論を唱える銀行家、アナリスト、政治家は一言も発していない。一方、インフレが起こったときに金が命綱になることは、読者なら誰よりもよく知っているはずだ。だからこそ、今から準備モードに切り替えて、安い金と銀に狙いを定めておくべきなのだ。

ゴールドは信頼と安定性を保証します:

さまざまなアナリストが、デフレの結果として金価格が1オンスあたり700ドルまで下がると予測していますが、明らかに彼らはこの章で評価された事実を考慮していません。金は、デフレ対インフレ、またはその逆ではありません。米ドル対ユーロ、さらには供給対需要でもありません。恐怖と混乱対信頼と安定性の問題です。中央銀行が紙幣を印刷して通貨供給量を拡大するのを防ぎます。金は世界通貨を裏付けるために使用され、中央銀行が簡単に信用創造

できないようにします。今日、中央銀行によって価値が下がった紙幣に対する人々の信頼が失われるにつれて、金は上昇するはずですが。金は信頼と信用、つまり個人の不換紙幣が価値のあるものに裏付けられているという認識をもたらします。現在、世界の金の需要は、世界中の鉱山労働者が生産できる量を超えています。

さらに悪いことに、世界の金融政策担当者は資金の蛇口を開けている。クレディ・スイス・グループのアナリストによると、すべての主要中央銀行は2014年に比べてほぼ3倍の流動性を追加している。日本銀行は量的緩和を通じて1兆ドル、欧州中央銀行の資産増加は1兆ユーロ。FRBの増加はさらに1兆ドルで、世界のマネーサプライは3兆ドル、つまり18%増加している。

連邦準備銀行は、105年前に犯罪組織によって設立され、1913年に議会のクリスマス休暇中にウッドロー・ウィルソン大統領によって誕生し、合法化されました。これにより、政府はその瞬間から、本来は政府の手に残されるべき国の通貨供給に対する独占権を犯罪組織に与え、第5章で説明されているように、彼らを財政的に地球上で最も強力な個人にしました。

金は野蛮な遺物だという主張があるにもかかわらず、中央銀行は金の返還を望んでいます。インフレやデフレ以外の理由で金を購入した人々の最近の例をいくつか挙げます。

「ギリシャの政治的、財政的混乱の結果、英国王立造幣局の金貨に対するギリシャ人の需要が高まっている。彼らが金を買うのは、マッコーリー銀行のマシュー・ターナー氏が言うように、「金について誰もが知っていることの1つは、自国通貨が下落しそうなときに金を保有しておくという事だ」からだ。

、スイス中央銀行が預金に0.75%のマイナス金利を導入した後、投資家はスイスフラン建ての現金預金の代わりに金をさらに購入した

。「金が投資家の間で再び人気を集めていることに気づき続けている」とゼノ・シュタウブ最高経営責任者（CEO）は語った。

他の欧州諸国では、ECBによる大規模な量的緩和策とギリシャの救済反対派の勝利により、金の需要が急増している。ドイツのコインディーラー、デグサは「1月の金貨の売上が前年比35%増加した」と報告。オーストリア造幣局は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の金貨の売上が先月6%増加したと発表した。

[オーストリアの国家金に関する注目すべきレポート](#) オーストリア連邦裁判所（ÖBRH）の判決は、「2009年時点で、イングランド銀行に「保管」されているオーストリアの金準備の56%は物理的に存在していなかった」ことを明らかにしました。ドイツやオランダなどがその直後に金の奪い合いを始め、イングランド銀行と連銀に残っている自国準備金の本国送還を求め始めたのも不思議ではありません。

破壊された通貨：

目を覚ましてください…第34章で説明したように、お金を印刷することは非常にインフレを引き起こします。特に、2008年以降の通貨基盤がすでに3倍以上に膨れ上がっている場合は、いつかこの通貨希薄化によって市場が混乱するため、同じ恐怖がさらに高まります。紙幣が損傷するだけでなく、破壊される可能性が非常に高くなります。 - この点については歴史が非常に明確です。通貨危機は金への逃避につながります。

「小さな紙切れから富を生み出すことはできない。」 - ルートヴィヒ・フォン・ミーゼス

真のデフレは危機を引き起こす、あるいはむしろ危機によって引き起こされるということを覚えておいてください。そして何千年もの間、危機は人々を金へと駆り立ててきました。真のデフレはより高

いインフレにつながります。大規模なデフレが起これば、それは実際により大きなインフレに拍車をかけるでしょう。

しかし、もしデフレが先に起こったら…経済がまずデフレ不況に陥ったら金はどうなるでしょうか？ - 株式市場が暴落し、生活水準が低下した時期に、「投資家は、その時点で所有できる流動性のある避難先である金に逃げました」。その理由の詳細については、第 47 章を参照してください。

大恐慌中に「制御されていない」金価格がどのような影響を与えたかは正確にはわかっていません。歴史は、金が名目価格に関わらず、デフレの状況下で購買力を維持することを示しています。言い換えれば、金の価格は上昇しないか、あるいは下落する可能性さえありますが、他のほとんどの資産が下落すると考えると、不安定な経済環境に対する金銭的保護を提供してくれるでしょう。

現在、世界全体が採用しているような不換紙幣制度では、中央銀行はデフレに対してインフレ過剰反応で対処し、デフレが悪化するほど、過剰反応はより極端になります。最終的にはインフレが勝利します。第 47 章で明らかにされています。

トップファンドマネージャーが金についてどう考えているか:

中央銀行の皿回しが過去30年以上にわたる過剰信用の拡大の結果をどれだけ先送りできるかについては、個人的には、皿を割ることなくここまで続けられるとは思っていませんでした。しかし、過去数年間の私のタイミングがどれほど間違っていたとしても、彼らがあと12か月続くかどうかは疑問になり始めています。過去数か月間に2回、株式市場の皿が揺れ始めましたが、FRBのパフォーマーが介入して安定させました。「量的緩和の終了、世界経済の減速、ドル高、最近の原油価格の急落により、デフレの風が強まり、バランスを取ることがこれまで以上に困難になっています」と、チーフ投資ストラテジストのスティーブ・ヘニングセン氏は質問に答えています

。「中央銀行は、一部の人が考えていたよりも長く経済と市場を支えてきました。彼らがどれだけ長くそうすることができると想像していますか？」予測することは不可能です。

金投資家が今、最も重要な要素は何かという質問に対して、グラント・ウィリアムズは次のように答えています。

「主な焦点は2つの点に置くべきだと私は考えている。1つ目は紙の金と現物の金の違い、2つ目は国立銀行が保有する金の送還を継続的に進めていることだ」

クリス・マーテンソン博士「このバブルは実際には信仰のバブルであり、その主な派生物は信仰に基づく通貨であり、世界的なものです。バブルがはじけるのには、その大きさにほぼ比例する時間がかかります。FRBや他の中央銀行が作り出したこれらの入れ子になったバブルは、人類史上最大のものです。いつものように、バブルは常にピンを探しており、それがいつになるのか、最終的に何が原因となるのかは正確にはわかりません。私たちにできるのは、備えることだけです。」

金は1オンス1,100ドルですすでに生産コストに達している。1,200ドルでも、主要金生産者の約半数が赤字だ。その理由は、ワールドゴールドカウンシルの総合的な維持コスト指標には税金や利子の支払いなど他の項目が含まれないからだ。これらを加えると、金が平均1,100ドルのときに多くの企業が赤字に陥る。しかし、世界は金を必要とし、求めているので、この業界は閉鎖されないだろう。

第47章で詳しく説明したように、2008年以降の中央銀行の行動は、不換紙幣の将来の購買力を必然的に破壊するでしょう。何らかの通貨危機が市場を襲うでしょうが、おそらく遅かれ早かれ起こるでしょう。通貨危機の際に金に何が起こるかの例は数多くあります。

ロシアに対する制裁は、もう一つの顕著な例を示した。「ロシアのインフレ率は2014年に11.4%で、ルーブルは46.5%という驚異的な下落を見せたが、金はルーブルで73%上昇した。言い換えれば、ロシア人は金でルーブルの購買力で失った以上の利益を得たのだ。」金の価格は、2014年に米ドルを除くすべての通貨に対して上昇した。

「金は、ユーロ、日本円、スイスフラン、カナダドル、イギリスポンド、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、中国人民元、インドルピーで上昇した。

スウェーデンクローナ、ブラジルリアル、イスラエルシェケル、韓国ウォン。」

重要な市場イベント:

アラン・グリーンズパン氏は警告する：「重大な市場イベントが起きるだろう...何か大きなことが起きるだろう」 - 元FRB議長は[中央銀行が深刻な問題に直面していることを明らかにした](#)。そして、それは将来的に大きな影響を及ぼすことになるだろう。彼は次のように続けた。

「米国の債務負担は非常に大きくなっており、通貨価値の下落は避けられない」と彼は述べた。「**特に**」と同氏は述べた。「**量的緩和と連邦準備制度理事会によるゼロ金利政策の時代では、何らかの重大な市場イベントがなければ、この状況から抜け出すことは本当に不可能だった**」

それを私が解釈すると、株価暴落か長期不況のいずれかとなり、それがFRBによる新たな金融緩和を引き起こすことになる。彼は何か大きなことが起こるだろうと考えている。金が恩恵を受ける何らかの影響、しかもかなり深刻な影響なしには、この紙幣増刷の時代から抜け出すことはできないのだ。

アラン・グリーンズパン氏が提案するような大きな市場イベントが発生した場合、今後のあらゆる準備戦略において、資産保全が最優先事項となるはずです。

過剰な紙幣発行の結果、金が値上がりすれば、エネルギーや鉱業部門のその他の資源資産も値上がりするだろう。要するに、通貨制度を機能させるために必要な資産は常に価値を持ち、これは米ドルが暴落している状況では特に当てはまる。

4人の米国大統領の下で国内の金融政策の実質的な立案者となったアラン・グリーンズパン氏は、FRBが最終的に金融緩和とゼロ金利政策から撤退を余儀なくされたときに、重大な市場イベントが発生するだろうと発言した。

第 45 章では、1960 年代初頭に遡って、アラン グリーンズパンが裏付けのない不換紙幣制度を破壊し、銀行の陰謀を打倒した罪で起訴されたという反駁の余地のない証拠が発見されたことについて詳しく説明します。 - 最終的には、私たちが真の正直な金本位制に戻すこととなります。

不正な金取引について次のように説明されている。

「先物市場で金の価格が上昇し始めると、大量の未公開空売りが突然市場に投げ売りされる。空売りによって先物契約の供給が一気に劇的に増加するため、供給が需要を圧倒し、現物市場で金の需要が強いかかわらず、金の価格は下落する。」 - 覚えておいてほしいのは、金の価格は先物市場で決まるということ。先物市場では契約は主に現金で決済され、金で決済されることはめったにないということ。 - 現物市場は金塊が購入される場所であり、投機目的で金の紙幣が購入される場所ではない。

金は不確実な時代の避難所です。円、ドル、ユーロのすべてが商品やサービスの生産よりも速いペースで生み出され、株価と債券価格がともにバブルレベルにある中、金は間違いなく魅力的な避難所で

す。金への信頼は金融商品の不正市場から資金を引き揚げ、万事順調という印象を維持することをより困難にするでしょう。

雇用報告や成長率の好調さに関する嘘の発表は、同時に金価格の下落を招き、金融紙幣への投資を継続し、「過剰印刷」された通貨を保有し続けるよう促すことを意図している。

実際には、金は「もっと」高くなるはずです。 - 株式市場は「もっと」低くなるはずです。 - ほとんどの政府は「破産するはずです」。 - そしてドルは「価値がないはずです」。

しかし、「起こるはず」の出来事は、奇妙なことにまったく起こらない。これは何かを否定するものではない。実際、もし「起こるはず」の出来事が正しいとすれば、それが起こらない時間が長くなれば長くなるほど、起こることはただ一つ、つまり**災害だけになる可能性が高くなる**。

国家債務:

さらなる紙幣発行が予想されます。中央銀行は大量の紙幣を印刷し、ほとんどすべての国の国債をすべて購入することができます。

紙幣を刷りすぎたため、新たに発行された国債が足りなくなってしまったのです。その結果、問題のある国債の価格は非現実的なほど高騰し、金利は極端に低くなっています。

証拠: ドイツは5年国債を売却した。しかし注目すべきは、ドイツが32億8000万ユーロ相当の**国債を マイナス利回りは約-0.08 %**。これは、債券投資家が文字通りドイツ財務省に列を作り、「あなたの債券を1000万ユーロ購入します。そして満期時に…今から5年後に…999万2000ユーロを返してください」と言ったことを示しています。考えてみてください。5年後に受け取る金額が少なくなるのを待って、文字通り誰かにお金を借りますか？これは理にかなっていませんか？もちろんわかりません！しかし、世界中の中央銀行など

の機関の買い手は頭が死んでいます。その理由は？国債の融資を安く抑えるために印刷されるお金が多すぎる一方で、大企業は株価が上昇するにつれて巨額のボーナスを得るために自社株を買い戻すために安いお金を貸しているからです。

それでも、この利下げ狂乱は、定収入で暮らす人にとっては悪いニュースだ。欧州の国債の約3分の1はマイナスの利回りだ。他の金融専門家は、世界中でマイナスの名目金利の国債が5兆ドルあると推定している。「安全な」国債の需要は供給を上回っており、それがマイナスの利回りの原因だ。しかし、資本を確実な損失、いわゆる「無利子リスク」に縛り付けるのはどれほど安全だろうか。新たな資金が債券利回りをさらにマイナスの利回りゾーンに押し上げる可能性は常にある。このばかげた状況を理解し、金を保有する方がはるかに良い。金は中央銀行が簡単に増刷できない、はるかに安全な通貨だ。利回りがゼロであれば、マイナス金利よりも金の方がはるかに魅力的だ。

さらに、第 29 章で指摘したように、通貨戦争は依然として激化しており、すぐには止まらないでしょう。これは究極の底値競争となっており、金にとっては非常に強気です。世界中の中央銀行が自国通貨を破壊しようと競い合う中、貴金属は注目を集めています。記録的な低金利により、金は素晴らしい代替通貨となっています。金には利息が付かないため、政府債の利回りがゼロまたはマイナスになった今、金はより魅力的になっています。ブルームバーグは、マイナス利回りで取引される 2 兆ドル相当の証券を追跡しています。ヨーロッパの債券購入は非常に積極的で、貧しいポルトガルでさえ 10 年間の借入にわずか 1.89 % しか支払っていません。同国の債券は 12日連続で上昇したが、これは10年間で初めてのことだ。

マイナス金利に関する別の見方：欧州中央銀行が「量的緩和」による債券購入に乗り出す中、フィナンシャルタイムズのジョン・オーサーズ氏は5世紀にわたるデータを用いて、オランダの利回りがこ

れまで、多くのデフレ期においてもマイナスになったことはなかったことを示している。同氏は、マイナス利回りはおそらくデフレへの恐怖ではなく量的緩和によるものだと結論付けている。

ローンの100%が証券化され、投資、つまりデリバティブとして販売されている。貸し手は、2008年以前の不動産市場で起こったように、ローン手数料で利益を得ているが、債務不履行が増えるにつれて、証券化されたローンと関連デリバティブは、2008年に証券化された住宅ローンがそうであったように、救済措置を必要とする可能性が高い。しかし、今回は、そのような救済措置に回すのに十分な資金はないだろう。

こうした見通しを目にした人は誰でもひどく怖がり、結果的に金の購入に引き込まれるはずだが、金価格の上昇は法定通貨の下落を招くため、どんな犠牲を払ってでもそれを阻止しなければならない。注意深い読者は、中央銀行が不本意ながら自ら罠を仕掛けたことを今や理解しているだろう。言い換えれば、通貨システムを不正操作した者たちは、それが砂上の楼閣であることを知っているのだ。

実際のところ、金地金は米ドルを除く他の主要通貨でより上昇しています。「2015年1月1日以降、金はルーブルとスイスフランで最大15%の上昇を享受しました。」そして最近、ユーロは2003年以来の最低水準を記録し、ドルに対してほぼ1.10に下落しました。これは、ユーロが米ドルに対してほぼ1.40を記録した昨年5月以来、22%以上の下落です。昨年5月にユーロで金を購入した人々は、現在20%以上の利益を達成しています！ - 「危機が発生したとき、またはそれ以前にFRBが資金の蛇口を開けた場合、金のドル価格は上昇するはずであり、それはあなたにとって有利です。金のアナリストは、最終的に金価格が5,000ドルをはるかに超えると予測しています。」今日の操作された低価格である1オンスあたり1,200ドルと比較すると、これは魅力的なエントリーポイントです。金鉱山の株を購入する際には注意してください。金鉱山[会社が倒産する可能性が](#)

あるシナリオがあります。 国有化される。したがって、この展開に先立って現物の金を保有することは有益である。

金の埋蔵量とは、企業が採掘して利益を上げることができる地中の金の量です。現在、金価格は約 1,200 ドルで、多くの金生産者の鉱山は、生産する金 1 オンスごとに損失を出しています。鉱山が採算が取れなくなると、その金は企業の総金埋蔵量に含まれなくなります。金価格が長期間 1,200 ドル以下で推移すると、多くの鉱山会社は鉱山を閉鎖して埋蔵量を永久に失うことを検討するかもしれません。

人民元：新たな金担保通貨？

中国は文字通り、自国の通貨を海外に宣伝しており、「人民元：新「選択-世界通貨」」。彼らは未来が自分たちのものだを知っており、それを誇示しています。人民元は世界貿易と準備通貨としての重要性が高まっており、シンガポールからチューリッヒ、ロンドン、ルクセンブルク、フランクフルト、トロントまで、世界中に人民元取引ハブが出現しています。多国籍企業は現在、人民元建て債券を発行しており、英国を含む主権政府でさえ人民元建ての債務を発行しています。ほぼすべての主要な世界的プレーヤーは、人民元が支配的な準備通貨になるよう準備を進めています。

お金としての金：

何世紀にもわたり、金は有用であることが証明されてきました。実用上は完璧なお金ではないかもしれませんが、これまで発見された中で最高のお金です。ビットコインなどの一部の暗号通貨は、最終的には資産ベースの裏付けがあればより有用であることが証明されるかもしれません。しかし、それは将来に決まっています。今のところ、金は有効です。「不換紙幣」は有効ではありません。経済的に言えば、金の供給が限られているため、消費者物価は安定する傾向があります。通貨が限られているため、信用の供給も限られてい

ます。信用の需要が増加すると、その価格、つまり金利が上昇します。そして、信用に支えられた好景気は終わりを迎えます。

文字通り薄い金の層で裏付けられた新たな開発が進行中であるとオーストラムは指摘している。

この金貨はヴァラウラムという会社によって開発された。 この技術により、現在私たちが財布の中に紙幣を入れて持ち歩いているのと全く同じ方法で金の持ち運びや交換が可能になり、真の貴金属に裏付けられた通貨システムが誕生しました。

金は「世界で最も安全な通貨」です。これは、金がどの国にも裏付けや保証がないため真実です。金は純粋な富であり、その価値を保証するために国を必要としません。金は非常に安全であるため、利息を支払う必要がありませんが、他のすべての通貨は利息を支払う必要があります。たとえば、利息を支払わないルーブルやオーストラリアドルを誰が所有するでしょうか。通貨の安全性が低いほど、その通貨は購入者に支払う利息が多くなります。

金と銀が持つ利点の 1 つは、価値がなくなることがないことです。価値がなくなることはありません。歴史的に、すべての法定通貨は最終的に価値がなくなり、無価値になりました。歴史上、法定通貨が生き残ったことはありません。

「両党の政治家は表面上は金の復活を支持しているように見えても、実際には反対するだろうと警告しておきます。また、アメリカの継続的なインフレで富を得ている国内外の分子（犯罪陰謀団）は、健全な通貨への回帰に反対するでしょう。彼らの反対に賢明かつ精力的に対処する準備をしなければなりません。彼らは15年間、連勝を続けています。」

「しかし、あなた方が子供達と国を急激なインフレ、戦争、奴隷制度に明け渡す覚悟がない限り、この大義はあなた

方の支持を必要とします。なぜなら、アメリカで人間の自由が生き残るためには、私たちは正直なお金を取り戻す戦いに勝たなければならないからです。」

「我々が直面している課題の中で、労働の成果と引き換えに金を確保する自由を取り戻すこと以上に重要な課題はない。」 - ハワード・バフェット下院議員、1948年

父に似て子も？

顕著な矛盾または嘘（？）：イルミナティのメンバーであり、パークシャー・ハサウェイ投資ファンドの創設者でもある彼の息子、ウォーレン・バフェットは、彼の最も重要な2つの信念について公に語っています。第一に、彼は国のために正しいことをする父親の知恵を愛し、尊敬していました。第二に、金は野蛮で、収益を生まない、価値のない資産であり、投資家のポートフォリオには入る余地がなく、金の唯一の価値はその価値を守ろうとする頑固な意志にあるということです。

バフェット氏のアドバイスはたいてい賢明だ。だが、彼が認めていないのは、金は本物のお金であり、世界中の中央銀行が不換紙幣を破壊している中で、現金を分散させる素晴らしい方法だということだ。世界最大のヘッジファンド、ブリッジウォーターの創設者レイ・ダリオ氏は、バフェット氏は金に関して「大きな間違いを犯している」と述べている。バフェット氏は、金が1971年の1オンスあたり40ドルから今日では1オンスあたり1,200ドル以上に上昇し、ほぼ3,000%の上昇となっていることには触れていない。

オーラム紙幣の製造工程と技術：

紙幣の形で金を保有できることは、いくつかの理由で重要です。

まず、あらゆる予算で金を所有できるようになります。現在、世界中の多くの家庭では金の価格が高すぎて購入できません。Aurum 通貨はそれを完全に変えるでしょう。

第二に、世界が貴金属に裏付けられた通貨基準に戻った場合に、日常的な取引を可能にする可能性が生まれます。

課題への答えは「食料品の代金を金でどうやって支払うか？」です。Aurum なら簡単です。

Valaurum の製品が勝利を収めるかどうかは別として、主流になり得る少量の物理的金属を都合よく包含する同様のタイプのソリューションが世界には間違いなく必要である。

これまでに経験した最大の世界的危機:

すべてはごく普通に見える。近所の人たちは相変わらず特大の家に住み、真新しい高級車で子供たちを学校に送り迎えしているので、誰も差し迫った経済崩壊など考えない。しかし、真実は、これらの家や車のほとんどは借金でまかなわれており、経済が破綻した瞬間にそのお金は消えてしまうということだ。すべての数字が必死に叫び、世界経済が大きな世界的危機に向かっていることを示す。

「今を生きる」ことに慣れてしまい、目の前のことに集中していないため、物事を長期的に見ようとする人はほとんどいない。見出しは「株価暴落」や「経済不況」について叫んではいないが、それは経済がどう考えても回復に向かっていることを意味するわけではない。ロスチャイルド・マフィア所有の西側諸国最大のHSBC銀行は、世界的な不況が始まったと述べており、これまで私たちが経験した痛みは氷山の一角にすぎない。だから、気を緩める時だと思わず、準備を続けよう。

世界経済はあらゆる面、あらゆる地域で破綻している。EU の大半は深刻な圧力にさらされているが、ポルトガルは深刻な状況にある

国の仲間入りを果たした。ポルトガル社会党は共産党と手を組み、左派勢力に絶対多数派を与えて国を統治しているが、アニバル・カカボ・シルバト大統領はこれを受け入れていない。彼らは緊縮財政と提案された賃金カットに反対しており、新政府を樹立するよう彼らに要請している。社会党はまた、ポルトガルの負債を 50% 減額し、通貨同盟から脱退することを望んでいる。ユーロはすでにヨーロッパ諸国を十分破壊している。

銀行は大混乱に陥っています。金利はゼロのままではなりません。さもなければ、デリバティブを保有するすべての機関が破産します。たとえば、ドイツ銀行は約 100 兆ドルのデリバティブエクスポージャーを抱えていますが、これほどの巨額のエクスポージャーを抱えているのはドイツ銀行だけではありません。JP モルガンも同様です。実際、TBTF の米国銀行すべてを合わせると、デリバティブエクスポージャーは 250 兆ドルに上ります。これらの銀行のエクスポージャーの実際の価値は、約 500 兆ドルと推定されています。取引相手が破綻すると、銀行総額 500 兆ドルと、世界のデリバティブエクスポージャー総額 1,500 兆ドルが、想像を絶する損失を被ることになります。

今日の経済は、歴史上最大の債務バブルの影響により、3 つの重要な要因の致命的な収束に直面しています。

- グローバリゼーションの悲惨な実験。
- 経済動向が不明瞭になるほどデータを操作すること。
- 何よりも重要なのは、過重債務不履行が近づいており、エネルギー部門やデリバティブで収益が上がらず、米国債が中国、ロシア、その他多くの国で売り払われていることである。

グローバルリサーチ責任者のティム・モーガン博士による「最悪の事態、エネルギー、金融、そして成長の終焉」。 [続きを読む](#)。

「崩壊」段階:

第 33 章で説明したように、経済は「崩壊」段階にあります。したがって、今後の経済と市場の展開は、4 つの要素によって左右されることとなります。

まず目につくのは、ますます深刻化する絶望と、中央銀行による極端な金融抑圧だ。なぜなら、彼らは自らを非常に深刻な窮地に追い込み、途方に暮れて絶望しているからだ。

第二に、市場の混乱とボラティリティが高まっていることです。ここ数か月、株式市場は酔っ払った船乗りのように振舞っています。しかし、チャート上のポイントを無意識に取引しているロボットやデイトレーダーの集団にすぎないことを忘れないでください。現実世界の情報や入ってくるデータとは何の関係もありません。近いうちに、中央銀行は行き詰まるでしょう。そして、市場は激しくリセットされるでしょう。

3 番目に、バルチック海運指数を見れば、過去 20 年間の中央銀行主導の好景気の結果、輸送需要の低迷とばら積み貨物船の過剰供給に経済が苦しんでいることは明らかです。この結果は、金融システムと世界経済に、これまでに見たことも経験したこともない形で打撃を与えるでしょう。中央銀行の紙幣増刷の結果、需要は債務のピークに直結し、この前例のない金融刺激策による約 60 兆ドルの新規債務は、約 15 兆ドル、つまり追加生産のわずか 4 分の 1 に上ります。

第四に、信用は14年間で14倍に拡大しました。歴史上、これに匹敵するものはありません。20年間にわたる世界各国の中央銀行による信用ブームは、世界中の石油採掘、採鉱、製造、輸送、流通能力への膨大な過剰投資を生み出しました。しかし、信用インフレが限界に達し、「崩壊」段階に入った今、世界的な

デフレの力によって、商品や多くの消費者サービスの価格も下落するでしょう。

エネルギーコンサルティング会社ウッド・マッケンジーは、原油価格が50ドル以下では北米の推定1兆5000億ドル相当の石油プロジェクトは利益を生まないだろうと述べた。大規模な支出削減後も、多くの米国石油会社は巨額の負債の返済に苦しんでいる...

次の危機が完全に現実のものとなったとき、現金が王者となるだろう。現金はより多くの日用品やサービスを購入し、大幅に値下げされたあらゆる種類の金融資産や不動産資産を支配するだろう。

あらゆる影響や連鎖的影響がどうなるかを予測するのは極めて困難になるだろう。しかし、シェールオイルの探査から鉄鉱石鉱山、ドライバルク船、アルミニウム工場、製鉄所など、あらゆる分野における過剰投資と過剰生産能力の度合いは、これまでに見たことのないものだ。問題は改善される前に、さらに悪化するだろう。

通貨インフレとは、お金の価値が蒸発することです。

政府は、中央銀行が無からお金を創造することで部分的に資金を調達し、巨額の財政赤字を積み上げるために、財政赤字とインフレを利用している。

通貨インフレは、隠れた税金のような役割を果たします。簡単に言えば、それは**窃盗**です。人々は財布の中にお金を入れて歩き回っています。銀行口座にお金が入っています。しかし、このお金は通貨インフレによって価値が下がるため、本質的には課税されているのです。

物価上昇率を見ても、必ずしも金融インフレの影響を判断できるわけではありません。物価上昇は金融インフレの結果の1つにすぎません。また、金融インフレは資源の配分を誤らせ、負債の増加と

貯蓄の減少を招きます。金融インフレは、投資家を騙して、実際よりも貯蓄が多いと思わせます。

これは、株や不動産などの持続不可能なバブルにつながることが多い。インフレは政府支出のコストを隠してしまう。中央銀行が何もいないところからお金を作り出し、政府の財政赤字を補填することができなければ、人々は増税に耐えられないだろう。

インフレは人々が考えるよりも深刻であり、一方で不換紙幣の破壊が進行している。金を所有することは自分自身を守る一つの方法である。 中央銀行の欺瞞的な政策から身を守り、あなたの富を守りましょう。

中央銀行や政府は紙幣の価値を破壊しますが、金の価値を傷つけることはできません。金は歴史上のあらゆる金融危機を通じてその価値を維持してきました。だからこそ、人類は何千年もの間、金を価値の保存手段として利用してきたのです。

また、十分な現金を手元に置いておくこともお勧めします。第 22 章で説明したように、金とは異なり、現金は危機時に少なくともいくらかの価値を失います。しかし、危機が起こったとき、日常の商品やサービスの支払いに最初は現金が必要になる場合があります。したがって、あなたとあなたの家族が 3 か月から 6 か月を過ごせるように、十分な現金を手元に置いてください。前の章で詳しく説明したように、ギリシャやキプロスで見られたように、危機時に現金を入手するのは困難になる可能性があることを忘れないでください。

10年間にわたる非合理的なゼロ金利政策と量的緩和政策、そして神の慈悲により、株式市場は目が回るような高値まで急騰したが、実体経済は破綻している。

金融工学：

金融学の助教授ノア・スミスは、ブルームバーグに金融工学の危険性についての記事を執筆した。2008 年の崩壊について、彼は次のように書いている。

「何十年もの間、トレーダーは、市場価格がデリバティブ価格モデルが示唆する水準に動くという予想のもと、大規模でレバレッジの高い取引を行ってきた。こうした賭けは、利益を生んだ…利益がなくなるまでは…トレーダーは金融エンジニアのモデルを非常に信頼していたため、そのモデルが極めて正確な値を維持すると賭けても構わなかった。」

言うまでもなく、その極限の精度は、盲人が夜中に狙いを定めるのと同じくらい正確だった。記事はさらに、数学モデルが常に「ある程度の『不確実性』に悩まされる」理由を説明。そして、それが確実ではあるものの、世界中の中央銀行が引き続きそのモデルを使い続けることも同様に確実だ。

、同じことを繰り返して違う結果を期待するという狂気の定義を思い出させます。

最終的には、株式市場は少なくとも 50% 下落し、不動産価格は 40% 下落し、貯蓄口座は 30% 減少し、失業率は 3 倍になります。事態はすでに悪化の瀬戸際にあります。

何が起きているのかを知るには、次の点に注目してください。

1. 避けられない株式市場の崩壊
2. 迫りくる住宅資産の破壊
3. 46兆ドルの富の移転
4. 貨幣流通速度の低下
5. 静かな富の没収

広告 1。株価が下がると、投資家は追証請求を受け、すぐに持ち株を売却せざるを得なくなり、市場の売りが加速します。 - もう一つの指標は、ほとんどの経済学者が無視することが多いものです。それは株式市場参加率です。これは単に株式市場の取引量を測るものであり、非常に高い評価で売られている市場としては驚くほど低い水準です。

2008 年の最後の暴落後、多くの人が市場への復帰を拒み、それが取引量が少ない理由です。市場は史上最高値に達しましたが、投資する人は多くありません。歴史上、取引量が少ない状態で持続的な市場上昇が起こったことはありません。

参加率が低く、信用取引の負債が高い場合、市場はどうして上昇できるのでしょうか? - 大きな要因は、自社株買いです。企業は自社株を購入するために低金利で資金を借り入れ、幹部のボーナス レベルを向上させています。自社株買いは記録的なペースで進んでいます。今年は 1 兆ドルを超える勢いです。

逆に、中国は過去 2 年半にわたって 2,400 トンの金を輸入しているのに、金価格が上昇する要因がないのに、どうして金の市場価格が下がったのでしょうか。この量は、世界中で毎年採掘される金の総量とほぼ同量です。生産された金のすべてを中国が購入しているのに、価格が下がるなんてあり得るのでしょうか。もちろん、わざと目を閉じたり、不誠実に「[謝罪](#)」したりしない限り、答えは非常に簡単です。

「世界中のお金は偽物です。金は、今も昔も、そしてこれからも本物のお金です。金は神のお金です。これが問題なのです。これは、世界中の人々に偽のお金を使うように強制し、本物のお金が蓄積されるというものです。」そして、「**銀は地球上で最も安価な資産です**」 - [ビル・ホルター](#)。

企業は将来に投資する代わりに、利益率が下がっているときでさえ、株価を上げようと本格的な「金融工学」に取り組んでいます。それは、住宅担保ローンを組んで自分の家を高値で購入し、その後、その家はもっと価値があると主張するようなものです。これは一種の応用「金融工学」です。

取引する人は減っているが、マージンの使用は増えており、株価収益率を危険なほど高い水準に押し上げている。これらは、ほとんどの投資家を驚かせる大規模な崩壊が間もなく起こることを示す指標の一部にすぎない。株式市場の 50% の下落は、実際には控えめな見積もりである。市場が 2009 年の安値まで下落すれば、70% の下落となる。

広告 2。住宅を所有する人の割合が過去最低に近づいているのに、なぜ不動産価格が上昇しているのでしょうか。住宅所有率が 50 年ぶりの低水準にあるのに、なぜ不動産が堅調なのでしょう。- 前回の金融危機で数千万人以上の人々が家を失いました。これにより、一部の大手投資ファンドが大幅な値引きでこれらの物件を購入しました。2008 年のサブプライム ローンの崩壊から学んだことがあるとすれば、それは、不動産価格は住宅購入者が購入できる水準をはるかに超えて上昇し続けることはできないということです。

価格は最終的に再び下落するでしょう。住宅を所有している場合、これは深刻な懸念事項です。価格がまだ下がっていない唯一の理由の 1 つは、住宅ローン金利が依然として史上最低水準にあるためです。

住宅ローンの金利が通常 6 ~ 8% に戻ったらどうなるでしょうか。突然、住宅ローンの維持費が 2 倍になり、住宅の購入価格が下がります。住宅ローンの金利が 7.5% に戻れば、月々の支払額を同じにするためには住宅価格を 32% 下げなければなりません。そして、住宅ローンの金利は最終的には上がるので、価格は下がることは間違いありません。

現在の不動産市場では数百万ドルが高値で売れず、大手投資会社が投機対象物件を突然処分しなければならなくなるため、不動産価格は40%下落すると予想されます。住宅所有者の資産の多くが一瞬にして消え去るでしょう。

広告 3。人口動態の影響は重要な役割を果たします。第二次世界大戦が終わった後、出生数が大幅に増加しました。その後 18 年間、出生数は前例のない割合で増加し、その結果、経済にとって好ましくない現在の退職の波が生まれました。

年金基金の大半は未積立債務を抱えており、社会保障もそれに続く。統計的に、政府がこれらすべての約束を守ることは不可能だ。何らかの債務不履行は起こるだろう。しかし、それは支払いが止まるという典型的な債務不履行ではないだろう。給付金の削減は、さまざまな組み合わせで行われるだろう。

未積立負債を迅速に削減する方法の 1 つは、EU 諸国の多くで実施されているように、単に公定退職年齢を引き上げることです。これにより、数十兆ドルの負債が即座に解消されます。最後の主要な選択肢は、単に受給者への支払いを減らすことです。

広告 4。経済学者が「貨幣の流通速度」と呼ぶものの低下。ほとんどの人はこの用語を聞いたことがないでしょう。これは単に名目 GDP と名目貨幣供給量の比率です。言い換えれば、貨幣が経済をどれだけ速く移動するかの測定値です。

広告 5。不換紙幣の消滅は、人々の貯蓄を消滅させる可能性があります。すべての通貨が通貨戦争に参加し、底辺への競争を行っているからです。



国際情勢が落ち着くにつれ、銀行口座の残高は1年以内に30%減ると予想されます。その後、数年間でさらに20%減り続け、合計で50%以上の減少が予想されます。その結

果、燃料から公共料金、食品まで、支払うものすべてが値上がりします。

数百万が数兆に変わることの意味:

考えてみてください。「将来の支出を削減する」というつぎはぎ的な解決策以来、米国の負債は14兆ドルから20兆ドル以上に加速度的に増加し続け、毎年約1兆ドルの負債が追加されています。



日常的に使われる百万、十億、兆などの単語をよりよく理解するには、次のように考えてみましょう。

- 100万秒は12日前でした。
- 10億秒は31年前でした。
- 1兆秒、それは31,000年前のことです。

前述のように、米国の負債は昨年1兆ドル以上増加しており、これは1秒あたり33,000ドルに相当します。

墜落現場からどれくらい離れていますか?

歴史的に、諸外国は米国債の購入を通じて米国の債務依存を喜んで助長してきたが、それは終わりに近づいている。

ABCニュースは「ロシアは米国債を売却するだろう」と報じている。

チャイナ・デイリーは「中国が米国債保有を削減」と報じた。

しかし、米国債務を放棄しているのはロシアと中国だけではない。

先月だけで、外国は560億ドルを

米国債。日本、中国、ベルギー、スイス、英国、メキシコ、フランス、ドイツ、そしてイスラエルまでもが米国債の救済に乗り出している。

2018 年 9 月の海外 T 債販売の概要は次のとおりです。

そして、他国が米国債の購入をやめたとき、残された選択肢は二つだけだった。債務不履行に陥るか、あるいは「無から」さらに量的緩和マネーを作り出し、そのお金で債務を買い戻すことで債務を貨幣化するのだ！

Country	Change
Japan	\$14,200,000.00
China	\$15,400,000.00
Belgium	\$9,300,000.00
Switzerland	\$3,800,000.00
United Kingdom	\$15,100,000.00
Taiwan	\$3,800,000.00
Mexico	\$3,600,000.00
Turkey	\$2,900,000.00
France	\$5,300,000.00
Russia	\$12,600,000.00
Germany	\$3,100,000.00
Korea	\$1,800,000.00
Philippines	\$1,000,000.00
Israel	\$1,100,000.00
Denmark	\$400,000.00
Others	\$8,300,000.00

そして債務不履行は選択肢ではないため、この紙幣増刷は最終的に経済を崩壊させ、前述の 5 つの段階を引き起こすことになる。失業の増加、中流階級の衰退、債券市場、学生ローン、自動車ローンのバブルの崩壊が予想される。投資家は、米国の債務不履行が迫っているため、すでに不安を抱いている。

第三次世界大戦：

戦争の論理を克服する。

「世界的紛争に勝者はいない」 ウラジミール・プーチン

最近、米国はヨーロッパで初のミサイル防衛システムの試験を実施した。これは何を意味するのか。それは、我々が米国のパートナーと議論したとき、我々が正しかったということだ。彼らはまたもや全世界と我々を欺こうとしていた。はっきり言って、**彼らは嘘をついていた**。それは、存在しなかったイランの仮想的な脅威に関することではない。それは、戦略的バランスを破壊し、力関係を自分たちに有利に変え、支配するだけでなく、地政学的な競争相手、そしておそらく同盟国にも、自分たちの意志を貫く機会を得ようとする試みだった。これは非常に危険なシナリオであり、すべてにとって有害であり、私の意見では米国にとっても有害である。

不換紙幣が我々の経済的苦境の原因である：

2007年に崩壊した不動産および信用バブルに対する解決策は、大量の不換紙幣を印刷して世界中にドルを氾濫させることでした。残念ながら、バーナンキ氏、そして現在は世界の準備通貨である米ドルの価値を守る連邦準備制度理事会の最高責任者であるイエレン氏は、問題を解決せず、むしろ悪化させたただけだった。

バブルは解消されず、2008年に余剰流動性がエネルギー市場と農産物市場に流れ込み、原油、ガソリン、食品の価格が上昇しました。これにより、すでに不動産崩壊に苦しんでいた脆弱な世界経済が崩壊しました。最終結果はバーナンキの意図とはまったく逆でした。不動産崩壊を食い止める代わりに、景気後退の深刻さを拡大しました。ベン・バーナンキは過去の失敗から学んでいません。2010年のQE2は2011年に深刻な購買力の低下を引き起こしました。商品や株を買うためにドルをもっと刷ったかもしれませんが、FRBがお金を刷っても購買力は上がりません。それどころか、購買力はさらに低下します。これはまさに、慎重さの限界を超えて実施された金融政策です。

紙幣の印刷には大きな危険があり、予期せぬ結果が国民に打撃を与えます。通貨の価値が下がるだけでなく、資産バブルが発生し、そ

れがはじけると大混乱を引き起こします。さらに不道德なことに、紙幣の印刷は下層階級に不釣り合いなほど打撃を与え、不安定な社会的、政治的緊張を引き起こします。

マーク・ファーバー氏はこう語る。「世界中の中央銀行がバランスシートを縮小することは決してないだろう、繰り返すが決してないだろう。彼らは紙幣印刷の道を行ってきた…そして一度その道を選んだら、もうその道にはまり、さらに紙幣を印刷しなければならないのだ。」

控えめに言っても、不換紙幣の歴史は失敗の歴史でした。実際、1世紀にローマ人が初めてその習慣を始めて以来、すべての不換紙幣は価値の下落と最終的には通貨だけでなく、その不換紙幣を保有していた経済の崩壊に終わりました。

今回はなぜ違うのでしょうか？ 実際のところ、違います。実際、紙幣を使った試みは何度も失敗しており、今日の通貨も何ら変わりません。不換紙幣は成功していません。不換紙幣が時の試練に耐えてきた唯一の点は、バーナンキが述べたように経済刺激策として紙幣を増刷することで、このトレットペーパーの価値が下がり、価値が下がるのを政治システムが防ぐことができなかったことです。

今日の通貨状況は、通貨の崩壊に至った歴史と多くの類似点がある。世界経済の現実、知覚の幻想によって覆い隠されてきた。不換紙幣の価値は、知覚に基づいてのみ決まる。不換紙幣は、適切な管理と統制があって初めて機能する。最も明白なことは、銀行制度と通貨制度の基盤に欠陥があることである。不換紙幣の基本設計は、利子と関係している。インフレは窃盗とみなすこともできる。不換紙幣の管理が不十分であるという幻想と現実が出会うと、バブルははじけ、価値があると思われていたものが真の価値を持つようになる。グローバリストは我々を奴隷にしてきた。金だけが我々を解放できる。

フランス人は、不換紙幣の試みで特に失敗しました。フランスに紙幣を導入した最初の人物はジョン・ローでした。紙幣の概念は、ルイ14世の死と彼が残した30億リーブルの負債によって大いに促進されました。ルイ15世は、過ちを犯すのに十分な年齢になったとき、すべての支払いを紙幣で行うことを求めました。新しい紙幣は急速に供給過剰となり、誰も価値のないガラクタを所有したくなくなり、通貨として硬貨を要求しました。

ローは、もう誰も硬貨を欲しがらないだろうと考えていたようだ。金や銀の輸出を違法にし、地元の人々が紙幣を実際の価値のあるものに交換しようとして失敗した後、通貨は崩壊し、ジョン・ローはフランスで最も嫌われる男となり、イタリアに逃げざるを得なくなった。

18世紀後半、フランス政府は再び紙幣にチャンスを与えようとしてきました。このとき、政府が発行したゴミはアシニャと呼ばれました。1795年までに、アシニャのインフレ率は約13,000%に達しました。その後、ナポレオンが登場し、金フランを持ち込みました。ナポレオンが認識した良いことの1つは、金が安定した通貨への道であり、それが彼の統治中にほぼ実現したことです。

第一次世界大戦後のワイマールドイツは、史上最大のハイパーインフレの時代でした。ベルサイユ条約は、本質的には戦争賠償金としてドイツに課せられた財政的制裁でした。ドイツが支払わなければならなかった金額は莫大で、返済できる唯一の方法は印刷機を稼働させることでした。

米国とEUが負っている返済不可能な巨額債務は、ワイマール時代の経験の繰り返しを招く格好の誘因となっている。この時期のインフレはひどく、ドイツ国民は文字通り、積み重ねたマルクの山を炉の暖房に使っていた。

最近の不換紙幣の破綻：1932年、アルゼンチンは通貨が崩壊するまで世界第8位の経済大国でした。1992年には、フィンランド、イタリア、ノルウェーで通貨ショックが発生し、それがヨーロッパ中に広がりました。

1994年、メキシコは悪名高い「テキーラ二日酔い」を経験し、ペソが暴落し、ラテンアメリカ全土に経済的困難が広がりました。

1997年、タイバーツが暴落し、その影響はマレーシア、フィリピン、インドネシア、香港、韓国に広がりました。

1998年、ロシアルーブルは切り下げによって経済不況を招いたため、投資に望ましい通貨ではありませんでした。21世紀初頭には、トルコリラがワイマール時代のドイツマルクと同様のハイパーインフレを経験しました。

かつては穀倉地帯と考えられていたジンバブエでは、ナイジェリアはアフリカ大陸で最も裕福な国の一つであったが、ムガベ大統領による価格統制の試みとハイパーインフレが相まって、国民にパンやきれいな水といった最も基本的な必需品を供給できなくなっている。

現在、米国とEUは、歴史上他のすべての不換紙幣の崩壊につながったすべての兆候を備えています。イラク戦争の資金調達、極めてインフレを招きました。実際、1914年以来、米国は17回を超える軍事紛争に関与してきました。軍事紛争の圧倒的多数は、通貨インフレをもたらしました。

現在、米国とEUの負債はワイマール時代のドイツと同程度です。負債の原因は異なりますが、ドルとユーロの供給は現在、年間15%以上のペースで増加しています。過去、この通貨の過剰発行は、通貨が消滅の危機に瀕していることを示す先行指標でした。

ドルは、1913年に初めて発行されて以来、その価値の97%以上を失っています。1934年の再評価後、ドルはさらに41%下落しました。ドルはトイレットペーパーのようなお金になるという避けられない道を歩んでいます。世界の準備通貨としての米国の金融システムへの信頼が危うくなっています。債権者が、大量の新しいマネーサプライによって準備金保有が危険にさらされ、富が脅かされると感じた場合、米ドル建ての証券から大量の資金が流出する可能性があります。結局のところ、不換紙幣は、慎重な管理によるその価値に対する外国の信頼を基盤としていますが、これはドルには当てはまりません。

次は何ですか？

経済全体は実質的なお金なしで機能しており、実質的には消滅しています。経済は信用の需要と供給となり、インフレのレベルを決定するのはお金ではありません。

政府債務に次いで、企業債務は2番目に急速に拡大しているカテゴリとなっている。今日、企業債務も高い水準にあるが、当面は依然として高い収益に支えられている。しかし問題は、収益が着実に消えていくにつれて、返済がますます困難になる債務よりも収益のほうがはるかに速く消えていくということだ。利益がなければ、企業は、下さなければよかったと思うような決断や、負っていなければよかったと思うような債務に対処しなければならない。

企業は信用の拡大に依存しているため、クレジットカードを持ち、自信を持ち、支出を増やす意志と能力のある顧客が必要となる。なぜなら、実質賃金が下がれば信用が唯一の選択肢となるからだ。

成長を続けるには信用の増加が必要です。

最近では、銀行は金庫に保管している既存のお金を貸し出すことはありません。貸し出すと、それまで存在しなかったお金が作られます。そして過去30年間、世界経済は信用に依存するようになりま

した。この信用は経済の拡大を助けてました。借り手は家を建てるのに必要な資源を自由に使うことができました。金本位制のもとでは、借り入れは利用可能な貯蓄に縛られていましたが、新しい信用経済ではそうではありません。今日、可能性は無限です。言い換えれば、これが過去 30 年から 40 年間の世界経済の成長のほぼすべてです。どこからともなくお金が生まれ、それが金融セクターの実物資産に変わったのです。

西側諸国は成長を続けるために、信用を年間 2% 増やす必要があります。信用がその率を下回ると、経済は不況に陥ります。インフレ率が 2% だとすると、米国だけで信用を年間 2.3 兆ドル増やす必要があります、EU と日本を加えると年間 7 兆ドルになります。しかし、誰がそんなに借りるのでしょうか？

米国の財政赤字は今年減少しており、6,000億ドル未満になると予測されている。FRBは4回目か5回目の縮小政策を実施している。では、残りの1.7兆ドルは誰が負担するのだろうか？ わかっている限り、誰も負担しない。

Shadowstats.com の John Williams 氏が苦労して計算したように、非ヘドニックインフレ指標を適用すると、物価インフレは**実際には約 8 ~ 9 パーセント**で推移し、実際の物価インフレでデフレートされた実質 GDP は 7 パーセント以上で崩壊することになります。

これらのことがいくつも重なれば、世界は金融戦争、デフレ、ハイパーインフレ、市場崩壊を経験することになるかもしれない。しかし、市場は楽しそうにゆっくりと動いている。私たちは架空の世界に生きているのだろうか？ わかっていることすべてから判断すると、遅かれ早かれ世界経済が崩壊する原因となる何か**が必ず起こる**。

長期的な金融への影響はドル安であり、これは金にとって良いことです。ドル安はあらゆる物価、特に石油などの輸入品の価格上昇を意味します。価格上昇は金利を押し上げます。ロシアが中国へのエネルギー販売を拡大するにつれ、ヨーロッパに供給できる余剰供給量が少なくなり、ヨーロッパのエネルギー価格が上昇します。国際紛争の激化は軍事予算の増大につながり、将来の赤字が増大し、ドルだけでなく他のすべての通貨も弱体化します。

まず、デフレに見舞われると仮定しましょう。その場合、金投資家はジム・リッカーズ著の「貨幣の死」を読む必要があります。彼は、金価格を1000ドルに引き上げる大統領令が、紙幣発行が限界に達し、FRBが引き下げた場合、米国のデフレ下降スパイラルを打破できる唯一の方法は7,000ドルとなるだろうが、これはできるだけ早く行われるべきだ。

「連邦準備制度理事会は公開市場操作を実施することでこの価格を維持することができます…」と彼は言います。「目的は金保有者の富を増やすことではなく、一般的な価格水準をリセットすることです…金に対するこのようなドルの切り下げは、他のすべてのもののドル価格の上昇にすぐに反映されます。」

「金が7,000ドルの世界は、1バレル400ドルの原油や1オンス100ドルの銀の世界でもある。ドルが金に対して切り下げられればデフレは根絶される。1933年に米国が金を1オンス20.67ドルから35ドルに切り上げ、41パーセントのドル切り下げとなったときのように。」しかし、これは金の価格設定としてはあまりにも低く、意図された金の裏付けの失敗を引き起こした。

彼の結論は、「米国が再び深刻なデフレに直面した場合、紙幣の印刷が失敗したときに他に解決策がないため、金に対するドルの切り下げという解毒剤は同じになるだろう」というものである。

本当の富:

本当のお金は借金とは異なります。お金自体を説明する必要はありません。お金がどこにあったのか、何をしていたのかを説明する必要もありません。

たとえば、金貨をそのまま持ってみてください。背景やバランスシートは必要ありません。実際のお金はこのように機能します。取引が終了します。支払いを受け取ると、口座が決済されます。

しかし、借金は違います。借金には疑問がつきものです。誰が借金を発行したのか？実際の価値はいくらなのか？返済されるのか？

実際のお金と対照的に、借金のお金を理解する鍵は次のとおりです。実際のお金は過去の努力の成果であり、将来の使用のために蒸留され保存されています。

借金は、これまで一度も生み出されたことがなく、おそらく今後も生み出されることのない富に対する請求権です。

実質的なお金の量が増えると、社会はより豊かになり、経済的に安定します。なぜなら、それが本当の富だからです。しかし、借金のお金の供給が増えると、より多くの人々がより多くのお金を借りるようになり、経済はより脆弱になり、最終的には破産します。

しかし、当局が通貨供給量を増やしたい場合、増やすことができる通貨供給量は偽物のみです。本物のお金は稼ぐ必要があります。富と同様に、印刷することはできません。これはビットコインにも当てはまります。

金のように、（現実世界のエネルギーとコンピュータ処理能力を投入して）「採掘」するか、何かと交換するかのどちらかです。ビットコインの供給量はアルゴリズムによって管理されており、理論上は 2100 万に制限されています。中央銀行は、ビットコインが足り

ないと考えているため、それ以上のビットコインを発行することはできません。 - ビットコインが本当のお金になるかどうかは、人々が知るまで待たなければなりません。だからこそ、金はとても良いお金なのです。

その供給は経済とほぼ同じ割合で増加します。
金が多ければ多いほど、通常は富も増えます。

金とビットコイン、その他の暗号通貨は、通貨として価値を交換するための、広く普及した非中央集権的な方法である。他の法定通貨とは異なり、中央当局による発行はない。同様に、ビットコインも金も、不安な中央銀行家がボタンを押すだけで「印刷」できるものではない。しかし、この 2 つには大きな違いが 1 つある。金は新しいテクノロジーとは正反対なのだ。

金は物理的で、実体があり、現実の資産です。手に取って、その心地よい重みを感じることができます。変更することはできません。金は金です。一度所有すると、変更も変更もできないまま、そのままの状態になります。機能するインターネットやコンピューターに頼る必要はありません。金には純粋で実体の価値があります。

さらに、金は間違いなく何千年の間お金でした。金貨は暴徒やゾンビなどをかわしている間もポケットの中に入っていることができます。一方、ビットコインはインターネット上のどこかに存在するコードにすぎません。拾ってポケットに入れることはできません。そのコードを紛失すると、ビットコインやその他の暗号通貨も失われます。

偽札とは対照的に、偽札の量が増えれば増えるほど、私たちは貧しくなります。実際には、偽札が実際に行っていることは、一部の人々（部外者）の本当の富を吸い上げ、それを中央銀行とのつながりが強い、いわゆるディープステートのインサイダーの手に再分配することです。

紙幣の印刷が溢れる世界では金の価値が上がる。

論理的に考えると、金のように供給量が固定されたお金は、紙幣の印刷によってお金が溢れる世界では価値が高まります。上記は、そこに至る道筋を示しています。これを達成するには、いくつかの飛躍が必要であり、そのタイミングを計ることはほぼ不可能です。しかし、事態は急速に動き始める可能性があります。

おそらく金は、本当に信頼できる唯一の通貨として、新たな世界通貨システムの中心に立つことになるでしょう。

中国とロシアはアメリカに対抗するために協力しており、世界の準備通貨としての米ドルの地位を奪うために喜んで彼らに加わる国は数多くある。ロシアと中国の間の歴史的なガス取引は、オイルダラーにとって非常に悪いニュースだ。

また、ロシアはイランとの大規模な核協定を発表する可能性があり、ロシアは多数の原子炉の建設、資金提供、ウラン供給を行うことになる。ロシアは中国、そしてシリアに対しても同様の措置を取るだろう。

中国がロシアと天然ガス協定に署名し、中国は、ロシアとイランを含むアジア諸国のための新たな安全保障モデルを構築する時期が来たと公言しており、中国が米国よりもロシアを選んだのは明らかだ。

世界は第2次冷戦の初期段階にあるかもしれない。最初の犠牲者は欧州連合だろう。EUは石油と天然ガスの輸入をロシアに完全に依存しており、EUの石油と天然ガス供給の3分の1以上がロシアから来ている。ロシアにとってこれは依然としてレッドライン問題であるため、ウクライナが欧州連合とNATOから脱退することは確実だ。

「ウォール街は中国の金の蓄えを懸念している」とレオン氏は述べた。米連邦準備銀行はゴールドマン・サックス、

シティバンク、JPモルガン・チェース、モルガン・スタンレーなどの投資銀行に金を毎年貸し付け、市場で取引させている。金の量は400～500トンで、この動きは金価格を人為的に抑える役割を果たしている。価格が有利になると、これらの投資銀行は金を買い戻し、連邦準備銀行に返却する。

しかし、この措置は中国が金を溜め込んでおり、規則に従っていないため全く役に立たないと梁氏は述べた。中国は金価格が下落しているのを見ると、まず金を買い、価格が下がり続けても売らない。梁氏によると、ウォール街はこれに対して中国に対抗することはできないようだ。同アナリストは、米ドルが世界の主要通貨として台頭して以来、金価格と連動しているため、中国人民銀行がワシントンとウォール街に圧力をかけていると述べた。連銀は金価格を有利に操作したいと考えているが、中国人民銀行がそれを阻んでいると梁氏は述べた。

「ほとんどの評論家は、2008年のFedの大規模な金融緩和が大きな経済災害を防いだと考えている。それよりも、大規模な金融緩和が非生産的なバブル活動の時間稼ぎとなり、経済全体を弱体化させた可能性が高い。一般的な考えとは反対に、経済浄化はFedの金融緩和政策によって引き起こされた混乱を「修復」するために必須である。将来の経済的苦痛を防ぐために必要なのは、「無から」お金を生み出すための抜け穴をすべて塞ぐことである。」 [ミゼス・デイリーより](#) - フランク・ショスタク、FRBは経済の回復を許さない。

金と銀を所有する理由:

歴史的に、人々が金や銀をお金として使っていたとき、購入したものの所有権は売り手から買い手に移りました。何か10ユーロで購入され、買い手が10ユーロ相当の金や銀で支払った場合、そ

これは均等な交換であり、したがって買い手は購入した物を完全に所有していました。今日ではこれはもはや当てはまりません。第 22 章で詳しく説明されているように、使用されるお金は負債であり、中央銀行が何も無いところから負債によって作り出されます。その結果、売り手は販売の実質的な価値を得ることなく、他人の負債を負うこととなります。

米国憲法では、議会のみが「通貨を発行する」権利を持つと規定されています。しかし、FRBは世界の他のほとんどの中央銀行と同様に民間の外国銀行であり、印刷されたドル紙幣に「連邦準備銀行券」と記載されているにもかかわらず、米ドルは米国の通貨ではありません。これは理解し、心に留めておくことが非常に重要です。ユーロ、円など、他のほとんどすべての通貨も同様です。

紙幣を増刷しても商品やサービスが増えるわけではありません。単に既存の商品やサービスの価値がより多くのドルやユーロの間で薄まるだけであり、実際はインフレによる政府による窃盗です。

富はお金からではなく、お金で買える商品やサービスから生まれます。

米国はほぼ 50 年前に金本位制を廃止しましたが、金は今でもすべての国が保有している唯一のものです。ギリシャでさえ今日では金を保有しています。実際、破産した PIIGS 諸国は、金庫に合計 1,800 億ドル以上の金を保管しています。債務不履行に陥る可能性もありますが、金塊は後回しにして保管するでしょう。

そして、中国が次の世界通貨供給国となることを目指している中、世界最大の民主主義国であるインドもまた、新たな「金本位制」の基盤を整えつつある。

お金のない中央銀行:

国民から徴収された税金は、民間の連邦準備銀行または地方の中央銀行に直接送られます。これが**詐欺**の実際的な仕組みです。中央銀行は政府にお金を貸し、政府の負債を買い取ります。しかし、中央銀行は実際にはお金を持っていないため、必要なときには紙幣を印刷するだけです。彼らが印刷したお金は、裏付けがないため何の価値もありません。過去には、アメリカ合衆国ドルは金に裏付けられており、「金本位制」と呼ばれ、それが通貨の価値を決定づけていました。

事実上、中央銀行家たちは、以前は夢見ることしかできなかったことを今や実行している。それは、インフレを起こさずに紙幣を印刷することだ。政治家たちもまた、この一生に一度の無謀な機会を楽しんでいる。彼らは、以前は誰もできなかったことを実行できる。それは、**返済せずにお金を借り**ることだ。政府が中央銀行家たちにローン返済する必要はない。なぜなら、彼らが政府に貸し付けているお金は、納税者からではなく、世界の残りのお金のように、**どこからともなくやってくるからだ**。第20章では、私たちの指導者たちが納税者からお金を搾り取り、その過程で一般大衆を奴隷にするという詐欺行為をよりよく捉えた、より詳しい説明がなされている。

逆に、金と銀が例えば 50% 暴落すれば、それは我々の指導者たちが経済を軌道に乗せるために正しい措置を講じている証拠となるでしょう。しかし、政治家は一夜にして賢くなることはありません。実際のところ、彼らの中で最初の天才はまだ見つかっていません。したがって、富を守るためには、金と銀で資産保険を購入する方がまだ良いでしょう。

米ドル:

状況をどう見てもドルは破滅する運命にある。ドルは最近になって、金利引き上げの噂が広まり期待されて上昇しただけであり、他の通貨の大半が米ドルに対して下落したため、通貨は保存手段として

米ドルに交換された。 - こうした金利引き上げは行われぬ。さらに、ドルも上昇している。誰もが連銀が紙幣の増刷を終えたと考えているからだ。これは明らかな嘘だ。連銀は今、紙幣を増刷する権限を与える状況を作り出しており、間違いなくそうなるだろう。ドルが下落すれば、価値のない紙幣を保有したい人は誰もいなくなる。誰も紙幣を買わない。誰も再び通貨戦争を戦うことはない。アメリカはこの戦争に負けるだろうし、米ドルを保有する者はその戦争にも負けるだろう。

連邦準備制度理事会は2008年以来、国民に嘘をつき続けています。彼らには「出口計画」がありません。そもそも、出口計画などありませんでした。そして、彼らのバランスシートには価値のない住宅ローン担保証券が1.7兆ドル、国債が2.5兆ドルあり、最終的な目的は連邦準備制度の紙幣を燃やし、アメリカ国民を絶対的な隷属と新奴隷制に陥れることです。

「犯罪者は連邦準備制度を運営しており、それを金を盗むための剣として、また犯罪を隠すための盾として利用している。」 - [ジョン タイタス](#)。

この知識が意味することは実に驚くべきものです。なぜなら、不換紙幣を持つ人は誰も何も所有していないことを意味するからです。

世界経済は下振れ傾向にある。

この壮大な債務バブルは、最終的にはまずデフレによって崩壊し、その後、恐怖に駆られた世界の中央銀行が一斉に大量の紙幣を印刷することでハイパーインフレへと爆発的に拡大するだろう。

世界経済は急速に減速しており、多くの赤い警告サインがそのことを示しています。

中央銀行は機能不全に陥り、世界通貨市場は混乱に陥っています。世界的バブルは崩壊しつつあり、今後は金融状況が引き締まります。バブルは金融政策を引き締めるのに都合の良い時期ではありません。ベストプラクティスでは、中央銀行はバブルのダイナミクスが定着する前に早めに通貨供給を引き締める必要があります。しかし、中央銀行はバブルの過剰を助長し、それに適応させています。これでは行き詰まりです。

中央銀行家たち:

中央銀行は紙幣を印刷できるが、銀行が融資せず、消費者が支出しなければインフレは起こらない。しかし、中央銀行が紙幣印刷政策でインフレを起こせなかったため、マイナス金利などインフレを起こす新たな方法についての議論が巻き起こっている。

これは実際どのように機能するのでしょうか？ 電子預金の金利がマイナスになると、人々は現金に移行するでしょう。しかし、本当にそうなるのでしょうか？ 政府が現金を禁止したらどうなるのでしょうか？ 政府が「デジタル」マネーを「紙」マネーから分離し、紙幣は無価値だと言ったらどうなるのでしょうか？

銀行家が考案したマイナス金利は、あなたのお金を盗むもう一つの方法です。貯蓄者にとって唯一の防御手段は、土地、美術品、天然資源、貴金属などの実物資産を所有することかもしれません。

金は投資対象としてみなす人々から嘲笑される。しかし、ロシアと中国は記録的なペースで金を蓄積し続けている。金と銀の現物は今や不足している。バーナンキはFRB議長に就任する前に、FRBが本当に望めば常にプラスのインフレを生み出せるとも述べた。彼はこう述べた。

「米国政府は、印刷機、あるいはその電子版と呼ばれる技術を持っており、これにより、
実質的にコストをかけずに、望むだけ米ドルを入手できる。」

世界中の中央銀行は経済を刺激するために無謀な金融政策を採用しており、QEとZIRP（ゼロ金利政策）が機能しなかったため、経済を刺激するためにはインフレが必要だと今でも繰り返し主張し続けている。

不況を避けるために、インフレを瞬時に作り出すことができます。

しかし、もし彼らが本当にインフレを望んでいるのであれば、政策を変更して、金の価格が即座に米ドルであると世界に発表するだけで、インフレを即座に起こすという実際の解決策があります。

5,000ドル/オンス。中央銀行は、価格が1オンスあたり4,950ドル以下になると買い手となり、価格が1オンスあたり5,050ドル以上になると売り手となる。言い換えれば、中央銀行は、銀行を通じて買いたいときには紙幣を印刷し、売りたいときには紙幣供給を減らす。これは、中央銀行が今日、債券市場で量的緩和を実施したときに行ったこととまったく同じである。中央銀行は、取引において債券を金に置き換えるだけでよく、金利ではなく金価格をターゲットにすればより適切である。

金の価格が現在の水準から 1 オンスあたり 5,000 ドルに上昇すると、1 ドルで購入できる金の量で測定すると、ドルの約 75% の価値下落になります。金に対するこの 75% の価値下落により、他のすべてのドル建て商品価格が上昇します。石油は 1 バレルあたり 375 ドルになり、他のすべての価格もそれに応じて上昇します。ほら、必要なインフレが起こります。1933 年、大恐慌のデフレを打破するのは不可能だとは思わないでください。ルーズベルト大統領は、金の価格を 1 オンスあたり 20.67 ドルから 35 ドルに引き上げるよう命じました。これは金のドル価格の約 75% の上昇であり、大恐慌は直ちに終了しました。経済は 1934 年から 1936 年にかけて力強く成長しました。

50. 信頼の侵害

- 権力は腐敗し、絶対的な権力は絶対的に腐敗する。
。
- 腐敗した銀行カルテル。
- 政府は国民を統制するために組織されている。
- 債務者は銀行の言いなりになっている。
- グローバリスト犯罪マフィアシンジケートの反逆罪暴露。

率直な銀行違反:

「現金こそ王様」。EU の利益のために巨額の現金が強奪された後、キプロスで学んだように銀行に残しておかないとすれば、この預金強奪の合法性は極めて疑わしい。この強奪は預金保険制度を弱体化させ、特に危険なものにしている。銀行業務全体は**信頼に基づ**いている。銀行は預金を受け入れ、借り手に貸し出すが、この制度は預金者全員が一度に現金で返還を要求しない場合にのみ機能する。預金保険制度は預金者にさらなる安心感を与えるために設立されたものであり、その後これを弱体化させることは、欧州の銀行部門全体の基盤そのものを脅かす。このキプロス取引は、銀行が預金保険の精神に明らかに違反しており、最も失うものが多く、最も説明責任の少ない人々を裏切るものである。

多くのキプロス人が抗議のため街頭に出た。おそらく、ATMに立ち寄って銀行口座から引き出せる金額を全て引き出した後だろう。銀行は予想される取り付け騒ぎを避けるために閉鎖された。

おそらく、今度はキプロスが勝つ番なのだろう。2008年以来、EUの傘下でさまざまな「危機物語」が生まれてきた。中でも、いわゆる「PIIGS」諸国が際立っていた。次はマルタとエストニアが戦うことになるかもしれない。あるいはもっと悪いことに、この終わりのない危機の連鎖の次の局面でユーロを救うのは誰の「義務」になるのだろうか。私たちは貧しいキプロス人に同情する。彼らの多くは、ほとんど、あるいは全く貯蓄がないかもしれない。そして、すべては彼らが「ユーロ」と呼ぶ、一見神聖視されている通貨のために。

「何世紀にもわたって続いてきた、遅かれ早かれ戦わなければならない問題は、国民と銀行の対立である。」 - 「権力は腐敗し、絶対的な権力は完全に腐敗する。」 アクトン卿 1834 - 1902

欧州中央銀行、キプロス政府、国際通貨基金などの政府指導者は、破綻した金融機関を救済するために、国内の預金者から金を搾取することを決定した。キプロスのニコス・アナスタシアディス大統領が主導する協議が、提案を修正するために進行中である… 修正案には、10万ユーロ未満の口座に対する課税を3%に引き下げ、大口口座保有者の負担を増やすことなどが含まれる。

「考えてみると興味深いのは…キプロスの銀行システムには約700億ユーロの資産があるということ。一方、同国の経済全体はわずか180億ユーロだ。そしてキプロスはロシアのオリガルヒたちの銀行拠点なのだ。」

銀行課税により58億ユーロが調達される。キプロスはECBとIMFからさらに100億ユーロの救済資金を受け取る予定だ。それでもキプロスの推定180億ユーロの赤字には及ばない。そして資本規制がなければ、キプロスの銀行への取り付け騒ぎは確実だ。

「世界のグローバル銀行システムは信頼の上に成り立っています…預金者は、要求に応じてその貯蓄を引き出せると信じて、銀行に貯蓄を託しています。」その信頼は今や崩れ去りました。そして、それはユーロとヨーロッパの銀行に深刻な結果をもたらすでしょう。「キプロスの銀行課税は、単に世界社会主義への最新の動きです…この大失敗はすべて紙幣の乱用です。」

すべての債務が処理されるまで危機は解決しない：

馬鹿げている。突然、銀行預金に課税しようとしている。キプロスの銀行に現金を預けている人は、最大 9.9%、あるいはそれ以上の金額を失う可能性がある。まるでヨーロッパが反抗的な自己破壊行為に手を染めているかのようだ。過去 2 年間の混乱、緊縮財政、口論、暴動は、まだ十分ではない。

救済措置そのものは重要ではない。欧州はすでに被害抑制策で失敗しており、この混乱から抜け出すために後退するかもしれない。難しいのは待つことだ。欧州全域で銀行の取り付け騒ぎが起きるといふ考えが世界中の貯蓄家や投資家の心に植え付けられた今、株式市場では新たな不信感がすぐに現れ、あらゆるところで現れるだろう。

この危機は、世界通貨システムへの信頼の大規模な崩壊を引き起こすでしょう。しかし、金や銀、不動産、農業用地、木材、石油やガスの埋蔵量などの実物資産を購入する時間はまだあります。これらの種類の投資は、進行中の世界通貨の「リセット」を生き残るでしょう。すべての負債が解決されるまで、この危機は消えません。政治家たちは、これらの問題の根本原因に対処すること以外は、ほとんどすべてを行うでしょう。

「人々は政府と経済を同一視している」とダグ・ケイシーは言う。「両者はまったく異なるものだ。経済を活性化させる唯一の方法は

、税金を大幅に削減し、政府支出を大幅に削減することだ。それどころか、このバカたちは税金をどれだけ引き上げるか、支出をどれだけ削減するかを議論している。」

「中央銀行や国際銀行が債務のパッケージ化や再パッケージ化、債務の担保化や再担保化、債務の規制や規制緩和によって成長を「証券化」できるという見せかけは、今やすべて消え去った。1980年代初頭に債券市場の上昇が始まって以来、危機のたびに、中央銀行や国際銀行（IMF、EU、ECBなど）やウォール街やロンドンの銀行家らが債務の増加や債務の満期延長という形で対応してきた。

「その結果、2007年現在、オンバランスおよびオフバランス シートの負債は史上最大規模に膨れ上がっています。アメリカの14兆ドルの経済だけで、負債は220兆ドルに上ります（未資金の給付プログラムの公的、私的、偶発的負債をすべて含む）。世界の債務デリバティブ市場における取引額は、現在1千兆ドル（1015）を超えており、世界のGDP約60兆ドルをはるかに上回っています。」世界の負債をもっとよく理解するために、世界全体の資産総額は1千兆ドルと推定されています。**この膨大な負債額は、決して返済できないことは明らかです。**

しかし、2007年から始まり、2008年のリーマン破綻で劇的に明らかになったように、世界中の納税者がこの債務の利子または元金を支払う能力は壁にぶつかっています。そしてここ数年、世界中の政府は「延長して見せかけ」という同じ古い手法を試してきました。再パッケージ化して満期を延長し、税収が債務の一部を返済するのに十分なほど増え始めることを祈るのです。それはうまくいきませんでした。

ました。今、キプロスでは、避けられない次の段階が到来しました。世界中の中央銀行や国際銀行機関を通じてエリート層が史上最大の富を奪うために発生した債務を返済するための没収です。これは

、人々の「保険付き」銀行口座からお金を奪い取ろうとする流れです。

「JPモルガン（ジェイミー・ダイモン）がMFグローバルの顧客に手を伸ばし、仲間のジョン・コーザインの助けを借りて違法に10億ドル以上を奪ったとき、私たちはこうなることが起こると気付くべきだった。

私たちはもう教訓を学んだでしょうか？ 世界中の銀行口座にあるお金よりも、返済しなければならない借金のほうが多いのです。つまり、あなたが誰で、どの国に住んでいても、あなたの貯金のかなりの割合が銀行員に盗まれる可能性が高いということです。できるだけ多くのお金を金や銀に投資しましょう。警告：銀行口座に預けておくべきお金は、失っても構わないお金だけです。

政府が収入を得る3つの方法：

政府は3つの方法で歳入を得ています。1つ目は、税金を通じて国民の富を没収することです。税金は何百種類もあり、現在どれもかなり高額です。2つ目は借金です。政府は現在、信じられないほどの過剰債務を抱え、信用を失い、その借金は決して返済されません。3つ目は紙幣を印刷することです。

彼らは紙幣を刷り続けるでしょう。なぜなら、それが彼らに残された唯一の道だからです。政治家たちは紙幣を刷ることは経済を刺激する良い方法だと言い続けますが、その間にそれが嘘であることが十分に証明されました。

平均的な個人ができる最も現実的なことは、貴金属を大量に保有することです。貴金属は物理的に所有すべきです。今後数年で政府が通貨を暴落させたとき、金と銀が再びお金として復活するでしょう。

ウェスティン氏によると、政治家は「予測不可能」なので、キプロスの預金強奪事件が他の国では起こらないという欧州議会議員の約束を信じるべきではない。バイルインはキプロス以来合法化されているということを忘れてはならない。

「欧州の国会議員は、これは一回限りのことだと言っています。問題は、イタリア、スペイン、ギリシャの預金者がこれを信じるかどうか、そしてこれが再び大規模な危機を引き起こすかどうかです。

ヨーロッパ？興味深いことに、人々は

ギリシャがニュースになったとき、ギリシャはユーロ圏のGDPのわずか2%を占めるに過ぎず、影響は限定的で孤立したものになるだろうと人々は言っていました。しかし、それは非常に急速に広がりました。キプロスは10分の1の規模ですが、この場合、規模は重要ではないことは私たちもわかっていると思います。」

それでも、ヨーロッパ人の大半は、国家は自分たちに生活の糧を与える義務があり、その資金を調達するために金持ちを叩くべきだと信じ続けている。この態度は、本当の混乱がなければ変わらないだろう。ヨーロッパには、徐々に変化したり、逆転したりする推進力はない。

これはすべて遠い将来のシナリオのように思えるかもしれない。そして、途中では景気回復の見せかけに基づいて後退することもあるだろうが、これは貴金属の最後の買いの機会に過ぎない。タイミングを心配する必要はない。短期的に何が起ころうとも、世界経済は通貨濫用の悪影響を永久に避けることはできない。歴史はこれを繰り返して示してきた。価格インフレへの移行が突然で、突発的に起こるのか、それともゆっくりと始まりながら進むのかは不明だが、そこから逃れることは不可能だろう。

腐敗した銀行カルテル - 銀行員の不正行為:

LIBOR、Euribor、証券化された住宅ローン担保投資、金属倉庫、銀や金、そして実質的に他のあらゆる価値のあるものに対する操作は、大きな利益を生んだ。HSBC がテロリストや麻薬カルテルのために行った約 7,000 億ドルのマナーロンダリングは、非常に利益を生んだ。

「米国の6大銀行、JPモルガン・チェース、バンク・オブ・アメリカ、シティグループ、ウェルズ・ファーゴ、ゴールドマン・サックス、モルガン・スタンレーは、自らが煽り立てた2007年の不況以来、合計で37%規模を拡大した。米国の銀行システムの総資産は14兆4000億ドル。この6大銀行は、その資産の67%を所有している。」

実のところ、これらの機関はもはや銀行とは言えません。

現在、「大きすぎて潰せない」銀行 4 行は、それぞれデリバティブへの総エクスポージャーが 60 兆ドルをはるかに超えています。ゴールドマン サックスのデリバティブへのエクスポージャーは、総資産の 281 倍を超えています。これらの銀行は、石油パイプライン、発電所、金属および商品の倉庫と配送ネットワーク、海上輸送会社を所有しています。リストは続き、日ごとに不安が高まっています。

最初から破綻すると分かっている、それゆえにその破綻に賭ける人たちが設計した証券の販売さえも、これらの犯罪者たちは正当化してきた。利益を上げるために、これらの「銀行」は納税者のお金と人々の預金、つまり実質的に無利子の税金によるローンを利用する。この富と蓄積された資本の利用から利益を得ていないのは、システムに価値あるものを注入するまさにその人たちだけである。

その他の銀行は6,885行で、大恐慌以来の最低水準だ。これらの小規模銀行は、競争を抑制しリスクを奨励する規則によって打撃を受けている。資産100億ドル以下の銀行が管理する資産は銀行資産全

体の20%未満だが、中小企業向けおよび個人向け融資の60%弱を占めている。しかし、規則は彼らに不利に働き、事業会社やエキゾチックなデリバティブのレバレッジとリスクを押し上げることで銀行のふりをしている巨大なグローバル金融機関に有利に働いている。

今世紀最初の金融に関する嘘は次の通りです。

「委員会は、金融政策の緩和的な姿勢と生産性の堅調な基礎的成長が、経済活動に重要な継続的な支援を提供していると引き続き信じている」とグリーンズパン氏は2000年に述べた。

18年経っても成果はほとんどないか、まったくありません。

「この（FRB105周年）記念日には、中央金融計画を通じて経済を完全にコントロールしている事実上の独立機関に弾力性のある通貨を提供することを意図した財務省の準代理人から、FRBの成長に対する何らかの公的認識を引き出すだろうと思われるだろう」とロン・ポールは嘆く。

「我々は通貨操作というユニークな実験に乗り出している」とジム・グラント氏はドイツの週刊経済誌「フィナンツ・ウント・ヴィルトシャフト」に語った。「この種の中央銀行は、正確には中央計画と呼ぶべきかもしれない。」

「経済学者に聞けば、価格統制は非常に悪い考えだと言うだろう」
- 「しかし、連邦準備制度理事会の役人たちはまさにそれをやっている」とジム・グラントは言う。つまり、連邦準備制度理事会は最も重要な価格、つまり金利を操作しているのだ。つい最近、連邦準備制度理事会は、失業率が当初設定した6.5%を下回った後もフェデラルファンド金利はゼロ付近にとどまると宣言した。

その結果、進歩が著しく阻害される。「金利が非常に低いため、企業は、非常に悪い状況ではあるが、生き残ることができる」とグラ

ント氏は例を挙げて言う。「これは、意図しない結果として、経済のダイナミズムを低下させる。ダイナミックな社会では、起業家が物事を始め、他の起業家がそれを完成させるか、起業家が失敗したため銀行家が起業家に代わって完成させる。失敗がなければ、本当の成功はあり得ない。そうでなければ、永続的な国営企業の無益なシステムになる。」「しかし、それよりもさらに悪いのは、デフレに対する病的な恐怖から、FRBが不合理なオペレーションを行っていることだ。

中央銀行家たちは市場を変えた。

中央銀行は、会員特権を持つカルテルと化し、あなたの富を盗んで大金持ちの友人の手に渡しています。量的緩和により、銀行システム全体が再び膨張しました。FRBの資産は、2008年の約9000億ドルから5年足らずで4兆ドル以上に膨れ上がりました。FRBによるドル操作は、何百万人もの人々の生活を損ないました。それは、2つの重要な方法で平均的な人々の生活水準を引き下げました。第一に、物価が上昇しているときに、平均的な世帯の実質収入が減っています。第二に、人々が貯蓄できる余分な現金の価値を守ることはほぼ不可能です。銀行口座に残っている現金で買えるものは、来年は今日よりも少なくなります。

要するに、中央銀行家たちは市場を変えた。投資方法も変えた。今日では、20年前には想像もできなかったようなことが考慮されている。景気循環や企業の基礎を研究するだけではもはや十分ではない。投資家は量的緩和の予期せぬ結果を考慮しなければならない。通貨戦争の著者ジム・リッカーズによると、1978年に与えられた「安定した価格」という使命に反して、中央銀行は実際には公式のインフレ目標を2%としているが、非公式には4%のインフレを達成しようとしている。

グラント氏は、「中央銀行家たちはデフレと進歩を決して区別しない」と語る。

「19世紀最後の25年間、電球の発明から製鉄プロセスの進歩、電話の発明まで、あらゆるもののおかげで、価格とコストは30年間の大半にわたって低下しました。実質賃金は上昇し、一部の人々は苦しみ、多くの人々は苦しみませんでした。社会は進歩し、人々は豊かになりました。FRBは、物価水準を引き上げようと執拗に試みることで、事実上、時代の進歩に抵抗しているのです。」

「我々は1世紀にわたる金融緩和政策の有害な影響を被っている」とロン・ポールはまとめ、「我が国の経済は依然として平凡な状態に陥っており、中央銀行からの安易な資金供給に完全に依存している」

ポールは、1913年の立法者たちを疑う余地なく信用する傾向がある。「立法者たちが、私たちが今知っていることを知っていたなら、連邦準備制度は決して設立されなかつただろうと願うしかない。」しかし、今日、私たちはよりよく知っている。」連邦準備制度が銀行と政治家の癒着を強化し続けていることはわかっている。

連邦準備制度理事会のインフレ金融政策が、メインストリートを貧困に陥れる一方で、ウォール街に利益をもたらし続けていることはわかっている。そして、現在の金融体制が崖っぷちに立っていることもわかっている。」

それは恐ろしい真実です。では、メインストリートの皆さんは何ができるのでしょうか？ 友達に伝えてください。そして、その友達も、世界がいかに操作されてすべての人々に損害を与えているかを友達に伝えるべきです。みんな目を覚まして、私たち国民はもうこのような嘘や策略を受け入れないことを知らせてください！

中央銀行は経済を実際にコントロールすることはできません。影響を与えることしかできません。借り手と貸し手が自発的に決めた金

利以外の水準で金利を固定すると、信用価格、そして金利で価格が決まるほぼすべての金融資産の価格が歪められます。

価格の歪みは常に問題を引き起こします。不足か余剰かのどちらかです。中央銀行は金利を超低水準に固定することで、あるグループから盗んで別のグループに与えています。中流階級、貯蓄者、労働者階級は富を失います。ヘッジファンドのマネージャー、銀行家、ゾンビ、そしてもちろん中央銀行家は富を得ます。

だからこそ、金持ちはますます金持ちになり、それ以外の人はずいぶん貧しくなるのです。彼らはこれを「景気刺激策」と呼んでいます。そして彼らの言う通りです。お金を手にした人にとっては、これは非常に刺激的なのです。

そして、金という選択肢もある。「世界がイエレン新FRB議長をじっくりと見て、中央銀行が今後も実施するであろう政策の規模を理解したら、金価格はドルに対して大幅に上昇するだろう」とグラント氏は言う。

金の価値は決して下がることはありません。

常に覚えておいてください。金の価格は下落する可能性があり、大幅に下落する可能性もあります。しかし、金の最も貴重な特徴である時代を超えた不変の有用性を理解している金投資家にとって、金の価値はまったく変わりません。名目価格の弱気相場は素晴らしい贈り物です。しかし、ほとんどの場合、それは心痛と信じられない思いをもたらします。

政府は国民を統制する：

この本に書かれている情報のほとんどは、主流メディアには載っていない。オーウェルの古典的な言葉で言えば、「戦争は平和、奴隷制度は自由、無知は力」であり、これは、言っていることとやっていることが違うことが政府の常套手段であることを意味する。

政府が国民を統制するために明確に構築されていることを理解すれば、政府がなぜ大企業、大銀行、大製薬会社、大バイオテクノロジー会社、およびそれらに関連する組織の利益のために絶えず行動するのかなど、他のすべてが焦点になります。彼らは明らかに国民の利益に不吉なほど反対しています。

かつて、人々は王の独裁政治に反抗し、誰が国を運営するかについて発言権を要求しました。血統は、公然とした王の独裁政治を、自由を装った独裁政治に置き換え、従来通りの業務を継続するプロセスを開始しました。圧政は、人々には見えない、あるいはほとんどの人には見えない、はるかに効果的な圧政に置き換えられました。

イルミナティにとって最悪の悪夢は、真に独立し、国民の利益を心から願う人々が政府に選出されることであった。その解決策は政党の導入であり、資金と組織を通じて、これらの政党に加入しない人々には議会に選出されるチャンスが事実上なく、他の真に独立した人々と連携して政府を形成するチャンスもまったくない構造が作られた。

少数の者による多数に対する支配の重要な構造:

政党の形成により、国会議員や地方政府、州政府の他のレベルの議員を統制できる構造が生まれました。何百人もの個人に自分たちの意志を押し付ける代わりに、政党を統制する人々にそれを強制するだけでよく、その人々は今度はそれを自分たちのメンバーに強制するのです。

簡単に言えば、政治で出世したいなら、まず政党に入党し、それから自分の言動で党の支配層をできるだけ満足させる必要があります。医者、弁護士、科学者、教師も同じです。頭を下げ、波風を立てず、党の体制側の意向に反する重大なことには、決して個人の良心で反対しないでください。これらの職業のいずれにおいても、真の

個人的な「出世」には、心を閉ざすか魂を売る必要があります。できればその両方です。

たとえば、英国議会には「院内幹事」と呼ばれる人々がいて、議員が党の方針に沿って投票するように仕向けている。院内幹事の存在と活動が公然と認められているという事実自体が、政治の腐敗と無意味さの証拠である。院内幹事は議員に対し、従えば自分たちにとって良いことになると約束し、それでも譲らなければ、議員のキャリアにどのような結果をもたらされるかという現実を告げる。同じシステムはどの国でも運用されているが、必ずしも正式な院内幹事がいるわけではない。政治家に関する詳細なファイルが諜報機関のデータを利用して保管されており、そのデータを使って、秘密が公になることを恐れて疑念を持つ者を脅して従わせることができる。政党をコントロールしている者たちは、諜報機関のネットワークもコントロールしており、ロスチャイルド家も例外ではない。

そのレベルには境界はなく、誠実さやデータ保護法のような些細なことに関する道徳的ジレンマもありません。暴露されたら破滅する秘密を多く持っている人ほど、重要なポジションに就くのに適しており、望ましい人物になります。公式の方針に反対しようとしても、いつでもファイルがあります。

政治の上層部には、金融詐欺から小児性愛まで、あらゆることで公に暴露されることを恐れて、音楽に合わせて踊っている人々がたくさんいます。政府の権力システムに近づく政治家には、次の3つのタイプがあります。

- 陰謀に加担し、その目的を認識している少数の人々。
- ただ権力と地位を欲しがり、それを手に入れるために何でも言う、何でもする人たち。
- 命令に従わなければいつでも暴露される可能性がある大きな秘密を持っている人々。

すべての政治家がこれら 3 つの基準のいずれかに当てはまるとは言われていません。政権を握ったり、政権を樹立する可能性のある与党または野党の主要政党のトップに立った大多数の政治家だけが当てはまります。異なる政党や国の間の操作をまとめているのは、秘密結社の蜘蛛の巣であり、その中で最も重要なのはイエズス会とフリーメーソンです。

選挙:

実際、誰に投票するかは問題ではありません。ロスチャイルド・イルミナティがすべての政党を支配し、どの政府が樹立されるかを決定します。彼らはすべての政治潮流の陣営を支配しています。政治は誠実さのない詐欺に満ちています。言っていることとやっていることが違います。政党は、人間社会を世界独裁制に変えることを要求し、強制する影の政府の計画を導入する手段にすぎません。

今日、多くの人々は選挙は無意味だと言っています。なぜなら、選挙のほとんどは正しい結果を得るために不正操作されており、何も変わらないからです。[スコットランドの投票](#) スコットランドが英国からもEUからも離脱を許されなかったというドラマ。彼らは議論と選択の幻想を煽るだけだ。これはすべて、世界的な警察国家を樹立し、大規模監視ネットワークを構築し、全員にマイクロチップを埋め込み、大衆統制に基づく社会を構築するための心理ゲームだ。**政府はあなたの自由を破壊する。**そしてそれこそが、まさに政府が守るべきものなのだ。

人々の認識を操作する:

人々をコントロールするということは、*現実に対する人々の認識を操作することを意味し*、明らかに情報は指示されなければなりません。そのためには、メディアと教育をコントロールすることが不可欠です。無知と傲慢さは、顕著な組み合わせです。アルコンの血統の家族が世界のメディアを所有し、編集者を任命してコントロール

し、編集者はジャーナリストを任命してコントロールし、ジャーナリストは指示されたことを書くのです。

このトップダウンの権力構造は、基本的に、一般の人々が読んだり聞いたり見たりするためにメディアに何が掲載され、何が掲載されないかを指示することを可能にします。メディアをコントロールするということは、メディアがすべてをフィルタリングする基準、つまりパラメータを設定することを意味します。ほとんどの世界のメディアが「地球温暖化」と「気候変動」の公式バージョンを繰り返し、それがすべてナンセンスであることを証明する大量の科学的証拠をほとんど調べなかった哀れなやり方を見てください。

ジャーナリストは、医師、弁護士、政治家、一般大衆と同じく、繰り返しの人です。彼らは、サンタクロースを信じるように言われた小さな子供のように、疑問を持たずに繰り返し、「誰もが知っている」という規範を受け入れます。

ほとんどの人は、陰謀が存在する可能性を反射的に否定し、どちらかを確認するための調査を決して行いません。これは、ジャーナリストを含む世界中の大多数の人々の考え方であり、実際に起こっていることと彼らが伝えていることの間には立ちほだかっています。そして、人々は、陰謀があったとしても、メディアが私たちに伝えるだろうとあえて主張しますが、これは本当に笑止千万な理屈です。一方、9/11とMH17に関しては、第36章で説明されているように、一般大衆がひどく騙されていることは広く知られています。

ジャーナリストや一般大衆の精神は、プログラムされた現実感覚に結びついているため、人々は血統家族が望むことを行い、これらの家族が存在するという示唆さえも無視します。本物のジャーナリズムはウェブ上にあり、主流の従僕たちが無知すぎるか怖くて行けない場所に行くことをいとわない人々によって制作され、発表されています。ちなみに、これらのジャーナリストの多くは、真実を伝えることに情熱を傾け、自発的にこれを行っています。

もちろん、ウェブ上のすべての「ニュース」が信頼できるわけではありませんが、主流メディアにはない調査報道はたくさんあります。イルミナティー族は、主要なサーバーや検索エンジンなど、通信大手も支配しています。インターネットは監視の面でイルミナティにいくつかの大きな利点をもたらしますが、彼らの秘密作戦や国民の操作に関する情報がネット上で爆発的に増加するというマイナス面もあります。ランプから出た魔人は元に戻すことはできませんが、インターネット検閲を必要とするサイバーテロなど、イルミナティが考えられるあらゆる議論や言い訳を使ってネットを検閲しようとしているため、克服すべき課題はまだあります。そのために、2009年のサイバーセキュリティ法が導入され、大統領にサイバー緊急事態を宣言する権限を与え、ネットを閉鎖または制限できるようにしました。

コンピューターが Facebook ユーザーを操作する：

2011年にさかのぼると、Facebookはユーザーに対して秘密の実験を行っていた。その実験の目的は、ニュースフィードを変更することで人々の気分を変えることができるかどうかを調べることだった。そして、それは成功した。実験の結果、「感情的な状態は感情の伝染によって他人に伝染し、人々はそれに気づかずに同じ感情を経験する可能性がある」という結論が出た。この実験は、個人に対する操作に直結する。

世界中のインターネット ユーザーは、無料の技術サービスに夢中になっています。これらのサービスは、ユーザーの個人情報を変えて収益を上げ、ユーザーの生活を金儲けしています。操作されるだけでも十分恐ろしいのに、プロセス全体が自動化されるとさらに恐ろしいことになります。コンピューターは、ユーザーとやり取りすることで、ユーザーを操作する方法を学習しているのです。

無料サービスでもっと儲けたいなら、人々をもっと効率的に操作するプログラムが考案されるので、状況は日に日に悪化するでしょう

。問題は、これがどこへ向かうのかということです。世界は仮想世界、つまり個々の個性に合わせて特別に構築された世界へと移行しつつあります。

操作権は、個人情報ほとんどがすでに販売されている最高入札者、つまり政府機関に販売されます。これは何を意味するのでしょうか？彼らがあなたの動機を知っていれば、あなたに関する知識に基づいてあなたの環境を変更し、彼らが望むよう行動するように誘導することができます。これはコンピューターで簡単に行うことができます。

評判を落とすための偽の資料について考えてみましょう。社会科学やその他の技術を応用して、オンラインの言説や活動を操作し、望ましい結果を生み出します。私たちが受動的で無関心で、何もしていないままでいると、まさに彼らがほとんどの人が行うと予想していることと同じで、私たちは破滅します。受動性 + 時間 = 破壊。

自分の心と気分を保ちたいなら、行動すれば可能です。あなたの情報を操作者に知られないようにします。虐待者の目に砂を投げつけます。あなたがどのウェブサイトを訪問し、誰と連絡を取り、何を言ったかを知られないようにします。暗号化などにより、[ここにPDFがあります。](#) それはその方法を示します。

スノードンの情報にもかかわらず、関係者全員にとってそれはいつも通りのビジネスだ。何も変わっていないので、データ窃盗犯は今後も[データを入手し続けるだろう。](#) [悪い](#) (出典：ポール・ローゼンバーグ)

少数の者が、他の全員に自らの意志を押し付けます。

過去には隠されていた変容が今や表面化し、人々の目に見えるようになり、社会が世界的な刑務所へと変貌しつつあり、そしてそれは驚くほど完成に近づいている。9/11や最近ではマレーシア航空17便について考えてみよう。これらは、はっきりと観察できる象徴的な

レンガとモルタルであった。もしまだ疑いを持っている人がいるなら、彼らは今、私たちに押し付けられ、2001年以来急速に拡大している世界的な独裁政治の本質を見ることができただろう。専制政治の基盤は権力の集中化である。世界は、少数の人々が自分たちの意志を他のすべての人に強制する、オーウェル的な国家に陥っている。権力と意思決定の集中化なしには、独裁政治を押し付けることはできない。これが、世界がほとんどすべてのことに関してグローバル化してきた理由である。グローバル化は事実上、政府、銀行、ビジネス、メディア、軍隊、すべてにおいて、私たちの生活のあらゆる分野で権力が集中していることである。蓄積された権力は、世界中の生活、コミュニティ、そして国々を破壊している。

その計画は、世界政府、世界軍、世界中央銀行、世界通貨、マイクロチップを埋め込んだ国民という構造で世界を中央管理し、完全な統制を図るというもので、これらはすべて、世界規模のコンピュータ システムと全地球測位衛星ネットワークに接続されるように準備されています。スマートフォン、スマート TV、スマート メーター、自動車の GPS 測位装置などで何が起きているかを見れば、これらすべてが電光石火の速さで起きていることがわかります。

かつて人類は部族で暮らし、部族のリーダー、首長、または評議会が決定を下していました。部族は国家としてまとめられ、中心にいる少数の人々が決定を執行しました。次のステップは、国家を超国家にまとめ、中心にいる少数の人々がすべての国家に対して決定を執行できるようにすることでした。最初に実現した超国家は欧州連合であり、その後アフリカ連合、北米連合などが続きました。

彼らの計画には、北米、ヨーロッパ、ロシア、中国を巻き込んだ第三次世界大戦が含まれています。イスラエルは、少なくともその引き金の 1 つとなる準備を整えており、パキスタンと北朝鮮、そしてカスピ海周辺のイランやシリアなどの国々も同様です。その考えは、世界規模の紛争を引き起こし、世界政府と世界軍を樹立して、

このような怪物が二度と起こらないようにすることです。少なくとも彼らはそう装います。これは、第一次世界大戦と第二次世界大戦後に、国連、NATO、世界銀行、IMF、およびそれらの関連組織などの組織を通じて世界権力の巨大な集中を正当化するために使用されたデマとまったく同じです。

これを読んだ後、世界が今日どのような段階に入ったかがわかるかもしれません。これは、NWO が私たちの自由そのものを破壊しないように戦うための最後の警鐘だと考えてください。これは、地球を世界的な暴政から救うための最後の警鐘だと考えてください。私たちは本当に全員の協力を必要としており、できればホワイト ドラゴン ファミリーの支援を受けて暴政のないより良い世界を確立したいと考えています。出典：デビッド アイクの本。

債務者は銀行の言いなりになっている。

問題：銀行改革がまだ実現するとは考えていませんが、政府が金融業界の腐敗に対処するのが実際はいかに簡単であるかを人々が理解することが重要です。金融腐敗を永久に根絶するのは非常に簡単で、必要なのはそうする意志だけです。しかし、政府は選挙で当選して給料を払っている人々のために働いているわけではないので、自分たちがすぐに金持ちになるために稼げるお金にしか興味がありません。したがって、**人々がすぐに目覚め**、なぜこれがまだ行われていないのかの詳細な正当化を要求しない限り、改革は起こりません。

「お金と信用を創造し発行する者は、政府の政策を指揮し、国民の運命を握っている。」

言い換えれば、世界の金融システムは、1913 年に政府を銀行家に対して意図的に負債を負わせるために設計されたものであり、第 2 章で説明したように、銀行が政府をコントロールしているため、政府が銀行をコントロールできないのはそのためです。

一般的に、過去には人々は過度に軽視されてきたという印象を受けます。そして、それが、国民や国家全体を騙し取る犯罪銀行家による不正行為に関して、内部告発者が政府に報告しているすべてのことに政府が注意を払おうとしない理由です。それどころか、司法省は一般的に、内部告発者に対して犯罪銀行家側に味方してきましたが、彼らを保護するのは政府の責任であるべきです。

1999年、クリントン大統領はグラハム・リーチ・ビリー金融近代化法に署名し、銀行システムに対する基本的な保護を撤廃し、銀行家が決して負けることのないシステムで金融機関による無制限の投機への扉を開いた。銀行家は預金者のお金でギャンブルをしやすくなり、利益が出れば利益の100%を独り占めし、負ければ納税者が救済した。

大手銀行が政府に対して確立した金融支配力により、犯罪的で無謀な銀行家たちが罰せられず、制御されないままになっていることが可能になった。実際、すべて、あるいはほとんどの政府は、自分たちの金銭的利益に見合った法律に資金を提供する超富裕層の寡頭政治家、つまりエリート層によって支配されている。

あらゆるビジネス取引の場合と同様、さまざまな困難を共に乗り越えるまではパートナーを信頼することはできません。銀行は悪名高い詐欺師であり、これは前の章で詳細に説明しました。ロスチャイルド家とロックフェラー家は、1913年に連邦準備制度理事会を設立し、自らが選出した政府を通じて国民をだまそうとするクラブの創始者であり参加者でした。

銀行システム全体が一般の人々を墮落させ、苦勞して稼いだお金をいとも簡単に奪い去った。明らかに、金融システム全体が不正操作されているという広く入手可能な情報を読む必要性を人々は感じていなかった。銀行は顧客のために存在しているのではなく、自分たちの利益だけを追求する存在であることに、一般の人々のほとんどは気づいていない。

もちろん、そうは言っても、政府は銀行の利益のために存在しているため、アイスランドを除いて、これらの慣行に対して対策を講じる政府は世界中に一つもありません。中央銀行は政府にお金を貸し、金利を設定します。誰も、自分を養ってくれる手を噛むことはありません。銀行家が政府を支配しています。これは中央銀行の設立以来ずっとそうであり、1971年にニクソンが金本位制を廃止したことでさらに強化されました。

国民は、政府が国民から徴収した税金を通じて資金を得ていると信じています。この資金は、国を機能させるために必要なすべてのサービスやプログラムの費用に充てられます。しかし、**これはまったく事実ではなく、国民が政府に支払うお金は、実際にはサービスやプログラムの費用にはまったく使われていません。**

国民から集められたお金は、第1章で指摘されているように、RKMの陰謀団の懐に入るために、民間の中央銀行に直接送られる。

15.

中央銀行制度が実際にどのように機能するかを簡単に説明します。中央銀行は政府にお金を貸し付け、政府の負債を購入します。しかし、銀行は実際にお金を持っているわけではないので、必要なときには単にお金を印刷します。印刷されたお金には、裏付けとなるものが何もないので、何の価値もありません。かつて、米国ドルは「金本位制」を通じて金に裏付けられており、これがすべての紙幣の価値を決定づけるもので、紙幣はドルと相互接続され、準備通貨として機能していました。

解決策は、刑務所での懲役刑によって犯罪銀行家を非犯罪化することである。

政府とその代理人が犯罪金融機関に大規模に売り渡したことで、生活の質に甚大な被害がもたらされ、多くの目覚めた人々の目にはそれがはっきりと映っている。TBTF 銀行は、次から次へと法律に違

反し、罪のない人々を犠牲にして私腹を肥やすビジネスを行っている。

もし政府が本当に正直で勤勉な人々の命を大切に思っているなら、犯罪を犯した銀行家を刑務所に送るという誠実さと能力を持って行動するはずだ。銀行家たちは政府の重要人物を買収する方法は編み出したが、自分に代わって刑務所に服役してもらうために誰かに金を払う方法はまだ編み出していない。彼らが金銭よりも大切にしているのは自由だ。金融サービス業界は、犯罪を犯した銀行家を起訴し、彼らの犯罪が引き起こした破壊に見合った刑期を与えることで、簡単に非犯罪化できるだろう。

犯罪銀行家の訴追から政治を排除する：

銀行家とその代理人に対する訴追は、司法省や大統領から独立した議会と公平な専門家の管理下に置かれるべきである。政治的に微妙な訴追は、政治的に任命された検察官に任せるには重要すぎる。明らかに、政治家は自分たちを養っている国民に関する問題を常に無視するだろう。それが、政府機関にこれらの事件を提起する内部告発者の取り組みが完全に無視される理由である。

このような状況は、誠実さを備えた多くの有能な人々が政府に入ることを思いとどまらせるかもしれないが、それがまさに重要な点である。公務員になる人は、国民に奉仕することに専心しているからこそ、そうすべきである。政府の仕事は、今のように、一攫千金を狙う計画であってはならない。金銭に動機づけられた人は、今よくあるように、高値を付けた人に誠実さを売り渡す可能性が高くなる。

「独立監査人」を独立させる：

金融市場の健全性は、上場企業の財務報告書を発行する監査人の健全性に依存しており、アナリストや投資家はこれらの報告書に依存しています。

残念ながら、監査人は政府任命の人と同じ弱点を持つ人々です。中には、私腹を肥やすために信念を曲げる人もいます。実際のところ、独立監査人は完全に独立しているわけではありません。彼らは経営陣によって雇われ、解雇されます。監査人や大企業の弁護士は、失うリスクを冒したくない高額の報酬を受け取ります。そして、弁護士が顧客に真実を伝えるのではなく、顧客が聞きたいことを伝えるという罪を犯すことがあるのと同じように、会計士も同じことをします。

しかし、簡単な解決策があります。上場企業が自ら監査人を選任することを禁止することです。その代わりに、特定の規模または業種の企業を監査する資格を持つ監査人のプールを作ります。監査法人の契約が3年を超えることは許されず、また、どの企業も10年以内に同じ監査法人に再任されることが許されないような、ランダムなローテーションシステムを適用します。この盲目的な選択プロセスは、ほとんどの裁判で実際に行われているものです。裁判官は「くじ引き」で選ばれます。監査部門に同様のシステムを導入すれば、監査法人が誠実さを売り渡すリスクを最小限に抑えられるはずです。

税金奴隷：

税金奴隷のほとんどが金を所有しておらず、退職金口座が強欲な政府にとって簡単に差し押さえられる世界では、多くの人が大きな打撃を受ける可能性があります。実際、金や銀を所有している人は差し迫った暴落で損失が最も少なく、経済的に恵まれるだろうと何度も言われています。そのため、貴金属の現物と関連証券は最高の保険なのです。

意図的であろうとなかろうと、低金利の影響は壊滅的です。人為的に抑制されたこれらの金利は、物価上昇という隠れた税金を通じて国民から政府に富を吸い上げている破産した政府の運営を維持するために、意図的に通貨供給量を拡大するために使用されています。

実物現金に対するマイナス金利:

具体的には、さらなるマイナス金利の妨げとなっている唯一のものは現金です。第 31 章で詳述されているように、国民が現金に切り替えることができれば、デジタル銀行口座へのマイナス金利の適用は困難になります。中央銀行が好む選択肢は、単に紙幣を廃止することですが、国民は紙幣の廃止に抵抗する可能性が高いです。

、「柔軟で市場が決定する紙幣の預金価格」と呼ばれる[新しい概念を提唱しました](#)。これは空想ではありません。銀行口座の「お金」と財布やウォレットの「お金」は、実質的に 2 つの異なる種類の通貨であると主張しています。

ドルとユーロの間に為替レートがあるのと同じように、両者の間にも為替レートが存在する。FRBは、この為替レートを必要と思われるレベルに設定することができ、特定のレベルでこのレートを「守る」義務はない。

これは、銀行に行って 1,000 ドルを引き出す場合、銀行口座と現金の「為替レート」のせいで、銀行は 980 ドルしか現金で返さない可能性があることを意味します。または、現金で 1,000 ドルを預金する場合、現金と銀行口座の残高の「為替レート」が同じなので、銀行は 980 ドルしか銀行口座に入金しない可能性があります。つまり、銀行は物理的な現金にマイナス金利を課す仕組みを考案したのです。

現金に対する戦争は人々にとって負け戦かもしれないが、金、銀、土地、その他の実物資産にはまだ避難場所がある。重要な防衛戦略は、貴金属に対する戦争が始まる前に、まだ手に入るうちに金と銀を手に入れることである。この認識が浸透するにつれ、すでに不足している実物金属の需要がさらに高まるだろう。

注意してください。世界通貨市場では、ここ数十年で最大の激変が間もなく起こります。億万長者、兆万長者、学界、連邦準備制度理

事会は皆、金融界は未知の領域にあり、何が起きてもおかしくない
と述べています。起こり得る結果は無数にあります。

グローバリスト犯罪マフィアシンジケートの反逆罪暴露:

人々の解放プロセスにおける大きな一歩が踏み出されました。世界
の目覚めた人々は、カバールの排除を望んでおり、ディープステート、
体制、エリート、RKMカバール、イルミナティ、何と呼ばれようとも、
それらに気づき、反対しています。これらの超犯罪者を裁判にかけ、
バビロン時代（紀元前19世紀～16世紀）以来彼らが世界を溺れさせて
きた混乱を一掃するための本当の仕事は、ドナルド・トランプが米国株式
会社の大統領に選出されたことで始まりました。関与している役人の数
から、人々は世界史上かつてない規模で政府による反逆行為を目にする
ことになるでしょう。裁きを受けるのは国ではなく、システムです。そ
れが政治システム、司法システム、医療システム、移民システム、さら
には教会であってもです。すべての腐敗した指導者は暴露され、その
後排除されるでしょう。ヒラリー・クリントンが逮捕される日、彼女
は一人では落ちぶれることはないでしょう。彼女は、ヒラリー・クリ
ントンに対するドナ・ブラジルのように、カナリアのように歌うだろ
う。敵が互いに攻撃し合い、崩壊していくのを目にするようになるだろう。彼ら自身。

業界全体が政治化されている。

今では、目覚めた人々は、政府の進行中の犯罪行為と暗い計画を明
らかにするパズルの多くのピースに気づいているはずです。

法的に免責されている彼らは、国民に対して偽旗作戦を実行してい
ます。さらに、終わりのない多くの戦争を考慮すると、軍閥の銀行家
が軍産複合体を利用して、株式市場、債券市場、商品の不正操作
などの作戦に資金を提供していることは明らかです。米ドルは崩壊
寸前です。これらすべての事実は、外交問題評議会、三極委員会、

ビルダーバーグ・グループなどの組織、およびBIS、IMF、国連、中央銀行、TBTF銀行などの機関/機関を通じても機能するグローバルな影の政府、ディープ・ステートによって制御されています。

ディープステートは、議会、ウォール街、金融市場、防衛、医療、学界、主流メディアをしっかりとコントロールしているだけではありません。**ほとんどの企業や起業家もコントロールしています。**医療分野、保険、救急車、病院、医薬品、個人診療所、医療機器、検査のビジネスを営むことは、好むと好まざるとにかかわらず、常に政府と提携しています。

政府は、何が許され、何が許されないかを指示します。たとえば、政府は医薬品を認可し、いくら請求すべきかを決定します。政府はロビイストを通じて、**企業を破滅させることも、繁栄させることもできます。**政府は業界全体を政治化しました。より良い製品やサービスを提供するものや人は、民間企業を競合他社に対して不利な立場に置きます。政府は、事前に選択した企業を意図的に破滅させます。

そして、今のように政府が経済を掌握すると、政治は暴走します。経済成長は停滞し、政治からの相対的な利益は増大します。

それに比べて、自由市場では政治は自己制限的であり、ほとんど存在しません。

したがって、パズルのピースがすべて、まだ混乱しているとはいえ、テーブルの上に並べられることが重要です。これらすべての点を結びつけるマスタープランでは、**真実**の姿が明らかにされ、世界に提示されています。その暴露は、想像を絶する**犯罪**の恐ろしい印象です。

答えなければならない重要な質問。

- 9/11の世界貿易センターへの攻撃の真犯人は誰ですか？

- MH17/MH370のような多数の旅客機の撃墜を命じたのは誰ですか？
- 石油、銀行カルテル、CIA、モサドはどのような役割を果たしたのでしょうか？
- どの外国諜報機関が関与していたのでしょうか？
- サウジアラビアは9/11の攻撃に大きな役割を果たしたのでしょうか？
- 9/11 攻撃の際、ミサイルがペンタゴンの海軍情報局を破壊したのはなぜですか？
- WTC とペンタゴンへの攻撃はいつ、誰によって計画されたのか、そしてその主な動機は何だったのか？
- 破壊された3つのタワーにあるWTCオフィスに関するFBIによる9/11の捜査の真の意図は何だったのでしょうか？
- 首謀者の名前は何ですか？

テロ：

さらに、次のことを知ることは必須です。なぜすべての政府機関が、**テロリズムに焦点を当てた新しい機関「国土安全保障」の下にまとめられた**のでしょうか。これらの調査には、ホワイト ドラゴンファミリー、ロシア、インドネシア、フィリピンの金と国庫の盗難、アゼルバイジャン、チェチェン、ジョージア、アフガニスタン、コソボなどでの秘密諜報活動の資金としてヘロインの売上金が使用されたこと、ブッシュおよびクリントン一族への主要企業からの中央アジアのさまざまな寡頭政治家への違法な賄賂、特にジョージブッシュ シニアの違法な金、麻薬、マネーロンダリング活動も含まれるべきです。これらはほんの数例です。

クリントン財団と、スイスのCIA秘密口座、ドイツのナチス・ドイツ銀行、米国のシティバンク、サウジアラビア、アラブ首長国連邦に結びついた多数の米国CIA秘密口座を結びつける電子メールの証拠。その口座の持ち主は、他でもな

い、社会病質者でCIAのナチス・ペーパークリップ署名者であるジョージ・ハーバート・ウォーカー・ブッシュである。

答えを公にしないために多くの役人が暗殺されたので、これらすべての犯罪の犯人が正確に誰なのかを確実に知ろう。彼らは間違いなく危険な犯罪者だ。

ブッシュとクリントンの犯罪一家は、第二次世界大戦のアジア財宝の盗難によって資金提供を受けた「闇の作戦」の長い歴史を持っています。その資金はフェルディナンド・マルコスによって回収され、その後、武器の犯罪収益によって資金提供され、さらに多額の現金収入を得るための秘密の麻薬作戦に充てられました。ブッシュ政権の関与は、ベトナム、アフガニスタン、チェチェン、アルバニア、コロンビア ... 最も顕著な例を挙げると、ニカラグアです。これらの資金を使って、彼らは石油と麻薬の取引をコントロールするためにこれらの国々を不安定化させ、RKMとロシア/イスラエルのマフィアのパートナーは金とダイヤモンドの鉱物資源を獲得しました。

米国のブッシュ・ジュニア政権が国民に語ったこととは反対に、イスラム教テロリストは世界貿易センターを攻撃しなかったが、その攻撃はモサドとCIA諜報員の指導の下で働く契約職員によって実行された可能性が高い。

信頼できる情報筋が明らかにしたように、主な目的は、スイスの銀行口座とドイツ銀行の取引に関する米国の多数の調査を終わらせることだった。この調査は、1991年まで遡る進行中の秘密作戦におけるロシアマフィアとジョージ・H・W・ブッシュ派閥の膨大な犯罪行為を暴露するはずだった。

これらの違法行為はすべて、米国連邦政府機関や税務当局によるスイスのさまざまな口座に対する多数の調査の結果、暴露される可能性がありました。これらの口座は注目を集め、捜査において多くの証拠を提供していました。[カシヨギ氏の口座](#) ブッシュ元大統領の監督下で、武器販売による収益や盗まれた外国の財務資金の移転を隠すために使用されました。

世界貿易センターを破壊するという決定はもっと早くなされていたかもしれないが、攻撃の実行は、WDS 金債権詐欺を隠蔽するために2001年9月11日まで延期された。なぜなら、その日には、連邦準備銀行がWDS金に対して発行した金債権が満期を迎え、償還が予定されていたからである。世界貿易センターへの攻撃により国家非常事態が宣言されたことで、予定されていた白龍会所有の金の償還はすべて延期された。

世界の権力の中心はアジアへ移行する：

盗まれた金が本来の所有者に返還されれば、世界の他の地域に対する体制の独裁は終わるだろう。アジア人がこれらの債権を清算できれば、世界の権力の中心は米国からアジアに移るだろう。なぜなら、金の大部分を支配している者が権力を持つからだ。

FBIの捜査：

FBIは9/11の計画を熱心に追っていたが、彼らを黙らせる必要があった。イスラエル、ロシアのマフィア、ドイツとスイスの銀行幹部が関与していたため、これらの国の諜報機関が計画を発見し、米国政府に警告を送るのは容易だった。もちろん、ブッシュジュニア政権の幹部は既にこのことを十分に認識していたが、当然の理由で警告を無視した。

すべての報告によると、この最も犯罪的な犯罪組織の主要メンバーには以下が含まれます。

ジョージ・ブッシュ・シニア&ジュニア - クリントンズ - アド
ナン・カシヨギ - ディック・チェイニー
- リチャード・L・アーミテージ-[ファルハド・アジマ](#) - ド
イツ銀行、UBSユニオン銀行（スイス）、クレディ・スイス
、BCCI/インドスエズ、サウジアラビアが所有するニューヨ
ーク銀行。

彼らは、20年以上にわたって世界中で活動してきた、組織化された
犯罪シンジケートの核心です。彼らには隠すべきことが山ほどあり
、世界貿易センターのさまざまな捜査事務所にあるすべての証拠を
破壊することで多くの利益を得ようとしています。しかし、ロシア
のマフィア、イタリアのマフィア、コロンビアの麻薬カルテルより
も動機は多くなく、おそらくそれよりも少ないでしょう。これらの
シンジケートの共通点は、犯罪行為以外に、これらの銀行を利用し
ていることです。ドイツ銀行は、ブッシュ家専用の資金の世界的な
パイプラインであり、UBSは主要な保有銀行です。他の小規模なス
イスの銀行も、ニューヨーク銀行とドイツ銀行からの複雑な取引、
および多くの国の盗まれた金庫を隠した無数の秘密口座で厳しい捜
査を受けていました。

FBIがクリントン捜査を再開する決定を下したのは、[反乱を伴う](#)
何百人もの正直なFBI捜査官が、クリントンに買収された上司のコ
ミーに対抗した。彼らは、唯一実行可能な道徳的解答として、つま
り、大規模な犯罪と汚職を犯し、それによって経済を破壊する不道
徳な政府と体制を支援する彼らの仕事を拒否するために、重要な情
報をジュリアン・アサンジに秘密裏に提供し、公表した。

経済ボイコット：

一方、アメリカの生産階級は、ホリデーシーズンの商戦を前に、経
済をさらに急速に麻痺させる恐れがある。

全米小売業協会は、買い物客の 25% が、休暇中にいくら使うかを決める前に選挙結果を待っていると報告しているが、これは NRF にとって前例のないことだ。高い信念を持ち、生産性の高い人々が、来たる選挙の結果がクリントンと腐敗した体制によって自分たちのものから盗まれたと感じれば、彼らは店を閉めるだろう。

自分たちの将来を破壊している不正で汚いシステムから、金銭的な同意を撤回しようとしている。 政府は、多くの種類の抗議行動には効果的に対処できるが、生産階級による一般的な経済ボイコットには、たとえそれが限界に達しているとしても、対処することすらできない。現在、すべての利益がすでに限界に達しているため、これは事態に大きな影響を与えるだろう。

このようなボイコットが一般の事業活動に及ぼす影響、市町村から連邦まですべてのレベルでの税収の減少、株式市場と債券市場の下落、そして国民の気分の悪化など、極めて複雑で重大な相互関係と波及効果は、計り知れないほど大きなものとなり、おそらくアメリカで前例のないものとなるだろう。

完全に詐欺的:

米国にとっての脅威は、何千万人も米国有権者が、2016年の大統領選挙運動が最初からどれほどひどい不正行為だったかをまったく知らないという事実だ。ドナルド・トランプがどこからともなく現れなかったら、これは選挙ではなく、むしろクリントン夫妻と彼らの支配層の取り巻きたちが前例のない犯罪や汚職、政権転覆、そしてあからさまな略奪に従事できるようにするための、計画的かつ組織化された選挙だっただろう。

もし成功すれば、クリントン夫妻を不正に権力の座に就かせようとするこの継続的な取り組みは、体制側への数兆ドルの贈り物となる

だろう。 クリントンの陰謀と腐敗から利益を得る方法を正確に知っているエリートたち。クリントンの就任後に起こる腐敗は確実であり、まさにクリントンの取り巻きたちが意図していることである。これは、アメリカ経済の残されたものを間違いなく破壊するだろう。アメリカ経済は、あと 4 年間の激しい略奪と詐欺に耐えることはできない。そして、アメリカの憲法上の統治手続きを完全に転覆させ、縁故主義共産主義とでも言うべき、新しいバナナ共和国風の恐ろしい政治体制へと変えることになるだろう。

アメリカの腐敗した政治システムをどう改善するか:

汚職が合法化されました。大多数の人々は、金銭による政治の腐敗にうんざりしています。しかし、どうすれば解決できるのでしょうか？ 議会の外部から問題を解決し、汚職を違法にすることで権力を国民の手に戻すことができます。[この短いビデオをご覧ください。](#) 私たちに何ができるか、どうすればできるかを学ぶためです。

51. お金の形態

- 人々は財布の中のお金について心配するべきだ。
- 権力の移行。
- ブロックチェーン決済テクノロジー。
- 準備通貨も中央銀行も必要ありません。
- イルミナティは世界を支配している。
- 繁栄する経済は常に強い通貨と結びついています。
- トランプは誰も恐れない。

お金はエネルギーの交換です。

お金は私たちの生活において重要なテーマです。お金がたっぷりあるかどうかに関わらず、やりたいことをすべてするにはお金が足り

ないということはほとんどありません。多くの人がお金の不足に悩まされ、多かれ少なかれお金の犠牲者だと感じています。お金というテーマ自体に抵抗感を持つ人さえいます。お金自体に悪いところはないのですが、お金の扱い方には確かに問題があります。

お金は銀行口座にある金額以上のものです。それは蓄えられたエネルギーの一種です。それはあなたが人生でどこにいるか、そしてあなたが自分にどんな価値を置いているかをすべて物語っています。世の中のお金の流れは、実は私たちが互いに交換するエネルギーです。問題は、どれだけのエネルギーをあなたが取り入れるかです。あなたが不足の考えにとらわれたままでいると、無意識のうちにそれを押しのけるので、お金は簡単には入ってきません。原因は通常、古い信念です。代替案は、お金という主題を魅力的で興味深い挑戦として捉えれば、豊かな人になることを選択することです。

クレジットまたは借金:

1971 年、世界は信用拡大の渦に巻き込まれました。米国の中央銀行がドルを金と交換する義務から解放されたため、米国は長期にわたる信用拡大に突入し、海外からの製品と引き換えにドルを世界に供給しました。また、第 32 章で説明するように、すべての中央銀行に十分な通貨準備金を創出するために必要な、世界へのドルの恒久的な流れを生み出すために、米国は世界との恒久的な貿易赤字を余儀なくされました。ドルを得るために、世界は米国の生産者が要求する価格よりも低い価格で米国の顧客に製品を販売しなければなりません。米国の競争相手よりも安く販売する以外に、輸出製品を米国領土に導入する手段がないことは自明です。

貿易不均衡:

これにより、健全な金に裏付けられた通貨を使用していれば発生しなかった貿易不均衡が発生しました。これは、ほとんどの人が理解

していない根本的で重要な点です。少なくとも大統領は理解しているようです。

トランプ氏は貿易不均衡の根本的な理由を理解していない。貿易不均衡の問題を解決する唯一の解決策は健全な通貨だ。トランプ氏は米国の貿易不均衡の解決について語っている。 ポイント 貿易不均衡を解決するというジレンマに直面したとき、輸入されるものはすべて、事実上、何もないところから作り出された**信用貨幣**ではなく、**真の貨幣**ですでに支払われているという**単純な事実**に直面する。そして、それが使われると、**自動的に貿易不均衡が生じる**。したがって、**貿易不均衡の原因は、多くの人が考えているように、通貨操作や生産への補助金などによるものではない。それは純粹に、不健全な貨幣の使用の結果である。**

上記の結果、世界の他の国々は、さまざまな中央銀行へのドルの流入に応じて、それに応じた信用拡大を行い、世界中で信用に基づく繁栄を促進しました。

信用収縮:

しかし、過去2年半で、これらの準備金は毎月約420億ドルの急激な**減少を見せています**。このペースでいくと、1年後には**国際準備金は減少する可能性が高いでしょう**。2016年の約11兆ドルから5000億ドル減少し、2014年のピークから14.31%減少しています。トランプ大統領が米国の貿易赤字を削減、あるいはなくす意向を表明したことで、この傾向は確実に加速し、その結果、世界の他の中央銀行への国際準備金の供給も減少するでしょう。

国際準備金総額の減少は、世界的な信用収縮の明確な兆候です。信用が拡大し続けるという前提の上に築かれた世界にとっての経済的結果は、世界中の企業や個人が、以前に負ったドル建ての負債を返済するために、ますます必死になって投資を清算することになるでしょう。この広範な清算は、ドルの不足が増すという逆流との壊滅的な闘いとなるでしょう。

ルートヴィヒ・フォン・ミーゼスは、中央銀行が融資金利を引き下げて信用拡大にふけると、信用拡大を止めることはできないと指摘した。中央銀行は、設定した金利を継続的に引き下げることで信用拡大を続けなければならない。中央銀行が再び市場に金利設定を認めると、以前に発生した拡大は、人為的に誘発された拡大で行われた誤った投資を清算するための完全な清算に変わる。中央銀行が市場に金利設定を認めない場合、信用拡大は、崩壊ブームを生み出すまで続き、その後大規模な債務清算が続く。第 33 章で指摘されているとおり。

この世界における信用収縮は、あらゆるレベルでの破産、金融資産の破壊、価格の暴落、大量の失業、あらゆる通貨の切り下げ、そしてもちろん、世界的な政治的不安定という形で現れるでしょう。

このコインの裏側には、富を食い尽くす政府があります。政府が大きければ大きいほど、資本を奪い取ってそれを不適切に配分する技術が優れ、経済を**回復不能なスタグフレーションスパイラルに陥らせ**ます。第 47 章で詳しく説明されているように、

参加者に対する過度の権力:

さらに重要なのは、ドルが世界の準備通貨としての地位にあり、国際金融において米国企業が優位に立っていることで、米国政府は非現金金融システムのすべての参加者に対して絶大な権力を持っていることです。その結果、世界は、現地または国際の規則や法律ではなく、米国の法律に従属することになります。

国際的に活動する銀行は、米国政府から脅迫されて命令に従わされる可能性がある。米国政府は、米国またはドル建てで事業を行うためのライセンスを取り消すことができるからだ。これは基本的に銀行の閉鎖に等しい。これはドイツ銀行に起こった。ドイツ銀行は、140億ドルの罰金を支払って破産する可能性が高いか、[70億ドルで](#)

済むか、何ヶ月も米国財務省と交渉しなければならなかった。 として生き残る。

米国政府は、大手銀行や大国を破産させる力を持っているため、実質的に世界中のほとんどの政府に対して権力を握っています。金融システムと関連データの支配を通じて、この権力は現時点ですでに存在しています。流通する現金が少ないほど、その権力はより広範かつ安全になります。現金の使用は、この権力を回避する主な手段だからです。

金、真のお金が救世主となる：

5,000 年前、金は新しい種類のお金として導入されました。それは 人々が信頼できるお金です。誰かの約束ではありません。誰かに対する脅しではありません。来年の利益に対する信用でも、第三者に攻撃されたときに誰かが助けに来てくれるという期待でもありません。

この「金貨」は、まったく違ったものでした。人々が頼りにできるものでした。その場で取引を決済するのが簡単になりました。誰が誰にいくら借りているかを覚えておく必要はありません。同じ言語を話したり、同じ宗教を信仰したりする必要もありません。この「金貨」は、それ自体に、本質的に価値がありました。

力は機能しない - 価値は機能する：

金は、協力が暴力に打ち勝つのを助けました。金があれば、人々は商品やサービスを主張するのではなく、交渉で手に入れることができるようになりました。食料を得るために隣人の小麦畑を無理やり奪う必要はありませんでした。その代わりに、小麦を買うことができたのです。

力は人間関係においては機能しません。なぜなら、力は人々が本当に望んでいるものをもたらししてくれないからです。力は決して「wi

n-win」の取引をもたらしません。経済においても力は機能しません。中央銀行が金利を下げると、買い手と売り手は、本来なら行わないであろう行動をとらされることとなります。中央銀行は市場に対して暴力を振るっているのです。したがって、中央集権的な経済計画も機能しません。

価値は人々が本当に望んで自由に選んだものによって測られるものであり、世界を貧しくすることはありません。なぜ政府は世界を悪化させるようなことをするのでしょうか？ - それは、政府がますます増え続けるゾンビ化の犠牲者だからです。官僚は、あらゆる場所でゾンビを支援するために金利を引き下げています。低金利は、政府とそのゾンビ仲間が利用できるお金を増やすことにも役立ちます。

変動の激しいビットコイン：

ビットコインは電子通貨であり、紙幣とあまり変わりません。ビットコインは紙幣と同様に、本質的な価値はありません。また、多くのリスクがあります。たとえば、ビットコインは跡形もなく消えてしまう可能性があり、一時的なシャットダウンやサイバー攻撃など、インターネットに何かが起こった場合、投資家はビットコインにアクセスできなくなります。さらに、最大の問題は政府の規制です。ビットコインやその他のサイバー通貨があまりにも成功すれば、[政府が規制を始める可能性があります。](#) [規制する](#) ビットコイン市場は、単なる紙幣になるまで成長を続けるでしょう。ビットコインは富の保全とは何の関係もありません。貴金属ほど優れた富の保全方法はありません。

世界の将来の金融システムは、ブロックチェーン技術を使用して構築されます。実際、IBM、Microsoft、JP Morgan などの大企業がブロックチェーンの波に乗って、さまざまな業界コンソーシアムを発表しており、それが暗号通貨の価格を押し上げている一因となっています。暗号通貨は、私たちが互いに取引し、富と資産の所有権を

保存および記録する主な方法になる可能性が高いです。少なくとも、私たちはブロックチェーン技術に基づいたグローバル金融システムの未来に向かって急速に進んでいます。

ビットコインの価格は最近急騰した。しかし、このデジタル通貨がどれほど不安定になるかは、多くの人にはわからなかった。中国人民銀行 (PBOC) が投資家にデジタル通貨に警戒するよう呼びかけ、暴落を引き起こしたため、ビットコインの価格はその後20%以上も急落した。ビットコインは最終的にさらに13%下落したが、その後再び上昇した。

わずか 1 週間の間に、ビットコインの価値は 4 分の 1 以上も下がりました。これは驚くべき下落です。ビットコインは通貨であるはずであることを思い出しましょう。しかし、**通貨がこれほど不安定になるべきではありません。**

これは、ビットコインがまだお金ではないことを意味します。まだ投機手段です。何をすべきか分かっているならば、ビットコインの取引で大金を稼ぐことができます。しかし、分かっているなければ、あっという間に多額のお金を失う可能性があります。

それでも、ビットコインは正しい方向への一歩です。結局のところ、無謀でますます必死になっている政府や銀行家によって管理されているお金よりはましです。しかし、ビットコインやその他の同様のデジタル通貨が「お金」と呼ばれるようになるまでには、まだ長い道のりがあります。

ビットコインやその他の暗号通貨はブロックチェーン技術に基づいており、これはすべての取引が**決済手続きを経る既存の銀行振込システムを大幅に**改善したものです。ブロックチェーンはこの手続きに代わるもので、銀行システムを必要とせず取引をより速く、より安く、より安全にします。ブロックチェーン決済システムは事実上**デジタルキャッシュ**です。ブロックチェーンは通貨でもお金でも

ありません。これは人々が物を売買する方法を変える技術です。これは現金、小切手、クレジットカードなど、現在存在するどの決済システムよりも安全で、より安く、はるかに信頼性があります。

金、真のグローバルマネー：

一方、金は実績のある通貨です。人々は何千年もの間、金を使って商品やサービスを売買してきました。金はあらゆる種類の金融危機を生き延びてきました。また、数え切れないほどの紙幣の乱立も生き延びてきました。金の価値、そして同様に銀の価値は安定しています。数日間で25%以上も下落することはありません。また、金の物理的な価格や供給を管理する中央機関は世界中に存在しません。金は真にグローバルな通貨です。だからこそ、無謀な政府や中央銀行家から身を守るには、金が今でも最良の方法なのです。

注意してください。中央管理機関に保管されている「お金」は、一夜にして没収される可能性があります。ルールは予告なしに変更され、不正なシステムから逃れる機会はなくなります。

連邦準備制度の歴史は、説明責任、透明性、責任の欠如を網羅しています。株主（会員）の形でエリート銀行家グループが、世界で最も強力な国である米国の通貨をコントロールしており、事実上世界中のすべての国でそうしています。これは[最大の詐欺です](#)。人類の歴史の中で。

ブロックチェーン決済技術：

昔、人々は対面で物を売買していました。靴は靴屋で購入し、現金で支払い、後にはプラスチックカードで支払いました。その後、オンライン小売業者が登場し、売り手を知らなくても遠くから物を購入できるようになりました。

テクノロジーが進歩するにつれ、販売方法や購入方法も変化しました。今日では、売り手を知らなくても中国から何かを購入すること

ができます。これが詐欺の扉を開いています。たとえば、株を購入するとき、売り手が実際に株を所有していることをどうやって知るのでしょうか。売り手があなたのお金を持って逃げないをどうやって知るのでしょうか。そして売り手は、あなたが実際に株の代金を支払うことをどうやって知るのでしょうか。

現在の金融取引システムは、これらの取引が決済手続きを経る必要があるにもかかわらず、人々が考えるほど強力ではありません。ブロックチェーンはこの手続きを置き換えることができ、取引をより速く、より安く、より安全にすることができます。



このブロックチェーン決済システムはデジタル現金に最も近いものです。

ブロックチェーンはビットコインを支える技術です。ビットコインは失敗するかもしれませんが、ブロックチェーンはビットコインではないので、今後も存在し続けるでしょう。**ビットコイン**とは異なり、ブロックチェーンは通貨でもお金でもありません。これは、人々が物を売買する方法を変える技術です。これは、現金、小切手、クレジットカードなど、現在存在するどの支払いシステムよりも安全で、安価で、はるかに信頼性があります。

近い将来、人々はブロックチェーンを使って自動車、テレビ、株、債券、不動産などを購入するようになるでしょう。ブロックチェーンは「オープンな台帳」です。店員の作業台にある昔ながらの台帳のように、取引を記録します。しかし、台帳は店員だけが見ることができ、支払いをする顧客には見えません。つまり、取引相手双方にとって安全というわけではありません。

オープン台帳は異なります。取引に関わるすべての人が閲覧できます。買い手、売り手、規制当局、および台帳の閲覧権限を与えられ

たすべての人が閲覧できます。さらに、取引に関わるすべての人が自分のコンピューターに台帳のコピーを持ち、すべてのコピーが一致している必要があります。これにより、盗難や詐欺を防止できます。

たとえば、ブロックチェーンを使用して靴を購入する場合、買い手と売り手の両方がインターネット経由で取引を「送信」します。全員がこの取引の元帳のコピーを更新し、その後、すべての当事者が元帳を比較します。内容について意見の相違がある場合は、最も頻繁に共有された元帳が「真実」として受け入れられ、取引は永続的になります。元帳の記録は、取引のすべての当事者が同意しない限り変更できません。このプロセス全体は 1 分もかかりません。

分散型決済システム:

単一の「機関」の権限を取り除き、取引を行う人々の手に権限を与える、分散型決済システムです。



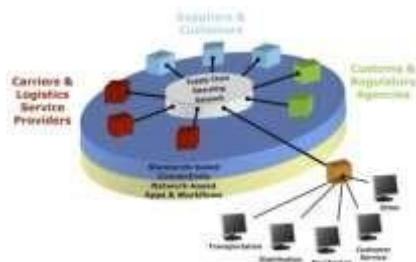
ブロックチェーンでは、中央機関やグループが取引を管理したり操作したりすることはできません。また、ブロックチェーンで保護されているものは、泥棒、ハッカー、政府でさえも盗むことはできません。このブロックチェーン システムは信じられないほど安全であり、それが非常に注目に値します。

2013 年、米国政府は 1 億ドル以上の価値がある 60 万以上のビットコインを押収しようとしてしました。司法省は、これらのビットコインの所有者が法律に違反していると主張しました。しかし、ビットコインはブロックチェーン技術に基づいて構築されているため、米国政府にとって価値がありませんでした。所有者だけがビットコインを売却または使用できます。所有者が取引に同意しない場合は、売却または使用できません。

公開台帳:

要約すると、ブロックチェーンは、これまでに実行されたすべてのトランザクションの公開台帳です。新しい記録のセットとともに「完了した」ブロックが追加されるにつれて、ブロックチェーンは絶

えず成長しています。ブロックは、線形かつ時系列順にブロックチェーンに追加されます。トランザクションの検証と中継のタスクを実行するクライアントを使用してネットワークに接続された各コンピューターは、ブロックチェーンのコピーを受け取ります。このコピーは、ネットワークに参加すると自動的にダウンロードされます。ブロックチェーンには、ブロックの起源から最後に完了したブロックまで、アドレスとその残高に関する完全な情報が含まれています。

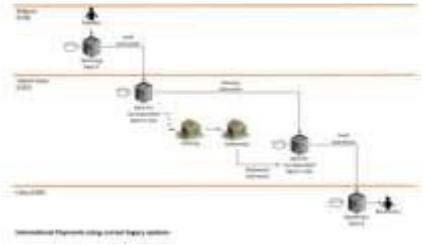


ブロックはブロックチェーンの「現在の」部分であり、最近のトランザクションの一部またはすべてを記録し、完了すると永続的なデータベースとしてブロックチェーンに格納されます。ブロックが完了するたびに、新しいブロックが生成されます。ブロックチェーンには、このようなブロックが無数に存在します。

ブロックはブロックチェーン内にランダムに配置されるのではなく、チェーンのように適切な線形かつ時系列順に相互にリンクされており、各ブロックには前のブロックの「ハッシュタグ」が含まれています。 - ブロックチェーンは、安全で信頼性の高いトランザクションのチェーンを提供する、公開された透明な台帳です。

従来のシステムとの比較:

従来の銀行業務と比較すると、ブロックチェーンは銀行取引の完全な履歴のようなものです。取引は、銀行取引と同じように、ブロックチェーンに時系列で入力されます。一方、ブロックは個々の銀行取引明細書のようなものです。システムのすべての参加者は、ブロックチェーン データベースを共有します。ブロックチェーンの完全なコピーには、これまでに実行されたすべての取引の記録があります。したがって、過去のどの時点で特定のアドレスに属していたものの量などの事実についての洞察を提供できます。ブロックは1つの前のブロックしか参照できないため、2つのチェーンをマージすることはできません。



ブロックチェーンをテストしている世界的な銀行のコンソーシアムに参加したのだろうか？ お互いの中で価値を移転する。

「これは明らかに、非常に明白な言葉で言えば、今日の既存の慣行の一部よりも速く、安く、そして透明性が高い」とCBAの最高情報責任者、デビッド・ホワイティング氏は言う。

さらに、オーストラリア証券取引所は、ブロックチェーンを構築し、この技術が既存の決済システムに取って代わり、リアルタイムに近づくかどうかをテストしている。



「時折、全てを変えてしまうような出来事が起きる。今回がまさにその瞬間だ」と、オーストラリア証券取引所の最高経営責任者エルマー・フンケ・クッパー氏は語る。ブロックチェーンの潜在的なコスト削減効果は、オーストラリアの金融界の最高レベルで注目されている。

準備通貨も中央銀行も必要ない：

世界の準備通貨である米ドルを破壊している、増え続けるマネーサプライに対抗する手段はありません。不況を回避するためにデフレと戦うために、薄く刷られた新しいお金が絶えず生み出されています。世界の中央銀行はデフレを受け入れることができず、インフレを起こすためにお金を印刷してこれを相殺しようとしています。

お金の循環に速度がないので、彼らは望む結果を生み出すことができません。中央銀行家たちはこの状況を好転させる力はなく、誰も使わないお金を継続的に印刷することに頼っているため、お金は経済にほとんど影響を与えません。お金の速度を上げる方法を見つけなければ、インフレや物価上昇は起こりません。お金の速度が遅くなり続けると、債務負担が実質的に増えるため、世界はデフレの罠に陥り、中央銀行家たちは恐怖に震えるでしょう。税収は減少し、銀行は破綻します。複雑さの役割が無視されると、彼らはシステムを崩壊の危険にさらしています。

複数の準備通貨（SDR）の使用も混乱に陥るでしょう。これらも価値ある裏付けがなく、既存の根本的な問題は解決されないからです。世界に準備通貨が必要かどうかは未だに疑問ですが、お金が実体のあるものにリンクされていれば、間違いなく必要ないでしょう。中央銀行が無制限にお金を発行する必要もありません。これは、金本位制が独立して効果的に機能していた1870年から1914年の時代に証明されています。

適応性のあるゴールドスタンダードが答えです：

インフレ、金利、為替レートに関する不確実性を減らすために、革新的で適応性のある金本位制を採用すべきです。起業家や投資家が確実性と価格の安定性を高めれば、新たな投資でより大きなリスクを取ることができます。インフレ、デフレ、金利、為替レートを加えなくても、起業家精神には十分な不確実性があります。過去 40 年間、資産バブル、暴落、パニック、好況、不況を継続的に生み出してきた民間所有の中央銀行が主導する世界経済からの根本的な分

離が必要です。金融の役割を減らし、商業を強化する時が来ています。金はコストと資産価値において最大の価格安定性を生み出し、したがって企業と投資家にとって最良の見通しを提供します。

適応性のある金本位制は、基本的にあらゆる経済状況に適合するため、検討に値します。通貨供給量は、たとえば 20% から 100% の範囲で金に裏付けられます。導入時には、信頼を高めるために最高の割合が必要となります。

この柔軟な金本位制のもとでは、金のドル価格はいくらになるでしょうか。1920年代の金交換本位制における最大の欠陥は、誤った価格設定でした。しかし、今日の世界の負債レベル、既存のマネーサプライM1、M2などに基づくと、金の裏付けの初期比率は、100%裏付けの場合、金の価格は45,000米ドル前後、20%裏付けの場合は約10,000米ドル前後になるはずで

2. 500/オンス。1920 年代の失敗を避けるために、適切な価格設定には特別な注意が必要です。

どのような組み合わせが選ばれても規律を課すには、金の自由市場が公定価格と並行して存在できるようにする必要があります。市場価格を公定価格またはその近くに保つために、公開市場操作によって市場価格を決定することができます。

適応性の程度は事前に検討される必要があります、条件と、厳格なカバレッジ比率からの逸脱を許容することが望ましい場合を明示的に記述した事前設定された資格要件が定められる。たとえば、真の流動性危機やデフレスパイラルの発生を伴うイベントなどの経済的緊急事態の場合、金に対するマネーのカバレッジ比率を超える急速なマネー創出が必要になる。

金本位制への信頼を築く上で欠かせない2つの要素は、強力な法的体制と価格を安定させるための強制的な公開市場操作である。これらは考慮すべき柱であり、これらが存在し、一定の状況下では、カ

バー率の上限を超える過剰な紙幣の発行に対応できる可能性がある。

おそらく、デフレによる収縮のような極端な状況では、公開市場操作は、決定に対する一種の民主的な国民投票となるだろう。市場がデフレの判断で反応すれば、金への駆け込み需要は起こらないだろう。実際、貿易赤字を抱える他の国が買い手となるため、金の売り手も存在するかもしれない。その場合、金価格は維持される。逆に、市場が判断に疑問を呈すれば、紙幣を金に交換する殺到が起こるかもしれない。これは、金に対する元の金の比率に戻る強力なシグナルとなるだろう。

他の類似点も現実的である可能性があります。理解しておくべき重要な点は、金本位制における適応性の概念です。より詳細な議論は、適応型金本位制の実現可能性と現実的な実用性を説明することのみを目的としたこの考察の範囲外です。

これまで説明した危機的問題は、適応型金本位制の導入を検討するのに十分なほど深刻です。国民の中央銀行に対する信頼の喪失と、銀行による通貨の継続的な価値低下の経験を考慮すると、新しい金本位制への信頼を確保するには、より広範なマネーサプライの定義と最高のカバレッジ比率が必要になる可能性があります。

経済の安定の向上:

いずれにせよ、現代の金融に対応できるほどの柔軟性を備えた金本位制の再構築に関わる問題は、世界規模での信頼回復の必要性に基づいて、真剣に研究し、広範囲に調査する価値がある。何も考えずにこの概念を嘲笑するべきではない。重要な追加の利点は、各国が自国の通貨を独立して管理でき、経済の安定に貢献できることである。

この約束を発表するだけで、市場が将来の安定性を織り込み始めるため、世界経済に即時の利益と安定化効果をもたらす可能性がある

。これは、ユーロ導入の何年も前に行われたユーロ収斂と似た手順である。適切な価格水準が決定されれば、事前に発表することができ、新しい金相当額に応じて通貨を安定させるための公開市場操作が直ちに開始される可能性がある。

最終的には、通貨自体が金に固定されるようになるかもしれません。そうなれば、市場がついに操作から解放され、世界は新たな創造性、さらなる革新、生産性の向上、先進技術の適用に取り組む準備が整います。そして最後に、真の世界経済成長は紙の富ではなく、実際の富によって推進されるでしょう。

重大な警告ですが、中央銀行が敗北を認めて権力を放棄する可能性は低いでしょう。したがって、この経済危機から生じる可能性の高い結果は、最も論理的な解決策ではありませんが、より考えられるのは、通貨戦争と紙幣の価値の低下の結果として世界的な混乱が起こり、投資家の信頼が崩壊して壊滅的な混乱を引き起こし、貿易と投資のための機能的な通貨システムの外観を維持するために政府が緊急措置を講じることになるというものです。

さらに悪いことに、次の金融崩壊は歴史上見たことのないようなものになるでしょう。これは、乗り越えられないほどの負債の不安定な山腹に最後の金融雪片が重なることで引き起こされる雪崩のように起こるでしょう。

破られた約束の歴史:

中央銀行の歴史は、一般的に、金へのお金の交換に関しては約束が破られ、特に一般大衆の利益を犠牲にしてゼロ金利政策とマイナス金利政策の銀行金利を推進してきた歴史である。

もし米国が当時それほど大きくて強力でなかったら、自国の通貨を世界の準備通貨として押し付けることはできなかったでしょう。世界の準備通貨（金ではなくドル）の発行国としての地位がなければ、米国は世界に現金を氾濫させることはできなかったでしょう。世

界の他の国々がドルを必要としなければ、信用バブルは成長し続けることができませんでした。そして信用の成長がなければ、不必要な戦争や世界帝国の維持にかかる費用を支払う方法はありませんでした。

人工市場の40年。

本質的に、中央銀行はほとんどの人が考えるほどの力を持っていません。彼らはこの危機を引き起こした責任があるかもしれませんが、40年間の人為的な市場の責任も一部負っています。しかし、彼らには市場の力を無期限に抑える力はありません。そして、解き放たれた市場の力を抑制する力は絶対にありません。私たち国民が一斉に反乱を起こさない限り、はるかに大きな危険は、新しい世界通貨システムの導入と管理です。彼らがこれに関して考えているのと同じ目的は、私たち国民の利益ではないことは確かです。

目を覚まして真実を見つめ、基本的にエリートカルテルのために行動し、政府や政治家をフロントマンとして雇い、私たち全員を搾取する目的でメディアや市場を操作する「権力者」の恐ろしい真実を明らかにする時間は、非常に限られているとはいえ、まだ残されています。私たちは、寄生的な（私有の）中央銀行家たちのなすがままです。彼らは世界経済を崩壊させるだけでなく、新たに生み出された紛争の双方に個人的な利益と支配のために資金を提供することもいといません。ほとんどの当局は、彼らに雇われた手下として共犯者です。

読者の皆さんが、私たちの周りで起こっていることの恐ろしさ、そして、より良い方向への変化がいかに緊急に必要であるかを理解し始めることを願っています。

自信の喪失により、変化が起こります。

政府への信頼はほぼ完全に失われており、一般の人々は怒りを感じ、もう我慢できない状態です。しかし悲しいことに、その怒りは焦

点が定まっていないのです。なぜなら、ビジョンと信頼がなければ社会が機能するのは非常に難しいのに、統治の本当の意味についてはほとんど何も学ばれていないからです。今日主張されていることは、確かに現実ではありません。政府自体が焦点が定まらず、すべてが嘘です。

これは社会と文化の構造にとって非常に悲劇的です。目を覚ましてください。まずは嘘つきや偽善者を排除することから始めましょう。あらゆる意味で、それが最も偉大で望ましい確立された秩序、つまりあらゆる形で解放された社会です。人々が好むと好まざるとにかかわらず、変化は起こります。変化は最終的に達成できると楽観的に考えましょう。私たちと私たちの子供や将来の世代の生活は、私たちが今日正しい行動をとることにかかっています。私たちがこれを防ぐ洞察力を持っていたにもかかわらず、私たちがこれを起こしてしまったことを孫たちにどう説明すればいいのでしょうか。 - 世界中の中央銀行を廃止してください。第 33 章を参照してください。中央銀行は今日の悲惨さの主犯です。中央銀行が仕組んだ現在の金融危機が展開すると、中央銀行は大きな敗者になります。健全な通貨への回帰がまず必要です。政府さえも廃止できます。第 3 章を参照してください。あるいは、規模と影響力を大幅に縮小することもできます。世界は規制のない自由市場環境で完全に機能します。

公的債務:

「公的債務」は国民の債務ではなく、RKM陰謀団が国民から金を巻き上げるために設立した「企業国家政府」の債務であり、すべての国家企業は計画的に破産しており、その結果、これらの国家債務の担保源、すなわち我々国民が破産している。(第36章)。

今では、陰謀団は最終段階にあり、毎日締め上げられる絞首縄。 - 年末までに陰謀団は倒されるだろう。そしてワシントン DC にある陰謀団の中央企業政府は、他の西側

諸国の企業政府と同様に、人民政府に置き換えられるだろう。その規模は、うまくいけば約 90% 縮小され、それぞれの憲法で割り当てられたいくつかの特定の任務のみを担当することになるだろう。 - 金融と商業の監督は、これらの任務には含まれていない。

だから、次回の救済措置や救済措置には「ノー」と言いましょう。なぜなら、カバールは崩壊後に世界統一政府を設立する計画を立てており、政府や中央銀行家たちが、価値のない通貨をさらに何十億枚も印刷して事態を收拾しようとするからです。カバールはこの計画を何百年も前から立てており、その計画の最終段階を実行に移している最中で、人々に信じられないほどの苦痛と苦しみを与えています。

イルミナティは世界を支配している：

実際に世界の大部分を支配しているのは、イルミナティの隠れた政府（第 7 章）です。1913 年に私的かつ違法で違憲の連邦準備制度を通じてアメリカに侵入し、乗っ取ったのは、外国に拠点を置くアルコンの「血統」一族です。

世界権力ピラミッド（第7章）の頂点に座るこれらの隠れた指導者たちは、サウジアラビアに石油価格を下げるよう指示した。これは、ロシア連邦の良き長期同盟国であるシリアとイランを支援したことに対するプーチン大統領への制裁と、ロシア連邦を屈服させるために計画されたものである。

彼らは、特に米国が主導するウクライナでのクーデターと組み合わせれば、ロシア連邦は経済的に急速に無力化されるだろうと信じていた。彼らは、[MH17航空機の撃墜](#)、300人近くの罪のない市民の殺害というウクライナに対する戦争行為に、米国の納税者の50億ドルを支払い、責任があるのはプーチン大統領だけだと世界に示した

。

ロシア連邦は、サウジアラビアの原油価格の下落に反応し、西側諸国に自らのやり方で挑戦状をたたきつけた。

グノーシス派の血統から、新たな、そしてますます勢力を強めているグループ、「善人」が登場したようだ。彼らは目立たないようにしているが、いくつかの「最後通牒」を要求している。

グローバルリセット計画:

ホワイト ドラゴン ソサエティ (WDS) と呼ばれるこの強力なグループは、少なくとも過去 13 世紀にわたって世界を虜にしてきたロスチャイルド ハザール マフィア (RKM) のアルコン血統とは異なります。彼らはロシア連邦と、米国国防総省の秘密の契約プログラムへの特別なアクセス権を持つペンタゴンの奥深くに隠されたセクターと連携しているようです。

彼らはまた、現在のRKM世界金融システムは持続不可能であり、世界はもはやそれを受け入れることも、許可することもないだろうということをG20メンバーに教えたようです。

これらの会議では、石油を米ドルから切り離し、世界の準備通貨として米国のペトロドルの代わりに調整された金に裏付けられた通貨のバスケットを作成するという世界的なリセット計画が提案され、承認されました。

この新しい世界金融システムを展開し、RKMシステムを少しずつ排除するためのスケジュールが立てられたとされている。しかし、秘密のリセット協定が結ばれ、署名されたにもかかわらず、RKMとその仲間たちはそれに抵抗している。これは驚くべきことではない。なぜなら、このアルコンの「血統ファミリー」は常に驚くほど 二面性がある。

この新しい秘密協定に対する抵抗は、ISISとダーイシュ、ウクライナで起きた米国とイスラエルのクーデターによって現れており、西

側のRKM大手銀行はできる限り長く自らを支えようと試みている。彼らがこの協定の遵守に抵抗する時間が長ければ長いほど、彼らはさらに没落し、西側諸国、特にヨーロッパとアメリカを巻き込んでますます没落することになるだろう。

人々は団結しなければなりません。

今こそ、西洋の人々が団結し、[RKMの沈没船](#)。

「我々は今や、KM (RKM) が、バアル崇拜として知られる古代バビロニアのタルムード主義に基づいた、想像を絶する邪悪な、大規模で世界規模の、世代を超えた、秘密のルシファールのオカルト組織であることを確かに知っています。」

疑問が生じる。RKM のような強力な勢力が、第一次世界大戦の直前に乗っ取ったアメリカ軍を使って大規模な戦闘をすることなく、世界中での権力と金融覇権を放棄することにどうして同意できたのだろうか？

この質問に対する完全な答えはまだありませんが、この新しいグループ (WDS) はロシア連邦と共有しているかなりの防衛軍事力を持っており、NATOとイスラエルを加えてもアメリカの軍事力を明らかに上回っていることが観察されています。

善良な人々 (WDS) が私たちの側にいる限り、西洋世界の人々は私たちの社会を乗っ取った犯罪者を打倒するチャンスがあります。リセットを実行するのは簡単ではありませんが、最終的には必ず成功します。移行期間中は困難な時期や瞬間が大きな痛みをもたらしますが、それは私たちの社会をより良くするための痛みとなるでしょう。

これからも頑張ってください。調査し、他の人に目覚めるよう促すことで、より知識を深めてください。できるだけ多くの方が必要です。皆さんの助けが本当に必要です。

変化:

そして、ここに、すでに進歩が遂げられていることを本当に証明する最初の兆候があります。 - LBMA のレーダーに今、大きな脅威が迫っています。ABX はついに第 1 フェーズの展開を開始し、現在は完全に機能しており、世界中のすべての市場参加者に直接アクセスを提供しています。これは、**貴金属の価格発見を確立する方法を変える、金市場を襲った最大のニュース**です。

[割り当て地金取引所 \(ABX \)](#) の開設は、**割り当てられた実物金属の世界初のグローバル機関電子取引所**であり、既存のハザール人が管理する実物地金取引方法に混乱をもたらすものである。紙の市場が解体される中、LBMAは現在、生き残りをかけて奮闘している。

みんな一緒に寝てるよ！

新世界秩序の実施を担当する隠れた政府の操り人形と暴君は誰ですか？

イタリアのグランドマスター、ジョエーレ・マガルディの衝撃的な新著『フリーメイソン - 原始ロッジの発見』には、この声明を裏付ける著名な政治家や実業家のリストが掲載されています。

[ヴェルナー・アルトニッケルはビデオの中で](#)、「これらのロッジがいかに巧妙に組織化されているかが明らかになったため、今や状況は非常に暗い」と述べ、彼らの世界完全支配計画、つまり新世界秩序はまもなく達成されるだろうと述べている。[この記事](#)には、協力関係にある著名人の名前がいくつか挙げられている。

フリーメイソンの陰謀団のメンバーで、よく知られ、最高位に就いている人物の一部をご紹介します。

注：ウル・ロッジはフリーメイソンの階層構造の中で最高位の組織であり、保守派と進歩派のウルメイソン間の妥協の表れとしてズビエグニエフ・ブレジンスキーによって設立されました。

バラク・オバマ- 米国大統領、「マアト」、
ウラジーミル・プーチン（ロシア連邦大統領、「黄金のユーラシ
ア」）。アンゲラ・メルケル（2005年からドイツ首相、「黄金の
ユーラシア」、「ヴァルハラ」、「パルジファル」）。
フランソワ・オランド（1954年生まれ、2012年からフランス共和国
大統領に就任、「フェルディナン・ラサール」と「フラテルニテ・
ヴェルテ」に所属）。
クリスティーヌ・ラガルド（IMF理事、『スリー・アイズ』、『汎
ヨーロッパ』）。
マリオ・ドラギ（1947年生まれ、2011年から欧州中央銀行総裁、「
エドモンド・バーク」、「パン・ヨーロッパ」、「コンパス・スタ
ーローズ/ローザ・ステラ・ヴェントラム」、「スリー・アイズ」
、「デア・リング」に所属）。
ジョージ・W・ブッシュ（2001年から2009年までの米国大統領、「
ハトホル・ペントルファ」）。マイケル・リーデン（米国のジャー
ナリスト、政治専門家、「ホワイト・イーグル」、「ハトホル・ペ
ントルファ」）。
コンドリーザ・ライス（米国政治家、「スリーアイズ」、「ハトホ
ル・ペントルファ」）。
マデレーン・オルブライト（米国の政治家、「スリーアイズ
」、「リヴァイアサン」）。アブ・バクル・アル・バグダディ
（ISISの指導者、いわゆるイスラムのカリフ、「ハトホル・
ペントルファ」）。
トニー・ブレア（1997年から2007年まで英国首相、「エドモンド・
バーク」、その後「ハトホル・ペントルファ」）。
デイヴィッド・キャメロン（2010年からの英国首相、「エドモンド
・バーク」、「ゲブラー」）。
マリアノ・ラホイ（2011年からスペイン首相、「汎ヨーロッパ」、
「ヴァルハラ」、「パルジファル」）。
アントニス・サマラス（2013年「スリーアイズ」以来ギリシャ首相
）。

ニコラ・サルコジ（政治家、2007年から2012年までフランス大統領、「エドモンド・バーク」、「ゲブラー」、「アトランティス・アレティア」、「汎ヨーロッパ」、「ハトール・ペンタルファ」）。

マニュエル・ヴァルス（2012年よりフランス首相、最初はグラン・オリエント・ド・フランス、その後「エドモンド・バーク」、「コンパス・スター・ローズ／ローザ・ステラ・ヴェントラム」、「デア・リング」）。

マーク・ルッテ（1967年生まれ、2010年からオランダ首相、「スリー・アイズ」および「汎ヨーロッパ」所属）。

ベン・ファン・ビューデン（1958年生まれ、ロイヤル・ダッチ・シェル社のトップマネージャー、CEO、「Geburah」および「Der Ring」に所属）。

ヴォルフガング・ショイブレ（1942年生まれ、政治家、現ドイツ財務大臣、現「デア・リング」崇拝者、「ジョゼフ・ド・メストル」所属）。

ピーター・ヴォーザー（1958年生まれ、ロイヤル・ダッチ・シェル社のトップマネージャー兼CEO、「パン・ヨーロッパ」所属）。

ビル・ゲイツ（米国の実業家、投資家「コンパス・スター・ローズ／ローザステラ・ヴェントラム」）。

[詳細については、こちらをご覧ください。](#)

関係者によるロジプランの[説明](#) - ヴェルナー・アルトニッケル

エリートたちはもはや支配力を失っています。彼らは死ぬほど恐れています。国民の25%が今や目覚めています。

[このビデオを見る](#)時です。平和な地球に住む人々は、心と精神を開く必要があります。今こそ、私たち全員が平和で思いやりのある方法で人類として成長する機会です。私たち人類は今や 1 つの大きな家族です。家族は他の家族を愛と尊敬の念を持って扱います。人類よ、目を覚ましてください。地球規模のリセット計画。隠れた政府、エリート。

イルミナティは世界を支配している：

世界は、すべての政府とメディアをコントロールする銀行と大企業を所有するサイコパスとソシオパスのエリート集団であるイルミナティによって支配されています。彼らは利益のためにすべての戦争の両側に資金を提供し、メディアのプロパガンダを通じて大衆の同意を得ようとしています。

さまざまな要因が重なり、世界の準備通貨としての米国のオイルダラーの終焉、BRICSの台頭など、開発銀行、中国のAIIB、そして彼らの新しい国境を越えた銀行間決済システム（CIPS）は、米国と日本を除く多くの国の間の直接貿易協定と相まって、国際貿易における米ドルの強制的な使用は放棄され、最終的には民間所有の連邦準備制度と中央銀行が完全に崩壊し、RKMが支配するロンドン市が消滅することになるだろう。

正直に言うと、世界は、人間奴隷制度と借用書債権に依存して、国民が負っていない負債を支払う詐欺師の主人を必要としていません。
- [George Carlinが3分で説明します。](#) [私たちから奪われてしまったのです。](#)

それで、今の疑問は、彼らの次のトリックは何なのかということです。

ゴールドスタンダード：

RKM が支配する中央銀行は、世界中の金のほとんどを盗んだため、金本位制を強制すると思われます。彼らがこの強奪行為から莫大な利益を上げる唯一の方法は、世界中で金の取引を行うことに成功したときです。

アメリカ国民とメキシコ国民は、それぞれの国の通貨が、民間の中央銀行が発行できない、国民によって国民のために発行される銀ドルとペソであり、取引可能であることを認識しているはずだ。

RKM は JP モルガンを通じて銀市場を独占しているため、彼らのやり方で彼らに勝つチャンスはなく、連邦準備銀行と世界の中央銀行を排除し、彼らの負債を拒否する以外に方法はありません。銀行システムは、ブロックチェーン技術に基づく透明な支払いシステムと組み合わせ、人々による人々のための実際のお金の铸造を通じて、劇的に変化しようとしています。

中国が人民元を金で裏付ければ、RKM は消滅するだろう。ほぼ全員がこの方法で陰謀団を弱体化させることに賛成するだろうことは間違いないようだ。しかし、RKM は我々の多くが考えもしなかった別の逃げ道を作り出したかもしれない。伝えられるところによると、彼らは中国人の支持を得ても、ただ前進し、中国に作戦を集中させただけである。

エリートたちは絶滅には程遠い：

1928 年以来、連銀は中国に対して多額の金と利息を負っているが、締結・署名した契約を一度も遵守していないため、ニール・キーンマンは連銀を訴え、連銀は破産保護を申し立てた。しかし、最終的に連銀は裁きを受けることになった。連銀の犯罪的思考方法を理解すると、連銀は中国に対して断れない取引を持ちかけた可能性が高い。金を基盤とした通貨制度の確立に協力してくれれば、想像を絶する利益を生み出すだろう。

つまり、再び同じ古いストーリーに戻ってしまいました。善人が悪党を捕まえ、悪党は彼らに断れない申し出をし、善人は事後に犯罪に加担し、嘘の網に巻き込まれるのです。

どうやら、報道によれば、中国は金本位制の確立に同意しており、ハザール人はすでに中国に移住している可能性が高い。

この幻想はあまりにも驚くべきもので、真実とは思えません

。さて、あえて質問します。中国はすでに、金の備蓄を蓄えた白龍会の長老たちが**本当に**独立しているのか、それとも新しい犯罪組織の本質的な**一部なのかについて嘘をついている**のでしょうか。人道支援、新開発、インフラ改善、そして最後に、貧困の撲滅のために人々に返還されると約束されている白龍会の金は、すべて真実とは思えないほど素晴らしい幻想なのかもしれません。ニール・キーナンが答えを知っていて、世界に真実を伝えてくれることを願います。

そうでないなら、中国人も強欲で、善意を装ってしようとも、自分たちで金を集めようとするのが現実的だろうか？彼らは、FRBが盗んだ金はすべて自分たちのものであり、儲かる取引と引き換えに購入した米国短期国債は、合法的にまず金で補償されるべきであると主張するかもしれない。一方、世界の他の国々は、幻想的に貧しくなるだろう。

もう一度言います：

そのため、国連、IMF、モサド、CIAに守られる代わりに、ハザールマフィアは中国が所有する数十万トンの金の後ろに身を隠し、他の皆が金や金に裏付けされた通貨の購入に殺到する中で、その過程で数千パーセントの利益を得ている。

すでに計画されているように、それは米ドルを破壊し、米国銀ドルのような銀通貨の価値を二次市場で急騰させるでしょう。その結果、控えめな銀は金よりもはるかに大きな利益率を得ることになります。

まもなく、新たな通貨制度を構築する以外に解決策はなくなるだろう。BRICS および AIIB 加盟国のほとんどは、これらのさまざまな新通貨を、自国の通貨の裏付けとして金、銀、または商品にリンクさせる必要があると秘密裏にすでに議論している。

ハザール人は銀の重要性を無視しているが、アメリカ国民は法定通貨として銀ドルを発行する権利と権限を持っているため、彼らは奴隷状態から解放され、再び世界の他の国々にとって真の輝かしい模範となる絶好の立場にある。

このことを世界に知らせましょう。

彼らがそれぞれ正当な個人としてのアイデンティティを失い、企業に変貌し、取り消されなければならないことを、世界中の人々に知らせることは、すべての人々の利益になります。そうすることで、彼らは本来の地位を取り戻します。つまり、独自の通貨を発行し、自らを統治する権利を持つ、唯一生きた自然のアイデンティティを取り戻し、その結果、すべての人々が奴隷状態から解放されるのです。

私たち国民は無実であり、RKM が犯した犯罪や故意に生み出した負債のすべてに責任はありません。RKM は中国人とロシア人をも騙してきました。 **このことを世界に知らせましょう！**

人々が税金を払う唯一の理由は、RKM銀行家たちが「所有する」司法制度と、盗んだ富の抑制されない力を利用して世界のインフラを完全にコントロールする能力によって社会を彼ら自身の警察国家に変えたためであり、彼らは従わせるためには投獄で脅すしかない。

勝利する方法：

結末は明らかだ。中央銀行とRKMの世界覇権の日は限られており、**もっと多くの人が目覚めれば、彼らの終焉は差し迫っている**。相互の力によってのみ、何世紀にもわたって、特に1913年に連邦準備制度が設立されてから過去100年間、世界を恐怖に陥れてきたこれらの犯罪マフィアギャングを永久に追放することができるのだ。

一方、彼らの詐欺的なシステムは、信頼できるブロガーによってインターネット全体で暴露されています。彼らの知識は急速に大衆に

広まり、彼らも点と点を結び始めており、今ではますます多くの怒った人々が、この馬鹿げた嘘と欺瞞の祭典にうんざりしています。これらの悪魔的な小児性愛者大量殺人者、子供を虐待し犠牲にする精神病質者、独裁的な社会病質者は、彼らの抑圧的な階層構造で地球を支配しており、政府、自治体、地元の警察、機関の支配を通じて、街頭レベルにまで及んでいます。

残された最後の疑問は、古くて混乱し歪んだルシフェリアンのオカルトマスターによって運営されているハザールマフィアのバビロニア債務奴隷銀行システムが、環境や主権国の自然の美しさなど、私たちの生活と私たちがこれまで努力して築いてきたすべてのものを完全に破壊するまで、大衆はこれをどれくらい長く許すのかということなのです。

大衆が完全に目覚め、団結して行動を開始すれば、私たち国民は集団で戦い、マフィアを追い出すことができます。他人に頼れば、やがて奴隷化と抑圧の同じ物語が再び始まるでしょう。

どうすれば世界は救われるのか：

怒れるアメリカ人のうねりは、これまでの人生で誰も見たことのないものだ。ドルと金融システムの足元から敷物を抜き取るような、ある種の真実の爆弾が投下されることが予想される。

「真実」は、さまざまなトピックのうちのどれか 1 つに当てはまります。西側諸国には実質的な金が残っているのでしょうか？ ジョン・F・ケネディ大統領の真の暗殺者は誰でしょうか？

ケネディ？偽旗作戦か、それとも本物のテロか？西側諸国は財政的に破綻しているのか？出生証明書？911？ほぼすべての資金調達には、買収された人物を示す書類の記録がある。どのブローカーが関与していたのか？連邦準備制度理事会を監査するのか？財務省を監査するのか？結局のところ、このシステム全体がポンジー・スキームなのだ。そして人々はこれを感じ始めています。もし「真実の爆

弾」がこれを直接的に、あるいは間接的にシステムの崩壊を引き起こすことで証明したらどうなるのでしょうか？

そして、ドナルド・トランプ大統領は「エリート体制」にとって大きなリスクとなる。彼は、国庫の全額が盗まれ、毎日搾り取られている国の現状に対する絶対的な脅威である。「彼ら」は、彼が大統領の任期中、可能な限り困難にするつもりだ。このプロセスを妨害する「部外者」は、彼らの「利益」にとって明らかに悪影響だ！

陰謀団はトランプを倒すために全力を尽くしているが、基本的に「彼ら」は負けている。長年にわたる国民への圧力はついに終わりを迎え、成長と繁栄の新しい時代が始まるだろう。

皆さん、「[目を覚ましてください](#)」。トランプは体制側のRKマフィアの一員ではなく、この問題をAからZまで解決する力と知識を持つ唯一の人物です。

[のドナルド・トランプを見てください。](#) [主流メディア](#)。

何百年もの間、世界が誰によって、どのように操作されてきたのか納得できないなら、時間をかけて[このわかりやすいビデオを見てください](#)。

世界の人々をまったく気にかけない、邪悪で卑劣な悪魔主義者から世界を救うための戦線が引かれました。

[ドナルド・トランプはイルミナティのメンバーではない](#) ニュート・ギングリッチは認めている！彼は「入信の儀式を受けていない」

ニュート・ギングリッチ元下院議長は、体制側がドナルド・トランプを脅威とみなしているのは、「彼は部外者であり、クラブの一員ではない。制御不能であり、入会の儀式を受けていない。秘密結社

に属していない」ためだと述べている。メディアアナリストのマーク・ダイス氏が、この驚くべき暴露の意味を解説する。

ジョージ・ハーバート・ウォーカー・ブッシュは1992年にこう言った。

「もしアメリカ国民が我々のやったことを知ったら、彼らは我々を通りまで追いかけてリンチするだろう。」

今、人々はまさにそのための機会を得ました！

繁栄する経済は常に強い通貨と結びついています。

権力の移行：

米国の権力移行に伴い、世界は新時代、つまり歴史上類を見ないエネルギーに満ちた時代、大変革の入り口に突入しています。地球を取り巻く高次元の周波数がエネルギーの波動を上げ続け、意識を高める光を運んでいます。これは、平和、繁栄、豊かさ、喜び、希望、愛、そして高次元のすべての良いものの、まったく新しい時代の誕生です。地球はもはや、モンサント社の化学物質汚染やケムトレイルによってカバールが意図的に放出し、人類、水、陸、空、海を汚染してきた有毒な毒物に耐えることはできません。新しい合衆国共和国（USR）の権力の台頭によって先導された私たちの集合意識は、カバールに雇われた抗議者を除く一般の人々が平和と豊かさの新時代に向けて準備を進めている転換点に達しています。

集団的变化は起こらなければなりませんし、今起こっています。戦争は終わります。貧困は根絶されます。自由エネルギーが解放されます。地球からすべての毒素が完全かつ平和で愛情に満ちた浄化され、他の惑星の生物との再統合が想定されます。母なる地球は、惑星に住み、銀河の隣人と交流する高波動の存在の助けを借りて、自らを浄化し、散布されたすべての毒素を取り除くことができます。これはゆっくりと展開し、現実になりつつあります。

ゴールドスタンダードの導入は正しい解決策です。

偽の金利、偽の富、偽の貯蓄を伴う偽の通貨システムによって引き起こされる歪みをうまく排除できる戦略は存在しません。金本位制の導入だけが、陰謀団が計画している経済崩壊を回避するための正しい解決策です。しかし、この事実は否定され、延期され、トランプ陣営とディープステート同盟との間で、この修正を阻止するために最後まで戦う非常に厳しい戦いが起こります。

幕が**開き始めた** イルミナティとハザールマフィアと、全世界に浸透して圧制し、すべての宗教を根絶し、バビロニアの宗教だけを残すという彼らの邪悪な計画を完全に暴露すること。

タルムード主義は、ルシフェリアン主義、悪魔主義、または古代のバアル崇拜としても知られています。

ヘイトキャンペーン:

エリートたちはドナルド・トランプを陥れようと絶えず試みている。主流メディアは彼を憎んでいる。ハリウッドも彼を憎んでいる。

「知的だが愚か」な学界階級も彼を憎んでいる。CIAも彼を憎んでいる。ディープステートの残りの人々、つまり永久に定着した「国家安全保障」官僚も同様だ。彼らはトランプが大統領に就任するのを阻止するためにあらゆる手を尽くした。どれもうまくいかなかった。彼らはすべての弾丸を発射したが、彼はまだ立ち上がっている。

もちろん、ディープステートがまだトランプ暗殺を企てる可能性はある。この可能性がトランプ氏の頭をよぎったことは明らかだ。トランプ氏は、シークレットサービスの警護チームに317人のロシア人特別警備員を含む忠実な民間警備員を加えるという異例の措置を取った。

ディープステートの次の動きは、今後の株式市場の崩壊の原因を

トランプ。つまり、人々が「大恐慌」と考えることは自動的に「ドナルド・トランプ」を意味する。2008年の金融危機以来、経済は生命維持装置に頼っている。FRBは前例のない規模の「刺激策」で経済を活性化させてきた。これにより、資本の膨大な歪みと誤った配分が生じており、これを一掃する必要がある。

婉曲的に量的緩和（QE）1、2、3 と呼ばれる、何兆ドルもの紙幣印刷プログラムについて考えてみましょう。

中央銀行が設立された本当の理由：

ディープステートが1929年並みの株式市場の崩壊を引き起こしたいなら、前回の危機以来使用してきた特別な生命維持措置のプラグを抜くだけでいい。それはすでにケーキに焼き込まれている。彼らがいづ制御された破壊を開始するかの問題だ。ドナルド・トランプは崩壊させるのに最適な人物だ。ディープステートがすでに復讐を押し進め始めている兆候がある。注目すべき最も重要な変数は、中央銀行家、体制、そして彼らのTBTF機関である。

主流メディアのほとんどの政治家、経済学者、専門家は認めないだろうが、中央銀行は**一般市民を犠牲にして政府が財政を賄えるように支援するために存在している**。これが中央銀行が設立された隠された、しかし本当の理由である。

FRBはオバマ政権に便宜を図り、膨大な量の新通貨単位を創出することで事実上政権の財政赤字を賄った。FRBがトランプ氏に同じ恩恵を与えるかどうかは疑わしい。トランプ氏はインフラへの約1兆ドルと見積もられる景気刺激策で巨額の財政赤字を計上する可能性が高いが、FRBがトランプ氏の支出を賄うために創出された債務を消化しなければ、金利は劇的に上昇することになるだろう。

設立：

体制側はトランプに復讐するだろう。連邦準備制度は彼らの選んだ武器だ。トランプは状況を認識しているようだ。彼は最近、「彼らは他のすべてが下がらないように金利を低く抑えている」と述べた。彼はまた、「私たちは非常に誤った経済状態にある」、株式市場は「大きくて厚い、醜いバブルだ」とも言った。選挙運動中、トランプは連邦準備制度理事会のジャネット・イエレン議長を「非常に政治的」と呼んだ。彼は連邦準備制度理事会は金利を上げるべきだが「政治的な理由」で上げないと述べた。なぜなら、選挙前に金利を上げるとヒラリー・クリントンに打撃を与えることになるからだ。

借金王：

経済的な観点から見ると、トランプ陣営には3つの大きな罣が潜んでいる。

- 1兆ドル規模の軍産安全保障複合体を全力で守るために死ぬまで戦う将軍たち。
- ウォール街とその特権に対する支配を維持したいゴールドマン・サックスの男たち。
- 「借金王」ドナルド・トランプ自身は、良い直感も、そしておそらく悪い直感も持っているようだが、米国の借金帝国が崩壊するのを黙って見ているつもりはない。

負債、人口動態、偽札、ゾンビの退化はすべて米国経済に逆効果を及ぼしている。エリートたちは失敗しただけでなく、機能不全で寄生虫だらけの富を破壊する経済を作り出した。「より良い取引」は役に立たない。政府とその政策の有用性に関して、後戻りできない地点はとうに過ぎている。内部関係者は知っている。トランプの資産は中国が保有する負債の80%を占めている。

通貨制度は、世界の準備通貨となるはずだった金を基盤として構築され、それを「金と同等の価値」を持つとみなされるアメリカドル

が補完した。つまり、世界の通貨制度は**嘘の上に築かれた**。その嘘とは、約束はそれが約束する物理的な商品と同等の価値を持つというものだ。

米国の恒久的な貿易赤字の必要性:

米国は、世界との恒久的な貿易赤字を強いられています。米国は、世界への恒久的なドルの流れを生み出すために、世界への販売量よりも海外からの購入量を絶えず増やさなければなりません（第 32 章を参照）。この流れによって、世界の他の中央銀行に必要な通貨準備金が生み出されます。

米国から他の中央銀行の国際準備金へのドルの継続的な流れがなければ、それらの中央銀行が発行する通貨は存在しなくなるでしょう。他の中央銀行が準備金にドルを持っていなければ、その中央銀行にはお金がありません。ドル準備金がなければ、**国際的に見て現地通貨は無価値になります**。

ドルを得るためには、アメリカの生産者が要求する価格よりも安い価格でアメリカの顧客に製品を販売する必要があります。アメリカの競争相手より安く販売する以外に、**輸出製品をアメリカ領土に導入する手段がないことは自明である**。

SDR; 超国家的な世界通貨:

このため、世界のエリートたちは IMF を創設した。彼らは長い間、SDR という形で超国家的な世界通貨を望んでいたのだ。SDR とは、最近では中国元も含まれる複数の紙幣のバスケットである。SDR は健全な経済や一般人の利益に基づいていない。これは、学界や政府の経済魔術師による、またしても馬鹿げた発明にすぎない。

SDR は危険です。政府（この場合は世界政府）にさらなる権力を与えます。SDR は目新しいものではありません。IMF は 1969 年以来、ゆっくりと構築してきました。IMF は、世界の主要な通貨として

米ドルに取って代わるために SDR を使用する適切なタイミングを辛抱強く待っていただけです。- 1929 年または 2008 年のような金融崩壊が再び発生すれば、グローバルリストが SDR 解決策を実行するための完璧な口実になります。繰り返しますが、問題 - 反応 - 解決策、エリートが好む戦略です。

これから起こる金融崩壊は世界を席卷し、世界経済の隅々にまで混乱が広がるでしょう。株価、通貨、商品は乱高下し、何万もの企業が倒産するでしょう。しかし、危機において、貴金属、不動産、金鉱、石油埋蔵量、技術などの価値ある資産は破壊されません。その代わりに、所有権は単に、多くの場合突然、ユーロのセントで手渡されるだけです。ほとんどの人は気づいていませんが、この富の移転は今や加速しつつあります。第 44 章を参照してください。

米国の産業空洞化と金本位制の理由:

これが、かつて偉大だったアメリカの製造業の大部分が消滅した理由です。切実に必要なドルを得るために、世界の他の国々がアメリカに輸出しなければならないという圧倒的な必要性が、アメリカの産業空洞化を引き起こしたのです。

米国の産業空洞化の原因を世界の他の国々のせいにするのはむしろ不公平だ。すべての国は、*米国自身*がブレトンウッズ協定で確立したルールに従って活動してきただけだ。ドルは世界の準備通貨として導入され、施行され、どんな犠牲を払ってでも、通貨システムを維持するためにドルを持つことが不可欠であると推し進められたのだ。

トランプ氏が米国の貿易赤字をなくすか減らし、輸入関税によって米国の再工業化を保護・促進しようとするれば、米国への輸出でしかドルを入手できないという、世界の他の国々の経済への口封じが実現することになる。米ドルを入手する方法は他にないからだ。したがって、いずれにせよトランプ氏は、世界のエリートのSDR導入に

追随するか、あるいは、すべての国の紙幣が金に裏付けられる世界規模の金本位制導入に従わなければならない。

金 - 優先準備資産:

貿易赤字や貿易黒字のない均衡のとれた貿易の世界をもたらすだろう。

トランプ氏は知らないようだが、輸入品に関税を課すことでアメリカの産業に保護主義政策を適用することは、ドルを基盤とする世界の通貨制度の終焉につながるだろう。

トランプは誰も恐れない:

億万長者が最高司令官である トランプは、誰も恐れない。メディアも、CIAのスパイさえも。彼は勇敢な真実の語り手のようだ。政治に対するこのアプローチには、いくつかの利点がある。

- 伝統的なパーティーよりも面白いです。より魅力的で、理解しやすいです。
- それはトランプ氏をチャンピオンに変える。彼は、ヒーロー、悪者、そして必然的に善が悪に勝利するという、テレビドラマのシンプルな公式に忠実に従うのだ。
- それは、実際の政策や議会との実際の政治交渉という曖昧で曖昧な泥沼を回避しており、事態を悪化させる可能性が高い。

トランプ主義は大衆の思うつぼだ。彼らのヒーローは、ある日はワシントンDCの官僚機構と戦い、次の日にはISISの殺人者と戦い、必要ならツイッター攻撃の対象となる民間企業や個人と戦う。

トランプ主義のもとでは、人民の英雄は特定の忠誠心によって束縛されることはない。個人に対しても信条に対してもだ。保守派か、リベラル派か、民主党か、共和党か。有権者は

特に気にしない。彼らのリーダーも同様だ。その代わりに、彼は自由にグループ同士を対立させ、予想外の角度から攻撃して敵を驚かせ、挑戦を受ける政党が「論点」を欠いている大胆で斬新な立場を取る。

トランプ氏は、昨日の敵とは永遠に対立しているわけでも、今日の友人と永遠に結びついているわけでもない。だからこそ、彼はゴールドマンの元社員たちをいとも簡単に受け入れることができるのだ。選挙戦中は完全に反対していたが、今はゴールドマンの元社員たちがトランプ氏にとって役に立つだろう。そして、経済の衰退の責任を誰かに負わせる必要が生じた時には、トランプ氏は彼らをいとも簡単に解雇するだろう。これは、トランプ氏が最初の記者会見で、CNN に質問する権利を拒否して聴衆に示した通りだ。恒久的な同盟に縛られず、いかなるイデオロギーにも縛られないトランプ氏は、見ていて楽しい。

エリートたちはまだトランプを諦めていない：ポール・クレイグ ロバーツ

エリートたちが誤算を犯した最近の例としては、主流メディアをコントロールすることで人々の心をコントロールできると彼らが想定したことが挙げられます。これは主流メディアの影響力を過大評価し、過大評価した大きな誤算でした。今日、人々はインターネットやソーシャルメディアを介して信じられないほど速く情報を交換しています。実際、過去には図書館、辞書、その他の情報源を掘り下げるのにはるかに多くの時間が必要でした。そもそも見つけるのが難しい本からあらゆる種類の情報を読むのに膨大な時間が費やされました。インターネットの時代はもう終わりです。これが、言論の自由と代替メディアを排除することがカバールの主な目的である理由です。これは、「政治的正しさ」(第15章)と「フェイクニュース」(第7章) キャンペーンの推進と、さまざまなソーシャルメディ

アアウトレットのさらなる検閲から明らかです。それは絶望の行為であり、事実は、精霊はすでに ボトル。

52. 最後の警鐘

- 本当のテロリストは誰ですか？
- 我々は、高給取りの追従者たちを打ち負かさだろ
う。
- ダムが割れ始めたら、行動を起こす時です。
- 真実が明らかになるにつれ、主流は目覚めます。
- 真の繁栄への道。
- 国民はなんと深く騙されているのだろう。

政治的に主張されている真実はまったくのでたらめです。

世間が、企業の計画に忠実な終末論的なメディア報道やニュース報道に幻滅し、警戒するようになったというのは、あからさまな控えめな表現だ。人々は世界が変わりつつあるのを目の当たりにし、何が起きているのか、なぜ起きているのかを理解したいと思っている。情報を得て、その後に備えたいのだ。絶えず嘘をつき、欺く個人や組織、つまりすべての混乱の根源にある組織に指図されるのではなく、知識に基づいた選択をする自由を望んでいるのだ。

MSMの偽情報（CH 7と36）に直面して、[サイトFinal Wake Up 電話](#)は独立しており、重要かつタイムリーな情報を提供し続けています。私たちは、真実を広めるというこの任務を遂行する上で、新任の編集者、寄稿者、ボランティア、そして読者の反応の貢献に感謝しています。読者からのフィードバックは、継続するための貴重な励ましと動機付けの源です。強力で資金力のある主流メディアによって流される偽情報の波を抑えることは、かなりの課題です。

地球上で最も裕福な一族による米国と世界政治の支配は、強力かつ根深く、秘密裏に行われている。この支配はヨーロッパで始まり、銀行家たちが困窮する個人に融資するよりも政府に融資する方が利益が大きいことに気付いた時代まで遡ることができる継続性を持っている（第2章）。これらの銀行家一族とその従属的受益者は、2世紀にわたってほとんどの主要事業を所有するようになった（第7章）。その間、彼らは秘密裏に、そしてますます世界中の政府を支配し、戦争と平和の調停者として組織化してきた。



人々がこれを完全に理解しない限り、2つの世界大戦と、差し迫った第三次世界大戦の本当の理由を理解することはできないだろう。第三次世界大戦は、米国がEU政治局（第40章）の支援を得て中央アジアを占領し支配しようとする試みの結果としてほぼ確実に始まる戦争である。唯一の解決策は、米国とEUが手を引くことであり、米国、EU、そして全世界の人々が実際に望んでいることであり、権力エリートは望んでいない。

誤った金融政策、経済政策、政治政策が故意にこの進行中の経済危機を引き起こし、それが継続している。主な加害者は中央銀行家たちであり、最初はグリーンズパン、バーナンキ、ジャネット・イエレン、そして現在はパウエルが率いており、ECBのドラギが従順に足並みを揃えて従っている。

ドイツの金の送還を拒否したのは犯罪だった。その動機は、ドイツの公式金勘定の流用、つまり再担保化を隠すためだった。ドイツは、自らの同盟国に金の盗難を警告した。その結果、ドイツは東側の超大国と協力して、米ドルに代わる金取引基準を開発する計画を立てている。しかし、米国は世界に2つの選択肢を与えた。米ドルを守るために戦争するか、それとも東側同盟と協力して新しい金本位制の導入を目指すかだ。

世界のマキャベリ主義的破壊者たちの猛烈な努力にもかかわらず、あるいはその努力のおかげで、人類は目覚めつつある。現在進行中の残忍なガザ虐殺、HAARP の気象操作の大規模な暴露、偽の地球温暖化マントラ（最近では気候変動マントラに改ざんされている）、大気を汚染するケムトレイルやその他の新科学的侵略、毒入りワクチンによる人類の緩やかな死、医薬品や医薬品処置の兵器化、さまざまな発生源からの EMF（電磁場）の悲惨な影響、遺伝子組み換え食品の操作、地殻変動 RTF 監視とモニタリング、そして最前線にある、明らかに偽りの、誘発された世界戦争と社会全体の軍事化の暴露において、大きな進歩が遂げられている。

こうした邪悪な行為が起きたり、続いたりしないようにし、イデオロギー上の明らかな争いに惑わされないように注意しましょう。この競技場には公平なところなどなく、主流マスメディアの大衆的物語は権力エリートによって誘導された極めて説得力のあるプロパガンダの道具です。それに耳を傾けてはいけません。心の知恵、頭脳の識別力、知性、そして常識に頼ってください。代わりにニュースソースを調べ始めてください。イルミナティの唯一の武器は私たちの同意であり、それによって私たちは彼らの嘘に屈するのです。偽情報にはいくつかの目的がありますが、最も狡猾なのは、明らかに目の前で起こっていることの真実に関するあなたの心からの確信に疑いを持ち込むことです。大衆の心を寄せ付けないことは、彼らの秘密の計画を遂行するために不可欠です。彼らが従うシオンの議定書では、世界制覇の目標は、大衆の考え方を制御し、彼らが見聞きするものを監視し、新たな対立を生み出したり、古い秩序を回復したりすることによって達成されると説明されています。飢餓、貧困、疫病を広め、若者を誘惑し、惑わすことによって。「これらすべての方法によって、我々は国々を弱体化させ、世界支配を我々に提案せざるを得なくさせるだろう」とイルミナティは宣言する。[議定書を読む](#) さらに何が起こるか見てみましょう。

今日、世界中でますます多くの人々が、歴史的に教えられ、社会化され、政治的に真実として信じ込まされてきたことは、単なる完全なでたらめであるという洞察力を持って、新たに出現した現実目覚めつつあります。

近年の傾向や世論調査は、世界観の意識の変化を実証しており、米国と欧州の両方で政府への不信感が高まっていること、そして世界の多くの国でその度合いが高まっていることを一貫して示している。今年 1 月の世論調査では、ほぼ 3 人に 2 人が自国の政府を信頼していないことがわかり、2014 年 4 月の別の世論調査では、4 人に 3 人が自国の政治家が腐敗していると考えていることがわかった。昨年 10 月、ピュー研究所は、5 人に 4 人以上が自国の政府をまったく、または少なくともほとんどの場合信頼していないことを突き止めた。これは、政府への不信感の測定としてはほぼ史上最高レベルである。

ヨーロッパ人は欧州連合からの脱退を望んでいる。

EU議会選挙は、

欧州連合は「次の米国」になることを目指している。

「ヨーロッパ」というスローガンの下、ヨーロッパ全土から猛烈な反EU有権者の反発が高まり、欧州連合を永久に排除するという具体的な議題を掲げて、左派と右派両方の過激派がブリュッセルに集まった。

有権者の怒りは、停滞するフランス経済、緊縮財政に警戒するギリシャ、デンマークの不満、そしてイギリスにまで及んだ。アイルランドのEU離脱を求める強い圧力が高まっている。経済不振の原因として非難されている強大なドイツが厳しい緊縮財政政策を課し、特に南ヨーロッパの多くの住民が最も大きな打撃を受けている。

石油資源の豊富なスコットランドは、英国からの独立を求める分離独立運動の先頭に立っています。スペインのカタルーニャは独立を

求めて投票しましたが、マドリード政府によって阻止されました。スペイン北部のバスク州も同様です。 - 多くのヨーロッパ人は、高い失業率と失敗した政策の原因は大政府にあるとして、大政府に対する軽蔑を表明しています。大政府は、地域のニーズを満たすには不十分であることが判明しています。米国とヨーロッパを超えて、世界中の市民が、政治家の唯一の優先事項が、自国民のニーズではなく、寡頭政治家の操り人形師のニーズに応えることであると認識し、自国の選出された役人に対してますます怒りを募らせています。

ロシア叩き：

オバマ米大統領のロシアに対する戦争は、ロシアがBRICS諸国とより緊密に協力して、米ドルは世界の準備通貨としての地位を確立しているが、ロシアの雇用者数は毎週急増し、ロシア国民の自国政府に対する信頼はますます高まっており、ロシアのプーチン大統領の支持率も上昇している。

オバマとヨーロッパの彼の手先は、適度な損害を与えることに成功するかもしれない

ロシアは経済的に打撃を受けるが、各国の国民はオバマ大統領はウクライナで同じことをした。少数の権力エリート内部者がウクライナの資産を奪い取っており、米国とEUのエリートとそのパートナーであるエクソン、シェブロン、シェルが最終的に最大の受益者となるだろう。

米国が設置したウクライナ政権は、親ロシア派の東部ドネツクへの公式「ニュース」メディアのアクセスを意図的に遮断し、リン爆弾による虐殺に関する報道をすべて遮断した。この焼夷弾爆撃について「ニュース」メディアが知らせてくれるのをまだ待っている人は、おそらく全員が死ぬまで、この犯罪の真実に目覚めることはないだろう。実際には誰も気にしていない。なぜなら、時間が長くなれ

ばなるほど「ニュース」の重要性は薄れ、その時には歴史になっているからだ。歴史書で犠牲者が同情的な人物として描かれるかどうかは、この戦争の歴史書を最終的にどちらの側が書くかにかかっている。

イルミナティは悪魔主義者だ。彼らは、ウクライナ南東部で殺害されたり、ロシア国内の難民キャンプに逃げ込んだりしている何十万人もの人々に涙を流したりはしない。彼らはすべて、西側が訓練し資金提供し、マインドコントロール下に置かれた人々によって意図的に処刑されている。指示された行動はすべて、議定書に記された秘密の計画に従って実行される。西側諸国の誰にとっても、ロシアに対して課せられた制裁は、ロシアとEUの双方の経済全体にとって壊滅的である。

なぜ彼らはロシアをターゲットにしているのでしょうか？

ウクライナ挑発は、ロシアを弱体化させ、プーチン大統領をできるだけ悪く描こうとする政治的に失敗した試みである。なぜ彼らはロシアを標的にしているのか？ ロシアは、ヨーロッパに液化天然ガスやその他のエネルギー供給を主導しており、連邦準備銀行の不換紙幣オイルドルの優位性に脅威を与えている。中国もまた、世界貿易の「脱ドル化」において、おそらくより大きな役割を果たしており、最終的には米国を第三世界の生活状態に深く押し込み、「ドル」の切り下げが始まったときに、準備ができていない国民に衝撃を与える不可逆的な変化を引き起こすだろう。

ドイツは不誠実であり、制裁にかかわらず 5,000 社以上の企業がロシアと広範囲に取引しており、エネルギー需要の 30% ~ 40% はロシアから来ています。ロシアは、外国人がロシアとビジネスを行う意欲を高める目的で、ドイツの弁護士を使ってロシアの国際法を改善しています。ドイツがプーチンを疎外し、自国の経済力を危険にさらすと考える人がいるのでしょうか。しかし、ドイツ [[メルケル](#)] は、戦争と銀行の自殺のモデルから脱却し、ユーラシア諸国との

さらなる成長と財政健全化を優先することに消極的です。不可解です。なぜでしょうか。

西側諸国が急速に衰退し、ほぼ破綻した西側諸国の金融システムを支え、ドイツのような国々をその傘下に留めている何兆ドルもの価値のないデリバティブに窒息しつつあるという事実は、エリート層が各国に対して、主にその国の銀行業の存続を脅かすという金融的脅迫によって、できる限りの支配力を行使しようとしていることの証左である。

逆に、ロシアはヨーロッパに「ガソリンは必要ですか？ xxxかかります」

価格。ルーブル、人民元、あるいは金での支払いも可能。「ドル」での支払いをご希望ですか？ 販売は行いません。西側諸国の金融銀行システムはエリート層によって締め上げられており、その締め付けから簡単に逃れられるものではありません。ウクライナが国家として破壊され、その結果多くの罪のない人々の命が奪われるのを喜んで受け入れる姿勢は、エリート層が率いる米国の戦争屋が、ロシアとプーチンを弱体化させ、悪者にするためにあらゆる手段を講じるという一例です。

オバマ大統領が事件直後にマレーシア航空MH17便の撃墜はプーチン大統領の仕業だと発言し、国営テレビでアメリカ軍将校らにロシアの責任だと繰り返して媚びへつらった事実は、すべて完全な虚偽であることが証明された。その後、アメリカが指揮するキエフ空軍が民間航空機を決定的に撃墜し、ロシアに責任を負わせる目的で偽旗テロ行為を行い、搭乗していた298人の罪のない人々を殺害したことが証明された。これがエリートたちのやり方であり、通貨支配の維持を追求する中で誰が何人殺されても気にしないのだ。

オバマは、連邦準備銀行の不換紙幣「ドル」を支え続けるために、新たな戦争を始めるためにあらゆる手を尽くしてきた。ロシアを攻撃することで、米国は戦争に駆り立てられた傀儡政府に過ぎず、危

険な愚か者であることが明らかになる。今、オバマは、爆撃され崩壊した国を乗っ取ろうとしているISISテロリストに対抗するため、イラクに爆弾を投下し始めている。

ISISテロリストとは誰なのか？シリアで戦うためにCIAによって武装・訓練された同じグループだ。よく訓練され、よく武装したこれらの過激派は、不換紙幣「ドル」を守るという隠された目的の結果、暴走し、その過程で世界中の人々は破滅することになる。

米国がロシアに課し続けている馬鹿げた制裁は、今やさらに裏目に出ている。プーチンは反撃し、EUからの食料輸入を禁止している。これはまさに、破産したEU諸国に必要なことであり、経済をさらに弱体化させることだ。EU諸国がオバマの操り人形になることは高くつく。まもなく現実と自己保存が表面化し、EU諸国はただ「ノー」と言うことを学ぶだろう。バルト三国、オーストリア、ハンガリー、フランスはすでに「ノー」と言っている。ブルガリアは、IMFがブルガリアの銀行にどれだけ早く圧力をかけられるか次第で、どちらにするか決めかねている。

ロスチャイルド家は国家の通貨供給をコントロールし、金を盗み、その価格を抑制している。

「お金の流れを追え」という格言を利用すれば、すべての道はロスチャイルド家と、国の通貨供給を支配し、すべてのルールを作るという彼らのやり方に通じる。国の通貨供給を支配していく過程で、各国の金の保有量は盗まれ、IMFからの利子付き融資として、米ドルと呼ばれる印刷された紙切れで補償される。

ロスチャイルド家はいかなる競争も受け入れない。世界最大のポンジー・スキームの第一段階は成功した。次は、中央銀行家による継続的な活動で、金と銀の価格の撤廃と最終的な抑制だった。米国は金をすべて使い果たし、連邦準備銀行の不換紙幣は世界の準備通貨

「オイルダラー」としての役割をほぼ終えたので、次の大賞はロシアになるはずだった。

ウラジミール・プーチンが「新世界秩序」を暴露。プーチンは全世界に何が起きているか明らかにしたが、もし状況をコントロールできていたなら、彼はそんなことは言わなかっただろう。[約 2.2 時間のこのビデオをご覧ください。](#) [ドキュメンタリー](#) すでに2, 10 0万人以上が視聴しており、新世界秩序の敗北が差し迫っていることが明らかになっています。

ロシア人は、第二次世界大戦後にペーパークリップ計画でナチスの科学者がアメリカに移送されたことなど、不快な真実を驚くほど詳細かつ明確に探求します。カバールを包囲し、打ち負かすために結成された国際同盟をこれほど徹底的に明らかにした主要テレビシリーズはかつてありませんでした。ニール・キナンが国連やその他のカバール組織に対して起こした数十億ドル規模の壮大な訴訟や、抵抗組織化の取り組みについて議論します。連邦準備制度理事会が世界の金を奪い、無限に供給できる「バブルマネー」を作り出すために、意図的に第一次世界大戦と第二次世界大戦を引き起こした方法を学びます。

NWO はマフィアよりもさらに危険で、核の脅迫で各国に多額の金銭を支払わせる。ノルウェーは断固たる態度を貫いたため、2011 年にブレイビク虐殺が起きた。2011 年 3 月 11 日の福島第一原発事故とそれに続く津波は、日本が 200 億ドルの身代金の支払いを拒否したため、海岸から 500 キロ離れた場所で原子爆弾によって発生した。2 番目の原子力発電所で同じことが繰り返されるという脅迫に対して、日本は金銭を支払った。

ほとんどの人は十分な情報を持っておらず、何を考えればよいのかわからない人も多いでしょう。

彼らはロシア人を恐れ、プーチンを恐れ、ほとんどすべてのものを恐れるよう何度も教えられてきました。恐怖は最悪のカウンセラーであることを忘れないでください。

こうした干渉は、過去数百年にわたって続いています。長い間、物事は順調に進み、帝国はどんどん大きくなりますが、その後、うまくいけなくなり、最終的にすべてが崩壊します。おそらく、社会、経済、そしてほとんどの国は、現在、曲線のピークに近い状態にあります。

この干渉を止める時が来ました。あなた方と私たちの自由の乗っ取りに反対する行動を待たないでください。私たち国民は、エリート同胞団であるイルミナティに対して99%の多数派であり、それが彼らの恐怖でありアキレス腱です。彼らは1%の少数派です。私たちは、私たちの未来、子供たち、そしてまだ生まれていない次世代のために、この戦いに勝たなければなりません。

本当のテロリストは誰ですか？

謝罪などありません。アジェンダ21は、ほとんどの人が理解できないほどの方法ですでに西洋世界に損害を与えており、このRKマフィアの陰謀団、つまり私たちの「真の敵」であるイルミナティがシステムから永久に排除され、私たちの国家安全保障を侵害し彼らに「裏切った」裏切り者たちが裁きを受けるまで、私たちの存在と繁栄に対する脅威であり続けるでしょう。彼らが自ら作り出した全人類に対する戦争の宣言と、自分たちの目的を達成するための過酷な手段、そして私たちの繁栄と自由を破壊し、純粹に自分たちの利益のために行うことについて考えてみてください。

私たち国民が権力を握っているなどと誤解しないでください。国民の1%にも満たないごくわずかな少数派が私たちの信頼を悪用したのです。人々は報道の自由があり政府を完全にコントロールできると思っているかもしれませんが、実際には、国際的な権力争いをコン

トロールしているのは、米国の資金援助を受けて独自のグラディオ軍を創設したフリーメーソンロッジP2によって規制されている少数の寡頭政治です。この軍隊はNATOに組み込まれていますが、NATOは透明性のある組織ではなく、秘密裏に運営され資金提供されている軍隊です（第7章）。政府はテロ攻撃が起こることを望んでおり、そうすれば自らの暗殺に充てる資金を国民にさらに求めることができます。恐怖は人々を望ましい方向に導き、自由を奪うために使われますが、その代わりに提供されることも提供できないさらなる安全が提供されます。テロ攻撃のほとんどはモサドとCIAの部隊によって実行され、NATOによって秘密裏に調整されていますが、すべてが極秘であるためNATO本部はコメントできません。[これらの事実についてさらに読む](#) ノースウッズ作戦では偽旗テロにより国内に敵を作り出し、人々に衝撃を与え、最大限の不安と恐怖を生み出す戦略をとった。

イスラム教徒の攻撃:

西側諸国政府とNATOは[イスラム教徒の攻撃を奨励している](#)。ヨーロッパとアメリカの支配下に恐怖と憎悪を煽り、イスラム諸国を爆撃する口実を作り、人道危機を煽り、ウクライナで明らかになったように、必要に応じて選挙で選ばれた政府を転覆させる。これらすべての活動は人々の自由を奪うために行われ、操作された主流メディアによって強化されている。人々がこれらすべてに気づけば、1パーセントの権力は一夜にして消え去るだろう。だから目を覚ませ。今、それが最優先事項だからだ。現在ヨーロッパで起こっているイスラム化を許してはならない。手遅れになる前に、そして凶暴な蛇に噛まれる前に行動しよう。

多文化主義:

[ヨーロッパ](#)は満員 多様で美しい文化を輸入する必要はない。女性を抑圧し、同性愛者を殺害し、シャリア法に従う文化を輸入する必要はない。後退的な左派が、自分たちのリベラルな価値観と完全に

反対の価値観を持つ文化を、単に支持者が白人ではないという理由で擁護するのは狂気の沙汰だ。不寛容な文化を輸入すること以上に不寛容を増大させるものはない。最終的に、EUは社会崩壊を伴う内戦へと向かい、陰謀団が望む混乱につながるだろう。[このインタビューを聞く](#) ジョン・ルビーノ氏が、私たちの目の前に爆発するであろう人口動態上の権利負債の危険性について詳しく説明します。

そして、[この興味深い暴露に従ってください](#) 著者 [ジェームズ・パーロフ](#) によるNWOと世界エリートの悪魔的計画に関する詳細な解説。彼の最新刊「真実は孤独な戦士：世界破壊の背後にある力の正体を暴く」ではさらに詳細に説明されており、脱[洗脳](#)への入り口となっている。

グラディオ攻撃はエリート権力を維持するために実行されません。

安心してください、これらの[グラディオスタイルの「テロリスト」はすべて](#) 攻撃は富裕層の権力維持を目的としている。我々の権威主義的な「指導者」は「イスラムのテロ」によって生み出された不安から利益を得ているが、イスラエルの政治エリートが最も利益を得ている。これらのテロリストは、人々を恐怖に陥れて人種差別、ファシズム、警察国家を受け入れさせるために、より一層努力しなければならない。 - グラディオは、ヨーロッパ、北アイルランド、イラク、そして今やシリアで地政学的混乱を引き起こしている。

「…（グラディオ）は1950年代にイギリスの援助で設立され、秘密機関によって運営され、米国によって部分的に資金提供された。

「（ハザールマフィアが支配する）CIA」 -

今日の地政学的混乱と、国内外で国家が用いている不安定化の方法を理解するには、[この Web サイト](#)。

『疑似ギャング』の目的は、罪のない民間人を殺害し、軍が信用を失墜させたい人々にその殺人の責任を負わせることだ」 - 「疑似ギャングは軍のために働いているが、テロリスト集団のふりをしている」

いくつかの事実を取り上げます。1990年8月、イタリアの首相ジュリオ・アンドレオッティは、冷戦期を通じてイタリアにグラディオと呼ばれる秘密軍が存在していたことを認めた後、暗殺されました。彼の暴露は衝撃的でした。それは単に長い間否定されてきたことを認めたからというだけでなく、北大西洋条約機構（NATO）諸国全体に秘密の「残留」軍のネットワークが構築されていたと主張したからです。つまり、これはイタリアだけに関する問題ではありませんでした。

1990年、スイス：スイス秘密軍P26の元司令官、アルボス大佐が、ネットワークに関する「真実のすべて」を明らかにする用意があると示唆した後、自らの銃剣で刺されて死亡しているのが発見された。

イスラエルは、パレスチナから奪われた土地の上に作られた国である。

テロ攻撃の被害に遭う人々の中で、圧倒的に最も苦しんでいるのはイスラム教を信仰する人々です。 - イスラエルは、パレスチナから奪った土地に建国され、イスラム諸国に囲まれた国であり、その存在を正当化するために「イスラムテロ」の脅威が続くことを必要としています。この狂気の計画をこれまで推し進め、「西側」にパレスチナ人に対するイスラエルの態度を採用するよう促すことで、ナチスドイツの出来事が、今度はイスラム教徒がユダヤ人の立場に立つという状況が作り出されているようです。

アダマス犯罪グループ：

関与しているもう一つの犯罪グループは、ドイツのナチスパーパークリップとしても知られる[アダマスグループ](#)で、民間所有の米国連邦準備銀行と直接結びついており、「次世代」テクノロジーでプログラムされたソフトウェアを使用して世界中の金融市場を大規模に操作し、世界中の悪徳銀行が世界中のすべての金融取引で5~7秒のリードタイムを持つことを可能にしています。これは、米国のハザールマフィアに代わってNSA（国家安全保障局）と協力して世界中のデータベースを管理する世界的な情報収集ネットワークであり、彼らの諜報調査結果を犯罪銀行の巨人と共有し、人々の貯蓄預金全体を危険にさらしています。

彼らはウェブサイトをハッキングし、電子メールを監視し、国民の電話を違法に盗聴し、事実上、西側諸国をファシスト国家に変え、金融ギャング銀行によって支配され、メディア、金融ネットワークニュースのほとんど、官僚機構、政治傀儡も支配している。

ブリュッセル空港攻撃:

さらに悪質なことに、ブリュッセル空港はイスラエルのモサドテロリスト本部の管轄となっている。 - 欧州インターポールはフランス国防省と連携し、ハンブルクに本部を置く主要な欧州ISISテロ組織の活動を幫助したベルギーとドイツの現役治安・入国管理当局職員が即時逮捕状35件を発行した。

元イスラエル諜報員がブリュッセル空港の警備を担当している。同社は航空・総合警備サービス会社ICTS傘下であり、最近の爆弾テロの現場となった[ブリュッセル空港のすべての警備業務を扱っている](#)。ICTSは1982年にイスラエルの国内治安機関シンベットとエルアル航空の警備員の元メンバーによって設立され、オランダ、ドイツ、スペイン、イタリア、ポルトガル、日本、ロシアなど、世界中の空港警備で大きな存在感を示している。ICTSはイスラエルで採用されている警備システムを採用しており、年齢、名前、出身地、尋問中

の行動など、いくつかの指標に基づいて乗客のプロファイリングを行い、潜在的な脅威の度合いを評価する。

彼らは確実に人を殺す。容赦はない。自分たちの仲間に対してさえも。悪の帝国はすでに陰険な例をいくつも生み出している。そして世界が畏怖の念を抱きながら見守る中、悪は絶えず進化し、広がっていく。特定の目的のために人を殺すことにためらいはない。資源、人々、そして金、金、金を世界的に支配することが目的なのだ。その結果、テロ攻撃のほとんど、あるいはすべてがモサドとCIAによるものだ。[続きを読む](#) 多数の攻撃について。

自由の没収：

恐怖こそがゲームの名称だ。 盲目で恐怖にとらわれた人々は、完全なショックを受け、私たちが自由と呼ばれる市民権を彼らに与えれば、一般的には政府が私たちの面倒を見ているという名目で警察の保護を強化することを意味する政策を受け入れるだろう。軍の夜間外出禁止令は解決策として導入される。しかし、次にどこで、どんな恐怖が起こるのだろうか？ドイツ - 十分な緊張を煽るために、[ベルリン](#)、ミュンヘン、フランクフルト、あるいはあまり知られていない場所へ出向きます。

幸いなことに、ウラジミール・プーチン大統領とロシアがいます。ロシア国民は、自国の国境を守るだけでなく、平和のために介入し、人類を救うために何度も犠牲を払ってきました。シリアがその例です。70年前、ソ連軍はヒトラーを粉砕し、大陸における第二次世界大戦を終わらせました。

目を覚ましてください。

目覚めるためには、もう一つの流血事件が必要だろうか。それとも、真実が個人の良心に届き、結末が強まるという希望があるのだろうか。 警察官や軍の兵士たちが、自分たちがこのつかみどころのないエリート集団、自称人類の精鋭、宇宙の首謀者であるこの集団に

利用されてきたことに気づき始めるような形で。私たちの軍人は、利用され、虐待され、操作され、単なる砲弾の餌食として、あるいはせいぜいエリートたちの法外な富と権力を守るための奴隷として使われてきたのだ。今では、本当のテロリストはあなた方の政府にいるハザール人の傀儡であることが明らかになっているに違いない。目を覚まして、この情報を知り合い全員に伝え、全員の目を見開かせなさい。

RKM エリートが財政的に危険にさらされていない理由:

とつながりのある弁護士によって設立された、今日まで知られていないパナマの法律事務所が、明らかにハザールのメンバーではない世界の最も著名なエリートの一部のオフショアとのつながりを暴露した。この1100万件を超える文書の前例のない漏洩により、世界で最も裕福な人々、および12人の現職および元世界の指導者、128人以上の政治家の隠された金融取引と駆け引きが明らかになった。

そして世界中の公務員について。しかし、ブッシュやクリントンが所有する秘密の麻薬カルテルや、メルケル、オランダ、ラホイといったEUの首脳については何も語られていない。そして、詐欺師ヒラリー・クリントンについても何も語られていない。 彼女は違法な裏金を使っています。彼女は別の法律事務所を利用しているのでしょうか？それとも、陰謀団の所有者と操り人形師は、バチカン、ヨーロッパの王族、ジョージ・ソロス、ロスチャイルド、カーネギー、ロックフェラーなどの私人一族などの影響力のある世界大国と関係があり、バチカン銀行に資金を隠しているのでしょうか？ おそらく、陰謀団の資金はバチカン銀行を通じて一般的に洗浄されているからです。

詳細はこちら。 ここで疑問になるのは、なぜプーチンやアサドのような反西側の指導者が主に暴露され、他の指導者は暴露されなかったのかということだ。 このビデオ 良い分析が行われ、半分真実であることは 完全な嘘よりも悪い！

ハーグ国際法事務所宛に提出:

国民国家は、IMF、世界銀行、中央銀行、BIS、国連、連邦準備制度理事会、その他すべての組織との国家関係を否認する通知を发出する。また、米国法人および其他国家法人に関連するすべての主張される負担および請求を否認する。これらは、国民の意志に従って創設、認可、または承認されたものではない。 アメリカ合衆国およびその他の国々の。

NATOの秘密軍 - グラジオ作戦:

これはスイスの作家との素晴らしいインタビューです 治安機関のテロ活動を記録したダニエレ・ガンザーは、グラディオは著書「NATOの秘密軍隊: グラディオ作戦と「西ヨーロッパにおけるテロリズム」

彼の興味深い本は、第二次世界大戦後、CIAと英国の秘密諜報機関がNATO軍事同盟および欧州の軍事秘密機関と協力して、西ヨーロッパに秘密の反共産主義軍のネットワークを構築した様子を明らかにしている。

パリだけでなく、物議を醸している違法な組織からの謎の情報源で展開されているものと同じであるように思われる。バタ克蘭虐殺の写真 イスラエルの過激派の関与が確認されており、ブリュッセルやシリアでもアルカイダ反乱軍、ISISなどの形態をとっている。聞く:

我々は高給取りの追従者たちを打ち負かさだろう。

欧州連合全体は、高給取りの追従者たちによって運営されている。彼らは、そうでなければ正規の職に就く資格も、他のいかなる役職にも選ばれる資格もない。彼らに与えられた役職は、主権国家のためではなく、グローバリストのために働くためである。彼らは、一

攫千金を狙って公務に就く手先のような人々であり、金銭に動機づけられ、高値で入札する相手に誠実さを売り渡す傾向がある。

世界はキッシンジャー、ブッシュ、クリントン、ソロスのような人々と対峙しなければなりません。彼らはNWOの非常に目立つ支持者です。特にソロスは、非営利の「オープン・ソサエティ財団」を利用して、不正に得た富を世界中の社会を混乱させるために設立された多くの組織に補助金として使っています。資金の流れを追うと、ソロスは資金の主要な供給源の1つであり、世界中で分裂分子を形成するグループを標的にして資金を提供し、気を散らしたり分極化させたりしていることがわかります。キッシンジャーは、その政治力を利用して、同様に危険で分裂的な方法でNWOの計画を推進しています。

ソロスは、ヨーロッパに押し寄せる多くのイスラム移民の移住を可能にし、ヨーロッパの人々に多大な問題を引き起こした主要な資金源の1つであると考えられています。さらにうんざりするのは、多くのヨーロッパ諸国の首脳、特にRKMの首脳陣が [ドイツのアンゲラ・メルケル首相は](#)、国外に追われたイスラム教徒、つまり二極化した西洋文化に溶け込むことに興味のないイスラム教徒を受け入れるよう各国に強いる推進役である。最近実行された、おぞましくも悲惨な偽旗テロ攻撃には、フランスのパリ、ニース、[ルーアン](#)、ドイツのベルリン、ヴェルツブルク、ミュンヘン、アンスバッハ、ロイトリンゲンでの攻撃などがあり、1週間以内に4件の攻撃があった。攻撃者全員は警察に即死させられ、その後の訴追手続きで真実が明らかになるのを防いだ。これらの攻撃はすべて政府が統制しており、より多くの恐怖を煽り、人々の自由をさらに奪うためである。人々は、自分たちの政府が関与しており、その結果として自分たちの最大の敵であることを理解しなければならぬ。これが明白で単純な真実である。これが広く理解されない限り、これらの恐ろしい攻撃は続くだろうし、その頻度も毎回高くなるだろう。罪のない人々の無意味な殺害を止めるための答えは、国民の目覚めにあります。

RKM エリートたちは人類の存在の構造を破壊している。

フランスのオランド、そして今やマクロンは、犯罪エリートたちの腹立たしい例だ。フランスは、世界中で起こっているすべての間違いの非常に悲しい指標となっている。すべての行動は、独立した人間の存在の構造そのものを破壊しているNWO（**問題、反応、解決の**テンプレート）を推進するためのものだ。世界の全人口の0.1%を占めるRKMエリートたちは、金銭の支配権を維持し、世界の人口を90%削減したいと考えている。彼らはすでに、狂気の戦争、ケムトレイル、強制ワクチン接種、有毒な医薬品、遺伝子組み換え食品を通じて、人々の免疫システムを破壊している。人々を従順にし、新世界秩序に依存させることを目的として、有害で有毒な化学処理された作物が販売されている。

金融システムにおける金と銀の不在によってもたらされた恐ろしい変化：

世界の通貨の金融システムにおける金と銀の不在こそが、特に過去100年間に世界で起こったすべての恐ろしい変化を引き起こしたのです。エリート層が最初に行った行為の1つは、**金と銀をすべて盗み、支配することでした**。そのため、地球上には金と銀のいずれかに裏付けられた通貨は1つ也没有せん。

金と銀は、信じられている、あるいは理解されている以上に重要です。それらは単なる富の保存手段以上のものです。それらは、おそらく生命の保存手段でもあります。なぜなら、それらなしでは、グローバルリストと彼らのキャッシュレス社会への推進から身を守る手段がないからです。金と銀がなければ、他に何が残りますか？紙の資産ですか？一時的または認識された「価値」以外の紙の資産の本質的な価値は何ですか？

価値観：

認識が変われば、それに対応する「価値観」も大きく低下するか、あるいはさらに悪いことに、完全に消えてしまうかもしれない。米国を支配しているハザール人は、ヨーロッパを破壊し、南米を不安定にし、すでに完全に荒廃している中東の人々の生活を破滅させるために全力を尽くしている。

全スペクトル支配による新世界秩序：

人々が一斉に目覚めなければ、新世界秩序の悲劇は決して終わらず、テロと戦争が常態化するだろう。この邪悪な RKM エリート集団の最終目的は、世界のエネルギー、人々、金融に対する「フルスペクトラム支配」である。この計画は新しいものではない。70年代に、悪名高いビルダーバーグ協会の首領ヘンリー・キッシンジャーが次のように繰り返し述べた。

「エネルギーを制する者は大陸全体を制し、食料を制する者は人々を制し、金銭を制する者は世界全体を制することができる」

我々はまもなく後戻りできない破滅的な地点に到達するだろうが、**まだそれを止めることはできる**。まだ遅くはない。最も直接的な方法の1つは、欧州連合とユーロを解体し、NATOをヨーロッパから排除することだ。BREXITは我々に希望を与えてくれる。それはすでに他の国々にブリュッセルのこの残忍な封建制から抜け出すよう促している（第43章）。これら3つの暴君的な捏造物、EU、ユーロ、NATO（CH

37）ヨーロッパ人を抑圧するという発想は、そもそもヨーロッパ人の考えだった。これらは常に将来の全領域支配のために実行された概念だった。計画は第二次世界大戦中または直後に現れ、



アメリカ合衆国の背後には、マキャベリズム的で秘密主義的、目に見えない RKM エリートたちがおり、彼らは邪悪な計画を実行してきました。そして今日まで実行し続けています。要するに、暴君たちは洗脳された家臣たちに人々を抑圧するよう指示しているのです。

認識することが第一歩です。西洋社会が実際には民主主義であると信じている人がまだ多すぎます。認識するだけで、**意識の世界的な変化が生まれ**、西洋の政治プロセスに対する大衆の見方も変わります。伝えられていることと一致しない事実が、今後も明らかになっていくでしょう。

国民がBrexitに投票したのは不思議ではない。これは、ポピュリストの不满、政治的失策、そしてEUのような「子守国家」政府が何十年も推し進めてきた介入主義の否定という有害な組み合わせの最近の例にすぎない。

政治化された中央銀行家たち:

主流派の政治家、政治に関心を持つ中央銀行家、規制当局、知識層の重要性が失われたことで、事実と理性を犠牲にして嘘、外国人嫌悪、非合理性の事後的風潮が生まれ、新しいタイプの政治家が力を得たのも不思議ではない。

彼らの批判は往々にして自己中心的であり、「沈黙する多数派」がようやく声を上げたという合理化でもある。最後に、長年「ニセ薬」政治家、二枚舌の経済学者、応援するメディア関係者の話を聞き続けてきた私たちが、30秒の短いサウンドバイト、希望に満ちた、あるいは明るい陳腐な言葉、学者肌の中央銀行家、主流の機関にうんざりして、国民の尊敬を失っているのも不思議ではない。

緊縮財政という厳しい薬を受け入れたにもかかわらず、繁栄したのは「大きすぎて潰せない」銀行のようなほんの一握りの銀行だけだった。これらの銀行は吐き気がするほどさらに大きくなり、ウォー

ル街に史上最大のフリーライドの楽しみを提供している一方で、7兆ドルが費やされた後も、メインストリートの経済成長は依然として低迷している。

Brexitサプライズの余波：

その結果、優先事項や政策は大きく異なっているように見えるが、この不一致が長引けば長引くほど、その後の救済策に対する市場の信頼性は低下し、権利剥奪感は深まり、「変化」の約束に対する信頼も失われることになる。

ブレグジットの驚きの余波で、政治的混乱と感染の懸念の中で混乱が続いている。長期的には、懸念が正当であることに疑いの余地はないが、驚くべきことに、誰もプランBを持っていない。

こうした泥沼から、ドナルド・トランプ、フランスのマリー・ル・ペン、イタリアのベッペ・グリッロ、英国のコービンといった「アウトサイダー」政治家たちが有権者の幻滅を利用することができたのも不思議ではない。分極化は良い政治を生み、穏健派を脇に追いやるようだ。政治家たちは分極化の政治に加担し、意図的に**分断統治戦略に加担している**。

確かに、今後さらに多くの国民投票が予定されている。イタリアのマッテオ・レンツィ首相は憲法改正の是非を問う国民投票を求めたが、ベッペ・グリッロ首相に敗れ、市場は動揺。同国第3位の銀行モンテ・デイ・パキの株価は過去最安値を記録し、ECBは同銀行の不良債権リスクを警告している。

フランスの選挙は、有権者の意思に反して、ロスチャイルドのアウトサイダーであるマクロンを政権に就かせるために不正操作された。そしてドイツの選挙は不正操作が不十分で、メルケル首相は選択できない連立政権を組むことになった。最悪の場合、ブレグジットとEUは数年間の経済的不確実性、長期化する交渉、難民の流入、そしてEUの存在そのものをめぐる議論に直面することになる。汚い秘

密は、変化が訪れているのに市場が準備ができていないということだ。

プランB:

金と銀は、あらゆる状況で備えておくの良いものです。プラン B として。負債の山とゼロ金利により、金融政策は何も達成できていません。おそらくそれが目的だったのでしょうか？ 世界は 10 年以上にわたって経済の好況と不況を経験しており、そのたびに負債が膨らみ、さらなる救済措置が必要になっています。

もし私たち国民が目を覚ましてイギリス人がしたことをやらなければ、私たちは世界刑務所に留まることになるでしょう（第37章）。

袖をまくり上げて世界史の流れを変え、世界を支配する邪悪な力から人類を解放することで貢献を始めましょう。[このビデオをご覧ください](#) ただけるように、私たち国民は自分たちが思っているよりもはるかに強く、この若いカップルが示しているように、私たちは勝つことができますし、勝つでしょう。

銀行の支配から逃れる：

国連、NATO、BIS、FRB、ECB、世界銀行などのすべての世界機関は、

IMF は別名「悲惨と飢餓を押し付ける」とも呼ばれ、世界最大の銀行グループであるロスチャイルド RKM グループが所有しており、世界のほぼすべての中央銀行に手を出しています。つまり、崩壊しつつある経済の不幸を利用して高利で金を儲けるだけでなく、文字通り政府と権力者を所有しており、地球上のあらゆるものに広範な影響力を持っています。

したがって、銀行の支配から逃れることは象徴的なことだ。アイスランドは、2008年の銀行部門の崩壊後に予定より早く4億ドルの融

資を返済し、2014年にハンガリーに続き、[ロシアは](#)、もちろん西側諸国の操り人形に屈することを拒否し、2005年に自らを解放した。

これら3カ国が財政的に自立したことは、1930年代にドイツが国際基金に立ち向かって以来、ヨーロッパ諸国が初めてである。ギリシヤは現在、不安を抱えながら[脱退しようとしている](#)。EU。

ダムが割れ始めたら、行動を起こすべき時でしょうか。

代替インターネットメディアを通じて点と点をつなげることには、内部の人々に彼らについてどれだけのことが知られているかを示すという強力な副作用があり、さらに、他の人が知っていて解明した情報と継続的につながり、邪悪な現実の非常に詳細なパターンと絵を作り出しています。区画化の壁は着実に引き倒されており、それがRKマフィアが今パニックに陥っている理由です。恐怖に駆られた内部関係者は団結を崩しており、世界がとっている方向とその程度を考えると、沈黙を守ることは選択肢ではないと気付くと、さらに多くの内部関係者が団結を崩すでしょう。

人々は世界が変化しているのを目の当たりにし、何が起きているのか、そしてなぜ起きているのか理解したいと考えています。情報を得て、備えたいと考えています。常に嘘をつき、欺き、経済を[ひどい混乱に陥れてきた個人や機関に指図されるのではなく、知識に基づいた選択をする自由を望んでいます](#)。



目覚めが爆発的に広がっています。目覚めるには代償が伴います。暗い穴に落ちていく最初のうちは難しいかもしれません。目と心を開くよう呼びかけて他の人を説得するのはさらに困難です。簡単に避けられたはずの不正に直面する中、時間との戦いになっています。

目覚めていない人々が、実際に何が起きているのか見当もつかず、あちこちに振り回されているのを見るのは非常に悲しいことです。これらはすべて、RKM によって計画された「計画的な」混乱です。しかし、それは私たち一人一人が正気を取り戻し、この偽りの現実を乗り越えるのに役立つはずです。何百万もの人々が、何が起きているのか理解しようと代替ニュース ソースに群がり、これまで考えたことも想像したこともなかった現実遭遇しています。

真実がすべて明らかになったなら、目覚めた者たちはそれを熱心に共有する責任がある。

それは必ずしも楽しいことではありませんが、すべての人々の利益のために必要な義務です。

時間は遅く、私たちが生きている時間枠は厳しいものです。必要に迫られて、**最大限の認識と迅速な行動**が求められています。他に選択肢はありません。

意識的に気づいた者は、状況に応じて行動しなければなりません。**文字通り、私たちが彼らか、生か死か、真実か嘘か、自由か奴隷か** (第 40 章) であり、それは私たちの愛する人のためだけでなく、私たちの子孫のため、そして全人類のためです。

真実には代償が伴う。

真実は代償を伴います。それは、人々がこれまで人生を通じて築いてきた嘘と幻想の終焉を告げるものです。そして、それは現在も進行中のプロセスです。

人類全体にわたって、今、多くの人が途方に暮れ、恐れを感じています。この意図的な混乱の創造は、まさにそのためのものです。しかし、彼らの精神異常な計画と並行して同時に、意識の高まりと、個人の認識とエンパワーメントの深まりの感覚によって刺激された、人間の精神の大規模な覚醒があります。

ほとんどの人は、これらの上昇する、一見混乱を招くエネルギーの変化が、創造的なプロセスであるとは認識していないかもしれませんが、それは事実です。覚醒はまず第一に破壊的なプロセスであり、非現実的で個人の発展と進歩を妨げるものをすべて排除します。これら 2 つのダイナミクスは同時に機能します。

隠れた RK マフィアは、著名で非常に裕福な個人、政治家、大企業を通じて、カーテンの裏から西洋社会を操っています (第 15 章)。独占は違法と宣言されているため、私たちは民主主義国家であると考えられていますが、エリートが密かに自分たちの思い通りに物事を運営するのを止めることはできません。この目に見えない階層は、政府、諜報機関、法執行機関、軍隊という形で認識されている階層にはまったく責任がなく、自分自身に対してのみ責任を負います。何と呼ばれようと、これらの操り人形はすべて、何度も説明されているように、意図的にあまりにも多くの権力を持っている RKM のマインド コントロールされた奴隷です。-[このビデオを見る](#) EU 内の民主主義をより深く理解するため。

ディープステートは、インターネットの代替メディアやロコミによって、日々明らかになりつつあるようだ。このグローバリストNWO オカルト集団が過去100年間に蓄積してきた極度の権力と覇権のおかげで、ほとんどの中央銀行、TBTF銀行、政府など、すべての重要な機関を乗っ取ることで、彼らは[嘘の帝国を作り上げてきた](#)。そして、ハウス・オブ・カード経済。真実が明らかになり、彼らの嘘が暴露され、社会を運営しているのは誰か、そして彼らが**権力を獲得し維持するために反人間的な「犯罪マトリックス」をどのように利用しているかを大衆が理解し始めるにつれて**、そのあからさまな嘘が暴露されることによる突然の崩壊に対するその大きな脆弱性がますます明らかになりつつあります。

偽旗作戦:

歴史は彼らの偽旗作戦で満ち溢れており、そのいくつかはすでに政府によって認められており、[リストはここにあります](#)。他のものは、その間に知られた事実であり、例えば、1912年の処女航海でのタイタニック号の沈没、1915年の豪華客船ルシタニア号の沈没、1941年の真珠湾攻撃は、初期の偽旗作戦の一部です。より最近では、私たちは9/11のツインタワーの崩壊に耐えました。

2001年のニューヨークでの事件。RKMの代理として、この事件はCNNとBBCのメディアで広く報道され、意図的に恐怖を煽った。しかし、9/11の嘘は彼ら自身によってうっかり暴露された。例えば、ジョージ・ブッシュが手に持った本を逆さまにして学校の子供たちに読み聞かせたり、タワー7がBBCのテレビ中継より20分遅れて倒壊したことなどである。[2014年の](#)パリ攻撃については、当時のマーク・ルッテ首相は事前に知っていたに違いないが、米国は衛星映像の提出を断固として拒否した。2015年11月13日のパリ攻撃については、オランダ大統領は近くのスタジアムでサッカーの試合を何気なく観戦していた際に事前に知っていたに違いない。

大統領が就任宣誓をする際に最初にするのは、国の憲法を維持し、保護し、擁護することを宣誓することです。 - これら 3 人の大統領は、**人類を「維持し、保護し、擁護する」という目的のためだけに高官に就任しましたが**、実際には、彼らがいかに恥ずべき、衝撃的な非人道的行為を行ったかを示しました。彼らは大逆罪を犯しました。これらの事実は人々の目を開き、政府に対する考えを変えるべきです。

幸いなことに、偽旗作戦、銃乱射事件、戦争の鼓動、メディアの完全な捏造、そして精神異常者のリーダーたちの嘘だらけの「恐怖をあおる」行為に、多くの人がうんざりし始めています。（第36章）メディア詐欺に気づき、うんざりしたら、それは覚醒のプロセスが始まったという確証です。次のステップは、もう十分すぎるほどに、MSMを完全にやめることです。識別力を使い、常識的な熱意を持ってニュースを観察すれば、独立した代替ニュースソースに従う方

が信頼できます。魂を養い、心を鼓舞し、協力的な仲間と連携する、力強い情報源を活用しましょう。

人々は、自分たちが本当は何者であるかに気づき、発見し、*RKM*の除去を支援する能力があることに気づく必要があります。人々は、自分の本来の力と調和し、それを理解し、受け入れなければなりません。

真実を活性化し、広め、真実を見ることができると人々とのコミュニティと絆を築きます。目覚めた人々が必要とするのは、サポートと強さ、そして本物の自分になり、目覚め、力を与えられた魂の完全な姿に成長するための動機となる環境です。

多くの人々が愚かな羊であり、

「対テロ戦争」とは、実際にはテロと恐怖を生み出すために彼ら自身の政府が始めた戦争である。彼らがまた理解していないのは、同じ戦術が国内で使われることもあれば、*RKM*が支配するワシントンの一方的な覇権を牽制するロシアと中国のイスラム地域に輸出されて、これらの国々を不安定化させることもできるということだ。

どうやら、米国は意図的に、**生命の終焉を意味する政策を推進しているようだ**。しかし、西側諸国の傀儡政府の大多数はそれを支持する義務があり、一方、無知な庶民は至福の無知の中で生き続けている。

しかし、プーチンは理解している。ロシアは屈服しないだろう。中国はまもなく、米国の中国の労働力と輸入への依存がワシントンの侵略からの保護ではないことを理解するだろう。中国がMITとハーバードの誤った教育を受けた新自由主義経済学者の先にある未来に目を向けると、ワシントンは深刻な問題に直面することになるだろう。

ワシントンはどうするだろうか。2つの強力な核戦力に直面して、狂ったネオコンは後退するだろうか。それとも、彼らのイデオロギーに対する精神異常的な自信が最終戦争をもたらすのだろうか。これらは本当の疑問だ。 - 米国政府は、インターネット上に挑発的な投稿をすることで、そのような疑問や、そのような疑問の投稿者を嘲笑している。

ロシアはアメリカの傲慢さにうんざりしている。ロシア国民は、西側諸国が減多にしないようなリーダーをいつものように昇格させている。西側諸国はリーダーシップではなく、技術によって勝利してきた。しかし、ウラジミール・プーチンはロシアが選んだリーダーであり、まさにリーダーである。ロシアには、多様化した西側諸国にはもはや存在しない技術と自意識もある。

マトリックスに閉じ込められた:

西側諸国にはプーチンのような人物はいない。西側諸国では、ウォール街の銀行家、軍産複合体、イスラエル・ロビー、農業関連企業、大手製薬会社、大手石油エネルギー産業などの私的利益団体に報告する、買収された操り人形集団が君臨している。(第7章)

プーチン大統領は、RKM が所有する国連創設 70 周年記念式典で、中国の国家主席の支援を受け、世界の半分はもはやアメリカの単独行動を受け入れていないと発表した。(第 14 章) さらに、プーチン大統領は、ワシントンの覇権追求の結果生じた世界情勢をロシアはもはや容認できないと述べた。2 日後、プーチン大統領はシリアでの ISIS との戦いを引き継いだ。(第 11 章)

アメリカ人とヨーロッパ人はあまりにも無関心で無関心だ。彼らはマトリックスの中にしっかりと閉じ込められており、無力な生き物たちは現実を理解せずに生きることに満足している。

自国の政府の政策に何の意見も出せない西側の一般大衆に意思を伝えようとするのは無意味だと悟ったプーチン大統領は、今度はワシントンに直接メッセージを送っています。

プーチン大統領のメッセージは、シリアにおける対ISIS作戦におけるロシアに対する米国/NATOのいかなる作戦にも反対する命令の中に明確に表れている。

「ロシア軍集団や地上インフラを脅かすいかなる標的も直ちに破壊されなければならない。」

米国とNATOは、7カ国を破壊し、何百万ものイスラム教徒を殺害、負傷させ、避難させ、ジョージ・ソロスが資金提供した何百万もの難民を戦争からヨーロッパに送り込んだ、血に飢えた戦争犯罪者（第16章）と同じだ。これらの戦争犯罪者の誰もテロ攻撃の脅威にさらされていなかった。もし「イスラム教徒の脅威」が本当なら、パリのカフェに座っていたりコンサートに行っていたりする罪のない人々ではなく、戦争犯罪者全員が今頃は死んでいるはずだ。

エリートとは、ジョージ・ソロス率いる我々の傀儡政権が、シリアからだけではなく現在起こっている大量の難民流入を計画した人物である。これは支配エリートが問題を作り出し、国民の反応がどうなるかを事前に知っている、よく知られたプロセスである。戦争、混乱、人種差別、経済問題、国家の不安定化が多ければ多いほど、人類全体が世界政府を受け入れる地点に急速に近づき、鉄拳で我々の自由を永遠に破壊することになる。

RKM の詐欺師たちは、共感力のない非人道的な連中であり、彼らのアジェンダ 21 を推進するために意図的に「テロとの戦い」を作り出し、最終的にはロスチャイルド王によるエルサレムからの統治による世界独裁制をもたらすのです。

嘘と欺瞞は、世界を絶滅に追い込むための彼らの手段です。地球上の生命を絶滅させるには、たった 1 つのミスと 30 分しかかかり

ません。ほんのわずかな可能性でも、リスクが大きすぎます。地球上のすべての生命が絶滅することになります。世界は 30 分で終わる可能性があります。核戦争に勝つことはできません。敗者しか残りません。私たちのリーダーは信頼できないと確信してください。彼らは過去何年もの間、意図的に国民を欺いてきたことが証明されており、人々が目を覚まさなければ状況はさらに悪化します。

ハザールマフィアを制圧する唯一の方法は、西側諸国の人口の50%が目覚めて団結することです。過去にエリートたちは、国民の認識不足による支援が少なすぎたため、ジョン・F・ケネディ大統領を殺害することができました。ケネディ大統領は勇敢に彼らを根絶するという確固たる命令に従い、私たち国民と地球を彼らの破滅から救おうとしました。それ以来、善意と影響力を持った多くの英雄が同じ理由で命を落としました。

目覚めは今しかない。

真実が明らかになるにつれ、主流派は目覚めつつある。

大衆がいかに簡単に操作されるかという真実は、反体制派候補のドナルド・トランプがアメリカ大統領に選出されたことで覆された。ディープステートは選挙結果を国民の意志に委ねることを望まなかったが、常識的に考えて大きな誤算を犯した。

大多数の人々は、主流メディア、ウォール街、大企業の助けを借りれば、民主主義という幻想の中で自分たちの全体主義体制が存続できると確信していました。しかし、彼らの予想に反して、トランプは圧倒的な差で勝利しました。添付のグラフをご覧ください。キラリーが勝利に導くには大きすぎます。

真実を暴くインターネットの努力のおかげで、アメリカ人の半数以上が目覚めた。トランプ氏のたゆまぬ努力、ジュリアン・アサンジ氏の恐れを知らない電子メールによる宣伝、スノードン氏のスパイ暴露、その他多くの貢献者が、主流メディアの歴史的に露骨な虚偽の宣伝を打ち消した。多くの人々の目が開かれ、公に提供された情報のほとんどが捏造され、操作されており、完全に虚偽であることがわかった。一般の人々は、嘘、反逆、腐敗などを発見し、すべてのテロ攻撃は、自国の政府が起こした偽旗作戦であり、大衆の感情を操作して恐怖を煽り、新世界秩序アジェンダ2030（第14章）を推進する唯一の目的であることに気づいている。



支配層が数千人の罪のない市民を汚い爆弾や化学兵器で殺害したり、計画された核テロ事件を起こしたりしなければならないとしても、彼らはそれで構わないと思っている。権力の座に居続けるためには、どんなに破壊的で残酷なことでも、何でも正当化されるのだ。目的は手段を正当化する！ - 「宇宙の本質は、目的が手段を正当化することは決してできないというものだ。」それどころか、手段が常に目的を決定するのだ！

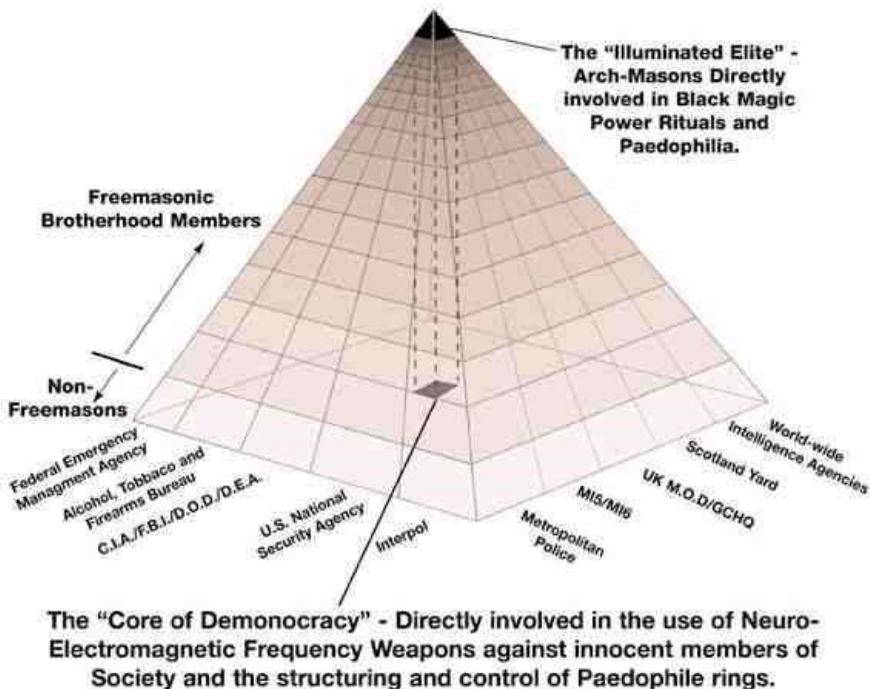
恐怖は、人々に服従を強いるために彼らを選んだ武器です。彼らは暴力、戦争、テロなどを仕掛けて、すべての人の心をコントロールしようとします。

トランプ氏がホワイトハウスに就任し、パーティーはまだ始まったばかりだが、これまで以上に警戒を強めなければならない。トランプ氏のあらゆる行動が世界に影響を及ぼすからだ。

ディープステートの権力構造:

The Freemasonic Brotherhood/Intelligence Agencies Compartmentalised Power Structure

The Freemasonic secret-society network is intrinsically interwoven into all levels of society's structure — banking, business, police, military, politics, legal system, education, mass media, religion, medical and pharmaceutical industry, illegal drug running and distribution, organised crime and last but not least, the major "think tanks" and manipulators of the masses — the intelligence agencies



ディープステートの権力の主な源泉は、お金の創造と分配のプロセスをコントロールしていること、つまり世界の中央銀行のほとんどを所有していることです。彼らはこの金銭力を利用して、権力のトップレベルの人々に賄賂を贈ったり、脅迫したり、暗殺したりして、支配を強化してきました。彼らはまた、企業メディアをコントロ

ールし、必要に応じて社会や市場を操作するために、あらゆるプロパガンダツールを使ってきました。

トランプ大統領は、ブッシュ・ジュニア大統領によって組織的に破壊された国家経済を再建するという、途方もなく困難な課題を担うことになる。

そしてオバマ政権。

米ドルに対する世界的な拒絶は、近いうちに脆弱性となるだろう。

通貨の変更:

通貨制度の抜本的な改革が予想されます。困難な時代が待ち受けているかもしれません。解決すべき問題はたくさんあります。通貨制度は不正に操作されており、現在の形態のまま廃止して、通貨の創造を人々の手に取り戻す必要があります。今こそ変革の時です。ここに、まさにそれを実現するための 2 つの簡単なポイントと短い計画を示します。

- 正直なお金。金に裏付けられた通貨を再建する。すべての中央銀行を廃止する。
- より小さな政府 - 税金を 50% 削減します。予算を均衡させます。

これら 2 つの単純なポイントにより、エリート層の権力は即座に排除され、大きな成果となるでしょう。実質的なお金と均衡のとれた予算により、大幅な削減が強制されます。無駄な戦争は終わります。貴重で希少な資源の不適切な配分は大幅に減少します。人々は再び実質的なお金を慎重に借り、貸し、使い、投資するようになります。その結果、実質的な富が急増するでしょう。

ドナルド・トランプの背後にいるのは、人間に優しいグノーシス派の血統イルミナティだ。これは、悪魔的なアルコン血統イルミナティが運営する現在のエリート層のディープステートとは対照的だ。

グノーシス派は、支配的なアルコン血統の家族に属していないあらゆる年齢の天才を募集している。現在、絶対的な恐怖状態にあり、文字通り生き残りをかけて戦っているこれらのアルコンの家族は、南極基地に逃げ込んでおり、おそらく何か恐ろしいことをしようとしている。



腐敗した傲慢な体制：

結局、ヒラリー・クリントンは腐敗し、傲慢で現実離れした体制の顔となり、ドナルド・トランプは水面下で醸成されてきたポピュリストの怒りをほぼ完璧に不完全に代用する存在として登場した。

アメリカの有権者が彼を選んだ理由の一つは、少なくとも過去100年間アメリカを支配し、また支配を誤らせてきた体制を粉砕する鈍器が必要だと感じたからだ。体制は、過去1世紀に国が生み出した新しい富のほとんどすべてを盗んだだけでなく、労働者階級の兵士の命に価値がないかのように、個人的な目的のために米軍を戦争に送り込んだ。

結局、体制の愚かさが崩壊の原因となった。自らが引き起こした経済危機を制御できず、彼らは単にそうする力があつたというだけの理由で、ギリシャの春を意図的に潰した。彼らはヨーロッパ人の大多数を緊縮財政による絶望に追いやった。彼らは何百万人もの労働者を臨時雇用に追い込み、緊縮財政を圧迫する政策は国民の大部分を貧困に追いやった。

EUは企業化され、軍事化され、固定化された官僚機構である 完全に機能し、実質的に国を運営しているのは選挙で選ばれていない役人である。この影の政府には、国民の自由をまったく尊重しない政府の裏の顔が隠れている。

欧州各地でポピュリストのイデオロギーを巡る選挙戦が近づいている。ドイツでは右派政党「ドイツのための選択肢 (AfD)」が連邦議

会で初当選を果たした。フランスでは極右政党「[国民党](#)」が勝利した。[先頭リーダー マリーヌ・ル・ペン 持っていた](#) 大統領選の有力候補だったが、ロスチャイルドの奴隷マクロンによる不正選挙で脇に追いやられた。オーストリアでは、極右政党の候補者が（権力の弱い）大統領に就任する可能性がある。そして、EU離脱に向けた改革の素晴らしい推進力を持つ英国のUKIPも忘れてはならない。次はイタリアだ。同国では首相マッテオ・レンツィの是非を問う国民投票があり、[ベッペ・グリロの五つ星運動](#) 変化をもたらすという体制を打ち破った。

ディープステートとは誰、あるいは何ですか？

ディープステートは、常備軍としての地位を確立するために国家および法執行機関と力を合わせた軍事警察（第7章）で構成されています。スパイ機関の組み合わせが監視国家を作り出し、私たち全員を容疑者にしました。裁判所と刑務所が、正当な手続きと正義よりも企業の利益を優先させました。国を破産させているのは、民間請負業者と防衛産業を擁する軍事帝国です。

あらゆる面で、この政府はもはや自由に友好的ではなく、政府の権力掌握、汚職、そして虐待的な戦術に対して国民を無力にするために残業している。

政府官僚機構は、自らの権力と価値体系、警察国家とその企業同盟の権力と価値体系を強化する法律、法令、規則、規制を次々と作り続け、私たち一般市民を軽犯罪者に仕立て上げるだろう。一般市民は、本来は罪のない行為を違法とする曖昧な法律が多すぎるせいで、知らないうちに1日に3件の重罪を犯している。たとえば、低温殺菌していないヤギのチーズをあえて作り、それを地域社会の人々に配ろうとする小規模農家は、今後も農場を襲撃され続けるだろう。

ディープステートは国のお金を通じて国民を奴隷化するだけでなく、ウォール街も支配している。 政治機構を無活動状態に維持するための資金を供給し、気をそらす操り人形劇場として機能している。これは影の政府によって実行されている静かなクーデターから私たちの注意をそらすための単なる人形劇です。

これは最も隠れた形のファシズムであり、公的機関や民間企業の背後に隠れて汚い行為を実行している。

ディープステートが必要とするものがあるとすれば、それは非公開で途切れることのない資金の流れと、物事がこれまでと同じように進むという自信だ。ディープステートは、ある程度の行き詰まりさえも容認する。文化問題をめぐる党派間の泥仕合は、ディープステートの議題から注意を逸らすのに有効かもしれない。

アルコン血統の権力の主な源泉は、お金の創造と分配をコントロールすることであり、これは分割統治という征服戦略に応用されます。これは、世界の中央銀行のほとんどを所有していることで促進されます。彼らは、支配を確実にするために、この金銭力を利用して、権力のトップレベルの人々に賄賂を贈ったり、脅迫したり、暗殺したりしてきました。彼らはまた、企業メディアをコントロールし、利用可能なすべてのプロパガンダツールを使用して、ヒラリー・クリントンがドナルド・トランプとの接戦に勝っているという印象を与えてきました。

偽札:

投票プロセス、経済、メディア、政府、裁判所など、事実上すべてが体制側の現状維持に有利になるように操作されている。

中央銀行の偽のお金は、国民に課せられた数多くの規則や規制とともに、悪影響を及ぼしてきました。そして今、主要貸出金利は過去

8年間でゼロに近づき、さらにはゼロを下回るまでになり、経済は誤解され、ゆがめられ、枯渇しました。危機が始まって以来、企業だけでも負債が100%増加しました。

1968年まで実質的に存在したブレトンウッズ体制で合意されていたように、金に裏付けられた通貨システムでは、システムに投入できる信用の量には制限があります。ほとんどの人は、金に裏付けられたドルの終焉を、ニクソン大統領が外国保有のドルを1オンス35ドルの固定レートで金に交換するというアメリカの約束を履行しなかった1971年としています。しかし実際には、1968年にリンデン・ジョンソン大統領が金準備要件廃止法案を可決し、FRBが紙幣を金で裏付ける要件を撤廃し、FRBが意のままに紙幣を発行できるようにしたのです。以前は、すべてのドルは金で「裏付けられる」必要がありました。

ドルに連動する金は、本質的に生産、サービス、資源、労働、そして利益と損失といった実体経済に連動しています。金と銀は長い間、市場の変動に対するヘッジとして、また政治家が国民に負債を負わせることに対する防御として機能してきました。

信用対GDP比率、稼いだお金よりも負債が多い：

金本位制のもとでは、信用とGDPの比率はほぼ一定だった。1970年代までは、約1.5対1だった。何よりも、これはドル、信用、そして実質経済生産高の不変の関係を表していた。人々は持っていないものを貸すことはできなかった。そして、稼いだもの（GDP）がなければ、それを持つこともできなかった。しかし、1968年から1971年にかけて行われたように、金を取り上げられることで、この制限は取り払われた。信用は野放しにされた。

現在、GDPに対する信用の比率は、実質GDPの1ドル当たり約3.2対1です。言い換えれば、1ドルの収入に対して3ドル以上の負債があるということです。これは、過去40年間で約35兆ドルの未完了取引（

借り入れと購入) があり、返済がされていないことを意味しますが、このようなことは許されるべきではありませんでした。

この法外な負債の痕跡は、住宅やアパートの市場、ショッピングモール、企業の負債、ゴルフ場、戦争、ボーナス、クレジットカードの請求書、住宅ローン、クルーズ船などに見ることができます。中央銀行の偽のお金がなかったら、35兆ドル相当のものは存在しなかったでしょう。

そして今、中央銀行は偽のお金や安い信用を引き出すことができません。経済はそれに依存しており、経済に関わるほぼすべての人も同様だからです。次の危機に対する中央銀行の対応は、同じようなものになるでしょう。つまり、金本位制に戻り、すべての負債に対する貴金属の価値を再評価すれば、通貨は本来あるべき姿にリセットされ、今日のように民間所有の中央銀行ではなく、人民政府の財務省を通じて人民の手にお金が渡されることとなります（第 22 章）。

ファシスト国家から資本主義国家への移行:

金価格は、これからの移行期間中に上昇するでしょう。ファシスト国家から資本主義国家への移行により、多くのエリート層や既存の機関が法的調査を受けることになります。中には投獄される者もいれば、改革されるか消滅する機関もあります。金価格は、これらのかつての権力中枢に対する法的圧力に反応するでしょう。トランプは賢明な人物であるため、公正で健全な通貨が何を意味するか知っています。彼は最終的に、米国経済の再建と世界の他の国々への必要な足がかりとして金本位制を受け入れるでしょう。一方、金価格は最終的にその真の価値を見出すでしょう。

真の繁栄への道:

最終的に、中流階級は、課税、借入、支出の議論は繁栄につながらず、結果的に失敗であることに気づくだろう。その頃には、実質賃

金は大幅に低下し、富の格差ははるかに拡大しているだろう。政府と銀行の陰謀があまりにも明白になり、人々は経済を正しい軌道に乗せるために何らかの急進的な変化を起こす意欲のある候補者に投票するだろう。その時から、人々は、ほんの数個の賢明な政策を実施するだけで、巨大な障害さえもいかに早く克服できるかに本当に驚くだろう。

法人税、社会保障税、給与税、すべての地方税、課税、罰金、手数料など、他のすべての税金が廃止され、すべての人に一律の所得税率が適用されたらどうなるか想像してみてください。人々は、食料品などは免除され、新しいハードウェア製品に 20% の売上税を支払うだけで済みます。さまざまな法人やさまざまなシェルター、リベートに対するその他のすべての税の抜け穴は自動的に排除されます。配当、キャピタルゲイン、賃金など、収入源が何であれ、すべての人が同じ一律の税率を支払うことになります。

経済を軌道に戻すためにまずやるべきことは、議会で一律税を可決することです。経済と生活水準を回復させるには、あと 2 つのステップを踏む必要があります。

1. 政府は、これ以上借金をすることは許されるべきではない。外国の戦争への資金援助と参加を避けるための均衡予算の修正、そして終わりのない福祉国家。
2. 真の福祉改革が必要であり、誰もが福祉から障害者へと一気に移行するような改革ではない。緊急事態に陥った場合、6~8週間で5,000ドル程度の限定額の政府援助を申請できる。その後は、これらの人々は政府からそれ以上の援助を受けるべきではない。

おそらく多くの読者が抗議するだろうが、政府支出の3分の2から4分の3が給付金に費やされていることを認識してほしい。実際、政

府はある人の収入や財産を取り上げ、それを本来の人ではない別の
人に与えているのだ。

次に、預金を保証することによって、つまりお金を安全にすること
によって、すべての人のお金を守る方法を見つける必要があります。
つまり、通貨を金で裏付けます。存在するすべての通貨単位の裏
付けとして、たとえば 20% の金を置きます。銀行取引などの規制
を一切やめます。金融危機で問題にならなかった機関は、民間資本
に裏付けられた規制されていないヘッジファンドでした。問題を引
き起こしたのは、厳しく規制され、公的資本に裏付けられた銀行で
した。規制は市場に任せましょう。さらに、金で裏付けされていれ
ば、人々は銀行にお金を預ける必要さえありません。必要なのは個
人の金庫だけです。

これらの措置により、公正で透明な税制が保証される。財政赤字の
ない賢明な政府予算が自動的に保証される。世界中で通貨がどのよ
うに使われ、どのように銀行に預けられるかについて管理する必要
がなくなる。

これらの措置が実施されれば
、*経済規模は5年で2倍になる
可能性*がある。

信じられないような好景気が
訪れるのは、西側諸国、つま
りEUと米国が世界最大の市場
を形成しているからだ。大多
数は同じビジネス言語でコミ

ュニケーションできる。彼らは最高のコンピューティング、ソフ
トウェア、ハイテク企業を抱えている。逆に言えば、西側諸国が
現在追求している愚かな社会主義政策を続ける限り、当初はどれ
ほど裕福で強力であっても、他のすべての社会主義国家と同様に
破産することになるだろう。



一方、中国が長期計画者であることは明らかになった。そして彼らの長期目標の 1 つは、アメリカに代わって世界有数の経済大国になることだ。ワシントンとブリュッセルの道化師たちは、彼らを助けるために全力を尽くしている。米ドルは世界の準備通貨である。したがって、米国が債務不履行に陥るリスクは、世界の金融システムを警戒させているが、まだ何も解決されていない。中国は、およそ 1.28 兆ドルの米国債を保有する最大の外国である。日本は 1.14 兆ドルで僅差の 2 位、EU は 1 兆ドル強の米国債で 3 位である。

「我々は怒っているが、パニックにはなっていない」と、米国の債務上限引き上げ問題に関してユー・ヨンディン氏は言う。ユー氏は中国の権力構造の重鎮で、政府系シンクタンクの中国社会科学院のメンバーであり、中国中央銀行の政策委員会の元顧問でもある。「政治闘争で世界経済を乗っ取ることはできない」と同氏は付け加えた。「それは無責任だ」。ユー氏は率直にこう続ける。「今こそ、(中国の)米ドルへの依存を終わらせる時だ」



フィナンシャル・タイムズは次のように伝えている。

「短期的には、余氏と他の中国のトップ学者は、北京は手をこまねいていると述べている。米国債に1兆3000億ドルが投資されている中、突然その保有資産を売却する動きがあれば、それだけで世界市場が動揺し、中国が保有する米国資産の価値が損なわれるだろう。これはまさに、中国の外貨準備高管理者が避けたい結果だ。」

中国政府は、短期的なことは考えていないことを示すため、2009年に自国通貨人民元の国際化計画に乗り出した。それ以来何が起こったか考えてみよう...「2009年、中国の外貨準備高の69%をドル資産が占めていた。入手可能な最新の数字である2012年までに、ドル資産は49%にまで減少した。国際決済ネットワーク Swift

によると、2010年の人民元の世界取引高のシェアは0.9%だった。今年は2.2%だ。先月、国際決済銀行によると、人民元は世界で最も取引されている通貨トップ10にランクされた。」

新華社は社説で、米国の悪行に対する解決策をいくつも提示した。そのひとつは、すべての軍事行動を国連が統制することだ。また、「支配的な米ドルに代わる新たな国際準備通貨の導入」も求めた。これは、米国の世界的優位を揺るがす中国による最新の動きにすぎない。

中国は、3.7兆ドルの外貨がインフレで消滅するのを防ぐため、自国通貨を変動相場制にし、大量の金を購入することで通貨の力を高めている。中国中央銀行は8月に131トンの金を輸入した。これは前年比146%増で、中国史上2番目に多い金輸入量となった。中国は過去2年間で2,116トンの金を輸入している。これは国内で生産した金に加えてのことだ。中国人民銀行は人民元を世界で唯一の金に裏付けられた大規模な準備通貨にしようと積極的に取り組んでいる。

ダン・エイモス氏はこう書いている。「世界経済はかつてないほどの金融刺激策に依存している。投資家はその依存に気づけば、金の需要は高まるだろう。」

そして中国の戦略はこうして続く。一方、シンガポールは中国の機関投資家が人民元で外国の証券を購入できる数カ所のうちの1つとなる。「人民元適格国内機関投資家プログラムによると、シンガポールの金融機関による中国国内証券への通貨取引の上限は500億人民元（82億ドル）と規定されている。」-「両国の金融関係は大幅に深まっており、シンガポールは今後数年間、国際貿易と投資における人民元のさらなる利用を促進するのに有利な立場にある。」

この動きは、ロンドンに拠点を置く中国の銀行に対する規制を英国が緩和することを決定したことを受けてのものであり、これは英国

を拠点とする投資家に市場を開放するという北京の決定と相まって起こった。

人民元を世界的に推進するもう一つの取り組みとして、中国は今月初めにEUとの通貨スワップに合意した。総額3500億人民元、450億ユーロに上るこのスワップ協定は3年間有効で、中国とアジア以外の貿易相手国との間で行われた通貨協定としては最大級のものだ。中国の支配を回避するために、提案されている再構築計画は早急に実施されるべきであることは明らかだ。

腐敗した金融システム:

私たち国民は、連邦準備制度の行動と紙幣制度の囚人です（第6章）。今や、地獄の代償を払わずに逃れる道はありません。そして、地獄の代償は絶対に払わなければなりません。地獄は待ち構えており、私たちが好むと好まざるとにかかわらず、徴収されます。徴収人が逃げ回る時間が長くなればなるほど、請求額は大きくなります。

現在の連邦準備制度が管理する紙幣制度の本当の目的は、内部者が操作し、ごまかし、没収することです。彼らは私たちのお金の価値を操作し、実際に何が起きているかについて嘘をつき、貯蓄者や労働者から富を盗んで自分のお気に入りのプロジェクトに資金を提供することができます。私たち国民が大勢目覚めない限り、それはこれまでもこれからもずっとそうでしょう。[このビデオでは](#)、この世界がいかに腐敗しているかが説明されており、責任ある市民なら誰もが必見です。

教師のパトリシア・マカリストは、ロサンゼルスウォール街占拠デモに参加していた際、ウォール街はシオニストが支配していると大胆に発言したために磔刑に処されました。彼女はただ真実を語っただけで解雇されました。ロサンゼルストークショー司会者ビル・ハンデルは、その数日前に自身の番組で「私の部族がウォール

街を支配しているのに、なぜ私がそれに腹を立てなければならないのか」と発言しました。もちろん、彼はメディアを運営する部族の一員であるため、解雇されたわけではありません。では、事実は何でしょうか？ このビデオは、ウォール街と国際金融をシオニストが支配している事実を、これまで想像もできなかった方法で明らかにしています。このビデオの情報を世界に広めるのを手伝ってください。

より良い方向への希望の光はあるでしょうか？

トランプ氏は他の大統領にはできなかったこと、あるいは敢えてしなかったことを成し遂げた。最近のアジア歴訪で、彼はアジアの国々を結集した。訪ねてきた世界の指導者全員と会談した。これは、彼が世界各国政府から高く評価されていることを物語っている。合意に達し、築かれた関係は信じられないほど前例のないものだ。彼は米国人だけでなく、人類全体のために多くの善行を行った。

アジアへの歴史的な旅から戻った彼は、中国との 2,500 億ドルの「公正貿易」協定を仲介したようです。「公正貿易」は、商品、サービス、製品が、その本質に基づいて適切に評価される場合にのみ実現できることに留意してください。貿易が公正であるためには、対応する通貨がこの価値を反映している必要があります。つまり、金に裏付けられたお金で支払われるべきなのです。

彼はまた、国民に向けて「米国は復活した！」あるいは「回復した状態にある」という発言から始めて、今回の訪問の成功について語った。

トランプ大統領はプーチン大統領、習近平主席と非公式に会談した。インドネシアのジョコウィ大統領も職務上、また担保口座にあるスカルノM1金保有の代表として同席した。

これは、BIS、世界銀行、IMF、欧州中央銀行、連邦準備制度理事会、日本銀行、イングランド銀行などをハザール人の支配から取り除

かなければならないことを意味します。彼らは鍵をただ渡すつもりはないので、結局のところ、その仕事をするには銃を持った男たちが必要になる可能性が高いでしょう。だからこそ、米国、中国、ロシアの軍隊は人類の最大の希望なのです。

世界金融危機：

世界が金融危機に直面する理由についてのドキュメンタリー：[これドキュメンタリーは最高の一つだ](#) 株式市場の暴落の原因を説明し、なぜ次の暴落が避けられないのかを明らかにすることに長けているが、解決策は何だろうか？ 金に裏付けられた通貨のような簡単な解決策はあるが、ディープステートは混乱を望んでいるため、政府や中央銀行は正しい解決策を無視し、世界経済を危機に導いている。これは近い将来、世界経済に何が起こるかという恐ろしい見通しだ。負債は高すぎる。銀行は無謀なやり方で運営されており、すべて中央銀行と傀儡政府によって奨励されている。

人々はなんと深く騙されているのだろう。

イエズス会とローマカトリック教会は歴史を改変し、地球の本当の歴史についてのおとぎ話をでっち上げて、残りの部分を隠蔽した。そのような嘘の 1 つは、マグダラのマリアに関するもので、彼女は実際にはイエスの妻であり、イエス 2 世ユストゥスとヨセフという名の 2 人の息子と、タマルという名の娘を産んだ。これはローマカトリック教会によって抑圧された。教会は 1600 年に科学者を殺害する手順を開始し、自分たちに有利になるように物語を変えた。

[聖杯、またはサングレアル（聖杯）](#) イエスの血に関するものであり、それ以来、誰が誰の子孫であるかという真実は、ロスチャイルド家や君主を含む多くの人々によって主張されてきたが、それらはすべて虚偽である。

RH マイナスの血液はキリストの血液であり、バスク人はその血液を多く持っていると考える人もいます。

イエスは、私たちが本当は何者なのか、何なのかを啓蒙するために人類に遣わされた数少ない使者の一人で、私たちが精神的に成長するためには、この情報を理解し、地球上のネガティブなものを追い払わなければならないと教えました。

グレイで構成されるイルミナティ、ダーク・カバールによって何が行われたかを私たちに教えるために、大きな変化が起っています。そして、闇の存在によって意図的に私たちから隠されてきた宇宙の他の存在や実体。フランシスコ教皇は最近、彼の神は悪魔のルシファーであると語った。

地球上では、ライトワーカーたちが多くの真実を回復し、西暦300年のサングレアル条約を訂正して、地球上のすべての人々が主権者であり、そのように扱われるだろうと宣言しました。

これは、何世紀にもわたって地球上で行われてきた、インチキエリートと奴隷制度詐欺の終焉となるでしょう。

科学者たちは、何千年も前に核戦争があったこと、そして中東にはまだ少量の放射線が存在し、古代シュメール人が突然絶滅したのは核事故が原因だと言われていることを知っています。

「未知との遭遇」のような映画は実際に起こったことであり、エイリアンによる誘拐やビッグフットやその祖先のような多次元の生き物の存在、その惑星マルドゥクの存在などがある。現在は小惑星帯となっています。

陰謀団は、第3次世界大戦で人類を滅ぼそうとする動きで、今日のロシア叩きのような問題を作り出し、分割統治戦略を使ってグループ同士を戦わせている。

幸いなことに、2013年のサウスカロライナ州チャールストンの核爆弾投下や、ワームホール（CERN）を開いて地球を漏斗の中に送り込もうとする最近の最新の試みなど、多くの試みが阻止されてきた。

近い将来、歴史の真実が広く知られるようになると、多くの人が驚愕するでしょう。お楽しみに。

グローバルリセット:

これまでに作成されたすべての人為的債務証書は、最終的には普遍法によって解決されなければならず、そのために2015年に国際金協定が締結されました。ホワイトドラゴン協会の主権長老たちが示した道筋に従った主権国家は210カ国あります。これらの国々は、現在参加して自国のハード資産を担保にし、新しい開発資本のプールを作成し、善意のアルゴリズム監視による新しい改良されたデジタル金融システムで活性化することができます。

この50周年記念、つまり「グローバルリセット」は、人類を金本位制に戻し、長期的な経済の持続可能性を調和させ、すべての不換紙幣債務をなくし、金や実物資産に裏付けられた金融システムの再資本化を可能にします。不換紙幣はもう認められません。

闇の貴族/陰謀団は、何世紀にもわたって数々の戦いに勝利してきましたが、最終的には戦争に負け、二度と人間の問題を監視することは許されません。民主的に選出された政府を傀儡に置き換え、国家の資産を盗むために、陰険で秘密裏に裏切り、冷酷な殺人を繰り返す彼らの日々は、永久に終わります。

国家が国家債務を履行しない場合、その国は自動的にAIIBに吸収され、その場で債務が清算される。もはや、略奪的な国際債権者が国家の国家資源を盗もうとして厳しい緊縮政策を課すことは許されない。